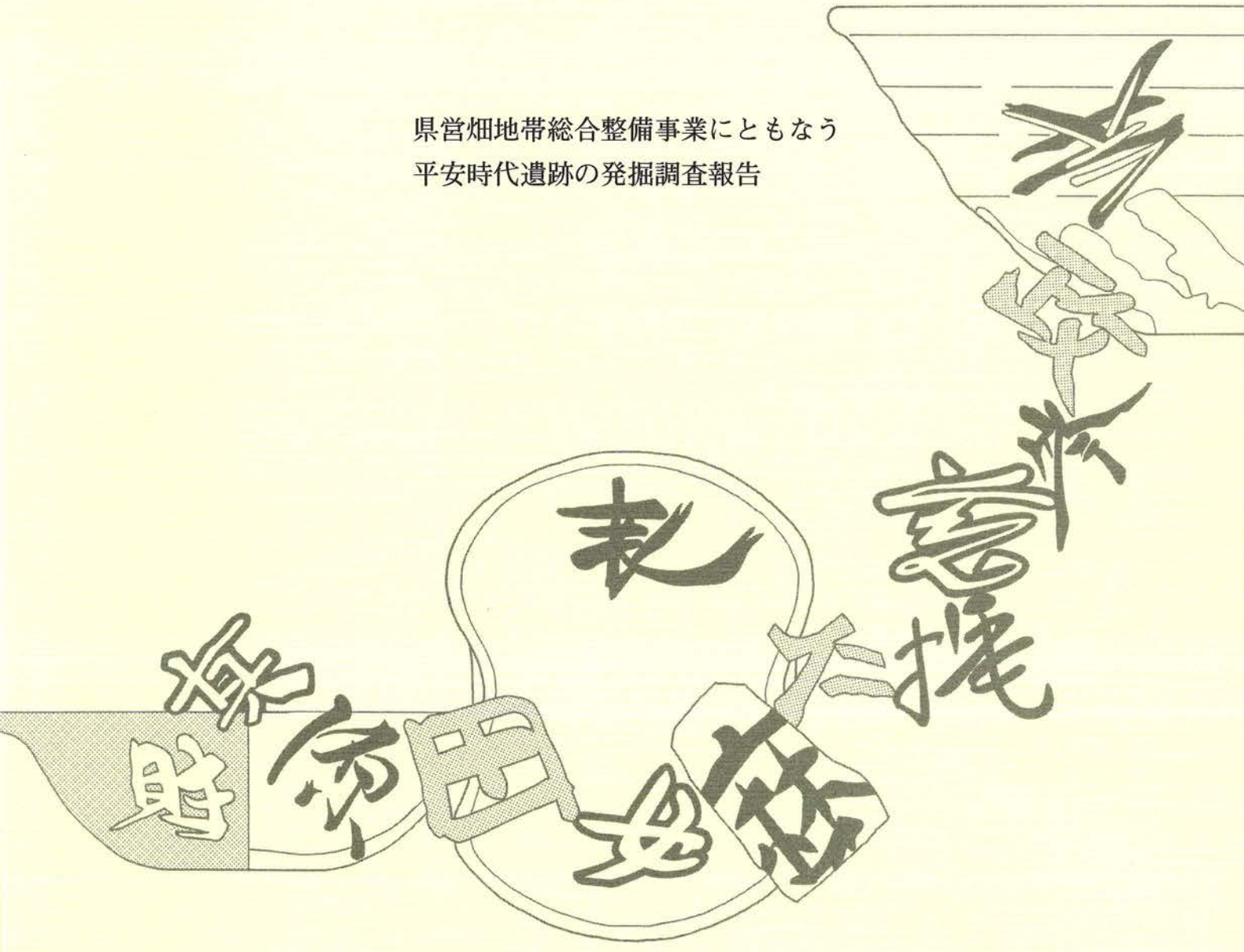
梅之木遺跡 I

県営畑地帯総合整備事業にともなう
平安時代遺跡の発掘調査報告



2002

山梨県明野村教育委員会
峡北地域振興局農務部

『梅之木遺跡Ⅰ』正誤表

84ページ以下、第5表中の胎土分類の説明が欠落しておりました。お詫びして以下のとおり追加いたします。

第1類

第8類より粒度組成がやや粗く、微小な白色粒子（石英、斜長石、カリ長石などの鉱物粒子）が容易に観察できる。赤色粒子（褐鉄鉱の濃集部分）が混じるが第8類ほど目立たない。器面の手ざわりはややざらつく。

第2類

第1類よりさらに粒度組成が粗く、径1mm程度の鉱物粒子が多量に混じるのが観察できる。赤色粒子は第8類と同等に混じるかやや少ない。器面の手ざわりは非常にざらつく。内外面のロクロ整形が粗雑で、ナデ痕が明瞭に観察される例が多い。

第3類

第2類と同様の胎土質だが、径3mm程度の礫が混じる。赤色粒子は第8類と同程度に混じる。器面のナデ調整は丁寧。ヘラ削りのタイミングが第8類より遅く、自然乾燥がかなり進んだ時点で実施しているようである。同時期の第8類と比較して、口径の割りに底径が大きく、器高が低い。全体に扁平な印象を与える。非常に密で丁寧に暗文を施文する。体部、底部のヘラ削りは第8類と同様であるが、底部周縁の輪郭が非常にシャープである。第8類よりもさらに赤味が強い色調。

第4類

第8類と同等程度のキメ細かく緻密な胎土だが、微小な白色粒子が容易に観察できる。赤色粒子が混じるが第8類ほど目立たない。径3mmを超える大粒の礫が混じることもある。色調はにぶい橙色から黒褐色。器壁が厚手な例もある。

第5類

第8類より粒度組成が粗い胎土でやや砂っぽい。赤色粒子、微小な白色粒子ともに混じるが、第1類、第2類、第4類ほど目立たない。内外面のロクロ整形が粗雑で、ナデ痕が明瞭に観察される例が多い。色調は黄橙色を示すことが多い。

第6類

キメの粗い砂っぽい胎土で、第5類をさらに粗粒にした胎土質である。鉱物粒子は第2類ほど多く混じらない。赤色粒子が混じるが第8類ほど目立たない。整形は粗雑で、ヘラ削りに稚拙な印象を受ける。器壁は厚手で、口縁部の玉縁のつくりも第8類と異なる。体部、底部はヘラ削りを施す。黄橙色か淡い赤褐色の色調。内面を黒色に処理する例もある。

第7類

今のところ大小久保遺跡2号住居例のみが確認できた。

キメ細かく緻密な胎土だが、微小な鉱物粒子がやや混じる。わずかだが径2mm程度の礫も混じる。器壁は厚手で、口径に対して底径が非常に大きい。底部はヘラ削り。底部周縁直近の体部下半しかヘラ削りしない。したがって体部下半のヘラ削りは非常に中途半端な印象を与える。この種のヘラ削りは大小久保型で散見される。非常に密な暗文を施す。

第8類

典型的な甲斐型坏・皿の胎土。

キメ細かく緻密で、微小な赤色粒子が混じる。

第88類

ロクロ整形、底部糸切、内面の黒色処理を特徴とする、信濃の坏を模倣したと考えられる坏。「信州系」と通称される。大小久保遺跡で焼成遺構が確認されている。内面はナデ、ヘラ磨きにより調整され、黒色処理されることが多い。底部は回転糸切痕を残し未調整である。径1mm程度の鉱物粒子を多量に含む胎土で、乳白色、黄褐色、赤褐色、黒褐色の色調を示す。

梅之木遺跡 I

県営畑地帯総合整備事業にともなう
平安時代遺跡の発掘調査報告

2002

山梨県明野村教育委員会
峡北地域振興局農務部

例　言

1　本書は、山梨県北巨摩郡明野村浅尾字梅之木に所在した梅之木（うめのき）遺跡の発掘調査報告書である。

2　本遺跡の現地発掘調査は、平成12年10月１日に着手し、平成13年３月30日に完了した。

3　発掘調査は、明野地区県営畑地帯総合整備事業梅之木工区の施工にともない実施した。事業主体は、山梨県峡北地域振興局農務部である。

4　発掘調査は、明野村教育委員会が直営で実施した。調査組織は下記のとおりである。

調査主体　明野村教育委員会教育長　深澤昌仁

調査担当　明野村教育委員会文化財調査員　佐野隆

調査事務局　明野村教育委員会文化財担当

5　本書の執筆、編集は佐野があたった。

6　本文中の註および参考文献は各章末に掲示した。

7　本遺跡の出土品および調査に係る諸記録は明野村教育委員会が保管している。

8　本遺跡の調査および報告書作成に際し、次の方々にご指導、ご教示を賜った。ご芳名を記し、感謝したい（五十音順、敬称略）。

閏間俊昭（韮崎市教育委員会）、大嶌正之（敷島町教育委員会）、河西学（山梨文化財研究所）、櫛原功一（山梨文化財研究所）、小坂隆司（敷島町教育委員会）、瀬田正明（一宮町教育委員会）、竹田眞人（武川村教育委員会）、野崎進（境川村教育委員会）、長谷川誠（長坂町教育委員会）、保阪太一（櫛形町教育委員会）、保坂康夫（山梨県埋蔵文化財センター）、平野修（山梨文化財研究所）、平山恵一（武川村教育委員会）、村松佳幸（長坂町教育委員会）、森原明廣（山梨県埋蔵文化財センター）、山下孝司（韮崎市教育委員会）、渡辺泰彦（大泉村教育委員会）

9　調査参加者（五十音順、敬称略）

淺川なみ子、秋山東、秋山高之助、阿部恵子、石渡節子、井手研二、井手正美、伊東加代子、伊東典雄、井上町子、宇賀勝秀、宇賀洋子、上野卓、遠藤勝、長田あい子、小沢茂、小尾嘉子、片山和江、兼松章子、上村ゆきえ、川手栄子、河手寿子、神沢正孝、窪田信一、久保村道子、倉橋徹、輿石久美、輿水和彦、小林ひで子、小林ます子、下倉千鶴子、篠原加代子、篠原初美、篠原啓子、清水小春、清水貞子、清水さゆり、清水みゆき、清水やす子、新藤すみ江、新藤道恵、鈴木節夫、高左右一光、筒井つや子、仲沢千代美、西川優子、入戸野久子、入戸野和加代、根岸利昭、長谷川規愛、羽中田弘、藤原和美、藤原喜美子、保坂秋蘭、本田伸子、水上勝美、溝辺志津江、三井啓介、皆川禮子、向井袈裟春、向井直子、村田せつ子、望月磯男、森沢篤美、森本秀娟、守屋敏子、守屋真弓、宮川昌蔵、八巻久子、山下千代子、山本忠江、山本眞利子、吉本勝美

凡　例

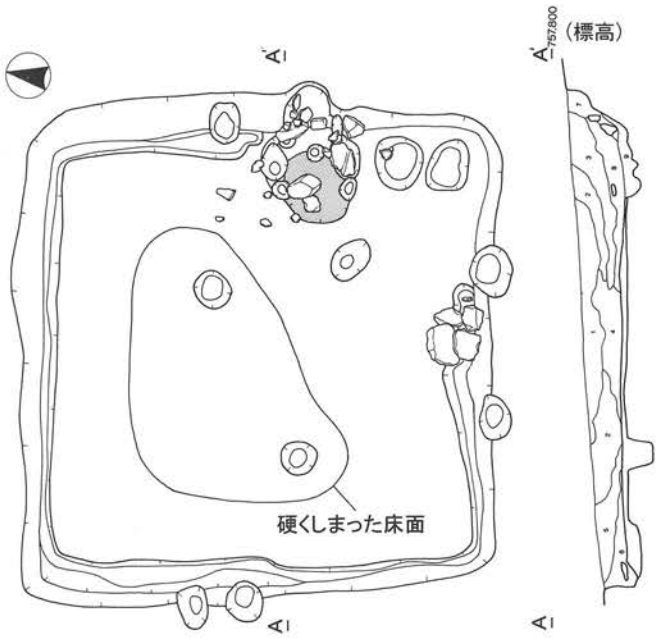
1　報告書中の地図は、国土地理院発行２万５千分の１地形図「若神子」「韮崎」、５万分の１地形図「八ヶ岳」「韮崎」「鰍沢」「金峰山」「御岳昇仙峡」「甲府」、山梨県峡北地域振興局農務部「梅之木工区地形現況平面図」、明野村役場地籍集成図を使用した。

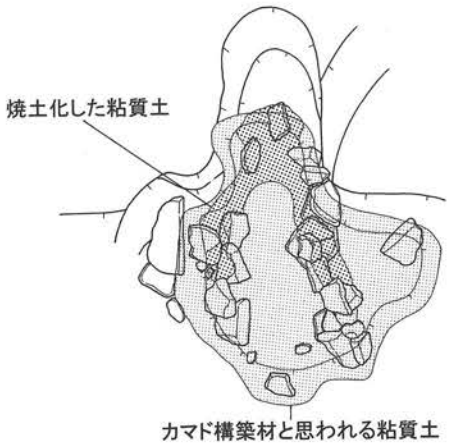
2　平安時代土器の時期は、『宮ノ前遺跡』韮崎市教育委員会1992年に拠った。

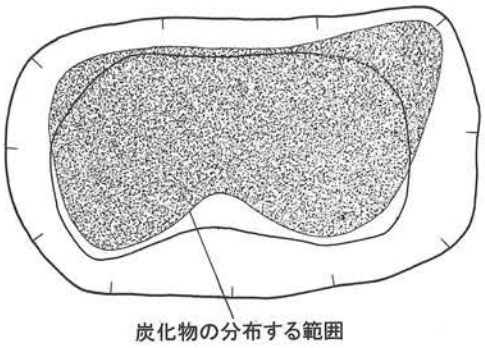
3　図版および観察表中の遺構覆土色および土器胎土色は、『新版標準土色帖』財団法人日本色彩研究所に拠った。

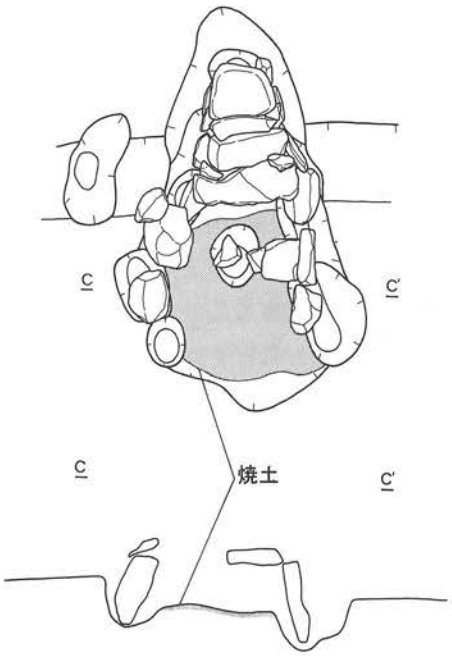
4　実測図中の略号「PT」はピット、「DK」は土抗を意味する。

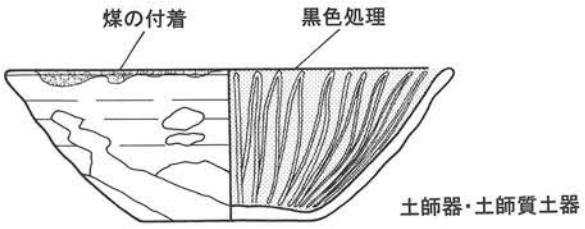
5　図版中の網掛部等の意味するところは以下のとおりである。

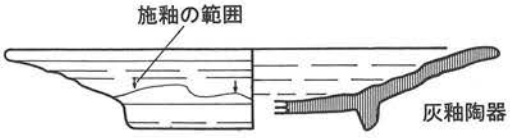

A
A'
757.800
(標高)
硬くしまった床面

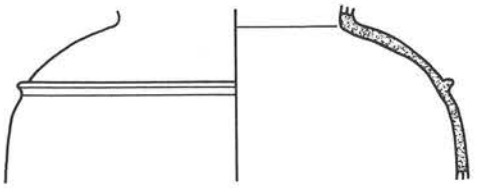

焼土化した粘質土
カマド構築材と思われる粘質土

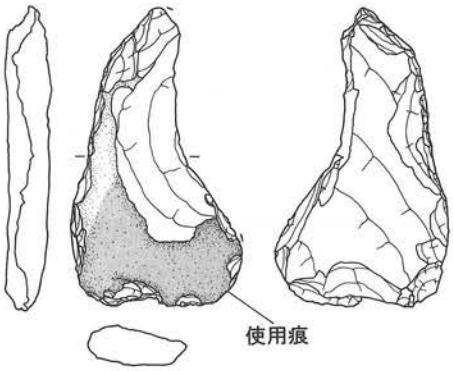

炭化物の分布する範囲


C
C'
焼土


煤の付着
黒色処理
土師器・土師質土器


施釉の範囲
灰釉陶器


須恵器


使用痕

本文目次

例言・凡例
第１章　調査に至る経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯と調査区の設定 …… 1
　第２節　調査の経緯 …… 1
　第３節　遺跡の概要 …… 1

第２章　遺跡周辺の環境 …… 4
　第１節　遺跡周辺の地理環境 …… 4
　第２節　遺跡周辺の歴史環境 …… 4

第３章　平安時代の遺構と遺物 …… 15
　第１節　竪穴住居と出土遺物 …… 15
　第２節　掘立柱建物と出土遺物 …… 51
　第３節　土坑・ピットと出土遺物 …… 54
　第４節　遺構・遺物観察表 …… 57
　第５節　３号住居出土の動物骨同定（パリノ・サーヴェイ株式会社） …… 368

第４章　その他の時期の遺構と遺物 ……372
　第１節　縄文時代の遺物 ……372
　第２節　弥生時代の遺構と遺物 ……372
　第３節　中近世の遺構と遺物 ……372
　第４節　遺物観察表 ……373

第５章　遺跡の変遷と特徴 ……377
　第１節　遺跡の変遷と特徴 ……377
　第２節　墨書、刻書、線刻 ……386
　第３節　焼きごて ……387
　第４節　遺跡の変遷と特徴 ……395

表 目 次

第１表　遺跡地名表 …… 7
第２表　住居面積・主軸方向一覧 …… 58
第３表　掘立柱建物面積・柱間寸法一覧 …… 59
第４表　土坑・ピット一覧 …… 62
第５表　土器・土製品一覧 …… 84
第６表　金属製品一覧 ……109
第７表　石器一覧 ……110
第８表　住居別土器出土量一覧 ……111
第９表　３号住居出土動物骨同定・観察表 ……369
第10表　その他の時期の土器一覧 ……373
第11表　その他の時期の石器一覧 ……373
第12表　墨書刻書土器一覧 ……392

図版目次

第１図　土木工事の範囲と調査の範囲 …… 2
第２図　調査区位置図 …… 3
第３図　調査範囲と周辺の地形 …… 6
第４図　周辺の遺跡分布図１（1／150,000）…… 10
第５図　周辺の遺跡分布図２（1／50,000）…… 11
第６図　遺跡全体図 …… 12
第７図　Ｗ１区遺構配置図 …… 13・14
第８図　Ｗ２区遺構配置図 …… 13・14
第９図　１号･45号住居(1／40)
　　１号住居カマド(1／20)
　　１号住居出土遺物(1／2) ……115
第10図　１号・45号住居出土遺物（1／2　5、6　1／4）
　　２号住居（1／40）……116
第11図　２号住居カマド（1／20）
　　２号住居出土遺物（1／2）……117
第12図　２号住居出土遺物（1／2　3　1／4）……118
第13図　３号住居（1／60）……119
第14図　３号住居カマド（1／20）……120
第15図　３号住居動物骨出土状況図（1／20）
　　３号住居出土遺物（1／2）……121
第16図　３号住居出土遺物（1／2　10～14　1／4）……122
第17図　３号住居出土遺物（1／2）……123
第18図　３号住居出土遺物（1／2）……124
第19図　４号住居（1／40）……125
第20図　４号住居カマド（1／20）　礫集中（1／20）…126
第21図　４号住居出土遺物（1／2　11～13　1／4）……127
第22図　４号住居出土遺物（1／2　1、2、6～8　1／4）…128
第23図　６号住居（1／40）　７号ピット（1／20）
　　４号ピット（1／20）……129
第24図　６号住居カマド（1／20）
　　６号住居出土遺物（1／2）……130
第25図　６号住居出土遺物（1／2　1～5　1／4）……131
第26図　７号住居（1／40）……132
第27図　７号住居カマド（1／20）……133
第28図　７号住居出土遺物（1／2）……134
第29図　７号住居出土遺物（1／2　3～8　1／4）……135
第30図　７号住居出土遺物(1／2　17　1／1　19　1／4)…136
第31図　９号住居（1／40）……137
第32図　９号住居カマド（1／20）……138
第33図　９号住居出土遺物（1／2　9～12　1／4）……139
第34図　９号住居出土遺物（1／2）……140
第35図　13号住居（1／60）……141
第36図　13号住居カマド（1／20）……142
第37図　13号住居出土遺物(1／2　5～7　1／4　9　1／1)…143
第38図　14号住居（1／40）……144
第39図　14号住居カマド（1／20）……145
第40図　14号住居出土遺物（1／2　9～11　1／4）……146
第41図　15号住居(1／40)　15号住居カマド(1／20)…147
第42図　15号住居出土遺物（1／2　3、4　1／4）
　　16号住居（1／40）……148
第43図　16号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…149
第44図　16号住居カマド（1／20）……150
第45図　16号住居出土遺物（1／4）……151
第46図　16号住居出土遺物（1／2）……152
第47図　17号住居（1／40）　63号ピット（1／20）……153
第48図　17号住居カマド（1／20）
　　17号住居出土遺物（1／2）……154
第49図　17号住居出土遺物（1／2　7～12、15　1／4）…155
第50図　18号住居（1／60）……156
第51図　18号住居カマド（1／20）……157
第52図　18号住居出土遺物（1／2　7～13　1／4）……158
第53図　18号住居出土遺物（1／2）……159
第54図　19号住居（1／60）……160
第55図　19号住居カマド（1／20）……161
第56図　19号住居集石（1／20）
　　19号住居出土遺物（1／2）……162
第57図　19号住居出土遺物（1／2　1　1／4）……163
第58図　20号住居（1／40）……164
第59図　20号住居カマド(1／20)　11号土坑(1／20)…165
第60図　20号住居出土遺物（1／2　4　1／4）……166
第61図　21号住居（1／60）……167
第62図　21号住居カマド（1／30）……168
第63図　21号住居75号土坑・71号土坑（1／20）……169
第64図　21号住居出土遺物（1／2）……170
第65図　21号住居出土遺物（1／2　3、4　1／4）……171
第66図　21号住居出土遺物（1／2　7、8　1／4）……172
第67図　21号住居出土遺物（1／2　8、12　1／4）……173
第68図　22号住居(1／40)　22号住居カマド(1／20)…174
第69図　22号住居(1／40)　22号住居カマド(1／20)…175
第70図　22号住居116号土坑（1／20）

22号住居出土遺物（1／2）……176
第71図　22号住居出土遺物（1／2　1、2、4～8　1／4）…177
第72図　23号住居（1／40）……178
第73図　23号住居出土遺物（1／2）……179
第74図　23号住居出土遺物（1／2）……180
第75図　24号住居（1／40）……181
第76図　24号住居出土遺物（1／2　7、8　1／4）……182
第77図　24号住居出土遺物（1／2　7　1／4）……183
第78図　25号住居（1／40）……184
第79図　25号住居カマド（1／20）
25号住居出土遺物（1／2）……185
第80図　25号住居出土遺物（1／2　3～5　1／4）……186
第81図　26号住居（1／40）……187
第82図　26号住居カマド（1／20）……188
第83図　26号住居出土遺物（1／2）……189
第84図　27号住居（1／40）……190
第85図　27号住居出土遺物（1／2　4　1／4）……191
第86図　28号住居（1／40）……192
第87図　28号住居カマド（1／20）……193
第88図　28号住居出土遺物（1／2）……194
第89図　28号住居出土遺物（1／2）……195
第90図　29号住居（1／40）……196
第91図　29号住居出土遺物（1／2）……197
第92図　29号住居出土遺物（1／2　2　1／4）……198
第93図　29号住居出土遺物（1／2）……199
第94図　30号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…200
第95図　30号住居カマド（1／20）
30号住居出土遺物（1／2）……201
第96図　31号住居（1／40）……202
第97図　31号住居カマド（1／20）……203
第98図　31号住居出土遺物（1／2　2、7　1／4）……204
第99図　36号住居（1／40）……205
第100図　36号住居（1／40）　176号土坑（1／20）……206
第101図　36号住居カマド（1／20）……207
第102図　36号住居出土遺物（1／2）……208
第103図　37号住居（1／40）　37号住居カマド（1／20）…209
第104図　37号住居出土遺物（1／2　7　1／4　8　1／1）…210
第105図　40号住居（1／60）……211
第106図　40号住居（1／60）および出土遺物（1／2）…212
第107図　40号住居出土遺物（1／2　4　1／4）……213
第108図　41号住居（1／40）……214
第109図　41号住居カマド（1／20）
41号住居出土遺物（1／2）……215
第110図　41号住居出土遺物（1／2）
42号住居（1／40）……216
第111図　42号住居出土遺物（1／2　4、6　1／4）……217
第112図　43号住居（1／40）　43号住居カマド（1／20）
43号住居出土遺物（1／2　2、3　1／4）……218
第113図　44号住居（1／40）
および出土遺物（1／2　3、4、7～9　1／4）…219
第114図　46号住居（1／40）……220
第115図　46号住居34号ピット（1／20）
46号住居出土遺物（1／2　9～11　1／4）……221
第116図　47号住居（1／40）……222
第117図　48号住居（1／40）……223
第118図　48号住居カマド（1／20）……224
第119図　47号・48号住居出土遺物（1／2）……225
第120図　48号住居出土遺物（1／2　1、2　1／4）……226
第121図　49号住居（1／40）……227
第122図　49号住居（1／40）……228
第123図　49号住居カマド（1／20）……229
第124図　49号住居カマド（1／20）
4号土坑・52号ピット（1／20）
612号ピット（1／20）……230
第125図　49号住居出土遺物（1／2）……231
第126図　49号住居出土遺物（1／2）……232
第127図　49号住居出土遺物（1／2　4～11　1／4）……233
第128図　49号住居出土遺物（1／2　3、4、6　1／4）…234
第129図　49号住居出土遺物（1／2）　50号住居（1／40）
および出土遺物（1／2）……235
第130図　51号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…236
第131図　52号住居（1／40）
および出土遺物　（1／2　4　1／4）……237
第132図　53a号住居（1／40）
および出土遺物（1／2　3　1／4）……238
第133図　53a号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…239
第134図　53b号住居（1／40）……240
第135図　53号住居出土遺物（1／2　3～5　1／4）……241
第136図　53号住居出土遺物（1／2　5～8、10　1／4）…242
第137図　55号住居（1／40）　103号ピット（1／20）
および出土遺物（1／2　9　1／4）……243
第138図　56号住居（1／40）……244
第139図　56号住居（1／40）　51号土坑（1／20）
および出土遺物（1／2）……245
第140図　56号住居カマド（1／20）……246
第141図　56号住居出土遺物（1／2）……247

第142図　57号住居（1／40）……248
第143図　57号住居カマド（1／20）
57号住居出土遺物（1／2）……249
第144図　57号住居出土遺物（1／2　2～6　1／4）……250
第145図　58号住居（1／40）……251
第146図　58号住居出土遺物（1／2）……252
第147図　59号住居（1／40）　33号土坑（1／20）
59号住居出土遺物（1／2）……253
第148図　59号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…254
第149図　59号住居カマド（1／20）……255
第150図　60号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…256
第151図　60号住居カマド（1／20）……257
第152図　57号・60号住居（1／40）
60号住居出土遺物（1／2　3　1／4）……258
第153図　60号住居出土遺物（1／2　1～4、7、8　1／4）…259
第154図　61号住居（1／60）　31号土坑（1／20）
および出土遺物（1／2）……260
第155図　61号住居カマド（1／20）……261
第156図　61号住居出土遺物（1／2　2～4、6　1／4）…262
第157図　62号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…263
第158図　62号住居出土遺物（1／2）……264
第159図　63号住居（1／40）　56号土坑（1／20）……265
第160図　63号住居（1／40）　63号住居カマド（1／20）…266
第161図　63号住居カマド（1／20）……267
第162図　63号住居出土遺物（1／2）……268
第163図　63号住居出土遺物（1／2）……269
第164図　63号住居出土遺物（1／2　4～8　1／4）……270
第165図　63号住居出土遺物（1／2　4、5、8、9　1／4）　…271
第166図　64号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…272
第167図　64号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…273
第168図　64号住居カマド（1／20）
64号住居出土遺物（1／2）……274
第169図　64号住居出土遺物（1／2）……275
第170図　64号住居出土遺物（1／2）……276
第171図　65号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…277
第172図　65号住居出土遺物（1／2　3、5　1／4）……278
第173図　66号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…279
第174図　67号住居（1／40）……280
第175図　67号住居カマド（1／20）　53号土坑（1／20）
67号住居出土遺物（1／2）……281
第176図　67号住居出土遺物（1／2　5　1／4）……282
第177図　68号住居（1／40）……283
第178図　68号住居カマド（1／20）
68号住居出土遺物（1／2）……284
第179図　69号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…285
第180図　70号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…286
第181図　71号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…287
第182図　71号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…288
第183図　72号住居（1／40）……289
第184図　72号住居（1／40）……290
第185図　72号住居カマド（1／20）
111号土坑（1／20）……291
第186図　72号住居出土遺物（1／2　7、10　1／4）……292
第187図　72号住居出土遺物（1／2　6　1／4）……293
第188図　73号住居（1／40）……294
第189図　73号住居カマド（1／20）　棚状施設（1／20）…295
第190図　73号住居出土遺物（1／2　4～6　1／4）……296
第191図　74号住居（1／40）……297
第192図　74号住居（1／40）……298
第193図　74号住居カマド（1／20）……299
第194図　74号住居出土遺物（1／2）……300
第195図　74号住居出土遺物（1／2）……301
第196図　74号住居出土遺物（1／2　3～5、11　1／4）…302
第197図　75号住居（1／40）　土師器出土状況図（1／20）
および出土遺物（1／2）……303
第198図　76号住居（1／60）……304
第199図　76号住居（1／60）および出土遺物（1／2）…305
第200図　76号住居カマド（1／20）……306
第201図　76号住居出土遺物（1／2　9　1／4）……307
第202図　76号住居出土遺物（1／2　9　1／1）……308
第203図　77号住居（1／40）……309
第204図　77号住居カマド（1／20）……310
第205図　77号住居出土遺物（1／2）……311
第206図　77号住居出土遺物（1／2　1、2　1／4）……312
第207図　78号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…313
第208図　79号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…314
第209図　80号住居（1／40）　出入口施設（1／20）……315
第210図　80号住居（1／40）および出土遺物（1／2）
181号土坑（1／20）……316
第211図　80号住居カマド（1／20）
80号住居出土遺物（1／2）……317
第212図　80号住居出土遺物（1／2　3、5、6　1／4）…318
第213図　81号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…319
第214図　81号住居出土遺物（1／2　3、10～13　1／4）…320
第215図　82号住居（1／40）……321
第216図　82号住居カマド（1／20）104号土坑（1／20）…322

第217図　82号住居出土遺物（1／2）……323
第218図　82号住居出土遺物（1／2　2～5　1／4）……324
第219図　83号住居（1／40）　84号住居（1／40）……325
第220図　83号・84号住居出土遺物（1／2）……326
第221図　85号住居（1／60）……327
第222図　85号住居カマド（1／20）……328
第223図　85号住居出土遺物（1／2）……329
第224図　85号住居出土遺物（1／2）……330
第225図　85号住居出土遺物（1／2　8～10、15　1／4）…331
第226図　85号住居出土遺物（1／2　19～21　1／4）……332
第227図　86号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…333
第228図　87号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…334
第229図　88号住居（1／40）　88号住居カマド（1／20）…335
第230図　89号住居（1／40）……336
第231図　89号住居カマド（1／20）……337
第232図　88号・89号住居出土遺物（1／2　1、5　1／4）…338
第233図　89号住居出土遺物（1／2　5～8　1／4）……339
第234図　90号住居（1／40）　90号住居カマド（1／20）…340
第235図　90号住居出土遺物（1／2　4～8　1／4）
　　91号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…341
第236図　92号住居（1／40）および出土遺物（1／2）…342
第237図　92号住居（1／40）
　　799号・838号ピット（1／20）……343
第238図　92号住居カマド（1／20）……344
第239図　92号住居カマド（1／20）
　　92号住居出土遺物（1／2）……345
第240図　92号住居出土遺物（1／2　2～5　1／4）……346
第241図　92号住居出土遺物（1／2　3、4　1／4　7　1／1）…347
第242図　93号住居（1／60）……348
第243図　93号住居カマド（1／20）
　　738号ピット（1／20）……349
第244図　93号住居出土遺物（1／2　8、9　1／4）……350
第245図　93号住居出土遺物（1／2）……351
第246図　94号住居（1／40）……352
第247図　94号住居（1／40）……353
第248図　94号住居カマド（1／20）
　　94号住居出土遺物（1／2）……354
第249図　94号住居出土遺物（1／2　16、17　1／4）……355
第250図　94号住居出土遺物（1／2　5　1／4　6　1／3）…356
第251図　95号住居（1／40）……357
第252図　95号住居カマド（1／20）
　　95号住居出土遺物（1／2　2、4　1／4）……358
第253図　掘立柱建物（1／40）……359
第254図　掘立柱建物（1／40）……360
第255図　掘立柱建物（1／40）……361
第256図　55号・61号土坑（1／20）
　　および出土遺物（1／2）……362
第257図　62号・63号土坑（1／20）
　　および出土遺物（1／2　3　1／4）……363
第258図　74号土坑（1／20）および出土遺物（1／2）…364
第259図　74号土坑出土遺物（1／2　10　1／4）……365
第260図　土坑・ピット（1／20）
　　および出土遺物（1／2）……366
第261図　土坑・ピット・遺構外出土遺物（1／2）……367
第262図　その他の時期の遺物
　　（1／2　2　1／4　3～9　1／1）……374
第263図　その他の時期の遺物（1／4）……375
第264図　その他の時期の遺物（1／2　1～3　1／4）……376
第265図　時期別遺構分布図……379
第266図　時期別遺構分布図……380
第267図　各時期の住居と住居群……381
第268図　住居群の移動……382
第269図　占有地と掘立柱建物……383
第270図　住居構造の変遷……384
第271図　占有地と金属製品、鉄滓、鍛冶遺構の分布…385
第272図　W２区墨書刻書土器出土位置図……388
第273図　W１区墨書刻書土器出土位置図（上段）
　　文字種別位置図（下段）……389
第274図　文字種別位置図……390
第275図　占有地と墨書刻書文字の分布……391

写真図版目次

写真図版１　茅ヶ岳西麓（提供　サンニチ印刷）
　　梅之木遺跡全景と金ヶ岳……397
写真図版２　梅之木遺跡W１区全景
　　梅之木遺跡W２区全景……398
写真図版３　１号住居・カマド（右上）・45号住居カマド（右下）・２号住居カマド（左）・３号住居（右）…399
写真図版４　３号住居カマド（左）・馬歯骨出土状況（右上）・完掘（右下）・３号住居旧カマド（左上）・完掘（左下）・４号住居（右）……400
写真図版５　４号住居カマド（左）・礫出土状況（右上）・

完掘（右下）・６号住居・カマド（右）…401
写真図版６　６号住居内７号ピットと焼土・完掘（右）
７号住居・カマド・完掘 ……402
写真図版７　９号住居・カマド・完掘
13号住居・カマド・完掘 ……403
写真図版８　14号住居・カマド・完掘
15号住居・カマド・689号ピット……404
写真図版９　16号住居・カマド・カマド周辺の遺物の出土状況・120号ピット上面の遺物出土状況（左）・住居内遺物出土状況　北東角（右上）・北西角（右下）……405
写真図版10　17号住居・カマド・127号ピット上面の遺物出土状況（右上）・63号ピット（右下）・18号住居・カマド ……406
写真図版11　18号住居カマド断面(左)・住居南東角・完掘
19号住居・カマド(左)・礫集積(右上)・完掘
……407
写真図版12　20号住居・カマド遺物出土状況（左下）・11号土坑（右上）・完掘・21号住居・カマド(右上)・80号土坑(右下) ……408
写真図版13　21号住居・71号土坑（左）・同覆土断面（右上）・完掘・22号住居・カマド・完掘……409
写真図版14　22号住居116号土坑（左）・23号住居（右）
23号住居カマド（左）・23号住居下層床面（右上）・完掘 ……410
写真図版15　24号住居・カマド・南東角の土坑と礫（右下）・24号住居完掘（左）・25号住居・カマド（右） ……411
写真図版16　26号住居・カマド(左)・支石を覆う土器(右上)・完掘・27号住居(左)・28号住居(右) …412
写真図版17　29号住居・覆土断面（右）
29b号住居カマド（左上）・新旧カマド完掘（左下）・110号土坑（右上）・完掘 ……413
写真図版18　30号住居・カマド（右上）・完掘
31号住居・カマド検出状況（右上）・同断面（右下） ……414
写真図版19　31号住居北壁沿いの鉄鏃出土状況（左上）・西壁際の紡錘具出土状況（左下）・完掘
36号住居・カマド検出状況(右上)・同カマド
……415
写真図版20　36号住居　176号土坑（左）・完掘
37号住居（左）・カマド（右上）・完掘 …416
写真図版21　40号住居・カマド（右上）・完掘
41号住居・カマド・同断面（左）……417
写真図版22　42号住居（左）・43号住居（右）・カマド
44号住居・カマド(右上)・185号土坑(右下)
……418
写真図版23　46号住居・カマド検出状況（右上）・カマド完掘（右下）・47号住居・カマド（右上）・８号土坑（右下）……419
写真図版24　48号住居礫・遺物出土状況(左)・同住居(右)・48号住居カマド（左上）・遺物出土状況（左下・右上）・完掘……420
写真図版25　49号住居・カマド検出状況(右上)・同カマド
49号住居北東角の土師器出土状況(左上)・４号土坑(左下)・612号ピット(右上)・完掘…421
写真図版26　50号住居・カマド(左)・51号住居・カマド(右)
52号住居・カマド(左)・53号住居(右) ……422
写真図版27　53a号住居カマド(左上)・同住居北東角の土師器出土状況(左下)・53b号住居カマド(左上)・同住居旧カマド(左下)・53号住居完掘(右)
……423
写真図版28　55号住居・同カマド検出状況（右上）・103号ピット（右下）・56号住居・カマド・完掘
……424
写真図版29　57号住居・カマド（左）・60号住居（右）
60号住居・カマド（左上）・同住居完掘（左下）・同住居出入口施設（右） ……425
写真図版30　58号住居・カマド（右上）・28号土坑（右下）
59号住居・カマド・33号土坑（右上）・完掘
……426
写真図版31　61号住居（左）・カマドおよび礫・31号土坑（右下）・62号住居・同覆土断面（左下）・カマド（右上）・完掘……427
写真図版32　63号住居・同遺物出土状況（右）
63号住居カマド（左上）・カマド周辺の遺物出土状況（左下）・56号土坑（右上）・285号ピット（右下）……428
写真図版33　ベッド状施設を残した完掘状況（左）・同施設断面（右上）・完掘（右下）・64号住居・カマド周辺の遺物出土状況(左下)・カマド検出状況(右上)・同カマド(右下)……429
写真図版34　65号住居（左）・同カマド（右上）・66号住居カマド（右下）・67号住居・カマド（左下）・53号土坑（右上）・同住居完掘（右下） …430
写真図版35　68号住居・カマド（左）・69号住居・完掘

(右)・70号住居・カマド（左下）・住居北東角土師器出土状況（右上）・カマド周辺の礫と土師器（右下）……431
写真図版36　71号住居・覆土断面（右上）・住居南東角の棚状施設（右下）・72号住居・覆土断面（右上）・72a号住居カマド（右下）……432
写真図版37　72b号住居カマド（左上）・72c号住居カマド（左下）・111号土坑（右上）・同住居完掘
73号住居・覆土断面（右）……433
写真図版38　73号住居カマド（左）・住居南東角の棚状施設断面（右）・73号住居カマド横の紡錘具出土状況（左）・同住居完掘（右）……434
写真図版39　74号住居・覆土断面（右上）・カマド覆土断面（右下）・住居南壁沿いの遺物出土状況（左上）・西壁沿いの遺物出土状況（左下）・74号住居完掘（右）……435
写真図版40　75号住居・覆土断面（右上）・カマド（右下）北壁沿いの土師器出土状況（左）・同住居完掘（右）……436
写真図版41　76号住居・カマド・完掘・77号住居・カマド検出状況（右上）・同覆土断面（右下）…437
写真図版42　77号住居北東角の紡錘具出土状況（左上）・南壁沿いの土師器（左下）・西壁沿いの焼土（右上）・完掘・78号住居・覆土断面（左）・79号住居・同完掘（右）……438
写真図版43　80号住居・カマド(右上)・出入口施設(右下)・出入口施設断面(左)・181号土坑(右上)・完掘
……439
写真図版44　81a号住居・カマド（左）・81b号住居（右上）・完掘・82号住居・カマド（左）・104号土坑（右上）・完掘……440
写真図版45　83号住居（左）・84号住居（右）
85号住居……441
写真図版46　85号住居697号ピット(左上)・698号ピット(左下)・カマド(右上)・完掘・86号住居(左)・87号住居(右)……442
写真図版47　88号住居・カマド・89号住居・カマド・完掘
……443
写真図版48　90号住居（左）・カマド（右上）・91号住居（右下）・92号住居・覆土断面……444
写真図版49　92号住居カマド検出状況（左上）・同カマド石組・カマド西側の遺物出土状況（左上）・住居南東角の遺物出土状況（左下）・完掘（右）……445
写真図版50　93号住居・住居南西角の土師器（右上）・住居中央の土師器（右下）・738号ピット（左）・93号住居完掘……446
写真図版51　94号住居・覆土断面（右）・カマド西側の土師器（左上）・南壁沿いの須恵器（左下）・完掘……447
写真図版52　95号住居・カマド・791号ピット（左）・95号住居完掘……448
写真図版53　1号掘立柱建物（左）・2号掘立柱建物（右）
3号掘立柱建物（左）・4号掘立柱建物（右）
……449
写真図版54　5号・6号掘立柱建物（左）・7号掘立柱建物（右）・8号掘立柱建物（左）・9号掘立柱建物（右）……450
写真図版55　10号掘立柱建物（左）・11号掘立柱建物（右）
12号掘立柱建物（左）・13号掘立柱建物（右）
……451
写真図版56　14号掘立柱建物（左）・15号掘立柱建物（右）
16号掘立柱建物（左）・17号掘立柱建物（右）
……452
写真図版57　18号掘立柱建物（左手前）・19号掘立柱建物（左奥）・21号掘立柱建物（右）・55号土坑覆土断面（左）・同完掘（右）……453
写真図版58　62号・63号土坑覆土断面（左・手前が63号）・同土坑（右）・62号土坑（左）・63号土坑（右）……454
写真図版59　74号土坑覆土断面（左）・同土坑（右）
遺物出土状況（左)・74号土坑完掘（右)…455
写真図版60　9世紀後半の出土品・9世紀末から10世紀初頭の出土品……456
写真図版61　10世紀前半から後半の出土品
10世紀後半の出土品……457
写真図版62　おもな金属製品
3号住居出土の馬歯骨……458

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯と調査区の設定

本報告書で報告する梅之木遺跡は、すでに縄文時代の埋蔵文化財包蔵地として周知されていた。山梨県農務部および峡北土地改良事務所（当時）が明野村浅尾字梅之木地内で計画した明野地区県営畑地帯総合整備事業の施工にむけて、明野村教育委員会では２回の埋蔵文化財所在確認調査を実施した。

１回目の所在確認調査は、平成６年１月８日より平成６年３月31日まで実施し、茅ヶ岳広域農道以東の工区を対象に地中レーダー探査と試掘調査を併用して縄文時代集落跡の範囲と遺構密度を確認した。地中レーダーによる探査を実施した範囲は第１図に示す。従来、梅之木遺跡は縄文時代の集落跡と考えられていたが、この確認調査により平安時代の遺構が少なからず存在することが確認された。２回目の所在確認調査は、平安時代集落跡の範囲と遺構密度の確認を目的として、平成８年３月７日より４月９日まで、茅ヶ岳広域農道以西の工区を対象に実施した。調査は試掘坑および試掘溝を設置し、遺構の所在を確認した。調査の範囲は第２図に示した。

以上の所在確認調査により、縄文時代集落跡は茅ヶ岳広域農道以東の約17,000㎡に分布し、平安時代集落跡は茅ヶ岳広域農道以西の約37,000㎡、以東の約70,000㎡に分布することが判明した。

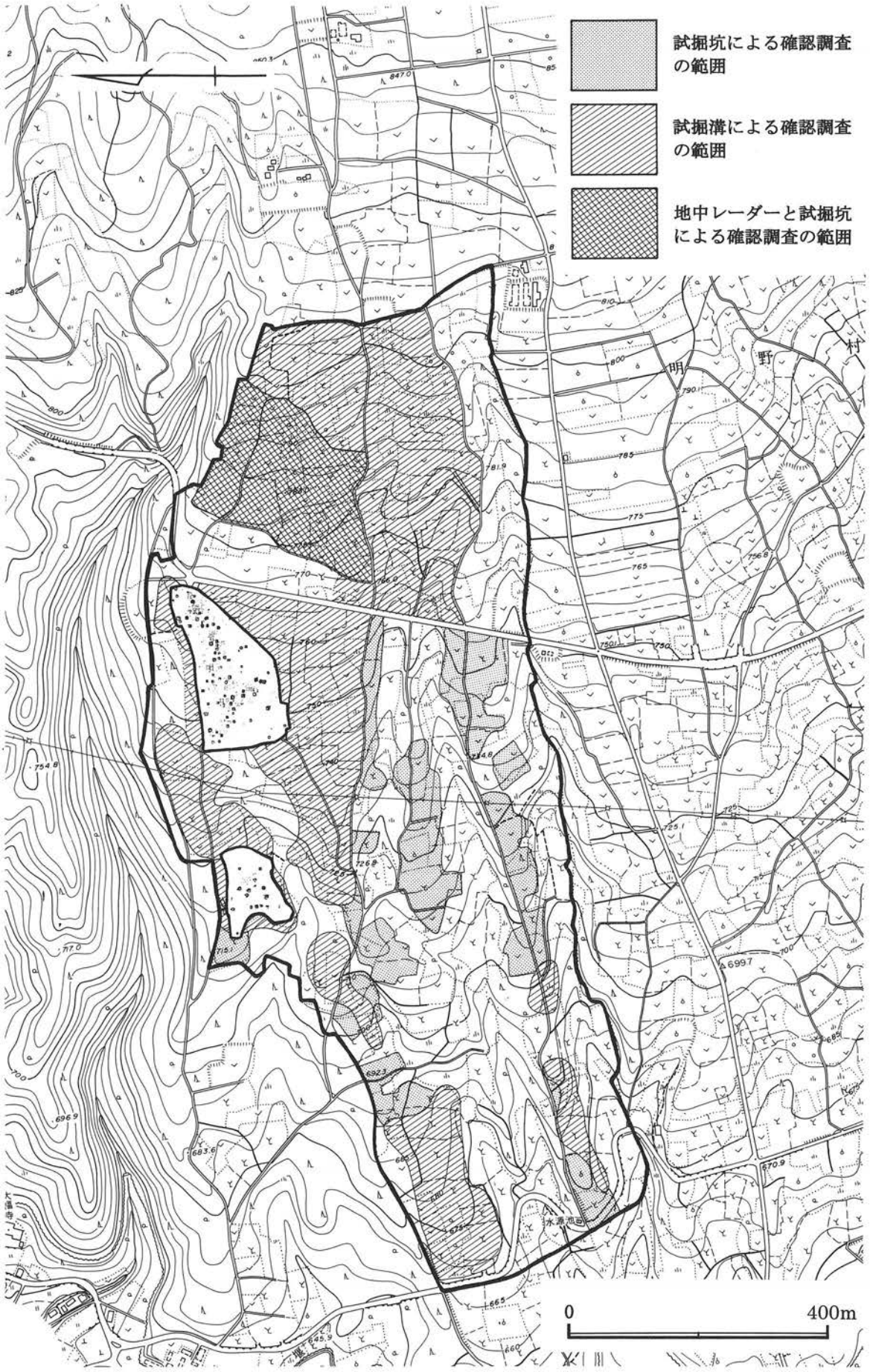
発掘調査は、明野村教育委員会が峡北土地改良事務所と調査経費負担協定を締結して、平成12年10月１日より平成13年３月30日まで、茅ヶ岳広域農道以西の平安時代集落跡37,600㎡を対象に実施された。本報告の対象となった発掘調査の区域は、第２図に示した。調査区域の設定は、事前の所在確認調査により遺構が分布することが確認された範囲とした。

第２節　調査の経緯

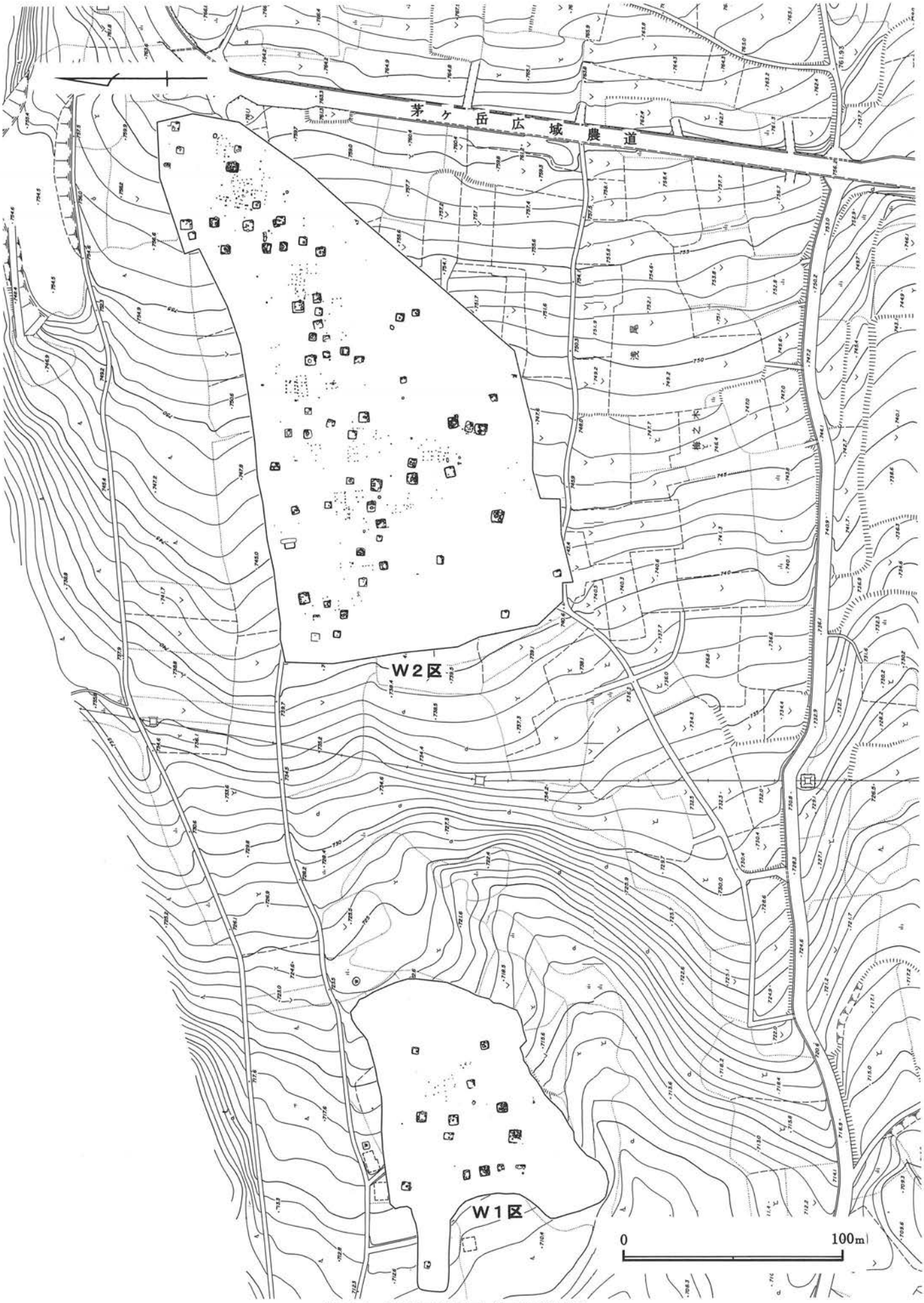
発掘調査は、平成12年10月１日から調査区域内の藪払い作業を実施することで開始した。事前の所在確認調査においてもなお遺構の分布が完全に把握できなかったため、第２図に示した調査区域においてより詳細に遺構の分布状況を調査するための調査を12月末まで断続的に実施した。この間、重機により表土剥ぎ作業を並行して実施した。表土剥ぎと詳細な遺構分布の調査の結果、遺構の分布は東西の２群に分かれ、地形の傾きが急になる標高725mから740m付近では、遺構が分布しないことが判明した。そこで西側の群をＷ１調査区、東側の群をＷ２調査区とした。遺構の調査は１月10日より開始した。平成13年１月、２月は、記録的な多雪、豪雪に見舞われた。特に１月27日の降雪により遺跡内の積雪は80cmに達し、２月５日にようやく作業を再開する有様であった。こうした状況に対し、作業員の増員を図り、平成13年３月30日、最後の住居跡の撮影と測量をもって調査を完了した。茅ヶ岳広域農道以東では平成14年度以降に発掘調査が予定されている。

第３節　遺跡の概要

発掘調査において検出された遺構は、弥生時代の竪穴住居１軒、平安時代、９世紀後半から10世紀末までの竪穴住居82軒、掘立柱建物21棟、土坑219基、ピット843基、近世の土坑１基である。土坑とピットはその多くが平安時代に属すると思われる。出土した遺物は、土師器、須恵器、灰釉陶器、金属製品、石製品、縄文時代の土器と石器、弥生時代の土器、近世の天目茶碗破片である。本遺跡から出土した土師器には墨書と刻書、線刻が非常に多くみられるのが特徴である。また、焼印の焼きごてと思われる鉄製品、住居内で出土した若齢個体の馬歯骨が特筆される。



第１図　土木工事の範囲と調査の範囲



第2図　調査区位置図（□は試掘溝）

第２章　遺跡周辺の環境

第１節　遺跡周辺の地理環境

金ヶ岳と茅ヶ岳は休火山火口の二頂点で、その山麓は東に急峻な岩場を形成し亀沢川に落ち込み、西は緩やかな斜面の丘陵地を形成して塩川に至る。西麓は塩川沿いの河岸段丘面と、緩やかに傾斜する丘陵地とに分かれる。河岸段丘は須玉町仁田平から韮崎市穂坂町にかけてその幅や面数を変えながら南北に延び、丘陵部は両山に発する小河川や尾根筋に分断され、現在の明野村と韮崎市穂坂町の間で広大な緩斜面を形成している。

明野村が立地する西麓斜面は、北は鰻沢川で須玉町に接し、正楽寺川の深い谷と正楽寺川南の尾根筋により、韮崎市穂坂町日之城、三之蔵地区から分かたれている。鰻沢川から正楽寺川までの山麓面積はおよそ22km^{2}で、湯沢川、栃沢川によりさらに分断されている。

遺跡は湯沢川南の尾根筋、標高710mから760m付近に位置する。西へ下る緩斜面の勾配は、10％程度である。遺跡周辺の土地利用の現況はほぼ全面が畑地で、荒廃農地にはカヤが茂り湯沢川沿いに松林や雑木林がみられる。

第２節　遺跡周辺の歴史環境

茅ヶ岳西麓端の標高450mから580mの河岸段丘面上では、多数の平安時代遺跡が確認されている。丘陵部で遺跡が少ないことと対照的であり、平安時代の土地利用を端的に示している。

宮後遺跡（第５図58）は梅之木遺跡から北西１kmに位置し、９世紀後半から10世紀後半にかけての竪穴住居21軒と掘立柱建物２棟[1]が調査されている。住居の構造など、本遺跡と共通する点もみられる。宮後遺跡周辺にも小規模な平安時代遺跡が発見されている。

西へ２kmには、寺前遺跡（第５図56）がある。９世紀後半から11世紀代の竪穴住居100軒以上と掘立柱建物20棟程度が調査されている。未報告で詳細は不明であるが、火葬墓らしい遺構、鉄製鈴など、注目される遺構、遺物が検出されている。本遺跡とともに茅ヶ岳西麓では住居軒数が多い遺跡で、存続時期も重複する。また、本遺跡で出土量が少ない灰釉陶器、施釉陶器が多数出土するなど、両者の相違や関連性が注目される。

遺跡から南西へ４kmで、茅ヶ岳西麓で唯一８世紀代の住居が検出された深山田遺跡（第５図73）に至る。検出された遺構は奈良時代１軒、平安時代３軒と少ないが、奈良平安時代の遺跡が集中する韮崎市藤井町方面にも近く、古代の茅ヶ岳西麓開発を検討する上で、重要な知見を提供している。

北東1.5kmの標高800mには、上ノ原遺跡（第５図59）がある。９世紀後半から10世紀後半にかけての竪穴住居72軒、掘立柱建物10棟が検出されている。勾配がきつい斜面に貼りつくように遺構が分布し、削平や侵食により失われた遺構も多数あったと推測される。９世紀末から10世紀初頭にかけての一時期遺構がみられなくなるなど、本遺跡と相違するが標高が高い丘陵地に立地する規模が大きい集落という点で共通点も多い。

西へ４kmの地点に官衙的性格が強く牧監政庁跡ともいわれる湯沢遺跡（第５図45）がある。９世紀前半から11世紀までの竪穴住居27軒、掘立柱建物８棟、柵列４条が検出されている。掘立柱建物は規模が大きく、コの字状に配置される。

須玉町藤田から韮崎市藤井町にかけての塩川旧氾濫原は、古墳時代後期から平安時代まで長期にわたり集落が存続した地域である。南北６kmにわたる平坦な水田地帯では、腰巻遺跡（第５図63）、中田小学校遺跡（第５図77）、宮ノ前遺跡（第５図81）など多数の奈良平安時代の遺跡が調査されている。特に宮ノ前遺跡では、奈良平安時代の竪穴住居400軒以上と多数の総柱建物が検出され、奈良三彩が出土し、隣接する地点では村落内寺院も確認されている。宮ノ前遺跡に代表されるこれらの地域は、茅ヶ岳西麓開発の拠点となった地域であるとともに、

古代巨麻郡北部の中心地域とも考えられる。

これらの遺跡が展開する古代巨麻郡北部を特徴づけるのが、御牧である。八ヶ岳南麓、釜無川右岸、茅ヶ岳山麓にそれぞれ設置された柏前牧、真衣牧、穂坂牧は、9世紀以降の巨麻郡北部の開発と関連づけられる。しかし、宮間田遺跡（第4図43）で「牧」と墨書された須恵器破片が出土したほかは、牧を具体的に裏づける物証に乏しいのが現状である。

茅ヶ岳山麓には穂坂牧が置かれた。10世紀初頭から11世紀末にかけて駒牽の実施が文献上で確認される穂坂牧は、貢馬数において最大規模の官牧であり、往時には800頭を超える牧馬を有したと推測される。現韮崎市穂坂町付近が比定されるが、これまでのところ平安時代遺跡の調査例に乏しい。

一方、明野村小笠原付近に比定される後院牧小笠原牧も10世紀には文献に登場し、穂坂牧とともに茅ヶ岳山麓が馬産の一大拠点であったことを物語る。冷泉院領小笠原牧は、応和元年（961）貢馬の記事を初出とし、建保4年（1216）小笠原牧の牧士が奉行人三浦義村の代官と喧嘩して奉行人が交代させられたという吾妻鏡の記事により、13世紀までその内実はともかく存在が確認される。小笠原は、建長3年（1253）の近衛家領目録では逸見とともに近衛家請所となっている。

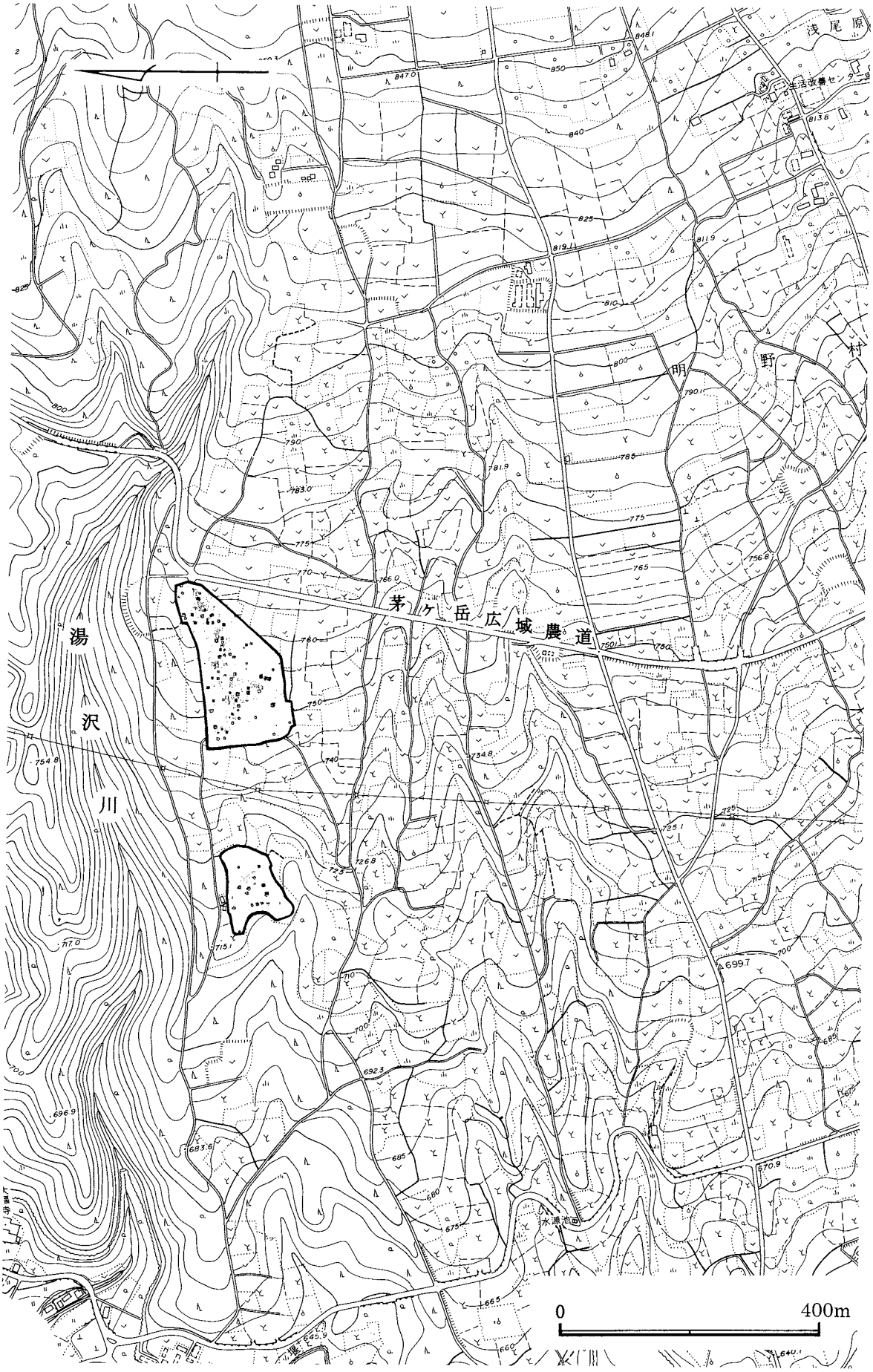
茅ヶ岳山麓を南北に貫く穂坂路は、甲斐国と信濃国東部をつなぐ幹線で、古代にまで遡る可能性があるとされている。穂坂路に沿ってあるいはやや離れて分布する平安時代遺跡の様子からも、穂坂路が平安時代の重要な交通路であったことをうかがうことができよう。

註

註1　報告では時期不明の掘立柱建物2棟が、検出されている。柱間や規模などから平安時代の掘立柱建物と考えられる。また遺構全体図ではほかに1棟が確認でき、さらにピットが群集する箇所がある。全体では数棟程度の掘立柱建物が存在したと推測される。

参考文献

秋山　敬　2001「文献からみた古代・中世の小笠原」『山梨考古第81号』山梨県考古学協会
明野村教育委員会　1990『宮後遺跡』
明野村教育委員会　2000『深山田遺跡』
明野村埋蔵文化財センター　1999「寺前遺跡調査概要」
明野村埋蔵文化財センター　2000「寺前遺跡見学会パンフレット」
雨宮正樹　1998「湯沢遺跡」『山梨県史資料編1原始・古代1考古（遺跡）』
上ノ原遺跡発掘調査団　1999『上ノ原遺跡』
佐野　隆　1998「腰巻遺跡」『山梨県史資料編1原始・古代1考古（遺跡）』
韮崎市教育委員会　1985『中田小学校遺跡』
韮崎市遺跡調査会　1992『宮ノ前遺跡』
原　正人　2002「律令制変容期の甲斐国と巨麻郡」『須玉町史通史編第1巻』



第３図　調査範囲と周辺の地形

第１表　遺跡地名表

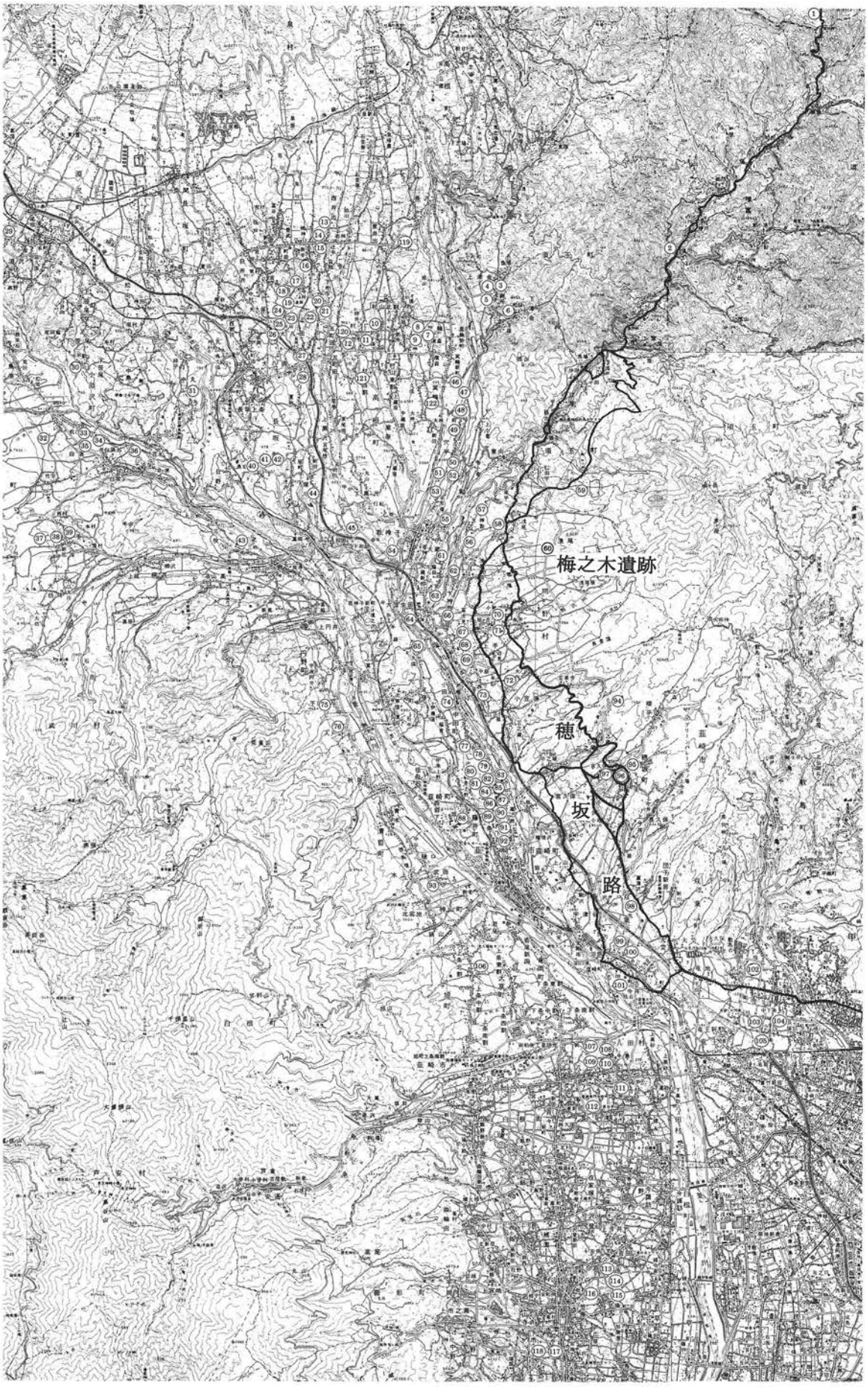
番号	遺跡名	所在地	時　　期	遺　　構	特記事項	出典
1	横尾	川上村	10世紀後半	住居１軒	焼失住居、標高1350m、穂坂路（小尾街道）信州峠付近	1
2	塩川	須玉町	９世紀後半～10世紀末	住居５軒	標高840mに立地	2
3	桑原南	須玉町	９世紀末～10世紀後半	住居７軒	大型掘立柱建物は平安時代の遺構か？	3
4	原の前	須玉町	９世紀～10世紀？	住居１軒		3
5	津金御所前	須玉町	９世紀～10世紀？	住居１軒	焼失住居	3
6	御屋敷西	須玉町	９世紀～10世紀？	住居２軒、掘立柱建物２棟		3
7	社口	高根町	９世紀中頃～10世紀末	住居14軒	鍛冶関連土坑あり	4・5
8	東久保	高根町	９世紀中頃～10世紀末	住居33軒、掘立柱建物７棟	鉄滓130kg出土、鍛冶工房址、羽口多数出土、石製錘「権」出土、１間×４間、２間×４間の長大な掘立柱建物あり	6
9	青木北	高根町	９世紀中頃～10世紀末	住居12軒、掘立柱建物５棟、土坑12基	東久保遺跡南方に連続する一体の遺跡、礎石を有する竪穴住居あり	7
10	八ッ牛・八ッ牛北	高根町	11世紀	住居４軒、掘立柱建物２棟		8
11	藤林寺跡	高根町	９世紀後半	住居３軒	時期不明の１間×９間の長大な掘立柱建物１棟あり	8
12	西原	高根町	９世紀前半～10世紀後半	住居２軒		9
13	東原	大泉村	９世紀後半～10世紀末	住居12軒、鍛冶遺構１基、掘立柱建物３棟		10
14	東姥神Ｂ	大泉村	９世紀後半～10世紀後半	住居８軒、掘立柱建物、鍛冶遺構	「安曇」墨書	11
15	中村	大泉村	９世紀～10世紀	住居７軒	銅製帯金具出土、東姥神遺跡と一体の遺跡か？	12
16	天神	大泉村	９世紀後半	住居３軒		13
17	城下	大泉村	10世紀～11世紀前半	住居26軒、掘立柱建物	丸鞆、緑釉陶器、耳皿、土錘	14
18	豆生田第３	大泉村	９世紀前半～10世紀後半	住居８軒、掘立柱建物		15
19	金生	大泉村	９世紀前半～10世紀後半	住居６軒		16
20	寺所	大泉村	９世紀末～10世紀末	住居44軒、掘立柱建物３棟、土坑12基、溝４条	墨書土器多数出土、耳皿	17・18
21	原田	大泉村	９世紀後半	住居５軒、堀立柱建物１棟		14
22	木ノ下・大坪	大泉村	９世紀後半～10世紀後半	住居８軒、溝３条、堀立柱建物２棟、土坑８基	４間×４間総柱建物あり	19
23	深草	長坂町	９世紀後半	住居１軒		20
24	大八田・原田	長坂町	９世紀後半～10世紀後半	住居８軒		21
25	南新居西	長坂町	10世紀	住居６軒		22
26	小和田館跡	長坂町	10世紀前半	住居９軒、掘立柱建物		23･24･25
27	柳坪	長坂町	９世紀後半～10世紀末	住居38軒	革金具、巡方、木製品	26・27
28	石原田北	長坂町	10世紀中頃～12世紀初頭	住居19軒		28
29	竹原	小淵沢町	９世紀後半	住居３軒、鍛冶遺構	鉄滓、羽口多数出土	29
30	前田	小淵沢町	９世紀後半	住居11軒、掘立柱建物５棟	土師器焼成遺構、「寺」墨書	30・31
31	健康村	長坂町	９世紀後半～12世紀初頭	住居14軒		32
32	雑木	白州町	10世紀中頃～11世紀	住居７軒	「禅寺」墨書	33
33	所帯Ⅰ	白州町	９世紀前半～９世紀後半	住居６軒、堀立柱建物４棟		34
34	所帯Ⅱ	白州町	９世紀前半～９世紀後半	住居10軒、堀立柱建物２棟	所帯Ⅰ遺跡と一体の遺跡と思われる	34
35	坂下	白州町	９世紀後半	住居４軒、掘立柱建物	「浄」墨書、土馬	35
36	旧菅原小学校	白州町	９世紀後半～10世紀前半	住居６軒	土錘、「女」、「本」、「東」墨書	36
37	上北田３	白州町	９世紀後半	住居３軒、掘立柱建物	掘立柱建物は中世か	37
38	新居道上	白州町	９世紀後半～11世紀	住居７軒	掘立柱建物？	37
39	古御所東	白州町	９世紀後半～12世紀	住居42軒	墨書「社」？「長」、「本」、「千」、掘立柱建物？	38
40	紺屋	長坂町	９世紀後半～10世紀後半	住居10軒	墨書「南」、「東」、「長」、鉄滓	39・40
41	龍角西	長坂町	９世紀末～10世紀後半	住居７軒	長坂町教育委員会の教示による	
42	龍角	長坂町	10世紀前半	住居１軒	長坂町教育委員会の教示による	
43	宮間田	武川村	９世紀前半～11世紀	住居74軒、堀立柱建物45棟	墨書「牧」、「千村」、「生」、「矢」、「南」、鍛冶遺構、金属製品多数、土錘、羽口、帯金具	41・42
44	宮久保	長坂町	９世紀後半～10世紀初頭	住居４軒、堀立柱建物１棟		43
45	湯沢	高根町	９世紀前半～10世紀後半	住居27軒、堀立柱建物８棟、柵列４条	布目瓦、金銅製鈴、円筒形土製品、巡方、「隆平永宝」、土師器焼成遺構、牧監政庁説あり	12
46	川又坂上	高根町	９世紀前半	住居１軒	古墳時代中期の遺構あり	44
47	川又南	須玉町		住居５軒		45
48	西川	須玉町	９世紀後半～10世紀後半	住居14軒	鉄滓	12･46･47
49	夏目原	須玉町		住居２軒		3
50	飯米	須玉町		住居７軒		3
51	蟹坂	須玉町		住居２軒		3
52	蟹坂東	須玉町		住居２軒		3
53	宮田・笠張	須玉町	９世紀後半	住居２軒		3
54	大小久保	須玉町	９世紀後半	住居４軒、土師器焼成遺構８基	ロクロ整形の内黒坏、土師器甕の生産址、布目瓦、甲斐型模倣坏	48
55	中尾城	須玉町	10世紀後半	住居２軒		49
56	寺前	明野村	９世紀後半～12世紀	住居約90軒、掘立柱建物約20棟	鉄製鈴、火葬施設、火葬墓、鍛冶遺構	50・51
57	諏訪原	明野村		住居１軒	未報告	
58	宮後	明野村	９世紀後半～10世紀後半	住居21軒、掘立柱建物４棟？	周辺にも同時期の遺跡あり	52
59	上ノ原	須玉町	９世紀中頃～10世紀後半	住居72軒、掘立柱建物10棟	ムギ類炭化種実を検出、「隆平永寶」、緑釉陶器	53
60	梅之木	明野村	９世紀後半～10世紀後半	住居82軒、掘立柱建物21棟	馬歯骨、焼きゴテ	
61	滝下	須玉町	９世紀後半～12世紀	住居７軒		3
62	大日川原	明野村	９世紀後半	住居１軒		54
63	腰巻・腰巻北	須玉町	８世紀～10世紀後半	住居20軒、掘立柱建物２棟	古墳時代後期の集落から継続、「大徳」墨書あり	3
64	大豆生田	須玉町	８世紀～11世紀	石列、礎石建物、住居９軒	布目瓦、緑釉陶器、羽口、「西」墨書	55
65	上本田	韮崎市	８世紀～10世紀後半	住居11軒、掘立柱建物		56

番号	遺跡名	所在地	時　　期	遺　　構	特記事項	出典
66	神取	明野村	9世紀前半～10世紀後半	住居12軒	「信」、「皆」墨書	57
67	村之内Ⅱ・Ⅲ	明野村	9世紀後半～12世紀	住居24軒	鍛冶遺構	58
68	屋敷添	明野村	9世紀後半～10世紀後半	住居23軒	駿河地方の土師器坏類似品	59
69	屋敷添第2	明野村	9世紀後半～10世紀初頭	住居2軒		60
70	普門寺	明野村	9世紀前半	住居1軒		61
71	高台・中谷井	明野村	9世紀後半～10世紀末	住居12軒	緑釉陶器	58
72	下大内	明野村	9世紀後半～11世紀	住居12軒	「延喜通寶」、「女」墨書多数	60
73	深山田	明野村	8世紀～10世紀後半	住居4軒	茅ヶ岳西麓唯一の8世紀代の集落跡	62
74	中道	韮崎市	11世紀	住居4軒		63
75	水無	韮崎市	10世紀～11世紀	住居2軒	八稜鏡出土	64
76	半縄田	韮崎市	9世紀後半～11世紀	住居7軒、掘立柱建物1棟	漆紙片、瓦塔、土錘、羽口、鍛冶遺構	65
77	中田小学校	韮崎市	8世紀～12世紀	住居22軒、掘立柱建物2棟	「葛井」墨書、金銅製鈴2点	66
78	前田	韮崎市	8世紀～12世紀	住居10軒	羽口、鉄製品多数	67
79	立石	韮崎市	11世紀～12世紀	住居3軒	羽口	68
80	宮ノ前第2	韮崎市	9世紀	住居10軒、掘立柱建物10棟	集落内寺院、瓦、瓦塔	69
81	宮ノ前	韮崎市	8世紀～11世紀	住居417軒、掘立柱建物54棟	条里溝、奈良三彩、円面硯、緑釉陶器、鉄製品多数、帯金具、鏡、「寺」墨書	70
82	宮ノ前第5	韮崎市	8世紀～11世紀	住居12軒、掘立柱建物1棟	主体となる遺構の時期は9世紀、漆紙、須恵器大甕、宮ノ前遺跡の厨房施設か	71
83	駒井	韮崎市	8世紀後半～10世紀	住居1軒	8世紀後半の住居、円筒状土製品	72
84	北後田	韮崎市	8世紀～10世紀後半	住居66軒、掘立柱建物4棟	平安時代の住居41軒	73
85	宮ノ前第3	韮崎市	8世紀～9世紀後半	住居6軒、掘立柱建物2棟	鍛冶遺構、羽口、円筒状土製品、鉄製轡？、漆紙、「尸殿」、「田」、「仲」、「足」、「丁」、「上」墨書	74
86	後田	韮崎市	8世紀～10世紀後半	住居12軒、掘立柱建物1棟	羽口	75
87	堂の前	韮崎市	8世紀～9世紀後半	住居16軒		76
88	坂井南	韮崎市	10世紀	住居7軒		77
89	三宮地	韮崎市	10世紀	住居15軒、掘立柱建物5棟	巡方、灰釉陶器製風字硯	78
90	後田堂ノ前	韮崎市	8世紀～11世紀	住居4軒	9世紀の住居1軒、11世紀の住居1軒	79
91	下横屋	韮崎市	平安時代	住居2軒		80
92	北下条	韮崎市	8世紀～9世紀	住居9軒		81
93	新田	韮崎市	9世紀後半～12世紀	住居6軒	「仁」、呪文墨書	82
94	日露戦役記念桑園遺跡	韮崎市	平安時代		土師器採集	83
95	倭文遺跡	韮崎市	平安時代		土師器採集	83
96	飯米場遺跡	韮崎市	平安時代		土師器採集	83
97	横手遺跡	韮崎市	平安時代		土師器採集	83
98	西原B遺跡	双葉町	平安時代		土師器採集	84
99	藤塚B遺跡	双葉町	平安時代		土師器採集	84
100	山の神遺跡	双葉町	平安時代		土師器採集	84
101	間々下遺跡	双葉町	平安時代		土師器採集	84
102	原腰	敷島町	11世紀～12世紀	住居14軒		12
103	御岳田	敷島町	10世紀後半～11世紀	住居3軒		85
104	松ノ尾	敷島町	9世紀末～12世紀	住居15軒	銅製小仏像、金銅製小仏像、帯金具、土錘、鉄製品多数、鎌倉時代には京都松尾大社荘園	86
105	金の尾Ⅴ	敷島町	9世紀後半	住居3軒	「人」墨書	87
106	大輪寺東	韮崎市	9世紀前半	住居2軒		88
107	大塚	八田村	8世紀～11世紀	住居33軒	椀形鉄滓	89
108	石橋北屋敷	八田村	8世紀～12世紀後半	住居13軒	鉄滓、鍛冶遺構、13世紀代の住居もあり	90
109	立石下	八田村	9世紀前半～後半	住居13軒、掘立柱建物5棟	溝、奈良三彩	91
110	野牛島・大塚	八田村	8世紀～9世紀後半	住居9軒		92
111	榎原・天神	八田村	10世紀前半	住居2軒	棚状施設	93
112	百々	白根町	9世紀～10世紀主体	住居199軒、掘立柱建物13棟	12世紀まで遺構あり、牛馬骨45体、八稜鏡、「神功開寶」、石帯、銅製分銅、金属製品多数、鉄滓、羽口、緑釉陶器	94～98
113	十五所	櫛形町	平安時代	住居2軒		99
114	村前東A	櫛形町	9世紀後半～10世紀後半	住居64軒	「真」、「高」墨書、鉄滓	100
115	角力場第2	若草町	9世紀後半～10世紀後半	住居10軒、掘立柱建物4棟	「矢」墨書	101
116	枇杷B	櫛形町	8世紀～10世紀後半	住居11軒、掘立柱建物6棟	柵列	102
117	〆木	櫛形町	8世紀～11世紀	住居34軒、掘立柱建物4棟	遺構の主体は9世紀後半～10世紀前半、「本」墨書	103
118	鋳物師屋	櫛形町	9世紀前半～10世紀後半	住居114軒、掘立柱建物2棟	「里」、「長」、「手」、「真」、「蔵」墨書	104
119	薬師堂	高根町	9世紀前半～9世紀後半	住居6軒	八ヶ岳南麓では古い時期の集落	105
120	西原北	高根町	9世紀後半	住居2軒		105
121	高内	高根町	9世紀後半	住居7軒		105
122	海道前	高根町	9世紀後半	住居3軒		106

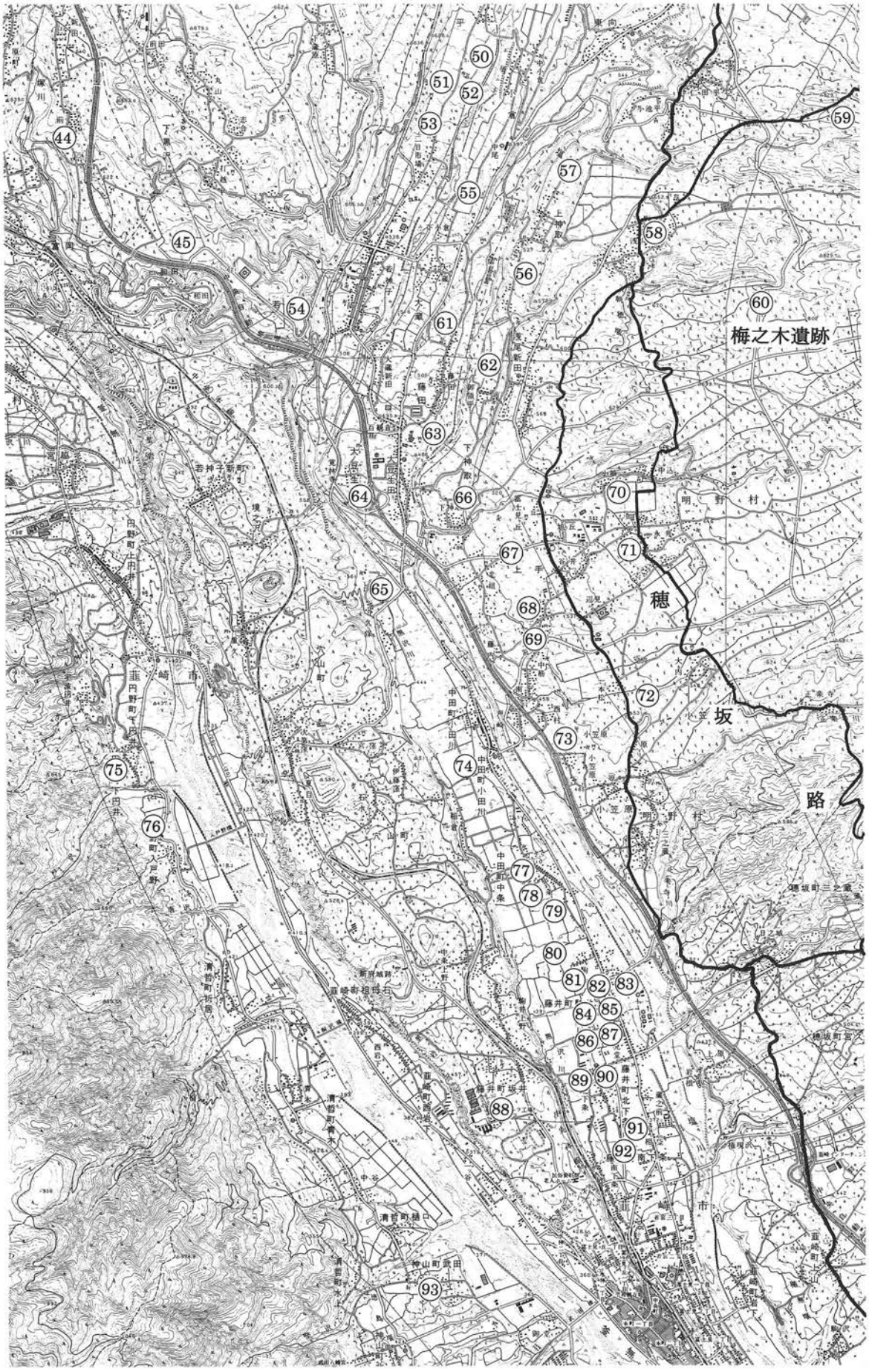
報告書一覧

1	佐久考古学会	1983	『横尾』	長野県南佐久郡川上村教育委員会
2	森原明廣ほか	1992	『塩川遺跡』	山梨県教育委員会
3	須玉町	1998	『須玉町史第1巻・古代・中世』	須玉町
4	櫛原功一ほか	1997	『社口遺跡第3次調査報告書』	社口遺跡発掘調査団
5	雨宮正樹	1995	『社口遺跡』	高根町教育委員会
6	雨宮正樹	1984	『東久保遺跡』	高根町教育委員会
7	森　和敏	1992	『青木北遺跡・梅の木遺跡』	山梨県教育委員会
8	雨宮正樹	1997	『藤林寺遺跡・八ッ牛遺跡・持井北遺跡・八ッ牛北遺跡・下風呂遺跡・米田遺跡・米田北遺跡』	高根町教育委員会
9	雨宮正樹	1987	『西原遺跡・当町遺跡』	高根町教育委員会
10	保坂康夫	1998	『東原遺跡』	山梨県教育委員会
11	櫛原功一	1985	『東姥神B遺跡』	大泉教育委員会
12	山梨県史	2001	『山梨県史資料編1　原始・古代1考古（遺跡）』	山梨県

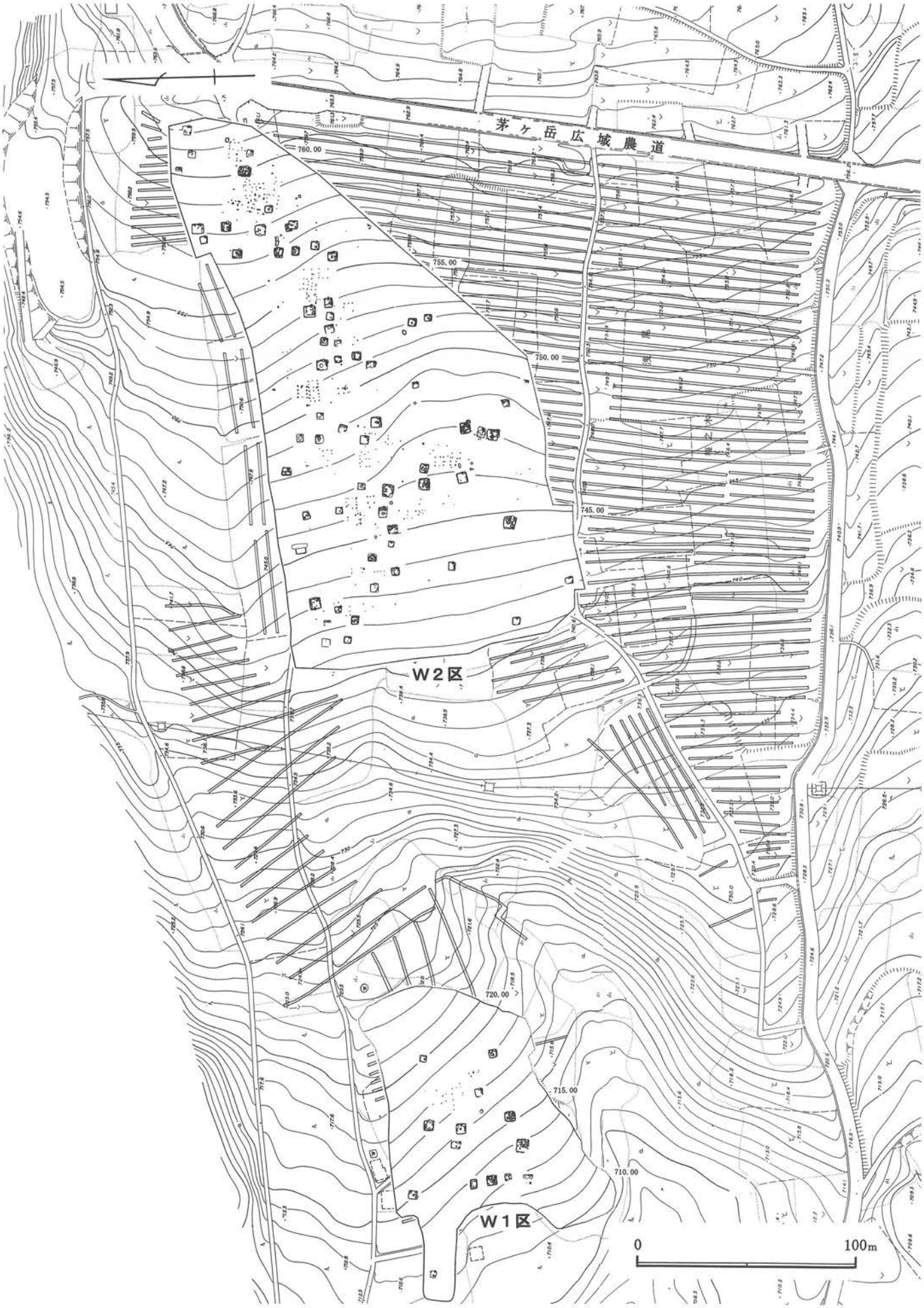
13	新津健ほか	1994	『天神遺跡』	山梨県教育委員会
14	新津健・八巻与志夫	1990	『城下・原田遺跡』	山梨県教育委員会
15	櫛原功一	1986	『豆生田第３遺跡』	大泉村教育委員会
16	八巻与志夫	1988	『金生遺跡Ⅰ（中世編）』	山梨県教育委員会
17	新津健・八巻与志夫	1987	『寺所遺跡』	山梨県教育委員会
18	伊藤公明・渡辺泰産	2000	『寺所遺跡』	大泉村教育委員会
19	佐藤勝広	1983	『木ノ下・大坪遺跡』	大泉村教育委員会
20	桜井真貴	1987	『深草遺跡・別当十三塚遺跡・別当遺跡糀屋遺跡』	長坂町教育委員会
21	桜井真貴	1989	『大八田・原田遺跡』	長坂町教育委員会
22	桜井真貴	1991	『南新居西遺跡』	長坂町教育委員会
23	岡本範之	1984	『小和田遺跡発掘調査概報』	長坂町教育委員会
24	鈴木治彦	1985	『小和田館跡発掘調査概報』	長坂町教育委員会
25	鈴木治彦	1986	『小和田館跡（小和田北遺跡）』	長坂町教育委員会
26	末木健ほか	1975	『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書―北巨摩郡長坂・明野・韮崎地内―』	山梨考古学研究会
27	米田明訓	1986	『柳坪遺跡』	山梨県教育委員会
28	平野修ほか	2001	『石原田北遺跡』	石原田北遺跡発掘調査団
29	佐藤勝広	1988	『小淵沢町竹原遺跡』	小淵沢町教育委員会
30	佐藤勝広	1983	『前田遺跡』	小淵沢町教育委員会
31	佐藤勝広	1985	『前田遺跡』	小淵沢町教育委員会
32	板倉敏之ほか	1994	『健康村遺跡』	新宿区区民健康村遺跡調査団
33	杉本充	1997	『雑木遺跡』	白州町教育委員会
34	折井敦	1989	『所帯Ⅰ遺跡・所帯Ⅱ遺跡』	白州町教育委員会
35	折井敦	1988	『坂下遺跡』	白州町教育委員会
36	杉本充	1997	『旧菅原小学校遺跡』	白州町教育委員会
37	折井敦	1991	『上北田３遺跡・新居道上遺跡』	白州町教育委員会
38	杉本充	1999	『古御所東遺跡』	白州町教育委員会
39	村松佳幸	2001	『紺屋遺跡第１次発掘調査報告書』	長坂町教育委員会
40	宮沢公雄	2000	『紺屋遺跡第２次発掘調査報告書』	紺屋遺跡発掘調査団
41	平野修	1986	『宮間田遺跡発掘調査概報』	武川村教育委員会
42	平野修	1988	『宮間田遺跡』	武川村教育委員会
43	村松佳幸	1999	『宮久保遺跡』	長坂町教育委員会
44	新津健・三田村美彦	1993	『川又坂上遺跡』	山梨県教育委員会
45	山路恭之助	1986	『川又南遺跡発掘調査概報』	須玉町教育委員会
46	八巻与志夫	1988	『西川遺跡』	山梨県教育委員会
47	山路恭之助	1988	『西川遺跡』	須玉町教育委員会
48	山路恭之助	1983	『大小久保遺跡』	須玉町教育委員会
49	山路恭之助	1984	『中尾城遺跡・塚田遺跡』	須玉町教育委員会
50	明野村埋蔵文化財センター	1999	『寺前遺跡調査概要』	明野村教育委員会
51	明野村埋蔵文化財センター	2000	『寺前遺跡見学会資料』	明野村教育委員会
52	大森隆志	1991	『宮後遺跡・浦田遺跡』	明野村教育委員会
53	平野修・櫛原功一	1999	『上ノ原遺跡』	上ノ原遺跡発掘調査団
54	高田賢治ほか	2001	『大日川原遺跡』	明野村教育委員会
55	末木健ほか	1976	『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵発掘調査報告書―北巨摩郡須玉町地内―』	山梨県教育委員会
56	山下孝司	1992	『上本田遺跡』	韮崎市教育委員会
57	佐野隆	1994	『神取』	明野村教育委員会
58	佐野隆	1995	『村之内Ⅱ・Ⅲ遺跡、高台・中谷井遺跡』	明野村教育委員会
59	佐野隆	1993	『屋敷添』	明野村教育委員会
60	佐野隆	1997	『下大内遺跡・屋敷添第２遺跡・中原遺跡』	明野村教育委員会
61	宮沢公雄	1987	『普門寺遺跡』	明野村教育委員会
62	佐野隆	2000	『深山田遺跡』	明野村教育委員会
63	山下孝司	1986	『金山遺跡・下木戸遺跡・中道遺跡』	韮崎市教育委員会
64	山下孝司	1996	『水無遺跡』	韮崎市教育委員会
65	山下孝司	1995	『半縄田遺跡』	韮崎市教育委員会
66	山下孝司	1985	『中田小学校遺跡』	韮崎市教育委員会
67	山下孝司	1988	『前田遺跡』	韮崎市教育委員会
68	山下孝司	1994	『立石遺跡』	韮崎市教育委員会
69	山下孝司	1991	『宮ノ前第２遺跡・北堂地遺跡』	韮崎市教育委員会
70	平野修・櫛原功一	1992	『宮ノ前遺跡』	韮崎市遺跡調査会
71	山下孝司	1997	『宮ノ前第５遺跡』	韮崎市教育委員会
72	保坂康夫	1986	『駒井遺跡発掘調査報告書』	山梨県教育委員会
73	山下孝司	1990	『北後田遺跡』	韮崎市教育委員会
74	山下孝司	1993	『宮ノ前第３遺跡』	韮崎市遺跡調査会
75	山下孝司	1989	『後田遺跡』	韮崎市教育委員会
76	山下孝司	1987	『中本田遺跡、堂の前遺跡』	韮崎市教育委員会
77	山下孝司	1984	『坂井南遺跡』	韮崎市教育委員会
78	閏間俊明ほか	1998	『三宮地遺跡』	韮崎市遺跡調査会
79	伊藤正彦	1997	『後田堂ノ前遺跡』	韮崎市遺跡調査会
80	山下孝司	1991	『下横屋遺跡』	韮崎市遺跡調査会
81	山下孝司	1991	『北下条遺跡』	韮崎市教育委員会
82	伊藤正彦	1996	『新田遺跡』	韮崎市遺跡調査会
83	韮崎市誌編纂専門委員会	1979	『韮崎市誌資料編』	韮崎市
84	高須秀樹	1997	「双葉町内遺跡詳細分布調査」『八ヶ岳考古平成８年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
85	大嶌正之	1999	『御岳田遺跡』	敷島町教育委員会
86	大嶌正之	1996	『松ノ尾遺跡』	敷島町教育委員会
87	大嶌正之	1997	『金の尾遺跡Ⅴ』	敷島町教育委員会
88	新津健ほか	1990	『大輪寺東遺跡』	山梨県教育委員会
89	新津健	1997	『大塚遺跡』	山梨県教育委員会
90	小林健二	2000	『石橋北屋敷遺跡』	山梨県教育委員会
91	米田明訓	2001	『立石下遺跡』	山梨県教育委員会
92	斎藤秀樹	2000	『野牛島・大塚遺跡』	八田村教育委員会
93	斎藤秀樹	2001	『榎原・天神遺跡』	八田村教育委員会
94	今福利恵	1999	「百々遺跡」『山梨考古74号』	山梨県考古学協会
95	小林公治	2000	「百々遺跡①」『年報16』	山梨県埋蔵文化財センター
96	保坂康夫	2000	「百々遺跡②」『年報16』	山梨県埋蔵文化財センター
97	依田幸浩	2000	「百々遺跡③」『年報16』	山梨県埋蔵文化財センター
98	今福利恵	2001	「百々遺跡」『山梨考古80号』	山梨県考古学協会
99	米田明訓ほか	1999	『十五所遺跡』	山梨県教育委員会
100	三田村美彦	1999	『村前東Ａ遺跡』	山梨県教育委員会
101	田中大輔	1998	『角力場第２遺跡』	若草町教育委員会
102	清水博	1998	『枇杷Ｂ遺跡』	櫛形町教育委員会
103	清水博ほか	1987	『メ木遺跡』	櫛形町教育委員会
104	清水博	1994	『鋳物師屋遺跡』	櫛形町教育委員会
105	雨宮正樹	1997	『妻の神遺跡・西原北遺跡・大明神遺跡・薬師堂遺跡・当り町遺跡・薬師堂東遺跡・高内遺跡・原家の前遺跡・一本松遺跡・前原遺跡』	高根町教育委員会
106	雨宮正樹	1998	『海道前遺跡・青木遺跡』	高根町教育委員会



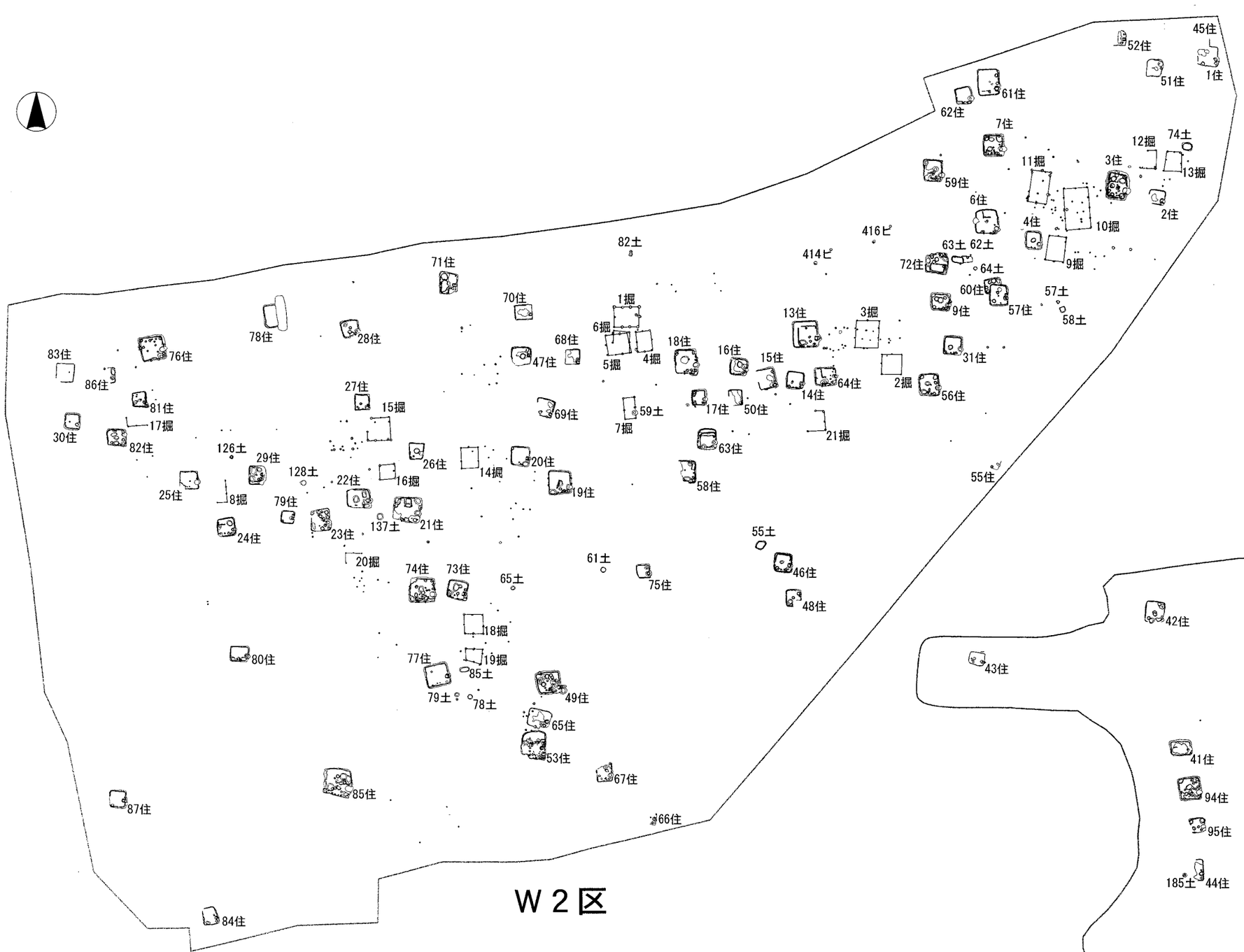
第4図　周辺の遺跡分布図1（1/150,000）



第５図　周辺の遺跡分布図２（1/50,000）


茅ヶ岳広域農道
760.00
755.00
750.00
745.00
720.00
715.00
710.00
W2区
W1区
0
100m

第6図　遺跡全体図



第８図　Ｗ２区遺構配置図

第７図　Ｗ１区遺構配置図

第３章　平安時代の遺構と遺物

竪穴住居82軒、掘立柱建物跡21棟、住居内の土坑202基、住居外の土坑17基、住居内外のピット843基（住居柱穴と掘立柱建物柱穴を含む）を検出した。茅ヶ岳西麓でこれまでに調査を実施した平安時代遺跡と比して、掘立柱建物、鍛冶遺構と思われる遺構、鉄製品の出土が多い点が注目される。

第１節　竪穴住居跡と出土遺物

平安時代の竪穴住居82軒について、以下に報告する。なお５号、10号～12号、32号～35号、38号、39号住居は欠番とする。住居床面積は住居実測図の壁下端あるいは周溝の内側でプラニメーターを用いて計測した。

１号住居（第９図、第10図、写真図版３）

位置　Ｗ２区東端に位置する。

規模・形態　東西4.1m、南北4.0m、床面積14.9㎡。竪穴は深さ５cm程度を残す。

カマド　東壁南寄りで礫11個と焼土、掘り込みが検出された。原形を留めていない。

施設　床面は断片的に残存するのみであった。周溝は検出されなかった。カマド北側と南壁沿いで浅い土坑が検出されたが、本住居に本来的に属する施設か、床面が検出されなかったため確認できなかった。

時期　出土遺物はいずれも小破片で、本遺構の経営時期を示すか不明であるが、45号住居跡に切られることから、宮ノ前Ⅷ期、９世紀末から10世紀初頭頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿80g、土師器坏皿146g、甲斐型甕140g、土師器甕60g、須恵器50g、金属製品11g。

調査所見　北西角は45号住居跡と重複し、失われている。45号住居跡が新しい遺構である。

２号住居（第10図～第12図、写真図版３）

位置　Ｗ２区東端に位置する。

規模・形態　東西3.4m、南北3.0m、床面積8.1㎡。竪穴は深さ５cmから10cm程度を残す。

カマド　東壁南寄りで礫16個と焼土、掘り込みが検出された。原形を留めず、礫がまとめられたように集積して検出された。

施設　床面は住居中央部で良好に検出された。周溝が削平箇所を除く壁沿いで検出された。

時期　出土遺物はいずれも小破片で、本遺構の経営時期を示すか不明であるが、宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿70g、土師器坏皿35g、甲斐型甕734g、須恵器731g、灰釉陶器44g。

調査所見　南西角は削平され失われている。

３号住居（第13図～第18図、写真図版４）

位置　Ｗ２区東端に位置する。10号掘立柱建物、12号掘立柱建物に隣接する。

規模・形態　東西4.2m、南北5.0m、床面積16.7㎡（建替前は推定14.2㎡）。竪穴は深さ80cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土粒子が混じり明らかに住居覆土とは異なる褐色土と礫９個が検出された。カマドは原形を留めていないが、支柱石が中央部で検出された。

施設　硬くしまった床面が、ほぼ全面に検出された。周溝が壁沿いに検出された。住居中央で焼土粒子が混じる覆土のピット（ＰＴ41）が検出された。深いピット６基が規則的に配置されている。床面からの深さは、38号

ピット30cm、40号ピット30cm、42号ピット30cm、43号ピットが25cm、50号ピット45cm、57号ピット30cmである。南壁沿いで検出された2基のピット（PT36、PT37）の床面からの深さは23cm、22cmである。カマド南側で44号ピットが検出された。床面からの深さは35cmである。西壁沿いで細い溝が検出された。床面下から、土坑、ピットが検出されている。

時期　新住居は宮ノ前Ⅸ期、10世紀第2四半期頃と思われる。旧住居は出土したわずかな破片資料から宮ノ前Ⅷ期、9世紀末から10世紀第1四半期頃と推測される。

出土遺物　甲斐型坏皿1,902g、土師器坏皿532g、甲斐型甕4,169g、土師器甕192g、須恵器498g、灰釉陶器257g、金属製品5g、鉄滓337g。「田」字の墨書土器10点、刻書土器1点、「吉」字の墨書土器1点が出土している。完形の土師器皿1点、坏1点がカマド手前の床面上で、坏1点がカマド南の床面上、「田」と墨書された坏1点がカマド内で、また「吉」と墨書された土師器皿1点が西壁沿の床面上でそれぞれ出土した。ほかに完形に復される土師器坏2点が覆土中から出土している。

調査所見　住居は1回の建替えを経ている。北壁に旧住居カマドが検出された。また、新住居周溝よりやや内側で断片的であるがもう一本の周溝が検出された。6基の深いピットは柱穴など、住居上屋構造に関連する施設と思われる。それらのいくつかは旧住居に属する可能性もあろう。南壁沿いの2基のピットは、出入口施設と思われる。新住居の北東角から馬歯骨が出土した。馬歯は腐朽してかなり脆弱であったが、出土時の配列から、馬頭もしくは上下顎を壁にもたせるように床に置いたと推測される。馬歯骨の理化学分析は第3章第5節に記す。馬歯骨と住居角との間の床面上から卵大の石英塊が出土した。馬頭とともに置かれたと思われる。これらの下に土坑などは検出されなかった。また周囲の覆土観察から、住居の埋没が進んだ時点で覆土を掘り込んで納めたのではなく、住居埋没開始以前に床面上に置かれたことを確認した。新住居床面上で人頭大の礫3点が検出された。いずれも使用痕は認められず、カマド構築材と思われる。

4号住居（第19図～第22図、写真図版4・5）

位置　W2区東端に位置する。9号掘立柱建物が隣接する。

規模・形態　東西3.2m、南北3.7m、床面積8.5㎡。竪穴は深さ55cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、焼礫と焼土、浅い掘込みが検出された。原形を留めておらず、住居床面および覆土にカマド材と思われる焼礫30点ほどが散在する。ただし、これら焼礫のすべてが本住居カマドを構成したか不明である。

施設　硬くしまった床面が、ほぼ全面で検出された。周溝が壁沿いで検出された。南壁沿いで小ピット2基（PT45，PT46）が検出された。床面下から浅い土坑（PT809）が検出された。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第2四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿1,132g、土師器坏皿443g、甲斐型甕2,075g、土師器甕302g、須恵器1,004g、灰釉陶器132g。「乙」と墨書された甲斐型坏と黒色処理された土師器坏が東壁沿い床面で、甲斐型坏3点、甲斐型皿1点がカマド南側床面でそれぞれ出土している。カマドで炭化したクルミ1点が出土した。

調査所見　住居床面上および覆土中からカマド材と思われる焼礫30点ほどが出土した。住居中央西寄りで焼礫11点がまとまって出土した。この焼礫のまとまりの下部で、関連する遺構は検出されなかった。これら焼礫は、本住居のカマドを構成するには多すぎるように思われる。まとまって出土した11点の焼礫か、あるいは覆土上層で検出された焼礫は、別の住居から廃棄された礫であると思われる。住居南西角の床面上で、扁平な花崗岩1点が検出された。安山岩質の焼礫とは異質であり、被熱痕は認められず、平坦面は平滑であった。表面に敲打痕などの使用痕は認められなかった。

6号住居（第23図～第25図、写真図版5・6）

位置　W2区東端に位置する。

規模・形態　東西4.5m、南北5.0m、床面積18.4㎡。竪穴は最大で深さ35cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼礫、焼土、浅い掘り込みが検出された。両袖部の石組みが原形を留めるが、他の石組み、粘土は破壊されている。内部から甲斐型甕破片7点が出土した。

施設　硬くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居中央と東壁沿いで、床面からの深さが40cm程度のピット2基（PT5，PT8）が検出された。南壁沿いに小ピット2基(PT3，PT4)が検出された。床面からの深さはそれぞれ37cmと40cmである。住居中央部床面が焼土化しており、隅丸方形の小ピットPT7が検出された。PT7から焼礫が出土した。PT7と北壁の間の空間で「L」字状に細い溝が検出された。南壁西寄り、PT4付近で浅い窪み状のPT6が検出された。床面からの深さは18cmで、中央部から土師器坏底部破片が出土した。PT6覆土上では硬くしまった床面が検出されなかった。PT137，PT138はいずれも浅く、床面下で検出された。

時期　宮ノ前X期、10世紀第3四半期から10世紀第4四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿178g、土師器坏皿177g、甲斐型甕2,914g、土師器甕247g、須恵器229g、灰釉陶器59g。フイゴ羽口破片が出土した。

調査所見　西壁の一部と床面は耕作の際の撹乱により失われている。南壁沿いの小ピット2基は出入口施設と思われる。PT5、PT8はその深さから柱など住居上屋構造に関連する施設と思われる。本住居ではフイゴ羽口が出土しており、住居内で検出された焼土、PT7、溝は、鍛冶に関連した施設である可能性があろう。

7号住居（第26図～第30図、写真図版6）

位置　W2区東端に位置する。

規模・形態　東西4.3m、南北4.5m、床面積13.0㎡。竪穴は深さ60cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、住居覆土とは異質な焼土粒子が混じる黄褐色土と焼土、浅い掘り込みが検出された。礫が数点出土したが、原形は一切留めていない。甲斐型甕破片が出土した。

施設　硬くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。床面で小ピット3基が明瞭に検出された。PT24、PT29、PT30は、床面からの深さがそれぞれ13cm、5cm、6cmである。南壁沿いで小ピット2基が検出された。PT12は床面からの深さが25cm、PT13は20cmである。カマド南側でPT11が検出された。床面からの深さは15cmである。同じ箇所で1号土坑が検出された。両者とも覆土上層に硬くしまった床面は検出されていない。床面下から小ピット、土坑が多数検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、9世紀第4四半期から10世紀第1四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿1,126g、土師器坏皿721g、甲斐型甕3,815g、土師器甕23g、須恵器382g、灰釉陶器26g。カマド南側、PT11上の床面と同じ高さで、完形の土師器坏1点と甲斐型坏破片が出土した。甲斐型坏破片が置かれ、その上に土師器坏が正位で置かれていた。両者の間には3cmの間層があり、PT11覆土と同じ土質であった。PT20で桃種子1点が出土した。

調査所見　3基の浅いピットPT24、PT29、PT30は、それぞれ非常に浅いが床面で明瞭に確認でき、その位置は住居角にあたることから、本住居の構造に関連する施設と思われる。南壁沿いの2基の小ピットは出入口施設と思われる。

9号住居（第31図～第34図、写真図版7）

位置　W2区東寄りに位置する。

規模・形態　東西4.1m、南北3.5m、床面積9.2m²。竪穴は深さ45cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土粒子が混じる黄褐色土、焼礫、焼土、浅い掘り込みが検出された。カマドは原形を留めていない。

施設　硬くしまった床面が全面で検出されている。壁沿いに周溝が検出された。南壁沿いで小ピット2基（PT48、PT49）が検出された。床面からの深さはPT48が20cm、PT49が14cmである。カマド南側で床面からの深さ10cmのピットが検出された。住居中央から北壁に向って浅い溝が検出された。床面下からピット、土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、9世紀第4四半期から10世紀第1四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿347g、土師器坏皿1,139g、甲斐型甕1,575g、土師器甕28g、灰釉陶器93g、金属製品6g。カマド周辺より完形坏4点、カマドより転用硯と思われる灰釉陶器破片1点が出土している。カマド南側で出土した甲斐型坏には「乙」と墨書される。PT48覆土と住居覆土より出土した甲斐型坏は、破片が接合して完形に復された。この坏のみ内面に暗文を施し、やや古相である。

調査所見　東壁のPT56は、本住居を切る後世の遺構である。土坑DK5、DK6は、覆土上面に硬くしまった床土が貼られておらず、床下土坑ではない。両者の覆土は、焼土、炭化材粒子からなる。焼土は、粘質土が焼固まった小粒の粒子が多く含まれている。同様の粒子はカマドで検出されている。

13号住居（第35図～第37図、写真図版7）

位置　W2区中央東寄りに位置する。3号掘立柱建物が隣接する。

規模・形態　東西4.7m、南北4.9m、床面積22.6m²（拡張前9.2m²）。竪穴は最大で深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、焼礫、焼土、浅い掘り込みが検出された。カマドは原形を留めず、カマド材と思われる被熱痕のある礫30点ほどが出土した。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。カマド南側で、床面からの深さ25cmの小ピット（PT71）が検出された。南壁沿いで小ピット2基（PT69、PT70）が検出された。床面からの深さは、それぞれ23cm、21cmである。住居中央北寄りで深さ4cmの浅いピット（PT68）が検出された。ピット内には25cm長の平石が置かれていた。床下より土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、9世紀第3四半期から9世紀第4四半期と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿343g、土師器坏皿50g、甲斐型甕2,641g、土師器甕11g、須恵器38g、金属製品3g。南壁沿いの床面より10cmほどの高さで完形の坏2点が出土した。ややずれているものの両者は口縁を合わせて出土している。

調査所見　1回の建替えが確認された。新しい住居の床面をはがし床下遺構を精査したところ、古い住居の周溝が検出された。新しい住居は古い住居の南壁の一部を利用しながら、北側と東側、西側の3方向に拡張している。カマド位置に変更はなかったようである。旧住居の周溝より石帯留め具と思われる銅製品が出土した。新しい住居の南壁沿いの小ピット2基は、出入口施設と思われる。PT68は礎石をともなった柱穴であろうか。

14号住居（第38図～第40図、写真図版8）

位置　W2区中央東寄りに位置する。15号住居と64号住居、21号掘立柱建物に隣接する。

規模・形態　東西3.6m、南北3.5m、床面積9.3m²。竪穴は深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、石組み、焼土、浅い掘り込みが検出された。カマド石組みは比較的原形を留めており、袖石、天井石が残る。ただし、カマド覆土の観察から天井石は一度外されたのち、置かれたと考えられる。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。カマド南側で床面からの深さ30cmの小ピット（PT10）が検出された。南壁沿いで小ピット３基（PT65、PT66、PT67）が検出された。床面からの深さは、それぞれ4.5cm、９cm、13cmである。床面下でピット２基が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿450g、土師器坏皿98g、甲斐型甕1,231g、須恵器26g、灰釉陶器26g。住居中央の覆土中より完形の甲斐型坏１点と皿１点が出土した。

調査所見　住居中央で検出されたPT９は覆土下層と床面を切って掘り込まれており、後世の遺構である。南壁沿いの３基の小ピットは出入口施設と思われる。

15号住居（第41図、第42図、写真図版８）

位置　W２区中央東寄りに位置する。

規模・形態　東西3.8m、南北4.1m、床面積12.6㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　南東角で焼礫、焼土、浅い掘り込みが検出された。袖石３点が原位置を留めるが原形は失われている。

施設　硬くしまった床面が住居中央北寄りで検出された。壁沿いで周溝が検出されたが、北西角は撹乱により検出できなかった。カマド北側で床面からの深さ６cmの小ピット（PT689）が検出された。床面下より土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ⅹ期以降、10世紀第４四半期以降と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿113g、土師器坏皿52g、甲斐型甕1,522g、土師器甕755g、灰釉陶器６g。カマドとPT689より甕破片と羽釜破片が出土している。カマドとPT689で出土した甕は同一個体である。

調査所見　住居北西角と西辺は、耕作による撹乱のため失われている。PT689には羽釜破片が納められていた。この羽釜破片は、カマドより出土した羽釜破片と同一個体である。

16号住居（第42図～第46図、写真図版９）

位置　W２区中央東寄りに位置する。

規模・形態　東西3.6m、南北3.5m、床面積8.9㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼礫、焼土、浅い掘り込みを検出した。袖石の一部と煙道天井石の一部が原位置を留めると思われるが、原形は失われている。

施設　硬くしまった床面が住居中央部で検出された。壁沿いで周溝が検出された。カマド南側に礫をともなうピット２基（PT119、PT120）が検出された。床面からの深さは、それぞれ５cm、13cmである。床下から土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿518g、土師器坏皿44g、甲斐型甕6,096g、土師器甕164g、須恵器256g、灰釉陶器1,510g、金属製品５g。「本」と墨書された完形の甲斐型皿が住居中央北東角寄りで出土している。カマド周辺で甕、灰釉陶器壺が出土している。

調査所見　カマドは天井石が手前に落ち、一見自然崩落しているようにもみえるが、カマド周囲に張られていたと思われる粘質土は検出されておらず、人為的な破壊を経ていると思われる。カマド北側で出土した甲斐型甕は、

完形に復元された。底部が最も上部で出土するなどの出土状況から、人為的に破壊されたと推測される。カマド南側のPT120上面にはカマド材と思われる焼礫５枚が敷かれ、さらに上部では灰釉陶器壺が横倒しで出土した。これらはカマド廃棄にともなう行為であろうか。住居北西角には礫４点と甲斐型皿１点が出土した。いずれも床面より５cm以上浮いているが、住居廃棄時の人為的行為ではないだろうか。礫４点に被熱痕はみられなかった。

17号住居（第47図～第49図、写真図版10）

位置　Ｗ２区中央東寄りに位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.2m、床面積6.4㎡。竪穴は深さ40cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、浅い掘り込みとわずかな焼土を検出した。

施設　硬くしまった床面が全面に検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居北西角床面で礫が出土したが、礫に使用痕はみられなかった。床面下から土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿552g、土師器坏皿196g、甲斐型甕1,723g、土師器甕150g、須恵器82g。PT127上面の礫とともに、墨書された完形の甲斐型皿が出土した。PT127はこのほか甲斐型坏、皿、甕の破片が出土した。カマド北側、住居東壁沿いの周溝上面で、「本」と墨書されたほぼ完形の甲斐型皿が出土した。北壁沿いの覆土下層でも甲斐型坏破片、土師器坏破片が出土した。PT63では土師器坏破片、甲斐型皿小破片が出土した。

調査所見　カマド南側にカマド材と思われる礫21点がまとまって出土した。その下部にはPT806、PT127が検出された。礫の集積中で墨書された完形の甲斐型皿１点が出土した。PT127覆土には甲斐型坏、皿、甕、羽釜の破片が含まれていた。これらは16号住居PT120と同様、カマド廃棄にともなう人為的な行為と思われる。住居南西角の床面下で検出されたPT63では、土師器坏と甲斐型皿の破片が出土した。

18号住居（第50図～第53図、写真図版10・11）

位置　Ｗ２区中央部に位置する。17号住居と４号掘立柱建物が隣接する。

規模・形態　東西4.2m、南北4.8m、床面積17.3㎡。竪穴は深さ55cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、焼礫、焼土、浅い掘り込みを検出した。カマド材と思われる大小の礫がカマド周辺から住居中央部にかけての床面上に散在していた。カマドの袖から煙道にかけて礫がきれいに並べられ、一見その構造が比較的良好に残存しているようである。しかし覆土の観察から、一度解体された後にこれらの礫があらためて並べられたと判断した。植物繊維を混入した粘質土が、一部の礫に焼けて付着していたが、カマド本来の構造を残すこのような粘質土層は覆土観察でみられなかった。カマド覆土断面図中で第１層、第２層と表記した暗褐色土層に含まれる、黄褐色土の焼き固まったブロックが、本来のカマド石組みに貼られた粘質土と思われる。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。壁沿いに周溝が検出された。カマド南側の住居南東角が、南側に大きく張り出し、覆土は住居のほかの部位と同質で、床面からカマド材と思われる礫や土師器坏なども出土している。そのためこの張り出しは、後世の撹乱ではなく、本住居に付随した施設と判断される。住居の構造に関連すると思われる小ピット４基（PT58、PT78、PT683、PT684）が検出された。床面からの深さはそれぞれ、60cm、53cm、56cm、40cmで、住居中央の北寄りを東西方向に結ぶように直線的に配置されている。西壁のみ２基のピットが並んで配される。南壁で小ピット３基（PT59、PT64、PT81）が検出された。床面からの深さはそれぞれ、82cm、19cm、48cmである。PT59、PT81は、先述の４基のピットとほぼ同じ深さであり、それらと同様住居の構造に関連した施設の可能性があろう。PT64のみが浅いため、別の機能を有する施設と考えられる。床

面下から土坑、ピットが検出された。住居南東角のDK12とDK14は、上面に硬くしまった床面が検出されず、床面下遺構ではないが、形状と深さから、住居使用時に機能した施設ではないと判断した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、9世紀第3四半期から第4四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿542g、土師器坏皿953g、甲斐型甕2,932g、土師器甕27g、須恵器78g、灰釉陶器59g。「人」と墨書された甲斐型土師器破片が多数出土している。カマド南側を中心に土師器坏、皿が出土した。

調査所見　住居南東角の張り出しは、カマドを含む作業空間に関連した施設と思われる。同様の張り出しが49号住居にも認められる。住居構造に関連した施設と思われる深さ40cmを超える小ピット6基は、細いながらも非常に深く掘り込まれることから、柱などを固定したピットの可能性があろう。間仕切りや壁を支える支柱の可能性もあるが、こうした内部施設のためにこれほど深いピットが必要とされるか検討を要する。

19号住居（第54図～第57図、写真図版11）

位置　W2区中央に位置する。

規模・形態　東西4.3m、南北4.5m、床面積17.4㎡。竪穴は深さ45cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、礫、焼土、浅い掘り込みが検出された。両袖石の礫3点が原位置を留めているようだが、カマドの原形は失われている。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。東壁と西壁に接してピット4基（PT132、PT133、PT134、PT135）が検出された。床面からの深さは、それぞれ53cm、67cm、88cm、77cmである。南壁沿いでPT121とPT124が検出された。床面からの深さは21cm、23cmである。カマド南側で床面からの深さ16.5cmのPT123が検出された。住居中央に幅広で浅い溝状遺構が検出された。溝中にピット状のやや深い落ち込みがみられたが、壁が斜めに立ち上がる浅い掘り込みである。

時期　宮ノ前Ⅶ期、9世紀第3四半期から第4四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿269g、土師器坏皿336g、甲斐型甕2,488g、須恵器118g、灰釉陶器5g、鉄滓43g。住居中央の床面から完形の土師器坏が伏せて割れた状態で出土した。カマド内で甲斐型甕1/2個体分破片が出土した。

調査所見　東西両側の壁に接して検出された4基のピットは、その深さや形状から、柱穴など住居の構造に関連する施設と考えられる。一方、南壁沿いで検出されたピット2基は、出入口施設と思われる。住居中央部の溝の機能は不明であるが、床面から掘り込まれ、溝上に硬くしまった床面は貼られていない。その覆土は、住居覆土よりもさらに黒色がかった黒褐色土である。溝中に遺物は出土していない。住居の北西角付近に集石が検出された。下部に遺構は検出されなかった。また、礫中から遺物は出土していない。集石は住居中央部側では床面に接するほどで、壁側では床面から20cm以上浮いている。このことから集石は住居が埋没する過程で置かれたことが分かる。したがって、本住居に直接関連する遺構ではない。おそらくは周辺の住居を廃棄するか、カマドを廃棄する際に、主にカマド材の礫を投棄したと考えられる。住居覆土の最上面で焼土を検出したが、覆土最上面、すなわち遺構検出面は、耕作によると思われる撹乱があり、この焼土もそうした後世の所産である可能性が高い。床面下から土坑とピットが検出された。

20号住居（第58図～第60図、写真図版12）

位置　W2区中央に位置する。

規模・形態　東西3.8m、南北3.9m、床面積11.6㎡。竪穴は深さ45cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土と焼土、浅い掘り込みが検出された。カマド材に用いられていたであろう礫はすっかり取り除かれている。

施設　住居中央から西壁寄りを除いて、硬くしまった床面が検出された。壁沿いで周溝が検出された。カマド南側、住居南東角で床面からの深さ20cmの土坑（DK11）が検出された。土坑上面に硬くしまった床面は検出されなかった。床面下から土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、9世紀第4四半期から10世紀第1四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿447g、土師器坏皿206g、甲斐型甕1,007g、須恵器228g。「真」と墨書されたほぼ完形の土師器坏がカマド中央で出土した。DK11覆土から甲斐型坏と皿、甕の破片が出土している。PT74から甲斐型坏破片が出土した。

調査所見　カマド南側で検出されたDK11は、その位置からカマド空間の機能に関連した施設と考えられる。坏、皿破片が出土しているが、いずれも覆土からの出土であり、土坑の機能を直接的に示唆しない。カマドは礫がすっかり抜かれ、焼土上面に「真」と墨書された土師器坏が置かれていた。カマドの廃棄にともなう行為と思われる。南壁沿いの床面下から小ピットが検出されたが、浅く出入口施設ではないと思われる。

21号住居（第61図～第67図、写真図版12・13）

位置　W2区中央西寄りに位置する。

規模・形態　東西5.1m、南北4.8m、床面積22.0m²。竪穴は深さ15cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼礫、焼土、浅い掘り込みを検出した。焼礫はカマド周辺に散らばり、一部の袖石を除いて原位置を留めていない。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。南壁を除く三方の壁沿いに周溝が検出された。東西両壁沿いと住居中央北寄りで、床面から掘り込んだ小ピット4基（PT488、PT354、PT353、PT487）が検出された。床面からの深さは、それぞれ67cm、26cm、50cm、24cmである。南壁沿いで小ピット2基（PT475、PT506）が検出された。床面からの深さは、それぞれ43cmと33cmである。カマド南側、住居南東角で楕円形の掘り込み（DK80）が検出された。床面からの深さは14cm程度で、覆土中から土師器破片が多数出土した。住居中央と北壁とのあいだで、土坑（DK71）と溝が検出された。DK71はPT353、PT354にはさまれ、PT354と重複する。覆土観察からDK71の中層覆土がPT354覆土を切ることを確認した。PT354柱痕との切り合いはなかった。DK71の底面は、PT354に接する程度で重複していない。DK71下層覆土は、漆黒の炭化物層に焼土ブロックが混じる。土坑底面は被熱して硬化し脆くなっているが、焼土化、変色していない。このDK71と北壁を結ぶように「コ」字状の溝が検出された。溝の覆土はDK71上層覆土と同様の暗褐色土である。南壁沿い、DK80西側の床面が被熱し焼土化していた。床面下から土坑、ピットが検出された。住居北東角のDK75では甲斐型坏と甕の破片が出土した。南壁沿いのDK77ではカマド材のような30cm長の亜角礫1点が出土した。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第2四半期から第3四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿2,832g、土師器坏皿308g、甲斐型甕3,685g、土師器甕22g、須恵器176g、灰釉陶器204g。遺物は主にカマド南東角の覆土下層とDK80、床面下の土坑から出土している。

調査所見　PT488、PT354、PT353、PT487は、その配置と深さから、住居構造に関連する施設と思われる。ただし、深さに25cm程度と50cm以上との二種があるが、配置との相関は認められない。したがって、その機能に若干の相違があったかを推定することは難しい。南壁沿いの2基のピット、PT475とPT506は出入口施設かと思われるが、ほかの住居の事例と較べ深く、かつ壁沿いに配置されることから、むしろ柱穴など住居構造を支持する施設の可能性もあろう。カマド南側のDK80は、カマド空間の機能に関連した施設と考えられるが、覆土質が住居覆土と異なること、DK80上方の住居覆土下層より出土している甲斐型坏などとDK80覆土の出土遺物との間に接合関係がなかったことなどから、あるいはほかの床面下の土坑と同様の施設である可能性も否定できない。

DK71と溝は、その機能が共通した目的に結びつくのか、全く別個の目的、機能を担ったのか、現地調査で確定することはできなかった。しかし、土坑と溝とに重複、切り合い関係がなく、溝が土坑に連結することから、同一目的に沿って設置された一体の施設と考えたい。土坑覆土に炭化物、焼土ブロックが含まれ、土坑底に被熱の痕跡が認められる点から、これらの施設の目的には火を用いた作業などが想定されるが、具体的な作業を想定する根拠は得られなかった。南壁沿いで確認された床面の被熱焼土化も、この作業に関連する可能性があろう。

22号住居（第68図～第71図、写真図版13・14）

位置　W２区中央西寄りに位置する。

規模・形態　東西4.8m、南北3.9m、床面積14.2㎡。竪穴は最大で深さ40㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土と焼礫数点、焼土、浅い掘り込みを検出した。向って左側の袖石の一部がかろうじて原位置に近く残るが、原形は全く留めていない。甲斐型皿と甕がカマド内と周辺から出土した。

施設　硬くしまった床面が住居中央で検出された。壁沿いに周溝が検出された。床面下で土坑とピットが検出された。カマド南側で検出されたDK103の覆土は、住居覆土と異質なややしまった黒褐色土で、土坑覆土から遺物は出土していない。しかし土坑上面に硬くしまった床面が貼られていたわけではなく、床面下土坑とするのは不正確である。北東角付近で検出されたDK116も同様で、硬くしまった床面は貼られていなかったが、その覆土は住居覆土と異なる。長方形の土坑の底面には炭化物層があり、底面は被熱し僅かに焼土化し脆くなっていた。21号住居DK71に似た土坑である。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿764g、土師器坏皿170g、甲斐型甕3,787g、土師器甕140g、須恵器９g、灰釉陶器５g、鉄滓310g。完形の甲斐型坏が住居北東角で出土した。カマド内と周辺から甲斐型皿、坏、甕が出土した。「梶」の墨書がみられ、21号住居と共通する。

調査所見　住居中央部を南北に後世の溝状遺構が切り、床面まで掘り込んでいる。DK103とDK116が、住居を営んでいた時期に、土坑として機能していたのか、明快に回答する根拠を見出すことはできなかった。この点は、21号住居のDK71、DK80も同様である。両者とも硬くしまった床面が上面に貼られていないことを重視すると、床面下土坑とすることはできず、住居とともに機能したと推測することができる。一方、住居覆土とは明らかに異なる覆土を有することからは、住居の埋没とは別の過程で埋没したと推測できる。そうすると、住居とともに機能した土坑を、わざわざ土坑のみ埋め戻して住居を廃棄するという煩雑な状況を想定せざるを得ない。

23号住居（第72図～第74図、写真図版14）

位置　W２区中央西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.7m、南北4.4m、床面積14.6㎡。竪穴は最大で深さ25㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土、礫数点、浅い掘り込みを検出した。全く原形を留めず、カマド材と思われる礫は、カマド周辺をのぞき、住居内から出土していない。

施設　硬くしまった床面が、住居中央部から東壁寄りで検出された。周溝は断片的に検出された。住居床面を切る小ピット（PT513）が検出された。住居南東角でDK94が検出された。床面からの深さは14㎝である。床面下から土坑とピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿753g、土師器坏皿109g、甲斐型甕3,087g、須恵器35g、灰釉陶器14g。「梶」墨書、「田」

刻書などが出土している。DK90より土師器破片、灰釉陶器破片が出土しているが、住居下層床面と同等の高さでの出土であり、住居床面出土遺物とみなしうる。

調査所見　住居を南北に試掘溝が貫いているため、一部の床が失われている。カマド北側の東壁は、後世の撹乱により失われている。東壁沿いの幅１m程度の範囲の住居床面から10cm高で、硬くしまった土層が検出された。断片的な硬くしまった黄褐色の粘質土と、やや表面が硬くしまった焼土粒子が混じる黒褐色土からなる土層である。明瞭な貼床と思われる黄褐色土は断片的であり、新たに貼り直された床面と断定するには躊躇したが、カマド覆土の観察で顕著な焼土層二面が認められ、その間に黒褐色土層が挟まること、焼土層がそれぞれの床面高に対応することを根拠に、貼り直された床面と判断した。この上層の床面は、住居のほかの箇所では軟弱であり、かつ住居覆土と同様の黒褐色土と同様の土質であったため、床面と認めて調査することができなかった。下層床面で検出された土坑とピットは、下層床面を切って掘り込まれることを根拠に、住居が営まれた期間に設置されていた施設と考えたが、上層床面から掘り込まれた遺構である可能性もある。DK94は、焼土粒子が混じる黒褐色土が堆積し、上面に硬くしまった床面は認められなかった。覆土上層、床面と同等の高さで土師器破片が出土している。床面下から検出された土坑とピットのうち、DK156、DK93、PT716、DK155西側ピットの覆土には焼土が多量に含まれていた。

24号住居（第75図～第77図、写真図版15）

位置　Ｗ２区西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.7m、南北3.8m、床面積10.6㎡。竪穴は深さ40cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。カマド材と思われる礫が南壁沿いと住居中央部、カマド南側の土坑から出土した。カマドは右側袖石１点がかろうじて原位置を留めるほかは、全く原形を失っている。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。東壁沿いで土坑とピット３基（PT530、DK100、PT529）が検出された。西壁から住居中央にかけて「L」字状の溝が検出された。床面下から土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿355g、土師器坏皿402g、甲斐型甕755g、土師器甕278g、須恵器274g。「真」、「慈」？の墨書土器が出土している。

調査所見　東壁沿いの３基の土坑とピットは、いずれも床面を切って掘り込まれている。PT530とDK100では、カマド材と思われる礫が底面と覆土中から出土しており、いずれも住居が営まれていた期間に機能していたと考えられる。南壁沿いで検出された５点の礫は、カマド材であった礫を集積したと思われる。

25号住居（第78図～第80図、写真図版15）

位置　Ｗ２区西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.7m、南北3.7m、床面積11.4㎡。竪穴は深さ40cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土粒子が混じる黒褐色土、焼土、掘り込みが検出された。両袖石と煙道天井石は原位置を比較的良好に留めていると認められたが、ほかの部位は原形を失っている。

施設　硬くしまった床が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。南壁沿いで小ピット３基（PT558、PT710、PT709）が検出された。床面からの深さは、それぞれ22cm、15cm、20cmである。住居中央部で小ピット１基（PT557）が検出された。床面からの深さは20cmである。これら４基のピットは、床面を切って掘り込まれている。床面下から土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿258g、土師器坏皿40g、甲斐型甕296g、土師器甕74g、須恵器31g、灰釉陶器34g。カマド、床下土坑から土師器破片が出土している。

調査所見　南壁沿いの小ピットは出入口施設と考えられる。住居中央部で検出されたPT557は、住居覆土の観察から、住居埋没以前に床面を切って掘り込まれていることが確認され、したがって本住居廃絶時までは機能していたと判断される。カマド周辺と南壁沿いの床面でカマド材と思われる礫が出土している。

26号住居（第81図～第83図、写真図版16）

位置　Ｗ２区中央西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.3m、床面積7.4㎡。竪穴は深さ最大で23cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、炭化材が検出された。両袖石の一部と支石が原位置を留める。支石には土師器坏が被せられ、土師器甕破片も出土した。

施設　硬くしまった床面が住居中央部で検出された。壁沿いで周溝が検出された。床を切って掘り込まれるピット（PT352）が検出された。床面下から土坑が検出された。

時期　カマドより出土した甲斐型甕で推定すると、宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から第４四半期頃と思われる。

出土遺物　土師器坏皿257g、甲斐型甕999g、灰釉陶器16g、金属製品17g。カマドから土師器甕、坏破片が出土した。カマド支石に被せた状態で土師器坏が出土した。

調査所見　カマド西側で炭化材が出土した。ほかの箇所からも僅かに炭化材が検出されたが、焼失住居と判断するほどの量は出土していない。

27号住居（第84図、第85図、写真図版16）

位置　Ｗ２区中央西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.1m、床面積7.3㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　住居南東角よりやや北寄りの東壁で、焼土と掘り込みを検出した。カマドは原形を全く留めず、礫も検出されなかった。

施設　硬くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居中央付近で床面を切って掘り込んだピット（PT486）が検出された。床面下からピット４基、不定形の大きな掘り込みが検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿156g、土師器坏皿81g、甲斐型甕236g、須恵器13g、灰釉陶器２g。南壁沿いで甲斐型坏１/４個体破片が出土した。

調査所見　PT486とPT495のあいだには、多量の焼土粒子が混じる、直径50cmほどの床面下土坑１基が検出されたが、不定形の掘り込みとともに掘りきってしまったため、図上に示すことができなかった。住居北東角の覆土中から礫２点が出土したほかは、カマド材と思われる礫が全く出土していない。

28号住居跡（第86図～第89図、写真図版16）

位置　Ｗ２区中央北西寄りに位置する。

規模・形態　東西3.6m、南北3.5m、床面積9.2㎡。竪穴は深さ40cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土が混じる黒褐色土、焼土、掘り込みを検出した。両袖石の一部は原位置を留めるが、天井石と思われる横長の礫はカマド西側床面で検出されるなど、原形は留めていない。

施設　硬くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。カマド南西側で床面を切って掘り込まれたピット（PT665）が検出された。床面からの深さは16cmである。床面下から土坑４基が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿339g、土師器坏皿661g、甲斐型甕971g、土師器甕73g。

調査所見　南壁から南東角にかけて埋め込まれたコンクリート製管により、住居の一部が失われている。西壁沿いの床面でカマド材と思われる礫４点が出土した。

29号住居（第90図～第93図、写真図版17）

位置　Ｗ２区西寄りに位置する。

調査所見　カマドが２箇所で検出され、床面も高さを違えて２枚が検出された。住居の平面形は、南東角で不定形になっており、単なる床面の貼替えのみでなく、壁面とカマド位置の変更をともなう建替えがあったと推測される。上方の床面を29a号住居、下方の床面を29b号住居として報告する。

出土遺物　甲斐型坏皿1,233g、土師器坏皿555g、甲斐型甕1,783g、須恵器324g。

29ａ号住居

規模・形態　東西3.0m、南北3.7m、床面積9.0㎡。竪穴は深さ43cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みが検出された。原形は留めていない。

施設　硬くしまった床面は住居中央から北壁にかけて検出され、南壁沿いでは検出されなかった。やや軟弱で黄褐色土と黒褐色土が斑に混じる床面であった。壁沿いに周溝が検出された。東壁沿いでは周溝を確認できなかった。カマド南側で床面を切って掘り込む小ピット（PT565）が検出された。住居中央部で床面を切って掘り込む小ピット（PT554）が検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　カマドから甲斐型坏１点、カマド南側で検出されたPT565から土師器坏破片が出土した。

調査所見　29a号住居は、29b号住居の南壁を40cm拡張し、東壁を50cm縮小し、さらにカマドを南へ１m移動させ、床面を５cm高くして貼り替えている。床面は黄褐色土の地山に貼った場合と較べて軟弱で、29b号住居プラン内では数cm程度沈下していた。そのため29b号住居カマド焼土面も同時に検出され、当初は２基のカマドを有する住居かとも思ったが、調査終了後に床面をはいだところ下層の床面が検出されたため、建替えを確認することができた。両住居が、住人の連続性をともなう建替えによるのか、全く同一地点での偶発的重複なのか、判定することはできない。しかし、新旧の住居の出土遺物に大きな時期差は認められないように思われ、また本遺跡で、住居の重複例が限定されることなどから、連続性を帯びた建替えと考えたい。住居覆土中から大小の礫十数点が出土したが、いずれも床面から30cm程度浮いており、29a号住居カマドから排出された礫ではない。床面下から土坑、ピットが検出された。29a号住居と29b号住居の床面範囲の相違から、DK117と中央から北西寄りの不整形の掘り込みは、29a号住居にともなうと考えられる。

29ｂ号住居

規模・形態　東西3.5m、南北3.3m、床面積8.7㎡。竪穴は深さ48cmを残す。

カマド　東壁中央よりやや南寄りで焼土と掘り込みが検出された。

施設　硬くしまった床面が住居中央部で検出された。周溝は断片的に検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　カマドより土師器坏、皿破片が多数出土している。

調査所見　29b号住居の東壁は、カマド位置と住居南東角のプランのずれから、29a号住居の東壁のさらに外側に想定せざるを得ない。29a号住居は、29b号住居が完全に埋没した後に、新たに掘り込まれたのか、それとも29b号住居の東壁を人為的に埋め戻して内側に新たに壁を設けたのかが、問題となろう。住居覆土の観察では、両住居の東壁の位置の相違、人為的な埋立てが明瞭に認められない。一方、第９層、第10層に薄い褐色土層が認められる。ほかの住居の覆土では観察されなかった特異な土層堆積であり、これらの土層が地山に起源することが、その土質から推測される。29a号住居を新築する際、29b号住居南壁をさらに外側に拡張し、その排土で東壁を埋立て内側に新たに壁面を設けたとするならば、第９層、第10層の生成を説明できるようにも思われるが、どうだろうか。ただし、人為的に埋め立てた壁面は軟弱であったため、29b号住居廃絶後、あまり時を経ずに崩れ、そのために29a号住居と29b号住居の東壁の相違が、住居覆土堆積状況に明瞭に反映されなかったのではないだろうか。

30号住居（第94図、第95図、写真図版18）

位置　Ｗ２区北西端に位置する。

規模・形態　東西3.1m、南北3.4m、床面積6.7㎡。竪穴は深さ47cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。両袖石がかろうじて原位置を保つものの、カマドは原形をほぼ失っている。カマド手前で甲斐型甕胴部破片が出土している。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居中央に床面を切って掘り込むピット（PT567）が検出された。床面からの深さは、16cmである。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿108g、土師器坏皿14g、甲斐型甕1,235g。線状の墨書を施した土師器坏破片が出土した。

調査所見　PT567は住居覆土上面で確認されず、覆土断面の観察からも住居埋没以前の遺構であることが確認された。床面を切って掘り込まれ、本住居機能時に存在した施設と思われる。カマドの北西側、カマドから１mほどの床面で、カマド支石と思われる被熱した柱状礫が検出された。カマド手前で出土した甲斐型甕破片とあわせて、カマドが人為的に破壊されたことを示すと思われる。

31号住居（第96図～第98図、写真図版18・19）

位置　Ｗ２区東寄りに位置する。９号住居、56号住居と近接する。

規模・形態　東西3.9m、南北3.9m、床面積9.8㎡。竪穴は深さ52cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、焼土、掘り込みを検出した。小礫４点が出土した。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いに周溝が検出された。南壁沿いで小ピット２基（PT26、PT27）を検出した。床面からの深さはそれぞれ30cmである。床面下より土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿71g、土師器坏皿264g、甲斐型甕894g、土師器甕24g、灰釉陶器28g、金属製品40g。鉄製紡錘具、鉄製鏃が出土した。

調査所見　カマドは完全に破壊され、大型の礫はすべて失われているが、袖石を設置したと思われる小ピットが検出されていることから、本来は礫をもって骨材としていたと推測される。南壁沿いのPT26、PT27は、大きさと深さがほぼ同等で、出入口施設と思われる。鉄製紡錘具は西壁沿いの周溝上、床面高で出土した。鉄製鏃は北壁から40cmほど中央に寄った床面で、先端を北壁に向けて出土した。

36号住居（第99図～第102図、写真図版19・20）

位置　W１区中央に位置する。

規模・形態　東西4.7m、南北4.5m、床面積14.9㎡。竪穴は深さ52cmを残す。

カマド　北壁東寄りで、焼土粒子が混じる黄褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。袖石の一部が原位置を留めるものの原形は失われている。本遺跡中で４例が検出された北壁カマドのひとつである。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。南壁沿いで小ピット３基（PT752、PT753、PT754）が検出された。床面からの深さはそれぞれ18cm、16cm、14cmである。PT752底には扁平な礫が礎石のように敷かれていた。カマドの東側、住居北東角で小ピット２基が連結したようなDK176を検出した。床面を切って掘り込まれ、床面からの深さは21cmである。ひょうたん型に連結した小穴のくびれた連結部には扁平な礫が立てて埋められ、この礫を境に北側の小穴と南側の小穴とでは、覆土質にわずかな違いが認められた。すなわち北側の小穴覆土に焼土粒子と炭化物粒子がほとんど認められないのに対し、南側の小穴覆土では焼土粒子と炭化物粒子が多く混じっていた。床面高で確認した際、南側小穴が北側小穴を切って円形に掘り込まれている様子が確認された。しかし扁平な礫が両者の間に介在するため、覆土断面で切り合いを確認することはできなかった。遺構確認面での所見から、扁平の礫は北側小穴にともなうと考えられる。北側小穴から内面を黒色処理した土師器坏と甲斐型皿が出土した。床面下から土坑とピットが検出された。カマド西側、北壁沿いのPT818とDK189は、覆土に焼土粒子が多量に混じる。両者の上面には固くしまった床面が明瞭に検出されず、かならずしも床面下の遺構と断定しきれない。住居南東角付近の床面下で検出されたPT828では、煤が付着した小礫が出土している。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿651g、土師器坏皿453g、甲斐型甕585g、灰釉陶器11g。

調査所見　カマド東側のDK176は、南北両側の小穴ともに上面に床面が検出されておらず、したがって住居機能時には開口し機能していたと推測される。ただし、覆土観察から両者に先後関係が想定され、出土遺物の有無の違いもあることから、両者の機能が同一であるとは限らない。ことに北側の小穴で出土した黒い坏と赤い皿の色調の対照は偶然の結果ではないと思われ、北側小穴の機能を示唆する。本住居の北に隣接する92号住居ではカマドの手前で同様の黒色と赤色の土師器の組合せがみられる。南壁沿いのPT753とPT754は、出入口施設と思われる。床面下から両者を連結する小溝が検出されている。PT752は、礎石をともなう柱穴であろうか。床面下で検出されたPT829は、PT752と対称の位置にあり、床面からの深さも13cmと近似する。両者は同様の機能を担っていたと考えたいが、床面の有無、礎石の有無などの違いは説明できない。仮に両者が柱穴であるとすると、北壁沿いでPT752と対称の位置にあるPT818、あるいはDK189も柱穴であるかもしれない。ただし、いずれの土坑、ピットも柱痕などを検出することはなかった。

37号住居（第103図、第104図、写真図版20）

位置　W１区中央、36号住居西隣に位置する。

規模・形態　東西3.1m、南北4.5m、床面積11.5㎡。竪穴は最大で深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土粒子が混じる黄褐色土、焼土、礫、掘り込みを検出した。支石を含む礫９点が残るが、原形を留めていない。カマド南側で縄文時代の多孔石が出土した。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。床面下で土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿206g、土師器坏皿152g、甲斐型甕1,253g、土師器甕90g、灰釉陶器５g、鉄滓７g。

調査所見　遺構確認面で撹乱がひどく、また住居北西角は耕作によると思われる撹乱で壁が失われている。西壁中央の周溝も撹乱のため失われている。覆土断面の作図は、撹乱が著しいため省略した。住居内の土坑、ピットはいずれも堅くしまった黄褐色土の床面が上面に貼られていたり、床面が貼られていなくても覆土最上層が床面同様に堅くしまっていたため、床面下の遺構と判断した。

40号住居（第105図～第107図、写真図版21）

位置　Ｗ１区中央南寄りに位置する。

規模・形態　東西5.6m、南北5.2m、床面積28.0㎡。竪穴は深さ45cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土、掘り込み、小礫４点を検出した。主たる骨材礫は全く出土していない。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居の支持施設等と思われる、床面を切って掘りこむピット11基が検出された。東壁沿いのPT746は床面からの深さが30cm、住居中央部のPT729は54cm、西壁沿いのPT743、PT744はそれぞれ48cm、66cm、南壁沿いのPT820は60cmである。いずれも整った円筒形のピットで30cm以上の深さを有するため、柱穴などとして機能したと思われる。南壁沿いで検出されたPT742とPT819は、床面からの深さが32cmと31cmである。これらは出入口施設と思われる。住居中央より西寄りで検出されたDK201とPT839は床面からの深さがそれぞれ24cmと34cmである。直径25cmほどの柱痕が床面で確認され、直径60cmほどの掘り方覆土の上面に黄褐色の床面が貼られていた。床面下で土坑、ピット多数が検出された。住居中央付近の４箇所で、床面が被熱し焼土化していた。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿344g、土師器坏皿359g、甲斐型甕1,954g、須恵器154g、灰釉陶器４g。

調査所見　床面を切って掘り込まれたピット11基のうち、DK201とPT839は、直径25cmほどの柱痕が確認されたことから、住居構造の主たる支持柱と考えられる。出入口施設の２基のピットを除くほかのピットも、その配置や深さから住居構造の支持に関連した施設と思われるが、DK201、PT839に比して直径が小さく、しかし深い。両者の機能の差を示す手がかりを、調査で得ることができなかった。南壁沿いのPT819とPT820も、支持施設と出入口施設とが隣接し、構造上、支障がなかったのかと思わせる。残念ながら、両者が位置する箇所は撹乱があり、遺構確認面で両者の切り合い関係を確認することができなかった。

41号住居（第108図～第110図、写真図版21）

位置　Ｗ１区西端に位置する。

規模・形態　東西4.3m、南北3.1m、床面積9.2㎡。竪穴は深さ70cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫３点、焼土、掘り込みを検出した。カマドは原形を全く留めていない。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。カマド南側で、床面を切って掘り込まれた小ピット１基（PT736）が検出された。床面からの深さは６cmである。西壁寄りで小溝を検出した。住居南西角の床面下で不整形の掘り込みが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿130g、土師器坏皿40g、甲斐型甕330g、土師器甕７g、須恵器18g、金属製品16g、鉄滓138g。

調査所見　本住居は、37号住居とともに平面形がほかの住居と異なり、長方形である。カマドは礫が全く失われ

ているが、袖石を設置したと思われる小ピットが検出され、本来は礫を骨材にしていたと思われる。カマド南側のPT736は作業用施設と思われるが、遺物は出土しなかった。

42号住居（第110図、111図、写真図版22）

位置　W１区北端に位置する。

規模・形態　東西4.0m、南北4.3m、床面積14.2㎡。竪穴は最大で深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土を検出した。

施設　北壁と西壁沿いで周溝を検出した。住居北側１/３で堅くしまった床面が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿62g、土師器坏皿221g、甲斐型甕1,377g、土師器甕47g、須恵器133g。

調査所見　遺構確認面から床面下まで撹乱により破壊され、かろうじて北側１/３程度が残存した。南側２/３は床面下まで撹乱が及び、カマドは焼土のみがかろうじて検出された。床面下遺構と思われる土坑とピットが検出された。覆土断面の作図は、撹乱により図化の意義が認められなかったので省略した。

43号住居（第112図、写真図版22）

位置　W１区西端に位置する。

規模・形態　東西3.2m、南北2.6m、床面積7.2㎡。竪穴は深さ５cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫４点、焼土、掘り込みを検出した。原形は失われている。

施設　堅くしまった床面が、住居南西角付近で断片的に検出された。周溝は検出されなかった。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿112g、土師器坏皿５g、甲斐型甕672g。

調査所見　耕作のため削平され、撹乱が床面にまで及ぶ。カマド礫も原位置を留めていないと思われる。

44号住居（第113図、写真図版22）

位置　W１区南西端に位置する。

規模・形態　東西推定4.4m、南北4.4m、床面積17.0㎡。竪穴は深さ５cmを残す。

カマド　東壁南寄りで小礫数点、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が東壁沿いから住居中央にかけて検出された。壁沿いで周溝が検出された。住居南西角付近で土坑（DK185）が検出された。検出面からの深さは50cmである。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿57g、土師器坏皿43g、甲斐型甕1,292g、土師器甕２g、須恵器538g、灰釉陶器89g。

調査所見　住居の東１/３のみが残存し、西側２/３は耕作によると思われる撹乱で床面下まで失われている。DK185は、床面が削平されているため、住居とともに機能した遺構か床面下遺構か判断できない。

45号住居（第９図、第10図、写真図版３）

位置　W２区東端に位置し、１号住居と重複する。

規模・形態　不明

カマド　東壁南寄りで小礫３点と焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面がカマド西側で検出された。周溝は確認できなかった。

時期　出土遺物が限られるが、宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿２ｇ、土師器坏皿９ｇ、甲斐型甕294g、須恵器261g。

調査所見　１号住居を切って構築される。両者の新旧関係は、45号住居カマドの焼土と礫が、断片的ながら残存することから、45号住居が新しいと判断した。

46号住居（第114図、第115図、写真図版23）

位置　Ｗ２区中央南端に位置する。

規模・形態　東西3.7m、南北4.0m、床面積11.0㎡（拡張前7.3㎡）。竪穴は深さ30cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土粒子が混じる黄褐色土、小礫１点、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が、南壁沿いを除くほぼ全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。北壁から西壁にかけては二重に周溝が検出された。住居中央で床面を切って掘り込む土坑（PT34）が検出された。床面からの深さは40cm、覆土に焼土粒子と炭化物粒子が含まれる。カマド南側で小ピット（PT77）が検出された。床面からの深さは21cmである。

時期　拡張後住居の時期は、宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。拡張前住居は、限定的な遺物から宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿129g、甲斐型甕1,135g。

調査所見　周溝が二重に検出されたことから、拡張１回を経た住居である。南半分の周溝は不明瞭であるが、おそらく四方に拡張したと思われる。床面は１枚のみ検出された。カマド位置に変更はなかったようである。住居中央の土坑は、床面を切って掘り込まれ、住居覆土断面の観察により、覆土上面から掘り込んでいないことを確認したため、住居とともに機能した施設と考えられる。ただし、その機能を示唆する遺物等は確認できなかった。カマド南側のPT77は、その位置から作業用施設と思われる。

47号住居（第116図、第119図、写真図版23）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西4.1m、南北3.6m、床面積11.6㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁中央で礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が住居中央で検出された。壁沿いで周溝を検出した。床面下で土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿122g、土師器坏皿191g、甲斐型甕496g。

調査所見　住居南半分は耕作によると思われる撹乱で床面と壁が失われている。

48号住居（第117図～第120図、写真図版24）

位置　Ｗ２区中央南端に位置する。北に46号住居が隣接する。

規模・形態　東西3.1m、南北3.5m、床面積8.1㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。左右の袖石は原位置を留め、焼土化した粘質土が付着し、原形をよく留める。周辺でカマド骨材と思われる礫10点ほどが出土した。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。南壁沿いで床面を切って掘り込んだ小ピット２基（PT99、PT100）が検出された。床面からの深さはそれぞれ９cm、12cmで、両者は小溝で連結される。住居南西角で床面を切って掘り込んだ土坑（DK15）が検出された。床面からの深さは47cmである。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿327g、甲斐型甕3,230g、須恵器208g、灰釉陶器100g。

調査所見　住居覆土中から焼土、炭化材が検出された。特に住居北東角と北西角でまとまった炭化材と焼土が検出された。北壁沿いでは焼土化した床面が確認された。住居覆土にも大型の炭化材が含まれていたが、焼失住居と断定するほどの量は検出されていない。南壁沿いのPT99とPT100は、出入口施設と思われる。住居南西角のDK15は、他住居の例では、床面下土坑が位置するところだが、DK15は床面が貼られず、床面高で黒褐色の土坑が容易に確認された。

49号住居（第121図～第129図、写真図版25）

位置　Ｗ２区中央南寄りに位置する。南に53号住居、65号住居が隣接する。

規模・形態　東西4.6m、南北4.3m、床面積16.4㎡。竪穴は深さ65cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫多数、焼土、掘り込みを検出した。カマド焚口から煙道端まで左袖石６枚と右袖石11枚が立て並べられ、焼土化した粘質土が付着する。ドーム状に天井を設けたと思われるカマドの煙道部は、粘質土のみで構成される。天井石と思われる長細い礫がカマド北側で出土している。支石は失われている。カマド覆土の観察と天井石の出土位置、支石が失われている点から、カマドは人為的に破壊されたと考えられる。しかし本来のカマド形状をよく残している。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いに周溝を検出した。南壁沿いで床面を切って掘り込む小ピット２基（PT692、PT693）を検出した。床面からの深さは64cm、60cmである。住居中央部で床面を切って掘り込むピット（PT51）を検出した。床面からの深さは47cmである。住居南東角が、まるで土坑が重複しているかのように大きく張り出している。土坑等の重複かと思われたが、覆土に全く差異が認められないこと、底面が住居床面と数cmの差があるもののほぼ同じであることから、住居に付随する施設と判断した。カマド北側で床面を切って掘り込むPT109を検出した。床面からの深さは25cmである。床面下から多数の土坑、ピットを検出した。DK４とPT52では、甲斐型甕破片が出土している。PT612には礫４点が敷かれていた。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿2,387g、土師器坏皿457g、甲斐型甕11,741g、土師器甕583g、須恵器952g、灰釉陶器53g。「国」、「真」、「田」などの墨書、刻書土器が出土している。DK139では、武蔵型甕の影響を受けた北信、東信地方のロクロ甕破片が出土している。

調査所見　遺構確認面の耕作による撹乱で非常に検出に手間どった。住居確認のため試掘溝１本を設定したため、東壁と南壁の一部を破壊してしまった。住居床面にはまとまった焼土が３ヶ所で検出された。住居覆土にも炭化物粒子が混じるが、焼失住居を思わせる大型の炭化材はみられなかった。床面を切って掘りこむ３基のピット、PT51、PT692、PT693は、その配置と深さから、住居構造を支持する施設と考えられる。南東角の張り出しは、カマド周辺における作業用施設と思われる。張り出し部底面は、住居床面より３cm程度高くなっている。他住居では、このカマド右側に棚状施設を設ける例がみられるが、本例もそれらと同様の施設と思われる。カマド北側のPT109は作業用施設と考えられる。カマド周辺で作業用ピットを検出する例があるが、通常はカマドに向って右側に設置される例が多い。本住居では、この方向に張り出し部を有するため、あえて向って左側に設けたのであろうか。壁沿いでは、遺物の特徴的な出土状況が認められた。北東角では床面から10cm高で重ねられた坏２個体と礫２点、坏２点が出土している。東壁沿いでは完形の坏１点と皿破片１点が出土している。西壁沿いの床面から15cm高では皿１点が、南壁沿いでは床面から５cm高で坏１点が出土している。北東角でまとまって出土した坏４点には墨書、刻書が認められず、東壁、西壁、南壁沿いで１点ずつ出土した坏、皿には「真」、「国」、「万」

の墨書がみられる。

50号住居（第129図、写真図版26）

位置　W２区中央東寄りに位置する。15号、16号、17号住居と隣接する。

規模・形態　東西2.8m、南北3.2m、床面積6.8㎡。竪穴は深さ15㎝を残す。

カマド　住居南東角で焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面がカマド付近から住居北西角にかけて検出された。壁沿いで周溝が検出された。

時期　遺物が僅かで不明であるが、カマド位置から宮ノ前Ｘ期、10世紀第３四半期から10世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿37g、土師器坏皿９g、甲斐型甕80g。

調査所見　耕作による削平で住居南西の床面と壁が失われている。カマドには袖石を設置したピットが検出されたことから、本来は礫をもってカマドを構築していたと思われる。

51号住居（第130図、写真図版26）

位置　W２区東端に位置する。

規模・形態　東西3.3m、南北3.4m、床面積9.5㎡。竪穴は最大で深さ30㎝を残す。

カマド　東壁北寄りで礫５点、焼土、掘り込みを検出した。カマド東端に耕作による撹乱があり、そのためもあってカマドの原形は全く失われている。

施設　堅くしまった床面が住居中央でわずかに検出された。北壁の一部で周溝らしい溝が検出された。床面下で土坑、ピットが検出された。住居南西角の土坑覆土には焼土粒子が多量に含まれていた。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿293g、土師器坏皿84g、甲斐型甕533g、土師器甕４g、灰釉陶器43g。

調査所見　カマド位置が特徴的である。東壁北寄りにカマドが位置する住居は、ほかに82号住居がある。

52号住居（第131図、写真図版26）

位置　W２区東端に位置する。51号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.0m、床面積8.0㎡。竪穴は最大で深さ15㎝を残す。

カマド　東壁中央で、小礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が住居中央で検出された。カマド南側でピット２基（PT87、PT88）、住居北東角付近でピット１基（PT89）を検出した。いずれも床面の残りが悪かったため、床面下遺構か判断できない。PT87、PT89の覆土には焼土粒子が多量に含まれていた。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿299g、土師器坏皿２g、甲斐型甕970g、須恵器198g。

調査所見　住居の西側１/２は、耕作による削平で失われている。耕作による撹乱が床面にまでおよぶ。

53号住居（第132図～第136図、写真図版27）

２軒の住居が重複する。調査開始後に重複が判明したため、それぞれ53a号住居、53b号住居とする。

位置　W２区中央南端に位置する。65号住居と隣接する。

出土遺物　甲斐型坏皿559g、土師器坏皿323g、甲斐型甕7,009g、土師器甕134g、須恵器523g。

53a号住居

規模・形態　東西5.0m、南北4.6m、床面積18.8㎡。竪穴は深さ10cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　ややしまった床面が住居中央と南側で検出された。壁沿いに周溝が検出された。住居構造を支持する施設と思われるピットが、東壁沿いで２基（PT86a、PT704）、住居中央西寄りで１基（PT84）検出された。床面からの深さはそれぞれ41cm、47cm、42cmである。南壁沿いで出入口施設と思われる小ピット２基（PT95、PT98）を検出した。床面からの深さは25cm、27cmである。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期と思われる。

出土遺物　住居北東角で墨書皿、東壁沿いで「七」墨書坏が出土している。

調査所見　遺構を確認して調査を始めたところ、２軒の住居が重複していることに気づいた。53a号住居が新しい。53a号住居南側の床面は、53b号住居覆土上面に貼られ、しまりなく黒褐色で明瞭に検出することができなかった。そのため、住居カマド以南で壁と床を掘りすぎてしまった。掘りすぎた範囲で周溝が存在したか不明である。53b号住居とは東壁の一部を共有するだけで、53b号住居を拡張して53a号住居を構築したのではない。PT95とPT98は53b号住居床面で確認したピットだが、深さや位置から53a号住居の出入口施設と判断した。

53b号住居

規模・形態　東西3.5m、南北3.4m、床面積10.0㎡（建替前推定10.0㎡）。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。支石が残されているが、カマドの原形は全く失われている。さらに北壁中央付近で焼土と掘り込みを検出した。これは旧カマドと思われる。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。53a号住居床面より10cmほど低い。壁沿いで周溝を検出した。床面と床面下とで土坑、ピットを検出したが、住居の角で検出されたPT452、PT86b、PT148、PT149、PT96、PT126は、浅いもののその配置から柱穴の可能性があろう。カマド南側で検出されたPT152、PT451は、上面に床が貼られておらず、カマド周辺の作業施設の可能性がある。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　「仁」刻書土器が出土している。

調査所見　カマド２基が検出されたが、拡張、床の貼り替えはともなわない。

55号住居（第137図、写真図版28）

位置　Ｗ２区東寄り南端に位置する。

規模・形態　竪穴はほとんど残らず、不明

カマド　東壁南寄りで焼土と掘り込みを検出した。焼土上面で鉄鏃１点が出土した。

施設　堅くしまった床面がカマド周辺でのみ検出された。南壁沿いでPT103を検出した。床面からの深さは46cmで、覆土上層から土師器坏破片、中層部から小型の鉄製刀子１点が出土した。

時期　宮ノ前Ｘ期、10世紀第３四半期から10世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿236g、土師器坏皿57g、甲斐型甕788g、土師器甕338g、金属製品19g。カマドで鉄鏃１点、PT103で鉄製刀子１点が出土した。

調査所見　耕作によると思われる削平で住居の大半が失われ、かろうじて南東角部を検出した。床面は部分的に検出されたのみで、PT103が床面を切って掘り込まれた遺構かどうか確認できなかった。

56号住居（第138図～第141図、写真図版28）

位置　W２区中央東寄りに位置する。31号住居と２号掘立柱建物に隣接する。

規模・形態　東西4.3m、南北4.5m、床面積14.1㎡。竪穴は深さ70㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫７点、焼土、掘り込みを検出した。大半の礫が失われ、カマドは原形を失っている。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。南壁沿いで床面を切って掘り込む小ピット２基（PT247、PT250）を検出した。床面からの深さはそれぞれ15㎝、19㎝である。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　遺物が少なく確定的ではないが、宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿86g、土師器坏皿428g、甲斐型甕2,168g、土師器甕409g、須恵器83g。

調査所見　南壁沿いの小ピット２基は、出入口施設と思われる。

57号住居（第142図～第144図、写真図版29）

位置　W２区東寄りに位置する。60号住居と重複する。

規模・形態　東西3.8m、南北4.2m、床面積12.1㎡。竪穴は深さ45㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫７点、焼土、掘り込みを検出した。礫の大半が失われ、原形を留めていない。カマド北側、PT606上面で砥石が出土した。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。床面下で土坑、ピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿270g、土師器坏皿199g、甲斐型甕2,118g、土師器甕333g、須恵器５g。

調査所見　60号住居と重複する。57号住居が旧、60号住居が新しい。重複により、北西側の壁が失われているが、両住居の床面高がほぼ同等のため、周溝は全周にわたり検出された。

58号住居（第145図、第146図、写真図版30）

位置　W２区中央東寄りに位置する。63号住居に隣接する。

規模・形態　南北4.6m。西側半分が削平により失われており、東西長は不明。床面積推定17.7㎡。竪穴は最大で深さ20㎝を残す。

カマド　北壁東寄りで、焼土、礫、掘り込みを検出した。本遺跡中では数少ない北カマドのひとつである。礫は少なく、カマドの原形は留めていない。

施設　削平を免れた東側半分で堅くしまった床面が検出された。壁沿いで周溝が検出された。床面を切って掘り込まれた小ピット（PT114、PT115、PT117）を検出した。床面下から土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿299g、土師器坏皿15g、甲斐型甕641g、灰釉陶器３g。東壁沿いのDK28で土師器破片が出土した。

調査所見　床面を切って掘り込まれた小ピット３基は、その配置から住居とは別遺構と思われるが、住居検出面で重複関係を確認することはできなかった。

59号住居（第147図～第149図、写真図版30）

位置　W２区東寄りに位置する。

規模・形態　東西3.8m、南北4.5m、床面積12.8㎡。竪穴は深さ35cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。袖石の一部が原位置を保っていると思われるほか、カマドの原形は失われている。

施設　西壁沿いから中央を除く東側で堅くしまった床面が検出された。周溝が検出された。住居中央部で床面を切って掘り込んだ土坑（DK33）とピット２基（PT142、PT144）を検出した。床面からの深さはDK33が20cm、PT142が13cm、PT144が８cmである。これらのピットから西壁沿いにかけて小溝が検出された。南壁沿いで床面を切って掘り込むピット（PT141）を検出した。床面からの深さは22cmである。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿52g、土師器坏皿12g、甲斐型甕715g、須恵器110g、灰釉陶器67g、鉄滓128g。

調査所見　DK33覆土下層部には焼土が10cmの厚さで堆積し、土坑底面は被熱硬化していた。PT142、PT144の覆土上面には焼土が堆積していた。

60号住居（第150図～第153図、写真図版29）

位置　Ｗ２区東寄りに位置する。57号住居と重複する。

規模・形態　東西3.6m、南北3.0m、床面積7.8㎡。竪穴は深さ45cmを残す。

カマド　住居の南東角で礫多数、焼土、掘り込みを検出した。カマド内から甲斐型甕、羽釜破片多数が出土した。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。57号住居との重複範囲を除く全周で周溝を検出した。東壁北寄りに、床面と同質の堅くしまった黄褐色土の盛土施設を検出した。この遺構の断面観察によると黒褐色土の上方に黄褐色土が堆積する。この断面の状況からカマド周辺に設けられた棚状施設か出入口施設のいずれかと判断した。床面下から土坑が検出された。

時期　宮ノ前Ｘ期、10世紀第３四半期から10世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿246g、土師器坏皿67g、甲斐型甕1,808g、土師器甕2,385g、須恵器86g、灰釉陶器200g、金属製品５g。カマド北側で土師器耳皿が出土した。

調査所見　57号住居と重複し、本住居が新しい。カマドでは骨材と思われる焼礫が多数出土した。しかし、直立し原位置を留める袖石などは一切確認されなかった。カマド覆土観察からも、カマドが徹底的に破壊されていることがうかがえる。しかし、左右の袖石や天井石などの出土状況は、いったん破壊したカマドをあたかも元通りの形に礫を置き直しているかのようにみえる。

61号住居（第154図～第156図、写真図版31）

位置　Ｗ２区東端北寄りに位置する。62号住居と隣接する。

規模・形態　東西4.5m、南北5.3m、床面積19.7㎡。竪穴は深さ20cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、焼礫多数、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が検出された。東壁沿いで床面を切って掘り込む土坑（DK31）を検出した。床面からの深さはそれぞれ22cmである。土坑覆土上層部で土師器破片、鉄滓、礫が出土した。南壁沿いで小溝を検出した。住居中央の２箇所で床面が、被熱焼土化していた。床面下で土坑（DK86）、ピット（PT510）を検出した。

時期　宮ノ前Ｘ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿384g、土師器坏皿２g、甲斐型甕1,692g、土師器甕20g、須恵器190g、灰釉陶器53g、鉄滓34g。カマド西側床面に散らばった礫中から羽口破片が出土した。DK31で鉄滓１点が出土した。

調査所見　焼土化した床面、羽口破片、DK31で出土した鉄滓などから、本住居は鍛冶施設をともなう可能性があると考えられる。南壁沿いの小溝は、樹木根などの撹乱か施設か不明である。

62号住居（第157図、第158図、写真図版31）

位置　W２区東端北寄りに位置する。61号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.4m、南北3.5m、床面積8.2㎡。竪穴は深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。カマドから住居西壁にかけて床面にまで達する溝状の撹乱が入り、そのためカマド覆土などの情報は失われている。

施設　堅くしまった床面が、撹乱部を除く全面で検出された。周溝が検出された。南壁沿いで床面を切って掘り込まれた小ピット２基（PT166、PT232）を検出した。床面からの深さはそれぞれ10cm、20cmである。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿383g、土師器坏皿486g、甲斐型甕1,703g、土師器甕11g、須恵器50g、灰釉陶器２g、金属製品４g。東壁沿い床面で完形の土師器皿が出土した。

調査所見　カマドは撹乱により破壊されている。カマド南側、住居南東角にはカマド骨材と思われる焼礫３点が、また住居床面にも比較的大きな礫２点が出土しており、撹乱の以前に既にカマドは原形を留めていなかったと推測される。

63号住居（第159図～第165図、写真図版32・33）

位置　W２区中央東寄りに位置する。

規模・形態　本住居は、１回の拡張を経ている。拡張前の古い住居を63a号住居、拡張後の新しい住居を63b号住居とする。63a号住居は東西3.4m、南北3.5m、床面積10㎡。63b号住居は東西3.8m、南北4.3m、床面積12.6㎡（拡張前8.9㎡）。竪穴はともに深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで堅く焼きしまり焼土化した粘質土、礫、焼土、掘り込みを検出した。焼土化した粘質土は袖石に付着しており、天井部が全く失われているものの、カマドの原形を比較的よく留める。本住居は１回の拡張を経ているが、カマドと思われる施設はほかにみられなかった。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。拡張前後で床面の高さに変更はなかったようで、床面は１面のみが検出された。周溝が検出された。住居の北側１/３は、高さ15cmの差で一段高くなっている。このベッド状施設の床面は、一段低い住居床面と同様、堅くしまった黄褐色土が貼られおり、北壁に沿った周溝もベッド状施設床面高で検出されている。ベッド状施設の断面観察によると63a号住居を北側と西側へ拡張する際、地山を一段高く掘り残している。さらに南側80cmを黄褐色土をもって埋め立てたようである。おそらく拡張した際の廃土を利用して埋め立てたと思われ、土質は地山と全く変わりがないが、しまり具合が地山とは明らかに異なりやわらかかった。南壁沿いで床面を切って掘り込まれた土坑（DK56）とピット２基（PT284、PT285）を検出した。DK56は床面からの深さが20cm、覆土は焼土粒子が多く混じる。覆土上面には扁平な礫が置かれ、覆土中からは土師器、甕破片が多数出土した。カマド南側のPT285は床面からの深さが57cm、覆土中層で礫１点、ピット底面で鉄滓１点が出土した。PT284は床面からの深さが21cmである。床面下からピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿1,499g、土師器坏皿470g、甲斐型甕3,697g、須恵器379g、灰釉陶器979g、金属製品31g、鉄滓108g。「源」、「福」、「仁」の墨書、刻書土器が出土した。甲斐型皿の出土量が多い。

調査所見　覆土中、床面上より焼土、大型の炭化材が出土した。焼土、炭化材は住居の床面が一段低くなった南側で出土している。焼失住居と判断するほどの出土量はない。DK56は、床面を切って掘り込まれていることから、住居にともなう施設か、住居廃絶直後の遺構と思われる。出土遺物は多いものの、その機能を推測する状況は確認できなかった。住居全体で遺物の出土量が多いが、カマド内と住居北壁沿いで出土した土師器鉢（第165図２）破片が接合すること、カマド支石が失われていることなどから、少なくとも不慮の火災により、やむなく遺棄された遺物ではないと判断される。

64号住居（第166図～第170図、写真図版33）

位置　Ｗ２区中央東寄りに位置する。13号、14号住居と隣接する。

規模・形態　東西4.4m、南北3.8m、床面積11.9㎡。床面は２面検出された。竪穴は、上方床面までで深さ40㎝、下方床面までで深さ45㎝を残す。

カマド　東壁中央で焼土粒子が多量に混じる暗褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。カマド周辺で縦に半截された甲斐型甕、甲斐型皿、縄文時代の石器と思われる磨石が出土している。カマドの原形は失われていると思われるものの、両袖石と天井石、支石が検出された。

施設　床面は上下２面が検出された。上床面は、住居北東１/４をのぞく全面で検出された。下床面はほぼ全面で検出された。北壁と西壁沿いで周溝が検出されたが、東壁では確認されなかった。南壁で床面を切って掘り込む小ピット２基（PT161、PT162）と両ピットを連結する小溝を検出した。小ピットの深さはそれぞれ床面から22㎝、21㎝である。住居南東角で床面を切って掘り込まれた土坑（DK118）を検出した。床面からの深さは17㎝、上面で縦に半截された甲斐型甕が出土した。下床面で北壁から住居中央にかけて延びる「L」字型の小溝を検出した。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿388g、土師器坏皿317g、甲斐型甕3,359g、土師器甕８g、須恵器120g。

調査所見　住居南壁と重複するPT481は、別の遺構である。新旧関係は確認できなかった。カマド西側で甲斐型皿と並んで縄文時代の磨石が出土している。同じくカマドの南側では、縦に半截された甲斐型甕とともに縄文時代の磨石が出土している。本遺跡東には縄文時代中期の集落遺跡があることから、平安時代の人々が採集して住居内に持ち込んだと考えられる。

65号住居（第171図、第172図、写真図版34）

位置　Ｗ２区中央南寄りに位置する。49号、53号住居に隣接する。

規模・形態　東西4.6m、南北3.7m、床面積14.6㎡。竪穴は深さ15㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで、小礫３点、焼土、掘り込みを検出した。カマドは原形を全く失っているが、支石が残されていた。

施設　堅くしまった床面が住居中央部で検出された。周溝は確認されなかった。カマド南側、住居南東角が床面よりも８㎝程度高く掘り残されていて、堅くしまった床面が検出されなかった。棚状施設の可能性があろう。
カマド南側で床面を切って掘り込んだ土坑（DK60）を検出した。床面からの深さは22㎝である。床面下で土坑を検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿465g、土師器坏皿169g、甲斐型甕2,621g、土師器甕71g、灰釉陶器31g、金属製品12g。

調査所見　住居北西角のPT538は住居を切る別遺構である。南壁と重複するPT413も別遺構である。

66号住居（第173図、写真図版34）

位置　Ｗ２区中央南端に位置する。

規模・形態　住居南東角のみがかろうじて検出され、大半は削平されているため不明。

カマド　東壁南寄りで小礫５点、焼土、掘り込みを検出した。

施設　削平され一切不明。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿110g、甲斐型甕770g。

67号住居（第174図～第176図、写真図版34）

位置　Ｗ２区中央南端に位置する。

規模・形態　東西3.2m、南北3.8m、床面積9.0㎡。竪穴は最大で深さ20cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。支石が残る。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が一部で確認された。住居南東角で床面を切って掘り込まれたピット（PT273）を検出した。床面からの深さは７cmで、甲斐型甕底部が出土した。住居南壁沿いで床面を切る小ピット３基（PT269、PT271、PT272）を検出した。床面からの深さは40cm、30cm、20cmである。北壁沿いで床面を切って掘り込まれた土坑（DK53）を検出した。土坑内から土師器破片が出土した。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿215g、土師器坏皿45g、甲斐型甕2,622g、土師器甕262g。カマドとその周辺で土師器が出土している。

調査所見　住居北西部は、耕作による撹乱で削平されている。南壁沿いの小ピット３基は、出入口施設と思われる。

68号住居（第177図、第178図、写真図版35）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.1m、床面積7.8㎡。竪穴は最大で深さ25cmを残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が検出された。住居西側は耕作による撹乱のため壁、周溝、床面が失われている。

時期　出土遺物が少なく、不明である。カマドが東壁沿いで、住居南東角に近いため、宮ノ前Ⅸ期頃と推測されるが、どうであろうか。

出土遺物　甲斐型坏皿12g、土師器坏皿38g、甲斐型甕37g、土師器甕６g。

調査所見　カマド南西側、南壁沿いで礫２点と縄文時代の打製石斧（第263図１）のような石器が出土した。しかし、耕作による撹乱があり、原位置を留めているか不明である。

69号住居（第179図、写真図版35）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西3.7m、南北3.6m、床面積10.6㎡。竪穴は最大で深さ10cmを残す。耕作により南西１/２が床面まで失われている。

カマド　東壁南寄りで、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が住居東側で検出された。北壁と東壁で周溝を検出した。南壁で周溝と思われる浅い溝を検出した。

時期　出土遺物が限られ、不明である。甲斐型坏底部破片（第179図１）の体部傾きをみる限り、宮ノ前Ⅷ期頃と推測されるが、どうであろうか。

出土遺物　甲斐型坏皿27g、土師器坏皿164g、甲斐型甕391g、須恵器10g。

調査所見　南壁と重複するPT341は、別遺構である。DK144は床面下で掘られた土坑と思われる。

70号住居（第180図、写真図版35）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西3.5m、南北3.0m、床面積8.7㎡。竪穴は深さ15㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。支石と思われる細長い焼礫が斜めの状態で検出された。

施設　住居中央部で堅くしまった床面が検出された。壁沿いで周溝が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿314g、甲斐型甕３g、灰釉陶器75g。北壁寄りで「奉」と墨書された完形の甲斐型坏１点が出土している。カマド南西側の礫下で甲斐型坏破片が出土している。ほかに覆土より出土した甲斐型坏破片に「奉」と墨書される。

調査所見　住居北東角の覆土下層で焼土が検出されたが、炭化材は出土していない。

71号住居（第181図、第182図、写真図版36）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西3.6m、南北4.3m、床面積10.8㎡。竪穴は深さ25㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで、焼土と掘り込みを検出した。礫は出土していない。甲斐型甕破片が出土した。

施設　堅くしまった床面が東側半分で検出された。周溝が検出された。住居南東角は地山が掘り残されている。周溝は掘り残されて棚状に突出した施設に沿って検出された。中央から西側半分は、堅くしまった床面が検出されず、大きく不定形な掘り込みが検出されている。これらは本来、床面下の遺構と思われる。床面下からピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿48g、土師器坏皿396g、甲斐型甕596g、土師器甕77g、灰釉陶器３g。

調査所見　住居南東角に掘り残された施設は、棚状施設か出入口施設と思われる。ただし、機能を推測する根拠を調査で見出すことはできなかった。住居の西側半分は、堅くしまった床面が全く検出されなかった。大きな掘り込みが本来床面下の遺構と推測すると、堅くしまった床面が検出されなかった理由が分からない。住居覆土の観察では、埋没後の撹乱は認められず、埋没直前まで大きな掘り込みは埋まっていなかったように思われる。あるいは埋まっていたとしても地山の黄褐色土は堆積せず、代わりに暗褐色土が堆積していた理由が説明されなければならない。

72号住居（第183図～第187図、写真図版36・37）

位置　Ｗ２区東寄りに位置する。９号住居に隣接する。本住居は床面２枚、カマド３基を検出した。以下72a号住居、72b号住居、72c号住居として報告する。

出土遺物　甲斐型坏皿538g、土師器坏皿404g、甲斐型甕1,254g、土師器甕165g、須恵器405g、灰釉陶器68g。

72a号住居

規模・形態　東西4.6m、南北3.4m、床面積13.4㎡。竪穴は深さ35cmを残す。最新の住居である。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土粒子が混じる黄褐色土、焼土、掘り込みを検出した。3基のカマドのうち最も良好に残っている。

施設　堅くしまった床面が北西角を除くほぼ全面で検出された。住居南1/3のDK111内では床面が数cmほど陥没していた。周溝が壁沿いで検出された。72a号住居の北東角は、不自然に段違いとなっている。このことから72a号住居北壁は、72b号、72c号住居北壁より南に70cmほどずれていると思われる。ただし、この内側に寄った位置に想定した北壁沿いで周溝を検出することはできなかった。床面下で検出された土坑はいずれも検出位置と覆土上面で72b号住居の床面が検出されなかったことから、72a号住居にともなう施設と思われる。ただし本住居床面下で検出されたDK111は、床面下土坑としては特異な形状であり、住居と直接に関連するか不明である。またDK119はDK111より古く、覆土上面に72b号住居もしくは72C号住居の床面が貼られていた。そのことと検出位置から72c号住居にともなう可能性が高い。PT484は、その位置から72b号住居にともなうと判断される。

時期　宮ノ前Ⅷ期、9世紀第4四半期から10世紀第1四半期頃と思われる。

調査所見　DK111は、住居東側で検出された2基の長方形の土坑（DK62、DK63）と形状が共通する。このことから本住居との重複は、偶然によるものと考えることもできる。一方で本住居の床面下で確認されたDK111は、72b号住居床面を切って掘り込まれている。72a号住居、72b号住居、72c号住居は、壁を共有しないながらも同一地点で重複しており、ある程度の連続性を感じさせる。そうした重複の過程で、DK111が本住居と全く関連せずに介在しえたのか。そうした推測に判断の根拠を提供する知見を調査で得ることができなかったが、後述するとおり72a号住居と72b号住居とのあいだには、9世紀第4四半期から10世紀第1四半期の範囲で、いくらかの時間差があったと推測される。

72b号住居

規模・形態　北壁の一部が残るのみで大きさは不明である。北壁の一部の乱れから推測すると2.4m四方程度の小型住居と思われる。床面積は推定5.1㎡。

カマド　北壁中央で焼土、掘り込みが検出された。

施設　北壁沿いで周溝が検出された。カマド東側でPT484が検出された。72a号住居の想定される北壁外に位置し、覆土上面に床面が貼られていなかったことから、72b号住居にともなう施設と考えられる。床面からの深さは12cmである。

時期　PT484で出土した甲斐型皿（第187図4）をみる限り、72a号住居と大きな時期差は感じられない。宮ノ前Ⅷ期の範疇に含まれると思われる。

出土遺物　本住居に確実にともなうと思われる遺物は、カマドとPT484で出土した甲斐型皿（第187図4）のみである。

調査所見　本住居と72a号住居は、壁面を共有していない。このことから両者のあいだには連続的な建替え、拡張を想定できないと思われ、いくらかの時間差が介在したと判断したい。しかし、ほぼ同一地点で重複することから一定の連続性を有していたと推測される。

72c号住居

規模・形態　北壁の一部を残すのみで大きさを推測する根拠を見出すことはできなかった。あえて推測するならば72b号住居と同様の小型住居であったと思われる。

カマド　北壁で焼土と掘り込みを検出した。位置は不明だが、北壁中央に該当すると思われる。

施設　北壁沿いで周溝が検出された。

時期　DK119で出土した甲斐型甕口縁部破片（第187図６）をみる限り、口縁部肥厚が進み、72b号住居と大きな時期差は感じられない。宮ノ前Ⅷ期の範疇に含まれると思われる。

出土遺物　本住居に属すると思われる遺物は、DK119で出土した甲斐型甕破片と灰釉陶器破片のみである。

調査所見　本住居は、72b号住居と壁を共有しておらず、両者のあいだには連続的な建替え、拡張を想定できない。やはり一定の時間差があったと考えられる。しかし同一地点で重複することから、一定の連続性を有していたと推測される。

73号住居（第188図～第190図、写真図版37・38）

位置　Ｗ２区中央南西寄りに位置する。74号住居と18号掘立柱建物に隣接する。

規模・形態　東西4.1m、南北3.8m、床面積11.5㎡。竪穴は深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。原位置を留めると思われる袖石が検出されたが、カマドの原形は失われている。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が壁沿いで検出された。カマド北側、東壁沿いでピット１基（PT531）を検出した。床面からの深さは16cmである。南壁沿いでピット２基（PT706、PT707）を検出した。床面からの深さは23cm、18cmである。以上は床面を切って掘りこまれるピットである。床面下から土坑、ピットを検出した。住居南東角で地山土に類似した土質の高まりを検出した。壁際からカマド裾に向って傾斜しており平坦面はなかった。断面を観察したところ、一度掘った地山土を直ちに埋め戻して形成された高まりであると推測された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿316g、土師器坏皿153g、甲斐型甕2,230g、土師器甕14g、須恵器19g、灰釉陶器９g、金属製品50g。カマド北側、カマドとPT531のあいだの床面で完形の鉄製紡錘具１点が出土した。住居北東角で甲斐型内黒坏の破片がまとまって出土した。これらは同一個体で接合する。

調査所見　PT531はカマドに関連した施設と思われる。紡錘具が付近で出土したことがピットの機能に関連するのかは不明である。南壁沿いのピット２基は、出入口施設と思われる。両者のあいだでは周溝が途切れて検出されていない。カマド南側、住居南東角で検出された地山土の盛土は、平坦面が検出されなかったものの棚状施設と考えられる。

74号住居（第191図～第196図、写真図版39）

位置　Ｗ２区中央南西寄りに位置する。73号住居に隣接する。

規模・形態　東西5.0m、南北4.7m、床面積19.8㎡（拡張前12.3㎡）。竪穴は深さ50cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる暗褐色土、焼土、礫、掘り込みを検出した。骨材の礫はほとんどが失われている。支石が原位置で検出された。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。床面を切って掘り込まれたピット７基（PT533、PT551、PT552、PT483、PT540、PT555、PT541）を検出した。床面からの深さはPT533が66cm、PT551が56cm、PT552が55cm、PT483が33cm、PT540が50cm、PT555が48cm、PT541が37cmである。DK151とDK154は上面に床面が貼られておらず、覆土に焼土粒子が多く含まれる。床面から赤い覆土の遺構形状が明瞭に確認された。床面下から多数の土坑とピットを検出した。床面下で、拡張前の住居の周溝と思われる溝が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿1,200g、土師器坏皿425g、甲斐型甕4,269g、須恵器265g、灰釉陶器23g、金属製品28g。住居南西角で完形の甲斐型坏１点、南壁沿いで「真」と墨書された甲斐型坏２点がそれぞれ出土している。カマドとPT551で出土した土師器皿が接合した。

調査所見　床面を切るピット７基は、柱穴などの施設と思われる。南壁沿いのピットは出入口施設の可能性もあるが、床面からの深さは37cmから50cmほどで住居東西壁と中央で検出された４基のピットと同等である。DK105はPT552の掘り方と思われる。床面下で周溝と思われる溝が検出され、本住居は１回の拡張を経たことが分かる。北と西へそれぞれ拡張し、カマド位置に変更はない。床面は１枚が検出されたのみで、拡張にともなう床面の貼り替えもなかったようである。

75号住居（第197図、写真図版40）

位置　Ｗ２区中央に位置する。

規模・形態　東西2.7m、南北2.8m、床面積5.5㎡。竪穴は深さ30cmを残す。東壁の一部とカマドは小型重機によると思われる撹乱で破壊されている。

カマド　東壁南寄りで焼土、掘り込みを検出した。耕作に用いた重機によると思われる撹乱で主要部は失われている。

施設　堅くしまった床面が住居中央部で検出された。周溝が検出された。床面下でDK88を検出した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿128g、土師器坏皿255g、甲斐型甕394g、土師器甕９g。北壁沿いの周溝上で土師器坏２点と甲斐型甕破片がまとまって出土した。意図的に土師器坏２点を逆さに伏せて並べたようである。坏１点には「山」、「八」？と墨書されている。

調査所見　本遺跡で検出された住居では、79号住居とともに最小規模である。最大級の住居と比べるとその床面積は４分の１にしかならない。それでもカマド、床面、周溝を備える。北壁に並べられた土師器坏は、なんらかの意図をもって配されたと考えられる。ほかの住居では、ピット内に坏などを納めたり、カマド周辺に置いた例がある。

76号住居（第198図～第202図、写真図版41）

位置　Ｗ２区北西端に位置する。

規模・形態　東西4.7m、南北4.5m、床面積12.8㎡。竪穴は深さ40cmを残す。

カマド　東壁中央やや南寄りに、焼土粒子が混じる褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。原位置を留める礫はないと思われる。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が検出された。住居南東角で２基のピット（PT599、PT600）を検出した。床面を切って掘り込まれたピット８基を検出した。床面からの深さは、PT526が22cm、PT521が36cm、PT519が40cm、PT562が32cm、PT520が28cm、PT561が23cm、PT626が42cm、PT563が46cmである。PT526は東壁をえぐるように掘り込まれ、PT519とPT562、PT626とPT563は、それぞれ西壁と南壁から外にはみ出すように掘り込まれている。床面下から土坑、ピットを検出した。南壁沿いの床面から10cmほどの高さでカマド骨材と思われる礫が集積されていた。

時期　宮ノ前Ⅶ期後半から宮ノ前Ⅷ期前半、９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿842g、土師器坏皿614g、甲斐型甕3,788g、土師器甕11g、須恵器41g、灰釉陶器52g、金

属製品１g。住居北東角の周溝内で「隆平永宝」破片１点が出土した。

調査所見　床面を切って掘り込まれた８基のピットは、柱穴などの施設と思われる。南壁沿いで検出した礫の集積は、出入口施設の一部かと思われたが、床面から浮いて床面とのあいだに暗褐色土の間層が介在すること、礫下に周溝が検出されたことなどから、出入口施設ではないと判断した。

77号住居（第203図～第206図、写真図版41・42）

位置　Ｗ２区中央南西寄りに位置する。19号掘立柱建物に隣接する。

規模・形態　東西4.8m、南北4.6m、床面積16.9㎡。竪穴は深さ55cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる褐色土、小礫７点、焼土、掘り込みを検出した。火床は固く焼けしまり、左袖の一部と思われる焼き固まった土が残る。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が検出された。南壁沿いで小ピット２基（PT516、PT517）を検出した。床面からの深さは７cmと９cmである。床面下で土坑とピットが検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　住居北東角の床面で完形の鉄製紡錘具１点が出土した。本住居の北10mにある73号住居でも鉄製紡錘具が出土している。甲斐型坏皿570g、土師器坏皿470g、甲斐型甕2,404g、灰釉陶器７g、金属製品73g。

調査所見　住居西側半分の覆土最下層で焼土と炭化材が検出された。西壁沿いの焼土量は特に多く、その厚さは４cmほどであった。焼失住居の可能性もあろうが、より上層の覆土中では焼土も炭化材もほとんど検出されていない。南壁沿いの２基のピットは、出入口施設と思われる。

78号住居（第207図、写真図版42）

位置　Ｗ２区北西寄りに位置する。28号住居に隣接する。

規模・形態　東西4.7m。竪穴は深さ35cmを残す。東半分が撹乱により失われている。

カマド　撹乱により失われている。

施設　堅くしまった床面が検出されたが、東半分は床面下まで撹乱が達している。西半分では周溝が検出された。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われるが、西側半分の覆土出土品による推測のため、信憑性は低い。

出土遺物　甲斐型坏皿116g、土師器坏皿52g、甲斐型甕141g、灰釉陶器30g。

79号住居（第208図、写真図版42）

位置　Ｗ２区西寄りに位置する。23号住居に隣接する。

規模・形態　東西2.8m、南北2.6m、床面積5.1㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁中央やや南寄りで焼土と掘り込みを検出した。礫は出土していない。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が検出された。床面でピット２基が確認された。ともに上面に床が貼られていなかった。床面を剥いだところ住居中央部に限り、２枚目の床が検出された。

時期　出土遺物が限られ信頼度が低いが、甲斐型甕口縁部の形状から、宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と推測される。

出土遺物　甲斐型坏皿13g、土師器坏皿51g、甲斐型甕576g。

調査所見　75号住居とならんで本遺跡最小の住居である。

80号住居（第209図～第212図、写真図版43）

位置　W２区西端に位置する。

規模　・形態　東西3.8m、南北3.1m、床面積8.6㎡。竪穴は深さ40㎝を残す。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。両袖石と天井石の一部が残り、比較的原形を留めるが、骨材の礫に貼られていたと思われる粘質土は検出されなかった。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。壁沿いで周溝を検出した。南壁中央で、人為的に盛土をして形成したスロープを検出した。住居南東角でDK127を検出した。床面は貼られていない。南壁沿いで小ピット２基（PT801、PT802）を検出した。ピットはスロープ裾に隠れていて、スロープ盛土を撤去したのちに確認された。黄褐色土の堅くしまった床面は貼られていなかった。住居北西角でDK181を検出した。やはり黄褐色土の床面は貼られていなかったが、覆土最上面は踏み固められたようにしまっていた。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　カマド、DK127、DK181で土器が多く出土している。甲斐型坏皿511g、土師器坏皿77g、甲斐型甕3,601g、土師器甕61g、金属製品29g。

調査所見　南壁中央で検出されたスロープは、上面に床面と同様の堅くしまった粘質の黄褐色土を貼っている。住居覆土中に同等の土の堆積は認められなかった。またスロープの断面観察から、スロープ下には周溝が掘り込まれ、周溝が埋没したかあるいは埋め立てたのちに盛土したことが分かる。スロープ下の床面下で検出されたPT801とPT802は、ほかの住居で見られる出入口施設に相当すると思われる。これらの点から、本住居の出入り口は、当初PT801とPT802を利用した施設を備えたが、なんらかの理由により周溝と２基のピットを埋め戻し、あらたに盛土してスロープを設けたと推測される。住居南東角で検出されたDK127は、カマドに関連した施設と考えられる。カマド出土土器とDK127出土土器が接合するため、住居廃棄時には開口していたと考えられる。北西角で検出されたDK181では、ほぼ完形の甲斐型皿１点が出土した。土坑の上面に堅くしまった床面が貼られておらず、かつ表面は堅くしまっているため、住居機能時に埋まっていたのか開口していたのか、決めがたい。しかし貯蔵穴などの施設とするには不整形な土坑であり、ほかの住居と同様、住居建築時に掘り込まれた土坑と考えておきたい。

81号住居（第213図、第214図、写真図版44）

位置　W２区北西端に位置する。76号住居、17号掘立柱建物に隣接する。

上下２面の床面とカマド２基が検出された。上面の新しい住居を81a号住居、下面の古い住居を81b号住居とし、以下に報告する。

出土遺物　甲斐型坏皿410g、土師器坏皿115g、甲斐型甕3,871g、土師器甕160g。

81ａ号住居

規模・形態　東西2.9m、南北3.1m、床面積7.1㎡。竪穴は深さ10㎝を残す。

カマド　住居南東角で礫12点、焼土、掘り込み、甲斐型甕破片の散乱が検出された。カマド煙道が住居壁から外に大きく突出する。支石が検出されたほか、原位置を留める礫は皆無である。

施設　堅くしまった黄褐色土の床面がほぼ全面で検出された。81a号住居床面で周溝を確認できなかった。カマド北側の甲斐型甕破片が散乱していた地点で、小型土器１点が甕破片下から出土し、ピット１基（DK102）を検出した。床面を切って掘り込むピット１基を北西角で検出した。

時期　遺物が限られるため、信憑性は低いが、坏は81b号住居出土品よりも口唇部が肥厚し、甕も同じく肥厚す

る口縁部を有するため、宮ノ前Ⅷ期後半、10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　カマドの周辺で土器が出土している。

81ｂ号住居

規模・形態　東西2.7m、南北3.0m、床面積6.0㎡。竪穴は深さ20cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土、掘り込みを検出した。礫は検出されなかった。

施設　81a号住居床面で検出されたDK102を調査したところ、底面が堅くしまっていることが分かった。そこで81a号住居の調査を終了したのち、さらに掘り下げて81b号住居床面を検出した。上下床面の比高差は10cmほどである。81b号住居床面はほぼ全面で検出された。周溝が壁沿いで検出された。床面下で土坑（DK136）、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期前半、９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　DK136で出土遺物が多い。

82号住居（第215図～第218図、写真図版44）

位置　Ｗ２区北西端に位置する。17号掘立柱建物、81号住居、25号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.9m、南北3.4m、床面積9.9㎡。竪穴は深さ25cmを残す。

カマド　東壁北寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。本遺跡ではほかに類例がない位置にカマドを設けている。両袖石の一部が原位置にあるとおもわれるが、カマドの原形は留めていない。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。北壁と西壁沿いで周溝が検出された。住居南東角で土坑２基（DK104、DK135）が検出された。上面に床面が貼られておらず、DK104からは礫と土器が出土した。南壁と北壁で住居を切るピット２基（PT559、PT560）を検出した。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　一部に口縁が肥厚した坏がみられることから、宮ノ前Ⅷ期後半、10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　DK104とカマド周辺で土器が出土した。甲斐型坏皿770g、土師器坏皿135g、甲斐型甕2,824g、土師器甕71g、須恵器75g、灰釉陶器44g。

調査所見　DK104で出土した礫は、人為的に割られた角礫で、おそらくカマド骨材と思われる。出土した坏も割られて置かれた状況で出土している。

83号住居（第219図、第220図、写真図版45）

位置　Ｗ２区西端に位置する。86号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.6m、南北3.8m、床面積12.3㎡。

時期　出土遺物が限られるが、宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と推測される。

出土遺物　甲斐型坏皿63g、土師器坏皿21g、甲斐型甕３g。

調査所見　方形の黒い落ち込みを検出したため掘り下げたところ、床面と思われる堅くしまった黄褐色土が断片的に検出され、一部で焼土を検出した。しかし、削平により詳細は不明である。おそらく、平安時代の竪穴住居掘り方がかろうじて残ったのであろう。甲斐型坏１点が出土している。

84号住居（第219図、第220、写真図版45）

位置　Ｗ２区南西端に位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.7m、床面積8.5㎡。竪穴は深さ最大で15cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土と掘り込みを検出した。小礫３点と甲斐型甕破片が周囲で出土した。

施設　堅くしまった床面が断片的に検出された。周溝が検出された。西壁は撹乱がひどく周溝、壁ともに確認できなかった。カマド南でDK120を検出した。PT566とDK121は床面下の遺構と考えられるが、床面が良好に検出されていないため、確認できなかった。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿221g、土師器坏皿138g、甲斐型甕638g、土師器甕170g。

85号住居（第221図～第226図、写真図版45・46）

位置　Ｗ２区南西端に位置する。

規模・形態　東西5.4m、南北5.5m、床面積26.9㎡。竪穴は最大で深さ30cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる黄褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。原位置を留める礫は検出されなかった。

施設　堅くしまった床面が中央付近で検出された。床面は、床面下遺構による陥没と撹乱により、良好に残っていない。北壁と東壁沿いで周溝が検出された。床面で明瞭に検出されたピット６基（PT697、PT698、PT699、PT700、PT702、PT1003）を検出した。これらは床面を切って掘り込まれたと考えられる。床面からの深さは、PT697が46cm、PT698が49cm、PT699が20cm、PT700が28cm、PT702が22cm、PT1003が30cmである。住居全面から多数の土坑とピットを検出した。床面の残りが悪いため、すべてが床面下遺構と確認することができなかった。PT813、PT814、PT815、PT1004は、覆土に焼土粒子が多量に含まれていた。

時期　宮ノ前Ⅷ期から宮ノ前Ⅸ期にかけて、10世紀第１四半期から10世紀第２四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿2,103g、土師器坏皿235g、甲斐型甕5,284g、土師器甕40g、須恵器390g、灰釉陶器173g、鉄滓183g。

調査所見　床面で検出された６基のピットは、柱穴などの施設と考えられる。南壁沿いのPT700とPT1003も同様であろう。両者にはさまれる小ピット２基が出入口施設かもしれない。

86号住居（第227図、写真図版46）

位置　Ｗ２区北西端に位置する。81号住居、83号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.1m。西３分の２が削平されているため、床面積は不明。

カマド　東壁南寄りで礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　カマド周辺で堅くしまった床面を断片的に検出した。南壁沿いで周溝を検出した。カマド北側でDK125を検出した。上面に硬くしまった床面は貼られていなかった。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿96g、土師器坏皿141g、甲斐型甕456g、灰釉陶器７g。

87号住居（第228図、写真図版46）

位置　Ｗ２区南西端に位置する。

規模・形態　東西3.5m、南北3.6m、床面積8.5㎡。竪穴は深さ35cmが残る。西壁の一部は撹乱により失われている。

カマド　東壁中央やや南寄りで、焼土と掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が断片的だが全面で検出された。壁沿いで周溝が検出された。ピット２基が検出された。

上面に床面は貼られていなかった。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿72g、甲斐型甕280g。

88号住居（第229図、第232図、写真図版47）

位置　Ｗ１区東端に位置する。

規模・形態　東西3.0m、南北3.1m、床面積6.0㎡。竪穴は深さ35cmを残す。

カマド　東壁中央南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。袖石、支石は原位置を留め、比較的原形をよく残している。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。周溝が検出された。カマド南側でPT726を検出した。床面が貼られず、床面からの深さは７cmである。住居中央のやや南寄りでDK167を検出した。床面からも容易に確認されたが、上面には断片的に黄褐色土の床が貼られていた

時期　遺物が少なく確定できない。宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と推測される。

出土遺物　甲斐型坏皿４g、土師器坏皿６g、甲斐型甕177g。

89号住居（第230図～第233図、写真図版47）

位置　Ｗ１区東端に位置する。

規模・形態　東西3.8m、南北3.9m、床面積10.8㎡。竪穴は深さ35cmを残す。住居南西角は、撹乱のため壁が失われている。

カマド　東壁南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。周溝が検出された。カマド南で床面を切って掘り込まれたDK166、DK196を検出した。床面からの深さはそれぞれ19cm、18cmである。両者は重複するが、覆土観察から先後関係はなく一体の遺構であると考えられる。土坑内からカマド骨材と思われる礫が出土した。カマド北側で床面を切って掘り込まれるPT745を検出した。床面からの深さは23cmである。南壁沿いで小ピット２基（PT785、PT786）を検出した。床面からの深さは25cm、16cmである。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期後半から宮ノ前Ⅸ期前半、10世紀第１四半期から10世紀第２四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿255g、土師器坏皿253g、甲斐型甕2,300g、灰釉陶器38g。

調査所見　カマド横で検出された土坑とピットは、カマド周辺の施設と考えられる。南壁沿いの小ピットは出入口施設であろう。

90号住居（第234図、第235図、写真図版48）

位置　Ｗ１区中央東寄りに位置する。91号住居に隣接する。

規模・形態　東西3.8m、南北3.5m、床面積11.0㎡。竪穴は深さ30cmを残すが、耕作による撹乱が床まで及び、覆土観察はできなかった。平面形は僅かに残された壁と周溝で確認できた。

カマド　東壁中央南寄りで、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。黄褐色土の地山が非常に堅くしまっているため、床は貼られていない。カマド南側でDK170とDK173を検出した。床面からの深さは35cmと13cmである。覆土はしまりのない暗褐色土で、カマドに付随した施設と考えられる。カマド骨材と思われる礫が出土した。そのほかピットが検出された。

時期　出土遺物が限られるが宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿155g、土師器坏皿36g、甲斐型甕1,087g、土師器甕187g。

91号住居（第235図、写真図版48）

位置　Ｗ１区中央に位置する。90号住居に隣接する。

規模・形態　撹乱がひどく平面形は一切確認できなかった。

カマド　焼土が僅かに検出されたが、カマドであるか確定できなかった。

施設　堅くしまった床面が焼土周辺で検出された。周溝、壁などは検出されなかった。

時期　出土遺物が限られ確定できない。甲斐型坏底部破片からあえて推測すると、宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿45g、土師器坏皿47g、甲斐型甕159g、須恵器７g。

92号住居（第236図～第241図、写真図版48・49）

位置　Ｗ１区中央北寄りに位置する。

規模・形態　東西4.2m、南北4.2m、床面積16.1㎡。竪穴は深さ50cmを残す。

カマド　東壁中央南寄りで黄褐色土粒子と焼土粒子が混じる黒褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。袖石、支石、天井石が原位置を留めて良好に残る。右袖には骨材の礫をくるんでいたと思われる粘質土が、焼き固まって残っていた。

施設　堅くしまった床面が全面で検出された。堅くしまった地山をそのまま床面としており、粘質土を貼った床面は備えていない。床面で明瞭に確認された小ピット７基を検出した。東壁をえぐるように掘り込まれたPT789は深さ89cm、PT837は73cm、西壁をえぐるように掘り込まれたPT787は深さ50cm、PT788は68cm、PT792は59cm、南壁に接して掘り込まれたPT800は深さ20cm、PT816は19cmである。住居南東角でDK182を検出した。礫、土器が出土した。そのほか住居内から土坑、ピットを検出した。これらは床面でおぼろげに確認できたのみで、ほかの住居の床面下遺構に相当すると思われる。PT799とPT838では土器破片が出土した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。内面に暗文を施した甲斐型坏は見られないが口縁の肥厚は弱い。また、甲斐型皿は内外面の屈曲が僅かに残る。これらの点から、宮ノ前Ⅷ期でも前半段階と推測される。

出土遺物　カマド北西で、内面を黒色処理した土師器坏と赤い色調の甲斐型皿が並んで出土した。カマド内と周辺で縄文時代のものと思われる打製石斧２点、石鏃１点が出土した。これらは出土状況から住居内に搬入されたと考えられる。甲斐型坏皿975g、土師器坏皿1,096g、甲斐型甕3,092g、土師器甕118g、須恵器309g、灰釉陶器303g、金属製品14g、鉄滓４g。

調査所見　東西両壁沿いで検出された５基のピットは、柱穴などの施設と思われる。南壁の２基のピットは、浅いため出入口施設であろうか。南東角で検出されたDK182は、住居埋没時には開口していたと思われ、カマドに付随した施設と考えられる。

93号住居（第242図～第245図、写真図版50）

位置　Ｗ１区中央南寄りに位置する。

規模・形態　東西4.2m、南北4.6m、床面積15.8㎡。竪穴は深さ60cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面がカマド付近から住居中央にかけて検出された。床面は粘性の強い黄褐色土を貼ってある。周溝が検出された。床面を切って掘り込まれたピット10基を検出した。PT751、PT778、PT779の３基は、東壁から西壁を結ぶ直線上に配置される。床面からの深さは18cm、21cm、35cmである。住居北東角と北西角で検出されたPT749、PT750、PT796の床面からの深さは、21cm、18cm、24cmである。住居南東角で検出されたPT738の床面からの深さは24cmである。カマド北側で検出されたDK196の床面からの深さは18cmである。南壁沿いで検出されたPT739とPT748の床面からの深さは、32cm、28cmである。この２基のピット付近で周溝が途切れる。床面下で土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期から宮ノ前Ⅸ期頃と思われる。甲斐型坏と皿は、口縁が玉縁状になりつつも明瞭ではないため、宮ノ前Ⅷ期後半からⅨ期前半、10世紀第１四半期から10世紀第２四半期頃と思われる。

出土遺物　PT738でほぼ完形の甲斐型皿２点が出土した。床面下のDK180とDK186で完形ないし完形に近い坏が破片で出土している。住居南西角で坏が出土した。甲斐型坏皿992g、土師器坏皿912g、甲斐型甕5,090g、土師器甕25g、須恵器474g、灰釉陶器６g、金属製品10g、鉄滓68g。

調査所見　床面を切って掘り込まれたピット10基のうちDK196とPT738を除く８基は、その配置から柱穴などの施設と考えられる。南壁沿いの２基は出入口施設の可能性もあろうが、壁をえぐるように掘り込まれほかのピット以上に深いことから、むしろ柱穴などと想定するのがふさわしいと思われる。カマド北側と南側で検出されたDK196とPT738は、ほかのピットにくらべて直径がやや大きいため、カマドに付随した施設であろう。PT738で出土した２点の甲斐型皿は、覆土中層で出土しており、意図的に埋められたものと考えたい。

94号住居（第246図～第250図、写真図版51）

位置　Ｗ１区西端に位置する。41号住居と95号住居に隣接する。

規模・形態　東西4.5m、南北4.6m、床面積15.3㎡。竪穴は深さ80cmを残す。

カマド　東壁南寄りで焼土粒子が混じる褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面がほぼ全面で検出された。床面は粘性の強い黄褐色土を貼ってある。周溝が検出された。床面を切って掘り込まれたピット６基を検出した。南壁沿いで検出されたPT827とPT830の深さは、それぞれ床面から10cm、14cmである。住居南東角で検出されたDK179とPT794の深さは、それぞれ床面から20.5cmと22.5cm、カマド北側のPT824は７cmである。住居の中央から北東角寄りで検出されたPT757は、床面から22cmの深さである。これらのほか床面下から土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅶ期、９世紀第３四半期から９世紀第４四半期頃と思われる。

出土遺物　カマド北西の床面で「政」「矢」と墨書された甲斐型坏が伏せた状態で出土した。南壁沿いで胴下半部を意図的に打ち欠いた把手のついた須恵器壺が出土した。甲斐型坏皿702g、土師器坏皿186g、甲斐型甕1,419g、須恵器1,519g、灰釉陶器56g、金属製品37g。

調査所見　南壁沿いのピット２基は、出入口施設と思われる。南壁沿いで出土した把手付須恵器壺周辺の住居覆土を精査したが、覆土を掘り込む土坑などは確認されなかった。カマド南側のDK179とPT794は、カマドに付随した施設と考えられよう。北壁東寄りで検出された焼土とその周囲の不整形の掘り込みは旧カマドの痕跡であるかもしれない。

95号住居（第251図、第252図、写真図版52）

位置　Ｗ１区西端に位置する。44号住居、94号住居に隣接する。

規模・形態　東西推定3.2m、南北2.9m、床面積8.1㎡。竪穴は深さ50cmを残す。撹乱が住居の覆土中層までお

よび、西壁全部と南壁の一部は失われている。

カマド　東壁中央南寄りで焼土粒子が混じる暗褐色土、礫、焼土、掘り込みを検出した。

施設　堅くしまった床面が住居の中央部で検出された。北壁沿いで周溝が検出された。カマド南西側で床面を切って掘り込んだPT791を検出した。床面からの深さは16cmで、底からカマド骨材と思われる礫６点が出土した。床面下から土坑、ピットを検出した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

出土遺物　甲斐型坏皿269g、土師器坏皿125g、甲斐型甕845g、土師器甕69g、須恵器18g、灰釉陶器16g。

調査所見　PT791は、カマドに付随する施設と思われる。西壁は床面下まで撹乱が及ぶため、周溝の有無は不明であるが、南壁はかろうじて壁が残っていたが、南壁沿いの周溝は確認されなかった。

第２節　掘立柱建物と出土遺物

梅之木遺跡では掘立柱建物21棟が検出された。柱間寸法は第３表に記載した。建物面積は、四隅の柱穴芯を結ぶ直線に囲まれる範囲とした。多くの掘立柱建物が出土遺物を欠くため、その時期は不明であるが、遺跡全体の状況から平安時代に属すると考えられる。

掘立柱建物は複数棟がまとまって検出される傾向が認められる。掘立柱建物群、あるいは建物用地としてのまとまりがあったのか地形や耕作による削平の影響を受けての結果なのか、にわかに判断できないが、ここに報告する掘立柱建物以外にもピットがまとまって検出された箇所があった。本来はより広い範囲に建物が存在した可能性もあろう。

１号掘立柱建物（第253図、写真図版53）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。４号、５号、６号掘立柱建物に近接し、18号住居、68号住居に隣接する。

規模　東西３間、南北２間、建物面積19.3㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

２号掘立柱建物（第253図、写真図版53）

位置　Ｗ２区東寄りに位置する。３号掘立柱建物、56号住居に近接する。

規模　東西２間、南北２間、建物面積16.2㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

３号掘立柱建物（第253図、写真図版53）

位置　Ｗ２区東寄りに位置する。２号掘立柱建物、13号住居、64号住居に隣接する。

規模　東西２間、南北３間、建物面積16.2㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

４号掘立柱建物（第253図、写真図版53）

位置　Ｗ２区中央北寄りに位置する。１号、５号、６号掘立柱建物、18号住居に近接する。

規模　東西２間、南北２間、建物面積11.2㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

5号掘立柱建物（第253図、写真図版54）

位置　W２区中央北寄りに位置する。６号掘立柱建物と重複する。１号、４号掘立柱建物、18号住居、68号住居に近接する。

規模　東西３間、南北２間、建物面積18.7㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。６号掘立柱建物と重複するが、先後関係は不明である。

6号掘立柱建物（第253図、写真図版54）

位置　W２区中央北寄りに位置する。５号掘立柱建物と重複する。１号、４号掘立柱建物、18号住居、68号住居に近接する。

規模　東西１間、南北２間、建物面積16.6㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。５号掘立柱建物と重複するが、先後関係は不明である。

7号掘立柱建物（第255図、写真図版54）

位置　W２区中央に位置する。

規模　東西１間、南北２間、建物面積9.7㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

8号掘立柱建物（第255図、写真図版54）

位置　W２区西寄りに位置する。24号、25号、29号住居に隣接する。

規模　南北３間。西側は削平により柱穴が失われていると思われる。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

9号掘立柱建物（第254図、写真図版54）

位置　W２区東寄りに位置する。10号掘立柱建物、４号住居に近接する。

規模　東西２間以上、南北３間、建物面積18㎡以上。建物西側は４号住居と重複する可能性があるが、４号住居検出時に柱穴を確認できなかった。４号住居と重複しないとすれば、東西２間の建物であろう。

調査所見　PT314で甲斐型皿破片が出土している。口縁が肥厚していることから宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。隣接する４号住居と同時期であるが、４号住居煙道が西に接近することから、同時に並存していたとは考えにくい。

10号掘立柱建物（第254図、写真図版55）

位置　W２区東端に位置する。９号掘立柱建物、11号掘立柱建物、３号住居と近接する。

規模　東西２間、南北４間、建物面積27.1㎡。

調査所見　PT223で縄文時代中期の土器破片が出土しているのみで出土遺物がなく、時期は不明である。宮ノ前Ⅸ期に想定される９号掘立柱建物に近接し、かつ建物方向を違えることから、それ以外の時期と考えられる。ただし、宮ノ前遺跡での編年幅と建物耐用年数とのずれが当然あると考えられる。

11号掘立柱建物（第254図、写真図版55）

位置　W２区東端に位置する。10号掘立柱建物、４号住居、７号住居に近接する。

規模　東西２間、南北３間、建物面積15.4㎡。南北方向は１間とばしとしている。

調査所見　PT244で甲斐型内黒坏破片が出土している。口縁が肥厚していることから宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。時期と建物方向が９号掘立柱建物とほぼ同じである。

12号掘立柱建物（第254図、写真図版55）

位置　Ｗ２区東端に位置する。13号掘立柱建物、３号住居に近接する。

規模　東西２間以上、南北２間。南北方向は１間とばしとしている。

調査所見　西側は削平のため失われ、東西方向が２間かそれ以上か確認できなかった。出土遺物がなく、時期は不明である。

13号掘立柱建物（第254図、写真図版55）

位置　Ｗ２区東端に位置する。12号掘立柱建物、２号住居に近接する。

規模　東西２間、南北２間、建物面積12.1㎡。南側に広がる台形の平面形である。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

14号掘立柱建物（第255図、写真図版56）

位置　Ｗ２区中央西寄りに位置する。20号、26号住居に隣接する。

規模　東西２間、南北２間、建物面積14.5㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

15号掘立柱建物（第255図、写真図版56）

位置　Ｗ２区中央西寄りに位置する。27号住居に近接する。

規模　東西３間、南北３間、建物面積20.2㎡。柱間が不規則であるが、３間四方の建物と推測される。

調査所見　建物に囲まれた内部で検出されたPT604で「真」と墨書された甲斐型皿破片が出土した。小破片であるが底部は手持ちのヘラケズリが施され、外面のロクロナデ痕の凹凸が非常に明瞭であるため、宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期以降、宮ノ前Ⅸ期、10世紀第３四半期までと思われる。この皿破片を根拠に建物の時期を推測すると、近接する27号住居とは時期が違ってくる。

16号掘立柱建物（第255図、写真図版56）

位置　Ｗ２区中央西寄りに位置する。21号、22号、26号住居に近接する。

規模　１間四方もしくは東西１間、南北２間、建物面積8.8㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

17号掘立柱建物（第254図、写真図版56）

位置　Ｗ２区北西端に位置する。81号、82号住居に近接する。

規模　不明。耕作によると思われる削平で北側が失われている。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。周辺では宮ノ前Ⅷ期に属する住居が多く、76号住居とは建物の方向が近い。81号住居とはあまりに近接している。こうした点から、建物は76号住居と同時期の可能性が考えられよう。

18号掘立柱建物（第255図、写真図版57）

位置　W２区中央西寄りに位置する。19号掘立柱建物、73号、74号住居に近接する。

規模　東西２間、南北２間、建物面積14.6㎡。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。周辺には宮ノ前Ⅶ期とⅨ期の住居がみられる。74号住居とは建物方向が近い。

19号掘立柱建物（第255図、写真図版57）

位置　W２区中央西寄りに位置する。18号掘立柱建物、73号、77号住居に近接する。

規模　東西２間、南北１間、建物面積8.5㎡。３箇所で２基のピットが重複ないし近接して検出されているため、同一地点で建替えられている可能性もある。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。18号掘立柱建物と建物方向をほぼ同じくし、適度に離れて並んでいるため、同時に並存した可能性もあろう。

20号掘立柱建物（第254図）

位置　W２区中央西寄りに位置する。23号、74号住居に隣接する。

規模　東西２間以上、南北１間以上。耕作によると思われる削平で南半分を失っている。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。

21号掘立柱建物（第255図、写真図版57）

位置　W２区中央東寄りに位置する。14号、64号住居に隣接する。

規模　東西２間以上、南北２間。耕作によると思われる削平で西半分を失っている。

調査所見　出土遺物がなく、時期は不明である。宮ノ前Ⅷ期と推測される64号住居と建物方向がほぼ同じである。

第３節　土坑・ピットと出土遺物

住居に関連せず単独で検出された土坑17基のうち、出土遺物から平安時代の遺構と確認される例は９基で、ほかに７基が形状や位置などから平安時代に属すると推測される。

55号土坑（第256図、写真図版57）

位置　W２区中央南寄り、46号住居北西に位置する。

規模　平面形は長軸2.4m、短軸1.85mの菱形で、深さ50㎝。

調査所見　土坑は、確認面から土坑底面にかけて黒褐色土、黄褐色土、暗褐色土がほぼ水平に堆積して埋まっている。土坑壁面と底面の取り合い部分では、暗褐色土の三角堆積が明瞭に観察される。最下層の暗褐色土には地山起源の黄褐色土小ブロックが混じる。このことから土層は水平に堆積するが、人為的に埋め戻されたと推測される。土坑南壁に接する底面で、甲斐型坏破片と砥石破片が出土した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

57号土坑、59号土坑

第４表参照。

61号土坑（第256図）

位置　W２区中央、75号住居西に位置する。

規模　直径1.05mの円形で、深さ20cm。

調査所見　覆土は黄褐色土粒子が混じる黒色土で、土坑底部から縄文時代の打製石斧破片が出土した。打製石斧は出土するものの、調査区内で縄文時代の遺構は皆無であること、縄文時代の遺物は例外的に出土するのみであること、平安時代の住居において平安時代に搬入されたと思われる縄文時代の遺物が存在すること、の３点から、この土坑も平安時代の遺構と推測される。

時期　平安時代とのみ推測される。

62号土坑（第257図、写真図版58）

位置　W２区東寄り、72号住居東に位置する。

規模　長軸1.2m、短軸0.65mの長方形で、深さ20cm。

調査所見　63号土坑と重複し、覆土断面の観察で62号土坑が新しいことが容易に確認された。しかし、平面形から推定される両者の重複部分は、63号土坑覆土が崩れるなどしたためか、不明瞭であった。北壁に接する底面で、直径50cmの小ピットが検出された。ピットの覆土は、土坑覆土と同様である。覆土から甲斐型内黒坏破片２点が出土した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

63号土坑（第257図、写真図版58）

位置　W２区東寄り、72号住居東に位置する。

規模　長軸2.55m、短軸1.35mの長方形で、深さ30cm。

調査所見　62号土坑と重複し、63号土坑が古い。土坑は黒褐色土で埋まり、底面近くでは褐色土が堆積していた。黒褐色土には褐色土ブロックが混じり、人為的に埋め戻されたと推測される。北壁寄りの覆土上層で、「源」と墨書された内黒土師器坏、甲斐型皿破片、甲斐型甕破片が出土した。土師器坏は４点の破片に分割して出土し、１個体に接合・復元されるが、口縁部３分の１は失われている。62号土坑と同様、底面で北壁に接する小ピットが検出された。小ピットの覆土は、土坑覆土と同様である。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

64号土坑

位置　W２区東寄り、60号住居北に位置する。

規模　直径68cmの円形で、深さ30cm。

調査所見　覆土は褐色土粒子が混じる黒褐色土で、人為的に埋め戻されたと推測される。覆土から甲斐型坏破片が出土した。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

65号土坑

第４表参照。

74号土坑（第258図、第259図、写真図版59）

位置　W２区東端、２号住居北に位置する。

規模　長軸2.1m、短軸1.55mの長方形で、深さ40cm。

調査所見　土坑には、確認面から底面まで一様に同質の黒褐色土が堆積している。覆土断面の観察と遺物の出土状況から、土坑は人為的に埋め戻されたと推測される。覆土中層から上層にかけて、甲斐型坏３個体の破片、甲斐型皿１個体の破片、土師器坏１個体の破片、土師器皿２個体の破片、墨書土器破片３点、甲斐型甕破片１点、須恵器破片１点、灰釉陶器破片１点、焼きごてと思われる鉄製品１点、鉄滓３点が出土した。これらのうち土器で完全な個体に復元されたものはなかった。割れ面が磨耗した土器が多いことから、土坑に埋まる以前に割られたと推測される。

時期　甲斐型坏と皿の口縁は、玉縁状に肥厚するものとしないものとがみられるため、宮ノ前Ⅷ期後半から宮ノ前Ⅸ期前半、10世紀第１四半期から10世紀第２四半期頃と思われる。

78号土坑（第260図）

位置　W２区中央南西寄り、77号住居南東に位置する。79号土坑に隣接する。

規模　直径１mの円形で、深さ30cm。

調査所見　覆土は褐色土粒子が混じる黒褐色土で、人為的に埋め戻されたと推測される。

時期　出土遺物がなく時期は不明であるが、覆土の様子や隣接する79号土坑との比較から平安時代と推測される。

79号土坑（第260図）

位置　W２区中央南西寄り、77号住居南東に位置する。78号土坑に隣接する。

規模　長軸１m、短軸0.8mの楕円形で、深さ30cm。

調査所見　覆土は褐色土粒子が混じる黒褐色土で、人為的に埋め戻されたと推測される。甲斐型坏破片１点、20cm程度の礫２点が出土した。

時期　宮ノ前Ⅸ期、10世紀第２四半期から10世紀第３四半期頃と思われる。

82号土坑

第４表参照。

85号土坑（第260図）

位置　W２区中央南西寄り、77号住居西側に位置する。

規模　長軸２m、短軸１mの楕円形で、深さ20cm。

調査所見　黒褐色土に黒色土と灰白色土粒子が混じる覆土で、人為的に埋め戻されたと推測される。甲斐型坏の小破片２点が出土した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

111号土坑（第185図、写真図版37）

位置　W２区東寄り、72号住居に重複する。

規模　長軸3.3m、短軸1.7mの長方形で、深さ36cm。

調査所見　72a号住居床下で検出され、72b号、72c号住居より新しい。72a号住居と南東角を合わせるように重

複しており、土坑と住居の関連は推測しがたい。東側に隣接して形状がよく似た62号、63号土坑があるため、111号土坑もこれらの土坑とともに設置された可能性が高いと思われる。その場合は72a号住居との重複は偶然によると思われる。覆土中層で土師器坏破片が出土した。

時期　72号住居との重複関係から、宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。62号土坑、63号土坑と同時期である。

126号土坑

位置　Ｗ２区西寄り、29号住居北西に位置する。

規模　直径76cmの円形で、深さ15cm。

調査所見　暗褐色土の覆土に黒褐色土と焼土が混じる。底面には４cmの厚さで焼土が堆積し、削平され失われた住居のカマド跡と思われる。甲斐型坏の小破片１点が出土した。

時期　宮ノ前Ⅷ期、９世紀第４四半期から10世紀第１四半期頃と思われる。

128号土坑

位置　Ｗ２区西寄り、29号住居東に位置する。

規模　直径１mの円形で、深さ32cm。

調査所見　まだらな黒褐色土に褐色土粒子が混じる覆土で、人為的に埋め戻されたと推測される。灰釉陶器破片１点が出土した。

時期　平安時代の遺構と思われる。

137号土坑

位置　Ｗ２区西寄り、21号住居と22号住居のあいだに位置する。

規模　直径1.2mの円形で深さ70cm。

調査所見　黒色土と黒褐色土のまだらな覆土に明褐色土粒子が混じる。人為的に埋め戻されたと推測される。遺物は出土せず時期は不明であるが、平安時代と推測される128号土坑に形状が似ている。

第４節　遺構・遺物観察表

第３章第３節までに報告した遺構とその出土遺物の観察所見を第２表から第11表に報告する。観察表は以下のとおりである。

第２表　住居面積・主軸方向一覧
第３表　掘立柱建物面積・柱間寸法一覧
第４表　土坑・ピット一覧
第５表　土器・土製品一覧
第６表　金属製品一覧
第７表　石器一覧
第８表　住居別土器出土量一覧

第２表　住居面積・主軸方向一覧

住居番号	面積(㎡)	主軸方向
1号住居	14.9	N－96°－E
2号住居	8.1	N－100°－E
3 a号住居	16.7	N－96°－E
3 b号住居	14.2	N－7°－E
4号住居	8.5	N－92°－E
6号住居	18.4	N－90°－E
7号住居	13.0	N－90°－E
9号住居	9.2	N－94°－E
13 a号住居	22.6	N－89°－E
13 b号住居	12.5	N－89°－E
14号住居	9.3	N－96°－E
15号住居	12.6	N－77°－E
16号住居	8.9	N－98°－E
17号住居	6.4	N－88°－E
18号住居	17.3	N－90°－E
19号住居	17.4	N－89°－E
20号住居	11.6	N－96°－E
21号住居	22.0	N－95°－E
22号住居	14.2	N－90°－E
23号住居	14.6	N－86°－E
24号住居	10.6	N－86°－E
25号住居	11.4	N－90°－E
26号住居	7.4	N－92°－E
27号住居	7.3	N－90°－E
28号住居	9.2	N－81°－E
29 a号住居	9.0	N－90°－E
29 b号住居	8.7	N－90°－E
30号住居	6.7	N－95°－E
31号住居	9.8	N－94°－E
36号住居	14.9	N－2°－W
37号住居	11.5	N－94°－E
40号住居	28.0	N－92°－E
41号住居	9.2	N－87°－E
42号住居	14.2	N－96°－E
43号住居	7.2	N－100°－E
44号住居	17.0	N－84°－E
45号住居	不明	不明
46 a号住居	11.0	N－95°－E
46 b号住居	7.3	N－95°－E
47号住居	11.6	N－90°－E
48号住居	8.1	N－92°－E
49号住居	16.4	N－84°－E
50号住居	6.8	N－87°－E
51号住居	9.5	N－93°－E
52号住居	8.0	N－93°－E
53 a号住居	18.8	N－91°－E
53 b号住居	10.0	N－95°－E

住居番号	面積(㎡)	主軸方向
53 c号住居	10.0	N－4°－E
55号住居	不明	N－109°－E
56号住居	14.1	N－88°－E
57号住居	12.1	N－92°－E
58号住居	17.7	N－2°－E
59号住居	12.8	N－92°－E
60号住居	7.8	N－81°－E
61号住居	19.7	N－87°－E
62号住居	8.2	N－80°－E
63 a号住居	12.6	N－93°－E
63 b号住居	8.9	N－93°－E
64号住居	11.9	N－89°－E
65号住居	14.6	N－104°－E
66号住居	不明	N－96°－E
67号住居	9.0	N－88°－E
68号住居	7.8	N－91°－E
69号住居	10.6	N－106°－E
70号住居	8.7	N－88°－E
71号住居	10.8	N－94°－E
72 a号住居	13.4	N－98°－E
72 b号住居	5.1	N－8°－E
72 c号住居	不明	N－14°－W
73号住居	11.5	N－101°－E
74 a号住居	19.8	N－92°－E
74 b号住居	12.3	N－92°－E
75号住居	5.5	N－88°－E
76号住居	12.8	N－82°－E
77号住居	16.9	N－80°－E
78号住居	不明	N－86°－E
79号住居	5.1	N－95°－E
80号住居	8.6	N－90°－E
81 a号住居	7.1	N－86°－E
81 b号住居	6.0	N－88.5°－E
82号住居	9.9	N－95°－E
83号住居	12.3	不明
84号住居	8.5	N－76°－E
85号住居	26.9	N－99°－E
86号住居	不明	不明
87号住居	8.5	N－94°－E
88号住居	6.0	N－96°－E
89号住居	10.8	N－81°－E
90号住居	11.0	N－80°－E
91号住居	不明	不明
92号住居	16.1	N－92°－E
93号住居	15.8	N－86°－E
94号住居	15.3	N－81°－E
95号住居	8.1	N－80°－E

第3表　堀立柱建物面積・柱間寸法一覧

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
1号掘立柱建物	19.3m²	PT−288	1.59
		289	
		289	1.59
		290	
		290	1.59
		264	
		264	2.00
		291	
		291	1.96
		293	
		293	1.69
		294	
		294	1.59
		295	
		295	1.69
		296	
		296	1.92
		474	
		474	1.98
		288	
2号掘立柱建物	16.2m²	PT−322	3.92
		482	
		482	4.08
		379	
		379	2.00
		378	
		378	2.08
		377	
		377	1.78
		408	
		408	2.18
		322	
3号掘立柱建物	16.2m²	PT−228	1.62
		226	
		226	1.90
		227	
		227	1.96
		373	
		373	1.84
		374	
		374	2.08
		−	
		−	2.38
		237	
		237	1.96
		444	
		444	1.47
		214	
		214	2.38
		213	
		213	2.12
		228	
		228	1.62
		311	
		311	1.90
		227	

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
4号掘立柱建物	11.2m²	PT−251	4.07
		263	
		263	1.93
		343	
		343	1.35
		266	
		266	2.00
		262	
		262	2.00
		253	
		253	1.43
		252	
		252	1.50
		251	
5号掘立柱建物	18.7m²	PT−258	1.56
		257	
		257	1.44
		256	
		256	1.39
		255	
		255	1.78
		254	
		254	2.10
		260	
		260	1.90
		268	
		268	1.45
		274	
		274	2.00
		275	
		275	1.38
		276	
		276	1.84
		259	
		259	2.08
		258	
6号掘立柱建物	16.6m²	PT−255	2.13
		260	
		260	2.02
		267	
		267	3.10
		287	
		287	2.55
		261	
7号掘立柱建物	9.7m²	PT−334	2.30
		345	
		345	2.40
		344	
		344	1.80
		340	
		340	2.22
		338	
		338	2.20
		335	
		335	2.10
		334	

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
8号掘立柱建物	不明	PT−635	2.03
		666	
		666	1.74
		686	
		686	1.40
		633	
		633	1.30
		632	
9号掘立柱建物	18.0m²	PT−175	1.62
		177	
		177	1.85
		178	
		178	2.50
		−	
		−	4.80
		316	
		316	2.07
		315	
		315	2.00
		314	
		314	1.90
		221	
		221	2.40
		222	
		222	1.75
		313	
		313	0.90
		175	
10号掘立柱建物	27.1m²	PT−390	2.40
		306	
		306	2.40
		Noナシ	
		Noナシ	1.90
		384	
		384	2.25
		191	
		186	1.65
		199	
		199	2.20
		219	
		181	2.50
		387	
		387	2.35
		203	
		223	1.85
		383	
		383	2.10
		211	
		211	2.10
		208	
		208	2.10
		390	
		390	0.75
		308	
		306	4.45
		200	
		PT−200	3.30
		387	

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
11号掘立柱建物	15.4m²	PT−168	0.68
		169	
		169	1.08
		245	
		245	0.84
		240	
		240	1.96
		244	
		243	3.94
		242	
		242	1.90
		187	
		187	1.80
		196	
		196	1.84
		184	
		184	2.07
		385	
		385	3.86
		168	
		242	1.88
		204	
		204	2.13
		385	
12号掘立柱建物	不明	PT−432	3.84
		443	
		443	1.60
		433	
		433	1.38
		−	
		−	3.46
		431	
		431	1.33
		434	
		434	1.78
		432	
13号掘立柱建物	12.1m²	PT−420	3.13
		426	
		426	1.78
		423	
		423	2.18
		418	
		418	1.23
		419	
		419	1.33
		417	
		417	1.63
		424	
		424	2.36
		420	

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
14号掘立柱建物	14.5㎡	PT－403	1.37
		477	
		477	2.75
		569	
		PT－569	1.90
		570	
		570	1.55
		571	
		571	2.70
		479	
		479	1.46
		478	
		478	3.40
		403	
		403	1.37
		477	
		477	2.75
		569	
15号掘立柱建物	20.2㎡	PT－589	1.82
		588	
		588	1.90
		587	
		587	1.00
		586	
		586	1.70
		607	
		607	1.93
		605	
		603	1.70
		597	
		597	1.40
		596	
		596	1.30
		595	
		595	1.94
		589	
16号掘立柱建物	8.8㎡	PT－590	2.87
		594	
		594	2.85
		593	
		593	3.07
		592	
		592	2.94
		590	
17号掘立柱建物	不明	PT－621	1.78
		622	
		622	1.70
		619	
		619	2.20
		620	

遺構番号	建物面積	ピット番号	柱間(m)
18号掘立柱建物	14.6㎡	PT－459	1.50
		458	
		458	2.30
		457	
		457	2.04
		676	
		676	1.70
		470	
		470	2.00
		675	
		PT－675	1.84
		469	
		469	1.70
		463	
		463	2.00
		459	
19号掘立柱建物	8.5㎡	PT－461	2.18
		466	
		466	0.86
		460	
		460	1.78
		471,472	
		471,472	1.62
		674	
		674	2.32
		467	
		674	2.30
		672	
		467	1.60
		468	
		672	2.00
		468	
		468	1.44
		461	
20号掘立柱建物	不明	PT－650	1.60
		649	
		649	1.53
		703	
		703	2.00
		651	
21号掘立柱建物	不明	PT－326	3.52
		325	
		325	1.70
		324	
		324	2.00
		323	
		323	1.70
		327	

第４表　土坑・ピット一覧（単位：cm）

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT１	10YR２／１に10YR６／７が40%まじる。	70	10	１住内		土師器１点
PT２		58×78	15	１住内		第９図カマド図参照
PT３	柱痕10YR２／３しまりなし。覆土10YR３／４しまりなし。	30	37	６住内	床面で検出	出入口施設か？　PT４も同じ
PT４	柱痕10YR２／３しまりなし。覆土10YR３／４しまりなし。	80×45	40	６住内	床面で検出	貼床が柱痕際まで貼ってある
PT５	柱痕10YR２／３しまりなし。覆土10YR３／４しまりなし。	30	45	６住内	床面で検出	下部が広がりPT４と同じく柱痕際まで床が貼ってある
PT６	10YR２／２しまりなし。10YR４／６粒子が５%まじる。	70×45	18	６住内	床面で検出	土師器坏あり　地鎮具か
PT７	10YR２／２に10YR４／６粒子が３%、焼土粒子１%まじる。しまりなし。	38×33	12	６住内	床面で検出	床面焼土を切る　鍛冶遺構か　小礫１個あり
PT８	10YR２／３しまりなし。	28	40	６住内	床面で検出	６住柱穴らしい
PT９	10YR２／３しまりなし。	55	25	14住内	床面で検出	床面を切る
PT10	10YR1.7／２に焼土・炭化物粒子20%まじる。しまりなし。	35	30	14住内	床面下で検出	カマド右側
PT11	10YR２／３しまりなし。焼土・炭化物粒子20%まじる。	35	15	７住内	床面で検出	坏二個体がのっている
PT12	10YR２／３しまりなし。	20	25	７住内	床面で検出	出入口ピット
PT13	10YR２／３しまりなし。	20	20	７住内	床面で検出	出入口ピット
PT14	10YR２／３しまりなし。	20	17	７住内	床面下で検出	出入口ピット
PT15	7.5YR２／２焼土・炭30%まじる。押すと１mmへこむ。ややしまる。	28	12	７住内	床面下で検出	
PT16	10YR３／４しまりなし。	25	15	７住内	床面下で検出	
PT17	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	28	14	７住内	床面下で検出	
PT18	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	17	12	７住内	床面下で検出	
PT19	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	19	9	７住内	床面下で検出	
PT20	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	14	7	７住内	床面下で検出	桃の炭化種子
PT21	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	30	13	７住内	床面下で検出	
PT22	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	19	16	７住内	床面下で検出	
PT23	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	24×18	12	７住内	床面下で検出	
PT24	7.5YR２／２に焼土・炭30%まじる。ややしまる。	30	13	７住内	床面で検出	
PT25	7.5YR２／３に焼土・炭化物粒子が20%まじる。	40	25	31住内	床面で検出	
PT26	7.5YR２／３に焼土・炭化物粒子が20%まじる。	30	30	31住内	床面下で検出	
PT27	7.5YR２／３に焼土・炭化物粒子が20%まじる。	25	30	31住内	床面で検出	
PT28	7.5YR３／３に10YR５／６が20%まじる。	40	20	31住内	床面下で検出	
PT29	10YR３／３に焼土・炭化物粒子が10%まじる。	30	5	７住内	床面で検出	
PT30	7.5YR３／３に焼土・炭化物粒子が５%まじる。	30	6	７住内	床面下で検出	19号土坑を切る
PT31	10YR２／１に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子が５%まじる。押すと２mmへこむ。しまりなし。	32	12	46住内	床面下で検出	PT101を切る
PT32	10YR２／２に10YR５／６粒子が10%まじる。押すと２mmへこむ。しまりなし。	40×30	10	46住内	床面下で検出	
PT33	10YR２／２に10YR５／６粒子が10%まじる。押すと２mmへこむ。しまりなし。	21	25	46住内	床面で検出	
PT34	10YR２／１に10YR５／６粒子が30%まじる。押すと２mm以上へこむ。しまりなし。	88×60	40	46住内	床面で検出	２層に分かれる　上は黒、下は10YR５／６に10YR２／１ブロックが30%まじる　しまりなし
PT35	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子５%まじる。押すと２mmへこむ。	43	25	３住内	床面下で検出	
PT36	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子５%まじる。押すと２mmへこむ。	23	17	３住内	床面で検出	
PT37	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子５%まじる。押すと２mmへこむ。	22	15	３住内	床面で検出	
PT38	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子５%まじる。押すと２mmへこむ。	30	17	３住内	床面で検出	
PT39	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%、焼土粒子５%まじる。押すと２mmへこむ。	30	23	３住内	床面下で検出	18号土坑を切る
PT40	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%まじる。押すと２mmへこむ。	30	45	３住内	床面で検出	
PT41	10YR２／３に10YR５／６粒子が40%、焼土粒子が20%まじる。押すと２mmへこむ。	57×50	3	３住内	床面で検出	地床炉か鍛冶遺構か
PT42	10YR２／３に10YR５／６粒子が20%まじる。押すと２mmへこむ。	30	20	３住内	床面で検出	
PT43	10YR２／３に10YR５／６粒子が10%まじる。押すと２mmへこむ。	25	5	３住内	床面で検出	
PT44	10YR２／３に10YR５／６粒子が５%まじる。焼土粒子・炭化物粒子が５%まじる。押すと２mmへこむ。	35	14	３住内	床面で検出	
PT45		23	14	４住内	床面で検出	
PT46		22	13	４住内	床面で検出	
PT47	10YR２／３に10YR５／６が10%、焼土・炭化物粒子が５%まじる。押すと３mmへこむ。	43	18	９住内	床面下で検出	
PT48	10YR３／３に10YR５／６が10%まじる。押すと３mmへこむ。	22	20	９住内	床面で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT49	10YR３／３に10YR５／６が10%まじる。押すと３mmへこむ。	24	14	９住内	床面で検出	
PT50	10YR２／３しまりなし。	28	60	３住内	床面で検出	36住の切り合い不明　旧カマドの右側　壁を掘り込む
PT51	10YR２／３に10YR４／６が１%まじる。細粒土。しまる。	38	47	49住内	床面で検出	
PT52	10YR３／４に10YR２／１が１%まじる。10YR５／６が１%まじる。焼土少々まじる。細粒土。しまる。	123	28	49住内	床面下で検出	
PT54	10YR２／３に10YR２／１が１%、10YR３／４が20%まじる。３cm未満。ほぼ焼土。	27.5	9.5	49住内	床面下で検出	
PT55	10YR３／３に焼土・炭化物粒子が１%まじる。しまる。	41	10	９住内	床面で検出	
PT56	10YR２／３ 50%、10YR４／６ 50%。細粒土。しまる	45	62	９住内	床面で検出	
PT57	10YR２／３。しまりなし。	30	25	３住内	床面で検出	３住東壁を切って掘り込んである　切合不明
PT58	10YR２／２に10YR４／６が30%、５YR４／８が１%まじる。押すと３mmへこむ。	48	60	18住内	床面で検出	
PT59	10YR３／２に10YR４／６が１%まじる。細粒土。押すと２mmへこむ。	29	82	18住内	床面で検出	
PT60	10YR３／２に10YR４／６が２%、10YR２／１が１%未満まじる。細粒土。押すと３mmへこむ。	35	14	18住内	床面下で検出	
PT61	10YR３／２に10YR４／６が７%まじる。細粒土。押すと３mmへこむ。	47	8	18住内	床面下で検出	
PT62	7.5YR３／２に10YR５／６が１%、５YR４／８が１%、10YR２／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	17	37	17住内	床面下で検出	PT63に切られる
PT63	7.5YR３／２に2.5Y５／４が３%、５YR４／８が２%まじる。押すと２mmへこむ。	52	18	17住内	床面下で検出	PT62を切る
PT64	7.5YR３／２に10YR４／６が３%まじる。押すと３mmへこむ。	32	19	18住内	床面で検出	PT59の横
PT65	10YR３／２に10YR４／６が３%まじる。しまる。	16	4.5	14住内	床面で検出	
PT66	10YR３／２に10YR４／６が３%、10YR２／１が２%まじる。しまる。	24	9	14住内	床面で検出	
PT67	10YR３／２に10YR２／１が１%、10YR４／６が２%まじる。しまる。	30	13	14住内	床面で検出	
PT68	10YR２／３に10YR４／６が10%、10YR２／１が１%まじる。しまる。	39	4	13住内	床面で検出	
PT69	10YR３／２に10YR４／６が10%まじる。押すと３mmへこむ。	27	23	13住内	床面で検出	
PT70	7.5YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が１%未満まじる。押すと３mmへこむ。	24	21	13住内	床面で検出	
PT71	10YR２／３に10YR４／６が７%、7.5YR５／６が１%未満、10YR1.7／１が１%まじる。押すと３mmへこむ。	48	25	13住内	床面で検出	
PT72	10YR３／２に10YR４／６が30%、10YR２／１が１%まじる。しまる。	47	32	14住内	床面下で検出	PT73に切られる
PT73	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が１%未満まじる。しまる。	25	26	14住内	床面下で検出	PT72を切る
PT74	2.5YR３／２に10YR５／６が20%、５YR５／８が１%まじる。押すと２mmへこむ。	26	15	20住内	床面下で検出	
PT75	2.5Y３／２に10YR５／６が10%、５YR５／６が１%未満まじる。押すと２mmへこむ。	26	8	20住内	床面下で検出	
PT76	7.5YR３／２に10YR５／６が10%、５YR４／６が１%、10YR２／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	18	7	20住内	床面下で検出	
PT77	10YR３／２に10YR４／６が10%、５YR４／６が１%未満まじる。押すと２mmへこむ。	39	21	46住内	床面で検出	カマド礫（25cm長）が入っている
PT78	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が１%まじる。しまる。	28	53	18住内	床面で検出	
PT79	10YR２／１に10YR４／６が10%、10YR２／３が10%、５YR４／６が１%まじる。押すと３mmへこむ。	50	12	18住内	床面下で検出	
PT80	10YR３／２に10YR４／６が10%、５YR４／８が１%、５YR５／６が１%まじる。押すと１mmへこむ。	47	12	18住内	床面下で検出	12号土坑を切る
PT81	10YR３／２に10YR４／６が１%、５YR４／６が１%未満、10YR２／１が１%未満まじる。押すと３mmへこむ。	21	48	18住内	床面で検出	
PT82	10YR３／２に10YR２／１が10%、10YR４／６が７%、５YR４／８が３%まじる。押すと３mmへこむ。	24	15	18住内	床面下で検出	
PT83	10YR２／１に10YR４／６が10%まじる。しまる。	41	10.5	53b住内	床面で検出	
PT84	10YR２／３に10YR1.7／１が30%、10YR４／６が５%まじる。押すと３mmへこむ。	53	42	53a住内		
PT85	10YR３／２に10YR５／６が５%まじる。押すと３mmへこむ。	27	10	53a住内		
PT86a	10YR２／３に10YR４／６が20%まじる。押すと３mmへこむ。	30	39	53a住内		
PT86b				53b住内	床面で検出	
PT87	10YR２／１に10YR４／４が20%、５YR４／８が７%まじる。押すと２mmへこむ。	40	7	52住内		
PT88	7.5YR３／２に7.5YR４／６が20%、５YR３／６が３%、炭化物粒子１%まじる。しまる。	26	6	52住内		
PT89	５YR３／２に５YR３／６が２%、7.5YR５／６が20%まじる。	29	3	52住内		
PT90	2.5YR３／２に10YR５／６が20%、10YR２／１が５%、５YR５／６が１%まじる。しまる。	49	5	48住内	床面下で検出	
PT91	2.5YR３／２に10YR５／６が10%、５YR４／６が１%まじる。	31	14	48住内	床面下で検出	
PT92	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	18	14	３住内	床面で検出	
PT93	7.5YR３／２に10YR５／４が20%、５YR３／４が２%、５YR４／４が１%、５YR５／８が２%まじる。しまる。	40	2	３住内	床面下で検出	14cm大の礫
PT94	10YR３／２に10YR４／６が５%、５YR３／４が１%、10YR２／１が１%まじる。押すと３mmへこむ。	120	16	３住内	床面下で検出	
PT95	10YR２／１に10YR４／６が５%まじる。押すと５mmへこむ。	32	25	53a住内		
PT96	10YR２／１に10YR３／１が20%、10YR４／６が２%まじる。３mmへこむ。	23	20	53b住内	床面で検出	PT126と切合か不明
PT97	7.5YR３／２に7.5YR２／１が10%、10YR４／６が７%まじる。しまる。	15	6	53b住内	床面下で検出	
PT98	7.5YR３／２に7.5YR２／１が20%、10YR４／６が１%まじる。押すと２mmへこむ。	19	27	53a住内		
PT99	10YR２／１に10YR1.7／１が３%、10YR４／６が10%まじる。押すと３mmへこむ。	24	9	48住内	床面で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT100	10YR２／１に10YR1.7／１が10%、10YR４／６が10%まじる。しまる。	29	12	48住内	床面で検出	
PT101	10YR３／２に10YR２／１が２%、10YR４／６が10%、５YR４／６が１%未満まじる。押すと２mmへこむ。	63×39	5	46住内	床面下で検出	PT31に切られる
PT102	10YR３／２に10YR４／６が10%、５YR４／６が３%、５YR４／４が１%、炭化物粒子が１%まじる。押すと１mmへこむ。	20	9	46住内	床面下で検出	
PT103	10YR３／２に10YR２／１が２%、10YR４／６が20%まじる。しまる。	51	39	55住内		
PT104	10YR４／６に10YR３／２が３%まじる。しまる。	28	9	７住内	床面下で検出	
PT105	10YR２／１に10YR４／６が10%、５YR４／６が１%、５YR５／８が１%、炭化物粒子１%まじる。押すと２mmへこむ。	30	25	７住内	床面下で検出	
PT106	10YR３／２に10YR４／６が20%、５YR５／８が１%、10YR２／１が１%まじる。しまる。	28	3	７住内	床面下で検出	20号土坑を切る
PT107	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が３%、５YR４／６が10%まじる。押すと２mmへこむ。	60	20	３住内	床面下で検出	
PT108	10YR３／１に10YR５／３が３%、10YR６／４が１%、焼土１%、炭化物粒子１%まじる。しまる	37	10	49住内	床面下で検出	
PT109	10YR３／２に10YR３／１が２%、10YR４／６が10%、10YR６／４が１%、焼土１%、炭化物粒子１%まじる。しまる。	71	25	49住内	床面で検出	
PT111	10YR３／１に焼土１%。しまる。	55	27	49住内	床面下で検出	
PT112	10YR３／１に10YR４／３が30%、焼土１%まじる。しまる。	60	42	49住内	床面下で検出	
PT113	10YR３／２に10YR４／４が15%まじる。しまる	22	10	49住内	床面下で検出	
PT114	10YR３／２に10YR５／３が１%、焼土１%まじる。しまる。	37	20	58住内	床面で検出	40号土坑を切る
PT115	10YR３／２に10YR５／４が２%まじる。かたくしまる。	27.5	14	58住内	床面で検出	
PT116	10YR４／２に10YR５／４が７%、10YR３／１が１%、焼土１%まじる。しまる。	33	8	58住内	床面下で検出	
PT117	10YR４／２に10YR５／４が１%、焼土１%、炭化物粒子１%まじる。	26	15	58住内	床面で検出	
PT118	7.5YR４／４に10YR６／６が30%、10YR４／２が３%10YR３／３が５%、焼土１%、炭化物粒子１%。まじる。	34	17	58住内	床面下で検出	24号土坑に切られる
PT119		32		16住内	床面で検出	第44図参照
PT120		40×30		16住内	床面下で検出	第44図参照
PT121	10YR４／２に10YR５／４が１%まじる。押すと２mmへこむ。	35	21	19住内	床面で検出	
PT122	10YR４／２に焼土１%、炭化物粒子１%まじる。	32	10	19住内	床面下で検出	土器１点あり　PT125切合不明
PT123	10YR３／２に10YR３／４が30%まじる。	48	16.5	19住内	床面で検出	土器１点あり
PT124	10YR４／２に10YR５／６が10%まじる。	33	23	19住内	床面で検出	
PT125	7.5YR３／２に10YR５／６が10%、５YR３／６が１%まじる。押すと２mmへこむ。	36	6	19住内	床面下で検出	PT122切合不明
PT126	10YR1.7／１に10YR５／６が20%まじる。しまる。	20	13	53b住内		PT96と切合不明
PT127		41	17	17住内	床面で検出	第48図参照
PT128	10YR５／６に10YR２／１が３%、10YR1.7／１が１%未満まじる。しまる。	28	6	16住内	床面下で検出	
PT129	10YR５／６に10YR２／１が１%まじる。しまる。	28	8.5	16住内	床面下で検出	
PT130	10YR５／６に10YR４／２が２%まじる。しまる。	15	7	16住内	床面下で検出	
PT131	10YR２／１に10YR５／６が20%まじる。	20	11	16住内	床面下で検出	
PT132	10YR３／２に10YR５／６が10%まじる	40	53	19住内	床面で検出	19住柱穴
PT133	10YR３／２に10YR５／６が10%まじる。	30	67	19住内	床面で検出	19住柱穴
PT134	10YR３／２に10YR５／６が10%まじる。	30	88	19住内	床面で検出	19住柱穴
PT135	10YR５／６に10YR10%　５／６　10YR２／１が２%まじる。	33	77	19住内	床面で検出	19住柱穴
PT136	7.5YR３／２に10YR５／６が20%、５YR４／４が５%。５YR４／６が３%、炭化物粒子３%まじる。しまる。	27	15	19住内	床面下で検出	PT125切合不明
PT137	7.5YR３／２に10YR４／４が５%、５YR３／６が１%、５YR４／６が１%、炭化物粒子１%まじる。しまる。	19	4.5	６住内	床面下で検出	
PT138	7.5YR３／２に10YR４／４が20%、５YR４／４が１%、直径１cmの炭化物粒子が１個まじる。しまる。	46	4	６住内	床面下で検出	
PT139	10YR４／２に10YR５／６が５%、５YR４／６が１%、５YR４／８が１%まじる。しまる。	30	4	59住内		
PT140	10YR４／２に10YR５／６が10%、５YR４／６が１%未満まじる。しまる。	24	6	59住内		
PT141	10YR３／２に10YR４／６が５%まじる。	43	22	59住内		
PT142	10YR３／２に10YR５／６が10%、５YR４／８が２%、10YR３／３が１%、炭化物粒子１%まじる。しまる。	42	13	59住内		PT144に切られる
PT143	10YR３／２に10YR５／６が３%まじる。しまる。	37	8	59住内		
PT144	7.5YR３／２に10YR４／６が５%、５YR４／６が10%まじる。しまる。	51	8	59住内		PT142を切る
PT145	10YR３／２に10YR４／６が２%まじる。	17	11	59住内		
PT146	10YR３／２に10YR４／６が５%、５YR５／８が１%、５YR４／６が１%、１cm大の炭化物粒子２個まじる。しまる。	44	10	59住内		
PT147	10YR３／２に10YR４／６が10%、５YR３／６が１%未満、５YR５／６が１%未満、10YR２／１が１%まじる。しまる。	48	13	３住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT148	10YR３／２に10YR５／６が５％、10YR２／１が５％まじる。押すと３mmへこむ。	25	10	53b住内	床面下で検出	PT149を切る
PT149	10YR２／１に10YR５／６が３％、10YR1.7／１が１％まじる。押すと３mmへこむ。	30	26	53b住内	床面で検出	PT148に切られる
PT150	10YR３／２に10YR４／６が５％、５YR４／６が１％、10YR1.7／１が２％まじる。押すと３mmへこむ。	33	29	53a住内		
PT151	10YR３／２に10YR４／６が７％、５YR４／８が１％未満、10YR２／１が５％まじる。押すと３mmへこむ。	50	11	53b住内	床面下で検出	
PT152	10YR２／１に10YR４／６が10％、５YR４／６が２％、５YR６／６が３％、直径１cmの炭化物粒子が２個まじる。押すと２mmへこむ。	46	11	53b住内	床面下で検出	
PT153	10YR４／２に10YR５／６が５％、10YR1.7／１が５％、５YR３／６が３％。５YR４／６が２％、５YR６／６が１％まじる。押すと２mmへこむ。	31	8	53b住内	床面下で検出	
PT154	10YR２／１に10YR４／６が10％、５YR４／６が１％未満まじる。しまる。	11	3	53b住内	床面下で検出	
PT155	10YR２／１に10YR　10％、５YR５／６が１％未満まじる。しまる。	17	6	53b住内	床面下で検出	
PT156	10YR３／３に10YR５／６が10％、５YR４／６が５％、10YR２／１が３％まじる。押すと３mmへこむ。	35	19	53b住内	床面で検出	
PT157	10YR３／２に10YR５／６が７％、５YR５／６が１％、炭化物粒子１％まじる。押すと３mmへこむ。	30	9.5	53b住内	床面下で検出	
PT158	10YR３／２に10YR５／６が10％、５YR４／６が１％、５YR３／６が１％まじる。押すと２mmへこむ	40	11	53b住内	床面下で検出	
PT159	10YR４／６に10YR２／１が３％、10YR３／２が１％まじる。	28	11	53b住内	床面下で検出	
PT160	10YR２／１に10YR４／６が10％まじる。押すと３mmへこむ。	27	12	53b住内	床面下で検出	
PT161	10YR３／２に10YR５／６が20％、10YR1.7／１が１％まじる。しまる。	36	22	64住内	床面で検出	
PT162	10YR３／２に10YR５／６が３％、５YR４／４が１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	27	21	64住内	床面で検出	
PT163	10YR３／２に10YR５／６が７％、10YR1.7／１が１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	26	13	64住内	床面下で検出	
PT164	10YR３／２に10YR５／６が10％、10YR1.7／１が３％、５YR４／６が２％まじる。しまる。	28	17	64住内	床面で検出	39号土坑に切られる
PT165	10YR３／４に10YR４／６が20％、10YR２／１が５％、５YR４／６が１％まじる。	24	23	64住内	床面下で検出	39号土坑を切る
PT166	10YR３／４に10YR４／６が20％、炭化物粒子１％未満まじる。押すと２mmへこむ。	18.5	10	62住内	床面で検出	
PT167	10YR２／２に10YR４／４が１％、炭化物粒子１％まじる。しまる。	33	21	7住東8m		
PT168	10YR２／２に10YR４／６が10％、焼土１％未満まじる。	43	25	11号掘立		
PT169	10YR３／４に10YR４／６が２％、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	40.5	30.5	11号掘立		
PT170	10YR３／４に10YR４／６が１％未満まじる、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	22	24	3住西6m		PT171を切る
PT171	10YR２／３に10YR４／６が30％、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	33.5	23.5	3住西6m		PT170に切られる
PT172	10YR２／２に10YR５／６が10％まじる。しまる。	20	28	4住北7m		
PT173	10YR２／３に10YR４／６が80％、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。所々２mmへこむ。しまる。	29	13	4住北7m		
PT174	10YR２／２に10YR４／６が10％、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	27.5	14	7住東4m		
PT175	10YR２／３に10YR３／４が10％、焼土１％未満まじる。しまる。	31	23.5	9号掘立		
PT176	10YR３／４に10YR４／６が20％、焼土１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	22	22.5	62住内	床面下で検出	
PT177	10YR３／４に10YR４／６が１％、焼土１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	24.5	25.5	9号掘立		
PT178	10YR２／３に10YR４／６が60％、焼土１％未満まじる。しまる。	29.5	17	9号掘立		
PT179	10YR２／３に10YR３／４が３％まじる。しまる。	20	20.5	4住北東4m		
PT180	10YR３／４に10YR４／６が２％まじる。しまる。	18	10	4住東3m		
PT181	10YR２／３に10YR３／４が60％まじる。押すと３mmへこむ。	19	12	10号掘立		
PT182	10YR３／４に10YR４／６が１％まじる。しまる。	24	21	3住西9m		
PT183	10YR３／４に10YR４／６が２％まじる。しまる。	24	14	4住北4m		
PT184	10YR３／４に10YR４／６が20％まじる。押すと３mmへこむ。	26	40.5	11号掘立		
PT185	10YR３／３に10YR３／４が20％まじる。しまる。	22	12	3住北東5m		
PT186	10YR３／４に10YR４／６が10％、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	32	19.5	10号掘立		PT191と切合不明
PT187	10YR３／４に10YR４／６のブロックが10％まじる。しまる。	28	19	11号掘立		
PT188	10YR２／３に10YR４／６が10％まじる。しまる。	26	8	3住南10m		
PT189	10YR３／４に10YR４／６が10％まじる。しまる。	24	20	3住南10m		
PT190	10YR２／３に10YR３／４が２％、焼土１％未満まじる。しまる。	18	12.5	3住南13m		
PT191	10YR３／４に10YR４／６が２％、焼土１％未満まじる。しまる。	26.5	33.5	10号掘立		PT186と切合不明
PT192	10YR２／３に10YR３／４が１％、焼土１％未満まじる。しまる。	27.5	11	3住西9m		
PT193	10YR３／３に10YR３／４が40％、焼土１％まじる。しまる。	47.5	9.5	4住東3m		
PT194	10YR３／４に10YR４／６のブロックが１％、焼土１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	25	24.5	4住東10m		
PT195	10YR３／３に10YR３／４が20％まじる。しまる。	21	30.5	4住北5m		
PT196	10YR３／４に10YR４／６のブロックが１％まじる。しまる。	40	48.5	11号掘立		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT197	10YR２／３に10YR３／４が２％まじる。しまる	18.5	10	3住南東12m		PT205を切る
PT198	10YR２／３に10YR３／４が10%まじる。しまる	24	5	4住北３m		
PT199	10YR３／４に10YR４／６が10%、炭化物粒子１％未満まじる。しまる。	26	27	10号掘立		
PT200	10YR３／４に10YR４／６が２％、焼土１％未満まじる。しまる。	23.5	24	10号掘立		
PT201	10YR２／３に10YR４／６が50%まじる。しまる。	48	11.5	4住北東7m		
PT202	10YR３／４に10YR４／６が２％まじる。しまる。	26.5	11	10号掘立		
PT203	10YR３／３に10YR４／６が１％未満まじる。しまる。	27	61	10号掘立		PT223を切る
PT204	10YR３／４に10YR４／６が２％まじる。押すと２mmへこむ。	33.5	28	11号掘立		
PT205	10YR３／４に10YR４／６が２％まじる。しまる。	28	43	11号掘立		PT197に切られる
PT206	10YR３／４に10YR４／６が１％まじる。しまる。	30.5	35	11号掘立		
PT207	10YR２／３に10YR４／６が10%、炭化物粒子・焼土１％未満まじる。しまる。	38	30	11号掘立		
PT208	10YR３／４に10YR４／６が２％、炭化物粒子１％未満まじる。押すと２mmへこむ。	28.5	76	10号掘立		
PT209	10YR３／４に10YR３／３が50%まじる。押すと２mmへこむ。	24	15	3住南西9m		
PT210	10YR４／６に10YR３／４が10%まじる。しまる。	21	10	3住南西9m		
PT211	10YR３／４に10YR４／６が30%、炭化物粒子１％未満まじる。しまる。	28	57	10号掘立		
PT212	10YR２／２。しまる。	22.5	33.5	72住東4m		
PT213	10YR２／２に10YR４／６が10%、炭化物粒子１％未満まじる。しまる。	28.5	38.5	３号掘立		
PT214	10YR２／３に10YR３／３ば20%まじる。しまる。	22	21	３号掘立		
PT215	10YR２／３に10YR４／６が30%まじる。しまる。	19	11	３号掘立		
PT216	10YR３／４に10YR４／６が10%まじる。しまる。	21.5	24.5	31住西10m		
PT217	10YR４／６に10YR２／３が40%まじる。しまる。	24	19	31住西10m		
PT218	10YR２／３に10YR３／３が１％まじる。しまる。	29	16	6住東1m		
PT219	10YR３／４に10YR３／３が１％、焼土１％未満まじる。しまる。	24	18	10号掘立		
PT220	10YR２／３に10YR３／３が１％まじる。しまる。	31	12	59住北東0.2m		
PT221	10YR３／４に10YR３／３が２％、焼土１％未満まじる。しまる。	24	35	９号掘立		
PT222	10YR３／４に10YR４／６が１％、焼土１％未満まじる。しまる。	21	12	９号掘立		
PT223	10YR３／４に10YR４／６が10%まじる。しまる。	27.5	55	10号掘立		PT203に切られる
PT224	10YR２／３に10YR３／３が１％まじる。しまる。	21	19.5	３号掘立		
PT225	10YR２／３に10YR３／４が２％まじる。しまる。	26.5	21	３号掘立		
PT226	10YR２／３に10YR３／４が１％まじる。押すと２mmへこむ。	19.5	12	３号掘立		
PT227	10YR３／２に10YR３／４が15%、10YR２／１が５％、焼土１cm角ブロックが１％まじる。押すと２mmへこむ。	26	12	３号掘立		
PT228	10YR２／３に10YR３／４が40%、10YR２／１の小ブロックが５％まじる。押すと１mmへこむ。	24	15	３号掘立		
PT229	10YR２／３に10YR４／４が20%まじる。押すと１mmへこむ。	28	24	13住東6m		
PT230	10YR２／３に10YR４／４が５％まじる。押すと２mmへこむ。	28	35	13住東6m		
PT231	7.5YR２／２に7.5YR４／４の小ブロックが30%まじる。しまる。	18	6	64住内	床面下で検出	
PT232		16	20	62住内	床面下で検出	
PT233	7.5YR２／２に7.5YR４／４が１％、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。押すと２mmへこむ。	17	11	64住内	床面下で検出	
PT234	7.5YR２／２に7.5YR４／４が15%、焼土粒子が２％、炭化物粒子がわずかにまじる。ややしまる。	31	9	64住内	床面下で検出	
PT235	7.5YR３／２に7.5YR４／６が20%、7.5YR２／１の小ブロックが１％、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。ややしまる。	23	6	64住内	床面下で検出	
PT236	10YR２／３に10YR３／４が20%、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	22	18	３号掘立		
PT237	10YR２／２に10YR４／６が30%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	22	15	３号掘立		
PT238	10YR２／２に10YR３／４が20%、焼土粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	18	8	３号掘立		
PT239	7.5YR２／１に7.5YR３／３が５％まじる。	17	9	6住北3m		
PT240	10YR３／２に10YR４／４が10%、10YR２／１が１％、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	40	44	11号掘立		PT246を切る
PT241	10YR３／３に10YR２／１が40%、10YR４／４が20%まじる。押すと１mmへこむ。	39	39	11号掘立		
PT242	10YR２／３に10YR４／４が15%、10YR２／１の小ブロックが２％まじる。押すとややへこむ。	31	15	11号掘立		
PT243	10YR２／２に10YR４／４が７％まじる。押すと２mmへこむ。	32	23	11号掘立		
PT244	10YR２／３に10YR４／４が７％、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すと２mmへこむ。	44	33	11号掘立		
PT245	10YR２／３に10YR４／４が40%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと２mmへこむ。	23	27	11号掘立		
PT246	10YR２／３に10YR４／４が20%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すと２mmへこむ。	30	15	7住南東7m		PT240に切られる
PT247	7.5YR２／２に7.5YR４／４が15%、炭化物粒子が２％、焼土粒子がわずかにまじる。押すと２mmへこむ。	17	15	56住内	床面で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT248	7.5YR２／２に7.5YR４／４が15%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すとへこむ。	50		56住内	床面下で検出	
PT249	10YR３／２に10YR５／６が10%、５YR４／６が１%、炭化物粒子がわずかにまじる。	14	27.5	64住内	床面下で検出	
PT250	7.5YR３／３に10YR５／６が15%、焼土粒子の小ブロックが３%まじる。押すと２mmへこむ（もろい）。	15	19	56住内	床面で検出	
PT251	10YR２／１に10YR４／６が10%まじる。押すと３mmへこむ。	34	24	４号掘立		
PT252	10YR２／３に10YR３／４が10%、10YR２／１が１%未満まじる。押すと３mmへこむ。	38	19	４号掘立		
PT253	10YR２／３に10YR３／４が７%、10YR２／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	33	17	４号掘立		
PT254	10YR３／２に10YR３／４が３%まじる。押すと２mmへこむ。	30	15	５号掘立		
PT255	10YR３／２に10YR３／４が７%まじる。押すと２mmへこむ。	23	10	５号掘立、６号掘立		
PT256	10YR２／３に10YR３／４が５%、10YR２／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	38	31	５号掘立		
PT257	10YR２／３に10YR３／４が７%まじる。しまる。	26.5	11.5	５号掘立		
PT258	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が２%まじる。しまる。	36	13	５号掘立		
PT259	10YR２／３に10YR３／４が２%まじる。しまる。	30	15	５号掘立		
PT260	10YR２／１に10YR３／４が10%、10YR1.7／１が１%まじる。しまる。	30	22	５号掘立、６号掘立		
PT261	10YR２／１に10YR５／６が５%、10YR1.7／１が１%まじる。しまる。	25	7	６号掘立		
PT262	10YR２／２に10YR４／６が２%、10YR２／１が１%未満まじる。しまる。	28	22	４号掘立		
PT263	10YR２／１に10YR５／６が５%まじる。押すと３mmへこむ。	40	28	４号掘立		
PT264	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が３%、10YR２／１が１%未満まじる。押すと３mmへこむ。	43	26	１号掘立		
PT265	10YR３／２に10YR５／６が５%、10YR1.7／１が１%まじる。	26	14	18住北西８m		
PT266	10YR３／２に10YR５／６が３%、10YR２／１が１%未満まじる。しまる。	32	11	４号掘立		
PT267	10YR２／１に10YR４／６が10%まじる。しまる。	32	34	６号掘立		
PT268	10YR２／１に10YR４／６が10%まじる。しまる。	25	33	５号掘立		
PT269	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が２%、５YR４／４が１%まじる。押すと３mmへこむ。	33	16	67住内	床面で検出	
PT270	10YR３／２に10YR５／６が10%、10YR２／１が１%まじる。押すと３mmへこむ。	15	12	67住内	床面下で検出	
PT271	10YR２／１に10YR４／６が20%、５YR４／６が１%まじる。押すと３mmへこむ。	23	30	67住内	床面で検出	
PT272	10YR３／２に10YR４／６が５%、５YR４／６が１%、炭化物粒子が１%まじる。押すと２mmへこむ。	23	39	67住内	床面で検出	
PT273	10YR２／１に10YR５／６が５%、５YR４／６が２%、５YR４／８が２%、炭化物粒子が１%まじる。押すと３mmへこむ。	36	7	67住内	床面で検出	
PT274	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が３%まじる。押すと２mmへこむ。	38	24	５号掘立		
PT275	10YR２／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が５%、炭化物粒子が１%まじる。押すと２mmへこむ。	27	16	５号掘立		
PT276	10YR２／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が２%まじる。押すと２mmへこむ。	29	11	５号掘立		
PT277	10YR３／２に10YR４／６が５%、10YR２／１が１%まじる。しまる。	20	10	68住北東４m		
PT278	10YR５／４に10YR２／１が７%、10YR４／６が10%、10YR1.7／１が２%まじる。しまる。	51	23	68住北東４m		54号土坑を切る
PT279	7.5YR３／２に５YR４／８が２%、10YR３／２が５%、10YR４／６が10%まじる。	24	4	66住内		
PT280	10YR３／２に10YR５／６が10%、10YR1.7／１が７%、５YR５／８が２%まじる。しまる。	46	8	66住内		
PT281	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR５／６が１%未満まじる。しまる。	38	5.5	63住内	床面下で検出	
PT282	10YR３／２に10YR６／６が10%、５YR５／８が１%、7.5YR６／８が１%、7.5YR６／６が１%、炭化物粒子が１%まじる。	34	13	63住内	床面で検出	
PT283	10YR３／２に10YR４／６が20%、５YR５／８が１%未満、炭化物粒子１%未満まじる。	17	20.5	63住内	床面下で検出	
PT284	7.5YR３／２に５YR５／８が10%、10YR７／６が３%、炭化物粒子が３%まじる。	53	21	63住内	床面で検出	PT285を切る
PT285	7.5YR３／２に10YR８／６が５%、５YR４／６が２%、10YR２／１が10%まじる。	52	50	63住内	床面で検出	PT284に切られる
PT286	10YR３／２に10YR４／６が３%、10YR２／１が３%まじる。しまる。	29	7	68住北東７m		
PT287	10YR２／２に10YR４／６が２%まじる。しまる。	22	5	６号掘立		
PT288	10YR２／２に10YR４／６が５%まじる。しまる。	29	9	１号掘立		
PT289	10YR２／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が３%まじる。しまる。	42	15	１号掘立		
PT290	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／２が７%、10YR1.7／１が１%まじる。押すと２mmへこむ。	46	10.5	１号掘立		
PT291	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR1.7／１が５%まじる。押すと３mmへこむ。	50	20	１号掘立		
PT292	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR1.7／１が１%まじる。押すと３mmへこむ。	50	13	１号掘立		
PT293	10YR２／２に10YR４／６が５%まじる。押すと２mmへこむ。	60	40	１号掘立		
PT294	10YR２／２に10YR３／２が10%、10YR４／６が15%、炭化物粒子１%まじる。押すと１mmへこむ。	56	15	１号掘立		
PT295	10YR３／２に10YR４／６が15%、10YR1.7／１が５%まじる。押すと３mmへこむ。	49	18	１号掘立		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT296	10YR３／２に10YR４／６が７％、10YR２／２が15%まじる。しまる。	60	10	１号掘立		
PT297	10YR３／２に10YR４／６が30%、10YR２／２が１％まじる。しまる。	30	6	18西北西12m		
PT298	10YR３／２に10YR２／２が10%、10YR４／６が５％、10YR1.7／１が２％まじる。しまる。	19	12	18北12m		
PT299	10YR３／２に10YR２／２が２％、10YR４／６が５％まじる。しまる。	24	11	18北11m		
PT300	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／２が１％まじる。しまる。	22	8.5	16住北16m		
PT301	7.5YR２／３に7.5YR５／６が５％、焼土粒子がわずかにまじる。	29	6	56住内	床面下で検出	
PT302	7.5YR３／４に10YR５／６の小ブロックが20%、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	31	22	10号掘立		
PT303	10YR３／４に10YR５／６が30%、10YR２／１の小ブロックが２％まじる。押す１mmへこむ。	36	17	10号掘立		
PT304	10YR３／４に10YR３／２の小ブロックが10%まじる。押すと１mmへこむ。	23	11	10号掘立		
PT305	10YR３／４に10YR４／６が10%まじる。押すと１mmへこむ。	27	12	10号掘立		
PT306	10YR３／４に10YR４／６が20%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	25	24	10号掘立		
PT307	7.5YR３／２に7.5YR４／４の小ブロックが10%まじる。押すと１mmへこむ。	20	16	３住西５m		
PT308	7.5YR３／２に7.5YR４／４の小ブロックが10%まじる。押すと１mmへこむ。	29	15	10号掘立		
PT309	7.5YR３／２に7.5YR４／４が10%、焼土・炭化物粒子がわずかにまじる。粘土質。固くしまる。	26	6	３住西２m		
PT310	7.5YR３／２に10YR５／６の小ブロックが10%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	26	11	３住西１m		
PT311	7.5YR３／２に7.5YR５／６が３％、焼土粒子がわずかにまじる。固くしまる。	27	9	３号掘立		
PT312	7.5YR３／２に7.5YR５／６が５％、焼土粒子がわずかにまじる。固くしまる。	24	6	３住南１m		
PT313	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。しまる。	27	10	９号掘立		
PT314	7.5YR２／２に7.5YR４／４が15%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。固くしまる。	33	9	９号掘立		
PT315	7.5YR２／２に7.5YR４／４が40%、炭化物粒子がわずかにまじる。しまる。	29	20	９号掘立		
PT316	7.5YR２／２に10YR４／６が40%、炭化物粒子がわずかにまじる。しまる。	19	6	９号掘立		
PT317	7.5YR３／２に7.5YR４／４が20%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	21	33	57東７m		
PT318	7.5YR２／２に7.5YR４／４が40%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	41	30	３住西10m		
PT319	7.5YR３／２に7.5YR４／６が30%、炭化物粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	38	7	59住北１m		
PT320	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30%まじる。押すと１mmへこむ。	34	15	57住南８m		
PT321	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30%、炭化物粒子がわずかにまじる。しまる。	33	14	57住南８m		
PT322	7.5YR２／２に7.5YR４／４が15%まじる。押すと１mmへこむ。	25	15	２号掘立		
PT323	7.5YR３／４に7.5YR２／１が40%まじる。押すと１mmへこむ。	37	9	21号掘立		
PT324	7.5YR３／４に7.5YR３／２が40%、7.5YR４／６が５％まじる。押すと１mmへこむ。	29	12	21号掘立		
PT325	7.5YR２／１に7.5YR２／２が30%、7.5YR３／４が20%まじる。押すと１mmへこむ。	31	9	21号掘立		
PT326	7.5YR２／２に7.5YR２／１が30%、7.5YR３／４が10%まじる。押すと１mmへこむ。	37	21	21号掘立		
PT327	7.5YR２／２に7.5YR２／１が20%、7.5YR４／６が30%まじる。押すと１mmへこむ。	33	15	21号掘立		
PT328	7.5YR３／２に7.5YR２／１が10%、7.5YR５／６が15%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	32	11	15住南東４m		
PT329	7.5YR３／２に7.5YR２／１が30%、7.5YR４／６が20%まじる。しまる。	26	7	63住東５m		
PT330	7.5YR４／４に7.5YR２／１が30%、7.5YR３／２が40%まじる。押すと１mmへこむ。	43	16	63住東４m		
PT331	10YR３／２に10YR４／６が３％まじる。押すと２mmへこむ。	17	6	16住北14m		
PT332	10YR３／２に10YR４／６が５％まじる。押すと３mmへこむ。	20	11	16住北12m		
PT333	10YR３／２に10YR２／２が２％、10YR４／６が10%まじる。押すと１mmへこむ。	27	10.5	18住南西４m		
PT334	10YR３／２に10YR４／６が７％、10YR２／２が２％まじる。押すと２mmへこむ。	34	14.5	７号掘立		
PT335	10YR２／２に10YR４／６が30%、10YR1.7／１が１％まじる。押すと２mmへこむ。	41	24	７号掘立		
PT336	10YR４／６に10YR２／２が３％、10YR４／２が１％、10YR２／１が１％まじる。押すと１mmへこむ。	53	53	68住東10m		
PT337	10YR２／２に10YR1.7／１が10%、10YR４／６が３％、10YR３／３が３％まじる。しまる。	24	15.5	17住西９m		
PT338	10YR２／２に10YR４／６が５％、10YR1.7／１が１％未満まじる。しまる。	28	15	７号掘立		
PT339	7.5YR３／４に10YR４／６が10%、10YR２／２が１％まじる。押すと３mmへこむ。	22	13	17住西12m		
PT340	7.5YR３／４に10YR４／６が20%、10YR1.7／１が５％まじる。押すと３mmへこむ。	27	28	７号掘立		
PT341	7.5YR３／４に10YR５／４が７％、10YR６／４が２％、５YR４／６が２％、５YR５／８が２％、炭化物粒子が１％未満まじる。しまる。	50	7.5	69住内	床面下で検出	
PT342	10YR３／２に10YR４／６が２％まじる。しまる。	24	4	18住北西５m		
PT343	10YR４／６に10YR３／２が５％、10YR1.7／１が３％まじる。しまる。	22	6	４号掘立		
PT344	10YR３／２に10YR４／６が３％、10YR1.7／１が１％未満まじる。しまる。	34	7	７号掘立		
PT345	10YR２／２に10YR４／６が10%、５YR４／６が１％未満まじる。しまる。	30	13.5	７号掘立		
PT346	10YR２／２に10YR４／６が15%まじる。しまる。	40	11	68住南東６m		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT347	10YR２／２に10YR４／６が５％まじる。しまる。	23	6	20住東１m		
PT348	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が２％、５YR４／６が１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	32	21	21住内		土器片
PT349	10YR３／２に10YR４／６が20%まじる。しまる。	31	20	21住内		21住柱穴
PT350	10YR４／２に10YR５／６が10%、10YR２／１が１％まじる。しまる。	45	22	21住南東４m		
PT351	10YR３／２に10YR５／６が10%、炭化物粒子３％、５YR５／６が１％、５YR６／６が３％まじる。しまる。	37	16	26住内	床面下で検出	
PT352	10YR３／２に10YR５／６が10%、10YR２／１が２％、５YR４／６が１％未満、５YR５／６が１％まじる。押すと３mmへこむ。	30	8	26住内	床面で検出	
PT353	7.5YR３／２に10YR５／６が20%、10YR1.7／１が１％まじる。押すと３mmへこむ。	35	50	21住内	床面で検出	21住柱穴
PT354	10YR４／２に10YR５／６が７％、５YR４／８が１％未満、５YR５／６が１％未満まじる。押すと３mmへこむ。	30	26	21住内	床面で検出	71号土坑に切られる　21住柱穴
PT355	7.5YR３／２に10YR５／６が15%、５YR４／６が１％未満まじる。	110	15	21住内		周溝に切られる
PT356	10YR３／２に10YR４／６が20%しまる。ややしまる。	48	13	21住内		PT348に切られる
PT357	10YR２／２に焼土・炭化物粒子が２％まじる。押すとへこむ。	40	14	21住内	床面下で検出	
PT358	10YR２／２に10YR４／６が５％まじる。ややしまる。	31	26	65住西１m		
PT359	10YR２／２に10YR４／６が３％まじる。ややしまる。	18	11	65住西0.5m		
PT360	10YR３／２に10YR４／６が10%まじる。押すと２mmへこむ。	24	16.5	65住西１m		
PT361	7.5YR２／２に7.5YR４／４が20%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。しまる。	31	14	63住東２m		
PT362	7.5YR２／３に7.5YR４／４が10%まじる。押すと１mmへこむ。	24	16	63住南３m		
PT363	7.5YR３／２に7.5YR４／４が20%、炭・焼土粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	35	77	63住西４m		
PT364	7.5YR３／２に7.5YR５／６が20%まじる。しまる。	29	7	63住東１m		
PT365	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30%まじる。しまる。	21	29	63住東６m		
PT367	10YR２／３。押すとへこむ。	15	13	13住南東４m		
PT368	7.5YR２／２。押すとへこむ。	20	10	13住南東３m		
PT369	7.5YR２／２。押すとへこむ。	17	10	13住東４m		
PT370	10YR２／２。押すとへこむ。	23	27	13住東４m		
PT371	7.5YR２／２。押すとへこむ。	20	14	13住東４m		
PT372	7.5YR２／２に焼けた粘土のかたまり（0.5～１cm）で５YR４／６が15%、炭化物粒子３％未満まじる。押すとへこむ。	33	11	13住東４m		
PT373	10YR２／２。押すとへこむ。	20	13	３号掘立		
PT374	7.5YR２／３。押すとへこむ。	32	22	３号掘立		
PT375	10YR２／２。	25	20	３号掘立		
PT376	7.5YR２／２に５YR４／６が５％まじる。（焼けた粘土の固まり）。押すとへこむ。	17	20	31住西12m		
PT377	10YR２／２。押すとへこむ。	30	18	２号掘立		
PT378	10YR２／２。押すとへこむ。	22	28	２号掘立		
PT379	10YR２／３。押すとへこむ。	19	14	２号掘立		
PT380	10YR２／２。押すとへこむ。	26	10	31住西８m		
PT381	10YR２／３。押すとへこむ。	17	10	31住西10m		
PT382	10YR２／２。押すとへこむ。	27	40	13住東２m		
PT383	7.5YR３／２。押すとへこむ。	30	50	10号掘立		
PT384	7.5YR２／２。押すとへこむ。	30	31	10号掘立		
PT385	7.5YR２／２に炭化物粒子３％未満まじる。押すとへこむ。	50	31	11号掘立		
PT386	（柱痕）10YR３／３。押すとへこむ。（覆土）10YR３／４。押すとへこむ。	18×34	16	３住西16m		
PT387	7.5YR２／２。押すとへこむ。	26	8	10号掘立		
PT388	7.5YR２／２。押すとへこむ。	26	22	３住南西12m		
PT389	7.5YR２／２。押すとへこむ。	20	13	３住南西12m		
PT390	10YR２／２。押すとへこむ。	30	49	10号掘立		
PT391	7.5YR２／２に7.5YR４／４が10%まじる。押すとへこむ。	22	22	19住西北３m		
PT392	7.5YR２／２に7.5YR４／４が10%まじる。押すとへこむ。	28	12	19住西３m		
PT393	7.5YR２／２に7.5YR４／４が５％まじる。押すとへこむ。	23	12	19住南西４m		
PT394	10YR２／２。押すとややへこむ。	22	23	19住南西６m		
PT395	10YR２／１。押すとへこむ。	20	6	19住南西８m		
PT396	7.5YR２／３。押すとややへこむ。	26	20	19住西７m		
PT397	10YR２／２。押すとへこむ。	20	10	19住西６m		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置	備　　考（遺物など）
PT398	7.5YR２／２。押すとへこむ。	18	11	19住西８m	
PT399	10YR２／２。押すとへこむ。	18	10	19住西８m	
PT400	10YR２／２。押すとへこむ。	19	8	19住西10m	
PT401	10YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	20	8	19住西12m	
PT402	10YR２／２。底が固くしまる。押すとややへこむ。	20	8	19住西11m	
PT403	10YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	20	8	14号掘立	
PT404	10YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	28	19	19住西14m	
PT405	10YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	19	12	19住西13m	
PT406	10YR２／２。底が固くしまる。押すとへこむ。	18	7	19住東11m	
PT407	10YR２／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	20	7	15住南１m	
PT408	10YR２／２。押すとへこむ。	25	9	２号掘立	
PT409	10YR２／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	16	8	２号掘立	
PT410	7.5YR３／４。底が固くしまる。押すとややへこむ。	34	24	４住北12m	
PT411	10YR２／１。押すとややへこむ。	27	17	４住北８m	
PT412	10YR２／２。底が固くしまる。押すとややへこむ。	50	12	11号掘立	PT207に切られる
PT413	10YR２／２に焼土粒子５％混まじる。。押すとへこむ。	50	23	65住内	
PT414	10YR３／２に10YR４／４が20％、炭化物粒子のブロックが３％まじる。押すとへこむ。	50	74	13住北10m	
PT415	10YR３／２。押すとへこむ。	23	19	13住北８m	
PT416	（柱痕）10YR３／２に10YR４／４が15％、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。（覆土）10YR３／３に10YR４／４が30％、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	34×57	116	13住北東20m	
PT417	7.5YR３／２に7.5YR２／１が40％、7.5YR４／４が20％、炭化物粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとへこむ。	31	24	13号掘立	
PT418	7.5YR２／１に7.5YR４／４が30％まじる。押すとへこむ。	34	13	13号掘立	
PT419	7.5YR２／２に7.5YR２／１が30％、7.5YR４／４が30％まじる。押すとへこむ。	27	20	13号掘立	
PT420	7.5YR３／３に7.5YR２／１が30％まじる。底が固くしまる。しまる。	24	8	13号掘立	
PT421	7.5YR３／２。底が固くしまる。押すとややへこむ。	20	7	３住東７m	
PT422	7.5YR２／２。底が固くしまる。押すとへこむ。	29	21	３住東10m	
PT423	7.5YR２／２。底が固くしまる。押すとへこむ。	23	18	13号掘立	
PT424	7.5YR３／２。底が固くしまる。押すとややへこむ。	18	21	13号掘立	
PT425	7.5YR３／２に7.5YR４／４が30％、炭化物粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	30	7	３住東11m	
PT426	7.5YR３／２に7.5YR４／４が40％、炭化物粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとへこむ。	25	14	13号掘立	
PT427	7.5YR３／２。押すとへこむ。	26	65	３住東７m	
PT428	7.5YR３／２に7.5YR４／４が30％まじる。底が固くしまる。押すとへこむ。	20	12	３住東５m	
PT429	7.5YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	27	15	３住東３m	
PT431	7.5YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	25	14	12号掘立	
PT432	7.5YR２／２に7.5YR４／４が10％まじる。押すとややへこむ。	35	33	12号掘立	
PT433	7.5YR３／２に7.5YR４／４が20％まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	28	9	12号掘立	
PT434	7.5YR４／４に7.5YR２／１が10％まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	23	5	12号掘立	
PT435	7.5YR２／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	22	6	12号掘立	
PT436	7.5YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	36	21	12号掘立	PT432と切り合う
PT437	7.5YR３／２に7.5YR４／４が30％まじる。ややしまる。	32	76	73住北東９m	
PT438	7.5YR２／２に7.5YR４／４が10％まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	48	29	13住東南１m	
PT439	7.5YR２／１に7.5YR４／３が20％、焼土粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	24	4	13住東南２m	
PT440	7.5YR３／２。押すとややへこむ。	23	6	13住東南３m	
PT441	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30％まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	28	18	64住北0.3m	
PT442	7.5YR３／２に炭・焼土粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	34	28	13住東南１m	
PT443	（柱痕）7.5YR２／２。押すとややへこむ。（覆土）7.5YR３／２。しまる。	18×27	27	12号掘立	
PT444	7.5YR２／２。底が固くしまる。押すとややしまる。	21	17	３号掘立	
PT446	10YR２／２。押すとへこむ。	24	30	72住東２m	63号土坑と切り合う
PT447	10YR２／２。底が固くしまる。押すとへこむ。	22	19	６住南４m	
PT448	10YR２／１。底が固くしまる。押すとへこむ。	27	20	９住西南西７m	
PT449	10YR２／２。押すとへこむ。	20	10	13住東７m	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT450	7.5YR３／２。底しまる。ややしまる。	22	30	20住南13m		
PT451	10YR３／２に焼土・炭・粒子５％まじる。押すとややへこむ。	32	23	53b住内	床面で検出	
PT452	10YR３／２に焼土・炭・粒子５％まじる。押すとへこむ。	32	20	53b住内	床面で検出	
PT453	10YR２／１に焼土粒子わずかにまじる。しまる。	20	24	64住南１m		
PT454	7.5YR２／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	29	14	73住南東７m		
PT455	7.5YR1.7／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	18	8	73住南東８m		
PT456	7.5YR1.7／１。押すとややへこむ。	18	7	73住南東４m		
PT457	7.5YR1.7／１。押すとややへこむ。	25	15	18号掘立		
PT458	7.5YR1.7／１に7.5YR３／２が30％まじる。ややしまる。	32	34	18号掘立		
PT459	7.5YR２／１に7.5YR４／４が20％まじる。ややしまる。	28	17	18号掘立		
PT460	7.5YR２／１に7.5YR４／４が40％まじる。押すとややへこむ。	24	28	19号掘立		
PT461	7.5YR1.7／１に7.5YR４／４が10％まじる。底しまる。押すとややへこむ。	32	22	19号掘立		
PT462	7.5YR1.7／１に7.5YR４／４が15％まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	32	51	73住南東13m		
PT463	7.5YR２／１に77.5YR４／４が10％まじる。底が固くしまる。	34	40	18号掘立		
PT464	7.5YR２／２に炭化物粒子わずかにまじる。底が固くしまる。しまる。	23	20	73住南東７m		
PT465	10YR２／１。底が固くしまる。押すとややへこむ。	30	41	73住南東16m		
PT466	7.5YR３／２に7.5YR２／１が25％、10YR５／６が10％まじる。押すとややへこむ。	26	20	19号掘立		
PT467	7.5YR1.7／１に7.5YR３／１が30％まじる。焼土粒子わずか。しまる。	35	27	19号掘立		
PT468	10YR２／２に10YR1.7／１が40％（共に底がしまる）。しまる。	36	24	19号掘立		
PT469	7.5YR1.7／１に7.5YR３／２が30％、焼土粒子わずかにまじる。しまる。	32	41	18号掘立		
PT470	10YR２／１に10YR３／２が20％、10YR５／６が10％、焼土粒子わずかにまじる。ややしまる。	32	33	18号掘立		
PT471	10YR1.7／１に10YR３／２が30％、10YR５／６が10％、焼土粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとややしまる。	25	34	19号掘立		472号土坑を切る
PT472	10YR３／２に10YR２／１が20％、10YR５／６が15％、焼土粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとややしまる。	22	32	19号掘立		471号土坑に切られる
PT473	10YR２／１に10YR３／２が30％、10YR４／４が20％まじる。押すとややへこむ。	40	21	77住南３m		
PT474	10YR３／２に10YR２／１が40％、焼土粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	30	4	１号掘立		
PT475	10YR３／２に10YR４／６が30％、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	23	43	21住内	床面で検出	21住柱穴
PT476	10YR２／２。押すとややへこむ。	18	13	14号掘立		
PT477	10YR２／２。しまる。	14	7	14号掘立		
PT478	10YR２／１に焼土粒子わずかにまじる。しまる。	20	6	14号掘立		
PT479	10YR２／２に10YR２／１が20％。底が固くしまる。押すとややへこむ。	18	7	14号掘立		
PT480	10YR３／４に炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	18	10	21住内	床面で検出	
PT481	10YR３／２。	40	48	64住内	床面で検出	
PT482	7.5YR３／２に炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	26	26.5	２号掘立		
PT483	10YR３／３に10YR２／２が10％、10YR４／６が５％まじる。押すとへこむ。	44	33	74住内	床面下で検出	74住に切られる
PT484	7.5YR２／２に7.5YR1.7／１が40％、炭のブロック（２×１cm）１ヶが２％、焼土粒子１％まじる。押すと２mmへこむ。	46	12	72住内		
PT485	①10YR1.7／１に炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。②7.5YR４／４、炭・焼土粒子わずかにまじる。押すと２mmへこむ。（２層）	32	15	27住内		27住に切られる
PT486	①10YR３／２に10YR２／１が15％、焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。②10YR４／４、炭・焼土粒子２％まじる。底が固くしまる。押すとへこむ。（２層）	48	19	27住内	床面で検出	27住に切られる
PT487	10YR３／４に10YR２／２が10％まじる。ややしまる。	33	24	21住内	床面で検出	21住柱穴
PT488	10YR３／３に炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	26	67	21住内	床面で検出	21住柱穴
PT489	10YR1.7／１。しまる。	21	20	56住南８m		
PT490	7.5YR２／２。押すとややへこむ。	26	27	74住西南６m		
PT491	7.5YR２／２。底しまる。押すとややへこむ。	25	19	74住南西５m		
PT492	7.5YR２／１。しまる。	15	7	56住南東８m		
PT493	10YR1.7／１に10YR３／３が30％、10YR４／４が30％まじる。しまる。	27	16	74住西北５m		
PT494	10YR２／１に10YR３／２が40％まじる。。押すとややへこむ。	26	9	74住西北４m		
PT495	10YR２／１。押すとややへこむ。	32	11	27住内	床面下で検出	
PT496	10YR２／１に炭・焼土粒子わずかにまじる。しまる。	20	22	74住西北８m		
PT497	10YR３／に10YR1.7／１が40％まじる。押すとややへこむ。	22	12	65住南0.5m		
PT498	7.5YR1.7／１。底が固くしまる。押すと２mmへこむ。	16	6	77住西６m		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT499	10YR1.7／1に10YR３／２が40%まじる。底固い。しまる。	21	11	74住西北８m		
PT500	10YR２／２に10YR４／４が30%まじる。底固い。しまる。	28	17	74住西北９m		
PT501	10YR1.7／1に10YR３／２が30%まじる。底が固くしまる。しまる。	21	8	77住南20m		
PT502	10YR1.7／1に10YR３／２が20%まじる。底が固くしまる。しまる。	22	7	77住南21m		
PT503	10YR２／１に10YR1.7／１が10%まじる。底しまる。しまる。	20	12	77住南21m		
PT504	10YR３／２に10YR1.7／１Vが30%まじる。底が固くしまる。しまる。	32	14	74住西北８m		
PT505	7.5YR1.7／1に7.5YR２／１が20%、焼土粒子わずかにまじる。底が固くしまる。押すとへこむ。	19	27	77住南西20m		
PT506	10YR２／２。底が固くしまる。押すと２mmへこむ。	19	33	21住内	床面で検出	21住柱穴
PT507	10YR３／１に10YR２／２が30%まじる。底が固くしまる。押すとややへこむ。	18	12	27住内	床面下で検出	
PT508	7.5YR３／２に7.5YR２／２が10%、焼土粒子３%、炭わずかにまじる。底半分固くしまる。しまる。	30	6	27住内	床面下で検出	
PT509	7.5YR２／２に7.5YR３／２が30%、焼土粒子２%、炭粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	27	9	27住内	床面下で検出	
PT510	10YR３／２に炭粒子わずかにまじる。底固くしまる。しまる。	36	24	61住内	床面で検出	
PT511	7.5YR２／２に7.5YR２／１の小ブロックが７%、焼土粒子25%、炭化物粒子２%まじる。底固い。押すとややへこむ。	37	9	71住内	床面下で検出	PT512と切り合う
PT512	7.5YR２／２に7.5YR２／１が５%、炭化物粒子の小ブロックが２%、焼土粒子30%まじる。底固い。押すとややへこむ。	38	8	71住内	床面下で検出	PT511と切り合う
PT513	7.5YR３／２に7.5YR２／１が２%、焼土粒子わずかにまじる。底固い。押すとへこむ。	18	13	23住内	床面で検出	
PT514	10YR２／２に10YR1.7／１が10%まじる。しまる。	41	3.5	77住内	床面下で検出	
PT515	7.5YR２／２に10YR４／６が２%、焼土粒子５%まじる。底固い。押すとへこむ。	27	4.5	77住内	床面下で検出	
PT516	10YR４／２に10YR４／６が20%まじる。しまる。	20	12	77住内	床面で検出	
PT517	10YR４／２に10YR４／６が20%まじる。しまる。	23	14	77住内	床面で検出	
PT518	10YR４／２に10YR３／２が５%、10YR４／６が20%まじる。押すとへこむ。	47	14	76住内	床面下で検出	
PT519	7.5YR３／２に10YR２／１が３%、10YR４／６が２%まじる。押すと３mmへこむ。	31	40	76住内	床面で検出	
PT520	10YR４／６に10YR２／１が１%まじる。押すと３mmへこむ。	30	28	76住内	床面で検出	
PT521	10YR３／３に10YR４／６が10%、10YR1.7／１が１%まじる。押すとへこむ。	34	35.5	76住内	床面で検出	
PT522	10YR４／２に10YR３／２が10%、10YR1.7／１が１%まじる。底が固い。押すとへこむ。	27	14	76住内	床面下で検出	
PT523	7.5YR２／２に10YR４／６が７%、10YR1.7／１が３%まじる。押すとへこむ。	50	10	76住内	床面下で検出	
PT524	10YR４／６に10YR３／３が７%まじる。押すとへこむ。	23	8	76住内	床面下で検出	
PT525	10YR３／２に10YR４／６が10%、10YR２／１が２%まじる。押すと３mmへこむ。	55	13	76住内	床面下で検出	
PT526	7.5YR２／２に10YR４／６が10%まじる。押すと５mm以上へこむ。	28	26	76住内	床面で検出	
PT527	10YR２／２に10YR４／６が５%、10YR２／１が１%まじる。押すとへこむ。	33	9	57住内	床面下で検出	
PT528	7.5YR２／２に10YR４／６が５%、焼土・炭化物粒子20%まじる。押すとへこむ。	50	16	57住内	床面下で検出	
PT529	10YR４／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が１%まじる。押すとへこむ。	22	13	24住内	床面で検出	
PT530	7.5YR２／２に10YR４／６が５%、５YR４／６が３%まじる。底が固い。押すとへこむ。	45	9	24住内	床面で検出	
PT531	10YR４／６に10YR３／２が３%、５YR４／８が１%未満まじる。押すと３mmへこむ。	47	16.5	73住内	床面で検出	
PT532	7.5YR２／２に10YR４／６が５%まじる。押すとへこむ。	26	15	57住内	床面で検出	
PT533	10YR２／１に10YR４／６が５%まじる。押すとへこむ。	28	23	74住内	床面で検出	須恵器破片１点
PT534	10YR２／２に10YR５／６が20%、焼土粒子２%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	30	9	22住内	床面下で検出	拳２倍大礫１点
PT535	10YR２／２に10YR３／３が20%、焼土・炭化物粒子１%まじる。しまる。	29	14	81住内	床面で検出	拳大礫１点
PT536	10YR２／２に10YR1.7／１が５%まじる。押すと２mmへこむ。	44	9	65住北0.5m		
PT537	10YR２／１に10YR５／６が30%、10YR３／３が30%まじる。押すと３mmへこむ。	22	10	49住南0.3m		
PT538	10YR1.7／１に10YR５／６が10%まじる。押すと２mmへこむ。	24	21	65住内		
PT539	10YR２／２。押すとややへこむ。	34	8	65住南１m		
PT540	10YR２／１に10YR２／２が40%、炭化物粒子１%、焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	30	58	74住内	床面で検出	焼土ブロック１ヶ（２×２cm）
PT541	10YR３／２に10YR２／２が７%、炭化物粒子１%、焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	22	27	74住内	床面で検出	
PT542	10YR２／２に10YR５／６が10%、焼土粒子１%、炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	26	7	79住内	床面で検出	
PT543	7.5YR２／１に7.5YR５／６の小ブロックが20%まじる。押すとわずかへこむ。（ややしまる）	34	8	79住内	床面で検出	上面に貼床なし
PT544	10YR２／２に10YR２／１が30%、10YR３／３が30%、炭化物粒子２%まじる。底固い。押すとややへこむ。	46	12	74住内	床面下で検出	
PT545	10YR２／２に10YR４／４が10%、10YR1.7／１が５%、炭・焼土粒子２%まじる。底固い。押すとややへこむ。	38	15	74住内	床面下で検出	
PT546	10YR３／３に10YR３／２が40%、10YR２／１が３%、焼土・炭化物粒子２%まじる。床固い。しまる。	36	12	74住内	床面下で検出	
PT547	10YR２／２に10YR４／６の小ブロックが20%、炭・焼土粒子７%まじる。しまる。	21	14	74住内	床面下で検出	106号土坑切り合う
PT548	10YR２／１に10YR４／４の小ブロックが15%、炭・焼土粒子１%まじる。床固い。押すとややへこむ。	50	25	74住内	床面下で検出	拳大礫１点
PT549	10YR２／２に10YR４／４が20%、焼土・炭化物粒子の小ブロックが３%まじる。しまる。	20	6	63住内	床面下で検出	
PT550	10YR２／１に10YR４／６が30%まじる。押すとややへこむ。	22	12.5	57住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT551	10YR２／２に10YR３／２が40%、10YR５／６のブロックが15%、焼土・炭化物粒子20%まじる。押すと１mmへこむ。	31	56	74住内	床面で検出	拳大礫１点
PT552	10YR３／３。押すとへこむ。	28	55	74住内	床面で検出	DK105と切り合う
PT553	10YR４／３に10YR２／１が40%、炭の小ブロックが２%まじる。しまる。	24	6	63住内	床面下で検出	
PT554	10YR２／３に10YR４／６の小ブロックが３%、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	25	15	29住内		
PT555	10YR２／３に焼土・炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	33	48	74住内	床面で検出	
PT556	7.5YR２／３に7.5YR２／２が30%、7.5YR４／４が20%、炭・焼土粒子20%まじる。押すとへこむ。	42	21	49住内	床面下で検出	
PT557	10YR３／３に10YR５／６が20%、10YR２／２が５%まじる。底固い。押すとややへこむ。	21	20	25住内	床面で検出	
PT558		21	22	25住内	床面で検出	
PT559	10YR２／３に10YR２／１が30%、10YR５／６が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。しまる。	40	22	82住内	床面で検出	周溝と切り合う
PT560	10YR３／２に10YR４／４が５%まじる。押すとへこむ。	24	12	82住内	床面で検出	
PT561	7.5YR２／３に7.5YR２／２が20%、焼土50%まじる。押すとややへこむ。	30	23	76住内	床面で検出	拳２倍大の礫１点
PT562	10YR３／２に10YR４／４が10%まじる。底固い。押すとへこむ。	30	26	76住内	床面で検出	人頭大の礫１点
PT563	10YR３／３。底固い。押すとへこむ。	45	18	76住内	床面で検出	
PT564	10YR２／２に10YR４／６が５%まじる。底固い。押すとへこむ。	15.5.	6	29住内		
PT565	10YR２／２に10YR４／６が５%、炭・焼土粒子10%まじる。底固い。押すとへこむ。	36×25	6.5	29住内		土器多数
PT566	10YR３／２に10YR1.7／１が20%、10YR５／６が30%、炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	30	34	84住内		
PT567	10YR２／１に10YR５／６が５%まじる。押すとややへこむ。	26	16	30住内	床面で検出	
PT568	10YR３／３に10YR３／２が30%まじる。押すと２mmへこむ。	20	3	20住西６m		
PT569	10YR３／２に10YR３／３が30%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	26	7	14号掘立		
PT570	10YR２／２に10YR４／６が２%、炭化物粒子わずかにまじる。しぼる。	29	17	14号掘立		
PT571	10YR２／１に焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	24	6	14号掘立		
PT572	10YR２／１に10YR４／４が10%、炭化物粒子２%まじる。底固い。押すとややへこむ。	32	22	20住西10m		
PT573	10YR２／１に10YR４／４が５%まじる。底固い。しまる。	37	19	20住西北15m		
PT574	10YR２／１に10YR４／４が５%まじる。底固い。固くしまる。	25	13	20住西北15m		礫１点
PT575	10YR２／１に10YR４／４が10%まじる。底固い。しまる。	20	11	20住西北20m		
PT576	10YR1.7／１に10YR４／４が５%まじる。底固い。しまる。	23	9	20住西北20m		
PT577	10YR２／２に10YR1.7／１の小ブロックが３%まじる。底固い。しまる。	29	4	71住内	床面下で検出	
PT578	10YR３／２に10YR２／２が30%、10YR４／４が10%まじる。底固い。しまる。	25	4	71住内	床面下で検出	
PT579	①10YR２／１。底固い。しまる。②10YR３／２。底固い。ややしまる。	27	21	20住北16m		
PT580	10YR２／１に10YR４／４が７%まじる。底固い。固くしまる。	28	32	20住北14m		
PT581	10YR２／１に10YR３／２が30%まじる。底固い。押すとへこむ。	15	4	20住北13m		
PT582	10YR４／３に10YR２／１が３%まじる。底固い。固くしまる。	23	7	20住北西13m		
PT583	10YR３／２。底固い。しまる。	18	5	20住北西13m		
PT584	10YR２／２に10YR３／３が20%、炭・焼土粒子わずかにまじる。底不明。押すとややへこむ。	42	76	71住南５m		
PT585	7.5YR３／２に7.5YR４／４が40%、7.5YR２／２が10%、焼土粒子５%、炭化物粒子わずかにまじる。ややしまる。	45	25	74住内	床面下で検出	PT548と切り合う
PT586	10YR３／２に10YR４／４が20%まじる。底固い。押すとへこむ。	26	7	15号掘立		
PT587	10YR２／２。底固い。押すとややへこむ。	25	16	15号掘立		
PT588	10YR３／２に10YR４／６が５%まじる。底固い。押すとへこむ。	16	10	15号掘立		
PT589	10YR３／２に10YR３／３が40%まじる。底固い。押すとへこむ。	40	20	15号掘立		
PT590	10YR２／２に10YR５／６が15%まじる。底固い。押すとへこむ。	35	11	16号掘立		
PT591	10YR３／２に炭化物粒子１%まじる。底固い。押すとへこむ。	27	6	16号掘立		
PT592	10YR３／３に10YR２／２が10%まじる。底固い。押すとややへこむ。	38	17	16号掘立		
PT593	10YR２／２に10YR５／６が10%まじる。底固い。押すとへこむ。	38	19	16号掘立		
PT594	10YR２／２に10YR５／６が15%まじる。底固い。押すとややへこむ。	45	20	16号掘立		
PT595	10YR２／２に10YR５／６が15%まじる。底固い。ややしまる。	24	5.5	15号掘立		
PT596	10YR３／３に10YR２／２が40%、10YR５／６が20%まじる。底固い。押すとへこむ。	46.5	29	15号掘立		
PT597	10YR２／２に10YR４／６が30%まじる。底固い。ややしまる。	42	25	15号掘立		拳大の礫１点
PT598	10YR２／２に10YR５／６が10%まじる。底固い。ややしまる。	41	22	22住北２m		
PT599	10YR３／３に10YR３／２が30%、炭・焼土粒子わずかにまじる。ややしまる。	44	7	76住内	床面で検出	DK123と切り合う
PT600	7.5YR３／３に7.5YR４／６が５%、焼土粒子のブロック（７×５cm）・他が10%、炭化物粒子１%まじる。	45	14	76住内	床面で検出	
PT601	10YR３／４に10YR２／２が15%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。押すとややへこむ。	32	12	15号掘立		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT602	10YR３／３。底固い。押すとへこむ。	25	9	PT597西１m		
PT603	10YR３／３に炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	35	17	15号掘立		
PT604	10YR３／２。しまる。	20	6	15号掘立		
PT605	10YR２／３に10YR４／４が20%、炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	45	14	15号掘立		
PT606		85	24	57住内	床面で検出	
PT607	10YR２／２に10YR３／３が30%まじる。底固い。しまる。	25	12	15号掘立		
PT608	10YR２／２に10YR４／４が20%、炭・焼土わずかにまじる。底固い。ややしまる。	35	27	27住南西２m		
PT609	10YR２／２に10YR４／４が10%、10YR1.7／１が５%まじる。底固い。ややしまる。	25	28	27住南西３m		
PT610	10YR３／２に10YR３／３が20%、炭化物粒子の小ブロックが１%まじる。底固い。しまる。	33	10	27住南西６m		
PT611	10YR３／２に10YR３／４が20%まじる。底固い。しまる。	44	36	27住南西５m		
PT612	10YR２／２に10YR４／６が５%、焼土・炭化物粒子２%まじる。押すとへこむ。	44	12	49住内	床面下で検出	人頭大の礫４点
PT613	10YR２／２に10YR５／６が20%、炭・焼土粒子３%まじる。押すとややへこむ。	45	13	49住内	床面下で検出	
PT614	10YR２／１に10YR５／６が５%、炭・焼土粒子３%まじる。底固い。押すとややへこむ。	25	14	49住内	床面下で検出	
PT615	10YR２／２に10YR５／６が７%、10YR1.7／１が５%、炭・焼土粒子５%まじる。押すとややへこむ。	37	12	49住内	床面下で検出	
PT616	10YR２／３に10YR３／４が40%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	20	18	25住西６m		
PT617	10YR２／３に10YR３／４が30%、炭化物粒子１%まじる。押すと１mmへこむ。	21	23	82住南２m		
PT618	10YR２／３に10YR４／６が20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	24	4.5	82住南東３m		
PT619	10YR２／２に10YR３／４が20%まじる。押すと１mmへこむ。	21	10	17号掘立		
PT620	10YR２／３に10YR４／６が10%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	22	20	17号掘立		
PT621	10YR２／２に10YR４／４が50%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	26	13	17号掘立		
PT622	10YR２／３に10YR３／４が50%、焼土粒子１%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと２mmへこむ。	28	15	17号掘立		
PT623	10YR２／３に10YR３／４が20%、炭化物粒子わずかにまじる。ややへこむ。	18	19	81住東１m		
PT624	10YR２／３に10YR３／４が20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	31	18	86住東３m		
PT625	10YR２／３に10YR３／４が10%、炭化物粒子わずかにまじる。ややへこむ。	19	47	86住北東３m		
PT626	10YR２／３。	46	42	76住内	床面で検出	上層に礫が２点
PT627	10YR２／２に10YR３／４が５%まじる。ややへこむ。	20	12	25住北６m		
PT628	10YR２／３に10YR３／４が50%まじる。ややへこむ。	22	14	25住北東10m		
PT629	10YR２／２に10YR４／６が20%まじる。押すと１mmへこむ。	17	13	25住北東11m		
PT630	10YR２／２に10YR４／６が15%、炭化物粒子わずかにまじる。ややへこむ。	24	17	25住北東８m		
PT631	10YR２／２に10YR３／４が１%まじる。ややへこむ。	16	10	29住北５m		
PT632	10YR２／３に10YR３／３が10%まじる。押すと１mmへこむ。	20	10	８号掘立		
PT633	10YR４／４に10YR２／３が40%まじる。ややしまる。	27	11	８号掘立		
PT634	10YR２／３に10YR３／４が50%、炭化物粒子わずかにまじる。ややへこむ。	33	10	86住内		
PT635	10YR２／２に10YR３／４が10%まじる。ややへこむ。	19	7	８号掘立		
PT636	10YR２／２に10YR４／４が50%まじる。底固い。しまる。	42	20	27住南５m		
PT637	10YR２／２に10YR４／４。底固い。押すとへこむ。	25	15	27住南６m		
PT638	10YR３／３に10YR２／２が40%、10YR４／４が15%まじる。底固い。しまる。	53	39	27住南６m		
PT639	10YR２／３に10YR４／４が10%まじる。しまる。	22	9	27住南７m		
PT640	10YR２／１に10YR４／４のブロックが10%まじる。底固い。しまる。	30	21	27住南西７m		
PT641	10YR３／２に10YR３／４が20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	39	20	27住南西７m		
PT642	10YR２／２に10YR３／２が30%まじる。底固い。しまる。	28	11	27住南西７m		
PT643	10YR２／２に10YR４／４が15%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	24	13	27住南西８m		
PT644	10YR２／２に10YR４／４が10%まじる。底固い。しまる。	25	9	27住南西９m		
PT645	10YR２／２に10YR４／４の小ブロックが15%まじる。底固い。ややしまる。	43	22	27住南西９m		
PT646	10YR３／３に10YR２／１が30%まじる。底固い。押すとへこむ。	37	8	22住西北２m		
PT647	10YR２／２。底固い。しまる。	20	6	22住西３m		
PT648	10YR２／２に10YR４／４が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	29	14	22住南３m		
PT649	10YR２／１に10YR４／４が５%まじる。底固い。しまる。	23	13	20号掘立		
PT650	10YR２／１に10YR３／２が20%まじる。底固い。しまる。	22	23	20号掘立		
PT651	10YR４／４に10YR２／２が40%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	23	13	20号掘立		
PT652	10YR1.7／１に10YR４／４が10%まじる。底固い。しまる。	15	12	22住南６m		

遺構番号	覆　土　色	大きさ	深さ	位　置		備　考（遺物など）
PT653	10YR２／２に10YR４／４が40%まじる。底固い。押すとへこむ。	22	9.5	22住南６m		
PT654	10YR３／３に10YR３／２が40%まじる。押すとへこむ。	30	14	23住南西１m		
PT655	10YR３／２。押すとへこむ。	27	12	23住南西0.5m		
PT656	10YR２／１。しまる。	18	13	29住北東６m	床面下で検出	
PT657	10YR1.7／１に10YR３／３が20%まじる。底固い。押すとへこむ。	19	14	28住西３m		
PT658	10YR1.7／１に10YR２／２が10%、10YR４／４が15%まじる。押すとややへこむ。	24	14	24住南西10m		
PT659	10YR1.7／１に10YR２／２が30%、10YR４／４が50%まじる。底固い。押すとややへこむ。	24	16	24住南西10m		
PT660	10YR２／２に10YR２／１が15%、10YR４／４が10%まじる。押すとへこむ。	25	24	23住東南３m		
PT661	10YR３／３に10YR３／２が30%、10YR５／６が20%、焼土粒子１%まじる。底固い。押すとへこむ。	35	7	82住内	床面下で検出	周溝と切り合う
PT662	10YR３／２に10YR２／２が40%まじる。底固い。しまる。	29	6	17号掘立		
PT663		31	12	７住南２m		
PT664	10YR３／２。底固い。押すとへこむ。	26	16	23住北２m		
PT665	10YR２／２に10YR３／３が30、炭・焼土粒子７%まじる。しまる。	49	16	28住内	床面で検出	上に小拳大の礫２点
PT666	10YR２／２に10YR３／４が２%まじる。ややへこむ。	20	11	８号掘立		
PT667	7.5YR２／２に7.5YR３／４が40%まじる。固くしまる。	17	11	77住東８m		
PT668	7.5YR２／２に7.5YR３／４が30%まじる。ややへこむ。	27	28	77住東８m		
PT669	7.5YR２／２に7.5YR３／４が15%、炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	14	8	77住東７m		
PT670	7.5YR２／２に7.5YR３／４が10%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	33	26	18号掘立		
PT671	7.5YR２／２に7.5YR３／３が20%まじる。押すと１mmへこむ。	24	12	49住北６m		
PT672	7.5YR２／３に7.5YR３／３が20%まじる。押すと１mmへこむ。	16	8	19号掘立		
PT673	7.5YR３／４に7.5YR３／３が15%、炭化物少しと、炭化粒子わずかにまじる。ややしまりる。	27	10	77住東３m		
PT674	7.5YR３／２に7.5YR４／４が40%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	36	23	19号掘立		
PT675	7.5YR２／３に7.5YR３／３がまじる、炭化物粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	33	8	18号掘立		
PT676	7.5YR２／２に7.5YR３／３が30%、焼土粒子がわずかにまじる。押すと１mmへこむ。	27	19	18号掘立		
PT677	10YR３／２に10YR２／１が25%、10YR５／６が20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	30	18	47住南西６m		
PT678	7.5YR３／３に7.5YR３／２が45%、10YR５／６が５%、炭・焼土粒子の小ブロックが７%まじる。押すとへこむ。	38	29	81住内	床面下で検出	
PT679	10YR３／３に10YR２／１が40%、10YR５／６が10%、焼土粒子わずかにまじる。押すと２mmへこむ。	46	10	87住内		
PT680	10YR２／２に10YR３／３が30%、焼土・炭化物粒子２%まじる。底固い。押すと２mmへこむ。	30	32	87住内		
PT681		33	20	49住内	床面下で検出	
PT682	10YR３／３に10YR２／１が３%、10YR５／６のブロックが５%、炭・焼土粒子わずかにまじる。底固い。ややしまる。	30	6	18住内	床面下で検出	
PT683	10YR３／３に10YR５／６が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	30	30	18住内	床面で検出	
PT684	10YR３／３に10YR５／６が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	25	24	18住内	床面で検出	
PT685	10YR３／３に10YR２／２が７%、10YR６／６が20%、炭・焼土粒子わずかにまじる。固くしまる。	34	9	56住内	床面下で検出	
PT686	10YR５／６に10YR２／１が30%。ややしまる。	30	8	８号掘立		
PT687	7.5YR３／２に7.5YR５／６が20%、7.5YR２／１が２%まじる。押すとややへこむ。	67	77	49住内	床面下で検出	
PT688	10YR３／２に10YR５／６が５%、焼土・炭化物粒子２%まじる。押すとややへこむ。	22	10	18住内	床面で検出	
PT689	7.5YR３／２に7.5YR２／２が40%、焼土・炭化物粒子１%まじる。ややしまる。	26	6	15住内	床面で検出	土器片多数
PT690	7.5YR２／３に7.5YR２／２が30%、焼土粒子全面に30%、10YR５／４が15%まじる。押すとへこむ。	40	12	３住内		床下
PT691	10YR２／２に10YR３／３が40%まじる。固くしまる。	25	9	19住西２m		
PT692	10YR２／２に10YR５／６が10%まじる。底固い。押すと２mmへこむ。	21	64	49住内	床面で検出	
PT693	10YR２／２に10YR５／６が５%、焼土粒子の小ブロックが１%。底固い。押すと２mmへこむ。	24	60	49住内	床面で検出	
PT695	10YR２／２に10YR２／１が５%、10YR５／６が20%、焼土粒子３%まじる。固くしまる。	46	10	13住内	床面下で検出	
PT696	10YR２／２に10YR２／１が10%、10YR５／６が30%、焼土粒子５%まじる。固くしまる。	25	5	13住内	床面下で検出	PT694と切り合う
PT697	10YR２／１に10YR３／３が25%、10YR５／６が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	37	46	85住内	床面で検出	壁に拳大の礫１点
PT698	10YR２／１に10YR３／３が30%、10YR５／６が20%、炭・焼土粒子３%まじる。押すとへこむ。	40	49	85住内	床面で検出	上に人頭大の礫１点
PT699	10YR２／２に7.5YR３／２が10%、焼土60%まじる。固くしまる。	48	20	85住内	床面で検出	
PT700	10YR２／１に10YR５／６が30%、10YR３／２が20%、炭・焼土粒子２%まじる。底固い。押すとへこむ。	26	28	85住内	床面で検出	
PT701	10YR２／１に10YR３／３が30%、10YR５／６が10%、炭・焼土粒子２%まじる。底固い。押すとへこむ。	28	14	85住内	床面下で検出	
PT702	10YR２／３に10YR２／１が15%、10YR５／６が30%、焼土粒子の小ブロックが５%、炭化物粒子２%まじる。底固い。しまる。	32	22	85住内	床面で検出	
PT703	7.5YR３／２に10YR４／４が10%まじる。	21	22	20号掘立		

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT704	7.5YR３／２に7.5YR５／６が５％、焼土粒子わずかにまじる。底固い。ややへこむ。	24	47	53a住内		
PT705	10YR３／３に炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	21	7	73住内	床面下で検出	
PT706	10YR２／３に10YR４／４が20%まじる。押すとへこむ。	28	23	73住内	床面で検出	
PT707	10YR２／２に10YR４／６が20%、炭の小ブロック・他が１％まじる。押すとへこむ。	23	30	73住内	床面で検出	
PT708	10YR３／２に10YR２／１が20%まじる。押すとへこむ。	30	1	73住内	床面下で検出	97号土坑と切り合う
PT709		22	20	25住内	床面で検出	115号土坑と切り合う
PT710		19	15	25住内	床面で検出	115号土坑と切り合う
PT711	10YR２／３に10YR４／６が１％、炭化物粒子１％未満、焼土２％まじる。しまる。	35.5	9	74住内	床面下で検出	
PT712	10YR２／３に10YR４／６が３％、炭化物粒子１％、焼土２％まじる。しまる。	37	12	74住内	床面下で検出	
PT713	10YR３／４に10YR４／６がプローク状に２％、焼土１％未満まじる。しまる。	35.5	11.5	74住内	床面下で検出	
PT714	10YR２／３に10YR４／６が２％、焼土１％まじる。しまる。	25	13	74住内	床面下で検出	
PT715	10YR２／３に10YR４／６が１％まじる、焼土１％まじる。しまる。	17	9	74住内	床面下で検出	
PT716	10YR４／６に焼土３％まじる。固くしまる。	40	4.5	23住内	床面下で検出	
PT717	10YR４／６に10YR３／４が１％まじる。しまる。	17.5	6	22住内	床面下で検出	
PT718	10YR４／６に10YR３／４が１％まじる。しまる。	21	18.5	22住内	床面下で検出	
PT719	10YR３／４。固くしまる。	17	36	23住内	床面下で検出	
PT720	10YR４／６に10YR４／４が10%、上から３cmまで炭が50%まじる。しまる。	34	16	76住内	床面下で検出	
PT721	10YR４／６に10YR４／４が10%まじる。しまる。	42	23	76住内	床面下で検出	
PT722	10YR４／４に10YR３／４が20%、焼土１％まじる。しまる。	45	10	76住内		床下のピット
PT723	10YR２／３に10YR３／４が10%、焼土５％まじる。押すと２mmへこむ。	24	5	82住内	床面下で検出	床下のピット
PT724	10YR２／２に10YR３／４が30%。押すと２mmへこむ。	22	15	82住内	床面下で検出	床下のピット
PT725	10YR３／３に10YR３／２が10%、10YR４／３が10%まじる。しまる。	18	15	82住内	床面下で検出	床下のピット
PT726	7.5YR２／３。固くしまる。このあたり地山全体がかたい。	26	7	88住内	床面で検出	床を切る　拳２個分大の焼礫あり
PT727	7.5YR３／３に焼土粒子が30%まじる。押すとかなりへこむ。	68×50		44住内		土器片多数あり
PT728	7.5YR２／２に炭・焼土粒子が20%まじる。押すと１mmへこむ。	40		44住内		焼礫２ヶあり
PT729	7.5YR４／４に7.5YR２／３が30%まじる。下方はもろい。押すと３mmへこむ。	47	54	40住内	床面で検出	床面を切る
PT730	7.5YR３／４に7.5YR４／４が30%まじる。焼土含む。押すと１mmへこむ。	24	10	40住内	床面下で検出	床面を切る土器片有
PT731	7.5YR４／４に7.5YR３／４が30%まじる。焼土・炭化物粒子含む。粘性有。わずかにへこむ。	45	17	40住内	床面下で検出	床面を切る土器片有
PT732	7.5YR３／３に焼土・炭化物粒子が30%、10YR８／６の小ブロックが３％まじる。押すと２mmへこむ。	70	19	40住内	床面で検出	床面を切る
PT733	7.5YR４／４に7.5YR３／４が10%まじる。焼土含む。	23	12	90住内		床面を切る
PT734	7.5YR４／４に7.5YR４／６が20%まじる。	20	20	90住内		床面を切る
PT735	7.5YR３／４に7.5YR４／４が30%まじる。焼土含む。粘性有。固くしまる。	32	6	90住内		床面を切る
PT736	7.5YR３／４に7.5YR４／４が40%まじる。焼土・炭化物粒子含む。粘性有。押すと１mmへこむ。	38	6	41住内		床面を切る
PT737	7.5YR３／２に7.5YR４／４が30%まじる。焼土含む。押すと１mmへこむ。	24	5	90住内		床面を切る
PT738	7.5YR３／２に7.5YR４／６が下方に10%、7.5YR４／６のブロックが５％まじる（粘性有）。焼土・炭化物粒子含む。押すと５mmへこむ。	42	24	93住内	床面で検出	土器２個体と土器片　カマド右側
PT739	7.5YR３／４。押すと８～10mmへこむ。	40×24	32	93住内	床面で検出	
PT740	7.5YR３／４に7.5YR３／３が10%、7.5YR４／６斑状に10%、焼土５％まじる。炭化物粒子含む。押すと３mmへこむ。	51	8	93住内	床面下で検出	床面を切る
PT741	7.5YR３／３に7.5YR３／４が30%、7.5YR２／３が10%まじる。焼土・炭化物粒子含む。	37	13	37住内	床面下で検出	上面に貼床あり　土器片
PT742	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％まじる。	23	32	40住内	床面で検出	
PT743	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％、7.5YR２／２が１％まじる。	20	48	40住内	床面で検出	
PT744	7.5YR３／３に7.5YR５／６が３％、7.5YR２／２が１％まじる。	30	66	40住内	床面で検出	
PT745	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％、焼土５％、炭化物粒子１％まじる。	40	23	89住内	床面で検出	
PT746	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％まじる。	23	30	40住内	床面で検出	
PT747	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％、焼土１％まじる。	32	10	93住内	床面下で検出	土器片
PT748	7.5YR３／３に7.5YR５／６が１％まじる。	29	28	93住内	床面で検出	土器片
PT749	7.5YR３／３に7.5YR５／６が30%、焼土が２％まじる。	46	21	93住内	床面で検出	
PT750	7.5YR５／６に7.5YR３／３が10%、焼土が１％まじる。	42	18	93住内	床面で検出	土器片
PT751	7.5YR５／６に7.5YR３／３が３％、7.5YR６／８が１％、焼土が１％まじる。	30	18	93住内	床面で検出	土器片
PT752	7.5YR３／３に7.5YR５／６が10%、7.5YR３／２が７％まじる。	59	18	36住内	床面で検出	中心に礫あり　土器片あり

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT753	7.5YR５／６に7.5YR３／３が５％、焼土１％まじる。	16	16	36住内	床面で検出	
PT754	7.5YR５／６に7.5YR３／３が３％まじる。	19	14	36住内	床面で検出	
PT755	7.5YR５／６に焼土が５％、炭化物粒子が１％まじる。	31	13	91住内		土器あり
PT756	7.5YR３／３に7.5YR５／６が10%、炭化物粒子が１％まじる。	40	12	94住内	床面下で検出	
PT757	7.5YR３／３に7.5YR５／６が７％、7.5YR３／２が30%、焼土が３％、炭化物粒子が１％まじる。	55	22	94住内	床面で検出	土器片あり
PT758	7.5YR３／３に7.5YR５／６が２％、焼土が１％、炭化物粒子が１％まじる。	50	14	94住内	床面下で検出	土器片あり
PT759	7.5YR３／２に7.5YR５／６が30%、炭化物粒子が１％まじる。固くしまる。	23	26	90住北西13m		
PT760	7.5YR３／２に7.5YR４／６が10%まじる。固くしまる。	26	17	90住北西12m		
PT761	7.5YR４／２に7.5YR３／２が40%まじる。固くしまる。	23.5	16	90住北11m		
PT762	7.5YR３／２に7.5YR５／６が30%まじる。固くしまる。	25	14	90住北７m		
PT764	7.5YR４／３。固くしまる。	21	6	90住北14m		
PT765	7.5YR４／２に7.5YR５／６が30%まじる。固くしまる。	29	18	90住北17m		
PT766	7.5YR４／２に7.5YR５／６が40%まじる。固くしまる。	21	7	90住北15m		
PT767	7.5YR４／２に7.5YR６／８が30%まじる。固くしまる。	22	14	90住北21m		
PT768	7.5YR３／２に7.5YR５／６が10%、焼土１％まじる。固くしまる。	20	13	90北７m		
PT769	10YR４／４に10YR３／３が10%まじる。やや固くしまる。	36	14	90住東北東７m		
PT770	10YR３／２に10YR５／６が10%まじる。やや固くしまる。	37	20	90住東北東８m		
PT771	10YR４／２に10YR４／６が10%、炭化物粒子１％まじる。やや固くしまる。	17	4	90住東９m		
PT772	10YR３／３に10YR５／４が20%、焼土１％まじる。やや固くしまる。	17	16	90住東８m		
PT773	10YR４／２に10YR５／２が20%まじる。やや固くしまる。	22	13	90住東９m		
PT774	7.5YR４／４に7.5YR４／２が20%まじる。固くしまる。	21	7.5	90住北11m		
PT775	7.5YR４／２に7.5YR５／６が30%まじる。固くしまる。	27	14	90住北16m		
PT776	7.5YR４／２に7.5YR５／６が10%まじる。固くしまる。	20	4	90住北16m		
PT777	7.5YR４／３に7.5YR６／６が７％、炭化物粒子１％、下場とセクションに焼土10%まじる。	24	5	93住内	床面下で検出	土器片
PT778	7.5YR４／２に7.5YR６／６が５％、焼土１％まじる。	32	21	93住内	床面で検出	
PT779	7.5YR４／３に7.5YR６／６が５％まじる。	25	35	93住内	床面で検出	周溝を切っている
PT780	7.5YR４／２に7.5YR４／４が20%まじる。固くしまる。	23	3.5	90住北７m		
PT781	7.5YR４／２に7.5YR５／４が20%まじる。固くしまる。	28	4	90住北北東７m		
PT782	7.5YR３／２に7.5YR５／６が10%まじる。固くしまる。	22	23	90住北北東９m		
PT783	7.5YR４／２に7.5YR６／６が10%まじる。固くしまる。	34	8	90北19m		
PT784	7.5YR４／２に7.5YR６／６が10%まじる。固くしまる。	20	15	90住北11m		
PT785	7.5YR４／４に10YR４／６が１％まじる。押すと３mmへこむ。	25.5	25	89住内	床面で検出	
PT786	7.5YR４／４に10YR２／３が１％まじる。しまる。	19	16	89住内	床面で検出	
PT787	10YR２／３に7.5YR４／４が１％まじる。しまる。	22.5	50	92住内	床面で検出	
PT788	10YR２／３に7.5YR４／４が１％まじる。しまる。	29	68	92住内	床面で検出	
PT789	10YR２／３に7.5YR４／４が１％まじる。しまる。	23	89	92住内	床面で検出	
PT790	10YR３／４に10YR３／３が１％、炭化物粒子１％、焼土１％まじる。しまる。	45	15	95住内	床面下で検出	礫
PT791	10YR３／４に10YR４／６が２％、炭化物・焼土１％まじる。しまる。	37.5	16	95住内	床面で検出	礫、土器片
PT792	10YR２／３に7.5YR４／４が１％、炭化物・焼土１％まじる。しまる。	21	59	92住内	床面で検出	
PT793		28	17.5	90住内		土器片
PT794	10YR２／３に10YR４／６が１％未満、焼土１％まじる。押すと３mmへこむ。	43.5	22.5	94住内	床面で検出	土器片
PT795	10YR３／４に10YR４／６粘質土１％、炭化物・焼土１％まじる。しまる。	43	8.5	94住内	床面下で検出	土器片
PT796	10YR３／４に10YR４／６が１％、焼土１％未満まじる。しまる。	29	24	93住内	床面で検出	土器片
PT797	10YR３／４に10YR４／４が１％、炭化物粒子１％未満、焼土１％まじる。しまる。	44.5	12	94住内	床面下で検出	
PT798	7.5YR４／３に10YR５／６が10%、焼土１％、炭化物粒子１％まじる。固くしまる。	35	8	40住内	床面下で検出	周溝と切り合い
PT799	7.5YR３／２に10YR５／６が５％、焼土２％、下場炭化物粒子２％、焼土５％含む。	41	6	92住内	床面下で検出	土器片
PT800	7.5YR３／２に10YR４／６が５％、焼土１％まじる。やや固くしまる。	37	20	92住内	床面で検出	周溝と切り合い
PT801	10YR３／４に10YR３／３が20%、10YR４／４が10%。しまる。	23	20	80住内	床面下で検出	
PT802	10YR３／３に10YR３／４が20%、10YR４／４が10%。しまる。	21	15	80住内	床面下で検出	
PT803	10YR３／３に10YR２／３が10%、10YR４／４が５％、焼土が１％、炭が１％まじる。しまる。	34×44	4	25住内		
PT804	10YR５／６に10YR４／６が10%、10YR３／２が３％まじる。しまる。	26	17	81住内	床面下で検出	
PT805	10YR４／４に10YR５／６が10%、炭化物粒子が１％まじる。	31	26	81住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
PT806	10YR３／２に10YR３／１が20%、10YR３／４が10%まじる。しまる。	37	9	17住内	床面下で検出	床下PT
PT807	10YR３／２に10YR２／２が10%、10YR４／６が20%、焼土が１%、炭が１%まじる。しまる。	34	5	67住内	床面下で検出	
PT808	10YR３／２に10YR２／２が10%、10YR３／４が10%、焼土・炭が２%まじる。しまる。	55×83	11	67住内	床面下で検出	
PT809	10YR３／４に10YR３／２が10%まじる。固くしまる。	110×90	15	４住内	床面下で検出	
PT810	10YR３／２に10YR３／４が20%、10YR３／１が10%、焼土が５%、炭が２%。固くしまる。	72	73	85住内	床面下で検出	
PT811	10YR３／２に10YR３／４が30%、10YR３／１が10%まじる。固くしまる。	70	8	85住内	床面下で検出	
PT812	10YR３／３に10YR３／２が10%、10YR４／６が10%、焼土が５%まじる。押すと２mmへこむ。	30	15	85住内	床面下で検出	
PT813	7.5YR３／４に7.5YR４／６が20%、焼土が30%まじる。押すと２mmへこむ。	140	22	85住内	床面下で検出	
PT814	10YR３／３に10YR４／６が10%、10YR３／２が10%、焼土が30%、炭が２%、10YR６／６のブロック全体に３%まじる。しまる。	160	24	85住内	床面下で検出	
PT815	10YR３／３に10YR３／２が20%、10YR４／４が10%、焼土が20%、炭が１%まじる。押すと１mmへこむ。	176×106	18	85住内	床面下で検出	
PT816	7.5YR３／２に7.5YR６／６が10%、焼土が１%まじる。固くしまる。	38	30	92住内	床面で検出	周溝と切り合い
PT817	7.5YR４／２に10YR５／６が20%、焼土が２%、炭化物粒子が１%まじる。固くしまる。	24	3.5	40住内	床面下で検出	
PT818	7.5YR３／３に10YR６／６が10%、焼土が30%まじる。。ややしまる。	35	11	36住内	床面下で検出	土器片
PT819	10YR４／３に10YR５／６が10%、炭化物粒子が１%まじる。やや固くしまる。	27	31	40住内	床面で検出	
PT820	10YR４／６に10YR４／３が20%まじる。やや固くしまる。	30	60	40住内	床面で検出	PT819と切り合い
PT821	10YR４／３に10YR５／６が30%、炭化物粒子が１%まじる。やや固くしまる。	28	15	40住内	床面下で検出	
PT822	10YR３／３に10YR５／６が10%、焼土が１%、炭化物粒子が１%まじる。やや固くしまる。	18	8	93住内	床面下で検出	
PT823	10YR５／６に10YR４／３が20%まじる。やや固くしまる。	28	9	93住内	床面下で検出	
PT824	7.5YR４／２に10YR６／６が５%、焼土が１%、炭化物粒子が１%まじる。ややしまる。	45	7	94住内	床面で検出	土器片
PT825	7.5YR６／６に7.5YR４／３が10%、焼土が１%まじる。固くしまる。	50	8	94住内	床面下で検出	
PT826	7.5YR４／３に7.5YR６／８が10%、焼土が７%、炭化物粒子が１%まじる。やや固くしまる。	36	5	94住内	床面下で検出	土器片
PT827		18	10	94住内	床面で検出	
PT828	7.5YR３／２に7.5YR５／６が40%、焼土が５%まじる。石含む。	41	8	36住内	床面下で検出	
PT829	7.5YR５／６に7.5YR３／２が40%、焼土が１%、炭化物粒子が１%まじる。やや固くしまる。	46	13	36住内	床面下で検出	
PT830		18	14	94住内	床面で検出	
PT831		50×20	10	94住内	床面下で検出	
PT832		40	15	93住内	床面下で検出	
PT833		19	16	93住内	床面下で検出	190号土坑と切り合い
PT834		17	13	93住内	床面下で検出	
PT835		18	6	93住内	床面下で検出	
PT836		22	14	37住内	床面下で検出	
PT837	10YR３／４に7.5YRが１%、10YR４／６の粘質土ブロックが１%まじる。しまる。	22	73	92住内	床面で検出	
PT838	10YR２／２に10YR３／２が10%、10YR４／４の粘質土ブロックが２%、焼土・炭２%まじる。	48	6	92住内	床面下で検出	
PT839		40	34	40住内	床面で検出	
PT840	10YR２／２に10YR３／４が１%まじる。しまる。	21	14	41住北東5m		
PT1000	５YR３／４に５YR３／３が10%、10YR５／４のブロックが20%、焼土が２%、炭が１%まじる。	52	56	85住内	床面下で検出	
PT1001	10YR３／３に10YR２／２が５%、10YR４／４が５%、焼土が３%、炭が１%まじる。	101	11	85住内	床面下で検出	
PT1002	10YR３／３に10YR３／４が20%まじる。しまる。	38	28	85住内	床面下で検出	
PT1003	10YR２／３に10YR３／３が20%まじる。押すと１mmへこむ。	35	30	85住内	床面で検出	
PT1004	7.5YR３／４に10YR３／４が20%、５YR３／４が20%、焼土が30%まじる。	40	25	85住内	床面下で検出	
PT1005	10YR２／２に10YR２／１が10%まじる。押すと２mmへこむ。	27	30	85住内	床面下で検出	
PT1006	10YR２／２に10YR２／１が10%、10YR３／４が10%まじる。押すと１mmへこむ。	22	18	85住内	床面下で検出	
PT1007	10YR３／３に10YR２／３が10%、10YR３／４が10%まじる。しまる。	20	38	85住内	床面下で検出	
PT1008		33	10	10号掘立		
DK１	10YR２／２に焼土・炭化材粒子が５%まじる。しまりなし。不整形	96×62	5	７住内	床面で検出	カマド構築材と思われる焼土化した粘質土が覆土に混じる。土器片も多く、カマド廃棄にともなう掘り込みか。
DK２	10YR３／４に焼土粒子が５%まじる。ややしまる。	105×78	8	７住内	床面下で検出	土器１点
DK３	10YR３／４に10YR５／６粒子が20%、焼土・炭化材粒子が10%まじる。押すと３mmへこむ。しまる。	100	11	９住内	床面下で検出	
DK４	10YR２／３に10YR５／６が10%、焼土・炭化材粒が20%まじる。しまる。	92	42	49住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
DK 5	10YR 4 ／ 6 に焼土 1 %、粒子30%まじる。しまる。	57	17.5	9 住内	床面下で検出	
DK 6	10YR 5 ／ 6　1 %に焼土・炭化材粒子が99%まじる。固くしまる。	67	6	9 住内	床面下で検出	
DK 7	10YR 4 ／ 3 に10YR 3 ／ 4 が30%、焼土・炭化物粒子が10%まじる。しまる。	83	16	9 住内	床面下で検出	
DK 8	10YR 4 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が 7 %、 5 YR 5 ／ 6 が 1 %、10YR 2 ／ 1 が 1 %未満まじる。押すと 3 mmへこむ。	119	18	47住内	床面下で検出	土器あり
DK 9	10YR 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 8 が 1 %、炭化物粒子まじる。しまる。	92	16	47住内	床面下で検出	土器 1 点
DK10	10YR 3 ／ 2 に10YR 3 ／ 1 が 5 %、10YR 4 ／ 6 が10%まじる。	43×85	8	18住内	床面下で検出	
DK11	7.5YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が30%、10YR 2 ／ 1 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 3 %まじる。しまる。	125×85	21	20住内	床面で検出	
DK12	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が 2 %、10YR 5 ／ 6 が 5 %、 5 YR 5 ／ 6 が 1 %まじる。しまる。	54	11	18住内	床面下で検出	PT82に切られる
DK13	10YR 2 ／ 3 に10YR 4 ／ 6 が10%、 5 YR 5 ／ 6 が 1 %未満、 5 YR 5 ／ 8 が 1 %未満、10YR 2 ／ 1 が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	83	19	53a住内		
DK14	7.5YR 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 5 %、10YR1.7／ 1 が 1 %まじる。しまる。	79	9	18住内	床面下で検出	
DK15	10YR1.7／ 1 に10YR 4 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %、7.5YR 4 ／ 4 が 1 %まじる。押すと 2 mmへこむ。	61	47	48住内	床面で検出	
DK16	2.5Y 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が20%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、 5 YR 3 ／ 4 が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	60	17	48住内	床面下で検出	
DK17	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が20%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %まじる。押すと 2 mmへこむ。	110	17	3 住内	床面下で検出	上に床が貼ってある
DK18	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が20%、 5 YR 4 ／ 6 に 5 %、 5 YR 5 ／ 6 が 2 %、炭化物粒子が 2 %、10YR 2 ／ 1 が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	97	22	3 住内	床面下で検出	PT39に切られる
DK19	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が10%、10YR 2 ／ 1 が 3 %、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %まじる。	120	12	7 住内	床面下で検出	PT30に切られる
DK20	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が10%、10YR 2 ／ 1 が 3 %まじる。しまる。	100×67	10	7 住内	床面下で検出	PT106に切られる
DK21	10YR 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、10YR1.7／ 1 が 5 %まじる。押すと 1 mmへこむ。	140×110	24	49住内	床面下で検出	PT112に切られる　上面に床が貼ってある
DK22	10YR 3 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が 5 %、10YR 2 ／ 2 が 1 %、焼土が 1 %まじる。しまる。	78	18	49住内	床面下で検出	23号土坑を切る
DK23	10YR 3 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が 1 %、焼土が 1 %、炭化物粒子が 1 %まじる。しまる。	74	17	49住内	床面下で検出	22号土坑を切る
DK24	10YR 4 ／ 3 に10YR 3 ／ 1 が 1 %、10YR 3 ／ 2 に 3 %、焼土が 1 %、炭化物粒子が 1 %まじる。しまる。	84	18	58住内	床面下で検出	PT118を切る
DK25	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が10%まじる。しまる。	57	13	15住内	床面下で検出	
DK26	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 3 が20%まじる。	45	5	19住内	床面で検出	
DK27	10YR 3 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が10%まじる。	62.5	5	19住内	床面下で検出	
DK28	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が20%、 5 YR 3 ／ 6 が 1 %、 5 YR 4 ／ 6 が 3 %まじる。押すと 2 mmへこむ。	159×50	20	58住内	床面下で検出	土器 2 点
DK29	2.5Y 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、10YR1.7／ 1 が 1 %まじる。	111	11	16住内	床面下で検出	
DK30	10YR 4 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	97	21	59住内		
DK31	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 3 %、 5 YR 5 ／ 6 が 2 %、10YR 2 ／ 1 が 1 %未満まじる。押すと 3 mmへこむ。	88	22	61住内	床面で検出	土器 1 点
DK32	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が30%、10YR 2 ／ 1 が 1 %、 5 YR 4 ／ 4 が 1 %未満まじる。しまる。	106	16	3 住内	床面下で検出	
DK33	7.5YR 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が15%、 5 YR 3 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 8 が 1 %、炭化物粒子が 7 %まじる。しまる。	91	16	59住内		焼土が上にある
DK34	10YR 4 ／ 2 に2.5Y 4 ／ 4 が10%、2.5YR 4 ／ 6 が 3 %まじる。しまる。	96	10	7 住内	床面下で検出	
DK35	10YR 4 ／ 6 に10YR 3 ／ 2 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %、10YR1.7／ 1 が 1 %まじる。しまる。	45	16	31住内	床面下で検出	
DK36	10YR 4 ／ 6 に10YR 3 ／ 2 が10%、10YR 2 ／ 1 が 3 %まじる。しまる。	66	15	3 住内	床面下で検出	
DK37	10YR 4 ／ 6 に10YR 3 ／ 2 が10%、10YR 2 ／ 1 が 1 %まじる。しまる。	70	20	3 住内	床面下で検出	
DK38	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 8 が 5 %、10YR1.7／ 1 が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	93	20	53a住内		
DK39	10YR 3 ／ 2 に10YR 8 ／ 6 が15%、10YR 2 ／ 1 が 7 %、 5 YR 3 ／ 6 が 3 %、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %まじる。しまる。	100	18	64住内	床面下で検出	PT164を切る
DK40	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 1 %、10YR1.7／ 1 が 3 %まじる。しまる。	152	15	58住内	床面下で検出	PT114に切られる
DK41	10YR 4 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が20%、10YR 2 ／ 1 が 1 %まじる。押すと 2 mmへこむ。	68	10	46住内	床面下で検出	
DK42	10YR 3 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が30%、10YR 2 ／ 1 が 7 %まじる。しまる。	94	11	48住内	床面下で検出	
DK43	10YR 2 ／ 3 に10YR 4 ／ 6 が40%まじる。押すと 2 mmへこむ。	51	12.5	3 住南 8 m		
DK44	10YR 2 ／ 3 に10YR 3 ／ 4 が60%、10YR 4 ／ 6 が10%、炭化物・焼土粒子が 1 %未満まじる。押すと 2 mmへこむ。	54	20.5	3 住南 8 m		
DK45	10YR 2 ／ 3　30%　10YR 3 ／ 3 が40%、10YR 3 ／ 4 が30%、焼土が 1 %未満まじる。しまる。	77.5	47.5	4 住北西 1 m		
DK46	10YR 3 ／ 4 に10YR 4 ／ 6 が80%まじる。しまる。	80	34	4 住北 2 m		47土坑を切る
DK47	10YR 3 ／ 3 に10YR 4 ／ 6 が40%、10YR 2 ／ 2 の小ブロックが30%まじる。押すと 1 mmへこむ。	53	15.5	4 住北 3 m		46土坑に切られる
DK48	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、 5 YR 4 ／ 6 が 5 %、炭化物粒子が 1 %まじる。押すと 3 mmへこむ。	87	19	53b住内	床面下で検出	
DK49	7.5YR 2 ／ 3 に7.5YR 5 ／ 6 が 5 %、焼土粒子の小ブロックが 2 %まじる。押すと 2 mmへこむ。	64	26	56住内	床面下で検出	上に拳大の礫 1 点　子供の頭大の礫 1 点
DK50	7.5YR 3 ／ 3 に7.5YR 5 ／ 6 の小ブロックが20%、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	91	7	56住内	床面下で検出	
DK51	7.5YR 3 ／ 3 に7.5YR 5 ／ 6 の小ブロックが20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すと 1 mmへこむ。	84	11	56住内	床面下で検出	上に平板の子供頭位の礫 2 点　上に平板の 5 ×12× 3 cmの礫 1 点

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
DK52	7.5YR３／３に7.5YR５／６の小ブロックが20%、炭化物粒子・焼土粒子わずかにまじる。押すと１mmへこむ。	98	14	56住内	床面下で検出	
DK53	10YR２／２に10YR４／６が10%、10YR1.7／１が３%、５YR４／６が１%未満まじる。しまる。	87	17	67住内	床面下で検出	
DK54	10YR３／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が３%まじる。しまる。	61	16.5	68住北東５m		PT278に切られる
DK55	10YR５／６に10YR３／２が10%、10YR２／１が10%、５YR５／８が１%未満まじる。しまる。	192	55.5	46住西		底に坏あり
DK56	7.5YR３／２に５YR７／８が７%、５YR４／８が３%、５YR６／８が２%、10YR７／６が３%、炭化物粒子２%まじる。しまる。	100	14	63住内	床面で検出	土器多数　上に焼土がかぶさる
DK57	7.5YR２／２に7.5YR５／６が40%、7.5YR２／１が５%。押すと２mmへこむ。	59	20	4住南東９m		
DK58	7.5YR３／２に7.5YR２／２のブロックが10%、7.5YR５／６が小ブロックで20%まじる。押すとへこむ。	102	48	4住南東11m		
DK59	7.5YR３／３に10YR５／４が10%、10YR２／２が２%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	101	55	７号掘立		
DK60	10YR２／１に10YR３／４が20%、焼土粒子が５%まじる。押すと１mmへこむ。	60	22	65住内		
DK61	7.5YR２／２に7.5YR６／６の小ブロックが20%、7.5YR２／１が２%、焼土粒子わずかにまじる。底しまる。しまる。	100	22	75住西６m		上に小拳大の礫１点
DK62				７住東１m		63号土坑を切る
DK63				７住東１m		62号土坑に切られる
DK64	7.5YR３／２に7.5YR４／４が30%、炭化物粒子・焼土粒子わずかにまじる。しまる。	68	30	60住北西３m		遺物多い
DK65	10YR２／２。押すとへこむ。	78	13	73住東８m		
DK66	10YR３／３に7.5YR４／４が10%、焼土・炭化物粒子が10%まじる。しまる。	78	39	65住内		60号土坑に切られる
DK67	10YR２／２、炭化物粒子・焼土粒子わずかにまじる。底固くしまる。ややしまる。	54	30	60住内	床面下で検出	上に人の頭大の礫１点
DK68	10YR３／３に10YR２／２のブロックが30%、10YR４／４が20%まじる。底固くしまる。ややしまる。	58	28	60住内	床面下で検出	
DK69	7.5YR３／２に7.5YR２／２が40%、焼土・炭化物粒子の小ブロックが５%まじる。底固くしまる。ややしまる。	89	34	60住内	床面下で検出	
DK70	10YR３／２に10YR４／６が５%、10YR２／１が３%まじる。しまる。	200×110	21	21住内	床面下で検出	土器多数
DK71	10YR３／２に10YR２／２が30%、10YR５／６が10%、炭化物粒子のブロック底部に層となり30%、焼土粒子小ブロックで灰の中に７%まじる。押すとややへこむ。	80×135		21住内	床面で検出	
DK72	10YR３／２に10YR２／２が30%、10YR５／６が30%、炭化物粒子わずかにまじる。底は床。固くしまる。ややしまる。	76	8	60住内	床面下で検出	
DK73	10YR２／１に10YR２／２が40%、10YR５／６が10%、焼土粒子が１%まじる。底固くしまる。押すとややへこむ。	56	5	57住東９m		
DK74				３住北東11m		
DK75	10YR４／２に10YR５／６が７%、５YR４／８が１%、５YR３／６が１%未満、10YR1.7／１が１%まじる。しまる。	124	23	21住内	床面下で検出	
DK76	10YR２／２に7.5YR1.7／１が５%、10YR５／６が５%まじる。押すとややへこむ。	136	18	71住内	床面下で検出	上に拳大の礫２点
DK77	10YR２／２に10YR３／３が20%、炭化物粒子・焼土粒子が１%まじる。押すとややへこむ。	64	14	21住内	床面下で検出	
DK78	10YR２／２に10YR４／６が20%、焼土粒子わずかにまじる。しまる。	90	31	77住南東４m		
DK79	10YR２／１に10YR４／６が20%まじる。押すと２mmへこむ。	73	31	77住南東２m		
DK80	10YR３／２に10YR５／６が20%、炭・焼土粒子が７%まじる。押すと２mm以上へこむ。	80×150	14	21住内	床面で検出	上に土器２点
DK81	10YR４／２に10YR５／６が10%、10YR1.7／１が１%まじる。しまる。	80×130	23	21住内	床面下で検出	
DK82	10YR２／１に10YR３／２が30%、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	85	28	18住北20m		
DK83	10YR２／２に10YR２／１が小豆大の粒で３%、焼土粒子わずかにまじる。底固くしまる。しまる。	126	15	72住内		一部上に固い部分あり
DK84	10YR３／３に10YR５／６が小ブロックで15%、10YR２／１が１%、炭化物粒子の小ブロックが２%、焼土粒子１%以上まじる。しまる。	90	20	72住内		
DK85	7.5YR３／２に7.5YR２／１が15%、10YR1.7／１が５%、焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	190	20	77住北２m		
DK86	7.5YR２／２に7.5YR４／４が30%、焼土粒子の小ブロックが３%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとややへこむ。	62	7	61住内	床面で検出	
DK87	7.5YR３／２に7.5YR４／４の小ブロックが15%、焼土粒子が５%、炭化物粒子が１%まじる。押すと２mmへこむ。	74	17	62住内	床面下で検出	PT176と切り合う
DK88	10YR３／２に7.5YR２／２が20%、10YR２／１が10%、焼土粒子が２%、7.5YR４／４が20%まじる。底固い。押すとへこむ。	63	13	75住内	床面下で検出	上部に黒い層あり
DK89	10YR３／２に10YR２／２が５%、10YR５／６が20%、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	90	14	23住内	床面下で検出	
DK90	10YR３／２に10YR２／２が40%、10YR５／４が20%、焼土粒子が５%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	110×70	10	23住内	床面下で検出	
DK91	7.5YR２／２に7.5YR３／２が30%、10YR５／６が20%、焼土粒子が３%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	83	20	23住内	床面下で検出	
DK92	7.5YR３／２に10YR５／４の小ブロックが15%、焼土粒子が２%。炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	112		23住内	床面下で検出	
DK93	7.5YR２／３に7.5YR２／２が５%、焼土粒子が40%、10YR５／６が５%まじる。底固くしまる。押すとへこむ。	74	6	23住内	床面下で検出	
DK94	7.5YR３／２に10YR５／６が10%、焼土粒子が10%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。押すとややへこむ。	52	14	23住内	床面で検出	土器多数
DK95	10YR４／２に10YR５／６が30%まじる。押すと３mmへこむ。	45	6.5	77住内	床面下で検出	
DK96	10YR４／２に10YR４／６が20%、10YR２／１が５%まじる。押すとへこむ。	75	18	76住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
DK97	10YR 2 ／ 2 に10YR 3 ／ 2 が10%、10YR 4 ／ 6 が 7 %、10YR 2 ／ 1 が 3 %まじる。押すとへこむ。	94	24	73住内	床面下で検出	
DK98	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、10YR 2 ／ 2 が 3 %まじる。押すとへこむ。	68	17	24住内	床面下で検出	
DK99	10YR 4 ／ 2 に10YR 3 ／ 2 が20%、10YR 4 ／ 6 が10%まじる。しまる。	92	15	24住内	床面下で検出	
DK100	10YR 3 ／ 2 に10YR 4 ／ 6 が 7 %、10YR 2 ／ 2 が 3 %、焼土・炭化物粒子が 5 %まじる。押すとへこむ。	74	11	24住内	床面で検出	
DK101	10YR 2 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、焼土粒子の小ブロックが 7 %、炭の小ブロックが 1 %まじる。底固い。押すとややへこむ。	118	21	22住内	床面下で検出	上に小拳大の礫 1 点　中心をベルト状にカクラン通る
DK102	10YR 3 ／ 2 に10YR 2 ／ 2 が15%、焼土粒子帯状に30%、10YR 5 ／ 6 が 5 %、炭化物粒子わずかにまじる。底 1 ／ 2 粘土。押すとへこむ。	60		81住内	床面で検出	上面に小型甕 1 点
DK103	10YR 2 ／ 2 に10YR 2 ／ 1 が10%、10YR 3 ／ 3 が30%、10YR 5 ／ 6 が10%、焼土粒子が 5 %、炭化物粒子が 1 %まじる。底固い。押すとへこむ。	129	18	22住内	床面下で検出	上に人頭大礫 1 点、上面に貼床あり
DK104	10YR 2 ／ 2 に7.5YR 2 ／ 2 が30%、10YR 4 ／ 4 が10%、焼土粒子が 5 %、炭化物粒子 1 %まじる。押すとへこむ。	80	19	82住内	床面で検出	上に平板の人頭大礫 1 点
DK105	10YR 2 ／ 2 に10YR 3 ／ 3 が30%、10YR1.7／ 1 が20%、10YR 5 ／ 6 が10%まじる。底固い。押すとへこむ。	60	20	74住内	床面下で検出	
DK106	10YR 2 ／ 2 の10YR1.7／ 1 のブロックが15%、10YR 5 ／ 6 が10%、炭・焼土粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	74	11	74住内	床面下で検出	PT547と切り合う　上に子供の頭大の礫 1 点
DK107	10YR 2 ／ 2 に10YR 2 ／ 1 が20%、10YR 4 ／ 6 が 7 %、炭・焼土粒子が 5 %まじる。底固い。押すとへこむ。	96	10	74住内	床面下で検出	PT551に切られる
DK108	10YR 3 ／ 2 に10YR1.7／ 1 の小ブロックが 5 %、10YR 4 ／ 6 が 5 %まじる。押すとへこむ。	126	15	74住内	床面下で検出	
DK109	10YR 2 ／ 2 に10YR 4 ／ 4 が15%、焼土粒子の小ブロックが 3 %、炭化物粒子が 1 %まじる。しまる。	110	24	74住内	床面下で検出	
DK110	10YR 2 ／ 3 に10YR 2 ／ 1 が10%、10YR 5 ／ 6 が 7 %、7.5YR 4 ／ 6 が 2 %まじる。しまる。	100×137	25.5	29住内		
DK111		325×160	36	72住内		
DK112	10YR 2 ／ 3 に10YR 2 ／ 2 が30%、10YR 5 ／ 6 が15%、焼土・炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	93	21	29住内		
DK113	10YR 2 ／ 3 に10YR 4 ／ 4 のブロックが10%、焼土・炭化物粒子が 2 %まじる。押すとへこむ。	103	20	74住内	床面下で検出	
DK114	10YR 3 ／ 3 に10YR 2 ／ 3 が40%、焼土粒子のブロックが 7 %、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	72	29	72住内		
DK115	7.5YR 4 ／ 4 に10YR 2 ／ 3 が30%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、焼土・炭化物粒子が 1 %まじる。底固い。しまる。	130×100	9	25住内	床面下で検出	
DK116	10YR 4 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が10%、焼土・炭化物粒子が 5 %まじる。しまる。	104	20	22住内	床面下で検出	鍛冶遺構か
DK117	7.5YR 2 ／ 2 に7.5YR 2 ／ 1 が 5 %、焼土粒子帯状に20%、炭化物粒子の小ブロック 1 ヶが 1 %まじる。底固い。押すとへこむ。	56	18	29住内		
DK118	10YR 3 ／ 3 に10YR 4 ／ 4 が20%、10YR 2 ／ 2 が 5 %、炭化物粒子が 1 %、焼土の小ブロックが 2 %まじる。押すとややへこむ。	78	17	64住内	床面で検出	
DK119	7.5YR 3 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が10%、焼土の小ブロックが 5 %、炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	78	27	72住内		111号土坑と切り合う
DK120	7.5YR 2 ／ 3 に7.5YR 4 ／ 6 が40%、7.5YR 2 ／ 2 が 3 %、焼土粒子の小ブロックが10%、炭化物粒子わずかにまじる。しまる。	51	7	84住内		
DK121	10YR 2 ／ 2 に10YR 3 ／ 3 が40%、炭・焼土粒子が 2 %まじる。しまる。	81	13	84住内		
DK122	不明	240×115		71住内	床面下で検出	
DK123	7.5YR 2 ／ 3 に7.5YR 5 ／ 6 が10%、焼土粒子の小ブロック・他が 5 %、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	100×85	28	76住内	床面下で検出	
DK124	7.5YR 2 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が 7 %、焼土粒子が30%、炭化物粒子 2 %まじる。ややしまる。	105	24	49住内	床面下で検出	
DK125	10YR 3 ／ 4 に10YR 4 ／ 4 が40%、焼土粒子が 1 %、炭化物粒子わずかにまじる。ややしまる。	136	13	86住内		
DK126	10YR 2 ／ 3 に10YR 3 ／ 4 が80%、10YR 2 ／ 3 の方へ焼土のブロックが20%、炭化物粒子わずかにまじる。ややしまる。	76	15	29住北西 5 m		
DK127	7.5YR 2 ／ 2 に10YR 5 ／ 6 が小ブロックで10%、炭・焼土粒子の小ブロックが 5 %まじる。底固い。ややしまる。	120×74	23	80住内	床面で検出	上に土器多数　拳大の礫 1 点
DK128	7.5YR 3 ／ 2 に7.5YR 2 ／ 2 が30%、10YR 4 ／ 4 が20%、焼土粒子帯状に 5 %、炭化物粒子の小ブロックが 3 %まじる。押すとへこむ。	100	32	29住東 5 m		
DK129	7.5YR 2 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 の小ブロックが 5 %、焼土粒子が30%、炭化物粒子が 5 %まじる。押すとへこむ。	80×42	12	82住内	床面下で検出	
DK130	10YR 3 ／ 3 に10YR 2 ／ 2 が10%、10YR 5 ／ 6 が20%、焼土・炭化物粒子が 2 %。底固い。押すとへこむ。	117	11	82住内	床面下で検出	上に四角い礫（12×16× 5 cm）あり
DK131	10YR 3 ／ 3 に10YR 2 ／ 2 が10%、10YR 5 ／ 6 が20%、炭・焼土粒子が 3 %まじる。底固い。しまる。	98	10	82住内	床面下で検出	
DK132	10YR 3 ／ 3 に10YR 2 ／ 2 が20%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、10YR 5 ／ 6 が20%、炭・焼土粒子が10%まじる。押すとややへこむ。	115	18	82住内	床面下で検出	
DK133	7.5YR 3 ／ 3 に7.5YR 3 ／ 2 が10%、7.5YR 2 ／ 1 が 5 %、10YR 5 ／ 6 が15%、炭・焼土粒子が10%まじる。。ややしまる。	67	13	82住内	床面下で検出	周溝と切り合う
DK134	10YR 3 ／ 3 に10YR 2 ／ 1 が 5 %、10YR 4 ／ 6 の小ブロックが10%、炭・焼土粒子が 5 %まじる。底固い。しまる。	86	20	28住内	床面下で検出	165号土坑を切る
DK135	完掘済み　DK104参照	58	16	82住内	床面で検出	104号土坑と切り合う　上に拳大の礫 2 点
DK136	7.5YR 3 ／ 3 に7.5YR 3 ／ 3 が40%、焼土粒子が30%まじる。底固い。ややしまる。	86	49	81住内	床面下で検出	
DK137	7.5YR 3 ／ 2 に7.5YR 2 ／ 2 が40%、10YR 5 ／ 6 が15%、炭化物粒子の小ブロックが 1 %まじる。しまる。	121	69	21住西 2 m		
DK138	10YR 4 ／ 4 に10YR 2 ／ 2 が30%、10YR 2 ／ 1 が 5 %、焼土粒子が25%、炭化物粒子 1 %まじる。しまる。	100	13	56住内	床面下で検出	
DK139	7.5YR 3 ／ 2 に7.5YR 2 ／ 1 が20%、炭化物粒子わずかにまじる。押すとへこむ。	112×92	52	49住内	床面下で検出	124号土坑と切り合う
DK140	7.5YR 4 ／ 4 に7.5YR 2 ／ 1 が 7 %、7.5YR 5 ／ 6 が20%、焼土粒子が10%、炭化物粒子 2 %まじる。固くしまる。	125	6	19住内	床面下で検出	
DK141	10YR 3 ／ 3 に10YR 3 ／ 2 が15%、焼土上層全体に60%、炭化物粒子の小ブロックが 3 %まじる。ややしまる。	60	11	56住内	床面下で検出	
DK142	7.5YR 5 ／ 6 に7.5YR 2 ／ 3 が10%、炭・焼土粒子のブロックが 5 %まじる。しまる。	145	10	18住内	床面下で検出	PT78と切り合う
DK143	10YR 4 ／ 3 に10YR 3 ／ 3 が20%、炭・焼土粒子が30%、10YR 2 ／ 2 が20%まじる。押すとへこむ。	145×110	21	19住内	床面下で検出	
DK144	7.5YR 4 ／ 3 に7.5YR 3 ／ 2 が30%、7.5YR 2 ／ 1 が 5 %、炭・焼土粒子が 5 %まじる。しまる。	110×170	6	69住内	床面下で検出	
DK145	7.5YR 3 ／ 3 に10YR 5 ／ 6 が30%、10YR 2 ／ 2 が 5 %、炭・焼土粒子わずかにまじる。しまる。	70	22	13住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
DK146	10YR４／３に10YR５／６が30%、10YR２／１が10%まじる。押すとへこむ。	108	13	24住内	床面下で検出	
DK147	7.5YR３／２に7.5YR２／１が10%、10YR４／４が５%、炭・焼土の小ブロックが15%まじる。底固い。しまる。	56	9	73住内	床面下で検出	
DK148	7.5YR２／２に7.5YR３／２が30%、10YR４／４が30%まじる。底固い。ややしまる。	75	12	73住内	床面下で検出	
DK149	10YR５／６に10YR３／２が５%、焼土粒子わずかにまじる。底固い。固くしまる。	78	9	57住内	床面下で検出	
DK150	7.5YR３／３に7.5YR４／４が40%、炭化物粒子わずかにまじる。底固い。しまる。	120×172		73住内	床面下で検出	
DK151	7.5YR３／３粘質土に10YR３／４が10%、10YR４／６が２%、炭化物粒子が１%未満、焼土５%まじる。固くしまる。	87	9.5	74住内	床面下で検出	
DK152		65.5	18	74住内	床面下で検出	
DK153	10YR３／４に10YR４／４が３%、焼土が１%未満まじる。しまる。	64	17.5	74住内	床面下で検出	
DK154	10YR３／４に10YR４／６が２%、炭化物粒子が１%未満、焼土が２%まじる。10YR２／３が５%粘質土。しまる。	80	21	74住内	床面下で検出	
DK155	10YR３／４に10YR２／３が３%、10YR４／６が２%まじる。しまる。	80	12	23住内	床面下で検出	
DK156	10YR３／４に焼土が10%、炭化物粒子が１%まじる。固くしまる。	52	10.5	23住内	床面下で検出	
DK157	10YR３／４。固くしまる。	84	10.5	23住内	床面下で検出	
DK158	10YR３／４に10YR４／６が３%まじる。固くしまる。	55	4.5	23住内	床面下で検出	
DK159	10YR３／４に10YR４／６が１%、焼土が20%まじる。固くしまる。	56	5	22住内	床面下で検出	
DK160	10YR２／３に10YR３／４が10%、炭化物粒子・焼土が１%まじる。しまる。	64	23.5	85住内	床面下で検出	
DK161	10YR３／４に10YR４／６が２%まじる。しまる。	102	7	26住内	床面下で検出	
DK162	10YR３／４に10YR４／６が１%まじる。しまる。	70	22	28住内	床面下で検出	
DK163	10YR２／３に10YR４／６が２%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	60	19	28住内	床面下で検出	
DK164	10YR３／３に10YR４／３が20%、10YR５／６が10%、焼土が５%、炭が１%まじる。固くしまる。	57	5	82住内	床面下で検出	
DK165	10YR２／３に10YR４／６が１%、10YR２／１が２%、炭・焼土まじる。しまる。	110	25	28住内	床面下で検出	134号土坑に切られる　163号土坑切り合不明
DK166	10YR４／３細粒土に焼土が１%まじる。やや固くしまる。	35	19	89住内	床面下で検出	土器片
DK167	7.5YR２／３に焼土ブロック粒子が５%まじる。固くしまる。	85	33	88住内	床面で検出	
DK168	7.5YR２／３に炭・焼土粒子が５%、10YR４／６の小ブロックが10%まじる。押すと１mmへこむ。	80	15	40住内	床面下で検出	
DK169	7.5YR３／３に焼土、10YR８／６の小ブロックが40%まじる。押すと１mmへこむ。	110	22	40住内	床面下で検出	202号土坑を切る　床が上面に貼られている
DK170	7.5YR３／４に7.5YR４／４が20%ブロックで入る、焼土・炭化物含む。押すと３mmへこむ。	53	35	90住内		礫３点　土器片　床面を切る
DK171	7.5YR３／４に7.5YR２／２が50%、7.5YR４／４に15%（粘性有）斑状にまじる。焼土含む。固くしまる。	78	29	37住内	床面下で検出	上面には断片的に床が貼られている、礫１点、土器片
DK172	7.5YR４／４に7.5YR２／２が20%、7.5YR３／３が20%、焼土のブロックが５%まじる。固くしまる。	85×51	18	37住内	床面下で検出	
DK173		78	13	90住内		170号土坑と切り合い
DK174	10YR３／２に10YR５／６が10%、焼土が１%まじる。やや固くしまる。	60	43	90住東９m		
DK175	7.5YR４／２に7.5YR６／６が10%、焼土が５%、炭化物粒子が１%まじる。固くしまる。	65×74	7	37住内	床面下で検出	礫
DK176	10YR２／３が５%、10YR４／６が１%、10YR３／４が１%、7.5YR３／４が２%、炭化物粒子が１%未満、焼土が１%まじる。しまる。	69	17.5	36住内	床面で検出	礫、土器片
DK177	10YR２／３が２%、10YR３／４が30%、10YR４／６が１%、焼土が１%まじる。しまる。	69	17	95住内	床面下で検出	土器片
DK178	10YR２／３が１%、10YR３／３が３%、10YR３／４が５%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	79.5	17.5	95住内	床面下で検出	土器片
DK179	10YR２／３に10YR３／４が３%、10YR４／６が１%、炭化物粒子・焼土が１%まじる。押すと３mmへこむ。	58	16	94住内	床面で検出	
DK180	10YR３／４に10YR４／６が２%、炭化物粒子・焼土が１%まじる。しまる。	97	20	93住内	床面下で検出	土器片
DK181	10YR３／２に10YR２／２が30%、10YR５／６が10%、10YR５／４のブロックが２%まじる。押すと２mmへこむ。	100×60	20	80住内	床面下で検出	
DK182	7.5YR３／２に7.5YR５／６が７%、焼土が２%、炭化物粒子が１%まじる。固くしまる。	145×70	24	92住内	床面で検出	
DK183	7.5YR４／３に7.5YR４／２が30%、焼土が10%まじる。固くしまる。	65	13	94住内	床面下で検出	
DK184		120	12	94住内	床面下で検出	
DK185	7.5YR４／２に7.5YR５／６が30%、7.5YR６／８が２%、焼土が５%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	88	50	44住内		土器上層で２点出土
DK186	7.5YR４／２に7.5YR５／６が２%、焼土が７%、炭化物粒子が３%まじる。	110	11	93住内	床面下で検出	PT778、777含む
DK187	7.5YR４／４に7.5YR４／６が５%、焼土が20%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	112	14	93住内	床面下で検出	
DK188	7.5YR５／６に7.5YR４／４が20%、焼土が１%まじる。下場に土器含む。	144×70	4	93住内	床面下で検出	
DK189	7.5YR４／３に焼土が30%、炭化物粒子が１%まじる。	56	23	36住内	床面下で検出	
DK190	10YR４／２に10YR６／６が５%、焼土が１%、炭化物粒子が１%まじる。	146	24	93住内	床面下で検出	
DK191	7.5YR４／２に7.5YR５／６が30%、焼土が７%、炭化物粒子が１%まじる。固くしまる。	102	17.5	92住内	床面下で検出	
DK192	7.5YR４／４に10YR５／６が20%、焼土が20%、炭化物粒子が２%まじる。やや固くしまる。	91	17	36住内	床面下で検出	
DK193	7.5YR４／３に7.5YR５／６が５%、焼土が20%、炭化物粒子が１%まじる。しまる。	92	11	93住内	床面下で検出	
DK194	10YR３／３に10YR６／６が10%、焼土が７%まじる。	80	15	93住内	床面下で検出	

遺構番号	覆　　土　　色	大きさ	深さ	位　　置		備　　考（遺物など）
DK195	10YR４／４に10YR５／６が10%、焼土が５%まじる。やや固くしまる。	56	4	93住内	床面下で検出	土器片
DK196	10YR３／４に10YR４／６が１%、焼土が１%未満まじる。	54	18	93住内	床面で検出	土器片
DK196				89住内	床面で検出	
DK197	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが３%まじる。しまる。	70	15.5	89住内	床面下で検出	198号土坑を切る
DK198	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが２%まじる。しまる。	134	22	89住内	床面下で検出	197号土坑に切られる
DK199	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが２%、炭化物粒子・焼土が１%まじる。	148	10	89住内	床面下で検出	床下の土坑
DK200	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが１%まじる。しまる。	74	30	42住内		
DK201	10YR３／４に10YR４／６が１%まじる。しまる。	62	24	40住内	床面で検出	
DK202	10YR３／４に10YR４／６が２%、焼土が１%まじる。しまる。	114	16	40住内	床面下で検出	169号土坑に切られる
DK203	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが３%、焼土が１%まじる。しまる。	210×135	17.5	40住内	床面下で検出	204号土坑を切る
DK204	10YR３／４に10YR４／６の粘質土ブロックが２%、焼土が１%まじる。しまる。	123×65	12	40住内	床面下で検出	203号土坑に切られる
DK205		127	17	94住内	床面下で検出	
DK206		130	18	94住内	床面下で検出	
DK207		120	17	94住内	床面下で検出	
DK208		100	23	42住内		200号土坑と切り合い
DK209	10YR２／３に7.5YRが１%、粒子状焼土が１%まじる。しまる。	88	6.5	92住内	床面下で検出	
DK210	10YR２／３に10YR３／４が２%、炭化物粒子が２%、焼土が１%まじる。しまる。	77	10	42住内	床面下で検出	床下の土坑　215号土坑を切る
DK211	10YR２／３に10YR４／６が１%、焼土が１%未満まじる。しまる。	105	8	42住内	床面下で検出	床下の土坑　土器片
DK212	10YR３／２に10YR４／４が10%、焼土が５%まじる。	58	23	40住内	床面下で検出	169号土坑と168号土坑に切られる　219号土坑を切る 土器片あり
DK213	10YR２／３に10YR４／６が１%、焼土が１%未満まじる。しまる。	92	18	42住内		カクラン
DK214	10YR３／４に10YR４／６が10%、焼土１%未満まじる。しまる。	68	13	42住内	床面下で検出	床下の土坑
DK215	10YR３／４に10YR２／３が１%まじる。しまる。	79	19.5	42住内	床面下で検出	床下の土坑　201号土坑に切られる
DK216		69	11	40住内	床面下で検出	土器片
DK217		79	8	40住内	床面下で検出	
DK218		66.5	7	40住内	床面下で検出	212号土坑に切られる
DK219		70	18	40住内	床面下で検出	169号土坑に切られる

第５表　土器・土製品一覧

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
９図１	土師器	坏	12.0			88		小破片	内面ミガキ、黒色処理
９図２	土師器	坏	13.8			88		小破片	内面ミガキ
９図３	土師器	鉢?	18.4					小破片	黄橙色で雲母粒子が混じらない胎土
10図１	土師器	坏			6.2	88		小破片	内面ミガキ、黒色処理
10図２	土師器	坏			6.0	88		小破片	内面黒色処理
10図４	土師器	坏	13.6			88	7.5YR６／６	小破片	内面ミガキ、二次被熱痕あり
10図５	甲斐型	甕	32.0				2.5YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
10図６	須恵器	壺・甕					2.5Y５／２	小破片	内面は磨耗し平滑である。微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
10図７	須恵器	壺・甕					7.5YR４／２	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
11図１	甲斐型	坏	12.0			9		小破片	
11図２	甲斐型	坏			5.0	9		小破片	体部下半ヘラケズリなし
11図３	甲斐型	坏			5.0	8	7.5YR５／６	小破片	器面風化が激しい
12図１	土師器	皿	11.6					小破片	
12図２	甲斐型	坏	11.6			9		小破片	
12図３	甲斐型	甕	33.8			9		小破片	
12図４	須恵器	壺・甕					10YR３／１	小破片	鉱物粒子が混じりきめ細かな胎土、色調外面10YR３／１、内面10YR５／２
12図５	須恵器	壺・甕					7.5YR３／３	小破片	緻密な胎土、色調外面7.5YR３／３、内面および断面7.5YR４／２
12図６	須恵器	長頸壺					10YR５／２	小破片	鉱物粒子が混じりきめ細かな胎土、色調外面10YR５／２、断面7.5YR7.6、内面2.5Y６／３
12図７	灰釉陶器	椀	14.0					小破片	漬け掛け施釉、灰白色の緻密な胎土、釉色10YR６／４
12図８	灰釉陶器	椀			7.0			小破片	灰白色の緻密な胎土
12図９	灰釉陶器	長頸壺						小破片	鉱物粒子が混じる緻密な胎土、10YR７／２、釉調５YR４／２
15図１	甲斐型	坏	12.4	4.8	4.5	8	5YR４／６	完形	体部に逆位「田」字墨書あり。カマド内より出土
15図２	甲斐型	坏	12.6	4.0	5.0	8	5YR４／６	完形	体部に逆位「田」字墨書あり。カマド手前床面で出土
15図３	甲斐型	坏	12.6	3.7	3.6	5	5YR５／６	完形	体部に逆位「田」字墨書あり。住居覆土から破片状態で出土
15図４	甲斐型	坏	14.4	5.5	5.0	8	5YR４／６	完形	カマド南床面で出土
15図５	甲斐型	坏	14.2	4.6	4.9	8	7.5YR６／６	完形	住居覆土から破片状態で出土
16図１	甲斐型	坏	14.2			1	5YR４／３	小破片	PT35出土、口縁部破片、内面黒色処理
16図２	甲斐型	坏			5.2	1	5YR５／６	小破片	PT690出土、底部小破片
16図３	甲斐型	坏	14.0	4.7	4.2	8	5YR５／６	１／４	内面黒色処理、暗文
16図４	甲斐型	皿	13.0	2.5	5.0	8	5YR４／６	１／２	底部に焼成後刻書「田」あり
16図５	甲斐型	皿	13.0	2.5		8	5YR４／６	完形	体部下半に逆位「田」字墨書あり。カマド手前床面で出土
16図６	甲斐型	皿				8	7.5YR５／４	小破片	底部破片、墨書「田」
16図７	甲斐型	皿	12.4	2.8	4.4	8	5YR５／６	１／２	体部に逆位「吉」字墨書あり。西壁南寄り周溝上で出土
16図８	甲斐型	皿	13.4	2.7	2.2	4	5YR４／６	小破片	
16図９	甲斐型	甕	22.0				5YR４／６	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図10	甲斐型	甕	30.4				5YR３／４	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図11	甲斐型	甕	31.8				5YR３／６	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図12	甲斐型	甕	30.6				5YR４／６	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図13	甲斐型	甕	30.2				5YR４／４	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図14	甲斐型	甕	30.0				5YR４／４	小破片	口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図15	甲斐型	甕			9.6		5YR４／６	小破片	PT94出土、底部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
16図16	甲斐型	甕			9.2		7.5YR４／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
17図１	甲斐型	甕	20.2				10YR５／３	小破片	口縁部破片、赤色粒子、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
17図２	甲斐型	甕	18.0				5YR３／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
17図３	甲斐型	甕			8.4		7.5YR４／３	小破片	底部破片、赤色粒子、鉱物、雲母粒子が混じり、粗粒の胎土
17図４	土師器	坏	23.2			88	10YR８／２	小破片	内面黒色処理、ミガキ
17図５	土師器	坏	12.0			88	7.5YR７／４	小破片	内面黒色処理、放射状ミガキ
17図６	土師器	坏	16.0			88	10YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
17図７	土師器	坏	11.4			88	7.5YR７／３	１／４	二次被熱あり、内面黒色処理
17図８	土師器	坏			5.7	88	7.5YR７／３	小破片	内面黒色処理、ミガキ

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
17図 9	土師器	甕			7.2		5 YR 5 ／ 4	小破片	ロクロ整形甕、鉱物粒子がわずかに混じるきめ細かな胎土、ロクロによる整形痕が明瞭に残る
17図10	土師器	甕	18.0				10YR 8 ／ 4	小破片	ロクロ整形小型甕の口縁部、赤色粒子、白色粒子、雲母粒子が少量混じるキメ細かな胎土
17図11	甲斐型	羽釜	20.9				5 YR 4 ／ 6	小破片	DK18出土、口縁部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
18図 1	土師器	皿				88	7.5YR 5 ／ 4	小破片	口縁部破片、墨書「田」、内面黒色処理
18図 2	甲斐型	皿				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	口縁部破片、墨書「田」
18図 3	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	口縁部破片、墨書「生」？「万」？
18図 4	甲斐型	坏				6	7.5YR 6 ／ 6	小破片	底部破片、墨書「田」？
18図 5	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	体下半部破片、墨書あり
18図 6	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	体部破片、墨書「田」？
18図 7	土師器	甕					7.5YR 6 ／ 6	小破片	ロクロ整形小型甕の体部破片?、墨書「田」？
18図 8	土師器	坏				88	10YR 5 ／ 3	小破片	体部破片、墨書あり、内面黒色処理
18図 9	甲斐型	坏				1	5 YR 5 ／ 4	小破片	焼成後刻書あり、体部破片
18図10	甲斐型	坏				2	5 YR 4 ／ 4	小破片	焼成後刻書あり、体部破片
18図11	須恵器	壺・甕			8.0		7.5YR 4 ／ 2	小破片	底部破片、鉱物粒子が混じる粗粒の胎土、内面色調10YR 7 ／ 8
18図12	須恵器	壺・甕					2.5Y 5 ／ 2	小破片	緻密で細粒の胎土、断面色調2.5Y 7 ／ 2
18図13	灰釉陶器	椀			6.2		2.5Y 6 ／ 2	小破片	底部破片、釉調 5 Y 6 ／ 3
18図14	灰釉陶器	壺	10.0				5 Y 7 ／ 1	小破片	口縁部破片、釉調 5 Y 6 ／ 2 、緻密で細粒の胎土
18図15	灰釉陶器	壺						小破片	小破片、釉調 5 YR 5 ／ 2
18図16	灰釉陶器	壺					5 YR 7 ／ 1	小破片	胴部破片、緻密で細粒、釉調 5 Y 5 ／ 4
21図 1	甲斐型	坏	13.2	3.3	4.3	2	5 YR 4 ／ 6	1 ／ 2	「乙」墨書あり、カマド北側東壁沿い床面で出土
21図 2	甲斐型	坏	14.5			8	5 YR 5 ／ 6	小破片	「田」?刻書あり、口縁部破片
21図 3	甲斐型	坏	12.5	4.6	4.2	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 3	墨書あり、カマド南側床面で出土
21図 4	甲斐型	坏	13.0	4.4	5.0	8	5 YR 4 ／ 6	1 ／ 4	西壁沿い周溝覆土上面で出土
21図 5	甲斐型	坏	14.4	5.2	5.0	4	5 YR 4 ／ 2	1 ／ 2	内面黒色処理、口唇部に摩滅光沢あり、外面に薄く煤付着、カマド南側床面上で出土
21図 6	甲斐型	坏	16.1	5.5	6.6	8	7.5YR 7 ／ 6	小破片	内面黒色処理、21図 8と同一個体か
21図 7	甲斐型	坏	14.0			8	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 4	内面黒色処理、カマドより出土
21図 8	甲斐型	坏	15.2			8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	内面黒色処理
21図 9	甲斐型	坏	12.8	4.3	4.2	1	5 YR 4 ／ 6	小破片	
21図10	土師器	皿	13.4	2.3		8	5 YR 4 ／ 6	1 ／ 3	「田」墨書あり、カマド南側床面上で出土
21図11	甲斐型	甕	27.7				7.5YR 3 ／ 3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
21図12	甲斐型	甕	33.0				7.5YR 3 ／ 3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
21図13	甲斐型	甕	33.5				7.5YR 3 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
22図 1	甲斐型	羽釜	24.9				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、鍔下面に煤付着
22図 2	甲斐型	甕			9.2		5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
22図 3	土師器	坏	15.0			88	5 YR 4 ／ 4	1 ／ 3	内面黒色処理、ミガキ、カマドより出土
22図 4	土師器	坏	13.0	4.2	6.0	88	7.5YR 6 ／ 6	完形	口唇全周に煤付着、灯明器か、内面黒色処理、ミガキ、カマド北側東壁沿い床面で出土
22図 5	土師器	皿			6.4	88	5 YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
22図 6	須恵器	突帯付壺					2.5YR 3 ／ 1	小破片	胴部小破片、鉱物粒子が混じり細粒の胎土、内面色調2.5YR 3 ／ 3
22図 7	須恵器	突帯付壺					5 YR 3 ／ 2	小破片	胴部小破片、鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土、内面色調 5 YR 4 ／ 2
22図 8	須恵器	甕					2.5Y 5 ／ 3	小破片	胴部小破片、やや大きめの鉱物粒子が混じる細粒な胎土、22図 6と同一個体か
22図 9	灰釉陶器	椀	15.5				5 YR 7 ／ 1	小破片	口縁部小破片、釉調 5 YR 5 ／ 2
22図10	灰釉陶器	壺	9.1				5 YR 7 ／ 1	小破片	口縁部小破片、釉調 5 YR 6 ／ 3
22図11	灰釉陶器	椀			7.4		5 YR 7 ／ 1	小破片	緻密だがやや粗粒の胎土、釉調 5 YR 6 ／ 4
22図12	灰釉陶器	椀			6.4		5 YR 7 ／ 1	小破片	緻密な胎土、釉調 5 YR 6 ／ 3
22図13	土師器	皿				88	7.5YR 7 ／ 4	小破片	「田」墨書あり、口縁部破片、内面黒色処理
22図14	甲斐型	皿					5 YR 5 ／ 6	小破片	「田」?墨書あり、口縁部破片
22図15	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	「田」?墨書あり、胴部破片、内面黒色処理
22図16	土師器	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	「田」?墨書あり、口縁部破片
22図17	土師器	坏				88	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部破片、逆位「全」刻書あり
22図18	甲斐型	皿				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	底部破片、刻書あり
24図 1	土師器	甕	14.0				5 YR 5 ／ 4	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土、内外面ともナデ整形のみ
24図 2	土師器	坏	13.7	4.5	6.7		5 YR 5 ／ 6	1 ／ 2	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、ロクロ整形痕が非常に目立つ

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
25図1	甲斐型	鉢	26.6				5YR4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒でざらつく胎土
25図2	甲斐型	鉢	34.4				5YR4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒でざらつく胎土
25図3	甲斐型	鉢	29.6				5YR4／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒でざらつく胎土
25図4	甲斐型	鉢	37.0				5YR4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒でざらつく胎土
25図5	甲斐型	羽釜	34.6				5YR3／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒でざらつく胎土
25図6	土師器	坏			5.6		5YR4／6	小破片	PT6出土、鉱物粒子が混じりやや細粒で粉っぽくざらつく胎土
25図7	須恵器	甕					2.5Y5／2	小破片	鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
25図8	須恵器	甕					2.5Y5／2	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
25図9	灰釉陶器	皿	14.0	2.3	6.6		2.5Y7／2	1／4	粒子がみえない緻密な胎土、釉調2.5Y8／3
25図10	土製品	羽口					10YR5／2	小破片	被熱により表面が溶解変色し、鉄滓が付着
28図1	甲斐型	坏	12.0			8	5YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり
28図2	甲斐型	Ⅲ	12.2			8	5YR6／6	小破片	口縁部、逆位「真」墨書あり
28図3	甲斐型	坏	12.2	4.0	4.5	6	5YR5／6	1／2	器壁厚手、ヘラケズリ非常に密、「乙」?墨書あり
28図4	甲斐型	坏	12.0			8	5YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり
28図5	甲斐型	坏			6.4	8	5YR5／6	小破片	胴下半部から底部破片、逆位「有」刻書あり
28図6	甲斐型	坏	12.8	3.8	4.8	8	5YR4／6	1／3	カマド南側、PT11上面で出土
28図7	甲斐型	坏	14.0	4.7	5.4	6	7.5YR6／6	1／3	器壁厚手
28図8	甲斐型	坏	12.4			8	5YR4／6	小破片	PT21出土
28図9	甲斐型	坏	12.0			8	5YR4／6	小破片	
28図10	甲斐型	坏	15.0			8	5YR5／6	小破片	内面黒色処理、放射状暗文
28図11	甲斐型	Ⅲ	12.2	2.3	6.0	8	5YR4／6	1／4	
28図12	甲斐型	坏	14.0			1	7.5YR6／6	小破片	1号土坑出土
28図13	甲斐型	坏	13.8			8	7.5YR7／6	小破片	カマド出土
29図1	甲斐型	Ⅲ			4.8	8	5YR4／6	小破片	みこみ部が摩滅し平滑
29図2	甲斐型	Ⅲ	12.6			8	5YR4／4	小破片	PT29、PT106出土
29図3	甲斐型	甕	27.8				7.5YR4／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図4	甲斐型	甕	30.4				7.5YR4／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図5	甲斐型	甕	30.2				7.5YR3／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図6	甲斐型	甕	28.0				7.5YR4／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図7	甲斐型	甕	25.6				7.5YR4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図8	甲斐型	甕	30.8				7.5YR4／3	小破片	器面ナデ調整、ハケメは目立たない、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、カマド出土
29図9	甲斐型	甕			6.0		5YR5／4	小破片	小型甕底部、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図10	甲斐型	甕	9.2				5YR6／6	小破片	小型甕口縁部、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図11	甲斐型	甕			3.8		5YR4／6	小破片	小型甕底部、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
29図12	土師器	甕			5.7		7.5YR6／6	小破片	ロクロ整形小型甕、微小な鉱物粒子、赤色粒子が混じる細粒の胎土
30図1	土師器	椀	13.8			88	5YR5／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
30図2	土師器	坏	15.8			88	5YR6／6	小破片	PT11出土、内面黒色処理、ミガキ
30図3	土師器	坏			5.0	88	5YR4／6	小破片	内面ミガキ、内面色調5YR6／6、二次被熱痕あり、内面は黒色処理か?
30図4	土師器	坏	12.3	3.9	5.2	88	7.5YR6／6	完形	カマド南側、PT11上面で出土、墨書あり、内面黒色処理、放射状のミガキ
30図5	甲斐型	坏				8	5YR4／6	小破片	胴部破片、墨書あり
30図6	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	胴部破片、墨書「田」?あり
30図7	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり
30図8	土師器	坏				88	5YR6／6	小破片	胴部破片、墨書「田」?あり
30図9	甲斐型	坏				8	5YR4／6	小破片	胴部破片、逆位「禾」?墨書あり
30図10	甲斐型					8	5YR4／6	小破片	胴部破片、「山」?「王」?「生」?墨書あり
30図11	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	墨書あり
30図12	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	墨書あり
30図13	甲斐型					8	7.5YR6／6	小破片	胴下半部から底部破片、刻書あり
30図14	甲斐型					8	5YR4／6	小破片	胴部破片、墨書あり
30図15	甲斐型					8	5YR4／6	小破片	胴部破片、墨書あり
30図16	土師器	椀				88	10YR6／6	小破片	皿か、高台付、内面黒色処理
30図18	須恵器	壺・甕					2.5Y4／1	小破片	断面色調7.5YR4／2、鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
30図19	須恵器	壺					2.5Y 5／3	小破片	鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
30図20	灰釉陶器	壺	10.8				5Y 8／1	小破片	口縁部、釉調 5Y 5／3
33図 1	甲斐型	坏	12.7	4.1	4.6	8	5YR 4／6	完形	底部「乙」墨書あり、カマド南側床面 5 cmで出土
33図 2	甲斐型	坏	11.6	4.3	4.8	8	5YR 6／6	完形	「田」墨書あり、内面放射状暗文、住居覆土とPT48覆土より出土した破片が接合
33図 3	甲斐型	坏	12.0			8	7.5YR 6／6	小破片	
33図 4	甲斐型	坏	12.4			2	5YR 6／6	小破片	内面放射状暗文
33図 5	甲斐型	坏	12.2			8	7.5YR 7／4	小破片	DK 7より出土
33図 6	甲斐型	坏	12.4			8	5YR 4／6	小破片	
33図 7	甲斐型	皿	12.2			8	5YR 6／6	小破片	みこみ部に渦巻き状暗文
33図 8	甲斐型	坏	18.2			8	5YR 4／6	小破片	
33図 9	甲斐型	甕	30.0				5YR 4／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
33図10	甲斐型	甕	32.5				5YR 4／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、DK 3より出土
33図11	甲斐型	甕	29.0				5YR 3／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
33図12	甲斐型	甕			8.2		5YR 3／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
33図13	土師器	坏	13.8	4.3	6.0	88	5YR 4／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
33図14	土師器	坏	14.0			88	7.5YR7.4	小破片	内面黒色処理、二次被熱により変色
33図15	土師器	坏	15.6			88	10YR 8／3	小破片	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱により変色
34図 1	土師器	坏	13.0			88	7.5YR 7／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
34図 2	土師器	坏	13.4			88	7.5YR 7／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
34図 3	土師器	坏	12.6	4.0	5.6	88	7.5YR 6／6	完形	内面黒色処理、ミガキ、カマド南側床面 5 cmで出土
34図 4	土師器	坏	14.9	5.0	6.4	88	10YR 8／3	完形	内面黒色処理、ミガキ、カマド南側、南壁沿い床面 5 cmで出土
34図 5	土師器	坏	12.2	4.4	5.0	88	10YR 8／3	1／4	内面黒色処理、ミガキ、カマド南側床面 5 cmで出土
34図 6	土師器	坏	16.0	5.8	6.0	88	10YR 7／3	完形	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱により変色、カマドより出土
34図 7	土師器	坏	12.1	4.1	5.0	88	7.5YR 7／4	完形	内面黒色処理、ミガキ、カマド北側、東壁沿いで出土
34図 8	土師器	甕	13.0				5YR 5／4	小破片	ロクロ整形小型甕、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
34図 9	土師器	甕	9.2				5YR 5／8	小破片	ロクロ整形小型甕、二次被熱により変色、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
34図10	灰釉陶器				8.8		2.5Y 7／1	小破片	みこみ部が磨耗平滑、転用硯か、緻密な胎土、カマドより出土
34図11	土師器	皿				88	10YR 6／3	小破片	「田」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
34図12	土師器	坏				88	10YR 7／4	小破片	底部破片、底部に「乙」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
37図 1	甲斐型	坏	12.4	4.7	5.0	1	5YR 4／6	完形	底部に「乙」刻書あり、口縁部に煤か墨の付着、南壁沿い床面10cmで出土
37図 2	甲斐型	皿	12.7	2.6	4.8	8	2.5YR 4／6	完形	底部に「東」?「恵」?「畠」?墨書あり、体部外面回転ヘラケズリ、南壁沿い床面10cmで出土
37図 3	甲斐型	坏	14.2			8	5YR 6／6	小破片	
37図 4	甲斐型	皿	13.0			8	5YR 6／6	小破片	PT30出土、内面に渦巻き状暗文
37図 5	甲斐型	甕	24.8				5YR 3／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、カマド出土
37図 6	甲斐型	甕	30.5				5YR 3／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、カマド出土
37図 7	甲斐型	甕	25.2				5YR 3／4	1／4	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、カマド出土
37図 8	土師器	坏	14.0			88	7.5YR 7／3	小破片	内面黒色処理、ミガキ
40図 1	甲斐型	皿	13.2	3.0	5.0	8	5YR 6／6	完形	逆位「人」「?」墨書あり、体部下半と底部回転ヘラケズリ、住居西寄り床面40cmで出土
40図 2	甲斐型	坏	11.7	4.3	4.4	8	5YR 4／6	完形	内面放射状暗文、住居中央部床面30cmで出土
40図 3	甲斐型	坏	13.6	4.9	6.6	8	5YR 4／6	小破片	内面放射状暗文、住居南東角床面 5 cmで出土
40図 4	甲斐型	坏	14.4	4.4	8.0	1	5YR 5／6	1／4	内面放射状暗文
40図 5	甲斐型	坏	14.0			8	5YR 6／6	小破片	PT10出土
40図 6	甲斐型	坏			6.8	1	5YR 6／4	小破片	内面放射状暗文
40図 7	甲斐型	坏	14.2			8	7.5YR 7／4	小破片	PT10出土
40図 8	甲斐型	皿			7.4	2	5YR 5／6	小破片	PT72出土、内面渦巻き状暗文
40図 9	甲斐型	甕	27.8				5YR 4／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
40図10	甲斐型	甕	29.6				5YR 4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
40図11	甲斐型	甕			11.0		5YR 4／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
40図12	土師器	坏	14.0			88	10YR 7／3	小破片	内面黒色処理、ミガキ
40図13	須恵器	壺	20.9				2.5Y 4／1	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、カマド出土
40図14	須恵器	壺					2.5Y 5／3	小破片	緻密な胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
42図1	土師器	坏	14.0	4.7	4.9		7.5YR 7／4	1／2	覆土出土、微小な鉱物、雲母粒子が混じる細粒の胎土、内面黒色処理、横方向のミガキ、体部下半と底部は手持ちヘラケズリ
42図2	土師器	坏			6.9		7.5YR 7／6	小破片	赤色粒子と鉱物粒子が混じる細粒の胎土
42図3	甲斐型	羽釜	22.3	20.4	7.0		5 YR 3／3	1／2	カマド・PT689出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや細粒の胎土
42図4	土師器	甕	31.2	27.6	8.2		7.5YR 3／3	1／3	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや細粒の胎土
43図1	甲斐型	皿	12.5	2.5	3.6	8	7.5YR 7／4	完形	住居北西角床面５cmで出土、みこみは磨耗して墨付着、転用硯か
43図2	甲斐型	皿	13.4			8	5 YR 5／6	小破片	
43図3	甲斐型	坏	12.8	2.8	6.0		7.5YR 5／4	1／2	カマド出土、鉱物粒子が混じる細粒の胎土
43図4	甲斐型	皿	13.0	2.7	5.0	8	5 YR 4／6	完形	住居北東角寄り床面５cmで出土、「本」墨書あり、灯明皿
43図5	甲斐型	坏	15.6			8	7.5YR 7／4	小破片	住居東壁沿いで出土
43図6	甲斐型	甕	17.0	13.5	8.2		5 YR 3／4	完形	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、東壁沿いと北東角の床面で出土
45図1	甲斐型	甕	24.0				5 YR 3／4	小破片	カマド西側覆土上層で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図2	甲斐型	甕	37.0				5 YR 4／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図3	甲斐型	甕	33.0				5 YR 3／3	小破片	カマド西側覆土上層で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図4	甲斐型	甕	30.4				7.5YR4.3	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図5	甲斐型	甕	29.2				5 YR 3／4	1／4	カマド南側と住居南壁沿いの床面で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図6	甲斐型	甕	31.4				5 YR 3／4	1／4	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図7	甲斐型	甕	30.0				7.5YR 5／4	1／4	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
45図8	甲斐型	甕	30.8	34.1	10.4		2.5YR 3／4	完形	カマド北側床面で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
46図1	甲斐型					8	5 YR 5／6	小破片	胴部破片、墨書あり
46図2	土師器	羽釜					5 YR 4／3	小破片	鍔部のみの破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
46図3	須恵器	壺・甕					2.5Y 4／1	小破片	鉱物粒子が混じる細粒の胎土
46図4	灰釉陶器				6.0		7.5Y 7／1	小破片	住居北東角で出土、緻密な胎土、釉調５Y５／３、みこみに重焼き痕あり
46図5	須恵器	壺・甕					2.5Y 4／1	小破片	住居北東角で出土、内面中央部が磨耗して平滑、５mm大礫と鉱物粒子が混じる細粒の胎土
46図6	灰釉陶器	壺			12.4		10YR 6／2		頸部欠失、釉調Heu7.5Y５／２、PT120上面より出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
48図1	甲斐型	坏	12.0	4.3	4.2	8	5 YR 5／4	小破片	PT127覆土より出土
48図2	甲斐型	坏	12.6	4.2	4.2	8	5 YR 5／6	1／3	北壁沿い覆土下層で出土
48図3	甲斐型	坏	14.2	5.5	4.9	8	5 YR 4／6	1／3	カマドとPT127覆土より出土、口縁内面の一部が磨耗平滑
48図4	甲斐型	皿	13.0	2.9	3.4	8	5 YR 6／4	完形	PT127上面で出土、「真」?墨書あり
49図1	甲斐型	皿	13.0	2.4	4.4	8	5 YR 6／6	2／3	東壁沿い床面で出土、「本」墨書あり
49図2	甲斐型	坏				8	5 YR 6／4	小破片	口縁部破片、東壁沿い床面で出土、「源」墨書あり
49図3	甲斐型	皿				8	5 YR 5／6	小破片	底部破片、「人」?墨書あり
49図4	甲斐型	皿	13.8	2.6	2.0	8	10YR 6／4	1／3	PT127覆土より出土
49図5	甲斐型	皿	12.4			8	5 YR 5／4	小破片	PT63より出土
49図6	甲斐型	甕	15.4				5 YR 3／4	小破片	小型甕口縁部、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図7	甲斐型	甕	30.0				5 YR 3／4	小破片	PT127、住居覆土より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図8	甲斐型	甕	30.0				5 YR 3／4	小破片	PT127より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図9	甲斐型	甕	34.0				5 YR 3／3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図10	土師器	羽釜	35.4				5 YR 3／4	小破片	カマド、PT127で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図11	甲斐型	甕			8.6		5 YR 3／4	小破片	PT127より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図12	甲斐型	甕			9.0		5 YR 4／4	小破片	カマド、PT127、南壁沿いで出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
49図13	土師器	坏			5.3	88	7.5YR 6／4	小破片	北壁沿い覆土下層で出土
49図14	土師器	坏			5.4	88	7.5YR 5／4	小破片	PT63より出土
49図15	甲斐型	甕			7.6		5 YR 3／4	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
52図1	甲斐型	坏	16.2	6.3	6.8	8	5 YR 4／6	小破片	西壁沿い周溝底で出土、内面黒色処理、放射状暗文とらせん状暗文、みこみ部らせん状暗文、外面横方向のミガキ、底部と体下半部回転ヘラケズリ
52図2	甲斐型	坏	11.6	5.0	4.0	8	2.5Y 5／6	1／2	南壁沿い、覆土より出土、内面放射状暗文
52図3	甲斐型	坏	11.6			8	2.5YR 5／6	小破片	DK12より出土
52図4	甲斐型	皿	13.2			8	2.5YR 5／6	小破片	体下半部手持ちヘラケズリ、みこみ渦巻き状暗文
52図5	甲斐型	皿	14.0			8	2.5YR 5／6	小破片	DK14より出土
52図6	甲斐型	甕	17.0				7.5YR 6／6	小破片	DK142より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
52図7	甲斐型	甕	25.0				5 YR 3／6	小破片	DK142より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
52図 8	甲斐型	甕	24.0				5 YR 4 ／ 6	小破片	カマド出土、微小な鉱物、雲母粒子が混じるやや細粒の胎土
52図 9	甲斐型	甕	32.8				5 YR 4 ／ 3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
52図10	甲斐型	甕			11.2		5 YR 4 ／ 3	小破片	PT80出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
52図11	甲斐型	甕			8.6		5 YR 4 ／ 3	小破片	PT80出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
52図12	甲斐型	甕			8.6		5 YR 3 ／ 3	小破片	カマド、DK12出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
52図13	甲斐型	甕			9.0		5 YR 3 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
53図 1	土師器	坏	13.1	4.2	5.8	88	10YR 8 ／ 3	2 ／ 3	カマド南側床面で出土、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
53図 2	土師器	坏	14.0			88	10YR 7 ／ 2	小破片	PT82より出土、「乙」?墨書あり
53図 3	土師器	坏			7.0	88	10YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
53図 4	土師器	坏	13.0			88	7.5YR 8 ／ 4	小破片	「仁」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
53図 5	土師器	坏	12.4			88	10YR 7 ／ 3	小破片	「乙」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
53図 6	土師器	坏	14.0			88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
53図 7	土師器	坏	13.9	4.7	6.5	88	10YR 7 ／ 4	小破片	住居西壁寄り覆土中で出土、内面黒色処理、ミガキ
53図 8	土師器	坏			6.5	88	10YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
53図 9	土師器	坏			6.0	88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	PT80より出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱により変色
53図10	土師器				8.0	88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	高台付、内面黒色処理、ミガキ
53図11	土師器	坏	18.0			88	7.5YR 7 ／ 6	小破片	DK142より出土、内面ミガキ
53図12	土師器				5.6	88	5 YR 5 ／ 4	小破片	高台付、内面ミガキ
53図13	甲斐型	皿				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	口縁部、墨書あり
53図14	甲斐型	坏				8	7.5YR 6 ／ 4	小破片	口縁部、３文字の墨書あり、「寸」？「山」？
53図15	甲斐型	坏				8	5 YR 4 ／ 6	小破片	口縁部、「人」墨書あり
53図16	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 3	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図17	甲斐型	皿				8	2.5YR 5 ／ 6	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図18	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図19	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図20	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 4	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図21	土師器	坏				88	10YR 8 ／ 4	小破片	口縁部、「人」?逆位墨書あり
53図22	甲斐型	坏				8	5 YR 4 ／ 4	小破片	体部破片、墨書あり
53図23	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	体部破片、墨書あり、内面黒色処理、暗文
56図 1	甲斐型	坏	16.4	5.5	6.0	8	5 YR 5 ／ 4	1 ／ 2	刻書あり、内面黒色処理、横方向のミガキ、放射状暗文、みこみにらせん状暗文、底部回転ヘラケズリ
56図 2	甲斐型	皿	13.8	2.4	6.0	8	2.5YR 5 ／ 6	小破片	墨書あり、体下半部と底部回転ヘラケズリ
56図 3	甲斐型	皿	12.8	2.7	3.0	8	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 3	体下半部と底部回転ヘラケズリ、みこみ渦巻き状暗文
56図 4	甲斐型	甕	17.6				7.5YR 4 ／ 4	1 ／ 3	カマド、DK27出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
57図 1	甲斐型	甕	27.8	36.3	9.0		5 YR 4 ／ 5	1 ／ 2	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
57図 2	土師器	坏	14.4	5.5	4.4	88	7.5YR 5 ／ 4	ほぼ完形	内面黒色処理、ミガキ、住居中央から北東角寄りの床面上から逆位で割れた状態で出土
57図 3	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 3	小破片	墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
57図 4	須恵器	壺・甕					2.5YR 4 ／ 2	小破片	鉱物粒子が混じる細粒の胎土
57図 5	土師器	蓋					5 Y 3 ／ 1	小破片	蓋つまみ破片、鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
57図 6	須恵器	壺・甕					2.5Y 4 ／ 2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
60図 1	甲斐型	坏	12.0	4.5	4.3	5	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 2	逆位「梶」墨書あり、DK11覆土より出土、60図３の甲斐型皿破片の下に重なって出土している
60図 2	甲斐型	坏	15.8	6.0	6.2	8	5 YR 5 ／ 4	小破片	PT74で出土、内面黒色処理
60図 3	甲斐型	皿	12.7	2.7	4.0	5	5 YR 6 ／ 6	完形	DK11で出土、完形に復元されるが、大きく二破片に割られ重ねられた状態で出土している。「梶」墨書あり
60図 4	甲斐型	甕	26.0				7.5YR 3 ／ 3	小破片	DK11より出土
60図 5	甲斐型	坏			3.9	8	5 YR 4 ／ 4	小破片	DK11で出土、別個体の甲斐型坏破片のうえに重なって出土している
60図 6	土師器	坏	12.9	4.0	5.4	88	7.5YR 5 ／ 4	ほぼ完形	カマド中央から正位で出土、逆位「真」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ、口縁部から体部外面に墨が垂れた痕跡あり
60図 7	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	口縁部小破片、墨書あり
60図 8	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部小破片、墨書あり
60図 9	甲斐型					8	5 YR 6 ／ 6	小破片	坏か皿の胴部破片、墨書あり
60図10	須恵器	突帯付壺					5 YR 4 ／ 1	小破片	鉱物粒子が混じる細粒の胎土
60図11	須恵器	突帯付壺					5 YR 4 ／ 1	小破片	鉱物粒子が混じる細粒の胎土
60図12	須恵器	壺・甕					2.5Y 5 ／ 2	小破片	鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土、カマドより出土
64図 1	甲斐型	坏	12.2			8	10YR 7 ／ 3	小破片	逆位「梶」墨書あり、DK80覆土より出土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
64図2	甲斐型	坏	14.8	4.5	4.8	8	5YR4／3	1／2	住居覆土より出土、体部に逆位墨書あり
64図3	甲斐型	坏	12.2	4.0	4.6	1	2.5Y5／6	ほぼ完形	東壁沿い、DK80上方の覆土より出土、正位「山」?墨書あり
64図4	甲斐型	坏	12.0	4.4	4.2	2	5YR5／6	1／2	住居北壁沿いの覆土下層で出土
64図5	甲斐型	坏			4.6	8	5YR5／4	小破片	
64図6	甲斐型	坏	14.8	5.4	5.2	8	10YR7／4	1／2	住居覆土より破片になって出土
64図7	甲斐型	坏	13.4			8	7.5YR6／6	小破片	
64図8	甲斐型	坏	16.2	5.4	5.6	8	7.5YR6／4	1／3	カマド南側、住居東壁沿いで出土
64図9	甲斐型	坏	12.0			2	5YR4／6	小破片	
64図10	甲斐型	坏	17.2			8	7.5YR6／3	小破片	内面黒色処理
64図11	甲斐型	坏			5.6	6	5YR6／6	1／2	器壁厚手、北壁沿い周溝覆土上で出土
64図12	甲斐型	坏			5.2	5	5YR5／6	1／2	北壁沿い床面上で出土
64図13	甲斐型	坏	16.4			8	5YR4／6	小破片	
64図14	甲斐型	皿	13.2			8	2.5YR5／6	小破片	
64図15	甲斐型	皿	13.6			1	5YR4／6	小破片	口縁部、正位「吉」墨書と正位「仁」刻書あり
65図1	甲斐型	甕	16.8				5YR5／8	小破片	小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
65図2	甲斐型	甕	17.6				5YR4／8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
65図3	甲斐型	甕	32.6				5Y4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
65図4	甲斐型	甕	20.4				5YR4／8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
65図5	土師器	皿	14.1	2.6	8.2	88	5YR6／6	ほぼ完形	東壁に接して出土、内面黒色処理、渦巻き状暗文、ミガキ、「人」?墨書あり
65図6	灰釉陶器	椀	14.5				5Y7／1	小破片	釉調7.5Y7／3、緻密な胎土
65図7	灰釉陶器	壺					5Y7／2	小破片	釉調5Y7／1、微小な鉱物粒子が混じる緻密な胎土、DK75より出土
65図8	甲斐型	坏				8	7.5YR6／4	小破片	口縁部、逆位「梶」墨書あり
65図9	甲斐型	坏				1	2.5YR4／6	小破片	口縁部、墨書あり
65図10	甲斐型	坏				2	5YR4／6	小破片	口縁部、墨書あり
65図11	甲斐型					8	7.5YR5／4	小破片	胴部破片、「吉」?墨書あり
65図12	甲斐型	坏				8	5YR5／4	小破片	口縁部、逆位「梶」墨書あり、PT355で出土
65図13	甲斐型	坏				8	5YR4／6	小破片	胴部、墨書あり、内面黒色処理
65図14	甲斐型	坏					5YR6／6	小破片	口縁部、逆位「攻」?墨書あり
65図15	甲斐型					1	5YR5／4	小破片	胴部破片、墨書あり
65図16	甲斐型	坏				2	7.5YR6／6	小破片	体部下半部に逆位「吉」?墨書あり、DK80覆土より出土
65図17	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	口縁部、刻書あり
65図18	甲斐型	坏				8	5YR5／6	小破片	胴部、逆位「仁」?刻書あり
65図19	甲斐型	坏				8	5YR5／6	小破片	胴部、逆位「梶」?墨書あり、内面黒色処理、PT355で出土
65図20	甲斐型	皿				8	5YR6／4	小破片	体部下半に正位「益」墨書あり、PT355で出土
65図21	甲斐型	坏				1	5YR6／6	小破片	底部、「梶」?墨書あり
65図22	甲斐型	皿				8	5YR6／6	小破片	体部下半に墨書あり、DK80覆土より出土
66図1	甲斐型	坏	12.6	4.0	4.6	8	5YR4／6	1／2	DK70より出土
66図2	甲斐型	坏	12.8			8	7.5YR6／6	小破片	DK70より出土
66図3	甲斐型	坏	12.2	4.0	4.8	8	7.5YR6／4	小破片	DK70より出土
66図4	甲斐型	皿	13.0	2.8		2	5YR4／6	1／2	DK75覆土より出土、正位「本」?墨書あり
66図5	甲斐型	皿	12.2	3.6		8	7.5YR6／4	1／3	DK75より出土
66図6	甲斐型	坏	12.0	4.0	4.2	8	7.5YR6／8	1／2	DK75覆土より出土
66図7	甲斐型	甕	32.0				2.5YR4／6	小破片	DK75覆土より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
66図8	甲斐型	甕	30.0				2.5YR3／6	小破片	DK75覆土より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
66図9	甲斐型	坏	15.0	5.4	5.0	8	5YR6／8	ほぼ完形	住居南壁沿い、DK80上方の住居覆土より出土、正位「梶」墨書あり、内面黒色処理
66図10	甲斐型	坏	14.6	5.4	4.8	1	5YR5／8	完形	住居南東角、DK80上方の住居覆土より出土、正位「正」?墨書あり
67図1	甲斐型	坏	12.2	3.8	4.2	8	7.5YR6／6	完形	DK80上方にあたる住居覆土中で出土、正位「時」?か「財」?墨書あり
67図2	甲斐型	坏	14.0			8	7.5YR6／6	小破片	DK80より出土
67図3	甲斐型	坏	12.2	4.2	4.0	8	7.5YR6／4	ほぼ完形	DK80上方にあたる住居覆土中で出土、「人」?墨書あり
67図4	甲斐型	坏	15.0			8	7.5YR6／6	小破片	DK80覆土より出土
67図5	甲斐型	坏			6.4	8	5YR5／6	小破片	DK80より出土
67図6	甲斐型	坏			6.4	8	7.5YR6／4	小破片	DK80より出土、内面黒色処理

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
67図7	甲斐型	坏			5.0	5	5YR6／6	1／3	DK80覆土より出土
67図8	甲斐型	甕	28.4				5Y5／6	小破片	DK80より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
67図9	灰釉陶器	皿	14.2	2.7	7.4		5YR7／1	1／3	DK80より出土、釉調5YR6／3、緻密な胎土
67図10	土師器	坏	15.0			88	7.5YR5／4	小破片	DK355より出土、内面黒色処理、ミガキ
67図11	甲斐型	坏	12.4	4.2	4.6	8	5YR5／6	小破片	PT355より出土
67図12	甲斐型	甕			9.4		5YR4／8	小破片	PT355より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
67図13	甲斐型	坏	16.6			8	5YR5／4	小破片	PT356より出土、内面黒色処理
67図14	甲斐型	坏	14.2	5.0	4.4	8	5YR6／6	1／2	PT356より出土、内面黒色処理
67図15	甲斐型	坏	15.2			8	7.5YR6／4	小破片	PT356より出土、内面黒色処理
70図1	甲斐型	坏	14.4	4.7	5.4	8	5YR4／4	小破片	住居覆土より出土
70図2	甲斐型	坏	12.6	4.5	4.7	1	5YR4／6	ほぼ完形	住居南東角、DK103上方の床面高で、破片を重ねるようにして出土、正位「梶」墨書あり
70図3	甲斐型	坏	12.0	3.8	3.7	5	7.5YR7／6	完形	住居北東角の壁面に接し、床面から25cm浮いて出土。逆位「梶」墨書あり
70図4	甲斐型	皿	13.3	3.0	4.9	8	5YR6／6	ほぼ完形	カマド底部の焼土上面に逆位に伏せられた状態で出土
70図5	土師器	坏				88	5YR5／6	小破片	口縁部、逆位「梶」?墨書あり、内面黒色処理
70図6	甲斐型	坏				8	5YR4／6	小破片	口縁部、逆位「梶」?墨書あり
70図7	甲斐型	坏				8	7.5YR6／6	小破片	体下半部に逆位「真」?墨書あり
70図8	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	体下半部に逆位「梶」?墨書あり
70図9	甲斐型	坏				8	10YR7／4	小破片	体下半部に墨書あり
70図10	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり
70図11	甲斐型					8	10YR7／4	小破片	「仁」?刻書あり
70図12	甲斐型	坏				8	7.5YR7／6	小破片	体下半部に墨書あり
70図13	甲斐型					8	7.5YR6／6	小破片	体部に墨書あり
70図14	甲斐型					1	5YR6／6	小破片	墨書あり
71図1	甲斐型	甕	31.4				7.5YR4／3	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
71図2	甲斐型	甕	28.4				7.5YR5／6	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
71図3	甲斐型	甕	14.0				5YR4／6	1／4	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
71図4	甲斐型	甕	30.0				2.5YR4／6	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
71図5	甲斐型	甕	31.7				10YR6／4	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土、雲母粒子が非常に目立つ
71図6	甲斐型	甕			8.0		10YR6／4	小破片	71図5と同一個体、カマドより出土
71図7	甲斐型	甕	28.0	33.8	8.6		2.5YR3／6	1／3	カマド周辺より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
71図8	甲斐型	羽釜					5YR5／6	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
71図9	緑釉陶器	椀	14.0				2.5Y8／2	小破片	釉調2.5Y7／4
73図1	甲斐型	坏	21.2	5.1	8.2	8	5YR5／6	1／4	上層床面で出土
73図2	甲斐型	坏	12.1	4.1	4.4	8	5YR6／6	1／4	DK91より出土
73図3	甲斐型	坏	12.8			1	7.5YR6／6	小破片	DK91より出土
73図4	甲斐型	坏	12.8			8	7.5YR6／6	小破片	
73図5	甲斐型	坏	16.3			2	5YR5／6	1／4	カマドより出土
73図6	甲斐型	坏	13.2			5	5YR6／6	小破片	DK90より出土
73図7	甲斐型	坏			5.6	5	5YR6／6	小破片	DK94より出土
73図8	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	東壁沿い、上層床面上で出土
73図9	甲斐型	坏			3.2	1	5YR5／6	小破片	カマドより出土
73図10	甲斐型	皿	13.4			8	5YR5／6	1／3	住居覆土より破片で出土
73図11	甲斐型	皿	14.0			5	5YR6／6	小破片	DK156より出土
73図12	甲斐型	坏				2	5YR6／6	小破片	円形の底部破片、周縁割れ面は摩滅しており、円盤状態で機能していたと考えられる。DK90出土
73図13	甲斐型	甕	16.0				2.5YR4／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、カマド出土
74図1	甲斐型	甕	30.0				5YR4／6	小破片	DK90より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
74図2	甲斐型	甕	31.0				2.5YR4／4	小破片	東壁沿い床面から出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
74図3	甲斐型	甕			9.0		5YR4／6	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
74図4	土師器	坏	14.3			88	5YR5／6	小破片	DK91より出土、内面黒色処理?、ミガキ、横方向と放射状の暗文
74図5	灰釉陶器	椀					2.5Y7／1	小破片	DK90より出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、釉調2.5Y7／2
74図6	甲斐型	坏				8	5YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり、DK92より出土
74図7	甲斐型	坏				1	5YR6／6	小破片	口縁部、逆位「梶」墨書あり、カマド出土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
74図 8	甲斐型					5	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、墨書?あり
74図 9	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、「梶」墨書あり
74図10	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、逆位「梶」墨書あり
74図11	甲斐型					8	5 YR 7 ／ 6	小破片	胴部破片、墨書あり
74図12	甲斐型					8	5 YR 5 ／ 6	小破片	胴部、墨書あり、「田」?
74図13	甲斐型					5	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、墨書あり、カマド出土
74図14	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、逆位「長」?墨書あり、DK90出土
74図15	甲斐型					8	5 YR 5 ／ 6	小破片	底部、外面に墨書あり
74図16	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、「梶」?墨書あり、カマド出土
74図17	土師器	坏				88	10YR 6 ／ 3	小破片	胴部破片、「田」刻書あり
74図18	甲斐型	皿				5	10YR 6 ／ 4	小破片	底部破片、刻書?あり
76図 1	甲斐型	坏	14.4	5.1	5.2	8	7.5YR 6 ／ 6	完形	東壁沿い周溝上面から割れた状態で出土している。逆位「真」墨書二箇所にあり
76図 2	甲斐型	坏	12.0	3.7	4.1	8	2.5YR 5 ／ 6	ほぼ完形	東壁沿い床面で出土、逆位「真」墨書あり
76図 3	甲斐型	坏	15.0			8	7.5YR 6 ／ 4	小破片	
76図 4	甲斐型	坏	14.6			8	5 YR 6 ／ 4	小破片	
76図 5	甲斐型	皿	13.0	2.6	4.6	8	7.5YR 6 ／ 4	完形	カマドより出土
76図 6	甲斐型	甕	14.4				5 YR 4 ／ 6	小破片	小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
76図 7	甲斐型	甕	34.0				7.5YR 3 ／ 3	小破片	PT530出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
76図 8	甲斐型	甕	32.0				7.5YR 3 ／ 3	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
77図 1	土師器	坏	13.2	4.0	5.6	88	7.5YR 5 ／ 4	1 ／ 4	東壁沿いとカマドより出土、内面黒色処理、ミガキ
77図 2	土師器	坏	13.8	4.4	6.0	88	7.5YR 5 ／ 4	1 ／ 2	カマド内とカマド北側で出土、逆位「慈」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
77図 3	土師器	坏	12.6			88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	二次被熱あり、内面ミガキ
77図 4	土師器	坏	12.4			88	10YR 6 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
77図 5	土師器	甕	15.4	13.1	7.0		7.5YR 6 ／ 3	1 ／ 2	ロクロ整形小型甕、カマド出土、鉱物、雲母粒子、小礫がまじるやや細粒の胎土
77図 6	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 4	小破片	DK100より出土、刻書あり
77図 7	須恵器	甕					2.5Y 5 ／ 1	小破片	外面自然釉色調7.5Y 3 ／ 1 、器面に磨耗などなし
77図 8	灰釉陶器	壺			7.0		2.5Y 6 ／ 2	小破片	住居中央西寄り床面で出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、釉調7.5Y 5 ／ 2
79図 1	甲斐型	坏	11.6	4.2	3.9	8	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 4	カマド出土
79図 2	甲斐型	坏	18.0			8	5 YR 5 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、放射状暗文、横方向のミガキ
79図 3	甲斐型	坏	12.4	4.0	5.0	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	カマド出土
79図 4	甲斐型	皿	13.4	2.6	5.6	8	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 3	カマド出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ
80図 1	甲斐型	皿	13.2	1.9	5.6	8	5 YR 6 ／ 6	小破片	DK115で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文、底部外面に墨書あり
80図 2	甲斐型	坏			3.2	8	5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、内面黒色処理、放射状暗文、横方向のミガキ
80図 3	甲斐型	甕	29.6				5 YR 3 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
80図 4	甲斐型	甕	27.6				5 YR 3 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、内面調整痕は指頭圧痕のみ
80図 5	甲斐型	甕			8.6		5 YR 4 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
80図 6	甲斐型	皿				8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	墨書あり
80図 7	甲斐型	甕	19.6				5 YR 4 ／ 4	小破片	カマド出土、小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
80図 8	土師器	甕	14.0						
80図 9	須恵器	甕					7.5Y 4 ／ 1	小破片	カマド出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
80図10	灰釉陶器	皿	19.0				5 YR 7 ／ 1	小破片	カマド出土、高台貼り付け、みこみに重ね焼き痕、釉調7.5GY 7 ／ 1
83図 1	甲斐型	甕	28.2				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
83図 2	甲斐型	甕	29.0				5 YR 5 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
83図 3	甲斐型	甕			8.8		5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
83図 4	土師器	坏	12.0	4.5	5.5	88	10YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
83図 5	土師器	坏	14.4	4.7	5.7	88	7.5YR 6 ／ 4	ほぼ完形	カマド支石に被せた状態で出土、二次被熱あり、内面黒色処理、放射状ミガキ
83図 6	土師器	坏			6.3	88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱あり
83図 7	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ、刻書あり
85図 1	甲斐型	坏	12.2	4.0	4.1	8	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 4	東壁沿いで出土、内面放射状暗文、灯明器に使用した煤痕あり
85図 2	甲斐型	坏	12.6			8	5 YR 5 ／ 6	小破片	
85図 3	甲斐型	坏	12.0			8	5 YR 5 ／ 6	小破片	
85図 4	甲斐型	甕	31.0				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
85図5	土師器	坏	15.0			88	7.5YR 6／6	小破片	内面黒色処理、ミガキ
85図6	土師器	坏	16.0			88	7.5YR 7／6	小破片	内面黒色処理、ミガキ
85図7	甲斐型	皿				8	5 YR 5／6	小破片	墨書?あり
85図8	甲斐型	坏				2	5 YR 6／6	小破片	墨書?あり
85図9	甲斐型	坏			4.0	8	5 YR 4／6	小破片	底部が円盤状に割られているが、周縁割れ面はさほど磨耗していない。
88図1	甲斐型	皿	14.0	2.1	7.0	3	5 YR 5／6	2／3	住居覆土から小破片で出土、体部に逆位「政」?墨書あり、底部外面に墨痕あり、内面渦巻き状暗文
88図2	甲斐型	坏	14.0			3	7.5YR 6／4	小破片	内面放射状暗文、体部外面手持ちヘラケズリ
88図3	甲斐型	坏			7.0	3	2.5Y 5／6	小破片	体部外面手持ちヘラケズリ、みこみにらせん状暗文、体部内面に放射状暗文
88図4	甲斐型	甕			9.5		7.5YR 7／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
88図5	甲斐型	皿			6.6	3	7.5YR 6／4	小破片	内面渦巻き状暗文
88図6	甲斐型	甕	28.0				5 YR 5／6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
89図1	土師器	坏	11.8	4.6	5.4	88	10YR 7／4	ほぼ完形	南壁沿い床面とDK134で出土、内面黒色処理、横方向のミガキ、灯明器に使用した煤痕あり
89図2	土師器	坏	12.3	3.9	5.6	88	10YR 7／4	ほぼ完形	西壁沿い、周溝上面の床面５㎝高で出土、内面黒色処理、ミガキ
89図3	土師器	坏	13.2	4.4	6.8	88	7.5YR 8／4	1／2	体部に逆位「政」?墨書あり、住居覆土より出土、内面黒色処理、ミガキ
89図4	土師器	坏	12.4			88	10YR 7／4	小破片	DK134で出土、内面黒色処理、ミガキ
89図5	土師器	坏			5.0	88	7.5YR 8／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
89図6	土師器	坏	17.0			88	10YR 6／4	小破片	北東角、床面で出土、内面黒色処理、ミガキ
89図7	甲斐型					3	10YR 6／4	小破片	墨書あり
89図8	甲斐型	坏				3	7.5YR 6／4	小破片	墨書あり
89図9	甲斐型	坏				3	2.5YR 4／6	小破片	墨書あり
89図10	土師器	坏	17.0			88	10YR 7／6	小破片	二次被熱あり、内面ミガキ、内面黒色処理
89図11	土師器	甕	22.0				7.5YR 7／6	小破片	鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
91図1	甲斐型	坏			6.0	8	7.5YR 6／6	小破片	29a号住居南壁沿い床面で出土、逆位「真」墨書あり、内面放射状暗文
91図2	甲斐型	坏	15.6	4.8	5.2	8	7.5YR 7／6	1／3	29a号住居PT554傍の床面で出土、「乙」墨書あり、内面黒色処理、放射状暗文
91図3	甲斐型	坏	14.4	5.0	6.5	8	5 YR 5／6	1／3	29a号住居覆土より出土
91図4	甲斐型	坏	15.2	4.8	5.5	8	7.5Y 7／6	1／2	29a号住居覆土より出土、内面黒色処理
91図5	甲斐型	坏	14.0	4.8	5.4	5	10YR 7／6	ほぼ完形	29a号住居カマドで出土、内面黒色処理
91図6	甲斐型	坏	12.8	5.0	5.0	8	2.5YR 5／8	1／3	29a号住居覆土より出土
91図7	甲斐型	皿	13.4	2.2	3.7	8	5 YR 6／6	1／4	29a号住居覆土より出土
91図8	土師器	坏	12.6	4.4	6.0	88	10YR 7／4	1／2	29a号住居南東角床面で出土、内面黒色処理、放射状ミガキ
91図9	甲斐型	坏				5	7.5YR 5／4	小破片	29a号住居覆土より出土、口縁部、線刻あり
91図10	甲斐型	坏				8	10YR 5／4	小破片	DK110で出土、体部に格子目状の線刻あり
91図11	甲斐型	坏				1	7.5YR 6／6	小破片	29a号住居覆土より出土、体部下半に線刻あり
91図12	甲斐型	坏				8	5 YR 4／6	小破片	29a号住居覆土より出土、底部外面に墨書あり
91図13	甲斐型	皿				8	5 YR 6／8	小破片	29a号住居覆土より出土、底部から体部下半にかけて「禾」?墨書あり
91図14	甲斐型					8	5 YR 6／6	小破片	29a号住居覆土より出土、墨書あり
91図15	甲斐型	坏				8	5 YR 4／6	小破片	29a号住居覆土より出土、口縁部、墨書あり
92図1	甲斐型	甕	16.6				5 YR 3／6	小破片	29a号住居覆土より出土
92図2	甲斐型	甕	35.0				5 YR 3／6	小破片	29a号住居覆土より出土
92図3	須恵器	甕					5 GY 5／1	小破片	29a号住居覆土より出土、内面磨耗平滑
92図4	甲斐型	坏	11.6	3.8	3.8	8	5 YR 6／6	1／3	29b号住居カマドで出土
92図5	甲斐型	坏	13.2	4.5	4.6	8	5 YR 5／6	1／4	29b号住居カマドで出土、「中」刻書あり
92図6	甲斐型	皿	12.6	2.4	4.6	8	5 YR 6／8	ほぼ完形	29b号住居北西角床面で出土、逆位「真」墨書と刻書あり
92図7	甲斐型	皿	14.0	2.7	4.6	8	2.5YR 6／8	2／3	29b号住居カマドで出土、灯明皿として使用した煤痕あり
93図1	甲斐型	坏			4.9	5	7.5YR 6／6	小破片	29b号住居カマドで出土、底部外面に線刻あり
93図2	土師器	坏	12.2	4.0	5.6	88	5 YR 5／6	1／2	29b号住居カマドで出土、二次被熱あり、内面黒色処理、ミガキ
93図3	甲斐型	皿	12.6	2.6	3.2	8	5 YR 4／6	1／3	PT565で出土、逆位「梶」墨書あり
93図4	甲斐型	坏	12.4	3.5	4.2	8	5 YR 5／8	1／3	PT565で出土
93図5	甲斐型	坏	13.0	4.6	5.2	8	7.5YR 7／6	1／4	DK110で出土
93図6	甲斐型	坏	14.2	5.0	5.6	5	2.5Y 6／6	小破片	PT565で出土、内面黒色処理
93図7	甲斐型	坏			5.4	8	5 YR 6／6	小破片	内面黒色処理
93図8	土師器	坏	14.2	5.2	6.4	88	7.5YR 7／6	1／2	DK110で出土、内面黒色処理、ミガキ

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
93図 9	土師器	坏			6.2	88	7.5YR 6 ／ 6	小破片	DK110で出土、内面黒色処理、ミガキ
93図10	土師器	坏	14.8			88	10YR 7 ／ 8	小破片	DK110で出土、内面黒色処理
93図11	須恵器	甕					7.5YR 4 ／ 2	小破片	
94図 1	甲斐型	皿			4.9	8	5 YR 6 ／ 6	小破片	カマドより出土、みこみ渦巻き状暗文、体下半部と底部回転ヘラケズリ
94図 2	甲斐型	甕			9.6		7.5YR 7 ／ 6	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
94図 3	甲斐型	坏				5	7.5YR 7 ／ 6	小破片	底部から体下半部の破片、内面放射状暗文、外面に線状の墨書あり
94図 4	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	口縁部破片、内面黒色処理、ミガキ、外面に線状の墨書あり
94図 5	甲斐型	坏				1	5 YR 6 ／ 6	小破片	底部破片、内面放射状暗文、外面に線状の墨書あり
95図 1	甲斐型	甕	28.2				10YR 6 ／ 4	小破片	カマドより出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
98図 1	甲斐型	皿	12.0			8	5 YR 6 ／ 6	小破片	体下半部回転ヘラケズリ
98図 2	甲斐型	甕	30.2				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
98図 3	土師器	鉢	14.0			88	7.5YR 7 ／ 6	小破片	内面ミガキ、二次被熱痕あり、外面横方向のミガキ痕あり
98図 4	土師器	鉢	16.0			88	7.5YR 7 ／ 6	小破片	内面ミガキ、二次被熱痕あり、外面横方向のミガキ痕あり
98図 5	土師器	坏	13.8			88	10YR 6 ／ 4	小破片	カマドより出土、内面黒色処理、ミガキ
98図 6	土師器	坏	13.2	4.2	5.9	88	7.5Y 7 ／ 4	1 ／ 2	覆土より破片状態で出土、外面に逆位「人」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
98図 7	灰釉陶器	壺					2.5Y 7 ／ 2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、釉調2.5Y 5 ／ 4
98図 8	甲斐型	坏				8	7.5YR 7 ／ 6	小破片	体下半部から底部の破片、みこみに引掻き傷のような線刻あり
98図 9	甲斐型	坏				8	7.5YR 7 ／ 6	小破片	体下半部から底部の破片、内面放射状暗文、底部に「乙」刻書あり
102図 1	甲斐型	坏	11.6	3.9	5.8	2	7.5YR 7 ／ 6	小破片	カマド出土、内面に粗雑な放射状暗文
102図 2	甲斐型	坏	11.8	4.0	4.8	8	10YR 7 ／ 4	1 ／ 2	カマドより出土、内面放射状暗文、みこみに渦巻き状のナデ痕
102図 3	甲斐型	坏	12.4	3.5	5.4		7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 4	カマド出土、内面に粗雑な放射状暗文、逆位「矢」墨書あり、鉱物粒子、礫粒が混じるやや粗粒の胎土、大小久保遺跡産か?
102図 4	土師器	坏	12.8	4.4	6.3		10YR 8 ／ 4	ほぼ完形	DK176で出土、内面黒色処理、体下半部と底部手持ちヘラケズリ、鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土で、酸化焼成した巨麻郡産須恵器ではないか
102図 5	甲斐型	坏	11.2			2	7.5YR 7 ／ 6	小破片	
102図 6	甲斐型	皿	12.6	2.7	4.9	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	DK176で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面に墨か煤が付着
102図 7	甲斐型	皿	13.2	2.5	4.5	8	5 YR 6 ／ 8	2 ／ 3	カマドと住居覆土で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文、逆位「小」?墨書あり
102図 8	甲斐型	皿	14.2	2.7	7.0	8	7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 3	住居覆土とカマド、DK192より出土した破片が接合、内面渦巻き状暗文
102図 9	灰釉陶器	椀	16.0				2.5Y 7 ／ 2	小破片	カマド出土、外面施釉なし、内面釉調2.5Y 7 ／ 2 、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
102図10	土師器	坏					5 YR 6 ／ 6	小破片	体下半部から底部の破片、手持ちヘラケズリ、内面ミガキ、底部に墨書あり、大小久保遺跡で同様の土師器あり、甲斐型坏模倣品か。鉱物粒子が多量に混じるやや粗粒の胎土
102図11	甲斐型	坏				8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	口縁部破片、DK192出土、逆位「小」?墨書あり
102図12	甲斐型					1	10YR 8 ／ 6	小破片	DK176出土、墨書あり
104図 1	甲斐型	坏	12.2	3.8	6.0	8	2.5YR 5 ／ 6	小破片	DK175で出土
104図 2	甲斐型	坏	15.4	5.6	5.1	8	5 YR 6 ／ 6	2 ／ 3	覆土より出土、内面黒色処理、逆位「禾」?墨書あり
104図 3	甲斐型	甕	29.6				5 YR 4 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
104図 4	甲斐型	甕	30.4				7.5YR 5 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
104図 5	土師器	坏	12.6			88	5 YR 5 ／ 4	小破片	カマド出土、逆位「源」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
104図 6	土師器	坏	16.0			88	7.5YR 7 ／ 6	小破片	DK171出土、内面黒色処理、ミガキ
106図 1	土師器	皿	13.8	3.1	7.0	88	7.5YR 4 ／ 1	ほぼ完形	カマド南西床面で出土、内面黒色処理、ミガキ、墨書あり
106図 2	土師器	坏	13.8			88	10YR 7 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
106図 3	土師器	坏			6.6	88	7.5YR 7 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
106図 4	甲斐型	坏	12.0			8	2.5YR 4 ／ 4	小破片	カマドと床面下で出土、内面放射状暗文
107図 1	甲斐型	皿	13.6	2.3	8.0	2	5 YR 6 ／ 6	2 ／ 3	カマド、PT730、PT731で出土、体下半部手持ちヘラケズリ、底部に墨書あり
107図 2	甲斐型	皿	13.6			8	2.5YR 5 ／ 8	小破片	体下半部回転ヘラケズリ、内面放射状暗文、墨書あり
107図 3	甲斐型	甕	11.8				5 YR 3 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
107図 4	甲斐型	甕	33.2				5 YR 3 ／ 3	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
107図 5	甲斐型	皿				1	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、正位「矢」?墨書あり
107図 6	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 3	小破片	胴部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
107図 7	土師器					88	7.5YR 6 ／ 4	小破片	胴部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
107図 8	甲斐型					8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部、墨書あり
107図 9	甲斐型	皿				8	2.5YR 6 ／ 8	小破片	底部、「矢」?墨書あり

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
107図10	土師器	坏				88	7.5YR６／４	小破片	口縁部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
107図11	甲斐型					2	7.5YR６／４	小破片	底部、墨書あり
107図12	土師器	坏	14.2			88	10YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ、墨書あり
107図13	土師器	坏	14.0	4.3		88	7.5YR７／４	小破片	PT732出土、内面黒色処理、ミガキ
107図14	須恵器	甕					５YR５／１	小破片	礫粒、鉱物粒子が混じる粗粒の胎土
109図１	甲斐型	坏	12.6	4.3	4.6	4	10YR６／４	１／４	カマド出土
109図２	土師器	坏	14.4			88	7.5YR６／８	小破片	内面黒色処理、ミガキ
110図１	土師器	甕	16.0				10YR６／４	小破片	外面ケズリ調整、内面ハケ調整、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
110図２	甲斐型	甕			8.6		５YR５／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
110図３	灰釉陶器	椀	14.0				10YR７／１	小破片	釉調10YR６／２
110図４	甲斐型	坏				4	10YR６／３	小破片	口縁部、線刻あり
111図１	甲斐型	坏	12.8	4.0	4.6	8	５YR５／６	小破片	内面放射状暗文
111図２	甲斐型	坏	14.4			8	５YR５／８	小破片	内面放射状暗文
111図３	甲斐型	坏	14.8			8	５YR６／８	小破片	
111図４	甲斐型	甕	27.0				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
111図５	土師器	皿	13.6	2.2	6.6	88	10YR５／６	１／２	内面黒色処理、ミガキ
111図６	甲斐型	甕	28.0				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
111図７	土師器	坏	12.2	4.1	5.6	88	7.5YR５／８	１／３	内面黒色処理、ミガキ
111図８	甲斐型	甕	15.0				7.5YR６／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
111図９	土師器	坏	14.6			88	10YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
111図10	甲斐型	甕			8.6		５YR５／８	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
111図11	甲斐型	甕	10.0				５YR５／８	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
111図13	須恵器	甕					10YR４／１	小破片	白色の鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
112図１	甲斐型	坏	15.0			5	7.5YR６／６	小破片	体下半部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、放射状暗文
112図２	甲斐型	甕	29.0				５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
112図３	甲斐型	甕			9.0		7.5YR６／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
113図１	土師器	坏	12.2	4.2	5.2	88	2.5YR４／６	１／３	185号土坑上面、44号住居床面高で出土、内面ミガキ
113図２	土師器	坏	13.0			88	10YR７／２	小破片	床面下で出土、内面黒色処理、ミガキ
113図３	甲斐型	甕	31.6				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
113図４	甲斐型	甕			9.8		7.5YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
113図５	甲斐型	皿				1	５YR６／６	小破片	口縁部、墨書あり、内面渦巻き状暗文
113図６	甲斐型	坏				1	7.5YR６／６	小破片	口縁部、墨書あり
113図７	甲斐型	甕	30.0				2.5YR４／６	小破片	185号土坑覆土上層で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
113図８	灰釉陶器	壺					2.5Y７／３	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、釉調2.5Y７／４
113図９	須恵器	壺・甕					2.5Y７／２	小破片	内面は磨耗し平滑である。微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
115図１	甲斐型	甕	18.9				2.5YR４／６	小破片	PT34出土、小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
115図２	甲斐型	坏	13.6	4.3	5.0	8	7.5YR６／４	１／２	カマド出土、灯明器として使用した煤痕あり
115図３	甲斐型	坏	14.0	4.6	5.8	4	7.5YR４／３	小破片	カマド、PT31出土
115図４	甲斐型	坏			4.6	8	7.5YR６／６	小破片	
115図５	甲斐型	坏			4.6	5	7.5YR６／６	小破片	
115図６	甲斐型	坏	11.0			8	7.5YR６／６	小破片	
115図７	甲斐型	皿	14.0			2	7.5YR６／６	小破片	
115図８	甲斐型	皿				2	7.5YR６／４	小破片	口縁部、逆位「真」刻書あり、体下半部手持ちヘラケズリ
115図９	甲斐型	甕			9.4		５YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
115図10	甲斐型	甕	29.0				５YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
115図11	甲斐型	甕			9.6		５YR４／４	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
119図１	甲斐型	皿	13.2	2.4	5.4	8	５YR６／６	２／３	正位「真」墨書あり、体下半部と底部回転ヘラケズリ
119図２	土師器	坏	14.0	5.2	6.6	88	５YR６／６	小破片	正位「山」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
119図３	土師器	坏	15.4			88	10YR７／３	小破片	DK８出土、内面黒色処理、ミガキ
119図４	土師器	皿			6.6	88	10YR７／３	小破片	内面黒色処理、ミガキ
119図５	甲斐型	坏	12.0	4.4	4.0	8	５YR６／６	１／２	カマド南側床面で出土、墨書あり
119図６	甲斐型	坏	14.0	4.5	5.0	8	10YR６／６	ほぼ完形	住居覆土より小破片で出土、内面黒色処理、正位「岑」刻書、逆位「岑」墨書あり

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
119図 7	甲斐型	坏	12.2	4.2	4.5	1	10YR 5 ／ 4	2 ／ 3	東壁沿い、床面から25cm高で出土
119図 8	甲斐型	皿	12.2	2.3	3.5	8	10YR 6 ／ 6	ほぼ完形	カマド南側床面で出土
119図 9	甲斐型	甕	30.6				5 YR 4 ／ 8	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
119図10	甲斐型	甕	32.0				2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
120図 1	甲斐型	甕	40.2				5 YR 4 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
120図 2	甲斐型	甕	34.0				5 YR 4 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
120図 3	甲斐型	甕			8.8		2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
120図 4	甲斐型	甕	13.4				2.5YR 5 ／ 8	小破片	小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、内面と割れ面に煤付着
120図 5	須恵器	壺・甕					10YR 5 ／ 1	小破片	内面は磨耗して平滑、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
120図 6	灰釉陶器	椀			7.2		2.5Y 7 ／ 1	小破片	住居北西角床面で出土、緻密な胎土
125図 1	甲斐型	坏	11.8	3.7	4.6	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 4	DK139出土、正位?「田」墨書あり
125図 2	甲斐型	坏	13.0	4.1	3.4	1	5 YR 6 ／ 6	完形	南壁沿いで出土、正位墨書あり
125図 3	甲斐型	坏	11.4	3.8	4.6	6	5 YR 6 ／ 6	2 ／ 3	PT109出土、器壁厚手で体下半部の手持ちヘラケズリは稚拙、逆位「真」墨書あり
125図 4	甲斐型	坏	13.2	4.1	3.9	2	10YR 7 ／ 4	2 ／ 3	東壁沿いとカマドで出土、逆位「真」墨書あり
125図 5	甲斐型	坏	14.4			8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 4	PT693と床面下で出土、「田」墨書あり
125図 6	甲斐型	坏	12.2	3.6	4.0	1	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 2	住居南東角、カマド、PT109で出土、刻書あり
125図 7	甲斐型	坏	15.0	4.3	3.9	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	覆土より小破片で出土、逆位「真」刻書あり
125図 8	甲斐型	坏	12.6	4.0	4.0	2	5 YR 5 ／ 6	完形	住居北東角で出土、体下半部手持ちヘラケズリ、ケズリ方向が通常と逆
125図 9	甲斐型	坏	12.6	4.2	3.8	2	5 YR 6 ／ 6	完形	住居北東角で出土、体下半部手持ちヘラケズリ、ケズリ方向が通常と逆
125図10	甲斐型	坏	14.2	4.2	5.0	1	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	カマド出土
125図11	甲斐型	坏	14.4	4.2	4.4	2	5 YR 5 ／ 6	ほぼ完形	住居北東角で出土、体下半部手持ちヘラケズリ、ケズリ方向が通常と逆
125図12	甲斐型	坏	15.6	4.6	5.8	2	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 4	覆土より小破片で出土
125図13	甲斐型	坏	14.0	4.5	4.8	1	5 YR 5 ／ 4	小破片	
126図 1	甲斐型	坏	14.0			2	7.5YR 6 ／ 6	小破片	
126図 2	甲斐型	坏	14.4			8	5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土
126図 3	甲斐型	坏			5.0	2	5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド袖石組内から出土
126図 4	甲斐型	坏	12.3	3.7	4.2	2	5 YR 5 ／ 6	2 ／ 3	住居北東角で出土、体下半部手持ちヘラケズリ、ケズリ方向が通常と逆
126図 5	甲斐型	皿	14.0			2	2.5YR 5 ／ 6	小破片	
126図 6	甲斐型	坏	12.6			1	5 YR 6 ／ 6	小破片	床面下より出土
126図 7	甲斐型	皿	12.1	2.5	4.2	1	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 2	西壁沿いで出土、正位「万」?墨書あり
126図 8	甲斐型	皿	12.7	2.9	4.8	1	5 YR 6 ／ 6	完形	東壁沿いで出土、逆位「国」?墨書あり
126図 9	甲斐型	皿	13.0	2.5		8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 4	DK139出土、みこみが非常に磨耗している
126図10	甲斐型	皿	13.0	2.7		8	7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 4	DK139出土、二次被熱痕あり
126図11	甲斐型	坏			4.4	8	5 YR 5 ／ 4	小破片	
126図12	甲斐型	坏			4.2	2	5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土
126図13	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	PT692、PT693出土
126図14	甲斐型	皿				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、「田」墨書あり
126図15	甲斐型					8	5 YR 5 ／ 6	小破片	胴部、墨書あり
126図16	甲斐型					1	5 YR 4 ／ 4	小破片	胴部、「真」?墨書あり
126図17	甲斐型	坏				6	10YR 7 ／ 4	小破片	口縁部、墨書あり
126図18	甲斐型	坏				8	10YR 7 ／ 4	小破片	胴部、墨書あり
126図19	甲斐型					8	7.5YR 5 ／ 4	小破片	胴部、墨書あり
126図20	甲斐型					8	7.5YR 5 ／ 4	小破片	胴部、墨書あり
126図21	甲斐型					8	7.5YR 6 ／ 4	小破片	線刻あり、ヘラケズリの引掻き傷かもしれない
126図22	甲斐型					8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	線刻あり、ヘラケズリの引掻き傷かもしれない
127図 1	甲斐型	甕	13.4				7.5YR 4 ／ 4	小破片	小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 2	甲斐型	甕	14.0				5 YR 4 ／ 4	小破片	床面下より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 3	甲斐型	甕	19.6				5 YR 4 ／ 4	小破片	DK139出土、小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 4	甲斐型	甕	24.0				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 5	甲斐型	甕	23.2				10YR 5 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 6	甲斐型	甕	33.6				5 YR 4 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 7	甲斐型	甕	30.4				7.5YR 5 ／ 4	小破片	カマド、PT109出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
127図 8	甲斐型	甕	32.0				5 YR 5 ／ 6	小破片	住居北東角で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図 9	甲斐型	甕			10.4		5 YR 4 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図10	甲斐型	甕	30.0				5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図11	甲斐型	甕	36.0				7.5YR 4 ／ 4	小破片	DK139出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
127図12	土師器	坏	16.0			88	10YR 6 ／ 4	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
128図 1	土師器		20.0				10YR 6 ／ 4	小破片	覆土出土、鉱物粒子が多く混じる非常に粗粒の胎土、内面ミガキ
128図 2	土師器		23.2			88	7.5YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、内面ミガキ
128図 3	甲斐型	羽釜					7.5YR 6 ／ 4	小破片	床面下より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
128図 4	土師器	甕	24.5				10YR 6 ／ 4	小破片	DK139出土、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土、外面ロクロナデにヘラケズリ、内面ロクロナデ、二次被熱痕あり
128図 5	灰釉陶器	壺					5 Y 7 ／ 1	小破片	外面全面に施釉、釉調7.5Y 6 ／ 3 、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
128図 6	須恵器	突帯付壺					10YR 6 ／ 4	小破片	覆土、カマド出土、胴部最大径32.7cm、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
129図 3	甲斐型	皿	12.6			6	5 YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土
129図 4	甲斐型	坏	14.2			8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	
129図 5	甲斐型	甕			8.6		7.5YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
130図 1	甲斐型	坏	12.9	4.3	4.5	8	5 YR 6 ／ 6	ほぼ完形	カマド南側、東壁沿いの床面高25cmで出土、口縁部の整形が雑
130図 2	甲斐型	坏	16.0	5.5	5.0	8	10YR 6 ／ 4	1 ／ 2	覆土より破片で出土、内外面に煤付着
130図 3	甲斐型	坏	13.0	4.1	4.6	8	5 YR 6 ／ 6	小破片	
130図 4	甲斐型	甕			9.4		5 YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
130図 5	須恵器	鉢?			7.4		2.5Y 6 ／ 2	小破片	鉱物粒子が混じる粗粒の胎土
130図 6	甲斐型	甕	32.4				5 YR 4 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
131図 1	甲斐型	坏	13.6	4.4	5.5	8	5 YR 6 ／ 6	2 ／ 3	
131図 2	甲斐型	坏	13.8	5.2	4.6	8	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 2	
131図 3	甲斐型					8	5 YR 6 ／ 8	小破片	墨書あり
131図 4	須恵器	壺・甕					2.5Y 6 ／ 2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、内外面とも磨耗なし
131図 5	甲斐型	甕	23.0				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
131図 6	甲斐型	甕	30.5				5 YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
132図 1	甲斐型	坏	11.6	4.2	2.3	8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	53a号住居カマド出土
132図 2	甲斐型	坏	12.8	3.8	4.0	1	2.5YR 5 ／ 8	1 ／ 2	53a号住居東壁沿いで出土、正位「七」墨書あり、灯明器として使用した煤痕あり
132図 3	須恵器	壺・甕					2.5YR 5 ／ 2	小破片	53a号住居PT84北側床面で出土、内面磨耗して平滑、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
133図 1	甲斐型	皿	11.8	2.5	3.8	2	5 YR 6 ／ 6	完形	53a号住居北東角で出土、墨書あり、みこみが磨耗して平滑で、内面に線状墨痕あり
133図 2	土師器	皿	13.2	2.7	7.0	88	10YR 7 ／ 6	ほぼ完形	53a号住居北西角付近の床面高で出土、みこみが磨耗し平滑、内面黒色処理
133図 3	土師器	甕	13.6				5 YR 6 ／ 6	小破片	53a号住居カマドで出土、内外面ロクロ調整、外面下半部はヘラケズリ調整、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土、甲斐型甕胎土の粒度を細かくした印象の胎土質
135図 1	甲斐型	坏	12.0	4.2	4.6	8	10YR 6 ／ 3	1 ／ 2	53b号住居カマド南側と南壁沿いで出土
135図 2	甲斐型	坏	12.0			8	5 YR 6 ／ 6	小破片	53b号住居南壁沿いで出土
135図 3	甲斐型	鉢	30.4				10YR 5 ／ 3	小破片	53b号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
135図 4	甲斐型	甕	30.8				2.5YR 5 ／ 8	小破片	53b号住居（53a号住居床面下）出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
135図 5	甲斐型	甕	29.6				7.5YR 4 ／ 3	小破片	53b号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
135図 6	甲斐型	甕	19.0				5 YR 5 ／ 6	小破片	53b号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
135図 7	土師器	坏	13.0	4.0	4.6	88	10YR 8 ／ 2	1 ／ 2	53b号住居カマド、PT156で出土、内面黒色処理、ミガキ
135図 8	土師器	甕					5 YR 6 ／ 8	小破片	53b号住居カマドで出土、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
135図 9	甲斐型	坏				1	7.5YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、墨書あり
135図10	甲斐型	坏				5	10YR 6 ／ 4	小破片	口縁部、墨書あり
135図11	甲斐型	坏				8	2.5YR 5 ／ 6	小破片	口縁部、墨書あり
135図12	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部から底部、墨書あり
135図13	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、逆位「仁」刻書あり、53b号住居遺物
135図14	甲斐型	坏				5	10YR 6 ／ 4	小破片	胴部、墨書あり
135図15	甲斐型					8	2.5YR 4 ／ 2	小破片	胴部、墨書あり
135図16	甲斐型					8	2.5YR 5 ／ 6	小破片	胴部、墨書あり
136図 1	甲斐型	皿	13.4			8	5 YR 6 ／ 6	小破片	逆位「仁」?刻書あり
136図 2	甲斐型	皿	13.6			8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	
136図 3	甲斐型	甕	19.4				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
136図 4	甲斐型	甕	20.0				5 YR 4 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図 5	甲斐型	甕	26.0				2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図 6	甲斐型	甕	31.2				2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土、雲母粒子は目立たない
136図 7	甲斐型	甕	28.4				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図 8	甲斐型	甕	26.0				5 YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図 9	甲斐型	甕	16.0				2.5YR 5 ／ 6	小破片	内外面ともナデ調整、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図10	甲斐型	甕	28.4				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図11	甲斐型	甕	15.0				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
136図12	土師器	坏	11.8			88	7.5YR 7 ／ 6	小破片	内面黒色処理、ミガキ
136図13	土師器	坏	13.8			88	10YR 6 ／ 6	小破片	内面黒色処理、ミガキ
137図 1	甲斐型	坏	12.6	3.0	5.7	2	7.5YR 6 ／ 6	ほぼ完形	カマド出土、正位「生」?墨書あり
137図 2	甲斐型	坏	11.6	3.2	4.7	2	10YR 5 ／ 4	1 ／ 3	PT103出土
137図 3	甲斐型	坏	14.2	4.2	7.4	2	7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 2	カマド出土、正位「真」墨書あり
137図 5	甲斐型	坏	14.0	4.2		1	7.5YR 5 ／ 3	小破片	カマド出土
137図 6	甲斐型	坏	13.0	4.6	5.6	1	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 2	カマド出土
137図 7	甲斐型	坏	13.0			1	5 YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土
137図 8	土師器	甕	22.7				7.5YR 8 ／ 4	小破片	カマド出土、二次被熱痕あり、外面ヘラケズリ調整、内面ロクロナデ調整、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
137図 9	甲斐型	羽釜	33.6				5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
141図 1	甲斐型					8	10YR 7 ／ 4	小破片	底部破片、外面に「乙」?刻書あり
141図 2	甲斐型	甕	18.0				5 YR 4 ／ 4	小破片	DK49出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
141図 3	甲斐型	甕	27.0				2.5Y 6 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
141図 4	土師器	坏	13.0	4.1	6.0	88	10YR 7 ／ 4	1 ／ 2	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
141図 5	土師器	甕					7.5YR 8 ／ 4	小破片	カマド出土、内外面ロクロナデ調整、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
141図 6	土師器	甕	23.9				10YR 6 ／ 4	小破片	内外面ロクロナデ調整、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
141図 7	須恵器	壺・甕					2.5Y 6 ／ 2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
143図 1	甲斐型	坏			4.8	6	7.5YR 6 ／ 6	小破片	胴下半部破片、正位「奉」?墨書あり
143図 2	甲斐型	皿	12.0	2.0		8	7.5YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土、正位「吉」墨書あり
143図 3	甲斐型	坏				1	5 YR 6 ／ 6	小破片	胴部破片、墨書あり、内面放射状暗文
143図 4	甲斐型	坏	12.0			1	7.5YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土
143図 5	土師器	坏	13.4			88	10YR 5 ／ 4	小破片	内面ミガキ、内面黒色処理
144図 1	甲斐型	甕	13.5	11.0	7.4		7.5YR 4 ／ 4	1 ／ 3	小型甕、カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
144図 2	甲斐型	甕	25.0				5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
144図 3	甲斐型	甕	30.0				10YR 6 ／ 4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
144図 4	甲斐型	甕	27.0				7.5YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
144図 5	土師器	羽釜	19.0				10YR 7 ／ 4	小破片	内外面ナデ調整、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土、甲斐型甕胎土とは異質
144図 6	土師器	甕			10.4		10YR 6 ／ 4	小破片	底部木葉痕、非常に粗雑な成形、鉱物、雲母粒子が混じるきわめて粗粒の胎土、甲斐型甕胎土とは異質
146図 1	甲斐型	坏	14.8	5.0	5.6	8	2.5YR 5 ／ 8	1 ／ 2	カマド北側床面で出土
146図 2	甲斐型	皿	13.8	2.7		8	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 2	DK28出土、正位「釜」?墨書あり
146図 3	甲斐型					1	5 YR 5 ／ 6	小破片	DK40出土、墨書あり
146図 4	甲斐型	坏	12.2			8	10YR 7 ／ 6	小破片	
146図 5	甲斐型	皿	13.4	2.5	4.2	1	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 4	カマド北側床面で出土
146図 6	甲斐型	皿	14.0			1	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 4	カマド出土
146図 7	甲斐型	皿	13.6			1	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 4	
146図 8	甲斐型	甕	14.0				2.5YR 5 ／ 8	小破片	DK28出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
146図 9	甲斐型	甕	15.6				2.5YR 4 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
146図10	甲斐型	甕	26.0				2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
147図 1	甲斐型	坏	11.0			8	5 YR 6 ／ 6	小破片	内面放射状暗文
147図 2	土師器	坏	15.6			88	10YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
148図 1	甲斐型	甕	16.3				2.5YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
148図 2	須恵器	壺・甕					2.5Y 7 ／ 2	小破片	微小な鉱物粒子が僅かに混じるきわめて細粒の胎土
150図 1	甲斐型	坏	13.6	4.4		4	2.5Y 3 ／ 2	1 ／ 3	DK68出土
152図 1	甲斐型	耳皿	10.8	1.4	5.2	1	10YR 6 ／ 6	完形	カマド北側の床面高 5 cmで出土、内外面に正位「長」?「表」?墨書あり

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
152図３	灰釉陶器	壺・甕			18.0		2.5Y６／１	小破片	DK68出土、釉調2.5Y４／１、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
153図１	甲斐型	甕	31.6				5 YR５／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
153図２	甲斐型	羽釜	22.6				7.5YR７／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
153図３	甲斐型	甕	28.4				7.5YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
153図４	甲斐型	羽釜	27.0				5 YR４／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
153図５	甲斐型	羽釜	17.8				10YR６／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
153図６	土師器	甕	20.6				2.5YR６／６	小破片	手づくね成形、外面は細目ヘラケズリ調整、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
153図７	土師器	甕	24.4				7.5YR６／４	小破片	カマド、DK67出土、輪積痕が明瞭に残る粗雑な成形、外面縦方向のナデ調整、内面横方向のナデ調整、口縁外面には指頭圧痕が明瞭に残る。
154図２	甲斐型	坏			5.0	8	5 YR４／６	小破片	DK31で出土、坏底部破片、割れ面外周は磨耗している、二次被熱あり
156図１	甲斐型	坏	17.6			1	10YR７／６	小破片	
156図２	甲斐型	甕	27.2				5 YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
156図３	甲斐型	鉢	29.2				7.5YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
156図４	甲斐型	甕	36.4				5 YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
156図５	土師器	坏	11.5	3.4	6.3	5	5 YR６／８	１／３	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、在地産ロクロ成形土師器と思われる
156図６	須恵器	壺・甕					10YR７／４	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
156図７	灰釉陶器	椀	16.2				2.5Y６／１	小破片	釉調2.5Y６／３、微小な鉱物粒子が混じるきわめて細粒の胎土
156図８	土製品	羽口						小破片	強く被熱変色し、羽口端部は融解発泡している
157図１	甲斐型	皿	13.2	2.8	4.3	8	5 YR６／８	１／２	カマド出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文
157図２	甲斐型	坏			4.8	8	5 YR６／６	小破片	
157図３	甲斐型	甕	16.0				5 YR６／８	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
158図１	甲斐型	甕	28.4				5 YR６／３	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
158図２	甲斐型	甕	30.8				2.5YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
158図３	土師器	坏	15.2	5.0	6.5	88	10YR６／３	１／２	内面黒色処理、ミガキ、逆位「福」?墨書あり
158図４	土師器	坏	11.6	3.6	5.6	88	7.5YR６／８	１／２	住居西壁付近の床面で出土、内面黒色処理、ミガキ、「田」?墨書あり
158図５	土師器	坏	12.2	3.6	5.5	88	7.5YR５／４	ほぼ完形	正位「田」墨書あり、内面は中途半端な黒色処理、ミガキ
158図６	土師器	皿	13.8	3.2	6.6	88	10YR７／３	ほぼ完形	カマド北側、東壁沿いで出土、正位「田」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
158図７	甲斐型	坏				2	10YR６／６	小破片	胴部、墨書あり
158図８	甲斐型	坏				8	10YR７／６	小破片	胴部、墨書あり、内面黒色処理
162図１	甲斐型	坏	13.0	3.9	4.6	8	5 YR６／６	１／３	北東角付近のベッド状施設床面で出土
162図２	甲斐型	皿	12.8	4.0	4.1	8	10YR７／６	１／３	二次被熱痕あり、覆土より破片で出土
162図３	甲斐型	坏	13.6			8	5 YR６／６	小破片	逆位「仁」?刻書あり
162図４	甲斐型	坏	12.0	3.6	5.1	8	7.5YR６／６	１／３	ベッド状施設南縁の東壁寄りで出土、二次被熱痕あり
162図５	甲斐型	坏	12.0	3.6	3.6	8	10YR６／４	完形	PT285覆土上層出土
162図６	甲斐型	坏	12.0			1	7.5YR５／４	小破片	PT284覆土上層出土
162図７	甲斐型	坏			5.3	8	5 YR７／６	小破片	DK56覆土中層出土
162図８	甲斐型	坏	12.0			8	Ｎ２／０	小破片	内外面とも色調は黒色
162図９	甲斐型	坏			5.4	1	5 YR６／４	１／３	DK56出土
162図10	甲斐型	坏	13.0			4	10YR５／２	小破片	カマド南側、住居覆土より出土
162図11	甲斐型	坏	15.0			8	5 YR５／４	小破片	PT285覆土出土
162図12	甲斐型	皿	12.8	2.5		8	5 YR６／６	１／３	PT285出土、みこみが磨耗して平滑
163図１	甲斐型	皿	12.9	2.4	3.6	8	10YR６／４	ほぼ完形	PT285出土、二次被熱痕あり、口縁の対称の位置にある二箇所を打ち欠いている。横位「ス」墨書あり
163図２	甲斐型	皿	12.8	2.4		8	10YR５／３	１／２	カマド出土、正位「源」墨書あり
163図３	甲斐型	皿	12.6	2.8	5.4	6	10YR７／６	ほぼ完形	西壁沿い床面で出土
163図４	甲斐型	皿	13.0			8	5 YR６／６	小破片	PT285出土、正位「源」墨書あり
163図５	甲斐型	皿	12.2	2.6	4.2	9	7.5Y７／６	１／４	DK56出土
163図６	甲斐型	皿	12.8	3.0		8	7.5YR６／６	ほぼ完形	DK56覆土上層出土
163図７	甲斐型	皿	12.4	2.4	3.4	1	7.5YR７／６	１／３	カマド北西床面で出土
163図８	甲斐型	皿	13.2	3.0		8	7.5YR６／４	完形	DK56上面出土、伏せた状態で出土、灯明器として使用した煤付着あり
163図９	甲斐型	皿	12.7	2.5	4.0	8	2.5Y６／３	ほぼ完形	住居北東角、ベッド状施設床面で出土、耳皿のように口縁の一部が大きくゆがんでいる
163図10	甲斐型	皿	12.6	2.7	4.1	2	10YR７／４	１／２	ベッド状施設南縁の中央部で出土、二次被熱痕あり
163図11	甲斐型					8	7.5YR５／４	小破片	墨書あり、内面黒色処理

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
163図12	甲斐型	皿	12.6	2.6		8	10YR６／４	１／４	覆土より破片で出土
164図１	甲斐型	甕	16.0				５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図２	甲斐型	甕	17.0				５YR４／６	小破片	DK56出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図３	甲斐型	甕	16.4				2.5YR５／６	小破片	DK56、PT284出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図４	甲斐型	甕	31.8				５YR５／６	小破片	カマド、DK56、PT284より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、164図６と同一個体
164図５	甲斐型	甕	21.4				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図６	甲斐型	甕	32.6				５YR５／６	１／２	カマドとその周辺で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図７	甲斐型	甕			10.0		５YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
164図８	甲斐型	甕			10.0		５YR５／６	小破片	DK56出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
165図１	土師器	坏	12.2	3.9	5.6	88	10YR６／３	ほぼ完形	住居南壁沿い、床面高３㎝で出土、逆位「福」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
165図２	土師器	鉢	17.8	6.2	7.2	88	10YR７／４	ほぼ完形	カマド出土、接合破片１点が住居北壁沿いで出土、内面ミガキ、外面横方向のミガキ、内面黒色処理
165図３	灰釉陶器	壺					５Y５／１	１／２	釉調7.5Y６／３、鉱物粒子が見えないきわめて細粒の胎土
165図４	須恵器	壺・甕					2.5Y４／１	小破片	ベッド状施設床面で出土、内面磨耗して平滑、同一個体と思われる小破片３点あり
165図５	灰釉陶器	壺					2.5Y７／２	小破片	頸部破片、釉調５Y７／３、鉱物粒子が見えないきわめて細粒の胎土、内面に墨か煤痕あり
165図６	灰釉陶器				8.2		2.5Y６／２	小破片	釉調５Y５／３、鉱物粒子が見えないきわめて細粒の胎土、みこみと底面が磨耗して平滑、墨痕あり、転用硯と思われる
166図１	甲斐型	坏	12.4	4.1	5.3	6	５YR６／８	完形	覆土より小破片で出土、二箇所に墨書あり
166図２	甲斐型	坏	11.6			6	10YR７／６	小破片	
167図１	甲斐型	甕	28.2				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
168図１	甲斐型	皿	12.4	2.1	6.0	6	10YR８／６	１／４	
168図２	甲斐型	皿	12.6	2.5	4.7	8	５YR５／６	完形	カマド西側床面で磨石とともに出土、灯明器として使用した煤痕あり
169図１	甲斐型	甕	29.4	35.4	9.4		５YR５／６	ほぼ完形	カマド西側と南側で出土、縦に半截され、磨石とともに出土
170図１	甲斐型	甕	26.2				５YR５／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
170図２	須恵器	壺・甕			19.8		５YR４／６	小破片	カマド出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、二次被熱痕あり
170図３	土師器	坏	15.8	4.4	6.0	88	５YR６／８	１／４	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
170図４	土師器	皿			6.7	88	10YR５／２	小破片	内面黒色処理、ミガキ、みこみに線条痕多数あり
171図１	甲斐型	坏	13.8	4.2	4.0	2	５YR６／８	１／２	カマド出土、器面風化著しい
171図２	甲斐型	坏	14.7	4.9	5.1	4	7.5YR６／６	ほぼ完形	北壁近くの床面で出土
171図３	甲斐型	坏			4.8	2	10YR７／８	小破片	
171図４	甲斐型	坏			6.6	8	7.5YR７／８	小破片	カマド、DK60出土
171図５	土師器	坏	13.2	4.2	5.4	88	10YR６／６	完形	西壁近くの床面で出土、内面黒色処理、放射状ミガキ
171図６	土師器	椀	14.0			88	10YR５／６	小破片	内面黒色処理、ミガキ、口縁直下に浅い沈線状のナデ痕あり
172図１	土師器	甕	14.8				10YR７／４	小破片	カマド出土、外面下半部は縦方向のヘラケズリ、内面は指頭圧痕が残る、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
172図２	甲斐型	甕	11.3				５YR４／６	小破片	小型甕、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
172図３	甲斐型	甕	31.8				５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
172図４	甲斐型	甕			9.4		7.5YR４／３	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
172図５	甲斐型	甕	30.4				５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
173図１	甲斐型	皿	12.8	2.9		8	５YR６／６	１／２	
173図２	甲斐型	坏	14.7	4.7	5.6	8	7.5YR５／４	小破片	カマド出土
173図３	甲斐型	甕	28.0				５YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
173図４	甲斐型	甕	31.6				５YR４／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
175図１	甲斐型	坏	13.4	3.9	5.4	8	10YR７／６	１／４	DK53出土、内面放射状暗文
175図２	甲斐型	坏	15.6			8	５YR６／６	小破片	DK53出土、内面放射状暗文
176図１	甲斐型	坏	11.6	4.5	4.2	1	５YR５／６	２／３	カマド北側、東壁沿いで皿（176図２）と重なって出土、体部４箇所に墨書あり
176図２	甲斐型	皿	13.0	2.8	5.0	8	５YR６／６	１／２	カマド北側、東壁沿いで坏(176図１)と重なって出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文、墨書あり
176図３	甲斐型	坏	13.2			1	7.5YR６／６	小破片	カマド出土、内面放射状暗文
176図４	土師器	坏			6.2	88	7.5YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
176図５	甲斐型	甕	30.0	35.3	10.6		５YR５／４	２／３	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
176図６	土師器	皿	14.0			88	7.5YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
176図７	土師器	甕	14.4	11.7	6.4	1	５YR５／６	１／２	カマドと周辺で出土、ロクロ成形後、外面は縦方向のヘラケズリ、甲斐型坏と同様の胎土質
176図８	土師器	甕	14.6				7.5YR７／８	小破片	ロクロ成形甕、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
178図１	土師器	坏				88	10YR８／３	小破片	内面黒色処理、ミガキ
178図２	土師器	坏				88	10YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ、墨書あり

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
179図1	甲斐型	坏			6.0	8	5YR5／8	小破片	
179図2	甲斐型	甕	14.8				2.5YR4／8	小破片	DK144出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
179図3	土師器	椀			7.7	88	2.5YR5／6	1／2	住居中央より東寄りの床面で出土、内面黒色処理、ミガキ、雲母粒子が非常に多く混じる胎土
179図4	須恵器	壺					10YR7／4	小破片	鉱物粒子が見えないきわめて細粒の胎土
180図1	甲斐型	坏	12.0	4.1	5.2	8	5YR6／6	完形	北壁寄り床面で出土、逆位「奉」墨書あり、内面放射状暗文、灯明器として使用した煤痕あり
180図2	甲斐型	坏	12.0	3.8	5.0	8	5YR6／6	1／2	カマド出土、内面放射状暗文、灯明器として使用した煤痕あり
180図3	甲斐型	坏	11.4			8	5YR6／6	小破片	覆土出土、逆位「奉」墨書あり、内面放射状暗文
180図4	甲斐型	坏	11.5	4.2	4.4	8	5YR6／6	完形	カマド南西の礫下で出土、内面放射状暗文
180図5	灰釉陶器	壺・甕			9.6		2.5Y8／2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、釉調7.5Y4／3
181図1	甲斐型	坏	12.0			8	10YR6／6	小破片	内面放射状暗文
181図2	甲斐型	皿	11.0			5	7.5YR6／4	小破片	PT511より出土
181図3	甲斐型					8	10YR7／6	小破片	墨書あり
181図4	土師器	坏				88	10YR6／3	小破片	口縁部、横位「奉」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
181図5	甲斐型	甕			8.9		5YR5／6	小破片	PT511より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
182図1	甲斐型	甕	27.4				7.5YR6／8	小破片	PT511より出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
182図2	土師器	坏	17.6	5.3	7.0	88	7.5YR7／8	1／3	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
182図3	甲斐型	皿			5.6	8	7.5Y6／6	小破片	PT512より出土、みこみに放射状暗文、体部下半回転ヘラケズリ
182図4	土師器	坏	13.6	5.1	5.6	88	10YR7／4	1／3	墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
182図5	土師器	坏	12.6			88	10YR7／3	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ
182図6	土師器	甕	16.0				7.5YR6／8	小破片	カマド出土、ロクロ成形甕
186図1	甲斐型	坏	12.4	4.2	4.0	8	5YR6／6	2／3	72a号住居中央より南西寄りの床面で出土、逆位「大」?墨書あり
186図2	甲斐型	坏	12.4			1	5YR6／6	小破片	72a号住居覆土出土
186図3	甲斐型	坏			4.6	8	5YR5／6	小破片	72a号住居覆土出土
186図4	甲斐型	坏	12.4			8	2.5YR6／6	小破片	72a号住居覆土出土、内面黒色処理、放射状暗文
186図5	甲斐型	坏			5.0	8	2.5YR6／6	小破片	72a号住居覆土出土、内面黒色処理、放射状暗文、体下半部回転ヘラケズリ
186図6	甲斐型	坏			5.4	6	10YR7／6	1／3	72a号住居覆土出土、器壁厚手でざらつく胎土質
186図7	甲斐型	甕	30.0				2.5YR4／4	小破片	72a号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
186図8	土師器	坏	12.4			88	10YR7／6	小破片	72a号住居覆土出土、内面黒色処理、ミガキ
186図9	土師器	坏	14.4			88	10YR6／4	小破片	72a号住居覆土出土、内面黒色処理、ミガキ
186図10	須恵器	壺・甕			12.0		5Y5／2	小破片	72a号住居覆土出土、肩部に把手などが剥離した痕跡あり、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
186図11	土師器	甕					10YR7／4	小破片	72a号住居カマド出土、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
186図12	須恵器	壺・甕					5Y5／1	小破片	72a号住居覆土出土、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
187図1	須恵器	甕					2.5Y5／2	小破片	72a号住居カマド出土、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
187図2	灰釉陶器	壺・甕					2.5Y7／2	小破片	72a号住居覆土出土、釉調7.5Y6／3、鉱物粒子が目立たない緻密な胎土
187図3	灰釉陶器	椀	16.0				2.5Y7／2	小破片	72a号住居覆土出土、釉調5Y5／2、釉ハケ塗り
187図4	甲斐型	皿	12.6			6	5YR6／6	小破片	PT484出土
187図5	土師器	坏	12.2	3.2	5.7	88	5YR6／6	2／3	72b号住居カマドで出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
187図6	甲斐型	甕	30.6				5YR5／3	小破片	DK119出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
187図7	灰釉陶器	椀			6.8		7.5Y7／2	小破片	DK119出土、鉱物粒子が目立たない緻密な胎土
187図8	土師器	坏	16.4	5.4	7.4	88	5YR6／8	1／3	DK111底面より20cm高で出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
187図9	土師器	坏	15.6			88	7.5YR7／4	小破片	DK114出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
187図10	甲斐型	坏				5	7.5YR7／6	小破片	DK84出土、口縁部、逆位墨書あり
187図11	土師器	坏				88	7.5YR7／6	小破片	72a号住居覆土出土、口縁部、逆位「源」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
190図1	甲斐型	坏	16.0	5.4	6.5	8	7.5YR6／6	2／3	住居北東角で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、ミガキ、放射状暗文とらせん状暗文、みこみ渦巻き状暗文あり
190図2	甲斐型	坏	12.0			8	5YR6／8	小破片	内面放射状暗文
190図3	甲斐型	皿	13.8			8	5YR6／8	小破片	内面渦巻き状暗文、体下半部回転ヘラケズリ
190図4	甲斐型	甕	33.2				5YR5／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
190図5	甲斐型	甕	29.6				5YR5／8	小破片	カマド南側床面で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
190図6	甲斐型	甕	26.0				5YR5／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
190図7	土師器	坏	14.8			88	10YR7／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
190図8	土師器	坏	14.0			88	10YR7／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
190図 9	甲斐型	坏				1	7.5YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、斜位「奉」?墨書あり
190図10	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 8	小破片	口縁部、斜位「奉」?墨書あり
190図11	土師器	坏				88	2.5Y 6 ／ 2	小破片	胴部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
194図 1	甲斐型	坏	12.2	4.2	4.4	1	5 YR 6 ／ 6	完形	PT541横の床面で出土、正位「真」墨書あり
194図 2	甲斐型	坏	11.2	4.3	4.4	2	10YR 6 ／ 4	1 ／ 2	住居覆土から小破片で出土、内面放射状暗文
194図 3	甲斐型	坏	11.6	4.8	4.5	8	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 2	DK109とDK152で出土、内面放射状暗文
194図 4	甲斐型	坏	13.0	4.4	4.4	8	5 YR 6 ／ 6	小破片	
194図 5	甲斐型	坏	13.0	4.1	5.2	1	5 YR 5 ／ 6	小破片	内面放射状暗文
194図 6	甲斐型	坏	12.0	3.8	5.2	8	5 Y 5 ／ 6	完形	住居南西角の壁に張りつくようにして出土、床面15cm高。体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面放射状暗文
194図 7	甲斐型	坏			4.3	8	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 3	住居覆土から小破片で出土、内面放射状暗文
194図 8	甲斐型	坏	15.4	5.0	5.4	8	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 2	住居南壁中央の床面から10cm高で出土、逆位「真」墨書２ヶ所あり、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、らせん状暗文と放射状暗文、みこみ渦巻き状暗文
194図 9	甲斐型	坏	16.0			8	10YR 7 ／ 6	小破片	DK154出土、体下半部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、らせん状暗文と放射状暗文
195図 1	甲斐型	坏	15.6	4.9	5.6	1	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 3	住居覆土より破片で出土、内面黒色処理、放射状暗文、みこみ渦巻き状暗文
195図 2	甲斐型	坏	15.6	5.0	5.9	8	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 2	住居覆土から小破片で出土、内面黒色処理、らせん状暗文と放射状暗文、みこみ渦巻き状暗文
195図 3	土師器	坏				88	10YR 8 ／ 3	小破片	口縁部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
195図 4	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	カマド出土、口縁部破片、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
195図 5	甲斐型	坏				8	5 YR 6 ／ 6	小破片	口縁部、墨書あり
195図 6	土師器	坏				88	10YR 8 ／ 3	小破片	口縁部破片、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
195図 7	甲斐型	皿				8	7.5YR 7 ／ 6	小破片	底部破片、墨書か墨が流れた痕か
195図 8	甲斐型	皿				8	7.5YR 7 ／ 6	小破片	底部から体下半部の破片、墨書あり
195図 9	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	体下半部破片、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
195図10	甲斐型	坏				4	10YR 7 ／ 6	小破片	体下半部破片、逆位「真」墨書あり、内面黒色処理
195図11	甲斐型	皿				1	5 YR 6 ／ 6	小破片	体下半部破片、墨書あり、内面渦巻き状暗文
195図12	甲斐型	坏				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	胴部、墨書あり
195図13	土師器	坏				88	10YR 7 ／ 4	小破片	胴部、線刻あり、内面黒色処理、ミガキ
195図14	甲斐型	皿	13.2	2.5	5.0	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	住居覆土より破片で出土、逆位「真」墨書あり、体下半部と底部回転ヘラケズリ
195図15	甲斐型	坏	16.0	5.4	6.0	1	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	住居覆土から小破片で出土、内面黒色処理、放射状暗文、みこみ渦巻き状暗文
196図 1	甲斐型	甕	13.0				5 YR 4 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
196図 2	甲斐型	甕	17.0				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
196図 3	甲斐型	甕	30.0				5 YR 4 ／ 4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
196図 4	甲斐型	甕	33.0				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
196図 5	甲斐型	甕			8.6		7.5YR 4 ／ 6	小破片	DK113出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
196図 6	土師器	皿	13.6	2.7	7.0	88	10YR 7 ／ 4	1 ／ 2	PT551とカマドで出土、内面黒色処理、ミガキ、放射状の線刻あり
196図 7	土師器	坏	13.6			88	10YR 7 ／ 3	小破片	墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
196図 8	土師器	皿	14.0	2.4	6.0	88	7.5YR 7 ／ 4	小破片	内面黒色処理、ミガキ、雲母粒子が非常に多く混じる
196図 9	灰釉陶器	皿	17.8				2.5Y 7 ／ 1	小破片	PT546出土、釉調５Y６／３、鉱物粒子が目立たない緻密な胎土
196図11	須恵器	突帯付壺					7.5Y 5 ／ 1	小破片	PT533出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
197図 1	土師器	坏	14.4	5.6	6.4	88	10YR 7 ／ 4	完形	北壁沿いで出土、内面黒色処理、ミガキ
197図 2	甲斐型	坏	12.7	4.4	5.0	8	10YR 6 ／ 3	ほぼ完形	北壁沿いで出土、底部は意図的に打ち欠かれている。内面放射状暗文、正位「山」、逆位「八」?墨書あり
199図 1	甲斐型	坏	12.2	4.6	5.6	2	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 3	覆土より破片で出土
199図 2	甲斐型	坏	12.8			1	5 YR 6 ／ 6	小破片	
199図 3	甲斐型	皿	13.2			1	5 YR 5 ／ 6	小破片	線刻あり
199図 4	甲斐型	皿			5.0	8	5 YR 5 ／ 8	小破片	底部破片、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文
201図 1	甲斐型	皿	13.2	2.7	4.0	8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	覆土より破片で出土
201図 2	甲斐型	皿	13.4			1	5 YR 5 ／ 6	小破片	
201図 3	甲斐型	皿	13.6	2.5	9.0	4	5 YR 5 ／ 6	小破片	床面下で出土、内面放射状暗文、体下半部は横方向の手持ちヘラケズリ
201図 4	甲斐型	皿	12.8			1	5 YR 6 ／ 6	小破片	DK123で出土、器壁厚手
201図 5	甲斐型	皿	13.6	2.5	4.6	8	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 3	覆土より破片で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面渦巻き状暗文
201図 6	甲斐型	皿			7.6	2	5 YR 6 ／ 6	小破片	内面放射状暗文と横方向のミガキ、器形、胎土質は非常に異質
201図 7	甲斐型	甕	15.2				5 YR 5 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
201図 8	甲斐型	甕	16.8				5 YR 4 ／ 8	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
201図9	甲斐型	甕	33.6				5YR5／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
201図10	甲斐型	甕			9.4		5YR3／4	小破片	PT600で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
201図11	土師器	坏				88	10YR6／6	小破片	口縁部、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
201図12	甲斐型	坏				2	7.5YR6／8	小破片	底部から体下半部破片、墨書あり、内面放射状暗文
201図13	甲斐型	坏				1	7.5YR7／8	小破片	口縁部、放射状の墨書あり
201図14	甲斐型	皿				8	5YR6／8	小破片	口縁部、墨書あり、内面渦巻き状暗文
201図15	甲斐型					1	5YR6／8	小破片	口縁部、放射状の墨書あり
201図16	甲斐型					1	5YR6／8	小破片	胴部破片、墨書?あり
201図17	土師器					88	10YR7／4	小破片	体下半部破片、放射状の墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
202図1	甲斐型	坏	18.4			8	5YR5／3	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
202図2	土師器	坏	13.6	4.4	5.8	88	10YR6／2	2／3	覆土とPT525から破片で出土、放射状墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
202図3	土師器	坏	15.9	5.4	6.4	88	7.5YR7／4	2／3	覆土より破片で出土、内面黒色処理、ミガキ、墨書あり、器面が風化して判読不可
202図4	土師器	坏	14.0	5.4	6.8	88	10YR7／3	小破片	PT600で出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり、202図6と同一個体か
202図5	土師器	甕			6.0		2.4YR6／8	小破片	ロクロ成形甕、鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
202図6	土師器	坏	13.2			88	10YR8／4	小破片	PT600で出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
202図7	土師器	甕	24.0				2.5YR5／8	小破片	DK123出土、ロクロ成形甕、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
202図8	灰釉陶器	皿			7.2		10YR7／1	小破片	みこみが磨耗し平滑、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
205図1	甲斐型	坏	13.6	4.0	6.4	3	5YR5／6	ほぼ完形	住居北壁沿いの床面で出土、内面放射状暗文
205図2	甲斐型	坏	11.5	3.7	5.8	3	5YR5／8	完形	住居南壁に貼りつくように、床面から15cm高で出土、正位「奉」墨書あり、内面放射状暗文
205図3	甲斐型	坏			4.2	8	5YR4／8	小破片	カマド出土、内面放射状暗文
205図4	甲斐型	皿	13.2	1.8	6.0	8	5YR5／6	1／4	覆土より破片で出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、みこみは磨耗し平滑、墨?痕あり
205図5	甲斐型	皿	13.6	2.6	4.8	8	5YR5／6	2／3	覆土より破片で出土、内面渦巻き状暗文
205図6	甲斐型	皿	13.8	2.5	7.2	3	2.5YR5／6	完形	カマド北端で出土、内面渦巻き状暗文
206図1	甲斐型	甕	28.8				5YR4／8	小破片	カマドとカマド北側覆土下層で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
206図2	甲斐型	甕			8.3		5YR4／8	小破片	カマド北側床面で伏せた状態で出土した底部破片、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
206図3	甲斐型					8	5YR4／6	小破片	胴部破片、墨書あり
206図4	土師器	坏	13.4			88	10YR7／4	小破片	墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
206図5	土師器	坏	14.6	4.6	7.0	88	10YR6／3	2／3	住居西壁沿い周溝内で出土、正位「家」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
207図1	甲斐型	坏	12.0	3.8	4.8	8	5YR6／8	小破片	内面放射状暗文
207図2	甲斐型	坏				8	5YR5／6	小破片	口縁部破片、墨書あり
207図3	甲斐型	坏				8	5YR5／8	小破片	胴部破片、墨書あり
207図4	土師器	坏	14.6			88	5YR6／8	小破片	内面黒色処理、ミガキ、放射状暗文
207図5	土師器	坏	13.4			88	10YR7／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
208図1	甲斐型	甕	29.8				5YR3／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
208図2	甲斐型	甕			8.6		5YR4／8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
208図3	土師器	坏	13.6			88	10YR3／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
208図4	土師器	坏			5.4	88	10YR6／4	小破片	内面黒色処理、ミガキ
210図1	甲斐型	皿	13.4	2.0	5.6	8	5YR5／6	ほぼ完形	DK181出土、正位「真」墨書あり、体下半部と底部回転ヘラケズリ
210図2	甲斐型	皿	13.2	2.5	5.4	8	5YR6／6	1／4	DK181出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ
210図3	甲斐型	甕	17.0				2.5YR5／8	小破片	カマドとDK181で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
211図1	甲斐型	坏	12.4			1	5YR5／6	1／3	DK127出土、逆位「矢」墨書あり、内面放射状暗文
211図2	甲斐型	坏	12.4	4.4	4.8	1	7.5YR7／6	ほぼ完形	住居覆土とDK127より破片で出土、内面放射状暗文
212図1	甲斐型	坏			6.0	8	5YR6／4	小破片	DK127出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、放射状暗文、みこみ渦巻き状暗文
212図2	土師器	坏	14.0	4.7	5.2	88	5YR7／6	1／2	住居覆土とDK127より破片で出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
212図3	甲斐型	甕	28.0		8.0		5YR6／6	小破片	カマドとDK127で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
212図4	甲斐型	甕	15.6				5YR4／4	小破片	カマドとDK127で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
212図5	甲斐型	甕	30.6				7.5YR5／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
212図6	甲斐型	甕	31.4				5YR4／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
212図7	土師器	甕	13.0				10YR6／3	小破片	カマド出土、内外面ロクロ成形、外面下半で横方向のヘラケズリ、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
213図1	甲斐型	坏	14.4	4.8	5.2	4	5YR4／3	1／3	81a号住居カマド出土
213図2	土師器	坏	12.0			88	7.5YR6／6	小破片	81a号住居カマド出土、内面ミガキ、二次被熱痕あり
214図1	甲斐型	甕	17.0				2.5YR5／6	小破片	81a号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
214図2	土師器	甕	8.6	7.4	4.2		10YR 6 ／ 4	ほぼ完形	81a号住居カマド北側床面で出土、手づくね成形の小型甕。底部に木葉痕状の線刻あり、微小な鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土、213図1坏と同じ胎土質
214図3	甲斐型	甕			8.7		7.5YR 5 ／ 4	小破片	81a号住居カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
214図4	甲斐型	坏	12.0	3.8	4.6	6	10YR 7 ／ 6	完形	81b号住居覆土から破片で出土
214図5	甲斐型	坏	13.8	4.4	4.8	1	7.5YR 6 ／ 6	1 ／ 3	DK136出土、81b号住居にともなう
214図6	甲斐型	坏	13.2	5.0	3.9	6	10YR 7 ／ 6	小破片	81b号住居カマド北側で出土、内面黒色処理
214図7	甲斐型	坏	12.0	3.9	4.2	1	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	DK102、PT678、DK136から破片で出土、81b号住居にともなう
214図8	土師器				6.6	88	10YR 6 ／ 4	小破片	DK136出土、81b号住居にともなう、内面黒色処理、ミガキ
214図9	甲斐型	坏				6	10YR 6 ／ 8	小破片	DK136出土、逆位「真」?墨書あり、81b号住居にともなう
214図10	甲斐型	甕			6.4		7.5YR 7 ／ 4	小破片	
214図11	甲斐型	甕	28.6				5 YR 5 ／ 4	小破片	DK136出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、81b号住居にともなう
214図12	甲斐型	甕	33.0				5 YR 6 ／ 6	小破片	カマド北側床面で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
214図13	甲斐型	甕	32.0				7.5YR 7 ／ 4	小破片	DK136出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土、81b号住居にともなう。口縁部と底部は接合しないが、胎土質、整形技法から同一個体と思われる
217図1	甲斐型	坏	12.1	4.0	4.4	8	5 YR 5 ／ 6	2 ／ 3	DK104覆土上層で出土、口縁の一部を折り取るように割られたらしい
217図2	甲斐型	坏	12.8	4.0	4.5	1	5 YR 6 ／ 6	完形	カマド南西の床面5㎝高で出土
217図3	甲斐型	坏	14.6	5.0	5.0	1	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 4	DK104内の礫直下で出土
217図4	甲斐型	坏	11.8	4.2	3.9	8	5 YR 5 ／ 4	1 ／ 2	カマド南側、DK135上の床面3㎝高で出土
217図5	甲斐型	坏	11.2			6	5 YR 6 ／ 6	小破片	灯明器として使用した煤痕あり
217図6	甲斐型	坏	14.2			8	5 YR 5 ／ 4	小破片	
217図7	甲斐型	坏	12.5	3.9	4.4	6	5 YR 6 ／ 3	1 ／ 4	DK104出土、217図8坏の下層から出土、ヘラケズリは稚拙で器形も異質
217図8	甲斐型	坏	15.2			1	5 YR 6 ／ 8	1 ／ 4	DK104出土
217図9	甲斐型	坏			6.0	2	5 YR 6 ／ 8	小破片	内面黒色処理、体下半部手持ちヘラケズリ、底部は高台状。底部のヘラケズリは省略か
217図10	甲斐型	皿	13.0			5	5 YR 6 ／ 6	小破片	DK104内の礫直下で出土
217図11	甲斐型	皿				8	5 YR 5 ／ 6	小破片	DK129出土、体下半部手持ちヘラケズリ
218図1	甲斐型	甕	17.6				10YR 5 ／ 4	小破片	DK129出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
218図2	甲斐型	甕	37.2				5 YR 5 ／ 6	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
218図3	甲斐型	甕	34.0				10YR 7 ／ 8	小破片	DK129出土、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土、雲母粒子が非常に目立つ
218図4	甲斐型	甕			9.4		5 YR 4 ／ 8	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
218図5	甲斐型	甕	29.8				5 YR 4 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
218図6	土師器	坏	12.2	3.8	5.4	88	5 YR 5 ／ 8	1 ／ 4	内面黒色処理?、ミガキ、二次被熱痕あり
218図7	土師器	坏	13.2			88	5 YR 4 ／ 6	小破片	内面黒色処理?、ミガキ、二次被熱痕あり
218図8	須恵器	壺・甕					7.5YR 6 ／ 2	小破片	北壁沿いで出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
218図9	灰釉陶器	椀	18.0	5.4	9.2		10YR 7 ／ 1	小破片	釉調7.5Y 7 ／ 1 、ハケ塗り、緻密な胎土
220図1	甲斐型	坏			5.6	8	5 YR 5 ／ 6	小破片	内面黒色処理、放射状暗文とらせん状暗文、みこみ渦巻き状暗文
220図2	土師器	甕	12.4	13.8	8.0		7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 4	ロクロ整形甕
220図3	甲斐型	皿	13.0	2.5		8	5 YR 6 ／ 6	1 ／ 2	底部に墨書あり
220図4	甲斐型	坏	13.1	3.9	6.0	8	5 YR 5 ／ 6	1 ／ 4	逆位「真」墨書あり
220図5	甲斐型	坏				5	7.5YR 7 ／ 4	小破片	胴部破片、線刻あり
220図6	甲斐型	甕	25.0				2.5YR 5 ／ 6		鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
220図7	甲斐型	甕	30.0				7.5YR 6 ／ 6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
223図1	甲斐型	坏	11.6	4.4	4.3	6	5 YR 7 ／ 6	2 ／ 3	覆土から破片で出土、正位「梶」墨書あり
223図2	甲斐型	坏	14.8	5.4	4.9	1	5 YR 6 ／ 6	ほぼ完形	カマド出土、墨書あり
223図3	甲斐型	坏	12.4	4.7	4.6	8	5 YR 6 ／ 6	小破片	カマド出土、逆位「真」墨書あり
223図4	甲斐型	坏	11.2	4.6	4.6	6	7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 4	逆位「真」墨書あり
223図5	甲斐型	皿			6.6	6	10YR 6 ／ 4	小破片	底部に刻書あり、「梶」?
223図6	甲斐型	坏	12.0			8	10YR 7 ／ 4	小破片	カマド出土、墨書あり
223図7	甲斐型	坏	12.0			1	5 YR 5 ／ 6	小破片	正位「真」?墨書あり
223図8	甲斐型	坏			4.0	1	5 YR 6 ／ 6	小破片	逆位「真」墨書あり
223図9	甲斐型	坏	17.0			8	5 YR 6 ／ 6	小破片	逆位「真」墨書あり、内面黒色処理
224図1	甲斐型	坏	12.8	4.3	4.7	1	5 YR 6 ／ 6	2 ／ 3	覆土から破片で出土、逆位「仁」刻書あり
224図2	甲斐型	坏	16.0			8	5 YR 6 ／ 8	小破片	逆位「真」刻書あり
224図3	甲斐型	坏	12.4	4.1	4.6	8	7.5YR 7 ／ 6	1 ／ 4	カマド出土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
224図4	甲斐型	坏	15.4	5.0	5.2	1	7.5YR６／６	２／３	カマド出土
224図5	甲斐型	坏			5.4	8	５YR６／６	小破片	床面下で出土、逆位「奉」?墨書あり
224図6	甲斐型	坏	15.0			2	５YR６／６	小破片	
224図7	甲斐型	坏	16.0			8	５YR７／６	小破片	内面黒色処理、放射状暗文、横方向のミガキ、体下半部回転ヘラケズリ
224図8	甲斐型	坏			5.0	8	7.5YR７／６	小破片	カマド出土
224図9	甲斐型	坏	16.0			8	５YR６／６	小破片	内面黒色処理
224図10	甲斐型	坏			5.0	8	５YR６／６	小破片	
224図11	甲斐型	坏			6.0	2	7.5YR７／６	小破片	カマド出土
224図12	甲斐型	皿	14.0			2	7.5YR７／６	小破片	
224図13	甲斐型	皿	12.6	1.4	5.0	2	５YR６／６	小破片	PT815出土
224図14	甲斐型	皿	13.0			2	５YR６／６	小破片	
225図1	甲斐型	皿	13.0	2.5	3.0	1	５YR６／６	１／２	PT698、PT814で出土、「山」?墨書あり
225図2	甲斐型	皿	13.2	2.7	5.2	8	５YR６／６	ほぼ完形	住居北東角付近、床面から５㎝高で出土、正位「梶」墨書あり
225図3	甲斐型	皿	12.8	2.4	3.6	1	５YR６／６	１／３	覆土から破片で出土、逆位「仁」墨書あり
225図4	甲斐型	甕	15.8				2.5YR５／６	小破片	床面下で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図5	甲斐型	甕	12.4				５YR５／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図6	甲斐型	甕	17.0				５YR５／４	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図7	甲斐型	甕	13.2				10YR６／４	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図8	甲斐型	甕	31.0				7.5YR５／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図9	甲斐型	甕	28.8				2.5YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図10	甲斐型	甕	28.0				５YR４／４	小破片	PT815出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
225図11	土師器	坏	12.8	4.0	5.6	88	2.5YR６／６	１／２	PT812出土、内面黒色処理、ミガキ
225図12	土師器	坏	13.8			88	7.5YR６／６	小破片	PT812、PT814出土、逆位「真」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
225図13	土師器	坏	14.0			88	５YR７／６	小破片	PT812出土、内面黒色処理、ミガキ
225図14	土師器	角坏					Ｎ２／０	小破片	覆土出土、角坏の角部破片
225図15	甲斐型	羽釜					５YR６／６	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
226図1	甲斐型	坏				1	５YR７／６	小破片	口縁部破片、墨書あり
226図2	甲斐型	坏				1	５YR６／６	小破片	口縁部破片、墨書あり
226図3	甲斐型	坏				1	５YR６／６	小破片	口縁部破片、逆位「真」墨書あり
226図4	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	PT814出土、口縁部破片、墨書あり
226図5	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	カマド出土、底部から胴部の破片、墨書あり
226図6	甲斐型	坏				6	7.5YR７／６	小破片	カマド出土、胴部破片、逆位「女」墨書あり、明野村下大内遺跡２号住居で「女」墨書例あり
226図7	甲斐型	坏				8	５YR７／６	小破片	カマド出土、胴部破片、逆位「真」?墨書あり
226図8	甲斐型	坏				1	５YR７／６	小破片	胴部破片、墨書あり
226図9	甲斐型	皿				8	５YR６／６	小破片	胴部破片、逆位「真」墨書あり
226図10	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	胴部破片、逆位「真」墨書あり
226図11	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	胴部破片、墨書あり
226図12	甲斐型	坏				8	10YR７／４	小破片	胴部破片、逆位「真」?墨書あり、内面黒色処理
226図13	甲斐型	坏				8	7.5YR７／６	小破片	胴部破片、墨書あり
226図14	甲斐型	坏				8	５YR５／６	小破片	胴部破片、墨書「女」?あり
226図15	甲斐型	坏				1	５YR６／６	小破片	口縁部破片、「女」?「真」?刻書あり
226図16	甲斐型	坏				8	7.5YR６／６	小破片	口縁部破片、刻書あり
226図17	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	床面下で出土、口縁部破片、刻書あり
226図18	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	胴部破片、刻書あり
226図19	須恵器	壺・甕			16.0		５Ｙ４／１	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、器面色調7.5YR５／２
226図20	須恵器	壺・甕					2.5Y５／１	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
226図21	須恵器	壺・甕					５Ｙ５／２	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
226図22	須恵器	壺・甕					2.5Y５／２	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
226図23	灰釉陶器	椀	18.2	6.2	7.9		2.5Y８／２	１／４	DK160出土、釉調５Ｙ６／２、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
227図1	甲斐型	坏	14.4	4.8	5.0	1	５YR６／８	１／４	覆土出土
227図2	土師器	坏	12.4	3.8	5.4	88	５YR５／６	１／２	DK125覆土上層で出土、内面黒色処理?、ミガキ、二次被熱痕あり
227図3	土師器	坏	15.0	4.2	7.2	88	10YR７／３	小破片	内面黒色処理、ミガキ
227図4	土師器	坏				88	10YR７／４	小破片	胴部破片、墨書あり、内面黒色処理、ミガキ

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
227図５	甲斐型	坏				8	５YR６／６	小破片	胴部破片、墨書「長」?あり
227図６	甲斐型	甕	29.8				５YR３／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
228図１	甲斐型	坏	12.6	3.7	5.0	8	10YR７／４	小破片	
228図２	甲斐型	皿	14.2			1	５YR６／６	小破片	
228図３	甲斐型	皿	13.2			8	10YR６／８	小破片	
228図４	甲斐型					8	５YR５／６	小破片	胴部破片、逆位「梶」?墨書あり
228図５	甲斐型					8	５YR５／６	小破片	口縁部破片、墨書あり
228図６	甲斐型	坏				1	５YR５／６	小破片	口縁部破片、墨書あり
228図７	甲斐型	甕	28.8				2.5YR４／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
228図８	甲斐型	甕	30.4				7.5YR６／４	小破片	カマド出土、微小な鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
232図１	甲斐型	甕			11.0		５YR３／３	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
232図２	甲斐型	皿	13.0			8	7.5YR６／６	小破片	
232図３	甲斐型					1	５YR５／６	小破片	胴部破片、墨書?あり
232図４	土師器	坏	14.0	4.7	5.4	88	7.5YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
232図６	甲斐型	坏	11.8			5	7.5YR６／４	小破片	
232図７	甲斐型	皿	12.0	2.1	4.4	8	５YR６／６	小破片	カマド出土
232図８	甲斐型	皿	13.0	2.1	4.0	8	５YR６／６	１／４	
232図９	甲斐型					8	５YR６／８	小破片	DK197出土、胴部破片、墨書あり
232図10	甲斐型					8	５YR５／６	小破片	DK197出土、胴部破片、墨書あり
233図１	甲斐型	皿	12.2	2.0	4.4	8	7.5YR６／６	２／３	カマド出土、ほぼ全周にわたり口縁部が打ち欠かれている。
233図２	土師器	坏			7.6	88	10YR６／４	小破片	カマド出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
233図３	土師器				6.6	88	7.5YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
233図４	土師器	坏	15.6			88	7.5YR６／６	小破片	内面黒色処理、ミガキ
233図５	甲斐型	甕	28.0				7.5YR６／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
233図６	甲斐型	甕	28.8				５YR５／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
233図７	甲斐型	甕	30.8				５YR６／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
233図８	甲斐型	甕			11.2		５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
233図９	灰釉陶器	皿	17.6				10YR７／１	小破片	DK166出土、釉調2.5Y７／２、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
235図１	甲斐型	坏			5.6	8	５YR６／８	小破片	DK170出土
235図２	土師器	坏	14.0	3.9	6.0	88	10YR６／６	小破片	DK170出土、底部破片、底部外面に線刻あり、内面黒色処理、ミガキ
235図３	甲斐型	皿				1	５YR６／８	１／３	カマド北西の床面で出土
235図４	甲斐型	甕	30.0				５YR５／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
235図５	甲斐型	甕	23.2				10YR５／４	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
235図６	甲斐型	甕	30.4				５YR５／３	小破片	DK170出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
235図７	甲斐型	羽釜	22.4				５YR５／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
235図８	甲斐型	羽釜	30.6				５YR６／６	小破片	DK170出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
235図９	甲斐型	坏				1	7.5YR７／６	小破片	DK170出土、底部破片、底部外面に線刻あり
235図10	甲斐型					8	５YR６／６	小破片	胴部破片、墨書あり
235図12	土師器	坏	13.4			88	５YR５／８	小破片	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
235図13	甲斐型	坏			9.8	2	５YR６／６	小破片	
236図１	甲斐型	坏	11.6	3.7	4.8	1	５YR６／８	１／３	PT838出土、器面風化が激しい
236図２	甲斐型	坏	13.6	4.0	4.2	1	５YR６／６	１／２	DK209出土、器面風化が激しい
236図３	甲斐型	皿	12.8	2.0	6.0	1	５YR６／８	１／３	PT799出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、器面風化が激しい
236図４	土師器	皿	13.4	2.6	5.6	88	５YR７／６	１／４	PT838北側の床面上で出土、内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり、器面風化が激しい
239図１	甲斐型	皿	12.6	2.3	4.9	8	５YR５／６	ほぼ完形	カマド北西、床面３㎝高で、土師器坏と並んで出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、みこみに渦巻き状のナデ痕あり
239図２	甲斐型	皿	13.0	2.3	3.3	8	５YR６／６	ほぼ完形	カマド出土、体下半部と底部回転ヘラケズリ、細片に砕けている、二次被熱痕あり
239図３	土師器	坏	11.8	4.0	5.4	88	10YR８／４	完形	カマド北西、床面５㎝高で、甲斐型皿と並んで出土、内面黒色処理、ミガキ、灯明器として使用した煤付着あり
240図１	甲斐型	坏	15.2	5.2	5.6	8	2.5YR６／８	小破片	覆土出土、内面黒色処理、放射状暗文、らせん状暗文
240図２	甲斐型	甕	31.6				５YR４／８	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
240図３	甲斐型	甕	30.0				2.5YR４／８	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
240図４	甲斐型	甕			7.5		2.5YR４／８	小破片	DK182北側床面で出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
240図５	甲斐型	甕			9.0		10YR４／８	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
240図６	土師器	坏	13.4	4.6	5.4	88	7.5YR７／６	２／３	DK182で出土、内面黒色処理、ミガキ、器面の風化が激しい

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
240図７	土師器	坏	12.6	4.1	5.6	88	10YR８／４	２／３	DK182で出土、内面黒色処理、ミガキ、器面の風化が激しい
240図８	土師器	坏	13.6	5.3	5.6	88	10YR８／３	１／４	DK182北側床面とDK182内で出土、内面黒色処理、ミガキ、器面の風化が激しい
240図９	土師器	坏	1.6	3.8	4.8	88	10YR８／４	１／３	DK182で出土、内面黒色処理、ミガキ、器面の風化が激しい
240図10	土師器	皿	13.2	2.8	6.7	88	10YR８／４	ほぼ完形	住居南東角、DK182上面で出土、内面黒色処理、ミガキ
241図１	土師器	甕	12.8				7.5YR７／４	小破片	DK209出土、器面風化が激しい、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土、241図２と同一個体か
241図２	土師器	甕	14.6				7.5YR６／４	小破片	DK209出土、器面風化が激しい、鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
241図３	灰釉陶器	壺・甕					7.5YR７／４	小破片	南壁沿い、DK182西側床面で出土、釉調7.5YR５／２と10YR７／２、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
241図４	須恵器	壺・甕					５YR５／２	小破片	カマド出土、　微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
241図５	須恵器	壺					10YR６／２	小破片	北壁沿いで出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
241図６	土製品	羽口					５YR４／８	小破片	覆土出土、鉱物粒子が僅かに混じるやや細粒の胎土、被熱し赤変している
244図１	甲斐型	坏	15.4	5.1	5.6	8	５YR６／６	２／３	住居中央床面とカマドで出土、正位墨書あり
244図２	甲斐型	坏	11.4	4.2	4.2	8	５YR６／６	ほぼ完形	DK186、PT777出土、正位墨書あり
244図３	甲斐型	坏	12.0			8	５YR６／６	１／４	カマド出土
244図４	甲斐型	皿	12.8	2.3	4.7	8	５YR６／６	ほぼ完形	PT738出土、２枚重ねられた皿のうち上方の皿、正位墨書あり
244図５	甲斐型	皿	12.4	2.7	4.3	8	５YR６／６	１／４	
244図６	甲斐型	皿	13.0	2.3	4.0	8	５YR６／６	ほぼ完形	PT738出土、２枚重ねられた皿のうち下方の皿、正位墨書あり
244図７	甲斐型	皿	14.0	2.1	7.0	8	５YR５／６	小破片	
244図８	甲斐型	甕	30.0				2.5YR５／６	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
244図９	甲斐型	甕	30.6				５YR４／６	小破片	カマド、DK180出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
244図10	土師器	坏				88	10YR８／２	小破片	口縁部破片、内面黒色処理、ミガキ、「国」?墨書あり
244図11	土師器					88	7.5YR８／４	小破片	胴部破片、内面黒色処理、ミガキ、墨書あり
244図12	土師器	坏				88	10YR８／３	小破片	口縁部破片、内面黒色処理、ミガキ、墨書あり
244図13	土師器	皿				88	10YR７／３	小破片	口縁部破片、内面黒色処理、ミガキ、墨書あり
244図14	甲斐型	坏				2	５YR７／６	小破片	胴部破片、墨書あり
244図15	土師器	坏	16.0			88	10YR７／６	小破片	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
244図16	土師器				7.4	88	10YR７／４	小破片	内面黒色処理、ミガキ
245図１	土師器	坏	15.2	4.9	5.6	88	10YR６／３	２／３	DK180出土、内面黒色処理、ミガキ
245図２	土師器	坏	13.6	4.3	5.1	88	7.5YR６／６	ほぼ完形	住居南西角の床面で出土、内面黒色処理、ミガキ、器面風化が激しい
245図３	土師器	坏	12.2	3.7	5.0	88	５YR７／６	２／３	DK180出土、内面黒色処理、ミガキ
245図４	土師器	坏			7.6	88	10YR８／３	小破片	内面黒色処理、ミガキ、逆位「田」墨書あり
245図５	須恵器	壺・甕					５Y６／２	小破片	DK189出土、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
245図６	須恵器	壺・甕					7.5Y６／１	小破片	鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
245図７	須恵器	壺・甕					10YR８／３	小破片	DK180出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
245図８	須恵器	壺・甕					7.5Y６／１	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
248図１	甲斐型	坏	11.8	4.2	4.2	8	2.5YR５／６	ほぼ完形	カマドとPT824の間の床面で出土、内面放射状暗文、灯明器として使用した煤痕あり
248図２	甲斐型	坏	12.0	4.3	4.0	2	7.5YR７／６	ほぼ完形	カマド、PT794、PT757で出土
248図３	甲斐型	坏	11.8			1	５YR５／６	小破片	DK183出土
249図１	甲斐型	坏	12.4	4.4	4.0	8	2.5YR５／６	ほぼ完形	カマド北西側、PT797北東側の床面で伏せた状態で出土、正位「政」、逆位「矢」墨書、逆位「矢」刻書あり、「矢」の墨書と刻書は重ね書きされている。先に墨書してから重ねて刻書している。
249図２	甲斐型	坏	14.0			1	５YR６／６	小破片	PT794出土、器面風化が激しい
249図３	甲斐型	皿	13.6			2	５YR６／６	小破片	体下半部回転ヘラケズリ、墨書あり
249図４	甲斐型	坏	11.8			8	５YR６／６	小破片	正位「源」墨書あり
249図５	甲斐型	坏	16.0			1	５YR４／３	１／４	PT758出土、正位「乙」墨書あり、体下半部回転ヘラケズリ、内面黒色処理、放射状暗文、らせん状暗文
249図６	甲斐型	坏	12.0			1	５YR５／６	小破片	逆位「矢」?墨書あり
249図７	甲斐型					1	５YR５／６	小破片	口縁部破片、墨書あり
249図８	甲斐型					1	５YR６／６	小破片	口縁部破片、逆位「矢」?墨書あり
249図９	甲斐型					8	５YR５／６	小破片	胴部破片、墨書あり
249図10	甲斐型					1	５YR６／６	小破片	胴部破片、墨書あり
249図11	甲斐型					8	５YR６／６	小破片	胴部破片、墨書あり
249図12	甲斐型					8	５YR５／６	小破片	胴部破片、墨書あり
249図13	甲斐型	坏				8	7.5YR６／６	小破片	胴部破片、内面黒色処理、墨書あり
249図14	甲斐型					1	５YR６／６	小破片	胴部破片、刻書あり
249図15	甲斐型	甕	19.2				５YR４／６	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土

図版番号	種　別	器　種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	胎土分類	胎土色調	残存度	特徴、胎土質、釉調、出土位置（特に記述のない場合は遺構覆土より出土している）
249図16	甲斐型	甕	28.6				5YR3／4	小破片	カマド、PT824出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
249図17	甲斐型	甕	31.6				7.5YR4／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
249図18	甲斐型	甕			9.2		5YR3／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
250図1	土師器	坏	13.6			88	5YR6／6	小破片	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
250図2	土師器	坏	14.0			88	7.5YR5／4	小破片	内面ミガキ
250図3	土師器	坏	14.2			88	7.5YR8／4	小破片	正位「田」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
250図4	土師器	坏			4.8	88	10YR7／6	小破片	内面黒色処理、ミガキ、二次被熱痕あり
250図5	須恵器	壺・甕					2.5YR6／2	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、内面に使用痕はみられない
250図6	須恵器	壺			13.6		7.5Y6／1	1／2	胴上半部と底部が南壁沿い、カマド、PT794、PT797で出土、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、器面色調7.5YR4／4
250図7	須恵器	壺・甕			10.0		10YR5／1	小破片	微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土
250図8	須恵器	坏			5.6		7.5YR5／1	小破片	微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
250図9	灰釉陶器				7.6		2.5Y7／3	小破片	釉調5Y8／2、微小な鉱物粒子が混じる細粒の胎土、みこみが磨耗し平滑
252図1	甲斐型	坏	15.2	5.0	6.0	8	5YR5／6	1／2	住居南東角の床面で出土
252図2	甲斐型	甕	30.4				2.5Y3／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
252図3	土師器	甕	16.0				5YR7／8	小破片	カマド出土、微小な鉱物粒子が混じるやや細粒の胎土
252図4	甲斐型	甕	30.6				7.5YR4／4	小破片	カマド出土、鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
256図1	甲斐型	坏	12.0	4.0	4.4	8	5YR5／6	2／3	55号土坑底面から10cm高で出土、横位「乙」墨書あり、砥石とともに出土
257図1	甲斐型	坏	15.0			4	7.5YR5／3	小破片	62号土坑覆土で出土、内面黒色処理
257図2	甲斐型	皿	12.6			8	2.5YR5／6	小破片	63号土坑覆土で出土
257図3	甲斐型	甕	28.0				5YR3／4	小破片	63号土坑覆土で出土
257図5	土師器	坏	12.4	4.0	5.0	88	5YR4／6	2／3	63号土坑覆土上層で出土、逆位「源」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ、割れ面はやや摩滅する
258図1	甲斐型	坏	13.2			8	5YR6／6	小破片	74号土坑覆土上層で出土
258図2	甲斐型	坏	11.8	3.4	5.1	5	5YR5／6	2／3	74号土坑覆土上層で出土、割れ面はやや摩滅する
258図3	土師器	皿	13.2	3.2	6.6	88	7.5YR6／8	1／2	74号土坑覆土上層で出土、横位「ス」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
258図4	土師器	坏	13.0	3.9	5.4	88	7.5YR5／6	1／2	74号土坑覆土上層で出土、逆位「ス」墨書あり、内面黒色処理、ミガキ、割れ面はわずかに摩滅する
258図5	土師器	皿	13.7			88	7.5YR5／6	小破片	74号土坑覆土上層で出土、横位「ス」?墨書あり、内面黒色処理、ミガキ
258図6	甲斐型	坏				8	5YR5／6	小破片	74号土坑覆土で出土、口縁部破片、正位墨書あり
258図7	甲斐型	坏				8	5YR5／6	小破片	74号土坑覆土で出土、体下半部から底部破片、墨書あり
258図8	甲斐型					8	5YR5／6	小破片	74号土坑覆土で出土、体下半部破片、墨書あり
259図9	甲斐型	坏	18.0			1	7.5YR7／4	小破片	74号土坑覆土上層で出土、内面黒色処理
259図10	甲斐型	甕	34.0				5YR4／4	小破片	74号土坑覆土上層で出土
259図11	須恵器	壺	17.0				10YR5／2	小破片	74号土坑覆土上層で出土、微小な鉱物粒子が混じるやや粗粒の胎土
259図12	灰釉陶器	壺	13.8				7.5Y7／1	小破片	74号土坑覆土上層で出土、釉調7.5Y6／2、緻密な胎土
260図2	甲斐型	坏	18.0			1	7.5YR6／6	小破片	79号土坑覆土で出土
260図3	甲斐型	坏	13.2			8	5YR4／6	小破片	85号土坑覆土で出土
260図4	甲斐型	坏	12.1			8	2.5YR4／6	小破片	85号土坑覆土で出土、内面黒色処理、ミガキ
260図5	甲斐型	坏	14.0			6	7.5YR6／6	小破片	126号土坑覆土で出土、線刻あり
260図6	灰釉陶器				7.0		2.5Y7／1	小破片	128号土坑覆土で出土、釉調2.5Y8／3、緻密な胎土
260図7	甲斐型	坏	13.6	4.5	5.4	6	7.5YR7／6	1／2	64号土坑覆土で出土、内面黒色処理
261図2	縄文	深鉢						小破片	10号掘立柱建物、縄文時代中期末の土器口縁部破片
261図3	甲斐型	坏	16.0			8	5YR6／6	小破片	11号掘立柱建物、内面黒色処理、放射状暗文
261図4	甲斐型	坏	12.3			8	2.5YR6／8	小破片	9号掘立柱建物
261図5	甲斐型	皿	12.6	2.8	4.1	8	5YR5／6	1／4	体下半部と底部回転ヘラケズリ、線刻あり
261図6	土師器	坏	12.0			88	7.5YR6／6	小破片	逆位「仁」刻書あり、内面黒色処理、ミガキ
261図7	甲斐型	甕	15.0				5YR3／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じる粗粒の胎土
261図8	甲斐型	坏	14.0			2	2.5YR5／6	小破片	
261図9	甲斐型	坏	14.4			1	5YR5／4	小破片	17号掘立柱建物?
261図10	甲斐型	皿				8	2.5YR5／6	小破片	15号掘立柱建物?、体下半部から底部破片、逆位「真」?墨書あり、底部手持ちヘラケズリ
261図11	甲斐型	坏				8	5YR4／6	小破片	遺跡一括出土、胴部破片、逆位「麻呂」か「麿」墨書あり
261図12	甲斐型	皿				6	7.5YR6／6	小破片	遺跡一括出土、口縁部破片、線刻あり

第６表　金属製品一覧（現存値）　※羽釜の口径のみ推定値

図版番号	出土遺構	種　別	長（cm）	幅（cm）	厚（cm）	材質	重量(g)	特徴、出土位置など
10図３	１号住居	穂摘具	(5.5)	2.3	0.2	鉄	11	左端及び釘欠損
18図17	３号住居	不明	(4.8)	0.4	0.4	鉄	3	紡錘車の紡軸か
18図18	３号住居	刀子	(4.6)	0.8	0.3	鉄	2	両関型　刃部欠損
34図13	９号住居	角釘	8.3	0.4	0.4	鉄	6	角釘
37図９	13号住居	か帯留め具	2.9	2.0	0.1	銅	3	表面に面取り　周溝底面直上より出土
46図８	16号住居	刀子	8.2	1.0	0.3	鉄	5	刃部欠損　両関型
57図８	19号住居	鉄滓					43	
71図10	22号住居	鉄滓					310	
83図８	26号住居	釘?	(12.5)	0.6	0.4	鉄	17	角釘か
98図10	31号住居	紡錘具	10.9	紡輪径　4.8	紡軸　0.6 紡輪　0.3	鉄	28	紡軸下端欠損
98図11	31号住居	鉄鏃	11.0	(3.2)	0.4	鉄	12	根部長3.9　厚0.2　長三角形式
104図８	37号住居	鉄滓					7	
110図５	41号住居	鉄滓	4.3	3.8	2.1	鉄	10	
110図６	41号住居	鉄滓					138	
135図17	53号住居	刀子	16.5	1.6	0.3	鉄	16	両関型　茎部に木質付着　床直より出土
137図４	55号住居	刀子	5.8	0.8	0.2	鉄	3	両関型　PT103より出土
137図10	55号住居	刀子	(7.7)	1.9	0.5	鉄	6	刃部欠損　両関型　カマド内より出土
137図11	55号住居	鉄鏃	9.3	2.4	0.4	鉄	16	根部長4.2　厚0.3　長三角形式　カマド内より出土
148図４	59号住居	鉄滓					128	
152図２	60号住居	鉄鏃	8.8	0.8	0.4	鉄	5	根部厚0.1　鏨箭式　カマドより出土
154図１	61号住居	鉄滓					34	
158図９	62号住居	不明	(2.8)	1.3	0.3	鉄	4	床直より出土
165図７	63号住居	羽釜	口径(30.0)	器高　3.5	0.2	鉄	31	口縁部
165図10	63号住居	鉄滓					108	
172図７	65号住居	刀子	(17.2)	1.4	0.3	鉄	12	刃部は研ぎ減りか　片関型
190図12	73号住居	紡錘具	(21.0)	紡輪径　6.0	紡軸　0.5 紡輪　0.3	鉄	50	紡軸上端欠損
196図10	74号住居	不明	(5.2)	1.7	0.1未満	鉄	3	手鎌か
196図12	74号住居	刀子	(8.8)	2.5	0.2	鉄	13	両関型
196図13	74号住居	不明	8.3	0.6	0.4	鉄	6	紡錘車の紡軸か
196図14	74号住居	不明	8.0	0.5	0.4	鉄	6	紡錘車の紡軸か　床下より出土
202図９	76号住居	銭貨	外径　2.5	穿径　0.7	厚さ　0.2	銅	1	「隆平永宝」初鋳年代769年　住居北東角周溝より出土
206図６	77号住居	紡錘具	29.7	紡輪径　5.5	紡軸　0.5 紡輪　0.3	鉄	47	床直出土
206図７	77号住居	釘	(5.5)	0.4	0.4	鉄	3	角釘
206図８	77号住居	鉗子?	(9.5)	2.2	0.3	鉄	4	木質付着
206図９	77号住居	刀子	9.3	1.4	0.2	鉄	7	茎部欠損　片関型
206図10	77号住居	穂摘具	8.4	1.8	0.2	鉄	12	釘の長さ2.5　釘に木質付着
212図８	80号住居	鍬	7.3	2.1	0.9	鉄	29	刃部厚0.3　穿孔は後施　刃は研出無し
226図24	85号住居	鉄滓					114	
226図25	85号住居	鉄滓					69	
241図７	92号住居	鉄滓					4	
241図８	92号住居	不明	7.2	0.9	0.4	鉄	7	刀子未製品もしくは鏨箭式鉄鏃　カマド袖より出土
241図９	92号住居	刀子	8.0	1.4	0.3	鉄	7	刃部及茎部欠損　両関型
245図９	93号住居	不明	3.3	4.9	0.2	鉄	10	
245図10	93号住居	鉄滓					68	
259図14	74号土坑	焼印	20.3	2.9	0.5	鉄	37	木質付着　覆土中より出土
259図15	74号土坑	鉄滓					16	
259図16	74号土坑	鉄滓					108	
259図17	74号土坑	鉄滓					162	
260図１	74号土坑	鉄滓					51	

第７表　石器一覧

図版番号	遺構番号		種別	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	石質	重量(g)	特徴、出土位置など
18図19	3	号住居	火打石	5.4	3.7	1.7	白色石英	50	一部稜線に潰れ　PH３北東角付近馬歯骨とともに出土
22図19	4	号住居	砥石	3.9	1.6	1.7	ホルンフェルス	13	両面使用　PH４覆土中より出土
46図７	16	号住居	砥石	(4.4)	2.4	0.8	凝灰質流紋岩	17	両面使用　PH16覆土中より出土
57図７	19	号住居	磨石	18.2	7.8	5.5	安山岩	1025	右側縁に線状痕あり　PH19北西角石組内より出土
74図19	23a	号住居	火打石	3.3	1.9	1.7	水晶	10	一部稜線に潰れ　PH23a覆土中より出土
102図13	36	号住居	石球	3.9	3.6	2.7	安山岩	49	表裏両面に磨面　PH36覆土中より出土
104図７	37	号住居	多孔石	21.7	17.9	7.1	砂岩	3120	PH37カマド右脇床直より出土
111図12	42	号住居	磨石	7.5	6.4	5.9	安山岩	411	一部側面を除き磨面　PH42床直より出土
120図７	48	号住居	凹石	9.3	7.8	4.0	安山岩	446	PH48床下より出土
128図７	49	号住居	磨石	(9.2)	(6.4)	(4.7)	安山岩	449	左側縁に敲打痕　PH49内　PT612より出土
129図１	49	号住居	砥石	(10.9)	(5.9)	(4.7)	凝灰質流紋岩	300	両面使用　PH49内 DK22覆土中より出土
129図２	49	号住居	敲石	(7.9)	(4.6)	3.8	砂岩	116	全面被熱の後に下端欠損　PH49内 DK139覆土中より出土
139図１	56	号住居	砥石	(9.8)	4.7	1.3	凝灰質流紋岩	77	上端欠損、下端側面に線状痕　PH56北西角、床直より出土
144図７	57	号住居	砥石	9.2	9.1	6.8	アプライト	340	ほぼ全面に砥痕　PH57内 PT606覆土中より出土
144図８	57	号住居	石球	3.8	2.3	2.1	頁岩	29	ほぼ全面に磨面　PH57覆土中より出土
148図３	59	号住居	石球	4.9	3.8	2.5	安山岩	54	左側縁を除き磨面　PH59覆土中より出土
153図８	60	号住居	砥石	18.8	9.5	4.7	白色硬質砂岩	864	裏面に線状痕あり　PH60内 DK72覆土中より出土
158図10	62	号住居	火打石	4.6	2.5	1.2	白色石英	7	一部稜線に潰れ　PH62覆土中より出土
165図８	63	号住居	磨石	18.8	8.6	6.8	安山岩	1480	全面に被熱　PH63内　PT281より出土
165図９	63	号住居	礫	13.8	6.6	5.5	珪岩	660	一部に磨耗痕があるほか使用痕は認められず　PH63内 PT285覆土中より出土
170図５	64	号住居	凹石	10.4	7.3	3.3	安山岩	365	表裏両面に凹み　PH64カマド正面床直より出土
170図６	64	号住居	凹石	7.9	9.5	7.0	安山岩	655	全面に被熱、PH64カマド脇　床上約10cmより出土
172図６	65	号住居	砥石	15.5	4.1	6.6	アプライト	330	表裏両面及び左右両側面に砥痕　PH65覆土中より出土
190図13	73	号住居	磨石	9.8	6.0	3.9	安山岩	338	裏面に磨面、右側縁と下縁に敲打痕　PH73内 PT531より出土
232図５	88	号住居	多孔石	23.1	16.9	9.9	安山岩	3080	PH88 カマド袖石として転用
235図11	90	号住居	石球	3.7	3.4	1.6	安山岩	22	風化著しい　PH90内 DK170覆土中より出土
241図10	92	号住居	打製石斧	13.8	6.7	2.3	粘板岩	222	刃部及び基部に摩耗　PH92カマド覆土中より出土
241図11	92	号住居	打製石斧	(7.3)	4.8	1.2	頁岩	38	刃部欠損　PH92カマド覆土中より出土
250図10	94	号住居	砥石	(4..3)	(3.2)	1.1	凝灰質流紋岩	14	下端及び右側縁欠損　PH94覆土中より出土
256図２	55	号土坑	砥石	(6.5)	4.5	1.9	凝灰質流紋岩	67	表裏両面及び右側面に砥痕　DK55底面より出土
256図３	61	号土坑	打製石斧	(9.0)	7.7	1.6	頁岩	134	刃部摩耗　DK61覆土中より出土
257図４	63	号土坑	磨石	7.5	4.1	6.1	安山岩	252	表面い磨面　DK63覆土中より出土
259図13	74	号土坑	磨石	16.3	5.1	6.9	変成岩	880	表面及び下面に磨痕　DK74覆土中より出土
261図１	82	号ピット	凹石	9.0	6.1	3.9	安山岩	336	表裏両面に磨面、凹みは浅い　PT82覆土中より出土
261図13	411	号ピット	磨石	7.4	6.4	5.2	安山岩	372	表面に磨面　PT411覆土中より出土
261図14	54	号住居	砥石	(7.0)	2.5	3.4	凝灰質流紋岩	128	下端欠損　PH54（弥生時代の住居）覆土出土、平安時代の砥石と思われる

第８表　住居別土器出土量一覧

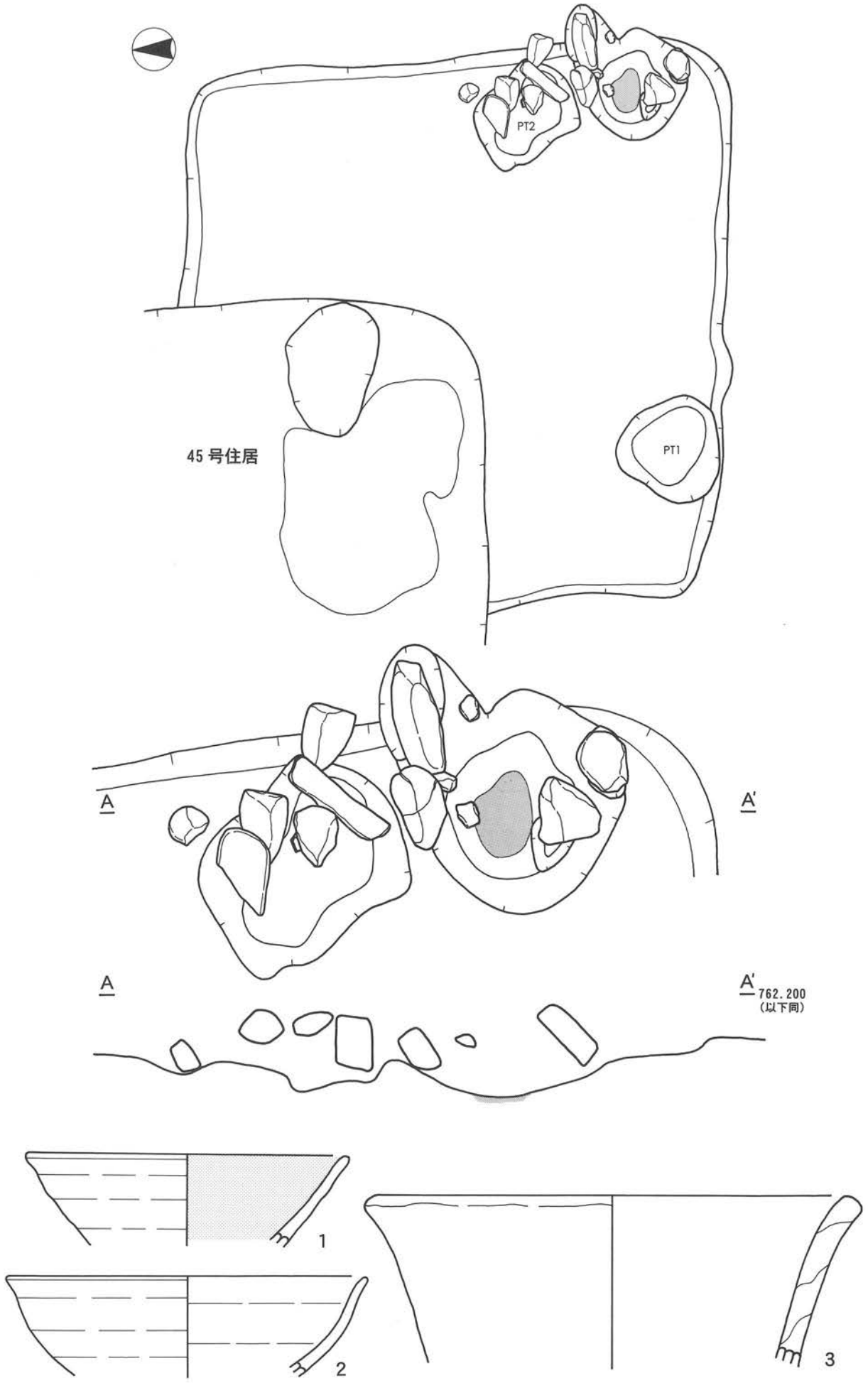
単位 — g

住居番号	区分	甲斐型坏・皿	大小久保型坏・皿	その他土師器坏・皿	甲斐型甕	ロクロ整形甕	その他土師器甕	須恵器	灰釉陶器	その他施釉陶器	備　　考
1	実測図あり	80	60	0	140	0	0	50	0	0	
	実測図なし	0	86	0	0	0	60	0	0	0	
	小計	80	146	0	140	0	60	50	0	0	
2	実測図あり	35	35	0	655	0	0	17	5	0	
	実測図なし	35	0	0	79	0	0	354	39	0	
	小計	70	35	0	734	0	0	371	44	0	
3	実測図あり	1,125	374	0	3,432	106	0	264	68	0	
	実測図なし	777	158	0	737	72	14*	234	189	0	※羽釜を含む
	小計	1,902	532	0	4,169	178	0	498	257	0	
4	実測図あり	605	169	0	1,525	28	0	142	30	0	
	実測図なし	527	274	0	550	0	274*	862	102	0	※羽釜を含む
	小計	1,132	443	0	2,075	28	0	1,004	132	0	
6	実測図あり	178	55	20	2,065	73	0	0	20	0	
	実測図なし	0	0	102	849	174*	0	229	39	0	※羽釜160gを含む、羽口—53gあり
	小計	178	55	122	2,914	73	0	229	59	0	
7	実測図あり	800	444	19	2,836	0	0	110	6	0	
	実測図なし	326	258	0	979	0	23	272	20	0	
	小計	1,126	702	19	3,815	0	23	382	26	0	
8	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	実測図あり	108	142	0	1,353	9	0	0	0	0	
	実測図なし	239	997	0	222	19	0	0	93	0	
	小計	347	1,139	0	1,575	28	0	0	93	0	
10	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	実測図あり	114	26	0	1,925	11	0	38	0	0	
	実測図なし	229	24	0	716	0	0	0	0	0	
	小計	343	50	0	2,641	11	0	38	0	0	
14	実測図あり	79	42	0	930	0	0	0	26	0	
	実測図なし	371	56	0	301	0	0	26	0	0	
	小計	450	98	0	1,231	0	0	26	26	0	
15	実測図あり	46	27	0	71	0	0	0	6	0	
	実測図なし	67	0	25	1,451	0	755*	0	0	0	※羽釜を含む
	小計	113	27	25	1,522	0	0	0	6	0	
16	実測図あり	220	44	0	112	96	0	5	16	0	
	実測図なし	298	0	0	5,984	0	68*	251	1,494	0	※羽釜を含む
	小計	518	44	0	6,096	96	0	256	1,510	0	
17	実測図あり	260	86	0	1,093	0	0	82	0	0	
	実測図なし	292	110	0	630	0	150*	0	0	0	※羽釜を含む
	小計	552	196	0	1,723	0	0	82	0	0	
18	実測図あり	302	550	0	2,340	27	0	78	59	0	
	実測図なし	240	403	0	592	0	0	0	0	0	
	小計	542	953	0	2,932	27	0	78	59	0	
19	実測図あり	86	154	0	1,085	0	0	0	5	0	
	実測図なし	183	182	0	1,403	0	0	118	0	0	
	小計	269	336	0	2,488	0	0	118	5	0	
20	実測図あり	196	56	0	978	0	0	0	0	0	
	実測図なし	251	150	0	29	0	0	228	0	0	
	小計	447	206	0	1,007	0	0	228	0	0	
21	実測図あり	1,125	126	0	3,117	22	0	176	49	0	
	実測図なし	1,707	182	0	568	0	0	0	155	0	
	小計	2,832	308	0	3,685	22	0	176	204	0	
22	実測図あり	438	153	0	2,160	0	0	9	5	0	
	実測図なし	326	17	0	1,627	0	140*	0	0	0	※羽釜を含む。他に緑釉陶器８g有り
	小計	764	170	0	3,787	0	0	9	5	0	
23	実測図あり	484	94	0	2,493	0	0	35	0	0	
	実測図なし	269	15	0	594	0	0	0	14	0	
	小計	753	109	0	3,087	0	0	35	14	0	
24	実測図あり	26	55	0	268	0	0	0	0	0	
	実測図なし	329	347	0	487	278	0	274	0	0	
	小計	355	402	0	755	278	0	274	0	0	
25	実測図あり	75	40	0	600	0	0	0	0	0	
	実測図なし	183	0	0	326	0	74	31	34	0	
	小計	258	40	0	926	0	74	31	34	0	
26	実測図あり	0	26	0	770	0	0	0	16	0	
	実測図なし	0	231	0	229	0	0	0	0	0	
	小計	0	257	0	999	0	0	0	16	0	

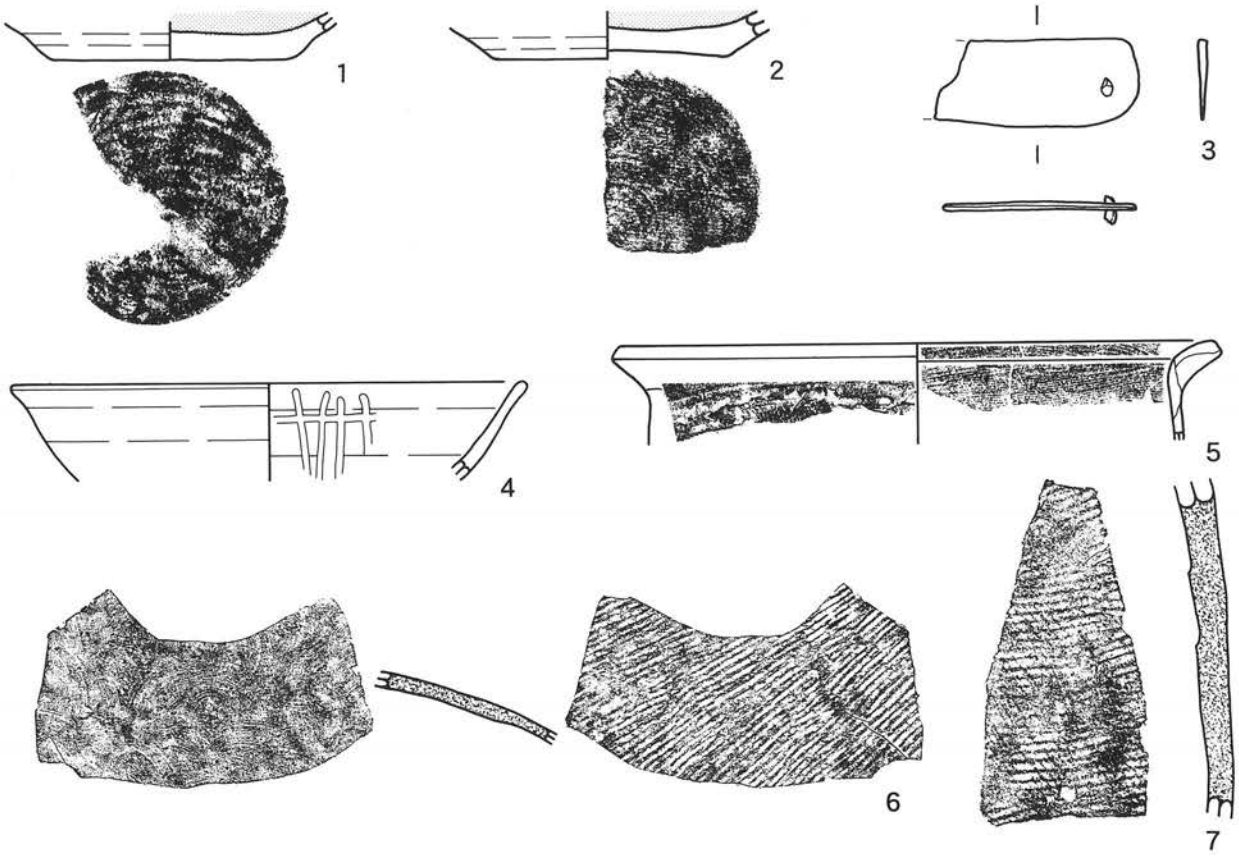
住居番号	区分	甲斐型坏・皿	大小久保型坏・皿	その他土師器坏・皿	甲斐型甕	ロクロ整形甕	その他土師器甕	須恵器	灰釉陶器	その他施釉陶器	備考
27	実測図あり	44	26	0	170	0	0	13	2	0	
	実測図なし	112	55	0	66	0	0	0	0	0	
	小計	156	81	0	236	0	0	13	2	0	
28	実測図あり	160	184	0	505	46	0	0	0	0	
	実測図なし	179	477	0	466	0	27	0	0	0	
	小計	339	661	0	971	46	27	0	0	0	
29	実測図あり	408	165	0	1,555	0	0	121	0	0	
	実測図なし	825	390	0	228	0	0	203	0	0	
	小計	1,233	555	0	1,783	0	0	324	0	0	
30	実測図あり	54	4	0	945	0	0	0	0	0	
	実測図なし	54	10	0	290	0	0	0	0	0	
	小計	108	14	0	1,235	0	0	0	0	0	
31	実測図あり	47	134	0	835	24	0	0	0	0	
	実測図なし	24	130	0	59	0	0	0	28	0	
	小計	71	264	0	894	24	0	0	28	0	
32	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
36	実測図あり	258	263	0	585	0	0	0	0	0	
	実測図なし	393	190	0	0	0	0	0	11	0	
	小計	651	453	0	585	0	0	0	11	0	
37	実測図あり	100	120	0	925	90	0	0	5	0	
	実測図なし	106	32	0	328	0	0	0	0	0	
	小計	206	152	0	1,253	90	0	0	5	0	
38	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
39	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40	実測図あり	216	104	0	1,911	0	0	18	4	0	
	実測図なし	128	255	0	43	0	0	136	0	0	
	小計	344	359	0	1,954	0	0	154	4	0	
41	実測図あり	94	27	0	158	0	0	13	0	0	
	実測図なし	36	13	0	172	7	0	5	0	0	
	小計	130	40	0	330	7	0	18	0	0	
42	実測図あり	15	74	0	923	47	0	43	0	0	
	実測図なし	47	147	0	454	0	0	90	0	0	
	小計	62	221	0	1,377	47	0	133	0	0	
43	実測図あり	70	5	0	405	0	0	0	0	0	
	実測図なし	42	0	0	267	0	0	0	0	0	
	小計	112	5	0	672	0	0	0	0	0	
44	実測図あり	50	31	0	1,127	2	0	0	0	0	
	実測図なし	7	12	0	165	0	0	538	89	0	
	小計	57	43	0	1,292	2	0	538	89	0	
45	実測図あり	2	6	0	79	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	3	0	215	0	0	261	0	0	
	小計	2	9	0	294	0	0	261	0	0	
46	実測図あり	6	0	0	688	0	0	0	0	0	
	実測図なし	123	0	0	447	0	0	0	0	0	
	小計	129	0	0	1,135	0	0	0	0	0	
47	実測図あり	40	66	0	496	0	0	0	0	0	
	実測図なし	82	125	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	122	191	0	496	0	0	0	0	0	
48	実測図あり	49	0	0	2,650	0	0	0	0	0	
	実測図なし	278	0	0	580	0	0	208	100	0	
	小計	327	0	0	3,230	0	0	208	100	0	
49	実測図あり	1,020	352	0	10,005	573	0	72	33	0	
	実測図なし	1,367	105	0	1,736	10	275*	880	20	0	※羽釜85gを含む
	小計	2,387	457	0	11,741	583	0	952	53	0	
50	実測図あり	25	9	0	30	0	0	0	0	0	
	実測図なし	12	0	0	50	0	0	0	0	0	
	小計	37	9	0	80	0	0	0	0	0	
51	実測図あり	110	84	0	362	4	0	0	0	0	ほかに弥生時代土器 22g有
	実測図なし	183	0	0	171	0	0	0	43	0	
	小計	293	84	0	533	4	0	0	43	0	
52	実測図あり	164	2	0	868	0	0	0	0	0	
	実測図なし	135	0	0	102	0	0	198	0	0	
	小計	299	2	0	970	0	0	198	0	0	
53	実測図あり	298	94	0	5,868	61	0	8	0	0	
	実測図なし	261	229	0	1,141	73	0	515	0	0	
	小計	559	323	0	7,009	134	0	523	0	0	
54	実測図あり	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	100	0	0	0	0	0	他に弥生時代土器10g有
	小計	1	0	0	100	0	0	0	0	0	

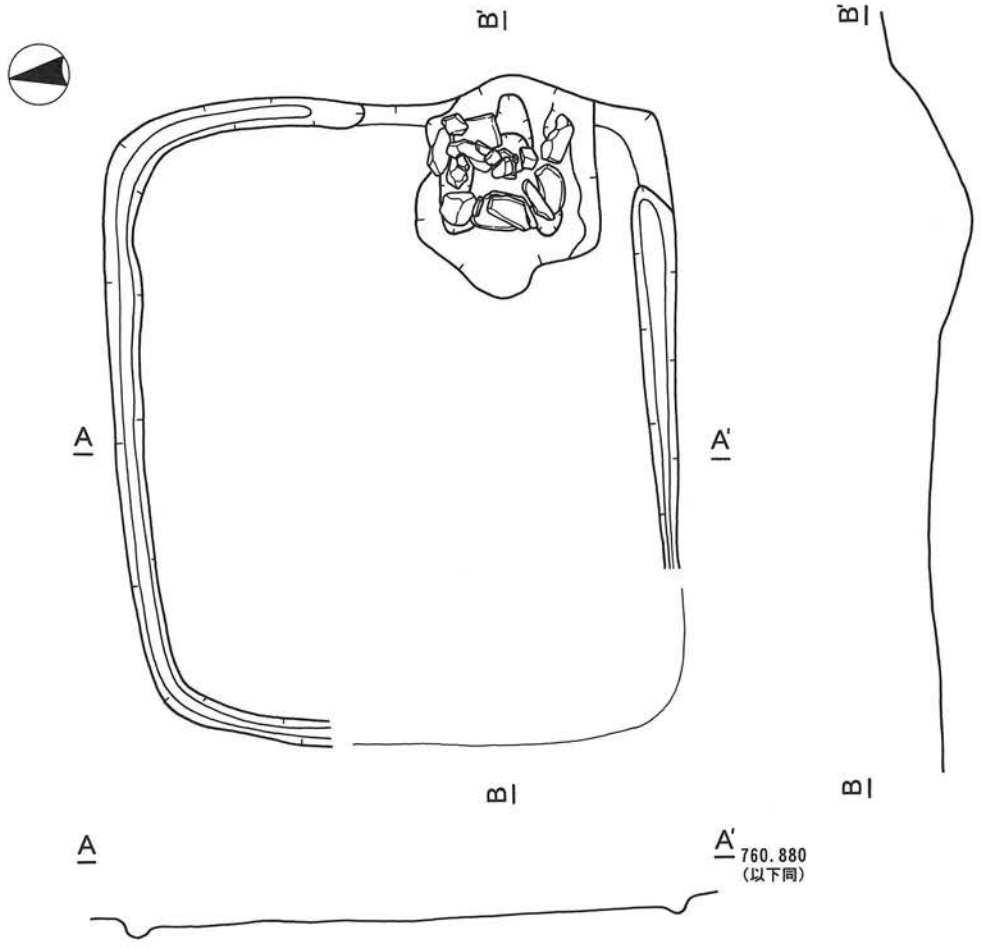
住居番号	区分	甲斐型坏・皿	大小久保型坏・皿	その他土師器坏・皿	甲斐型甕	ロクロ整形甕	その他土師器甕	須恵器	灰釉陶器	その他施釉陶器	備考
55	実測図あり	13	0	0	788	0	0	0	0	0	
	実測図なし	223	57	0	0	0	338*	0	0	0	※羽釜 302gを含む
	小計	236	57	0	788	0	0	0	0	0	
56	実測図あり	75	338	0	2,033	134	0	0	0	0	
	実測図なし	11	90	0	135	275	0	83	0	0	
	小計	86	428	0	2,168	409	0	83	0	0	弥生時代土器 25g有
57	実測図あり	230	182	0	978	0	288	5	0	0	
	実測図なし	40	17	0	1,140	0	45*	0	0	0	※羽釜を含む。他に古墳時代前期のS字口縁台付甕台部あり
	小計	270	199	0	2,118	0	288	5	0	0	
58	実測図あり	83	15	0	494	0	0	0	3	0	
	実測図なし	216	0	0	147	0	0	0	0	0	
	小計	299	15	0	641	0	0	0	3	0	
59	実測図あり	46	7	0	693	0	0	13	67	0	
	実測図なし	6	5	0	22	0	0	97	0	0	
	小計	52	12	0	715	0	0	110	67	0	
60	実測図あり	204	67	0	1,275	0	678*	86	4	0	※羽釜を含む
	実測図なし	42	0	0	533	0	1707*	0	196	0	※羽釜 1317gを含む
	小計	246	67	0	1,808	0	0	86	200	0	
61	実測図あり	324	2	0	1,293	20	0	68	21	0	
	実測図なし	60	0	0	336	0	0	122	32	0	他に羽口 252g有
	小計	384	2	0	1,629	20	0	190	53	0	
62	実測図あり	260	31	0	1,430	11	0	50	2	0	
	実測図なし	123	455	0	262	0	0	0	0	0	
	小計	383	486	0	1,692	11	0	50	2	0	
63	実測図あり	466	76	0	2,237	0	0	35	240	0	
	実測図なし	1,033	394	0	1,460	0	0	344	739	0	
	小計	1,499	470	0	3,697	0	0	379	979	0	
64	実測図あり	176	222	0	1,070	8	0	0	0	0	
	実測図なし	212	95	0	2,289	0	0	120	0	0	
	小計	388	317	0	3,359	8	0	120	0	0	
65	実測図あり	217	13	0	2,160	0	71	0	31	0	
	実測図なし	248	156	0	461	0	0	0	0	0	
	小計	465	169	0	2,621	0	71	0	31	0	
66	実測図あり	50	0	0	508	0	0	0	0	0	
	実測図なし	60	0	0	262	0	0	0	0	0	
	小計	110	0	0	770	0	0	0	0	0	
67	実測図あり	31	21	0	1,382	0	32	0	0	0	
	実測図なし	184	24	0	1,240	70	160	0	0	0	
	小計	215	45	0	2,622	70	192	0	0	0	
68	実測図あり	12	29	0	37	0	6	0	0	0	
	実測図なし	0	9	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	12	38	0	37	0	6	0	0	0	
69	実測図あり	15	14	0	289	0	0	0	0	0	
	実測図なし	12	150	0	102	0	0	10	0	0	
	小計	27	164	0	391	0	0	10	0	0	
70	実測図あり	28	0	0	3	0	0	0	0	0	
	実測図なし	286	0	0	0	0	0	0	75	0	
	小計	314	0	0	3	0	0	0	75	0	
71	実測図あり	27	117	0	470	0	13	0	3	0	
	実測図なし	21	279	0	126	64	0	0	0	0	
	小計	48	396	0	596	64	13	0	3	0	
72	実測図あり	316	147	0	1,050	46	23	107	5	0	
	実測図なし	222	257	0	204	96	0	298	63	0	
	小計	538	404	0	1,254	142	23	405	68	0	
73	実測図あり	133	109	0	1,775	14	0	19	9	0	
	実測図なし	183	44	0	455	0	0	0	0	0	
	小計	316	153	0	2,230	14	0	19	9	0	
74	実測図あり	383	234	0	4,015	0	0	62	9	0	
	実測図なし	817	191		254	0	0	203	14	0	
	小計	1,200	425	0	4,269	0	0	265	23	0	
75	実測図あり	36	25	0	394	9	0	0	0	0	
	実測図なし	92	230	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	128	255	0	394	9	0	0	0	0	
76	実測図あり	482	302	0	3,415	111	0	41	11	0	
	実測図なし	360	312	0	373	0	0	0	41	0	
	小計	842	614	0	3,788	111	0	41	52	0	
77	実測図あり	75	287	0	2,060	0	0	0	7	0	
	実測図なし	495	183	0	344	0	0	0	0	0	
	小計	570	470	0	2,404	0	0	0	7	0	
78	実測図あり	95	12	0	141	0	0	0	30	0	
	実測図なし	21	40	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	116	52	0	141	0	0	0	30	0	
79	実測図あり	13	6	0	448	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	45	0	128	0	0	0	0	0	
	小計	13	51	0	576	0	0	0	0	0	

住居番号	区分	甲斐型坏・皿	大小久保型坏・皿	その他土師器坏・皿	甲斐型甕	ロクロ整形甕	その他土師器甕	須恵器	灰釉陶器	その他施釉陶器	備考
80	実測図あり	200	77	0	2,402	25	0	0	0	0	
	実測図なし	311	0	0	1,199	0	36	0	0	0	
	小計	511	77	0	3,601	25	36	0	0	0	
81	実測図あり	106	12	0	2,628	0	0	0	0	0	
	実測図なし	304	103	0	1,243	0	160	0	0	0	
	小計	410	115	0	3,871	0	160	0	0	0	
82	実測図あり	320	45	17	1,970	39	32	0	16	0	
	実測図なし	450	73	0	854	0	0	75	28	0	
	小計	770	118	17	2,824	39	32	75	44	0	
83	実測図あり	25	21	0	3	0	0	0	0	0	
	実測図なし	38	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	63	21	0	3	0	0	0	0	0	
84	実測図あり	175	134	0	464	0	0	0	0	0	
	実測図なし	46	4	0	174	170	0	0	0	0	
	小計	221	138	0	638	170	0	0	0	0	
85	実測図あり	1,080	72	40	4,860	22	0	23	99	0	
	実測図なし	1,023	121	2	424	0	18*	367	74	0	※羽釜を含む
	小計	2,103	193	42	5,284	22	0	390	173	0	
86	実測図あり	58	43	0	300	0	0	0	7	0	
	実測図なし	38	98	0	156	0	0	0	0	0	
	小計	96	141	0	456	0	0	0	7	0	
87	実測図あり	37	0	0	112	0	0	0	0	0	
	実測図なし	35	0	0	168	0	0	0	0	0	
	小計	72	0	0	280	0	0	0	0	0	
88	実測図あり	4	2	0	97	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	4	0	80	0	0	0	0	0	
	小計	4	6	0	177	0	0	0	0	0	
89	実測図あり	150	135	0	1,585	0	0	0	16	0	
	実測図なし	105	118	0	715	0	0	0	22	0	
	小計	255	253	0	2,300	0	0	0	38	0	
90	実測図あり	84	17	0	890	0	0	0	0	0	
	実測図なし	71	19	0	197	0	187*	0	0	0	※羽釜を含む
	小計	155	36	0	1,087	0	0	0	0	0	
91	実測図あり	31	26	0	159	0	0	7	0	0	
	実測図なし	14	21	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	45	47	0	159	0	0	7	0	0	
92	実測図あり	653	520	0	2,755	59	0	135	11	0	
	実測図なし	322	576	0	337	59	0	174	292	0	他に羽口25g有り
	小計	975	1,096	0	3,092	118	0	309	303	0	
93	実測図あり	593	356	0	4,630	25	0	214	6	0	
	実測図なし	399	556	0	460	0	0	260	0	0	
	小計	992	912	0	5,090	25	0	474	6	0	
94	実測図あり	370	102	0	1,072	0	0	62	31	0	
	実測図なし	332	84	0	422	0	0	1,457	25	0	他に縄文時代土器49g有り
	小計	702	186	0	1,494	0	0	1,519	56	0	
95	実測図あり	78	89	36	698	25	0	18	16	0	
	実測図なし	191	0	0	147	44	0	0	0	0	他に縄文時代土器76g有り
	小計	269	89	36	845	69	0	18	16	0	
96	実測図あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実測図なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
DK	実測図あり	190	85	0	600	11	0	11	2	0	
	実測図なし	311	413	0	273	0	0	40	76	0	
	小計	501	498	0	873	11	0	51	78	0	
PT	実測図あり	77	95	0	270	10	0	32	0	0	
	実測図なし	73	8	0	100	0	0	0	0	0	他に縄文時代土器53g有り
	小計	150	103	0	370	10	0	32	0	0	
表採	実測図あり	252	134	0	620	4	27	168	65	0	
	実測図なし	9	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	261	134	0	620	4	27	168	65	0	
合計		37,747	19,721	261	154,875	3,031	1,032	12,010	5,383	0	総合計　234,060グラム

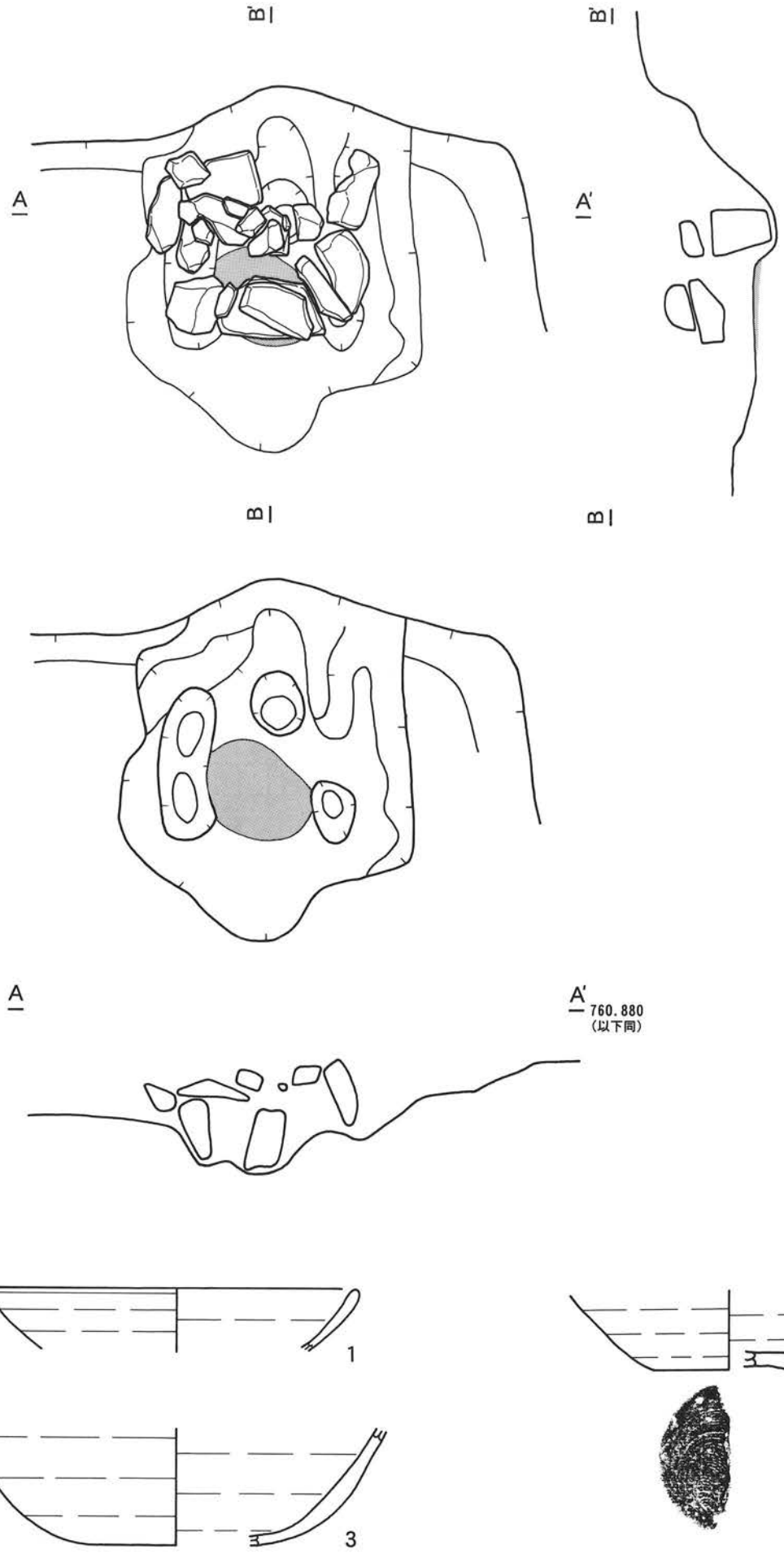


第 9 図　1 号・45号住居（1/40）　1 号住居カマド（1/20）　1 号住居出土遺物（1/2）

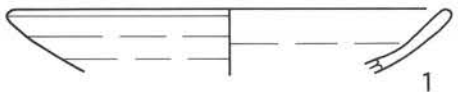


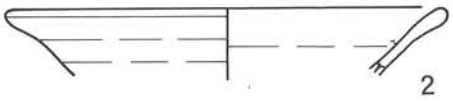


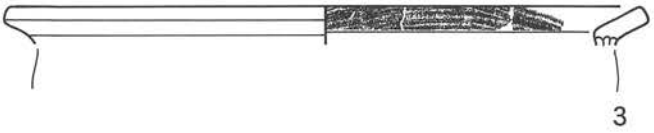
第10図　1号(1～3)・45号(4～7)住居出土遺物 (1/2、5・6 1/4)　2号住居 (1/40)

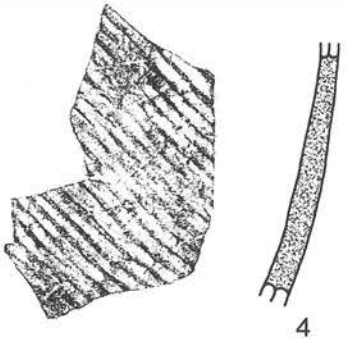


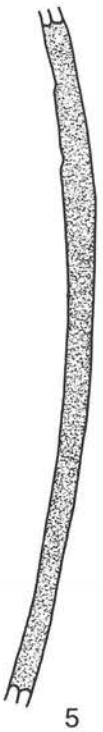
第11図　2号住居カマド（1/20）　2号住居出土遺物（1/2）

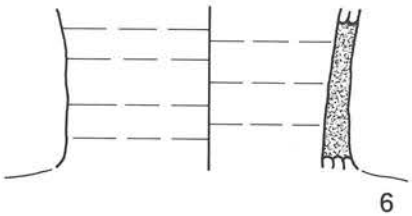


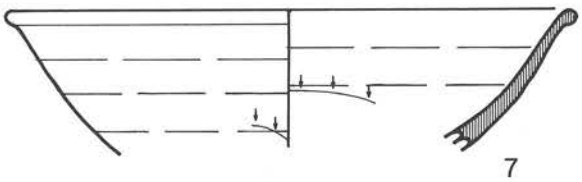


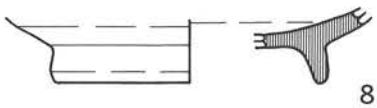


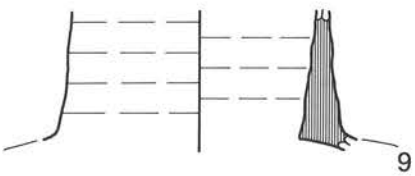




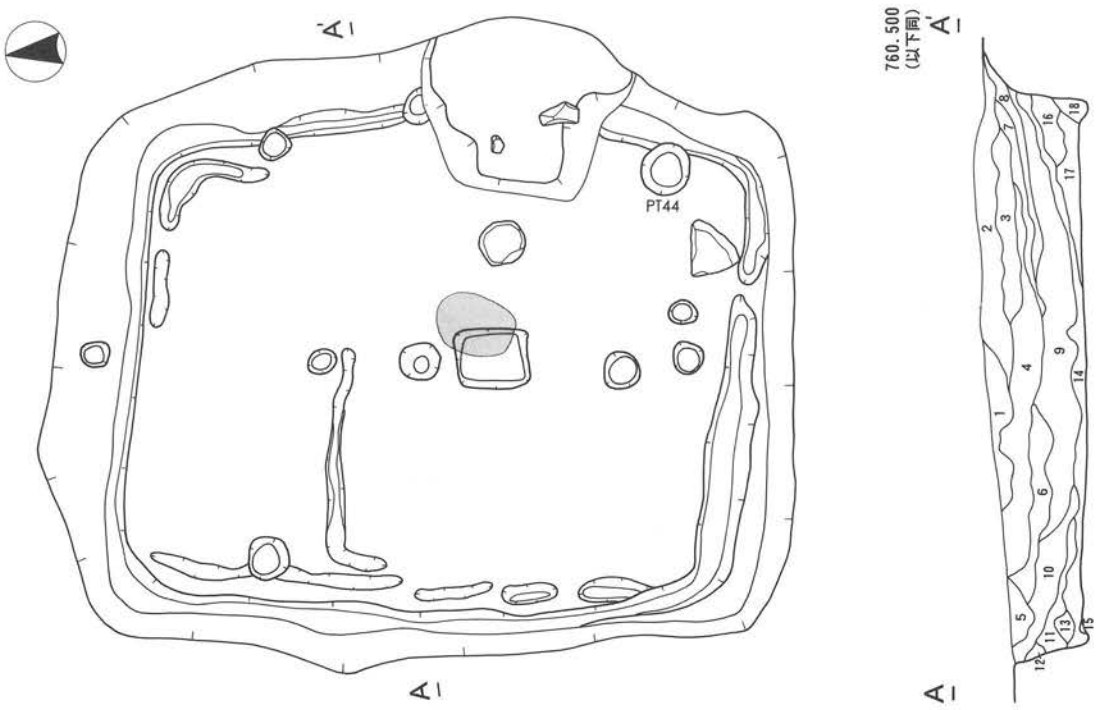




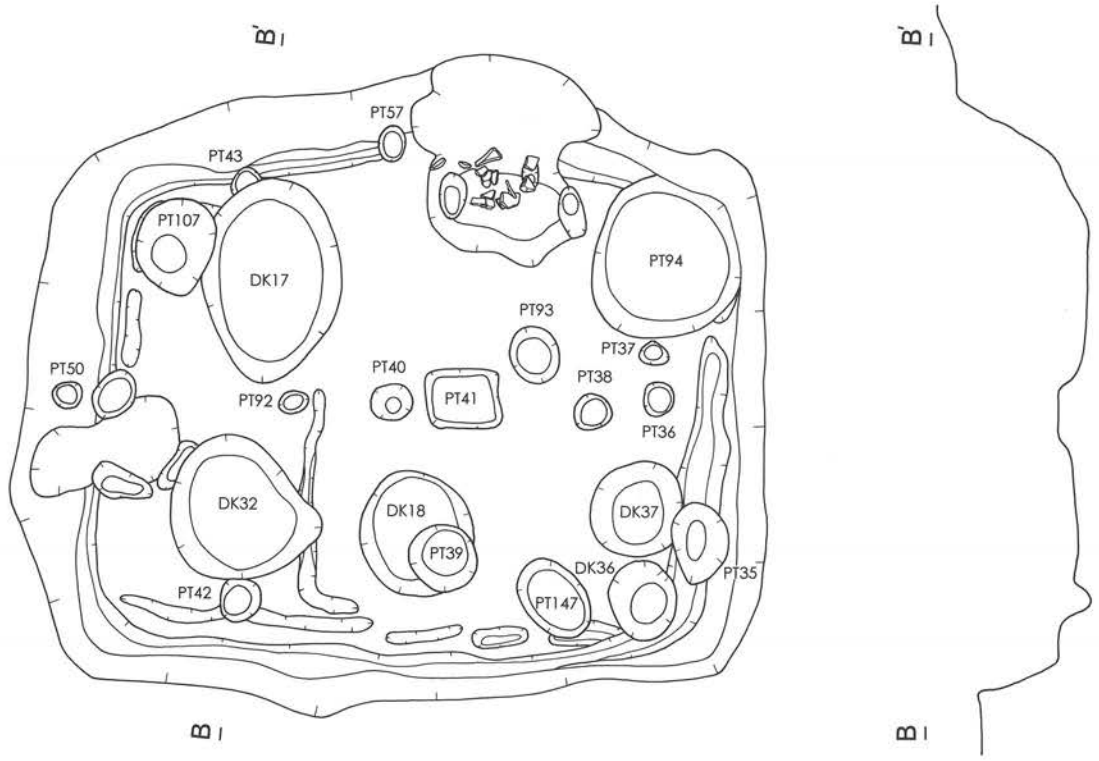




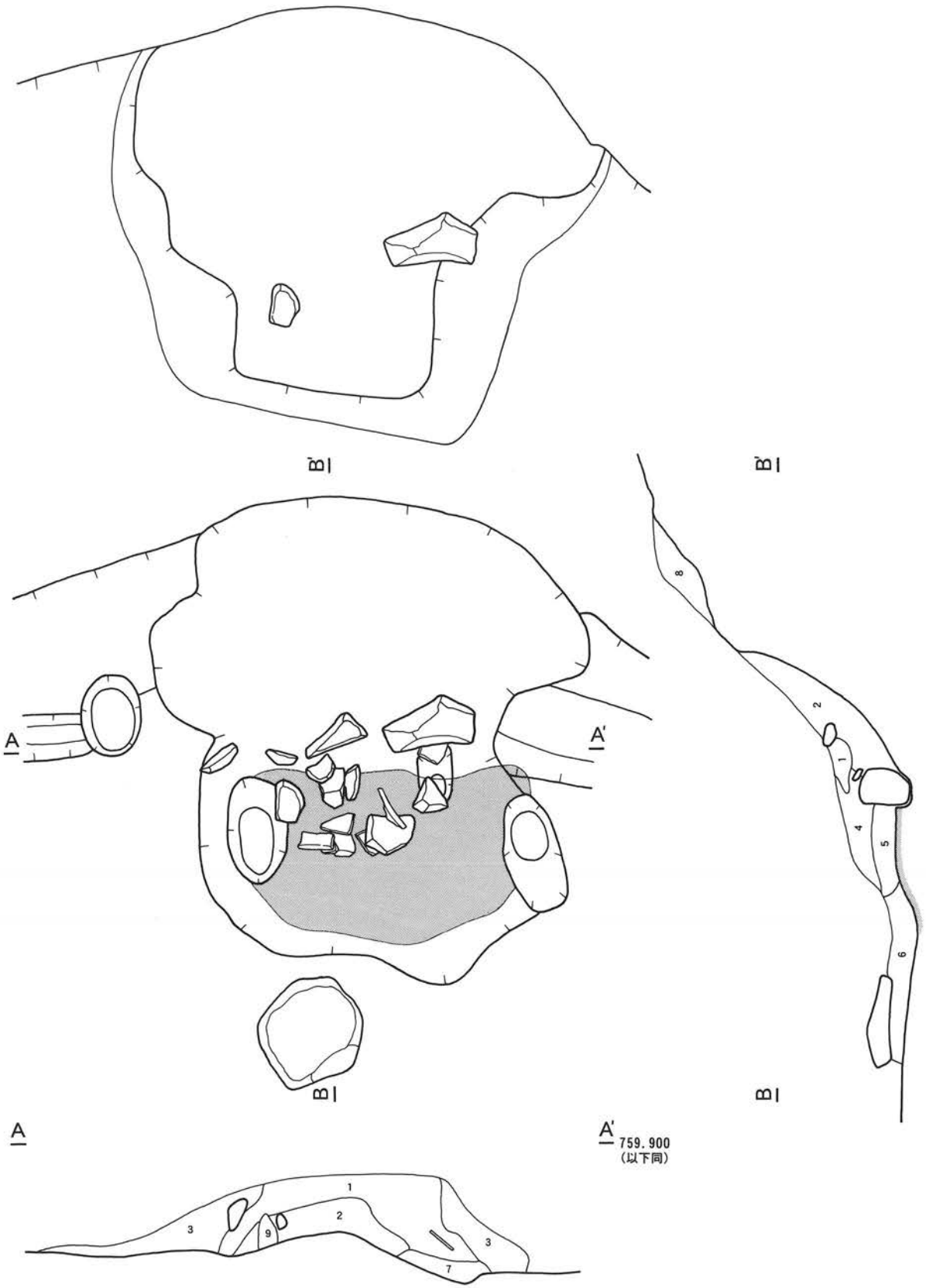
第12図　2号住居出土遺物（1/2、3 1/4）



1層 カクラン
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/3(にぶい黄褐)のブロックが 5%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)のブロックが 10%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)のブロックが 20%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/2(灰黄褐)に 10YR3/3(暗褐)のブロックが 50%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/2(灰黄褐)に 10YR2/3(黒褐)のブロックが 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)のブロックが 50%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/3(暗褐)のブロックが 40%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/2(黒褐)に 焼土粒子・炭化物が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/2(黒褐)。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/2(黒褐)に 10YR2/3(黒褐)の小ブロックが 30%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(黒褐)のブロックが 30%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR4/2(灰黄褐)に 10YR2/3(黒褐)のブロックが 20%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)の粒子が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR4/2(灰黄褐)。しまる。シルト粒土。
16層 10YR2/2(黒褐)に 10YR2/3(黒褐)の小ブロックが 40%、10YR5/6(黄褐)の粒子が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR3/1(黒褐)。しまる。シルト粒土。
18層 10YR2/2(黒褐)に 10YR2/3(黒褐)の小ブロックが 50%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。

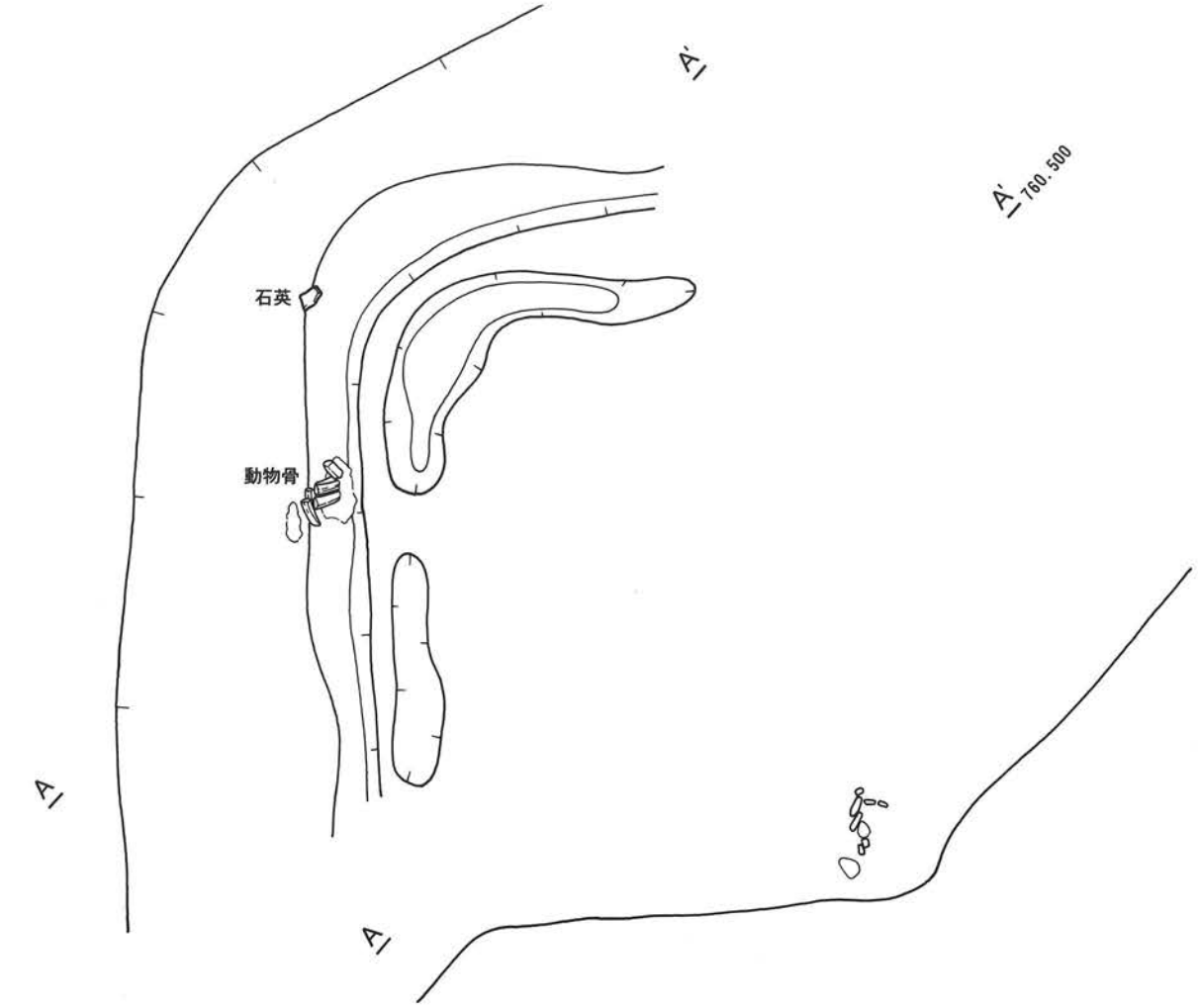


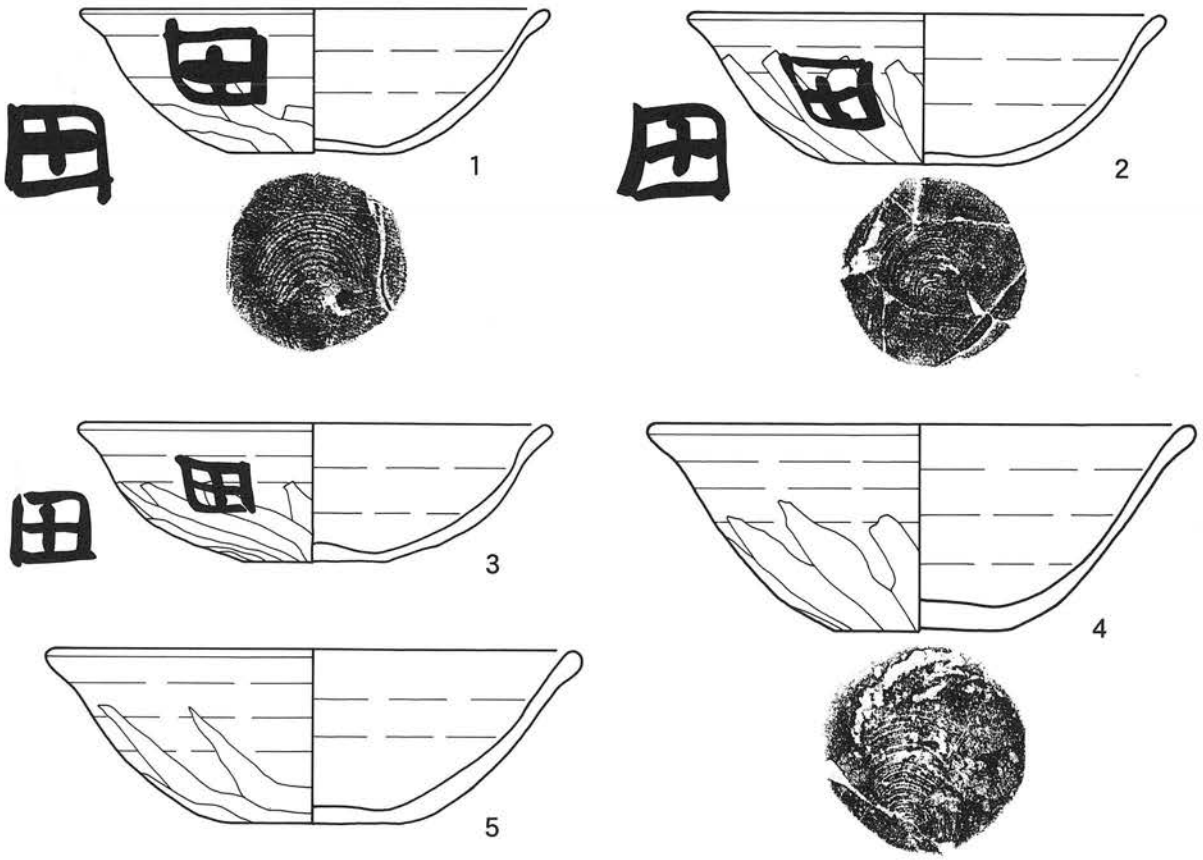
第13図　3号住居（1/60）



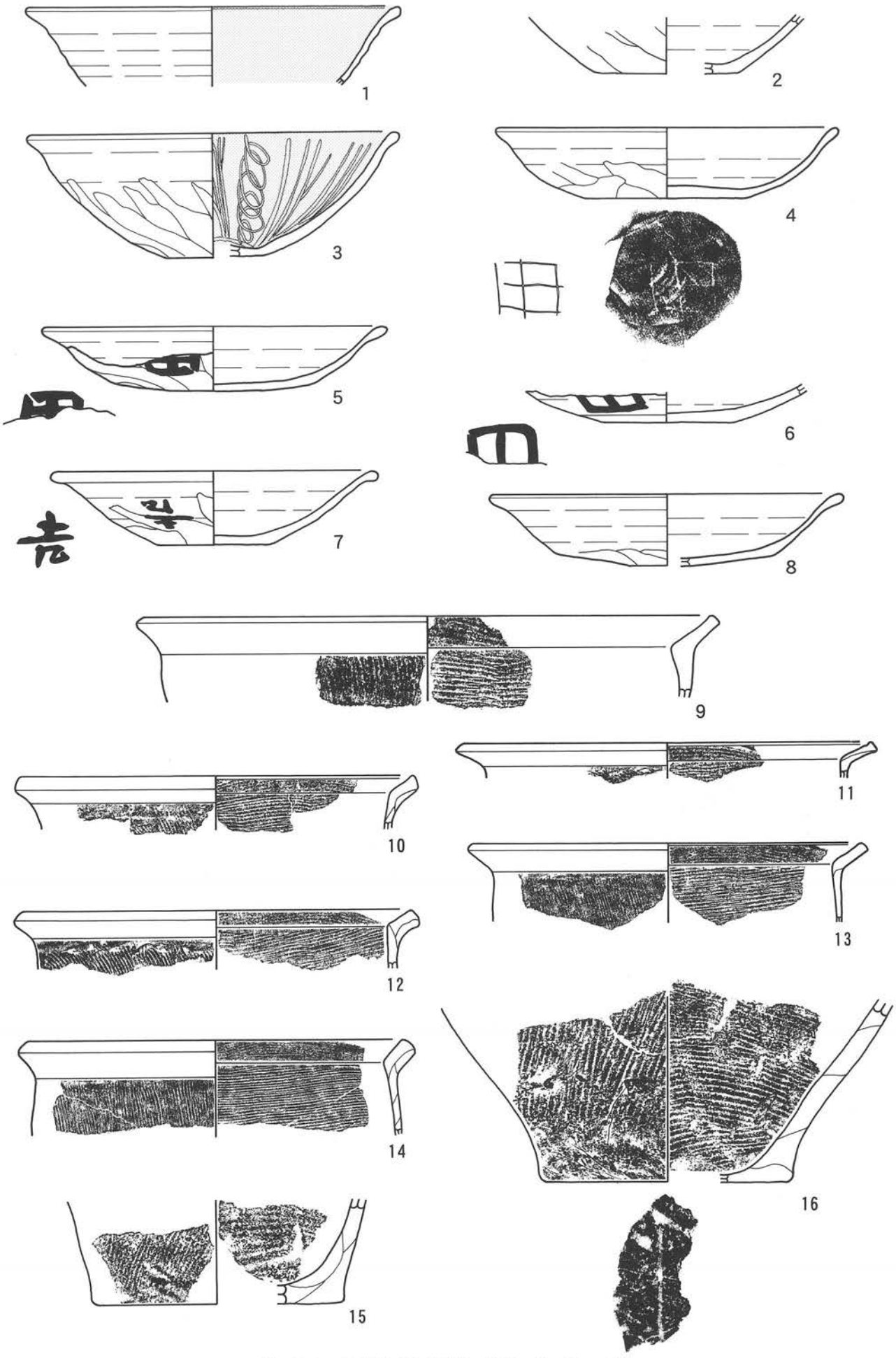
1層 10YR4/6(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 2%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 20%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR2/3(黒褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 焼土
地山 10YR2/2(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。非常に固くしまる。粘りのある土。

第14図　3号住居カマド（1/20）

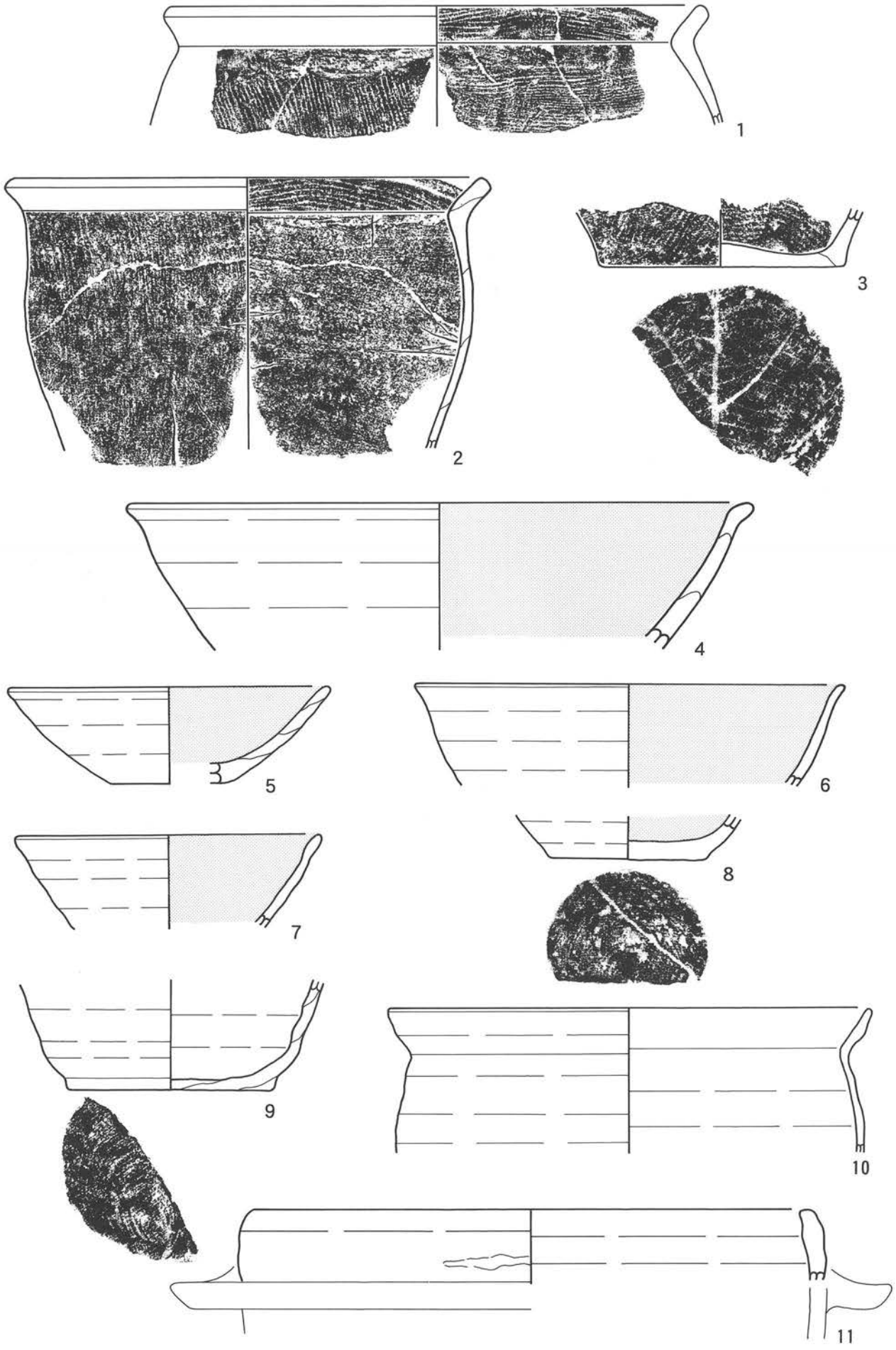




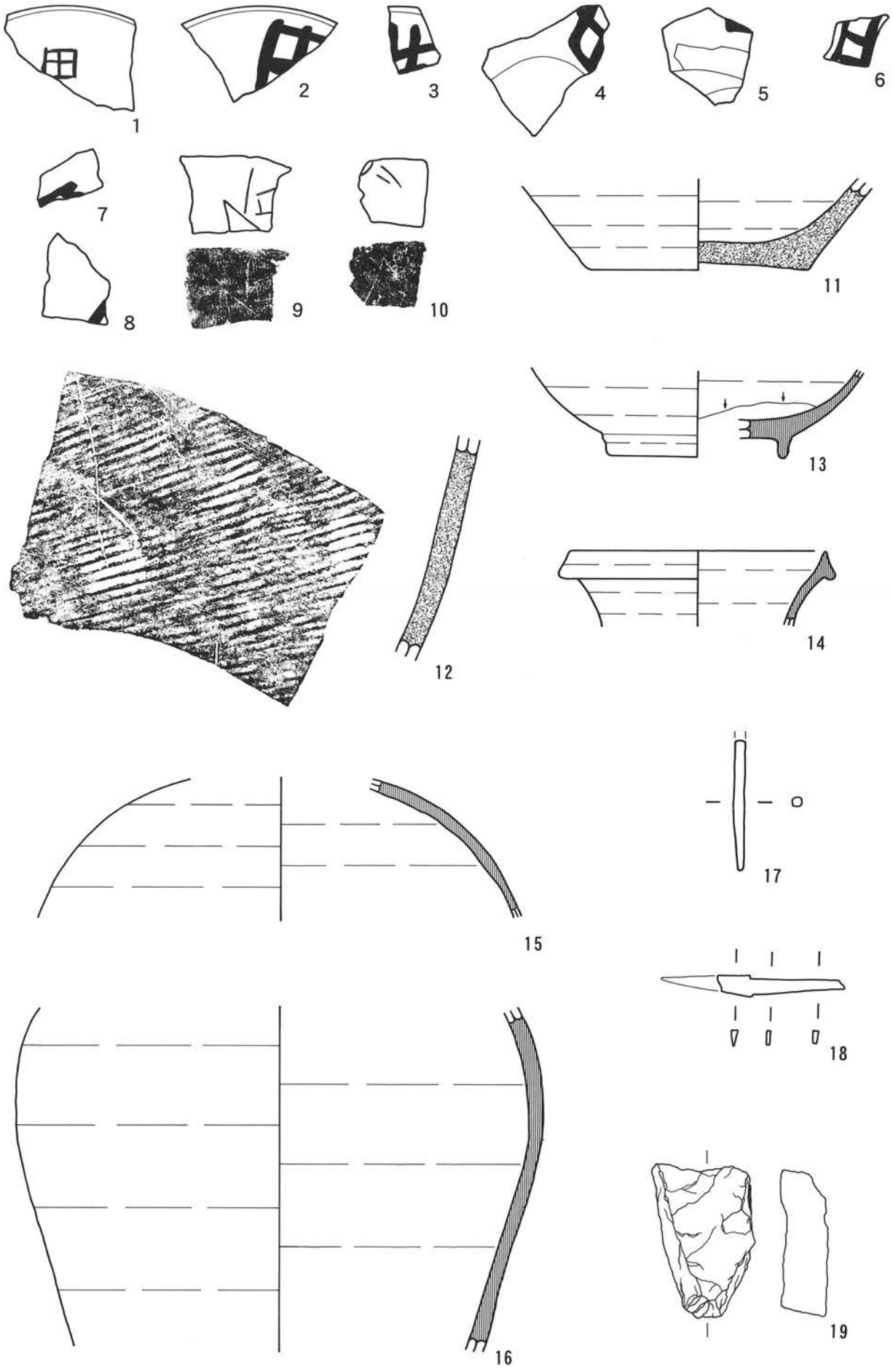
第15図　3号住居動物骨出土状況図（1/20）　3号住居出土遺物（1/2）



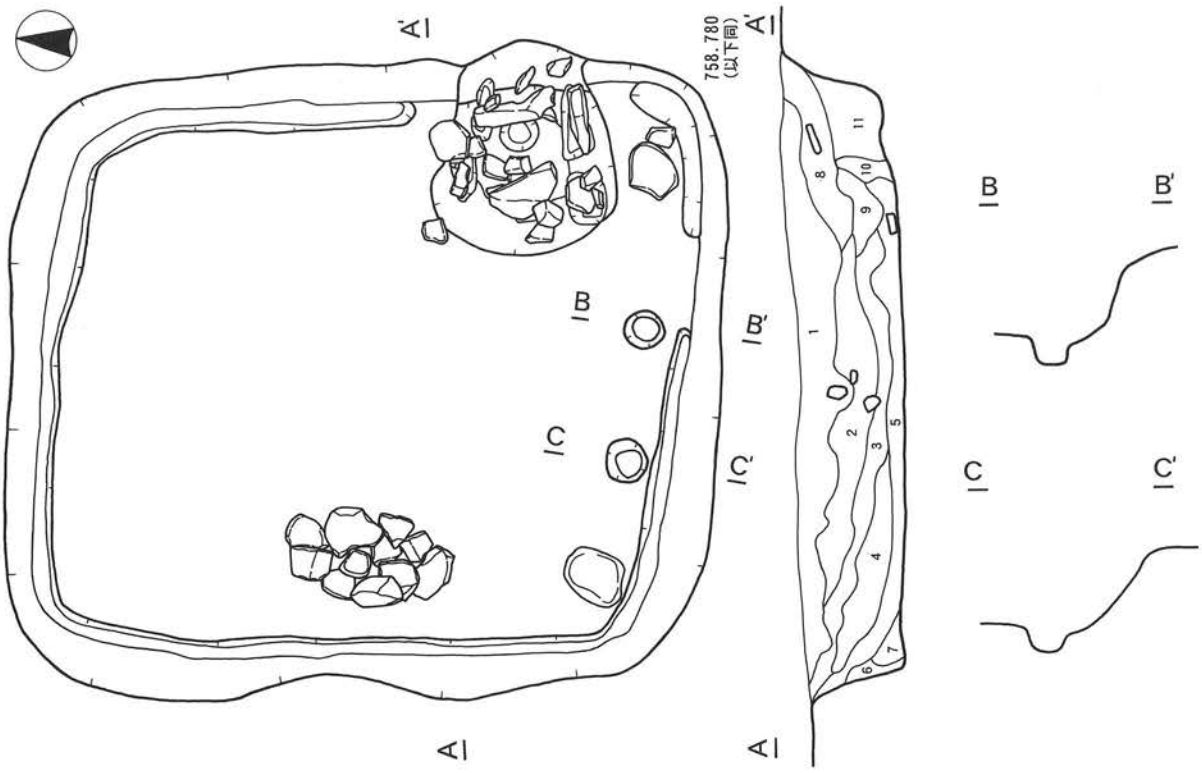
第16図　3号住居出土遺物（1/2、10～14 1/4）



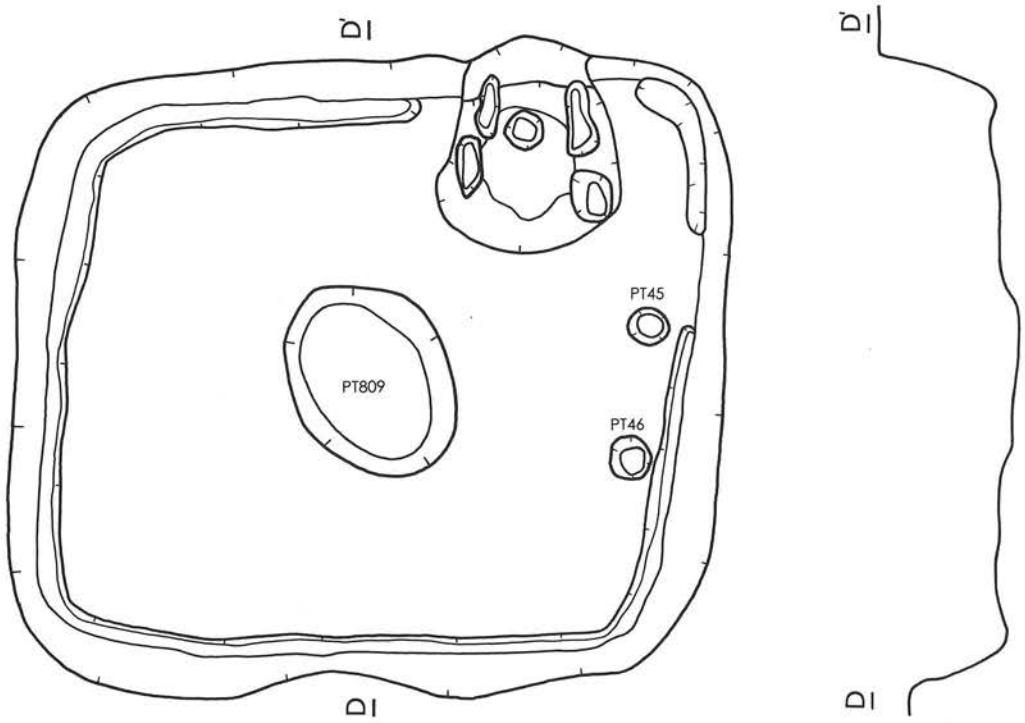
第17図　3号住居出土遺物（1/2）



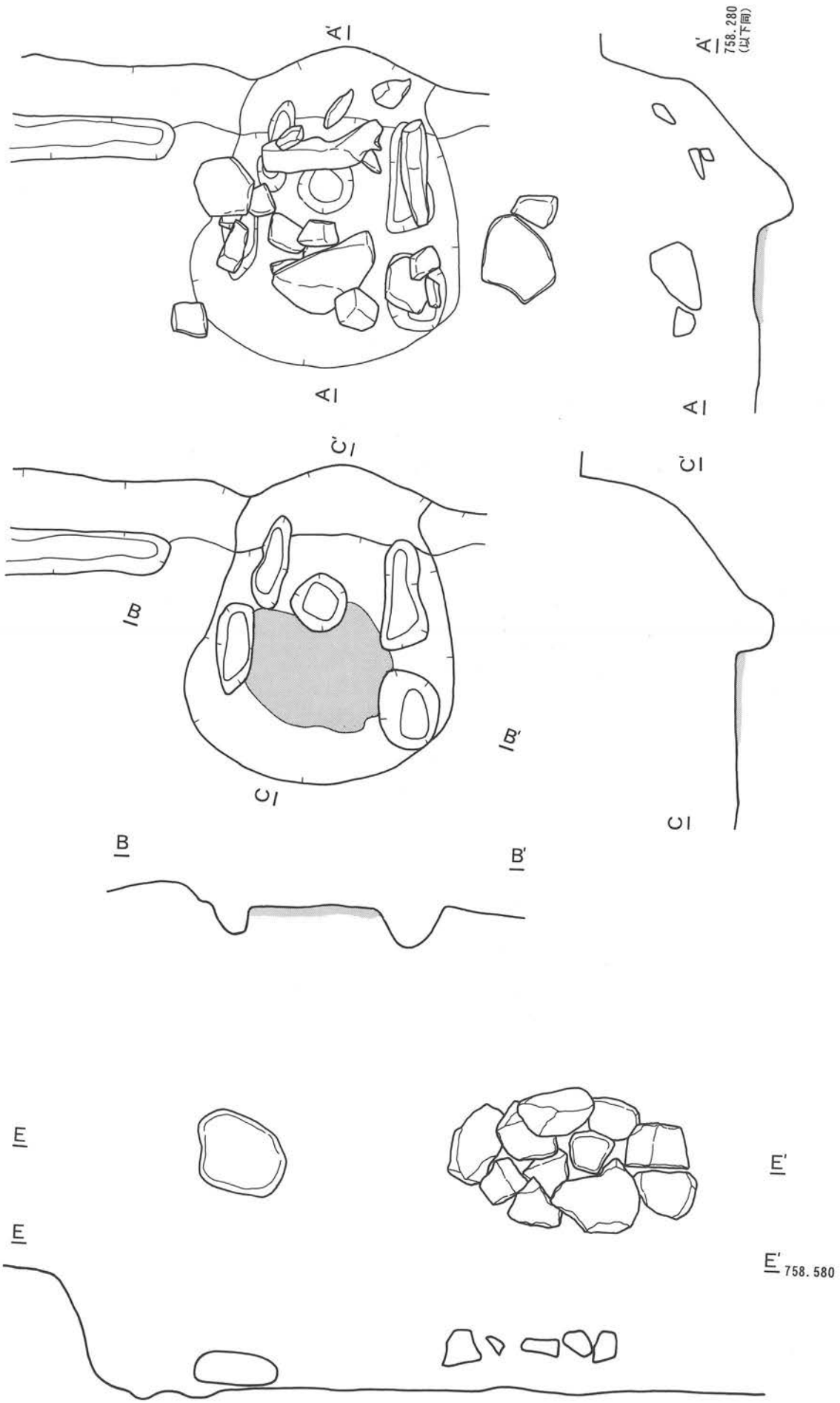
第18図　3号住居出土遺物（1/2）



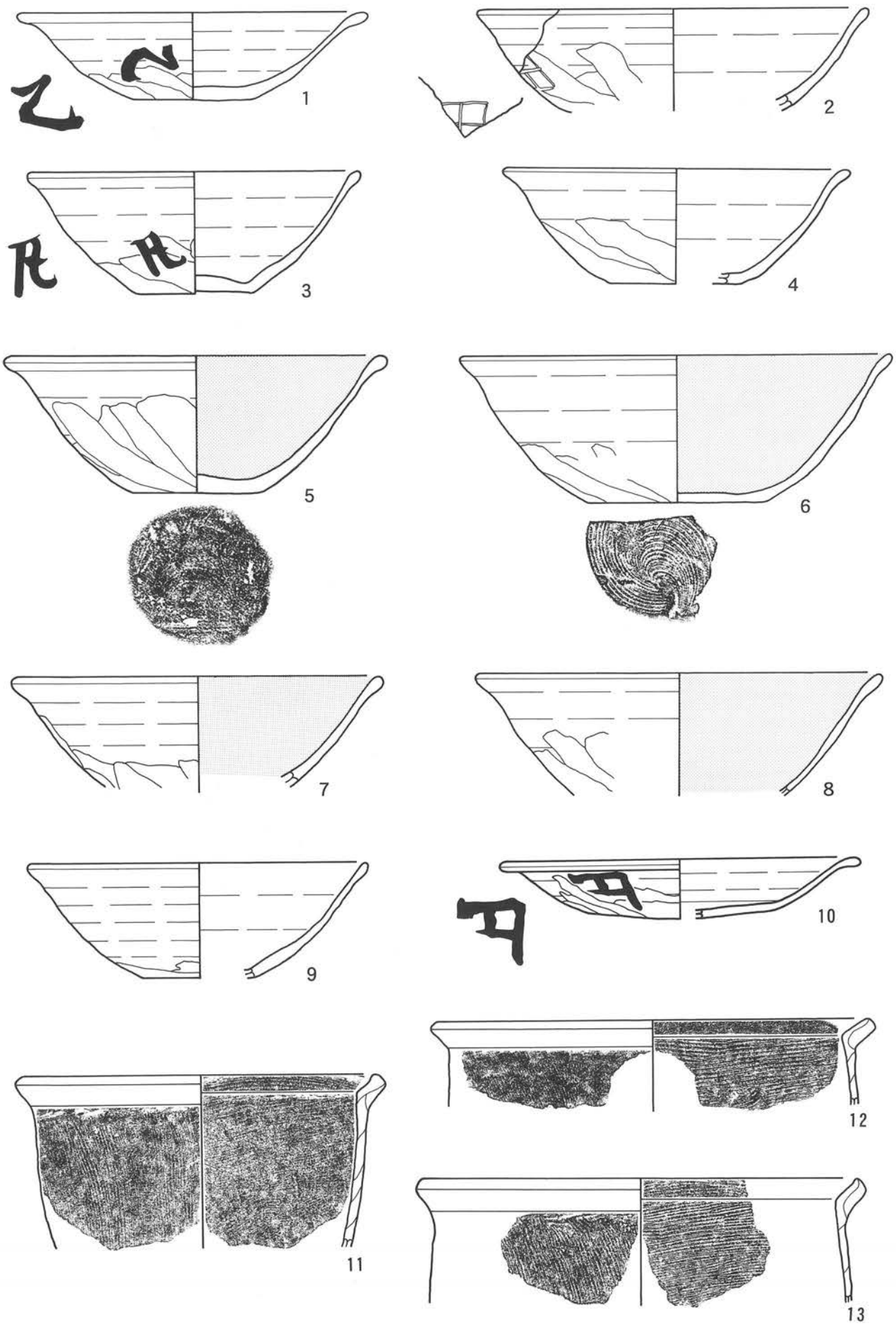
1層 10YR2/1(黒)に10YR2/2(黒褐)が10%、10YR4/4(褐)が20%、10YR5/6(黄褐)粒子が3%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
2層 10YR3/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が5%、10YR2/1(黒)が10%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
3層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR2/2(黒褐)が3%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
4層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR2/2(黒褐)が2%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に10YR2/1(黒)が10%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が3%、10YR2/2(黒褐)が1%混じる。しまる。細粒土。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR2/2(黒褐)が3%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%混じる。しまる。細粒土。
8層 10YR3/2(黒褐)に10YR2/1(黒)が10%、10YR5/6(黄褐)が3%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
9層 10YR4/6(褐)に10YR5/6(黄褐)粒子が2%、焼土1%、炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
10層 10YR4/6(褐)に10YR2/2(黒褐)が2%、10YR5/6(黄褐)粒子が1%、焼土が1%未満混じる。しまる。細粒土。
11層 (カマド覆土)7.5YR3/2(黒褐)に7.5YR4/4(褐)が30%、7.5YR2/1(黒)が3%、7.5YR5/6(明褐)粒子が2%、焼土・炭化物が1%未満混じる。しまる。細粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)に10YR3/4(暗褐)が20%混じる。非常に固い。細粒土。
地山 10YR4/6(褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が20%混じる。固くしまる。細粒土。



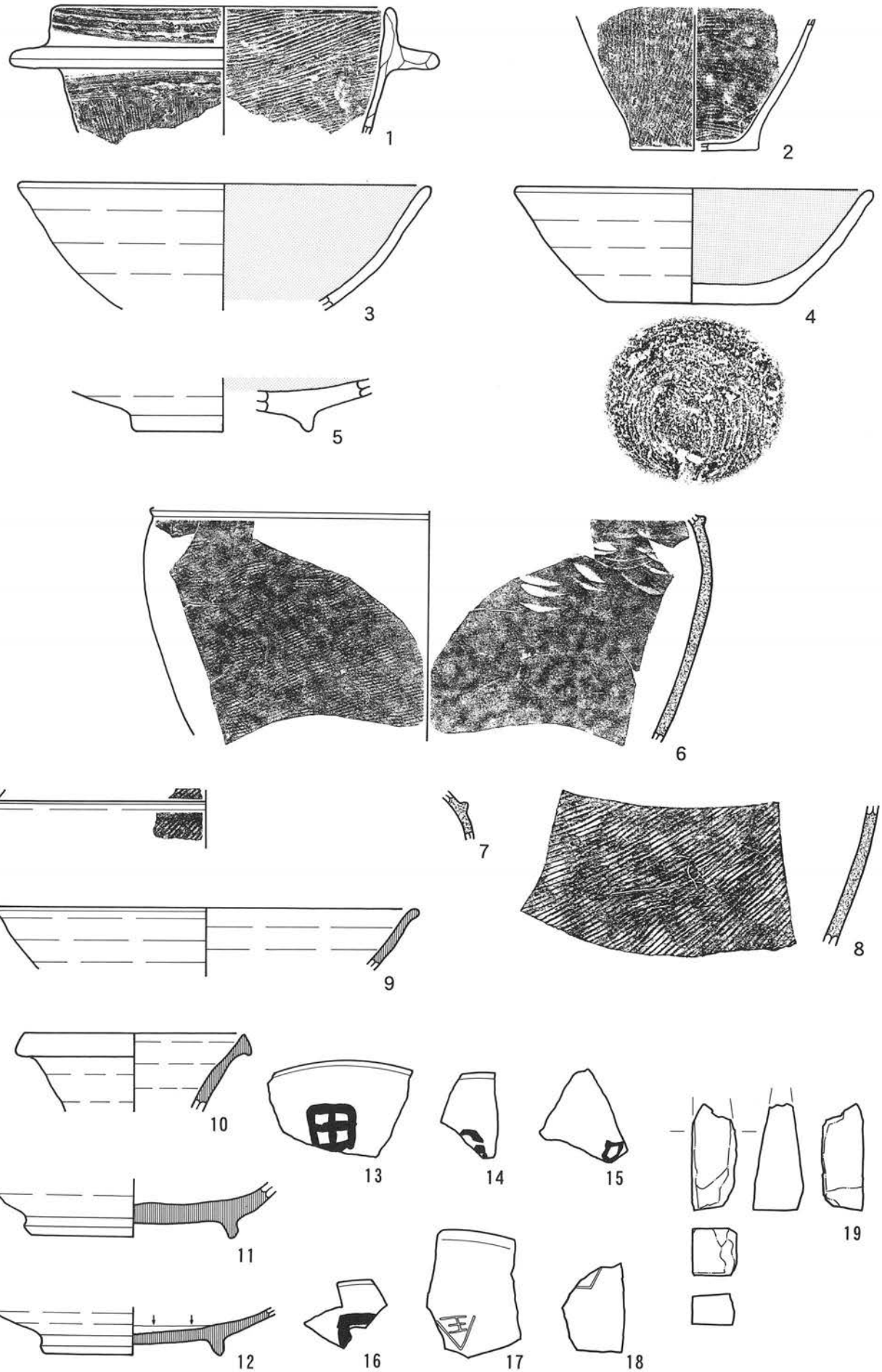
第19図　4号住居 (1/40)



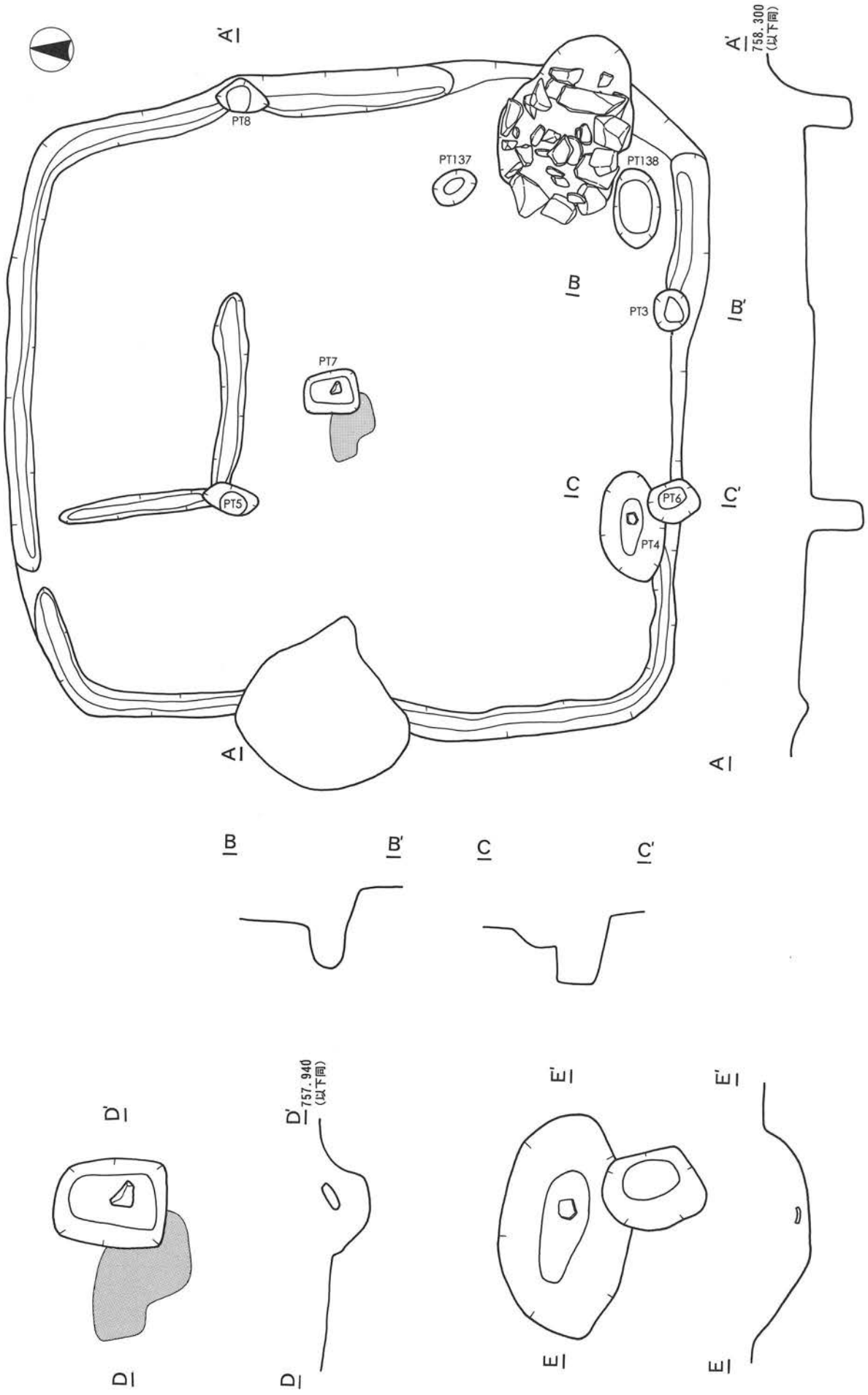
第20図　4号住居カマド（1/20）　礫集中（1/20）



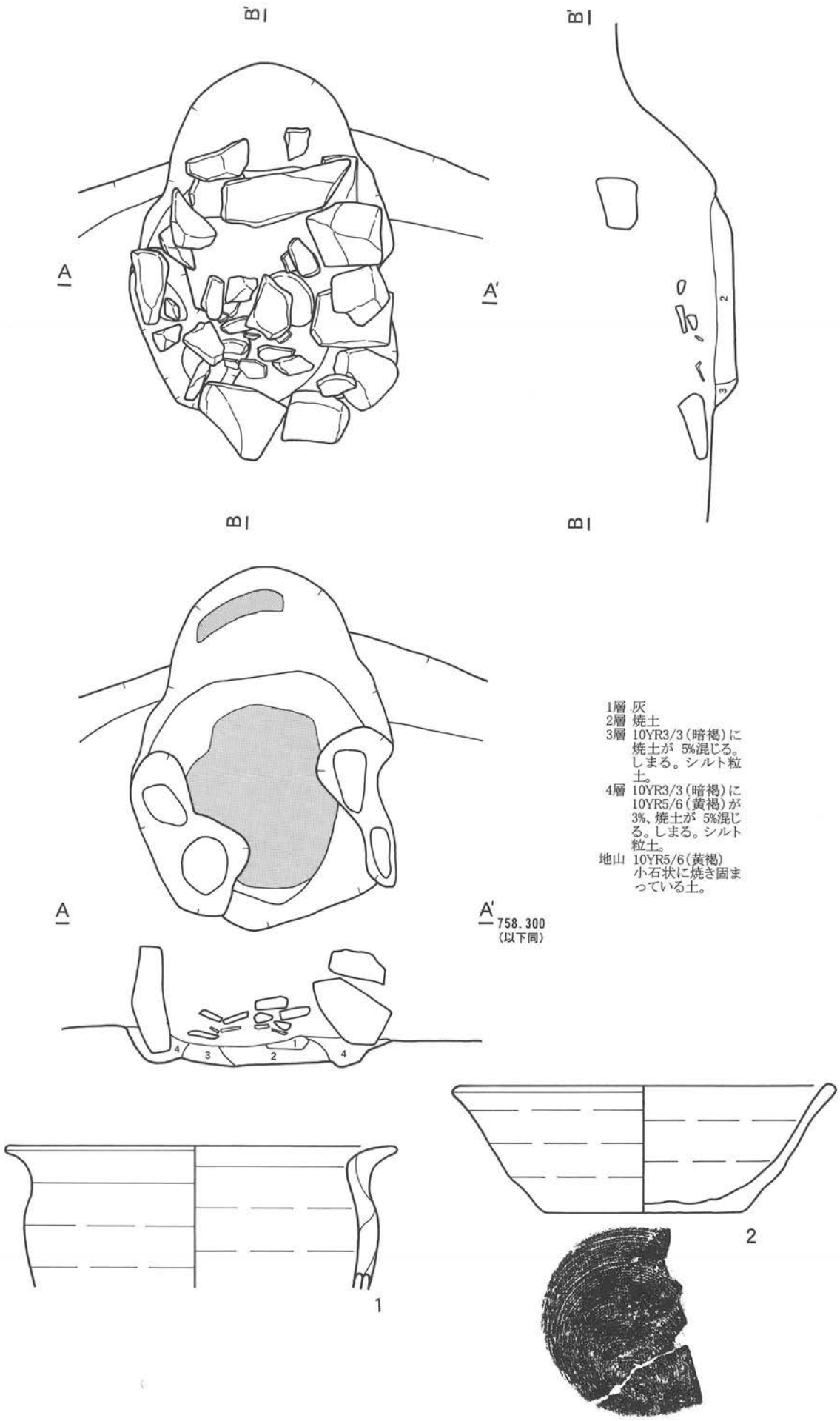
第21図　4号住居出土遺物（1/2、11～13 1/4）



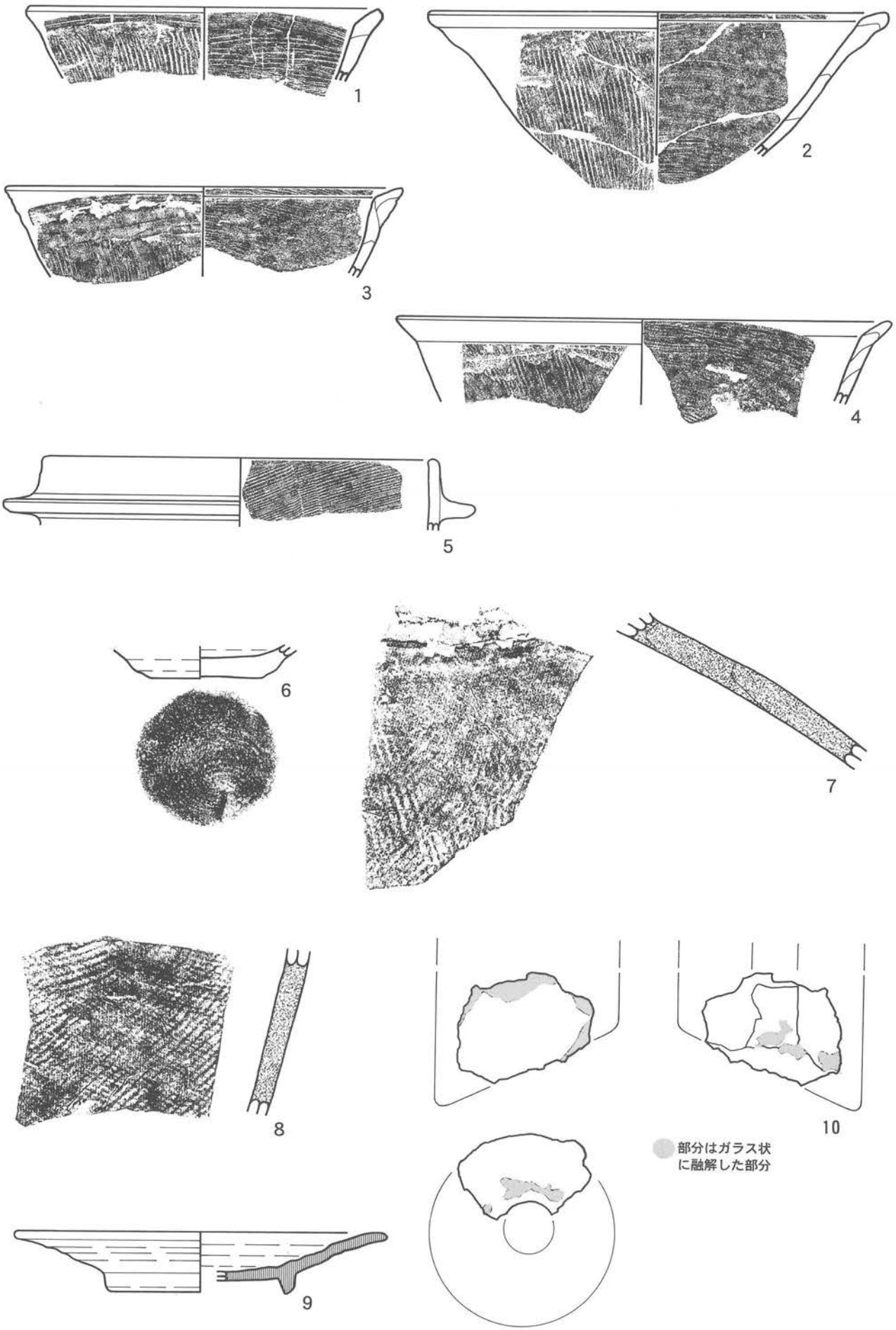
第22図　4号住居出土遺物（1/2、1・2・6～8 1/4）



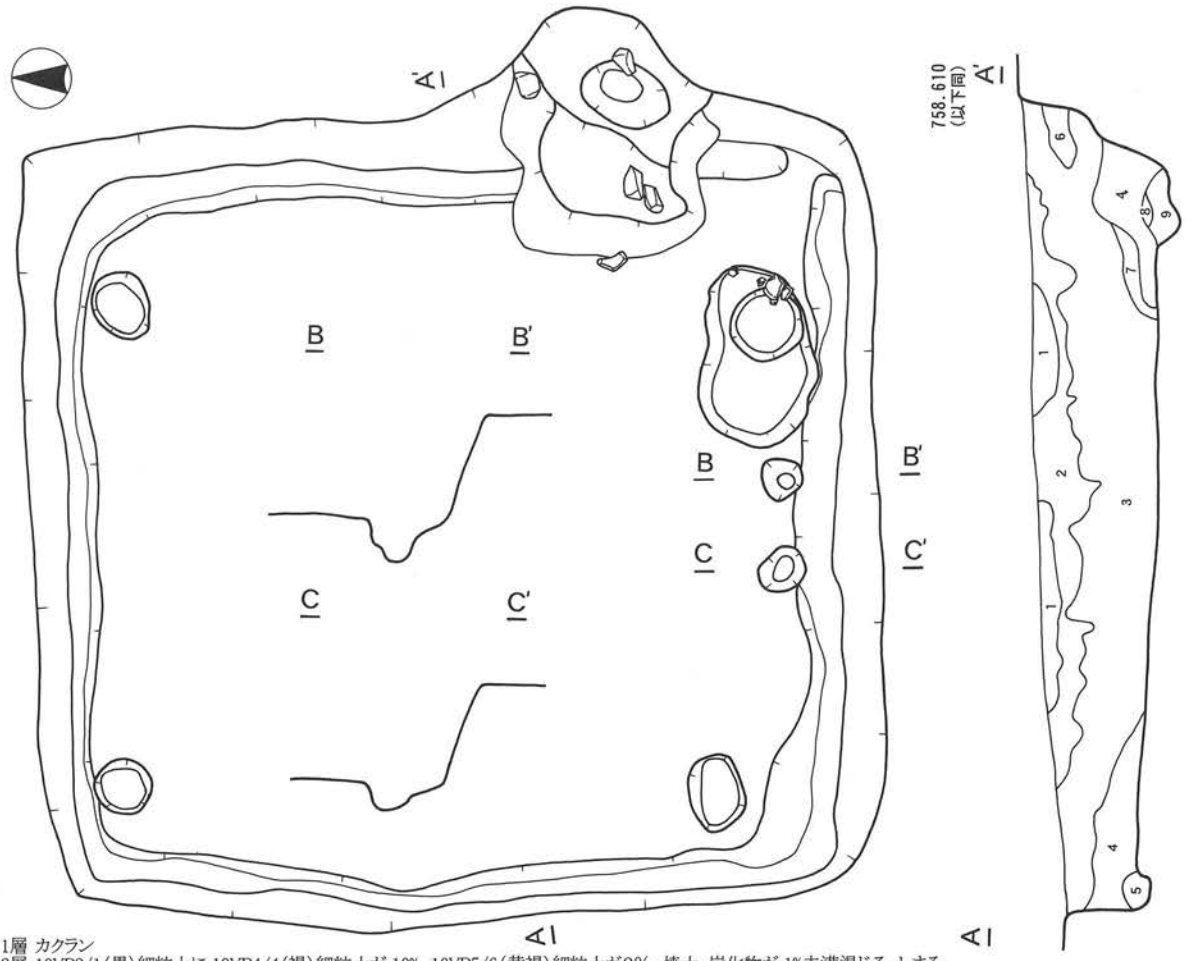
第23図　6号住居（1/40）　7号ピット（1/20）　4号ピット（1/20）



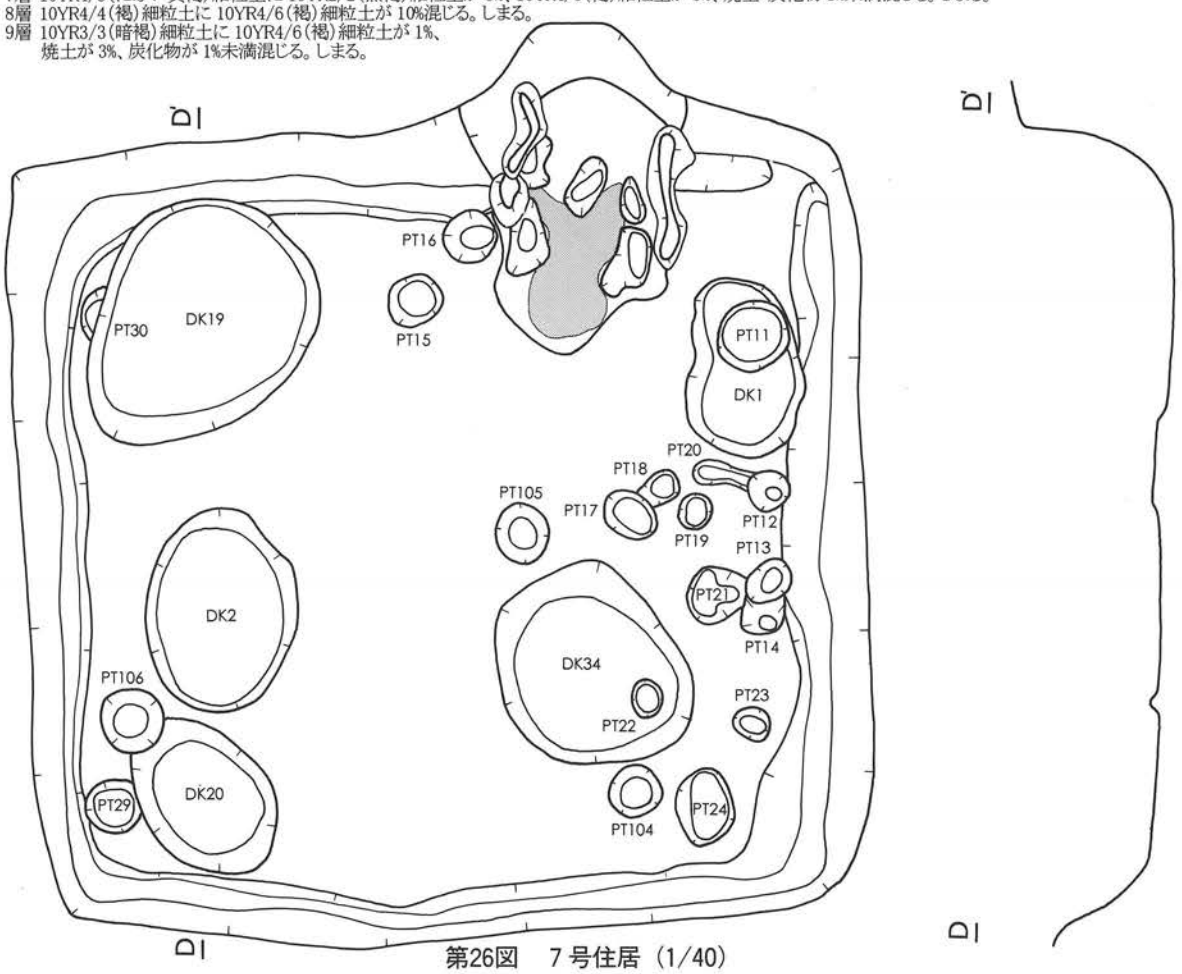
第24図　6号住居カマド（1/20）　6号住居出土遺物（1/2）



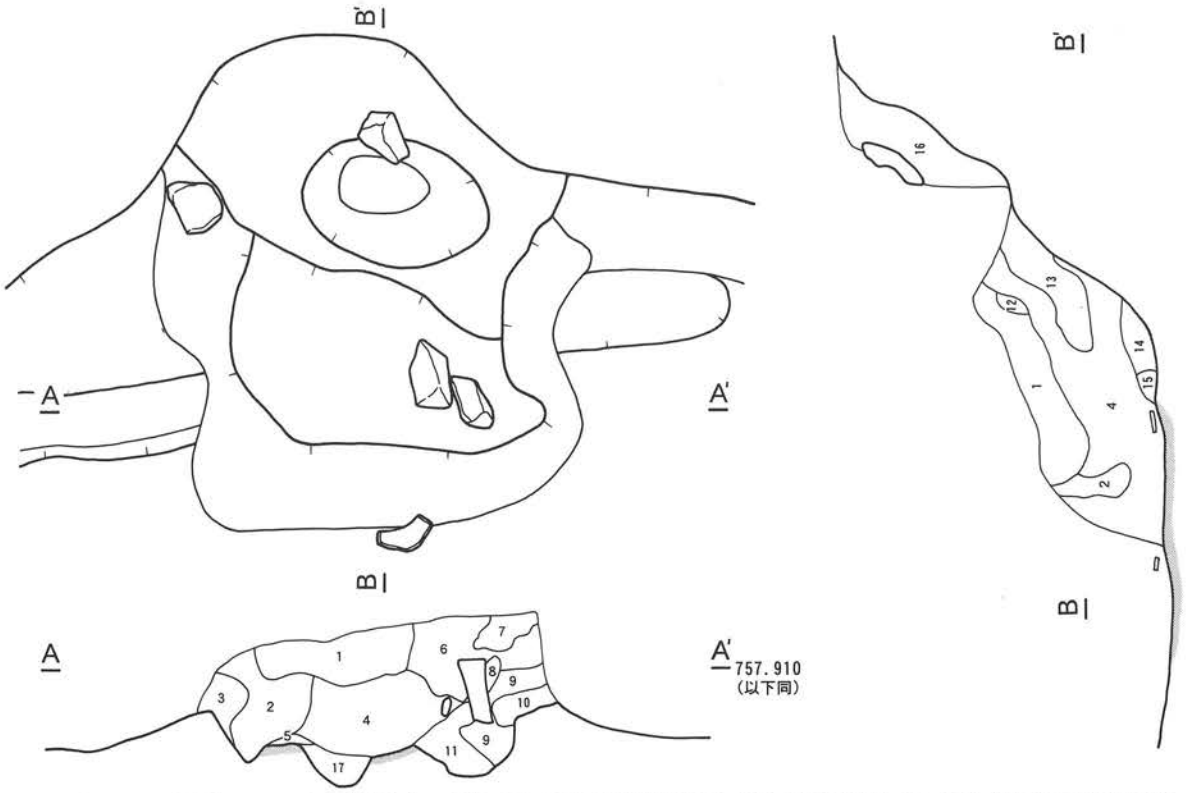
第25図　6号住居出土遺物（1/2、1～5 1/4）



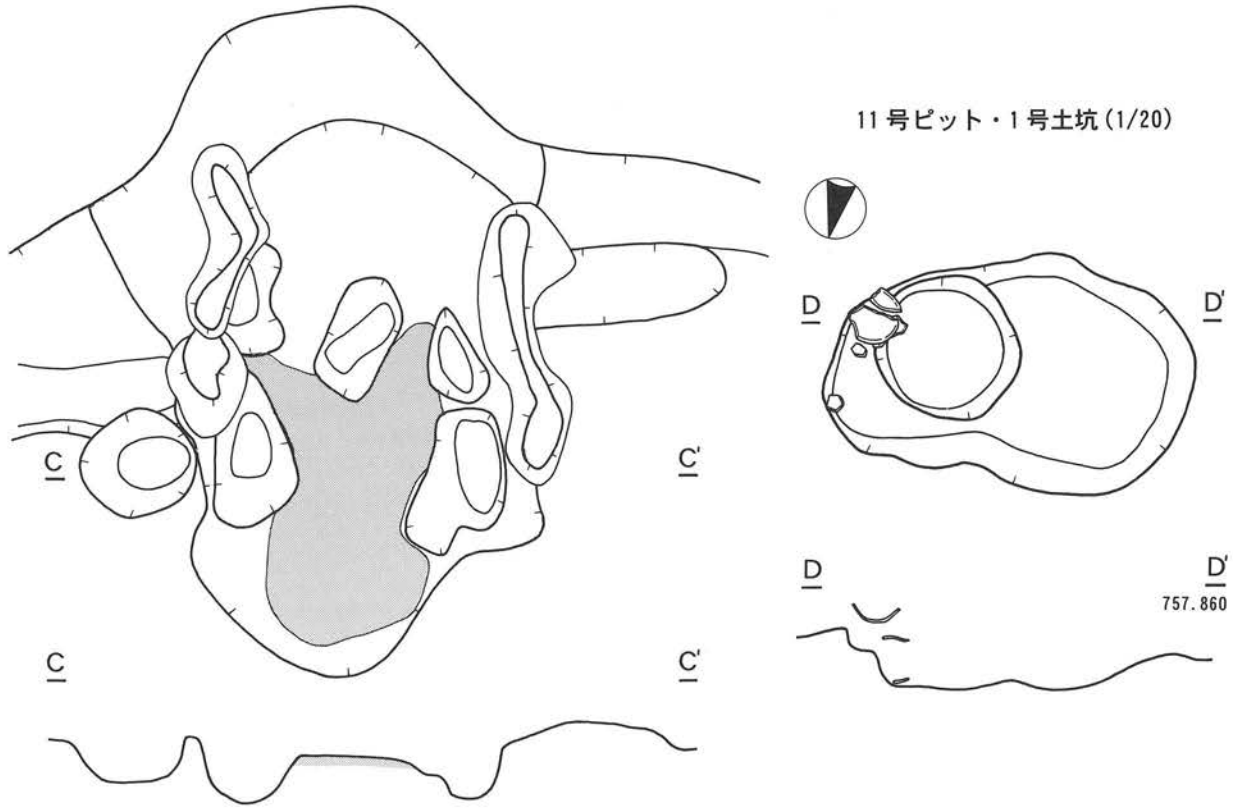
1層 カクラン
2層 10YR2/1(黒)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 10%、10YR5/6(黄褐)細粒土が2%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。
3層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR2/2(黒褐)細粒土が 7%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5%、焼土・炭化物が1%混じる。しまる。
4層 10YR3/2(黒褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 2%、10YR2/2(黒褐)細粒土が 1%未満、焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。
5層 10YR3/2(黒褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)粒子が 1%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 10%、焼土が 1%未満混じる。しまる。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR2/2(黒褐)細粒土が 5%、10YR4/6(褐)細粒土が 5%、焼土・炭化物 1%未満混じる。しまる。
8層 10YR4/4(褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 10%混じる。しまる。
9層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 1%、
焼土が 3%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。



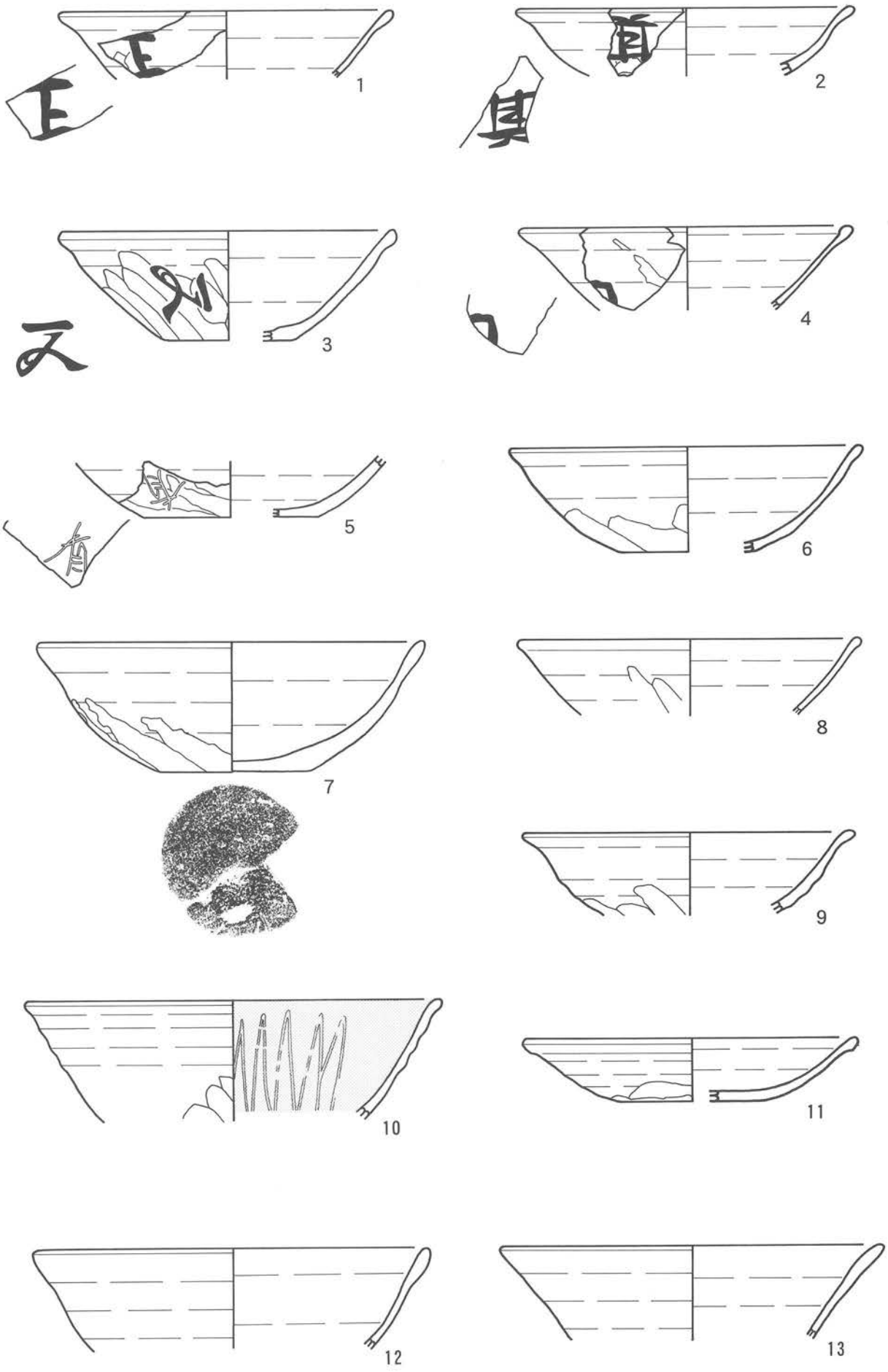
第26図　7号住居（1/40）



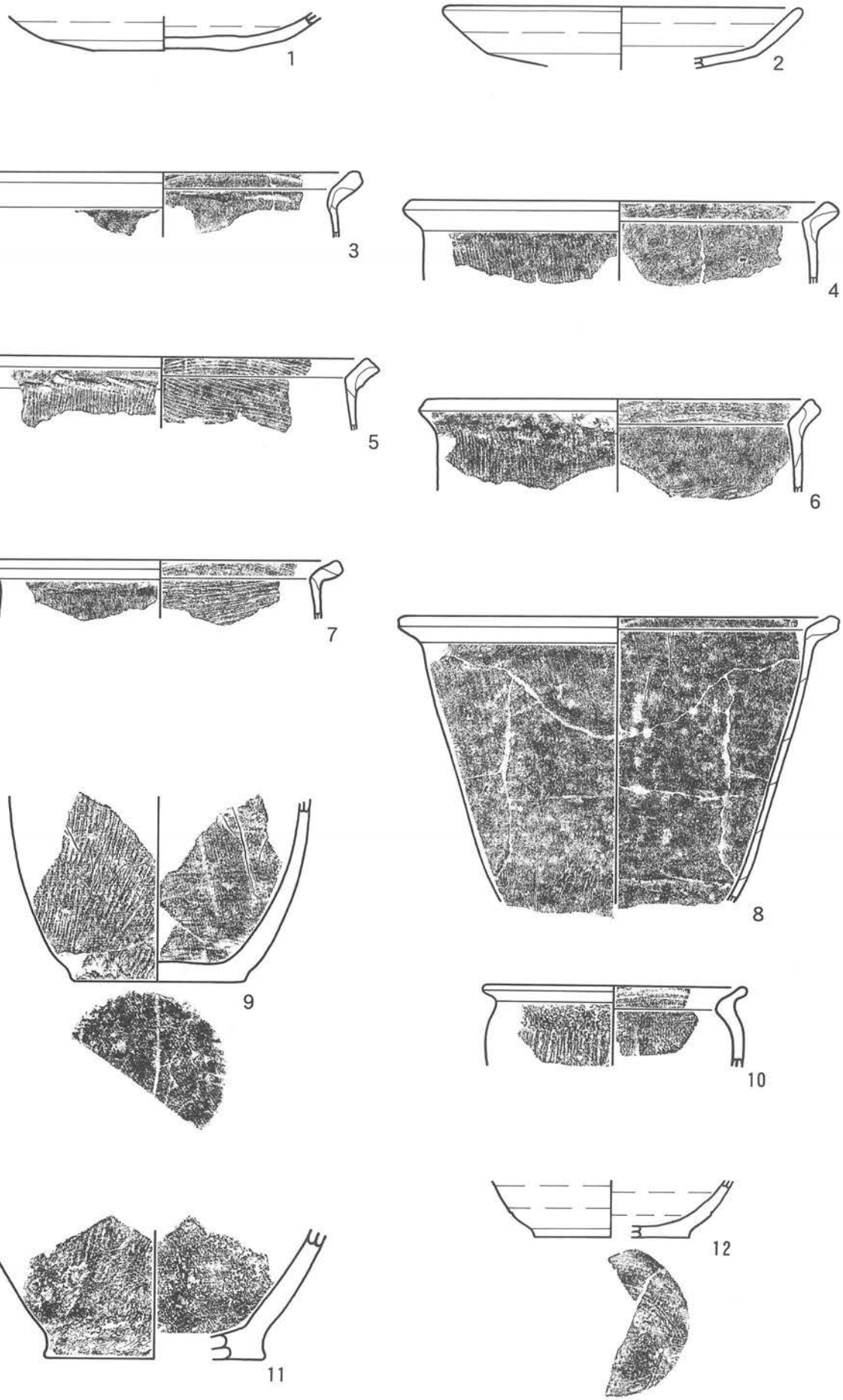
1層 7.5YR4/4(褐)に、10YR5/6(黄褐)がブロック状に 10%、7.5YR3/2(黒褐)が 10%、7.5YR2/(黒)が 5%、焼土が 2%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。細粒土。
2層 7.5YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 2%、焼土粒子が 5%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。細粒土。
3層 7.5YR4/4(褐)。固くしまる。細粒土。
4層 5YR3/4(暗褐)に 7.5YR2/1(黒)が 3%、焼土が 5%混じる。固くしまる。下部に 10YR4/4(褐)が非常に固いブロックで混じる。細粒土。
5層 7.5YR3/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、焼土粒子が 10%、炭化物が 1%混じる。固くしまる。細粒土。
6層 5YR3/4(暗赤褐)に 7.5YR2/1(黒)が 2%、焼土が 7%混じる。固くしまる。細粒土。
7層 7.5YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)がブロック状に 5%、焼土粒子が 3%、炭化物が 1%混じる。固くしまる。細粒土。
8層 7.5YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 15%、7.5YR2/1(黒)が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。細粒土。
9層 5YR3/2(暗赤褐)に 7.5YR2/1(黒)が 2%、焼土が 3%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。細粒土。
10層 7.5YR3/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、7.5YR2/1(黒)が 3%、焼土が 10%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。細粒土。
11層 7.5YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、7.5YR2/1(黒)が 2%、焼土が 1%混じる。固くしまる。細粒土。
12層 5YR3/4(暗赤褐)に 7.5YR3/4(暗褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が 7%、7.5YR2/1(黒)が 1%、焼土が 5%混じる。固くしまる。細粒土。
13層 10YR5/6(黄褐)に 7.5YR3/2(黒褐)がブロック状に 5%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
14層 7.5YR3/4(暗褐)に 7.5YR3/2(黒褐)が 7%、7.5YR2/1(黒褐)が 3%、焼土が 3%、炭化物が 1%混じる。固くしまる。細粒土。
15層 7.5YR3/2(黒褐)に 10YR4/4(褐)がブロック状に 30%、焼土が 1%混じる。固くしまる。10YR4/4(褐)は非常に固い。細粒土。
16層 10YR4/4(褐)。親指大のブロック状に 7.5YR2/2(黒褐)が 7%混じる。10YR4/4 は非常に固いが、全体がボロボロとして、簡単に掘れる。
17層 支石掘り方。
地山① 10YR5/6(黄褐)。非常に固くしまる。細粒土。
地山② 10YR5/6(黄褐)。非常に固くしまる。細粒土。



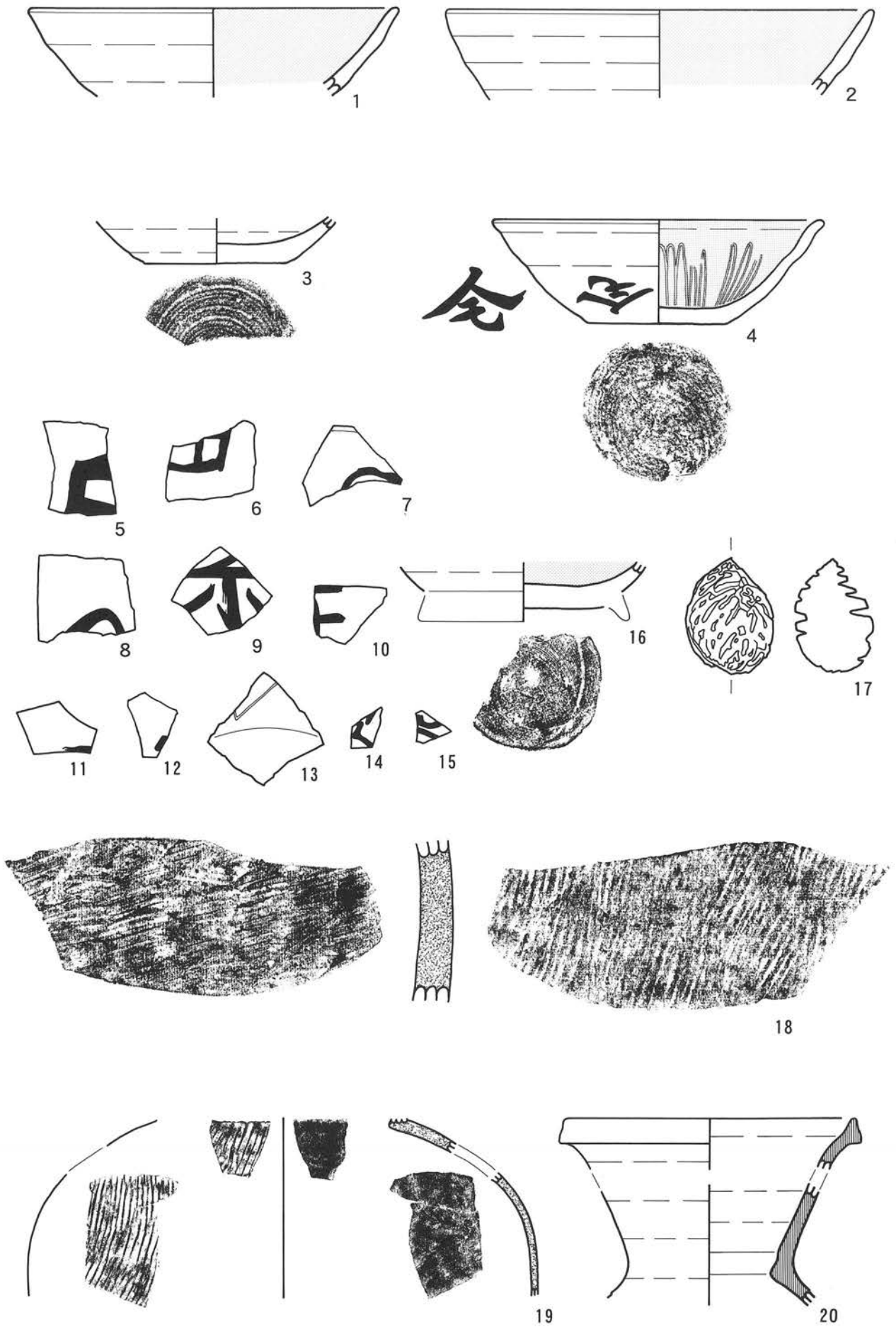
第27図　7号住居カマド (1/20)



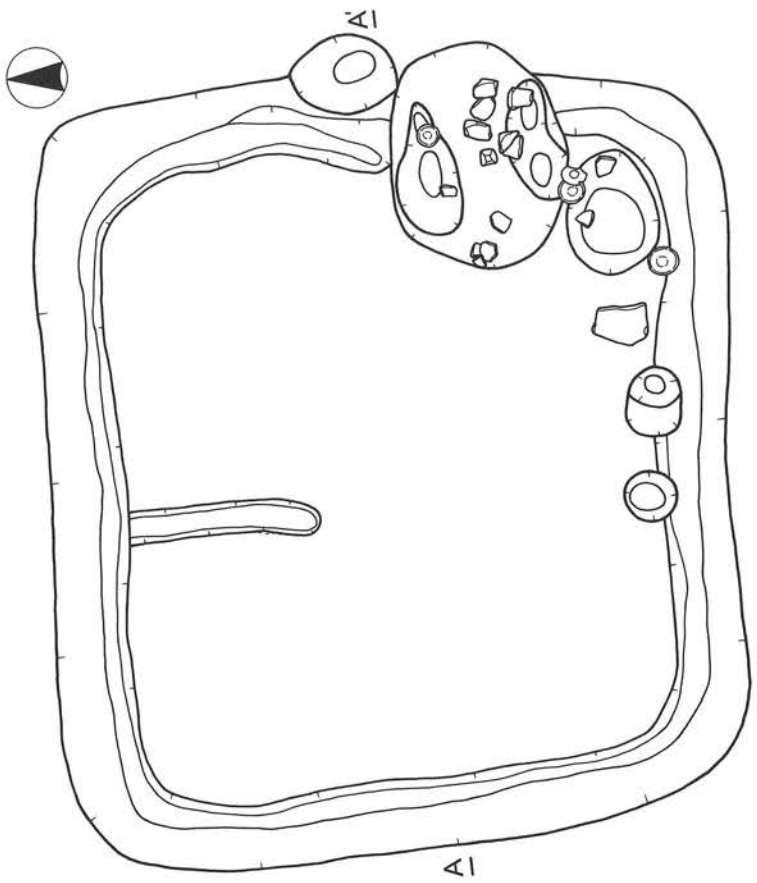
第28図　7号住居出土遺物（1/2）



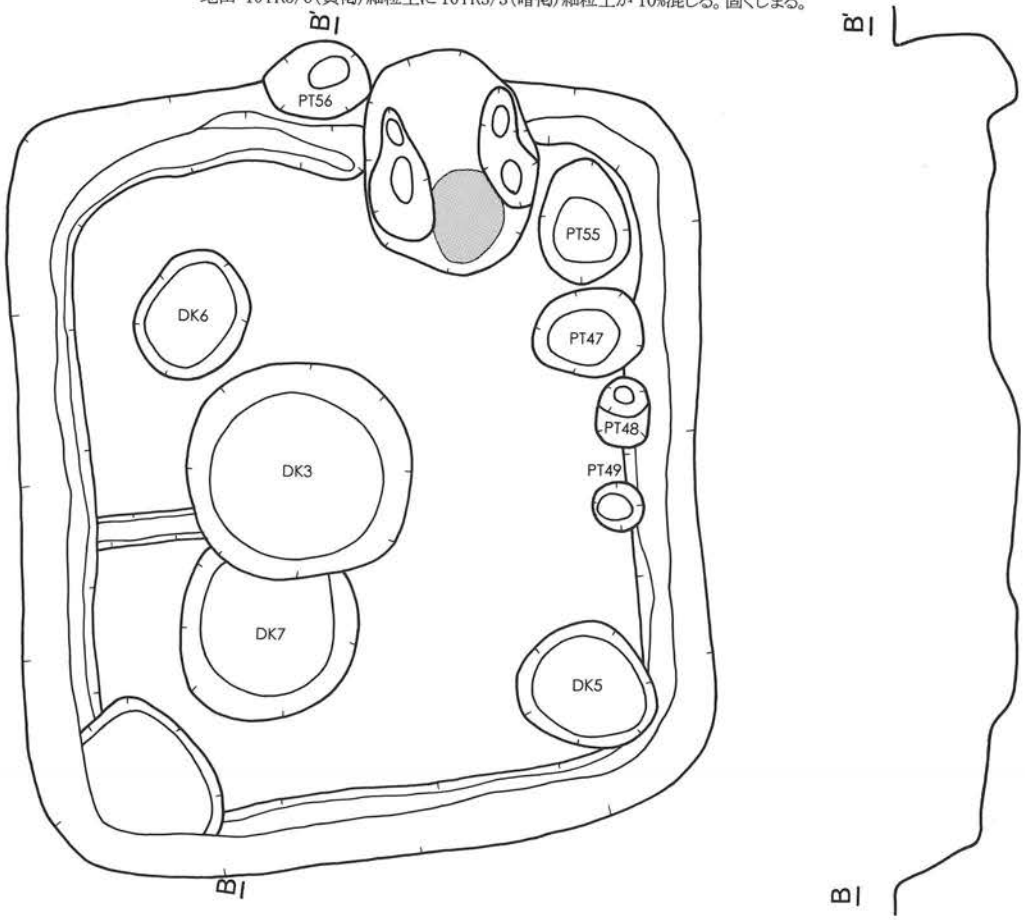
第29図　7号住居出土遺物（1/2、3～8 1/4）



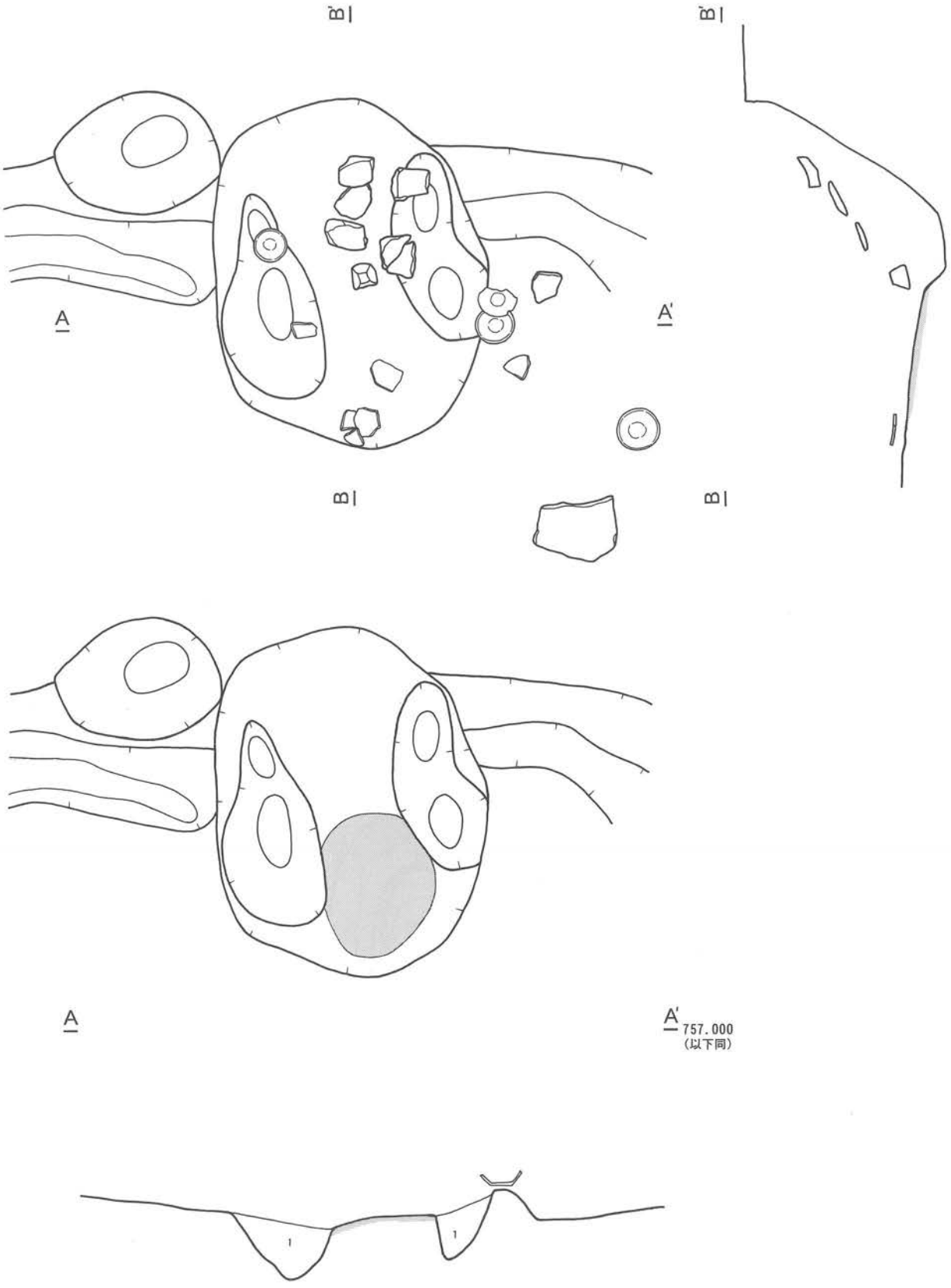
第30図　7号住居出土遺物（1/2、17 1/1、19 1/4）



1層 焼土。
2層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。
3層 10YR2/3(黒褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 20%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。
4層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 3%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。
5層 10YR2/2(黒褐)細粒土に炭化物が 1%未満混じる。しまる。
6層 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土ブロックが 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。
床面 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 10%混じる。非常に固い。
地山 10YR5/6(黄褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 10%混じる。固くしまる。

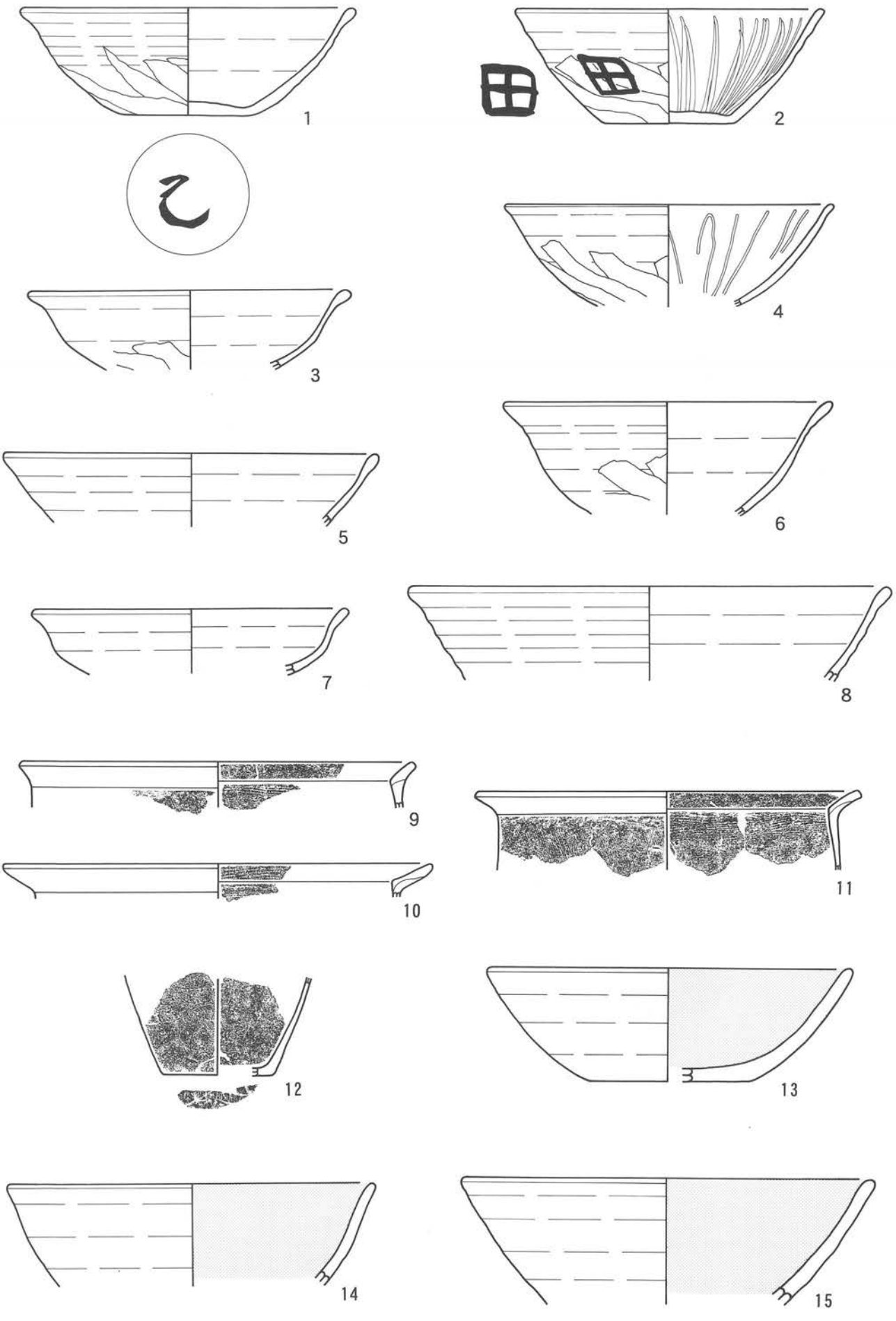


第31図　9号住居（1/40）

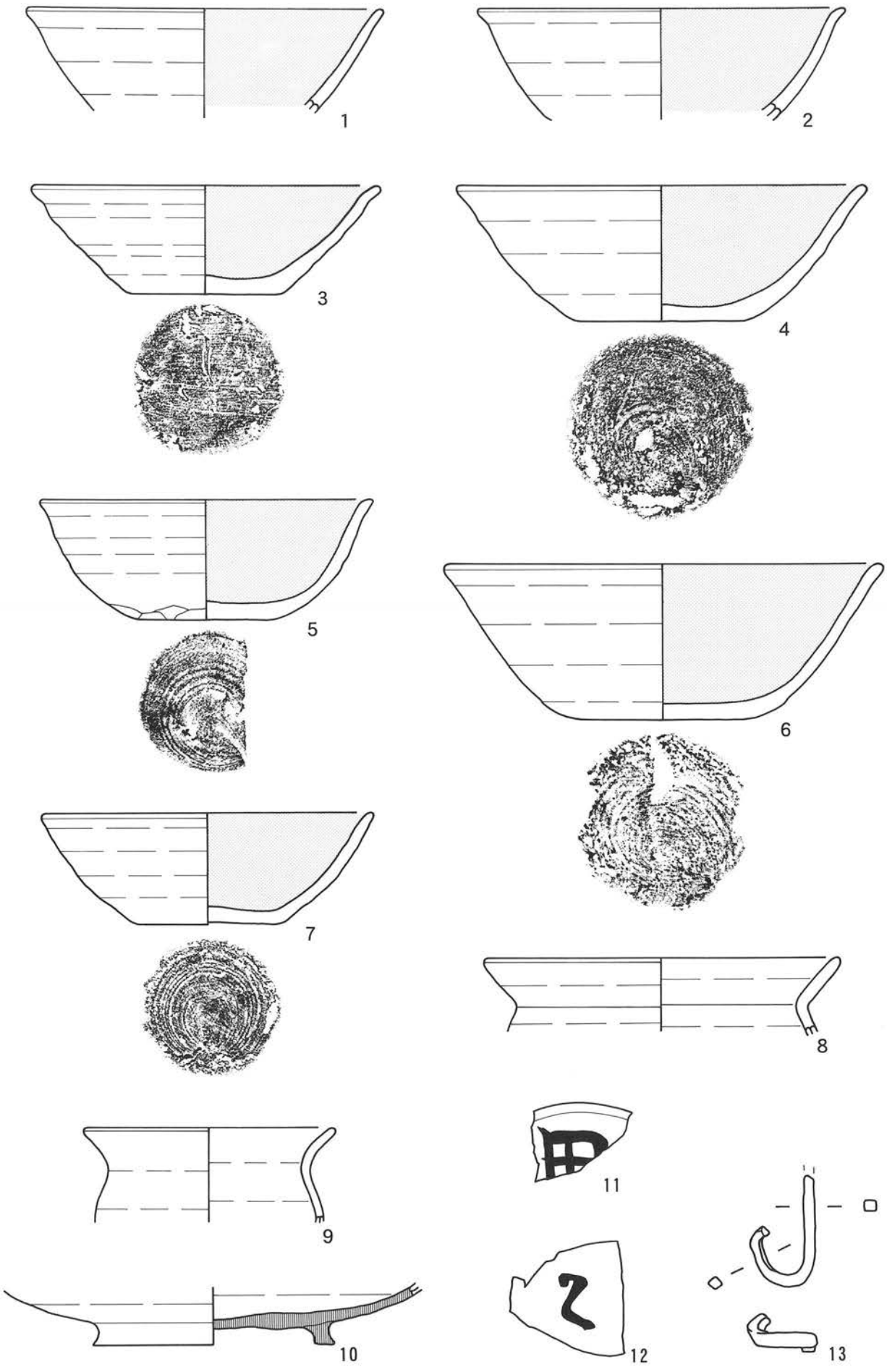


1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 20%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 40%混じる。小石状で固くしまる。シルト粒土。

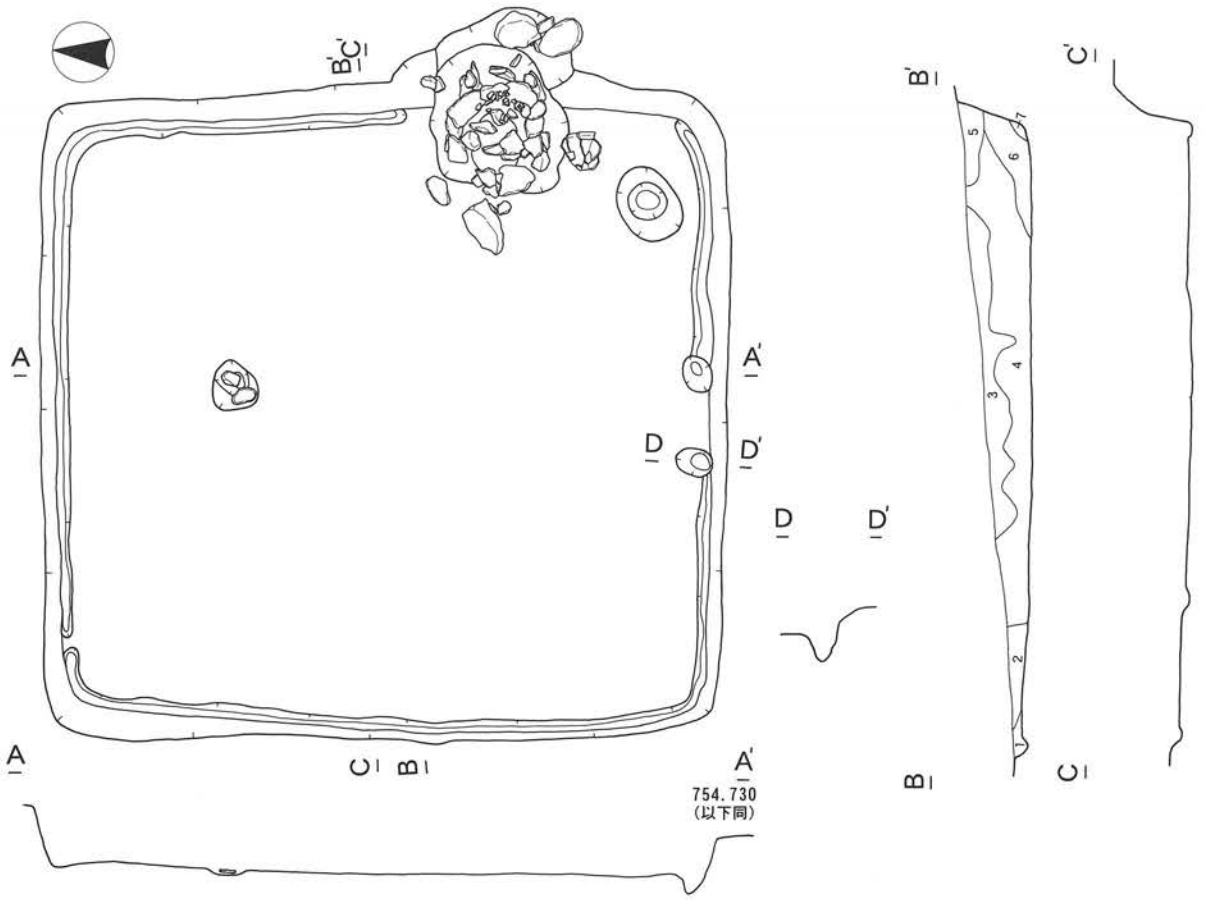
第32図　9号住居カマド（1/20）



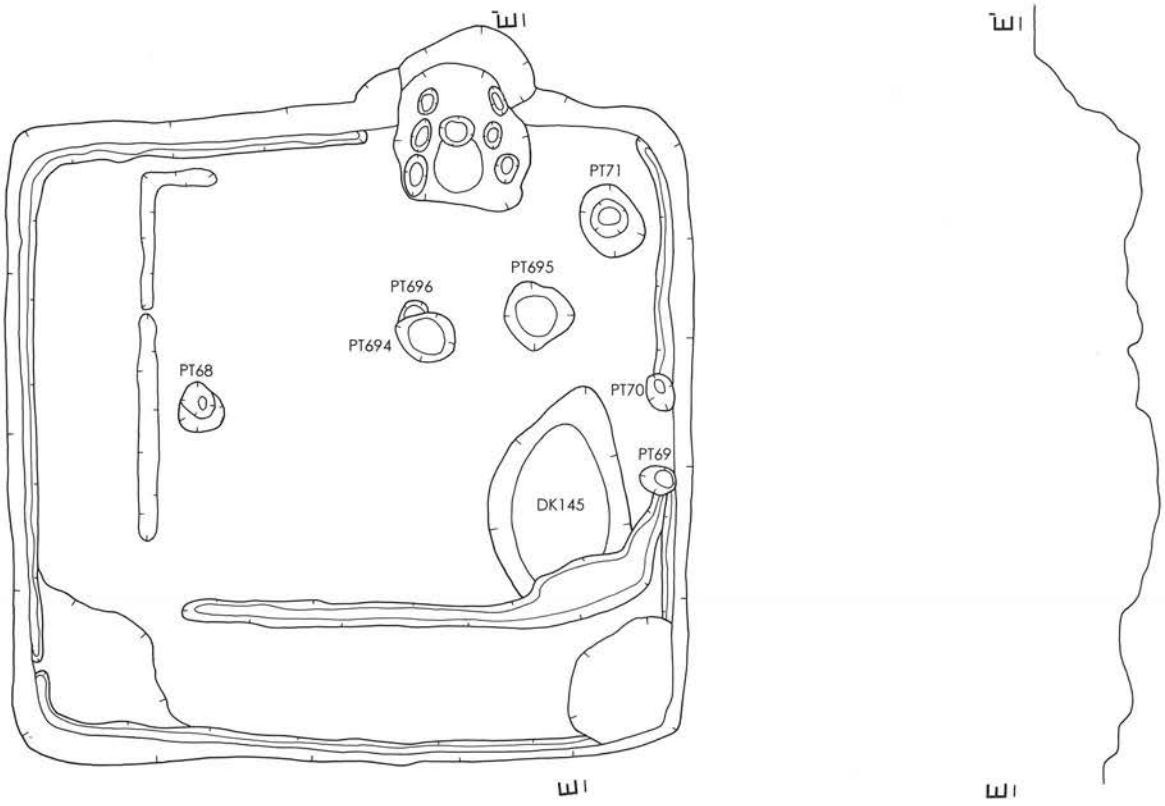
第33図　9号住居出土遺物（1/2、9～12 1/4）



第34図　9号住居出土遺物（1/2）

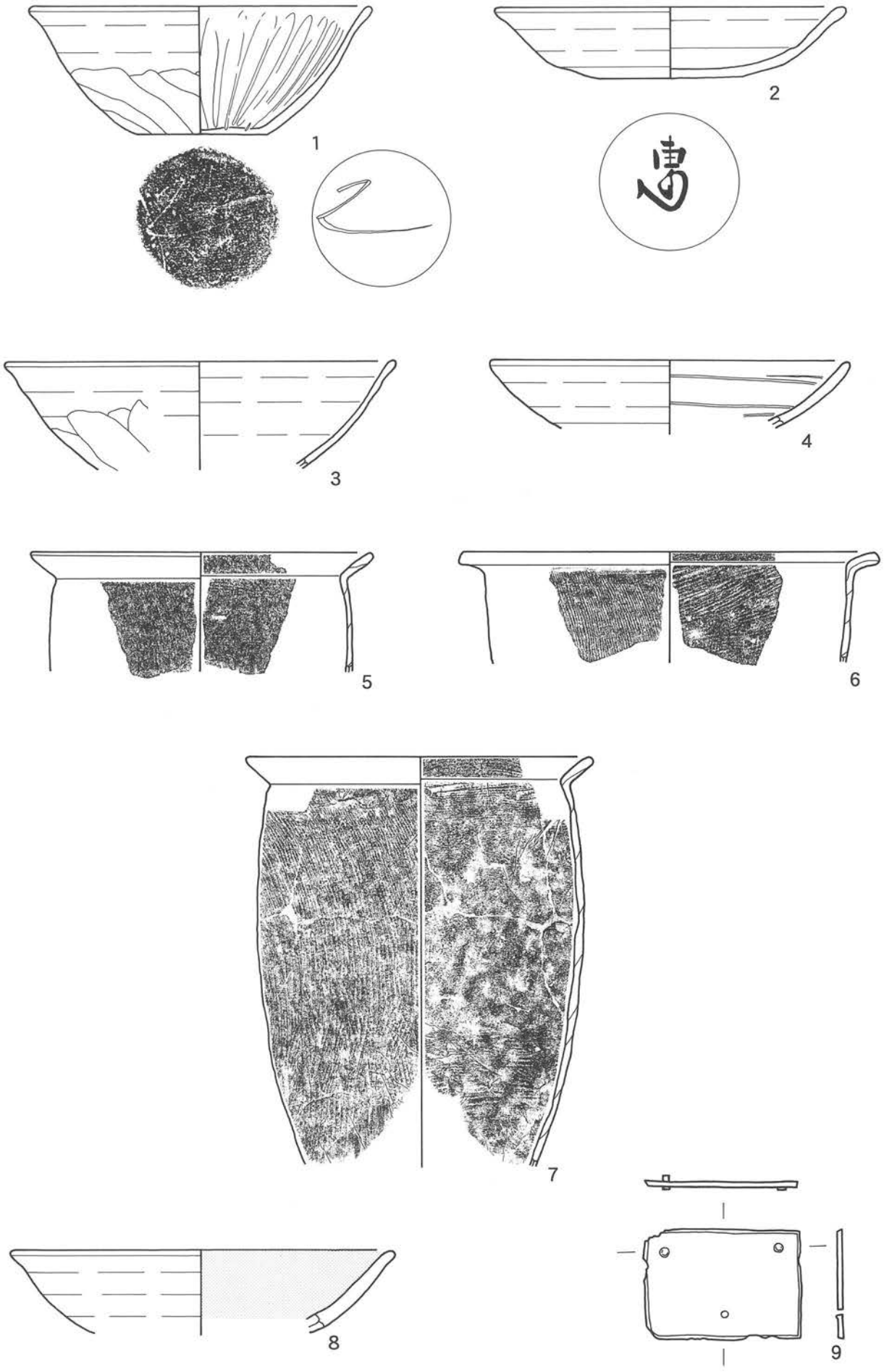


1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 30%、10YR4/6(褐)の粒子が 5%、炭化物が 2%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、10YR4/6(褐)の粒子が 10%、炭化物が 2%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、10YR4/6 が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 20%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 30%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 40%混じる。しまる。シルト粒土。

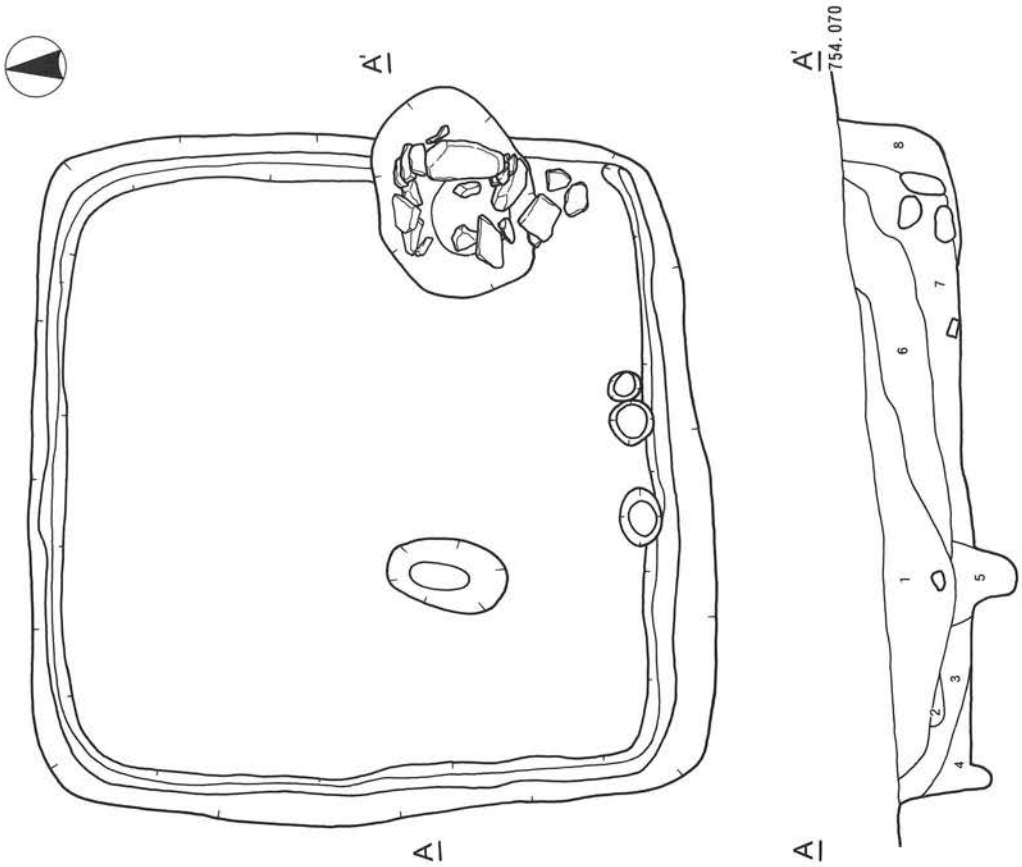


第35図　13号住居（1/60）

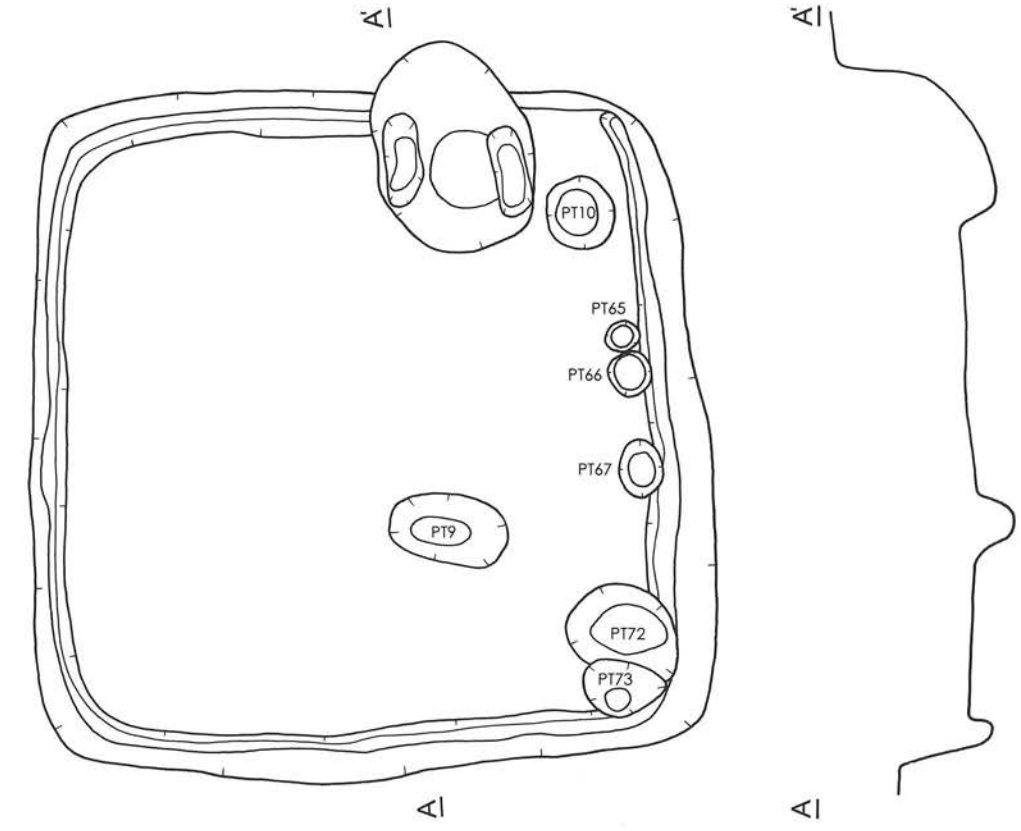
第36図　13号住居カマド（1/20）



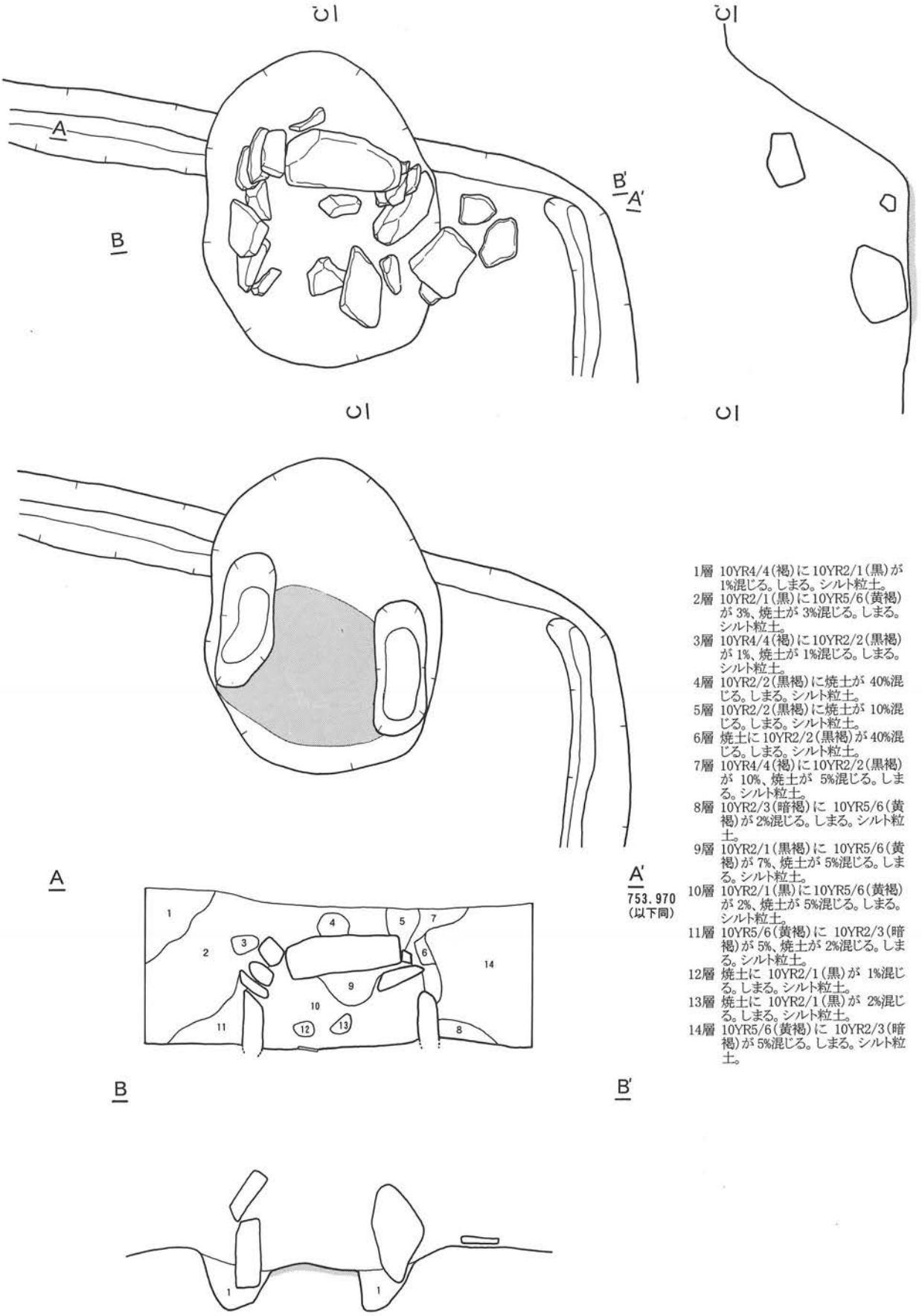
第37図　13号住居出土遺物（1/2、5～7 1/4、9 1/1）



1層 10YR3/3(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土が 2%、炭化物が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/1(黒)に 10YR4/4(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR3/3(暗褐)が 3%、炭化物が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、10YR3/3(暗褐)が 3%、炭化物が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、焼土が 2%、炭化物が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 (カマド)10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。固くしまる。粘りのある土。



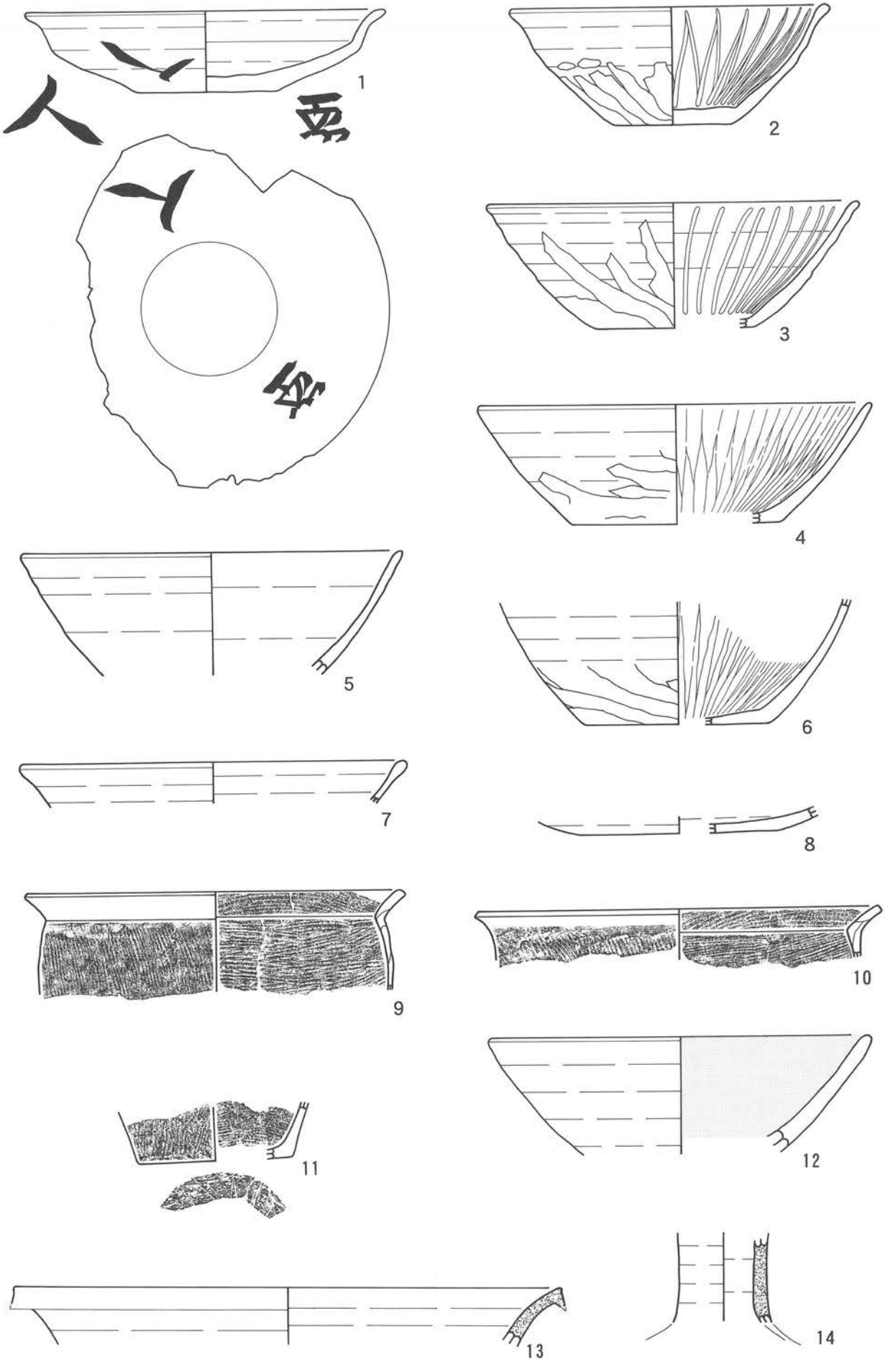
第38図　14号住居（1/40）



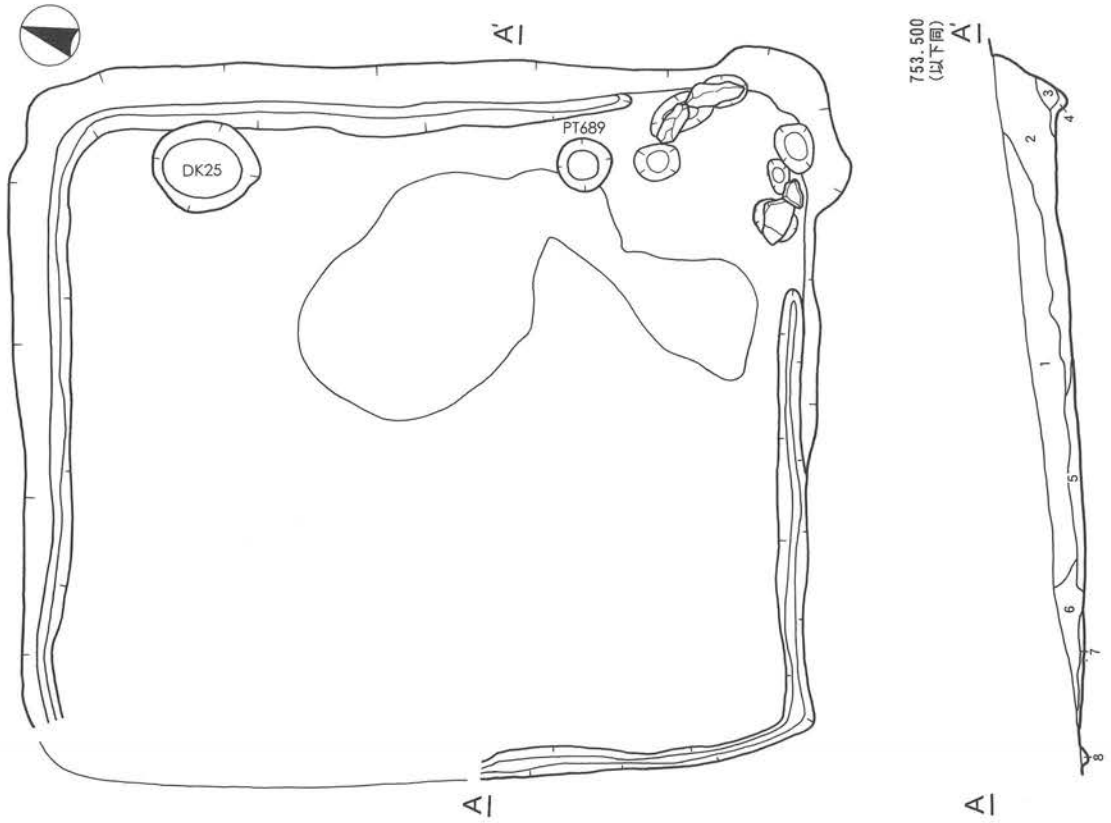
1層 10YR4/4(褐)に 10YR2/1(黒)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に焼土が 40%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 焼土に 10YR2/2(黒褐)が 40%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/1(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR2/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(暗褐)が 5%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 焼土に 10YR2/1(黒)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 焼土に 10YR2/1(黒)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(暗褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。

1層 10YR2/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)。小石状に焼き固まった土。

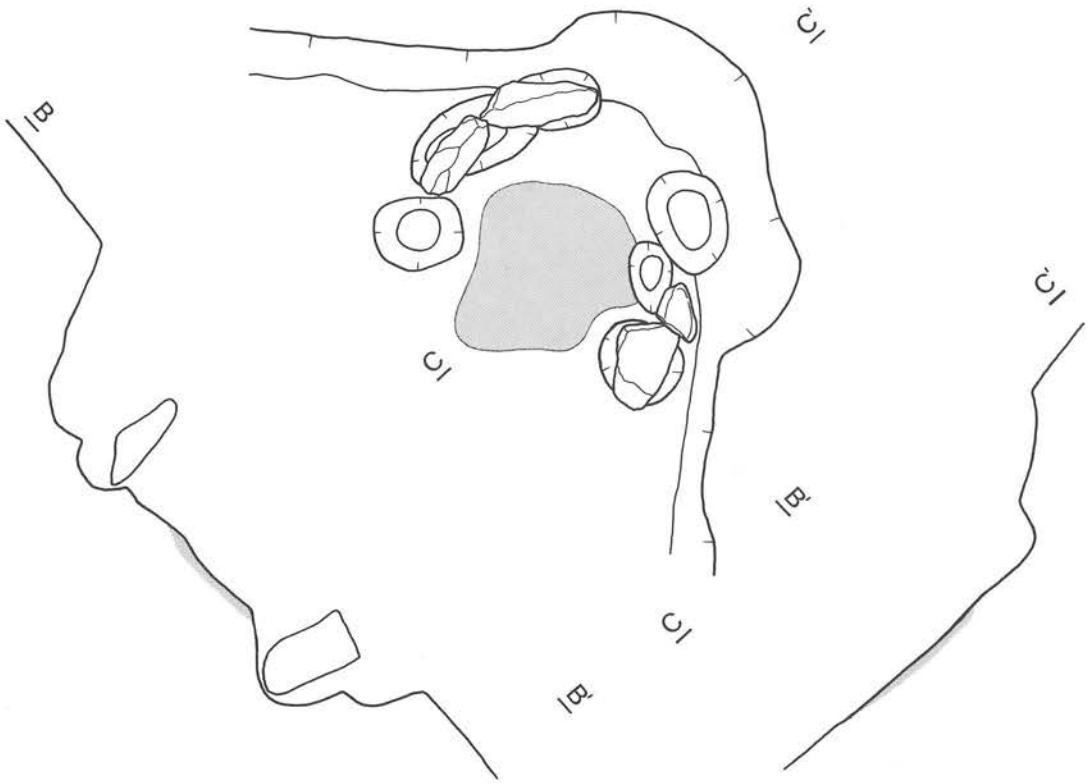
第39図　14号住居カマド（1/20）



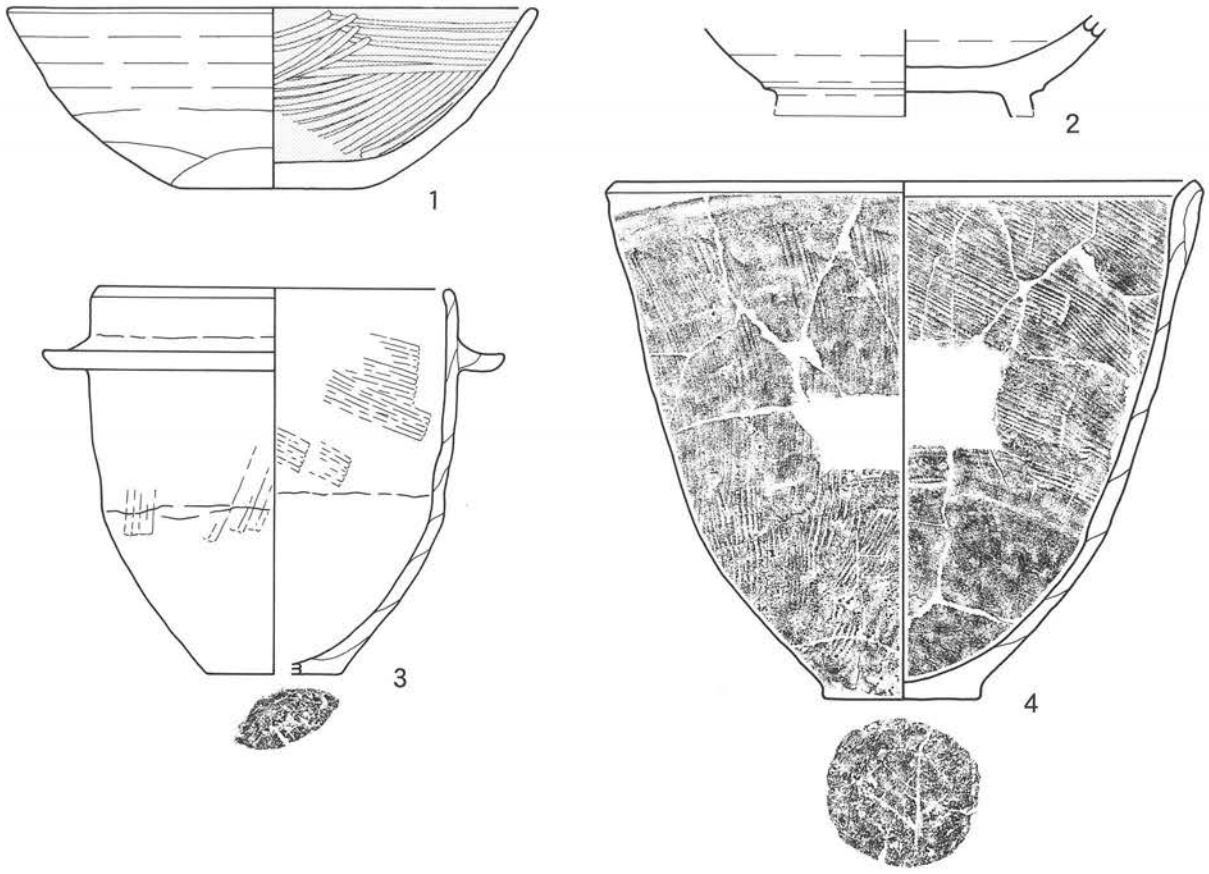
第40図　14号住居出土遺物（1/2、9～11 1/4）

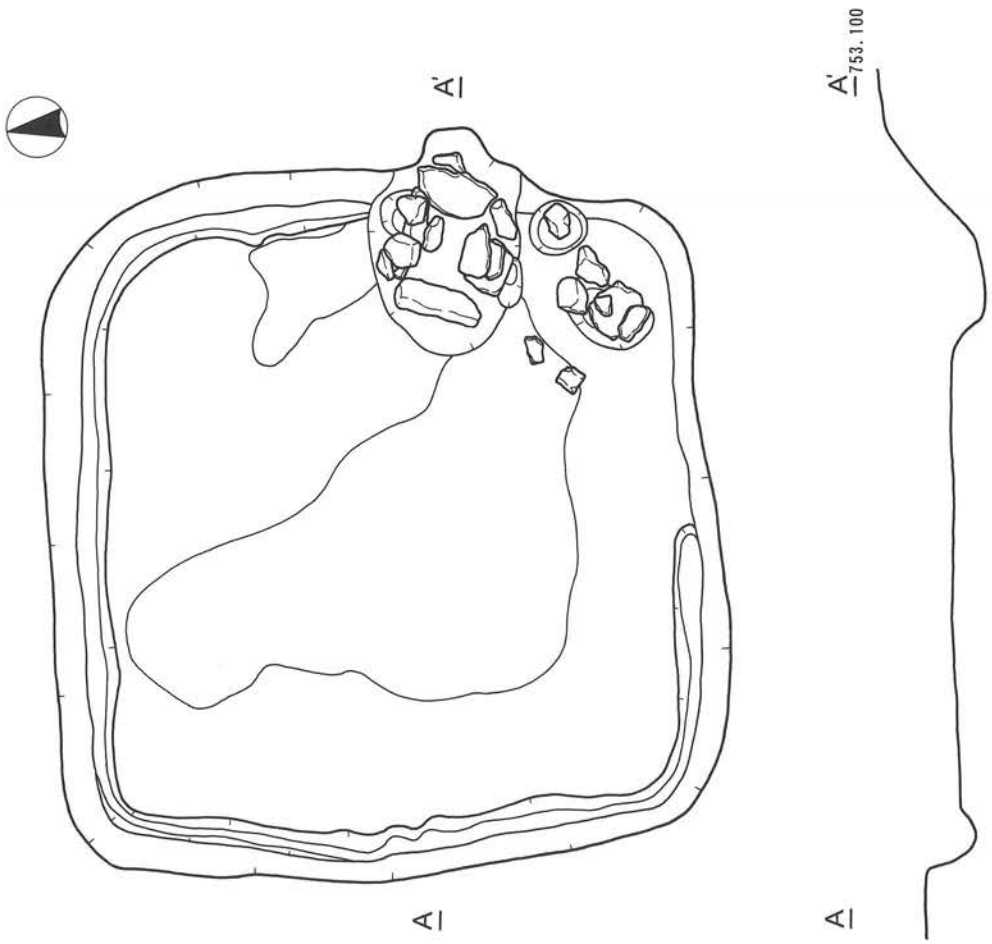


1層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/6(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。

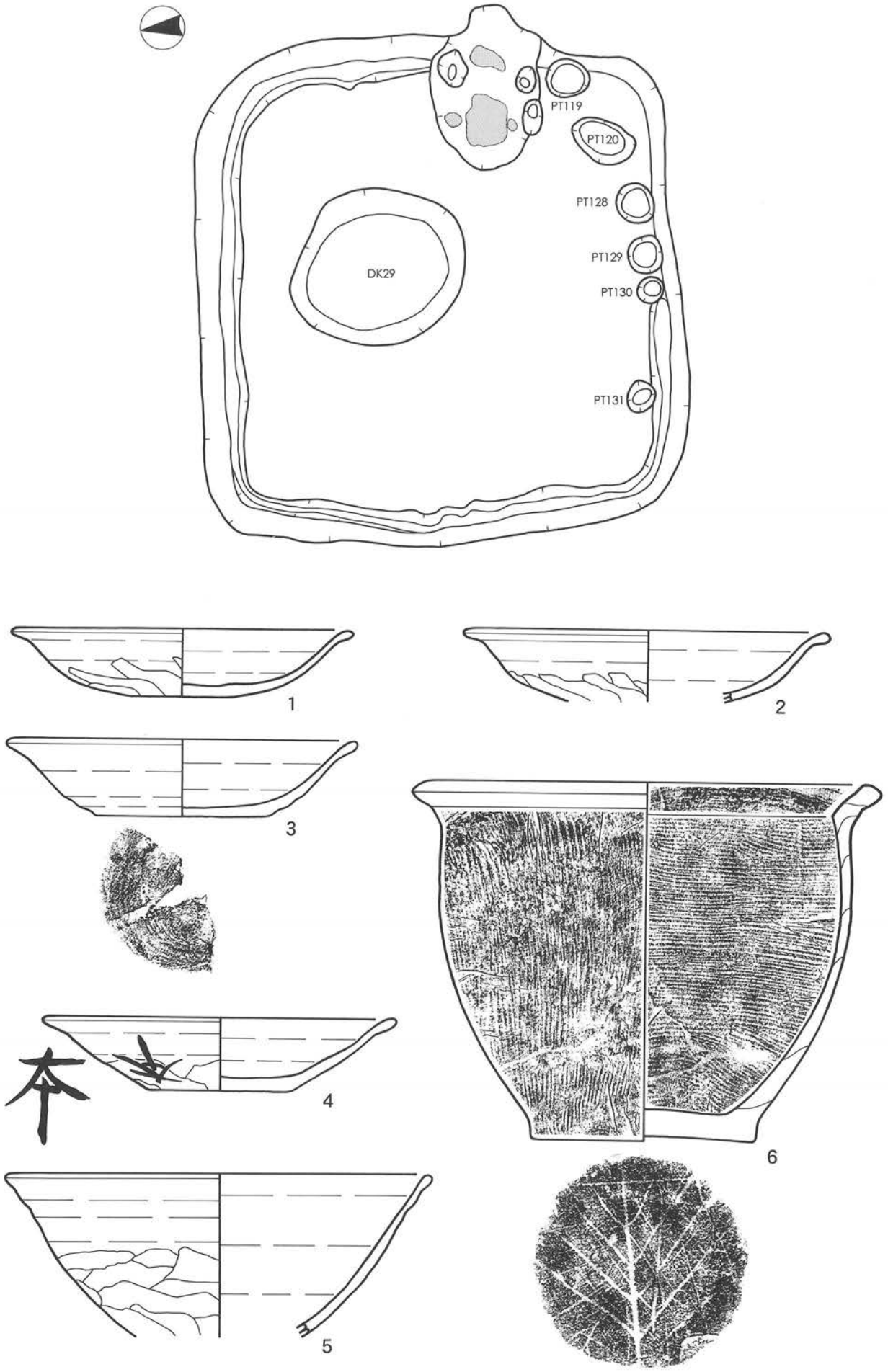


第41図　15号住居（1/40）　15号住居カマド（1/20）



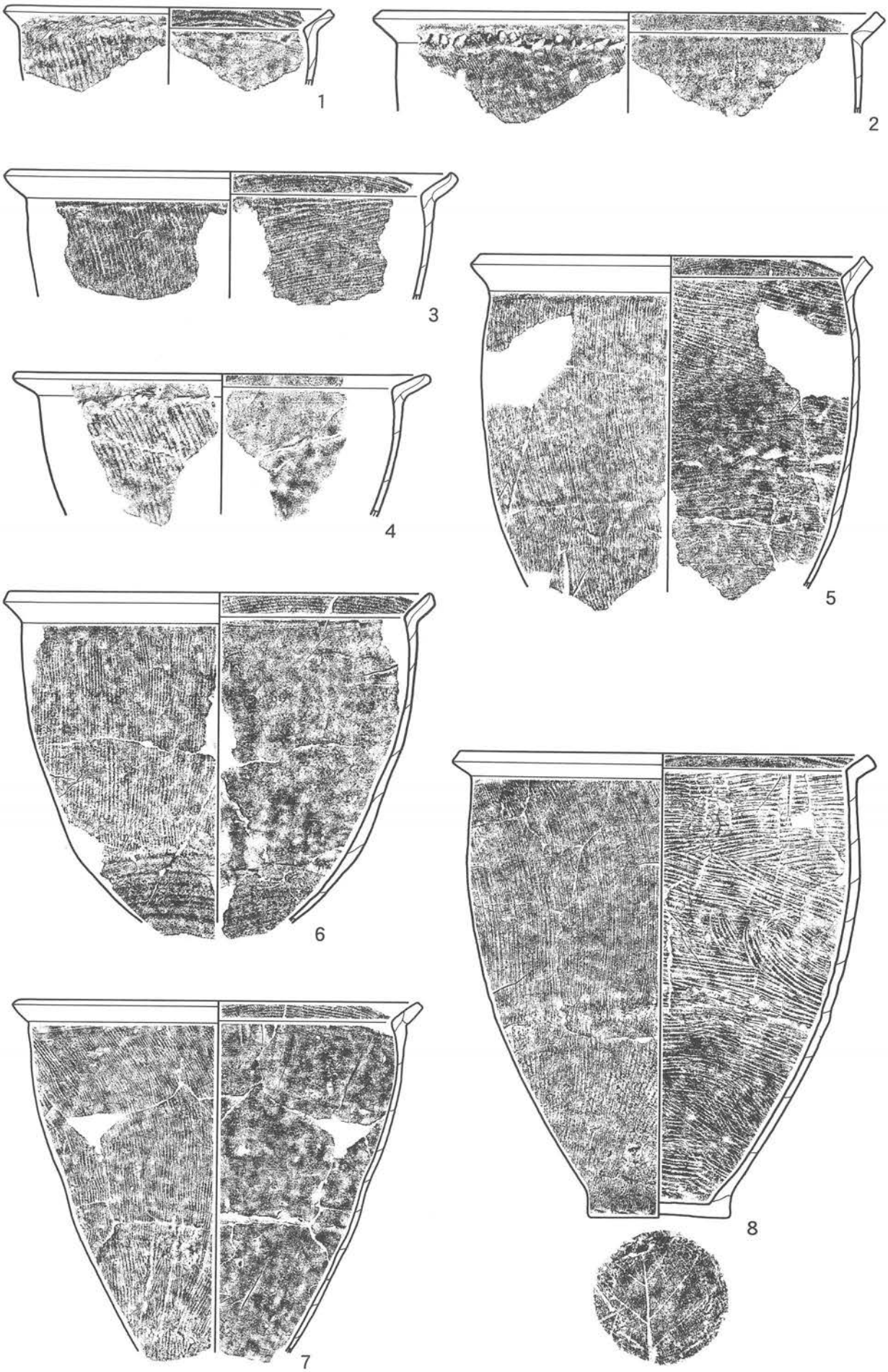


第42図　15号住居出土遺物（1/2、3・4 1/4）　16号住居（1/40）

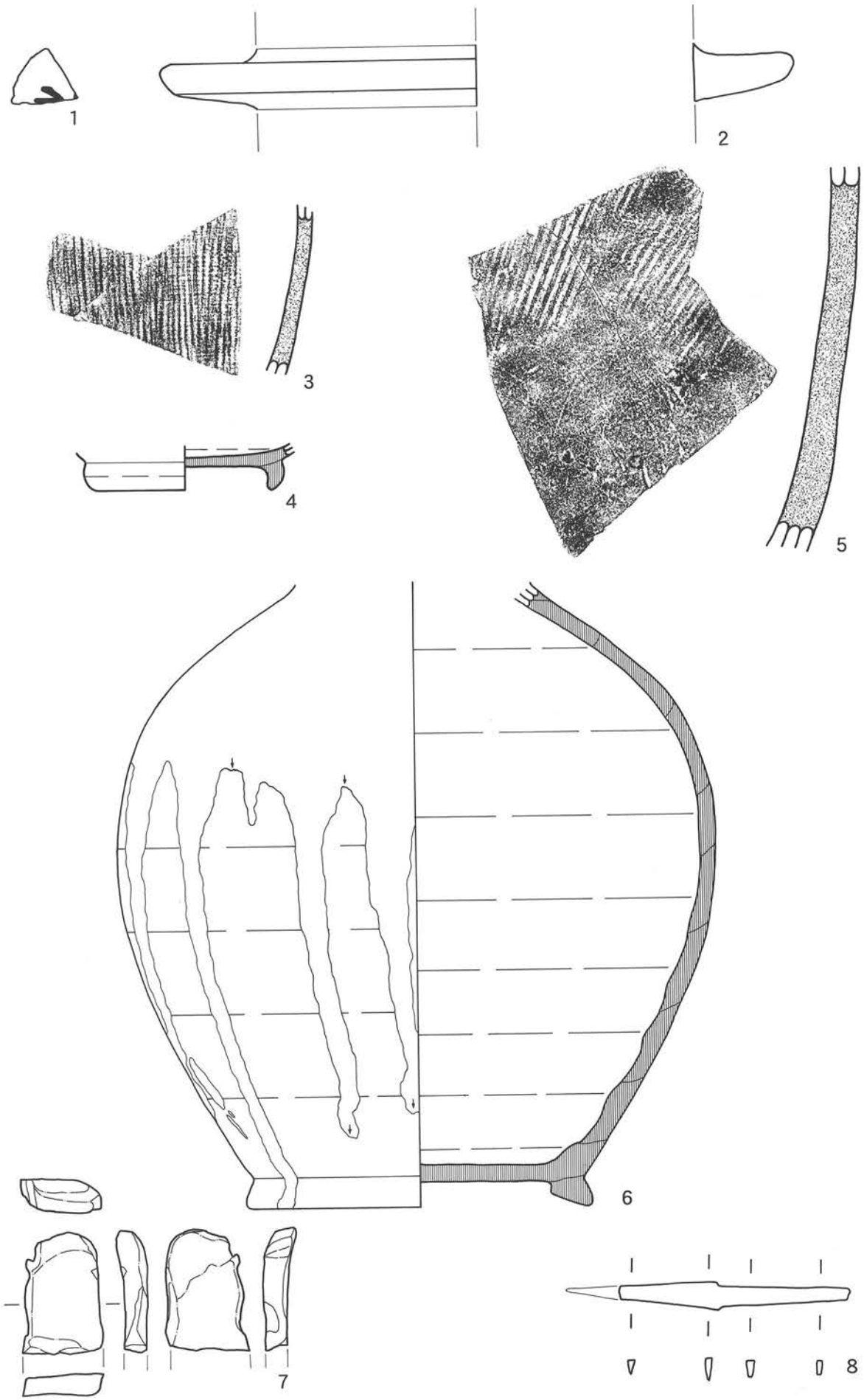


第43図　16号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

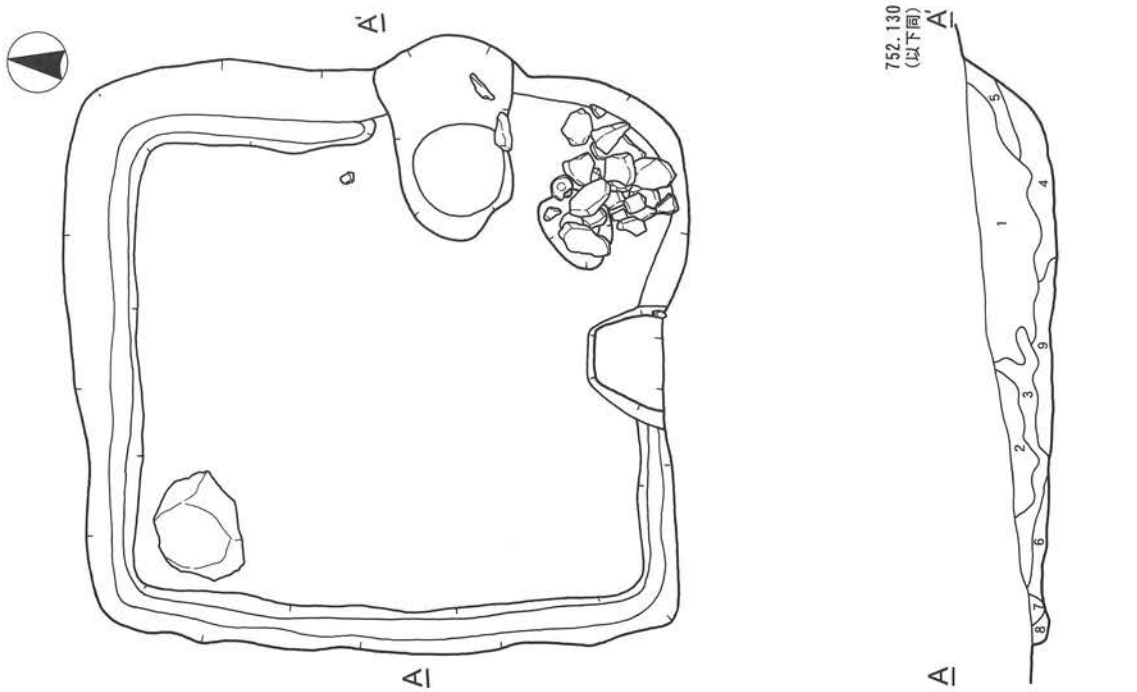
第44図　16号住居カマド（1/20）



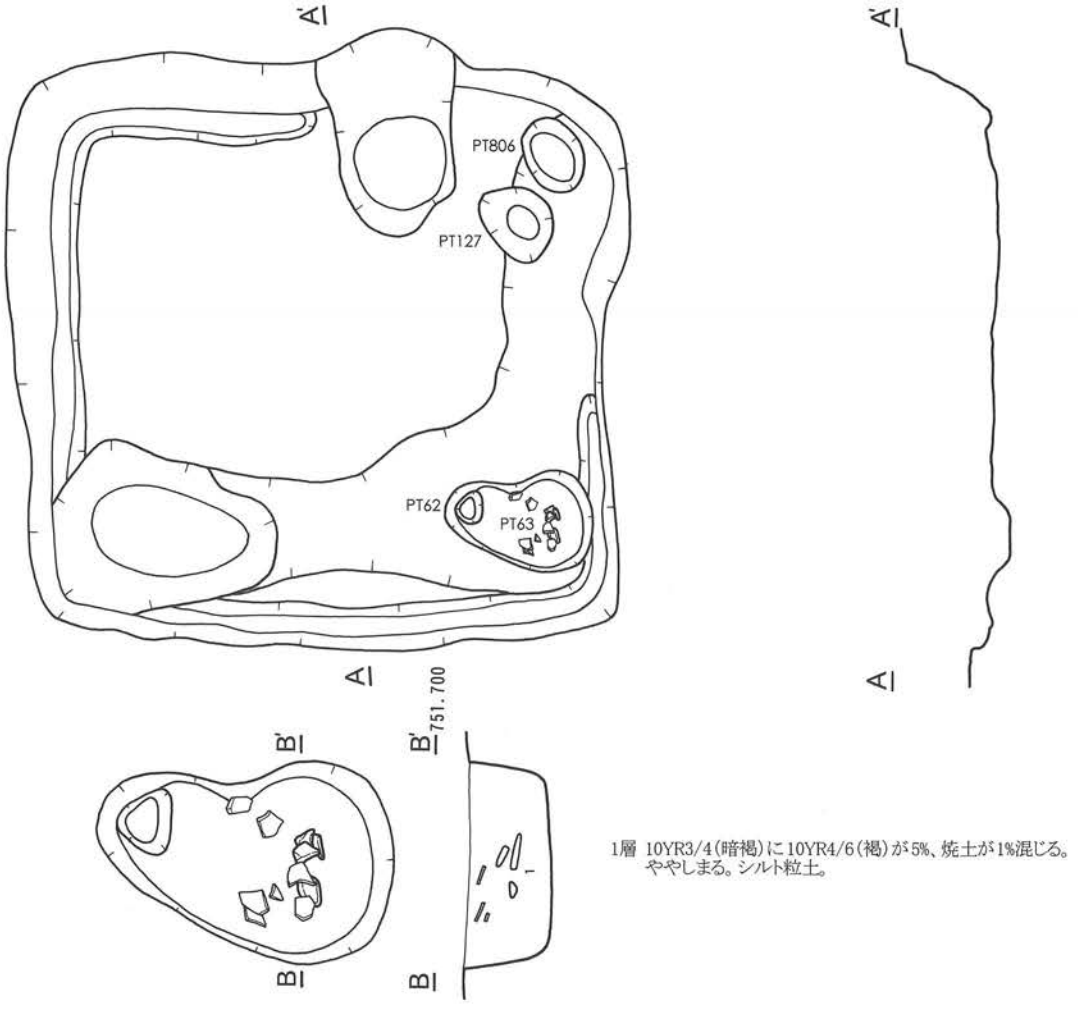
第45図　16号住居出土遺物（1/4）



第46図　16号住居出土遺物（1/2）

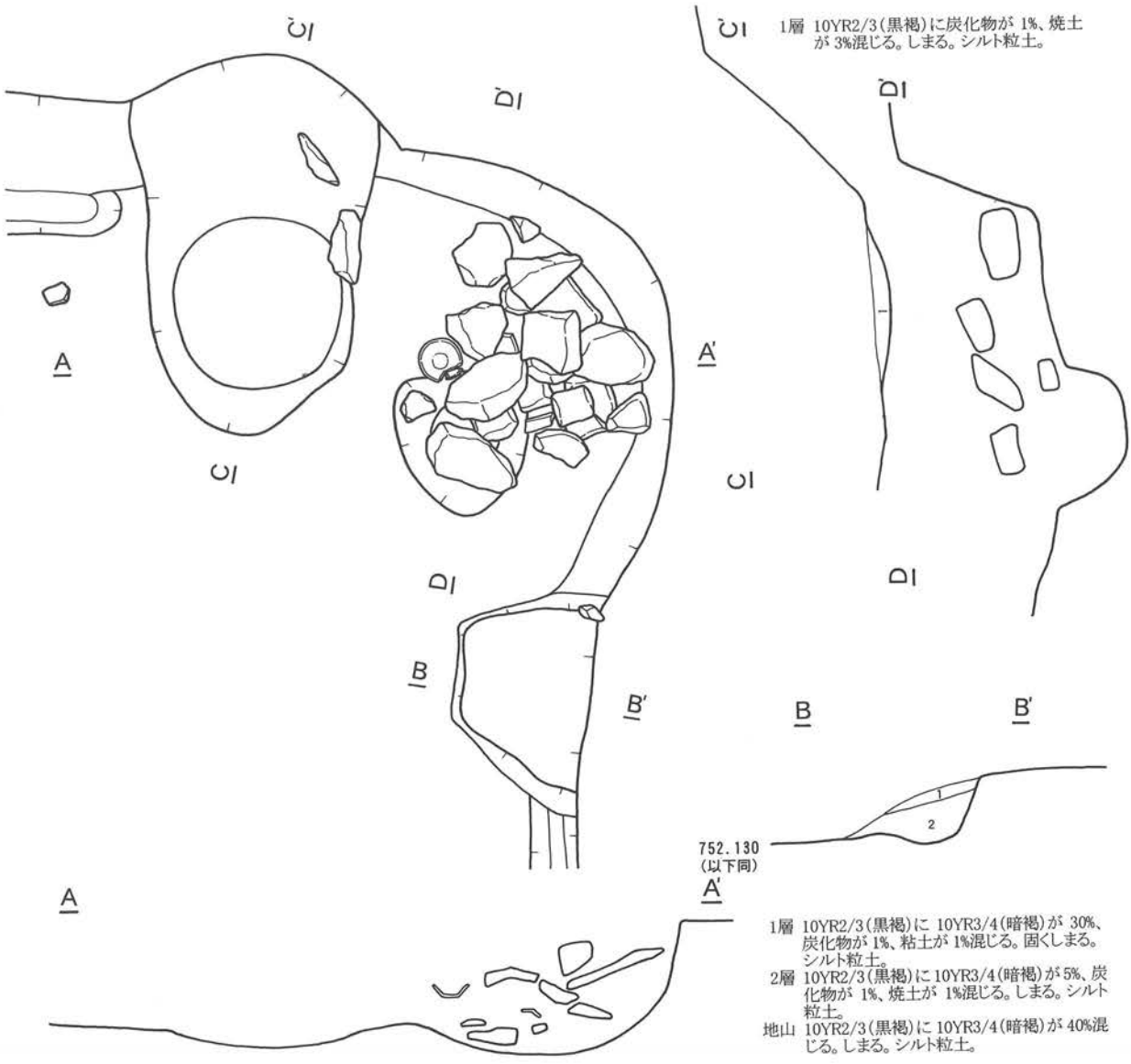


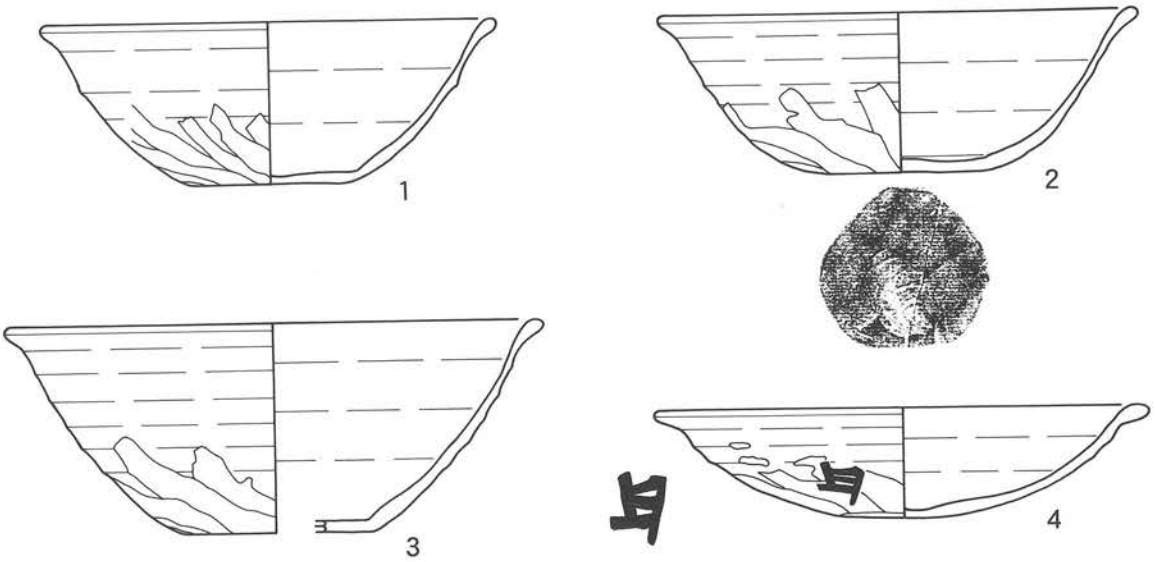
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%未満。炭化物・焼土がブロック状に 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)がブロック状に 1%未満、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)がブロック状に 1%未満、焼土・炭化物 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)がブロック状に 1%未満、焼土・炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%未満。炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%。焼土・炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%未満。炭化物・焼土がブロック状に 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)がブロック状に 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。



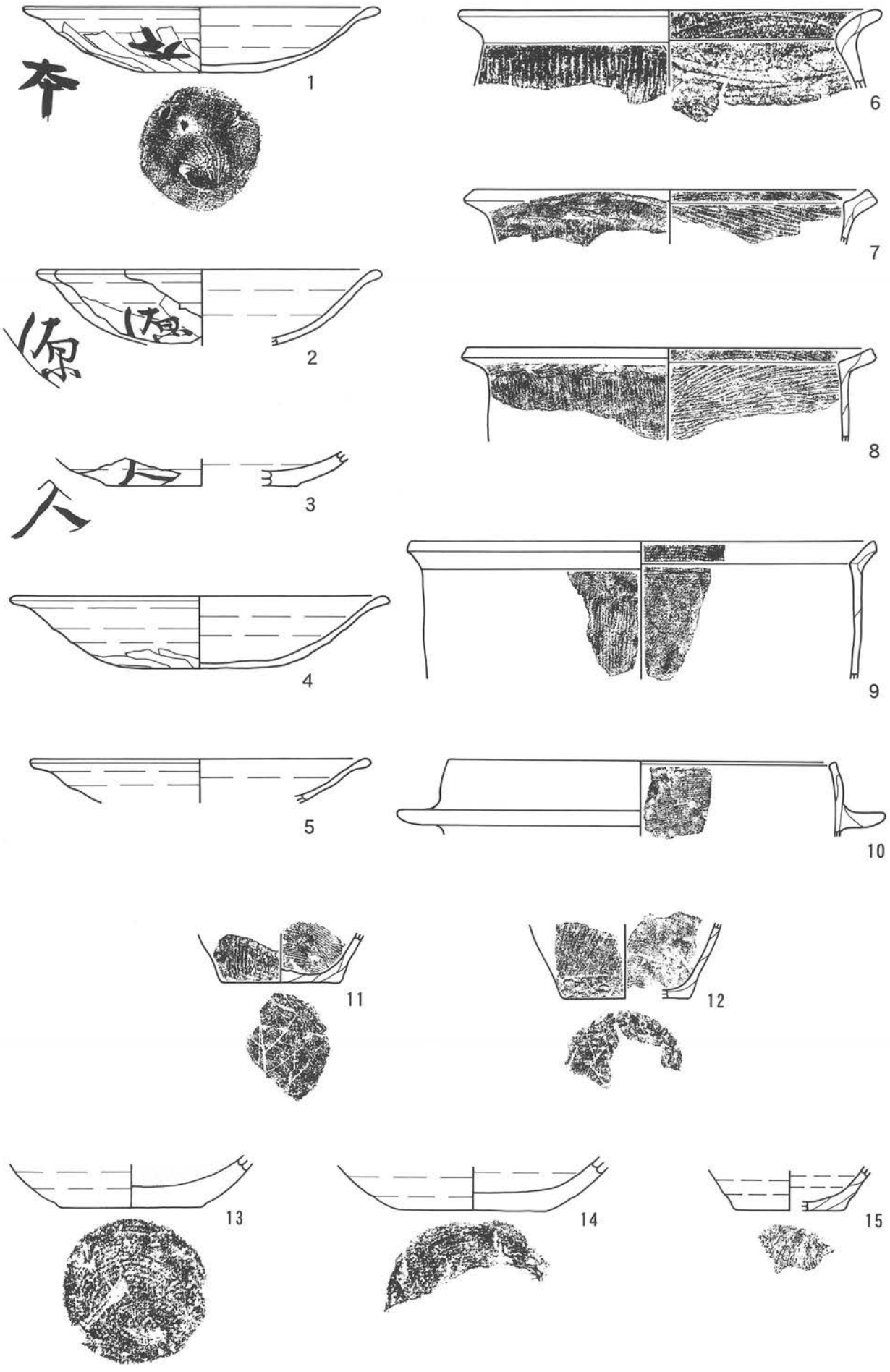
1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 5%、焼土が 1%混じる。
やや しまる。シルト粒土。

第47図　17号住居（1/40）　63号ピット（1/20）

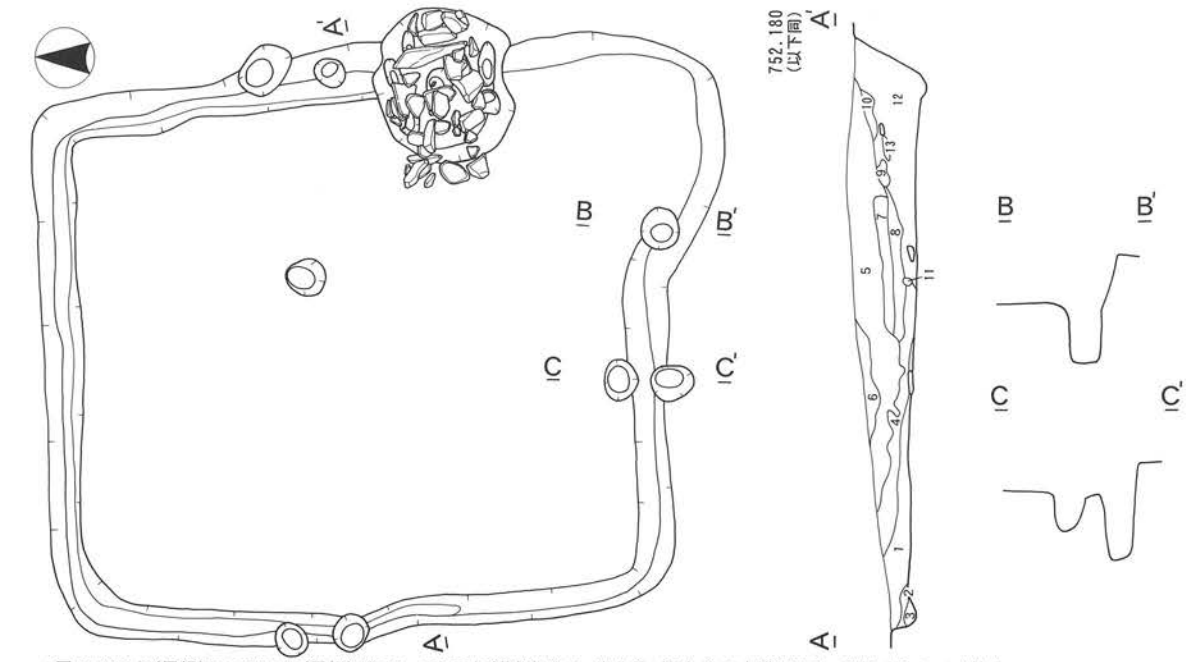




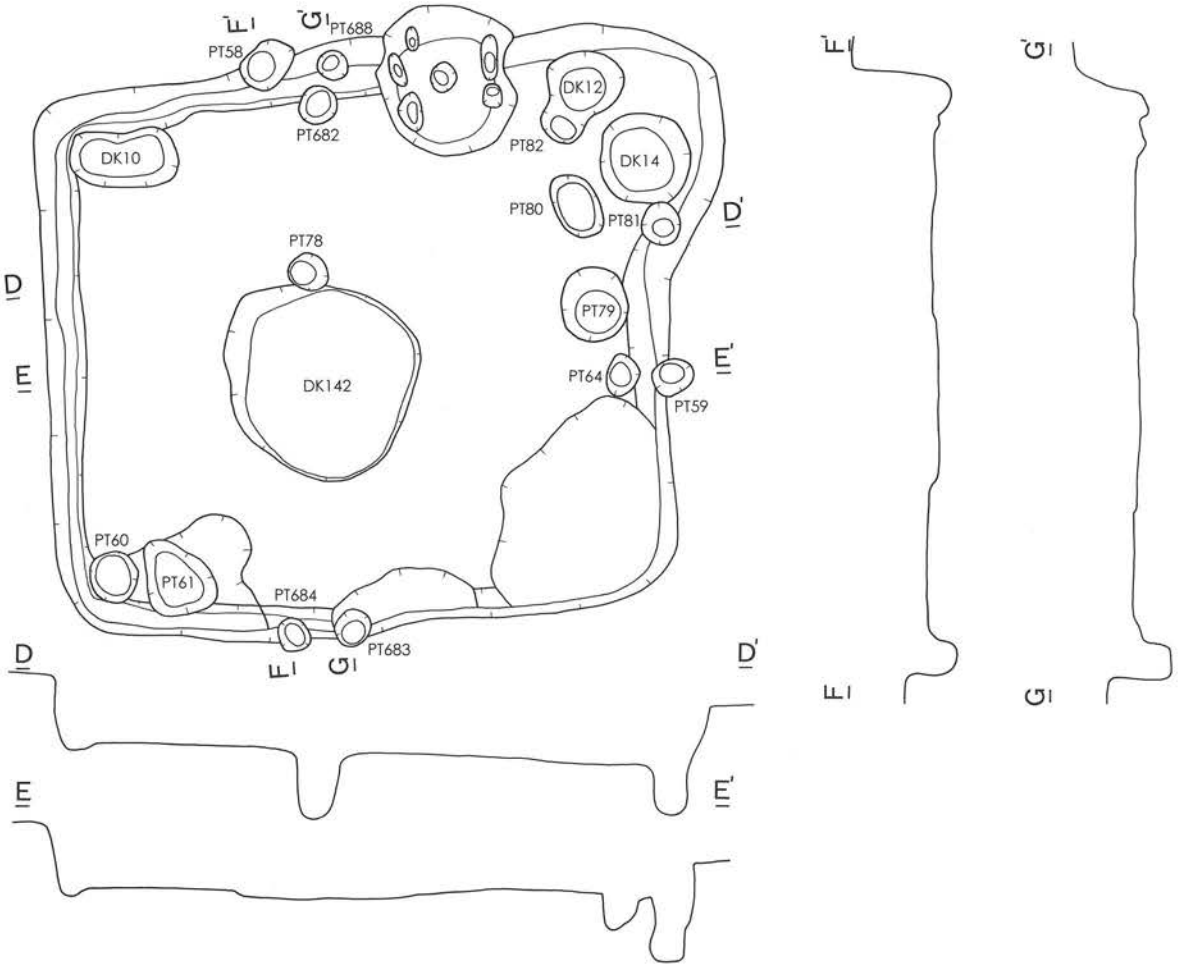
第48図　17号住居カマド（1/20）　17号住居出土遺物（1/2）



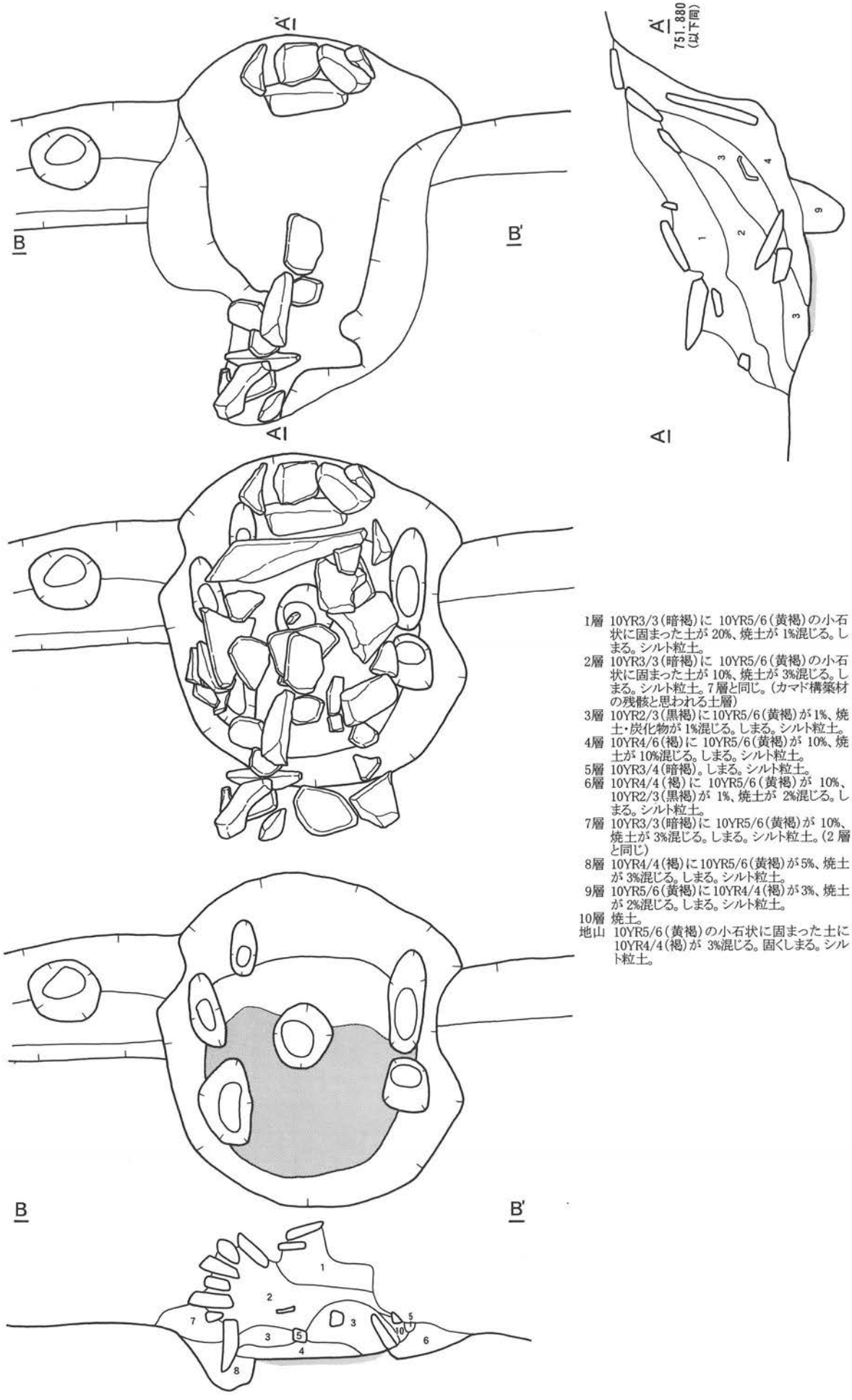
第49図　17号住居出土遺物（1/2、7～12・15　1/4）



1層 10YR2/3(黒褐)に10YR2/2(黒褐)が20%、10YR5/6(黄褐)が1%、炭化物・焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)がブロック状に1%、炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%、炭化物・焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が1%、炭化物・焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に10YR3/3(暗褐)が1%、炭化物・焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が10%、炭化物・焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物・焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/3(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2%、炭化物・焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)がブロック状に1%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR5/6(黄褐)に10YR3/2(黒褐)が20%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が1%、炭化物・焼土がブロック状に2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)がブロック状に2%、炭化物1%未満、焼土が2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に10YR2/3(黒褐)が2%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)に炭化物・焼土が1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。

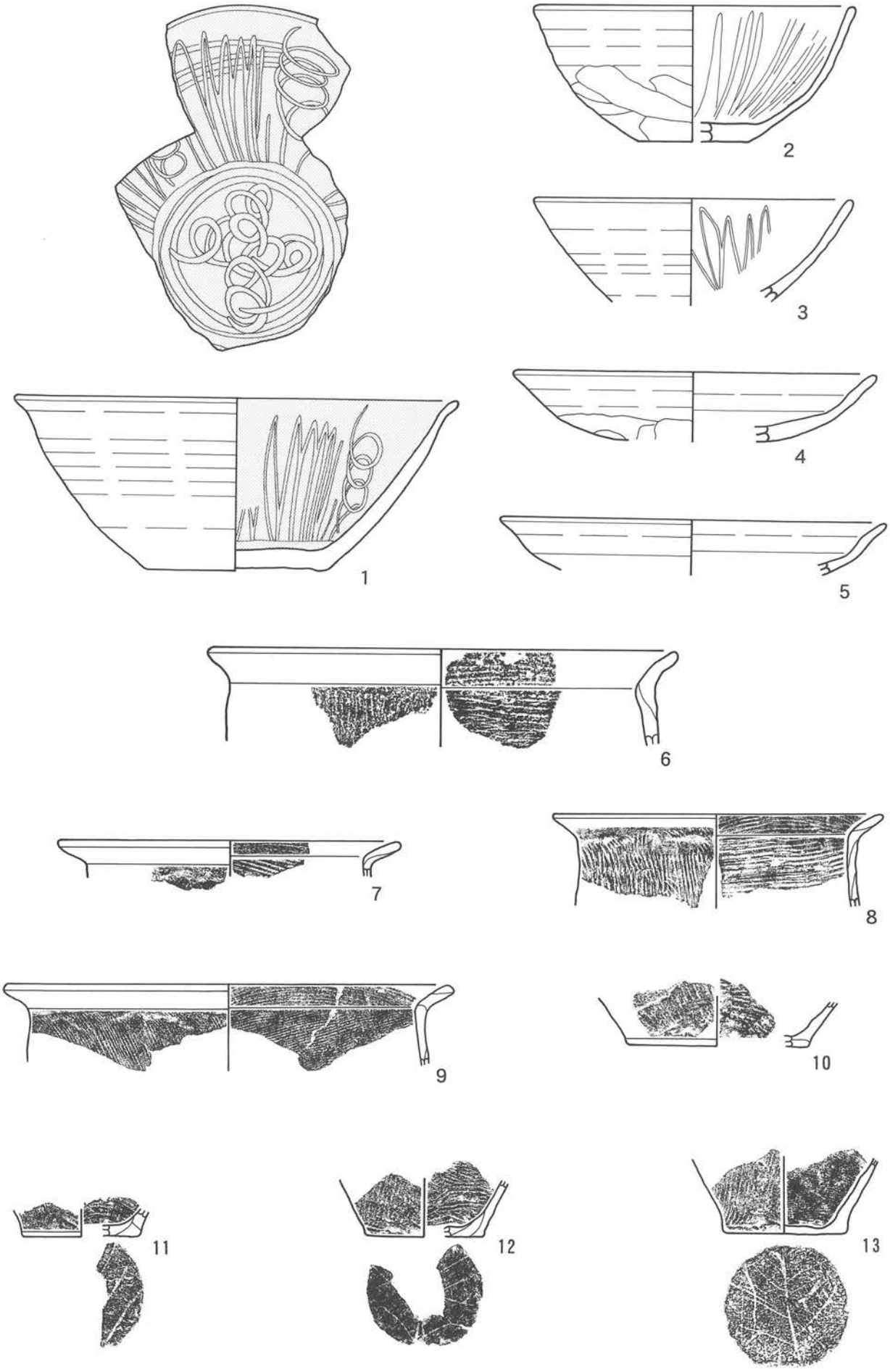


第50図　18号住居（1/60）

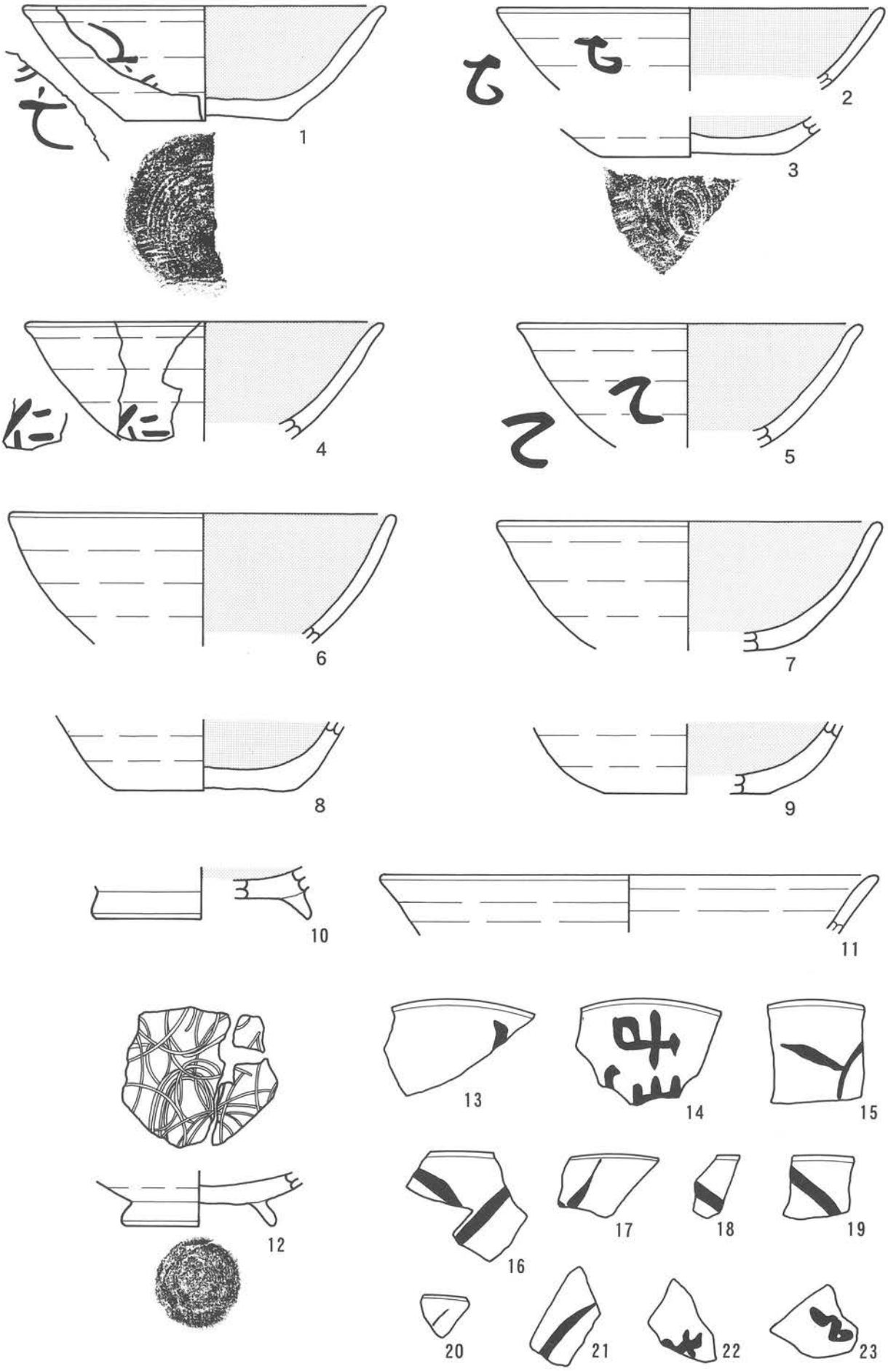


1層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)の小石状に固まった土が 20%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)の小石状に固まった土が 10%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。7層と同じ。(カマド構築材の残骸と思われる土層)
3層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が1%、焼土・炭化物が1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR4/6(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 1%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。(2層と同じ)
8層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR5/6(黄褐)に10YR4/4(褐)が3%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 焼土。
地山 10YR5/6(黄褐)の小石状に固まった土に10YR4/4(褐)が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。

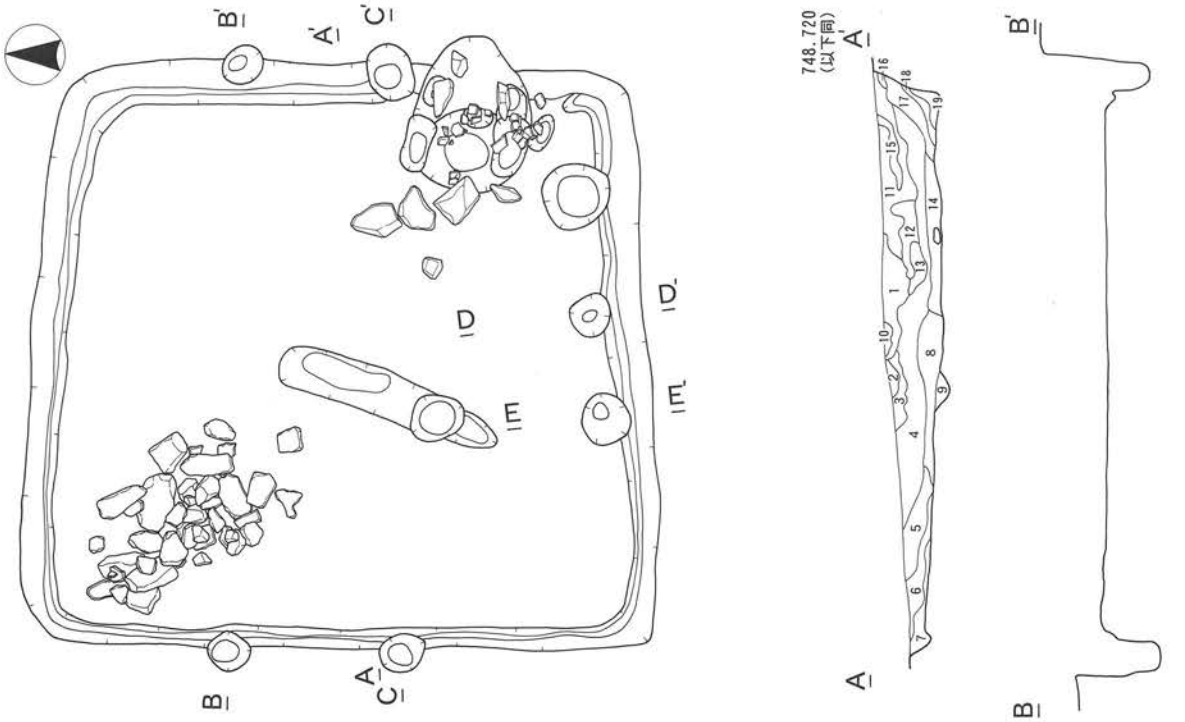
第51図　18号住居カマド（1/20）



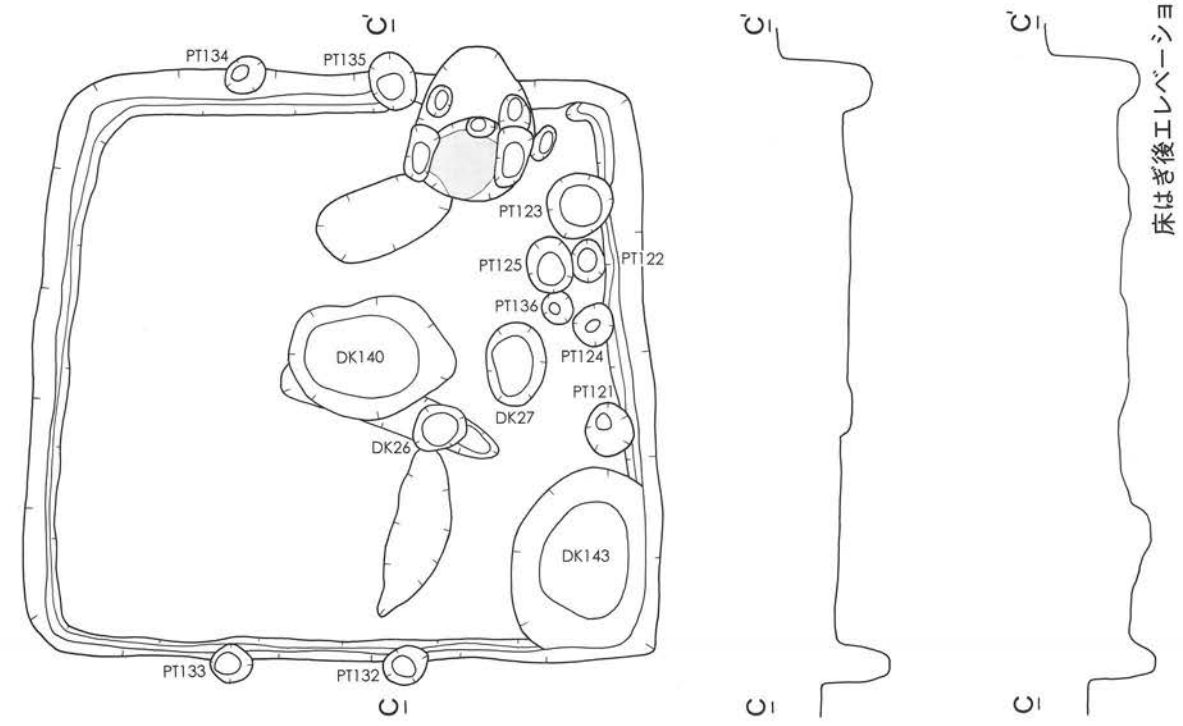
第52図　18号住居出土遺物（1/2、7～13 1/4）



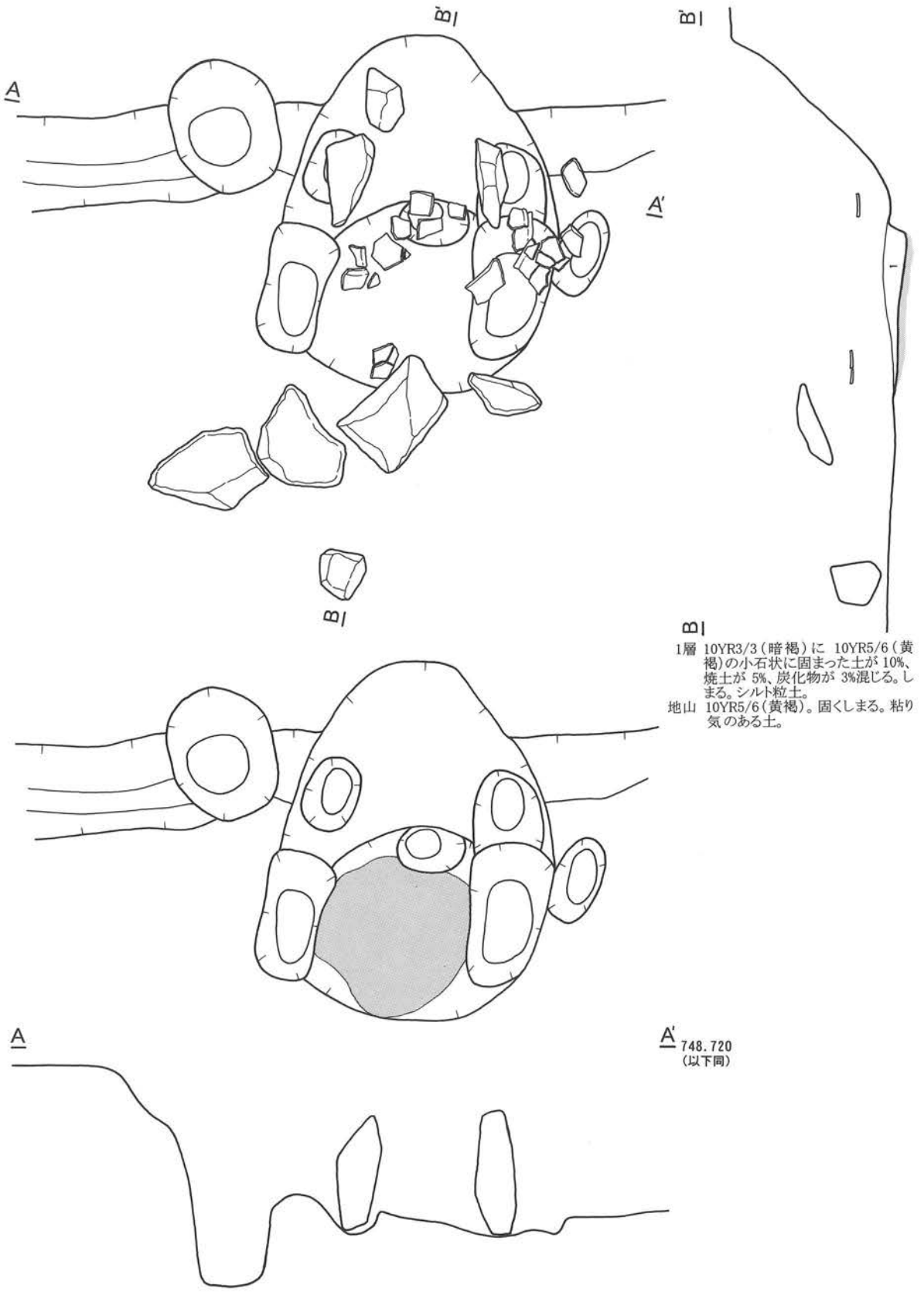
第53図　18号住居出土遺物（1/2）



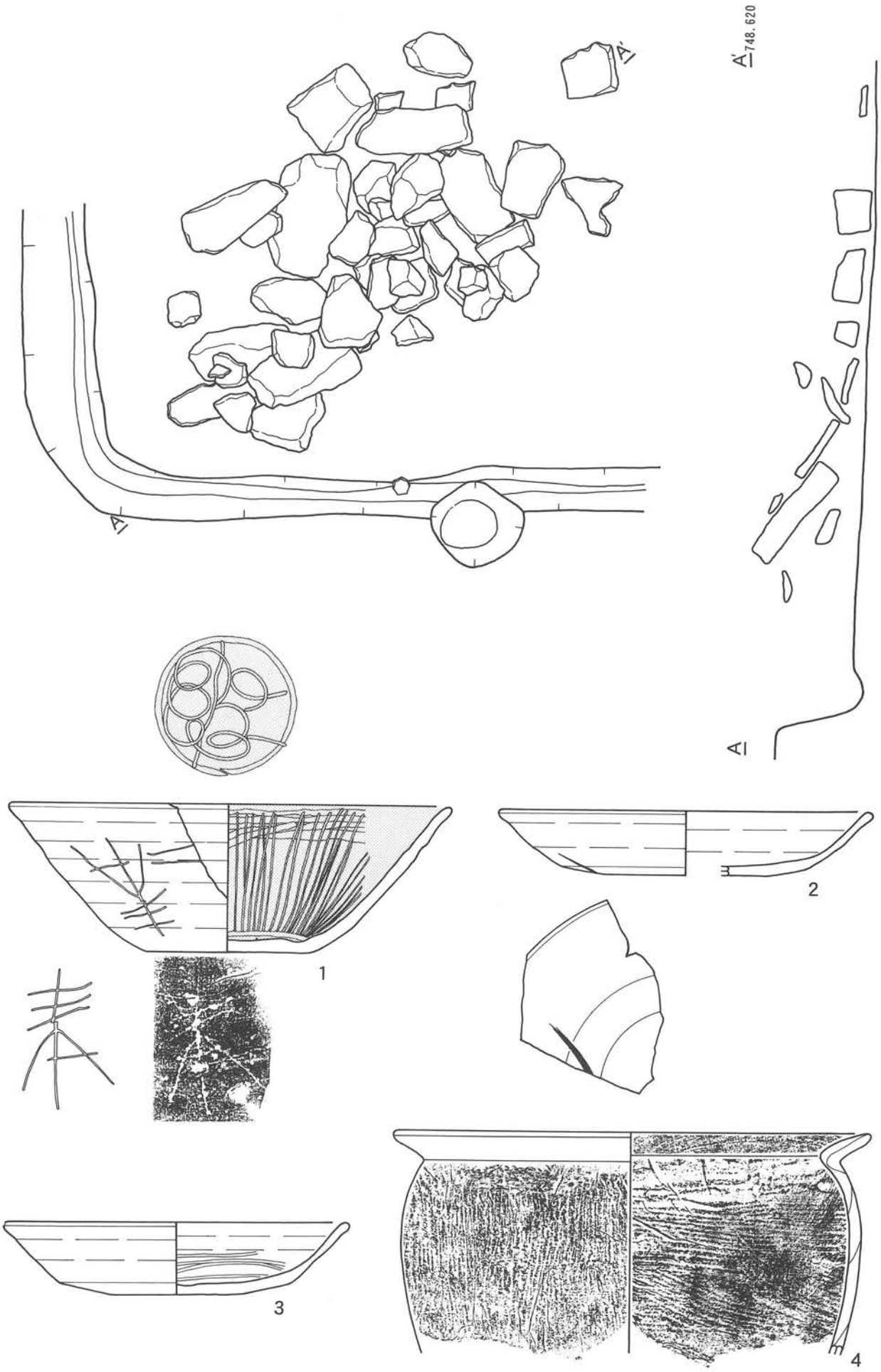
1層 10YR3/3(暗褐)に10YR2/1(黒)が30%、10YR4/4(褐)が1%未満、焼土が2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が20%混じる。焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が10%混じる。炭化物・焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が20%混じる。炭化物・焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が1%、焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/3(暗褐)に10YR2/2(黒褐)が20%、10YR4/6(褐)が1%、焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が10%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%。焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が1%、炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 焼土に10YR2/3(黒褐)が20%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が20%、炭化物・焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が3%、炭化物・焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が3%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が20%、炭化物・焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR4/6(褐)に10YR2/3(黒褐)が20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が2%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
18層 10YR4/6(褐)に10YR2/3(黒褐)が10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
19層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が15%混じる。しまる。シルト粒土。



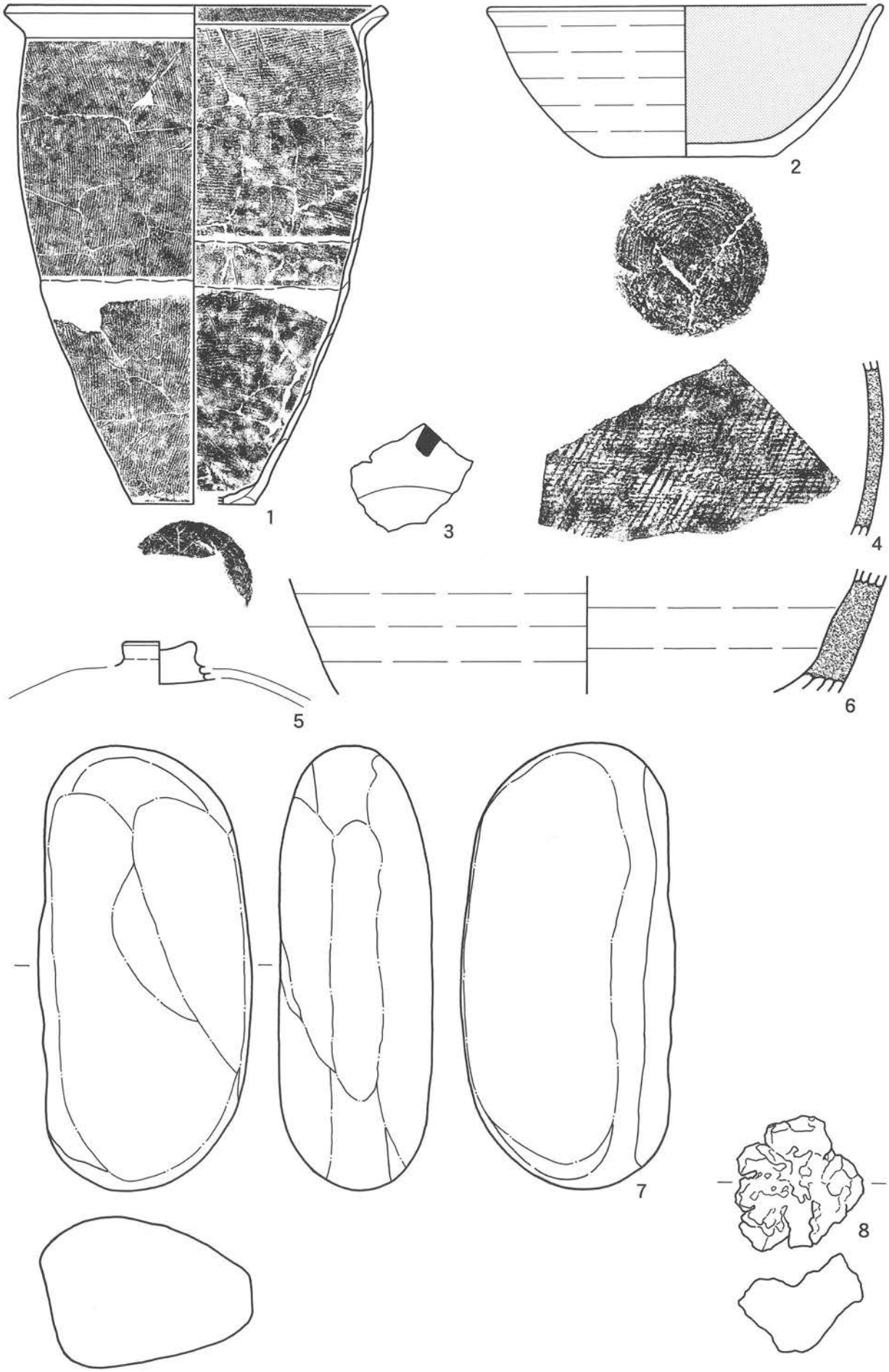
第54図　19号住居（1/60）



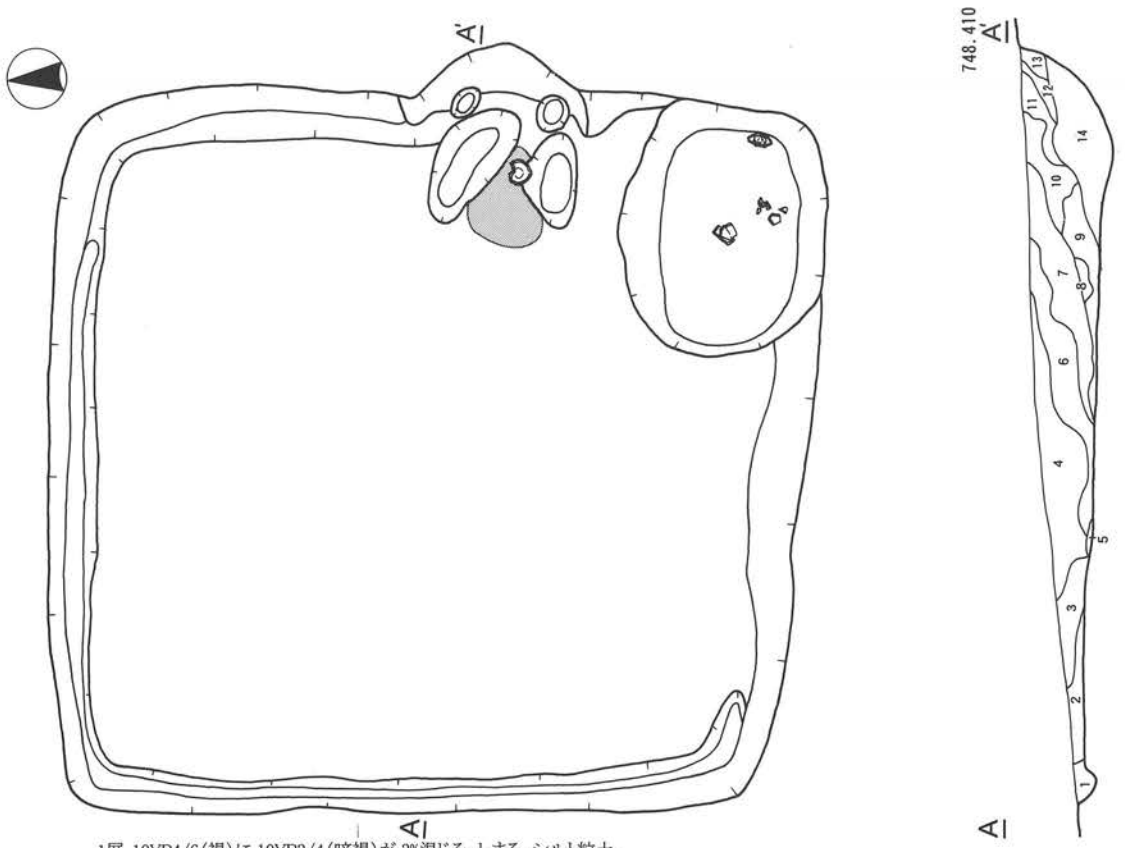
第55図　19号住居カマド（1/20）



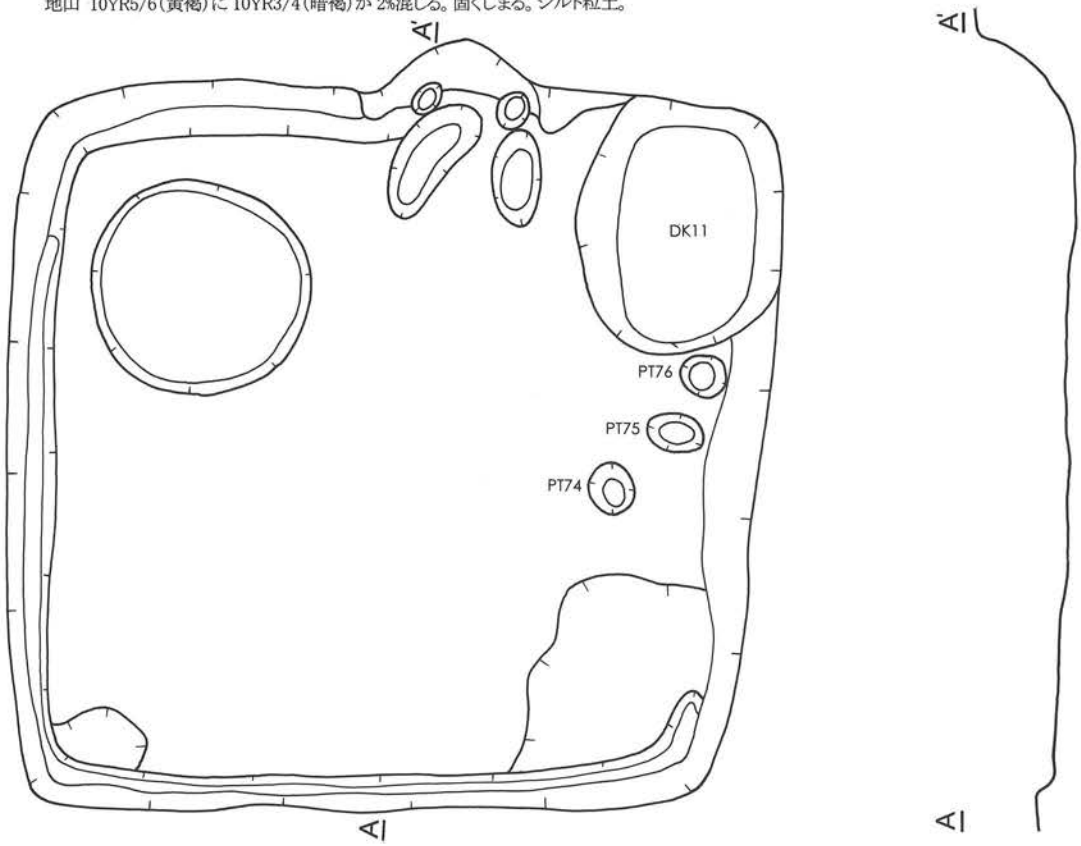
第56図　19号住居集石（1/20）　19号住居出土遺物（1/2）



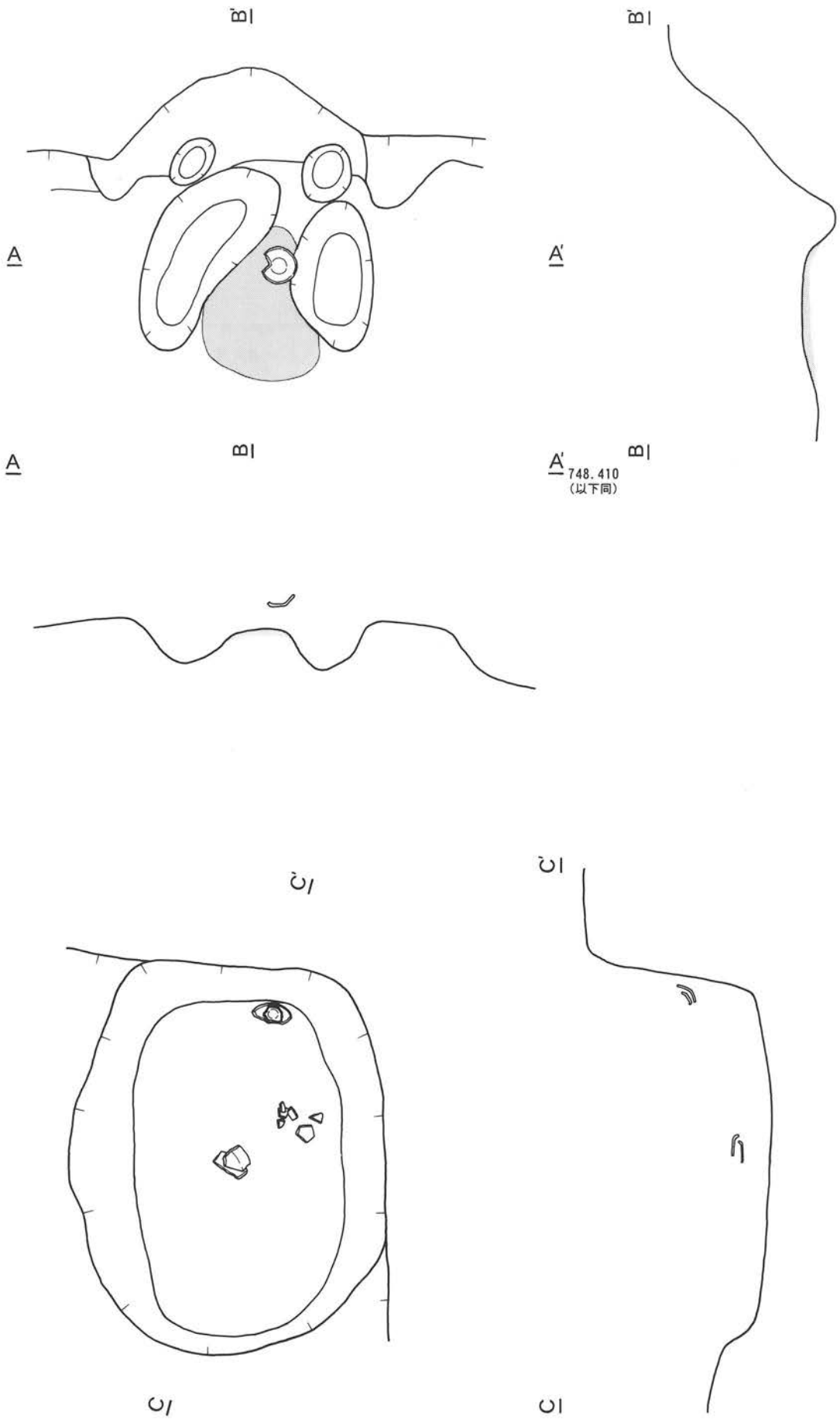
第57図　19号住居出土遺物（1/2、1 1/4）



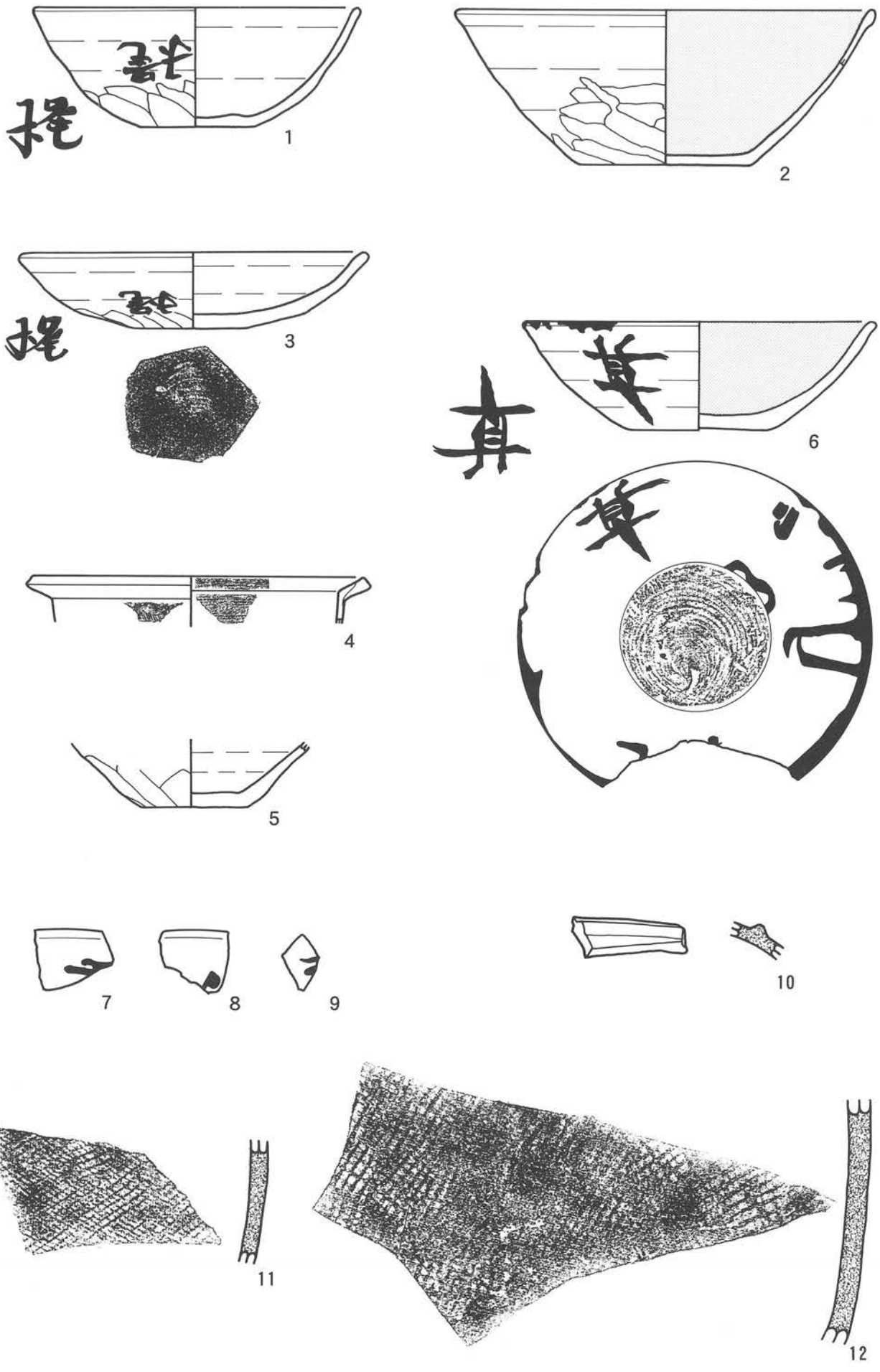
1層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR2/3(黒褐)が 3cm 大のブロックで混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、1mm～5cm の礫が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、10YR2/3(黒褐)が 5×10cm のブロックで 3%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 7%、10YR2/3(黒褐)が 5cm 大のブロックで 5%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、10YR2/3(黒褐)が 3×3cm のブロックで 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 7%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/6(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 2%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 5%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 (カマド覆土)10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、焼土が 20%、炭化物が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。



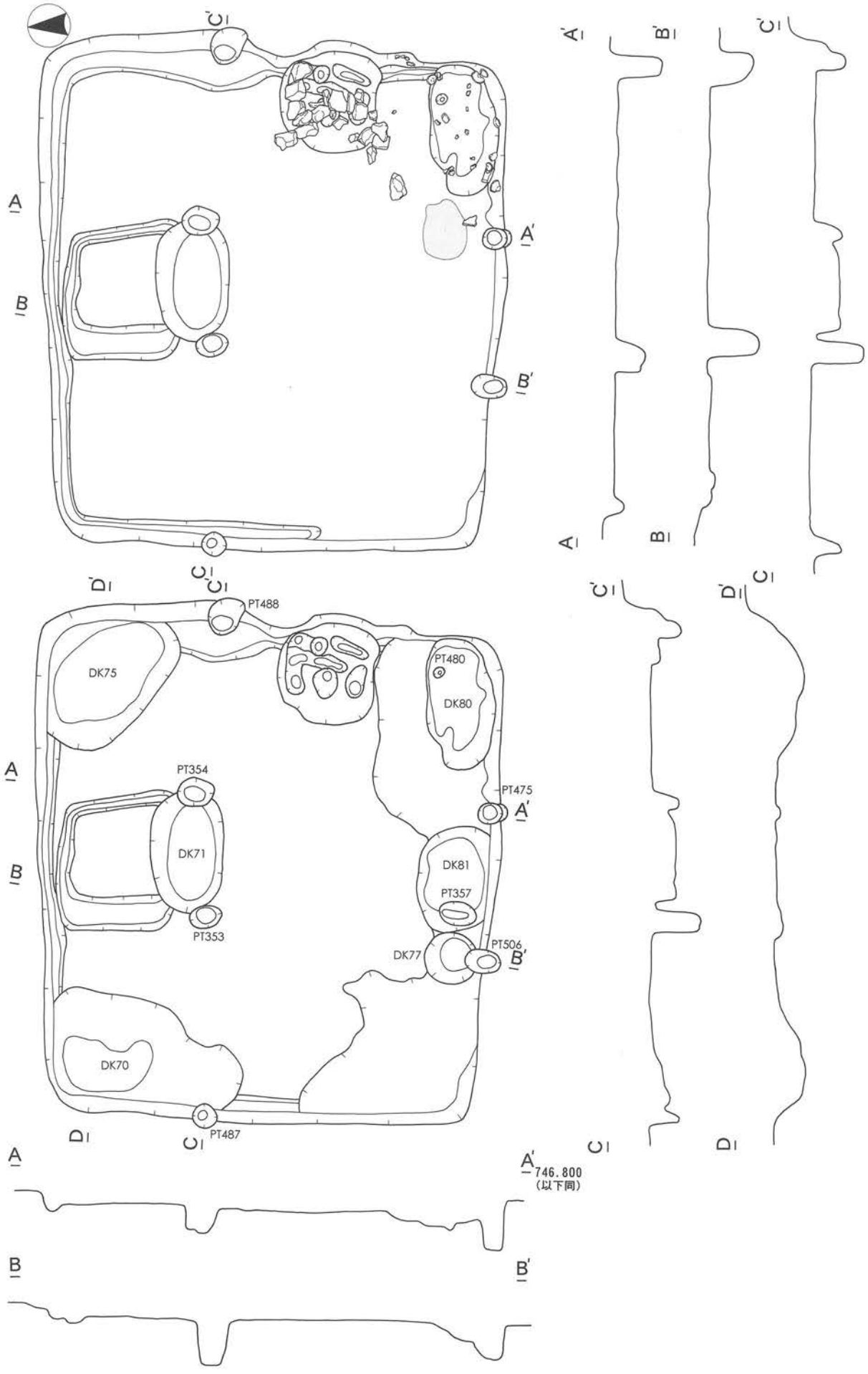
第58図　20号住居（1/40）



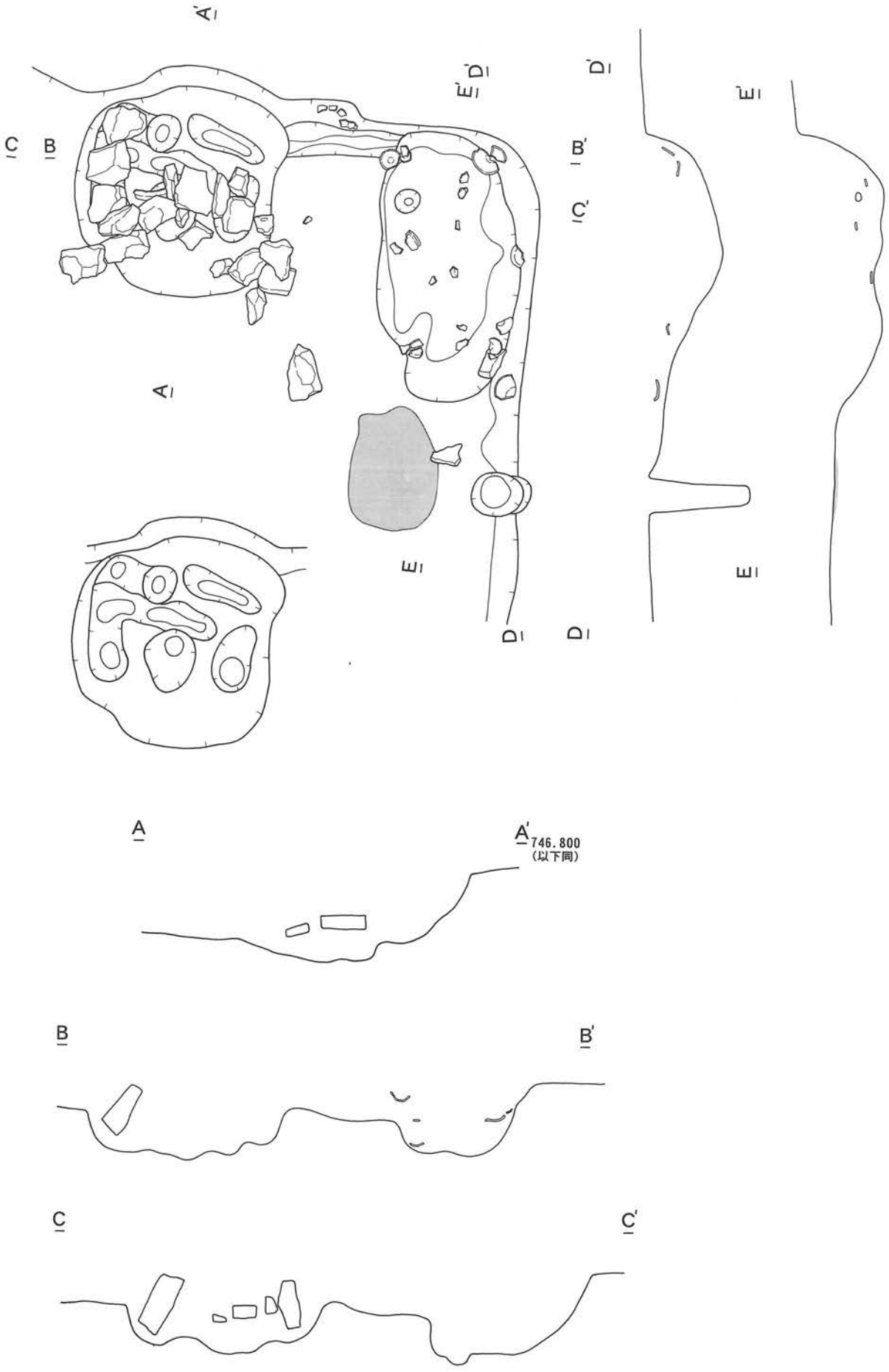
第59図　20号住居カマド（1/20）　11号土坑（1/20）



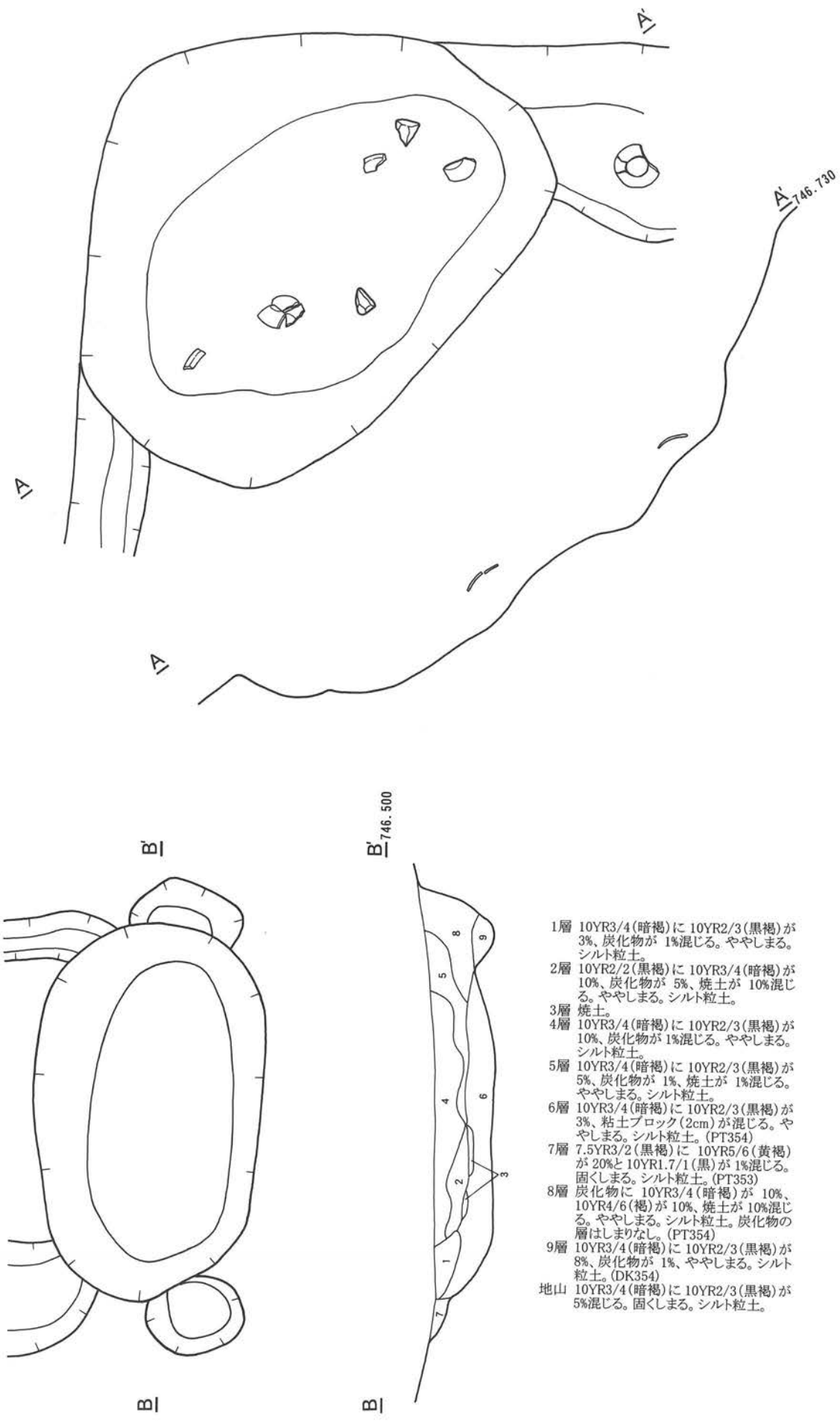
第60図　20号住居出土遺物（1/2、4 1/4）



第61図　21号住居（1/60）

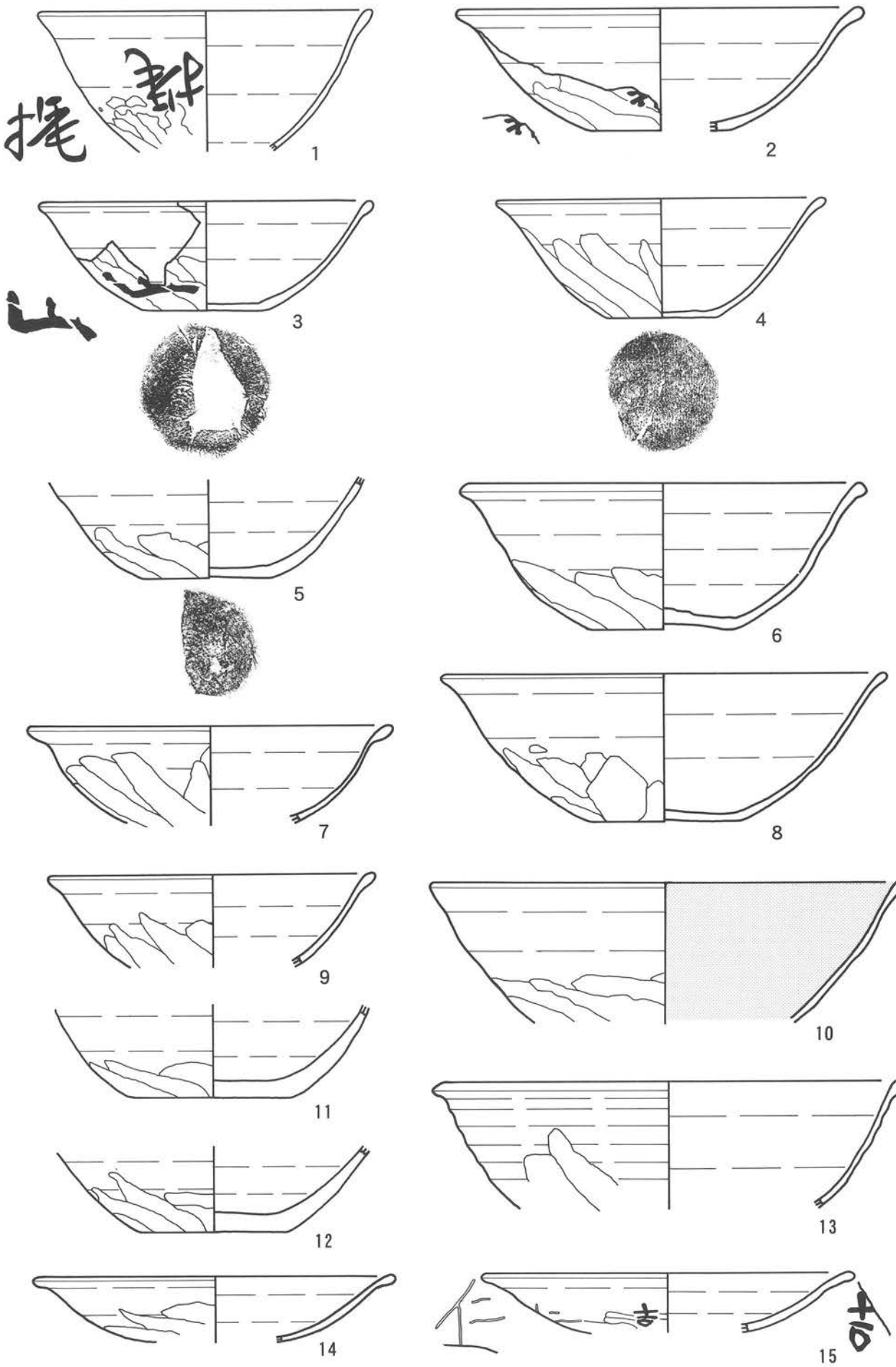


第62図　21号住居カマド（1/30）

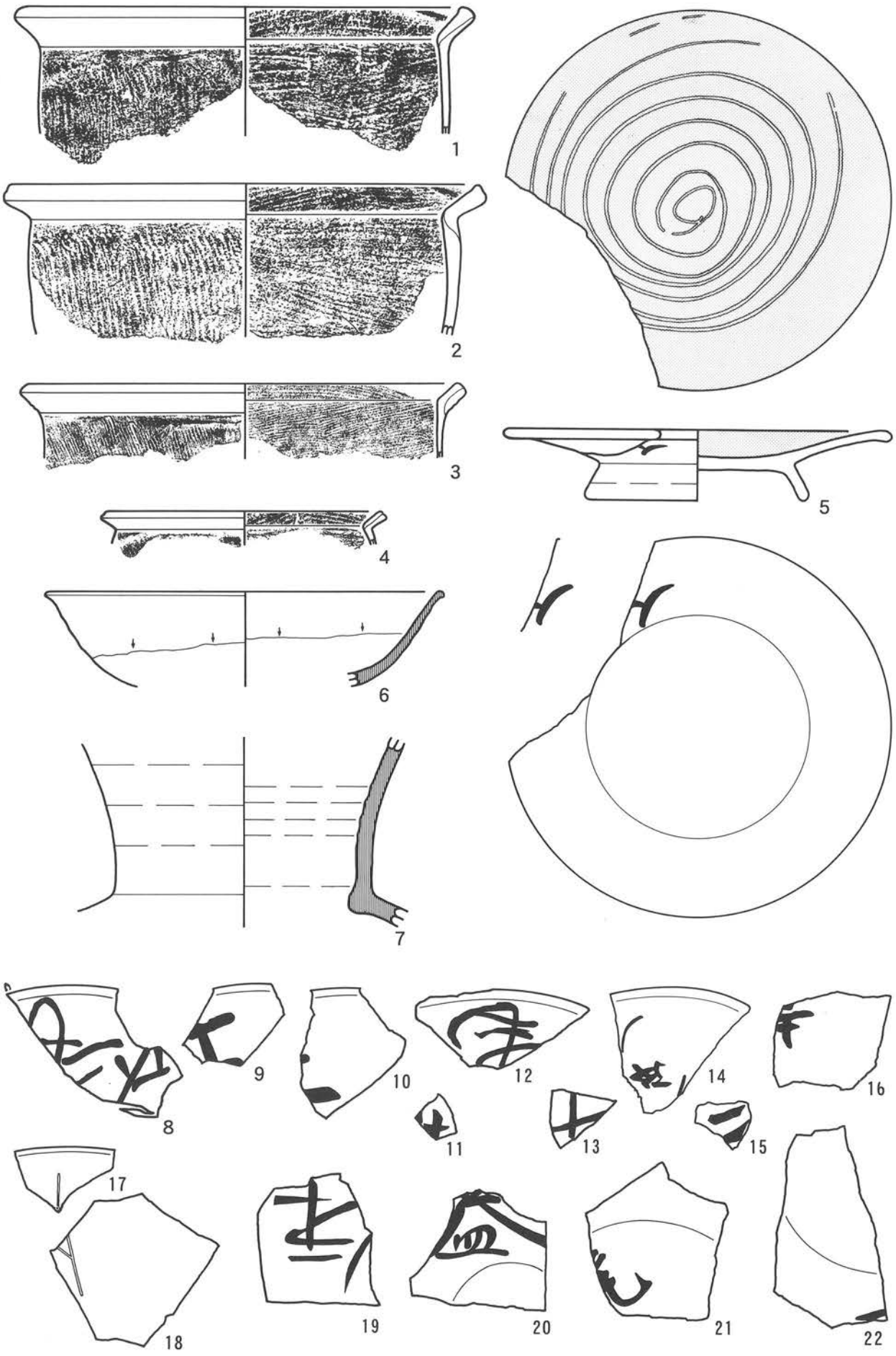


1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 3%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 5%、焼土が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 焼土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 3%、粘土ブロック(2cm)が混じる。ややしまる。シルト粒土。(PT354)
7層 7.5YR3/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20%と 10YR1.7/1(黒)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。(PT353)
8層 炭化物に 10YR3/4(暗褐)が 10%、10YR4/6(褐)が 10%、焼土が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。炭化物の層はしまりなし。(PT354)
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 8%、炭化物が 1%、ややしまる。シルト粒土。(DK354)
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。

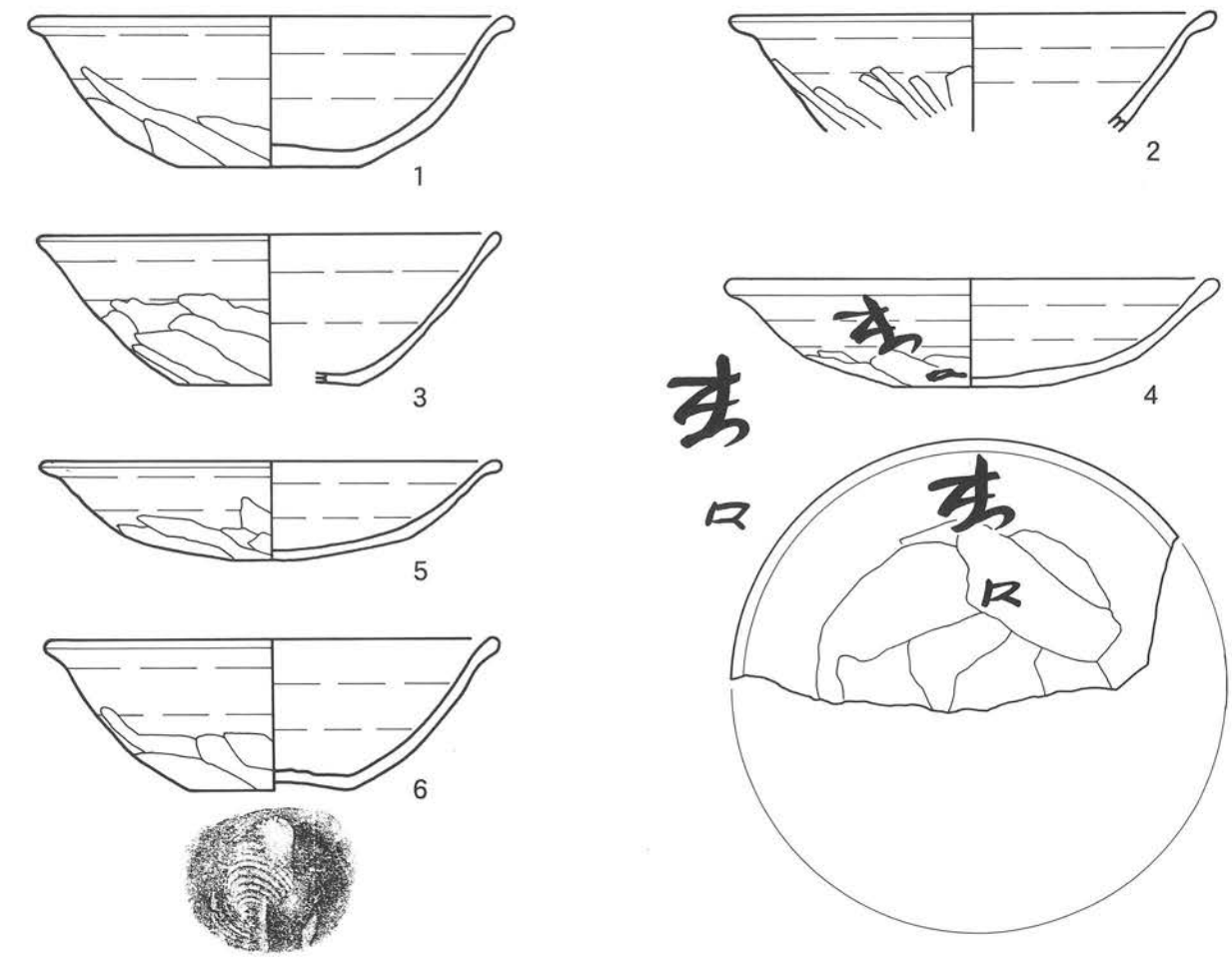
第63図　21号住居75号土坑・71号土坑（1/20）



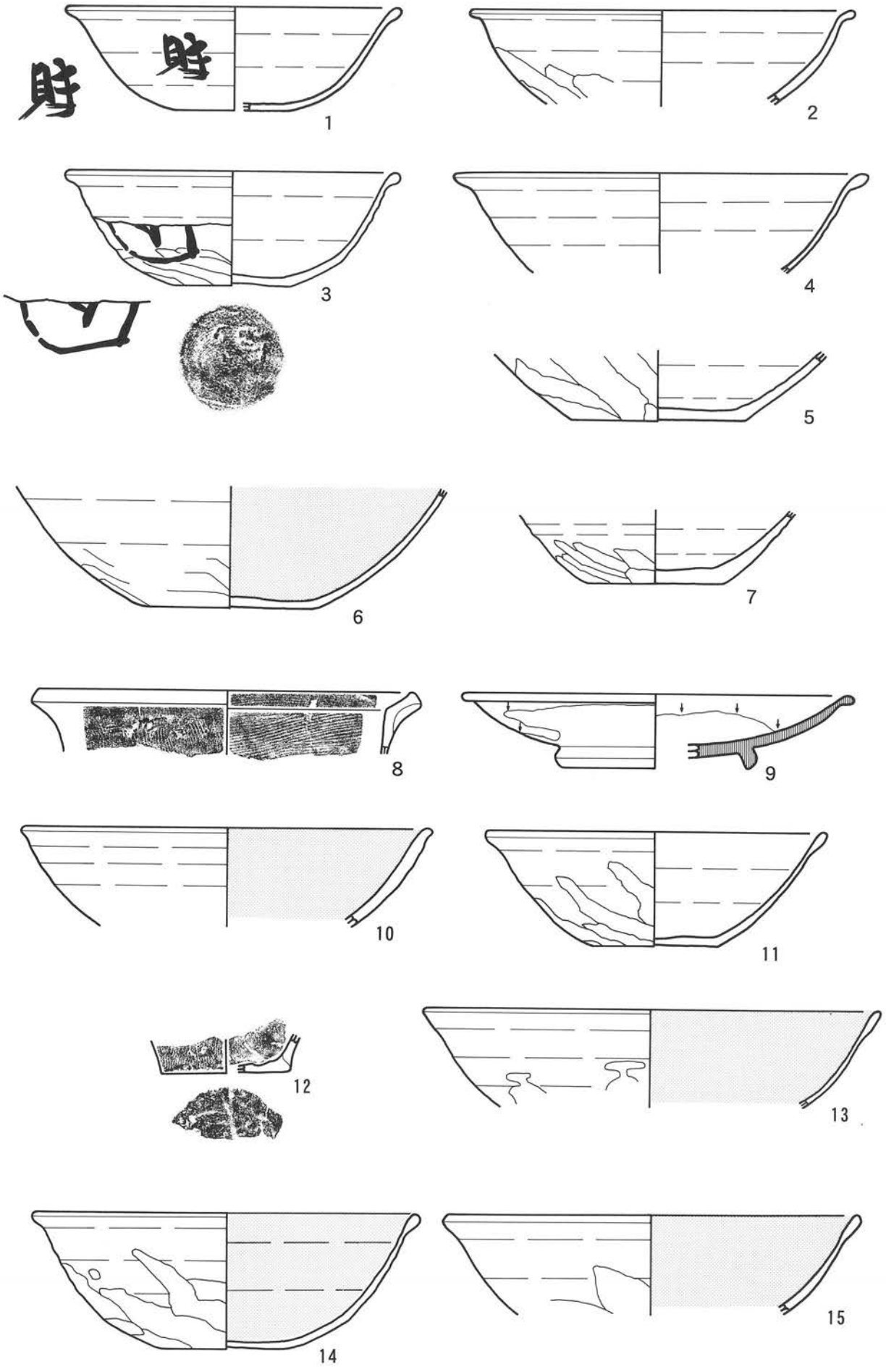
第64図　21号住居出土遺物（1/2）



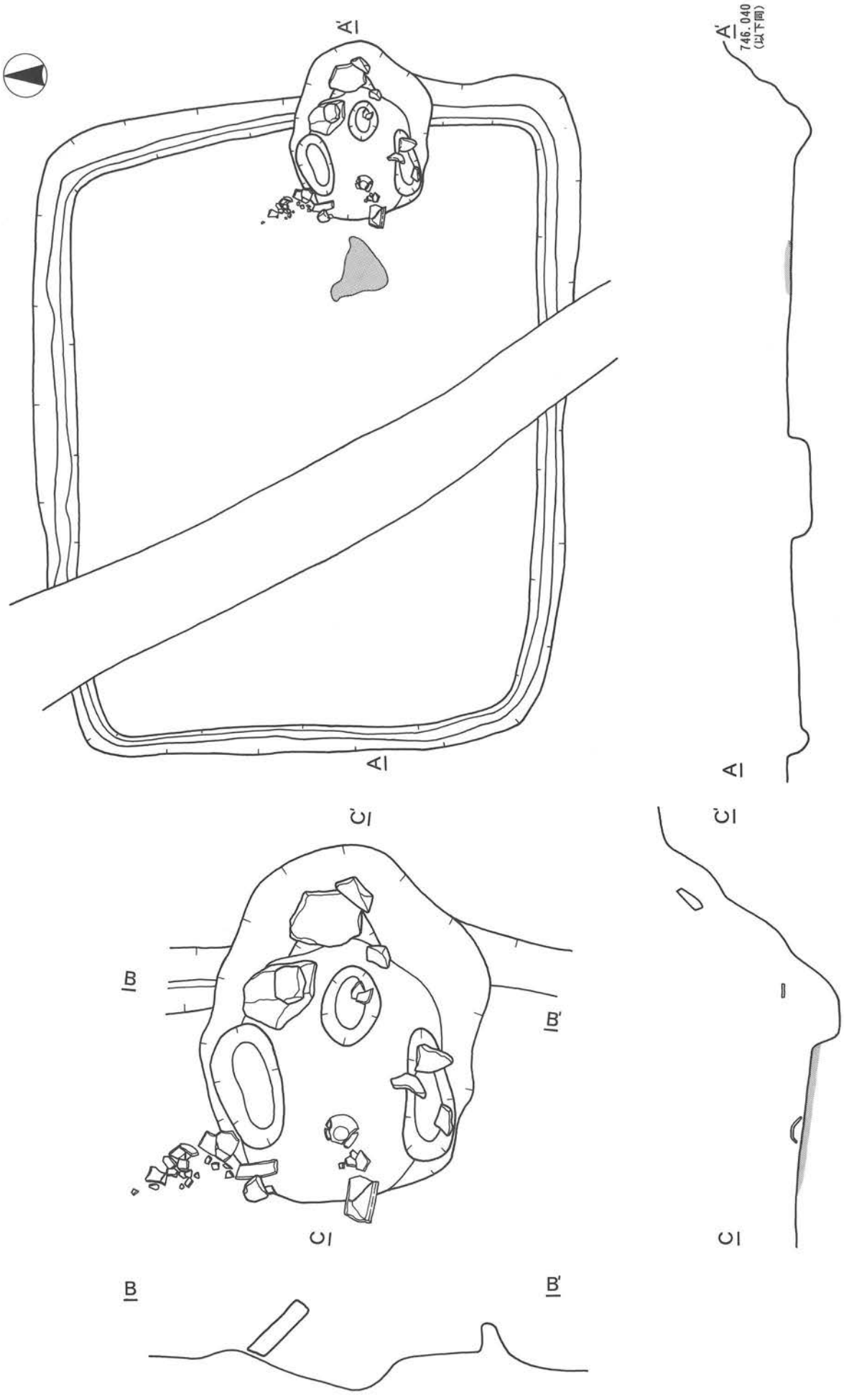
第65図　21号住居出土遺物（1/2、3・4 1/4）



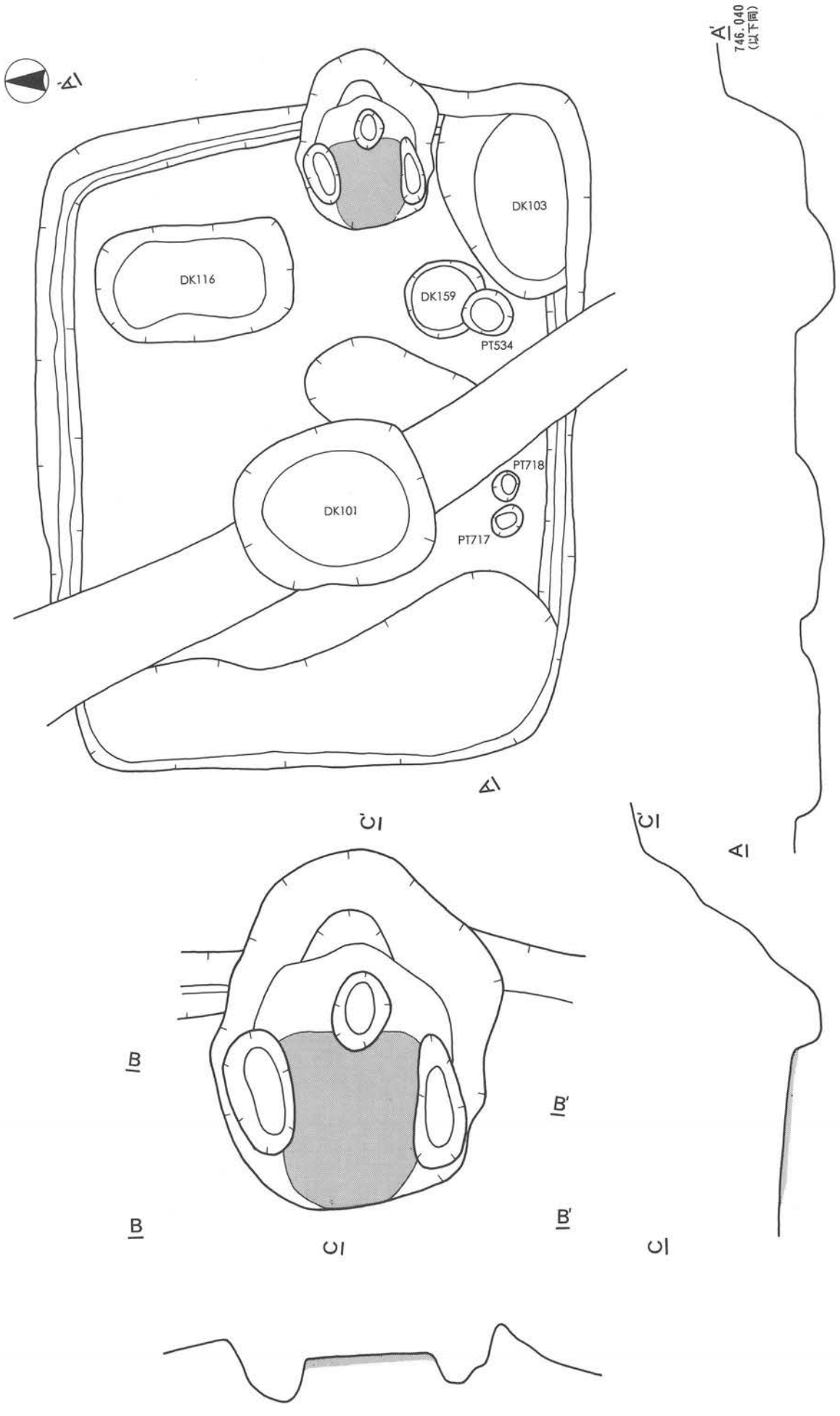
第66図　21号住居出土遺物（1/2、7・8 1/4）



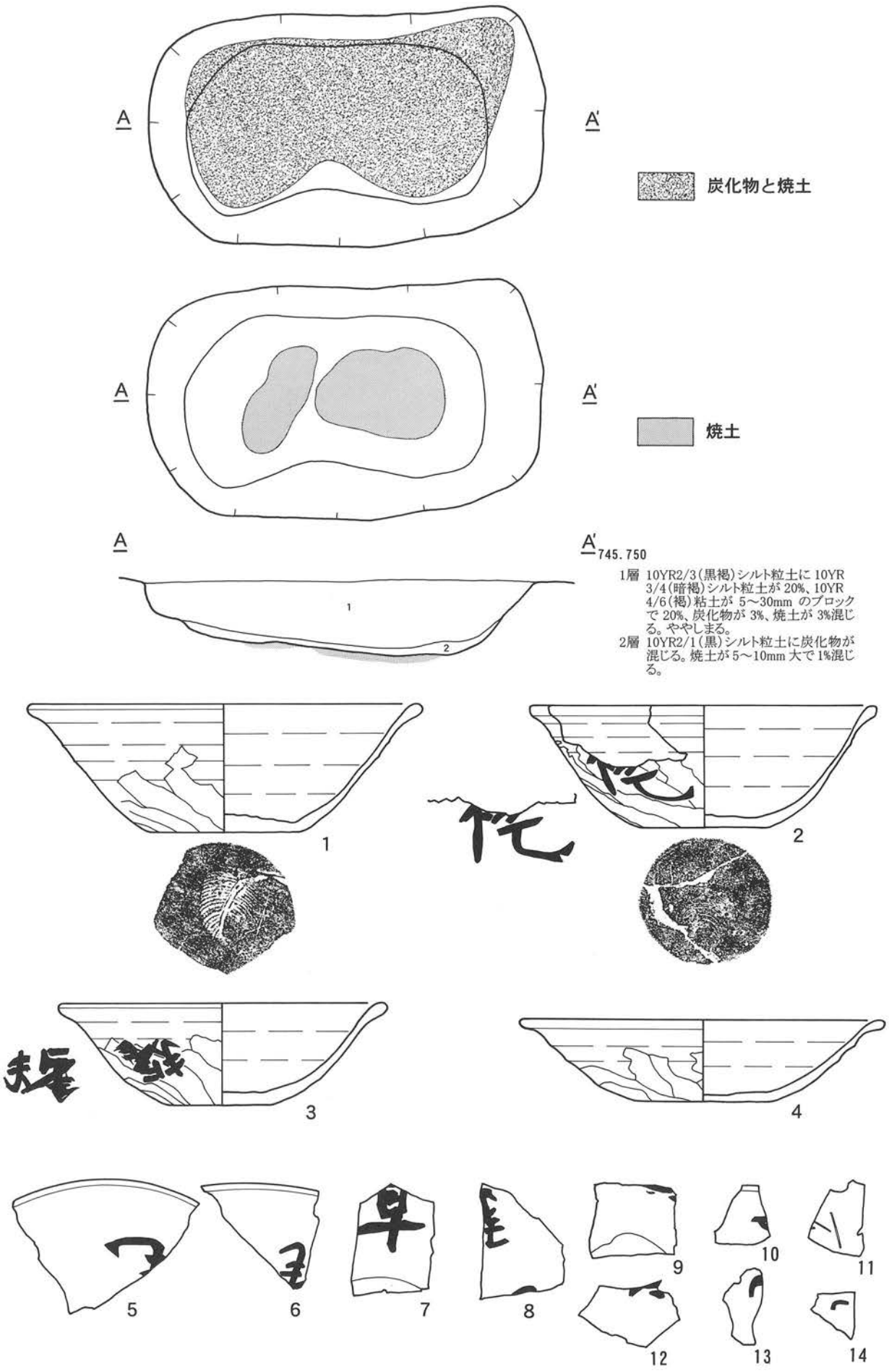
第67図　21号住居出土遺物（1/2、8・12 1/4）



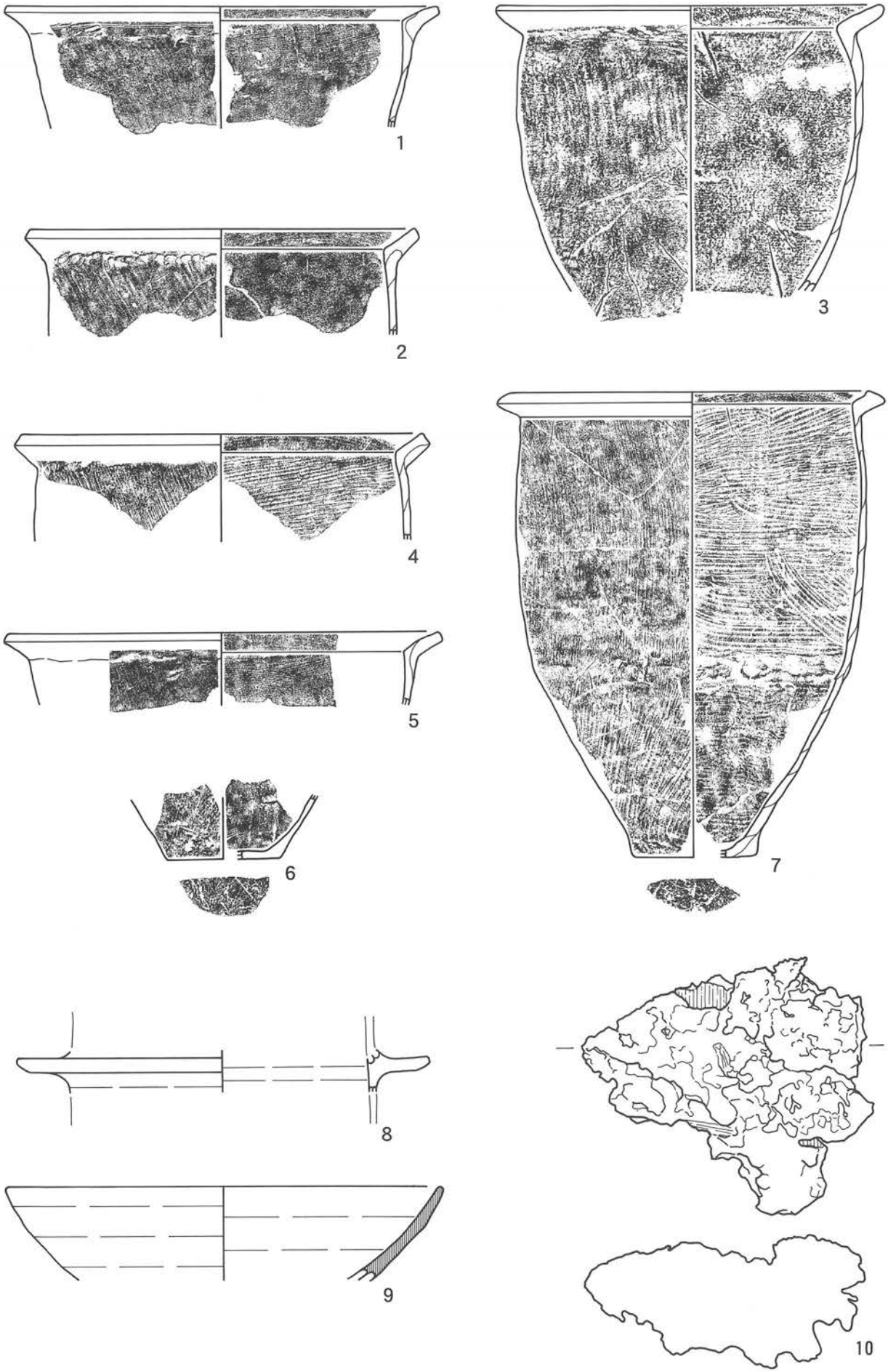
第68図　22号住居（1/40）　22号住居カマド（1/20）



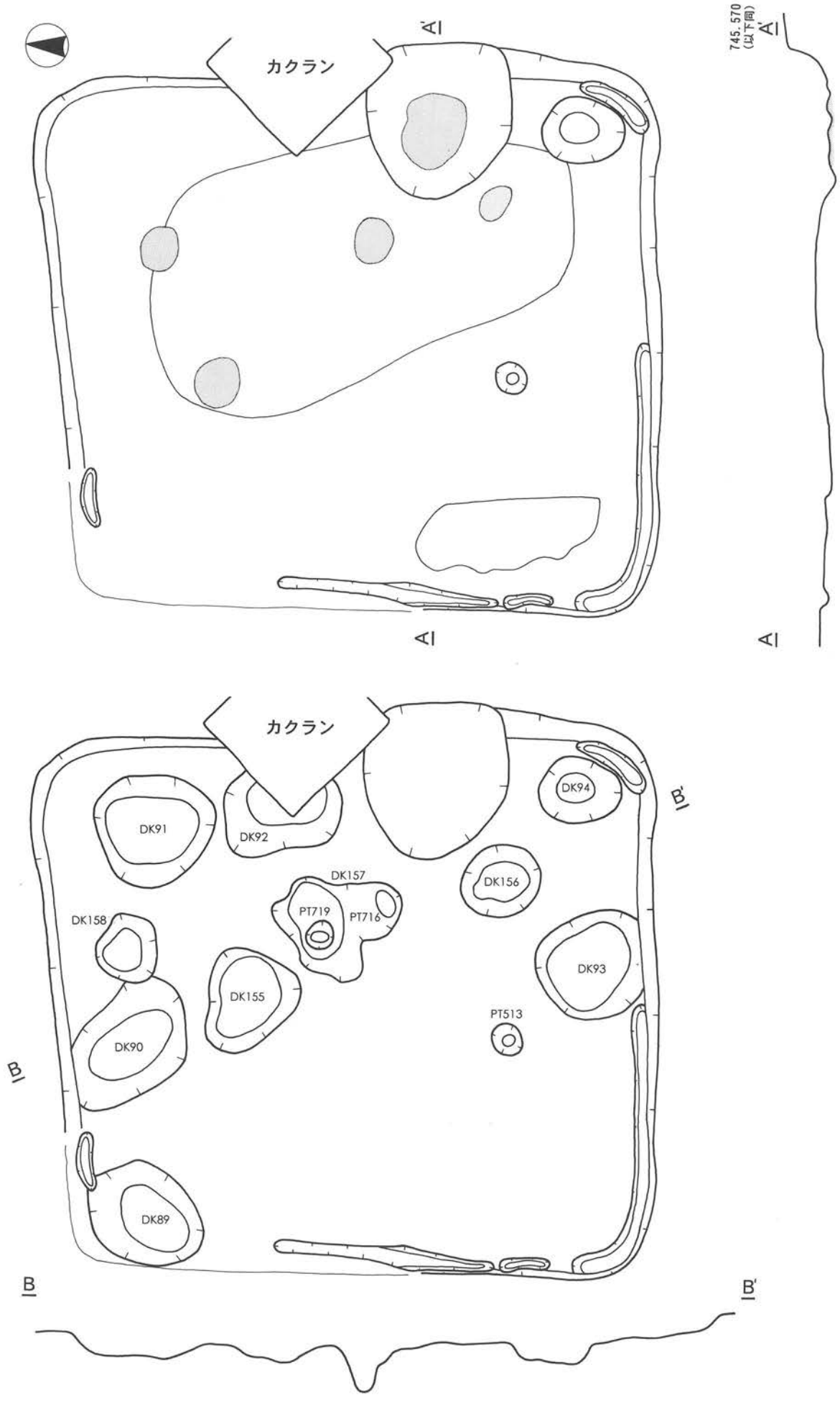
第69図　22号住居（1/40）　22号住居カマド（1/20）



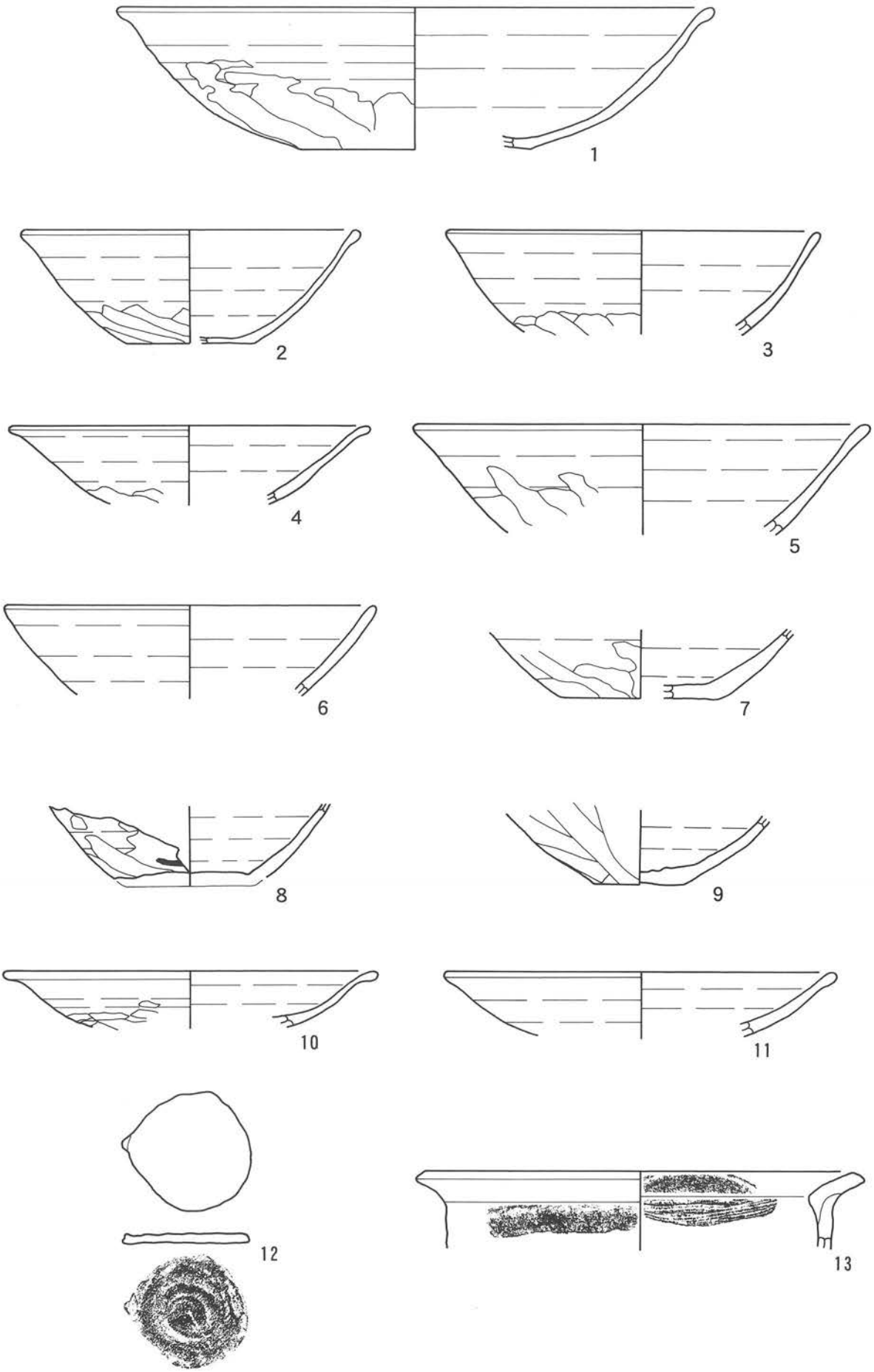
第70図　22号住居116号土坑（1/20）　22号住居出土遺物（1/2）



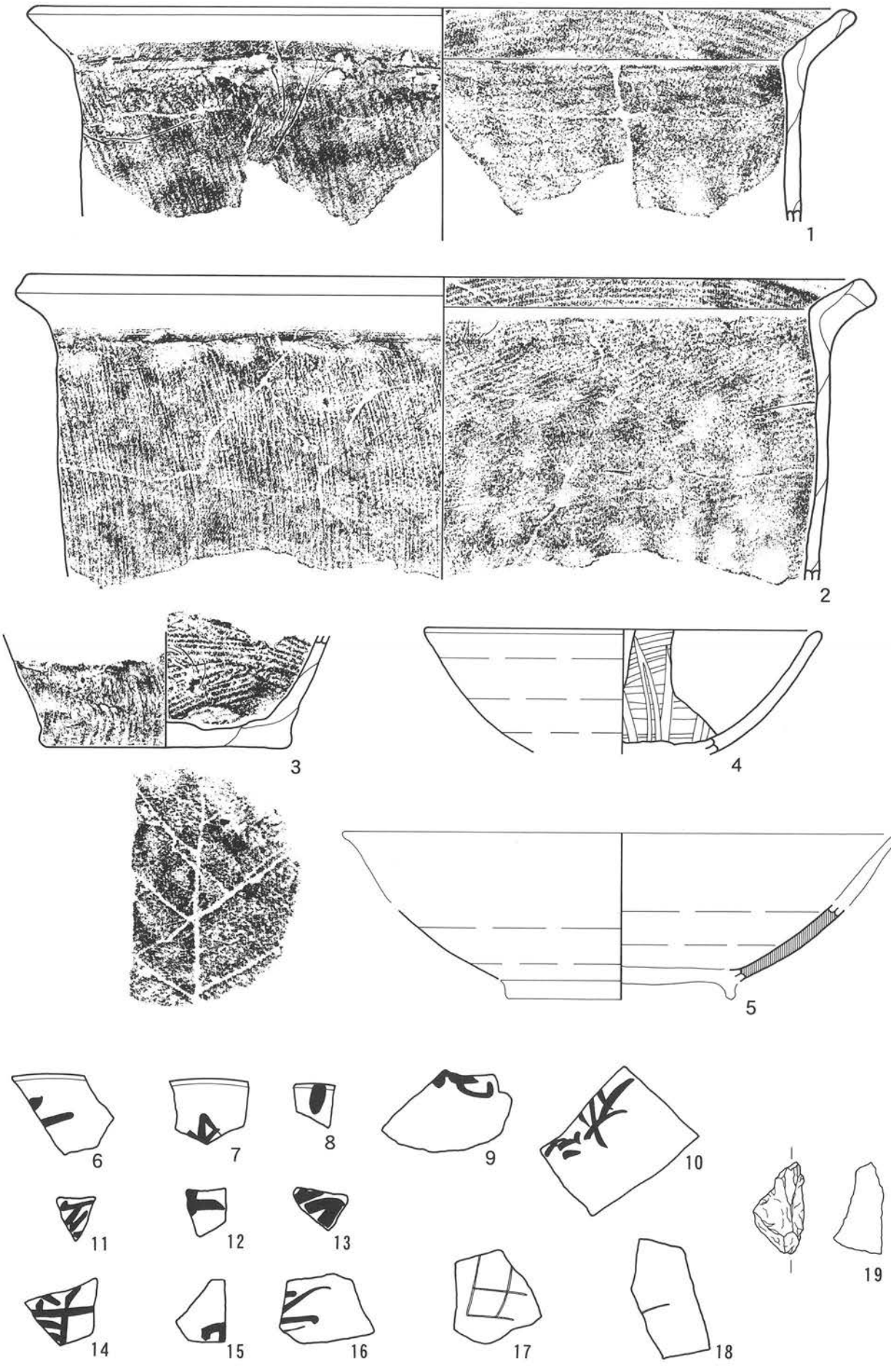
第71図　22号住居出土遺物（1/2、1・2・4～8 1/4）



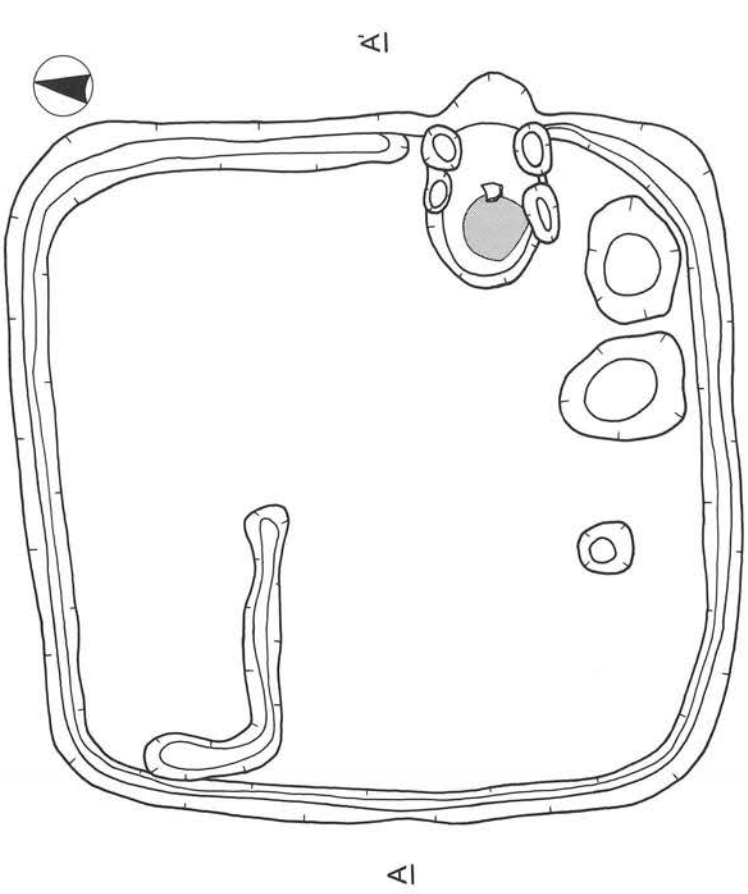
第72図　23号住居（1/40）

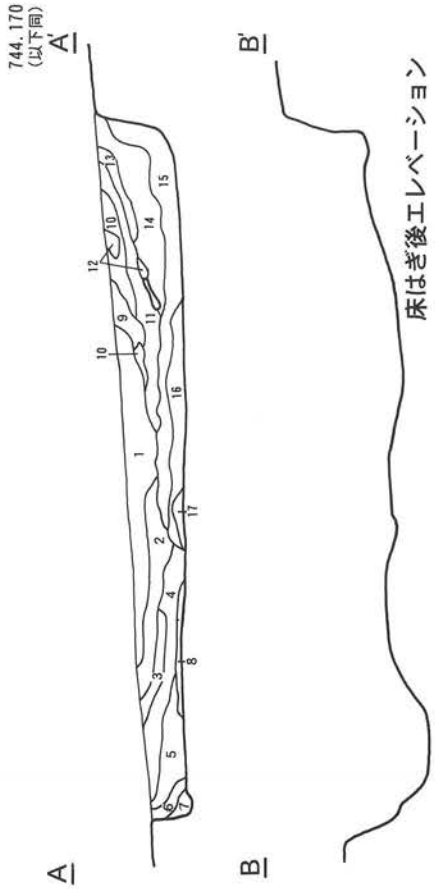


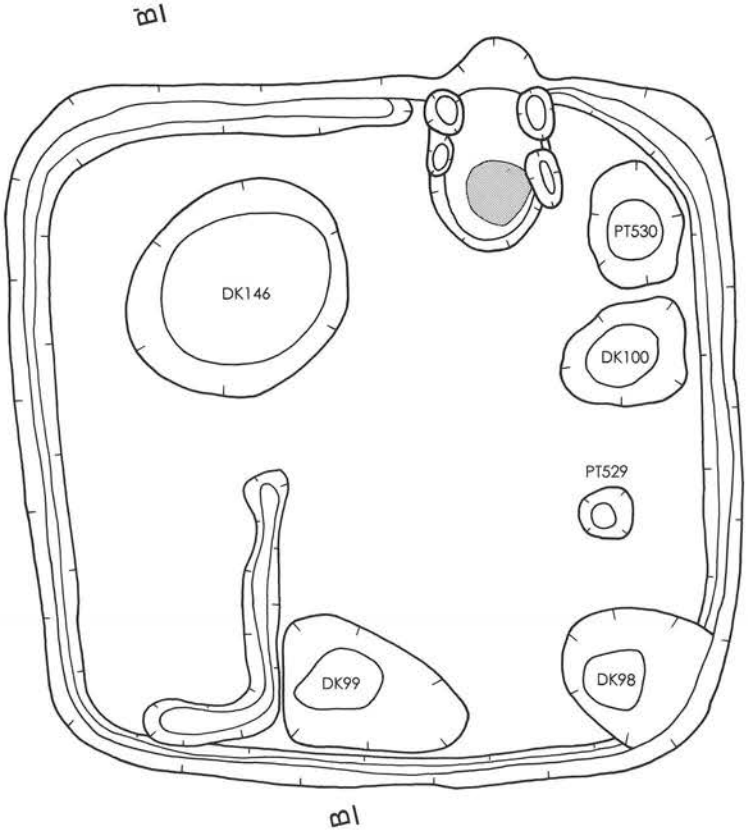
第73図　23号住居出土遺物（1/2）



第74図　23号住居出土遺物（1/2）

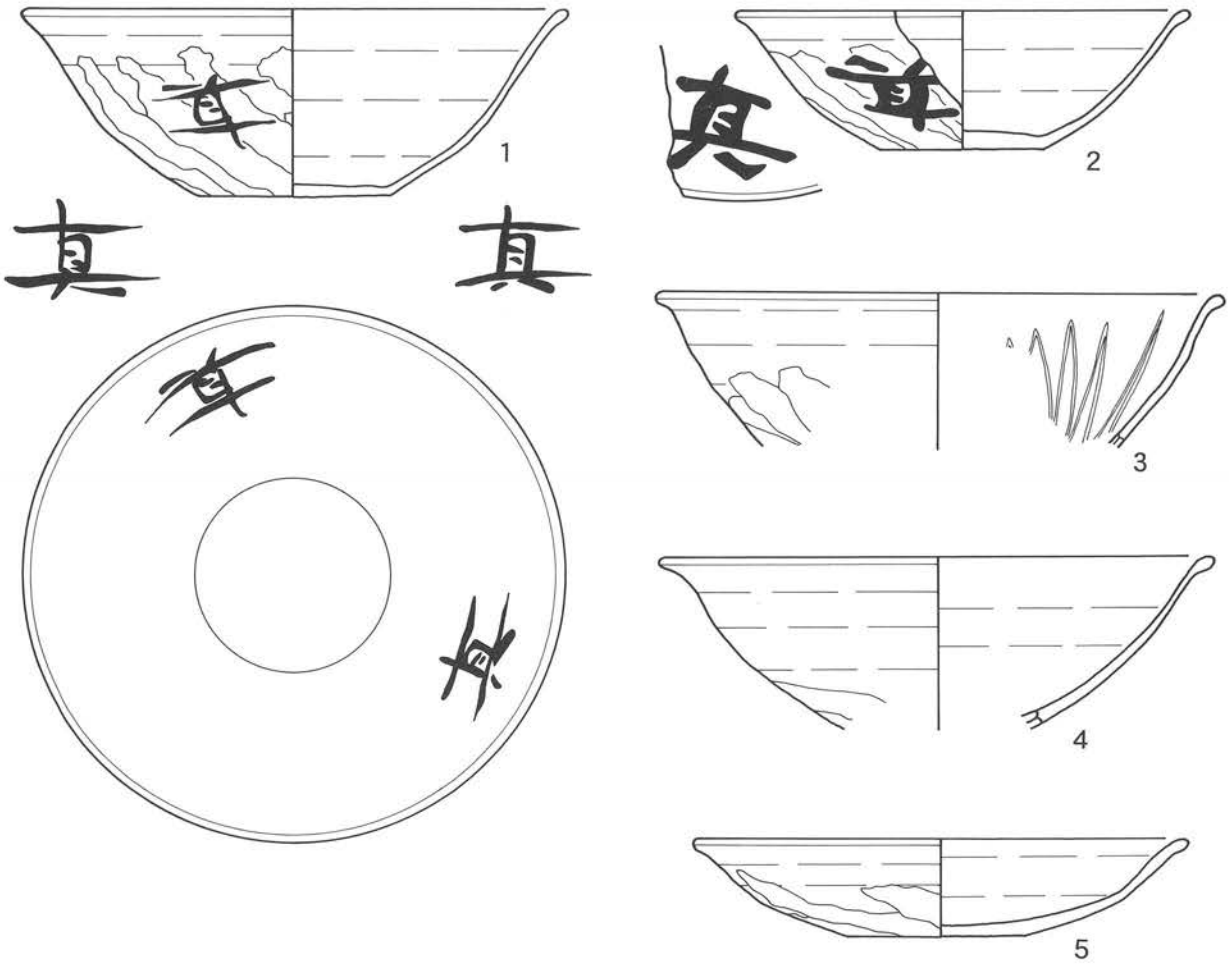


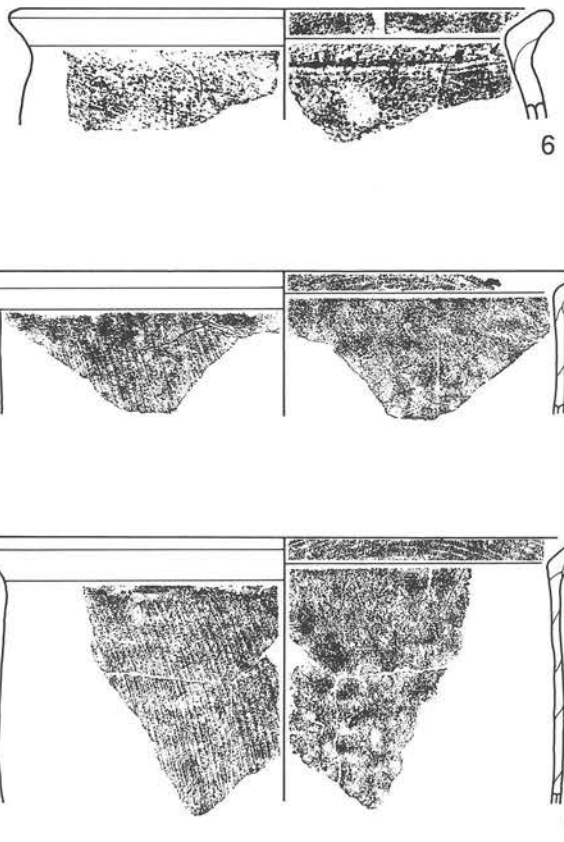




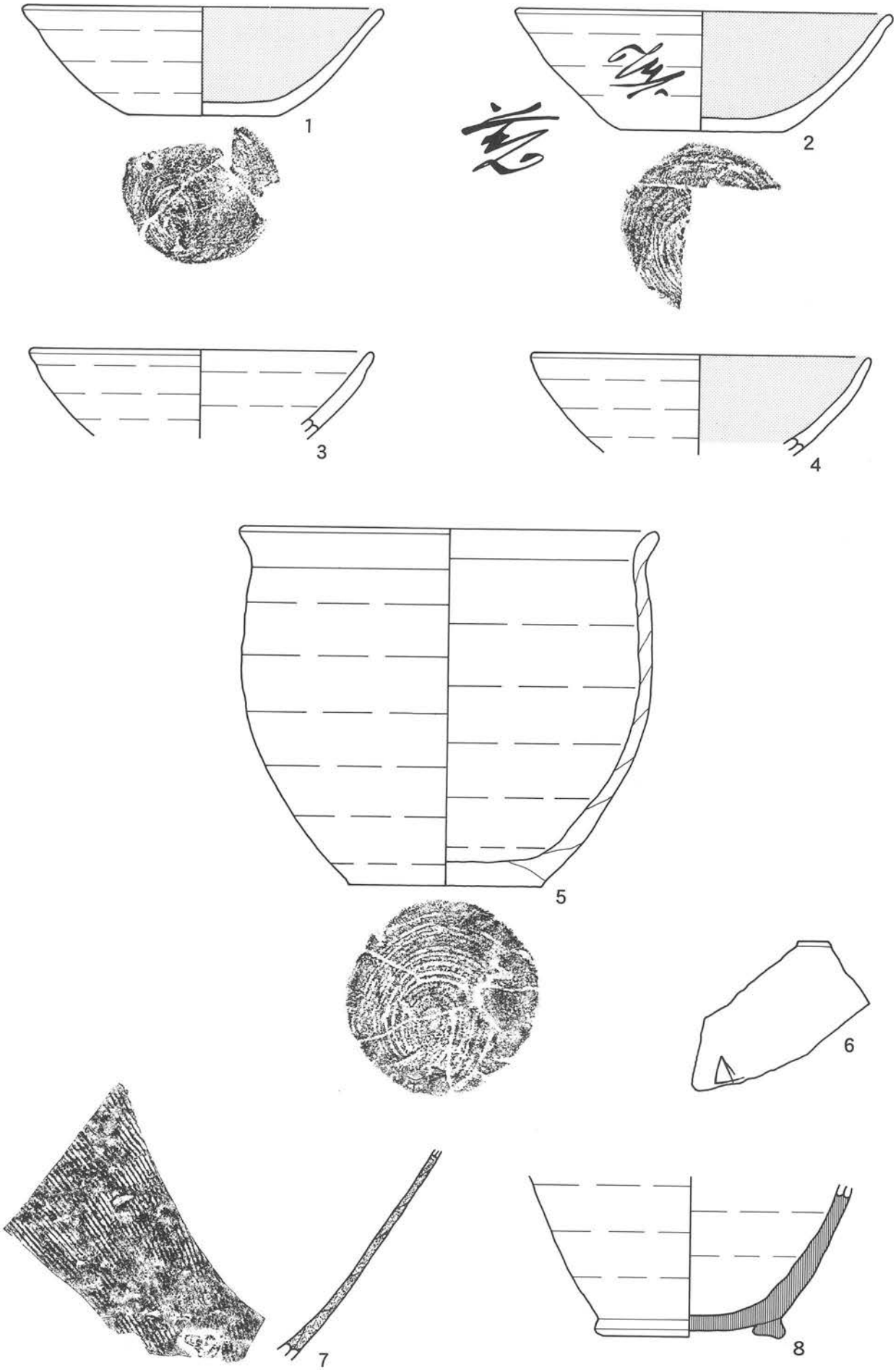
1層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)の 2～8mm の小ブロックが 10%、10YR2/3(黒褐)の粒子が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)の粒子～3mm の小ブロックが 20%、10YR2/3(黒褐)の粒子が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子でまだらに 30%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子～10mm のブロックで 5%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子～10mm のブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子でまだらに 40%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で30%、焼土粒子が 3%程混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で20%まだらに混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～3mm の小ブロックで 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～4mm の小ブロックで 20%、10YR2/3(黒褐)の粒子がまだらに 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が 4～5mm の小ブロックで 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～5mm の小ブロックで 30%、焼土粒子が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～4mm の小ブロックで 20%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR4/6(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子でまだらに 10%、10YR5/6(黄褐)が 2～10mm のブロックで 10%、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR4/6(褐)10YR3/3(暗褐)が粒子で20%、10YR5/6(黄褐)が 2～15mm のブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR4/6(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR4/4(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)がまだらに 20%混じる。固くしまり粘性がある。シルト粒土。
地山 10YR5/8(黄褐)に 10YR4/4(暗褐)がまだらに 20%混じる。固くしまり粘性がある。シルト粒土。

第75図　24号住居（1/40）

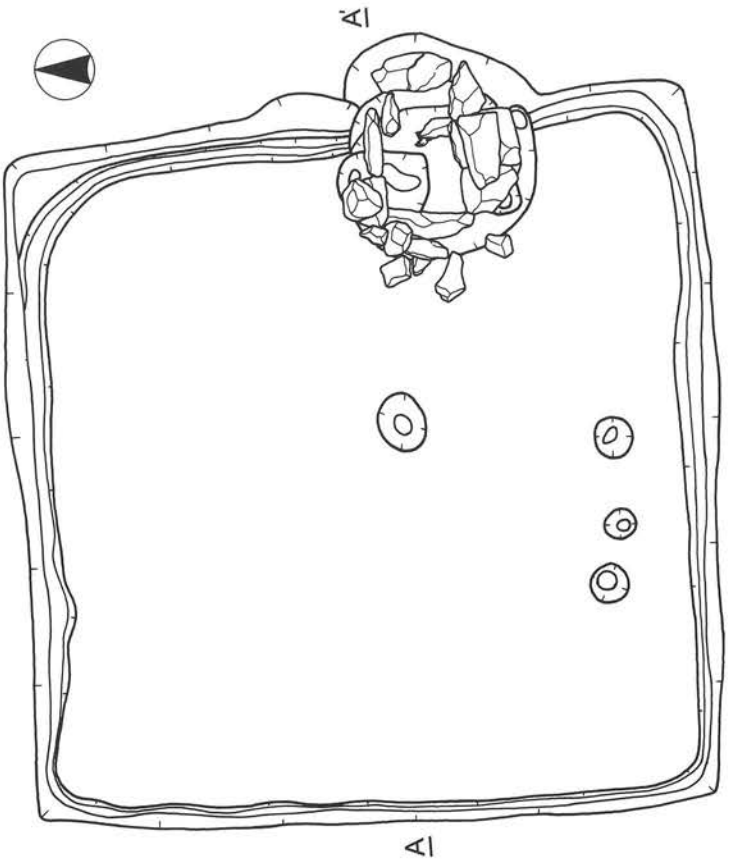


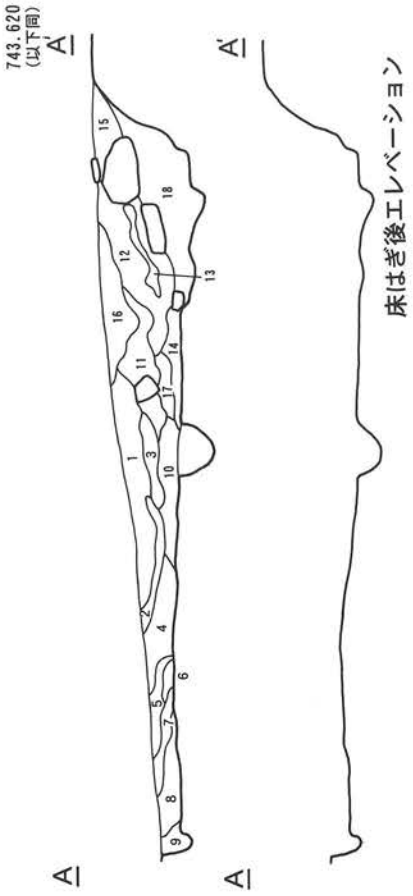


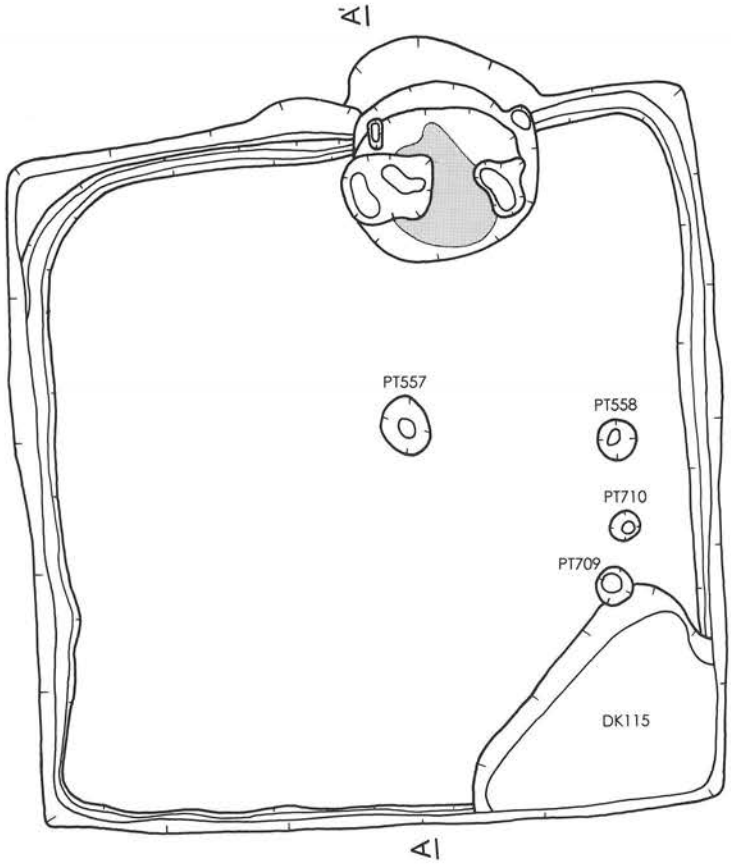
第76図　24号住居出土遺物（1/2、7・8 1/4）



第77図　24号住居出土遺物（1/2、7 1/4）

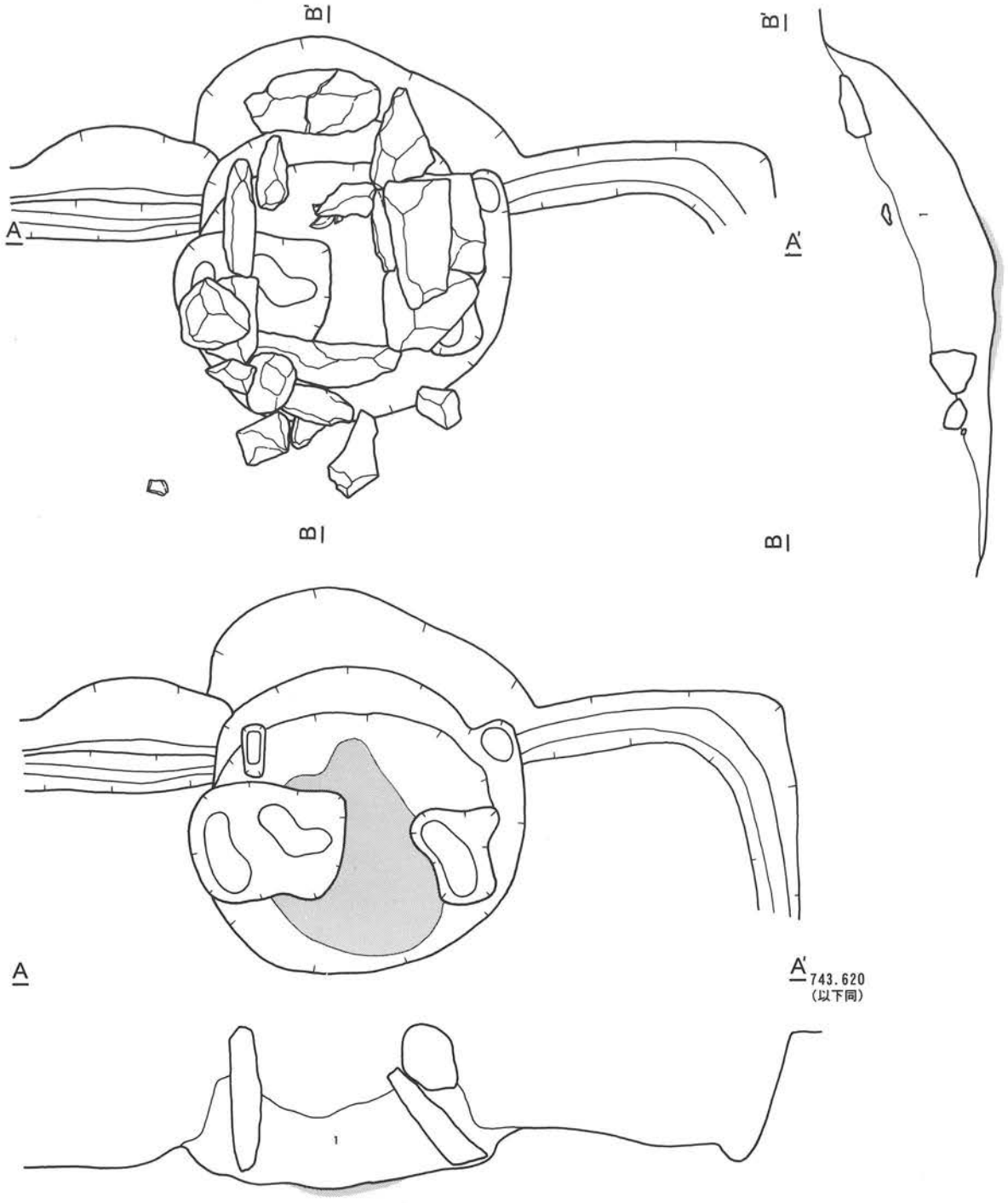




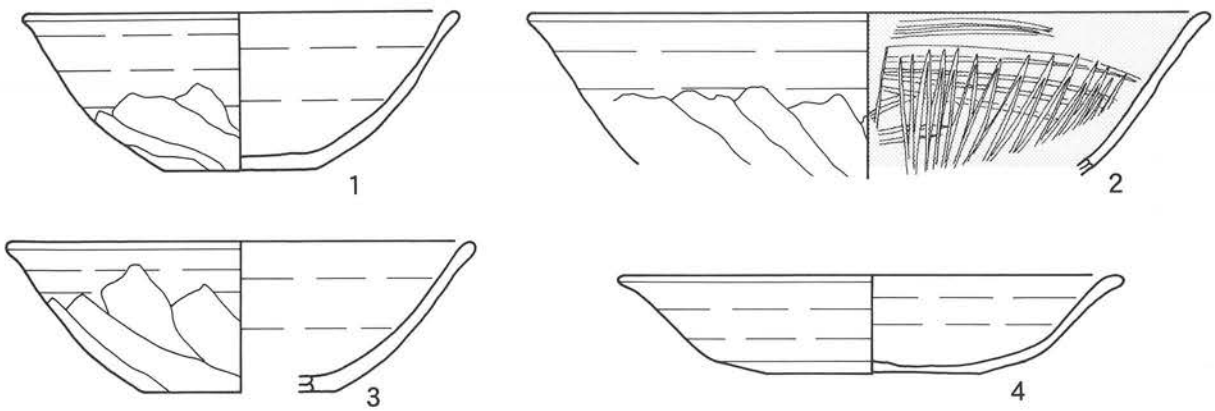


1層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 20%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 30%混じる。固くしまる。
2層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 30%、炭化物含む。固くしまる。
3層 2 層より黒味おびて固くしまる。炭化物含まず。
4層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 10%、10YR3/3(暗褐)細粒土が 30%混じる。固くしまる。
5層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土が 3%混じる。固くしまる。
6層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 20%混じる。固くしまる。
7層 10YR2/3(黒褐)細粒土に 10YR2/1(黒)細粒土が 30%、10YR4/4(褐)細粒土が 20%混じる。炭化物含む。非常に固くしまる。
8層 10YR4/4(褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 10%、一部 6mm 大で斑状に混じる、10YR2/2(黒褐)細粒土が 5%混じる。固くしまる。
9層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 30%混じる。ややしまる。
10層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR3/4(暗褐)細粒土が 50%混じる。固くしまる。
11層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR3/4(暗褐)細粒土が 30%混じる。固くしまる。
12層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%、10YR3/3(暗褐)細粒土がブロックで 3%、10YR4/6(褐)細粒土が 1～3mm 大で 5%点在する。非常に固くしまる。
13層 10YR2/3(黒褐)細粒土に 10YR2/2(黒褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土が 5%混じる。固くしまる。
14層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR2/3(黒褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土がわずかに点在する。固くしまる。
15層 カクラン。
16層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%斑状に混じる。固くしまる。
17層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土 1～2mm 大で 2%点在。炭化物含む。固くしまる。
18層 カマド図面参照。
床面 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土。非常に固くしまる。
地山 10YR5/6(黄褐)細粒土。粘性少々あり。固くしまる。

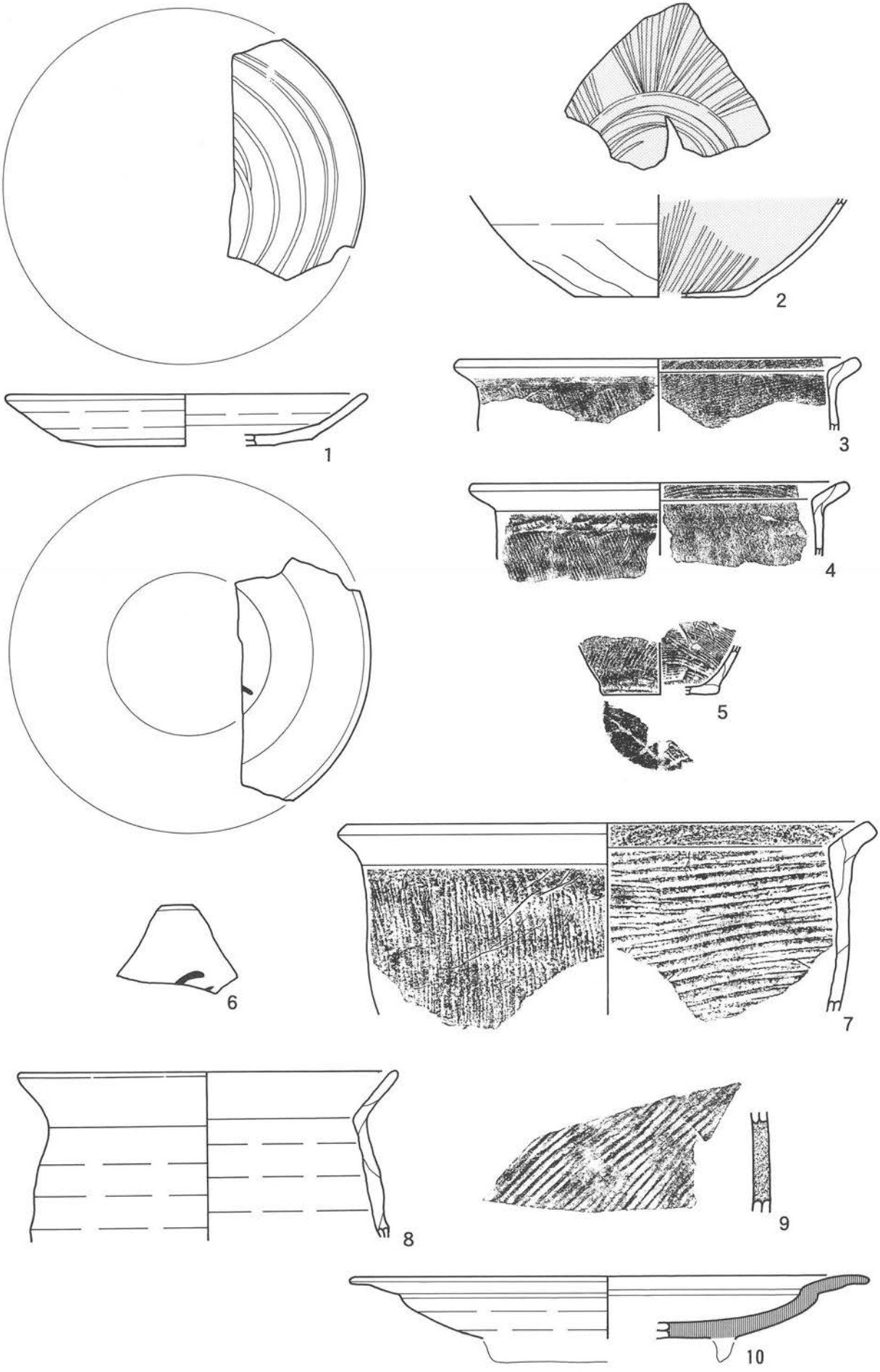
第78図　25号住居（1/40）



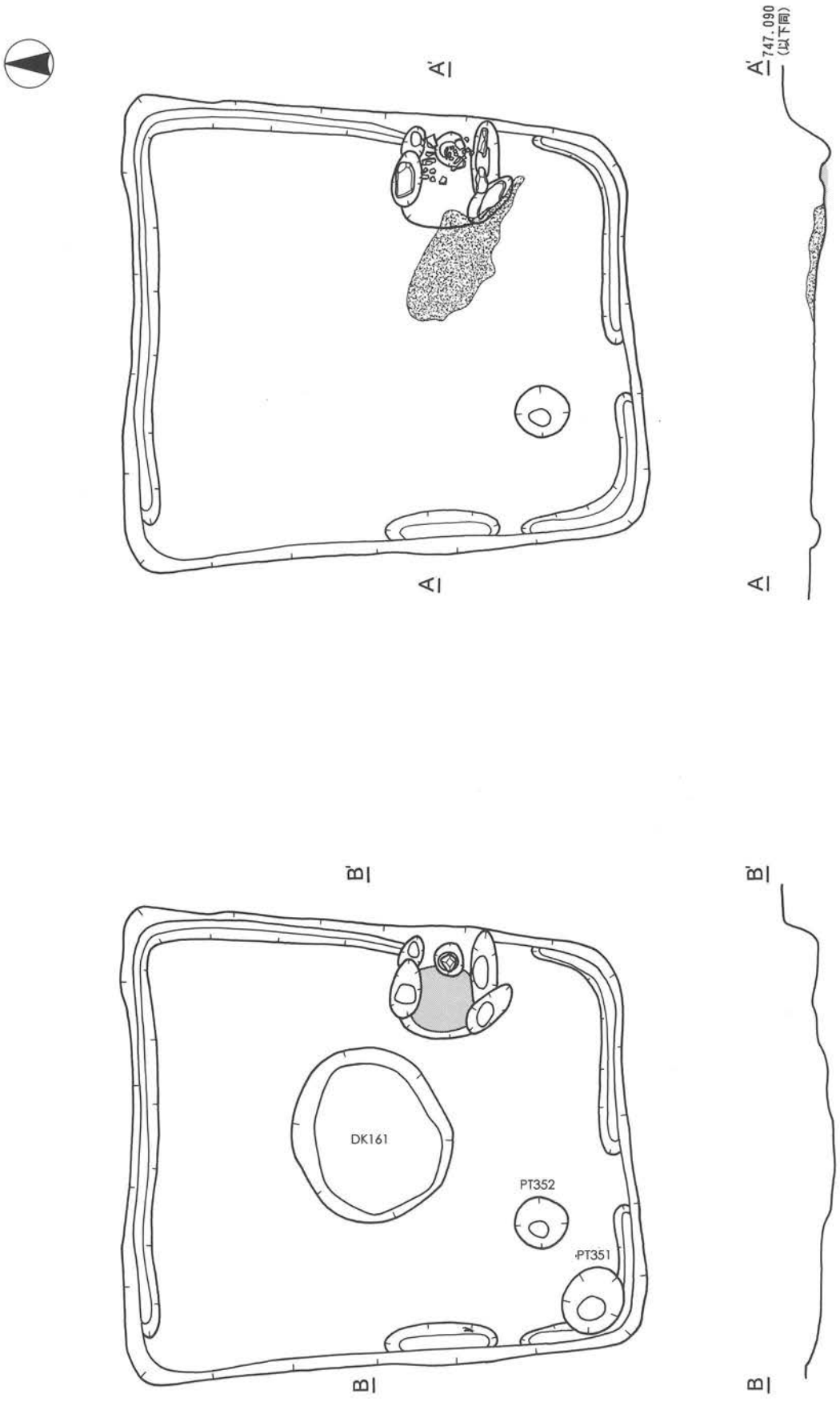
1層 10YR3/1(黒褐)細粒土に細かい焼土粒が若干混じる。しまる。



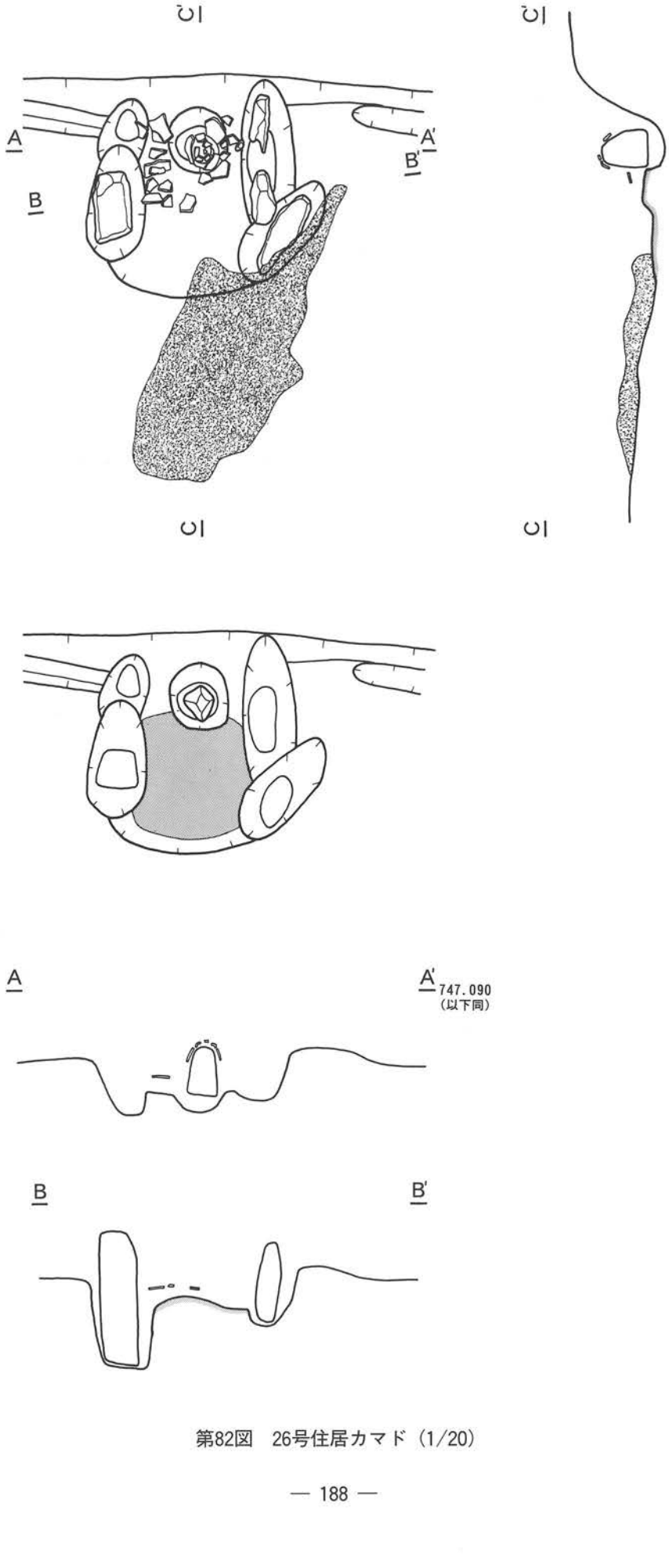
第79図　25号住居カマド（1/20）　25号住居出土遺物（1/2）



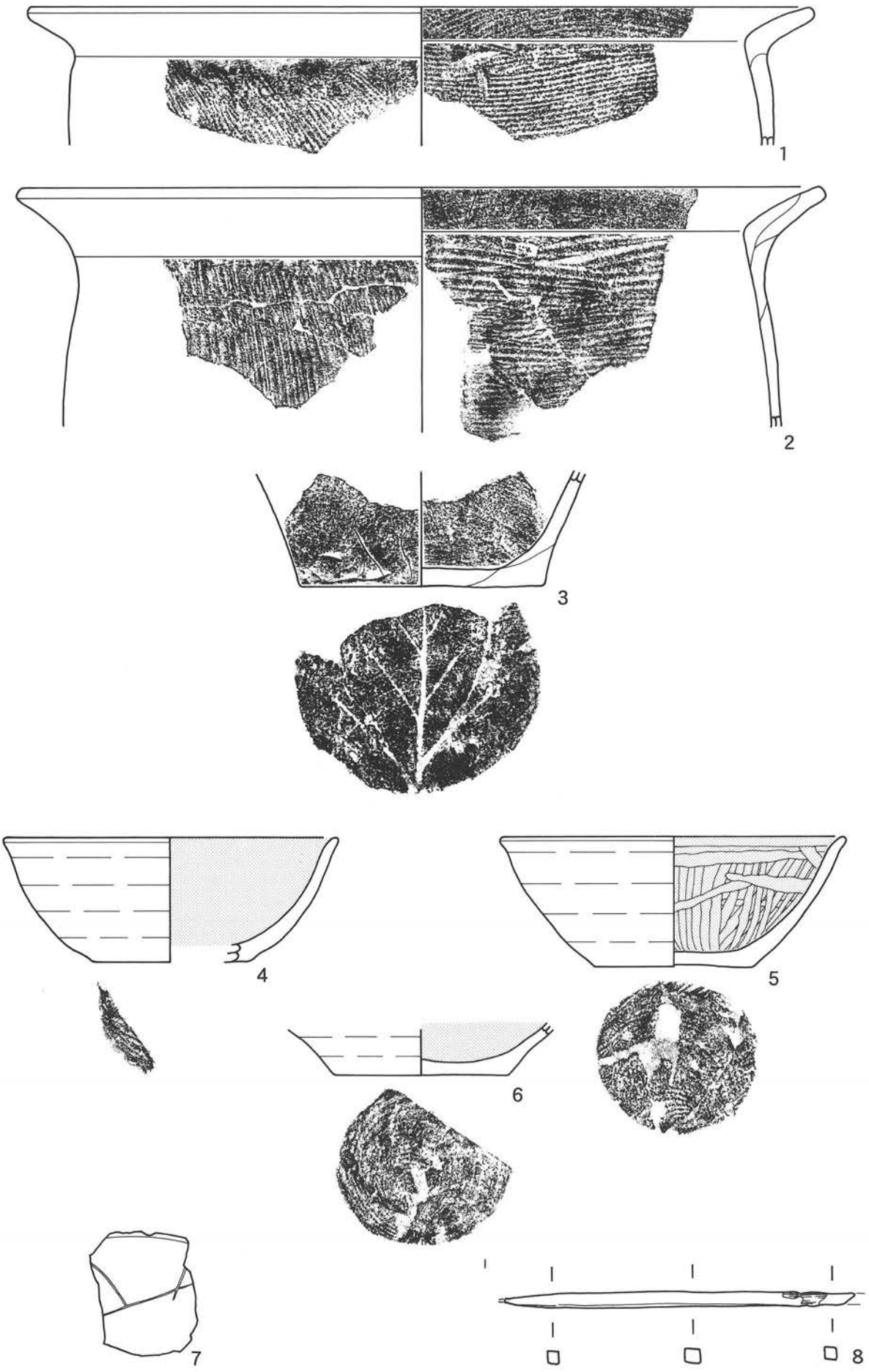
第80図　25号住居出土遺物（1/2、3～5 1/4）



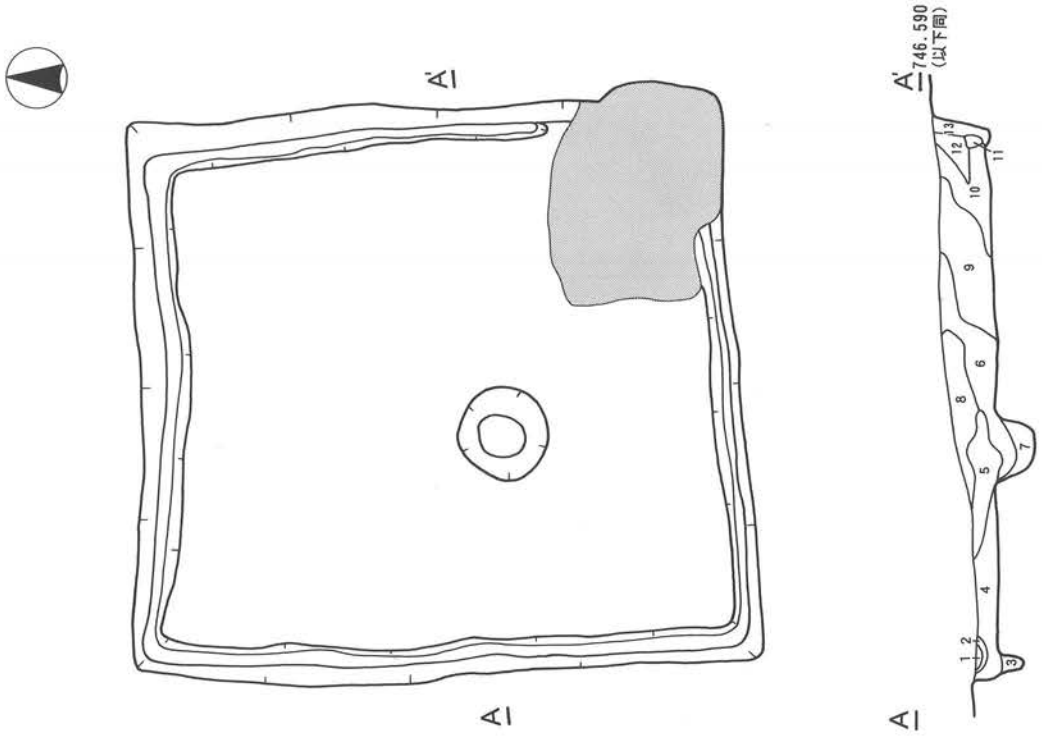
第81図　26号住居（1/40）



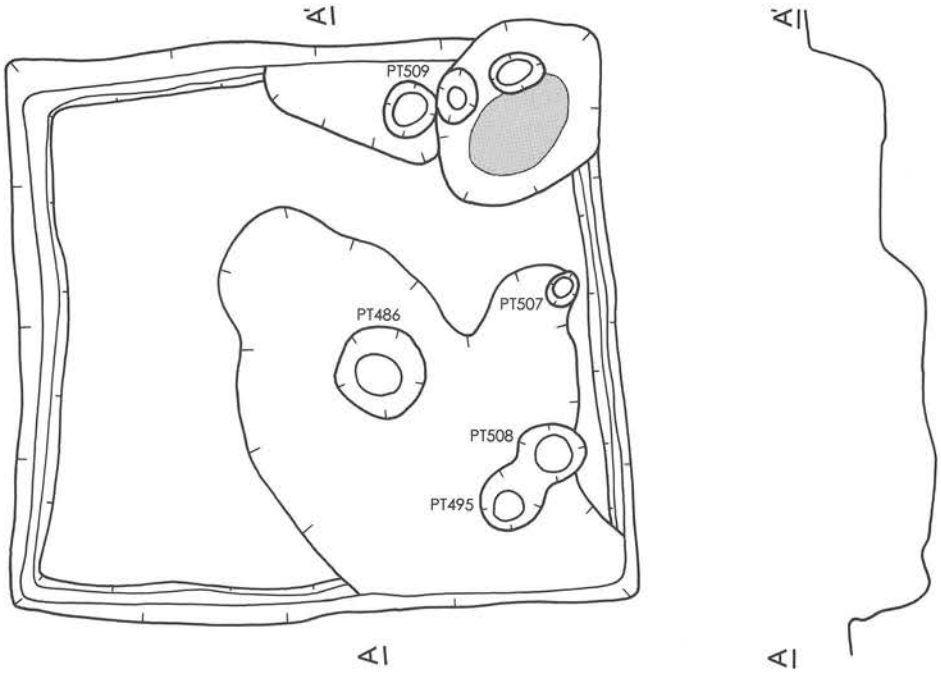
第82図　26号住居カマド（1/20）



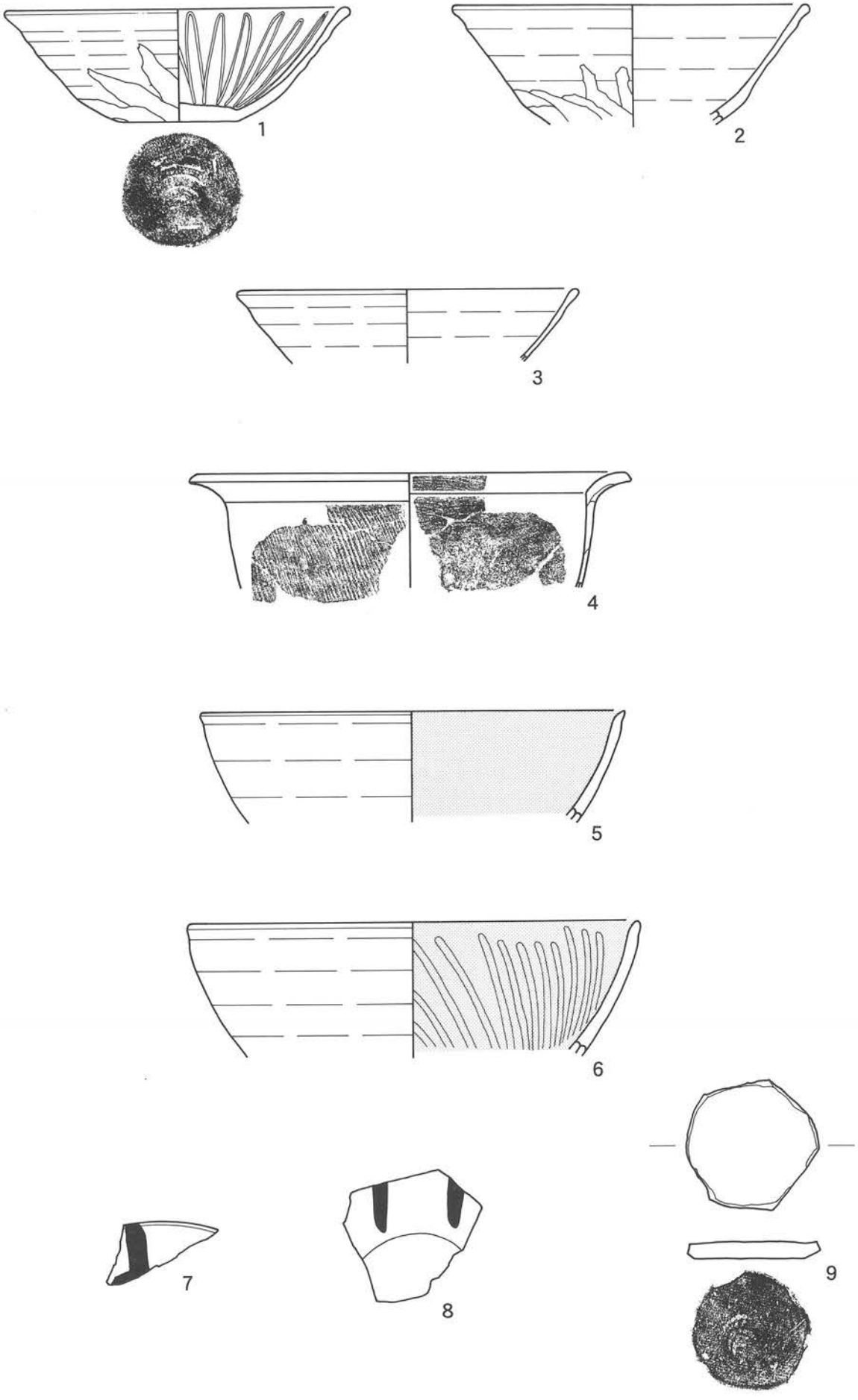
第83図　26号住居出土遺物（1/2）



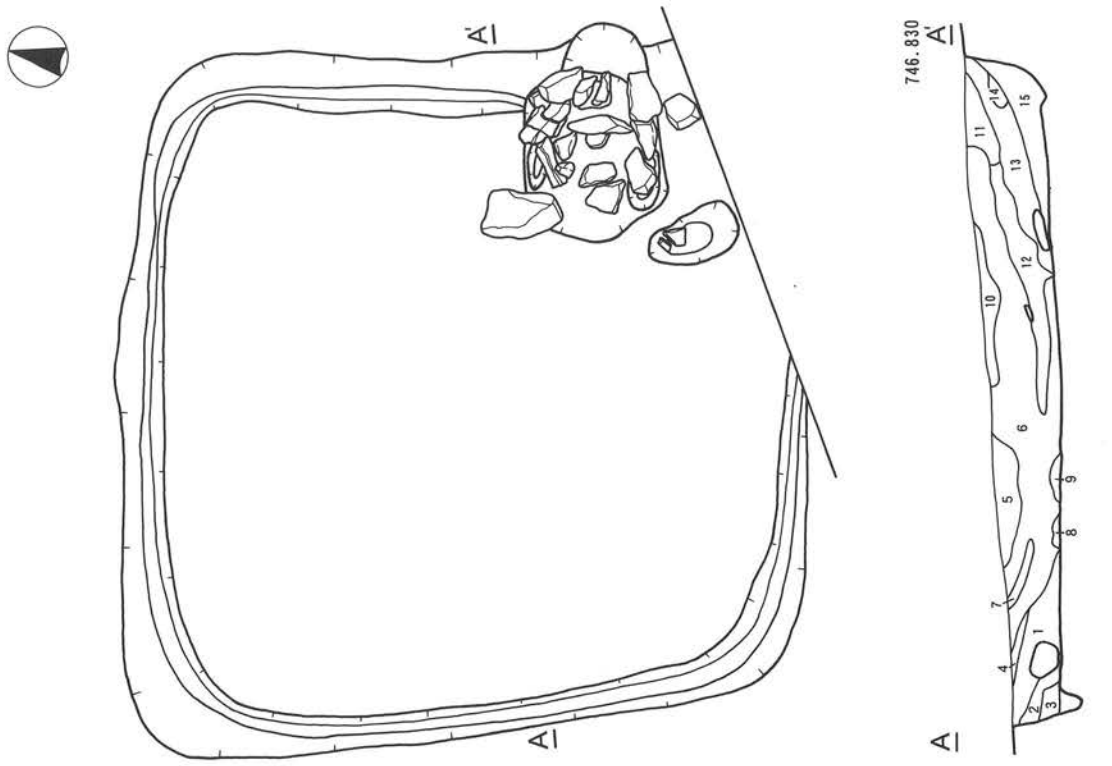
1層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/4(褐)が 7%、10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR5/6(黄褐)に 10YR6/6(明黄褐)が 2%、10YR3/4(暗褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20%、10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 3%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/4(にぶい黄褐)。固くしまる。粘りのある土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。



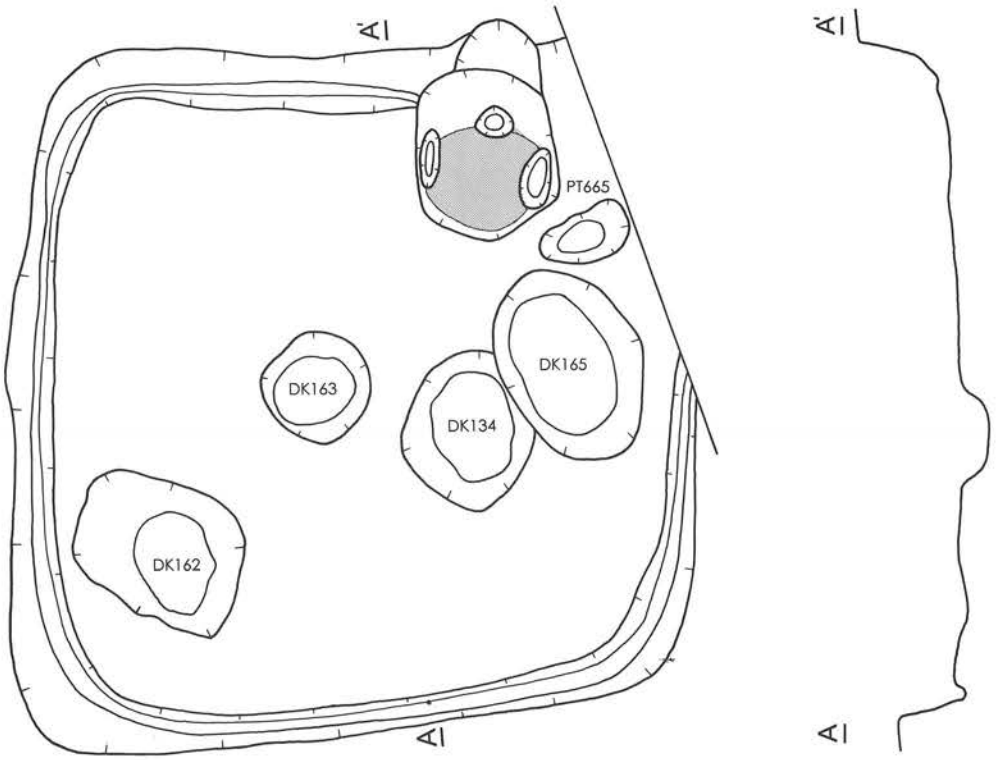
第84図　27号住居（1/40）



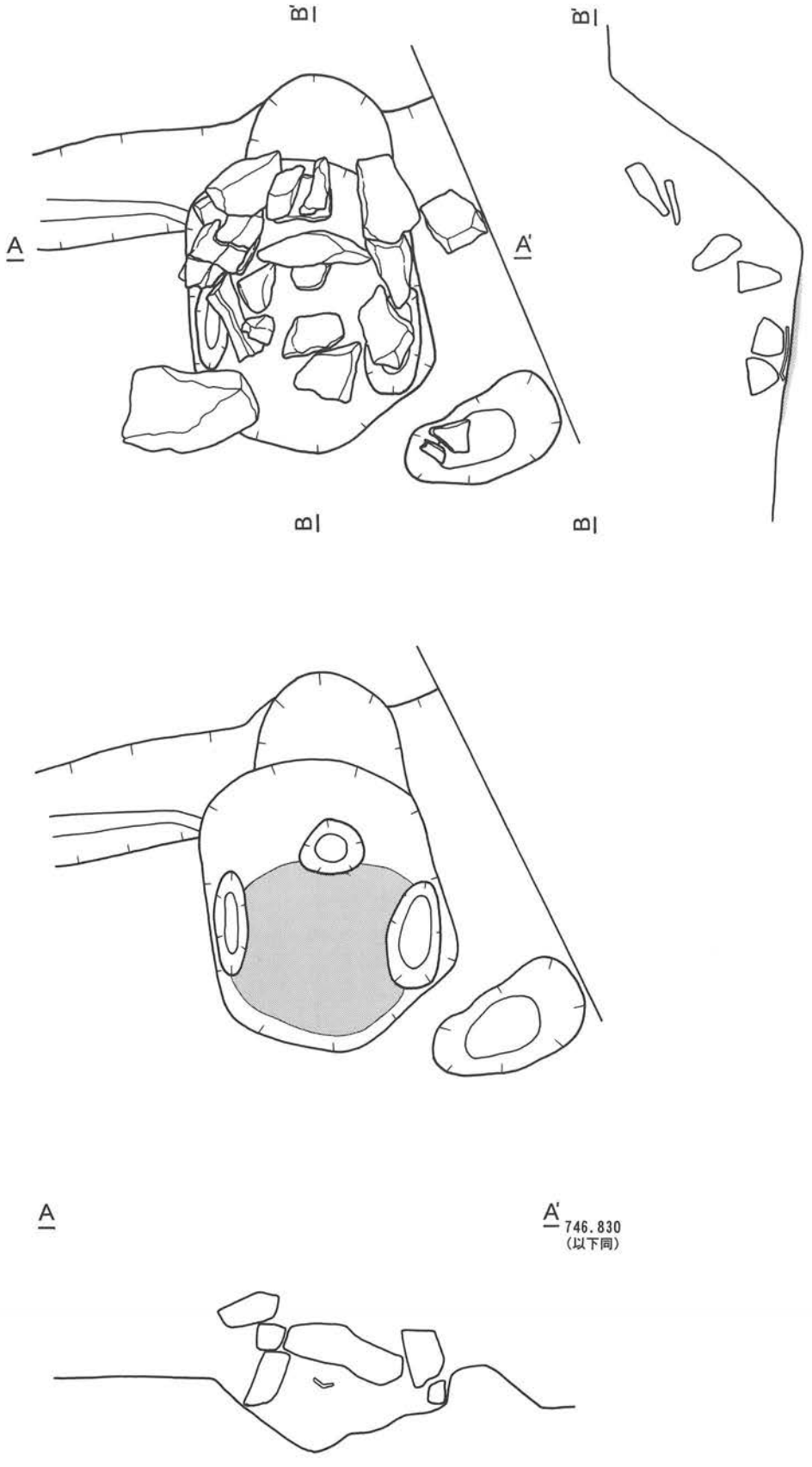
第85図　27号住居出土遺物（1/2、4 1/4）



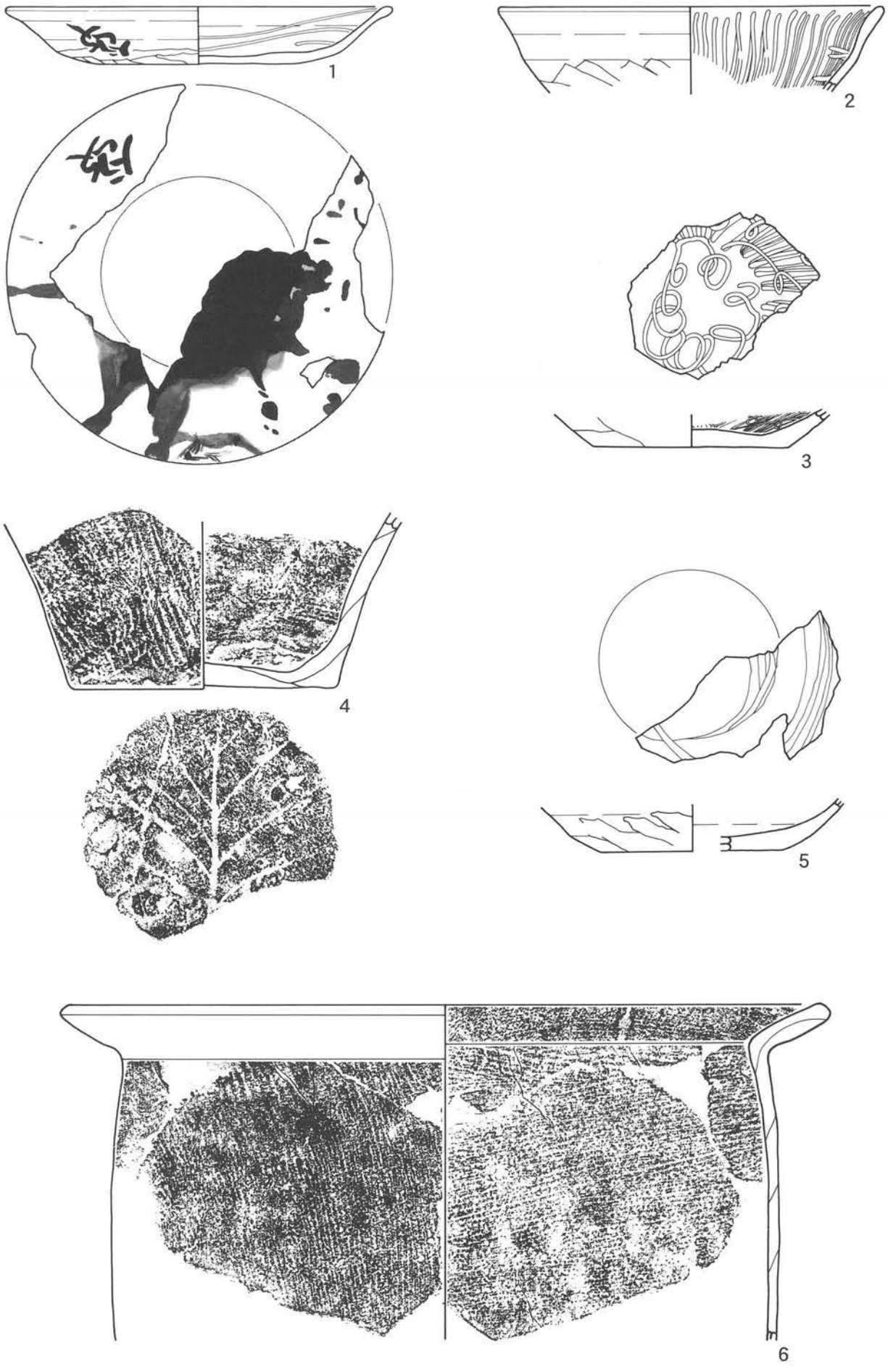
1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR2/3(黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 5%、10YR2/2(黒褐)が 3%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR4/3(にぶい黄褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 3%、10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 7%、10YR2/2(黒褐)が 3%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、10YR2/2(黒褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 3%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR4/3(にぶい黄褐)。固くしまる。粘りのある土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。



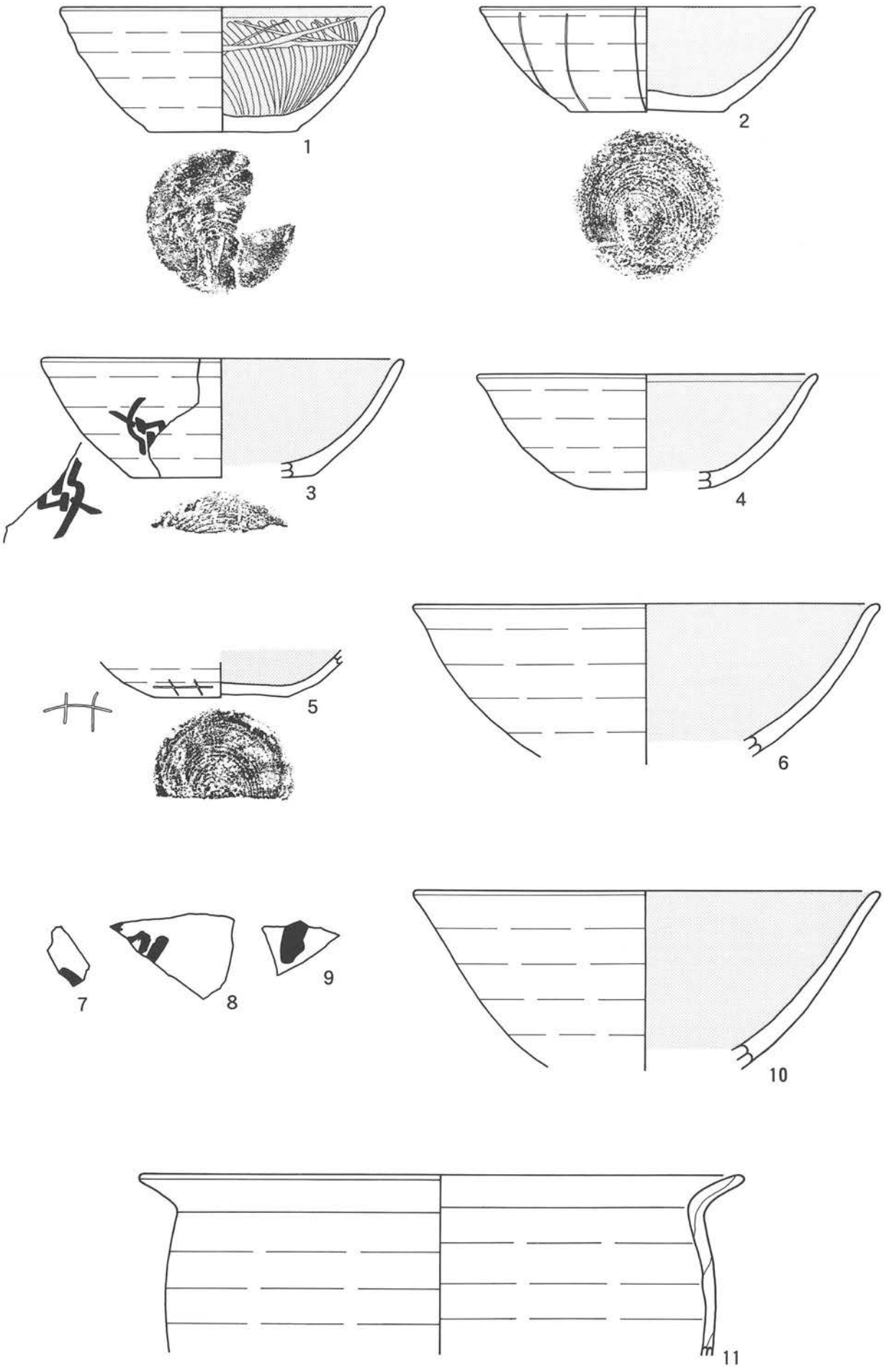
第86図　28号住居（1/40）



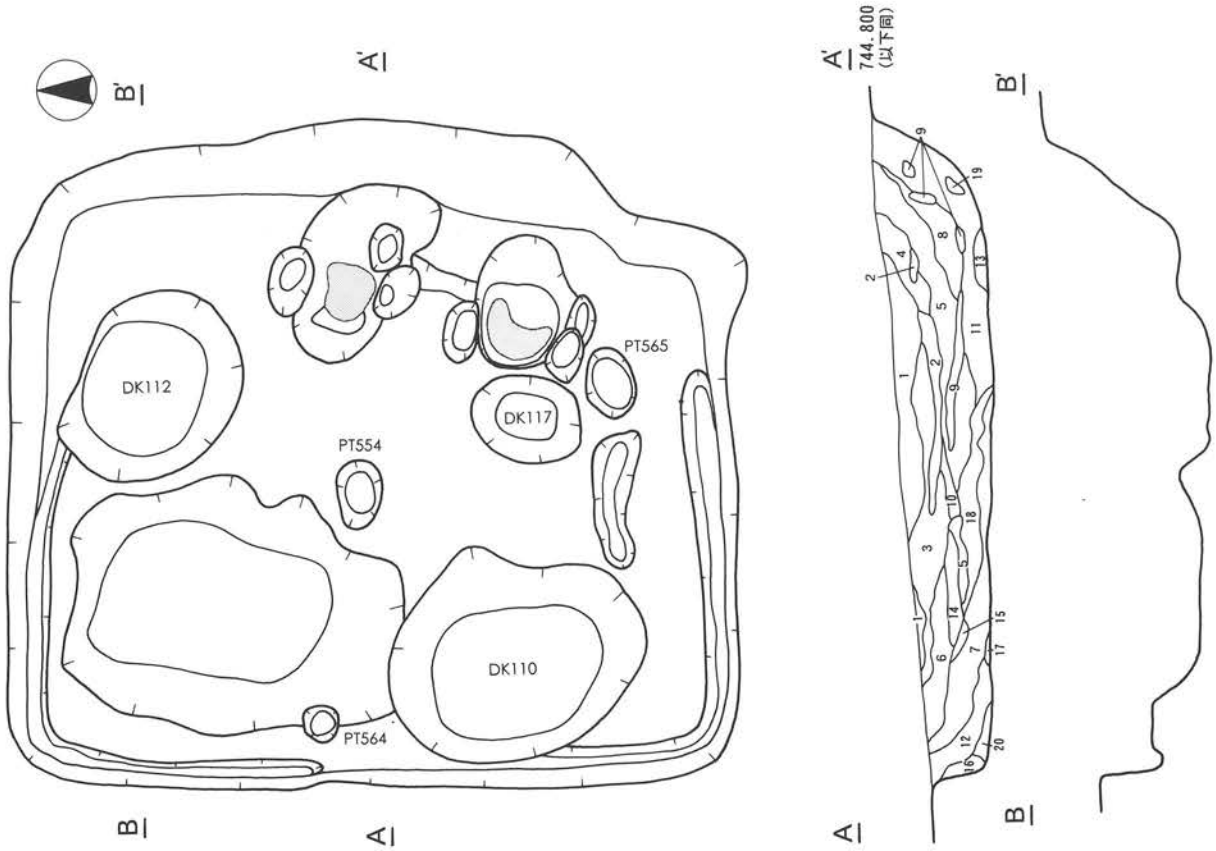
第87図　28号住居カマド（1/20）



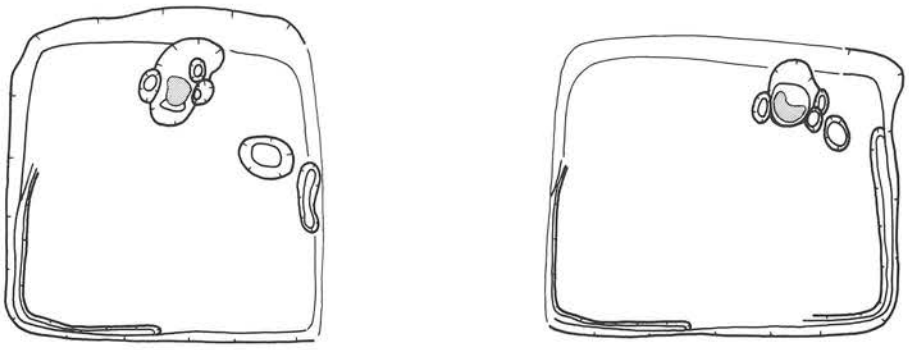
第88図　28号住居出土遺物（1/2）



第89図　28号住居出土遺物（1/2）

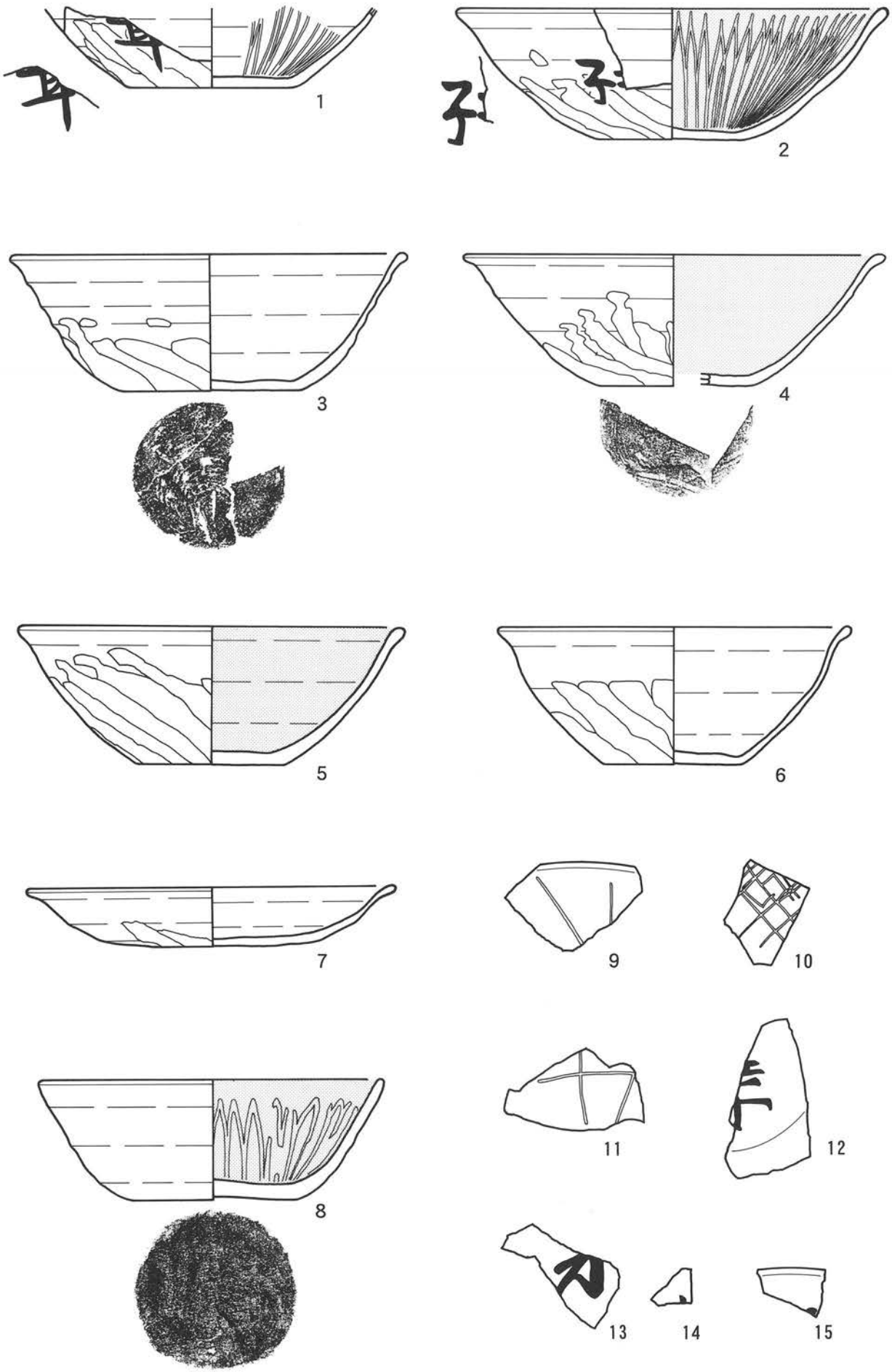


1層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 2%、10YR4/6(褐)細粒土が 1%未満、焼土わずかに混じる。固くしまる。
2層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 1～3mm 大で全体に 2%点在、炭化物わずかに混じる。固くしまる。
3層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR3/2(黒褐)細粒土が 20%、10YR4/6(褐)細粒土が 1～4mm 大で 2%点在、焼土・炭化物わずかに混じる。固くしまるが 2 層よりややへこむ。
4層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR2/2(黒褐)細粒土が 30%混じる。しまる。
5層 10YR3/2(黒褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 40%、10YR4/6(褐)が 2%混じる。ややしまる。
6層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 1%、10YR4/6(褐)が 1～5mm で 1%点在、焼土・炭化物がわずかに混じる。固くしまる。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土。焼土・炭化物を含む。固くしまる。
8層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土が 5%混じる。固くしまる。
9層 10YR4/4(褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 20%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 10%、炭化物・焼土が 1%混じる。固くしまる。
10層 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 20%混じる。しまる。
11層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 30%、5YR3/4(暗赤褐)細粒土が 5%、10YR4/6(褐)細粒土が斑状に 2%混じる。焼土・炭化物含む。ややしまる。
12層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 30%、炭化物 1%未満混じる。固くしまる。
13層 10YR4/4(褐)細粒土に 5YR3/4(暗赤褐)細粒土が 30%、10YR4/6(褐)細粒土が 5%斑状に混じる。焼土含む。ややしまる。
14層 10YR3/4(暗褐)細粒土。固くしまる。
15層 10YR2/3(黒褐)細粒土に 10YR3/2(黒褐)細粒土が 50%混じる。固くしまる。
16層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 40%混じる。しまる。
17層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 40%混じる。非常に固くしまる。
18層 10YR3/3(暗褐)細粒土。固くしまる。
19層 10YR5/6(黄褐)細粒土。固くしまる。
20層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%、10YR4/6(褐)細粒土が 1%斑状に混じる。固ぐしまる。
床面 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%斑状に混じる。焼土・炭化物含む。非常に固くしまる。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 20%混じる。固くしまる。

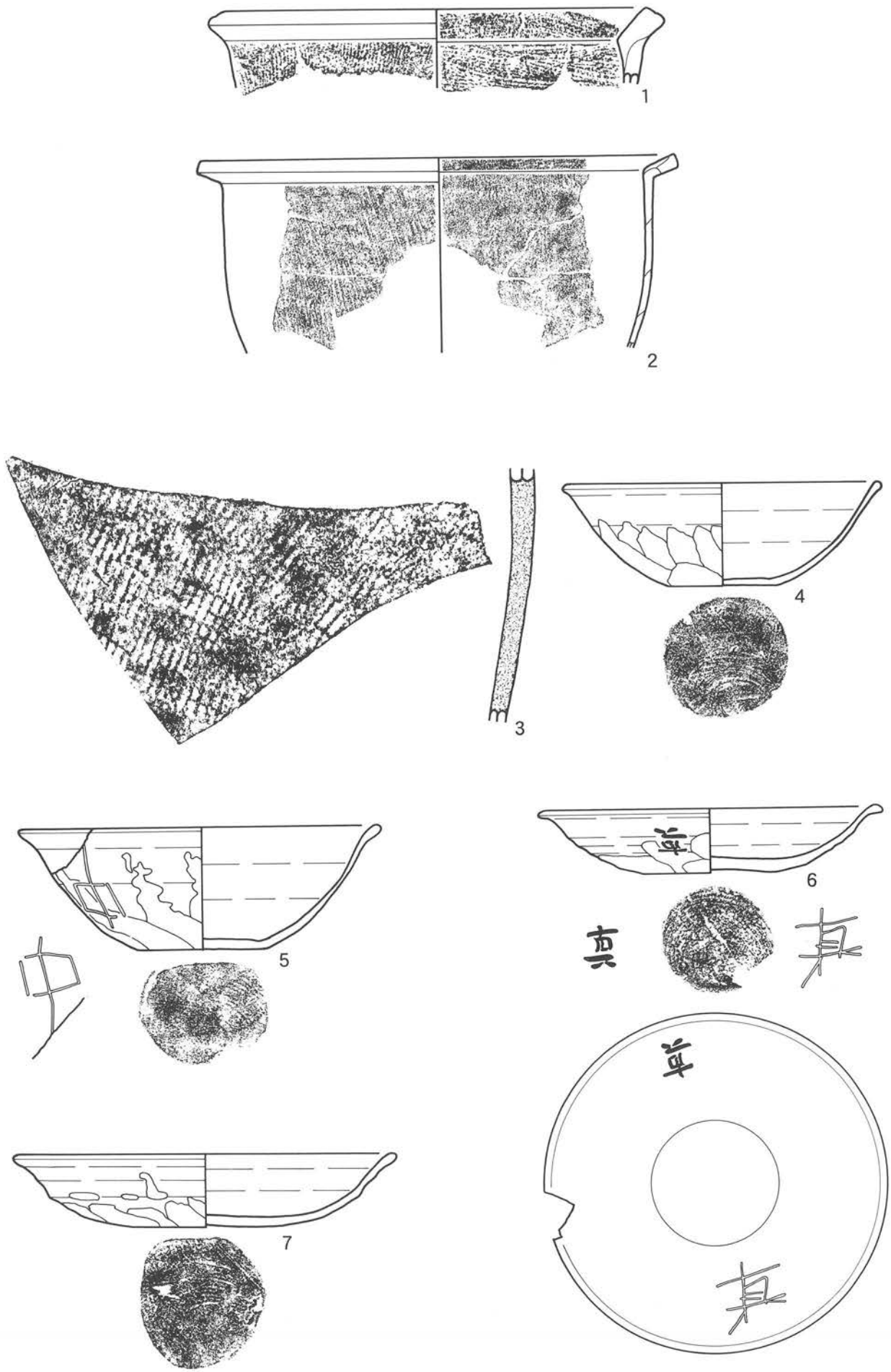


29b 号住居　　29a 号住居

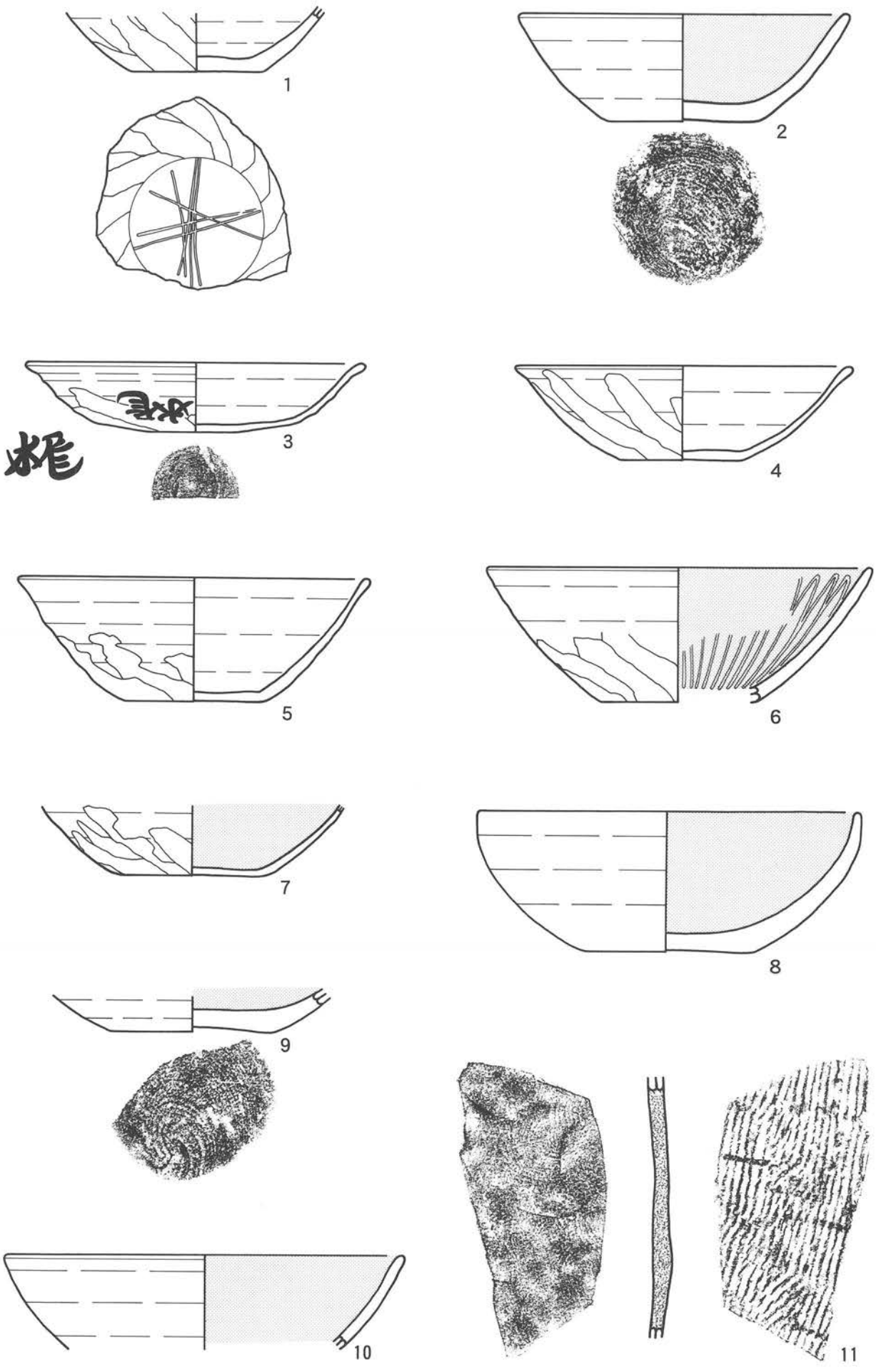
第90図　29号住居（1/40）



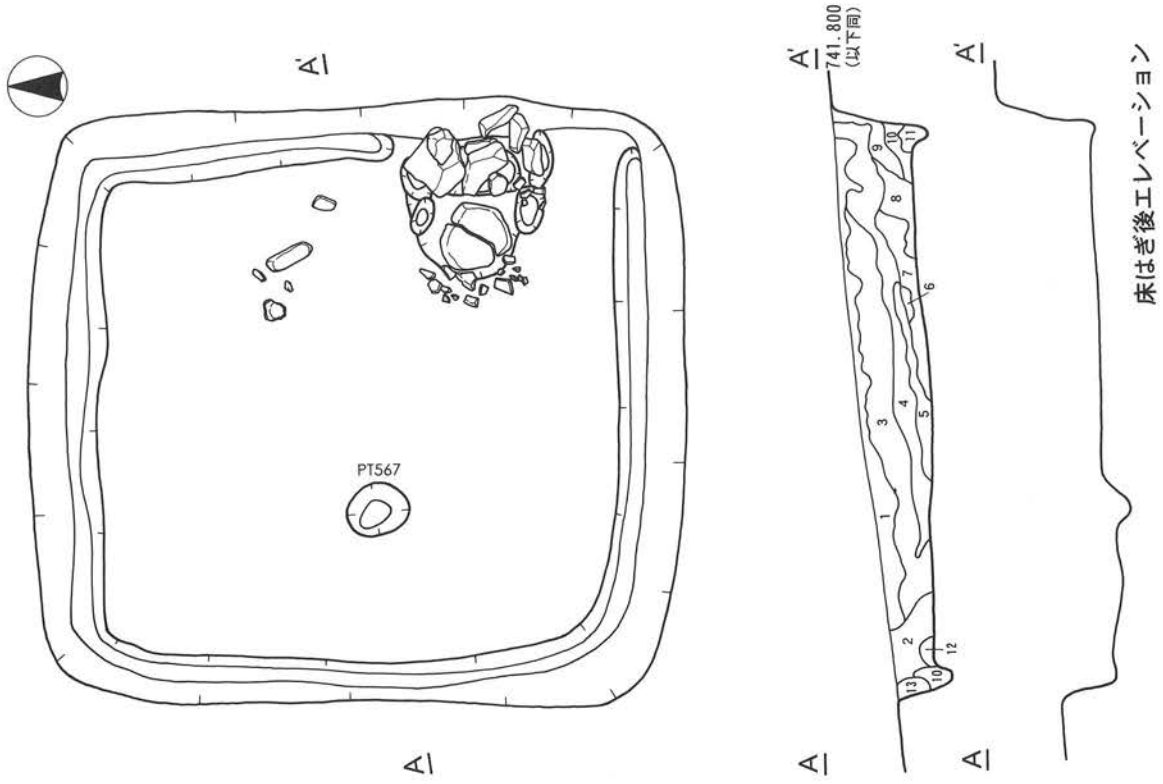
第91図　29号住居出土遺物（1/2）



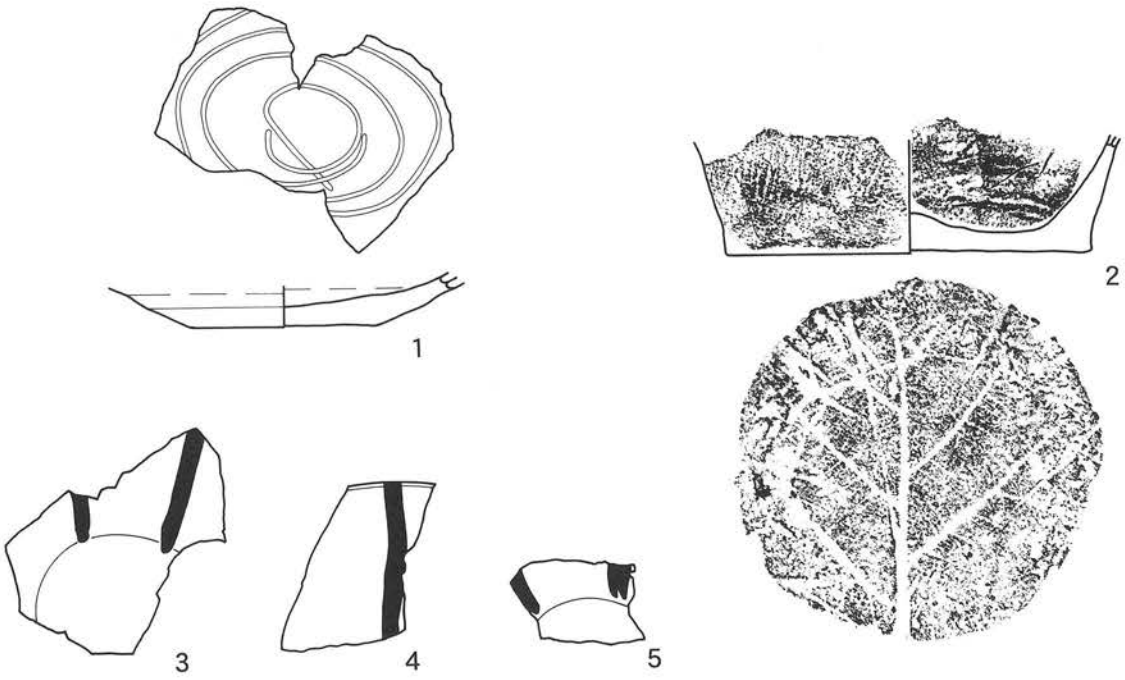
第92図　29号住居出土遺物（1/2、2 1/4）



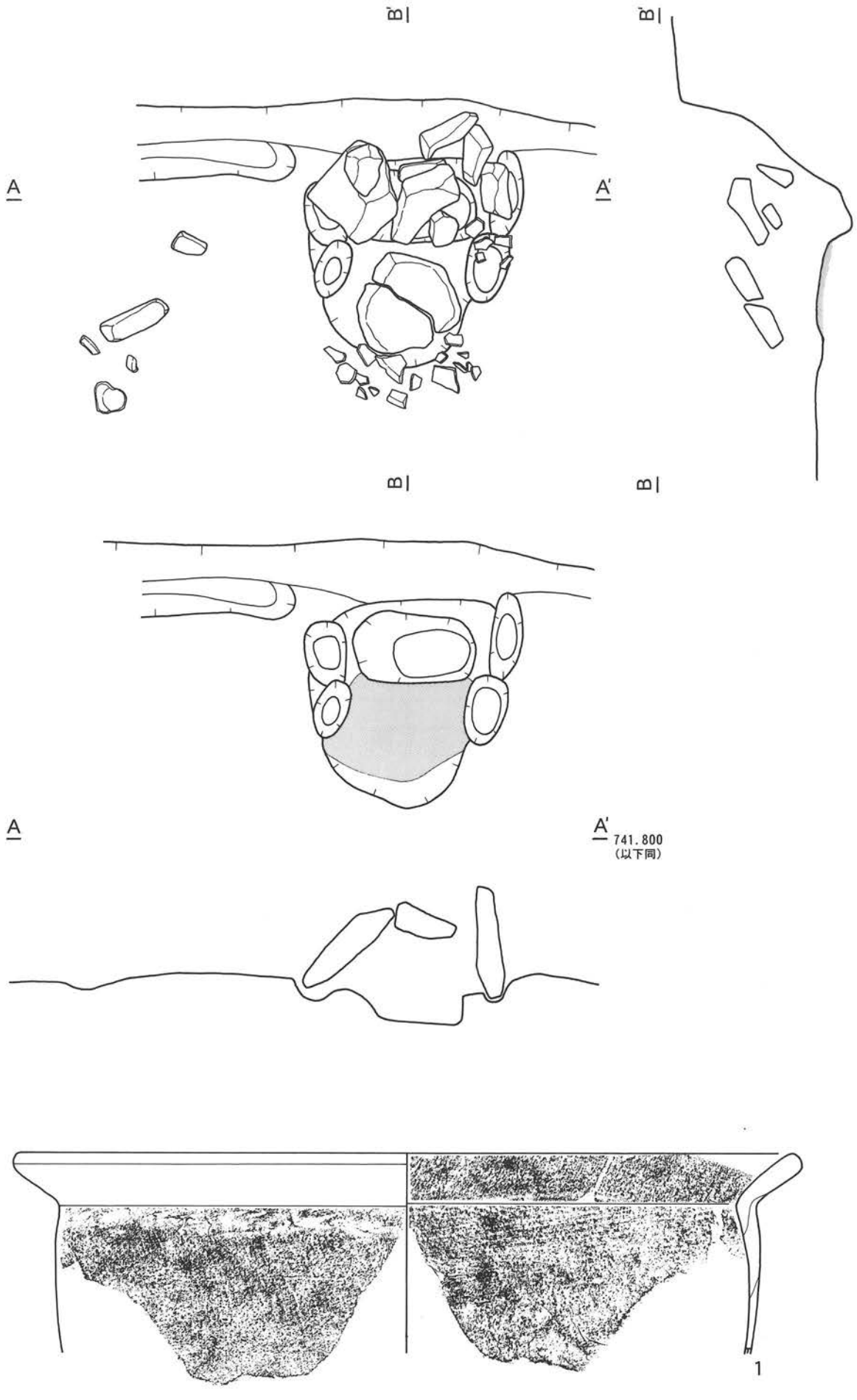
第93図　29号住居出土遺物（1/2）



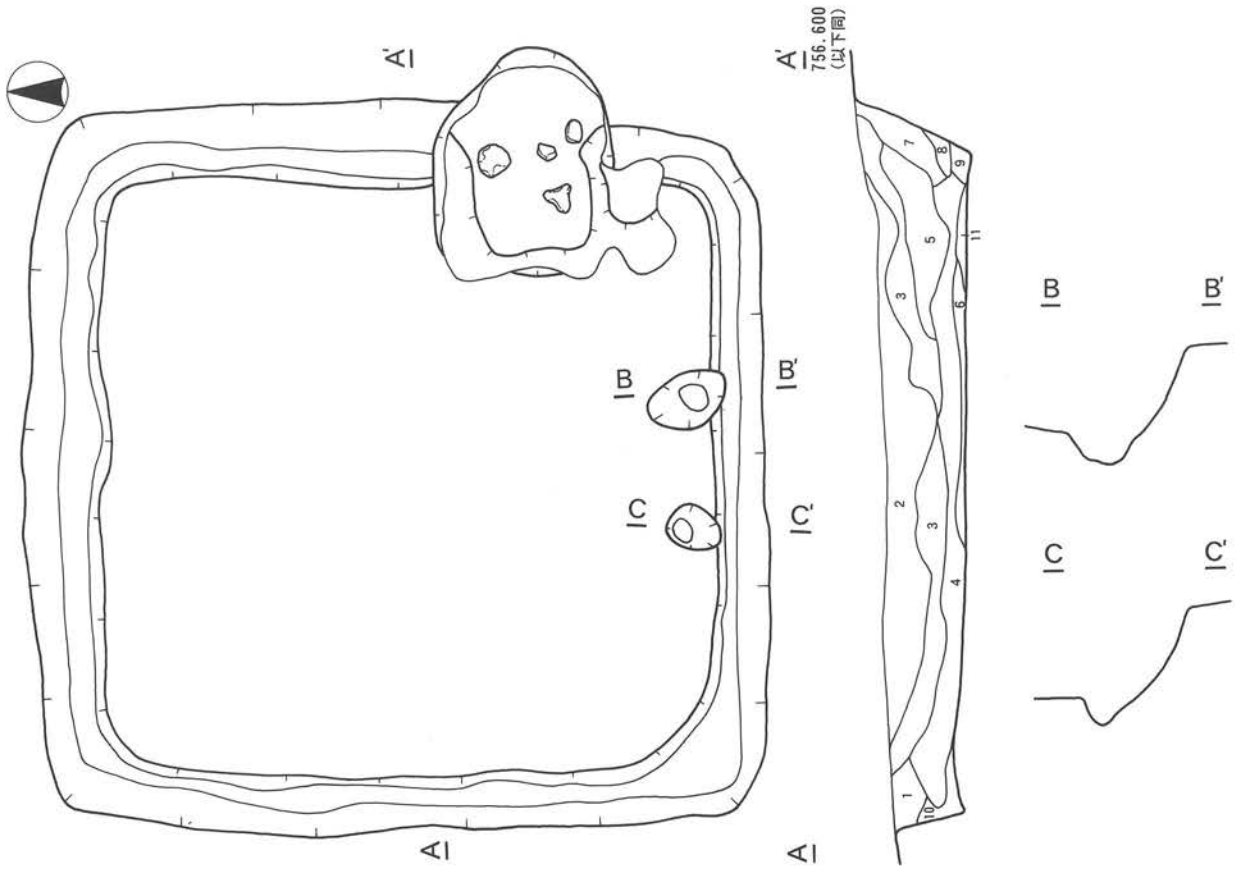
1層 10YR4/4(褐)細粒土に 10YR3/3(暗褐)細粒土が 30%斑状に混じる。炭化物・焼土含む。固くしまる。
2層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 30%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 10%混じる。ややしまる。
3層 10YR3/3(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 10%、10YR4/4(褐)細粒土が 1%混じる。焼土含む。固くしまる。
4層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 5%、10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 20%、10YR4/6(褐)細粒土 2〜5mm で 1%点在。焼土・炭化物含む。固くしまる。
5層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR2/2(黒褐)細粒土が 40%、10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 10%、10YR4/6(褐)細粒土が 1%ブロックで混じる。固くしまる。
6層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 10%混じる。炭化物・焼土含む。固くしまる。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%、10YR3/4(暗褐)細粒土が 5%混じる。焼土含む。固くしまる。
8層 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 30%、10YR3/4(暗褐)細粒土がブロックで 1%混じる。焼土・炭化物含む。固くしまる。
9層 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 20%混じる。固くしまる。
10層 10YR4/4(褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 40%混じる。固くしまる。
11層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土に 10YR4/6(褐)細粒土が 40%混じる。固くしまる。
12層 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土が 50%混じる。固くしまる。
床面 10YR5/6(黄褐)細粒土。固くしまる。
地山 10YR4/6(褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 10%、10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土が 20%斑状に混じる。非常に固くしまる。



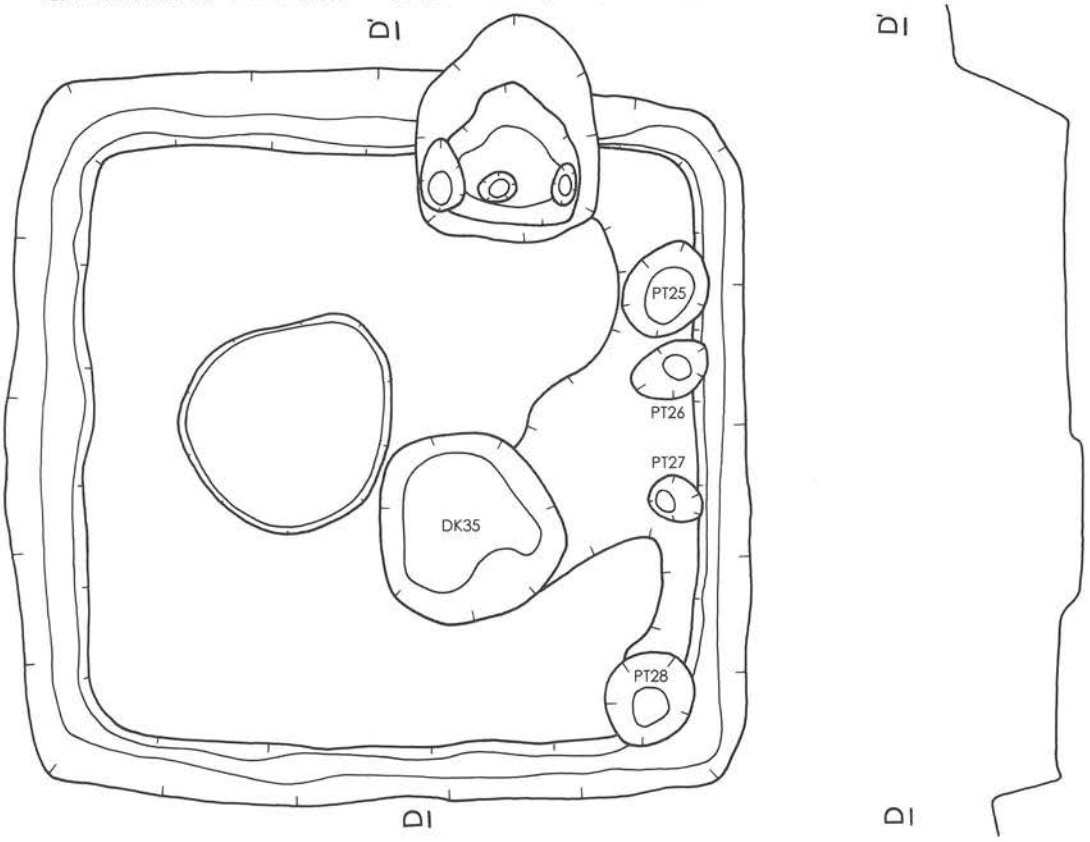
第94図　30号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



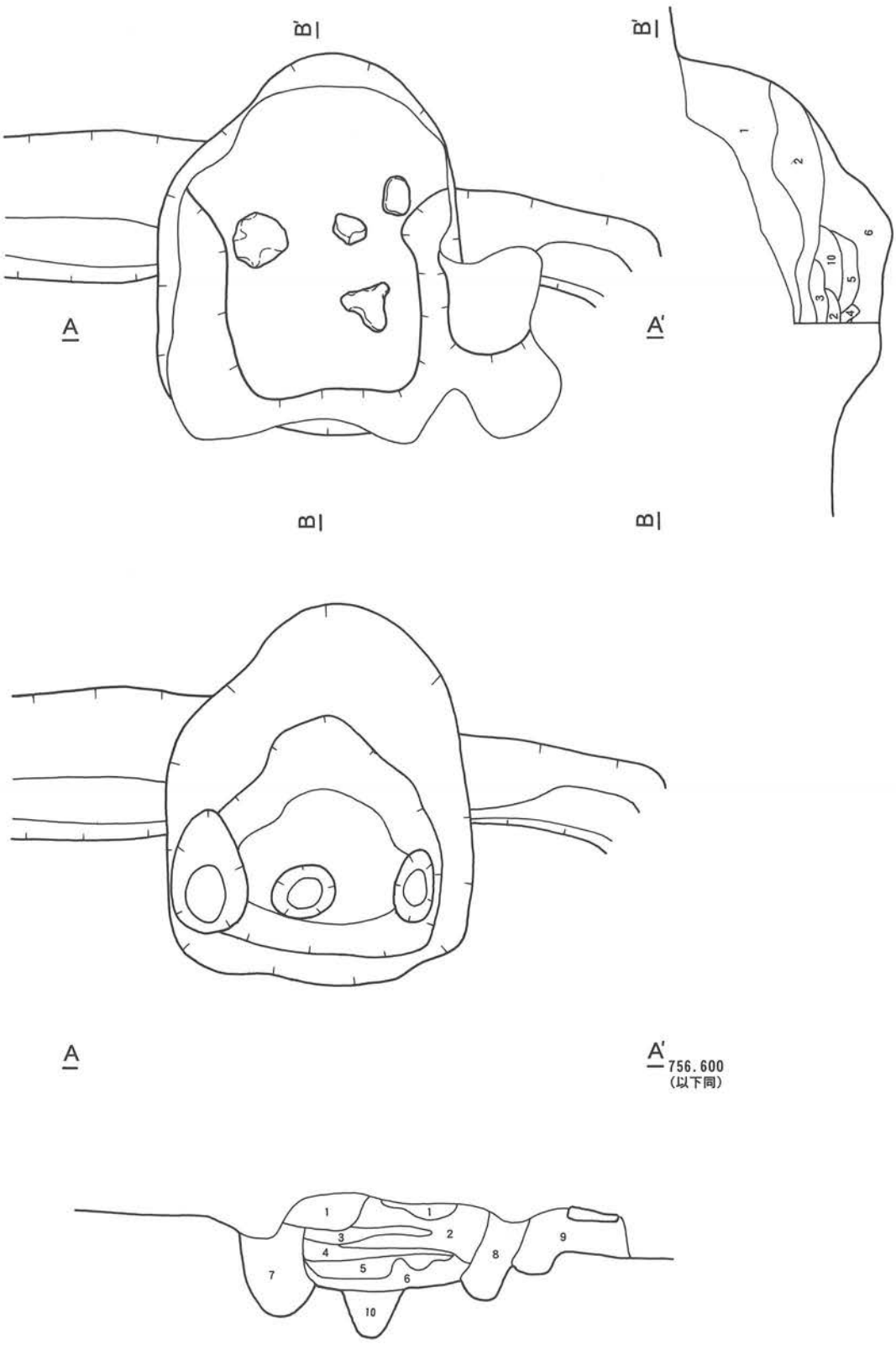
第95図　30号住居カマド（1/20）　30号住居出土遺物（1/2）



1層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、3～5mmの礫が5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%、3～7mmの礫が1%、焼土が1%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、3～5mmの礫が1%、焼土が1%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が7%、焼土が3%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。(3層より黒い部分が多い。)
5層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が5%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が5%、焼土が20%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が2%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 カマドの粘土が崩れた土。10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が40%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が2%、炭化物が1%混じる。しまる。シルト粒土。

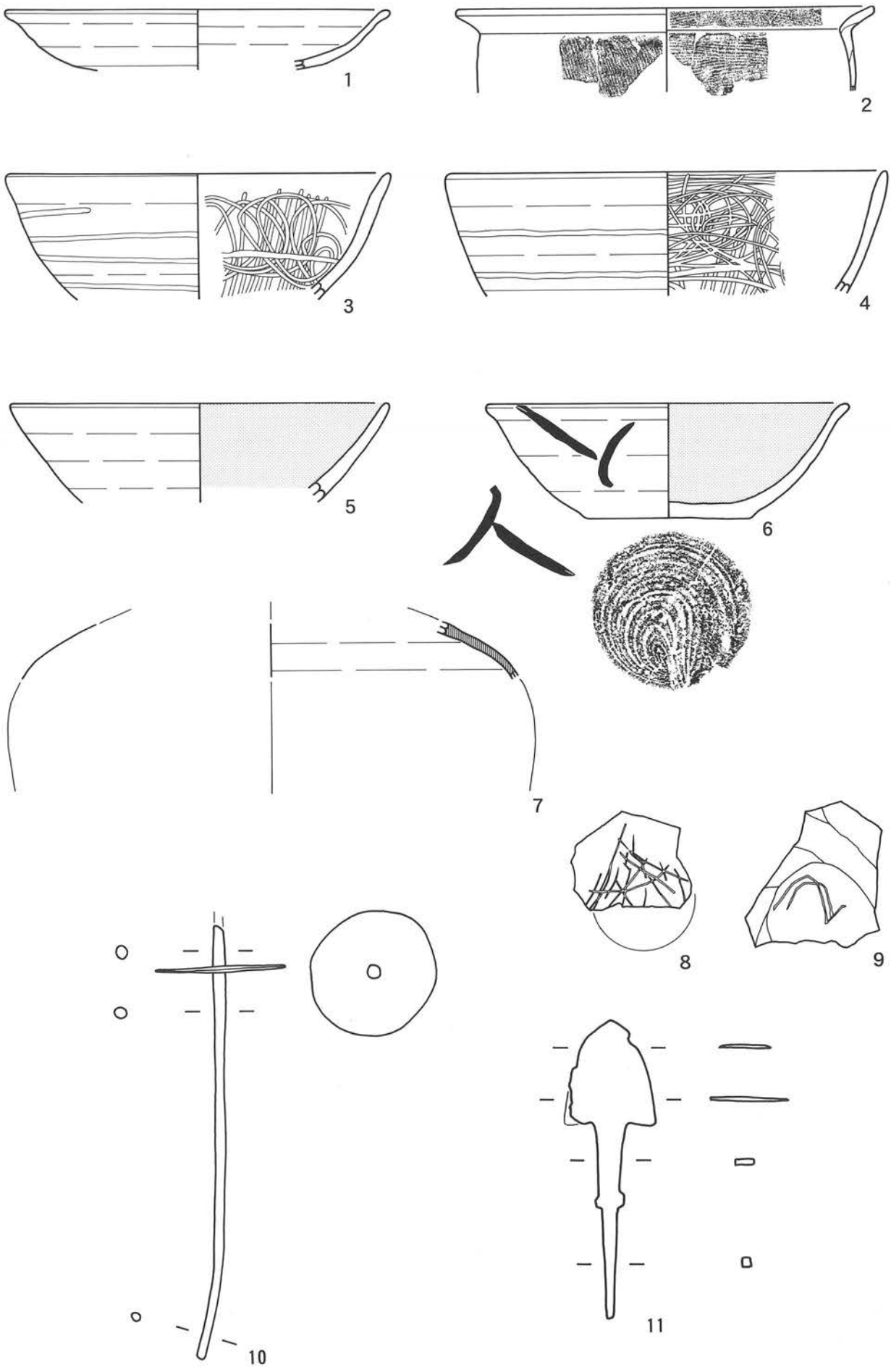


第96図　31号住居（1/40）

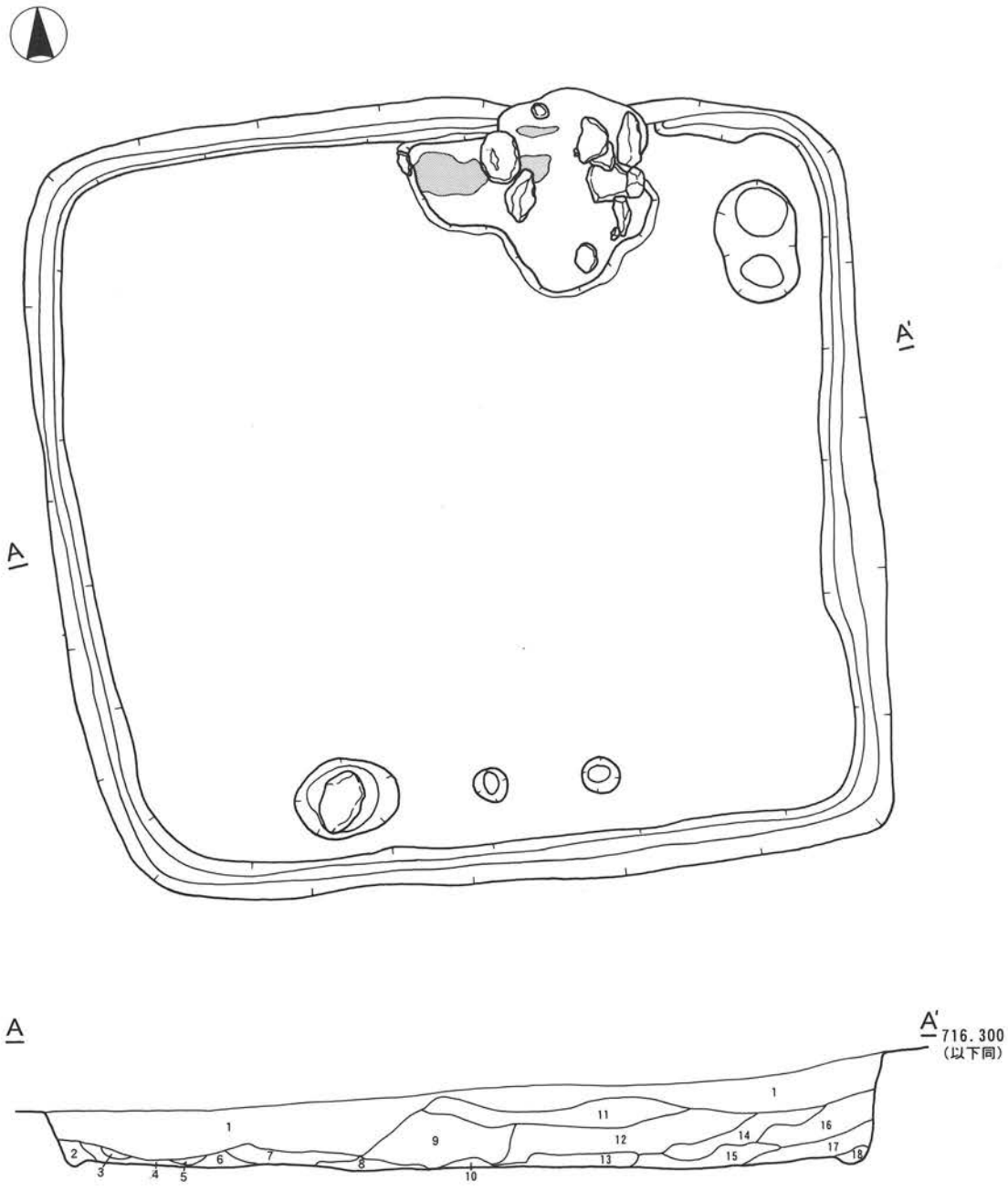


1層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が全体に粒子で 20%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が全体に粒子で 20%、炭化物が 5%、焼土が 2～8mm 大で 15%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 2.5YR5/8(明赤褐)焼土に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 10%混じる。しまる。
4層 7.5YR7/8(黄橙)に 10YR5/6(黄褐)が 20%、焼土粒子が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 5YR7/8(橙)。固くしまる。シルト粒土だが、焼けてボソボソと固まっている。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が全体に粒子で 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が全体に粒子で 30%、焼土粒子が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR3/2(黒褐)が 20%、 7.5YR7/8(黄橙)が 2～10mm 程の粒子で 10%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が全体に 40%、炭化物が 5%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 15%、焼土粒子が 5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。

第97図　31号住居カマド（1/20）

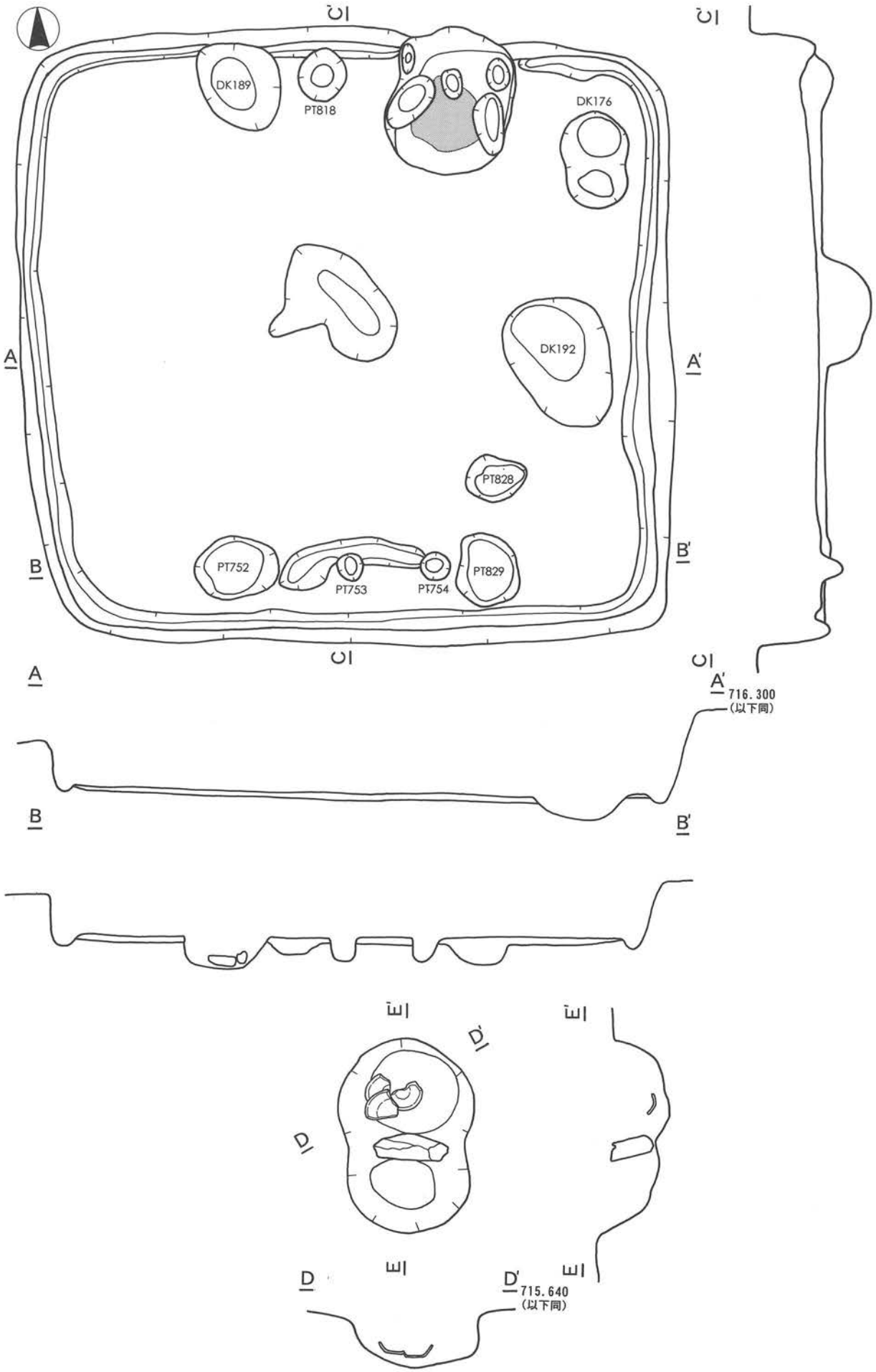


第98図　31号住居出土遺物（1/2、2・7 1/4）

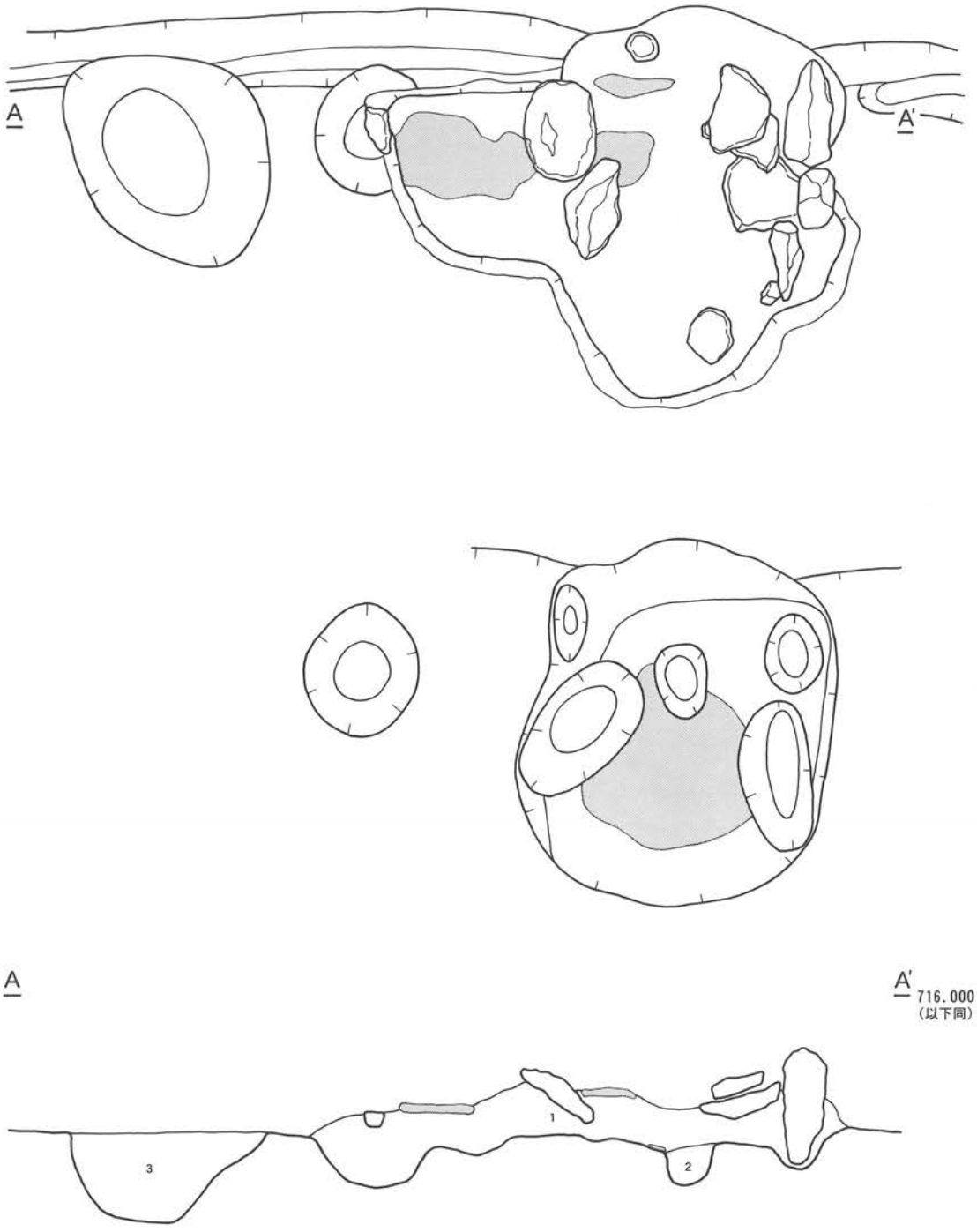


1層 カクラン
2層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR3/3(暗褐)が 5%、10YR4/6(褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土が 2%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 20%、10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 30%、焼土が 7%混じる。しまる。シルト粒土。カマドの粘土が北から流れ込んでいる。
14層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。

第99図　36号住居（1/40）

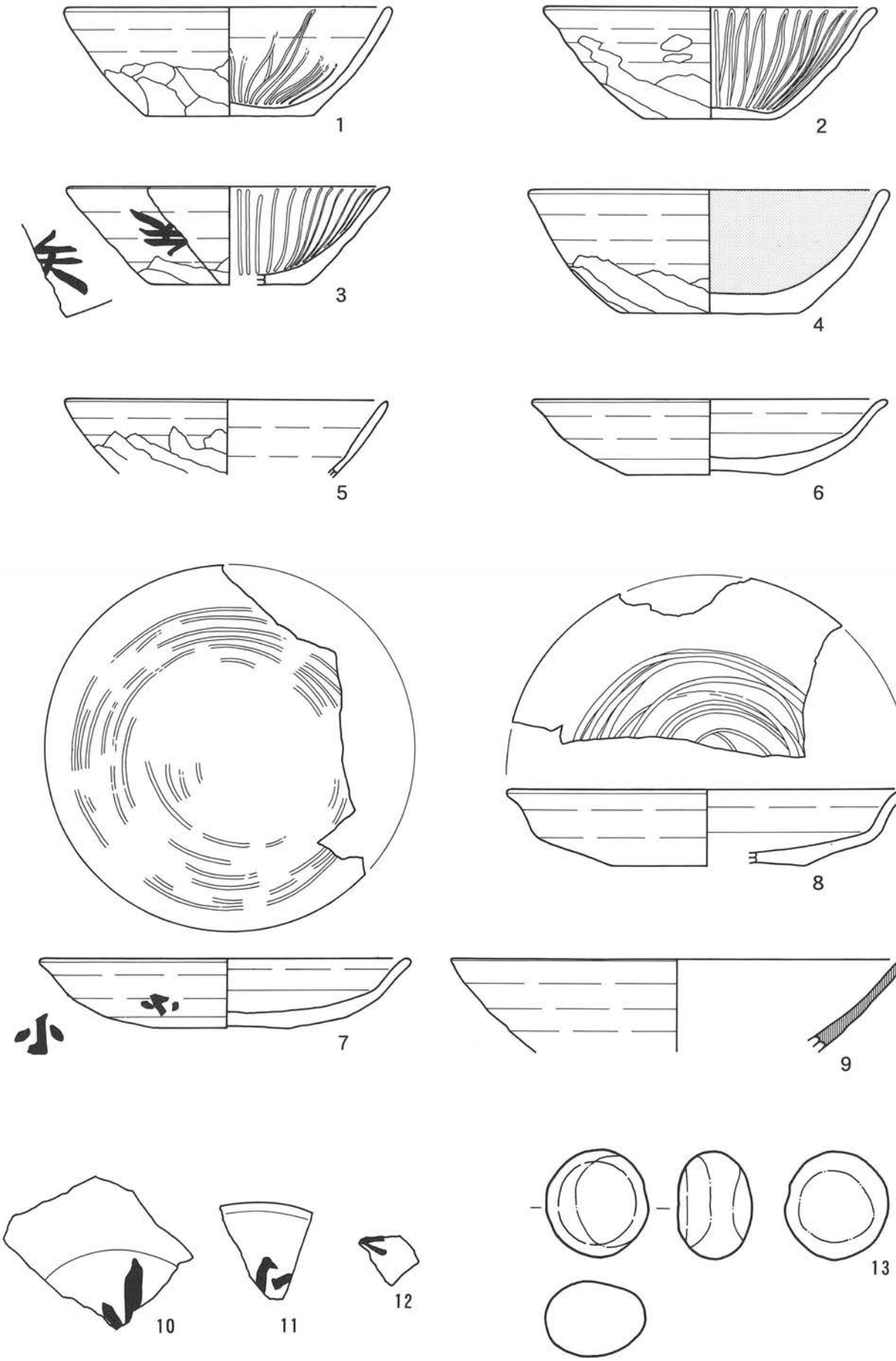


第100図　36号住居（1/40）　176号土坑（1/20）

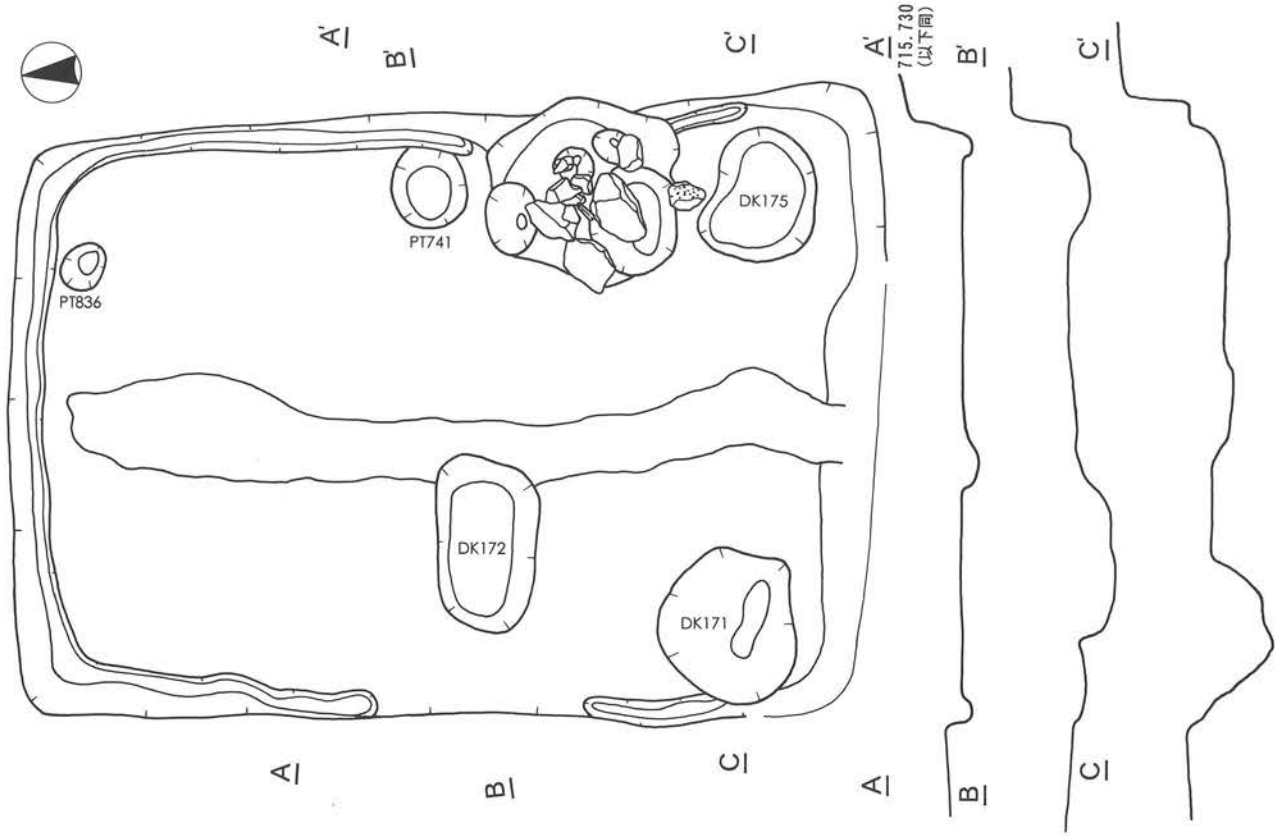


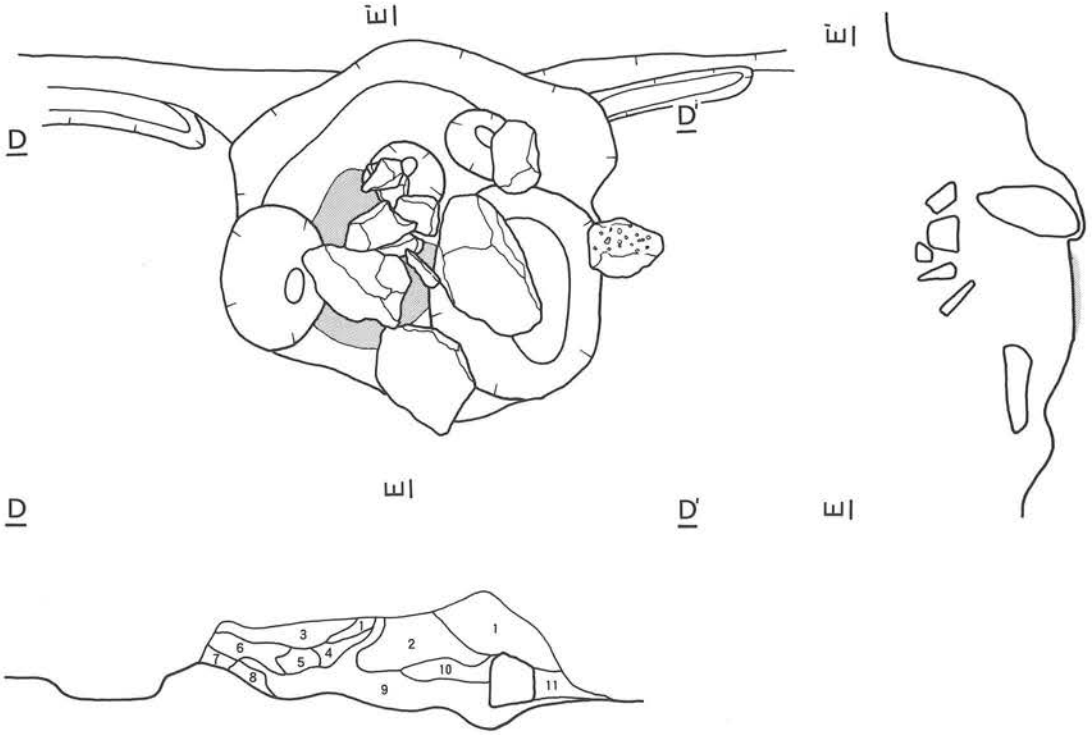
1層 10YR3/3(暗褐)に 5YR4/8(赤褐)が粒子～30mm 程のブロックで 30%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に 5YR5/6(明赤褐)が 20%、10YR3/3(暗褐)が 10%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 5YR4/8(赤褐)に 10YR3/3(暗褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。

第101図　36号住居カマド（1/20）



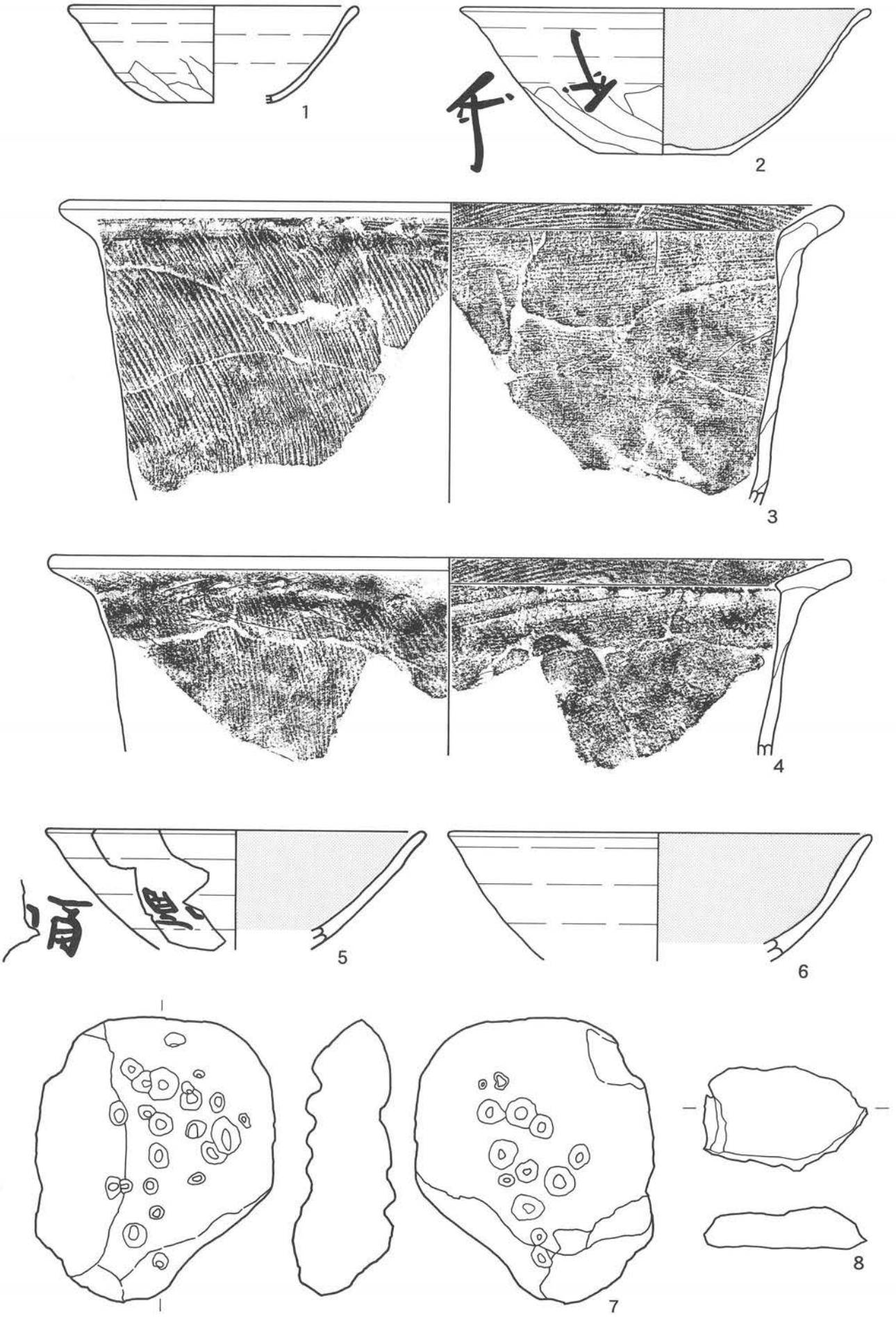
第102図　36号住居出土遺物（1/2）



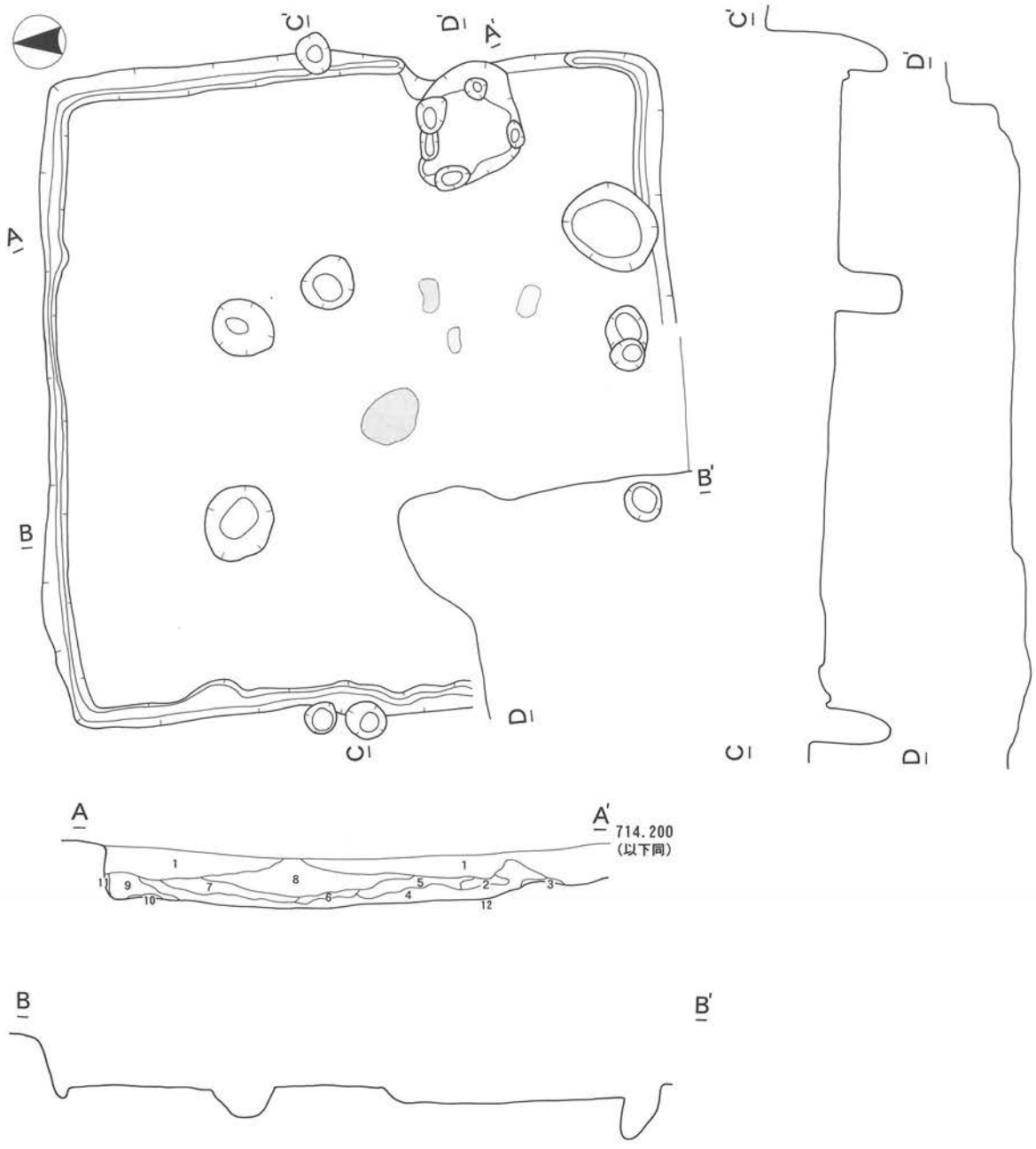


1層 10YR4/6(褐)シルト粒土に 10YR3/4(暗褐)シルト粒土が 20%混じる。焼土含む。固くしまる。
2層 10YR2/3(黒褐)シルト粒土に 10YR3/3(暗褐)シルト粒土が 30%、焼土が 1%混じる。非常に固くしまる。
3層 10YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR2/3(黒褐)シルト粒土が 40%混じる。焼土含む。非常に固くしまる。
4層 5YR3/6(暗赤褐)シルト粒土に 7.5YR3/3(暗褐)シルト粒土が 20%、焼土が 20%混じる。非常に固くしまる。
5層 7.5YR4/4(褐)シルト粒土に 10YR3/4(暗褐)シルト粒土が 30%、焼土が 20%混じる。固くしまる。
6層 10YR4/6(褐)シルト粒土に 10YR3/4(暗褐)シルト粒土が 10%混じる。焼土含む。固くしまる。
7層 10YR3/3(暗褐)シルト粒土に 10YR4/4(褐)シルト粒土が 30%混じる。固くしまる。
8層 10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土。固くしまる。
9層 7.5YR2/3(極暗褐)シルト粒土に 10YR4/4(褐)シルト粒土が 10%、焼土が 3%、炭化物が 2%混じる。固くしまる。
10層 5YR3/6(暗赤褐)細粒土に 7.5YR3/4(暗褐)細粒土が 30%、焼土が 5%混じる。固くしまる。
11層 10YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR4/4(褐)シルト粒土が 30%、焼土が 2%混じる。固くしまる。
地山 10YR4/6(褐)シルト粒土。固くしまる。粘性有。

第103図　37号住居（1/40）　37号住居カマド（1/20）

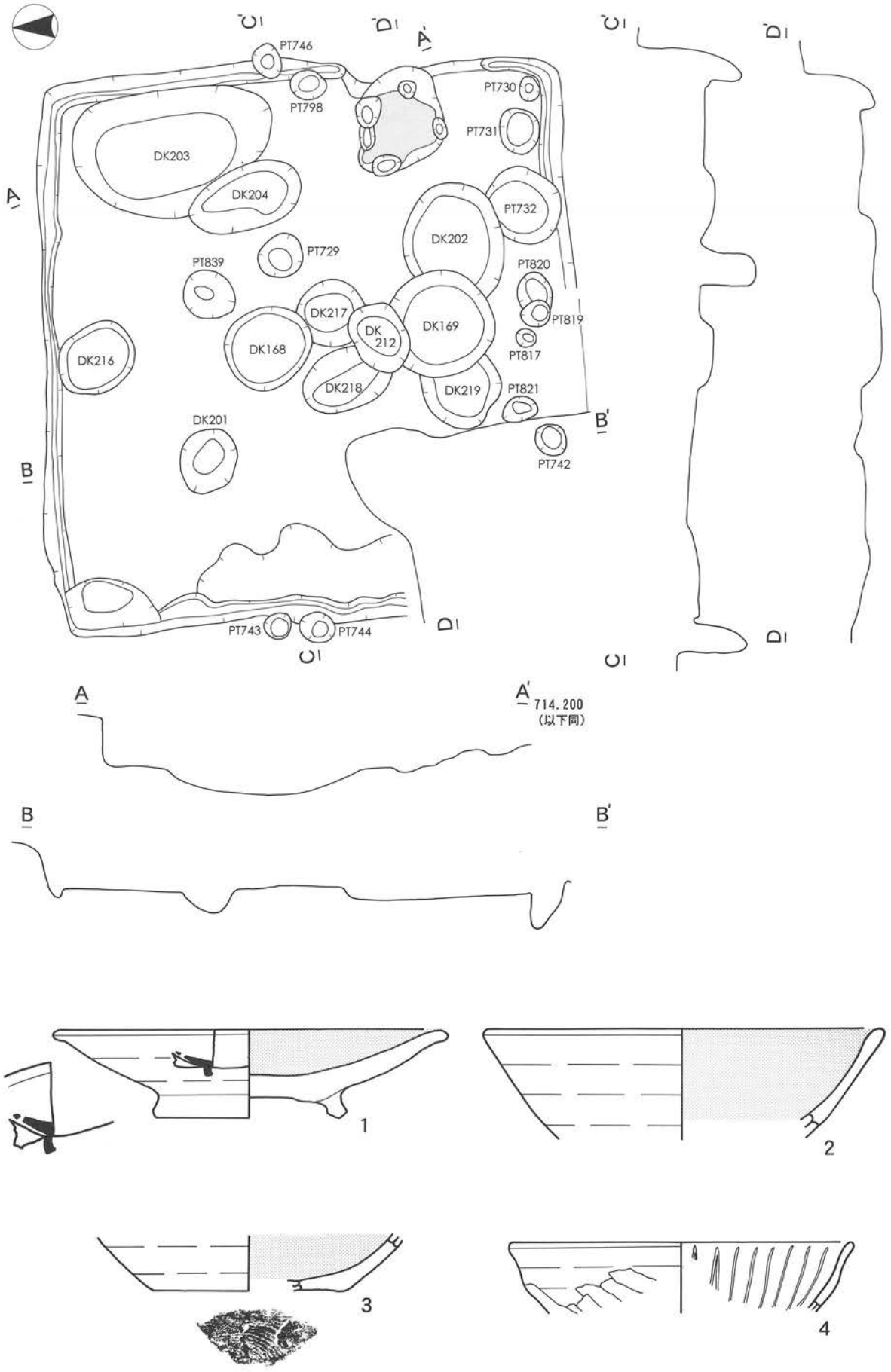


第104図　37号住居出土遺物（1/2、7 1/4、8 1/1）

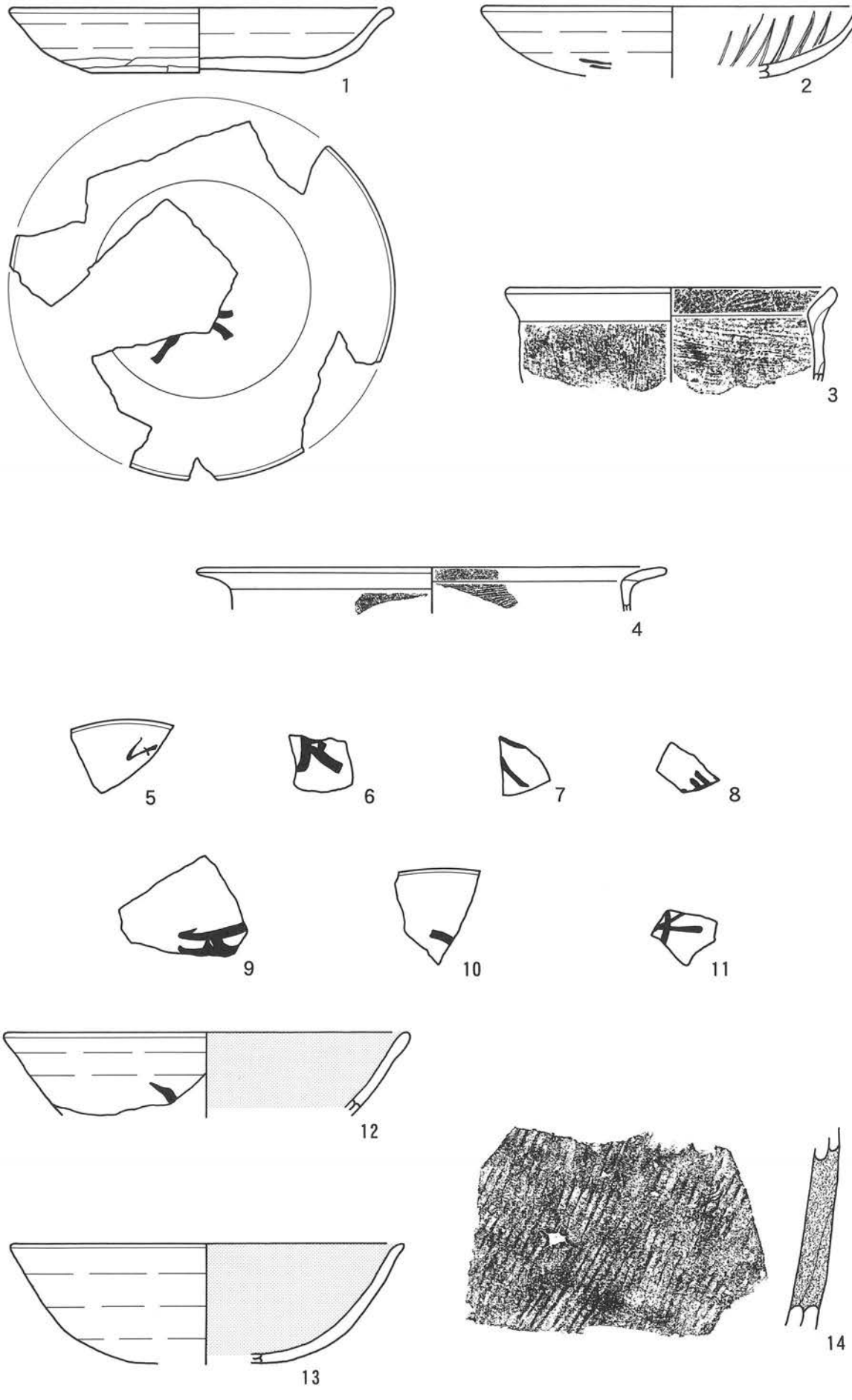


1層 カクラン
2層 10YR5/4(にぶい黄褐)シルト粒土に 7.5YR4/4(褐)シルト粒土が 5%混じる。非常に固くしまるがもろい。
3層 7.5YR4/4(褐)細粒土。しまる。
4層 7.5YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR3/4(暗褐)シルト粒土が 40%、10YR3/3(暗褐)細粒土が 10%、7.5YR4/4(褐)シルト粒土が 10%混じる。焼土・炭化物含む。しまる。
5層 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR2/3(黒褐)シルト粒土が 10%、10YR4/4(褐)シルト粒土が 20%混じる。焼土・炭化物含む。しまる。
6層 7.5YR3/4(暗褐)細粒土に 7.5YR3/3(暗褐)細粒土が 30%、7.5YR4/4(褐)シルト粒土が 2%混じる。炭化物含む。ややしまる。
7層 10YR2/3(黒褐)シルト粒土に 10YR3/3(暗褐)シルト粒土が 30%、10YR4/6(褐)シルト粒土(粘性有)が斑状に 3%混じる。焼土・炭化物含む。固くしまる。
8層 10YR2/3(黒褐)シルト粒土に 7.5YR3/3(黒褐)細粒土が 30%、10YR2/1(黒)シルト粒土が 3%、10YR4/6(褐)シルト粒土 1～5mm で 1%点在。焼土・炭化物含む。しまる。
9層 10YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR4/6(褐)シルト粒土が 5%混じる。焼土含む。固くしまる。
10層 10YR4/4(褐)シルト粒土に 10YR4/6(褐)シルト粒土が 10%全体に混じる。固くしまる。
11層 10YR4/6(褐)シルト粒土。粘性有。非常に固くしまる。
12層 (カマド覆土)7.5YR4/4(褐)シルト粒土に5YR3/4(暗赤褐)細粒土が 5%、5YR3/6(暗赤褐)細粒土が5%、7.5YR2/3(極暗褐)細粒土が 10%混じる。非常に固いがもろい。
床面 7.5YR4/6(褐)シルト粒土(粘性有)に7.5YR4/4(褐)シルト粒土が斑状に 50%混じる。焼土・炭化物含む。非常に固くしまる。

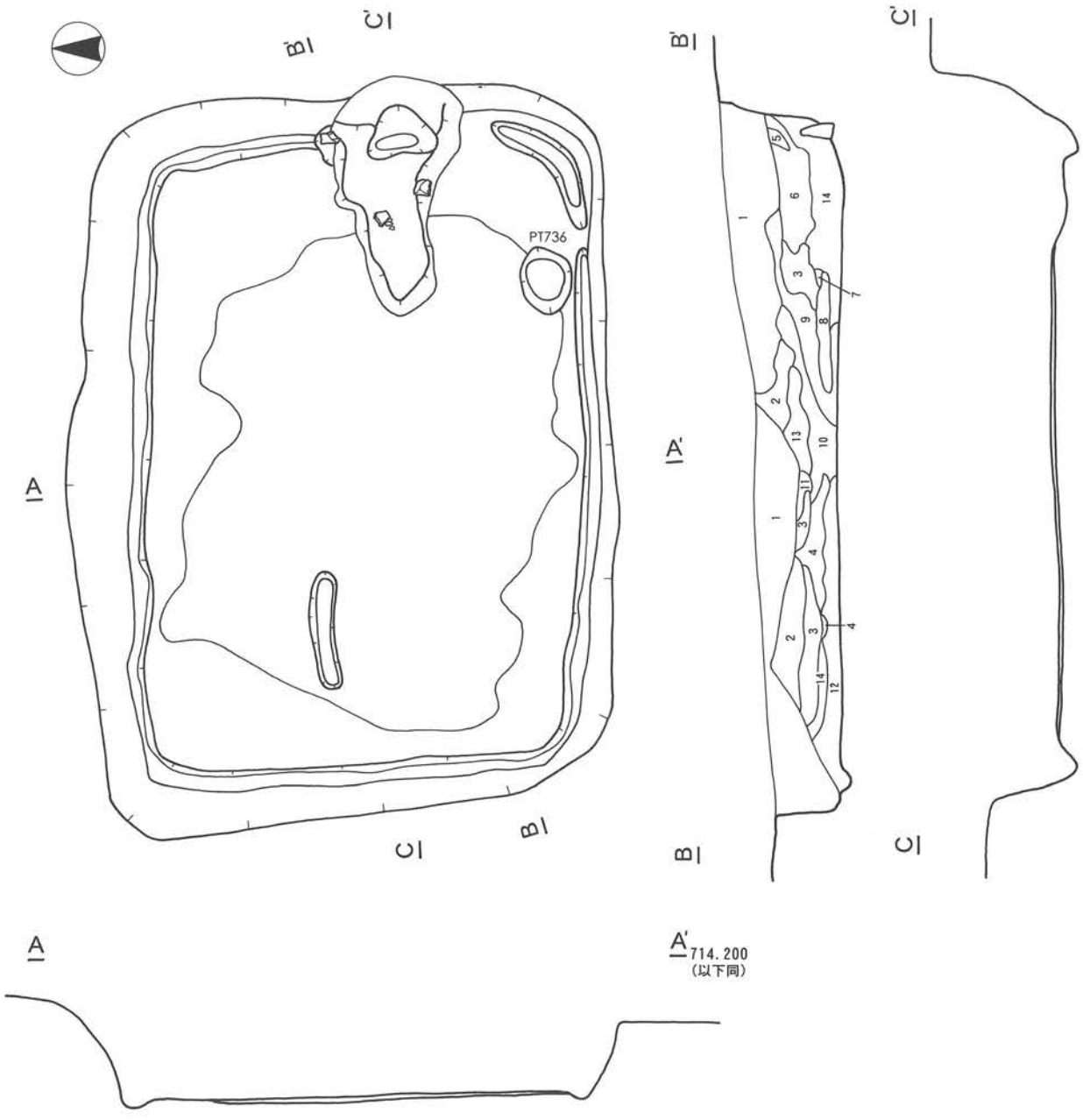
第105図　40号住居（1/60）



第106図　40号住居（1/60）および出土遺物（1/2）

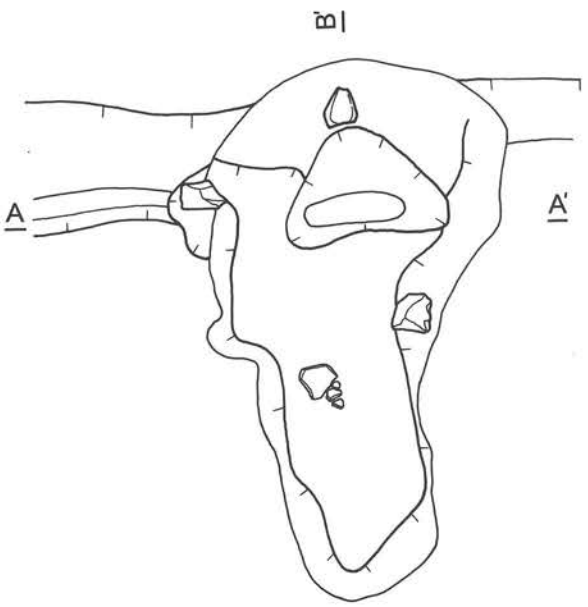


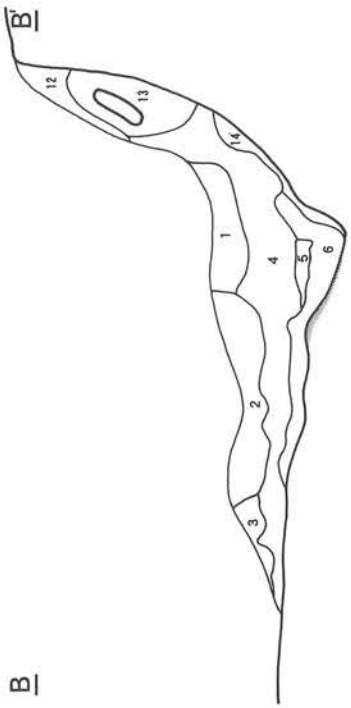
第107図　40号住居出土遺物（1/2、4 1/4）

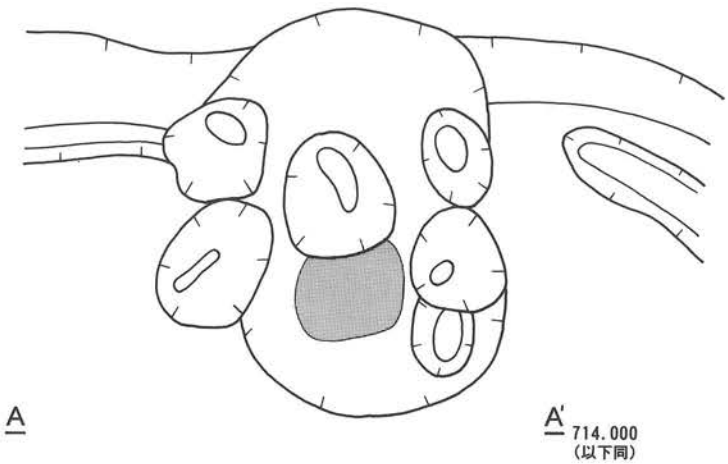


1層 カクラン
2層 10YR1.7/1(黒)細粒土に 10YR4/4(褐)細粒土がピンポン玉大で 2%、10YR1.7/1 の中には 5～10mm のやや硬い土の塊が点在する。この部分は指で押してもほとんどへこまないが、その他はしまる。
3層 10YR3/2(黒褐)細粒土に 10YR2/1(黒)細粒土がぼんやりと 10%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～10mm 大で 2%、3 の西よりには若干の焼土粒が混じる。固くしまる。右へ行くほど柔らかい。
4層 10YR3/4(暗褐)細粒土に 10YR3/1(黒褐)細粒土がぼんやりと 5%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～10mm 大で 2%混じる。固くしまる。
5層 10YR4/3(にぶい黄褐)細粒土。固くしまる。
6層 10YR3/1(黒褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～10mm 大で 3%、5YR3/6(暗赤褐)焼土が 1%混じる。固くしまる。
7層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 5mm 大で 1%混じる。固くしまる。
8層 10YR2/1(黒)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 10mm 大で 3%混じる。しまる。
9層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR2/1(黒)細粒土がぼんやりと 5%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～10mm 大で 2%、5YR3/6(暗赤褐)焼土が 1%混じる。固くしまる。
10層 10YR2/3(黒褐)細粒土に 10YR2/1(黒)細粒土が 2%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～10mm 大で 3%混じる。非常に固くしまる。
11層 10YR3/4(暗褐)細粒土。固くしまる。
12層 10YR3/1(黒褐)細粒土に 10YR2/1(黒)細粒土がぼんやりと 3%、10YR5/6(黄褐)細粒土が 5～20mm 大で 3%。固くしまるが右寄りに 20mm ほどへこむ所がある。
13層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 10YR5/6(黄褐)細粒土が 5mm 大で 2%混じる。固くしまる。
14層 (カマド覆土)カマド図面参照
床面 10YR5/6(黒褐)シルト粒土に若干の焼土粒と 10YR2/1(黒)が混じる。非常に固くしまる。

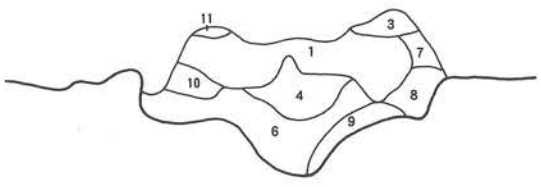
第108図　41号住居 (1/40)

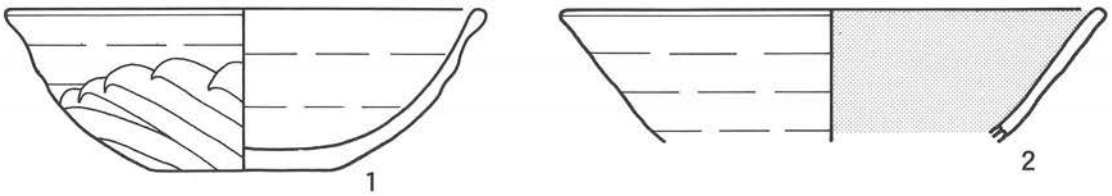




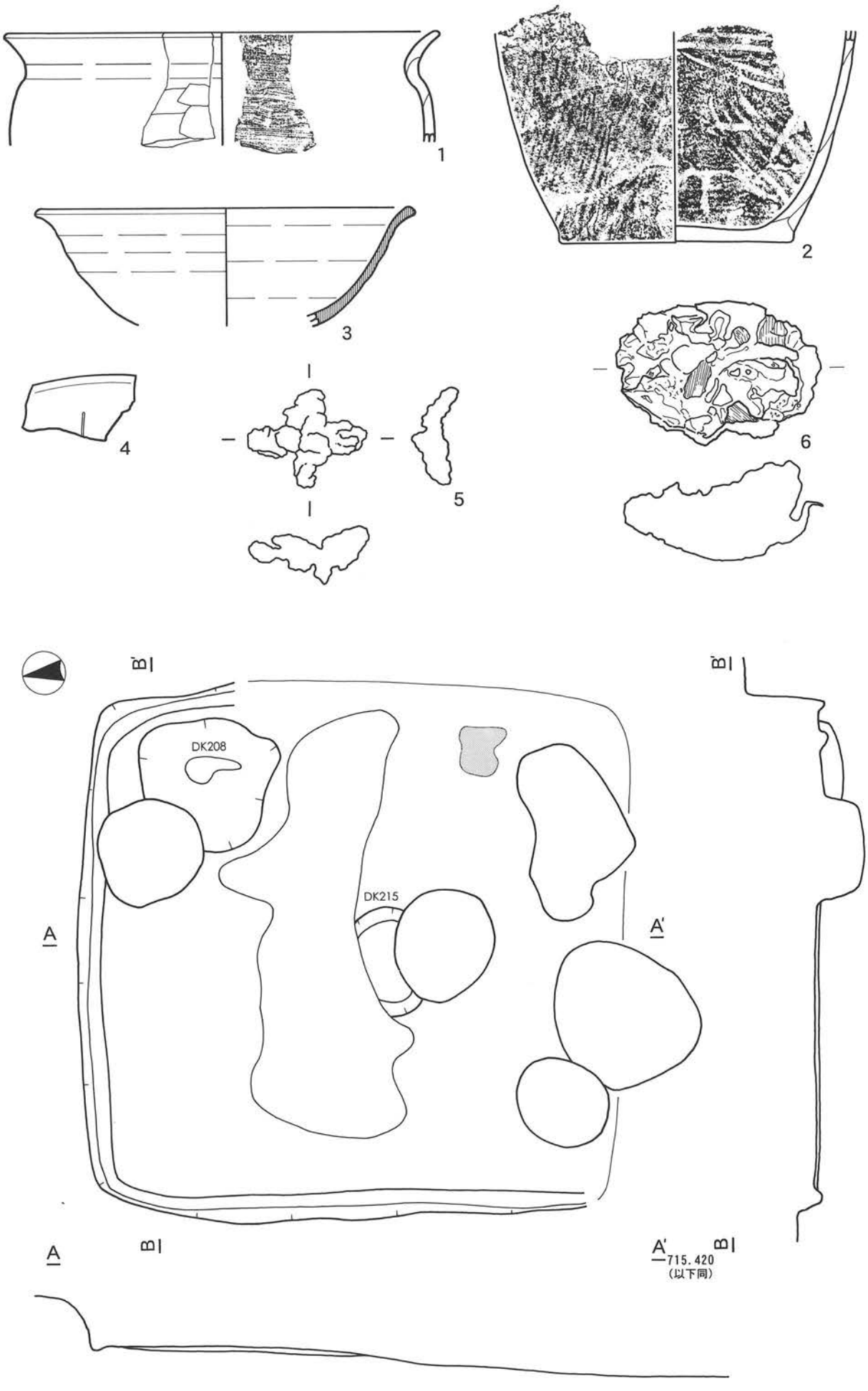


1層 10YR4/6(褐)粗粒土に 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土が 30%、7.5YR2/2(黒褐)シルト粒土が 5%、焼土がブロックで 2%混じる。固くしまるがもろい。ボロボロ。
2層 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR4/4(褐)シルト粒土が 20%、焼土が斑状に 1%混じる。固くしまるがもろい。
3層 10YR3/3(暗褐)シルト粒土に 10YR2/2(黒褐)シルト粒土が 30%、10YR4/3(にぶい黄褐)シルト粒土が 10%混じる。焼土含む。固くしまる。
4層 10YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR3/3(暗褐)シルト粒土が 10%、10YR4/4(褐)シルト粒土が 2～8mm で 1%点在。焼土含む。しまる。
5層 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土に 10YR4/6(褐)シルト粒土がブロックで 40%、焼土が 5%混じる。固くしまるがもろい。
6層 7.5YR2/3(黒褐)細粒土に 5YR3/6(暗赤褐)シルト粒土が 5%、5YR3/4(暗褐)シルト粒土が 10%、焼土が 10%混じる。固くしまるがもろい。
7層 7.5YR4/4(褐)シルト粒土。焼土含む。固くしまる。
8層 7.5YR4/4(褐)シルト粒土に 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土が 30%、焼土がブロックで 2%混じる。固くしまる。
9層 7.5YR4/6(褐)シルト粒土。焼土含む。粘性有。固くしまる。
10層 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土に 7:5YR4/4(褐)シルト粒土が 30%、7.5YR4/6(褐)シルト粒土がブロックで 10%混じる。粘性有。ややしまる。
11層 5YR3/4(暗赤褐)シルト粒土に 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土が 20%、焼土が 5%混じる。しまる。もろい。
12層 カクラン
13層 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土に 7.5YR4/4(褐)シルト粒土が 10%、焼土が 5%混じる。ややしまる。
14層 7.5YR4/6(褐)シルト粒土に 7.5YR3/4(暗褐)シルト粒土が 20%混じる。ややしまる。

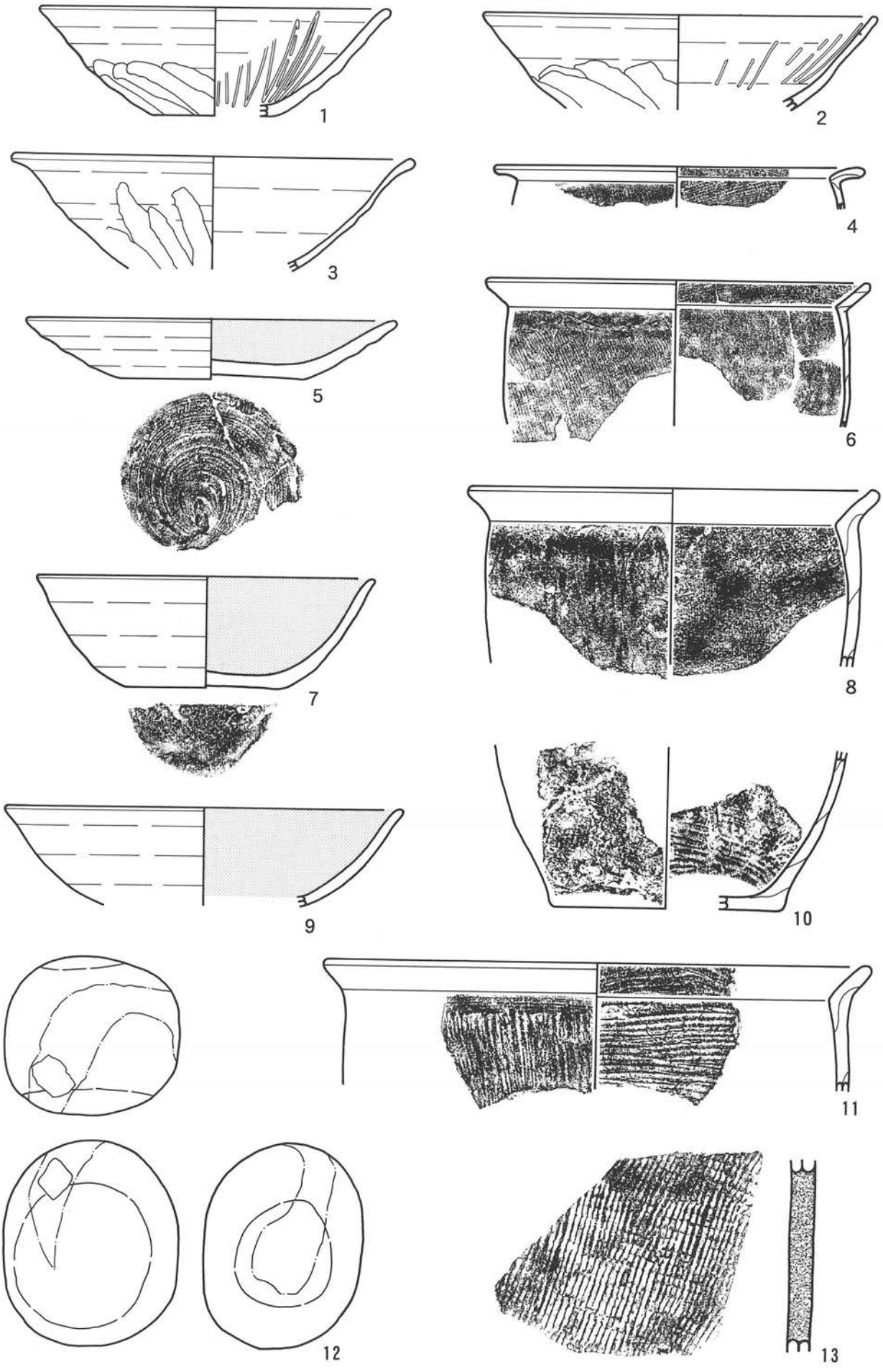




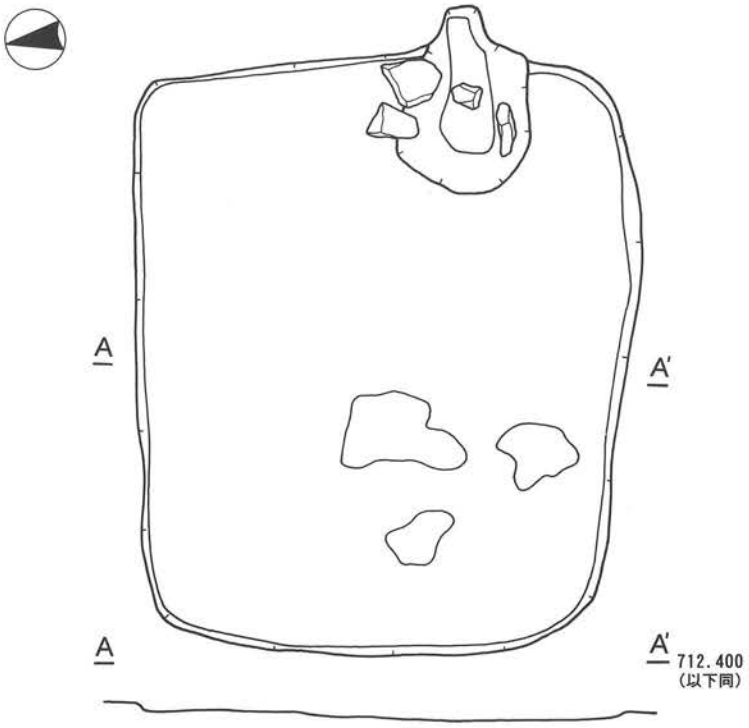
第109図　41号住居カマド（1/20）　41号住居出土遺物（1/2）

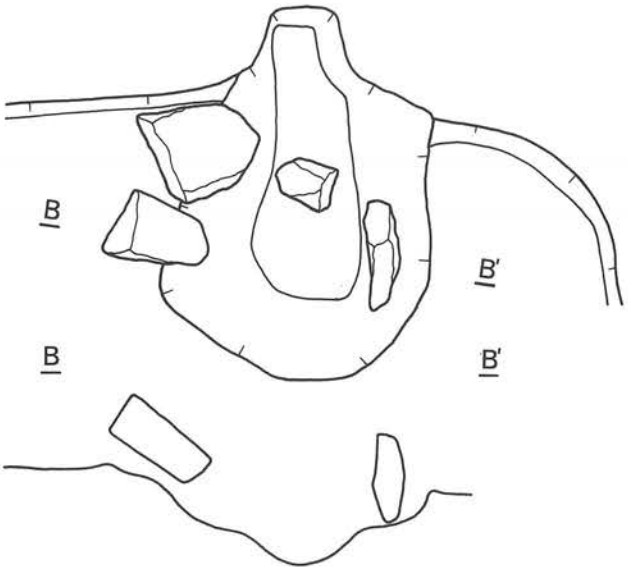


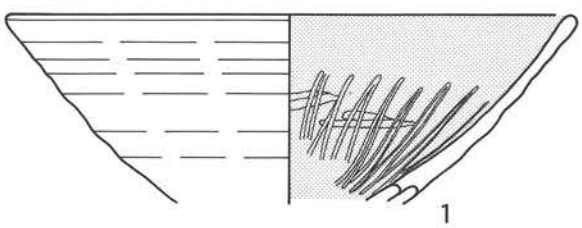
第110図　41号住居出土遺物（1/2）　42号住居（1/40）

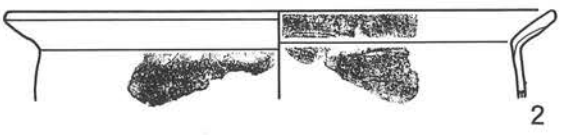


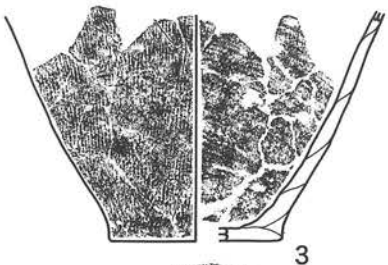
第111図　42号住居出土遺物（1/2、4・6 1/4）



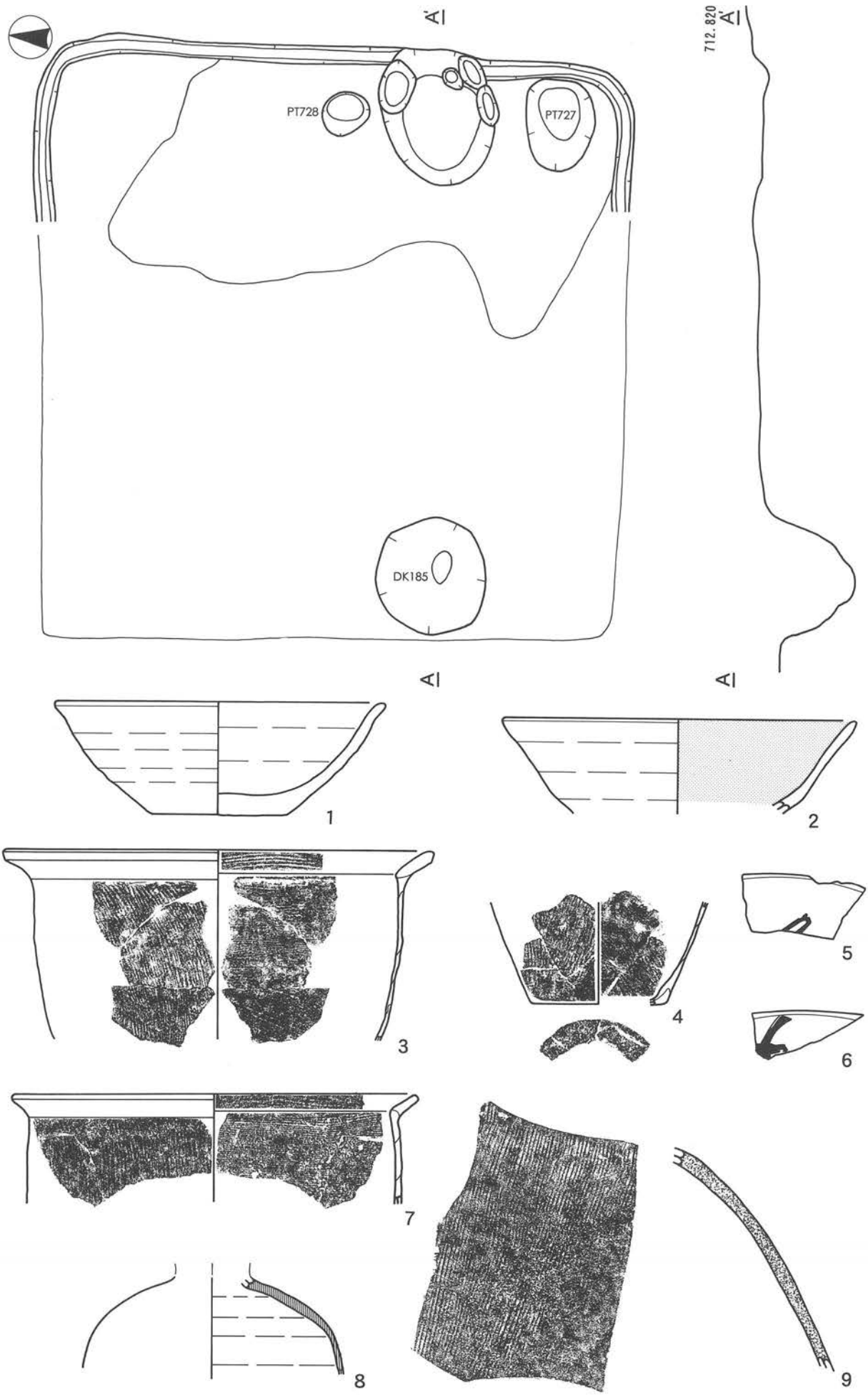




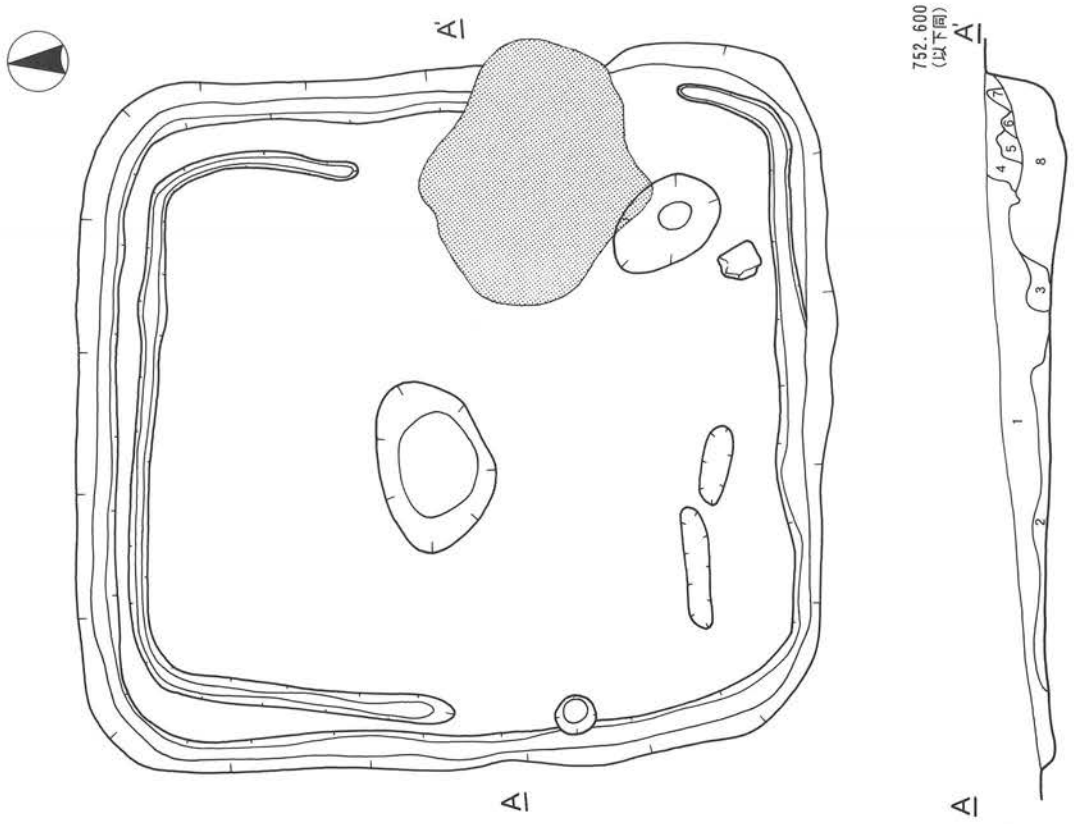




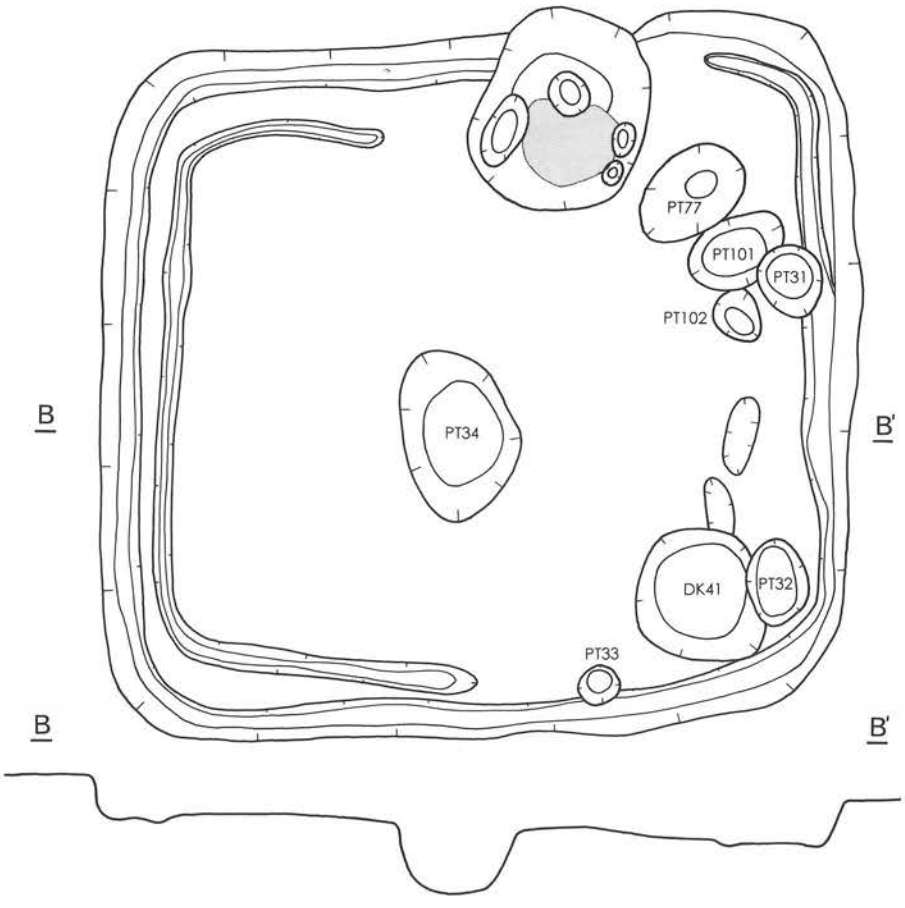
第112図　43号住居（1/40）　43号住居カマド（1/20）　43号住居出土遺物（1/2、2・3 1/4）



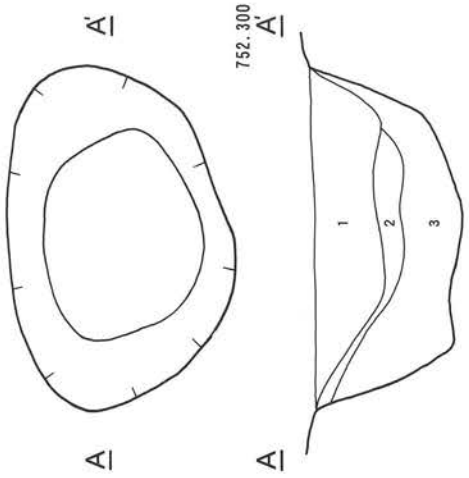
第113図　44号住居（1/40）および出土遺物（1/2、3・4・7～9 1/4）



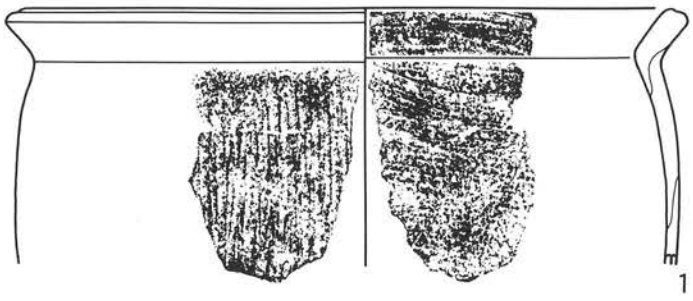
1層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、焼土がブロックで 7%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、焼土がブロックで 3%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、焼土がブロックで 2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。ややしまる。シルト粒土。
8層 (カマド覆土)10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 30%、焼土が 30%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%混じる。ややしまる。シルト粒土。

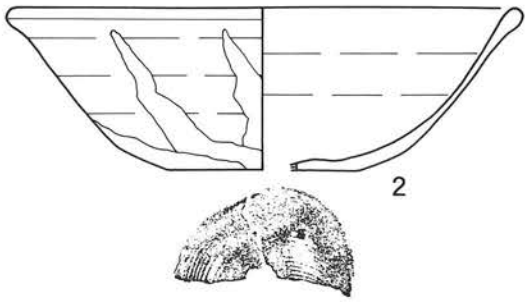


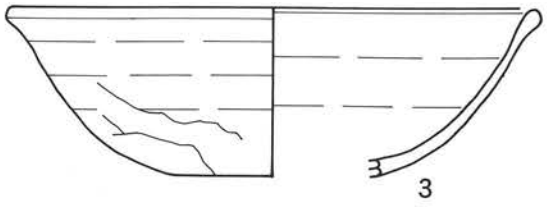
第114図　46号住居（1/40）

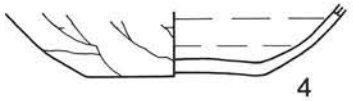


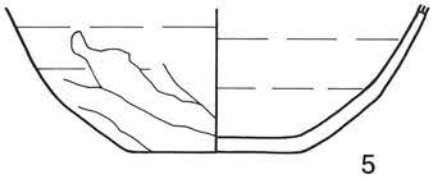
1層 10YR2/2(黒褐)に焼土が7%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/2(黒褐)が10%、焼土が7%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が50%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR4/6(褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。固くしまる。シルト粒土。

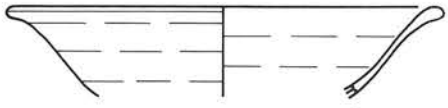


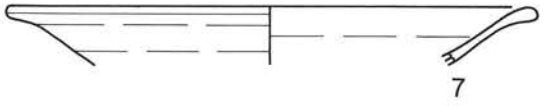


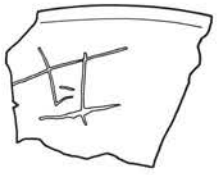


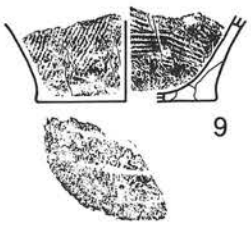


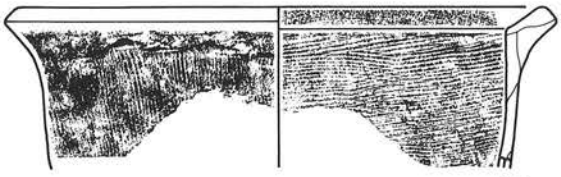




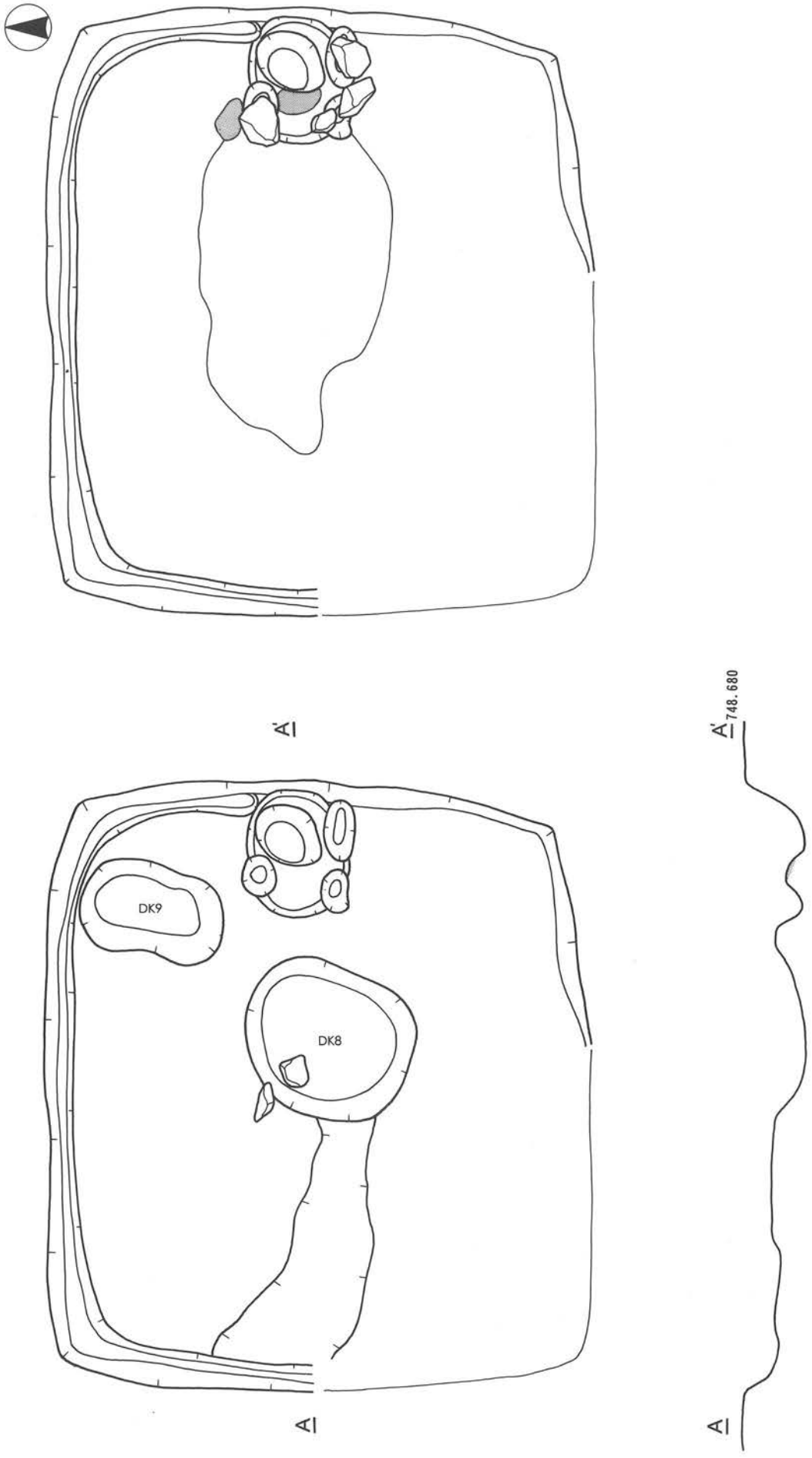




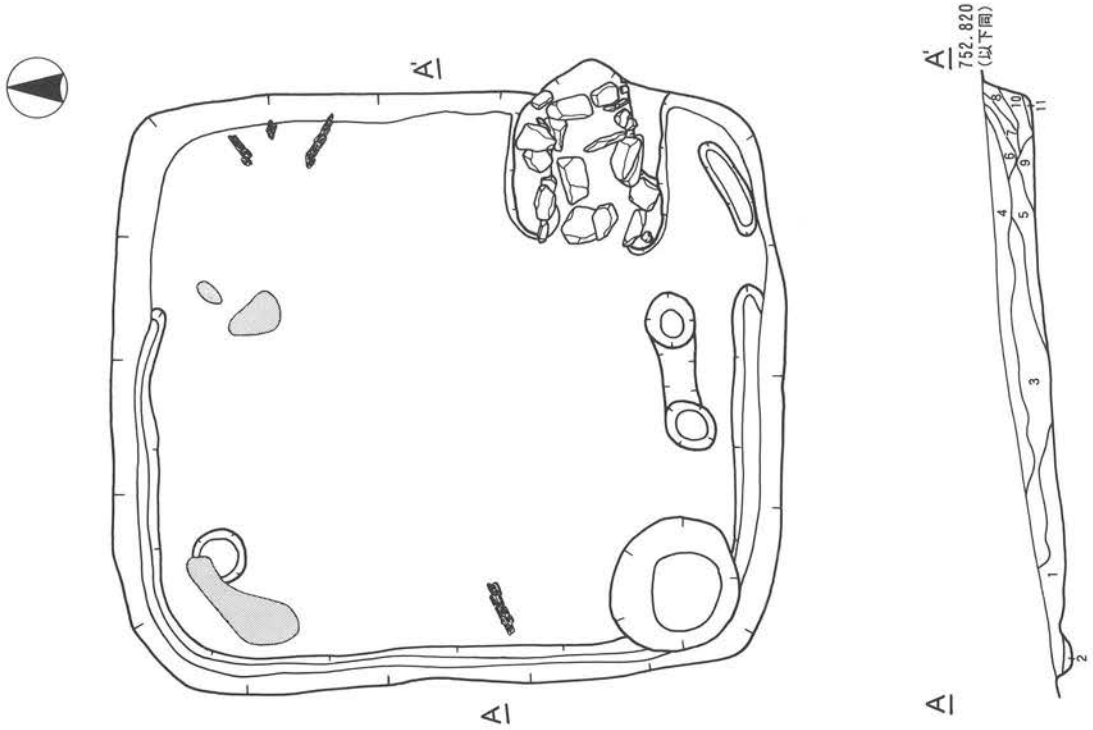




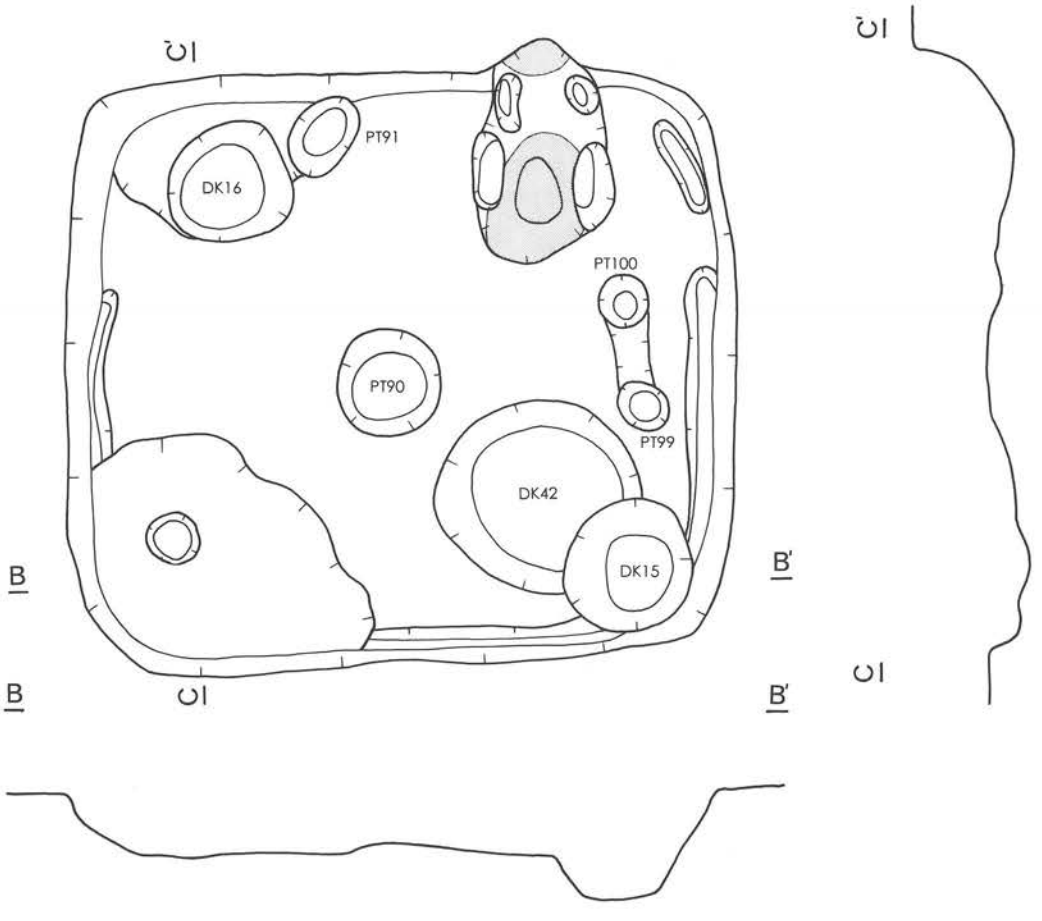
第115図　46号住居34号ピット（1/20）　46号住居出土遺物（1/2、9～11 1/4）



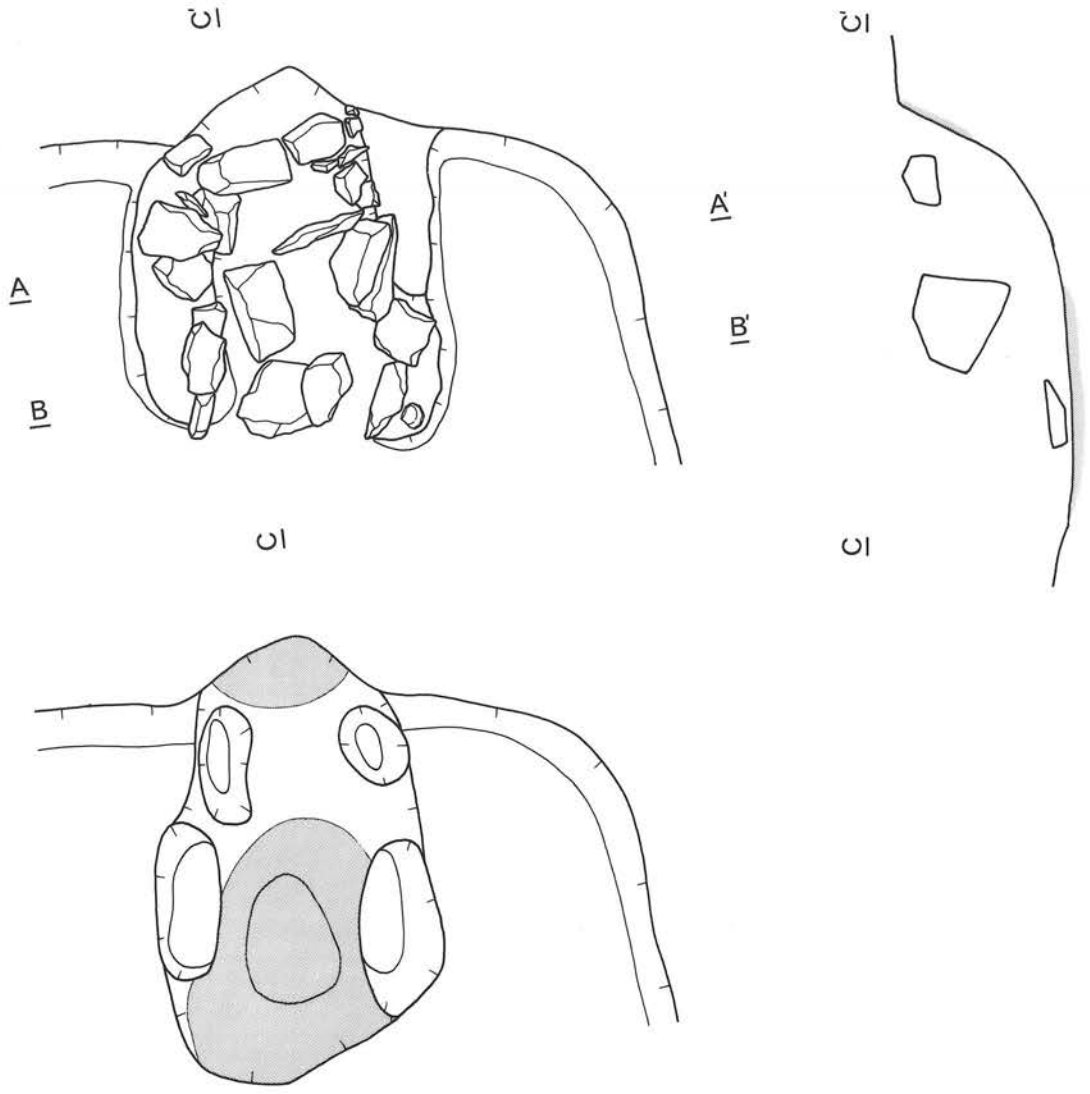
第116図　47号住居（1/40）



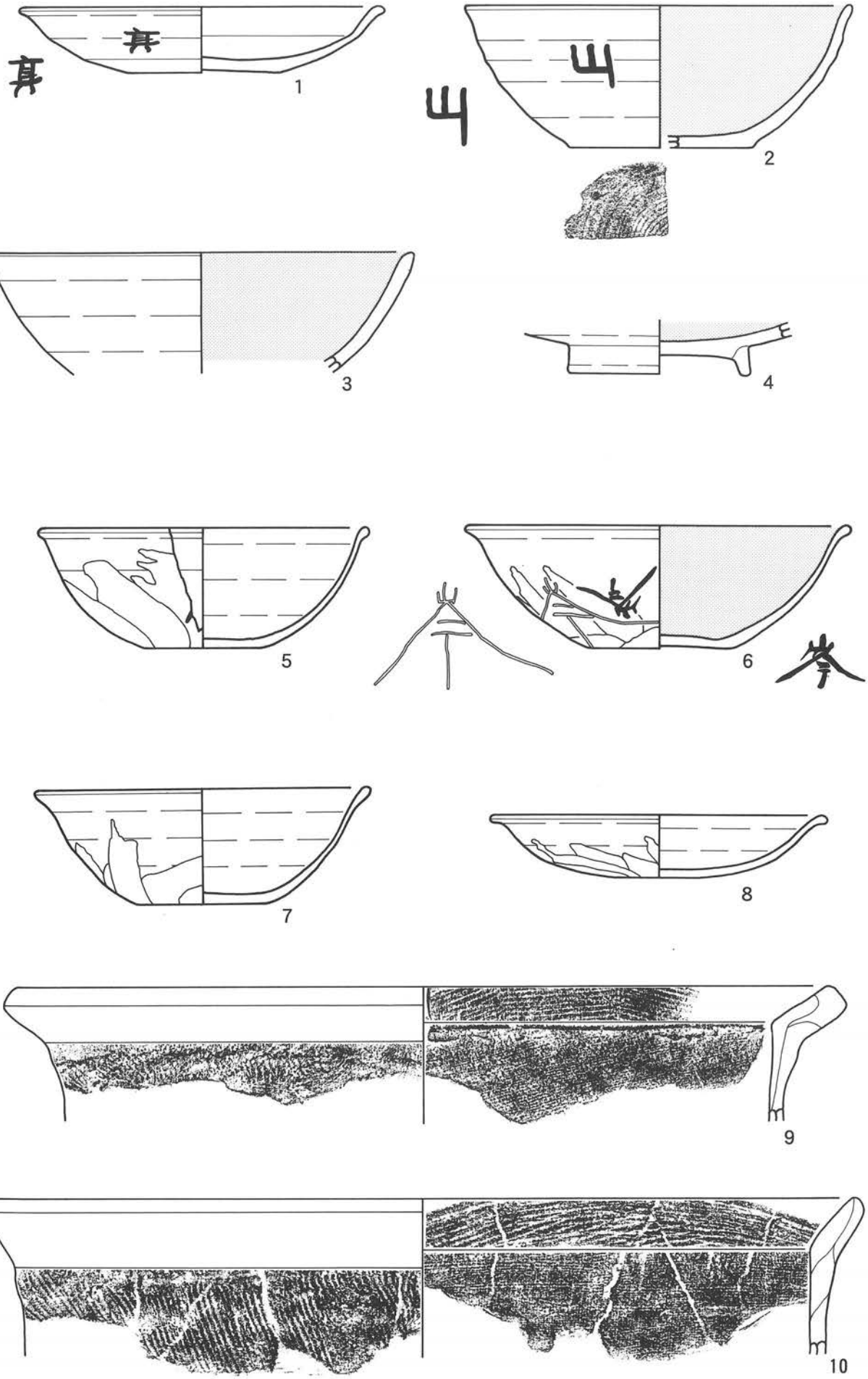
1層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 3%、焼土が 5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 5%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 15%、炭化物が 1%、焼土が 3%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、炭化物が 1%、焼土が 2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 3%、焼土が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 2%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、炭化物が 5%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、10YR4/6(褐)が 3%、炭化物が 2%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 15%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 40%混じる。ややしまる。シルト粒土。
床面 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 3%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。



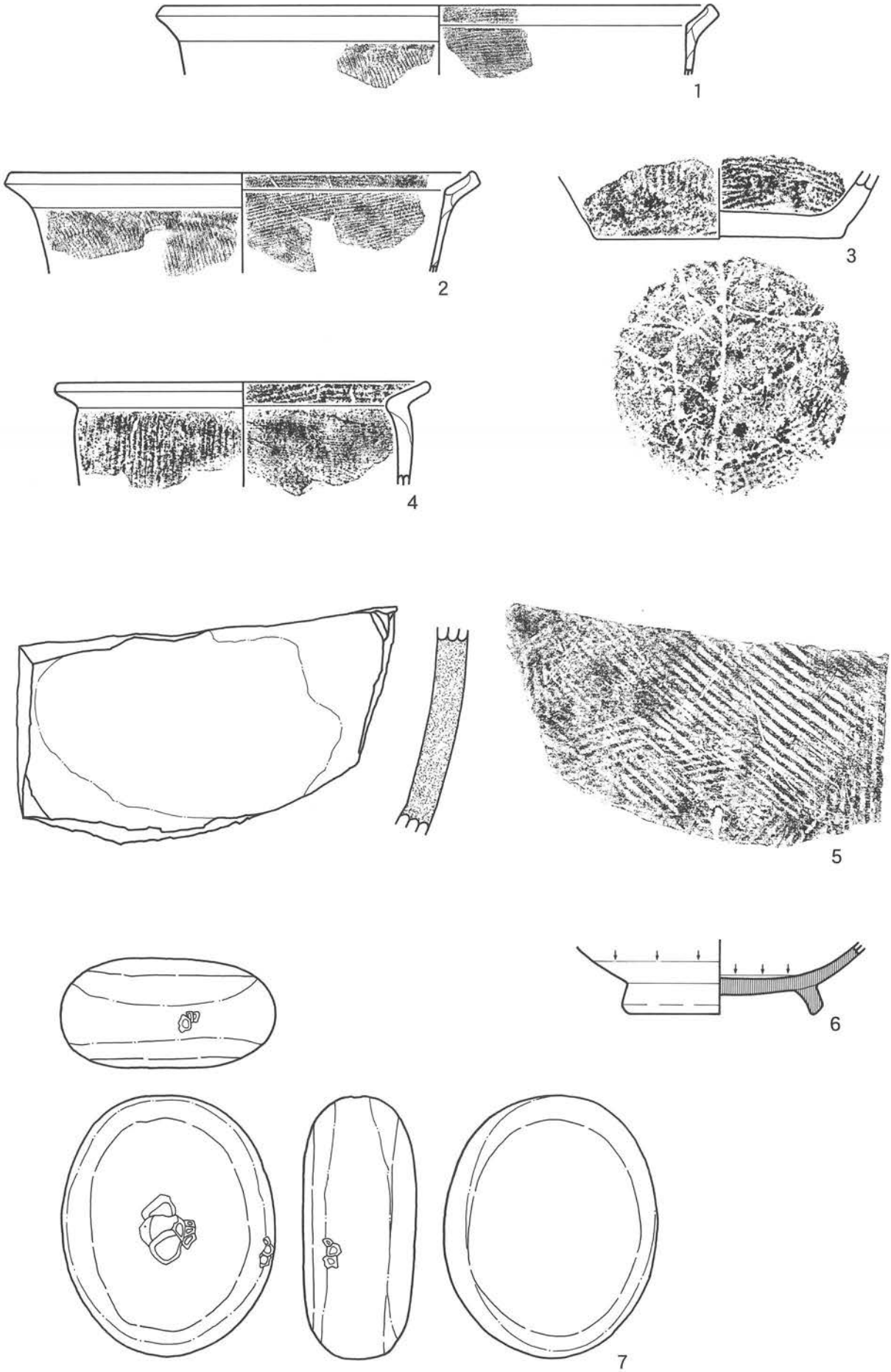
第117図　48号住居（1/40）



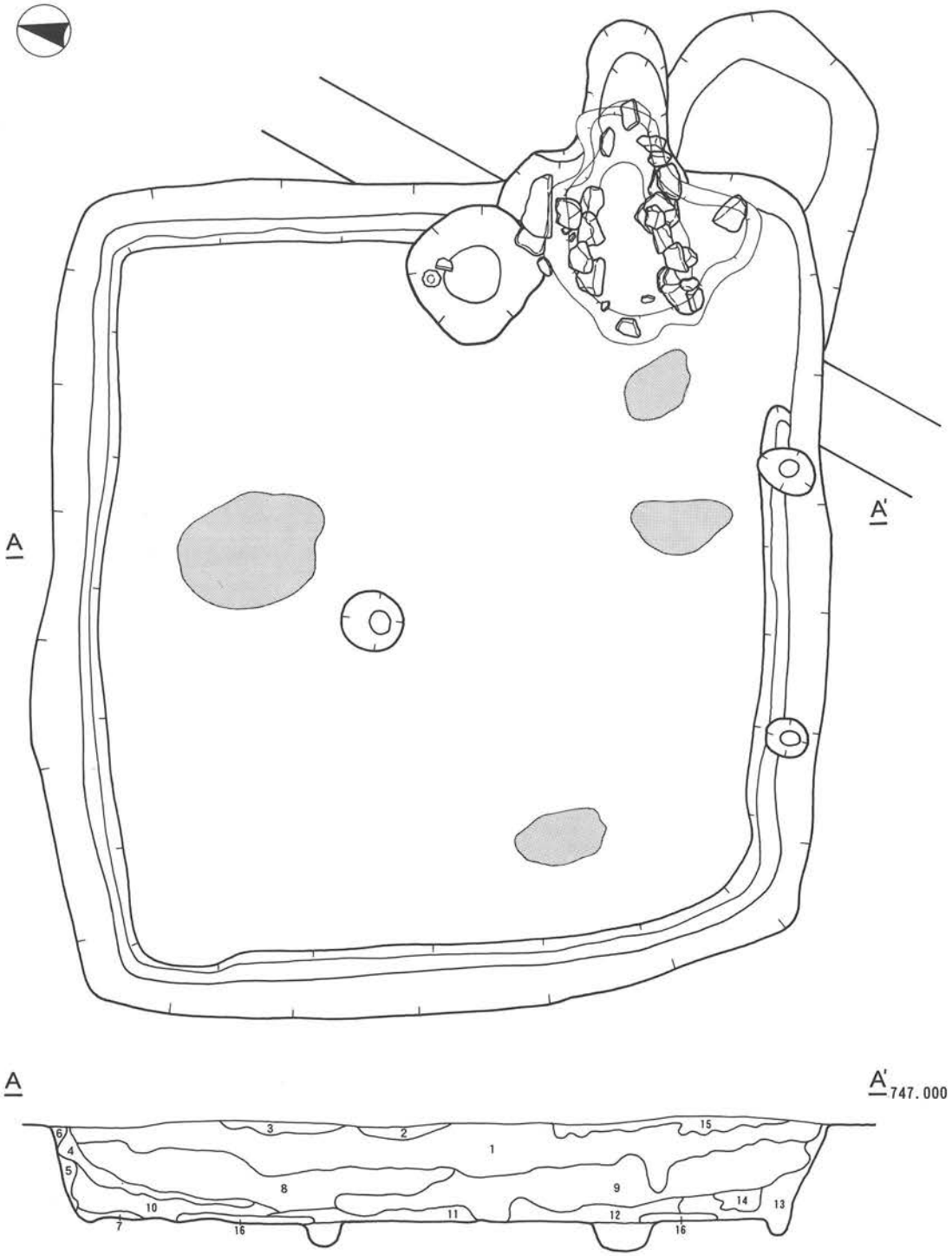
第118図　48号住居カマド（1/20）



第119図　47号(1～4)・48号(5～10)住居出土遺物 (1/2)

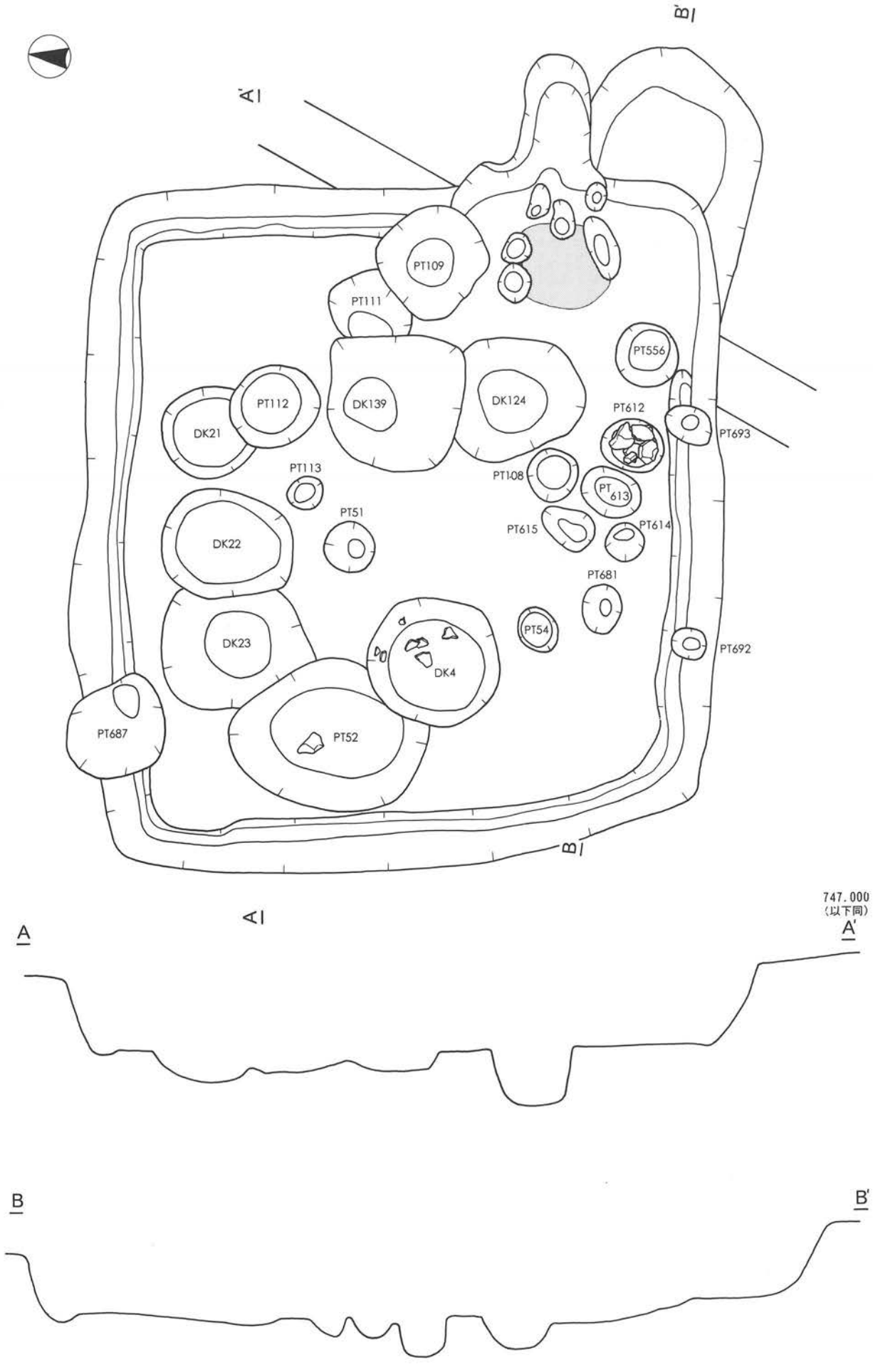


第120図　48号住居出土遺物（1/2、1・2 1/4）

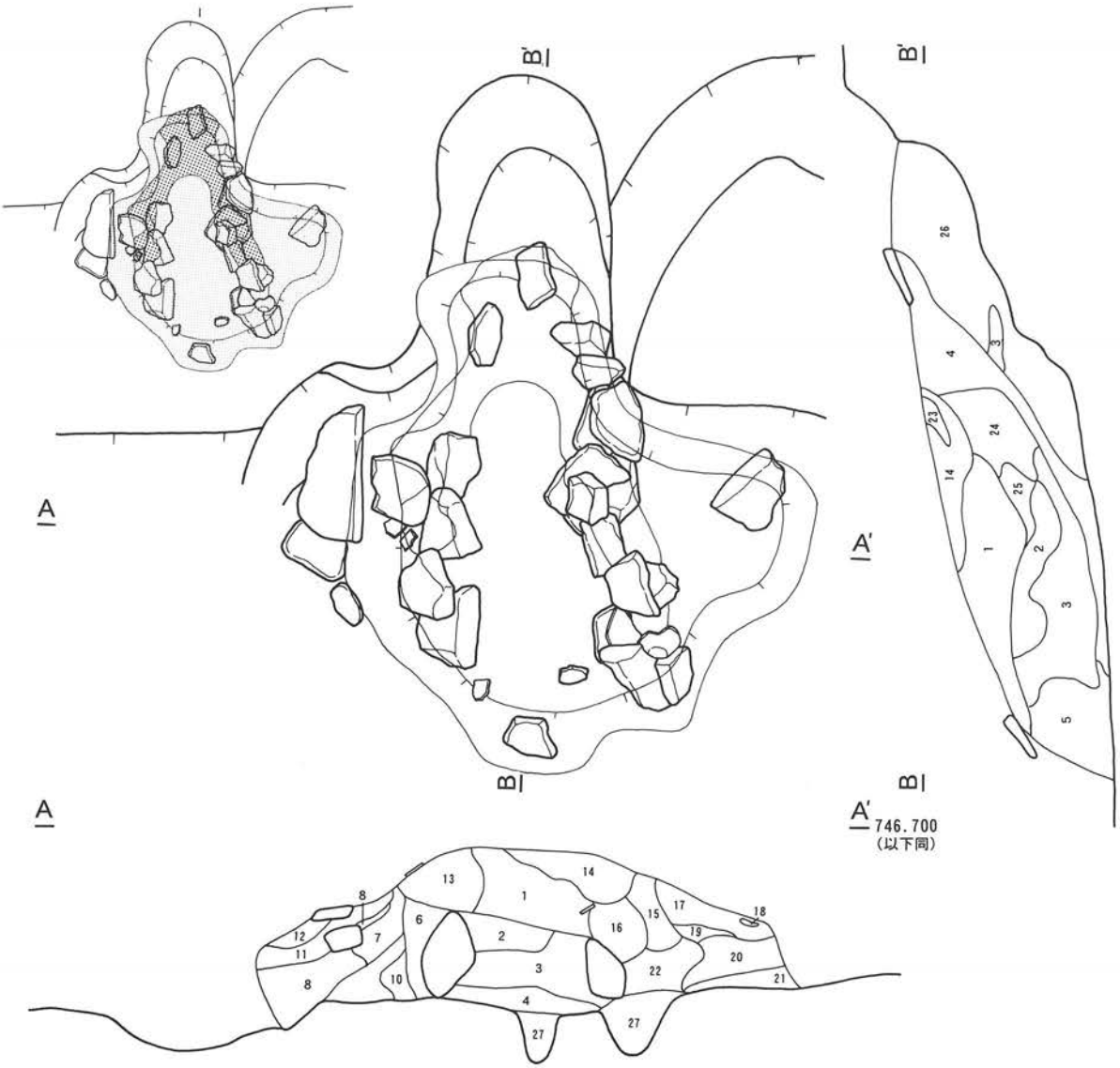


1層 10YR2/1(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%未満、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/3(暗褐)に炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%未満、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 2%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR2/1(黒)が 2%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 40%、10YR5/6(黄褐)が 1%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、焼土 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、10YR5/6(黄褐)がブロック状に 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)がブロック状に 1%、焼土が 10%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR2/1(黒)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、焼土が 40%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR4/6(褐)。しまる。シルト粒土。
16層 焼土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。

第121図　49号住居（1/40）

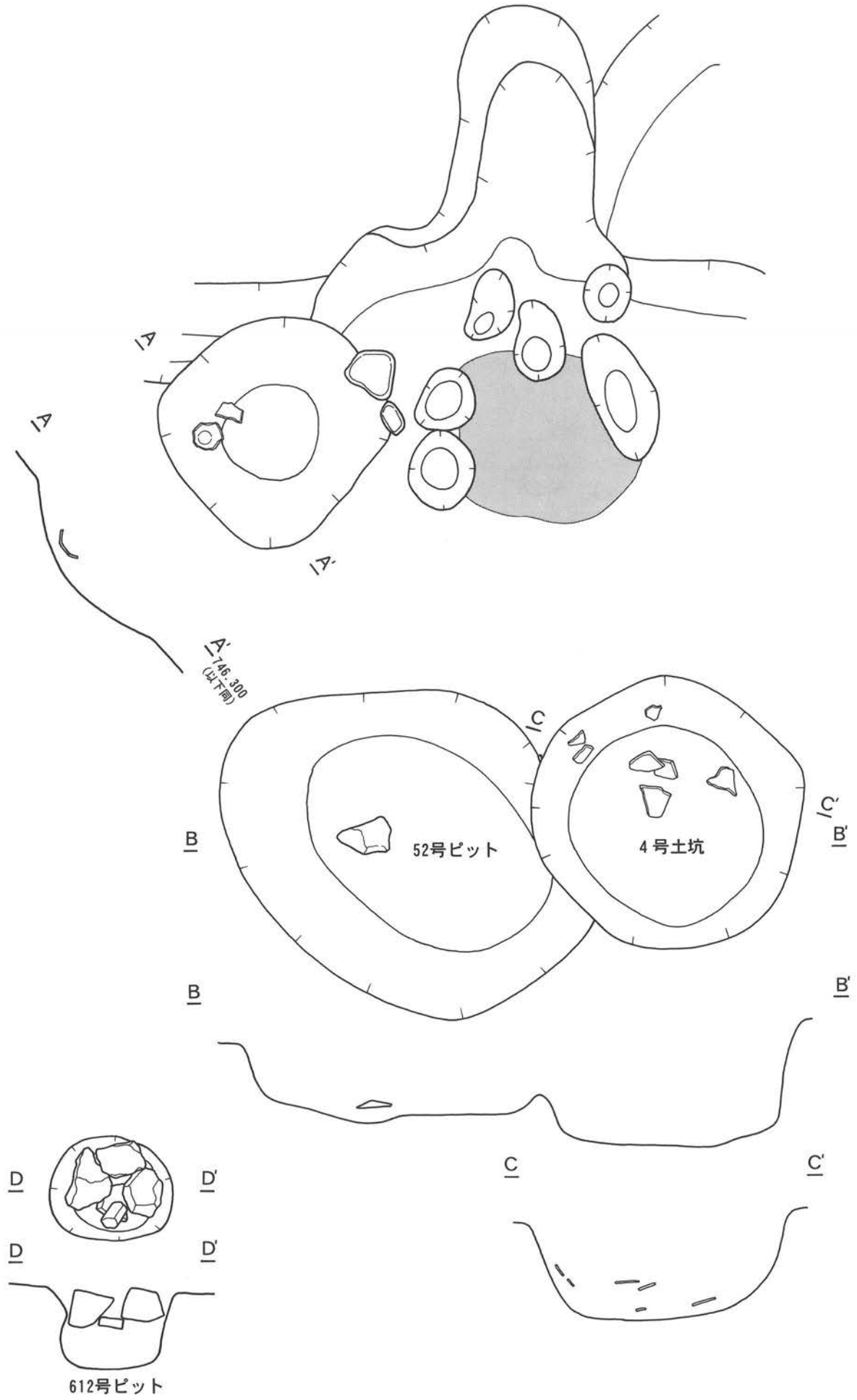


第122図　49号住居（1/40）

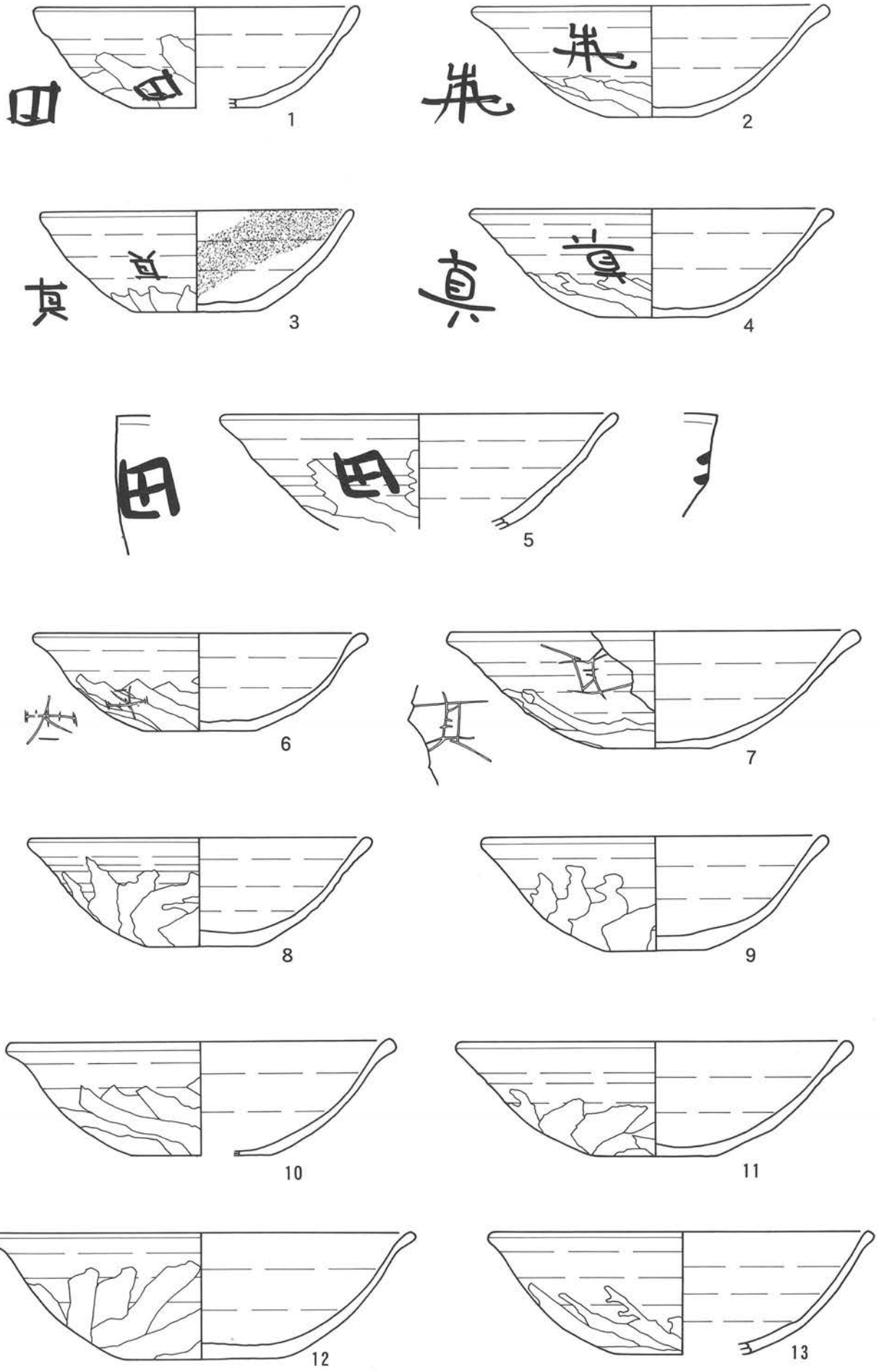


1層 10YR4/4(褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が30%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～8mm大の小ブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。10YR5/4と焼土が多く含まれる部分は、火を受けてボソボソになった粘土。
2層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、10YR5/4(にぶい黄褐)が10%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～15mm程の小ブロックで30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が2～20mm大のブロックで5%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～8mm程の小ブロックで20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 5YR5/8(明赤褐)。粘土が焼けた焼土。固くしまる。
5層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が2～10mm大の小ブロックで10%、焼土が2～8mm程の小ブロックで10%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 5YR5/8(明赤褐)粘土が焼けた焼土に10YR3/4(暗褐)が10%混じる。固くしまるがボソボソとくずれやすい。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 5～20mm の小ブロックで 30%、5YR5/8(明赤褐)焼土が 1～5mm大で 20%混じる。固くしまる。10YR5/4(にぶい黄褐)は粘土のように固くしまっている。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、10YR5/4(にぶい黄褐)が5～20mmの小ブロックで10%、5YR5/8(明赤褐)焼土が3～5mmの小ブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が粒子で10%、焼土粒子が5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、10YR5/4(にぶい黄褐)が5～20mmの小ブロックで10%、5YR5/8(明赤褐)焼土が3～5mmの小ブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR4/4(褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 5～40mm 程のブロックで 30%混じる。10YR5/4(にぶい黄褐)は粘土のように固くしまっている。10YR4/4はややしまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が30%全体に混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR4/4(褐)に10YR6/6(明黄褐)が10～30mm程のブロックで30%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～20mm程で20%混じる。10YR6/6(明黄褐)は粘質度が高い。シルト粒土。
14層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が2～20mmのブロックで15%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～8mmの小ブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR4/4(褐)に10YR6/6(明黄褐)が、こぶし大で40%混じる。明黄褐は粘質度が高い。固くしまる。シルト粒土。
16層 5YR5/8(明赤褐)焼土に10YR3/4(暗褐)が10%混じる。固くしまる。固くしまるがボソボソとくずれやすい。シルト粒土。
17層 10YR4/4(褐)に、10YR6/6(明黄褐)が2～5mmの小ブロックで10%、5YR5/8(明赤褐)焼土が2～5mmの小ブロックで5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
18層 10YR6/6(明黄褐)。粘質度の高い土。固くしまる。
19層 10YR4/4(褐)に焼土粒子が全体に20%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、10YR6/6(明黄褐)が2～5mmの小ブロックで15%、焼土が2～5mm大の小ブロックで10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
21層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が2～3mm大の小ブロックで5%、焼土が1～2mmの粒子で1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
22層 10YR4/4(褐)に10YR6/6(明黄褐)が10%、10YR3/4(暗褐)が10%、焼土が2～5mm大の小ブロックで5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
23層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、焼土が粒子～5mm大程の小ブロックで20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
24層 10YR4/4(褐)に10YR5/4(にぶい黄褐)が5mm程の小ブロックで15%、焼土が5～10mmの小ブロックで30%混じる。しまる。シルト粒土。
25層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が5～10mm程の小ブロックで10%(火を受けてボソボソになった粘土)、焼土が粒子～2cm大のブロックで20%混じる。しまる。シルト粒土。
26層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が粒子で20%、焼土が粒子～3mmで2%混じる。しまる。シルト粒土。

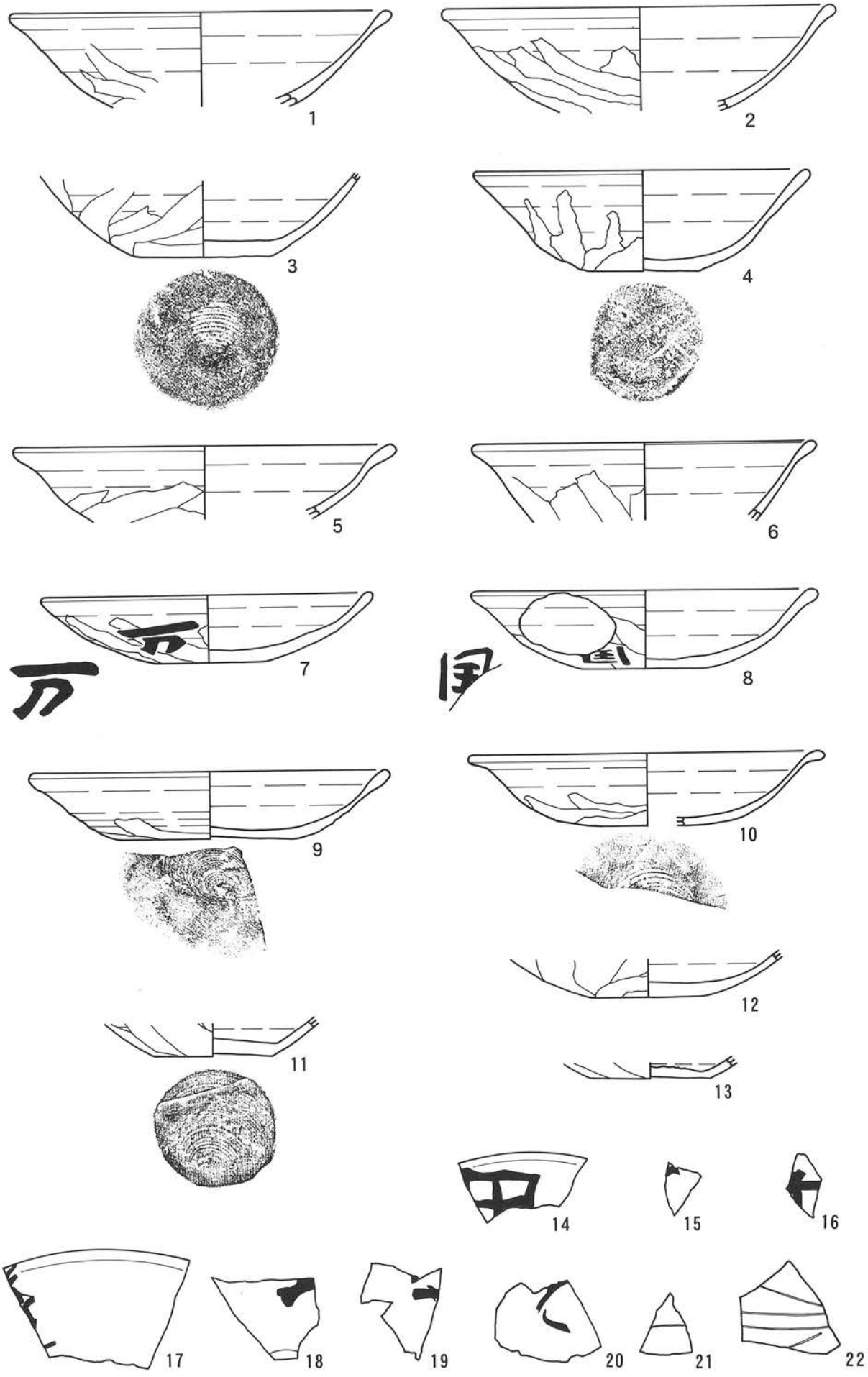
第123図　49号住居カマド（1/20）



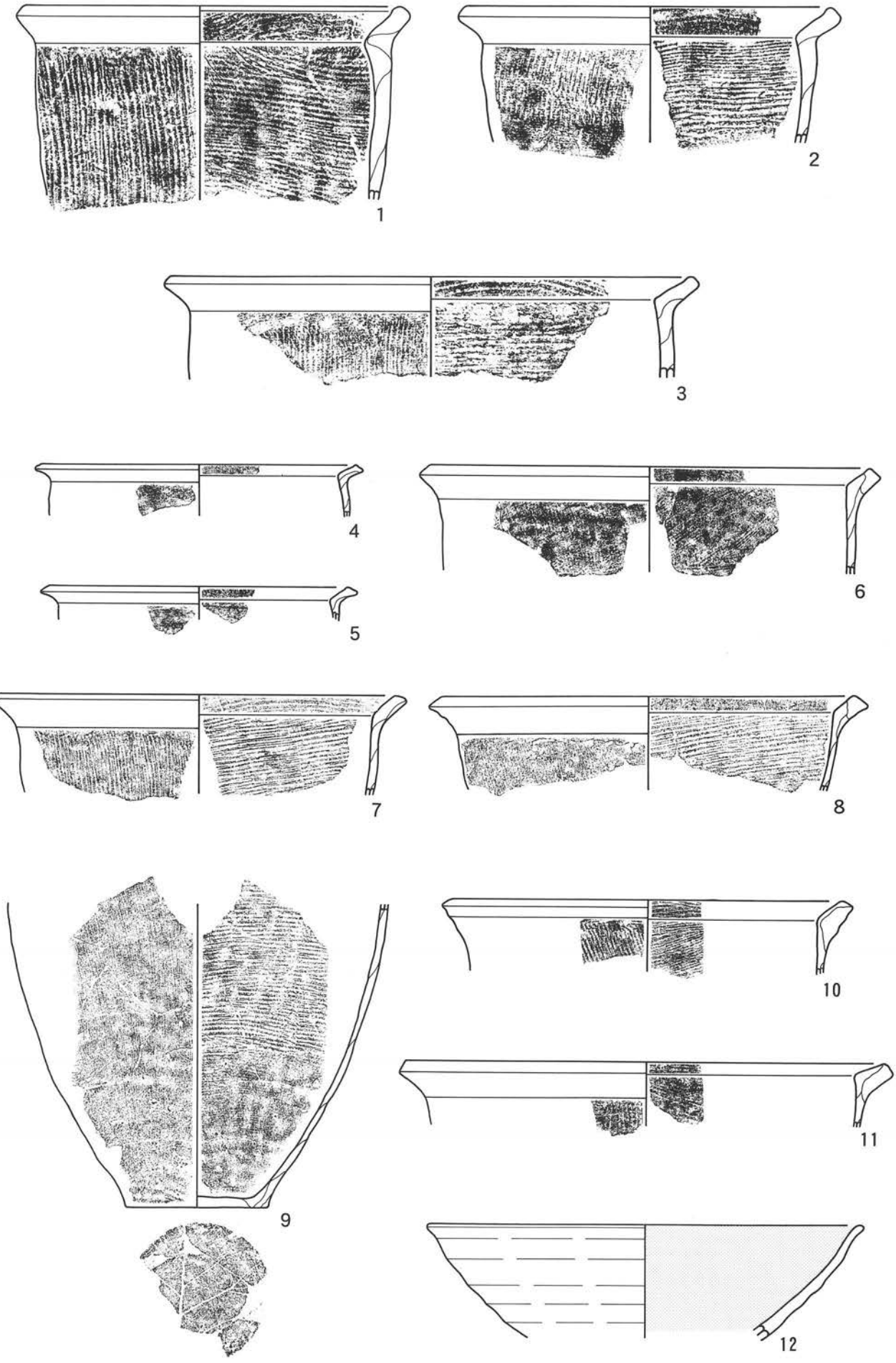
第124図　49号住居カマド（1/20）　4号土坑・52号ピット（1/20）　612号ピット（1/20）



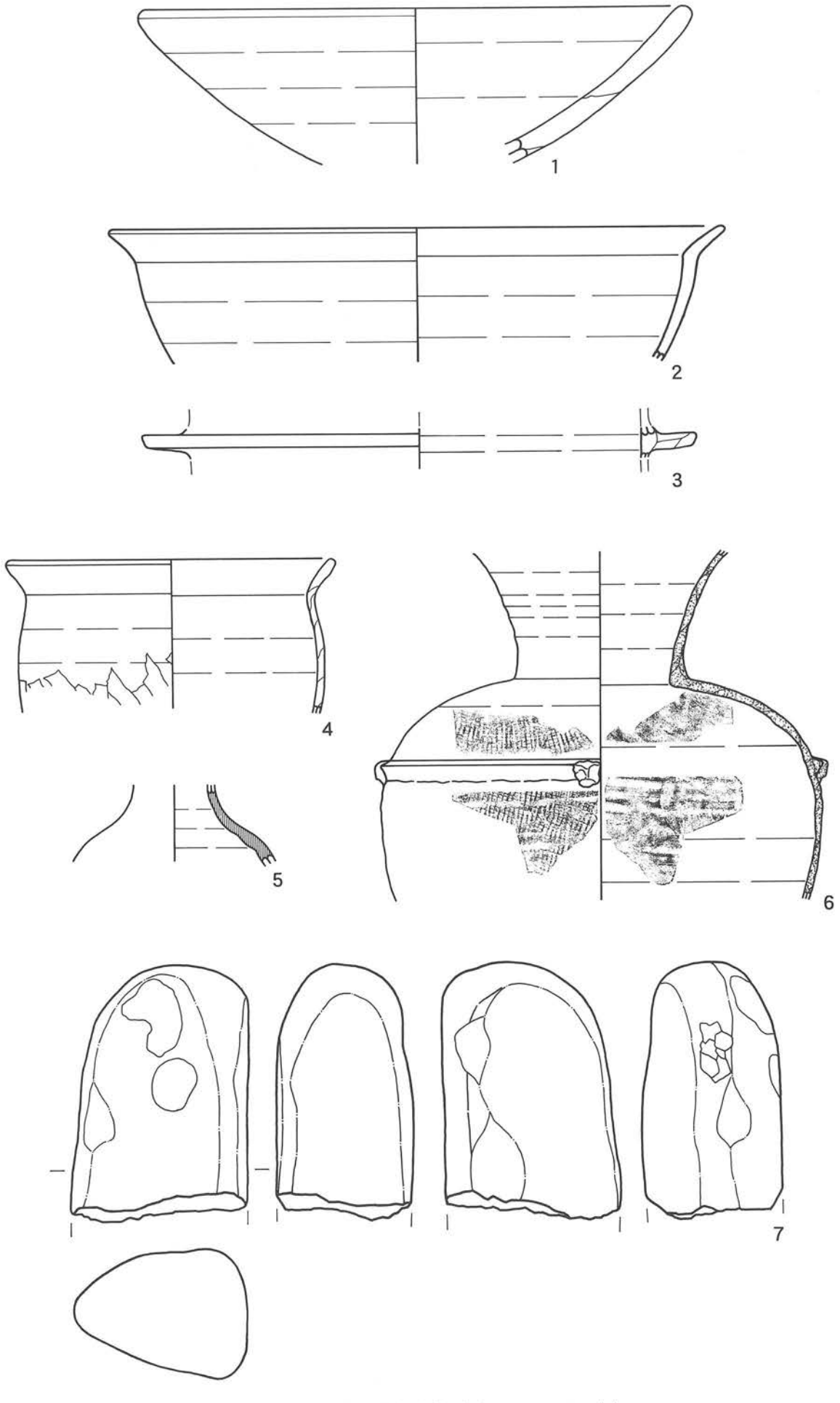
第125図　49号住居出土遺物（1/2）



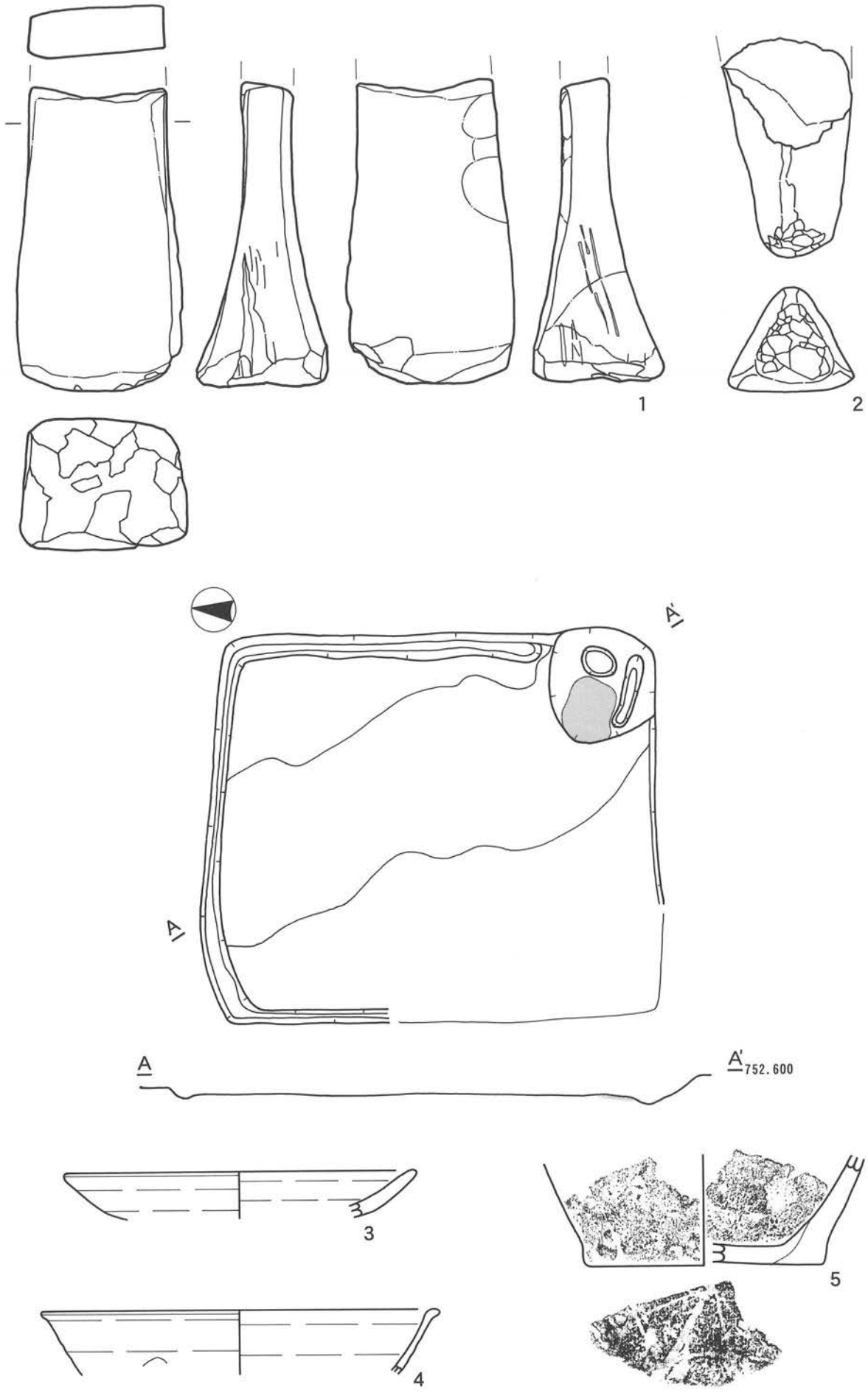
第126図　49号住居出土遺物（1/2）



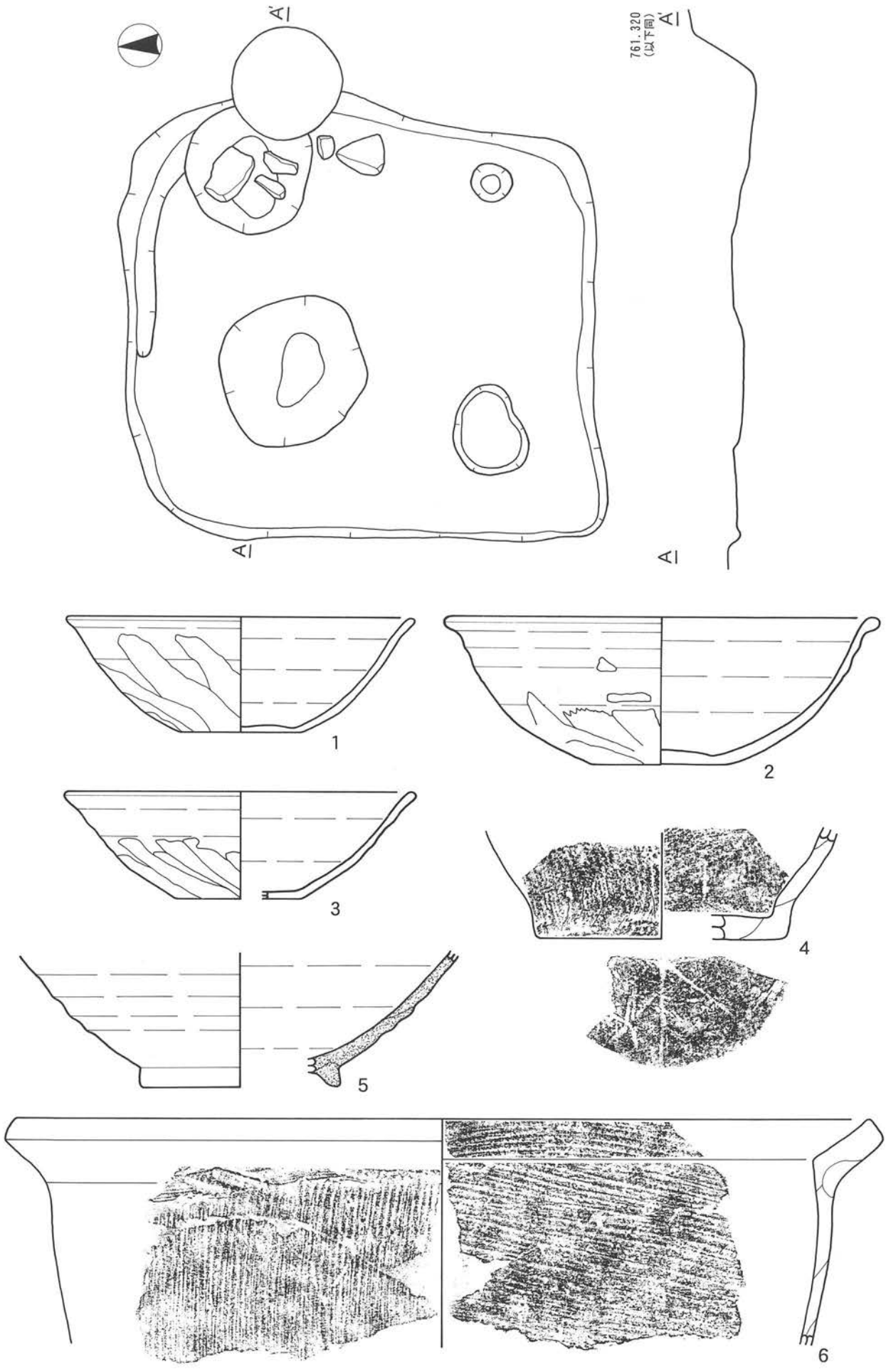
第127図　49号住居出土遺物（1/2、4～11 1/4）



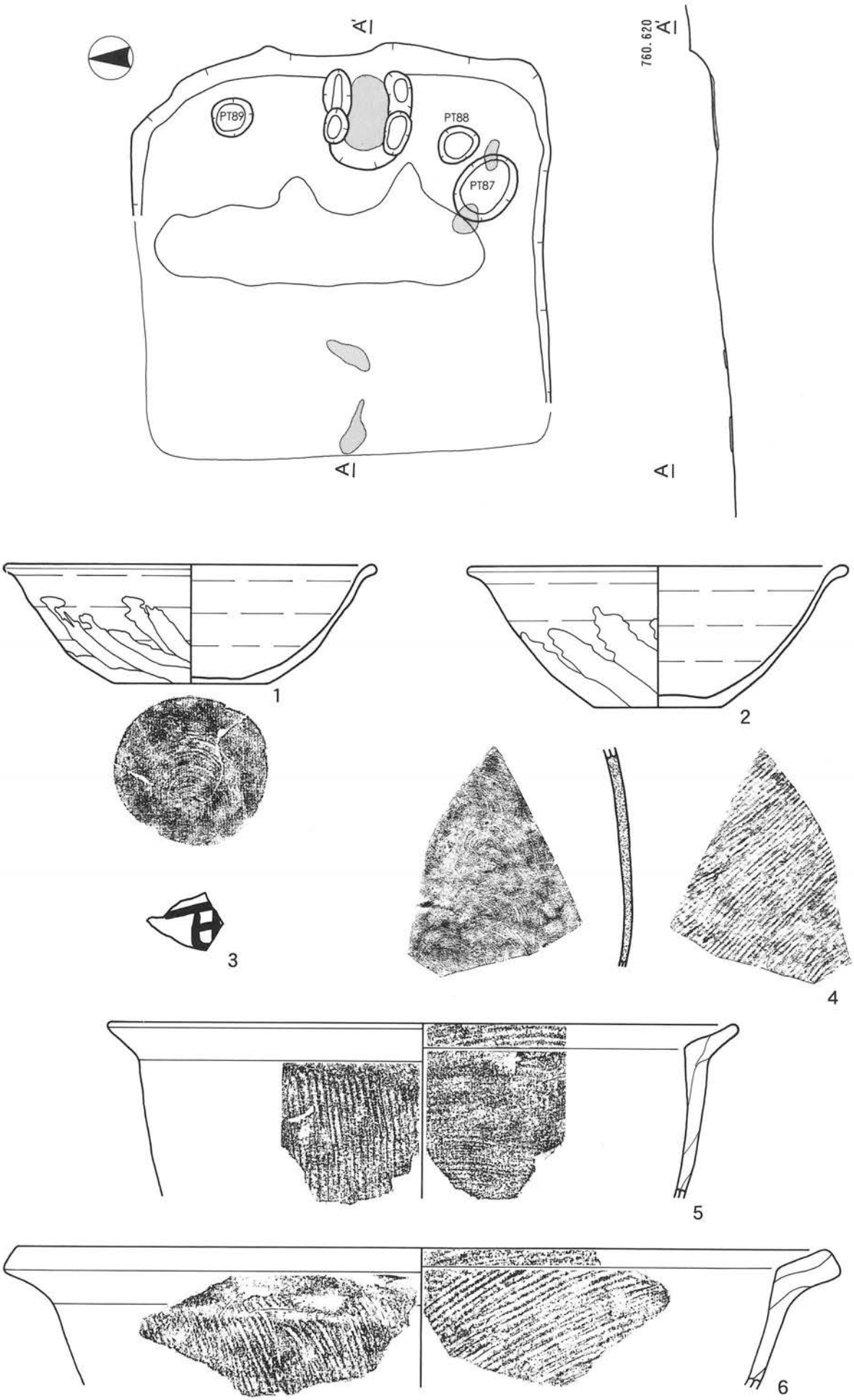
第128図　49号住居出土遺物（1/2、3・4・6 1/4）



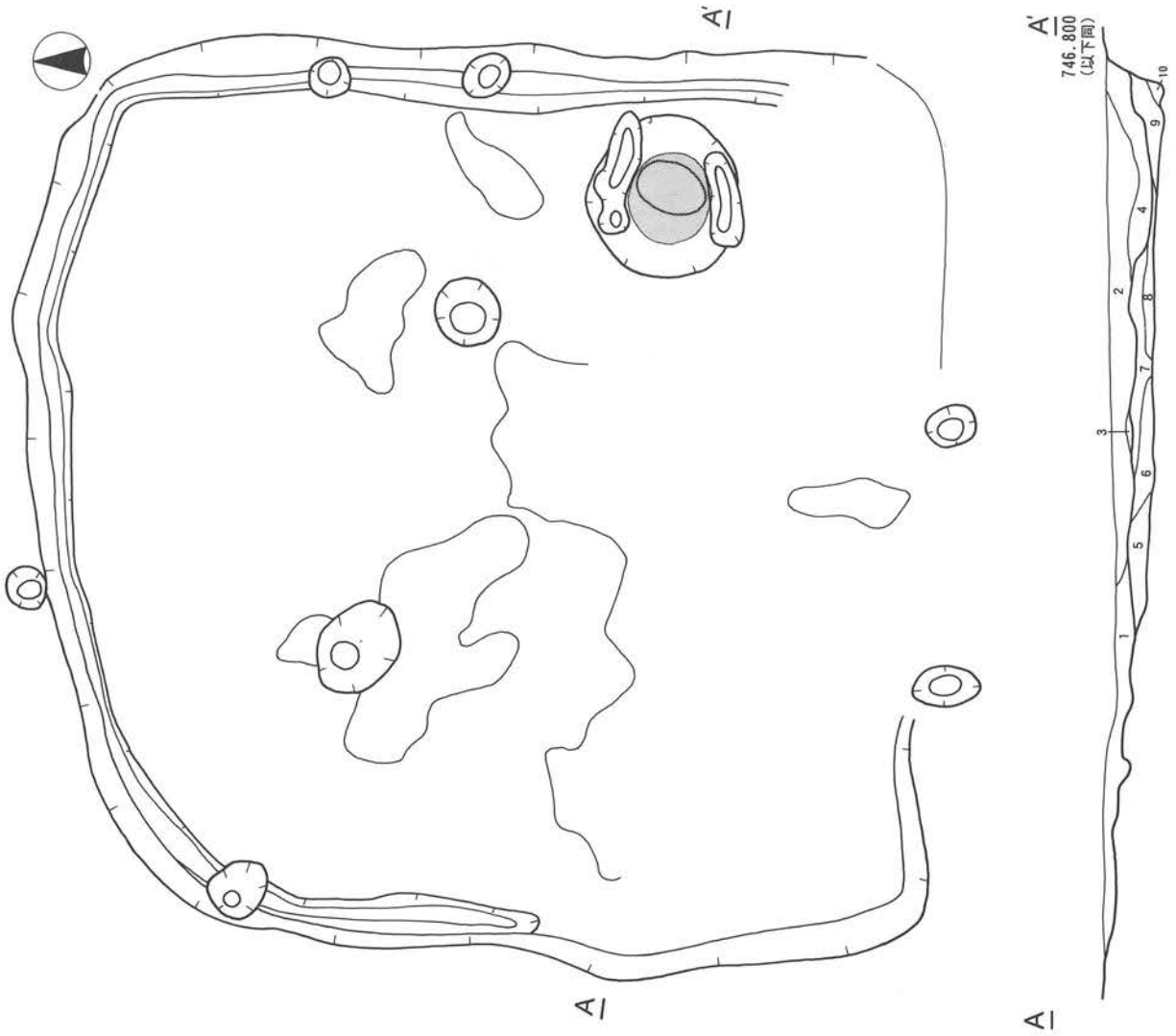
第129図　49号住居出土遺物（1/2）　50号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



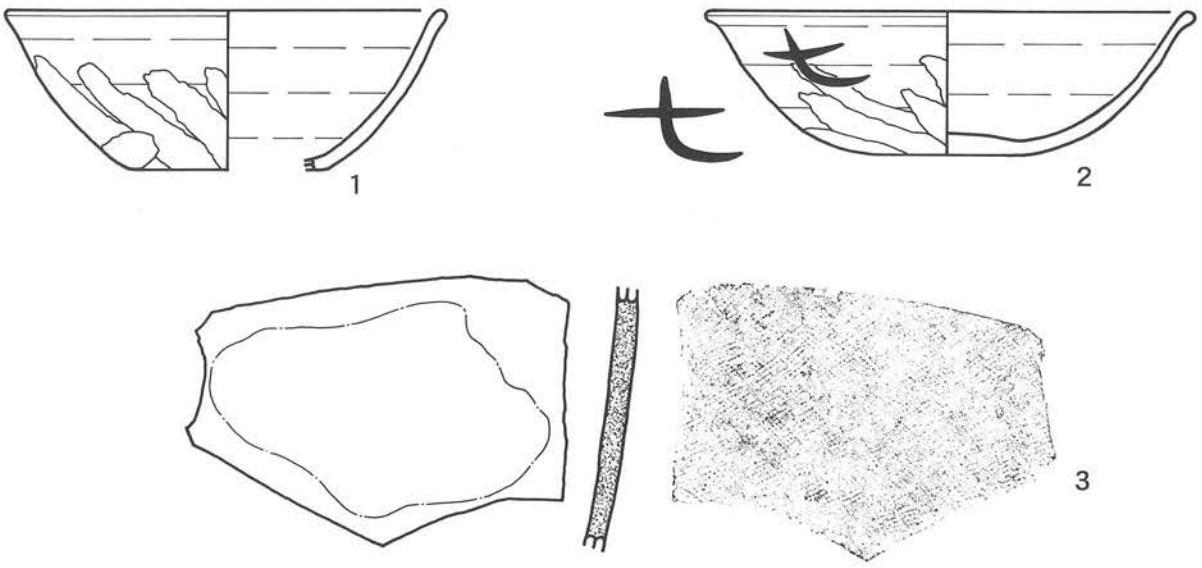
第130図　51号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



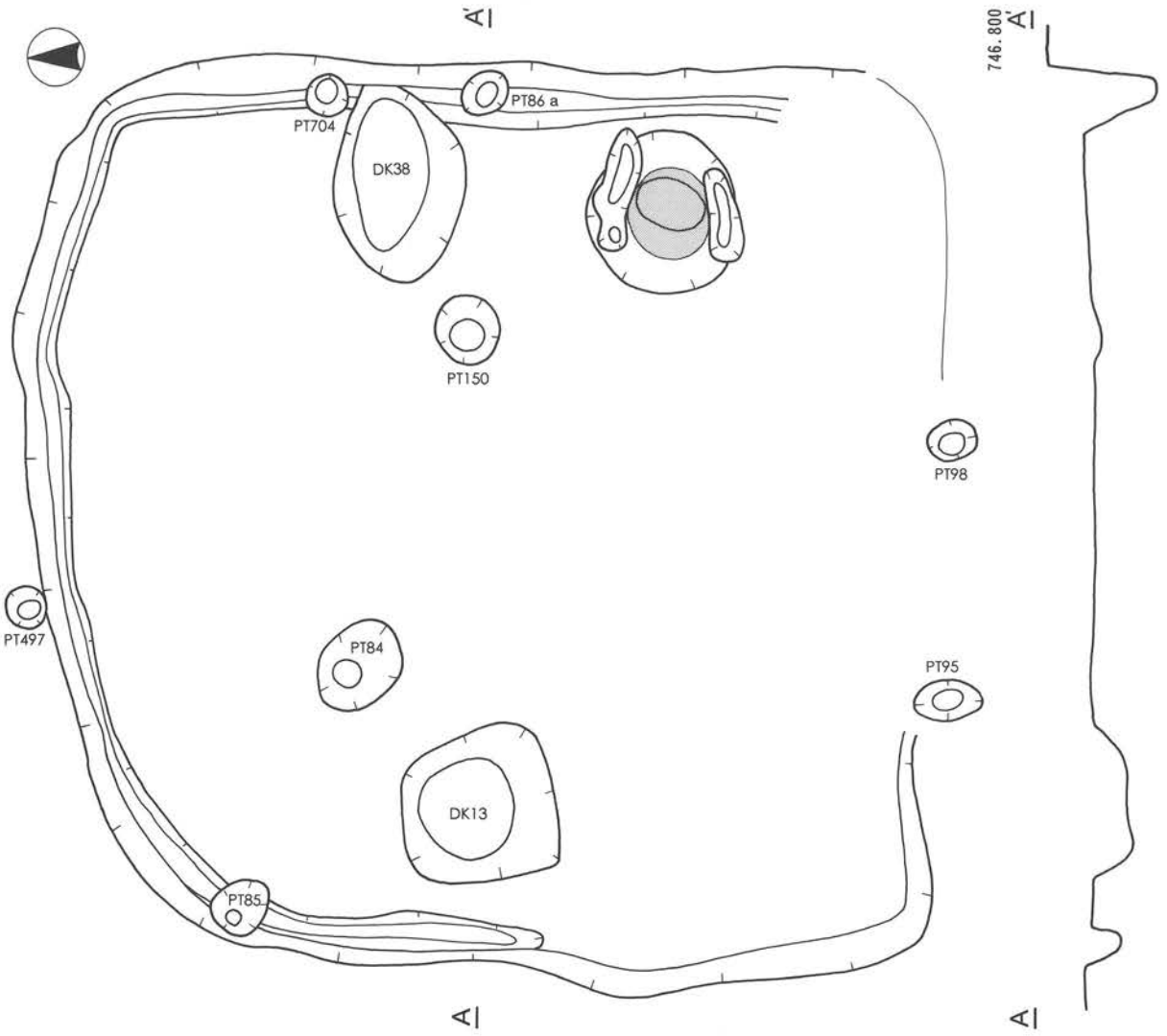
第131図　52号住居（1/40）および出土遺物（1/2、4 1/4）

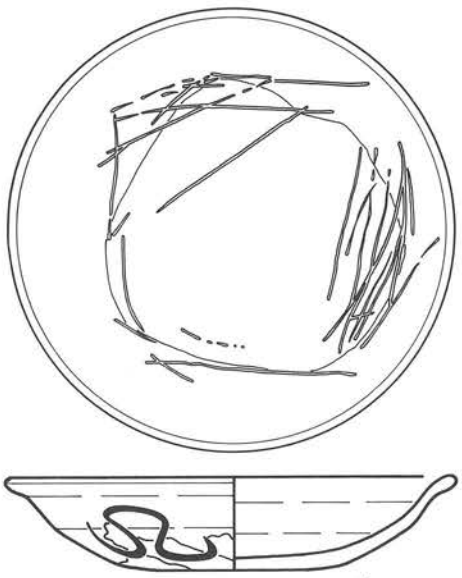


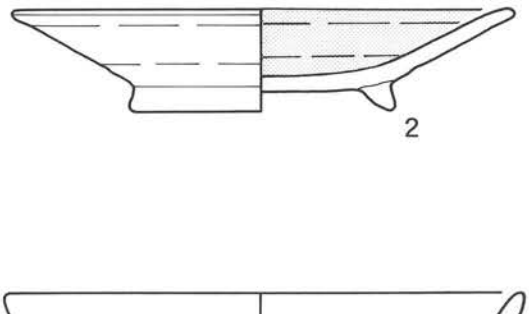
1層 PH53-a 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、炭化物が 1%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 1%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 焼土に 10YR2/2(黒褐)が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 焼土に 10YR2/2(黒褐)が 20%、10YR4/6(褐)が 20%混じる。ややしまる。53a 住居カマド覆土。
5層 PH53-b 10YR4/6(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 40%、10YR2/1(黒)が 10%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土
6層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 1%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 5%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、10YR4/6(褐)が 5%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 40%、焼土が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。

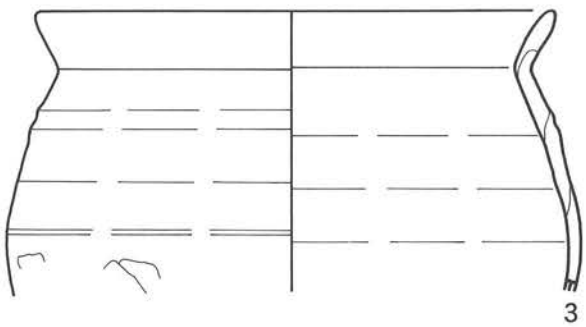


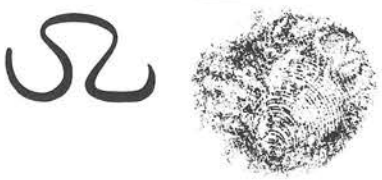
第132図　53a号住居（1/40）および出土遺物（1/2、3 1/4）



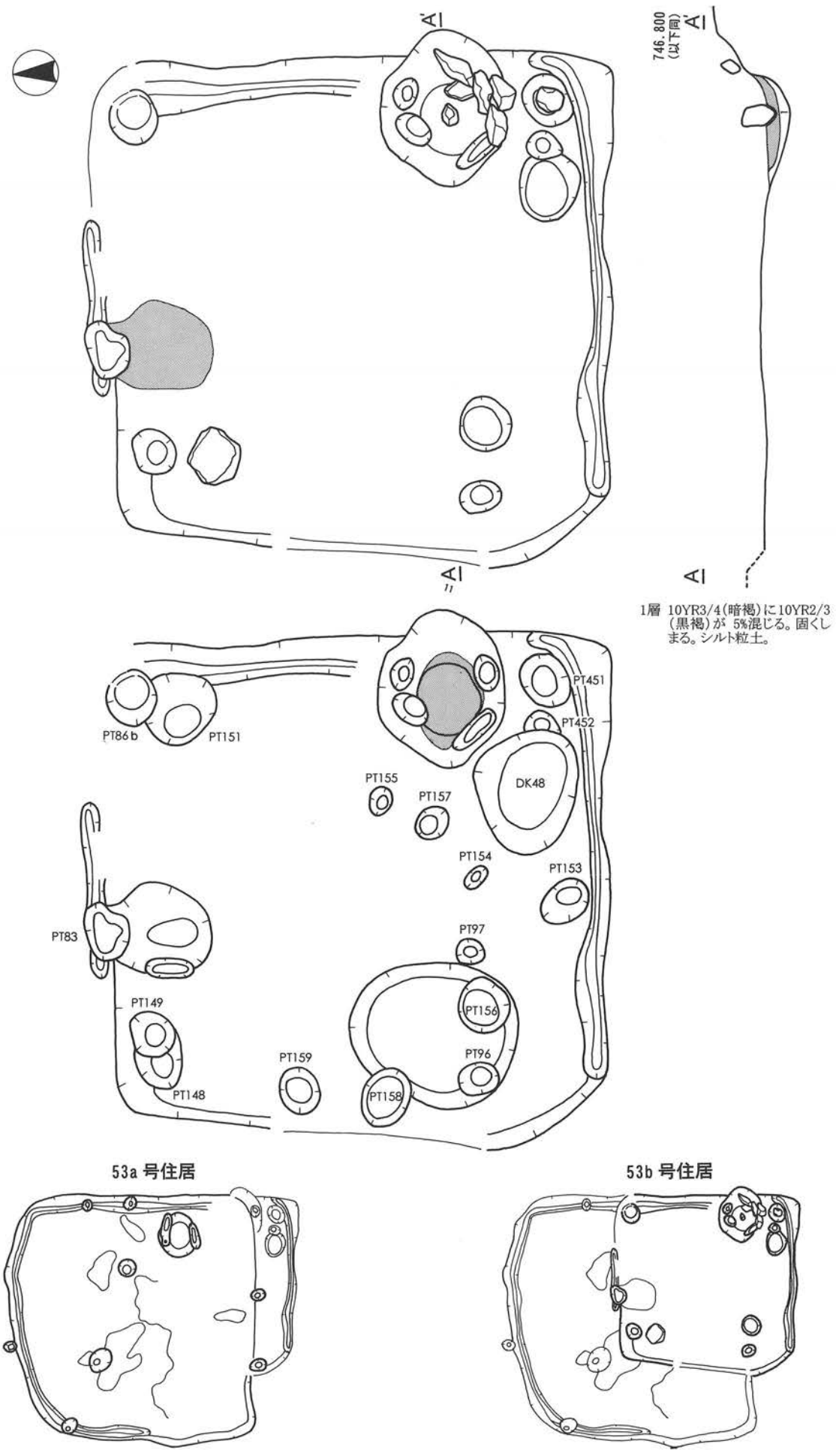




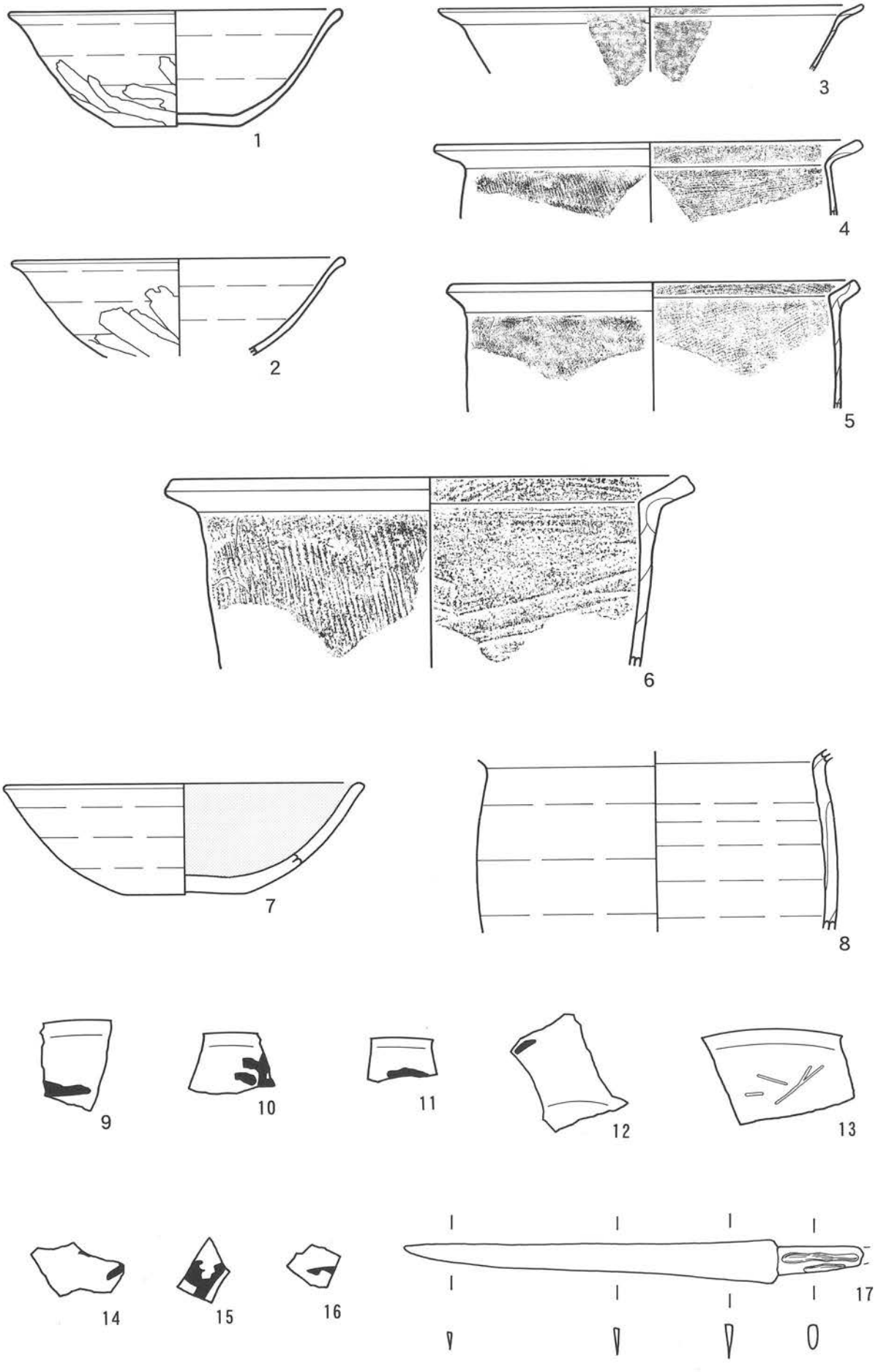




第133図　53a号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

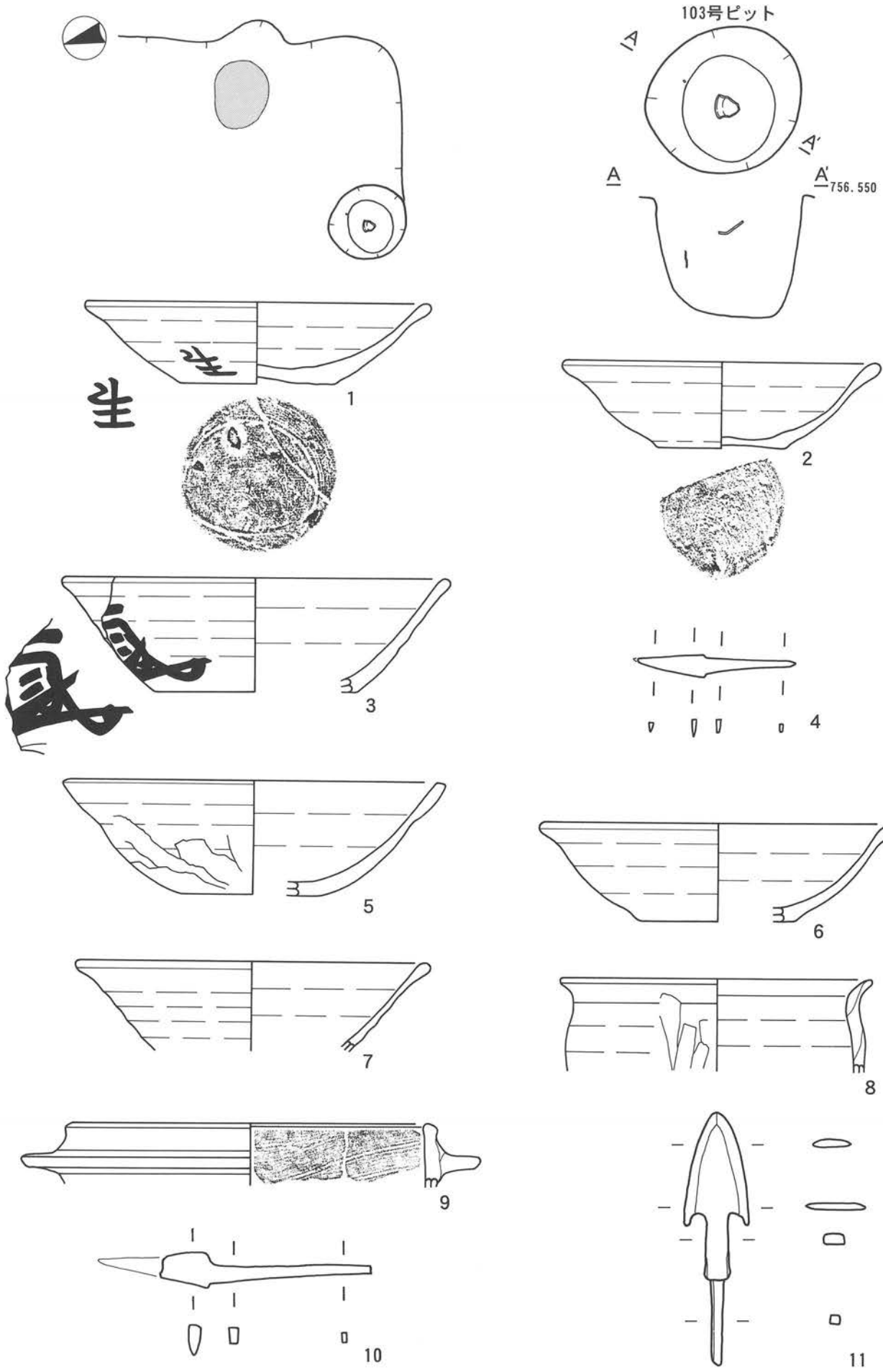


第134図　53b号住居（1/40）

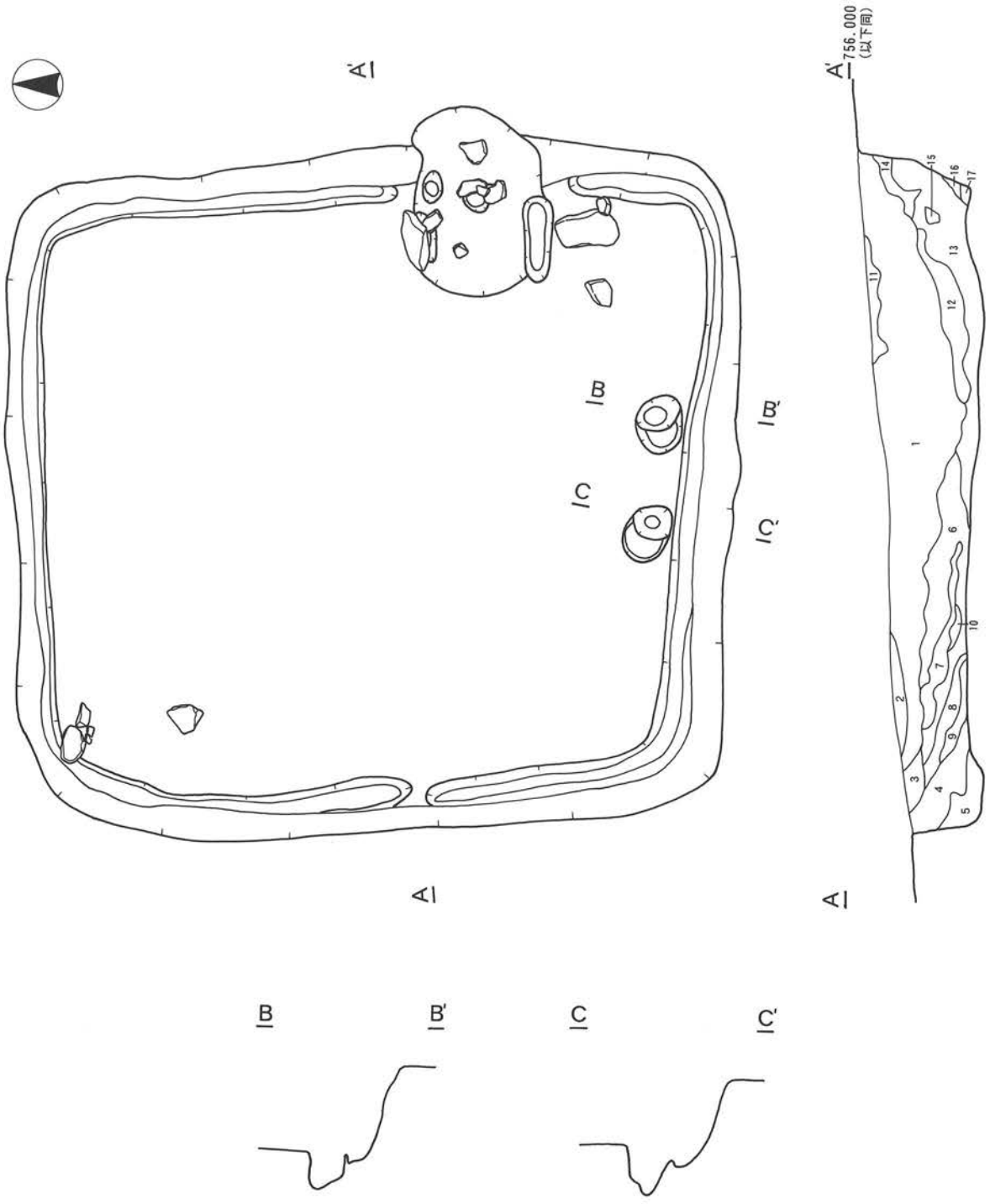


第135図　53号住居出土遺物（1/2、3～5 1/4）

第136図　53号住居出土遺物（1/2、5～8・10 1/4）

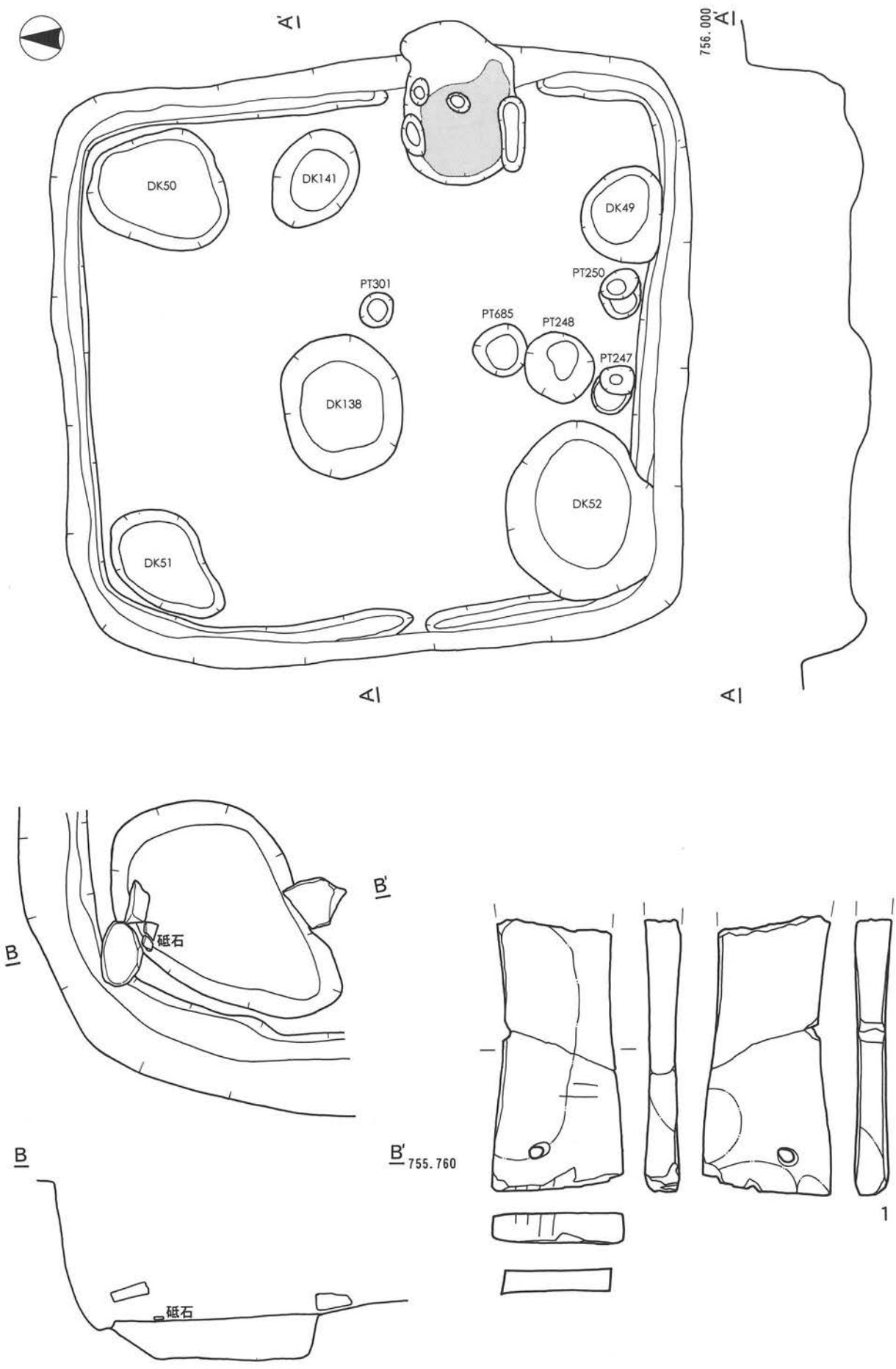


第137図　55号住居（1/40）　103号ピット（1/20）および出土遺物（1/2、9 1/4）

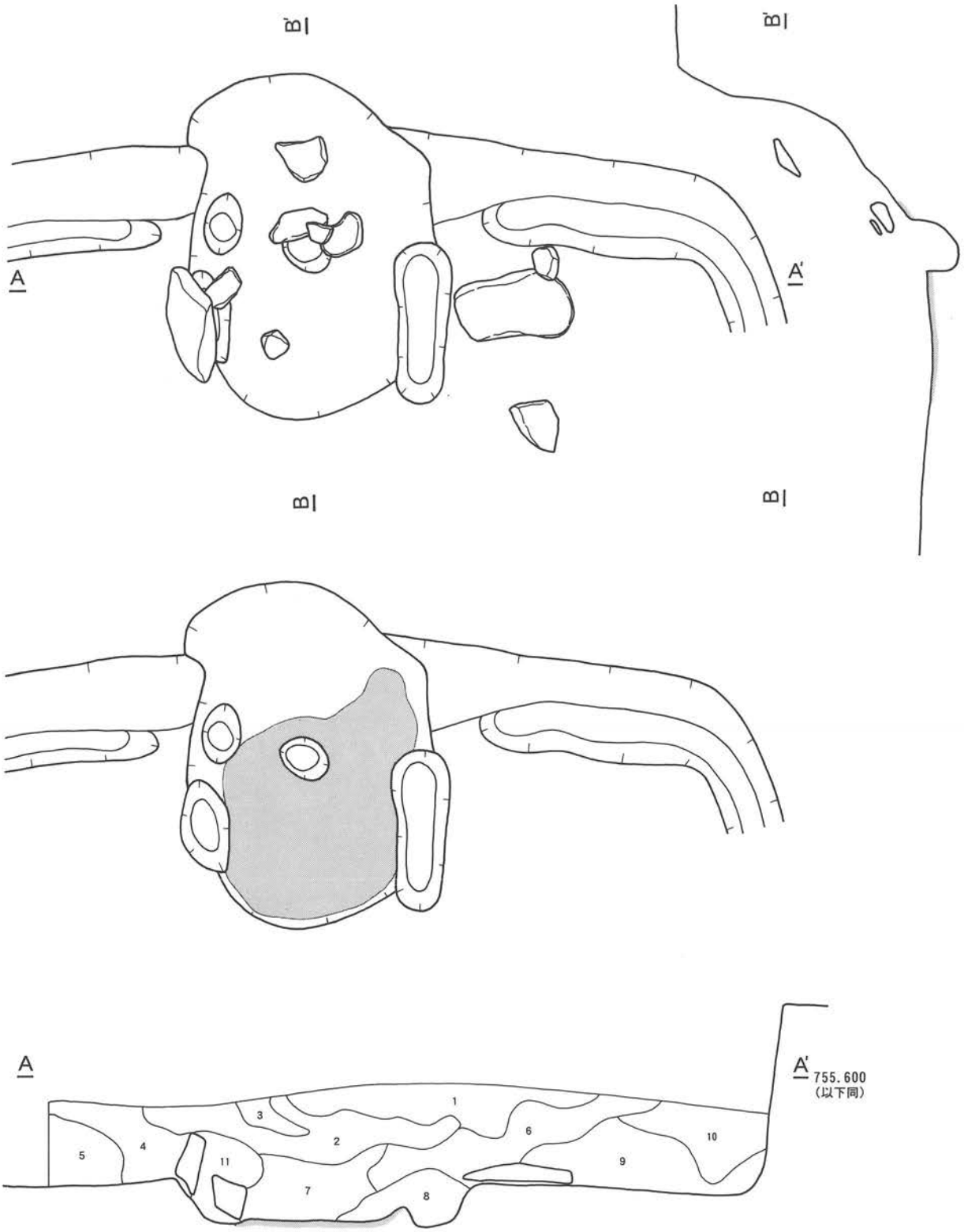


1層 10YR2/2(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が2～10mm大で3%、10YR1.7/1(黒)が10mm大で1%、焼土・炭化物が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に10YR2/2(黒褐)が40%、焼土・炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5～10mm大で2%、10YR1.7/1(黒)が1%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR1.7/1(黒)が7mm大で2%、10YR5/6(黄褐)が2～3mm大で2%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が5～10mm大で2%、10YR1.7/1(黒)が5mm大で1%、焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が2～10mm大で3%、10YR1.7/1(黒)が5～10mm大で1%、焼土・炭化物が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)がブロック状に7%、10YR1.7/1(黒)が5～10mm大で2%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が2～5mm大で1%、10YR1.7/1(黒)が1%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に10YR1.7/1(黒)が7%、10YR5/6(黄褐)が3%、焼土が1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が2～5mm大で1%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR4/4(褐)に10YR2/2(黒褐)が1%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に10YR5/6(黄褐)が20%、10YR1.7/1(黒)が2%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 7.5YR2/2(黒褐)に10YR1.7/1(黒)が3%、焼土が2%、炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR4/3(にぶい黄褐)に10YR5/6(黄褐)が2～10mm大で2%、10YR1.7/1(黒)が1%未満、焼土・炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 7.5YR2/2(黒褐)に7.5YR5/6(明褐)が40%、10YR1.7/1(黒)が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が1%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、焼土が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に10YR3/4(暗褐)が10%混じる。固くしまる。シルト粒土。

第138図　56号住居（1/40）

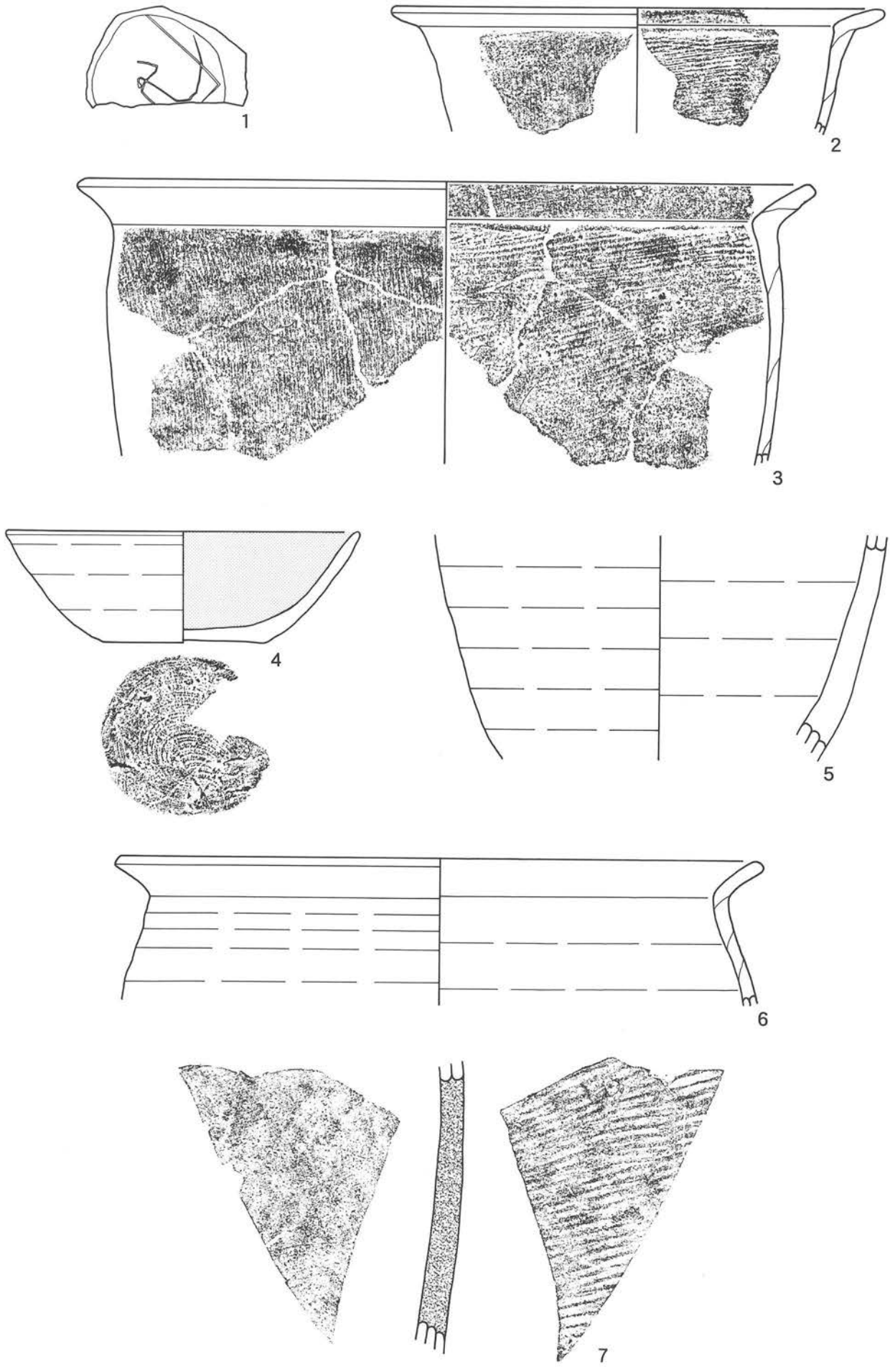


第139図　56号住居（1/40）　51号土坑（1/20）および出土遺物（1/2）

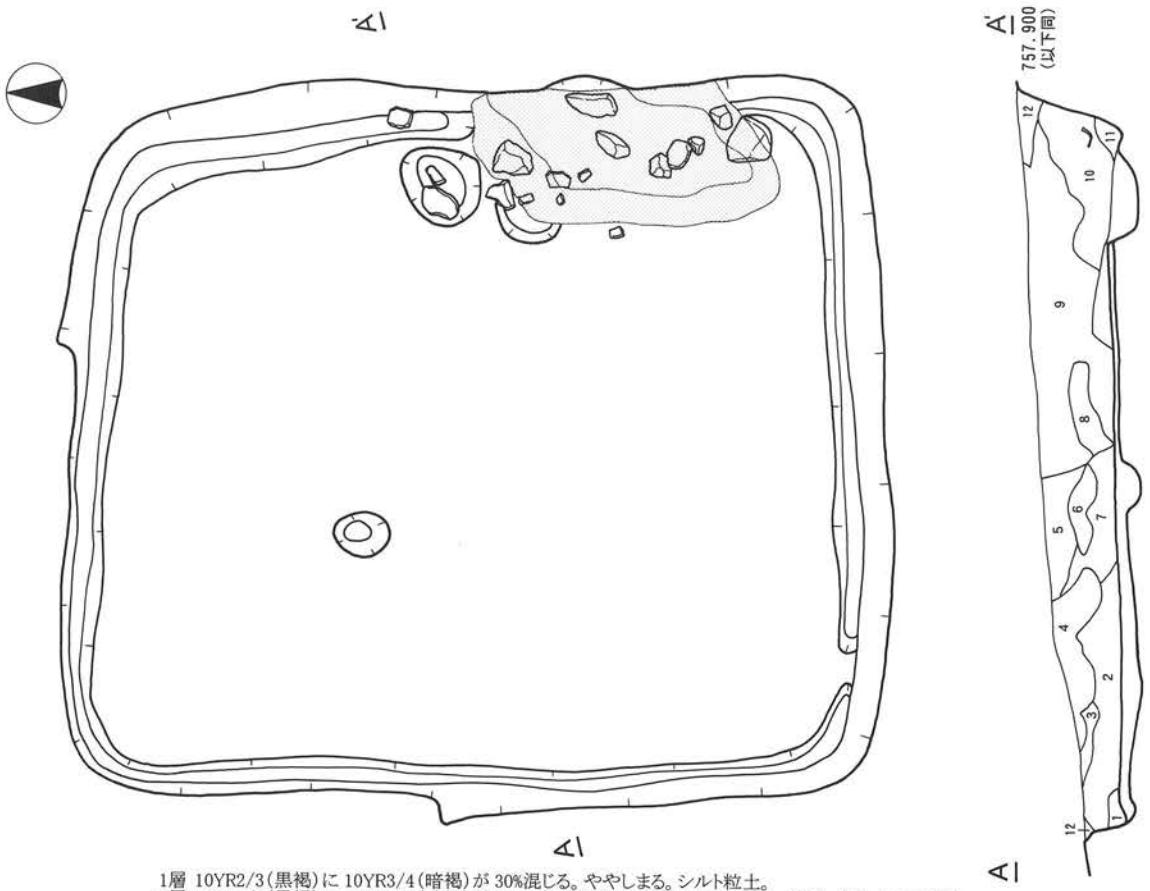


1層 7.5YR2/2(黒褐)に 10YR1.7/1(黒)が 30%、7.5YR5/6(明褐)が 2～20mm のブロック状で 10%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 7.5YR3/2(黒褐)に 7.5YR5/6(明褐)が 2～30mm のブロック状で 40%、7.5YR1.7/1(黒)が 1%、焼土 5YR3/4(暗赤褐)が 7%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。全体がボロボロしている。シルト粒土。
3層 7.5YR2/2(黒褐)に 7.5YR4/3(褐)が 2%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 7.5YR2/2(黒褐)に 7.5YR5/6(明褐)が 2～5mm 大で 2%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。一部ボロボロしている。シルト粒土。
5層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、10YR1.7/1(黒)が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 7.5YR3/2(黒褐)に 7.5YR5/6(明褐)が 2～10mm 大で 7%、7.5YR1.7/1(黒)が 1%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 7.5YR2/1(黒)に 7.5YR5/6(明褐)が 2～10mm 大で 1%、7.5YR1.7/1(黒)が 1%未満、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 7.5YR3/2(黒褐)に 7.5YR5/6(明褐)が 2～10mm 大で 7%、7.5YR1.7/1(黒)が 1%、焼土が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～20mm 大で 3%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～5mm 大で 2%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 7.5YR2/2(黒褐)に 7.5YR5/6(明褐)が 5～10mm 大で 5%、7.5YR1.7/1(黒)が 1%、焼土が 7%混じる。10mm 位の粘土の粒が所々混じる。固くしまる。シルト粒土。

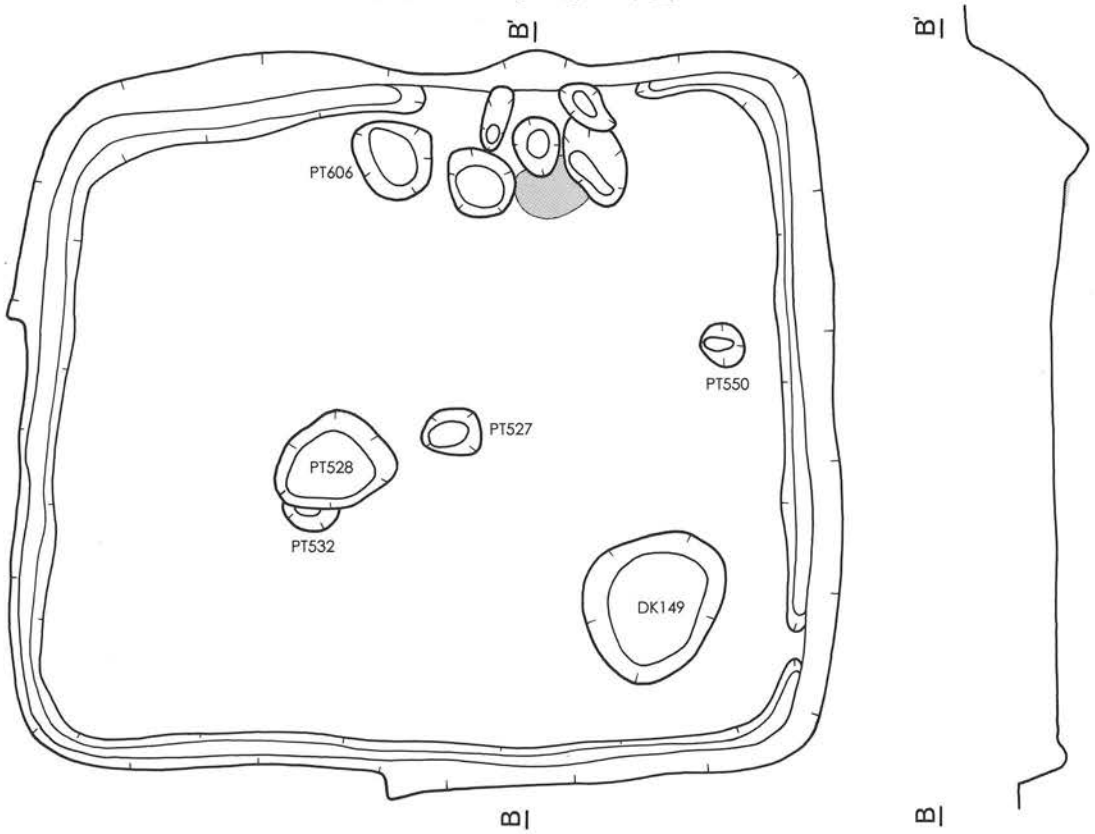
第140図　56号住居カマド（1/20）



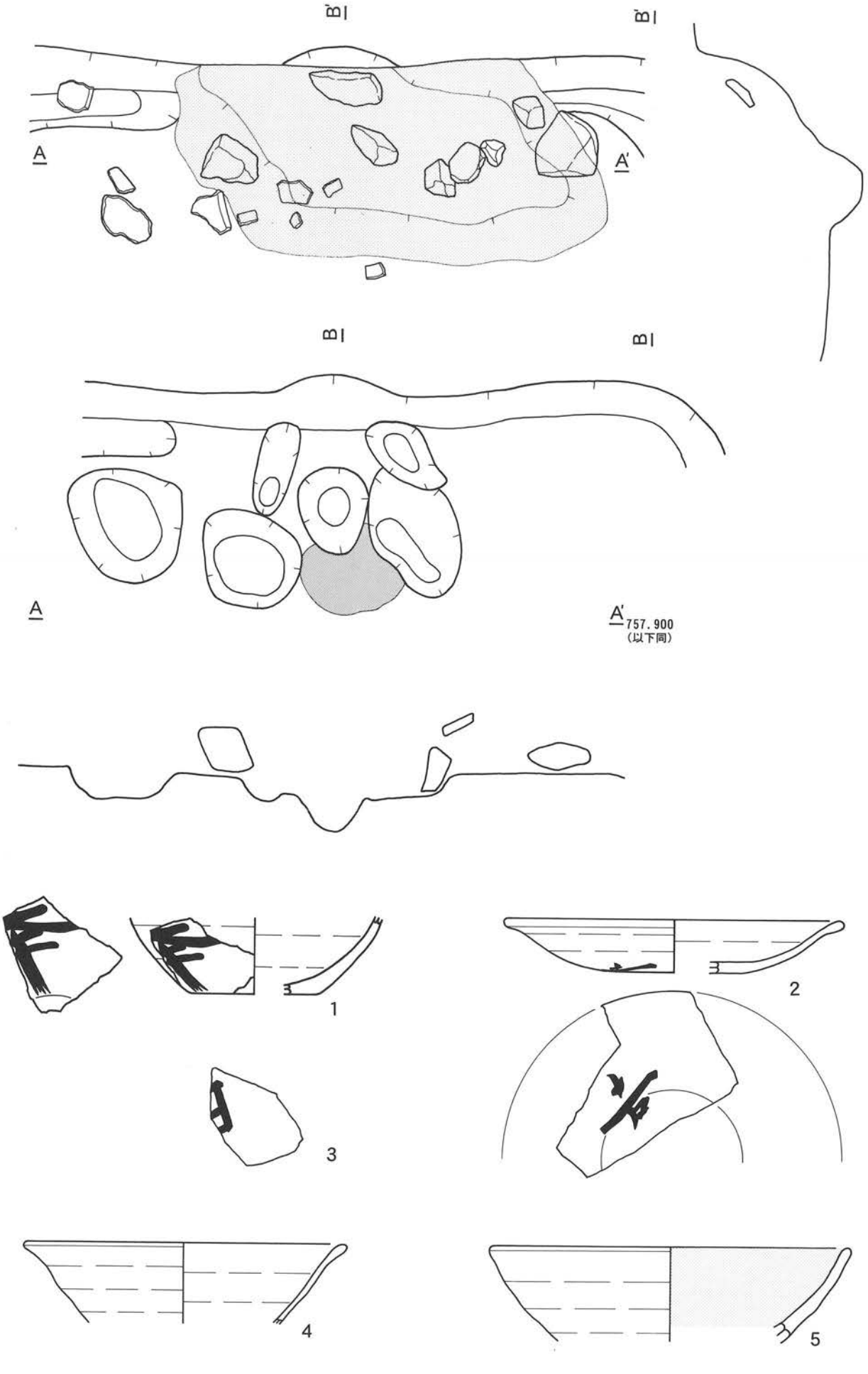
第141図　56号住居出土遺物（1/2）



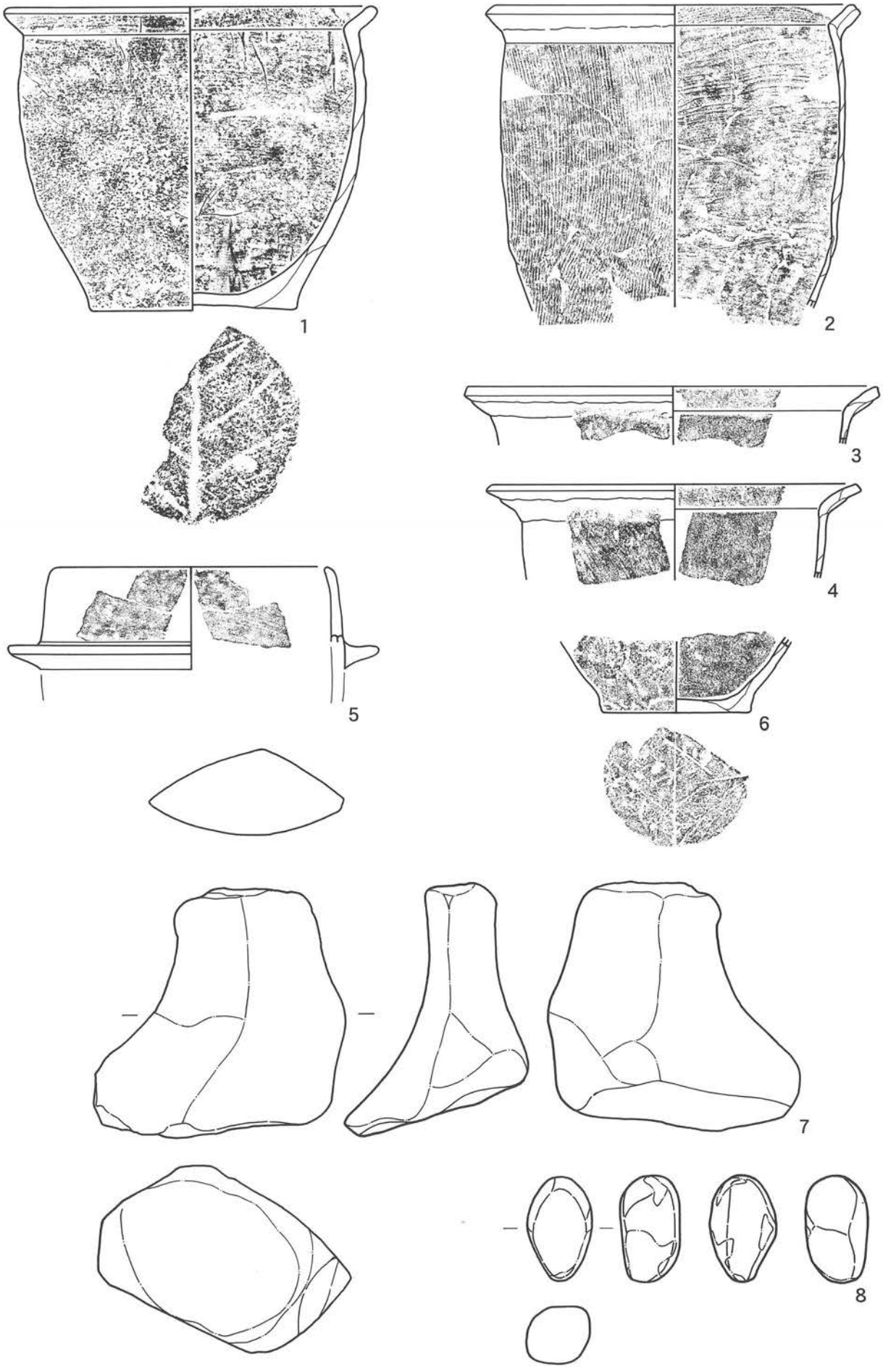
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 25%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%、10YR4/6(褐)が 5%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、10YR4/6(褐)が 5%、炭化物が 2%、焼土が 2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 15%、10YR4/6(褐)が 5%、炭化物が 1%、焼土が 2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%混じる。ややしまる。シルト粒土。
12層 カクラン。
地山 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。



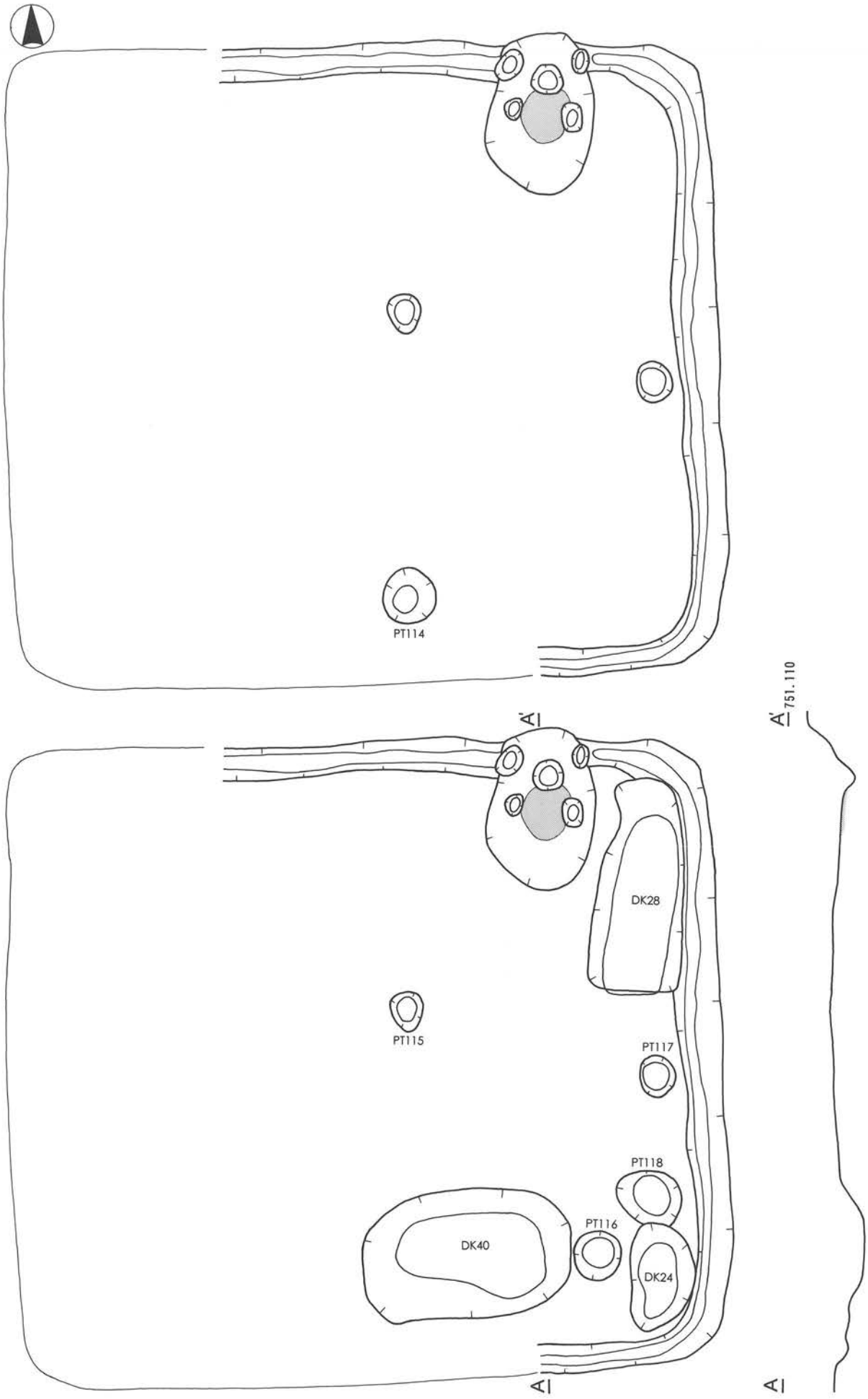
第142図　57号住居（1/40）



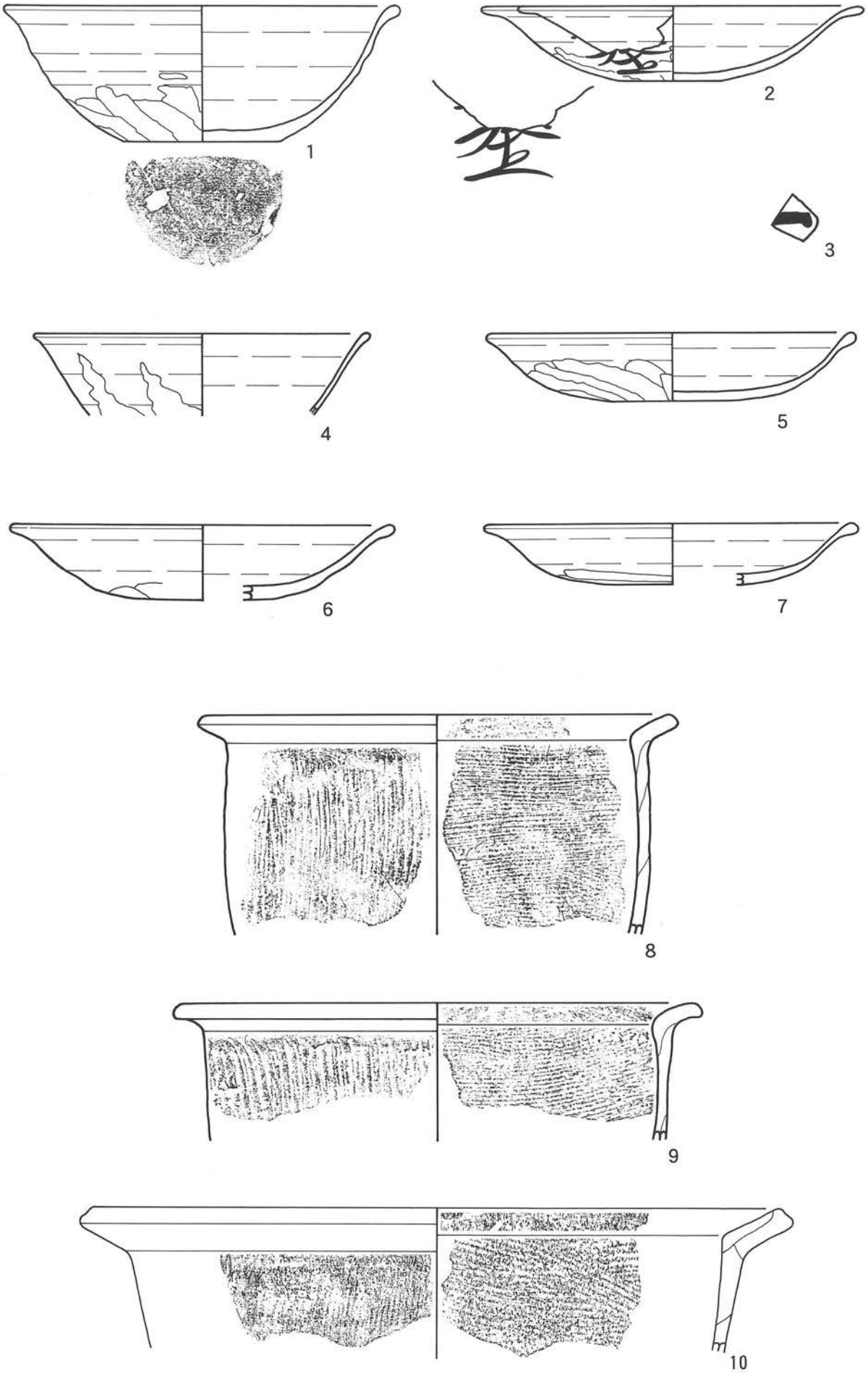
第143図　57号住居カマド（1/20）　57号住居出土遺物（1/2）



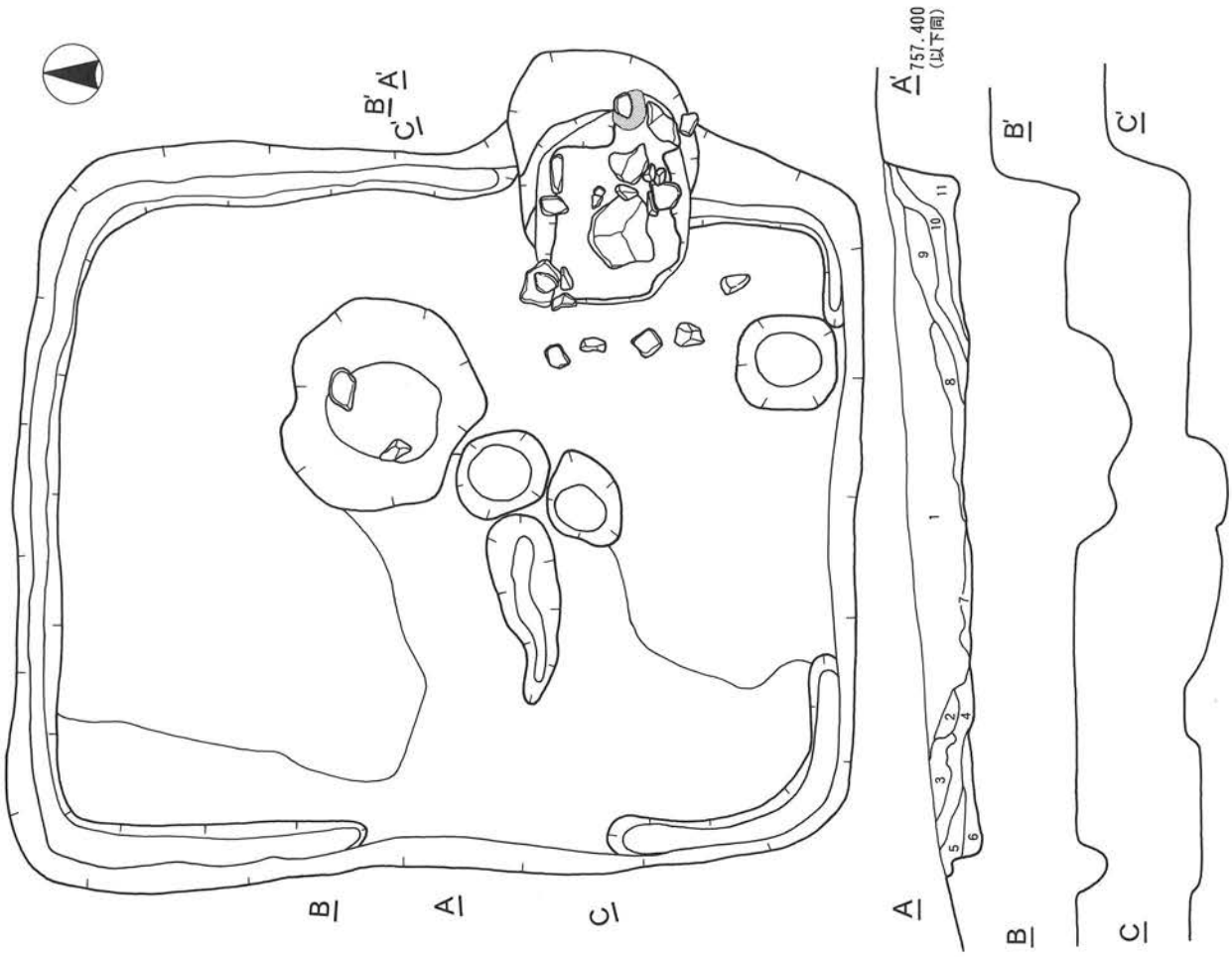
第144図　57号住居出土遺物（1/2、2～6 1/4）



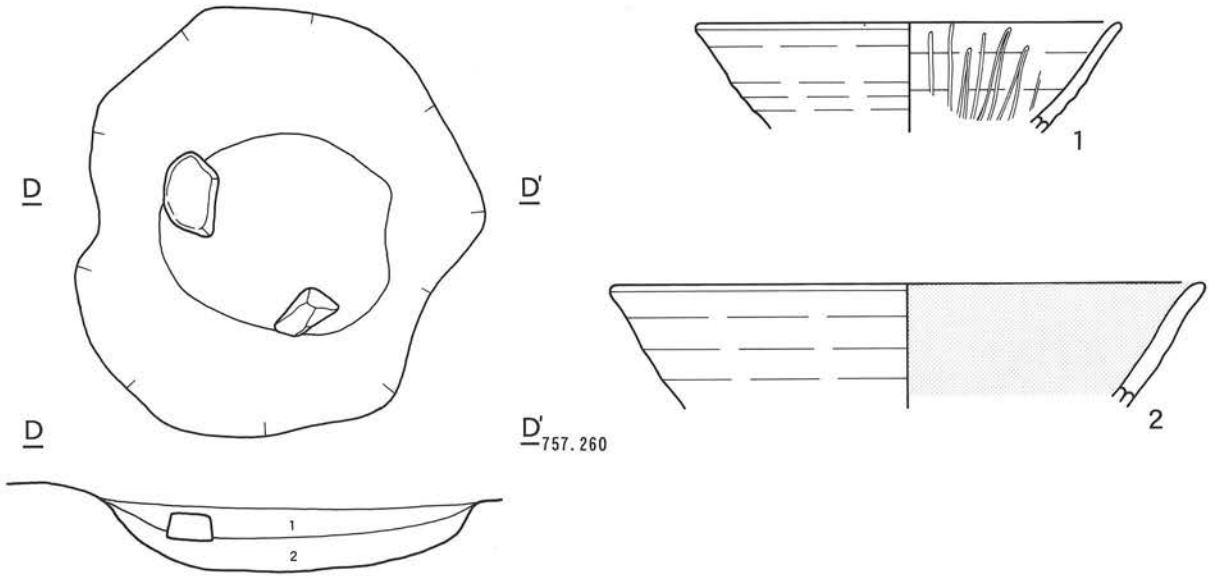
第145図　58号住居（1/40）



第146図　58号住居出土遺物（1/2）

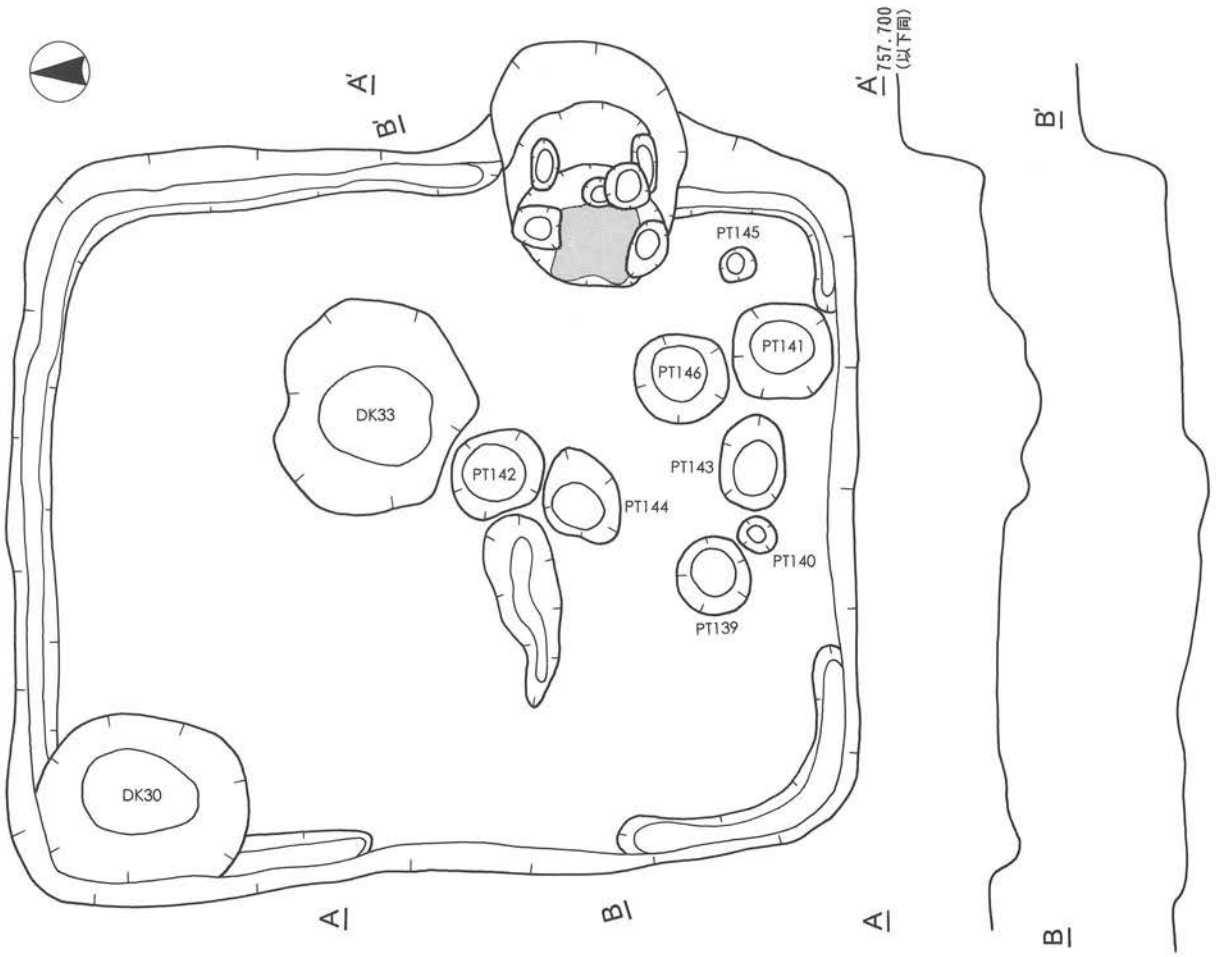


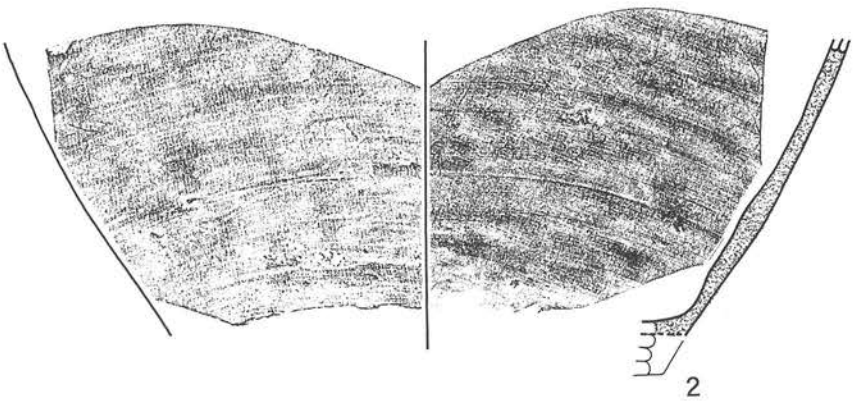
1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～5mm 大で 5%、10YR1.7/1(黒)が 2～5mm 大で 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 15%、10YR1.7/1(黒)が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)に 10YR2/1(黒)が 5%、10YR5/6(黄褐)が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/1(黒)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 30%、10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土・炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR1.7/1(黒)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が 3%、焼土が 1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～10mm 大で 10%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/1(黒)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 40%、10YR5/6(黄褐)が 5～10mm 大で 5%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5～10mm大で 3%、10YR1.7/1(黒)が 2%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～5mm大で 2%、10YR1.7/1(黒)が 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)。非常に固くしまる。シルト粒土。

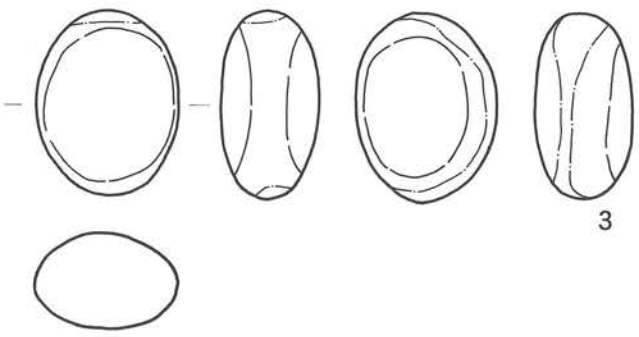


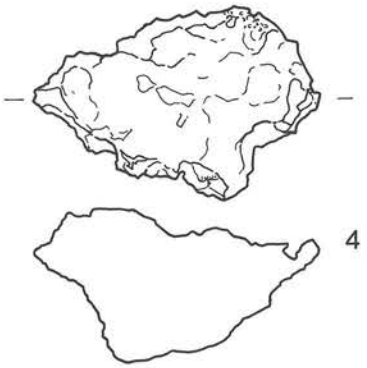
1層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 焼土。
地山 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。粘りのある土。シルト粒土。

第147図　59号住居（1/40）　33号土坑（1/20）　59号住居出土遺物（1/2）

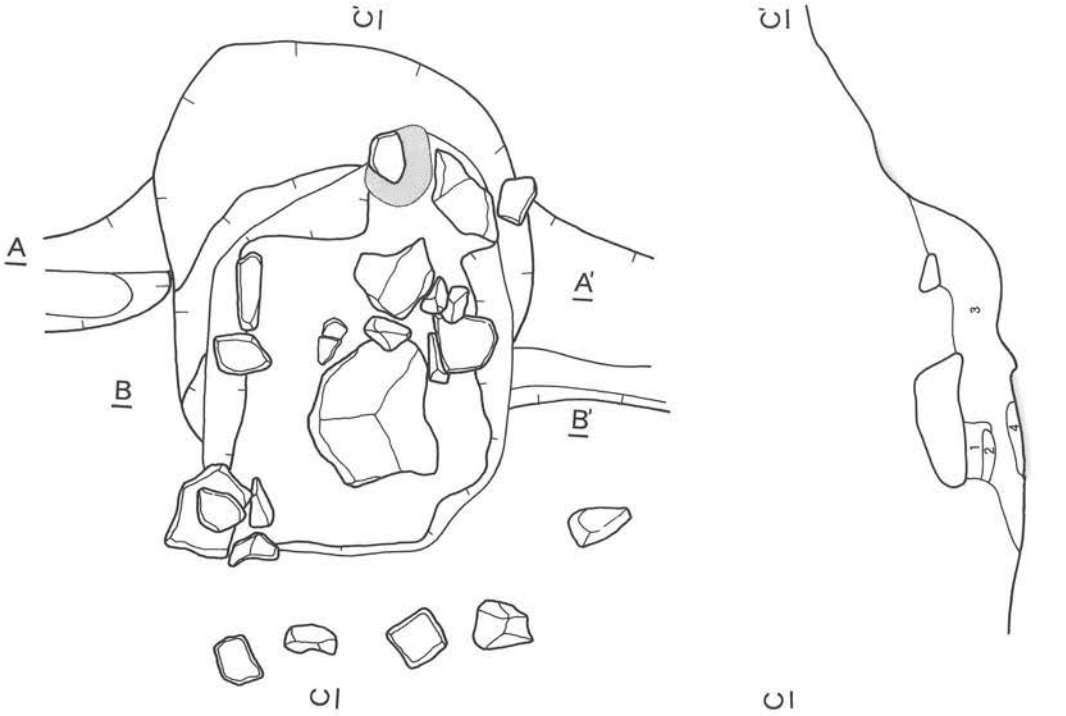


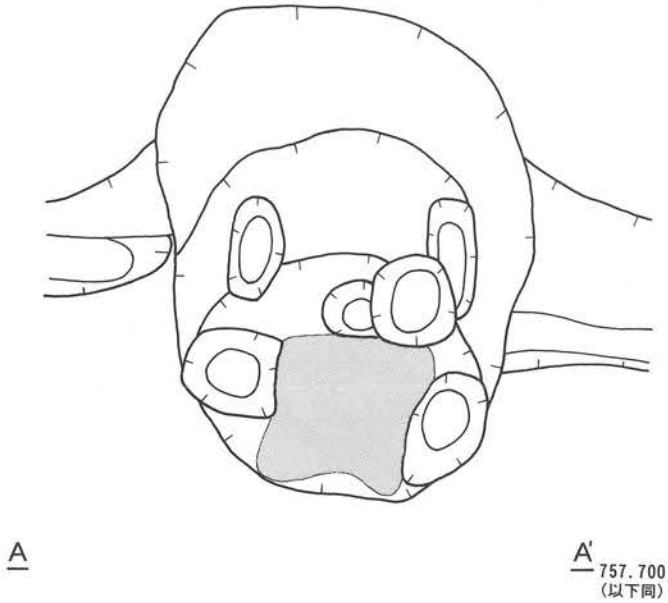


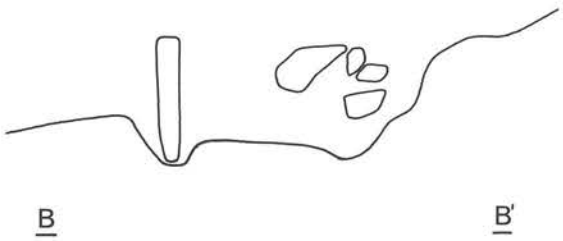


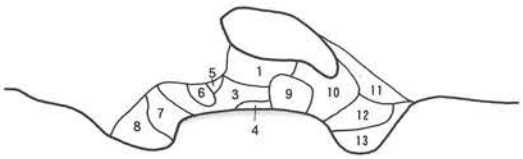


第148図　59号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



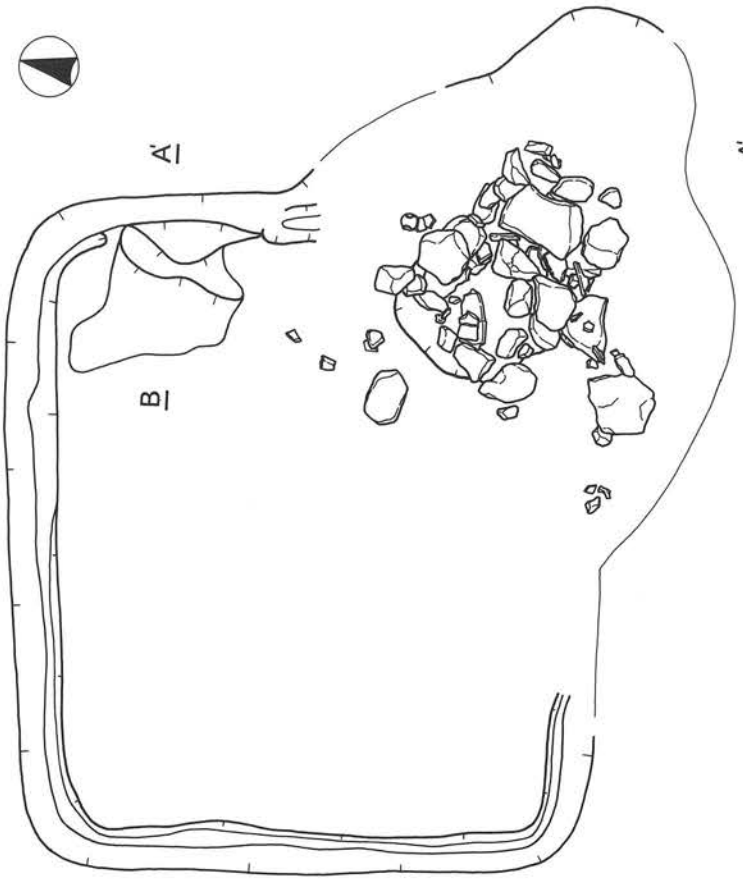


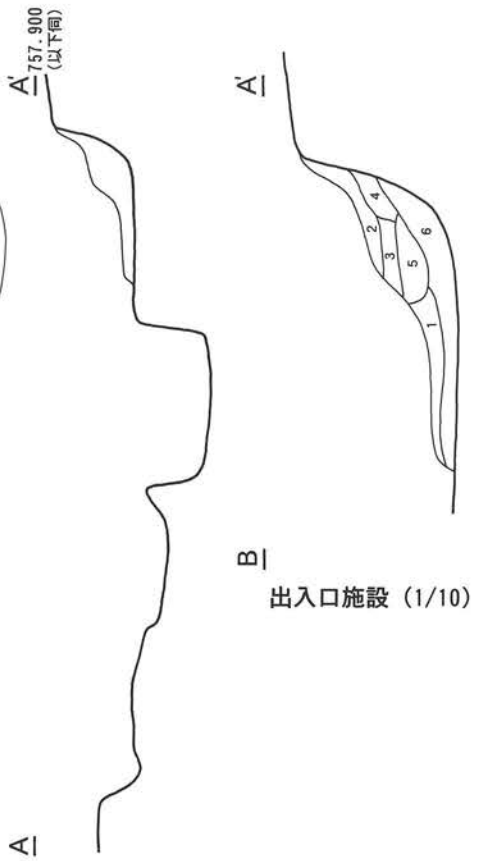




1層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%、焼土が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR6/3(にぶい黄橙)の灰。しまる。シルト粒子。
5層 10YR3/4(暗褐)に焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/2(灰黄褐)の灰。しまる。シルト粒土。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/3(にぶい黄褐)に焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR7/1(灰白)に10YR6/1(褐灰)が30%混じる。固くしまる。灰。
10層 10YR4/6(褐)に7.5YR4/6(褐)が20%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に7.5YR4/6(褐)が20%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%、10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。粘りのある土。シルト粒土。

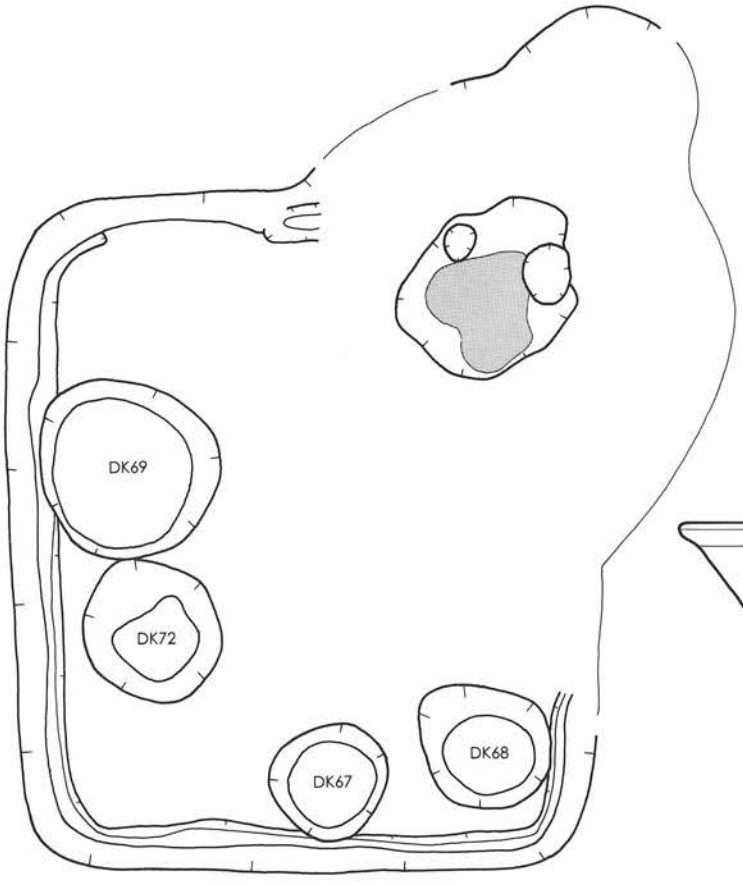
第149図　59号住居カマド（1/20）

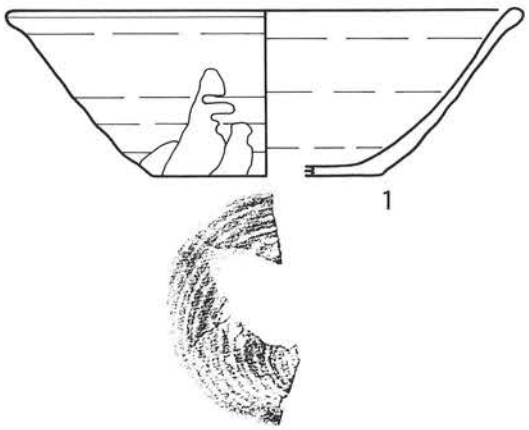




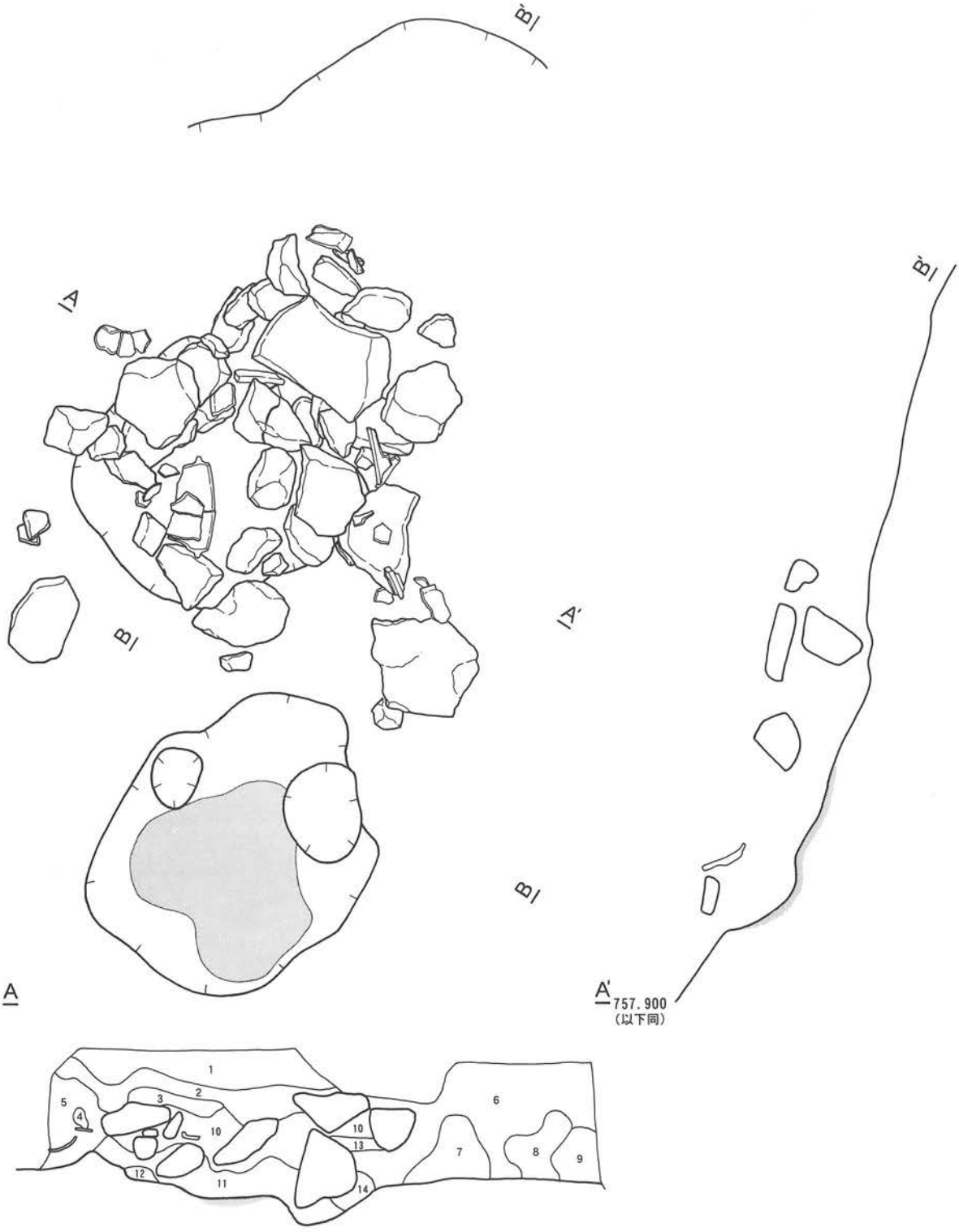
出入口施設（1/10）

1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%混じる。粘土。非常に固くしまる。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 3%、焼土が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、炭化物が 2%、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%、10YR4/6(褐)が 20%、炭化物が 1%混じる。粘土が 30%、他はシルト粒土。しまる。
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。



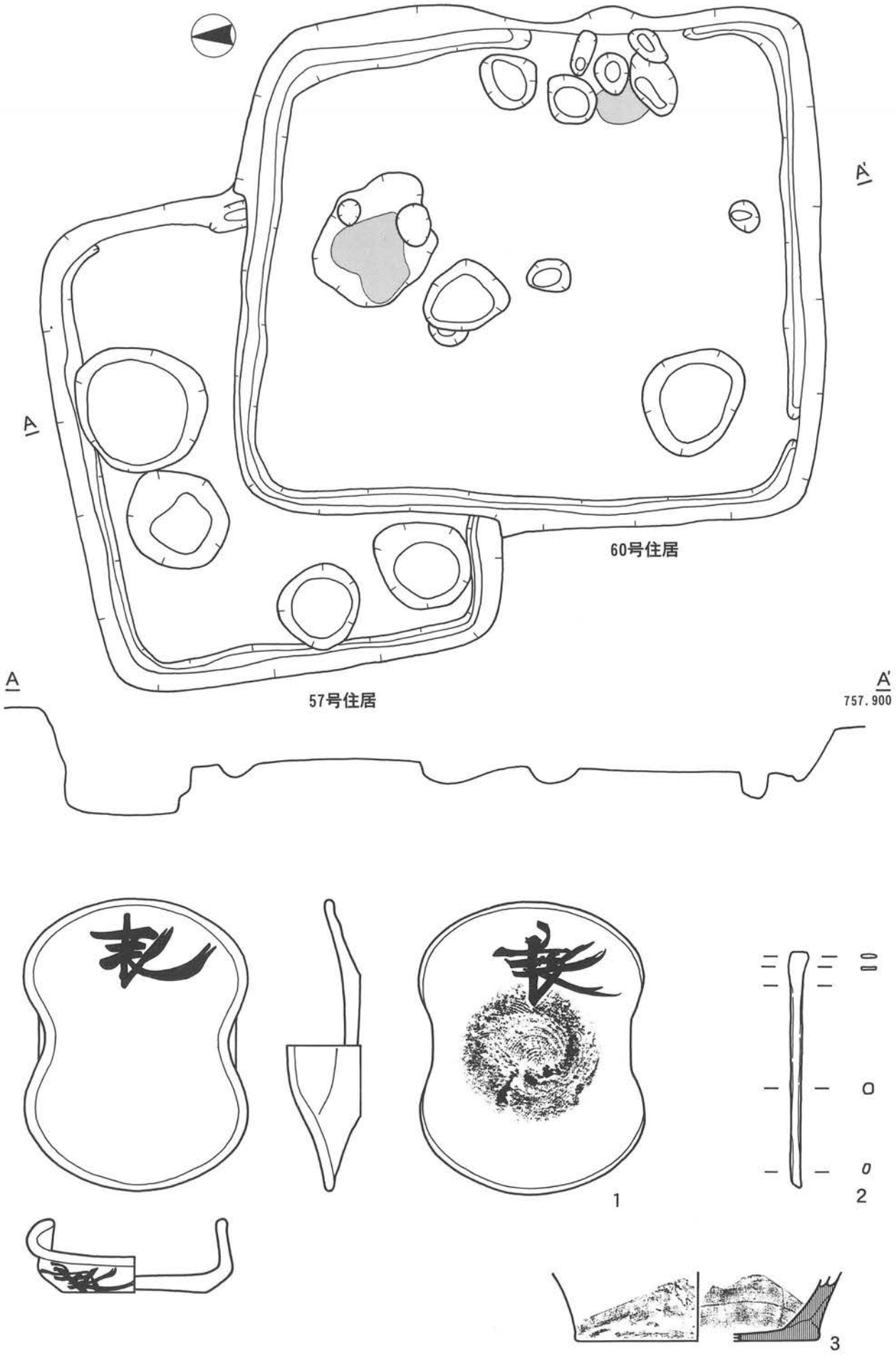


第150図　60号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

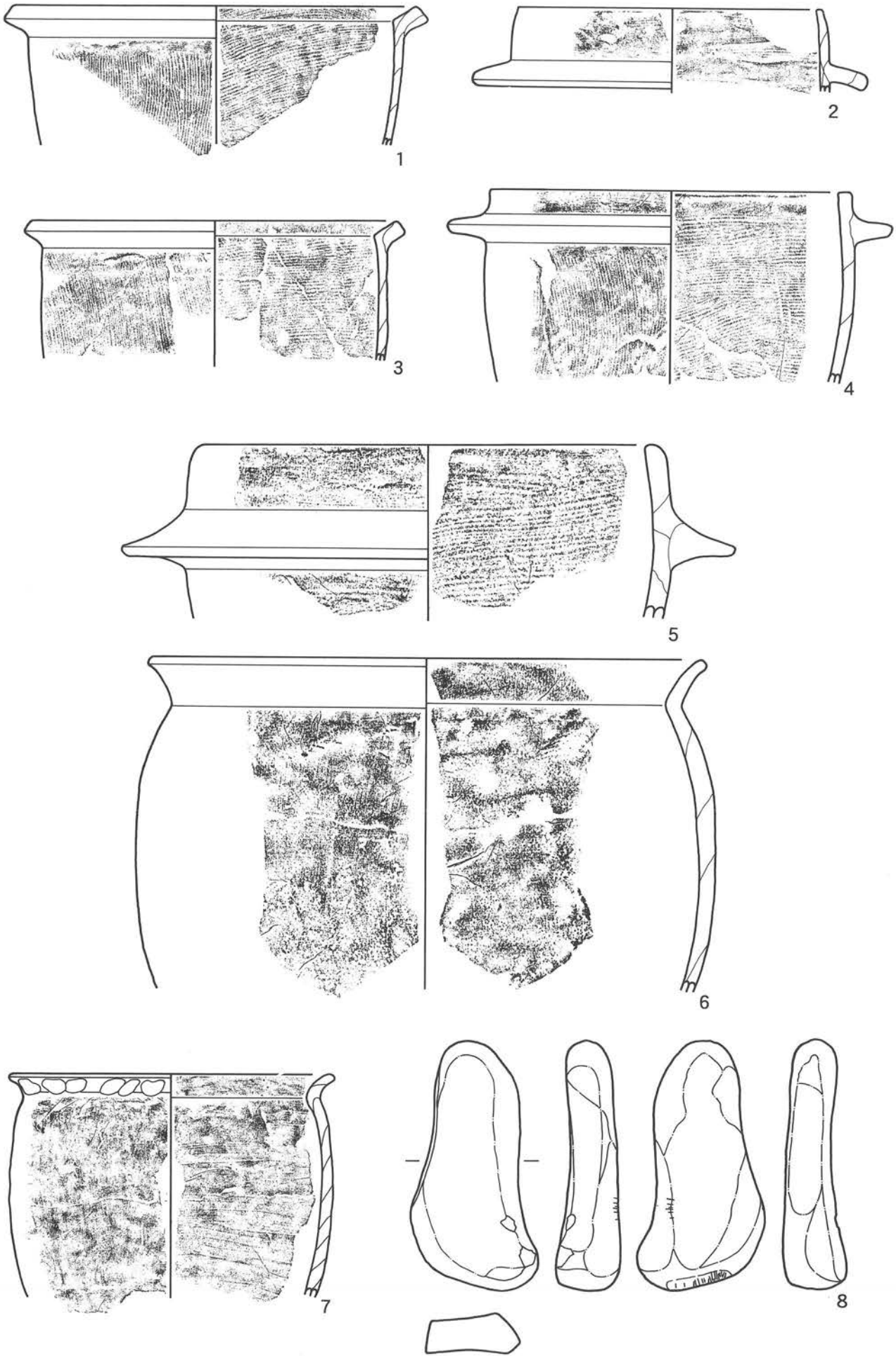


1層 10YR4/6(褐)に10YR5/6(黄褐)が2mm大で10%、焼土が2～3mm大で1%未満、炭化物が1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2～4mm大で20%、焼土が2～3mm大で5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)に10YR5/6(黄褐)が2～4mm大で30%、焼土が1%未満、炭化物が1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2～10mm大で30%、焼土が2～4mm大で1%未満混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR4/6(褐)に10YR5/6(黄褐)が2～4mm大で30%、焼土が1%未満、炭化物が1%未満混じる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2～8mm大で5%、焼土が2～4mm大で2%程混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が粒子で20%、10YR5/6(黄褐)が2mm～40mm程のブロックで20%、炭化物が10mmの径で1か所混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に10YR3/4(暗褐)がまだらに20%、10YR5/6(黄褐)が1～3mm大で10%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が粒子で20%、10YR5/6(黄褐)が2～3mm大で10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に10YR5/6(黄褐)が2～4mm大で20%、焼土が2～3mm大で15%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に焼土が粒子～15mm大で30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR3/4(暗褐)に10YR4/6(褐)が2～3mm大で5%、焼土が2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に焼土が粒子～15mm大で30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に10YR6/8(明黄褐)が10～30mm大で20%混じる。このブロックは粘土の固まり。固くしまる。暗褐はシルト粒土。
地山 10YR6/8(明黄褐)。シルト粒土。

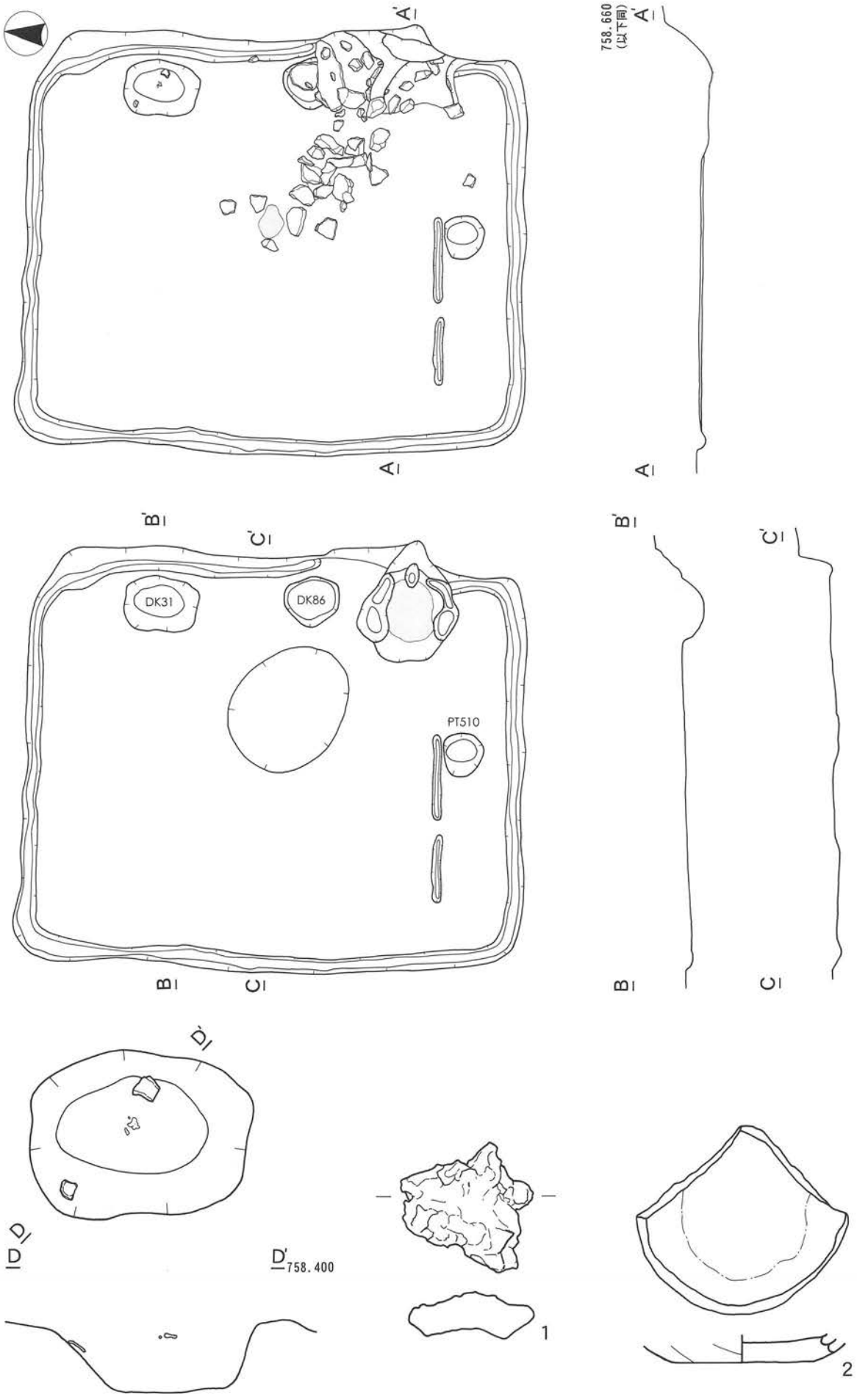
第151図　60号住居カマド（1/20）



第152図　57号・60号住居（1/40）　60号住居出土遺物（1/2、3 1/4）

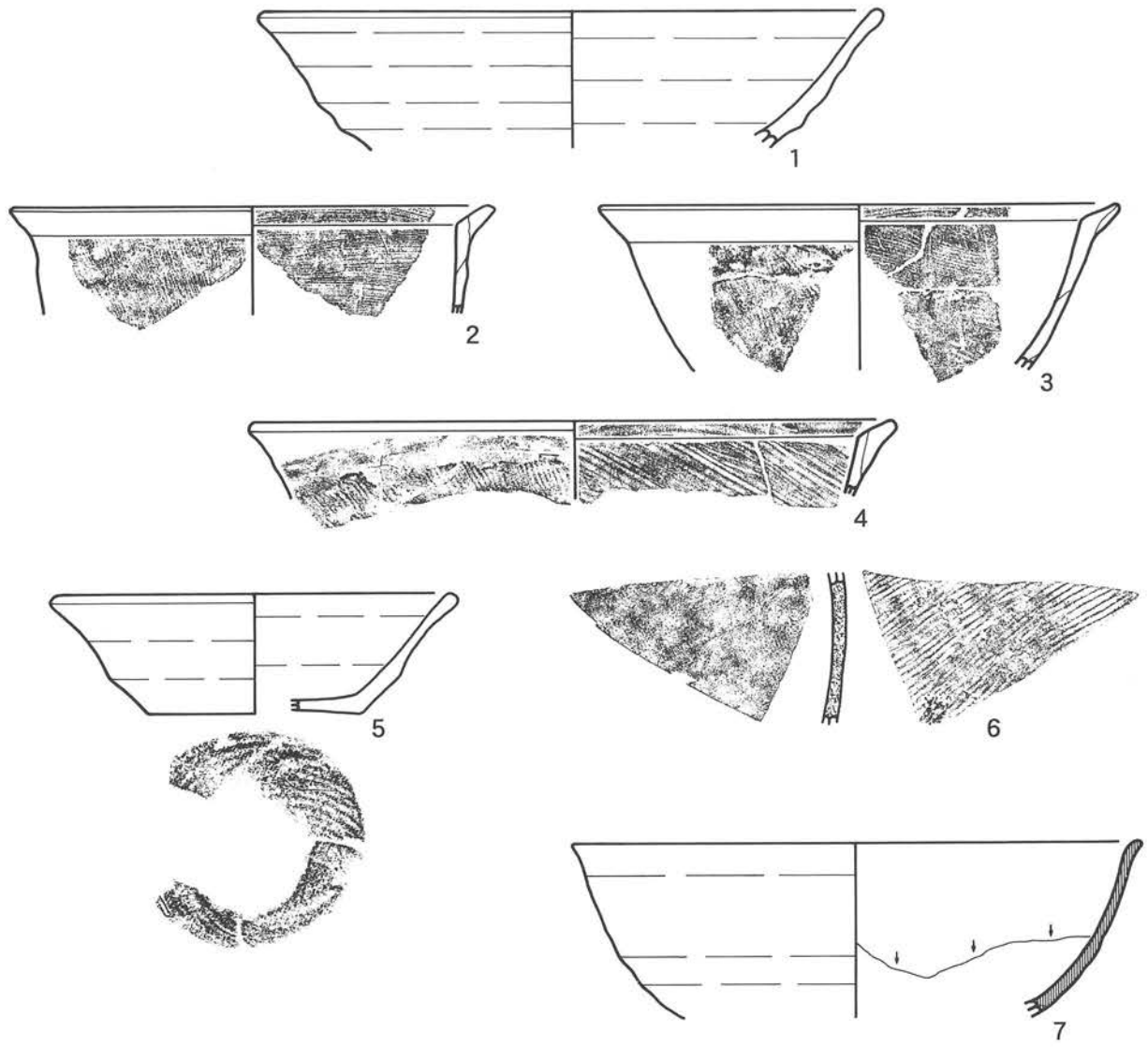


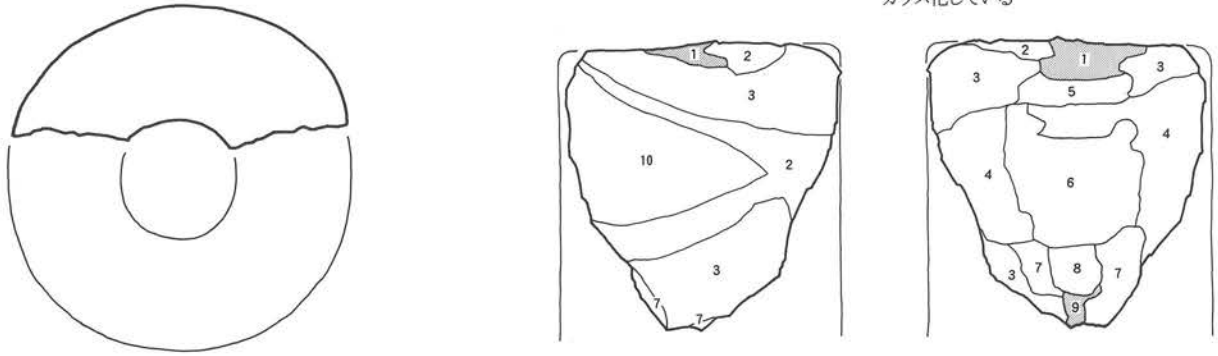
第153図　60号住居出土遺物（1/2、1～4・7・8 1/4）



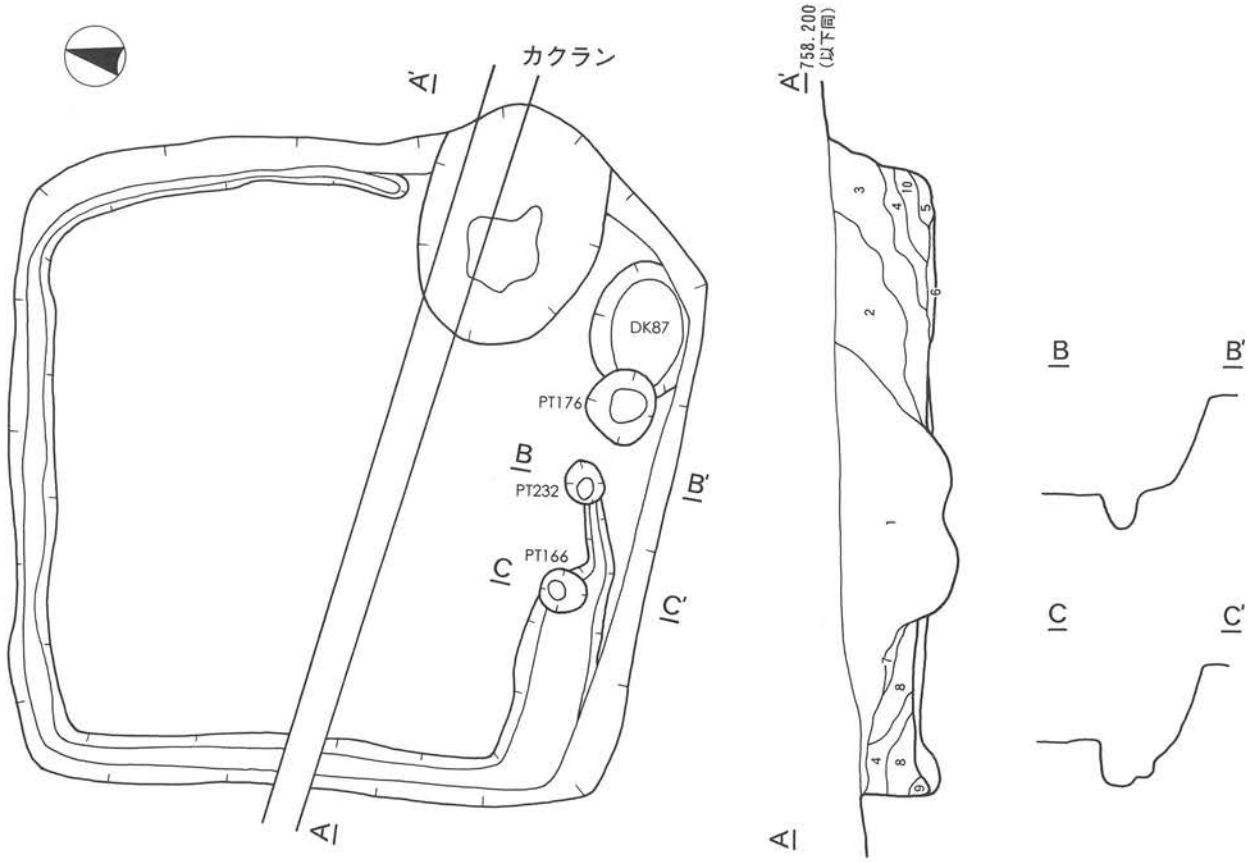
第154図　61号住居（1/60）　31号土坑（1/20）および出土遺物（1/2）

第155図　61号住居カマド（1/20）

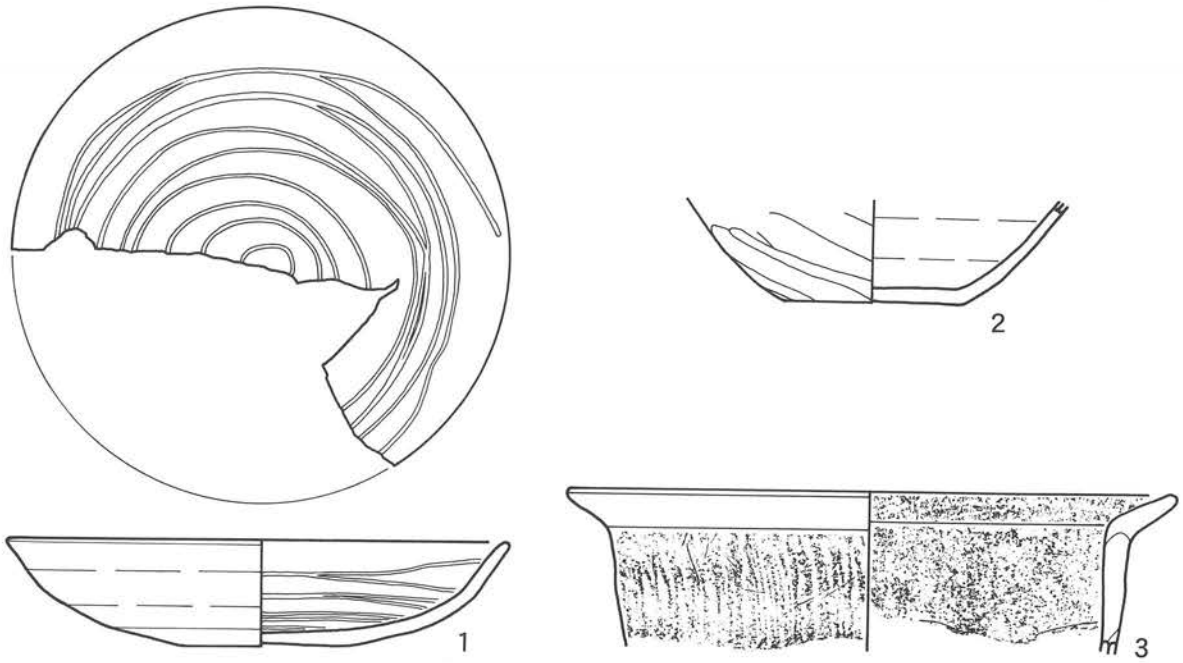




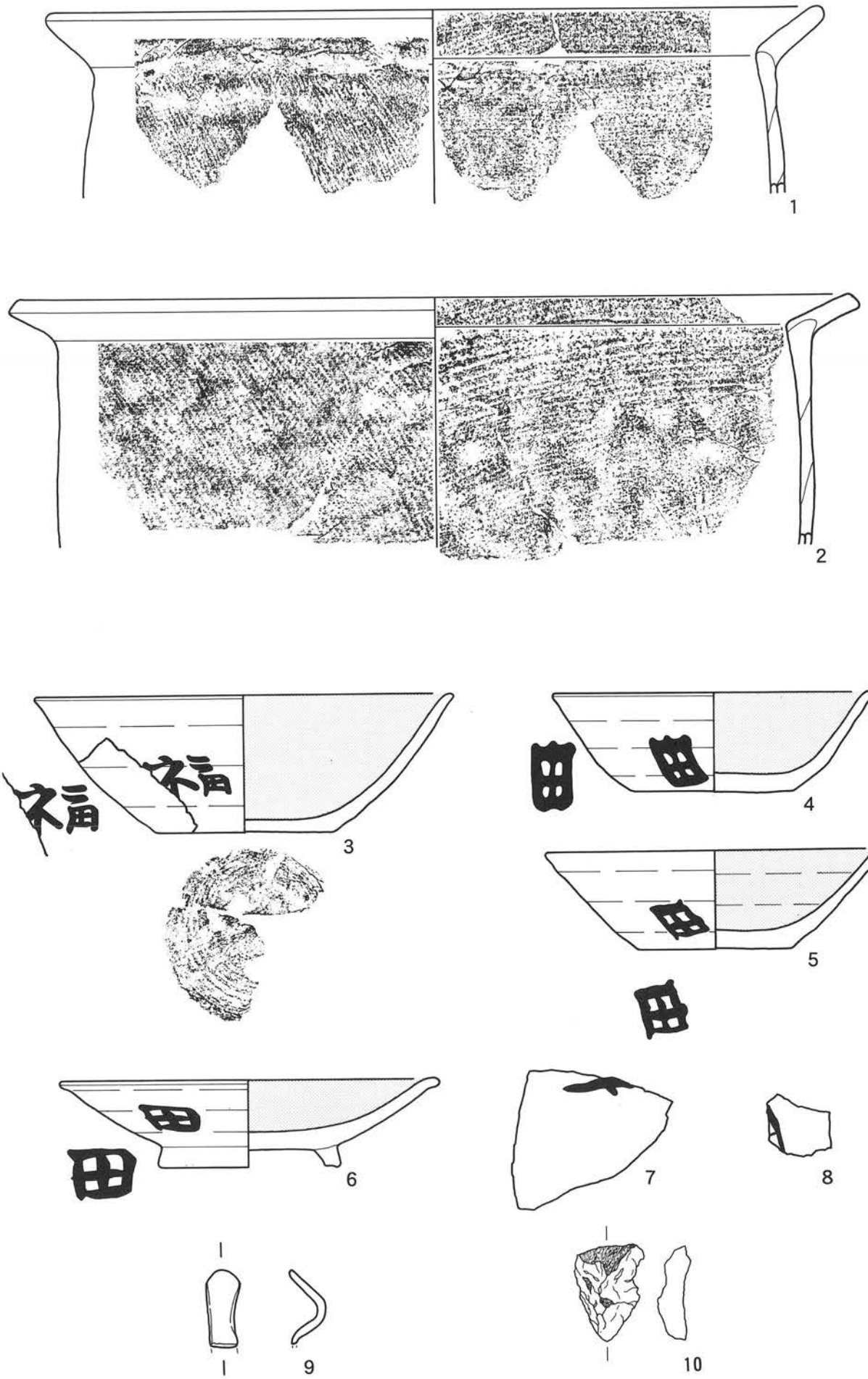
第156図　61号住居出土遺物（1/2、2～4・6 1/4）



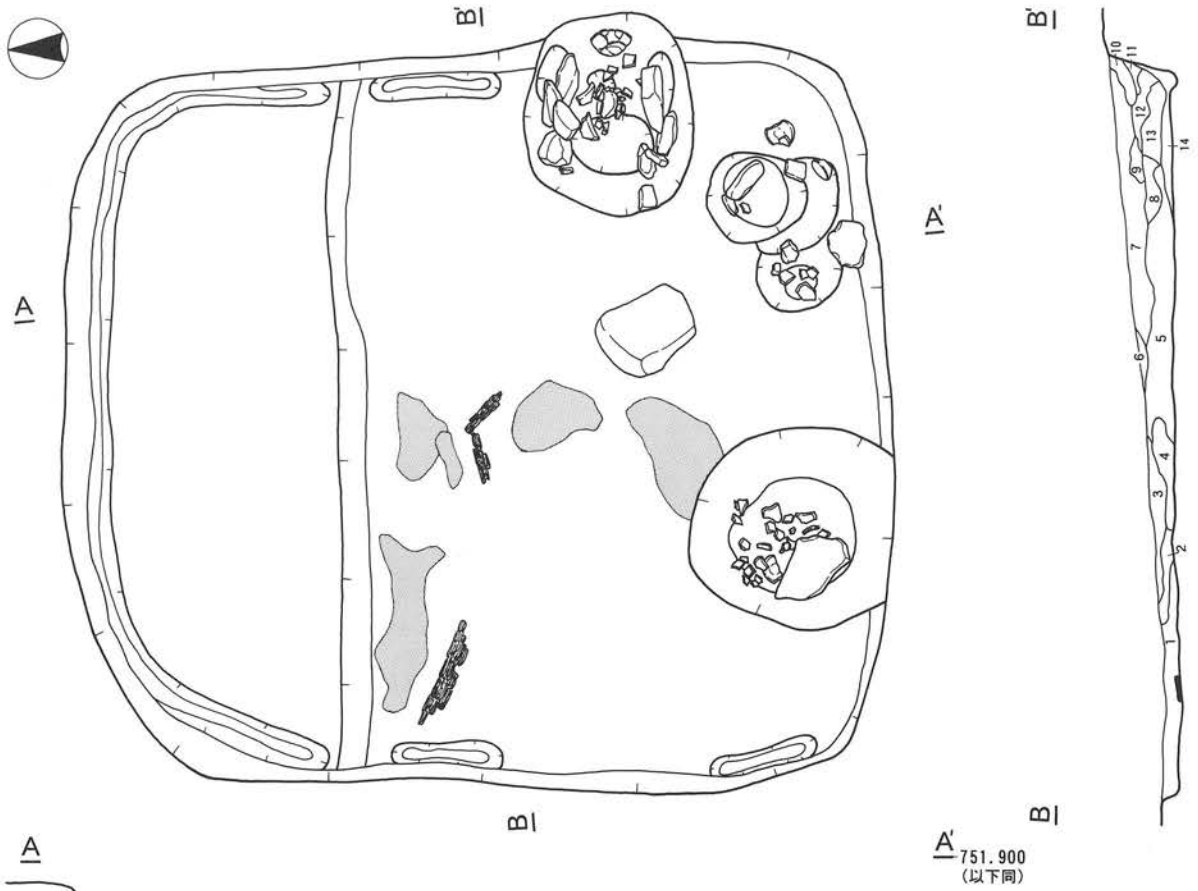
1層 カクラン。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～5mm 程の小ブロックで 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～10mm 程の小ブロックで 20%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が粒子～3mm 程の小ブロックで 10%、焼土が粒子で 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が粒子で 20%、焼土が粒子で 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 20%混じる。シルト粒土。
8層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～5mm 程の小ブロックで 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が粒子で 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR4/4(褐)。固く踏みしめられた床面。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)固くしまる。シルト粒土。



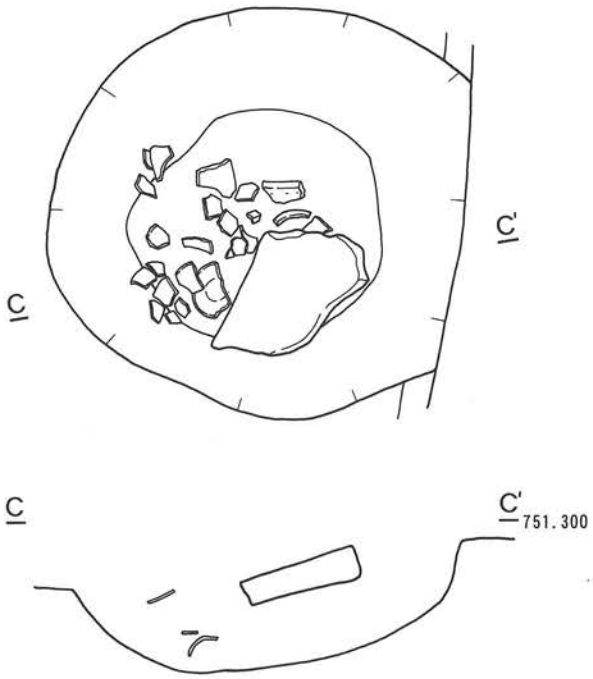
第157図　62号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



第158図　62号住居出土遺物（1/2）

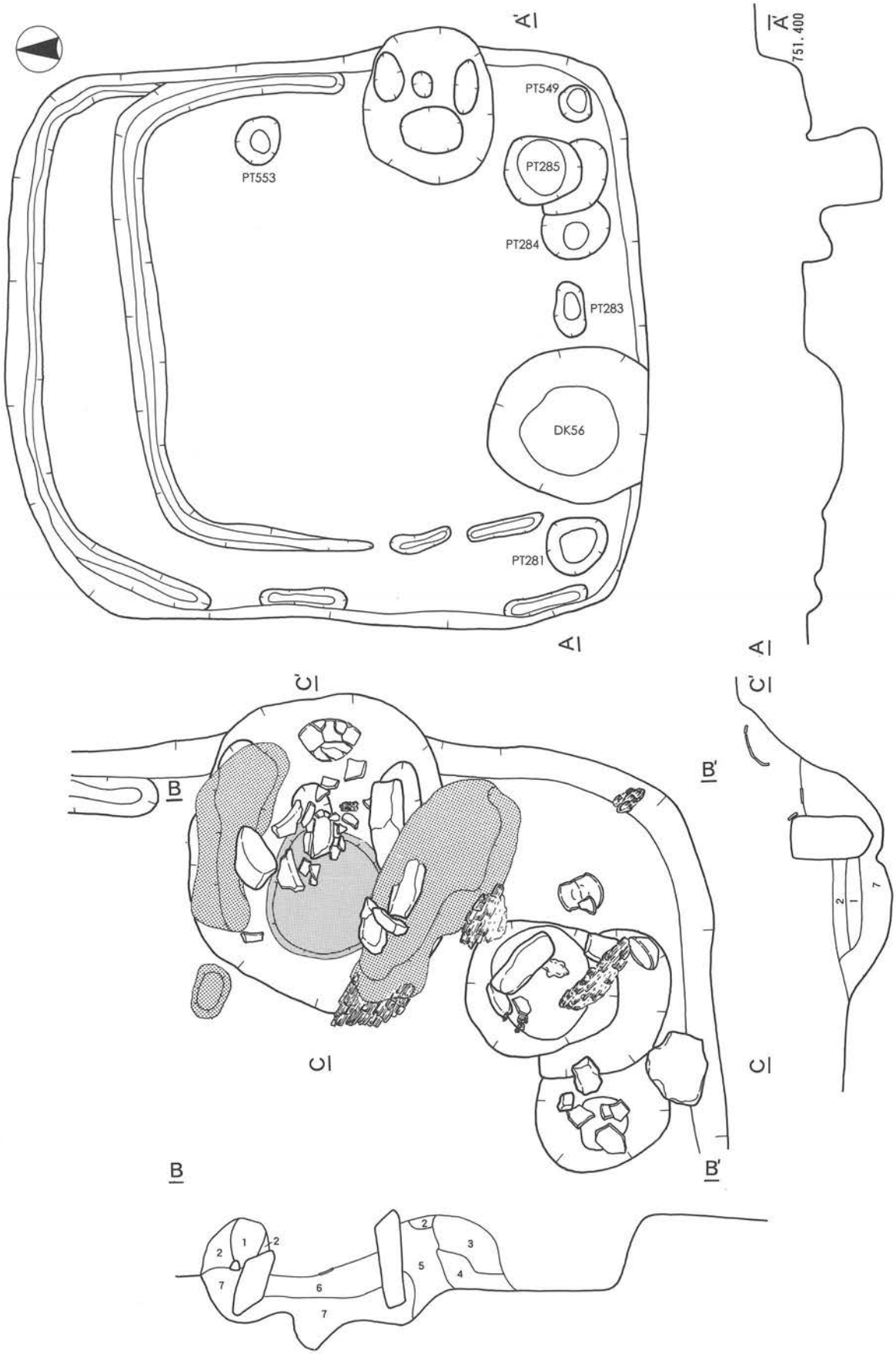


1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)粘質土が 1%混じる。シルト粒土。
6層 10YR2/2(黒)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。



1層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、炭化物が 3%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、10YR3/3(暗褐)が 1%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 15%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 20%、炭化物が 1%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、10YR4/6(褐)がブロック状に 1%、炭化物が 10%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/3(暗褐)が 10%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR3/3(暗褐)が 30%、10YR4/6(褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(暗褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が2%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)がブロック状で 3%、炭化物・焼土が 1%混じる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 30%、10YR4/6(褐)が 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)と焼土が少々が混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が少々混じる。しまる。シルト粒土。

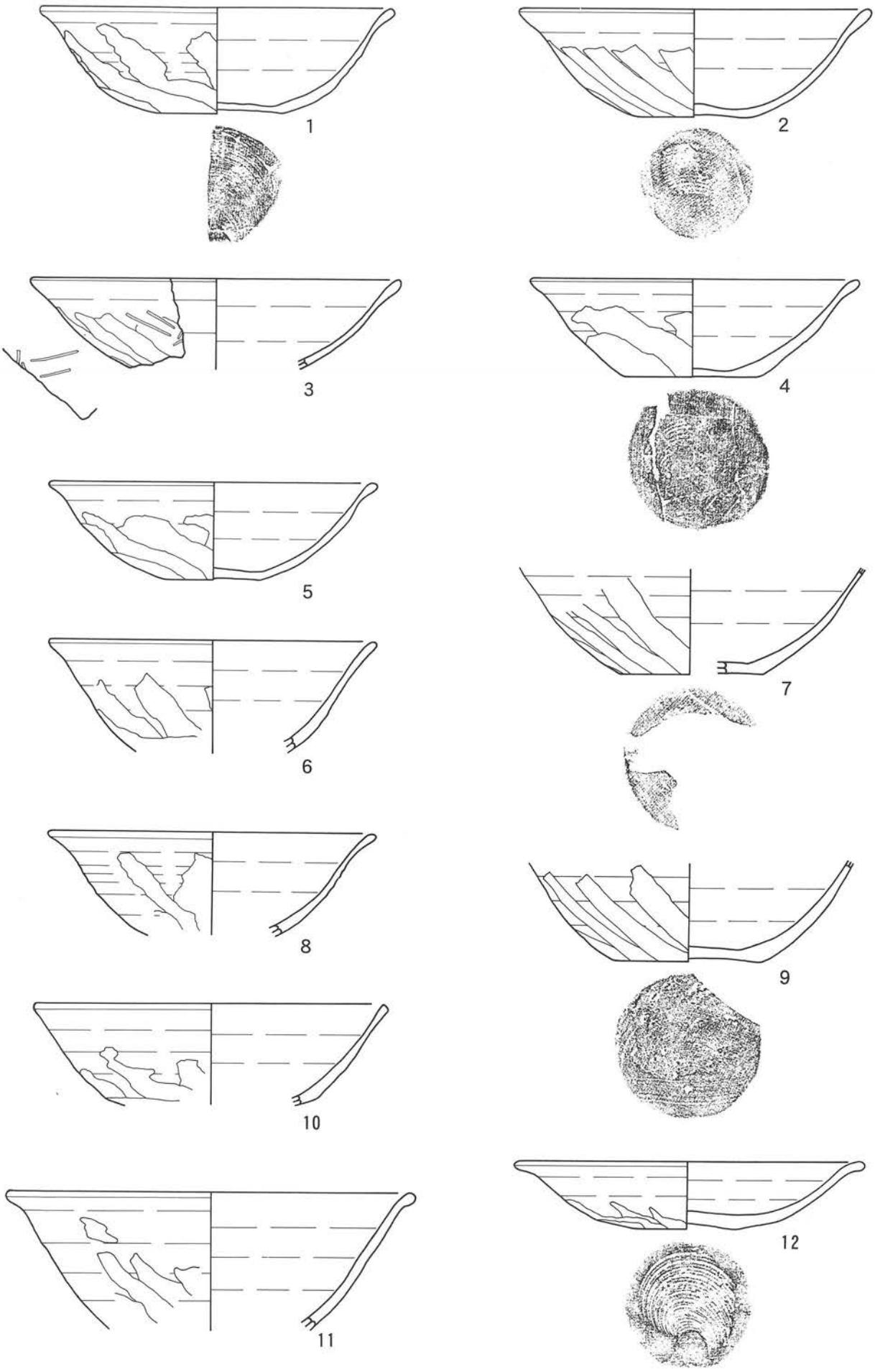
第159図　63号住居（1/40）　56号土坑（1/20）



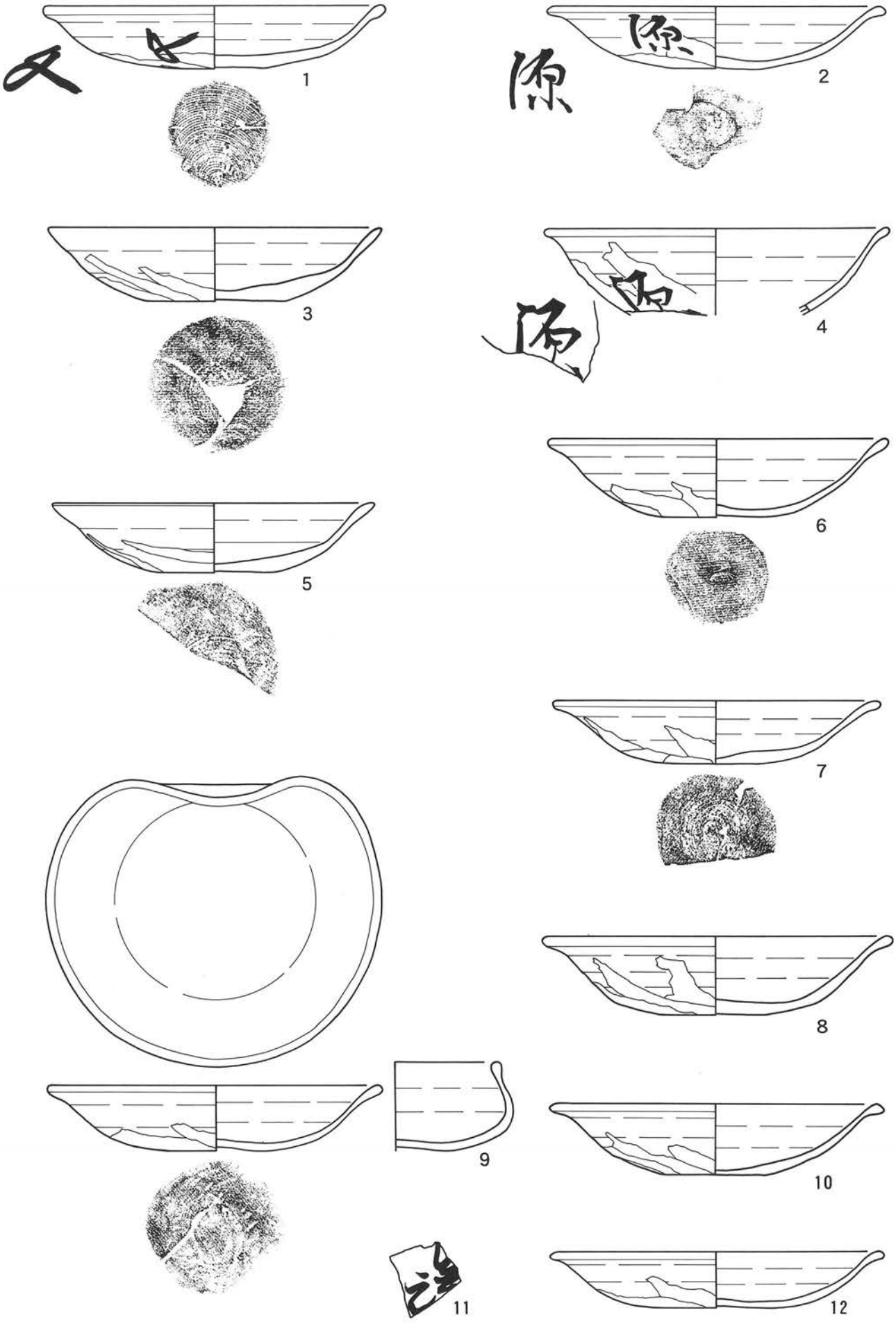
1層 5YR5/8(明赤褐)焼土。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)の粒子が 10%、5YR5/8(明赤褐)の粒子が 15%混じる。シルト粒土。
3層 5YR5/8(明赤褐)焼土に 10YR4/4(褐)の粒子が 10%、10YR3/3(黒褐)の粒子が 10%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(黒褐)が 30%まだらに混じる、5YR5/8(明黄褐)の粒子が 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR5/6(黄褐)。固くしまる粘土。
6層 10YR3/3(黒褐)に 5YR5/8 焼土が粒子～5mm 大のブロックで 30%混じる。ボソボソした固まりになっている。シルト粒土。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(黒褐)が粒子で10%混じる。固くしまる。シルト粒土。

第160図　63号住居（1/40）　63号住居カマド（1/20）

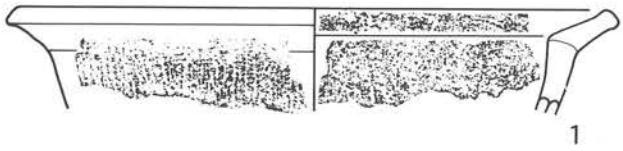
第161図　63号住居カマド（1/20）

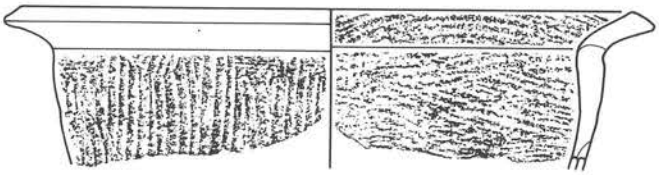


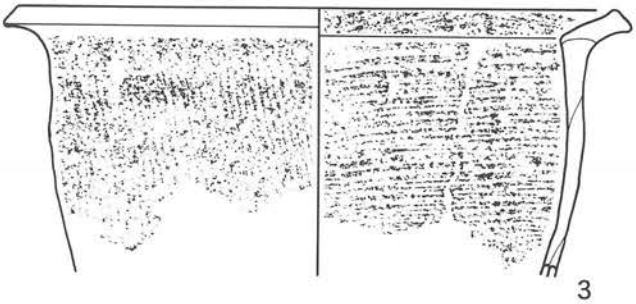
第162図　63号住居出土遺物（1/2）



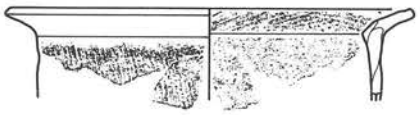
第163図　63号住居出土遺物（1/2）

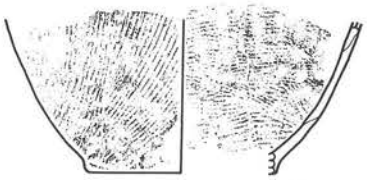

1

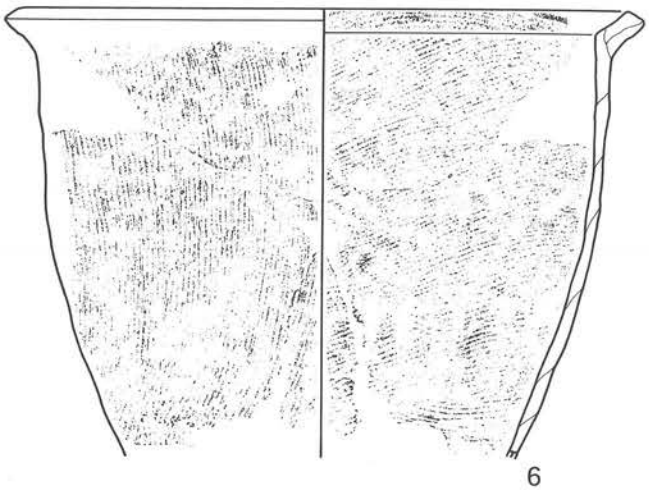

2


3

4

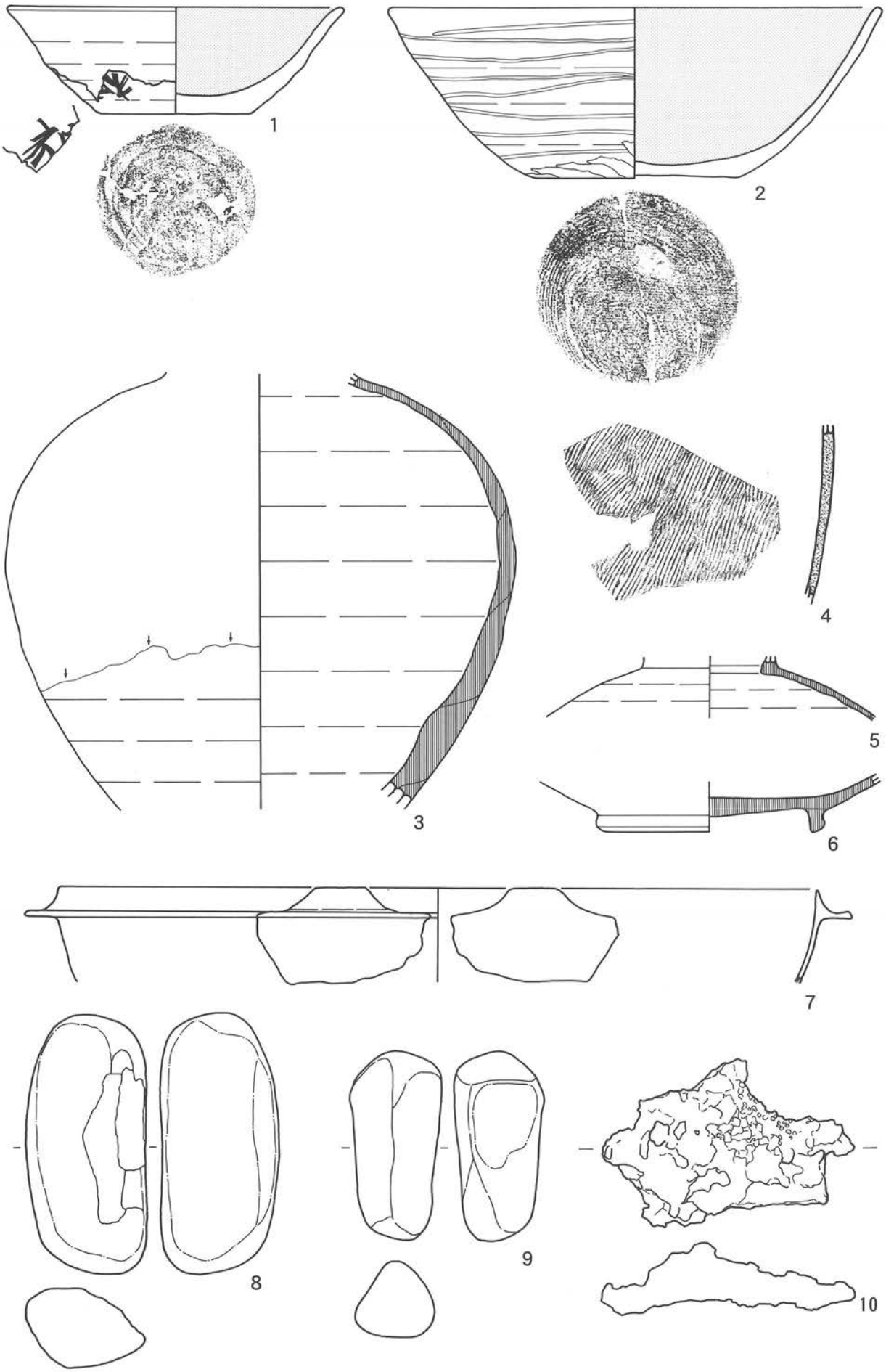

5


7

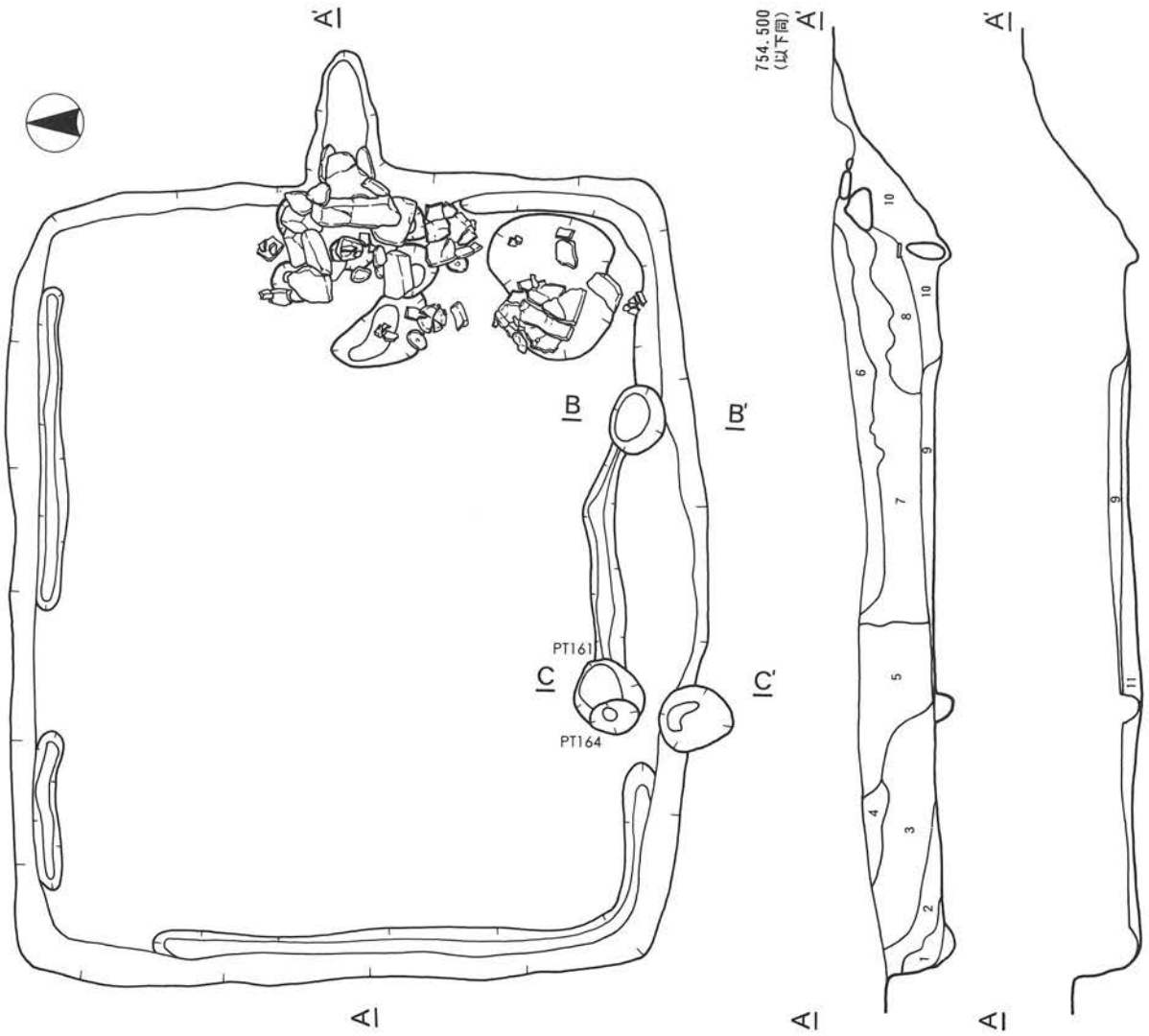

6

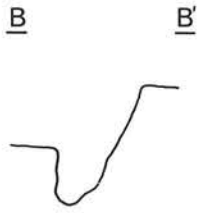
8

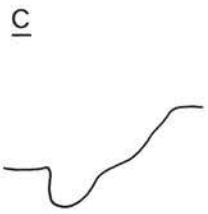
第164図　63号住居出土遺物（1/2、4～8 1/4）



第165図　63号住居出土遺物（1/2、4・5・8・9 1/4）

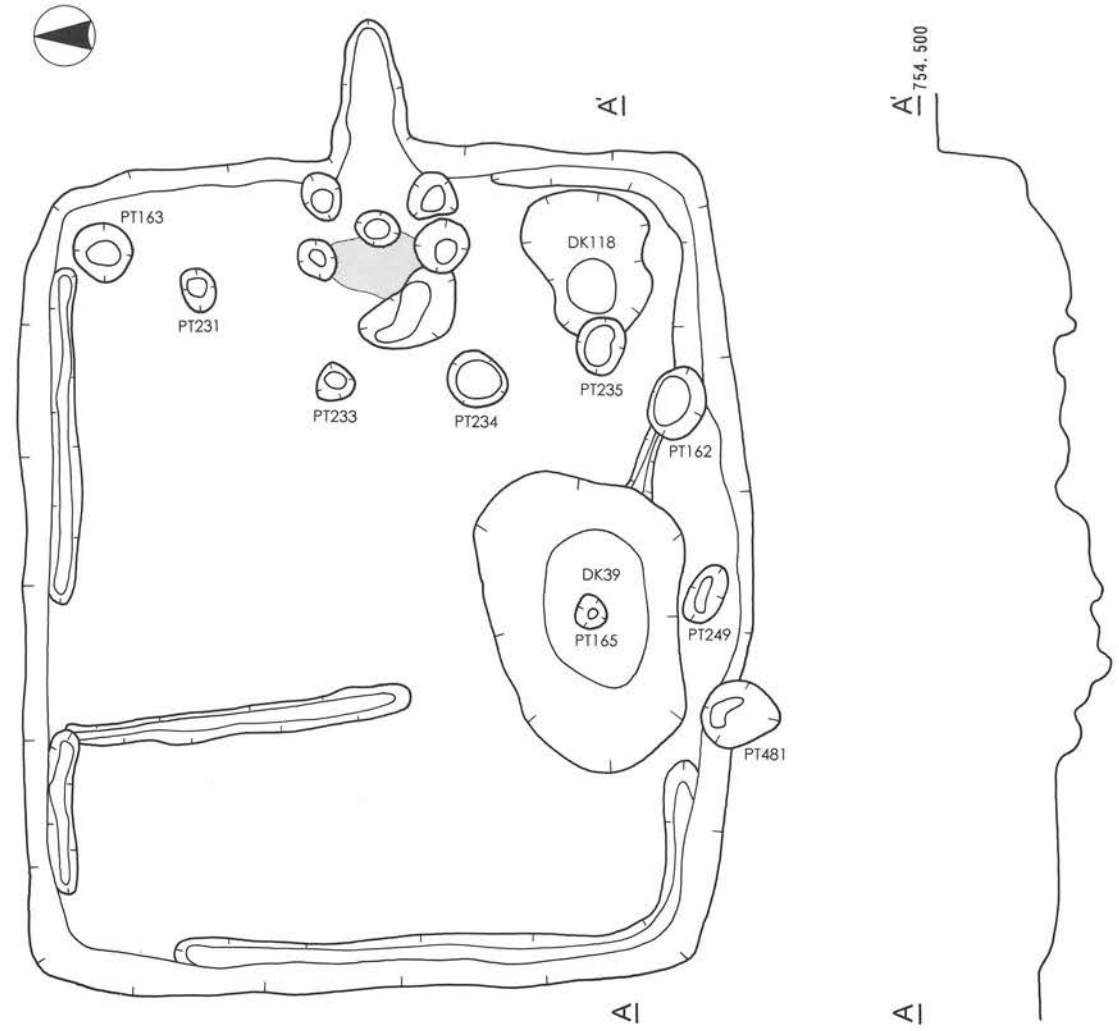


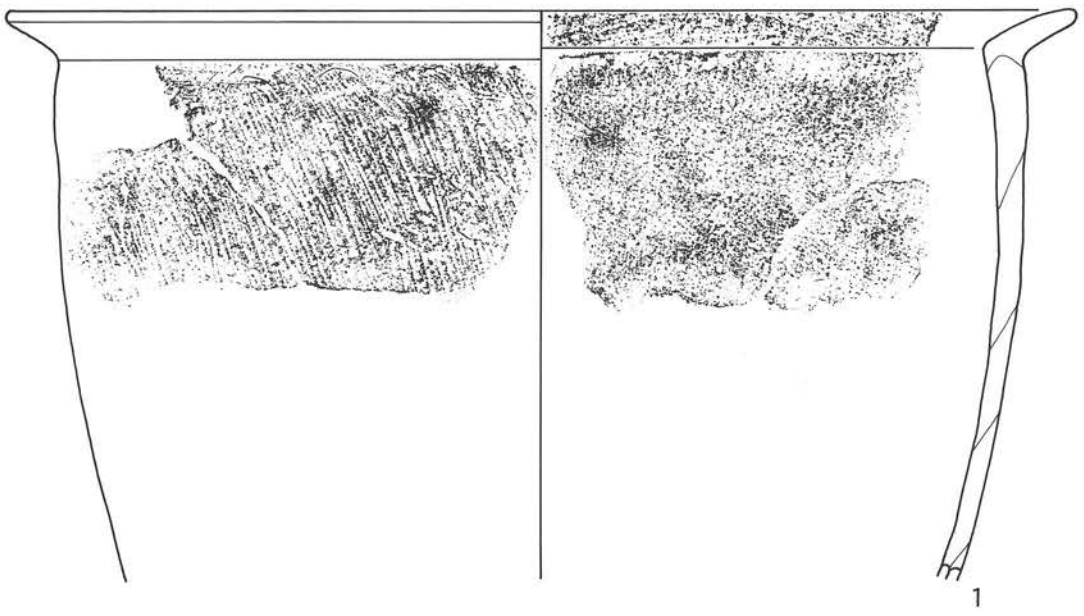




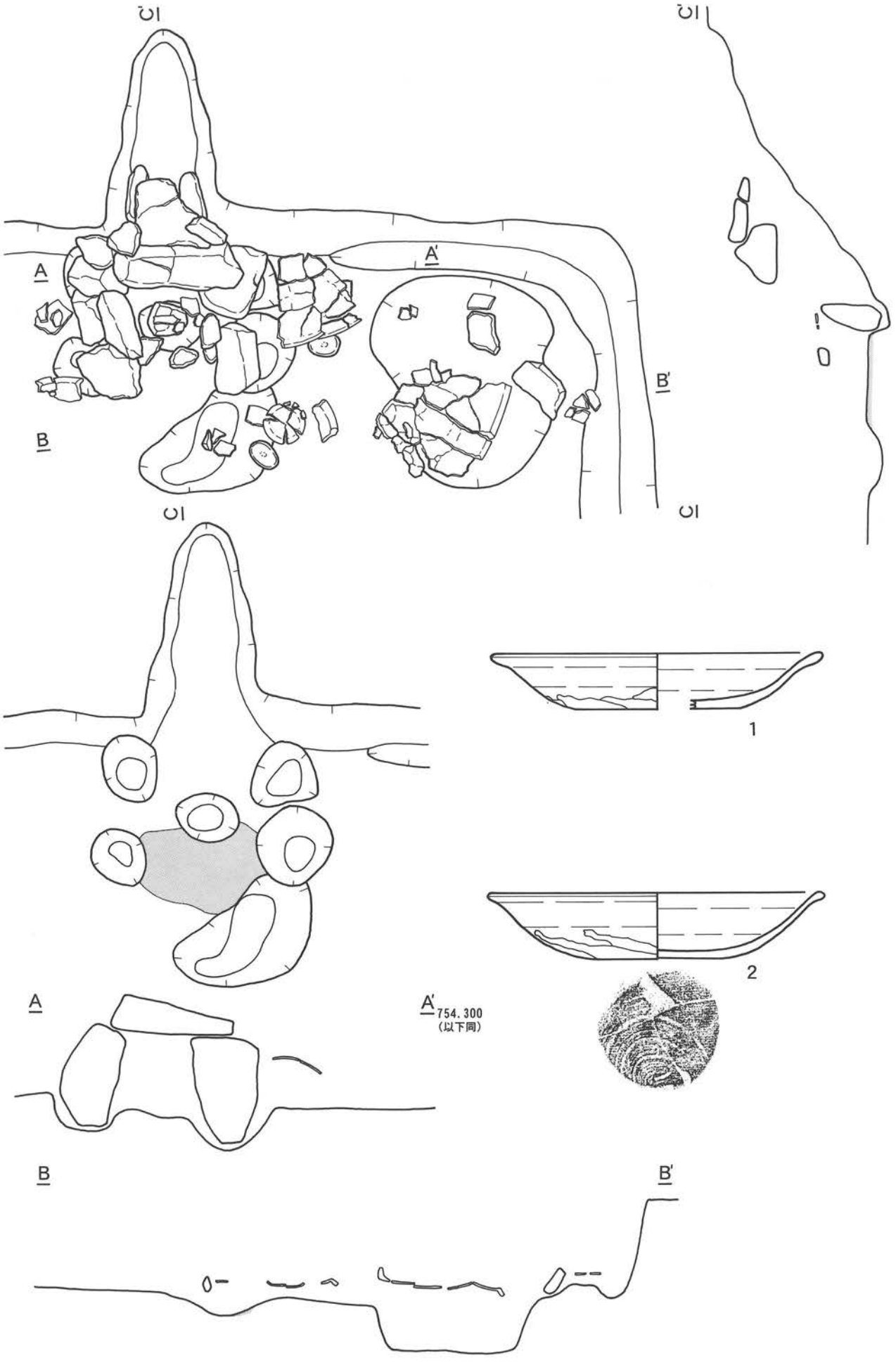
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 40%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、炭化物が 2%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、炭化物が 3%、焼土が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、炭化物が 3%、焼土が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が 3%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。(上層床面)
10層 カマド 10YR3/4(暗褐)に、焼土粒子が多量に混じる。しまりなし。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。(下層床面)
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。固くしまる。粘り気強い。シルト粒土。

第166図　64号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

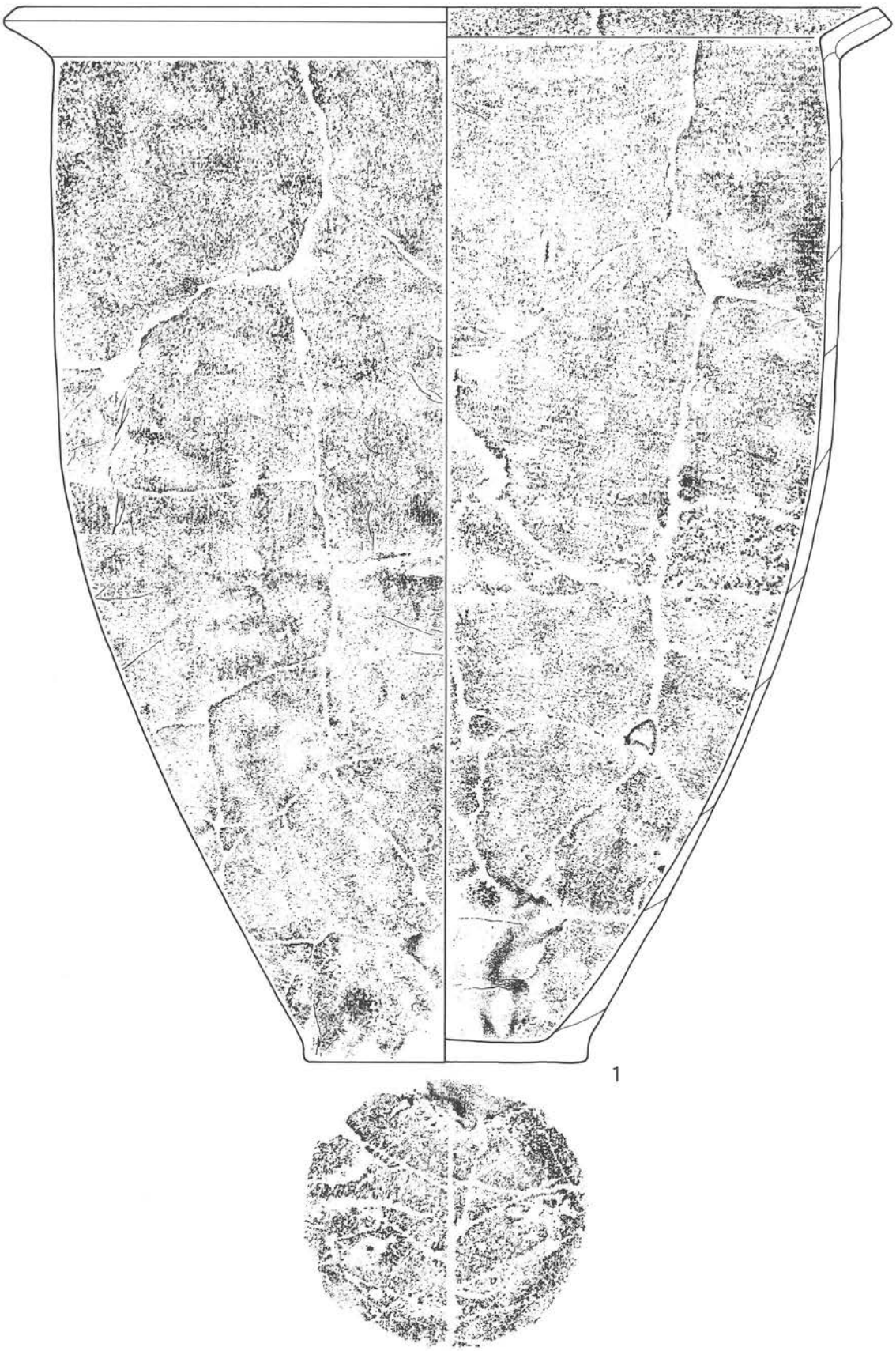




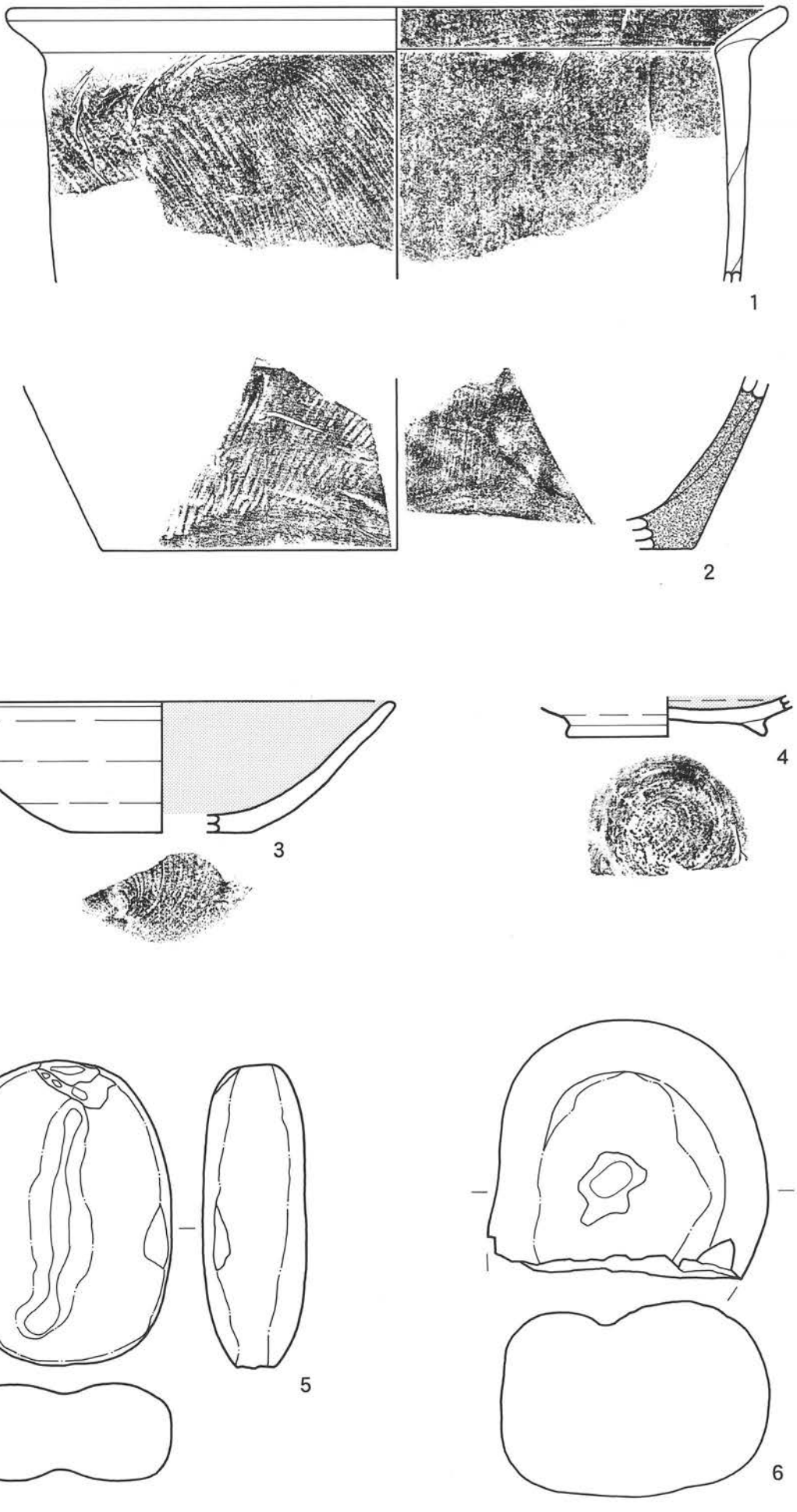
第167図　64号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



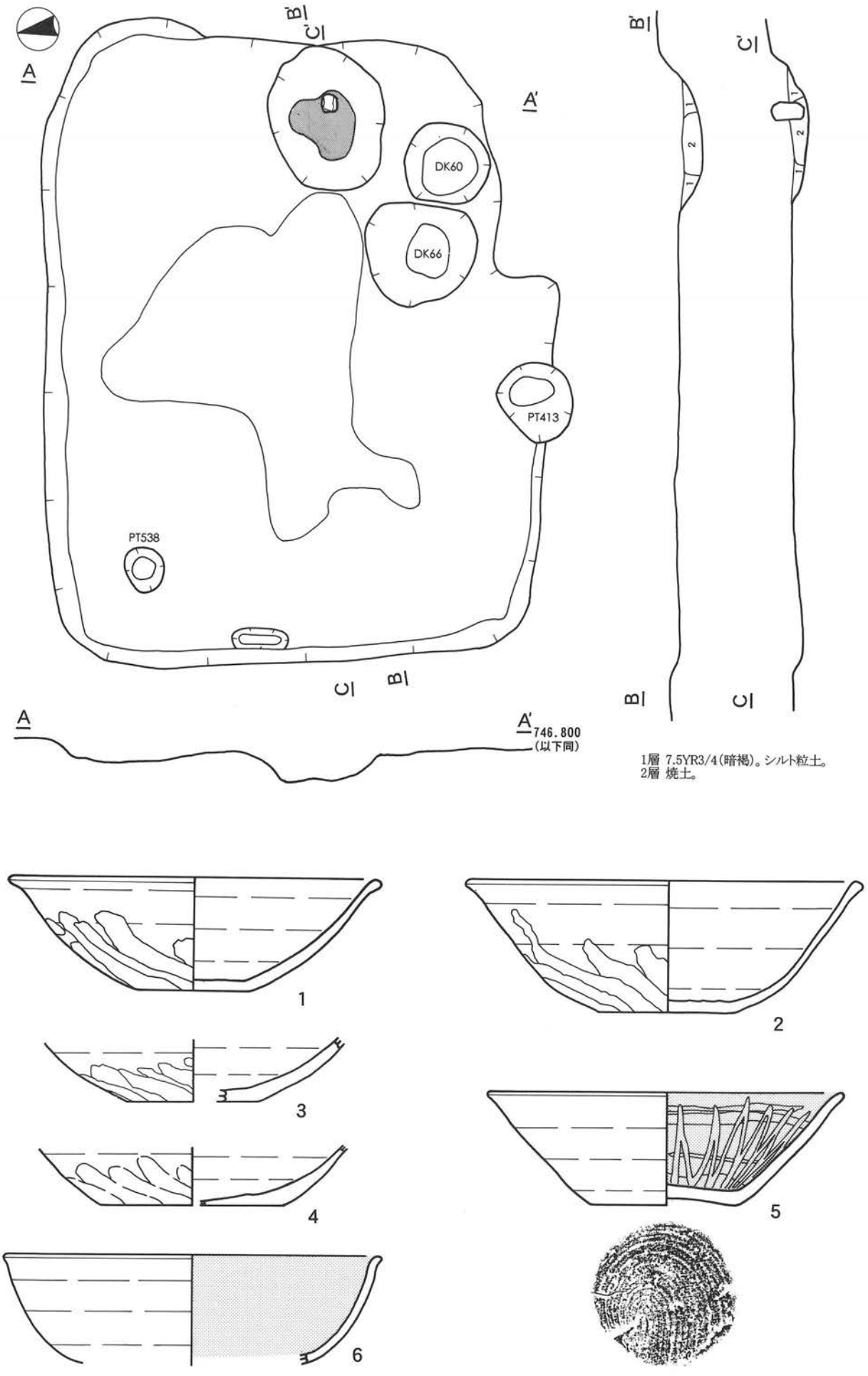
第168図　64号住居カマド（1/20）　64号住居出土遺物（1/2）



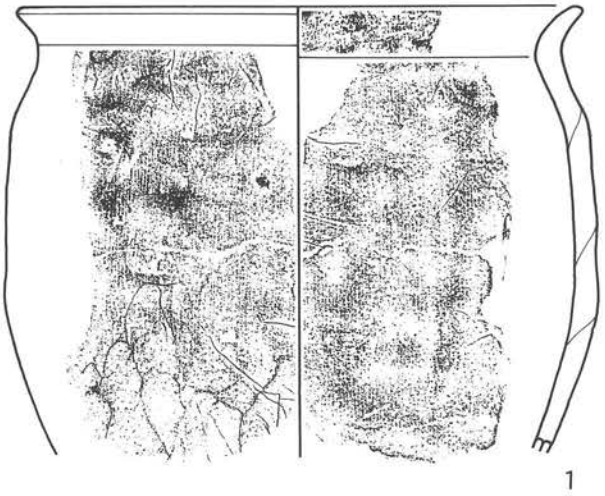
第169図　64号住居出土遺物（1/2）

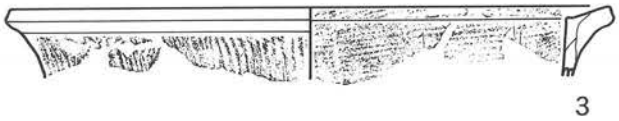


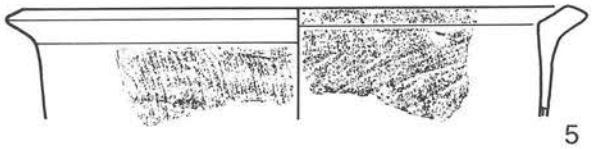
第170図　64号住居出土遺物（1/2）

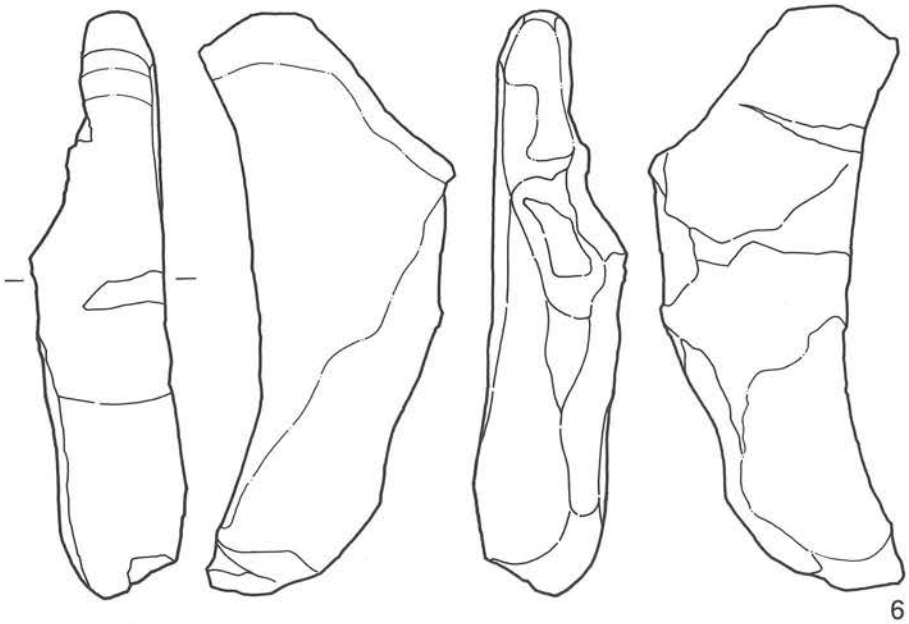


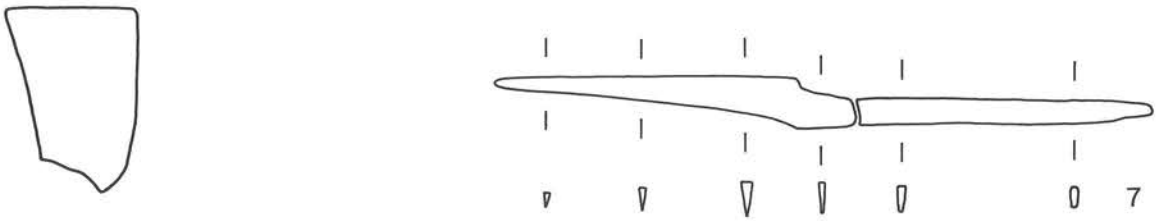
第171図　65号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



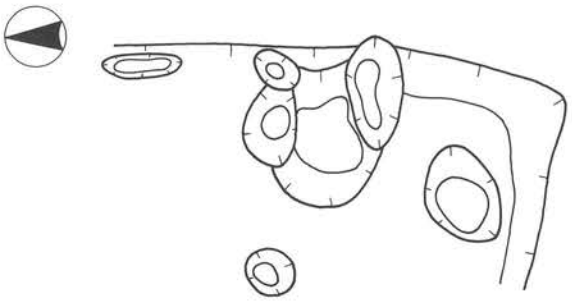


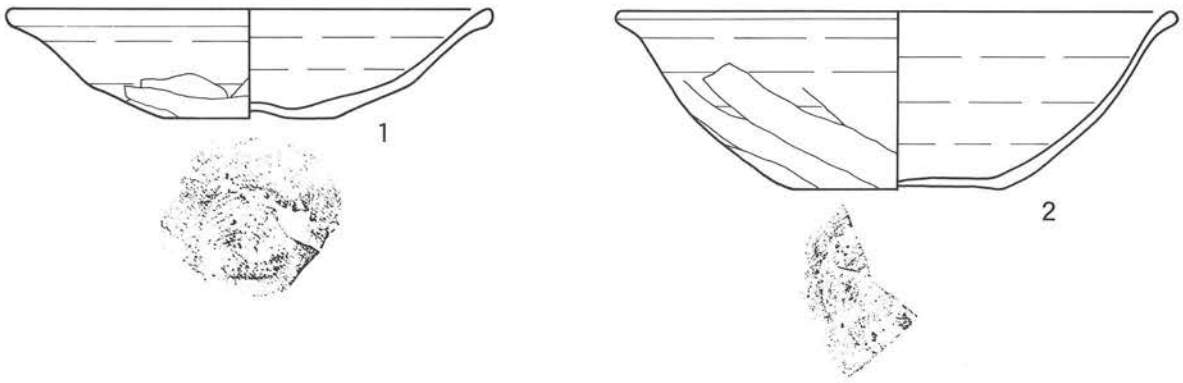


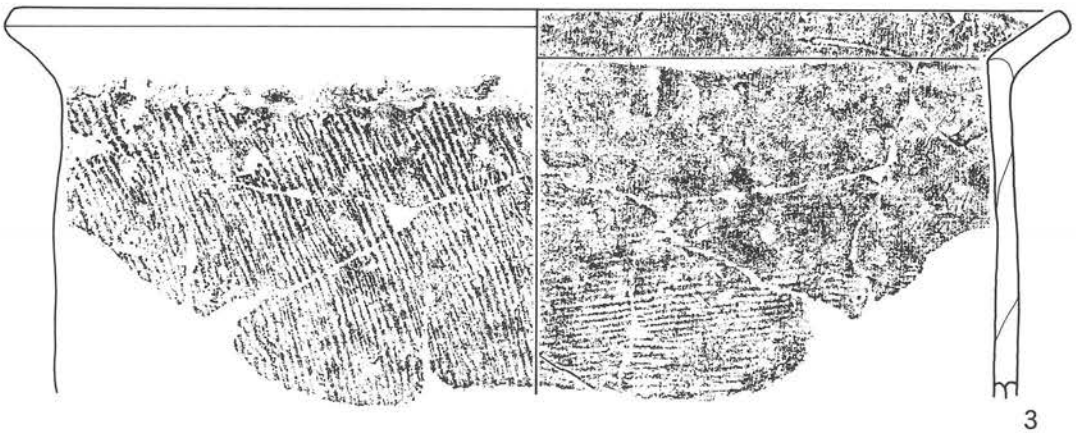


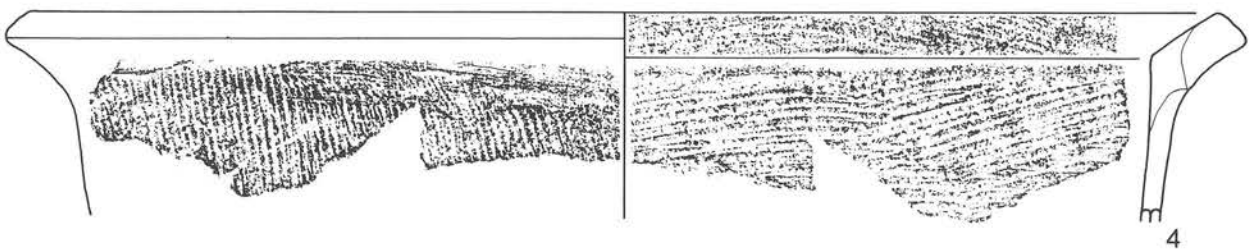


第172図　65号住居出土遺物（1/2、3・5 1/4）

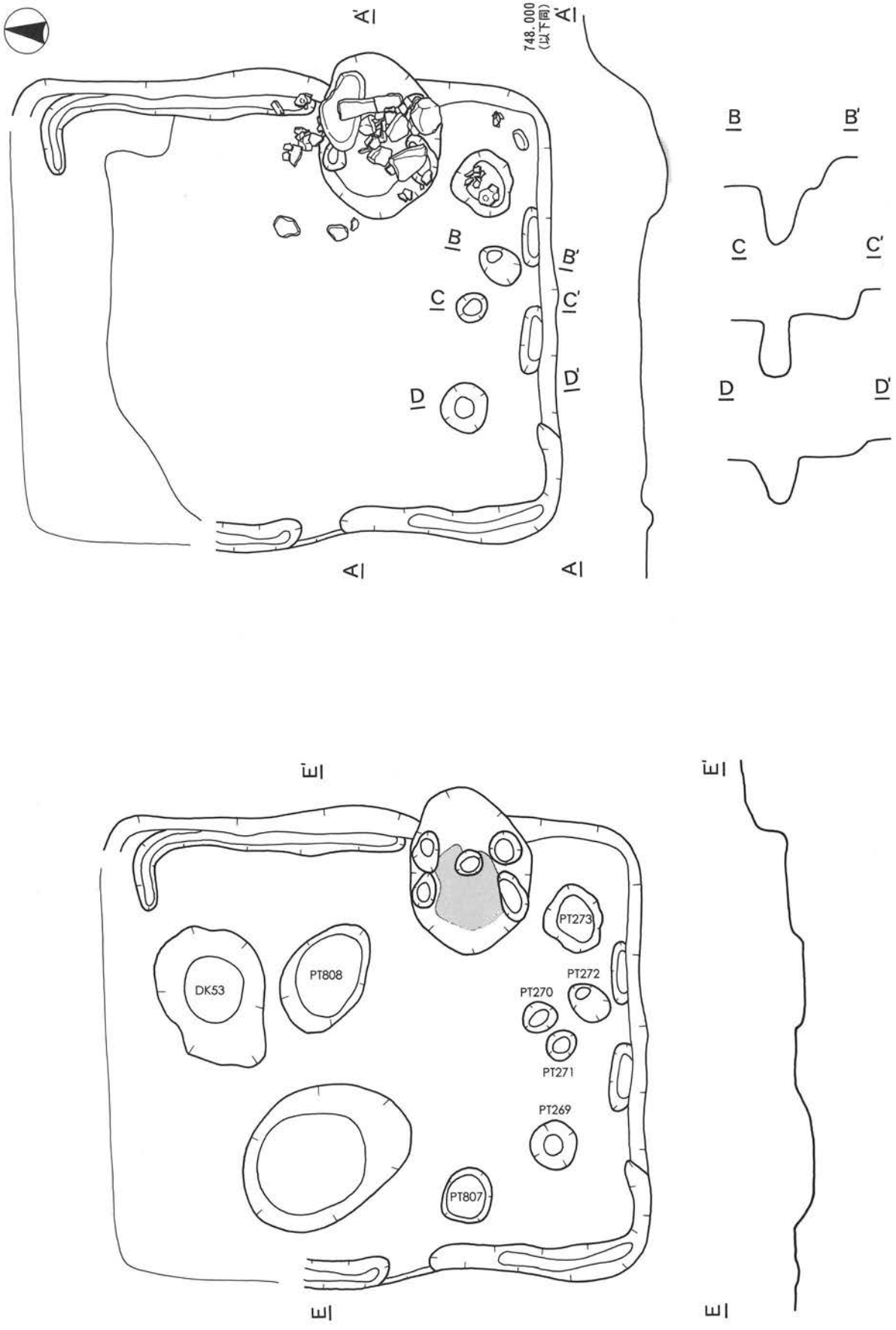




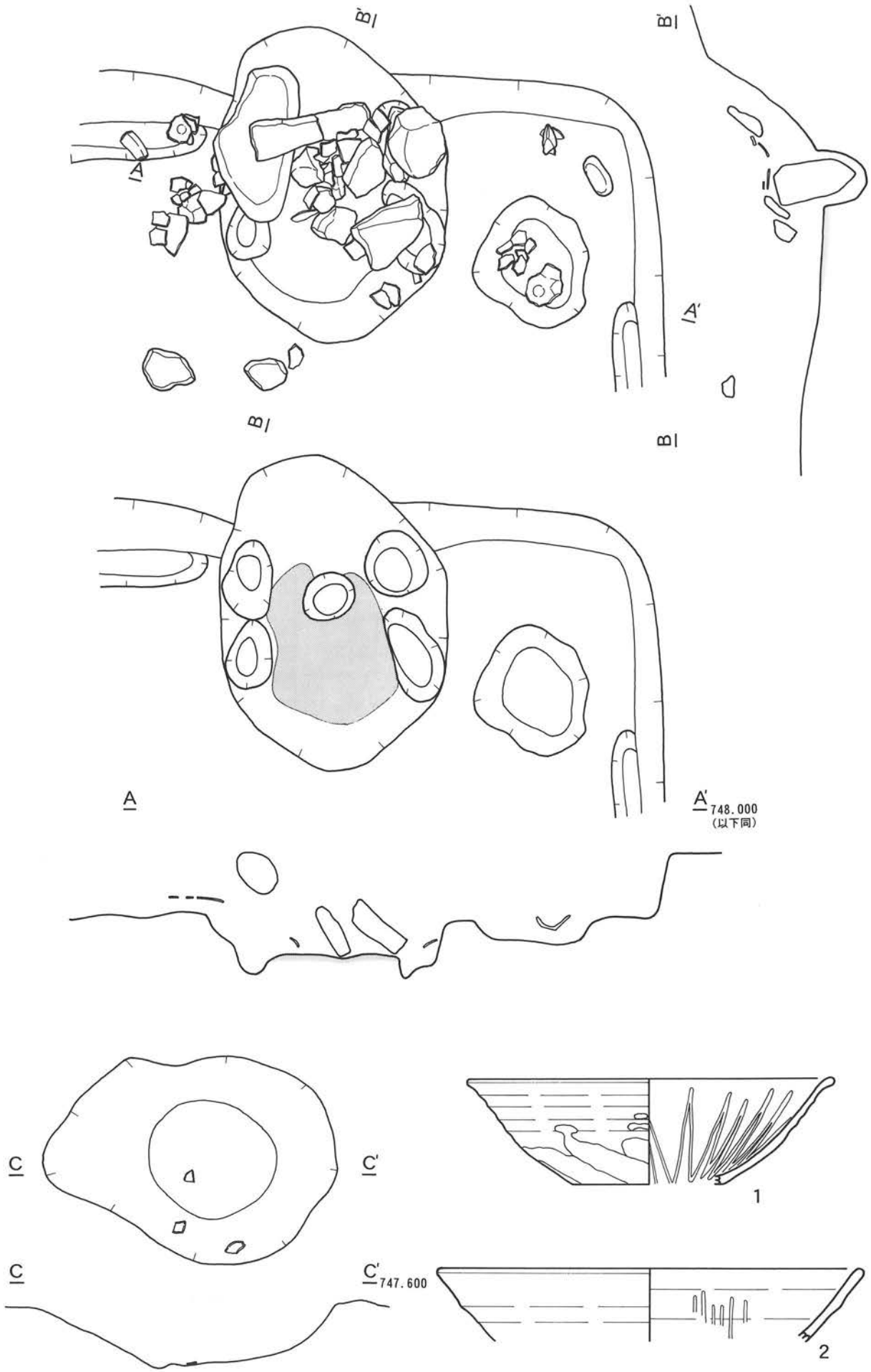




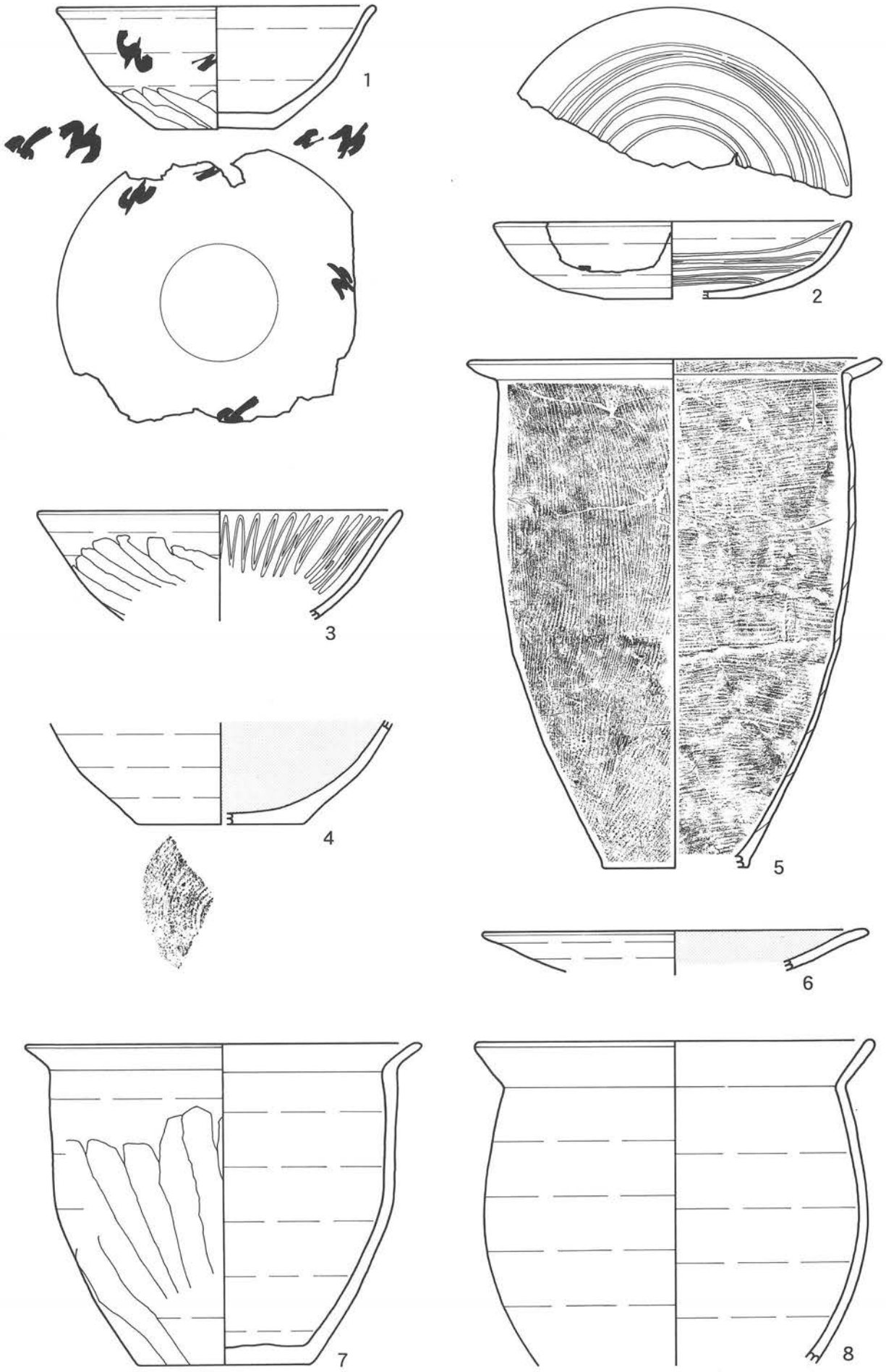
第173図　66号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



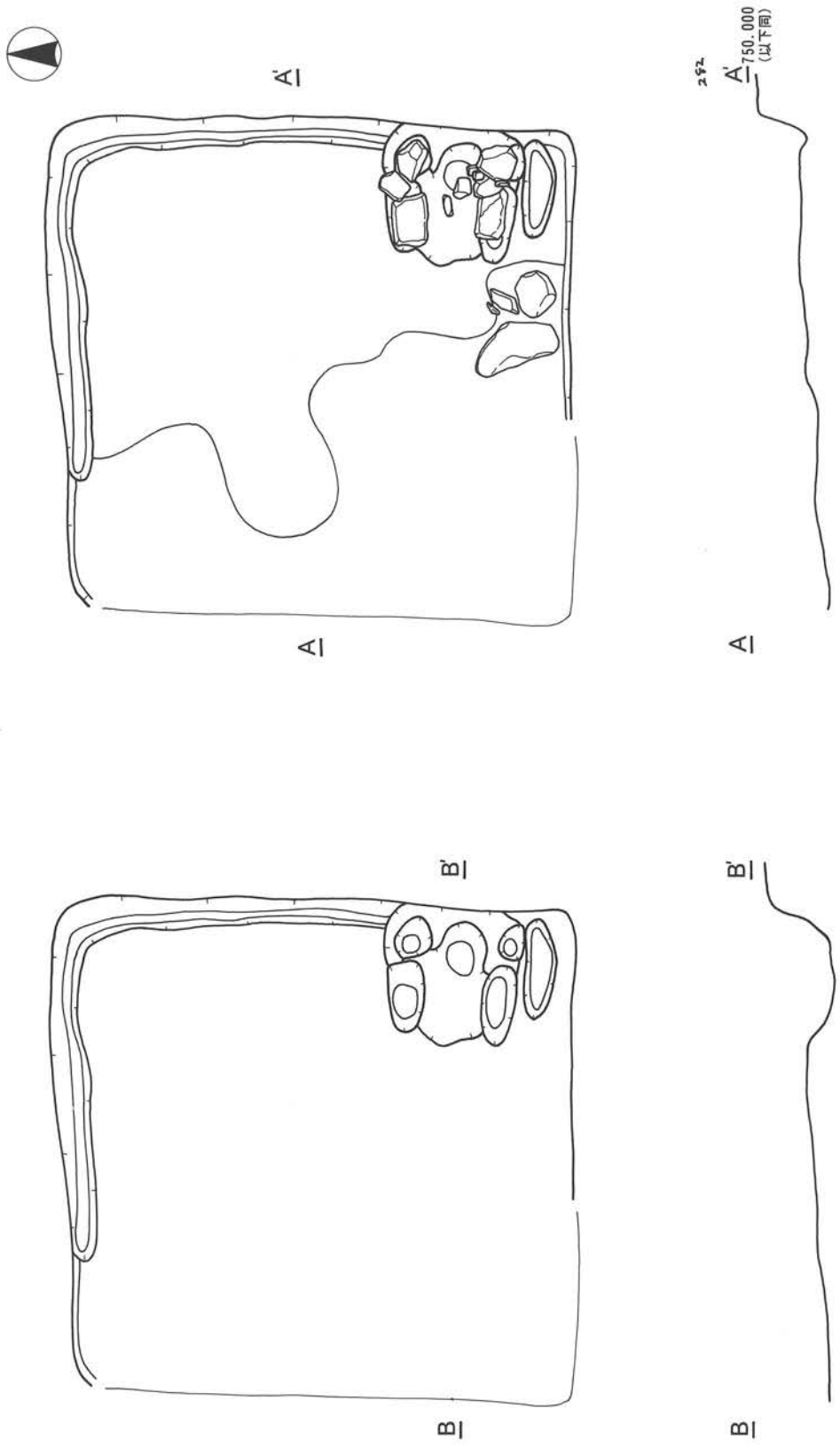
第174図　67号住居（1/40）



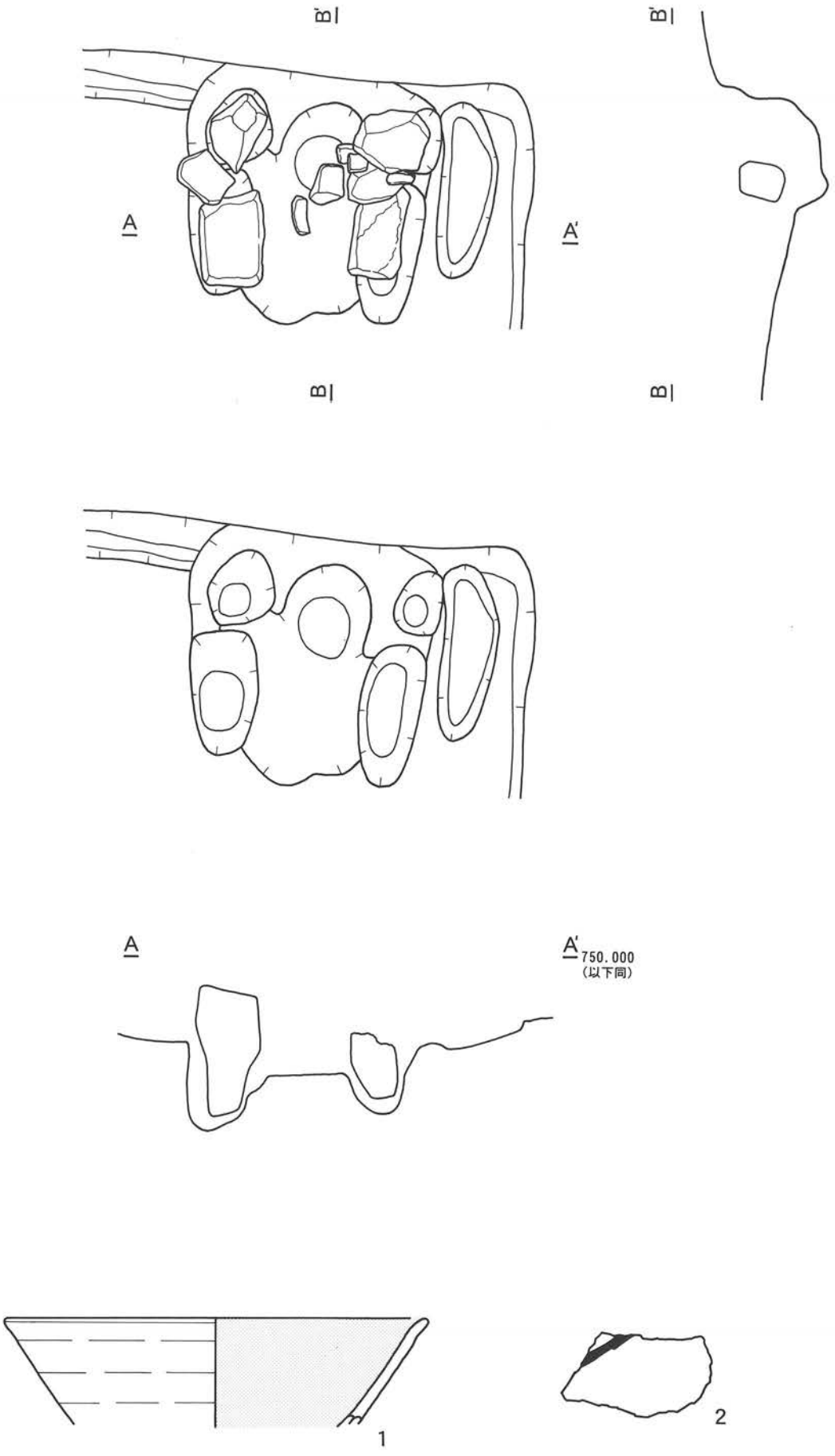
第175図　67号住居カマド（1/20）　53号土坑（1/20）67号住居出土遺物（1/2）



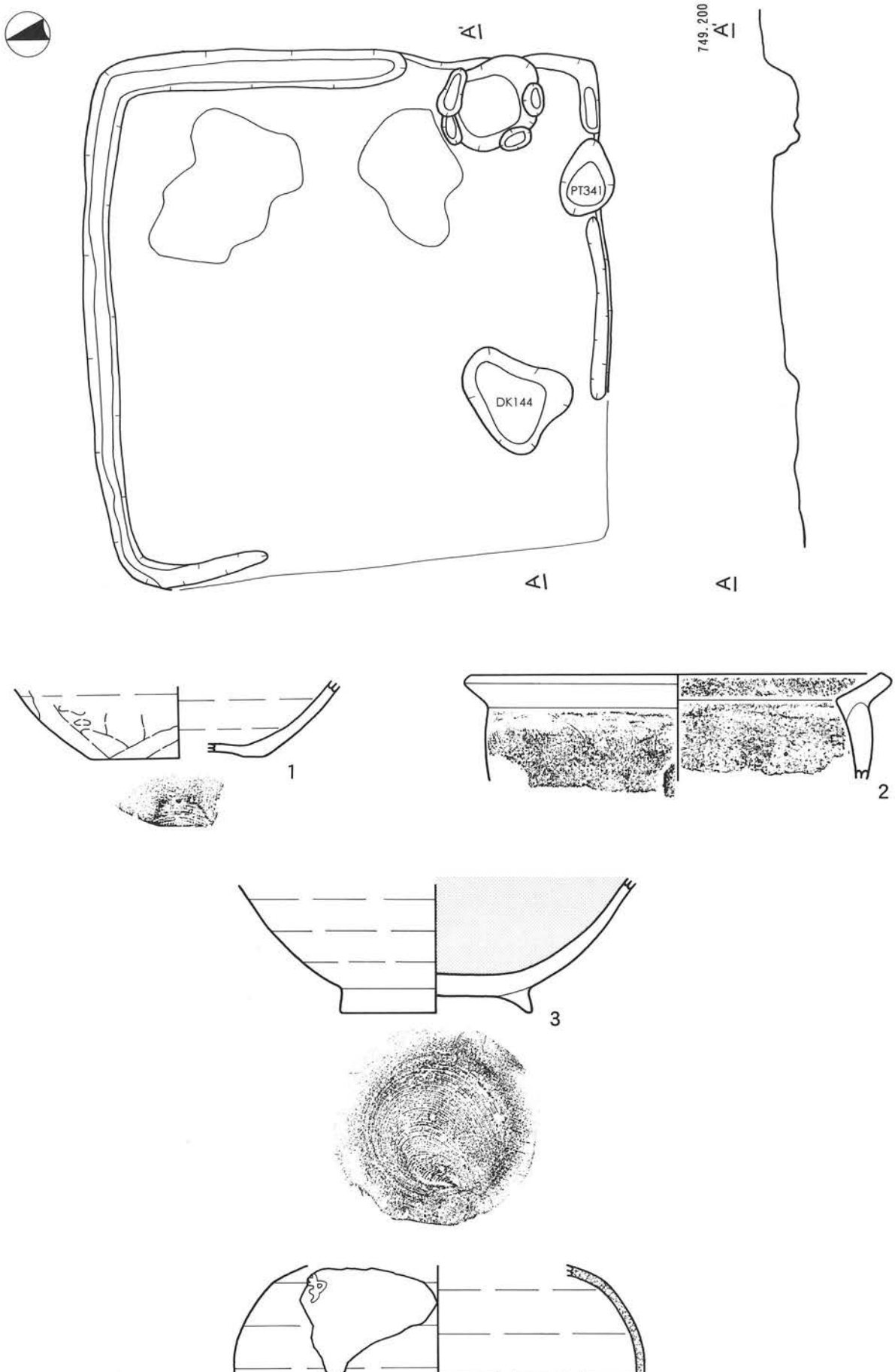
第176図　67号住居出土遺物（1/2、5 1/4）



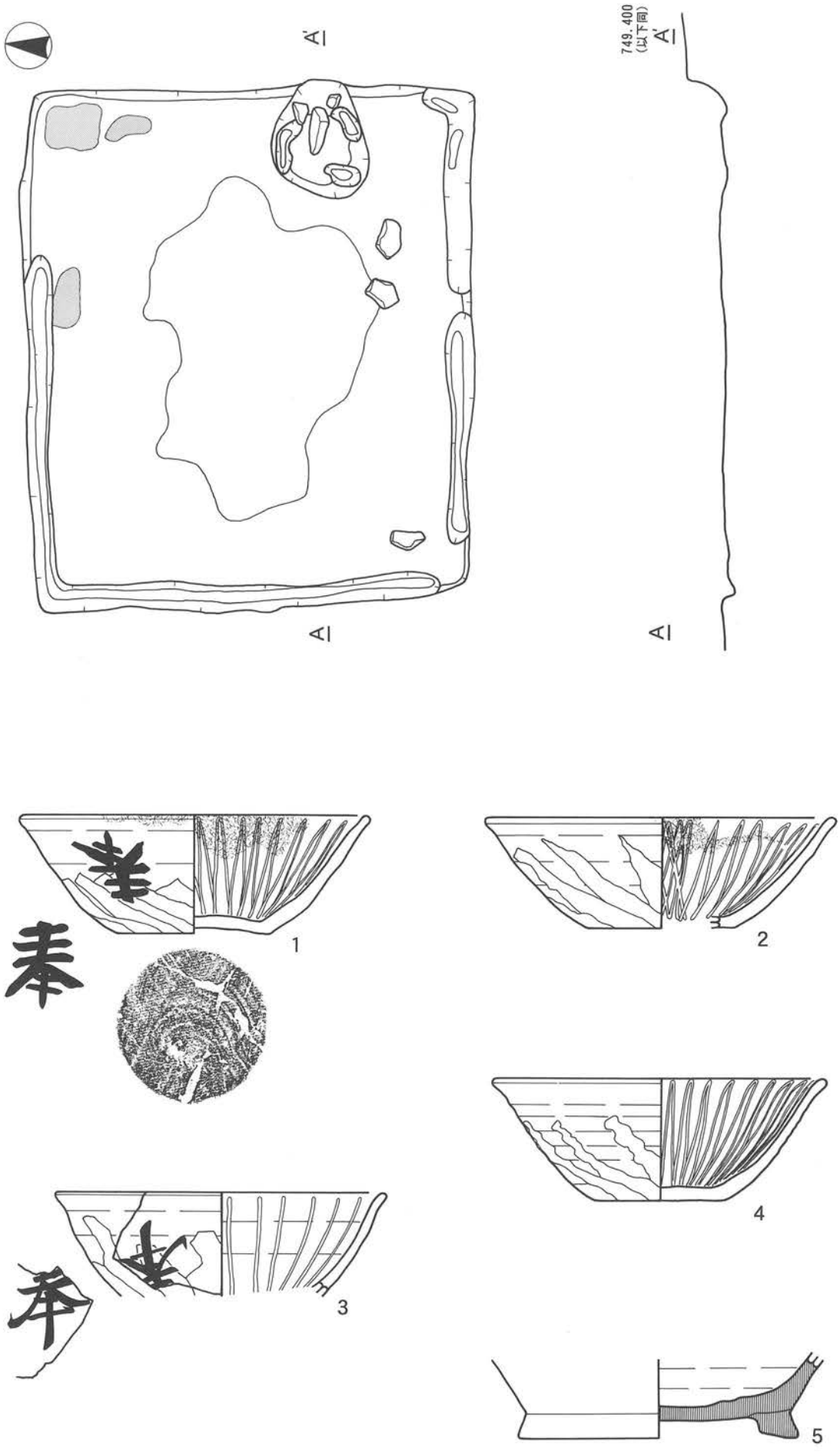
第177図　68号住居（1/40）



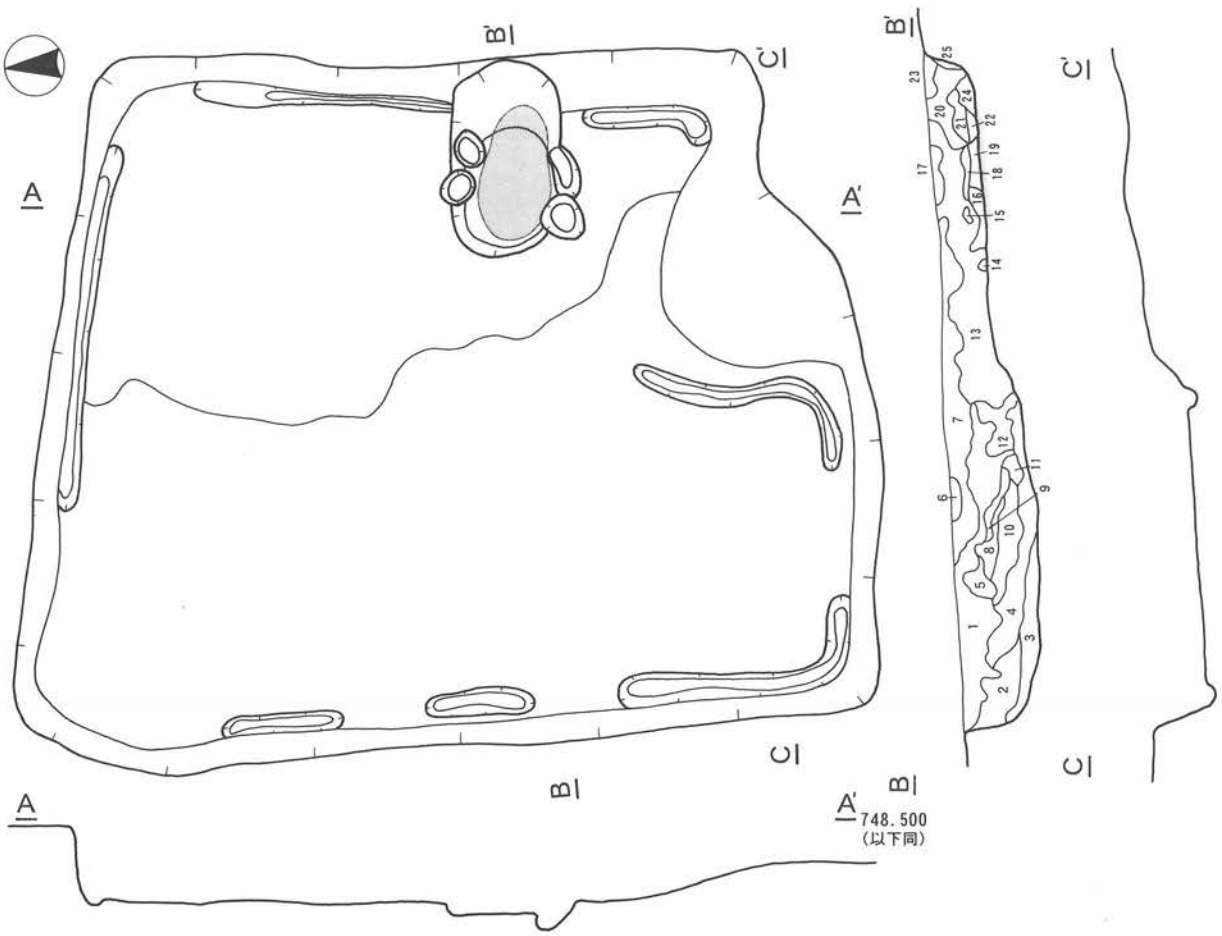
第178図　68号住居カマド（1/20）　68号住居出土遺物（1/2）



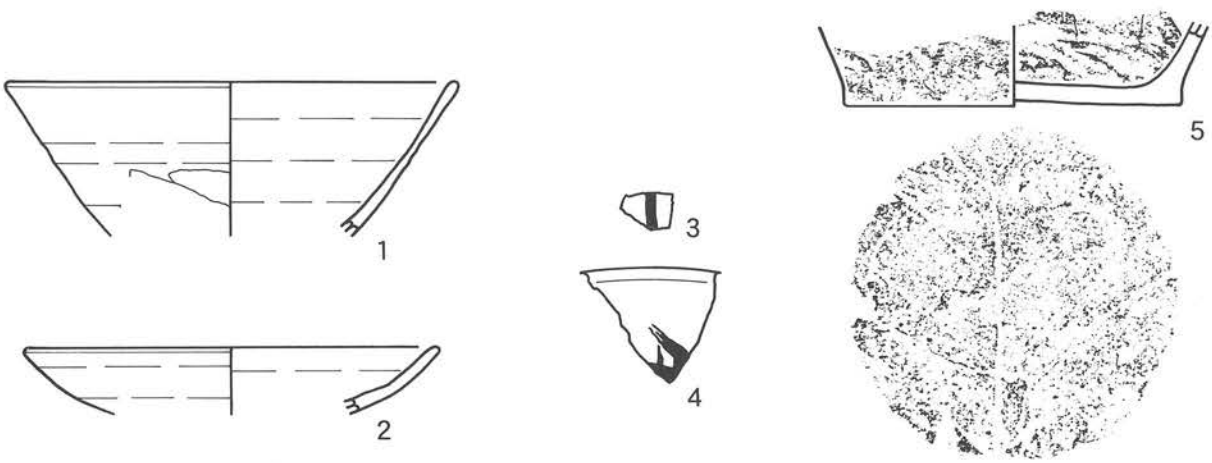
第179図　69号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



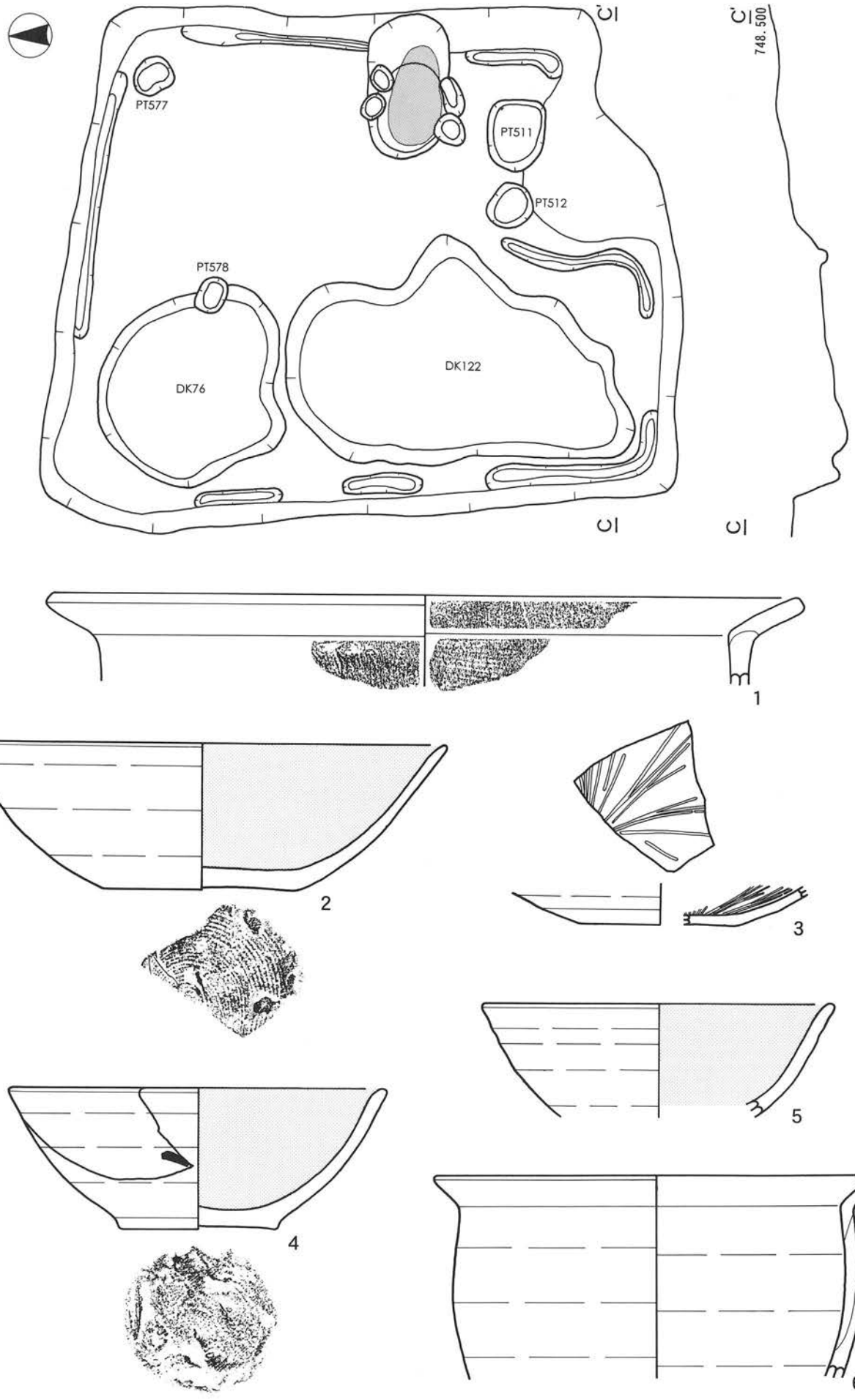
第180図　70号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



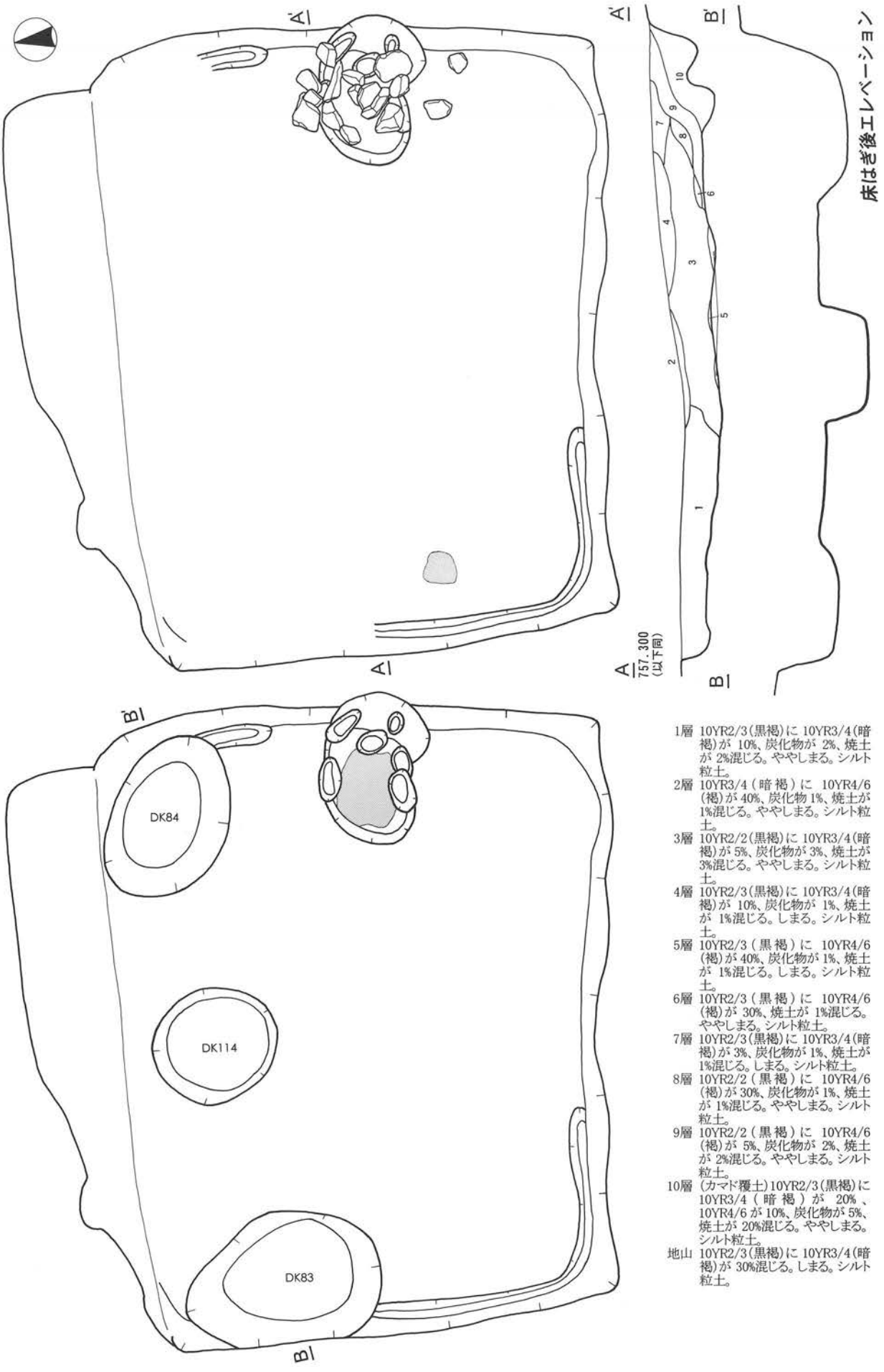
1層 10YR2/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 3%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 5%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR2/3(黒褐)が粒子で 2%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 1%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 カクラン。
7層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が 3%、10YR5/6(黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 1%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 1%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 2%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 15%、10YR5/6(黄褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が 2%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 1%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。(1 層に同じだが、焼土粒子が入る)
14層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 20%、焼土粒子が 10%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 30%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR3/3(暗褐)が 2%、焼土が 3%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 カクラン。
18層 10YR4/6(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%、10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
19層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR2/3(黒褐)が 1%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 10YR3/3(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 2%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
21層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
22層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
23層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
24層 10YR3/4(暗褐)に 7.5YR3/3(暗褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
25層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/4(にぶい黄褐)。非常に固くしまる。粘りのある土。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。



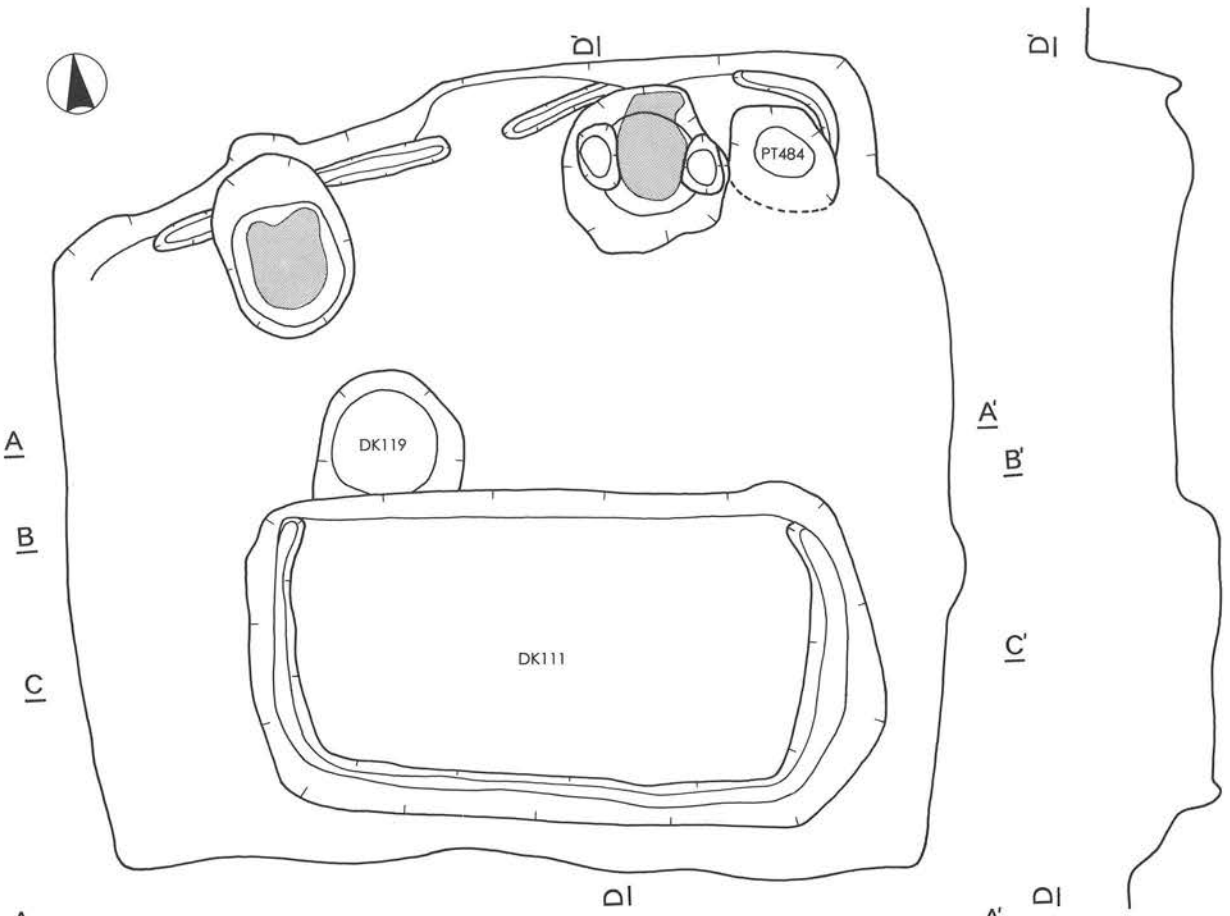
第181図　71号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

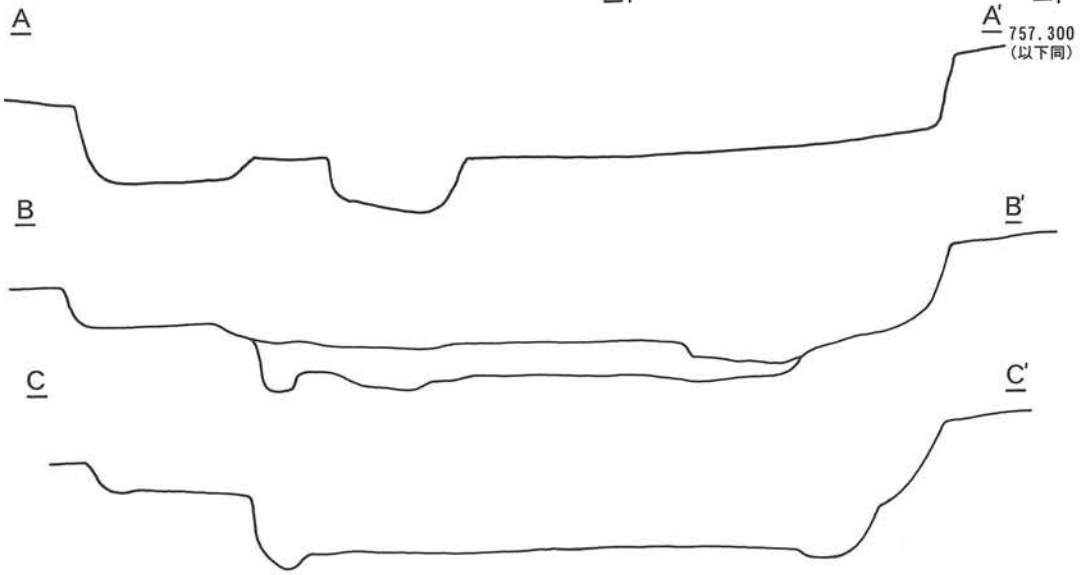


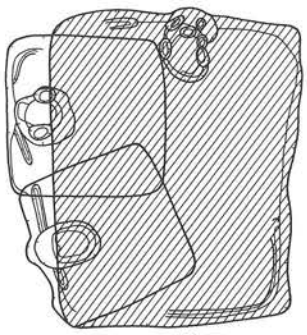
第182図　71号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



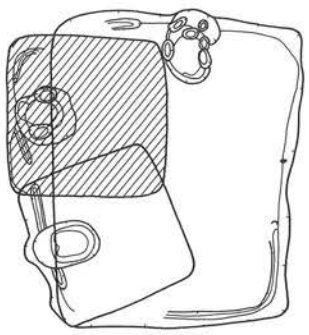
第183図　72号住居（1/40）



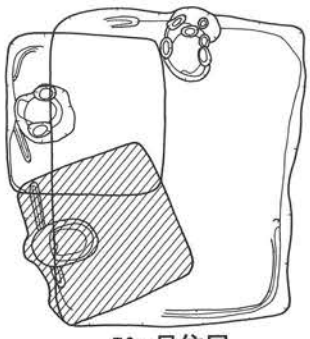




72a 号住居

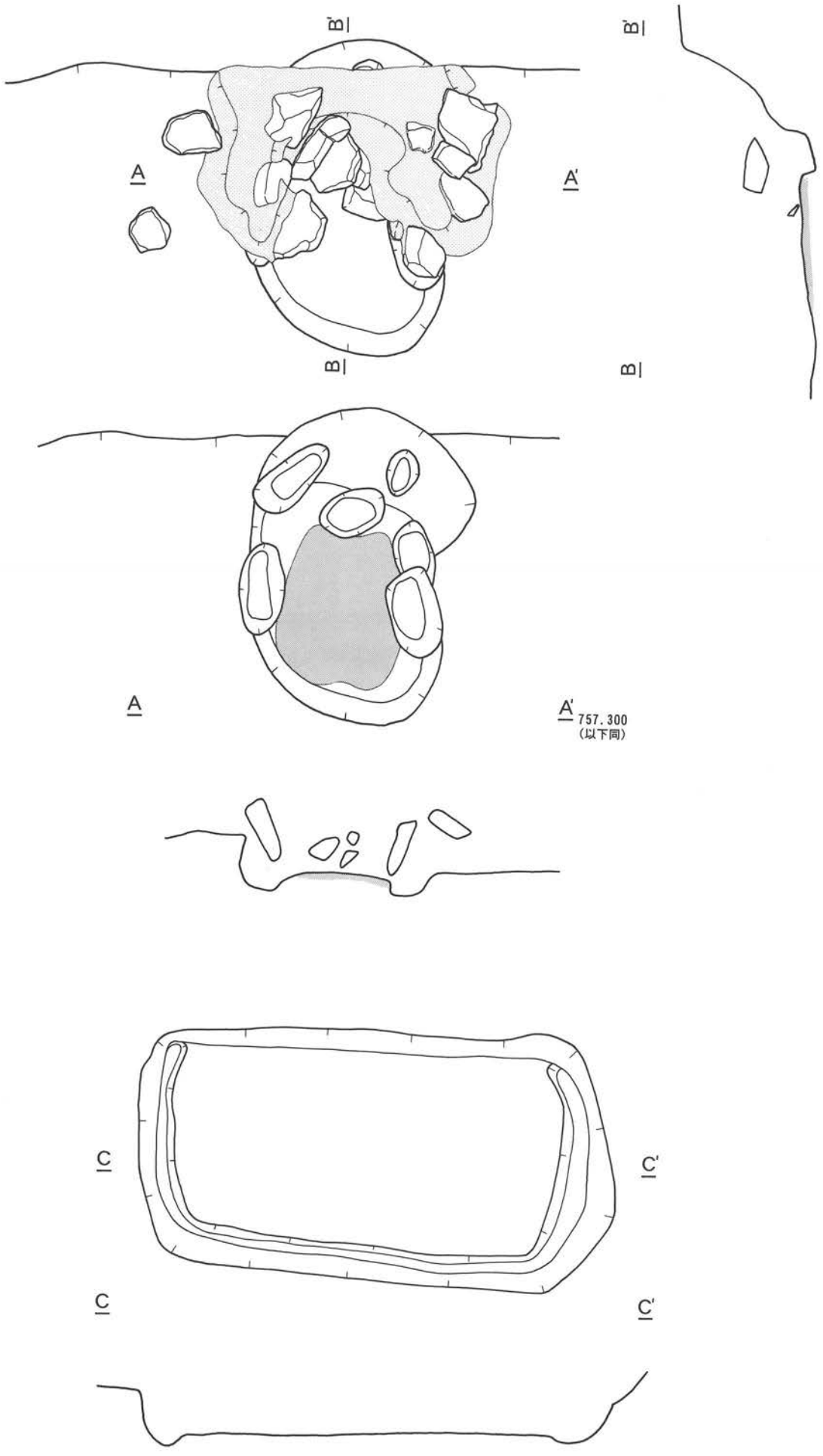


72b 号住居

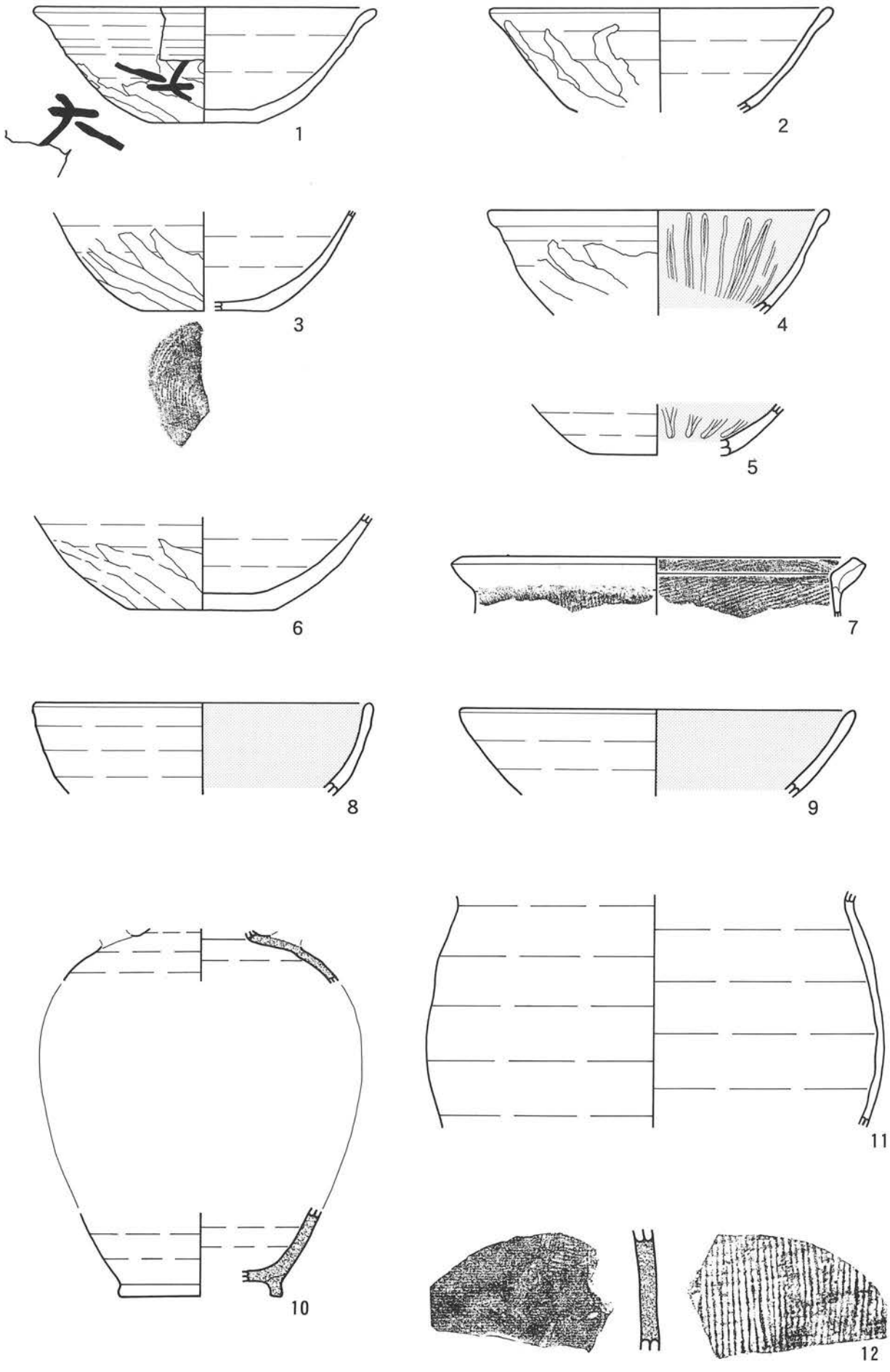


72c 号住居

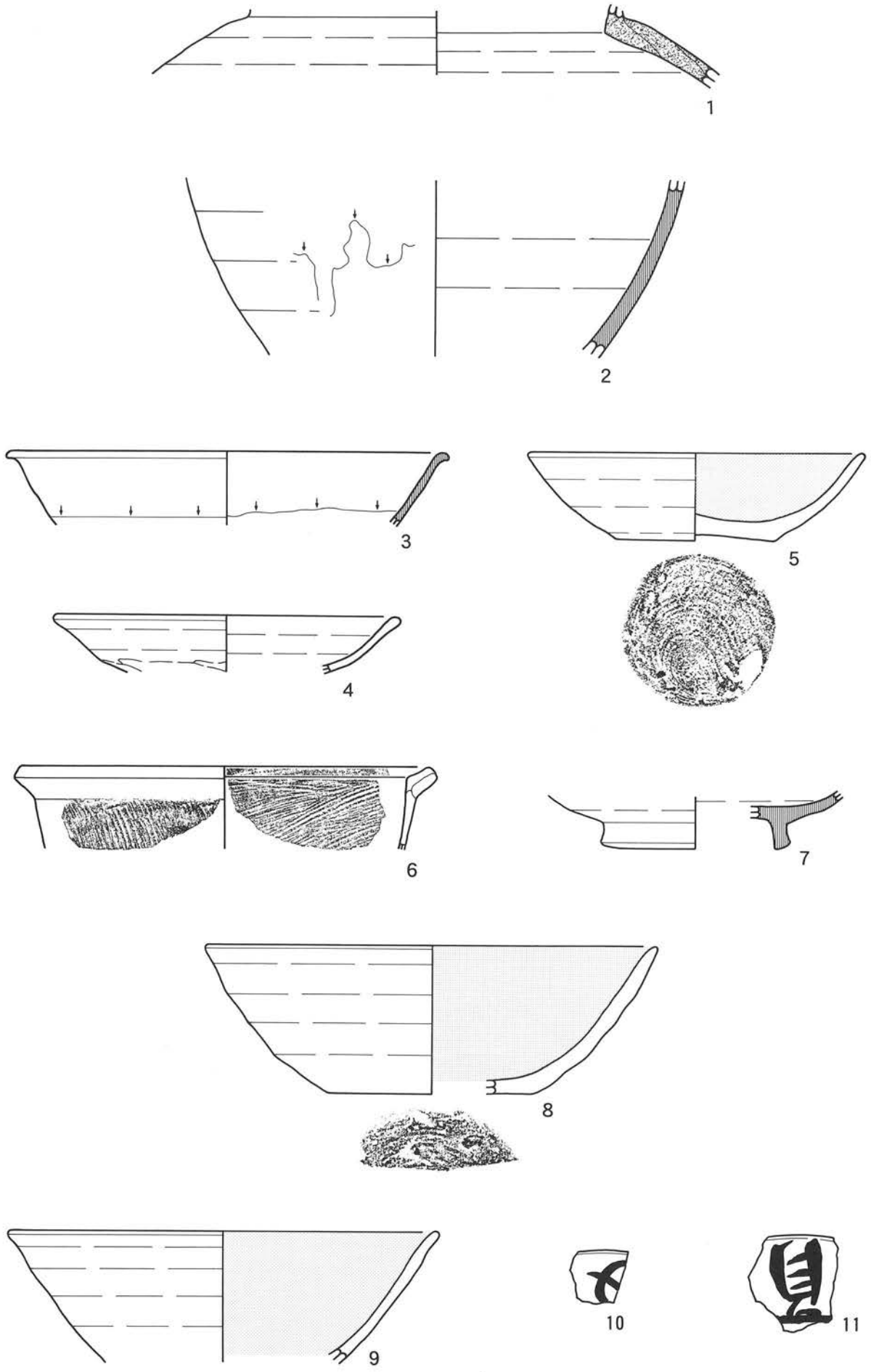
第184図　72号住居（1/40）



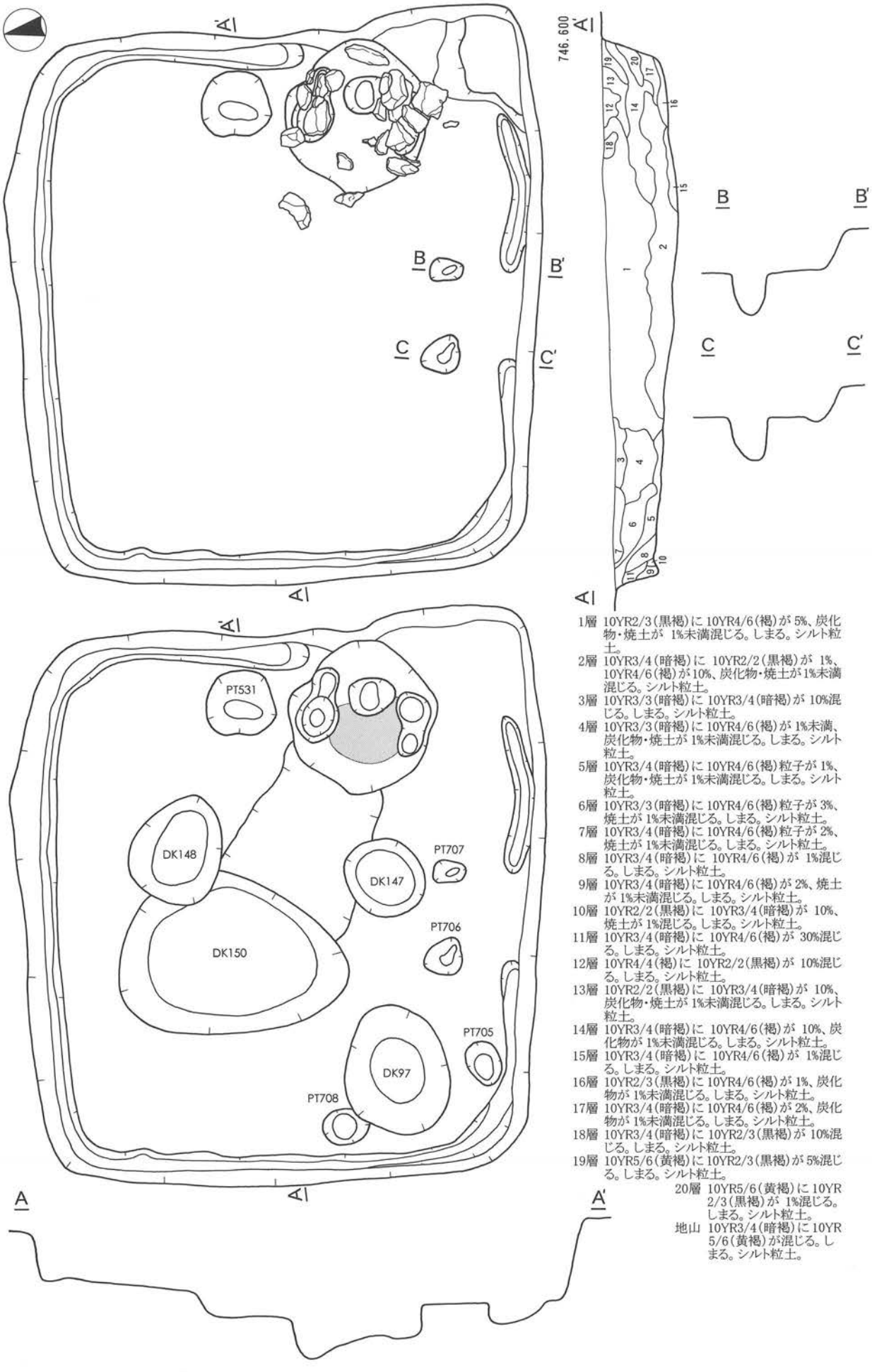
第185図　72号住居カマド（1/20）　111号土坑（1/20）



第186図　72号住居出土遺物（1/2、7・10 1/4）

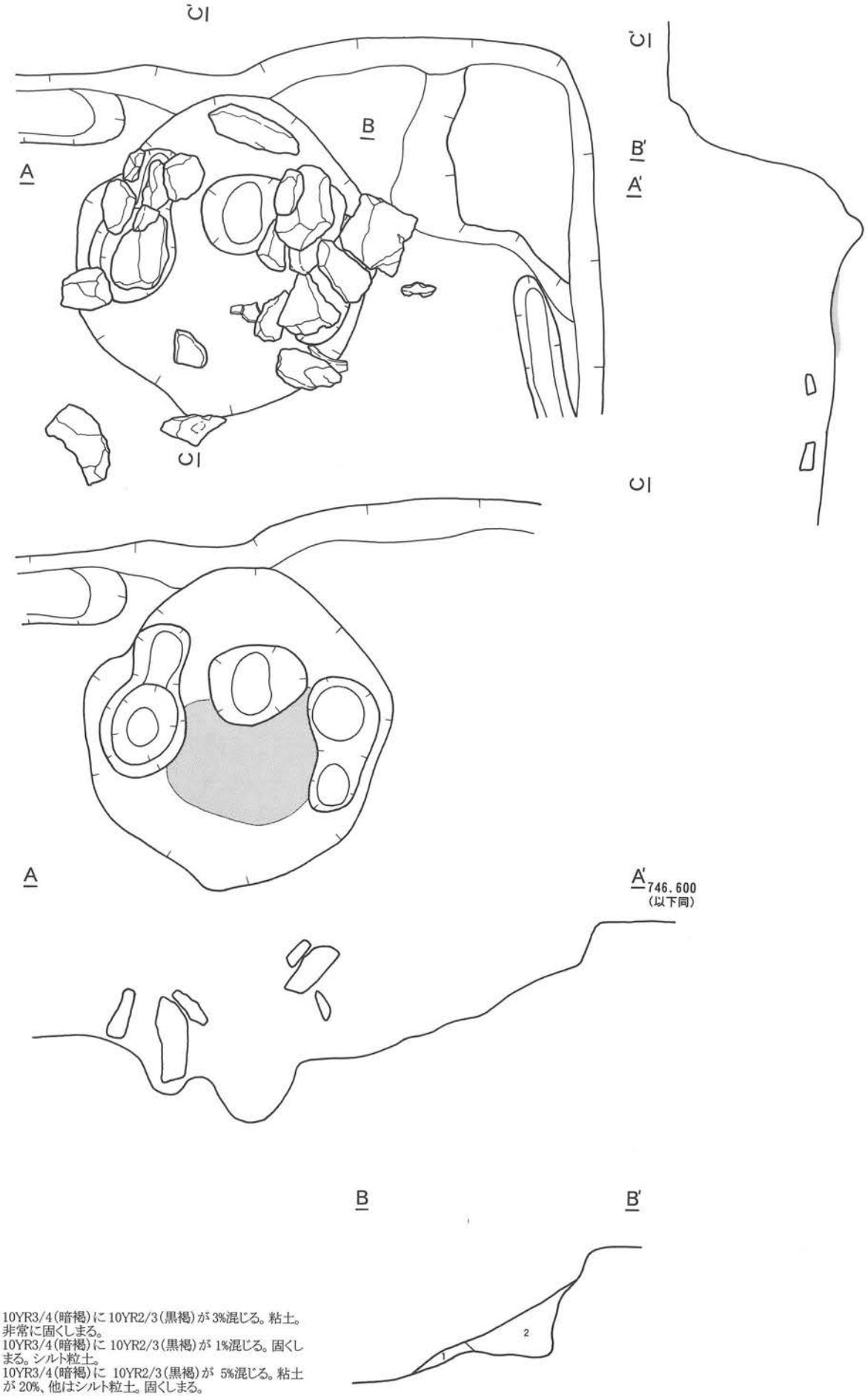


第187図　72号住居出土遺物（1/2、6 1/4）



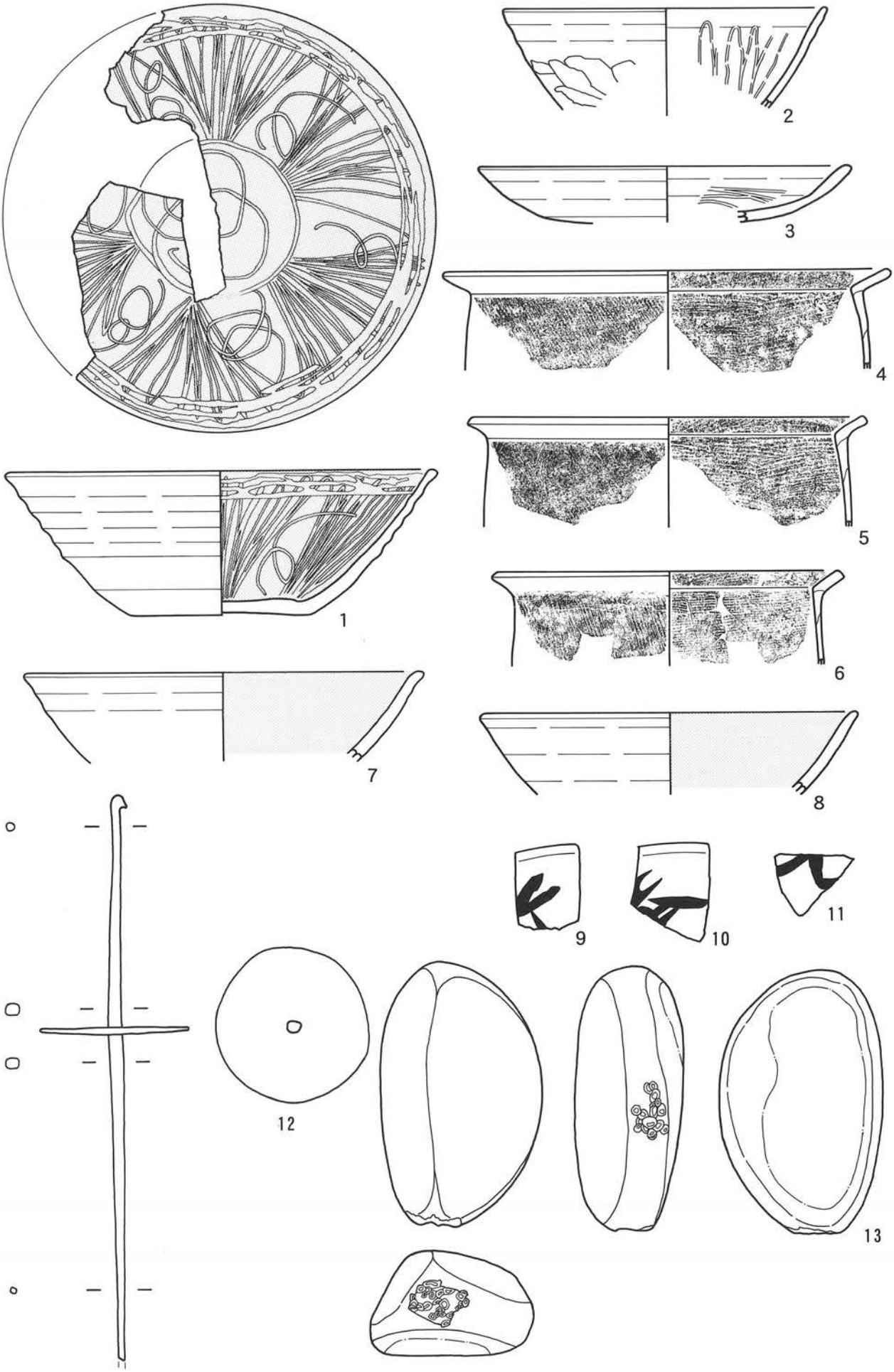
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 5%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 1%、10YR4/6(褐)が10%、炭化物・焼土が1%未満混じる。シルト粒土。
3層 10YR3/3(暗褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%未満、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)粒子が 1%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)粒子が 3%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)粒子が 2%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 1%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
19層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が混じる。しまる。シルト粒土。

第188図　73号住居（1/40）

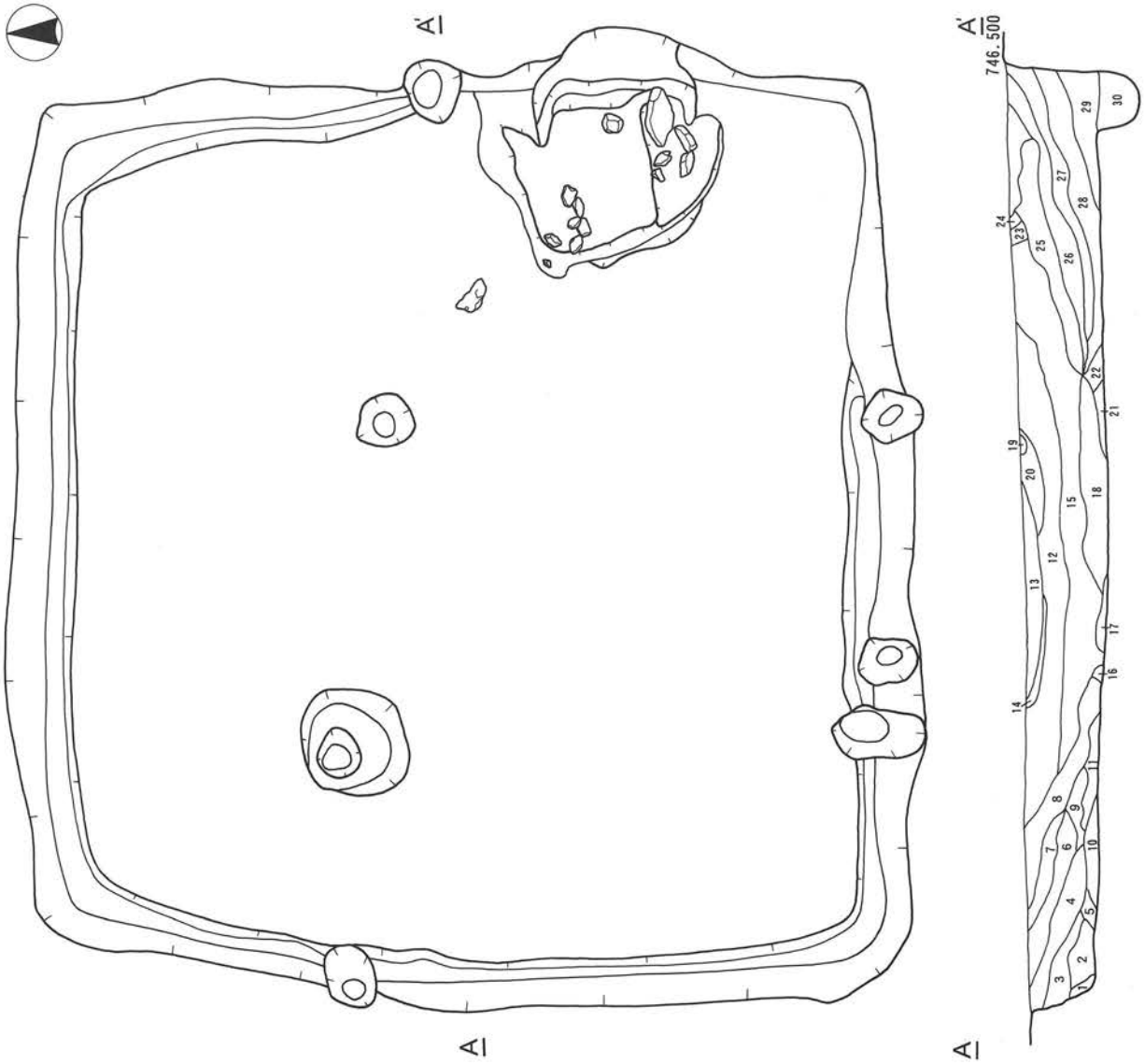


1層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が3%混じる。粘土。非常に固くしまる。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。粘土が20%、他はシルト粒土。固くしまる。

第189図　73号住居カマド（1/20）　棚状施設（1/20）

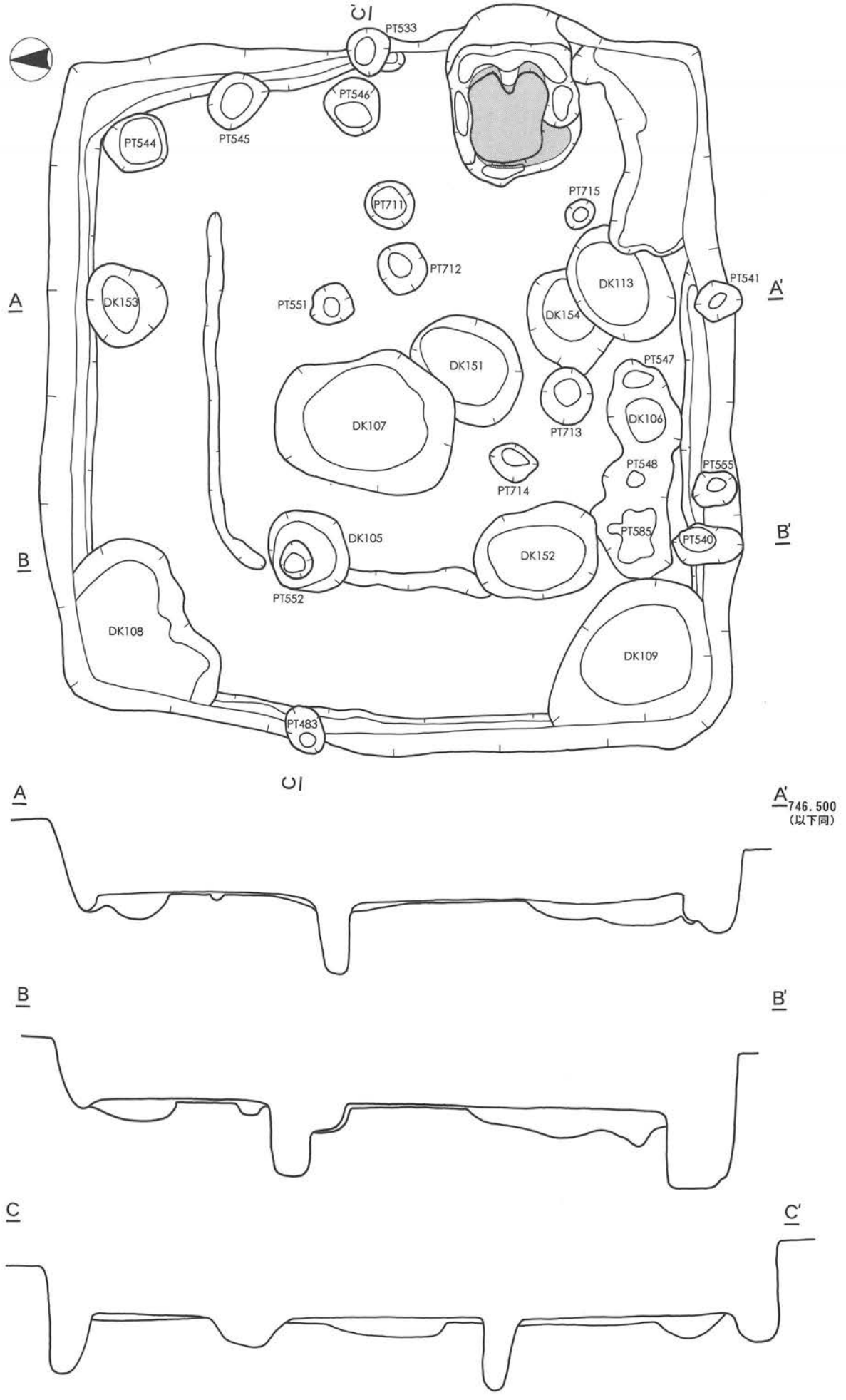


第190図　73号住居出土遺物（1/2、4～6 1/4）



1層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化物が2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が15%、炭化物が10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%、炭化物が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%、炭化物が2%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が20%混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%、炭化物が10%、焼土が2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
12層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
13層 10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が30%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が10%、10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物が3%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
16層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
17層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化物が2%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
18層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が10%、焼土が3%混じる。ややしまる。シルト粒土。
19層 10YR3/3(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が30%、炭化物が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
20層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が20%、10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
21層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%、炭化物が2%、焼土が5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
22層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
23層 10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
24層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
25層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
26層 10YR3/4(暗褐)に10YR2/3(黒褐)が10%、炭化物が5%混じる。しまる。シルト粒土。
27層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が30%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
28層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物が3%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
29層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%、炭化物が2%、焼土が5%混じる。しまる。シルト粒土。
30層 PT533。
地山 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%混じる。しまる。シルト粒土。

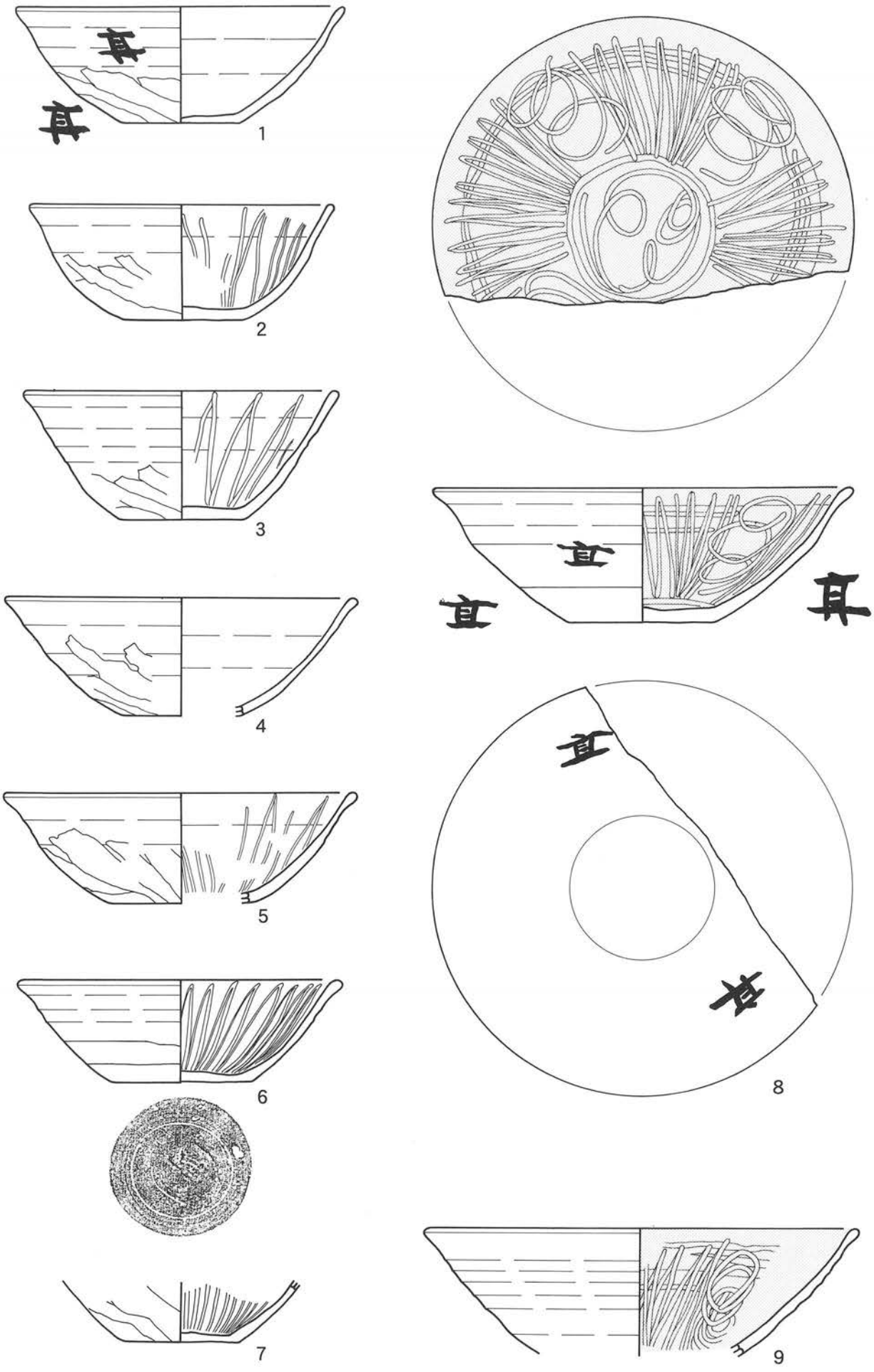
第191図　74号住居（1/40）



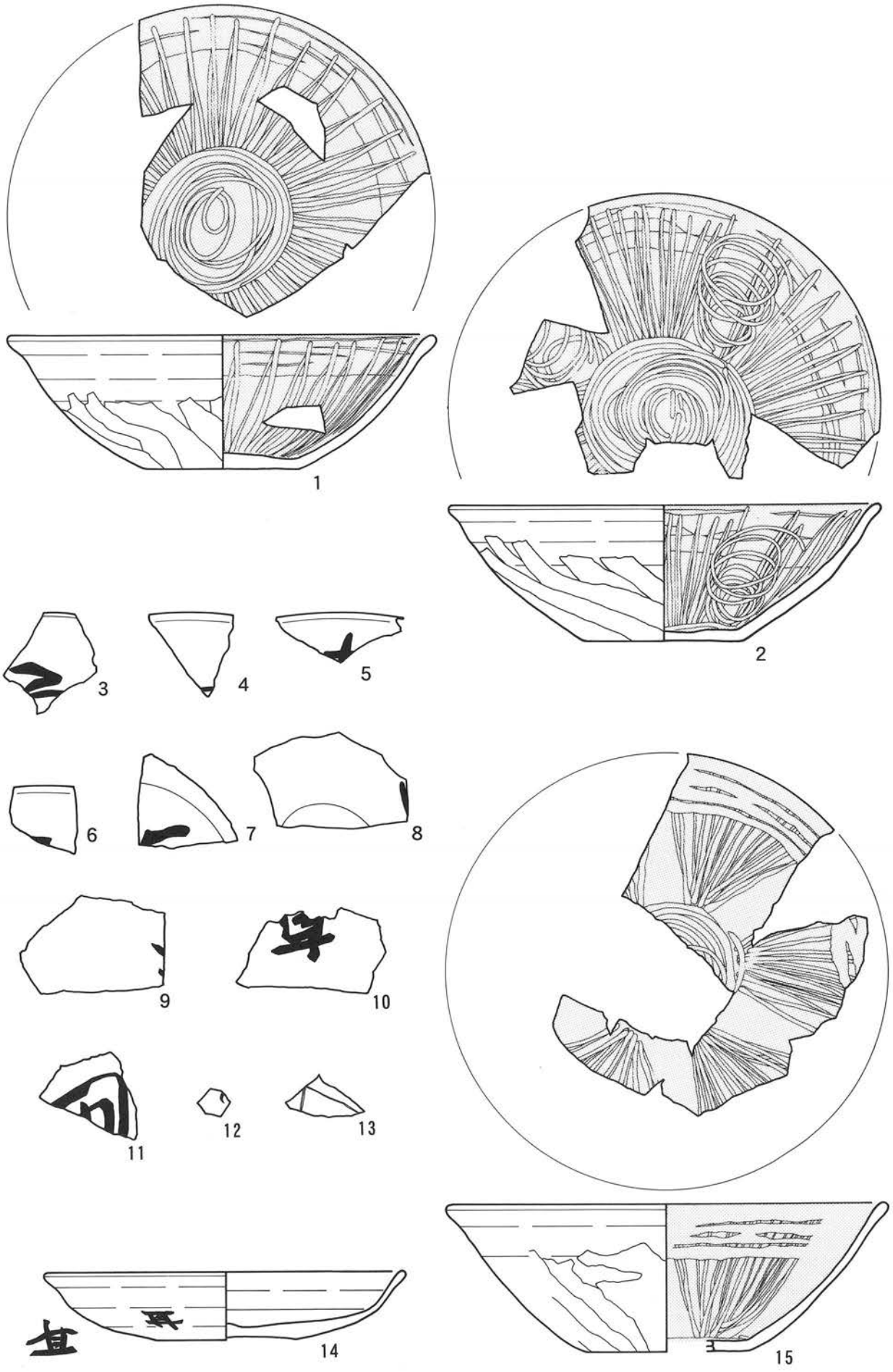
第192図　74号住居（1/40）

1層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR4/1(褐灰)が 20～100mm 大のブロックで 20%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 15%、10YR6/6(明黄褐)と焼土粒・炭化粒がわずかに混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/2(灰黄褐)に焼土粒・炭化粒がわずかに混じる。非常に固くしまる。細粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR6/6(明黄褐)が 10%、焼土・炭化物が 5mm 大で各 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR4/2(灰黄褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 30%混じる。固くしまる。細粒土。
6層 10YR2/2(黒褐)。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 30%、焼土粒が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR4/2(灰黄褐)に炭化粒が 5mm 大で1カ所混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に焼土粒が 10mm 大で1カ所と、10YR5/6(黄褐)がわずかに混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/3(暗褐)に焼土粒が点々と 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/2(黒褐)に焼土粒が 5mm 大で1カ所と、10YR5/6(黄褐)がわずかに混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR4/2(灰黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5mm 大で1カ所混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR3/3(暗褐)に焼土粒が 20mm 大で1カ所混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 10YR4/3(褐)に焼土粒が 5～20mm 大で 40%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)シルト粒土が 10mm 大で 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 30mm 大で2カ所 15%と焼土粒が 5mm 大で2カ所混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR3/3(暗褐)に炭化粒が 5mm 大で2カ所混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
18層 10YR3/2(黒褐)に 10YR2/2(黒褐)が、左下にぼんやりと 10%、10YR5/6(黄褐)と焼土粒が各々3%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
19層 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。
20層 10YR4/1(褐灰)に焼土粒が 5～20mm 大で 2%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
21層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20mm 大で 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
22層 7.5YR2/3(極暗褐)に焼土粒が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
23層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 40%混じる。固くしまる。シルト粒土。
24層 7.5YR2/3(極暗褐)に焼土が 10mm 大で一カ所混じる。固くしまる。シルト粒土。

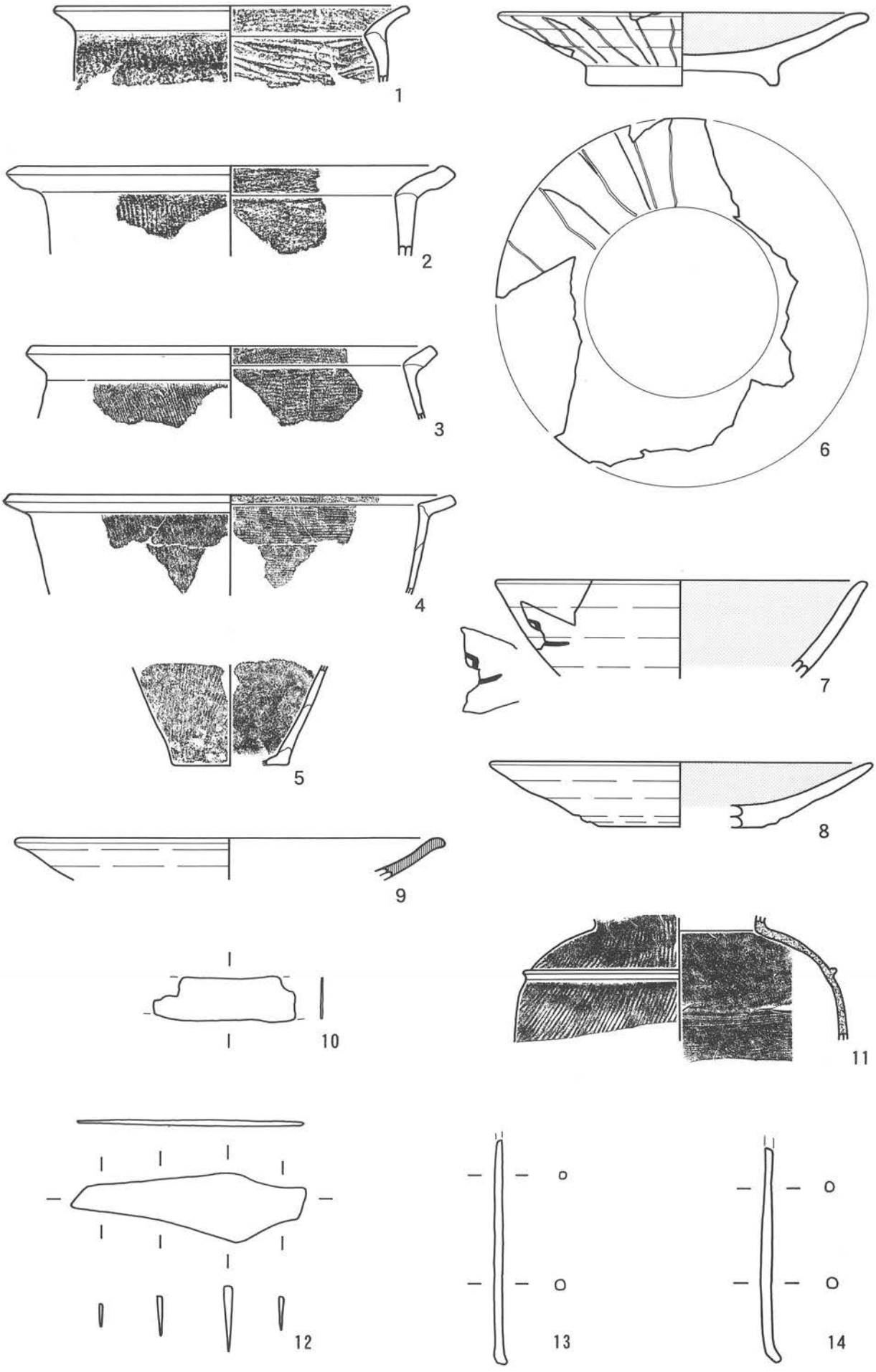
第193図　74号住居カマド（1/20）



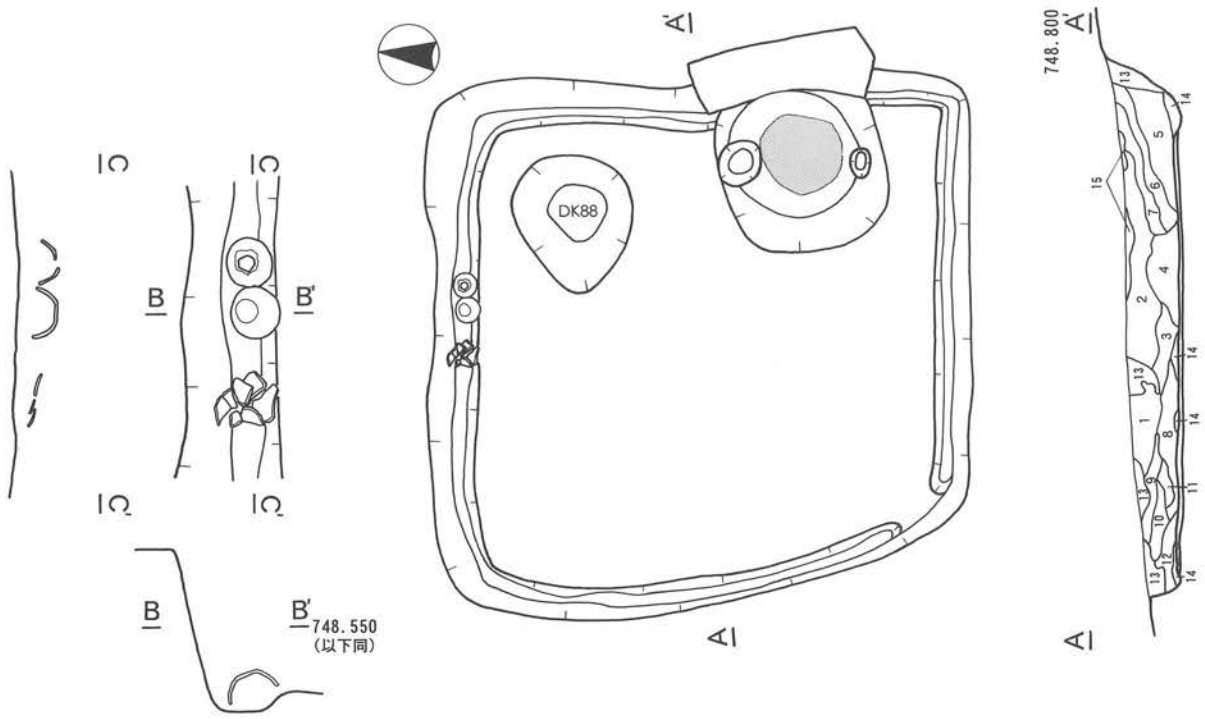
第194図　74号住居出土遺物（1/2）



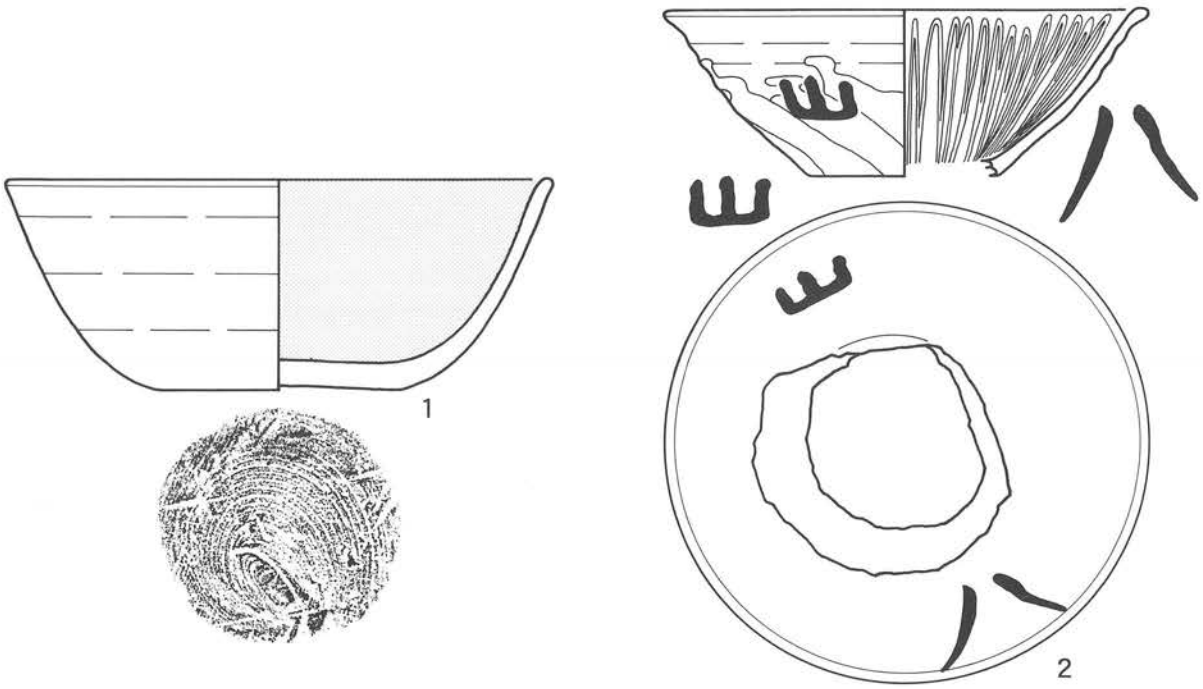
第195図　74号住居出土遺物（1/2）



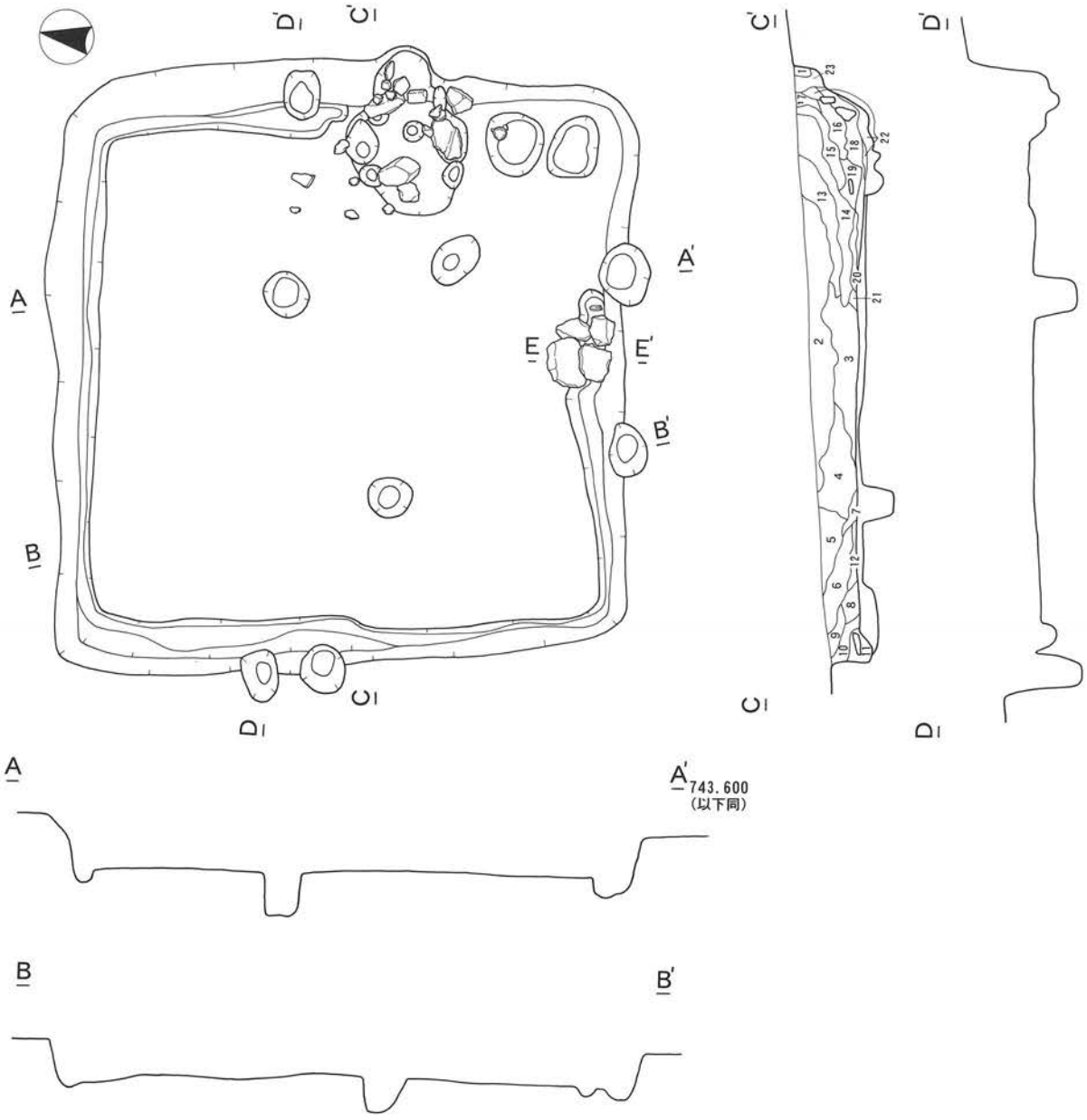
第196図　74号住居出土遺物（1/2、3～5・11 1/4）



1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～4mm の小ブロックで 10%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子と1カ所 20×50mm 程のブロックで 10%、10YR2/2(黒褐)が粒子で 5%、焼土が粒子で 1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で 10%、焼土が粒子で 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)がまだらに 30%、焼土粒子が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)がまだらに 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)がまだらに 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が粒子で 20%、10YR5/8(黄褐)が 5～30mm のブロックで 10%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で 15%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で 20%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子で 10%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が粒子～5mm 程の小ブロックで 15%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
13層 カクラン。
14層 10YR4/6(褐)に 10YR5/8(明黄褐)が 5%、10YR2/3(黒褐)が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が粒子で 25%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR4/6(褐)固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/8(黄褐)。固くしまる。粘質あり。シルト粒土。

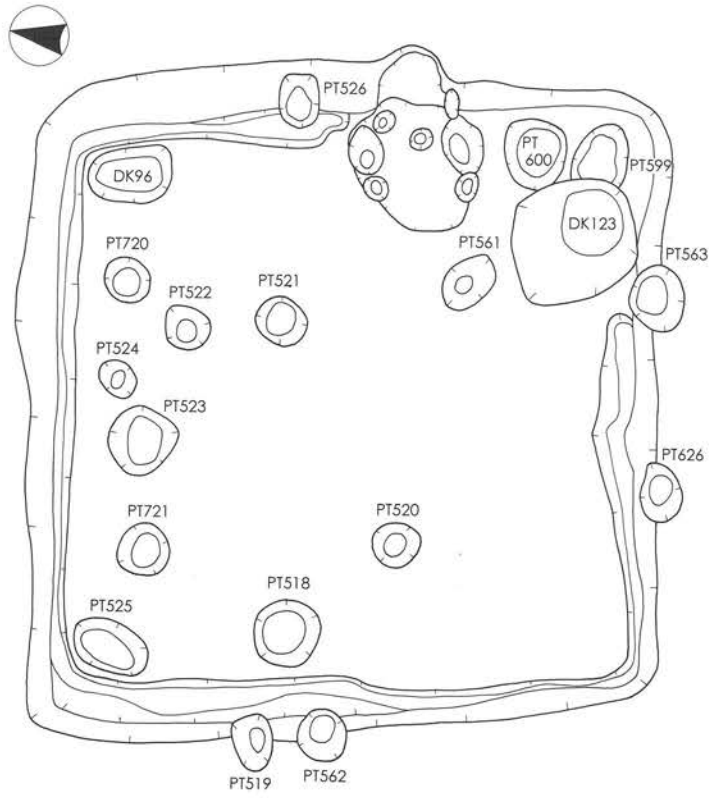


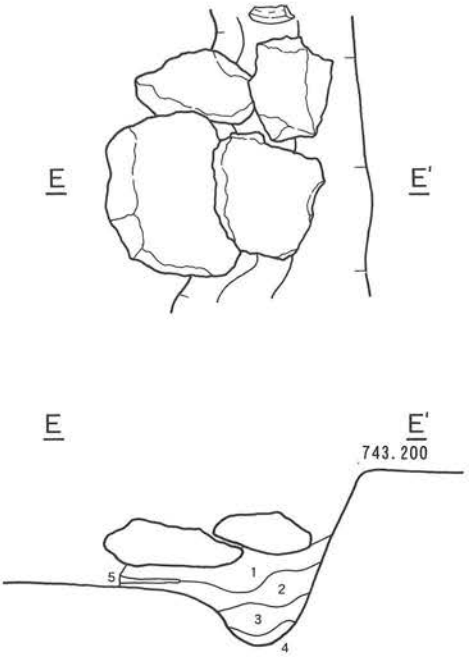
第197図　75号住居（1/40）　土師器出土状況図（1/20）および出土遺物（1/2）



1層 カクラン。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～2mm 程の小ブロックで 30%、焼土粒子が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～2mm 程の小ブロックで 15%、焼土粒子が 1%、炭化物が1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～2mm 程の小ブロックで 40%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 30%、10YR2/3(黒褐)が 5～10mm のブロックで 5%、10YR5/6(黄褐)が粒子～10mm 程の小ブロックで 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～8mm 程の小ブロックで 10%、10YR2/3(黒褐)が 2～15mm 程の小ブロックで 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～2mm の小ブロックで 30%、焼土が 1%未満混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～3mm の小ブロックで部分的にまだらに 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～5mm 程の小ブロックで 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR4/4(褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～5mm の小ブロックで 40%、焼土粒子が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～8mm 程の小ブロックで 30%、焼土粒子が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR4/4(褐)に 10YR2/3(黒褐)が粒子でまだらに 40%、焼土が粒子～10mm 程の小ブロックで 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 30%、焼土が粒子～30mm のブロックで 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で20%、焼土が粒子～10mm 程のブロックで 5%混じる。ややしまる。シルト粒土。
18層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 20%、焼土が粒子～10mm 程のブロックで 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
19層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子～40mm 大のブロックで 30%、焼土が 2～8mm のブロックで 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
20層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 30%、焼土が粒子～10mm 程のブロックで 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
21層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/4(褐)が粒子で 30%、焼土が粒子～10mm 程のブロックで 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
22層 焼土。2.5YR5/8(明赤褐)に 10YR2/3(黒褐)が粒子で 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
23層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が粒子で 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/8(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/8(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。

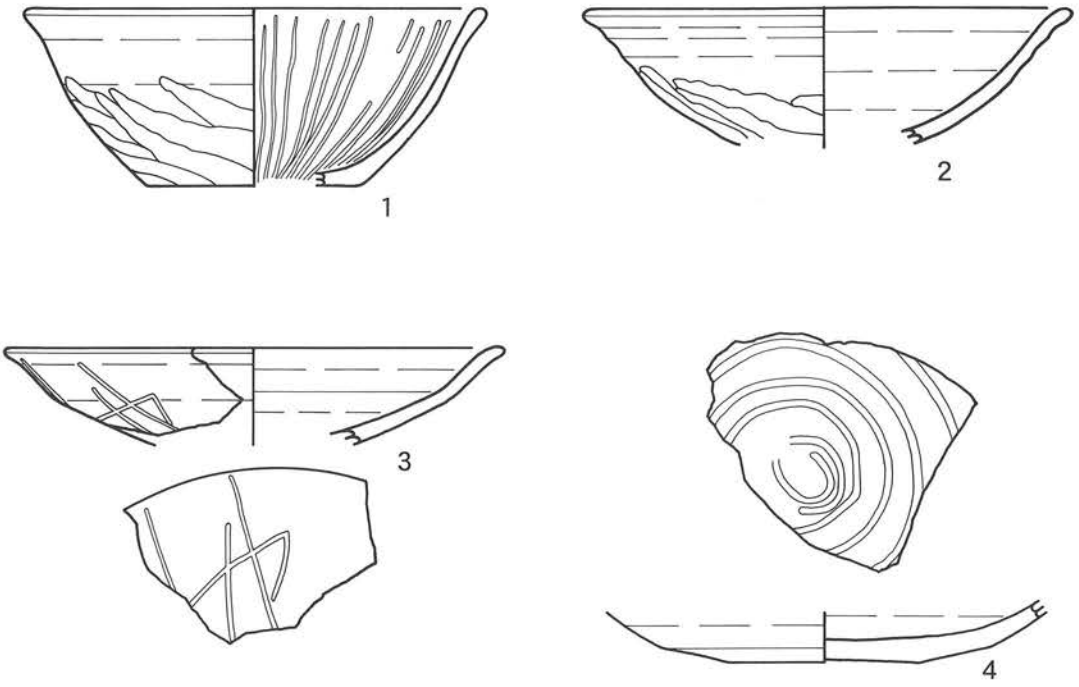
第198図　76号住居（1/60）



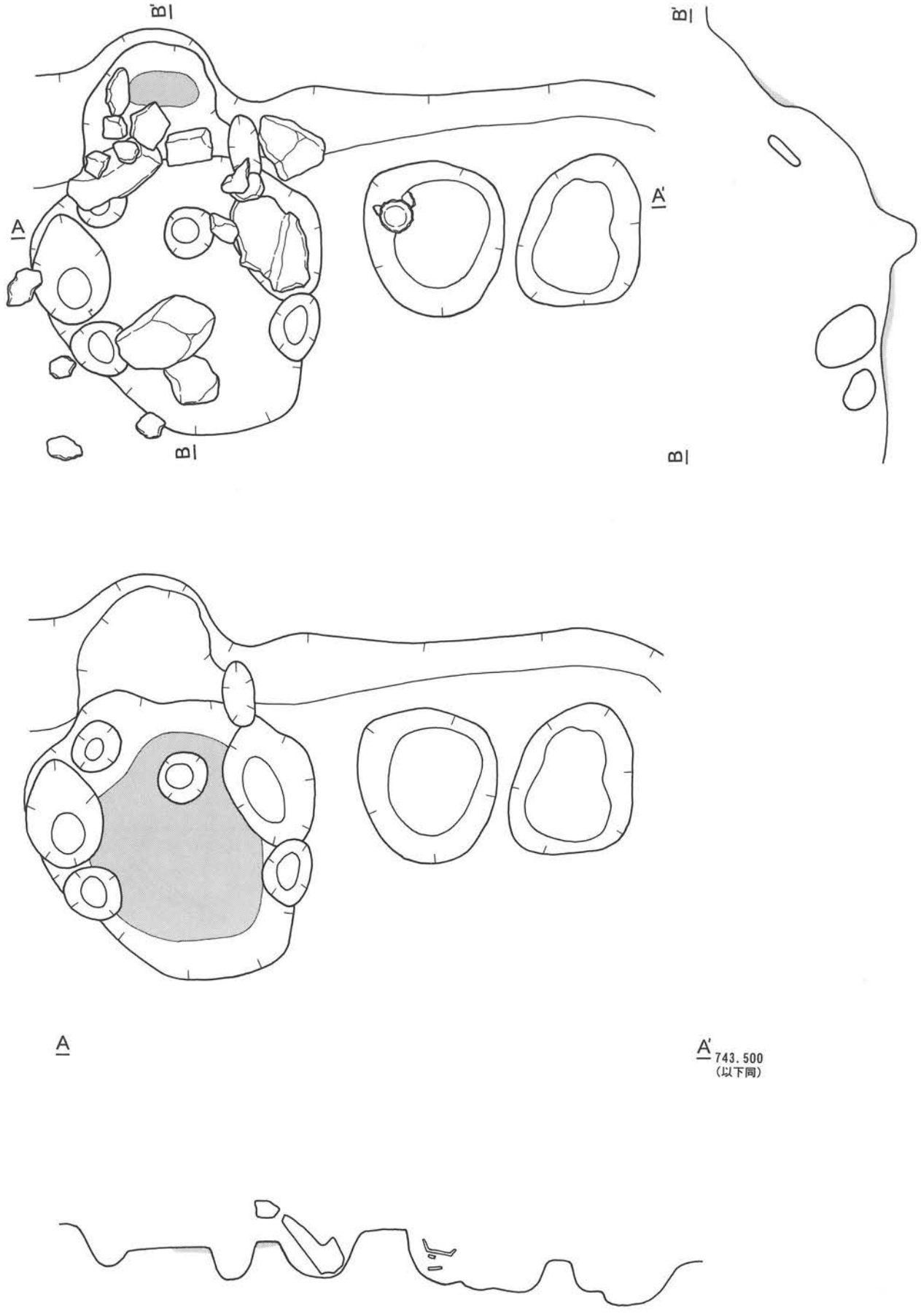


南壁沿い石組（1／20）

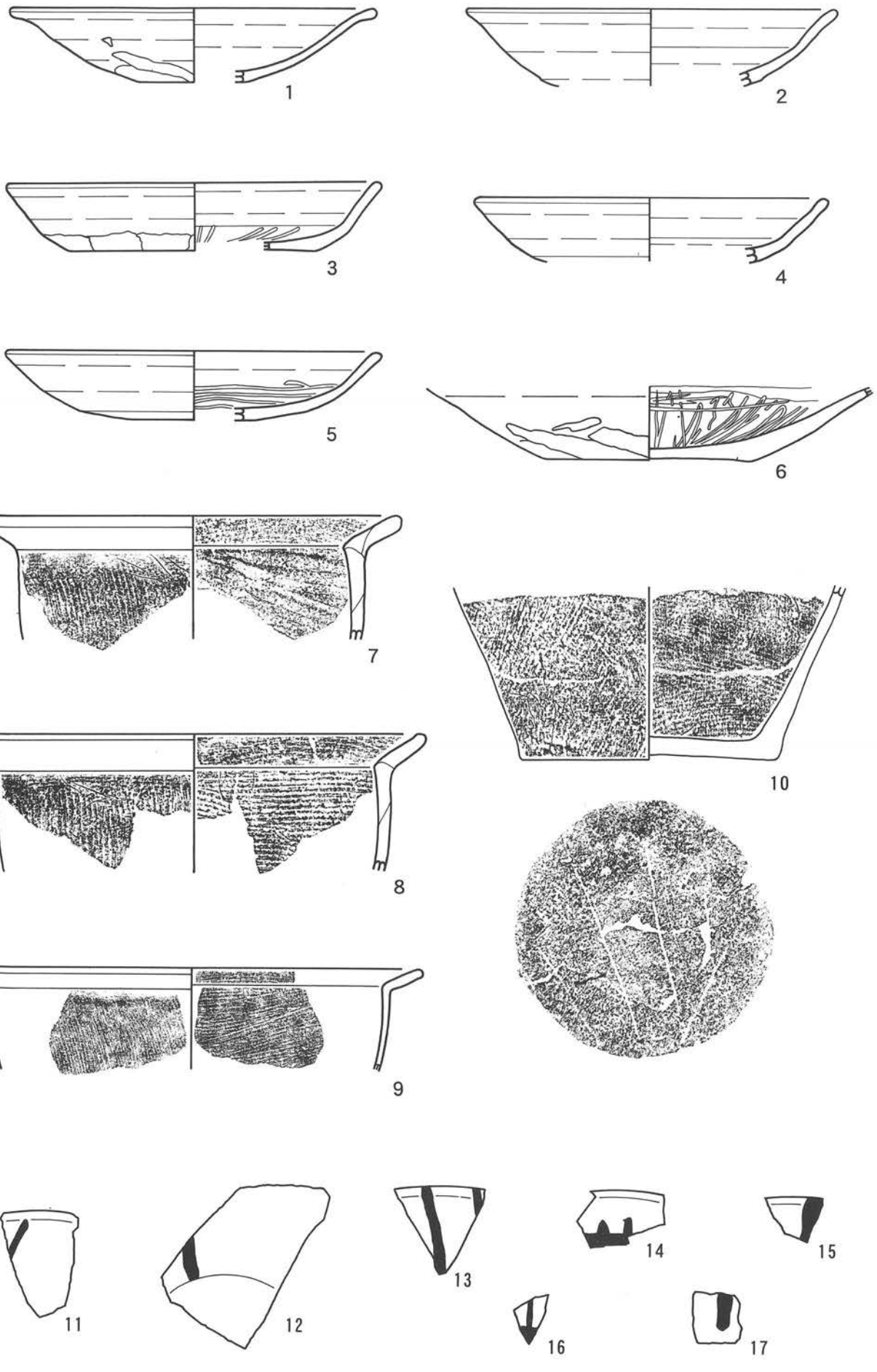
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～8mm 程の小ブロックで 20%、炭化物が 1%未満、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～10mm 程の小ブロックで 15%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～5mm 大の小ブロックで 20%、10YR2/3(黒褐)が粒子で 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)がまだらに 30%混じる。シルト粒土。
5層 10YR2/3(黒褐)に焼土粒子が 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。



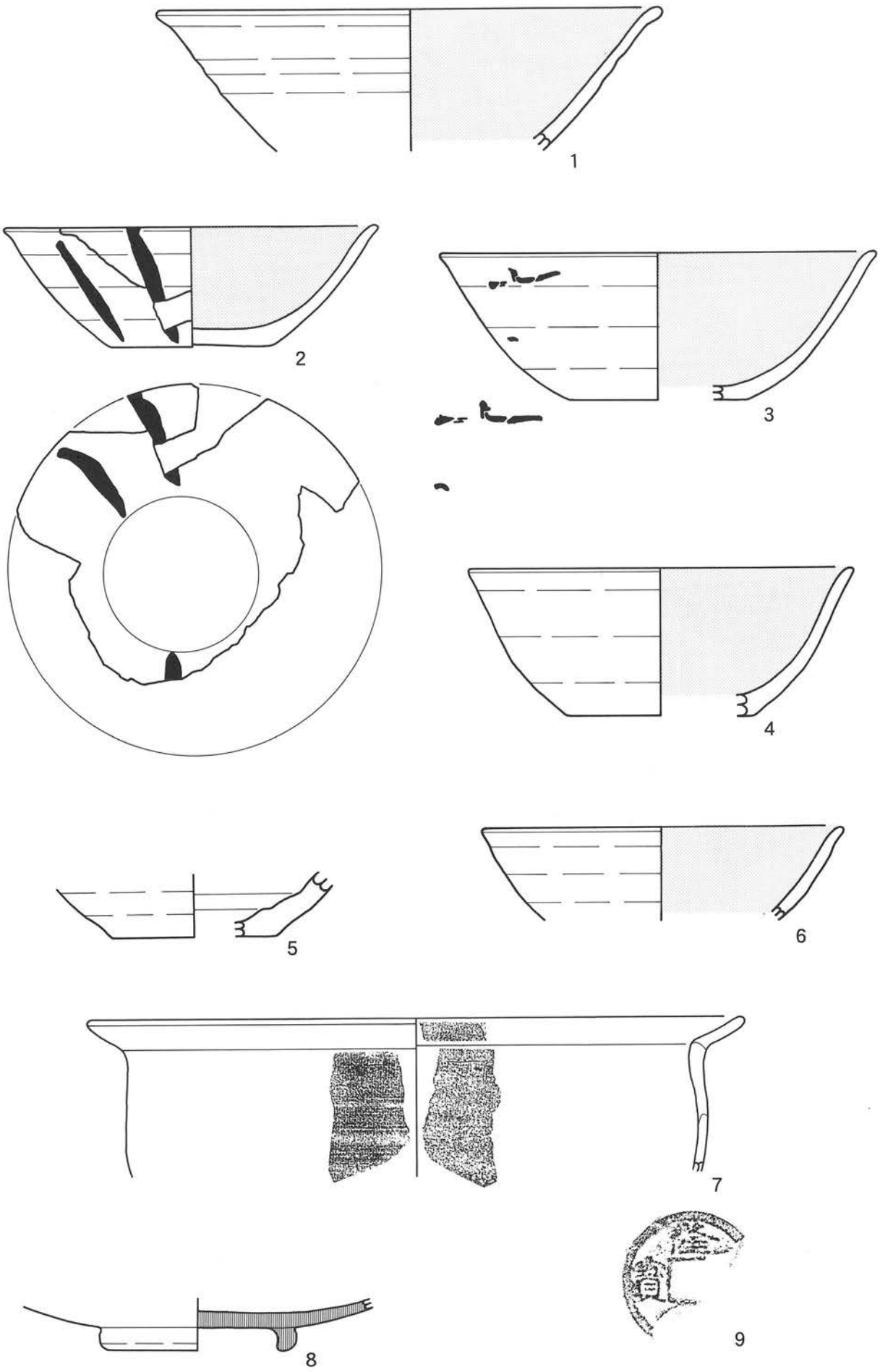
第199図　76号住居（1/60）および出土遺物（1/2）



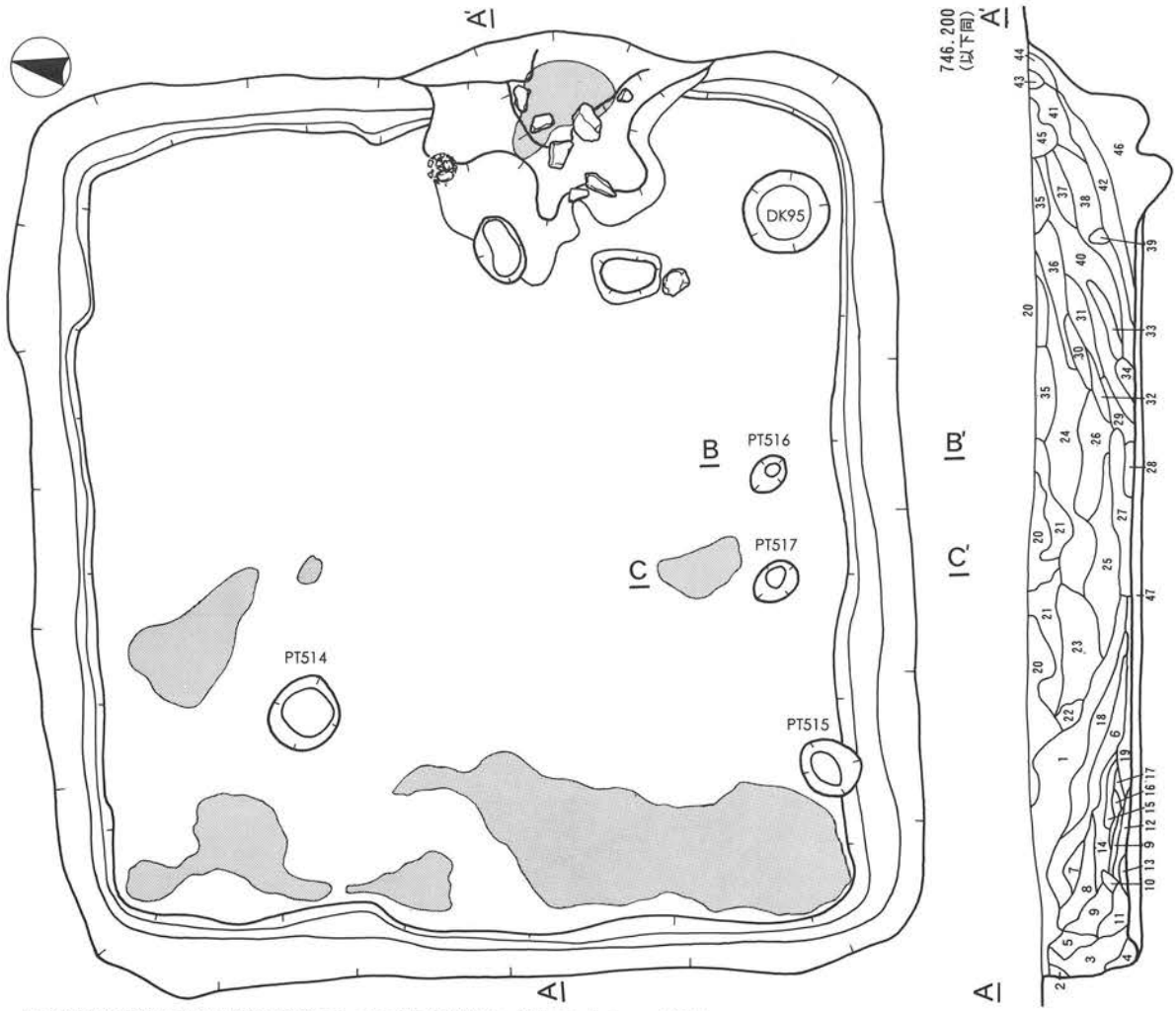
第200図　76号住居カマド（1/20）

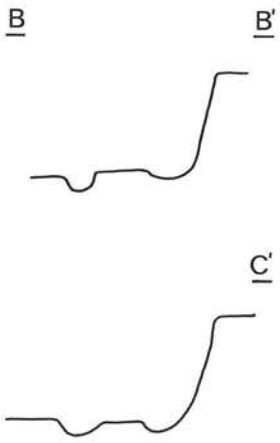


第201図　76号住居出土遺物（1/2、9 1/4）



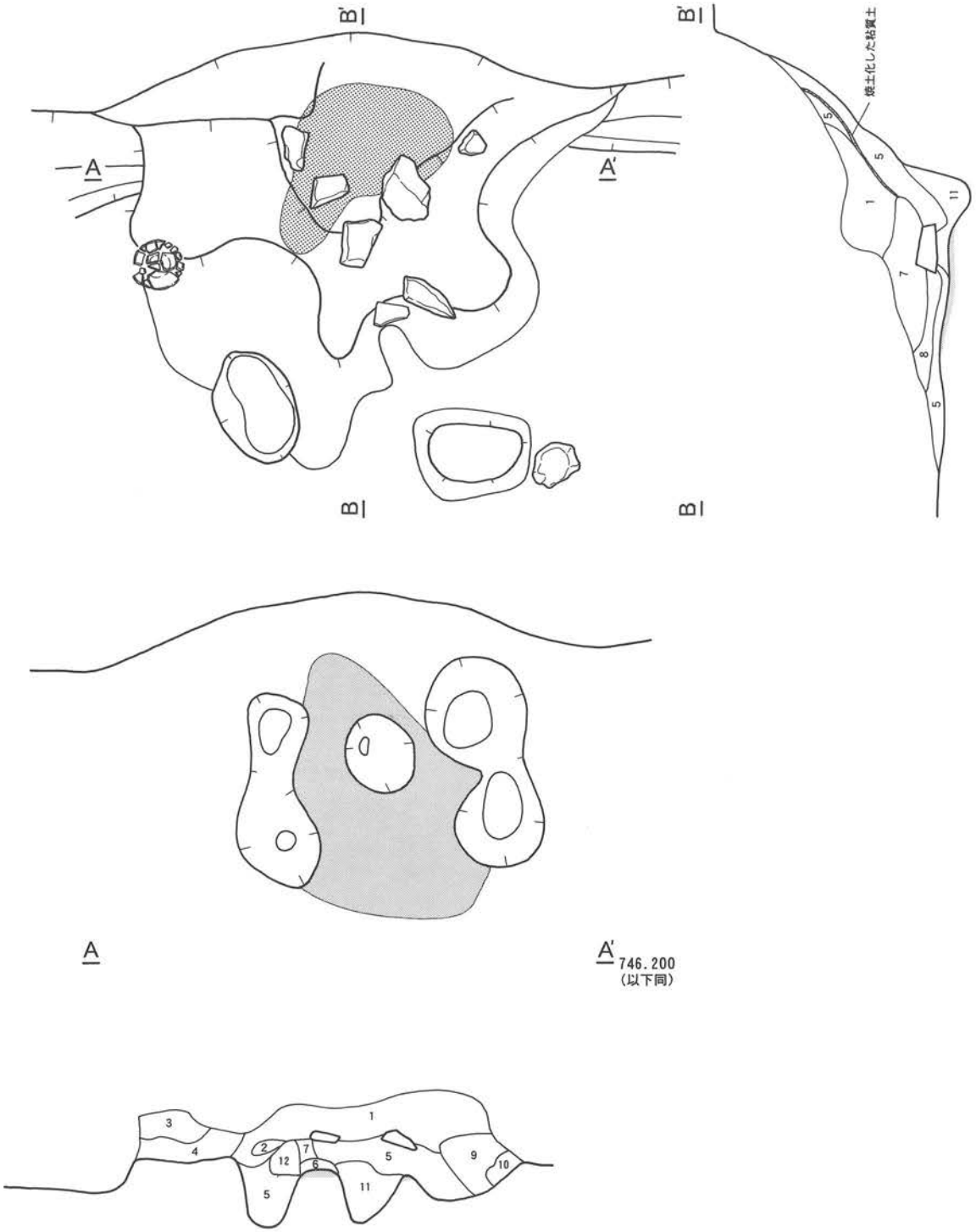
第202図　76号住居出土遺物（1/2、9 1/1）





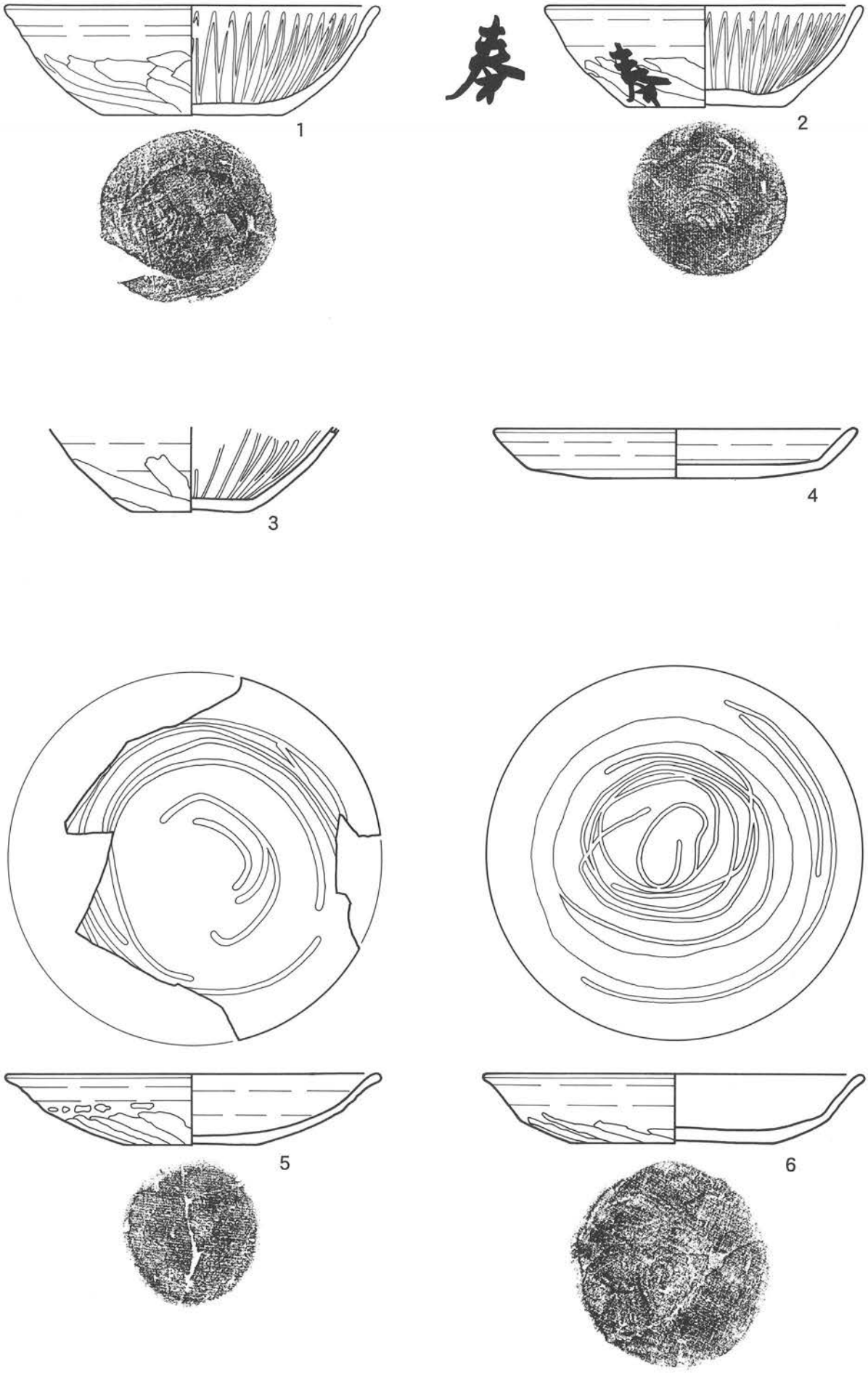
1層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 30%、10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 30%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR3/4(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR4/4(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 焼土に 10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 焼土に 10YR3/3(暗褐)が 3%、10YR4/4(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 焼土に 10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR2/1(黒)に 10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、10YR5/6(黄褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
19層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 カクラン。
21層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
22層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
23層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
24層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
25層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR3/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
26層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
27層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR4/4(褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
28層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 25%混じる。しまる。シルト粒土。
29層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
30層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、10YR3/3(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
31層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR3/3(暗褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
32層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
33層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR3/3(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
34層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
35層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 2%混じる。しまる。シルト粒土。
36層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
37層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 15%、10YR3/3(暗褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
38層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、10YR4/4(褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
39層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
40層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 15%、10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
41層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、10YR3/3(暗褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
42層 10YR4/4(褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
43層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
44層 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 20%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
45層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
46層 カマド覆土(カマド図面参照)
47層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 15%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/4(にぶい黄褐)。固くしまる。粘りのある土。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/3(暗褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。

第203図　77号住居（1/40）

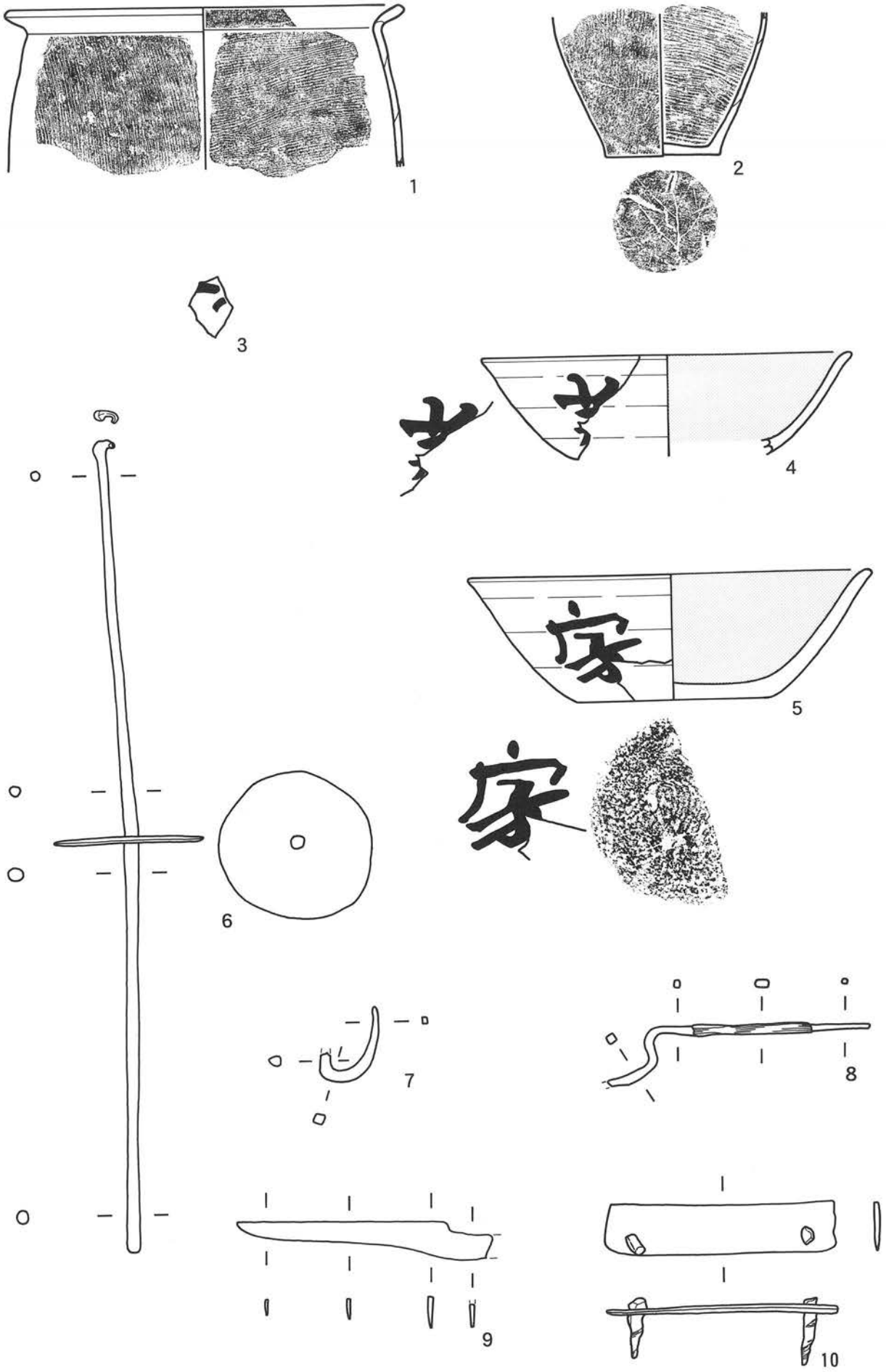


1層 5YR3/4(暗赤褐)に 7.5YR4/4(褐)が 20%、焼土が 3%混じる。ボロボロともろい。シルト粒土。
2層 5YR3/6(暗赤褐)に焼土が50%混じる。もろい。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)に 10YR4/4(褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 30%、7.5YR3/4(暗褐)が 20%、焼土が5%混じる。炭化物含む。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/6(暗赤褐)に 7.5YR4/4(褐)がブロックで 5%、7.5YR3/4(暗褐)細粒土が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 2.5YR4/8(赤褐)焼土に 5YR3/6(暗赤褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/6(褐)。固くしまる。細粒土。
8層 7.5YR3/4(暗褐)に 2.5YR4/8(赤褐)焼土が 30%混じる。固くしまる。細粒土。
9層 10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 40%混じる。固くしまる。細粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 30%、10YR4/6(褐)が 20%混じる。固くしまる。細粒土。
11層 5YR3/6(暗赤褐)に焼土がブロックで 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 焼土が固くしまる。シルト粒土。

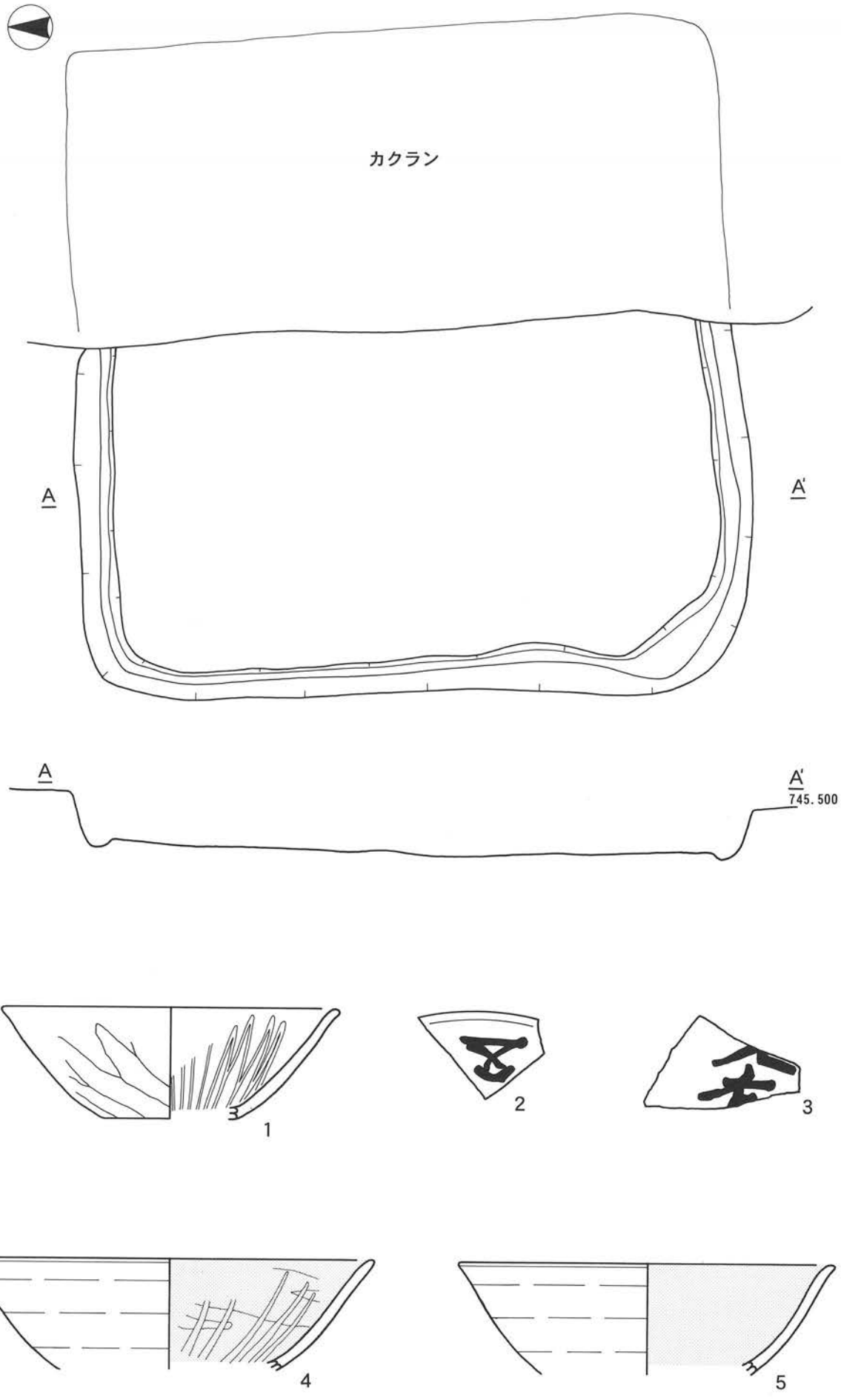
第204図　77号住居カマド（1/20）



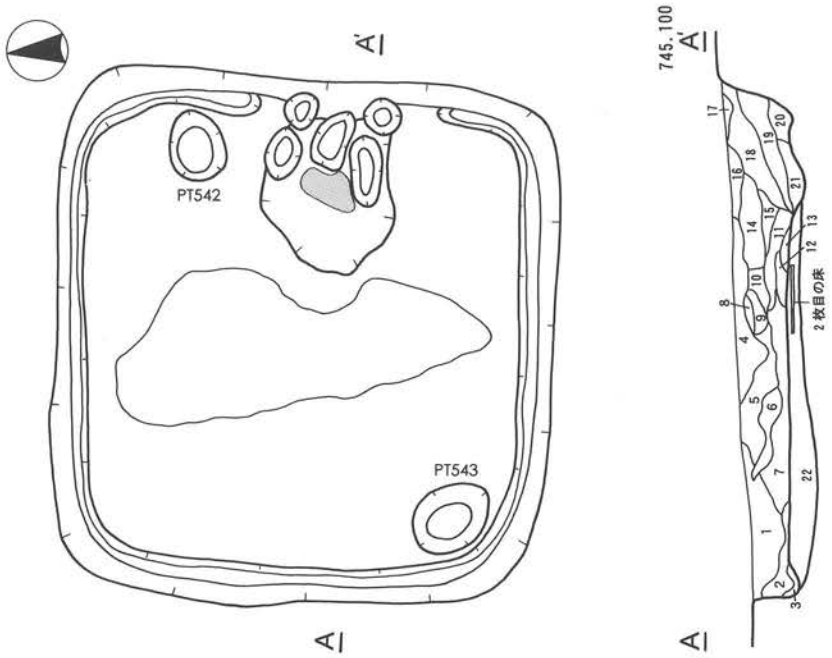
第205図　77号住居出土遺物（1/2）



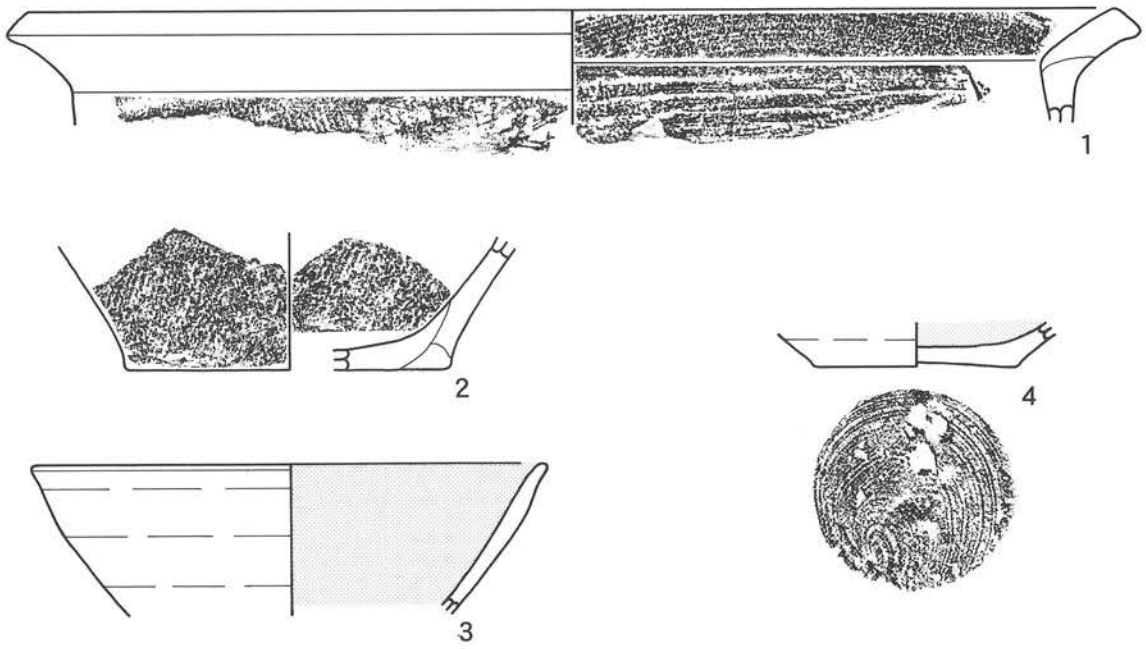
第206図　77号住居出土遺物（1/2、1・2 1/4）



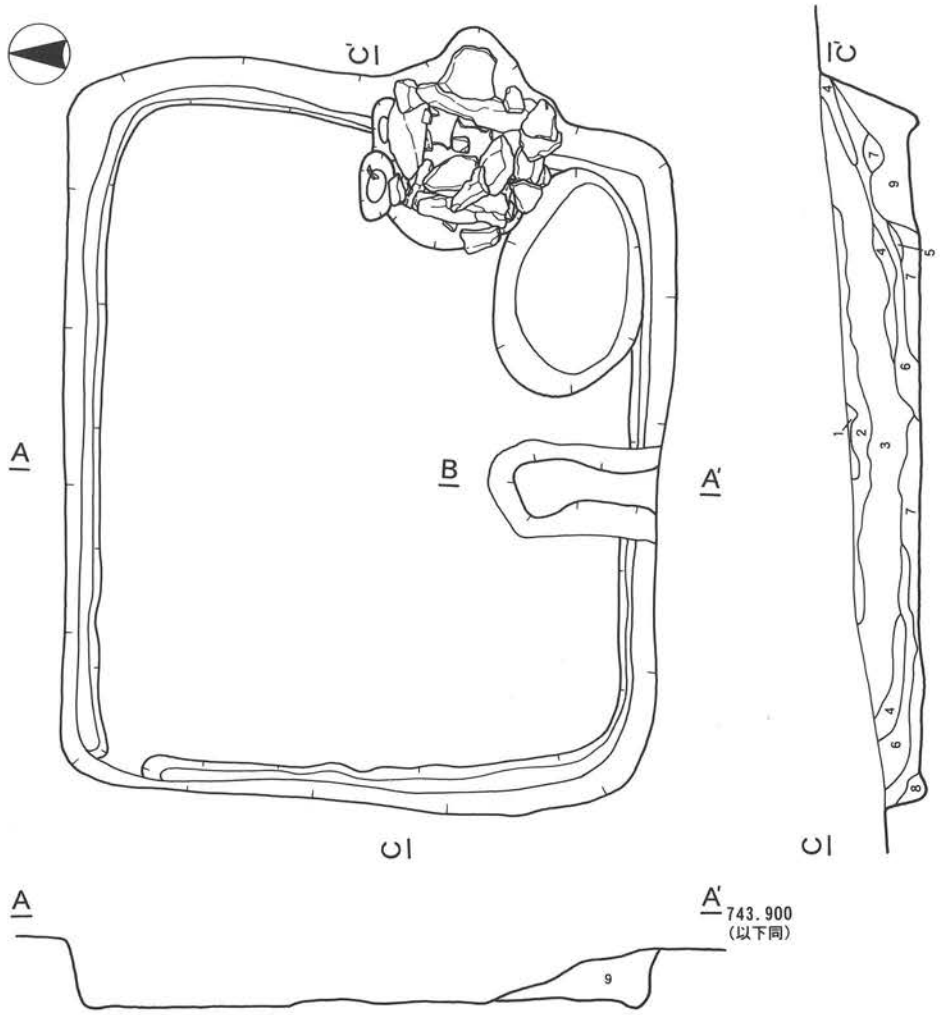
第207図　78号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



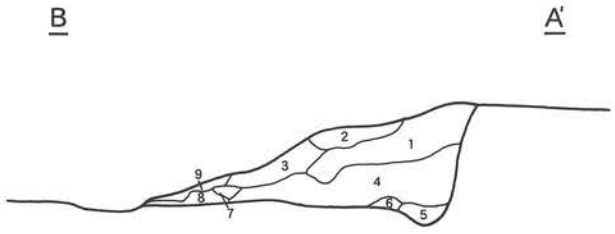
1層 カクラン。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6(褐)。しまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 15%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR2/2(黒褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、10YR3/4(暗褐)が 7%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、炭化物 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%、炭化物 1%未満混じる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 3%、10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%、10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、10YR2/2(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 3%、炭化物・焼土が 1%混じる。シルト粒土。
19層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)がブロック状で 5%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)がブロック状で 3%混じる。しまる。シルト粒土。
21層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)がブロック状で 2%、焼土が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
22層 10YR5/6(黄褐)。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。



第208図　79号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

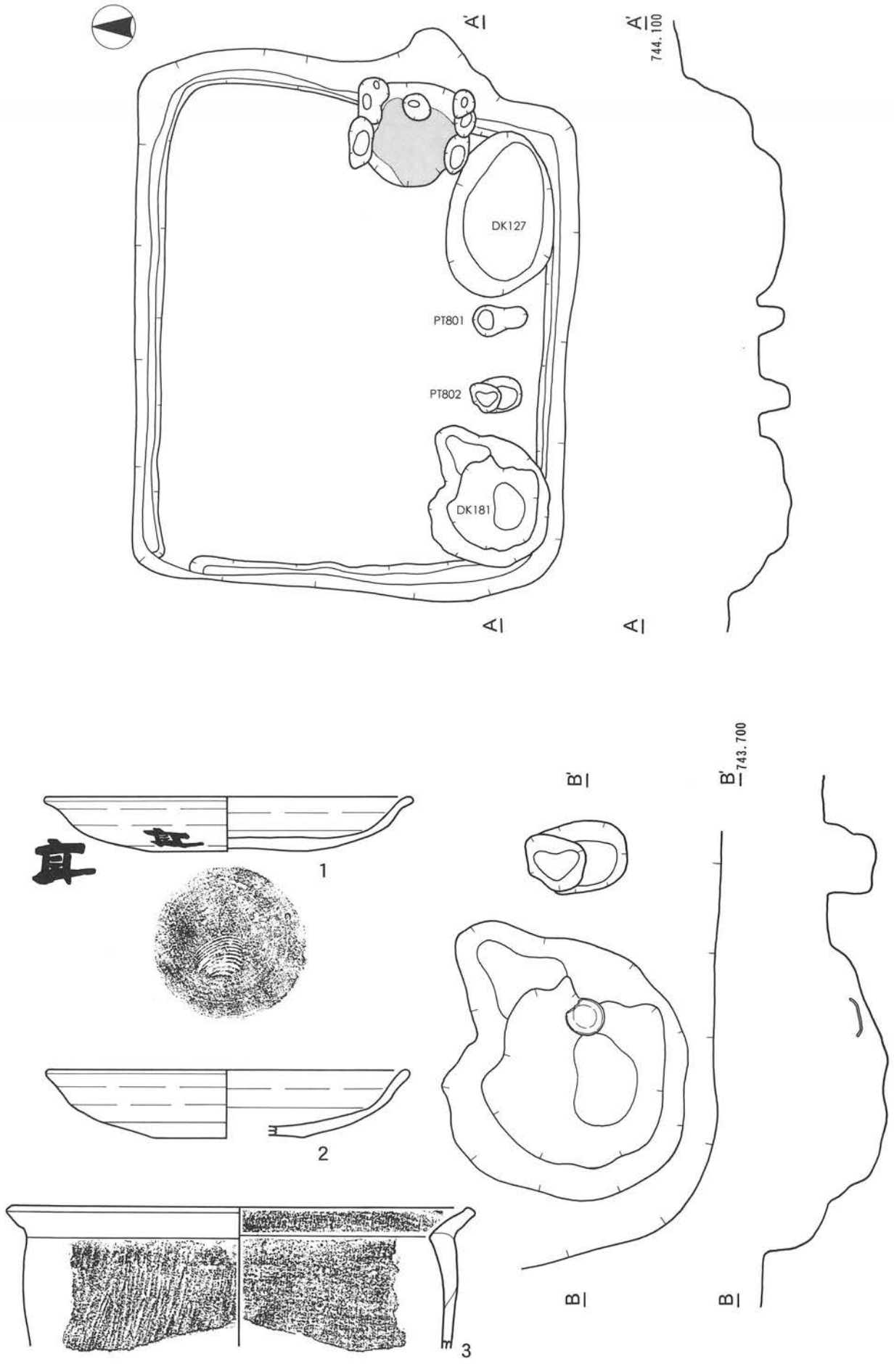


1層 カクラン。
2層 10YR2/3(黒褐)に 7.5YR4/4(褐)が 5%混じる。焼土・炭化物含む。固くしまる。細粒土。
3層 10YR3/3(暗褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、7.5YR4/4(褐)が 1%、10YR4/6(褐)が 1～3mm で 1%未満点在。焼土・炭化物含む。固くしまる。細粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。炭化物・焼土含む。非常に固くしまる。細粒土。
5層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%全体に混じる。固くしまる。細粒土。
6層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 20%、10YR2/3(黒褐)が 30%、10YR4/4(褐)が 5%混じる。固くしまる。細粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 30%、10YR4/4(褐)が 10%混じる。炭化物・焼土含む。固くしまる。細粒土。
8層 10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 10%混じる。ややしまる。細粒土。
9層 (カマド覆土)
床面 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 40%斑状に混じる。焼土・炭化物含む。非常に固くしまる。細粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR4/4(褐)が 40%斑状に混じる。固くしまる。細粒土。

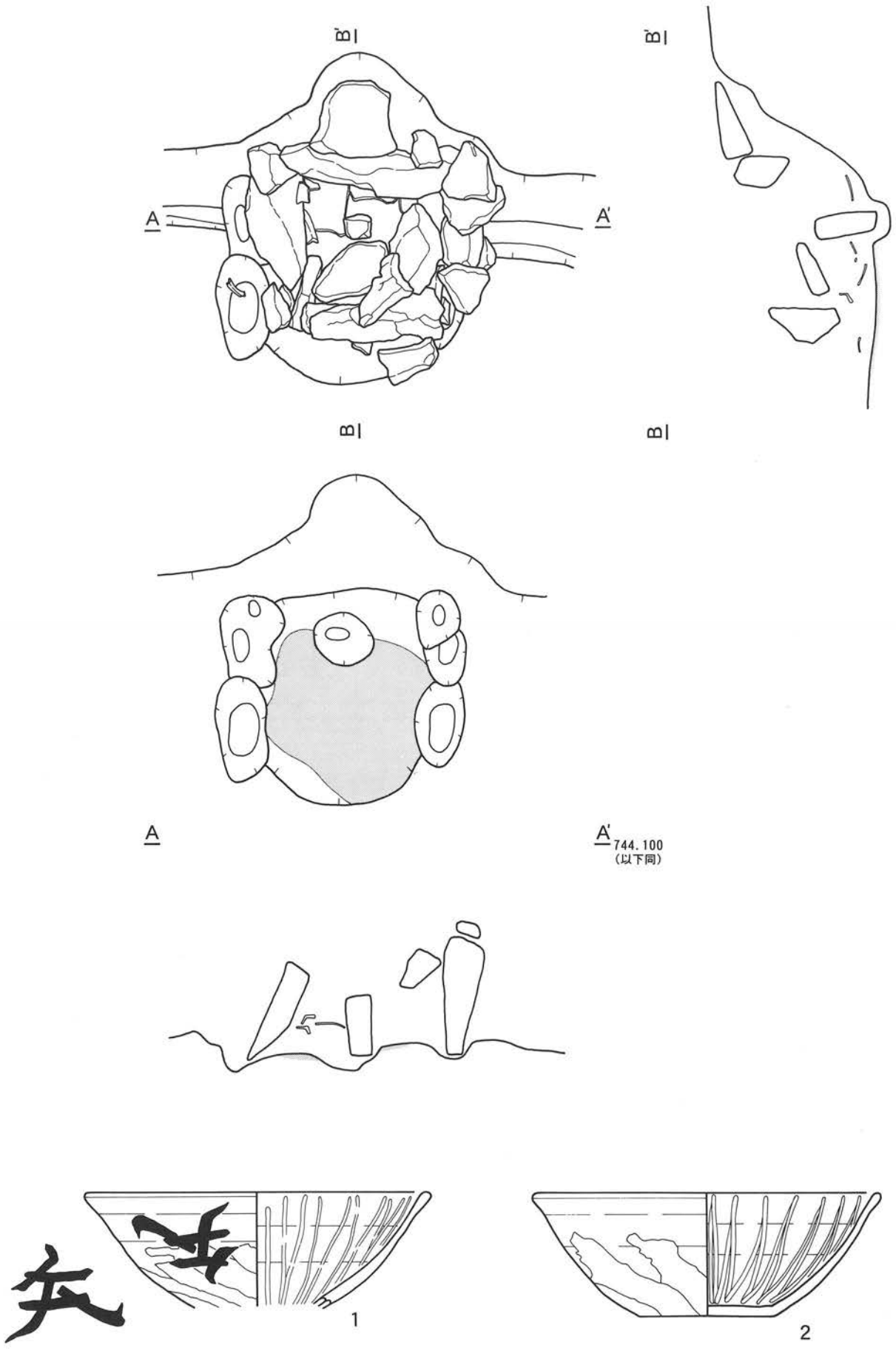


1層 10YR5/6(黄褐)粒子～5mm 大の小ブロックに 10YR2/2(黒褐)の粒子が全体に 25%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR5/6(黄褐)粒子～10mm 大の小ブロックに 10YR2/2(黒褐)の粒子がまだらに 30%、焼土が 5mm 大の小ブロックで 1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR5/6(黄褐)粒子～5mm 大の小ブロックに 10YR2/2(黒褐)の粒子が全体に 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)の粒子に 10YR5/6(黄褐)が粒子～5mm 大の小ブロックで 20%、炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/2(黒褐)の粒子が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/2(黒褐)の粒子が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR5/6(黄褐)粒子に 10YR2/2(黒褐)の粒子がまだらに 40%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR5/6(黄褐)粒子～3mm 大の小ブロックに 10YR2/2(黒褐)の粒子が全体に 30%混じる。3 層と同じだが、黄褐のブロックが 3 層より小さい。非常に固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR5/6(黄褐)粒子～20mm のブロックに、10YR2/2(黒褐)粒子が 20%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)。

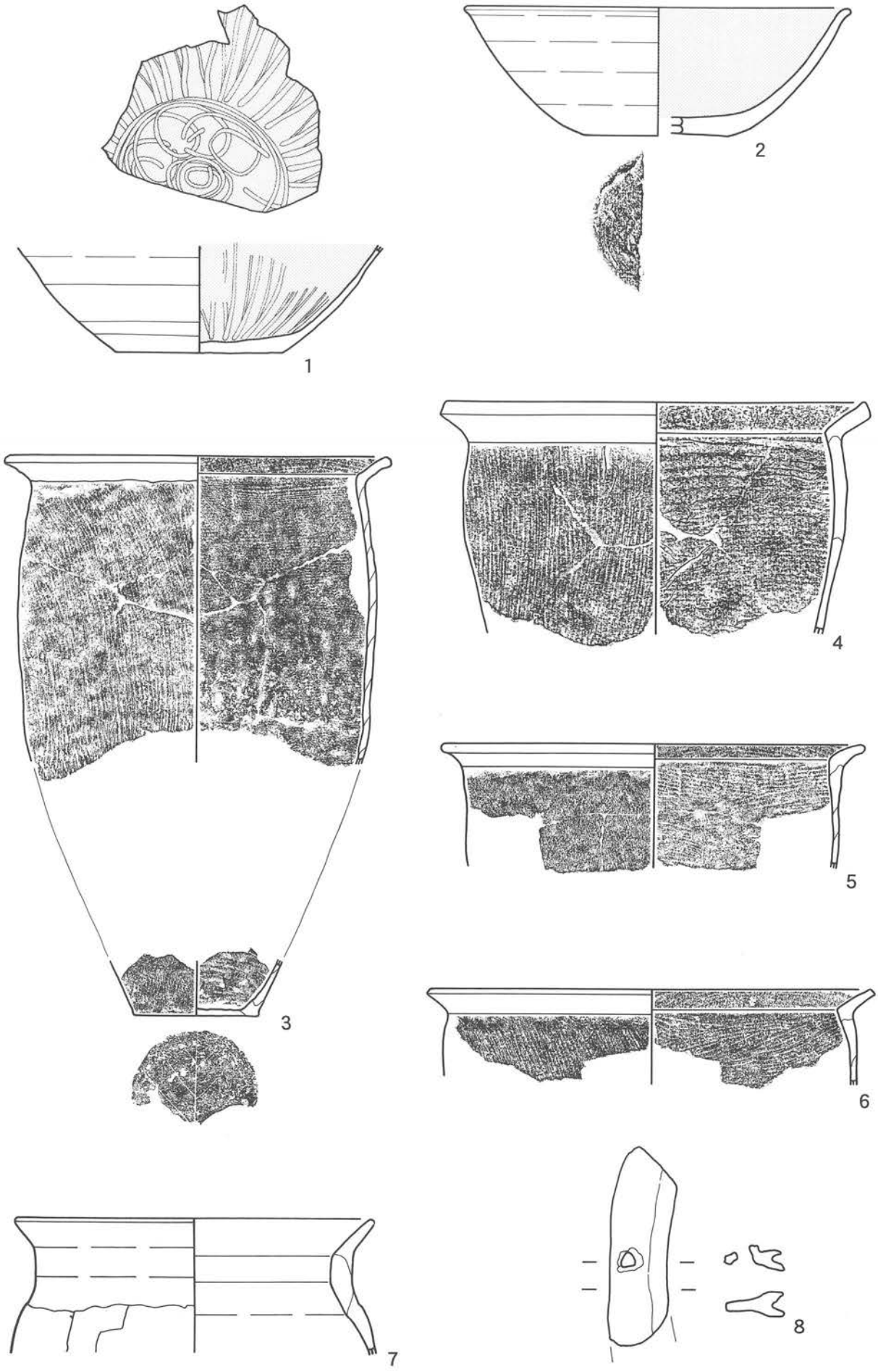
第209図　80号住居（1/40）　出入口施設（1/20）



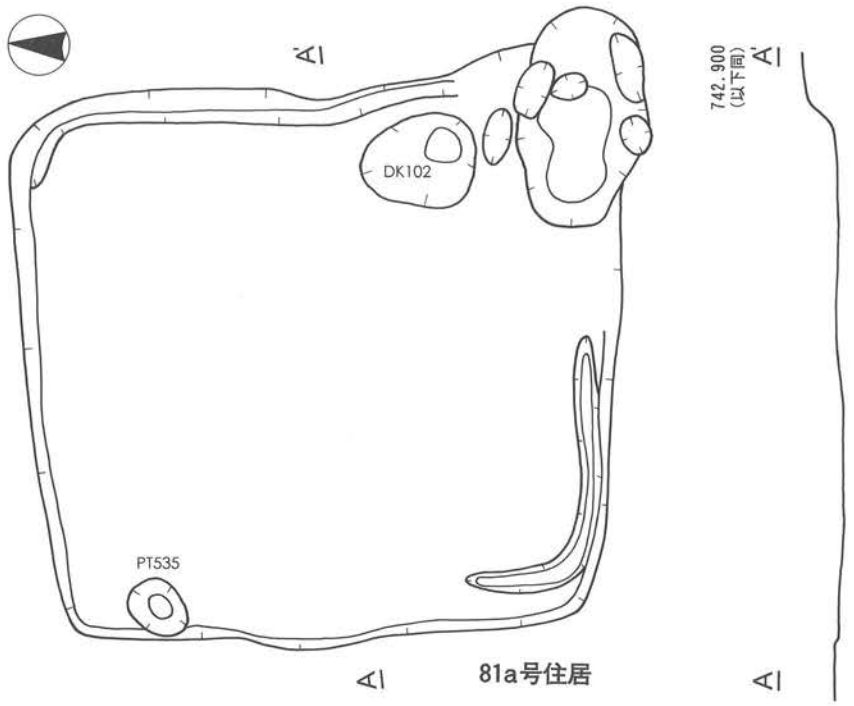
第210図　80号住居（1/40）および出土遺物（1/2）　181号土坑（1/20）

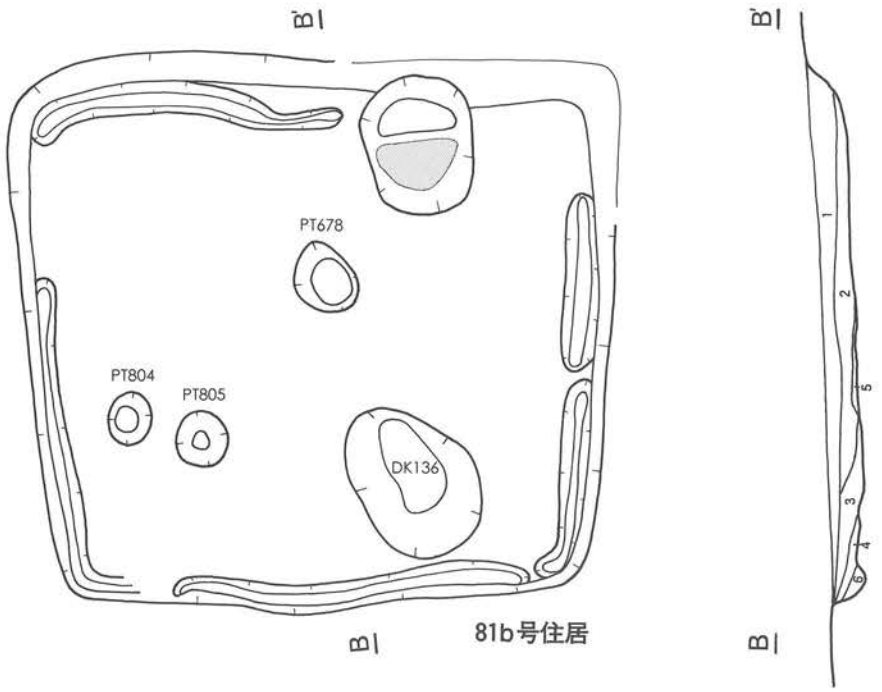


第211図　80号住居カマド（1/20）　80号住居出土遺物（1/2）

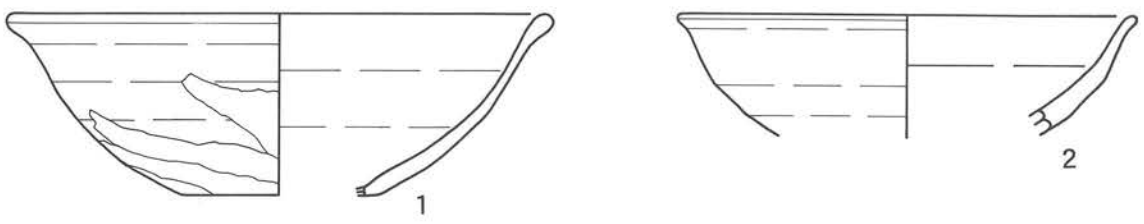


第212図　80号住居出土遺物（1/2、3・5・6 1/4）

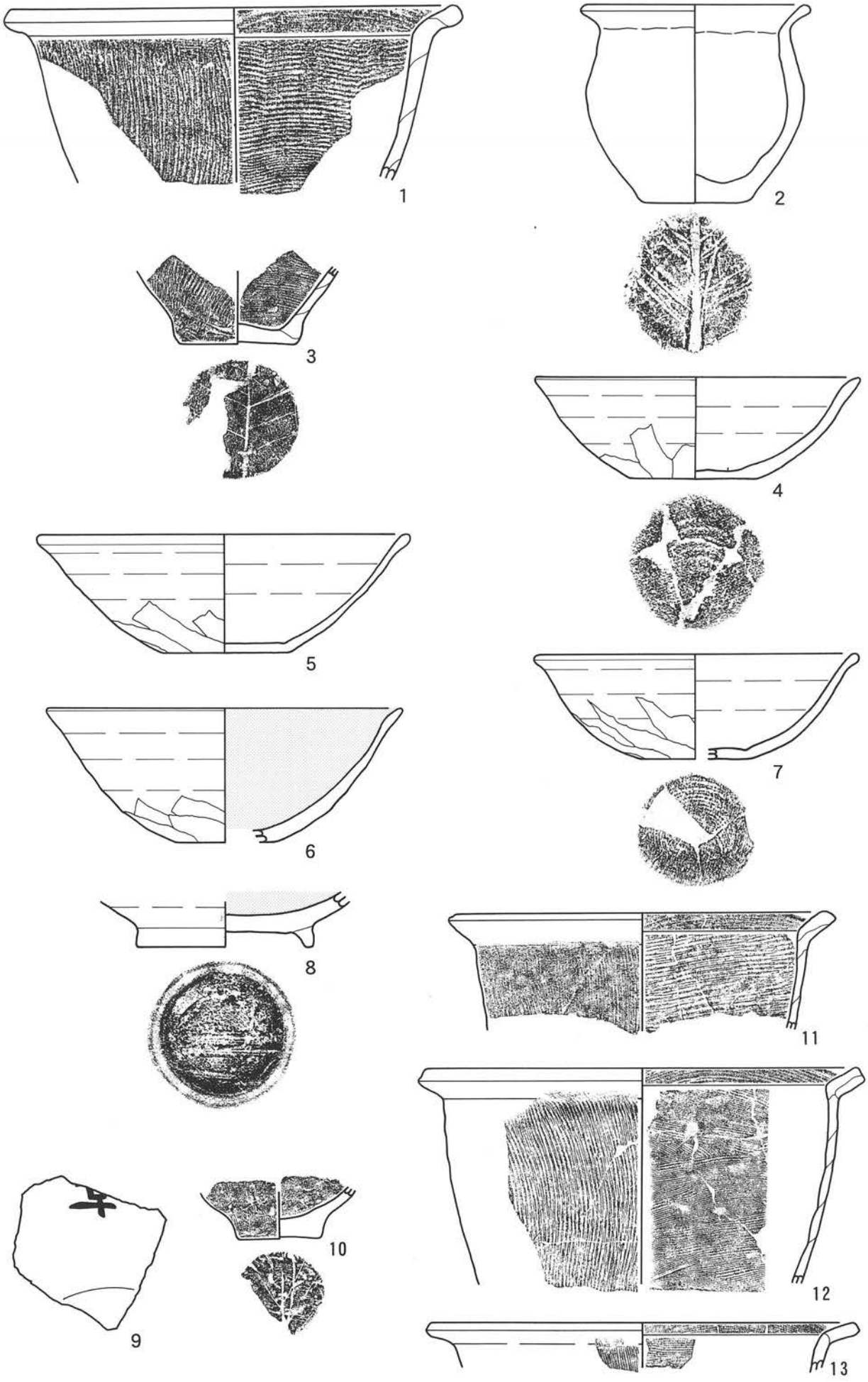




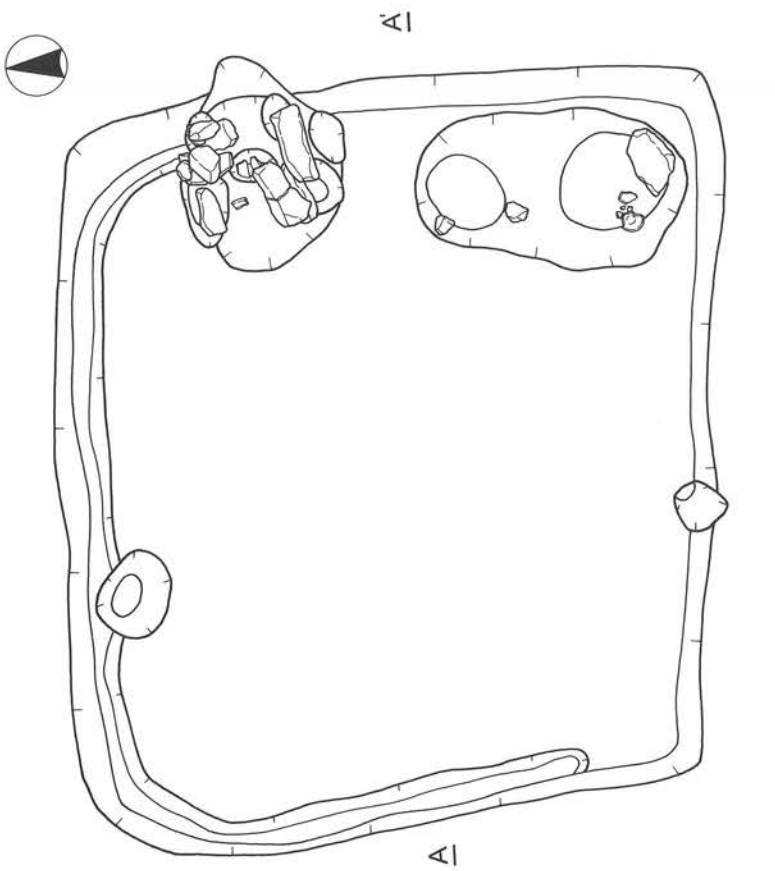
1層 81a 号住居覆土。シルト粒土。
2層 10YR5/6(黄褐)。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR2/2(黒褐)が 2%混じる。粘土が少々混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 2%混じる。焼土と炭化物が少し混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/6(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR4/4(褐)。固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6。固くしまる。シルト粒土。

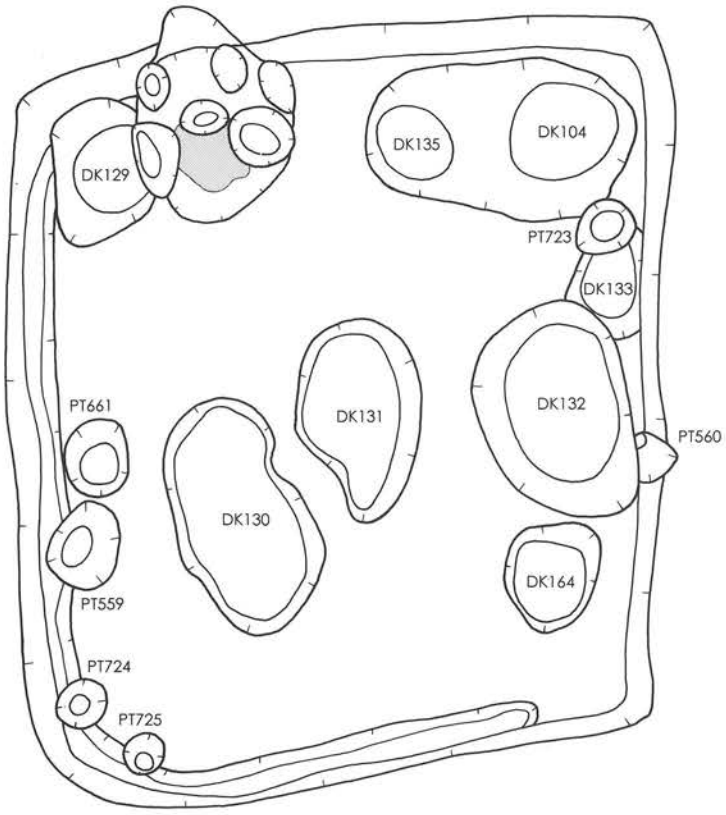


第213図　81号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



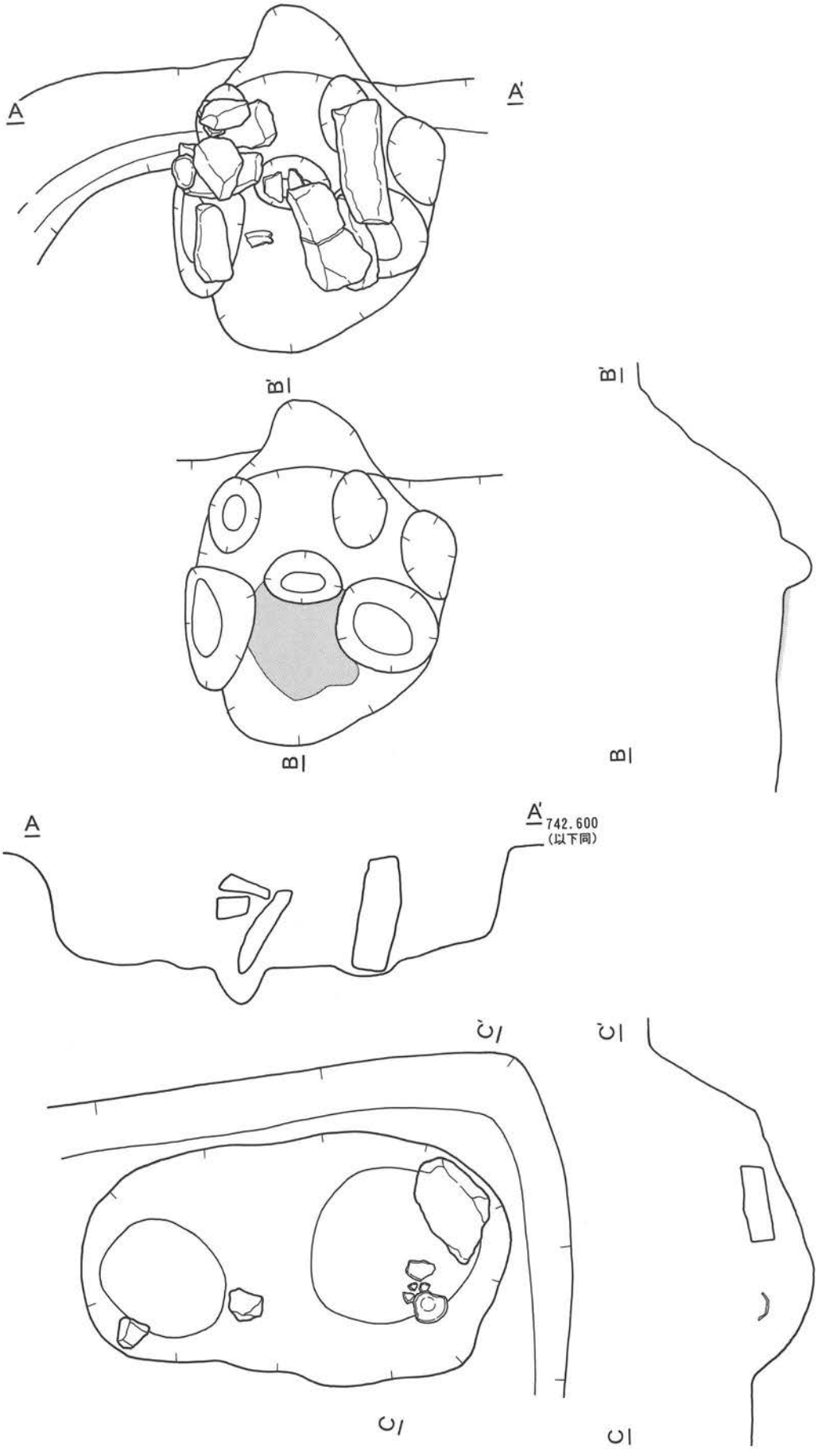
第214図　81号住居出土遺物（1/2、3・10～13 1/4）



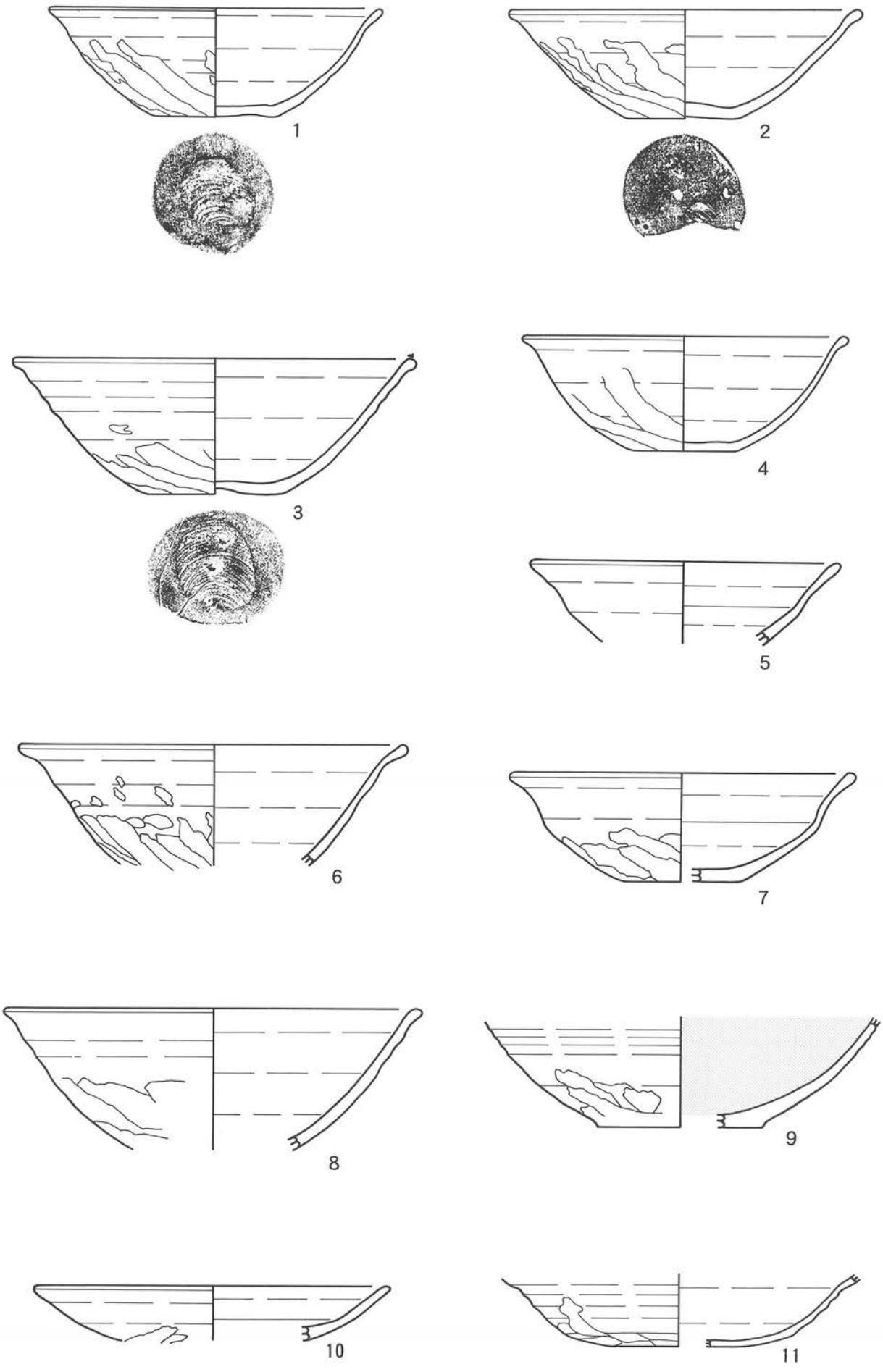


1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%、炭化物が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 3%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%、焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 1%、炭化物・焼土が 1%未満混じる。しまる。シルト粒土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR2/3(黒褐)が 2%混じる。しまる。シルト粒土。

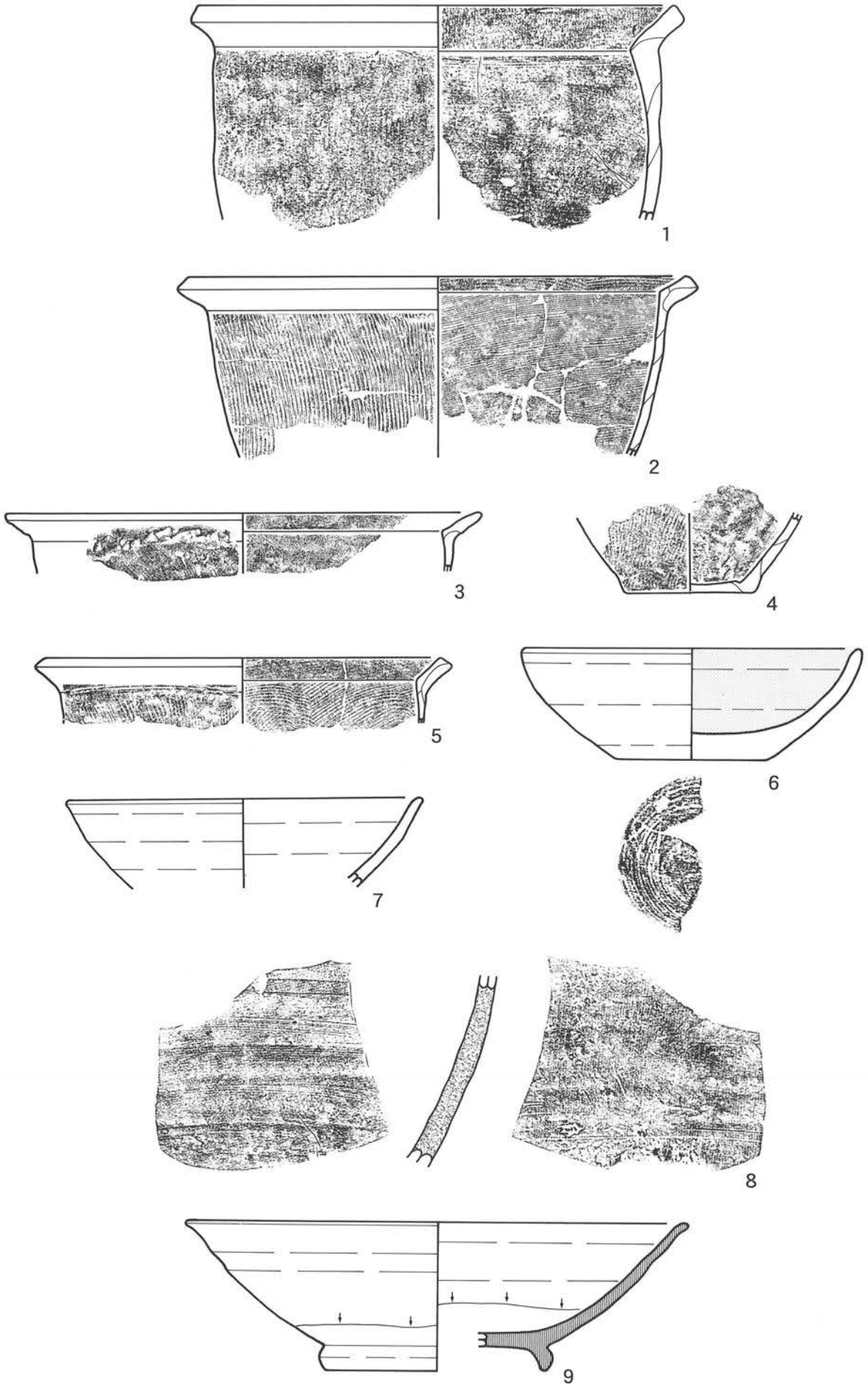
第215図　82号住居（1/40）



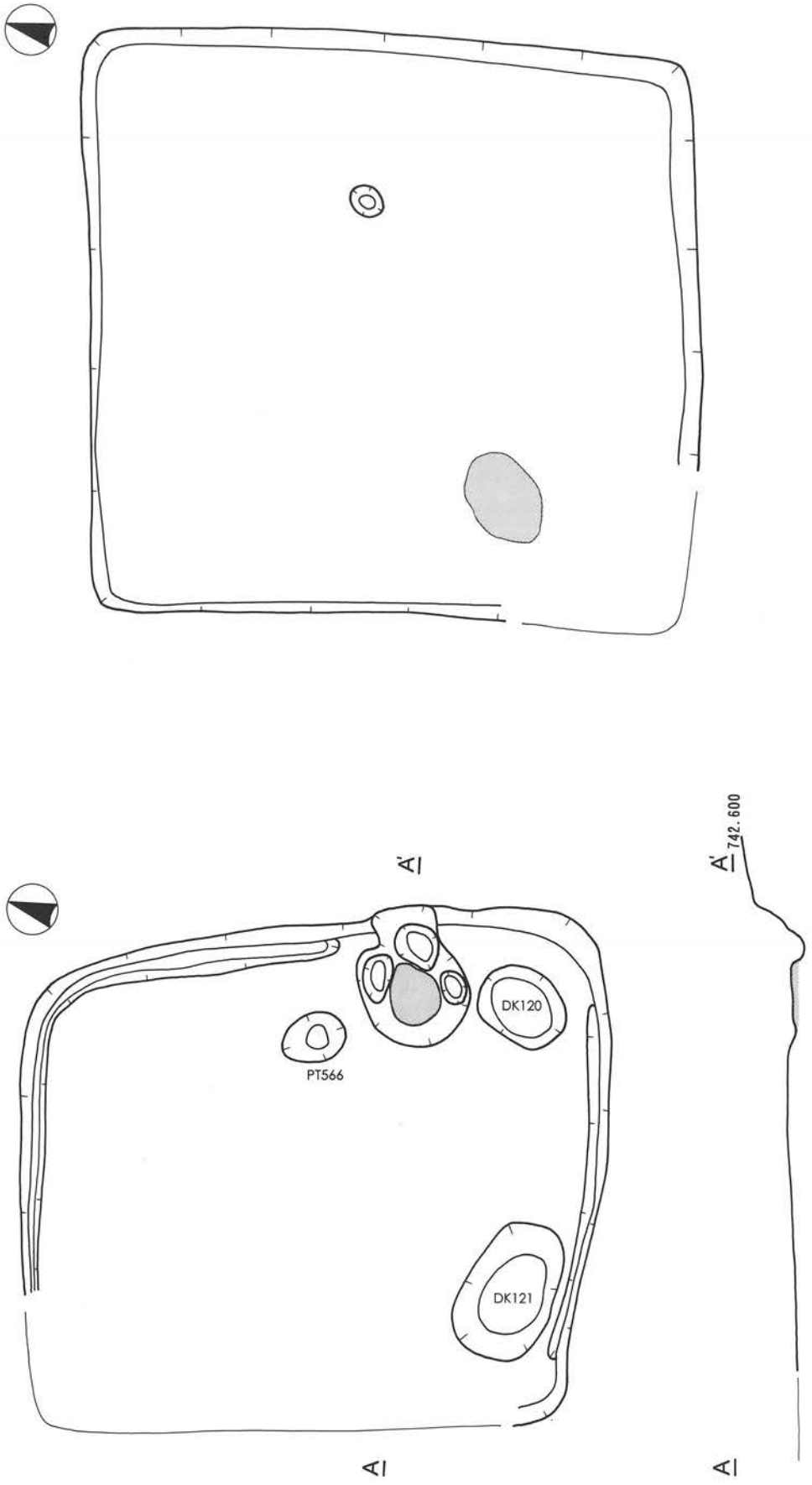
第216図　82号住居カマド（1/20）　104号土坑（1/20）



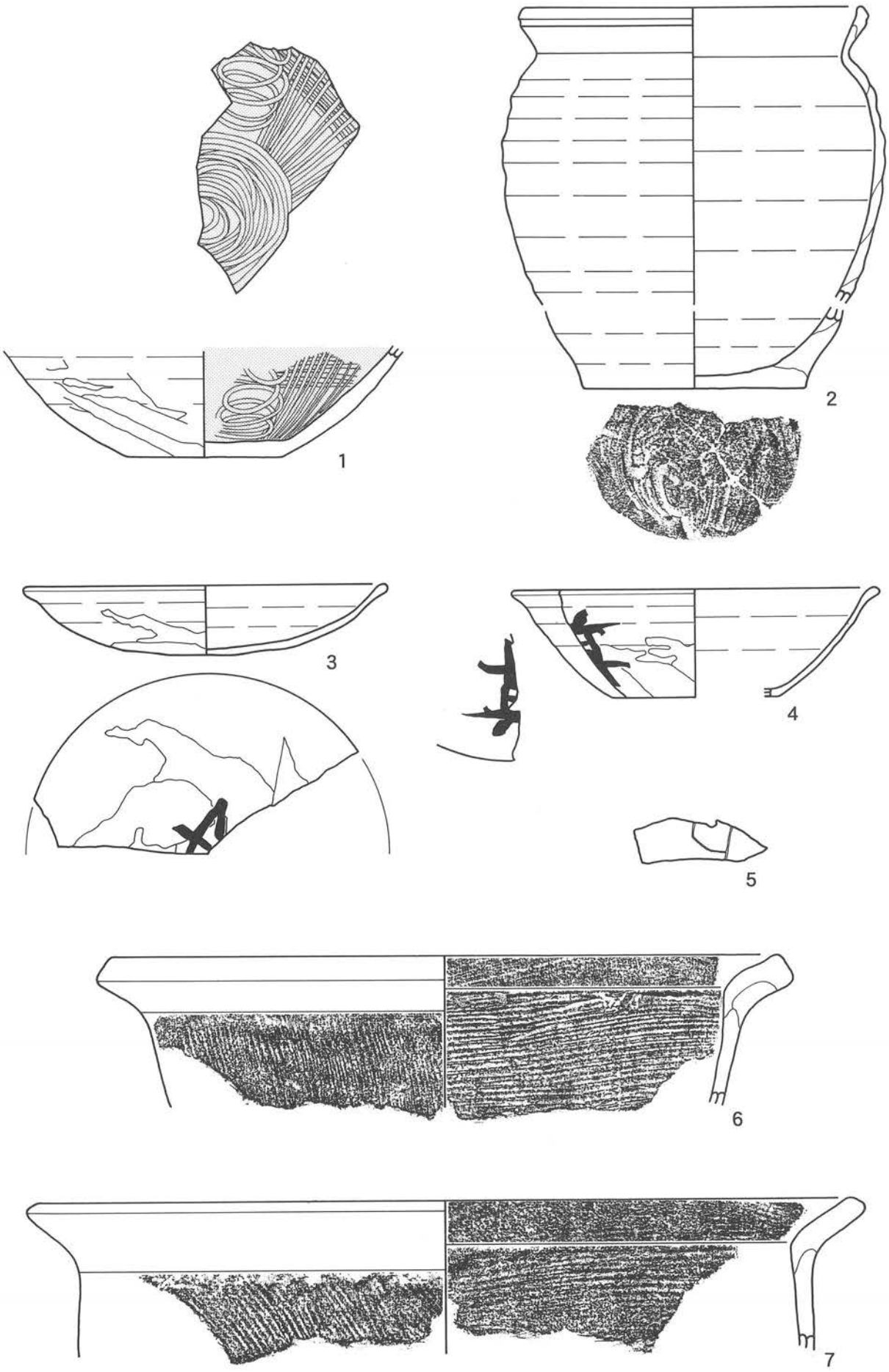
第217図　82号住居出土遺物（1/2）



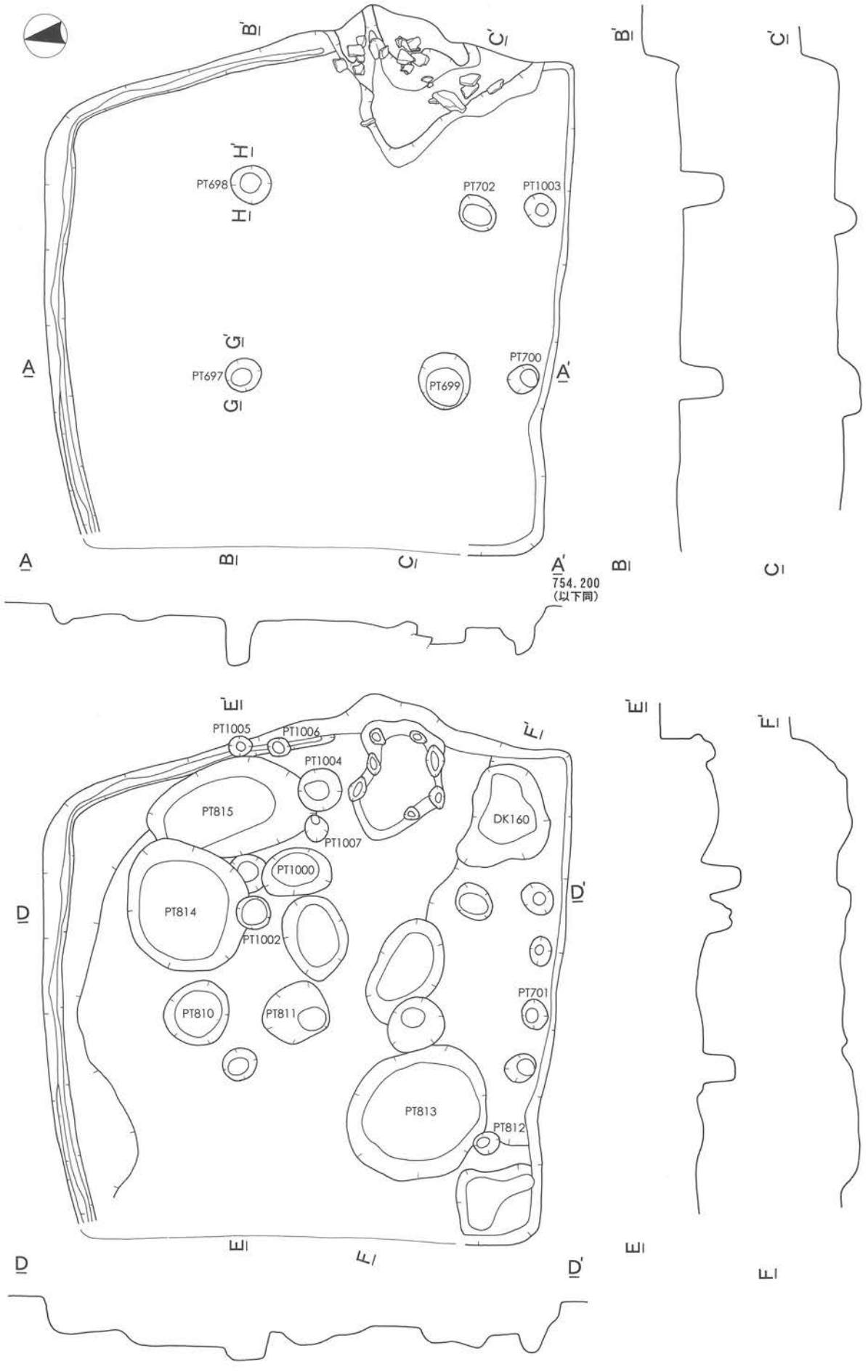
第218図　82号住居出土遺物（1/2、2～5 1/4）



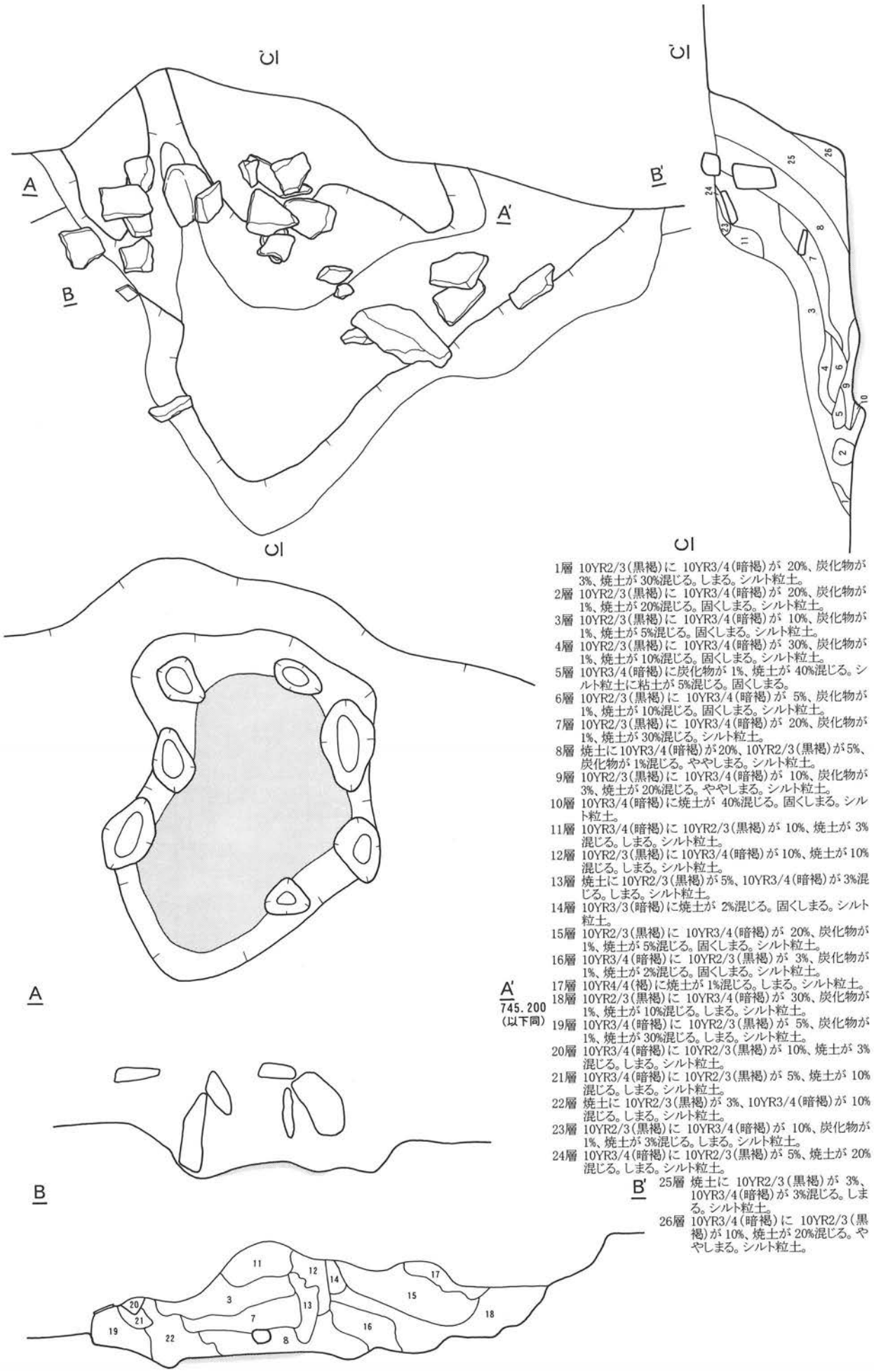
第219図　83号住居（上 1/40）　84号住居（下 1/40）



第220図　83号（1）・84号（2～7）住居出土遺物（1/2）



第221図　85号住居（1/60）



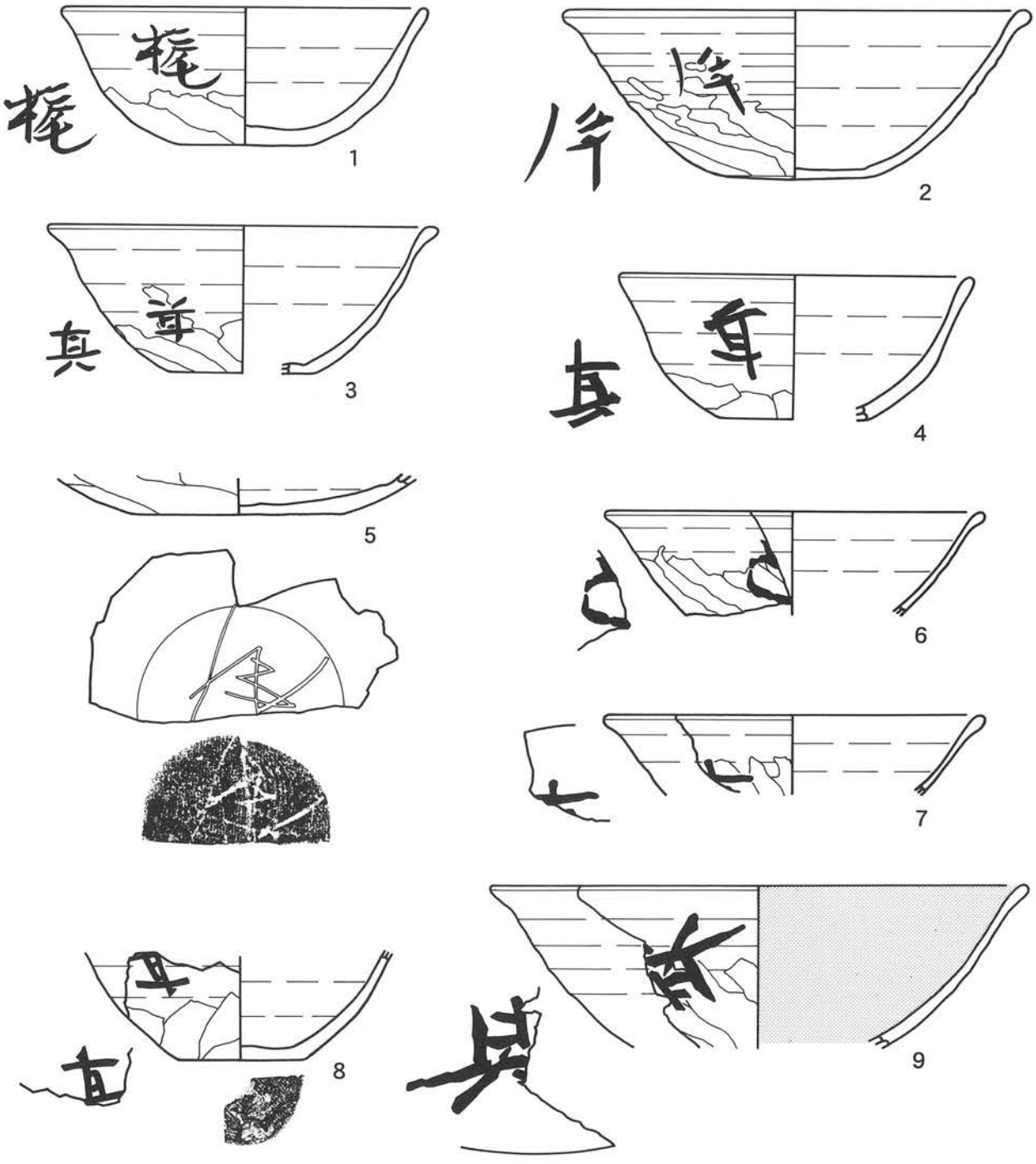
1層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が3%、焼土が30%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が1%、焼土が20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が1%、焼土が5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、炭化物が1%、焼土が10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に炭化物が 1%、焼土が 40%混じる。シルト粒土に粘土が 5%混じる。固くしまる。
6層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 5%、炭化物が1%、焼土が10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が1%、焼土が30%混じる。シルト粒土。
8層 焼土に10YR3/4(暗褐)が20%、10YR2/3(黒褐)が5%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が3%、焼土が20%混じる。ややしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に焼土が 40%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 焼土に 10YR2/3(黒褐)が 5%、10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/3(暗褐)に焼土が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 20%、炭化物が1%、焼土が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 3%、炭化物が1%、焼土が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR4/4(褐)に焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 30%、炭化物が1%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
19層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、炭化物が1%、焼土が 30%混じる。しまる。シルト粒土。
20層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
21層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
22層 焼土に 10YR2/3(黒褐)が 3%、10YR3/4(暗褐)が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
23層 10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 10%、炭化物が1%、焼土が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
24層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 5%、焼土が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
25層 焼土に 10YR2/3(黒褐)が 3%、10YR3/4(暗褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
26層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/3(黒褐)が 10%、焼土が 20%混じる。ややしまる。シルト粒土。

第222図　85号住居カマド（1/20）

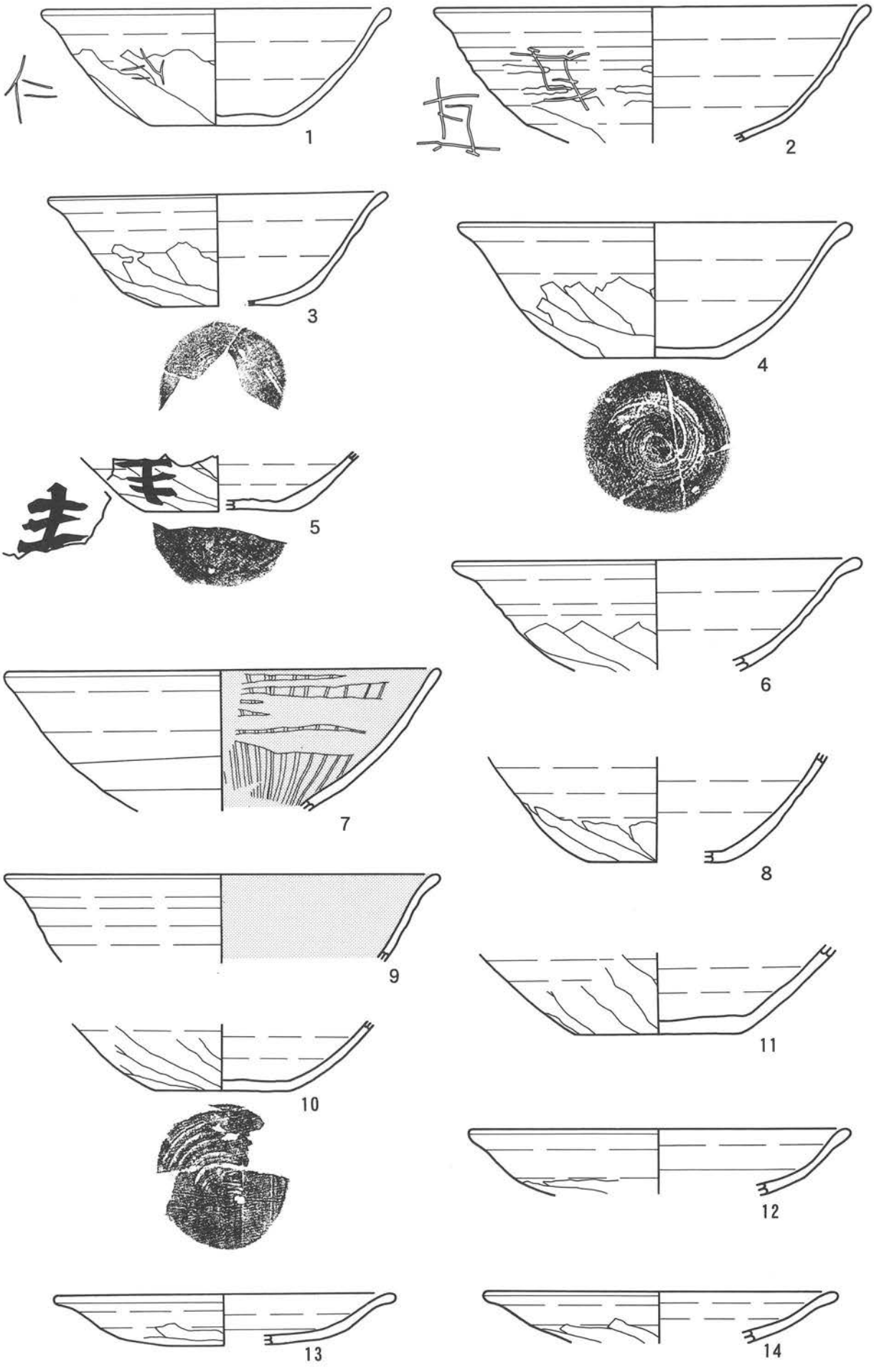
744.700
（以下同）

1層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%、炭化物が2%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が50%混じる。ややしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が30%混じる。ややしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が40%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に10YR2/2(黒褐)が20%混じる。固くしまる。シルト粒土。

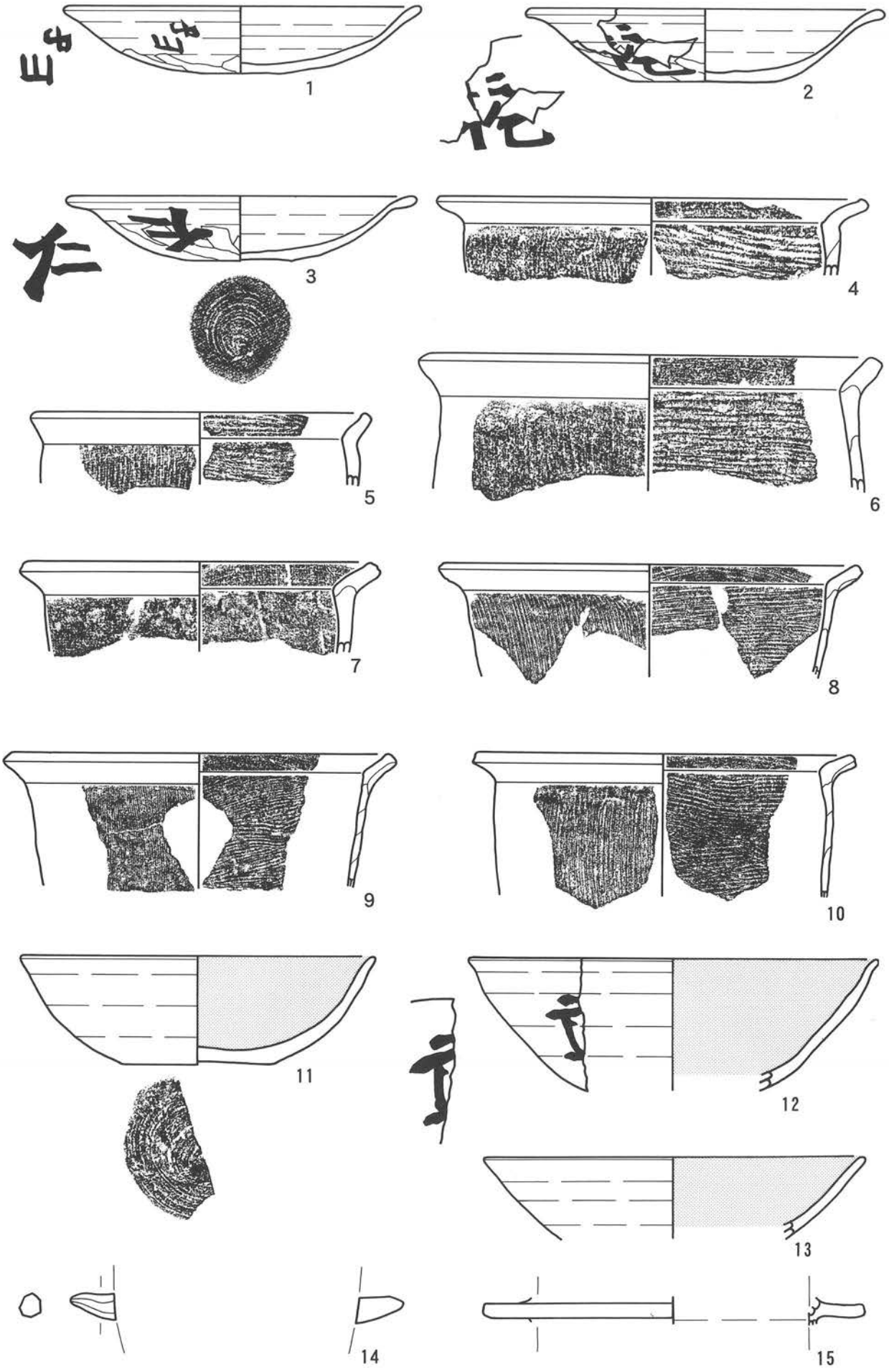
1層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が40%、炭化物が1%、焼土が1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が40%、炭化物が1%、焼土が2%混じる。固くしまる。粘土が20%、他はシルト粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%、炭化物が1%混じる。ややしまる。粘土が10%、他はシルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が20%混じる。ややしまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4(暗褐)に10YR2/2(黒褐)が10%、焼土が1%混じる。固くしまる。シルト粒土。



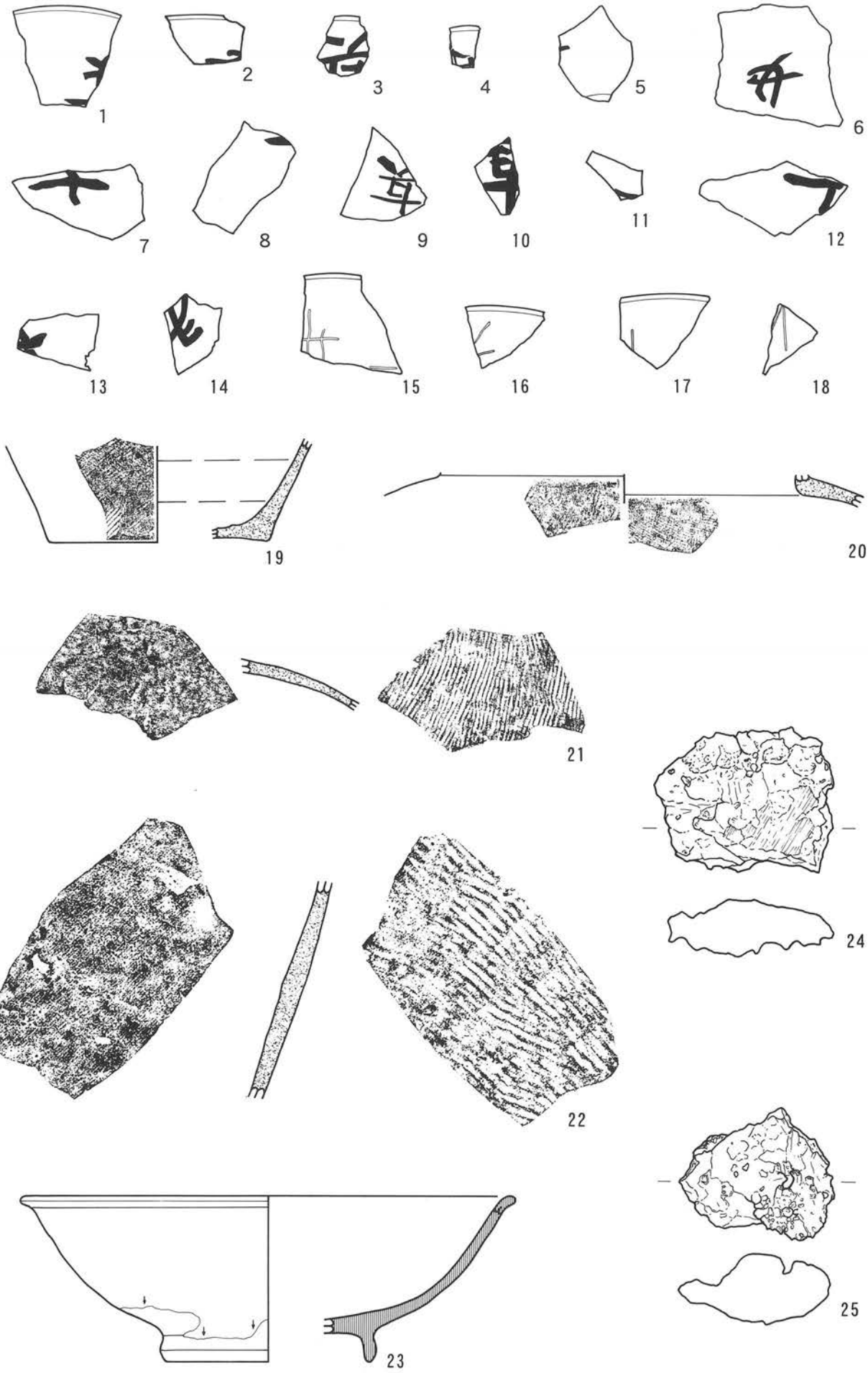
第223図　85号住居出土遺物（1/2）



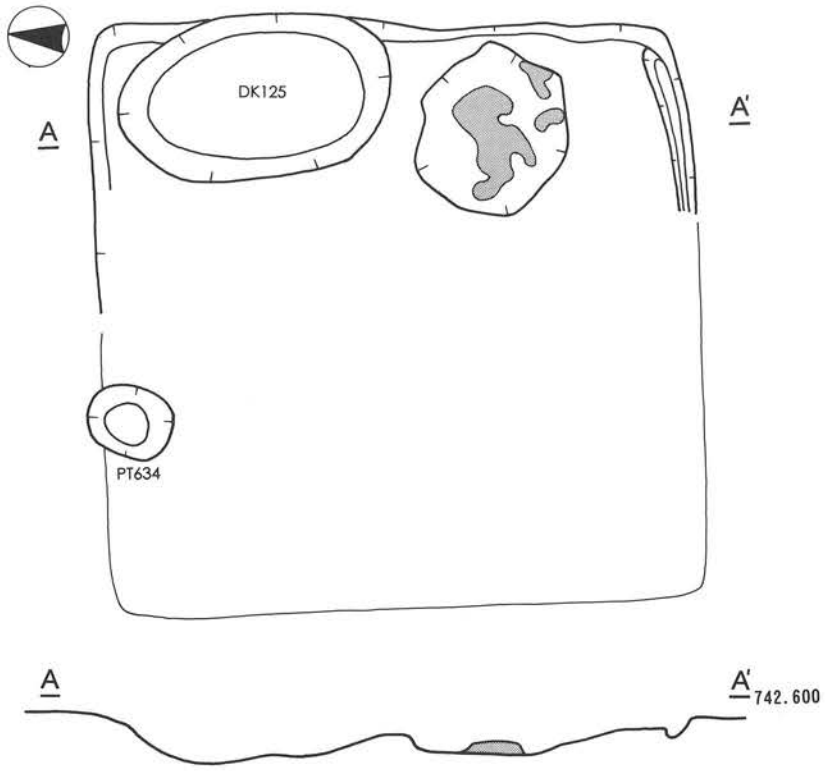
第224図　85号住居出土遺物（1/2）

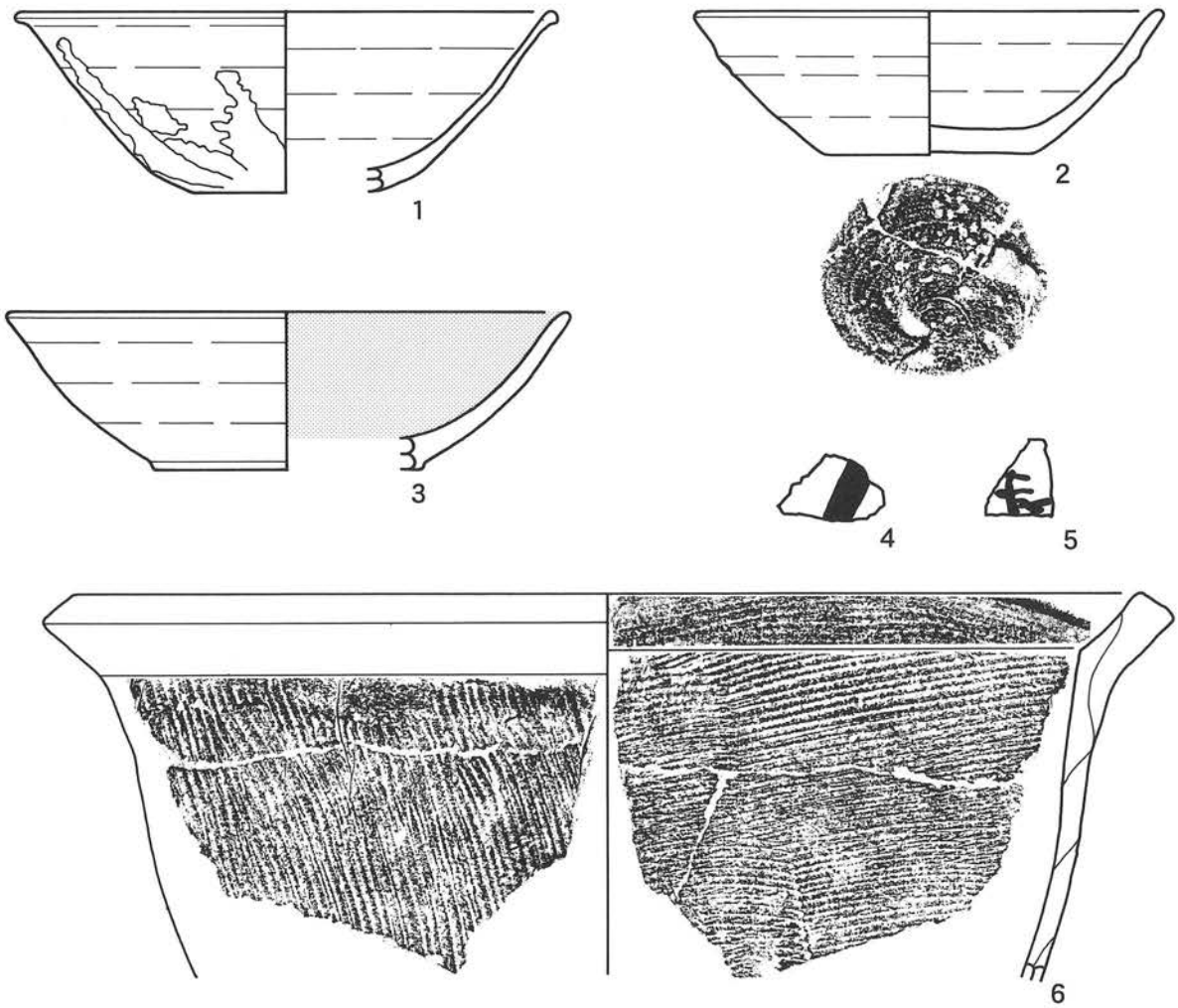


第225図　85号住居出土遺物（1/2、8～10・15 1/4）

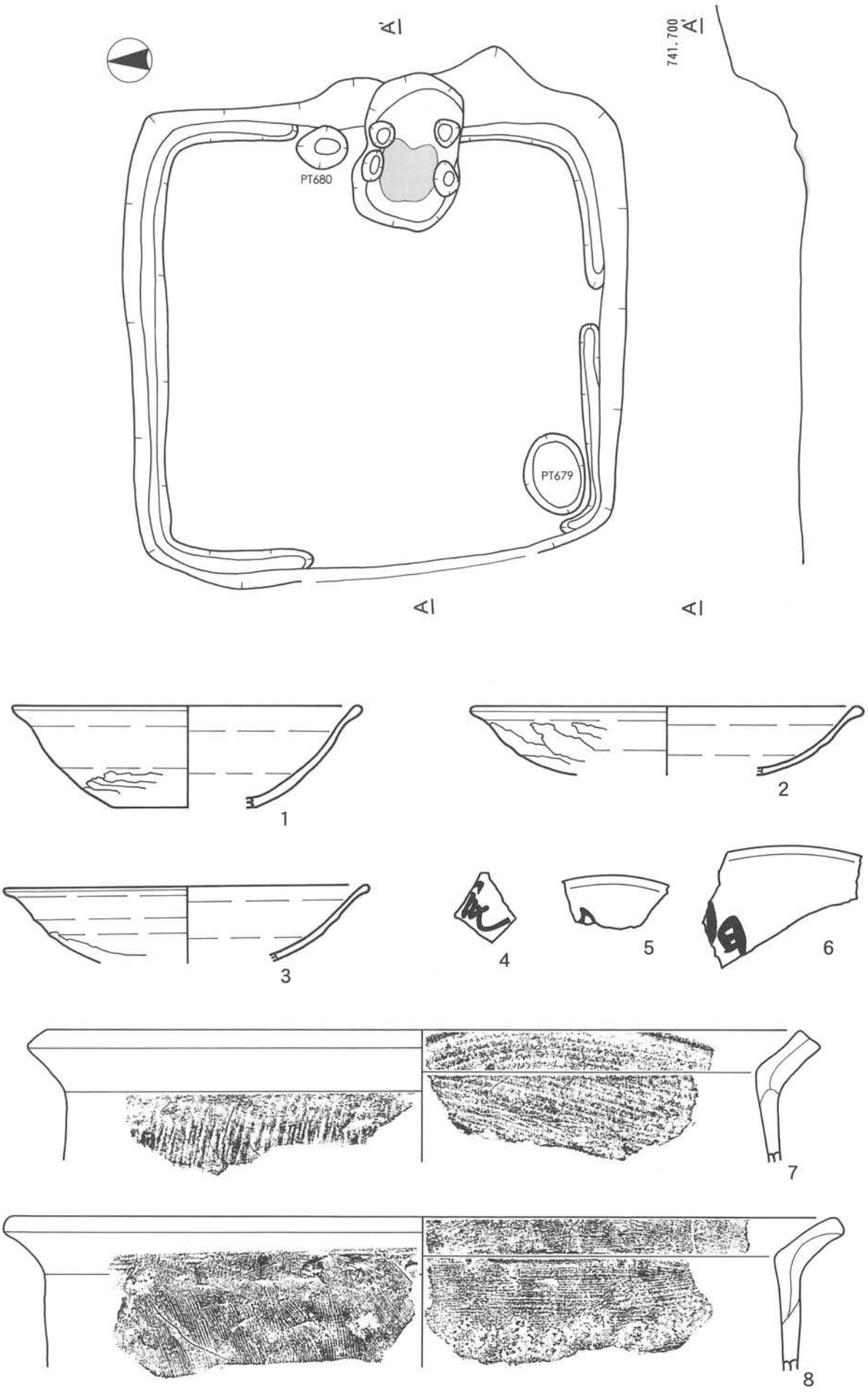


第226図　85号住居出土遺物（1/2、19～21 1/4）

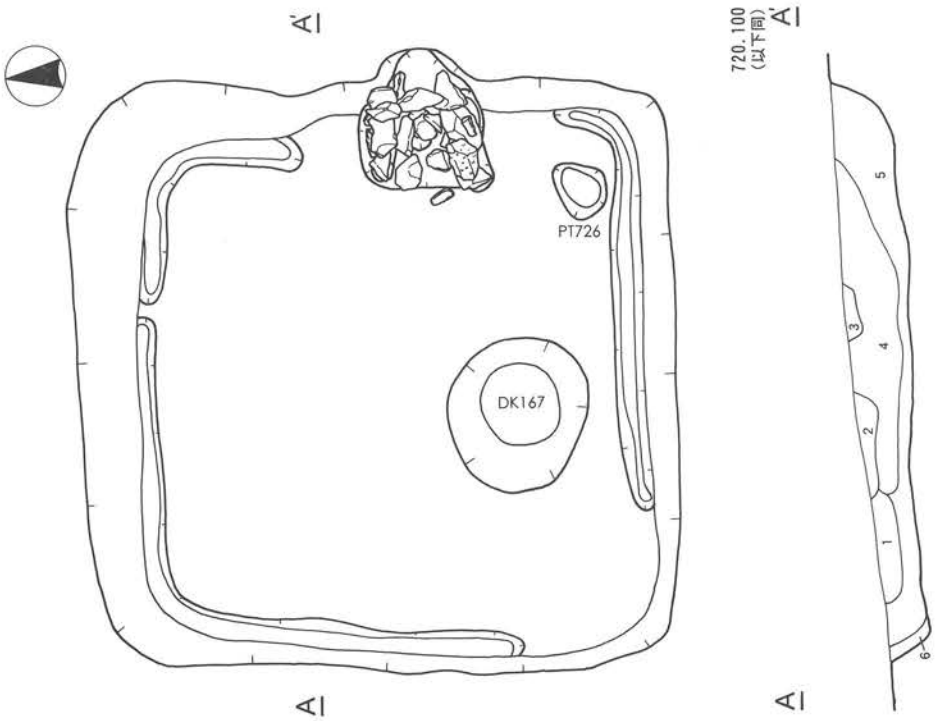




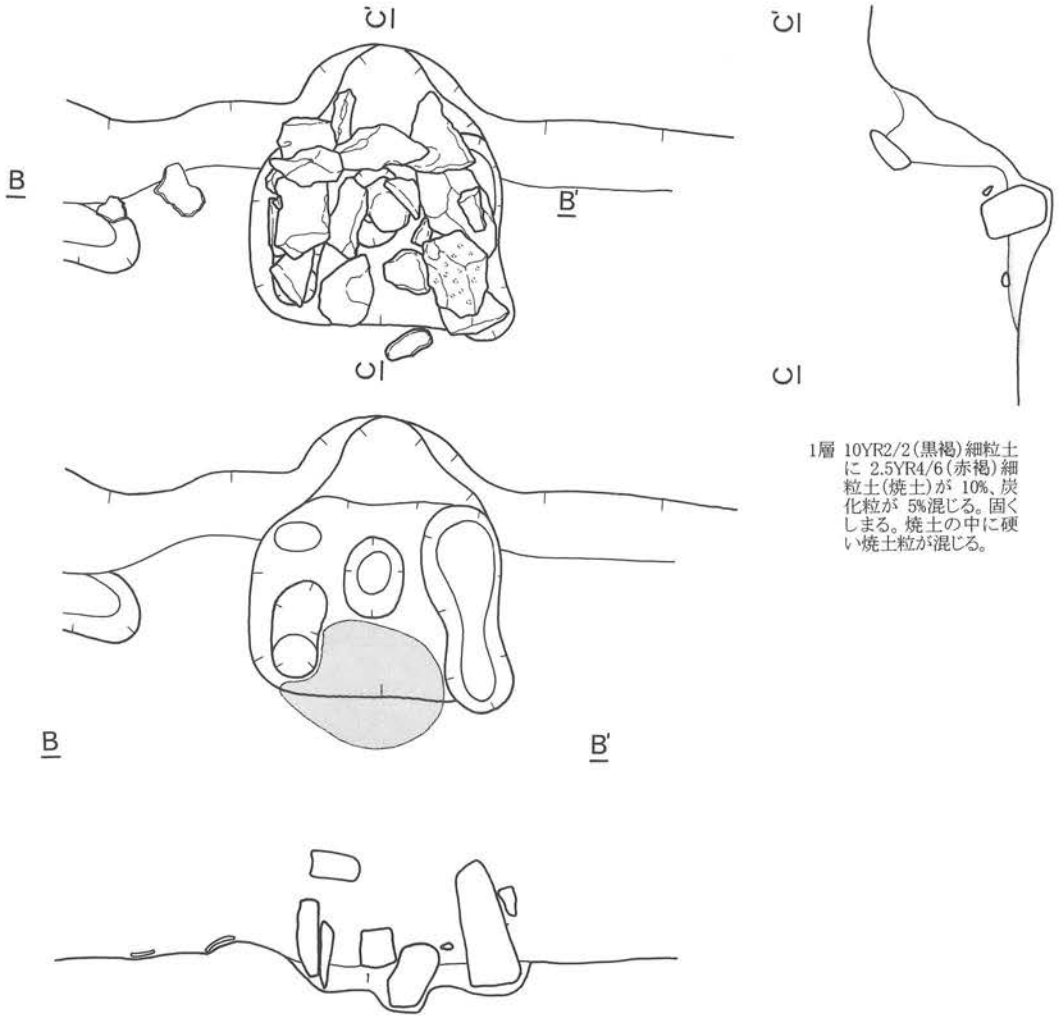
第227図　86号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



第228図　87号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

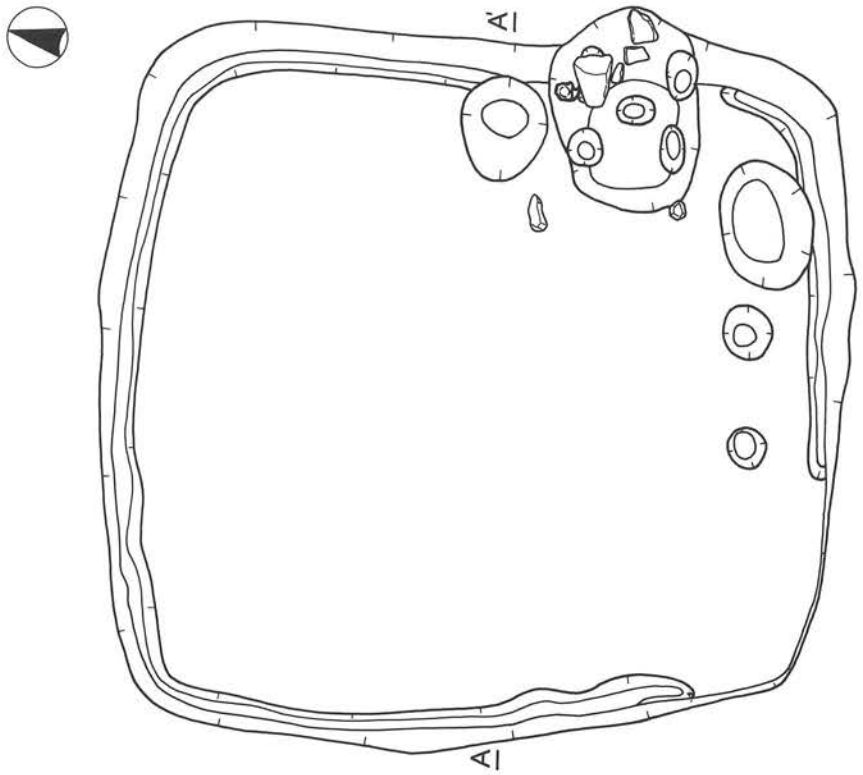


1層 10YR4/3(にぶい黄褐)。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/8(黄褐)が 2%、炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 1%、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 10%、焼土が 2%混じる。固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR3/3(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 7%、10YR5/6(黄褐)が粒子で 1%、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR4/6(褐)が 5%混じる。固くしまる。粘りのある土。
地山 10YR4/3(にぶい黄褐)。固くしまる。粘りのある土。

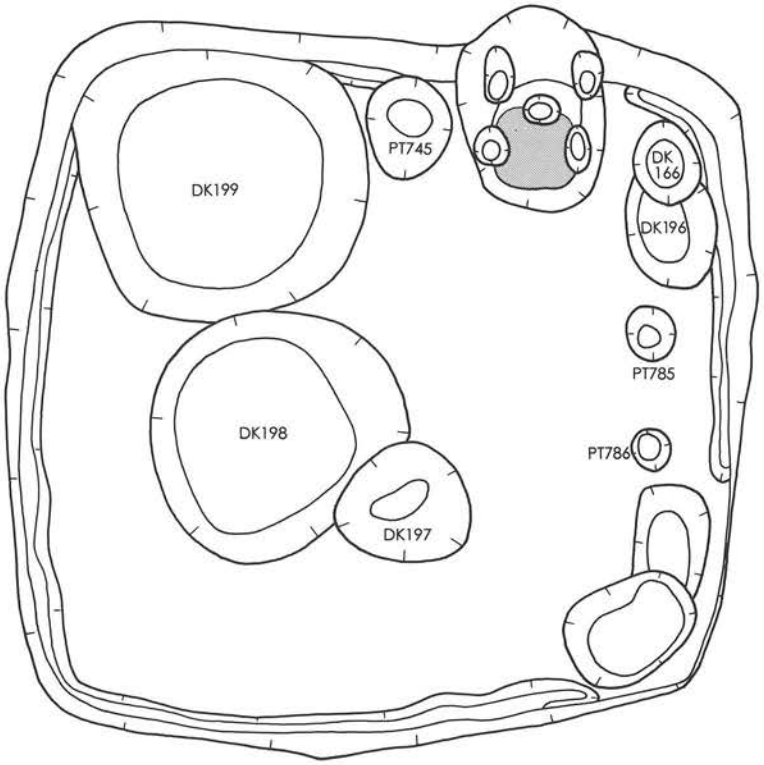


1層 10YR2/2(黒褐)細粒土に 2.5YR4/6(赤褐)細粒土(焼土)が 10%、炭化粒が 5%混じる。固くしまる。焼土の中に硬い焼土粒が混じる。

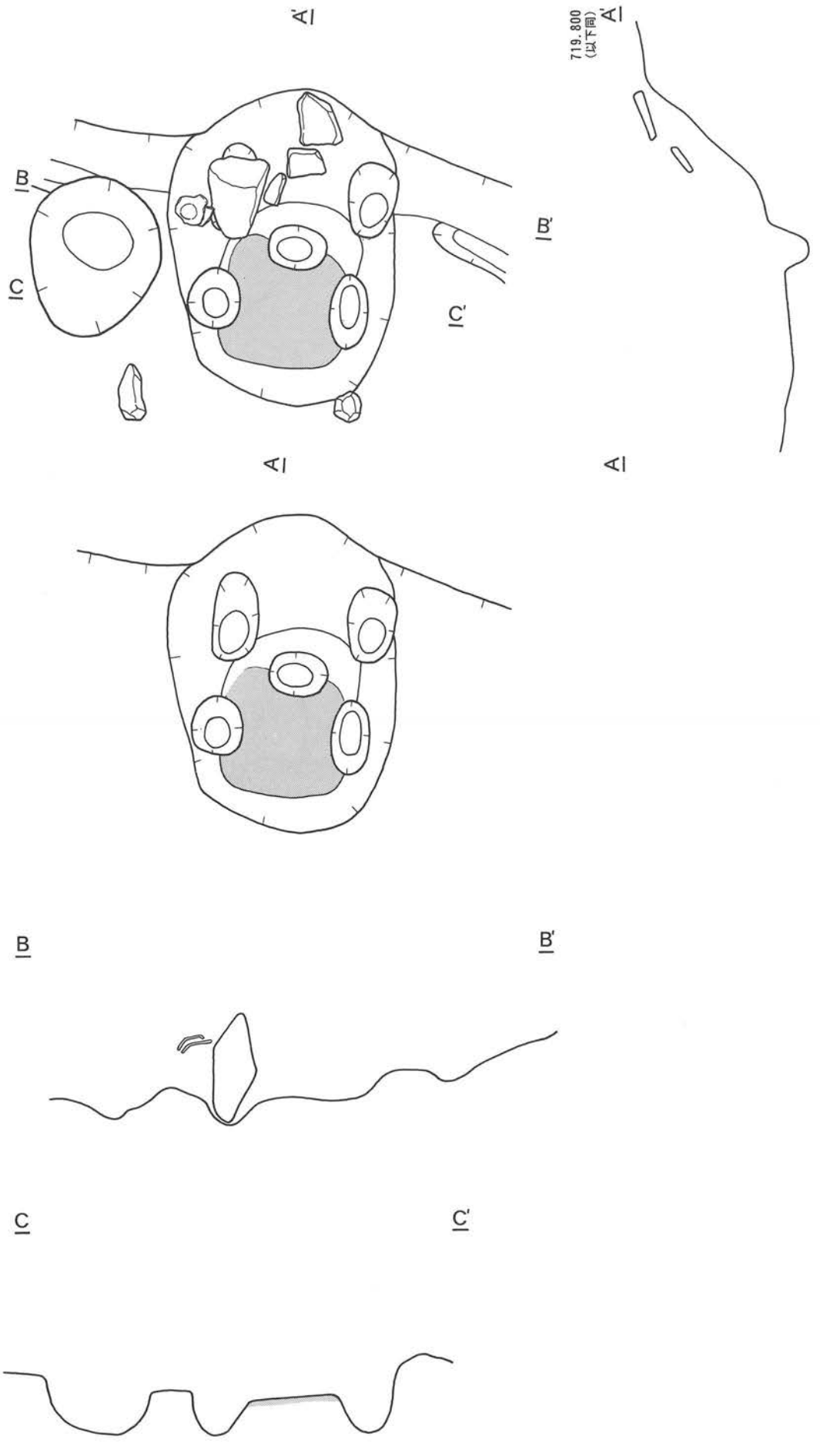
第229図　88号住居（1/40）　88号住居カマド（1/20）



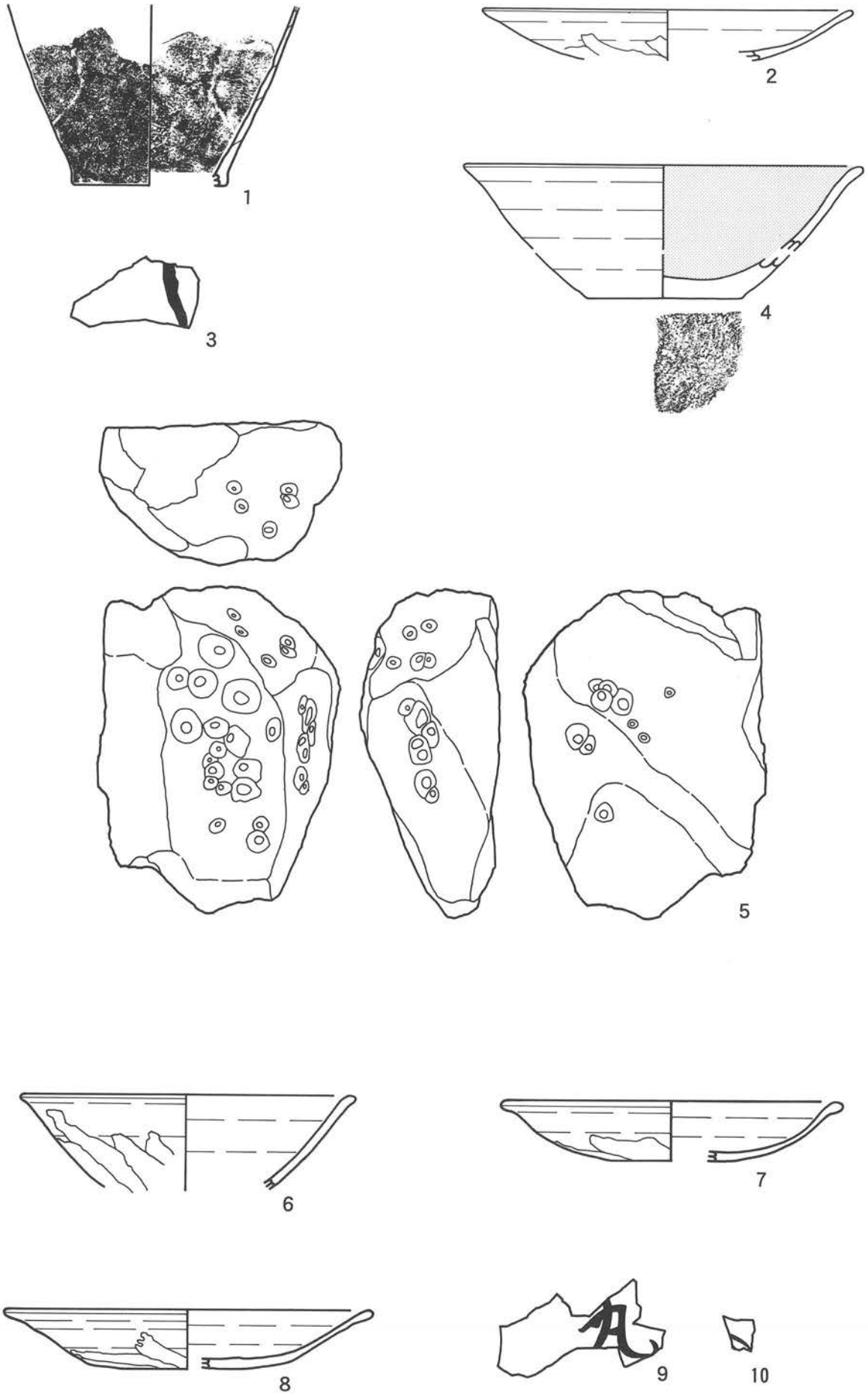
1層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR5/6(黄褐)。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、10YR5/6(黄褐)が 3%、炭化物が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 2%、炭化物が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
6層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 3%、10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
7層 10YR4/6(褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%、10YR5/6(黄褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%、焼土が 7%、炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%、炭化物が 2%混じる。しまる。シルト粒土。
11層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が 5%、10YR5/4(にぶい黄褐)が 3%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR3/3(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
13層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 2%、炭化物が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
14層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
15層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1%、焼土・炭化物が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
16層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2%、焼土が 2%、炭化物が 20%混じる。しまる。シルト粒土。
17層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/4(にぶい黄褐)が 2%、焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
18層 10YR3/4(暗褐)に焼土が 10%混じる。しまる。シルト粒土。
19層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。しまる。シルト粒土。
床面 10YR5/4(にぶい黄褐)。固くしまる。粘りのある土。
地山 10YR5/6(黄褐)に 10YR3/4(暗褐)が 1%混じる。しまる。シルト粒土。



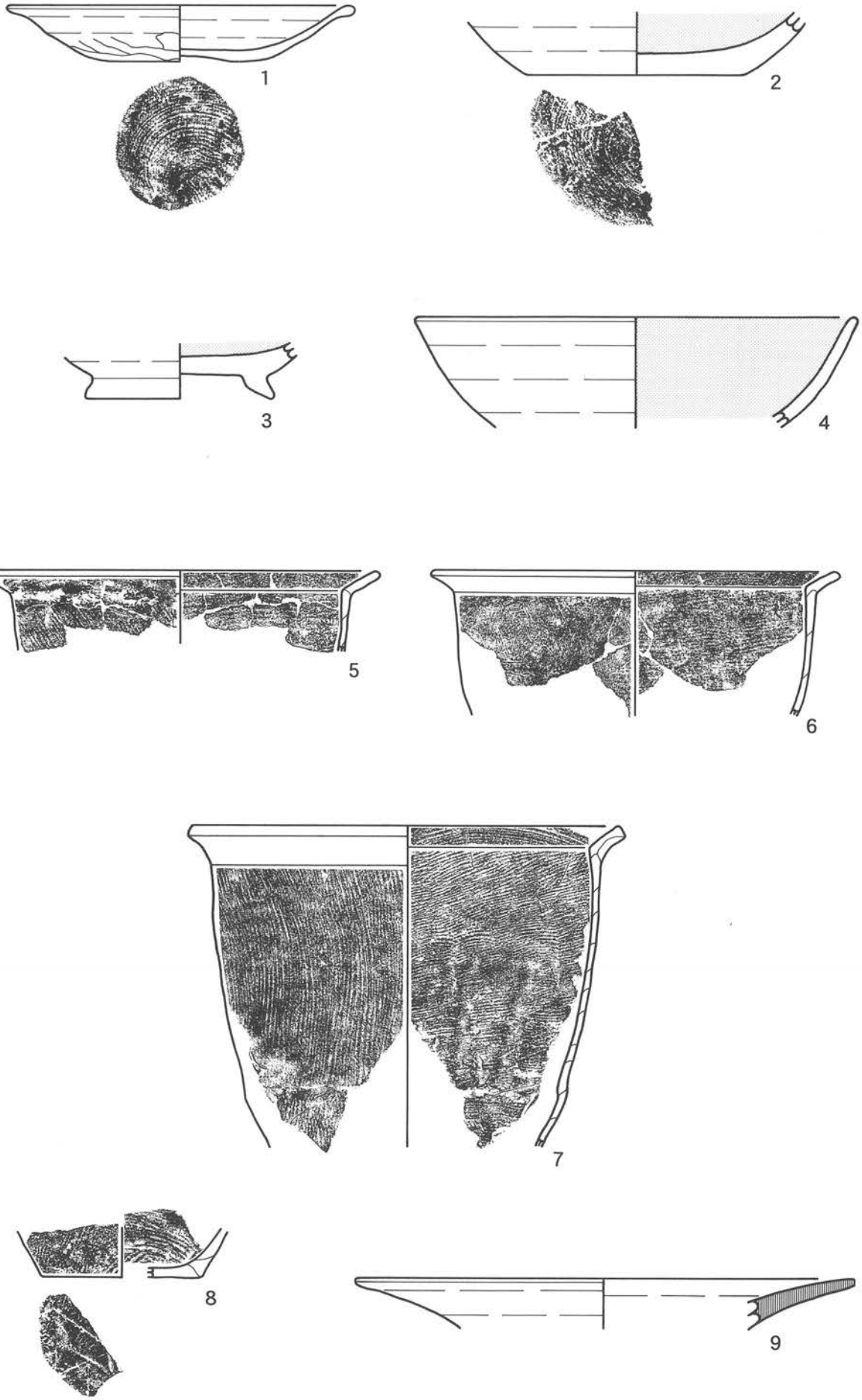
第230図　89号住居（1/40）



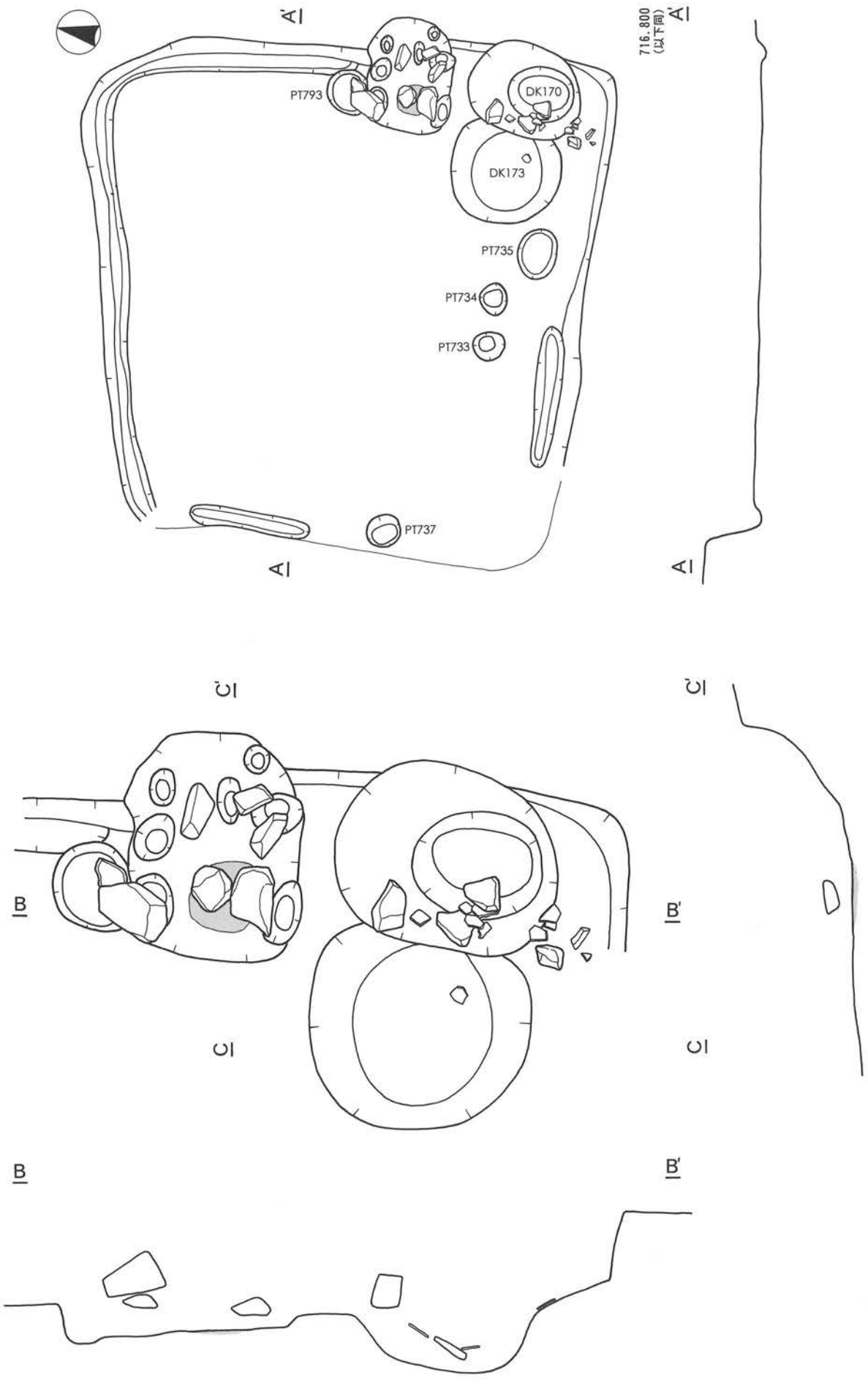
第231図　89号住居カマド（1/20）



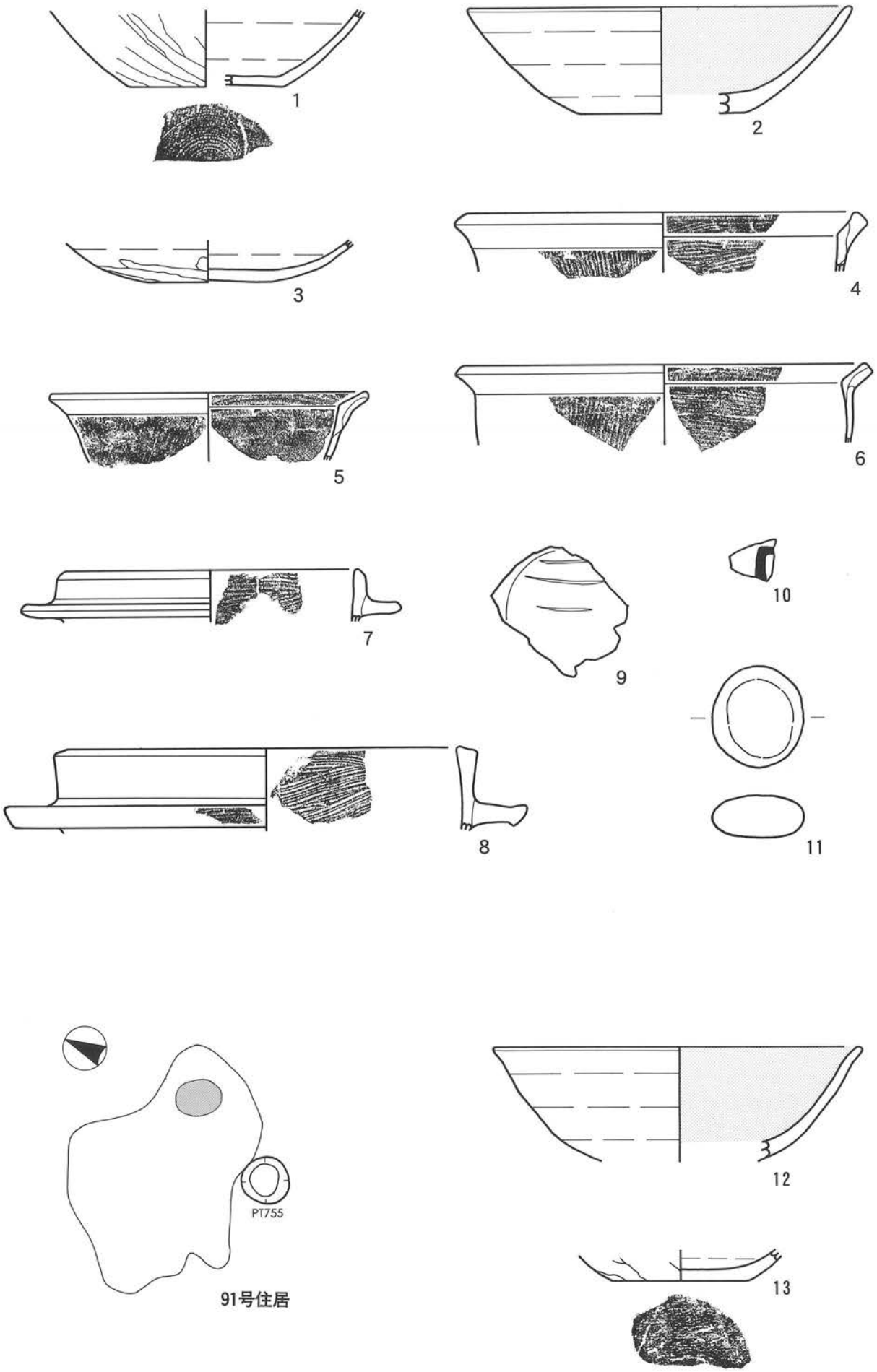
第232図　88号(1～5)・89号(6～10)住居出土遺物 (1/2、1・5 1/4)



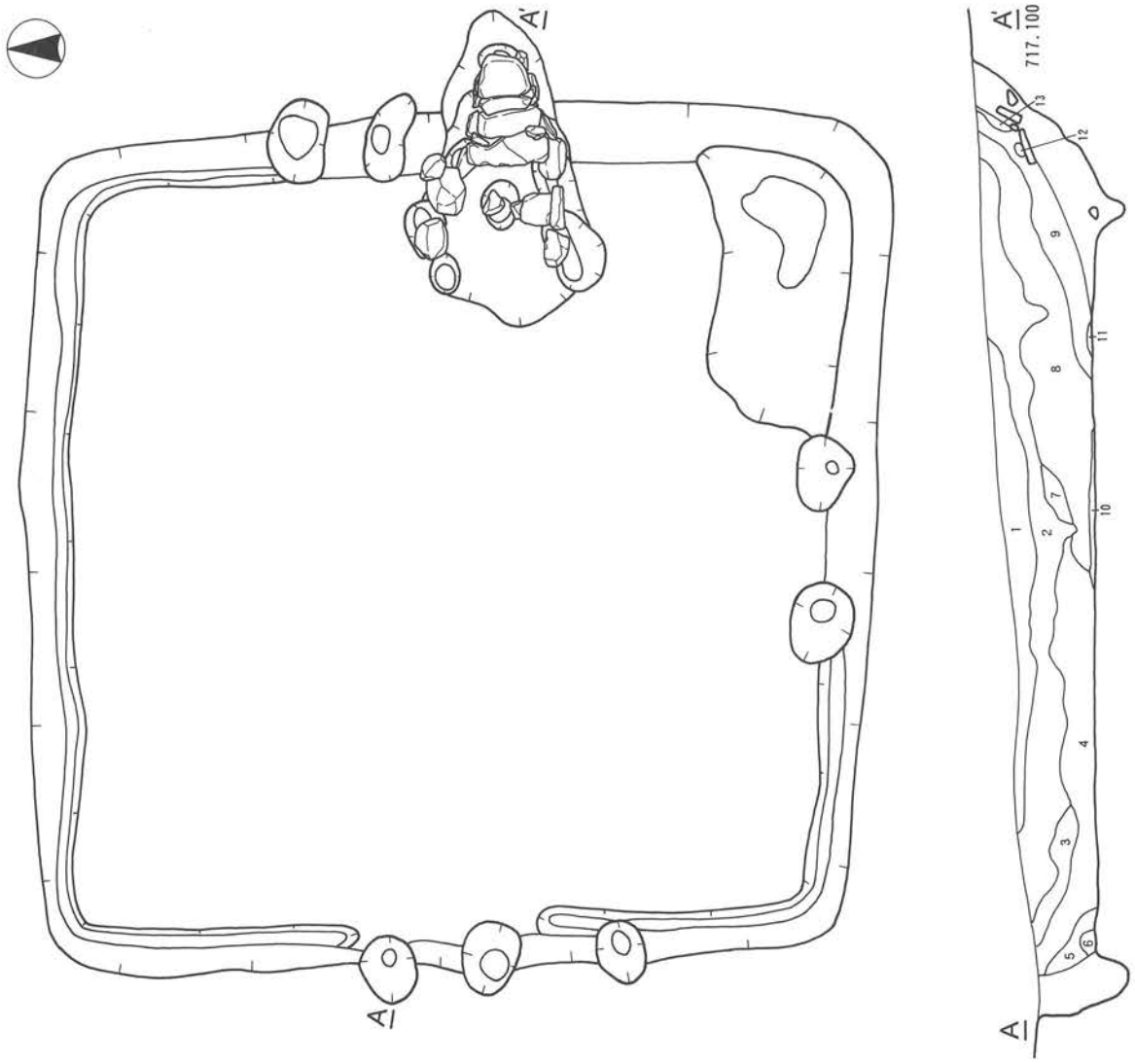
第233図　89号住居出土遺物（1/2、5～8 1/4）



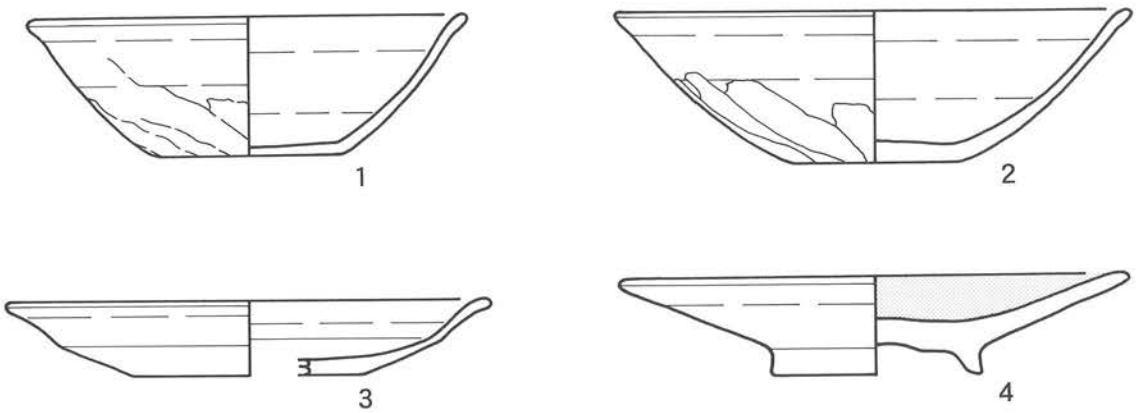
第234図　90号住居（1/40）　90号住居カマド（1/20）



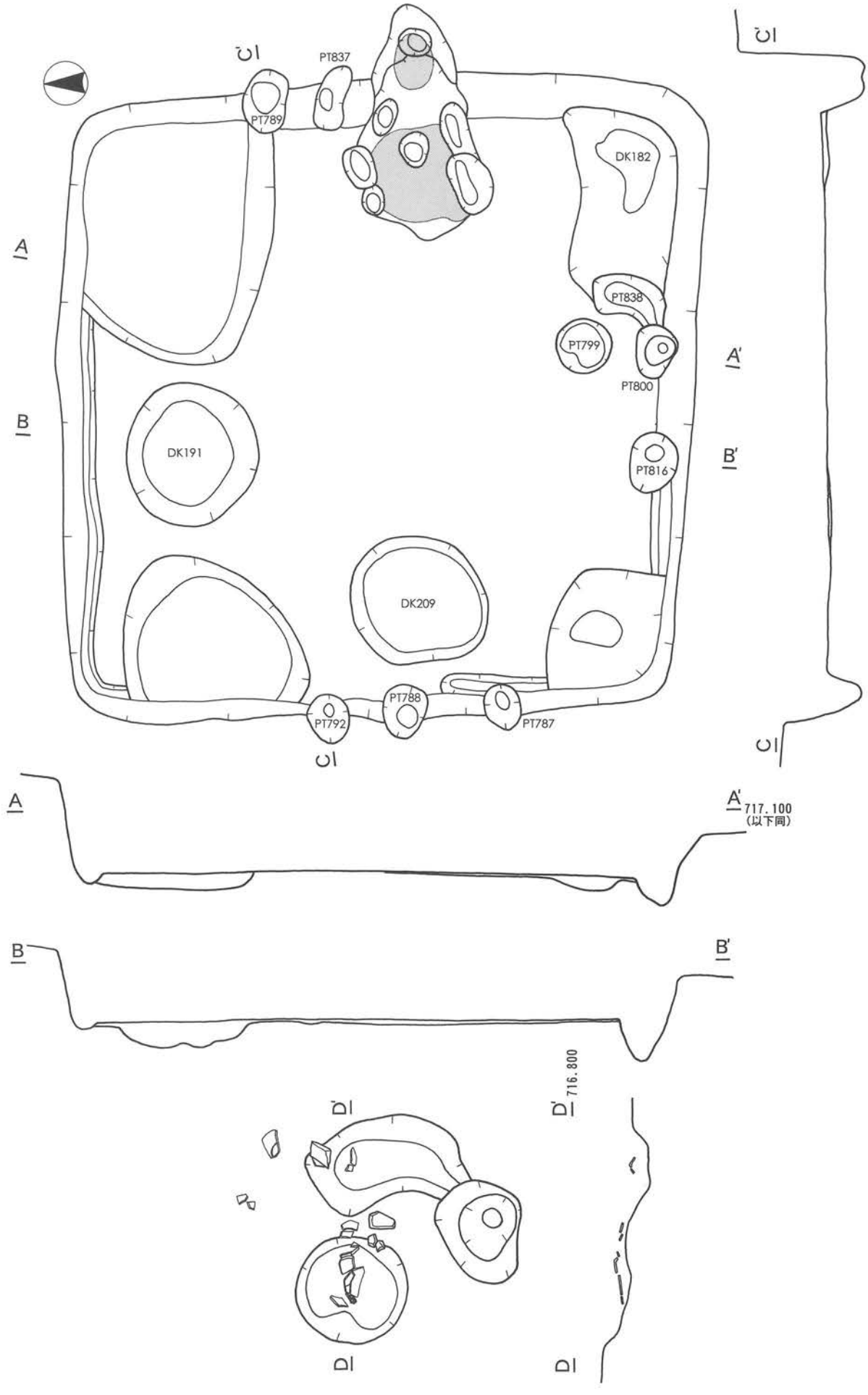
第235図　90号住居出土遺物（1/2、4～8 1/4）　91号住居（1/40）および出土遺物（1/2）



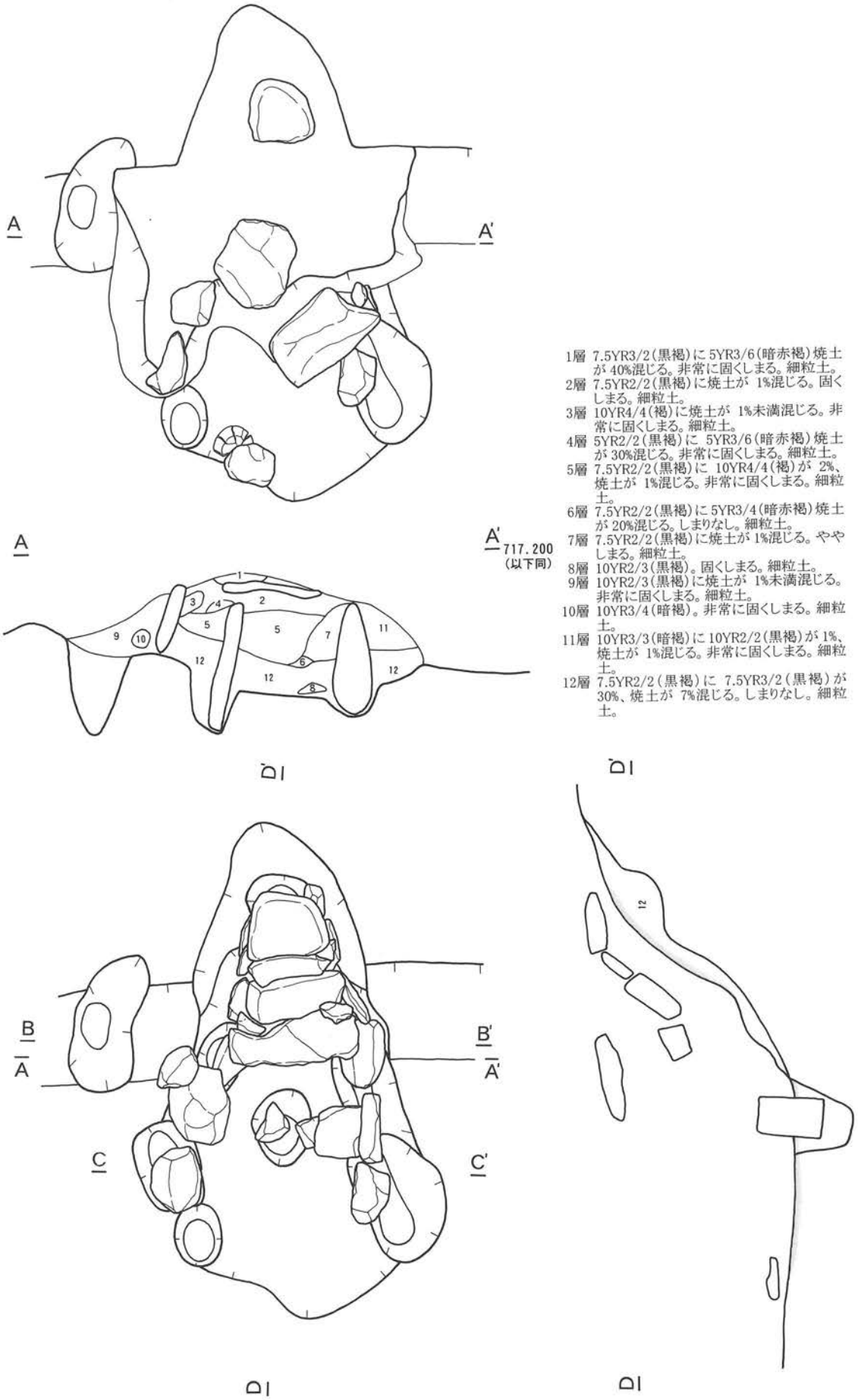
1層 10YR1.7/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)がブロック状に 5%、粒子で 2%、焼土が 1%、炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
2層 10YR2/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)が 2～10mm 大で 5%、10YR1.7/1(黒)が 2～5mm 大で 3%、焼土・炭化物が 1%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
3層 10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2～5mm 大で 7%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
4層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2～10mm 大で 2%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2～5mm 大で 1%、焼土が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
6層 10YR4/6(褐)に 10YR2/3(黒褐)が 30%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
7層 10YR2/1(黒)に 10YR4/6(褐)が 2～5mm 大で 1%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2～30mm 大で 3%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
9層 7.5YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 2～10mm 大で 2%、焼土・炭化物が 1%未満混じる。細粒土。
10層 10YR4/6(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 3%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
11層 10YR4/6(褐)に 10YR2/2(黒褐)が 3%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
12層 7.5YR3/2(黒褐)に 5YR4/4(にぶい赤褐)焼土が 40%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
13層 7.5YR3/2(黒褐)に 7.5YR3/4(暗褐)が 7%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
床面 10YR4/6(褐)。非常に固い。細粒土。
地山 10YR4/6(褐)。非常に固い。細粒土。



第236図　92号住居（1/40）および出土遺物（1/2）

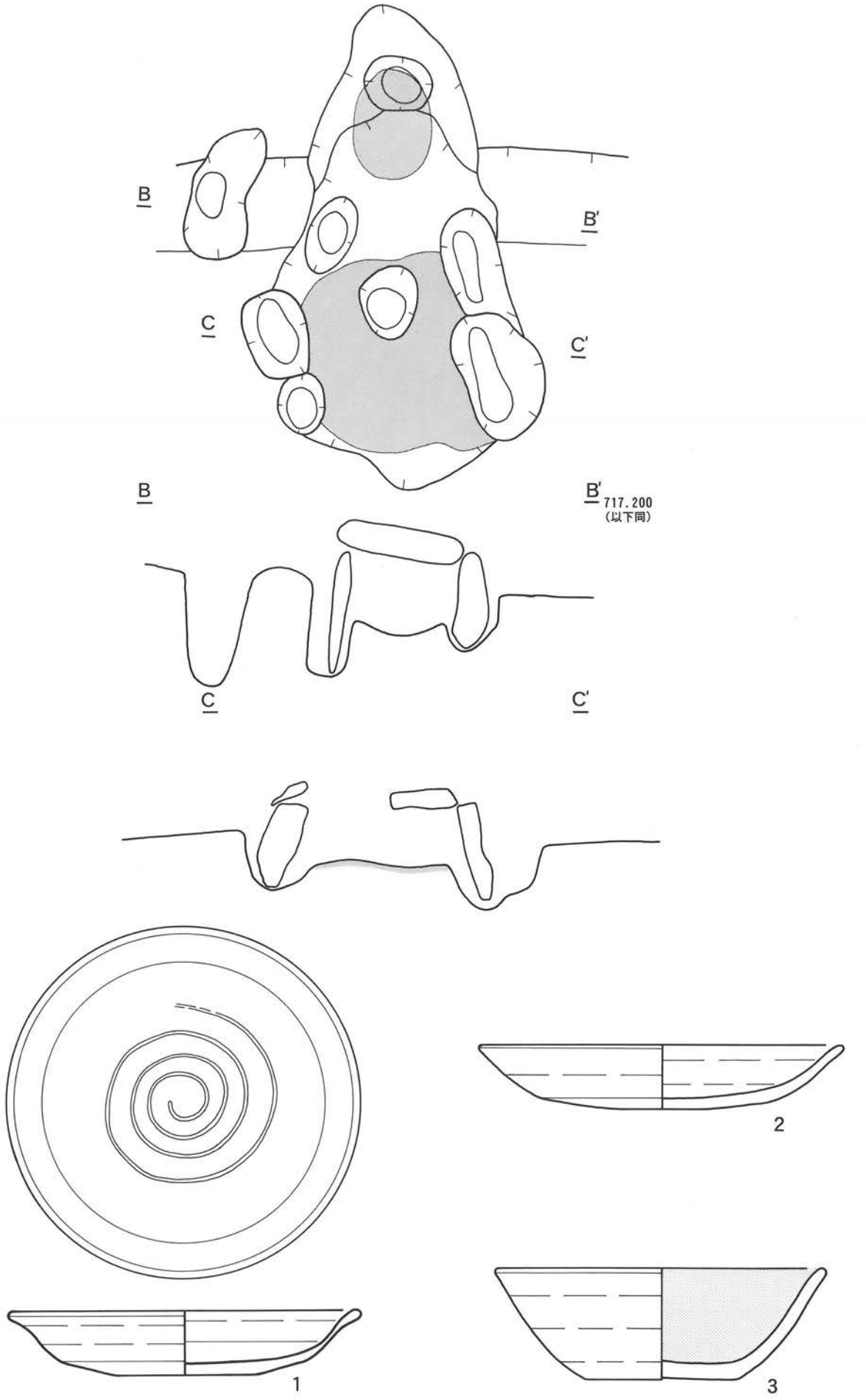


第237図　92号住居（1/40）　799号・838号ピット（1/20）

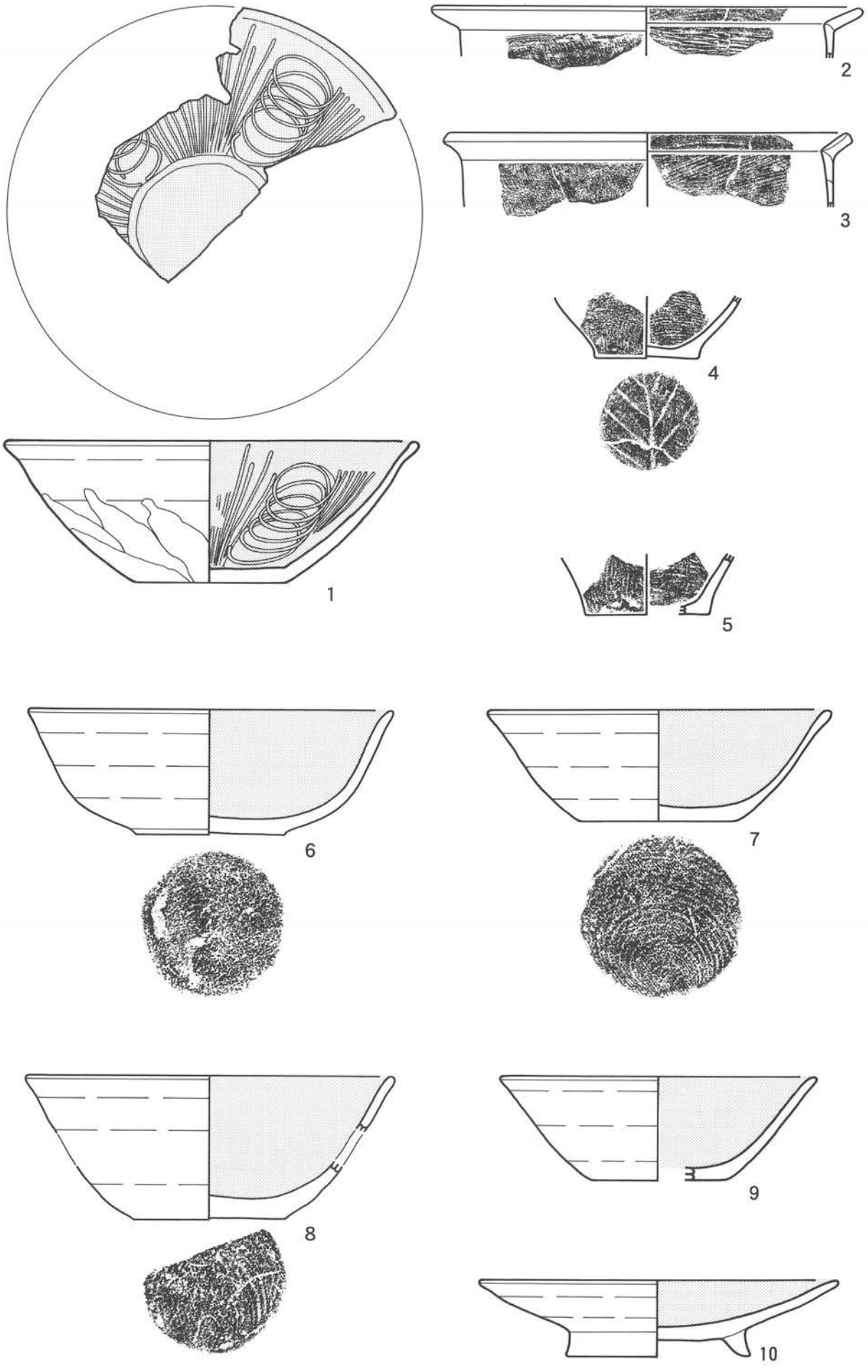


1層 7.5YR3/2(黒褐)に 5YR3/6(暗赤褐)焼土が 40%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
2層 7.5YR2/2(黒褐)に焼土が 1%混じる。固くしまる。細粒土。
3層 10YR4/4(褐)に焼土が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
4層 5YR2/2(黒褐)に 5YR3/6(暗赤褐)焼土が 30%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
5層 7.5YR2/2(黒褐)に 10YR4/4(褐)が 2%、焼土が 1%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
6層 7.5YR2/2(黒褐)に 5YR3/4(暗赤褐)焼土が 20%混じる。しまりなし。細粒土。
7層 7.5YR2/2(黒褐)に焼土が 1%混じる。ややしまる。細粒土。
8層 10YR2/3(黒褐)。固くしまる。細粒土。
9層 10YR2/3(黒褐)に焼土が 1%未満混じる。非常に固くしまる。細粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)。非常に固くしまる。細粒土。
11層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/2(黒褐)が 1%、焼土が 1%混じる。非常に固くしまる。細粒土。
12層 7.5YR2/2(黒褐)に 7.5YR3/2(黒褐)が 30%、焼土が 7%混じる。しまりなし。細粒土。

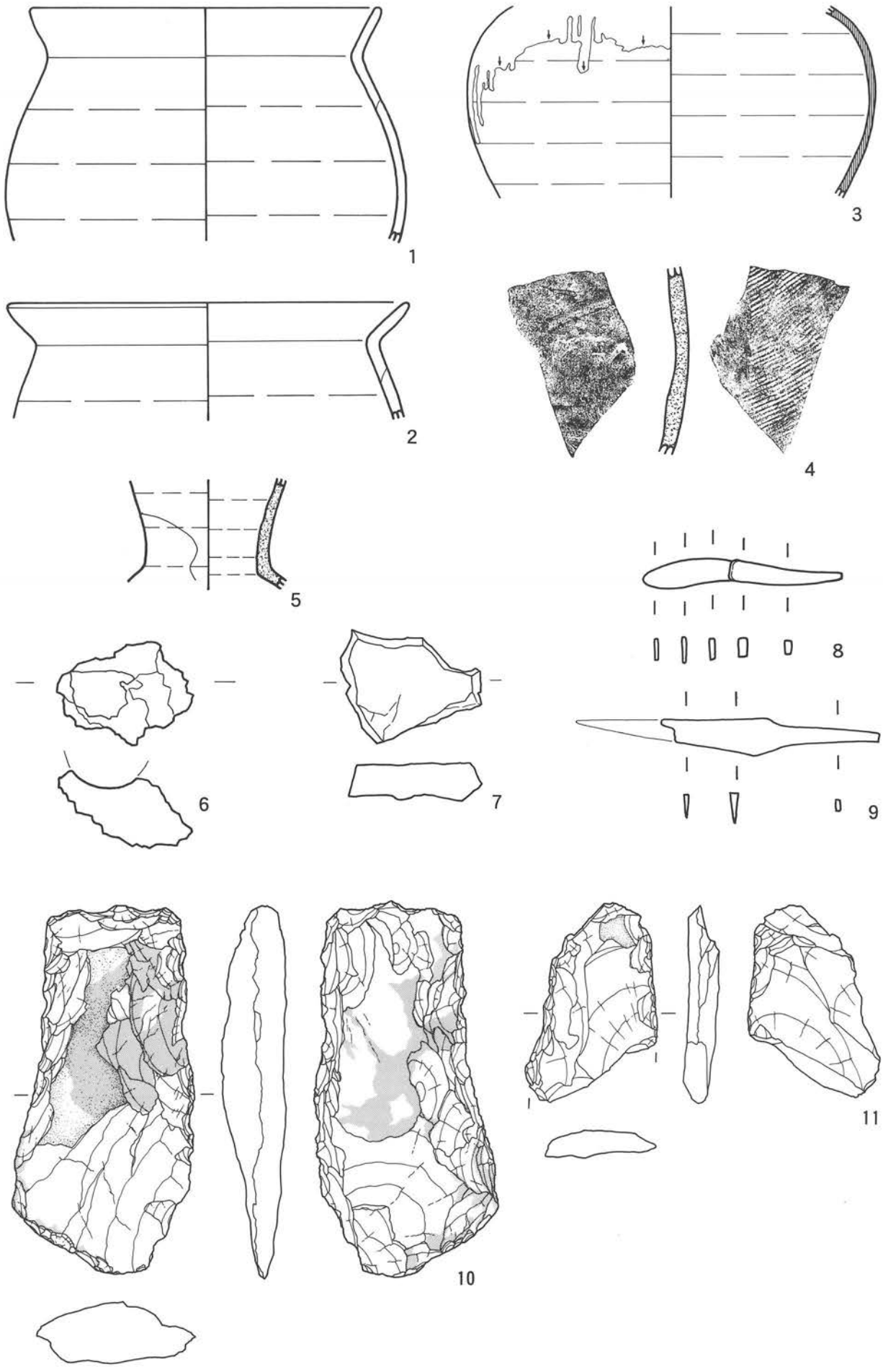
第238図　92号住居カマド（1/20）



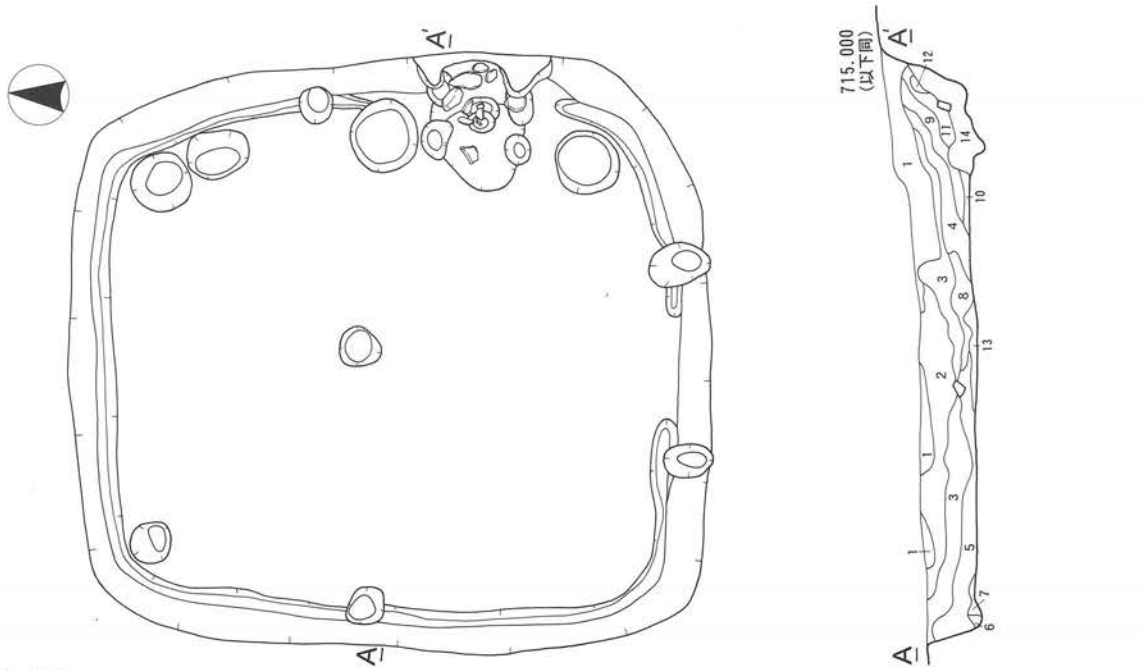
第239図　92号住居カマド（1/20）　92号住居出土遺物（1/2）



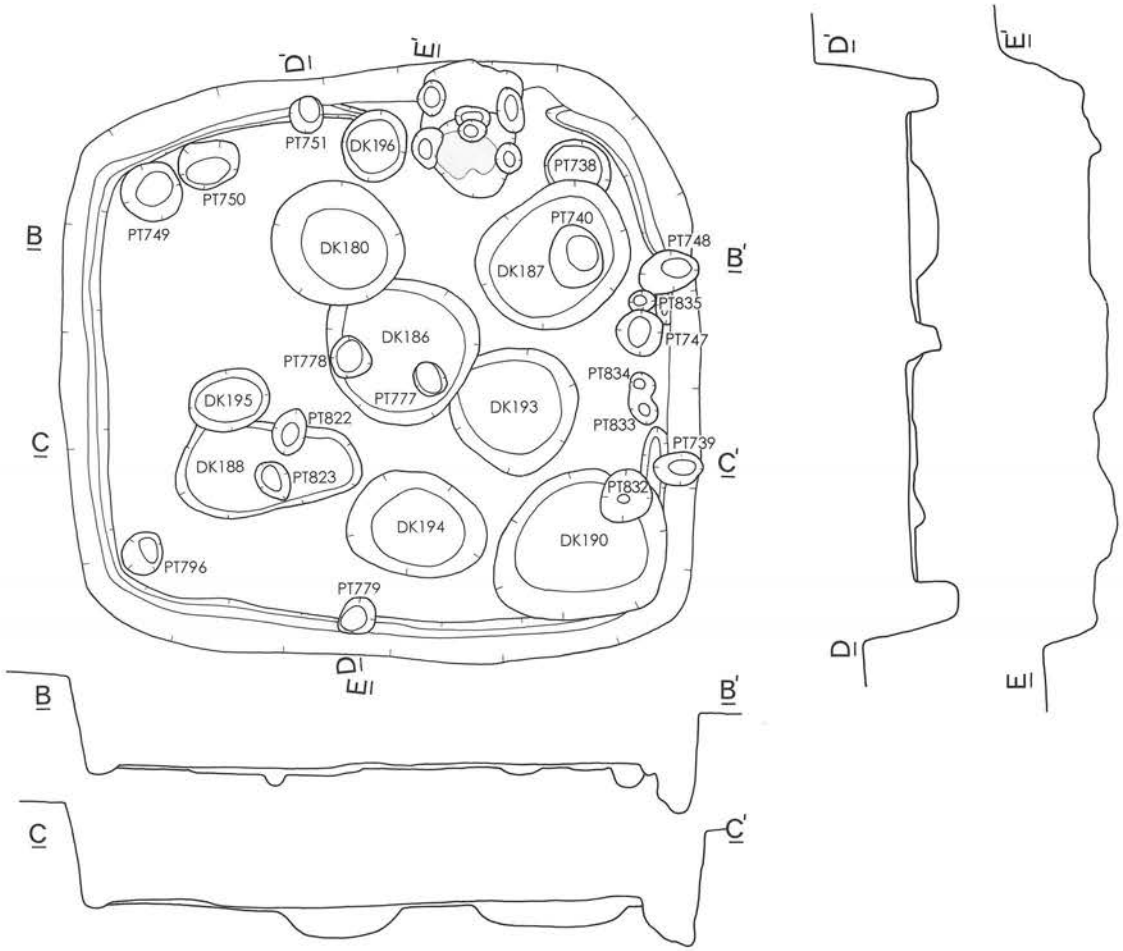
第240図　92号住居出土遺物（1/2、2～5 1/4）



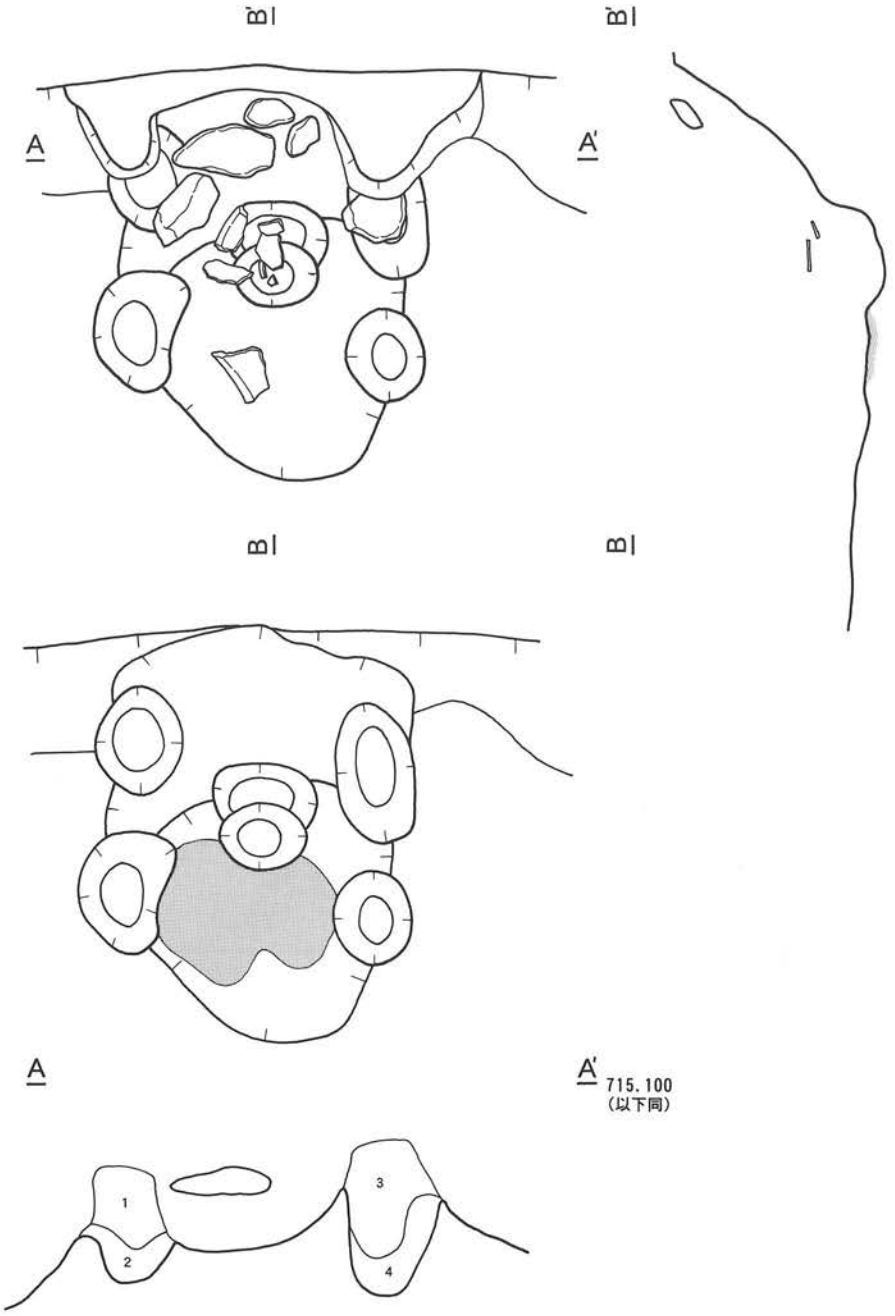
第241図　92号住居出土遺物（1/2、3・4 1/4、7 1/1）



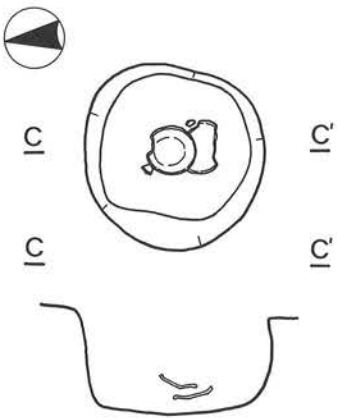
1層 カクラン。
2層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/1(黒)が 50mm 大で 3%、10YR4/6(褐)が 5mm 大で 1%、焼土が 5mm 大で1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4(暗褐)に 10YR2/1(黒)が 20mm 大で 2%、10YR4/6(褐)が 5mm 大で 1%、焼土が 5mm 大で1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR3/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)が 5～50mm 大で 5%、焼土粒が 10mm 大で 2%混じる。しまる。シルト粒土。
5層 10YR3/2(黒褐)に炭化粒が 5mm 大で 1%、10YR4/6(褐)が 5mm 大で 2%、焼土粒が 5mm 大で 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR3/4(暗褐)に 10YR4/6(褐)が 5mm 大で 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR4/3(にぶい黄褐)に 10YR4/6(褐)が 5mm 大で 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR3/3(暗褐)に 10YR2/1(黒)がぼんやりと1カ所 2%、10YR4/6(褐)が 5～10mm 大で 3%、焼土粒が 5mm 大で 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR4/3(にぶい黄褐)に炭化物が 5～20mm 大で 5%、焼土が 5～10mm 大で 5%、10YR4/6(褐)が 5mm 大で 2%混じる。しまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4(暗褐)に焼土が 5～20mm 大で 10%、10YR4/6(褐)が 5mm 大で 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/2(黒褐)に焼土が 5～15mm 大で 5%、10YR4/6(褐)が 5～10mm 大で 1%混じる。しまる。シルト粒土。
12層 10YR4/3(にぶい黄褐)。固くしまる。。シルト粒土。
13層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/6(褐)と焼土がわずかに混じる。固くしまる。シルト粒土。
14層 7.5YR3/3(暗褐)に炭化粒・焼土が 5～20mm 大で 10%混じる。全体的に赤っぽい。しまる。シルト粒土。
床面 10YR4/6(褐)に焼土が 3～5mm 大で全体的に 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。



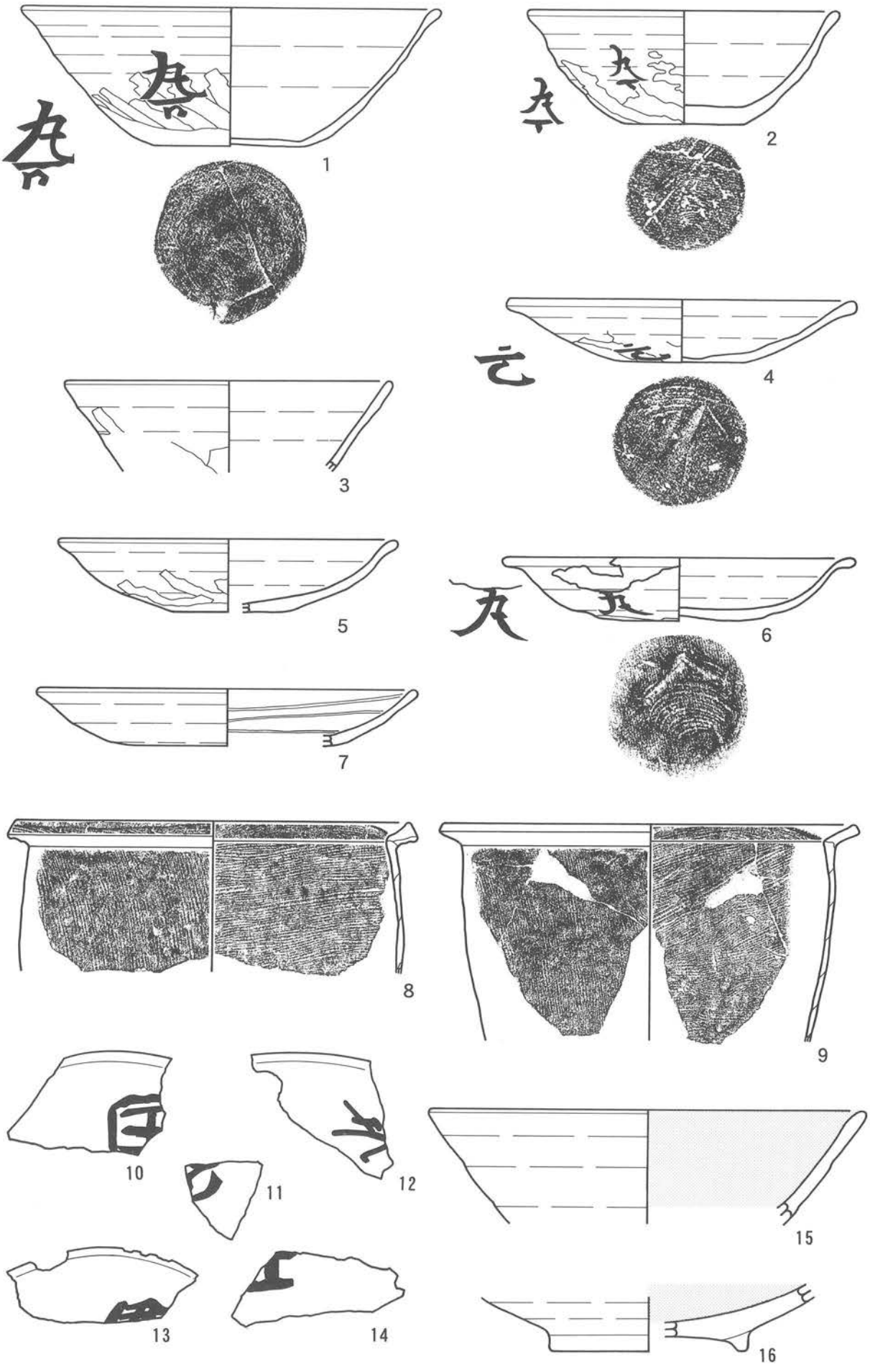
第242図　93号住居（1/60）



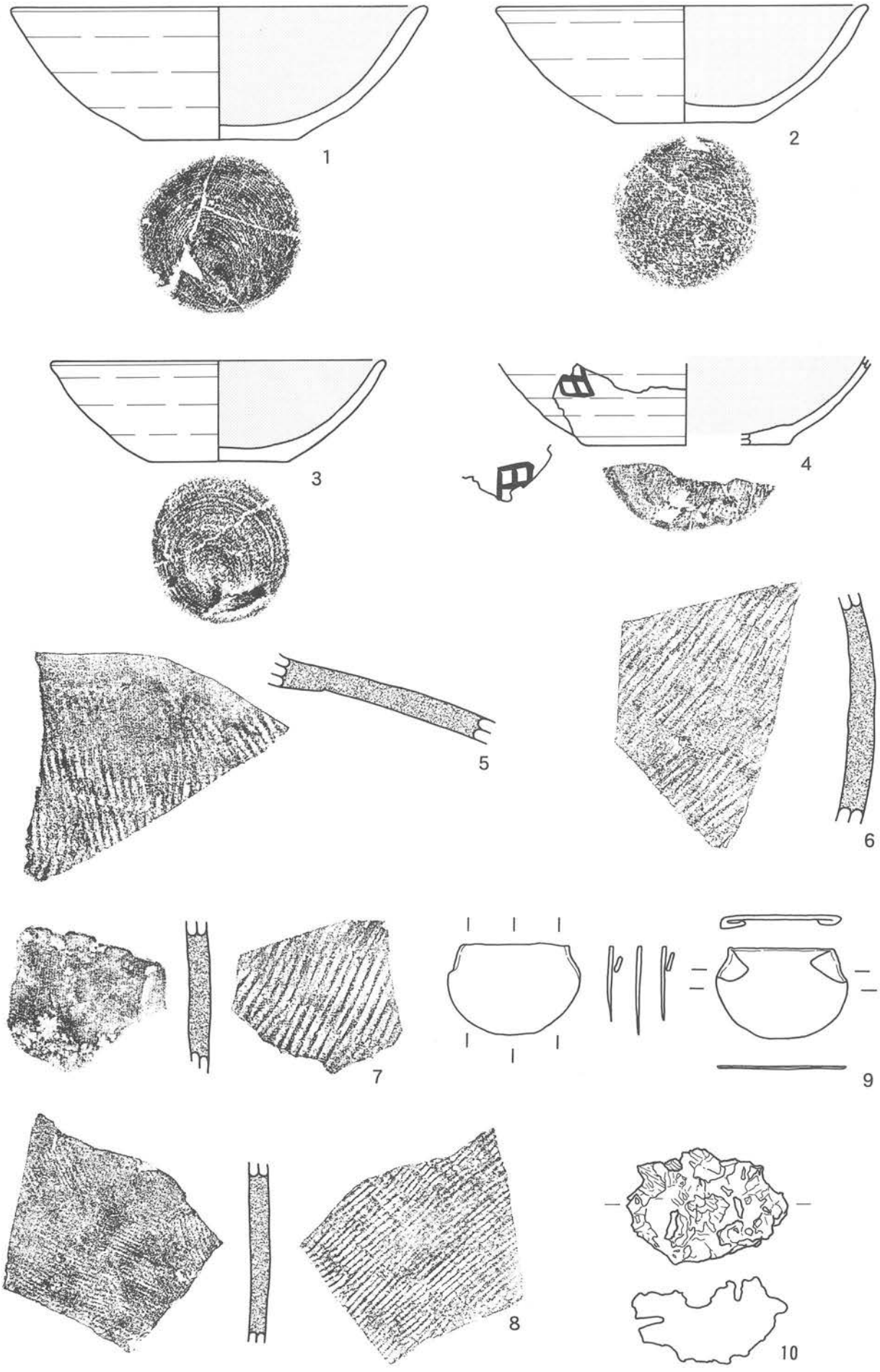
1層 10YR4/4(褐)に焼土が 2～8mm の小ブロックで 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
2層 10YR3/4(暗褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子～10mm 程の小ブロックで 10%、焼土が粒子～10mm 程の小ブロックで 20%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/4(褐)に 10YR3/4(暗褐)がまだらに 40%、焼土が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR4/6(褐)。しまる。シルト粒土。
地山 10YR4/6(褐)。固くしまる。



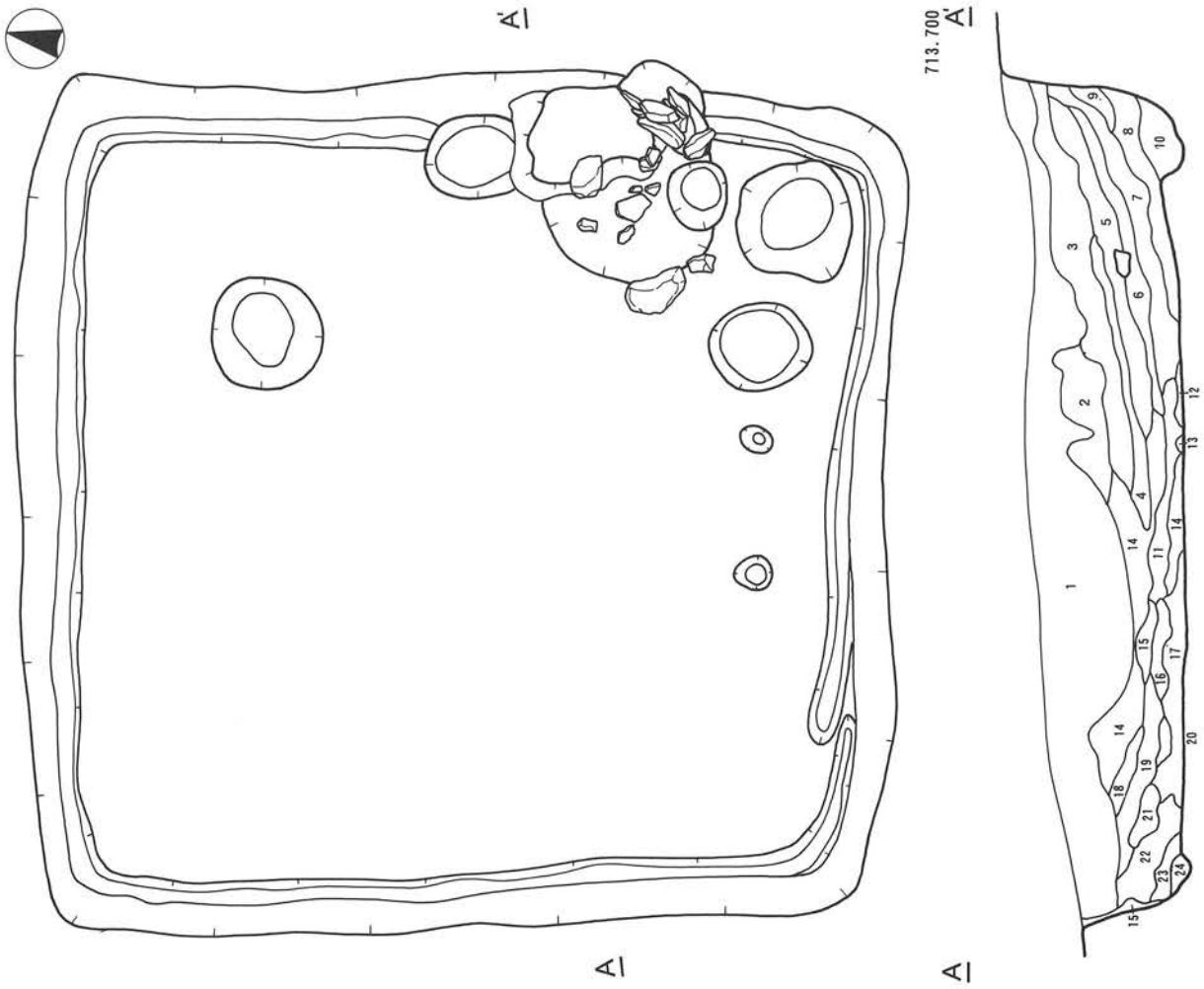
第243図　93号住居カマド（1/20）　738号ピット（1/20）



第244図　93号住居出土遺物（1/2、8・9 1/4）

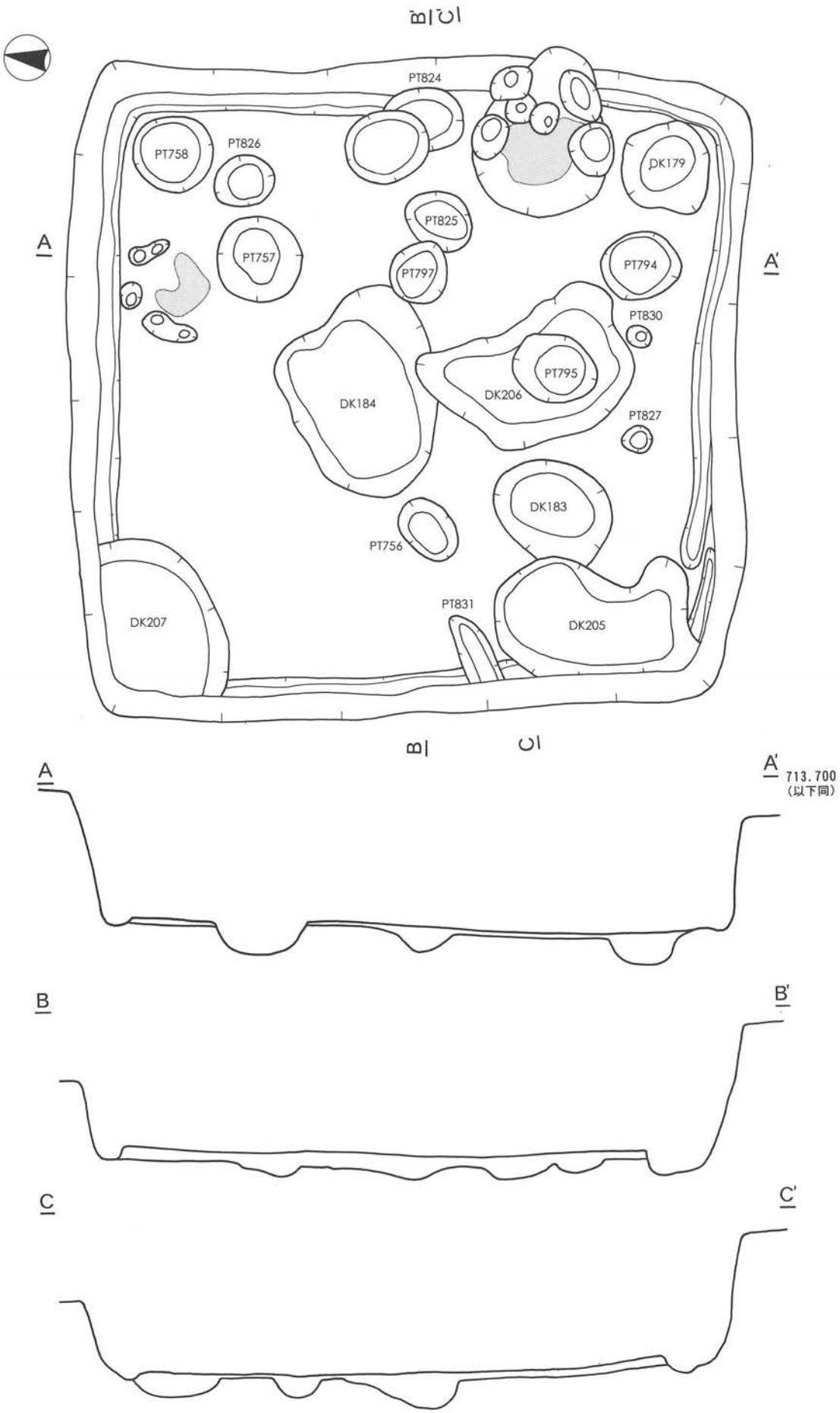


第245図　93号住居出土遺物（1/2）

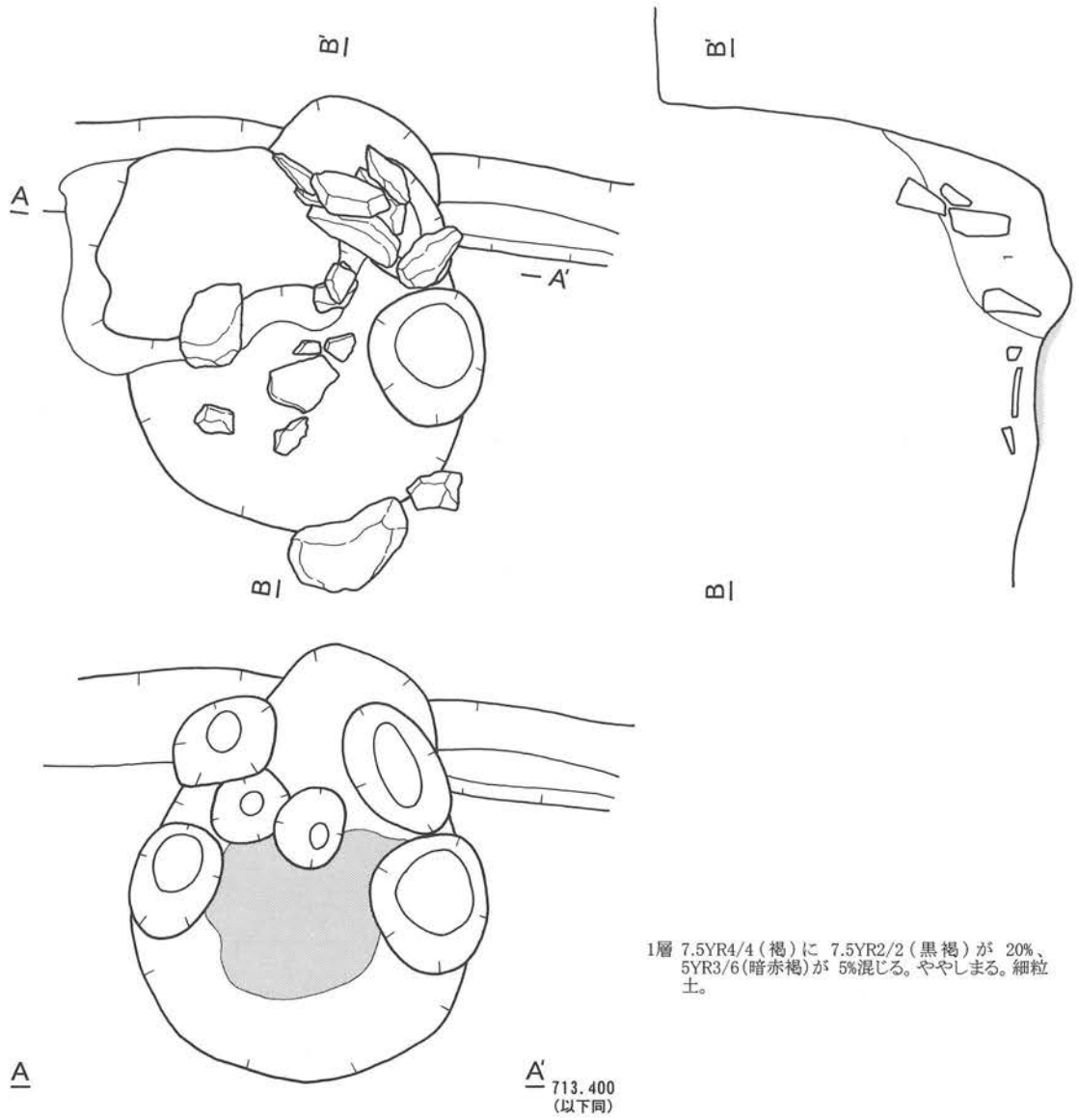


1層 カクラン。
2層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。シルト粒土。
3層 10YR2/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
4層 10YR2/1(黒)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 5%、焼土・炭化物が 1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
5層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1～5mm で 20%、焼土が 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1～5mm で 10%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
7層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1～10mm で 20%、焼土が 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 1～5mm で 20%、焼土が 1%、炭化物が 1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
9層 10YR2/2(黒褐)に 10YR4/4(褐)がまだらで 20%混じる。固くしまる。シルト粒土。
10層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2mm 程で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2mm 程で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
12層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。固くしまる。シルト粒土。
13層 10YR2/2(黒褐)。ややしまる。シルト粒土。
14層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
15層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
16層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
17層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
18層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
19層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 2～5mm で 10%、焼土・炭化物が 1%混じる。固くしまる。シルト粒土。
20層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 5%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
21層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 10%混じる。固くしまる。シルト粒土。
22層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 3%混じる。非常に固くしまる。シルト粒土。
23層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が 3%混じる。固くしまる。シルト粒土。
24層 10YR2/2(黒褐)に 10YR5/6(黄褐)が粒子で 30%混じる。固くしまる。シルト粒土。
25層 7.5YR5/6(明褐)。固くしまる。シルト粒土。
床面 10YR5/6(黄褐)。非常に固くしまる。シルト粒土。
地山 10YR6/8(明黄褐)。シルト粒土。

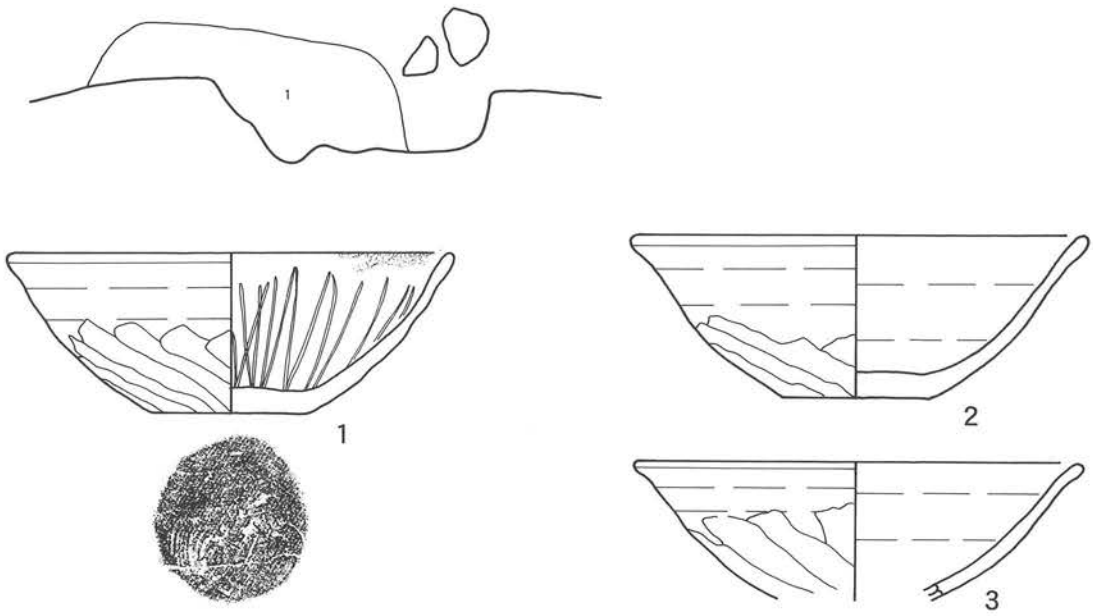
第246図　94号住居（1/40）



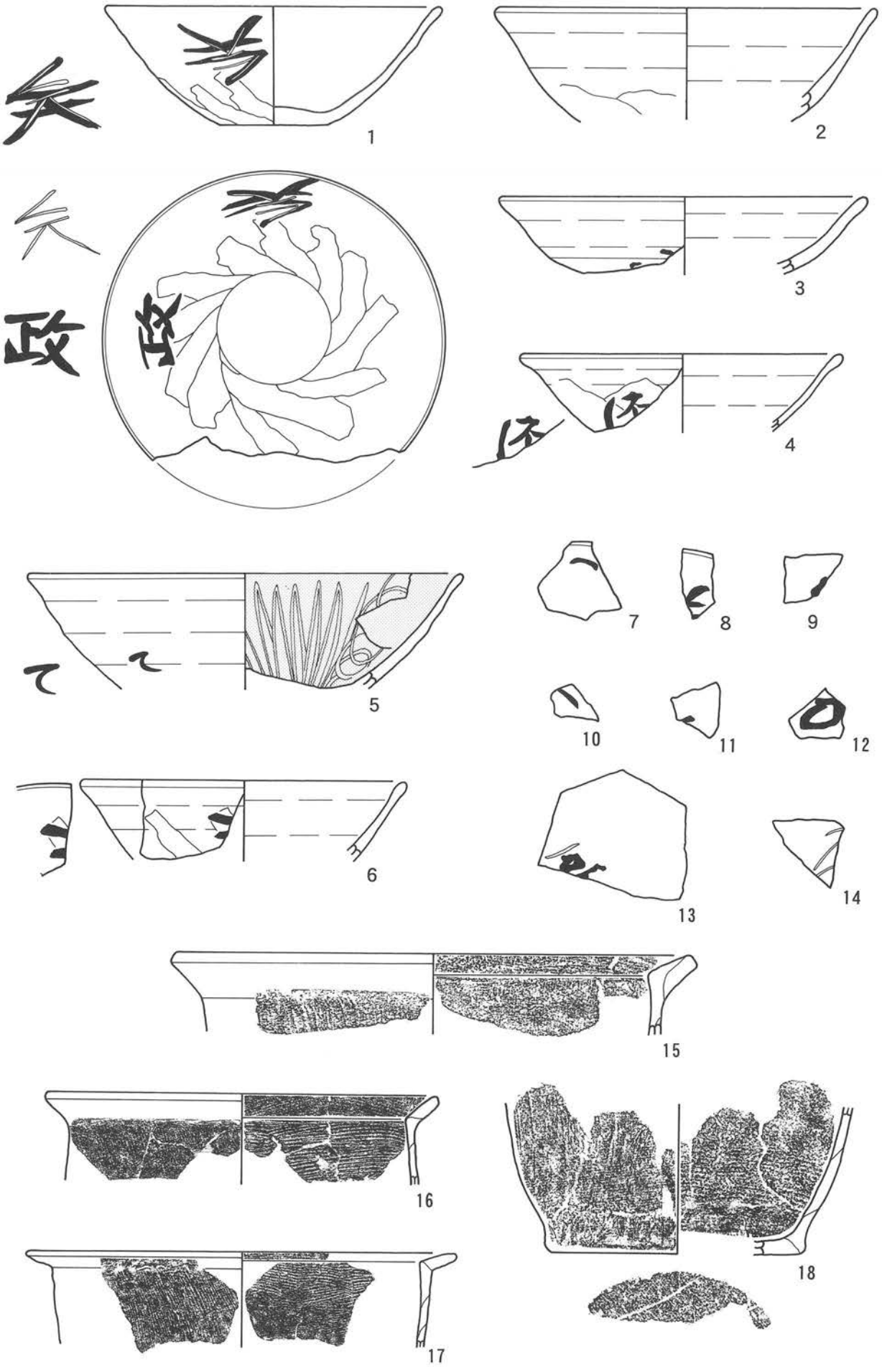
第247図　94号住居（1/40）



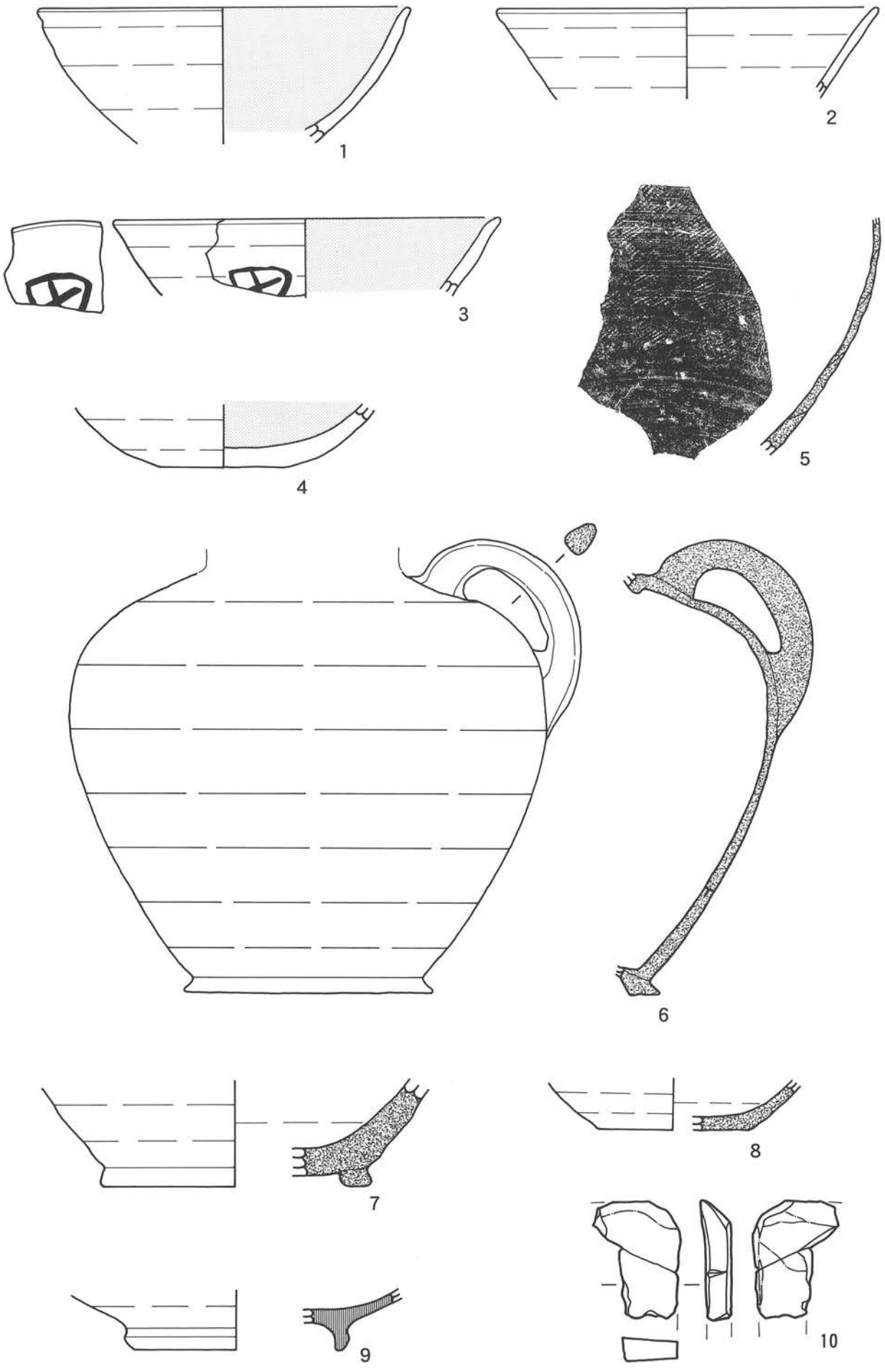
1層 7.5YR4/4（褐）に 7.5YR2/2（黒褐）が 20%、5YR3/6（暗赤褐）が 5%混じる。ややしまる。細粒土。



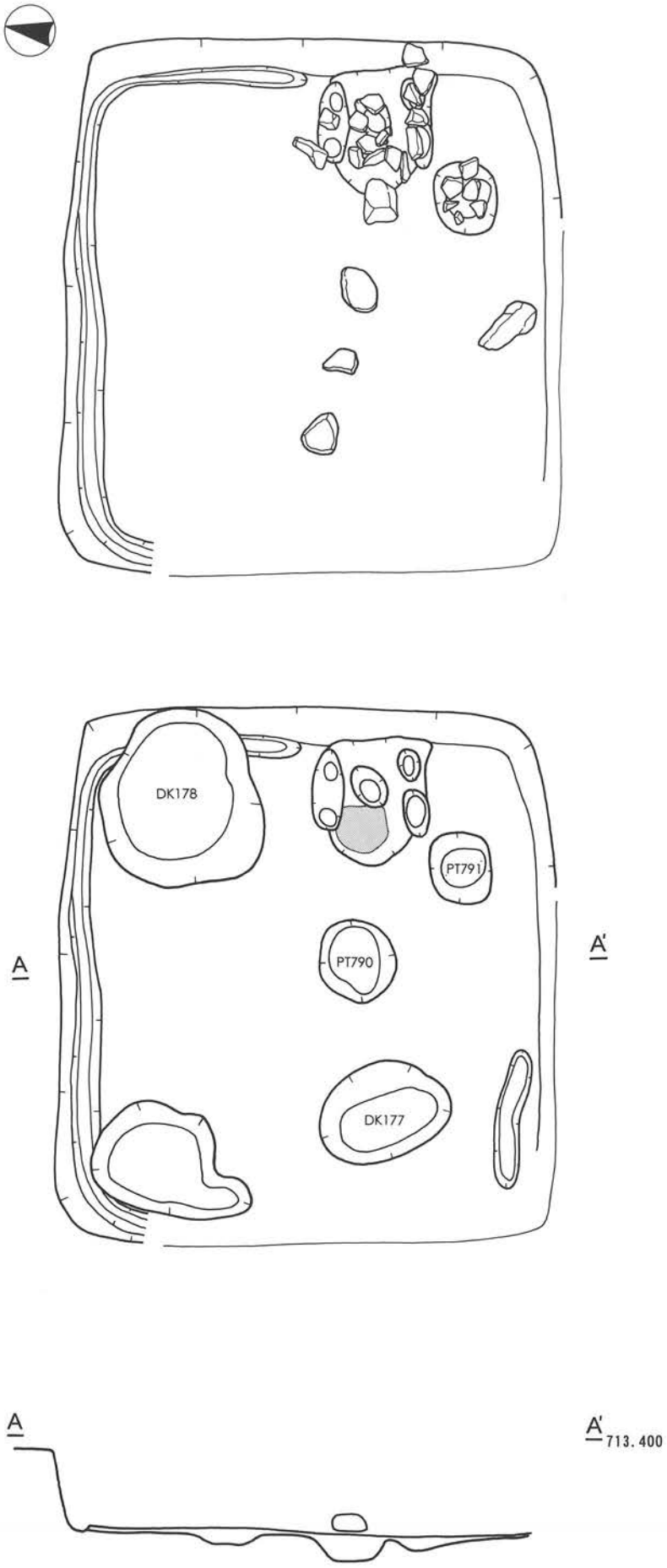
第248図　94号住居カマド（1/20）　94号住居出土遺物（1/2）



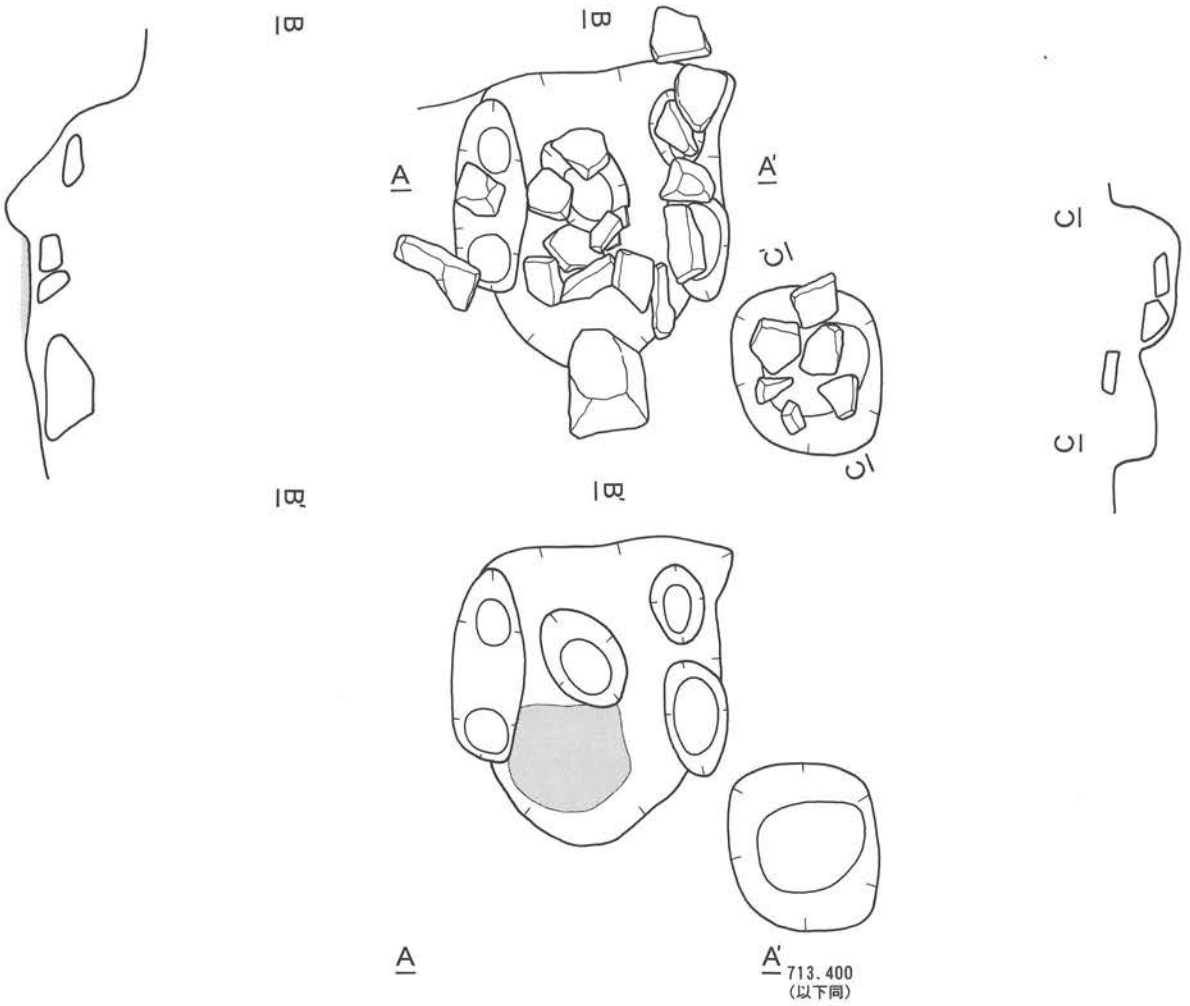
第249図　94号住居出土遺物（1/2、16・17 1/4）

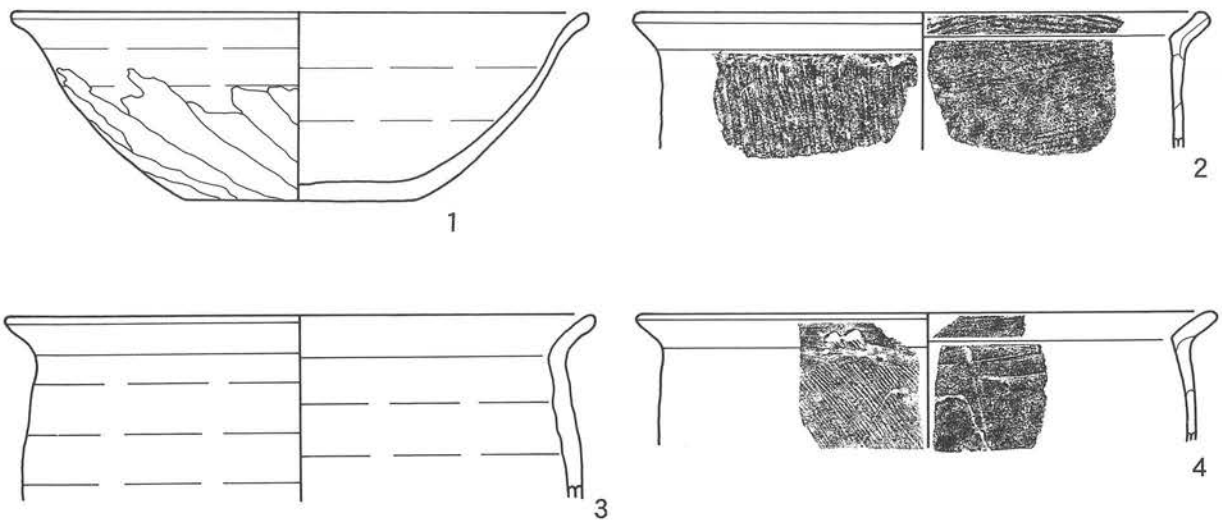


第250図　94号住居出土遺物（1/2、5 1/4、6 1/3）

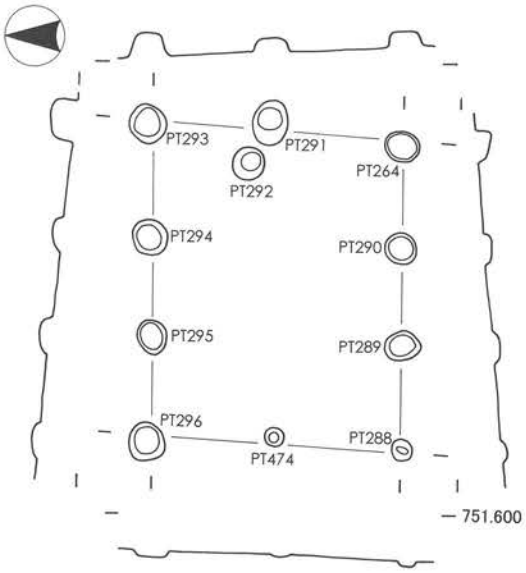


第251図　95号住居（1/40）

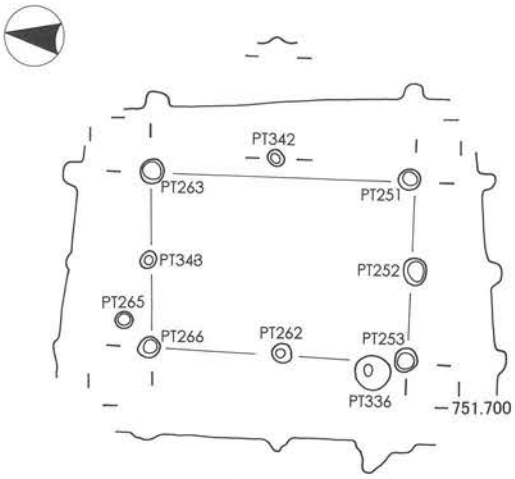




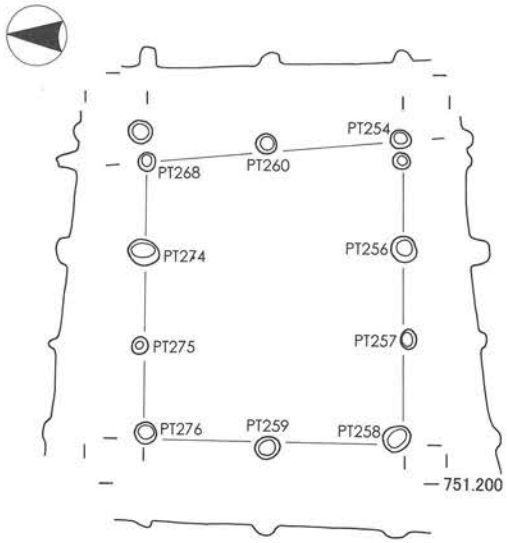
第252図　95号住居カマド（1/20）　95号住居出土遺物（1/2、2・4 1/4）



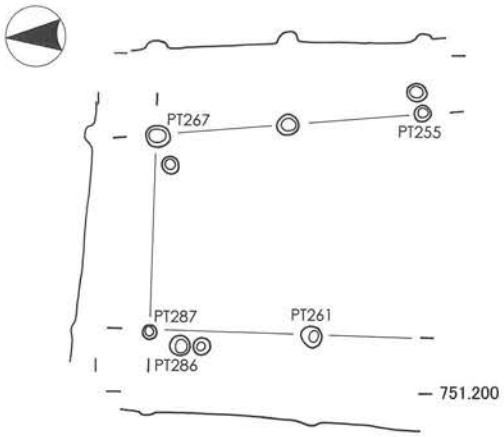
1号掘立柱建物



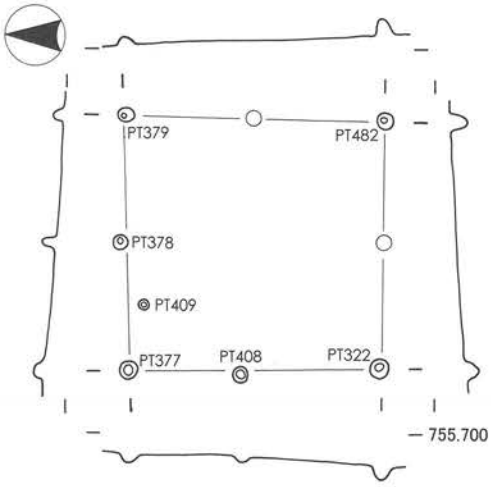
4号掘立柱建物



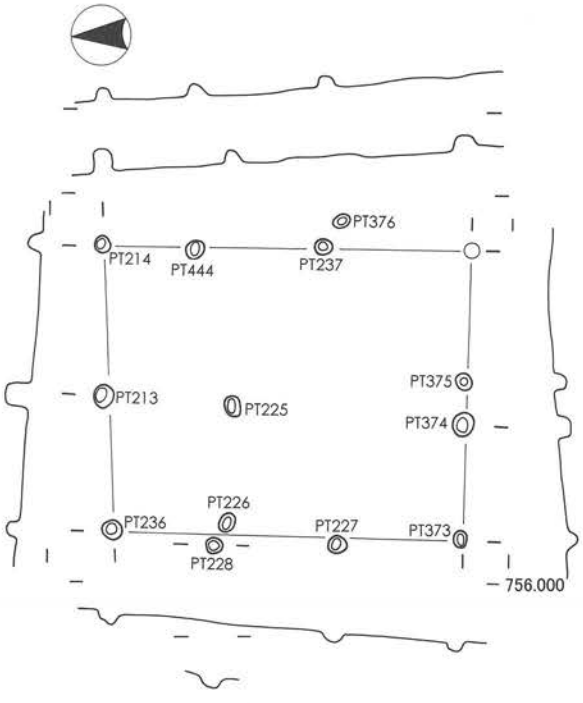
5号掘立柱建物



6号掘立柱建物

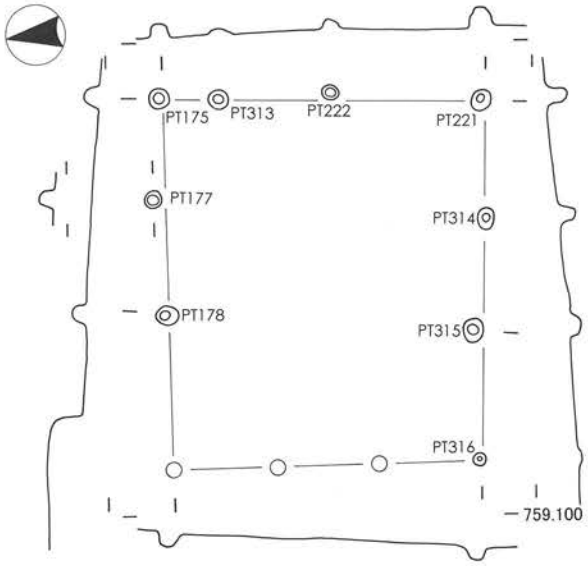


2号掘立柱建物

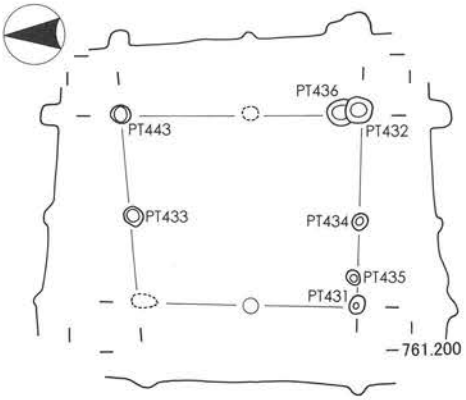


3号掘立柱建物

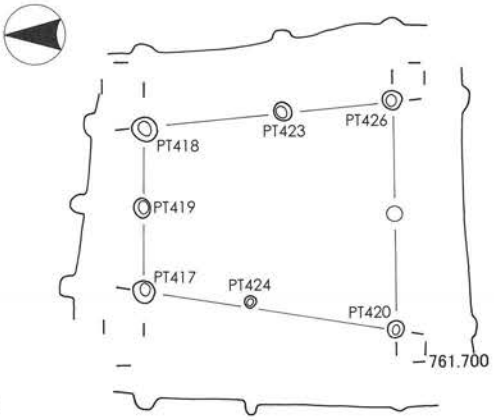
第253図　掘立柱建物（1/40）



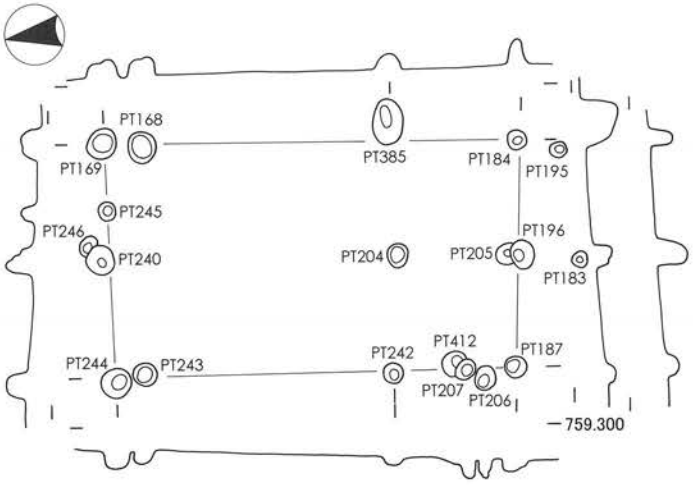
9号掘立柱建物



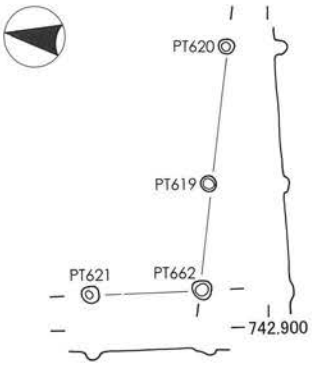
12号掘立柱建物



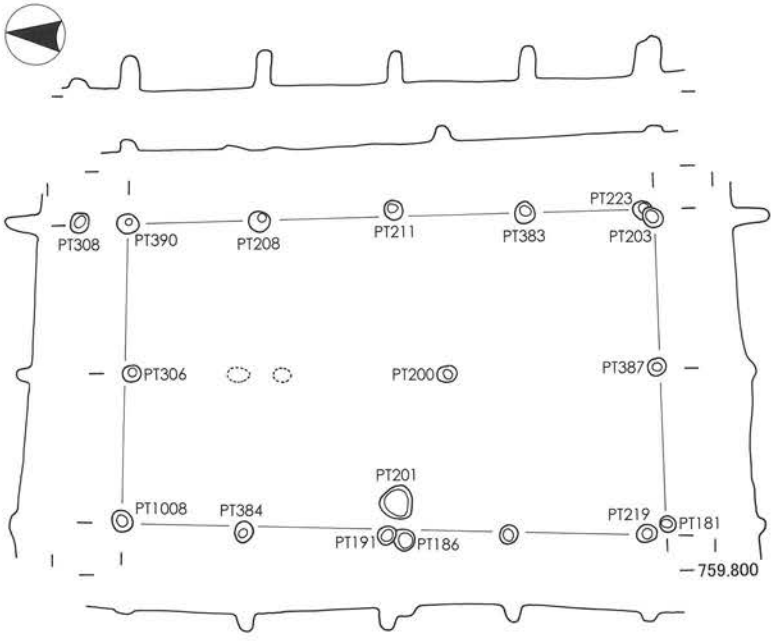
13号掘立柱建物



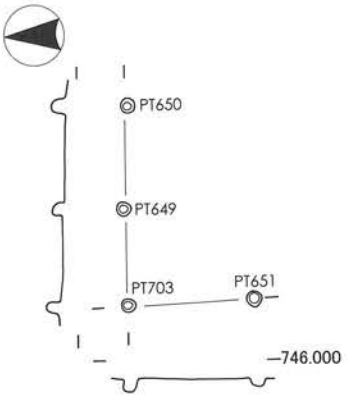
11号掘立柱建物



17号掘立柱建物

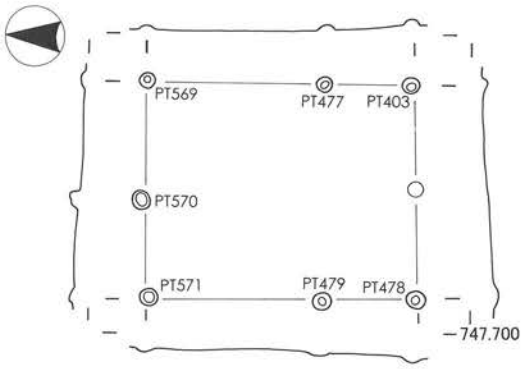


10号掘立柱建物

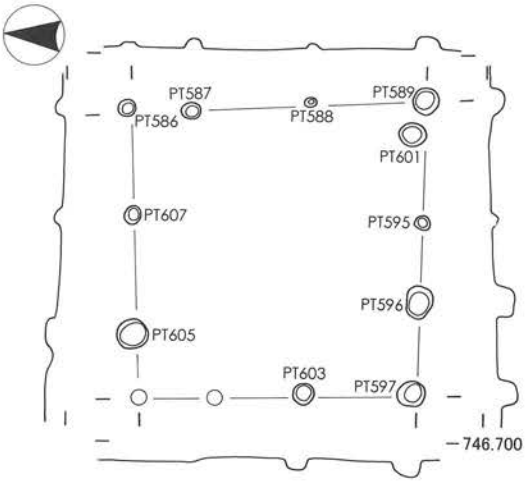


20号掘立柱建物

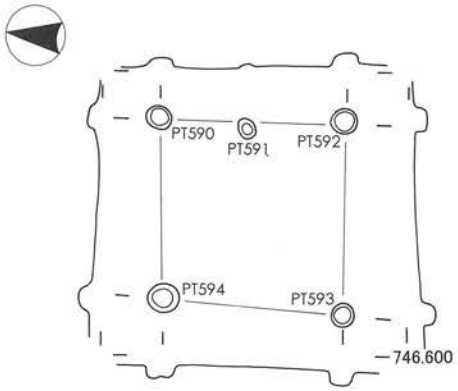
第254図　掘立柱建物（1/40）



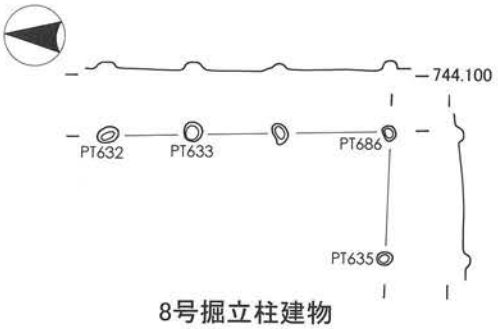
14号掘立柱建物



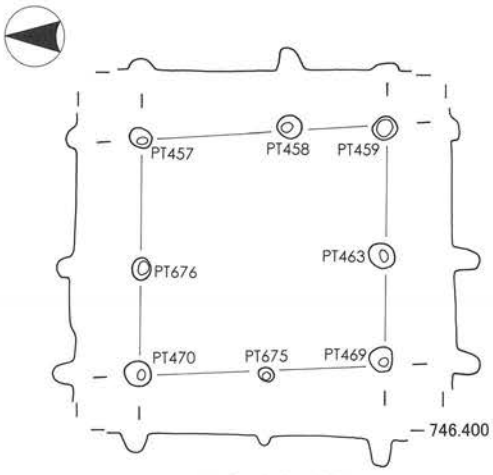
15号掘立柱建物



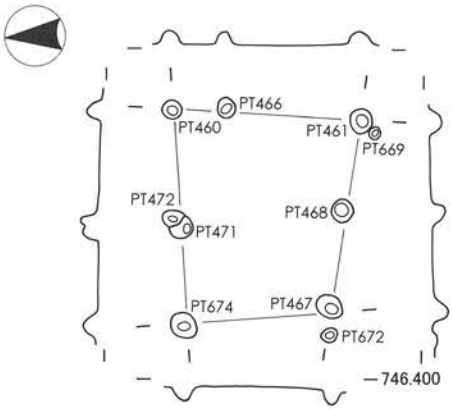
16号掘立柱建物



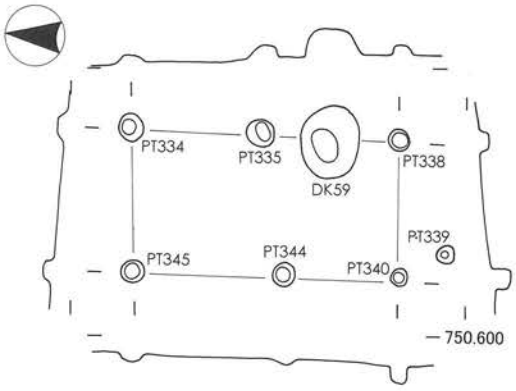
8号掘立柱建物



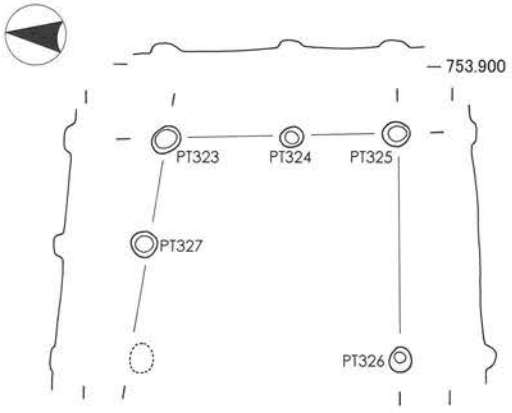
18号掘立柱建物



19号掘立柱建物



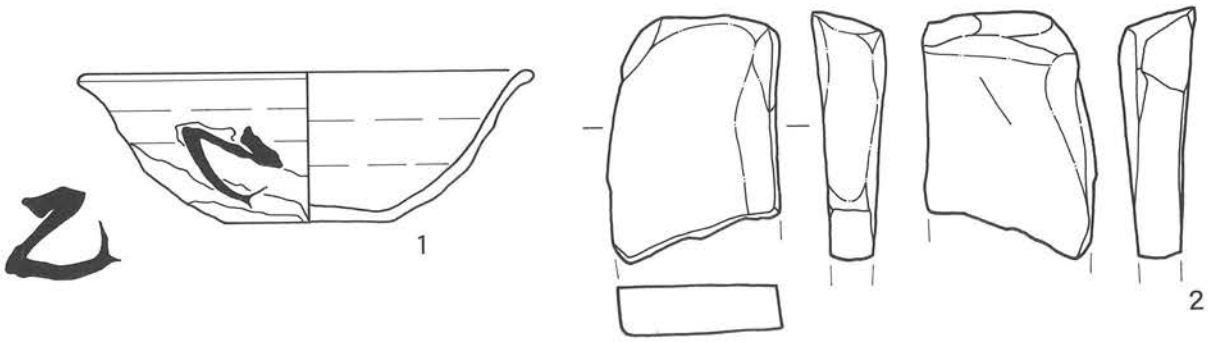
7号掘立柱建物

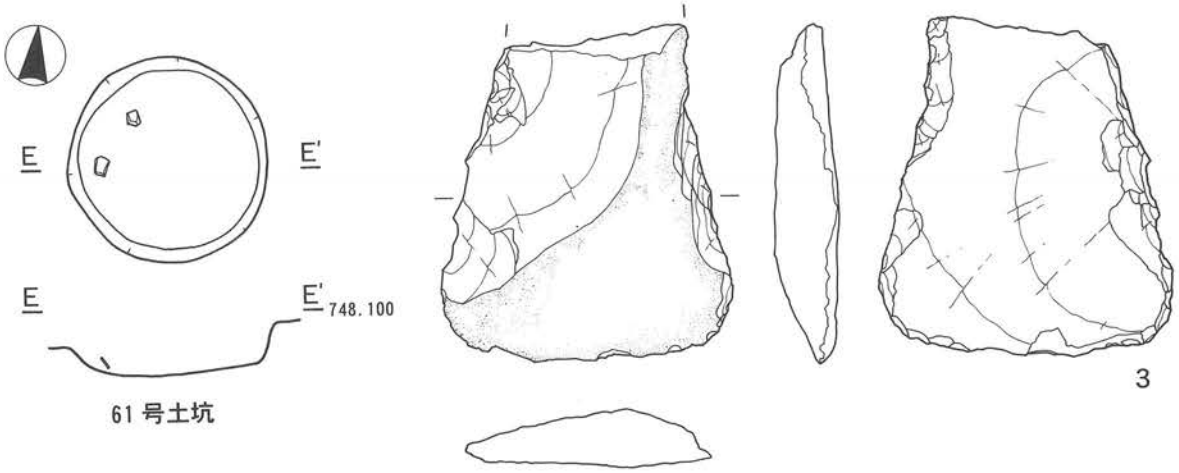


21号掘立柱建物

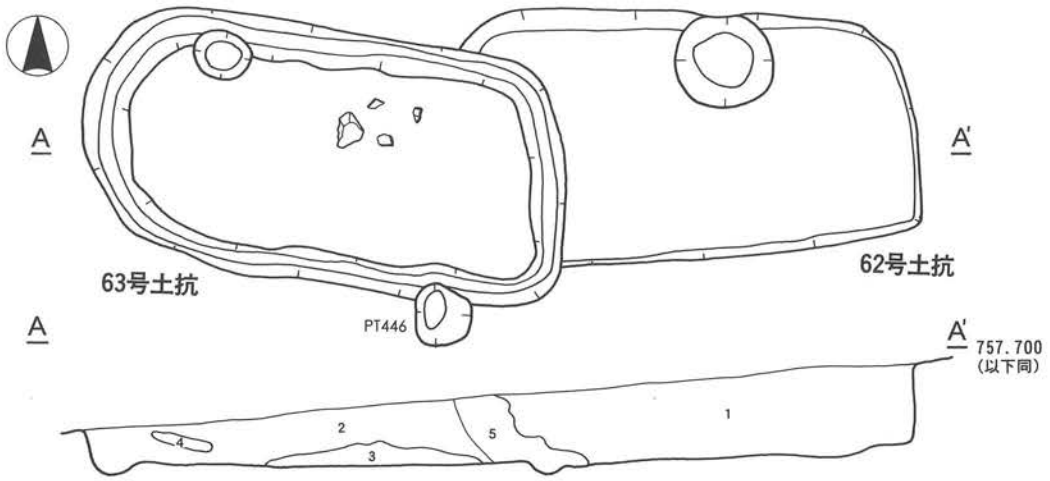
第255図　掘立柱建物（1/40）

1層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
2層 10YR2/3（黒褐）に 10YR3/4（暗褐）が 20%、10YR2/2（黒褐）が 20%、炭化物が 1%、焼土が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
3層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 10%混じる。上部は粘土。固くしまる。下部がシルト粒土。ややしまる。
4層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 10%、炭化物が 1%混じる。粘土が 3%。ややしまる。他はシルト粒土。
5層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 3%、炭化物が 1%混じる。粘土が 5%。ややしまる。シルト粒土。
6層 10YR2/2（黒褐）に 10YR3/4（暗褐）が 2%混じる。ややしまる。シルト粒土。
7層 10YR2/2（黒褐）に 10YR3/4（暗褐）が 10%混じる。ややしまる。シルト粒土。
8層 10YR2/2（黒褐）に 10YR3/4（暗褐）が 10%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
9層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 5%、炭化物が 1%混じる。ややしまる。シルト粒土。
10層 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 3%、炭化物が 2%混じる。粘土が 3%。ややしまる。シルト粒土。
11層 10YR2/2（黒褐）に 10YR3/4（暗褐）が 10%、炭化物が 2%混じる。粘土が 2%。しまる。シルト粒土。
地山 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 20%混じる。しまる。シルト粒土。

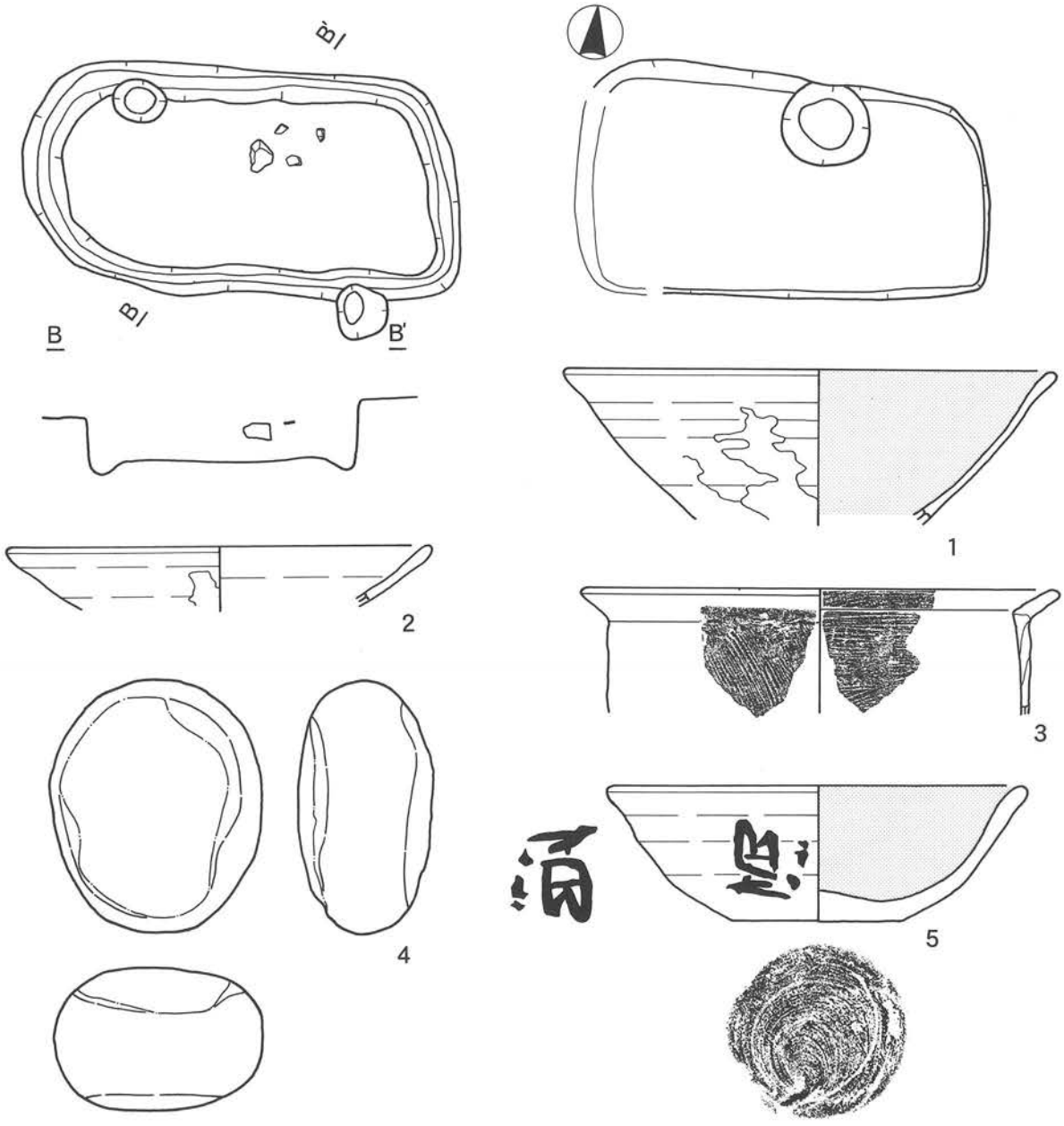




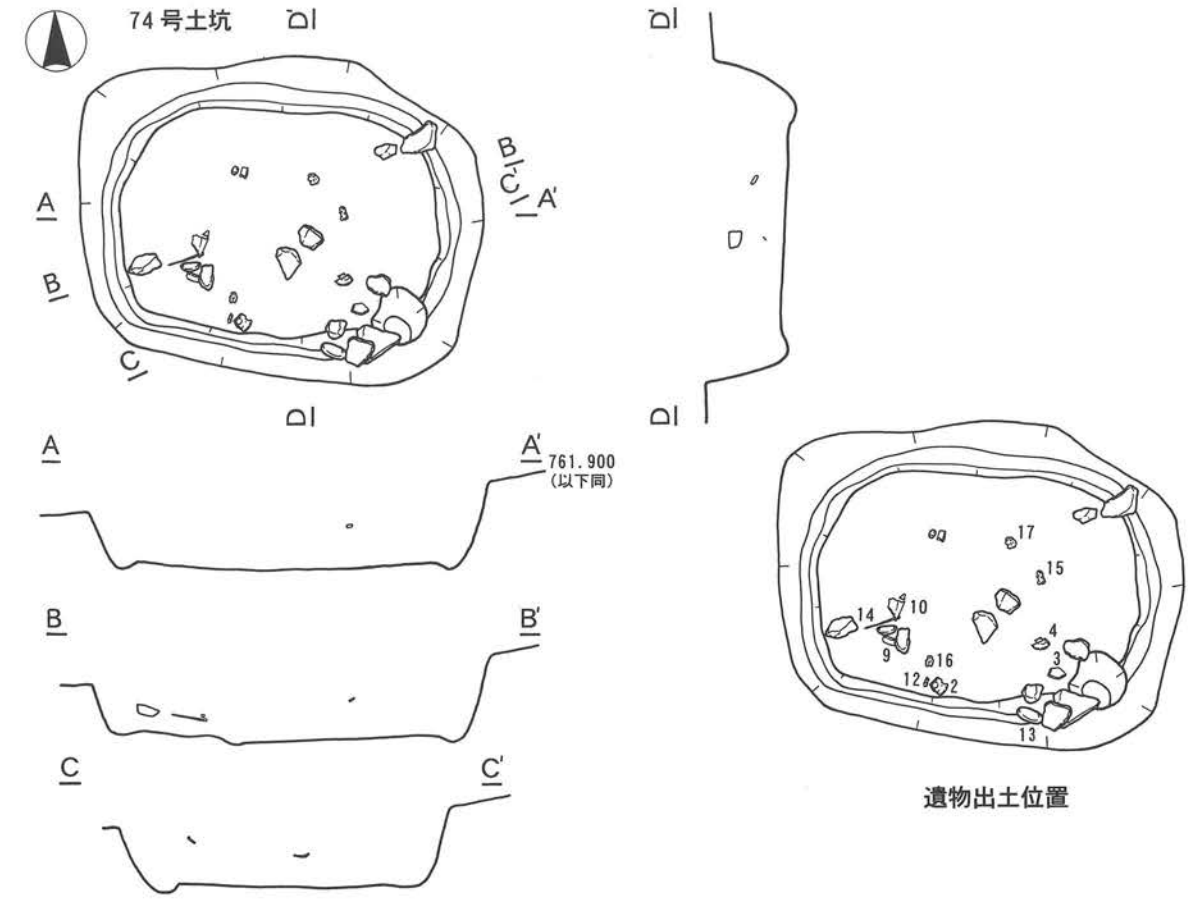
第256図　55号・61号土坑（1/20）および出土遺物（1/2）

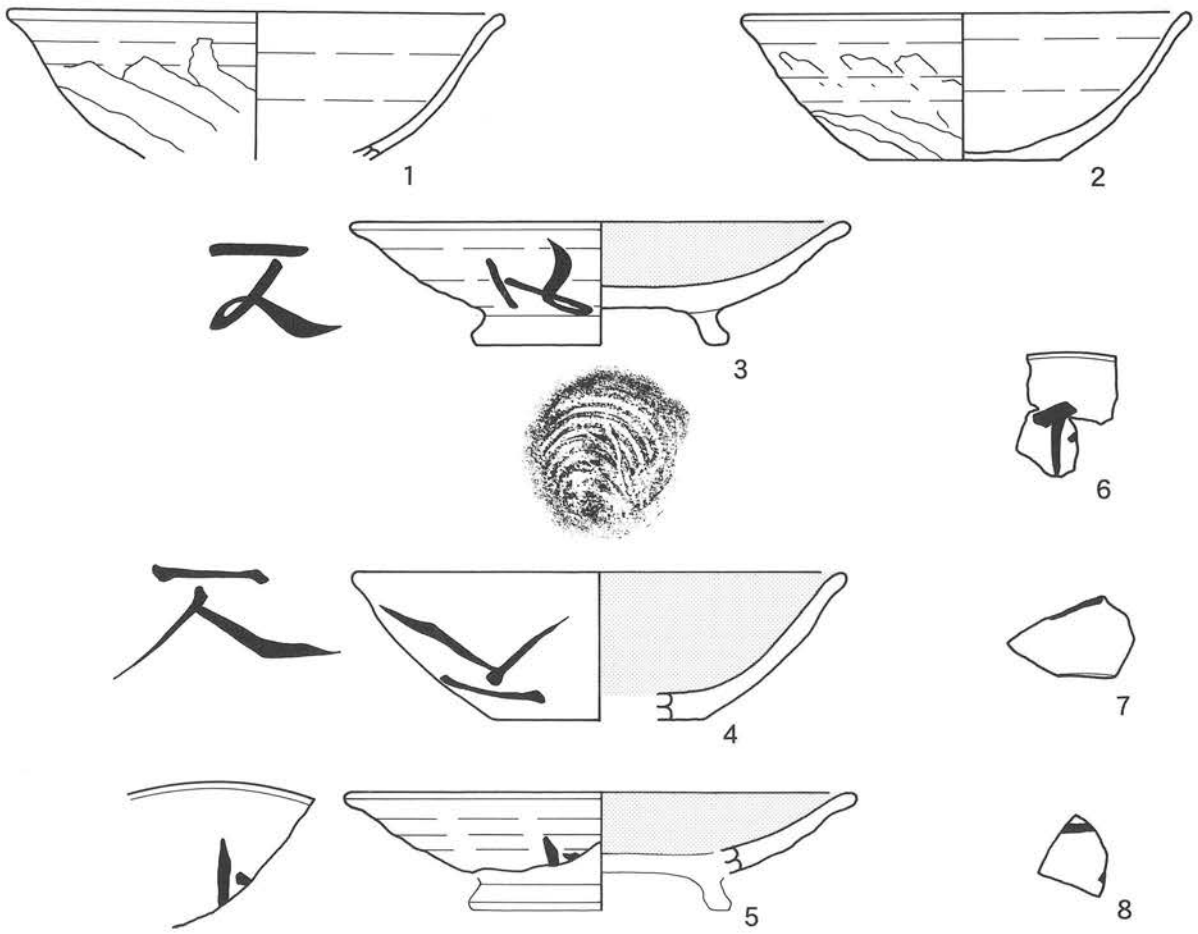


1層 10YR3/4（暗褐）に 10YR4/6（褐）がブロック状で 2%混じる。炭化物・焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
2層 10YR2/2（黒褐）に 10YR4/6（褐）がブロック状で 2%混じる。焼土 1%混じる。しまる。シルト粒土。
3層 10YR4/6（褐）に 10YR2/3（黒褐）が混じる。焼土が 1%混じる。しまる。シルト粒土。
4層 10YR3/4（暗褐）。しまる。シルト粒土。
5層 2 層に同じ。DK62 壁であり、DK63 覆土である。2 層が DK62 側へ崩落した結果 2 層と区分できなくなった層。
地山 10YR3/4（暗褐）に 10YR2/3（黒褐）が 20%混じる。しまる。シルト粒土。

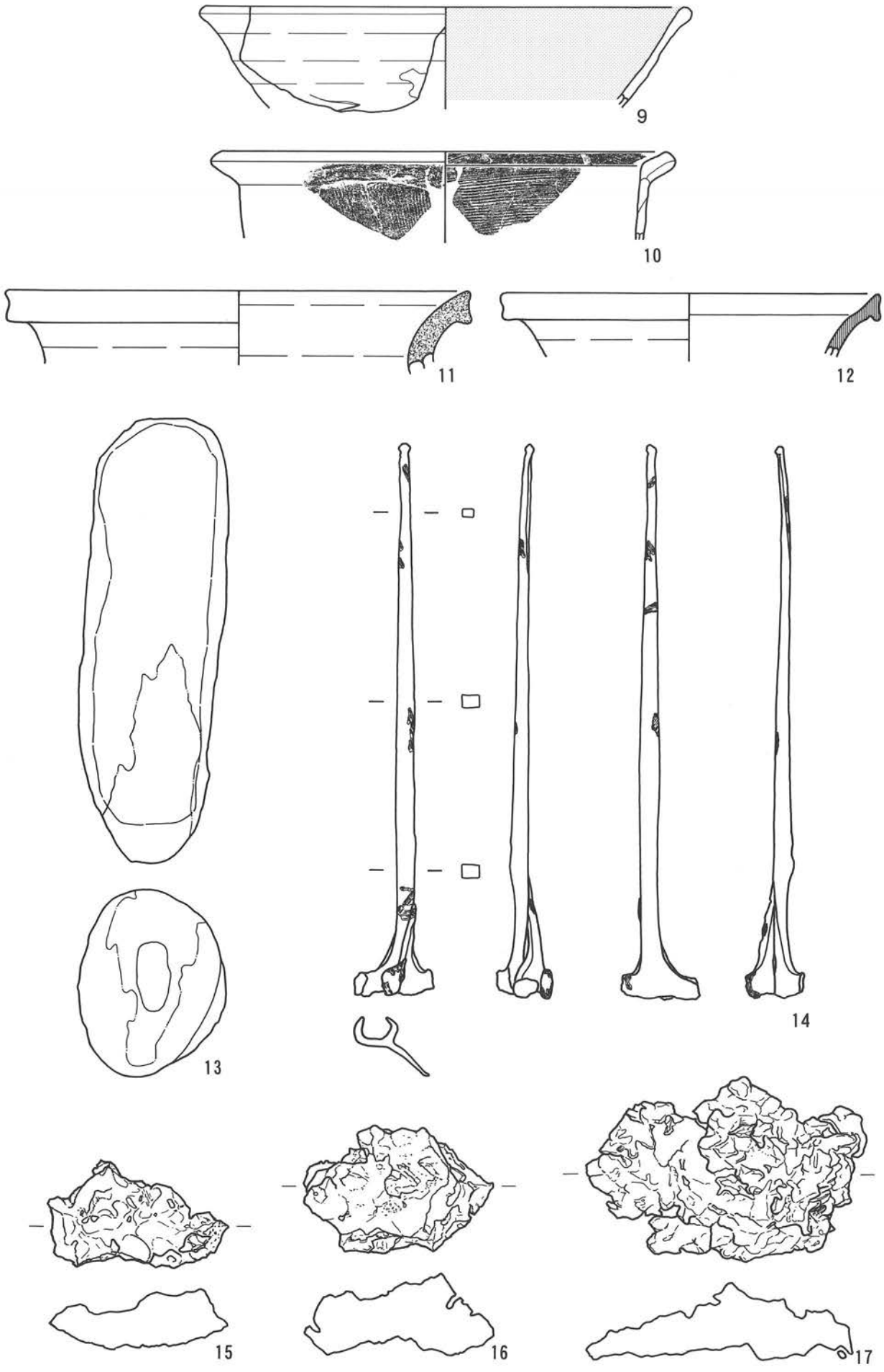


第257図　62号・63号土坑（1/20）および出土遺物（1/2、3 1/4）

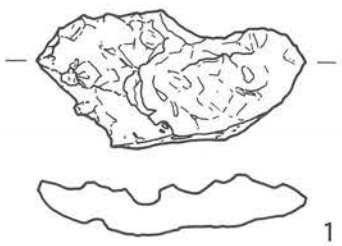




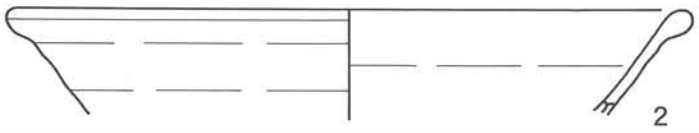
第258図　74号土坑（1/20）および出土遺物（1/2）



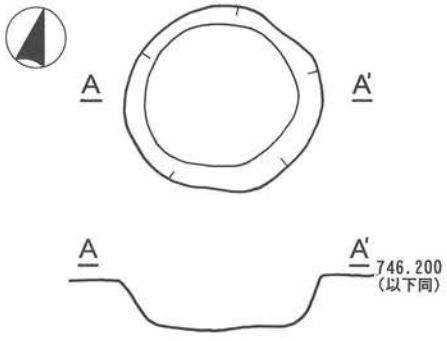
第259図　74号土坑出土遺物（1/2、10 1/4）



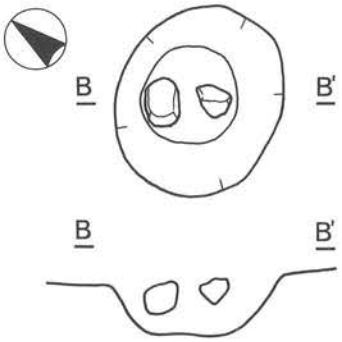
1



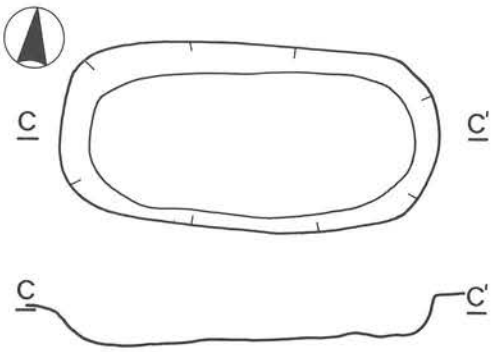
2



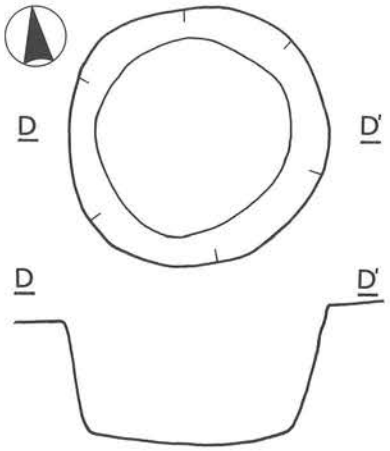
78 号土坑



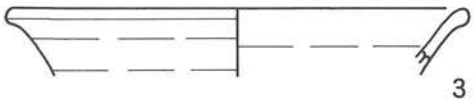
79 号土坑



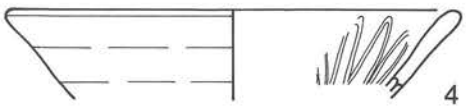
85 号土坑



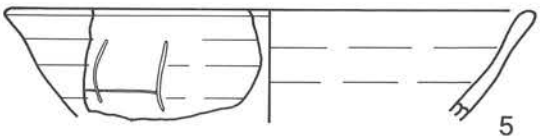
137 号土坑



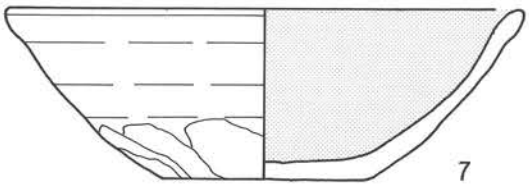
3



4



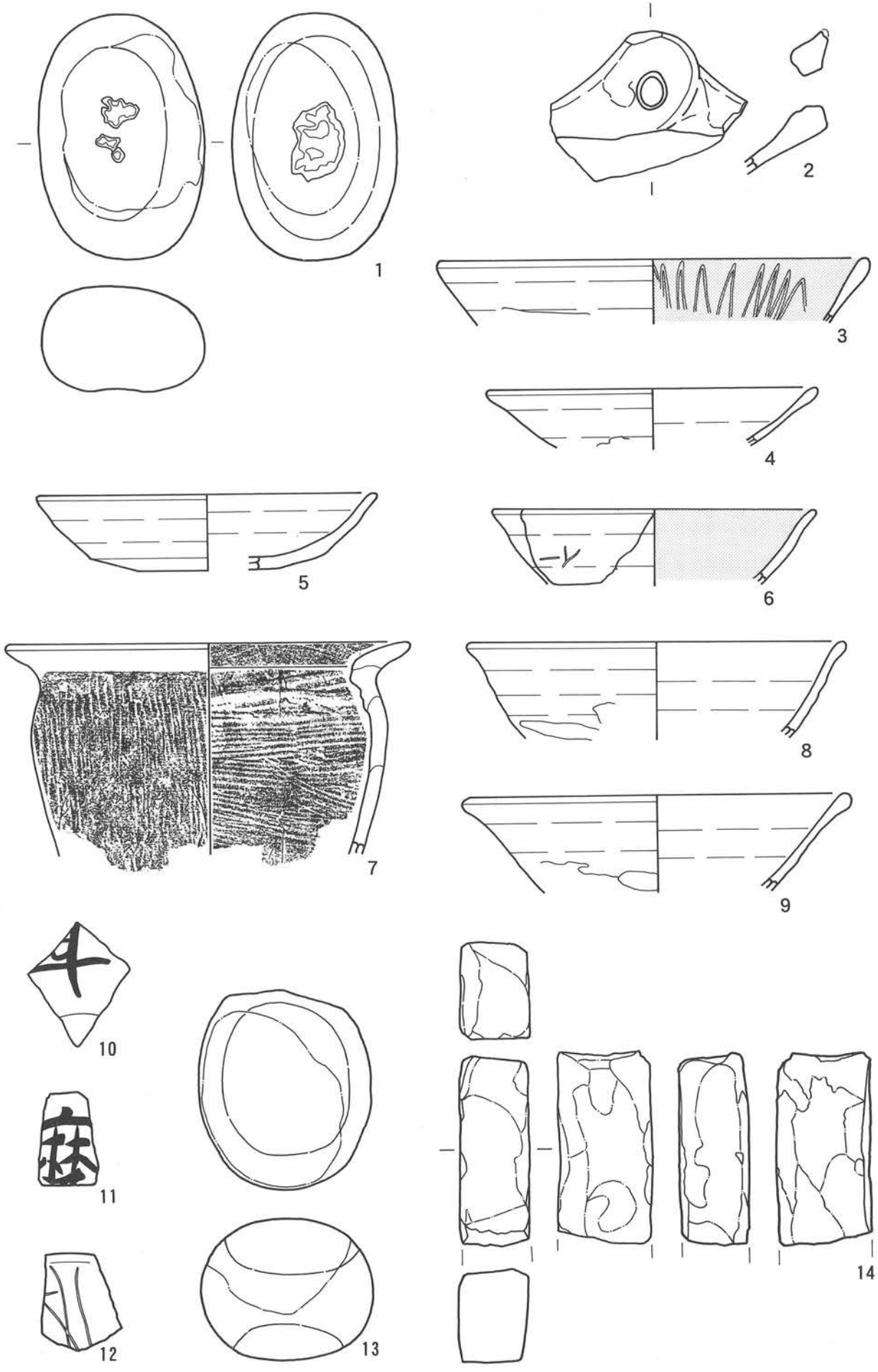
5



7

6

第260図　土坑・ピット（1/20）および出土遺物（1/2）



第261図　土坑・ピット・遺構外出土遺物（1/2）

第５節　３号住居出土の動物骨同定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

梅之木遺跡では、多数の竪穴住居跡や掘立柱建物跡、土坑のほか、鍛冶関連の工房と思われる遺構も見つかっており、出土遺物などから９世紀後半から10世紀末頃までの集落跡であることが確認されている。遺跡周辺には当該期の遺跡として宮後遺跡や寺前遺跡、須玉町上ノ原遺跡などがあり、本地域一帯は古代の御牧の一つである穂坂牧に接し、後院牧小笠原牧にも比定されている。

今回の分析は３号住居跡（PH－３）から出土した動物骨の種類や性別、年齢などを明らかにするため、動物骨同定を実施する。

１．試料

試料は、３号住居跡（PH－３）から一括出土した動物骨である。３号住居跡は、梅之木遺跡の発掘調査区西側のW２区北東部に位置し、平安時代後半（９世紀末～10世紀初頭）に比定される竪穴住居跡である。試料の動物骨は、本住居跡北東隅から、床面より15～20cm程度浮いたレベルで出土している。また、出土時の保存状態は不良で、表面は腐蝕により細かな凹凸が生じた部分や剥落した部分などが見られる。なお、ビビアナイト（藍鉄鉱）の析出は認められない。

２．分析方法

試料の劣化の進行を防ぐため、表面の土壌を筆により簡単に除去した後、アクリル樹脂であるパラロイドB72のアセトン溶液を塗布して保存処理を行なう。接合可能なものは、水溶性の接着剤を使用して接合する。同定は肉眼観察により、骨格標本や骨格図譜類と比較して行なう。また、計測にはデジタルノギスを用いる。

３．結果

同定および観察結果を表１に示す。試料は、ウマの頭蓋骨（上・下顎骨）と、種不明獣類の骨片である。火を受けた痕跡は見られない。以下、分類群ごとに観察所見を述べる。

・ウマ　*Equus caballus*　　ウマ目（奇蹄目）ウマ科

上顎骨は、臼歯の破片のみ検出した。左右の臼歯片があるため、本来は左右の上顎骨が存在した可能性もある。下顎骨は、骨体と歯牙を検出した。上顎骨に比べて保存状態が良く、左右の第１大臼歯はほぼ完全な形状を保つ。特に、左第１大臼歯は、骨体に植立した状態で残る。左右とも咬耗程度は弱い。第４小臼歯と考えられる臼歯も、左右１点ずつ検出される。このうち、右側はほぼ完全である。左右とも未咬耗であり、萌出前の歯と推測される。これらの上顎骨・下顎骨は、臼歯の咬耗程度が類似することから、同一個体の可能性がある。この他、下顎骨の乳臼歯の可能性がある歯牙や、左右下顎骨の臼歯片などが検出された。

ウマの歯牙のうち、計測可能な試料の計測値を以下に示す。

右第１大臼歯：歯冠長30.3㎜、歯冠幅11.2㎜、歯冠高不明（歯根が未形成のため。現状で62.2㎜ある）

左第１大臼歯：歯冠長30.2㎜、歯冠幅11.6㎜、歯冠高不明（植立しているため）

右第４小臼歯？：歯冠長29.8㎜、歯冠幅8.8㎜、歯冠高不明（歯根が未形成のため）

Cornwallによるウマの萌出・交換年齢（註１）によれば、第１大臼歯の萌出が１才、第２大臼歯の萌出が２才、第４小臼歯と第４乳臼歯との交換が3.5才とされる。出土した歯が多ければより詳細な年齢推定が可能であるが、今回の試料は断片的であるため、推定年齢は１～３才と大きく捉えておきたい。性別については、判

表９　３号住居出土動物骨同定・観察表

出土地点	分類名	部位			備考
W２区　PH－3	ウマ	上顎骨	左	臼歯破片	
			右	臼歯破片	
				歯牙破片	
		下顎骨	左	P４？＊	未咬耗（未萌出）
			右	P４？＊	未咬耗（未萌出）
			左	骨体・M１	M１の歯根未形成,咬耗弱い
			右	M１	歯根未形成,咬耗弱い
			右	乳臼歯？頬側	
			右	臼歯頬側破片	
		上顎/下顎骨		歯牙破片	
	獣類	下顎骨		骨体破片	ウマ？
		橈骨？		骨体	ウマ？
		不明		破片	ウマ？

P：小臼歯　M：大臼歯

＊下部が未形成のため全体形状は不明．直線的なためP４？としたが、M２の可能性もある．

別できる部分が残存していないため、性別は不明である。体格については、若齢であることや試料が断片的であるため、今後の検討課題としたい。

・獣類（哺乳綱、種不明）

下顎骨の破片は、内面に縦方向の稜が見られ、歯牙を覆う部分である。接合しないが、上記のウマ下顎骨の一部である可能性が高い。橈骨？とした試料は、管状の四肢骨である。骨端部を欠き、骨体の一部のみであるため同定できないが、骨体が直線的であることや断面形が楕円形であることから、橈骨の可能性がある。橈骨であれば、大きさからみてウマやウシと考えられる。なお、住居跡での出土状況では、ウマの頭蓋骨が一括で出土している点、同定によっても他の動物の骨が見られないことから、この四肢骨もウマの可能性がある。このほか、細かい骨の破片があるが、特徴が把握できないため、部位は不明である。

４．考察

３号住居跡から出土した獣骨の大部分は、ウマの頭蓋骨であった。以下、形成過程・動物利用・牧との関連の３点について考察する。

(1)　形成過程

ウマの頭蓋骨は、３号住居跡（PH－３）北東隅からやや西側に寄る北壁沿いで、床面からやや浮いた状態で出土している。発掘調査所見によれば、住居が埋没する前に壁に持たせかけるような形で床面に置かれたことが想定されている。本試料は、以下の点から、完全ではないものの一個体の頭蓋骨が埋められた可能性が指摘できる。

・上下・左右の臼歯は、その咬耗状況から同一個体の可能性がある。

・歯牙のエナメル質は腐蝕に強いため、酸性土壌でもかろうじて残ったが、他の部位は分解し消滅したと考えることもでき、本来は顎骨以外の部分も存在した可能性がある。

・上下顎骨共に歯列の前半部分（切歯から小臼歯前半部）が検出されておらず、この部分は当初から失われていたと想定される。幼獣とはいえ頑丈なウマの頭蓋骨が自然に割れるとは考えにくいため、埋没以前に人為的に破壊された可能性がある。

ただし、発掘調査時の出土状況からは、同じレベルで堆積していることや、個々の歯が軸を揃えて並んでいたことが伺えるものの、上顎骨と下顎骨が解剖学的位置を保っていたかどうかが判断できない。これらは遺存体と遺構の性格を考える上で重要な情報であるため、現地において出土状況の詳細な観察を行なうことが必要である。

⑵ **動物利用**

遺構内からウマ遺存体が出土する例は、これまでに多数認められている。松井（1987）によれば、解体され溝などに廃棄された状態の古代のウマ出土例は、奈良県平城京跡や千葉県印内台遺跡など各地で知られている。一方で、古墳時代以降、ウシやウマの頭蓋骨を用いた祭祀の痕跡が各地で見つかっており、本遺跡のような住居跡からウマ頭蓋骨が出土する場合、祭祀に利用するための備蓄という性格を持つことも想定される。そこで、ここでは、廃棄と備蓄の２つの視点から検討したい。

まず、廃棄については、廃絶した竪穴住居を土坑とみなし、骨を廃棄した可能性も考えられる。松井（1987）によれば、養老律令の「厩牧令」という条文には、官の牛馬が死んだ場合は、皮・脳・角・膽を採ること、公務の途中で駅馬などが死んだ場合は、皮と肉を取り売った代金を元の役所に納める（注釈書によれば、私のウマも同様）、等の規定がある。本遺跡は、御牧の推定地に近いことから、３号住居跡（PH－３）出土のウマも官のウマであった可能性がある。何らかの原因で死亡し、規定通りに解体されて皮や肉が取られた後に残った骨の一部が、廃絶した住居に廃棄されたと解釈することも可能である。ただし、本出土例は、遺存状態が悪いこともあり、解体痕跡の確認ができない。また、頭蓋骨と四肢骨の一部という極めて限定的な部位しか認められない点、居住域内で解体が行なわれる可能性は低い点、本遺跡では３号住居跡以外では獣骨が出土していない点などから、現状では廃棄という行為を積極的に支持できない。

次に、備蓄については、本試料が壁際に置かれたと考えられる出土状況であることが参考となる。当遺跡とは地域・時代ともに異なるが、岡山県加茂政所遺跡の７世紀前半の竪穴住居跡内からウマの頭蓋骨が出土しており、詳細な検討が行なわれている。富岡（1999）によれば、このウマの遺存体は２個体分の頭蓋骨であり、解剖学的位置や人為的破損痕跡の検討から、頭蓋骨のみが意図的に配置されたか、殉葬や儀礼などに利用するため保管されていた可能性があるとされる。この事例は、竪穴住居跡からウマ頭蓋骨が出土したことや、骨に人為的破壊とみられる痕跡があることが特徴である。本出土例についても、ウマ頭蓋骨が出土している点や歯列前半部分が未検出であることが人為的行為によると考えれば、加茂政所遺跡における出土状況と共通点を見出すことができる。

山梨県内では、末木（2000）によれば、ウマの遺存体が住居跡から出土した遺跡として一宮市大原遺跡と韮崎市中田小学校遺跡がある（いずれも平安時代）が、出土状況など検討を行っていないため本遺跡出土例との比較はできない。

⑶ **牧との関連**

古代の茅ヶ岳山麓には、甲斐国の三御牧の一つである穂坂牧（双葉町赤坂台付近から明野村小笠原付近まで広がっていたと推定される）と、冷泉院領小笠原牧（明野村小笠原付近にあったと推定される）が設置されていたとされる（末木,2000）。しかし、本地域の遺跡からは、明野村寺前遺跡で鈴が出土している他は、牧に関連する遺構や遺物の確認例はない。わずかな遺存体の出土を牧に結びつけることはできないが、今回牧推定地に近接する本遺跡においてウマの遺存体が出土したことは、牧を検討する際の重要な資料である。特に、３号住居跡から出土したウマ頭蓋骨は、１～３才の子ウマと推定され、騎乗に使用する以前の若齢個体と考えられる。したがって、本遺跡は、単にウマの使役が行なわれていただけでなく、ウマやウシの生産や供給を行なっていた牧との関連性も考えられる。

以上、同定結果や出土状況、各地における類例を参考に考察を行った。しかし、本遺跡周辺では類例が少なく、現状では本地域における傾向や性格を充分に把握できていないため、いずれも可能性を示唆するに留めたい。今後、これら考察を検証するため、周辺地域の類例や情報の収集を行い、あらためて評価したいと考えている。

(註1)Cornwall(1956)、原著未入手のため久保・松井（1999）より引用した。

引用文献

久保和士・松井　章（1999）家畜その2－ウマ・ウシ.「考古学と自然科学2　考古学と動物学」, 西本豊弘・松井　章編, p.169－208, 同成社.

松井　章（1987）養老厩牧令の考古学的考察－斃れ馬牛の処理をめぐって. 信濃,39－4, p.231－256, 信濃史学会.

富岡直人（1999）岡山県加茂政所遺跡出土ウマ遺存体.「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告138　加茂政　所遺跡・高松原古才遺跡・立田遺跡」, p.1111－1122, 岡山県教育委員会.

末木　健（2000）山梨の牧関連資料.「山梨県考古学協会2000年度研究集会　古代の牧と考古学」, p.12－31, 山梨県考古学協会.

佐野　隆（1997）「明野村文化財調査報告書11　下大内遺跡　屋敷添第2遺跡　中原遺跡　－県営圃場整備事業に伴う縄文時代・平安時代・中世の遺跡の発掘調査報告書」, p.130, 山梨県明野村教育委員会・峡北土地改良事務所.

第４章　その他の時期の遺構と遺物

本章では平安時代以外の時期の遺構と遺物を報告する。本章にかかわる遺物の観察所見は、本章第４節遺物観察表に掲載する。

第１節　縄文時代の遺物

本書で報告する調査区の東側100mには、縄文時代中期末葉、曽利式期の遺跡が所在する。ここでは平安時代以降の人為により調査区内に搬入されたと思われる縄文時代遺物について報告する。平安時代の意図的な人為により平安時代遺構に搬入されたと思われる縄文時代遺物は、第３章において報告した。

第２節　弥生時代の遺構と遺物

54号住居（第264図）

位置　Ｗ２区東端に位置する。

規模・形態　削平により不明

時期　弥生時代

出土遺物　器面を調整した条痕が残る土器破片がまとまって出土した。覆土より砥石が出土したが平安時代の遺物と思われるため、第３章第７表で報告した。

調査所見　浅く不整形な暗褐色土の落ち込みを検出した。地表面は耕作による撹乱で乱れ、遺構形状はきわめて不明瞭であった。暗褐色土中には焼土粒子と炭化物粒子が混じり、平安時代の遺構と判断して調査を開始したところ、カマドとみられる遺構が検出されず、堅くしまった床面も確認されなかった。土師器は全く出土せず、遺構があったとしても削平によりほとんど失われてしまったものと判断した。そのため、写真撮影、遺構形状の測量は省略した。整理作業段階でこの54号住居出土品が弥生時代の所産と判明したためここに報告した。炉跡、柱穴などは確認できなかった。

第３節　中近世の遺構と遺物

58号土坑

位置　Ｗ２区東端、57号住居東に位置する。

規模　直径１mの円形で、深さ48cm。

調査所見　黒褐色土に明褐色土粒子が混じる覆土で、人為的に埋め戻されたと思われる。覆土より近世前半に生産されたと思われる天目茶碗底部１点が出土した。

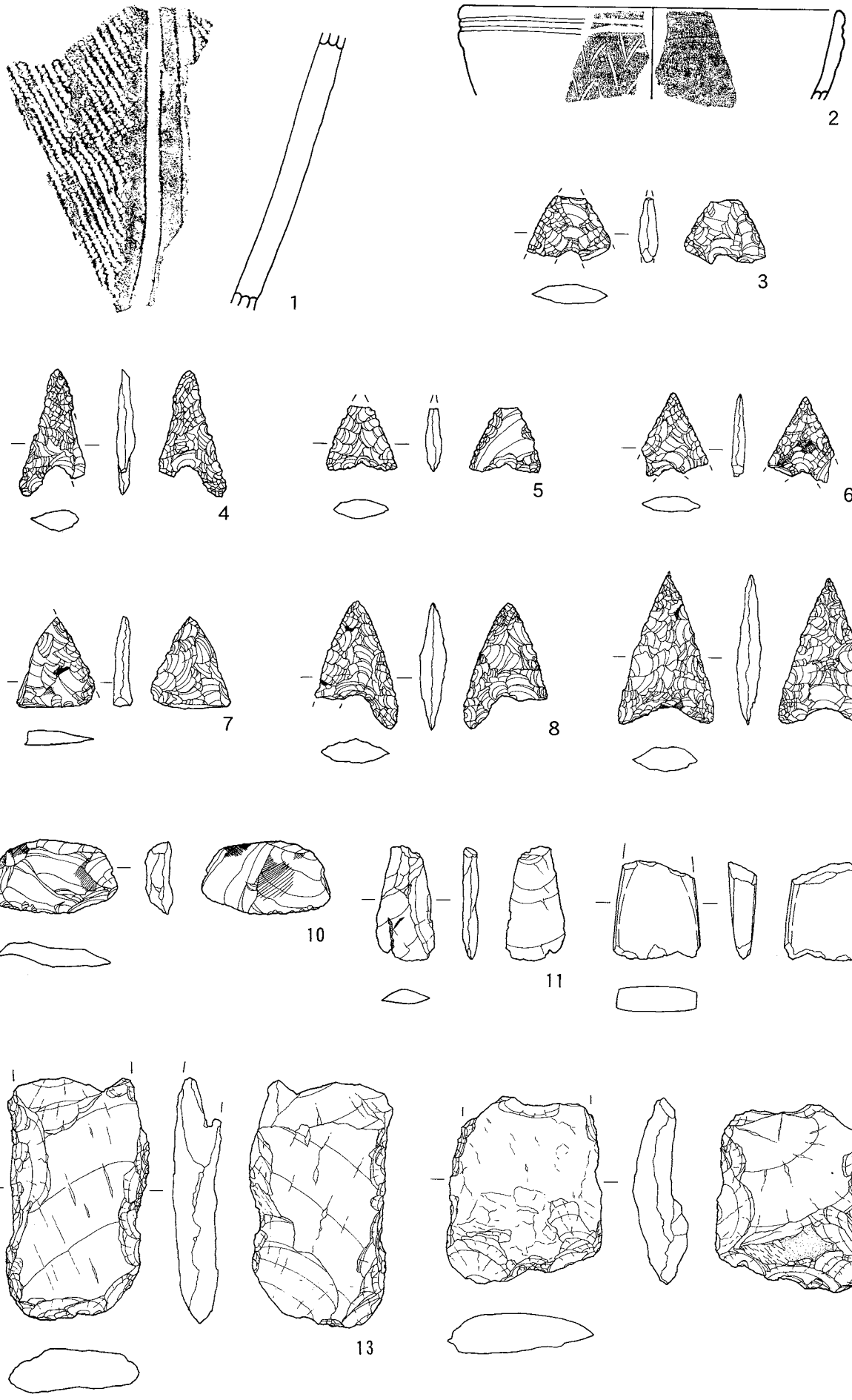
第４節　遺物観察表

第10表　その他の時期の土器一覧

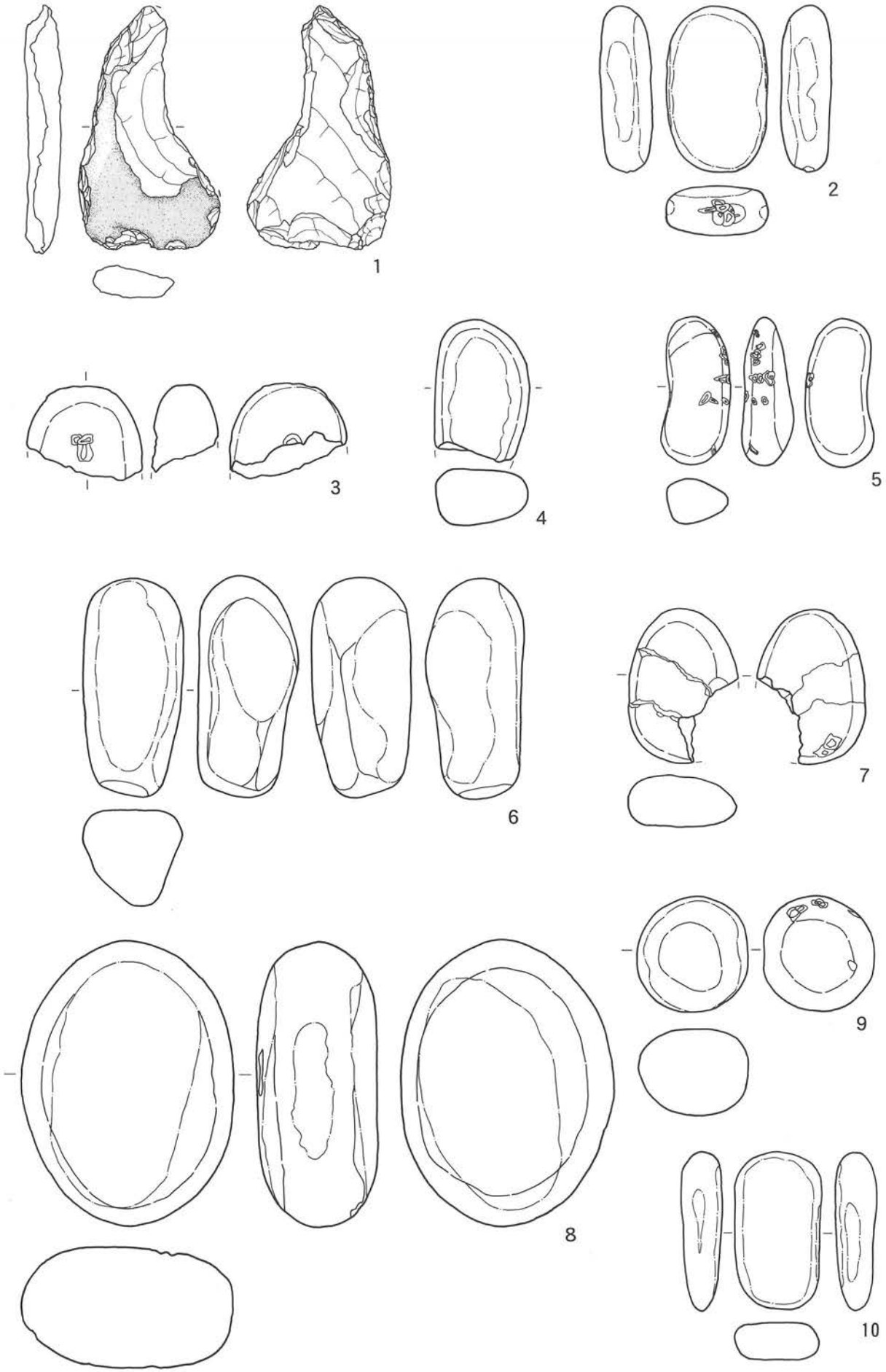
図版番号	種　別	胎土色調	残存度	特徴、出土位置、胎土質、釉調など
262図１	縄文土器	5ＹＲ4／4	小破片	95号住居178号土坑出土、縄文時代中期、加曽利Ｅ３式
262図２	縄文土器	7.5ＹＲ4／4	小破片	94号住居205号土坑出土、縄文時代中期、曽利Ⅴ式
264図４	弥生土器	5ＹＲ5／6	小破片	縄文時代晩期の土器か、鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図５	弥生土器	5ＹＲ5／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図６	弥生土器	7.5ＹＲ6／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図７	弥生土器	7.5ＹＲ6／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図８	弥生土器	10ＹＲ5／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図９	弥生土器	10ＹＲ5／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図10	弥生土器	10ＹＲ6／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図11	弥生土器	10ＹＲ6／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図12	弥生土器	10ＹＲ5／4	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図13	弥生土器	10ＹＲ6／6	小破片	鉱物、雲母粒子が混じるやや粗粒の胎土
264図14	古式土師器	10ＹＲ6／4	小破片	57号住居出土、古墳時代前期、台付甕の脚部破片
264図15	陶磁器	10ＹＲ6／3	小破片	58号土坑出土、釉調7.5YR４／４、緻密な胎土、瀬戸美濃産天目茶碗、近世初頭

第11表　その他の時期の石器一覧

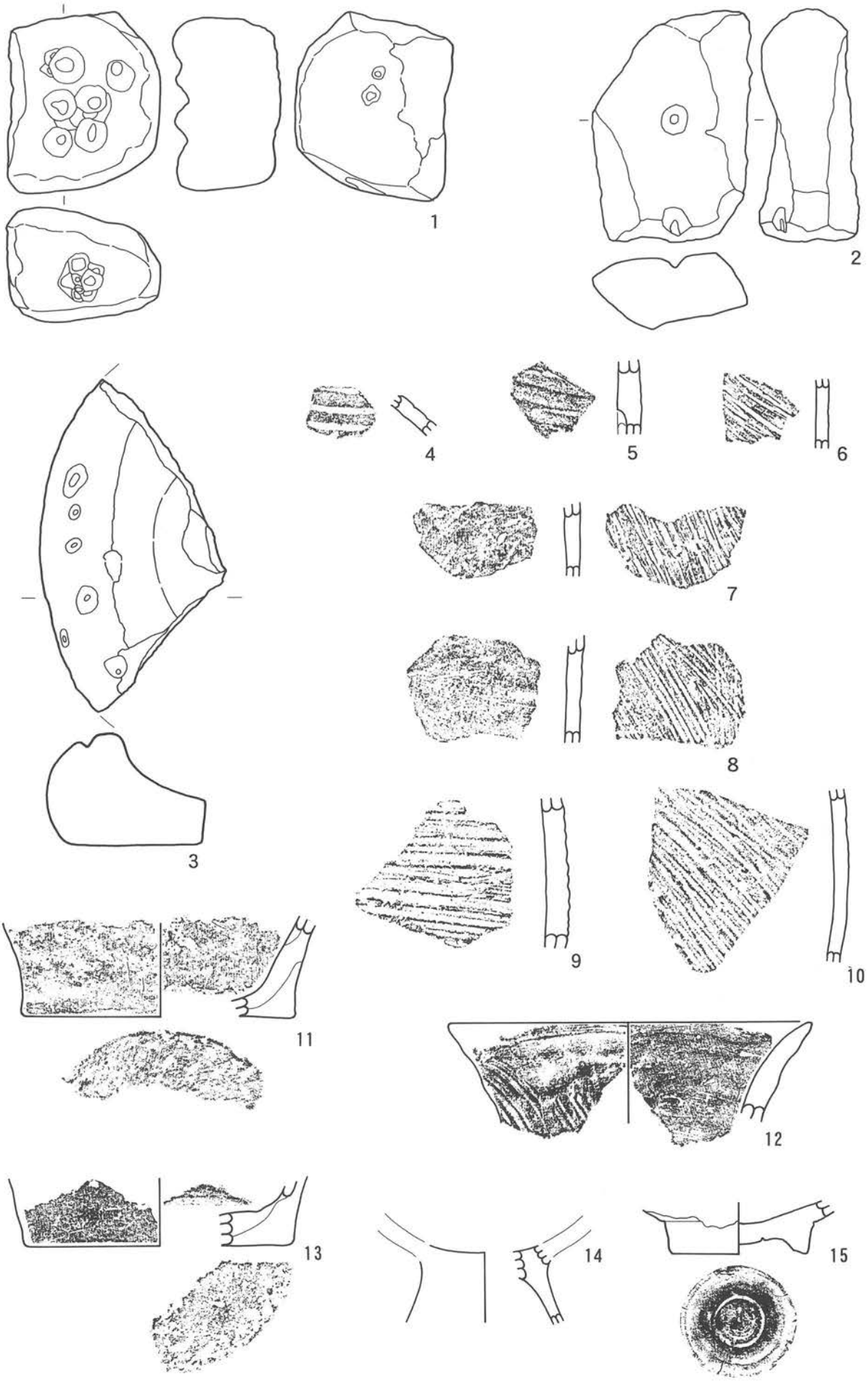
図版番号	種別	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	石質	重量(ｇ)	特徴、出土位置など
262図３	石鏃	(1.2)	(1.5)	0.4	黒曜石	１ｇ未満	先端部及び両脚部欠損　PH２カマド内より出土
262図４	石鏃	2.2	(1.2)	3.4	黒曜石	１ｇ未満	右脚部欠損　PH50覆土中より出土
262図５	石鏃	(0.8)	0.9	0.2	黒曜石	１ｇ未満	先端部欠損　PH７覆土中より出土
262図６	石鏃	(1.5)	(1.2)	0.3	黒曜石	１ｇ未満	両脚部欠損　PH37覆土中より出土
262図７	石鏃未製品	1.6	1.4	1.0	黒曜石	１ｇ未満	PH81DK102覆土中より出土
262図８	石鏃	6.8	4.4	5.0	黒曜石	1	左脚部欠損　W－２区一括
262図９	石鏃	2.7	1.8	0.4	黒曜石	1	先端部わずかに欠損　PH92覆土中より出土
262図10	使用痕のある剥片	2.7	4.5	7	黒曜石	10	下縁に微細剥離　PH61カマド覆土中より出土
262図11	剥片	4.2	2.1	0.5	チャート	4	PH17覆土中より出土
262図12	磨製石斧	(3.5)	3.1	1.0	蛇紋岩	19	刃部及び基部欠損　W－１区一括
262図13	打製石斧	(8.7)	4.9	1.5	頁岩	99	一部稜線に潰れ　PH29覆土中より出土
262図14	打製石斧	(6.4)	5.5	2.0	緑色凝灰岩	71	基部欠損　PH52覆土中より出土
263図１	打製石斧	17.6	10.1	1.4	変成岩	478	刃部摩耗　PH68カマド横の撹乱より出土
263図２	磨石	12.1	7.2	3.7	安山岩	462	表面及び両側面に磨面、下縁に敲打痕　W－２区一括
263図３	凹石	(7.0)	(8.3)	(4.8)	安山岩	240	両面に凹み、裏面は広範囲に磨痕あり　PH６覆土中より出土
263図４	磨石	(10.3)	6.9	4.2	安山岩	495	表面に磨面、下端欠損　PH７覆土中より出土
263図５	敲石	10.8	5.0	3.6	砂岩もしくは安山系火成岩	260	右側面に敲打痕あり　PH13覆土中より出土
263図６	磨石	16.0	7.2	6.9	安山岩	1167	全面に磨痕　PH76覆土中より出土
263図７	磨石	10.2	(7.9)	(3.7)	安山岩	419	PH６覆土中より出土
263図８	磨石	20.8	15.4	8.6	黒色安山岩	2939	表裏両面に磨面、表面には凹みあり　PH72a覆土中より出土
263図９	磨石	8.5	8.1	6.1	安山岩	574	表面に敲打痕あり　PH３覆土中より出土
263図10	磨石	11.4	6.0	2.7	安山岩	465	正面及び左右両側縁に磨痕　PH90覆土中より出土
264図１	多孔石	14.5	11.2	8.1	火成岩系安山岩	1371	PH67カマド右脇覆土中より出土
264図２	石皿	(16.8)	(11.2)	(7.3)	多孔質安山岩	1265	破片、表面に凹みあり　W－２区遺構外より出土
264図３	石皿	(13.5)	(24.3)	8.1	安山岩	24.3	破片、多孔石に転用　PH93覆土中より出土



第262図　その他の時期の遺物（1/2、2 1/4、3～9 1/1）



第263図　その他の時期の遺物（1/4）



第264図　その他の時期の遺物（1/2、1～3 1/4）

第５章　遺跡の変遷と特徴

第１節　遺跡の変遷と特徴

１　各時期の遺構分布

梅之木遺跡で検出された平安時代集落の時期ごとの変遷をまとめておきたい（第265図・266図）。
まず各時期の遺構分布状況を確認する。遺構の時期は出土遺物により推定した。出土遺物がなく時期が推定できない遺構は除外した。

第１期（９世紀第３四半期～９世紀第４四半期）

宮ノ前Ⅶ期に該当する。集落は９世紀第３四半期に新たに形成され、この時期より遡る遺物は出土していない。大型の住居と小型の住居がはっきりと区別される。本期に属すると思われる遺構は、竪穴住居30軒である。土坑はみられない。

竪穴住居　13号、14号、18号、19号、26号、27号、28号、30号、31号、36号、40号、42号、43号、44号、47号、56号、59号、62号、67号、70号、71号、73号、74号、75号、76号、77号、78号、79号、80号、94号

第２期（９世紀第４四半期～10世紀第１四半期）

宮ノ前Ⅷ期に該当する。各住居は第１期と異なる地点に建設される。第１期に比べて多くの住居が小型化し、大型の住居は少ない。本期に属すると思われる遺構は、竪穴住居31軒、掘立柱建物１棟、土坑５基である。長方形土坑はいずれもこの時期に属する。本遺跡の北東に位置する上ノ原遺跡（第５図59）はこの時期に住居がみられなくなるが、本遺跡では住居数が最大となる。

竪穴住居　１号、３号旧、７号、９号、20号、23号、24号、25号、29号、37号、41号、45号、46号旧、48号、53b号、57号、64号、65号、69号、72号、81号、82号、83号、84号、86号、87号、88号、90号、91号、92号、95号、

掘立柱建物　15号

土坑　55号、62号、63号、74号、85号

第３期（10世紀第２四半期～10世紀第３四半期）

宮ノ前Ⅸ期に該当する。第１期から第２期にかけての住居占地の変化ほど大きくないものの、やはり住居は第２期とは別地点に建設される傾向がうかがえる。住居数は第２期から大きく減少する。第１期と同様、大型の住居と小型の住居がはっきりと区別される。本期に属すると思われる遺構は、竪穴住居18軒、掘立柱建物４棟、土坑３基である。

竪穴住居　２号、３号新、４号、16号、17号、21号、22号、46号新、49号、51号、52号、53a号、63号、66号、68号、85号、89号、93号

掘立柱建物　９号、10号、11号、15号

土坑　64号、78号、79号

第４期（10世紀第３四半期～10世紀第４四半期）

宮ノ前Ⅹ期に該当する。住居数はさらに減少し、調査区中央から東側に立地が偏る。住居は概して小型で掘り込みは浅くなる。６号、15号、50号、58号の各住居は第３期からの占地を維持するようにみえるものの、ほかの３軒は継続性が認められない。本期に属すると思われる遺構は竪穴住居７軒である。掘立柱建物と土坑はない。

竪穴住居　６号、15号、50号、55号、58号、60号、61号

2　住居群と占有地の設定

第１期に属する竪穴住居の分布をみると、竪穴住居は不規則に分布するのではなく２～３軒が小群を形成して分布していることに気づく（第265図）。そしてこうした分布の規則性は第２期以降の各時期に継続するようである。そこで第１期から第４期まで各時期ごとの住居群を想定してみたい。小群の想定に際しては、所属時期が同一であること、住居が隣接しあうこと、主軸線方向が近いことを指標に、１～３軒程度の空間的に近接して分布する住居を組み合わせた。ただし、便宜上の作業仮説である土師器編年に沿って住居を機械的に特定時期に配分した結果の分布をもとに住居群を想定する以上、実際の遺跡の動態が単純化されてしまうのは避けがたいことを記しておきたい。

各時期で想定した住居群は第267図に示した。

第１期ではＷ２区で１－１群から１－11群までの11小群、Ｗ１区では１－12群から１－14群までの３小群、合計で30軒の住居を14群に分割する小群を想定することができる。小群は２軒ないし３軒の住居で構成される。１－９群の73号住居と74号住居のように非常に近接する例があり、小群中の住居が同時に並存したか検討を要する場合もある。

第２期ではＷ２区で２－１群以下の11小群、Ｗ１区で３小群、合計で31軒の住居を14群に分割する小群を想定することができる。第１期で想定した小群は程度の差はあれその占地を変更し、小群を構成する住居軒数にも増減が認められる。２－１群は調査区のみでみる限りこの時期に出現する。

第３期ではＷ２区で９小群、Ｗ１区で１小群、合計で18軒の住居を10群に分割する小群を想定することができる。住居数の減少に伴い小群も減少し、Ｗ２区の西側半分とＷ１区で小群の減少が目立つ。

第４期ではＷ１区とＷ２区西半の小群がことごとく消滅し、第３期から継続しない。Ｗ２区では７軒の住居が６小群を構成する。４－４群、55号住居がこの時期に出現する。調査区外の南側に第３期までの遺構が存在した可能性もあろう。ただし存在が予想される遺構は耕作等による削平で検出されなかった。

以上の各時期ごとに想定した小群が、４時期を通じてどのように占地を変え変遷したかを想定し、第268図に示した。各時期を通じた住居群の占地の移動を想定する際、ある時期の小群は次時期の小群のうちもっとも空間的に近接する小群へ移動することと、各時期ごとの各小群の移動経路は交差しないことを前提とした。

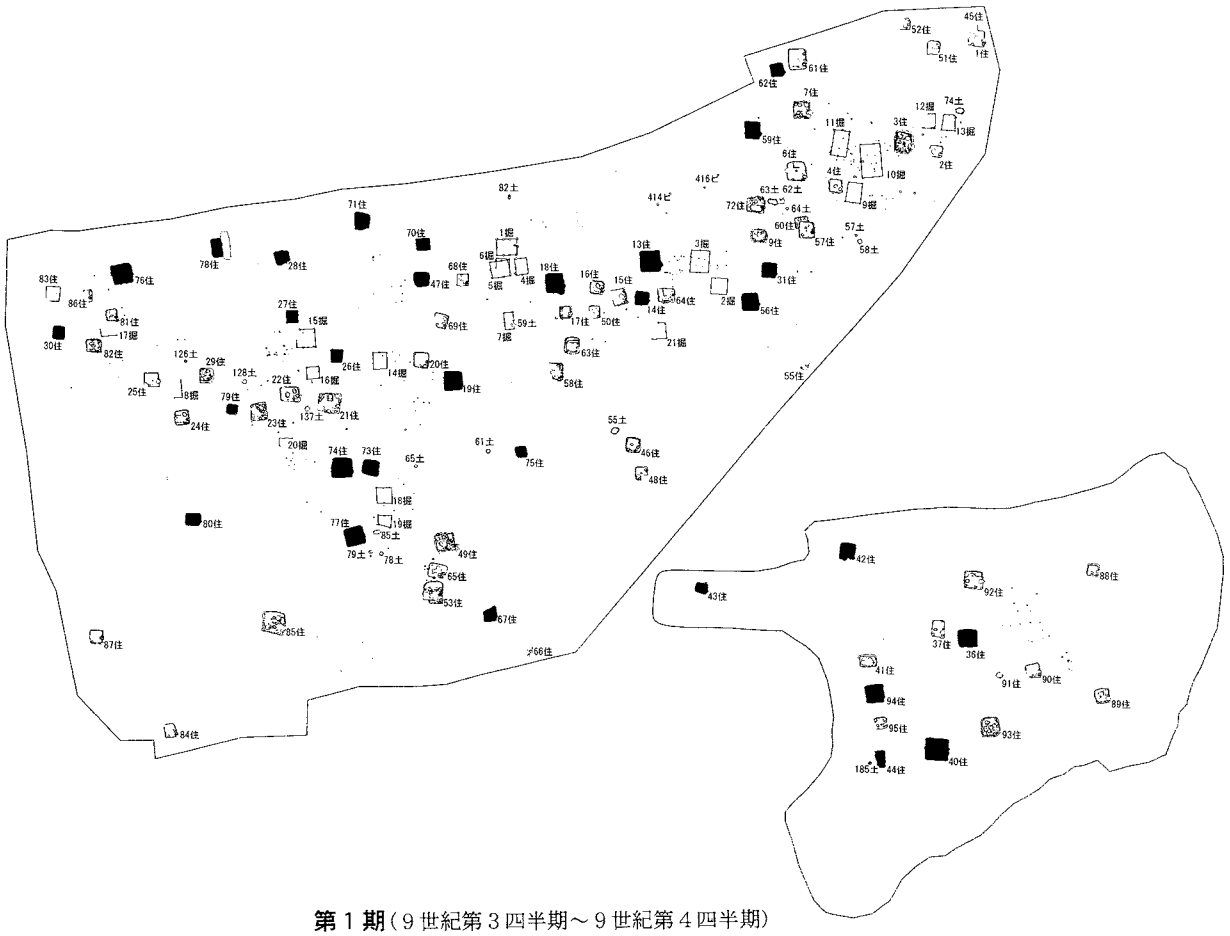
こうして第１期から第４期を通じて各小群が占地した範囲を「占有地」と想定する（第269図）。占有地は、相互に重複することなく想定できる。この想定から、梅之木遺跡では各時期を通じて住居が一定の規制のもとに占地したと予想され、一見不規則に分布するかにみえる82軒の住居の配置に、意味のある解釈を付与することができる。

また各占有地における住居群の移動の仕方にも規則性がうかがえる。すなわちＷ２区東半分の占有地においては住居群が狭い範囲を往復するように移動するのに対して、西半分では第１期から第２期へかけて南西に移動し、第２期から第３期にかけて東ないし北東に移動する傾向がみられる。Ｗ１区では第１期から第２期にかけて東へ移動する傾向がある。

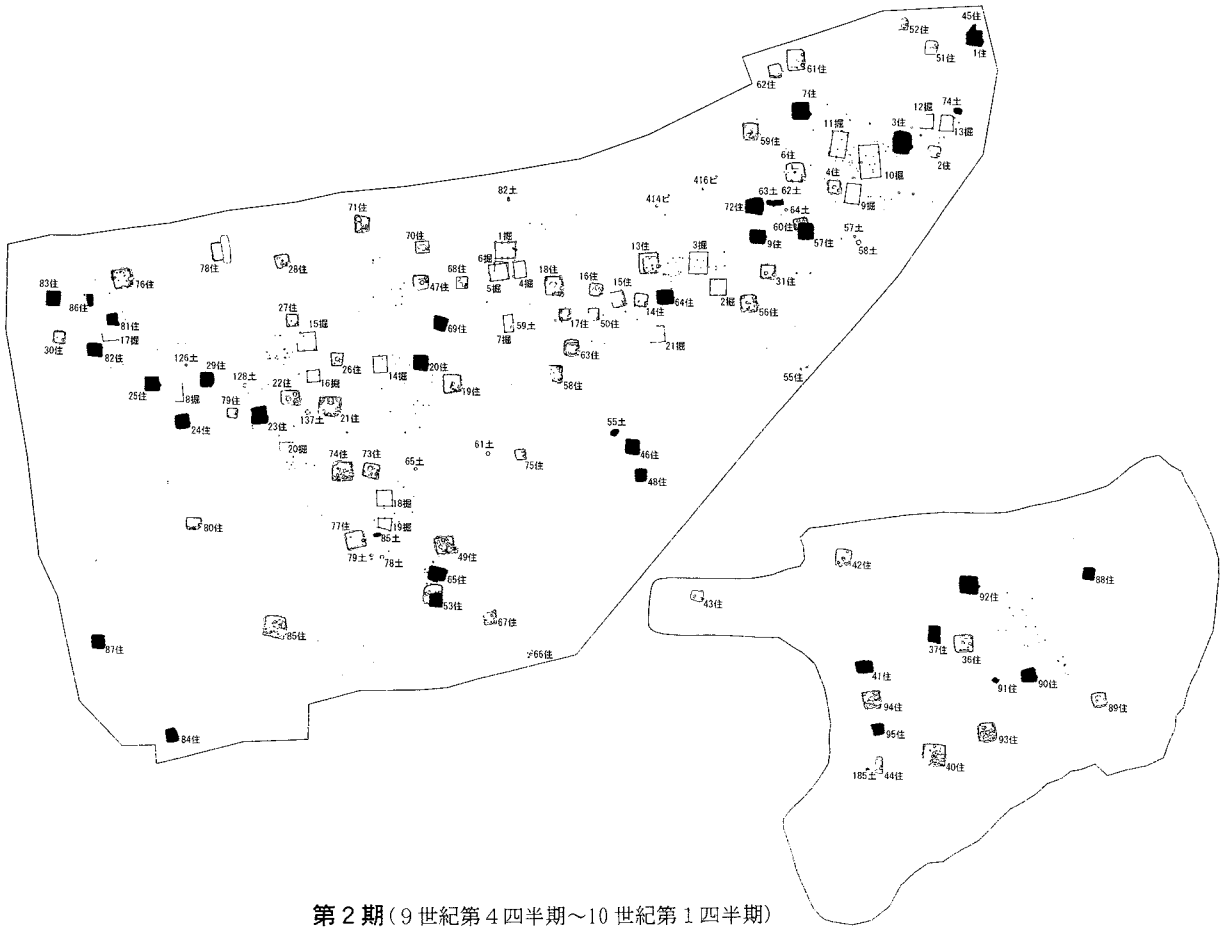
3　占有地と掘立柱建物群について

本遺跡で検出された21棟の掘立柱建物は、複数棟がまとまって分布する傾向があり、かつ４軒を除き出土遺物がなく所属する時期を推定することができない。広い遺跡内の空間でまとまって分布する掘立柱建物は偶然の重複、近接ではなく、何らかの関連をもって近接して検出されたと考えるのが自然であろう。そこで先に想定した占有地に掘立柱建物の分布を重ねあわせ、掘立柱建物をどの占有地に帰属させ得るかを検討したい。

第269図に示すとおり、掘立柱建物ないし掘立柱建物群は占有地によく対応するようにみえる。掘立柱建物は竪

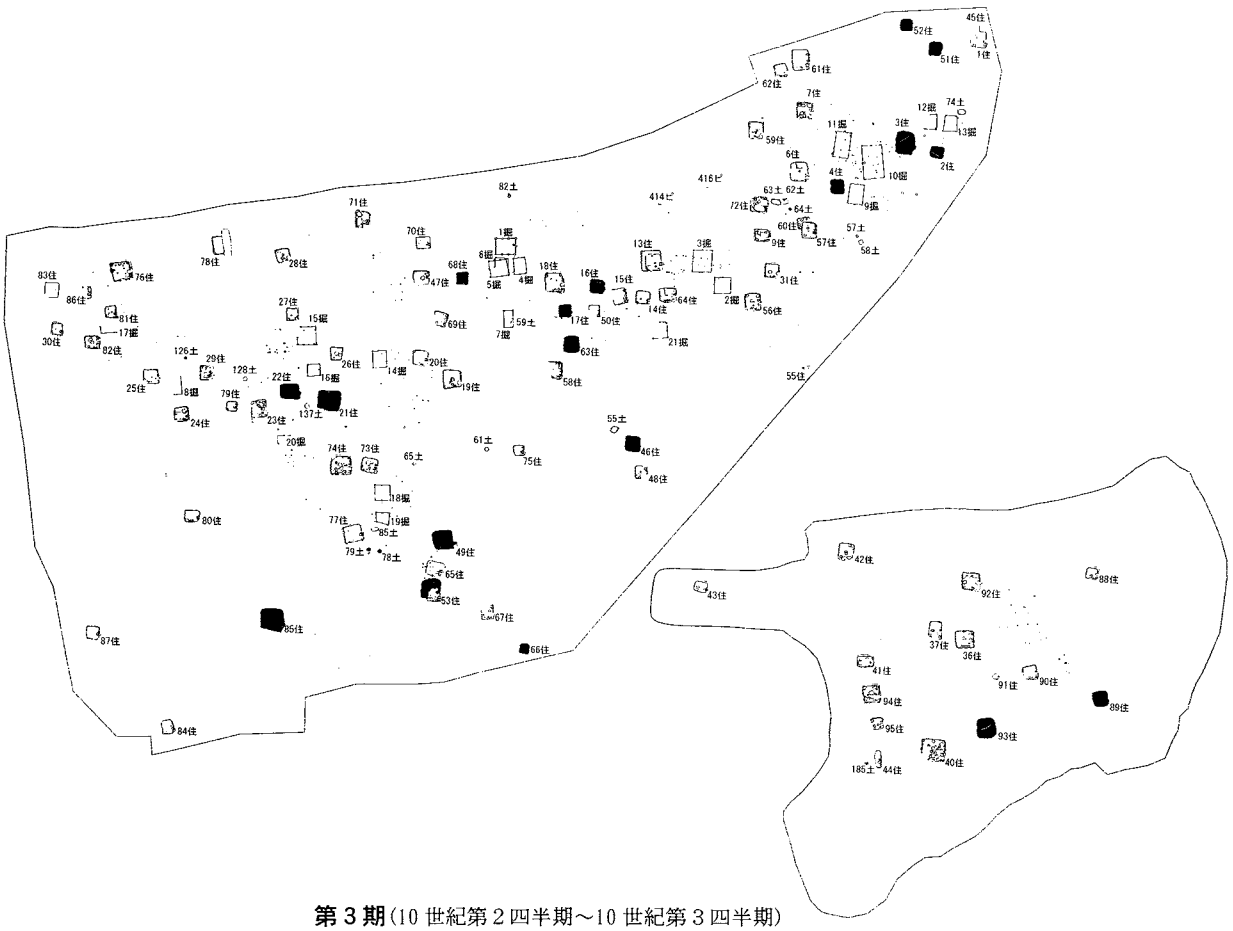


第１期（９世紀第３四半期～９世紀第４四半期）

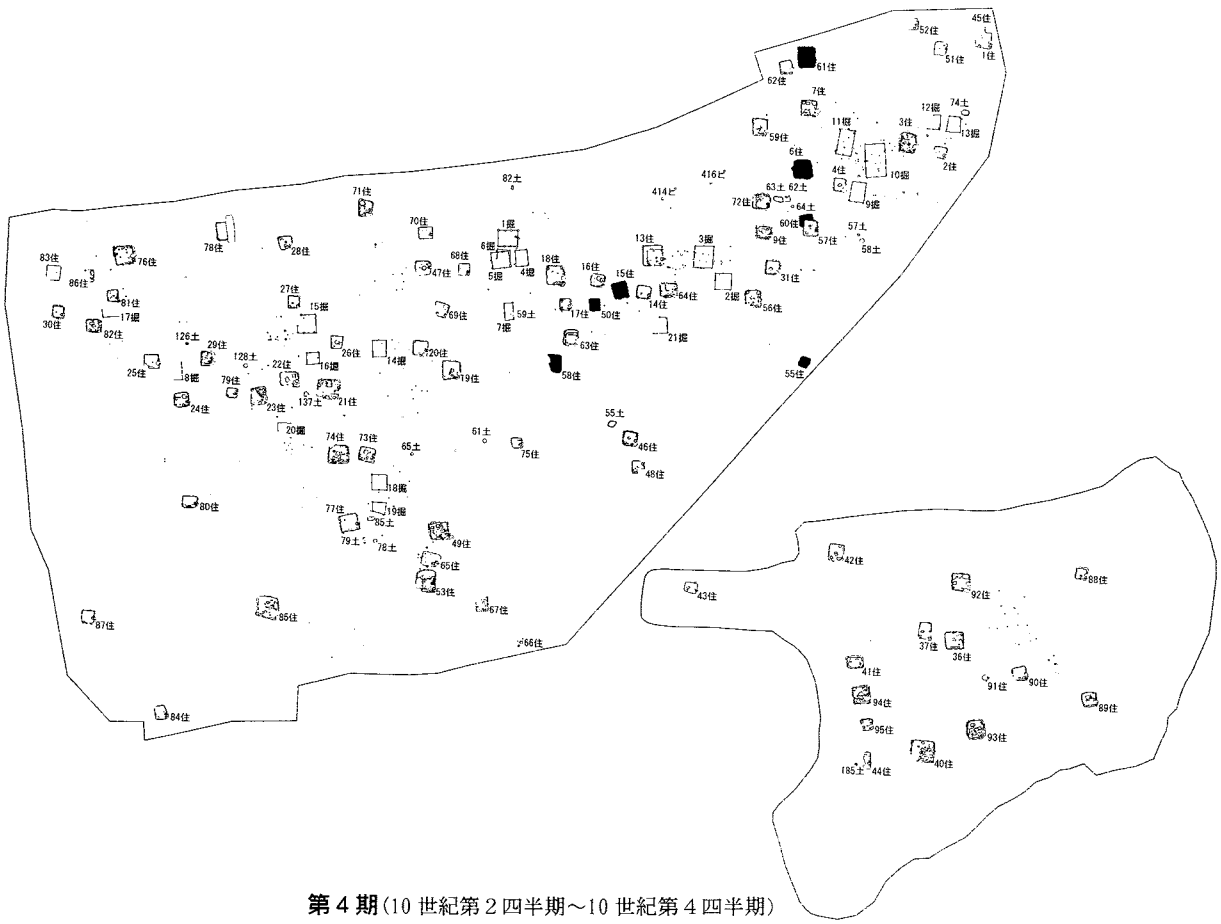


第２期（９世紀第４四半期～10世紀第１四半期）

第265図　時期別遺構分布図

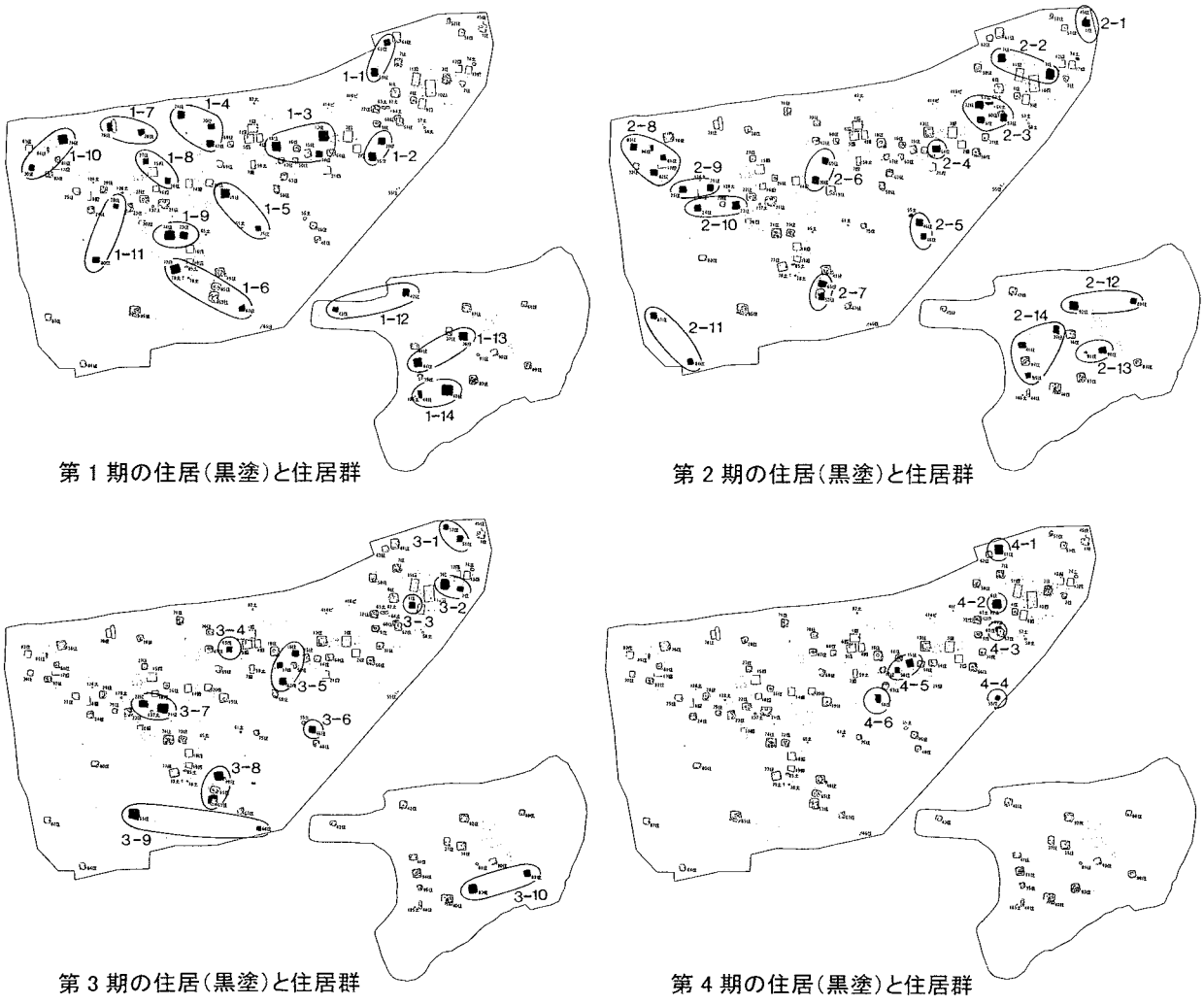


第３期（10 世紀第２四半期～10 世紀第３四半期）



第４期（10 世紀第２四半期～10 世紀第４四半期）

第266図　時期別遺構分布図



第 1 期の住居(黒塗)と住居群　　第 2 期の住居(黒塗)と住居群

第 3 期の住居(黒塗)と住居群　　第 4 期の住居(黒塗)と住居群

第267図　各時期の住居と住居群

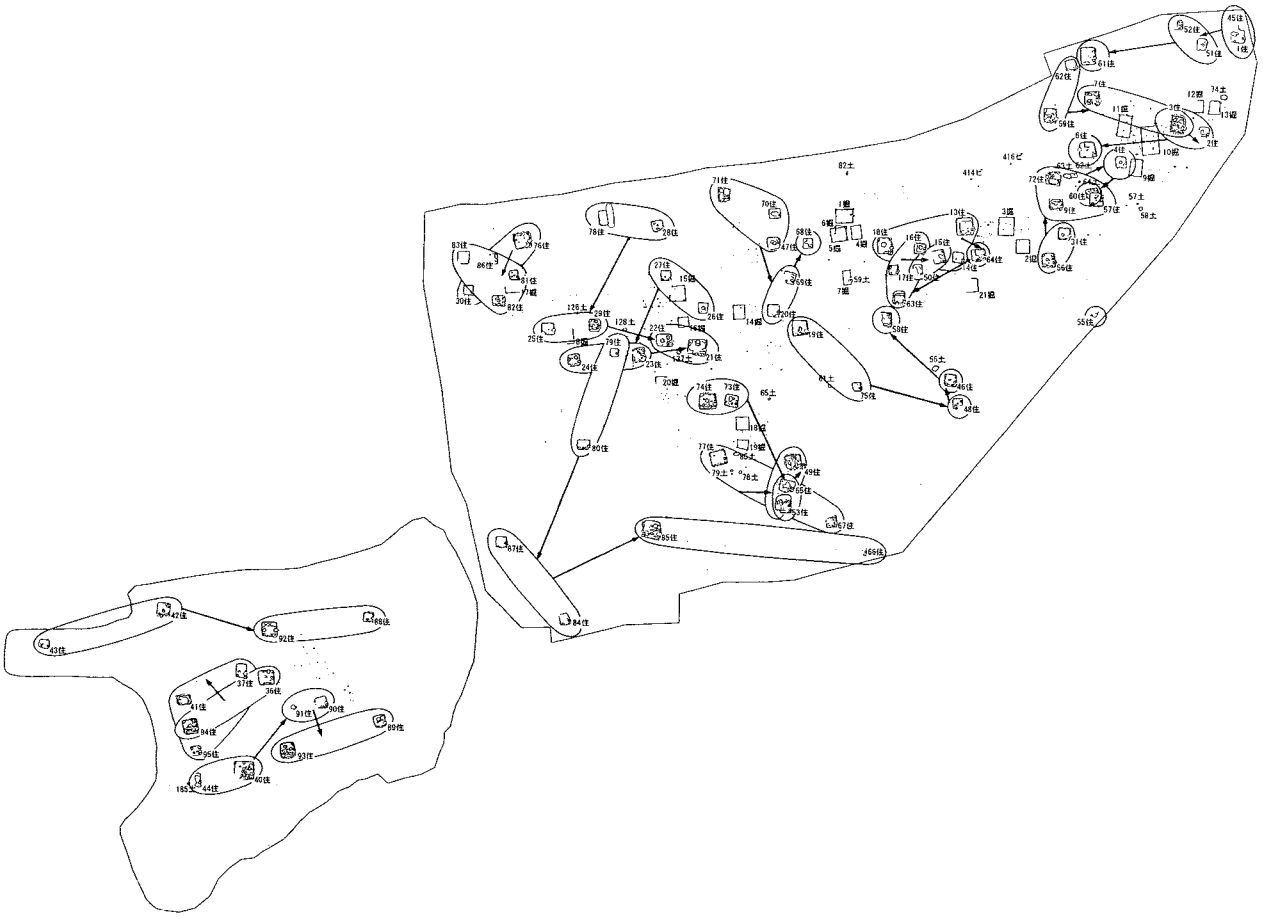
穴住居以上に耕作による削平の影響を受けたらしく、浅い柱穴がかろうじて検出された例や、建物を構成する柱穴すべてを検出できなかった例、複数のピットが検出されたが建物を構成するか不明な例がみられる。こうした後世の削平の影響を勘案すると、各占有地では概ね最低１棟、多い場合には４棟の掘立柱建物が所属していたと考えることができよう。

それぞれの掘立柱建物と占有地を結びつける根拠はその空間配置のみであり、また占有地に結びつけたことで掘立柱建物の帰属時期が判明するわけではないが、掘立柱建物の機能を検討する前提条件を提供できるものと考える。

4　占有地と住居構造について

本遺跡では柱穴と思われる施設を有する特徴的な住居構造が認められた。18号住居、74号住居、92号住居などがそれに該当する。ここでは柱穴と思われる施設を有する住居の分布と占有地の関係を確認したい。

柱穴と思われる施設をともなう住居構造には、いくつかの型が認められる。しかし第270図のとおり形式と呼ぶほどの共通性や変化の規則性を示さない。各時期にみられるものの住居82軒中、13軒のみであり、第１期と第３期に多い。おそらくは住居に居住する人数など、その時々の状況に応じて住居面積と住居構造が決定されたものと推測される。



第268図　住居群の移動

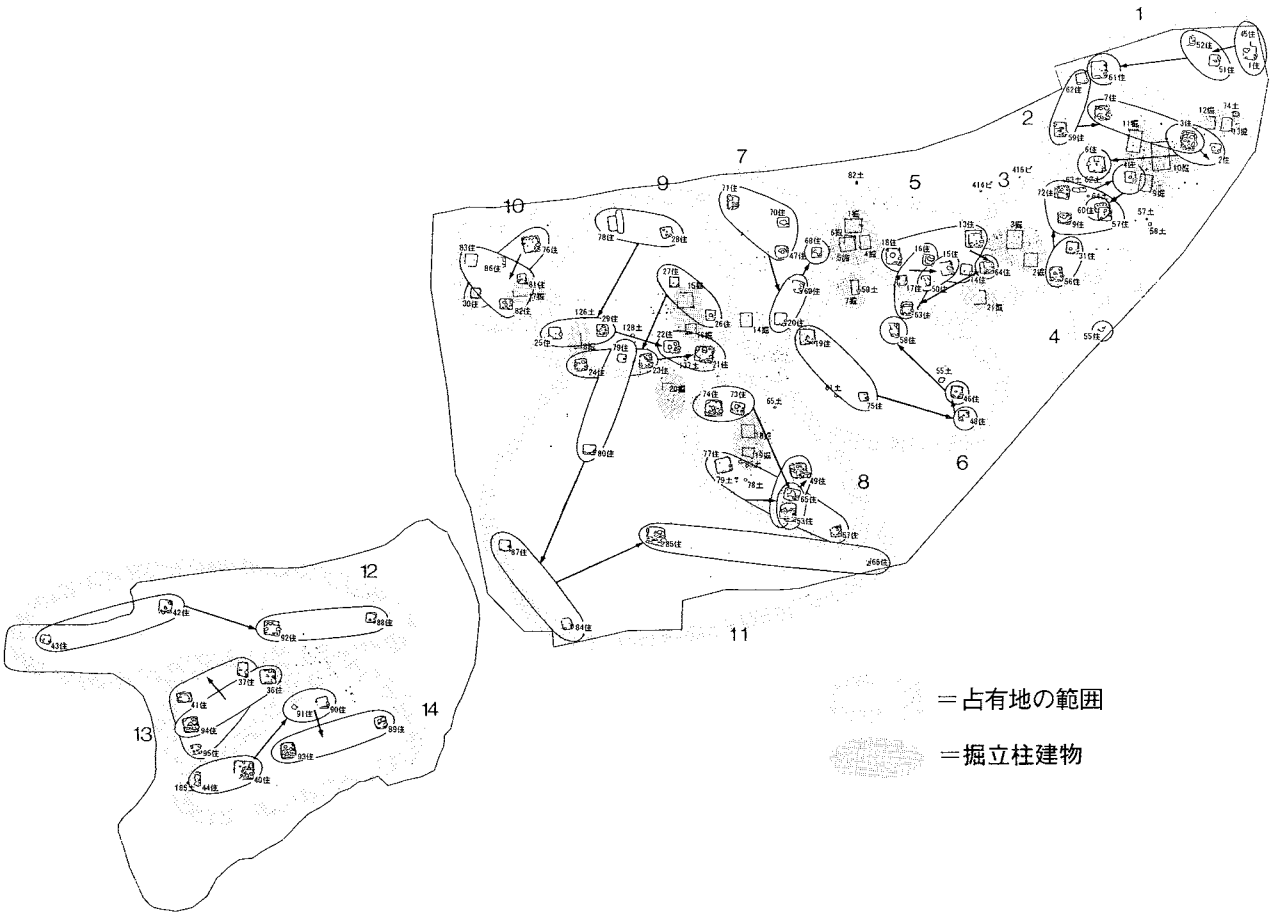
柱穴と思われる施設をともなう住居の分布と占有地とは、特別の関係を示さず、おおむね占有地に１軒前後が認められる。それでも第２群の３号住居と６号住居、第８群の74号住居と49号住居、53号住居、第14群の40号住居と93号住居が同一の占有地で、繰り返し柱穴と思われる施設をともなう住居を建築している。ただし、そのことが占有地の個性をどの程度反映した結果なのか、特別の考えを用意していない。

5　占有地と住居の重複、床の貼替、拡張、建替

住居の重複、切り合いと床の貼替、拡張、建替とはその意味するところが異なる。それらはさまざまな理由で行われたと思われるが、住居の重複、切り合いは住居立地の制約を、床の貼替、拡張、建替は住居の使用期間の長短や居住人数の変動、住居機能の変更を概ね意味すると考えられる。ここでは以上の住居の特徴と占有地との関係を確認したい。

梅之木遺跡で確認された住居の重複、切り合いは３例のみである。第１期では認められず、第２期で第１群の１号住居と45号住居、３期で第８群の53a号住居と53b号住居、第４期では第３群の60号住居と切り合う57号住居の１例である。住居が水平方向でずれて重複する場合、明らかに先後の時期差をともなって重複する場合を、重複・切り合いと認定した。３例のみのため特定の占有地との関係を抽出できないが、同一時期内で重複する例があるように、広大な遺跡とは裏腹に住居立地の制約は強かったと考えられる。

床の貼替、拡張、建替は11例が認められた。床の貼替は住居壁面やカマド位置に変更がなく単に複数枚の床面が検出された場合を示す。拡張は住居壁面の一部やカマド位置を変更することなく、壁面の一部を広げた場合を



第269図　占有地と掘立柱建物

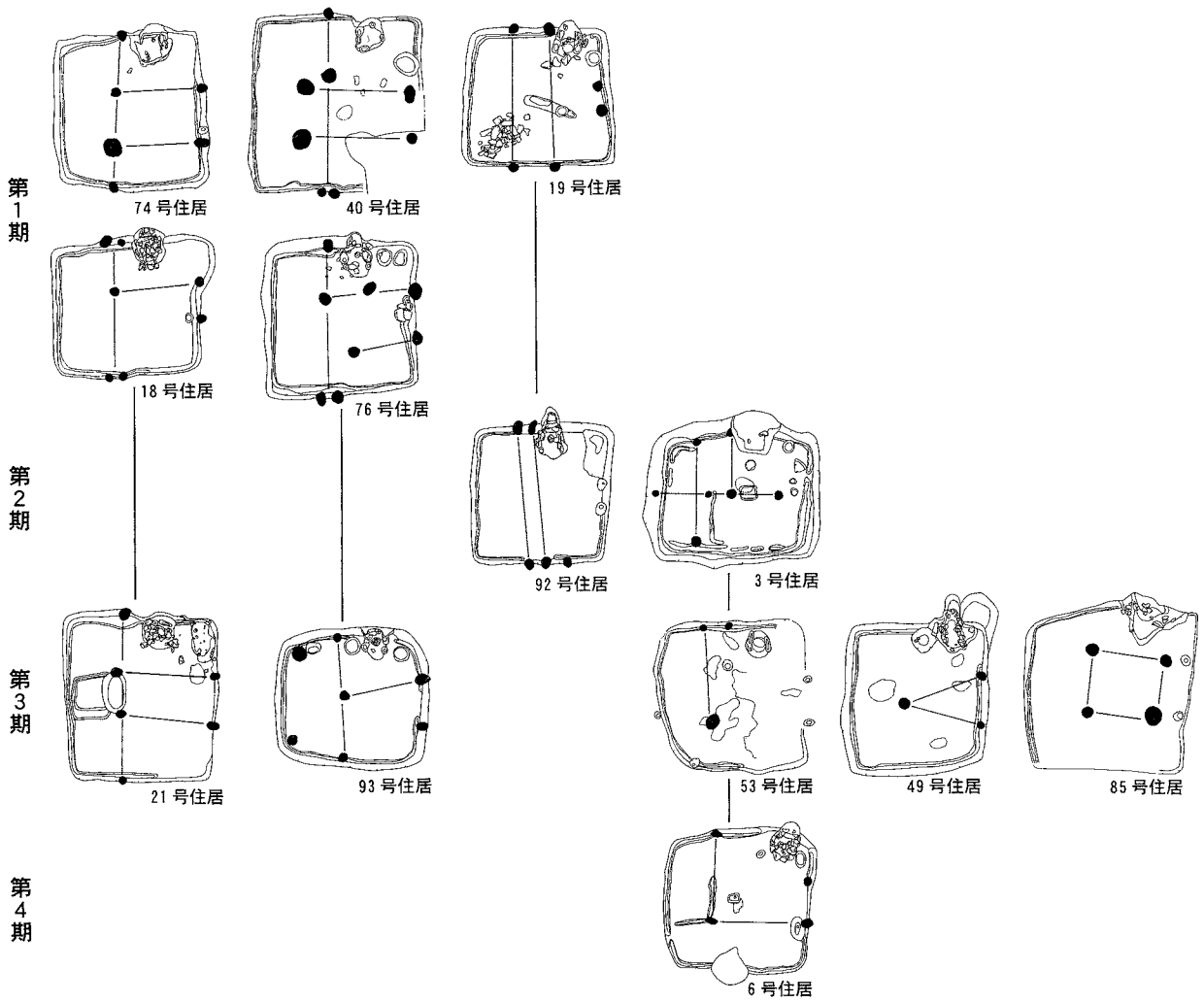
示す。床面の貼替をともなうことが多い。建替は同一地点でカマド位置の変更をともなう住居の更新を示す。カマド位置の変更とともに住居面積が拡大する例がみられるが、その場合は建替とみなす。

床の貼替は第５群64号住居と第11群79号住居の２例がみられた。拡張は第５群13号住居、第６群46号住居、第５群63号住居、第８群74号住居の４例が認められた。建替は５例が認められた。第２群３号住居と第３群72号住居で住居面積が大きく拡大し、第８群53b号住居、第９群29号住居、第10群81号住居では住居面積に大きな変更がなかった。72号住居では２回の建替が認められ、53号住居では１回の建替と１回の重複が認められた。

これらの事例と占有地の特徴的な関係を指摘することはできない。いずれの占有地でも何らかの事例が認められる。ただしＷ１区では重複、切り合いとともに、床貼替、拡張、建替が認められない点は注意を要する。強いて指摘するならば、占有地の面積が狭く、住居群が狭い範囲で移動を繰り返す第３群と第５群で拡張や建替が多い傾向にある。

むしろ先に確認した住居構造と拡張、建替事例とに一定の相関を指摘することが可能である。住居の拡張や建替は居住人数の増加が契機となっている可能性が高く、本遺跡では縮小は認められず、建替の場合も住居面積は変化がないか拡大する傾向にある。したがって拡張はいうに及ばず、建替の場合も結果として住居が大型化することになり、住居構造の変化をともなう場合が予想される。

３号住居では建替前の住居面積が不明であるが、建替後に６～７本の柱穴と思われるピットをともなう住居が成立している。74号住居も同様である。



第270図　住居構造の変遷

6　占有地と鉄滓・金属製品の分布、鍛冶遺構について

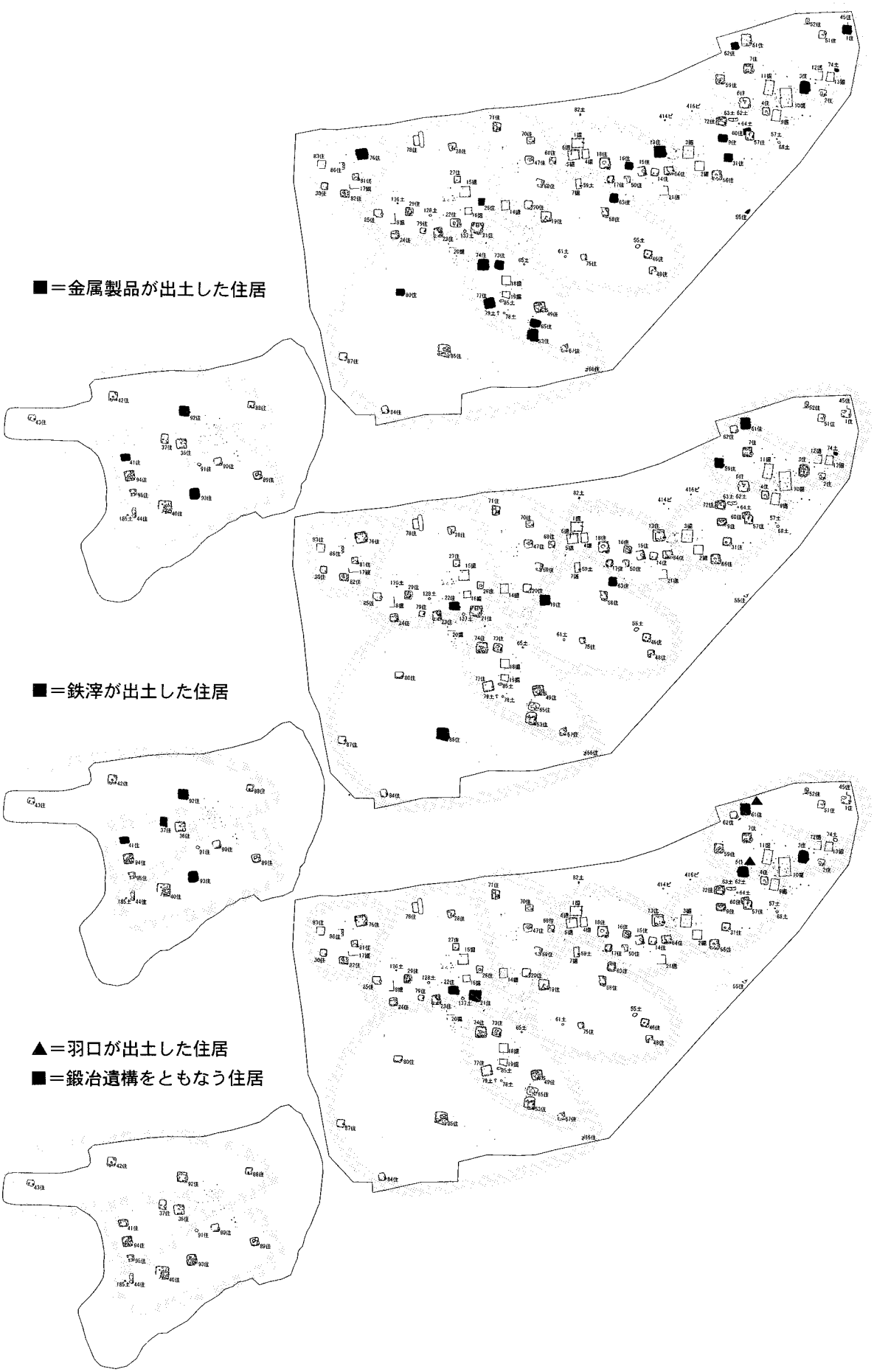
第271図に鉄滓と金属製品、羽口が出土した住居、鍛冶遺構と思われる施設をともなう住居を示した。一見して分かるとおり鉄滓と金属製品は遺跡全体に分布し、特定の傾向を指摘することはできないように思われる。また、鉄滓の出土地点と鍛冶遺構の分布に特段の相関がないことも確認される。一方、羽口はともに鍛冶遺構と思われる施設をともなう住居で出土しており、出土事例は少ないものの高い相関を示す。

鍛冶遺構はＷ１区では認められず、Ｗ２区の５住居で確認された。第１群61号住居、第２群３号住居と６号住居、第９群21号住居と22号住居である。分布の傾向から以下の点を指摘できよう。

第一に鍛冶遺構はＷ２区の東西それぞれ一箇所ずつにまとまって分布する点である。後述するがＷ２区はいくつかの特徴から東西２群に大きく区分することができる。この２群にそれぞれ鍛冶遺構が分布する点は偶然ではないものと思われる。

第二に鍛冶遺構は第１期と第２期にはみられず、第３期と第４期に出現することである。第１期と第２期は住居軒数が30軒を超えている。にもかかわらず鍛冶遺構がみられないことは、集落内での鍛冶遺構に期待された機能を考究する際に重要な点であろう。

第三に第２群３号住居と６号住居、第９群21号住居と22号住居の２例が示すように、鍛冶遺構は特定集団がと



第271図　占有地と金属製品、鉄滓、鍛冶遺構の分布

きに世代を超えて従事する生業であった可能性が認められる点である。

7　占有地と土坑の分布

梅之木遺跡では、第3章第3節と第4章第3節および第4節で報告したとおり土坑17基が検出された。うち出土遺物から時期が確認されるのは9基で、平安時代8基、近世1基である。加えて72号住居内で検出された111号土坑も挙げられる。8基は時期不明であるが、遺跡全体の状況からその多くは平安時代の所産と推測される。ここでは占有地と土坑の分布の関係を確認し、土坑の帰属やその機能を検討する前提を提示したい。

まず時期が判明する土坑の例から、梅之木遺跡では74号土坑など長方形の土坑が第2期に属し、円形の土坑は第3期に属する傾向が認められる。そこで以下では土坑が第2期と第3期に属すると仮定して検討する。

第2期の長方形土坑はW2区の3つの占地群に1基から3基ずつ分布する。74号土坑は第1群に、55号土坑は第6群と、また85号土坑は第8群に含まれる。62号、63号、111号土坑は第3群に含まれる。第1群と第6群、第8群の長方形土坑は同時期の住居からある程度の距離をおいて分布するのに対し、第3群では土坑が同時期の住居と近接して分布している。以上の点から、長方形土坑は住居から距離をおいて分布することを原則とし、第3群は範囲が狭く、住居や土坑の立地規制が強く作用したと考えたい。こうした分布の傾向は、長方形土坑の機能を推測する手がかりのひとつとなろう。

第3期の円形土坑は78号、79号土坑が第8群に含まれる。61号、65号土坑は第6群に含まれ、59号、82号土坑は第5群に関連すると思われる。126号、128号、137号土坑は第9群に含まれると考えられる。円形土坑も第2期の長方形土坑と同様、住居から離れて分布する原則が認められそうだが、137号土坑のみ住居に近接し上記原則に合致しない。

占有地と土坑の位置、土坑の形態と所属時期に関する仮定をもとに土坑と住居の関連を想定したが、なお土坑の機能を推測するには不十分である。土坑が住居と離れて分布することから、居住に直結した機能が土坑に付与されていたのではないと考えておきたい。

第2節　墨書・刻書・線刻

梅之木遺跡では墨書、刻書、線刻が施された多数の土器が出土した。それらのうち特に文字が判読できる事例を取上げ第12表に整理し、その出土位置を第272図から274図に示した。

墨書刻書には複数の住居で多数出土する文字と、遺跡全体でその出土数が限られる文字とがある。前者では「田」、「真」、「梶」、「本」、「奉」、「長」、「矢」、「乙」、「源」、「仁」、「人」、「山」、「吉」、則天文字「天」などがあり、後者には「岑」、「麿」、「女」、「生」などがある。

「源」の一部や「岑」は非常な達筆で識字層による墨書であることは明らかだが、ほかの多くは模写の風が感じられる。墨書文字のうち、「岑」、「麿」は高根町湯沢遺跡で「岑」、「峯」、「大麻呂」がみられる。「女」は明野村下大内遺跡で多数出土している。墨書された「矢」に重ね書きするように「矢」を刻書する例がみられるが、武川村宮間田遺跡で同様の事例が知られている。

これらの墨書、刻書土器のうち複数の住居で多数出土する文字の分布が、第1節で想定した占有地とどのように関連するかを確認したい。

文字ごとの分布には一定の規則性を指摘することができる（第275図）。「乙」、「源」、「ヌ」、「人」、「本」、「吉」はW2区東半の占有地に主体的に分布する。一方「梶」、「仁」はW2区西半の占有地に主体的に分布し、「真」は東半にも分布するがその主体は西半である。「ㅈ」はW1区のみに分布し、「矢」、「政」はW2区西半とW1区に分布する。

分布に一定の規則性を指摘できる上記の文字は、居住者の集団と何らかの形で対応する意味を有していたと推測される。特に鍛冶遺構と思われる施設をともなう21号、22号住居で「梶」が多く際立って多く出土している点は注目されよう。

第3節　焼きごて

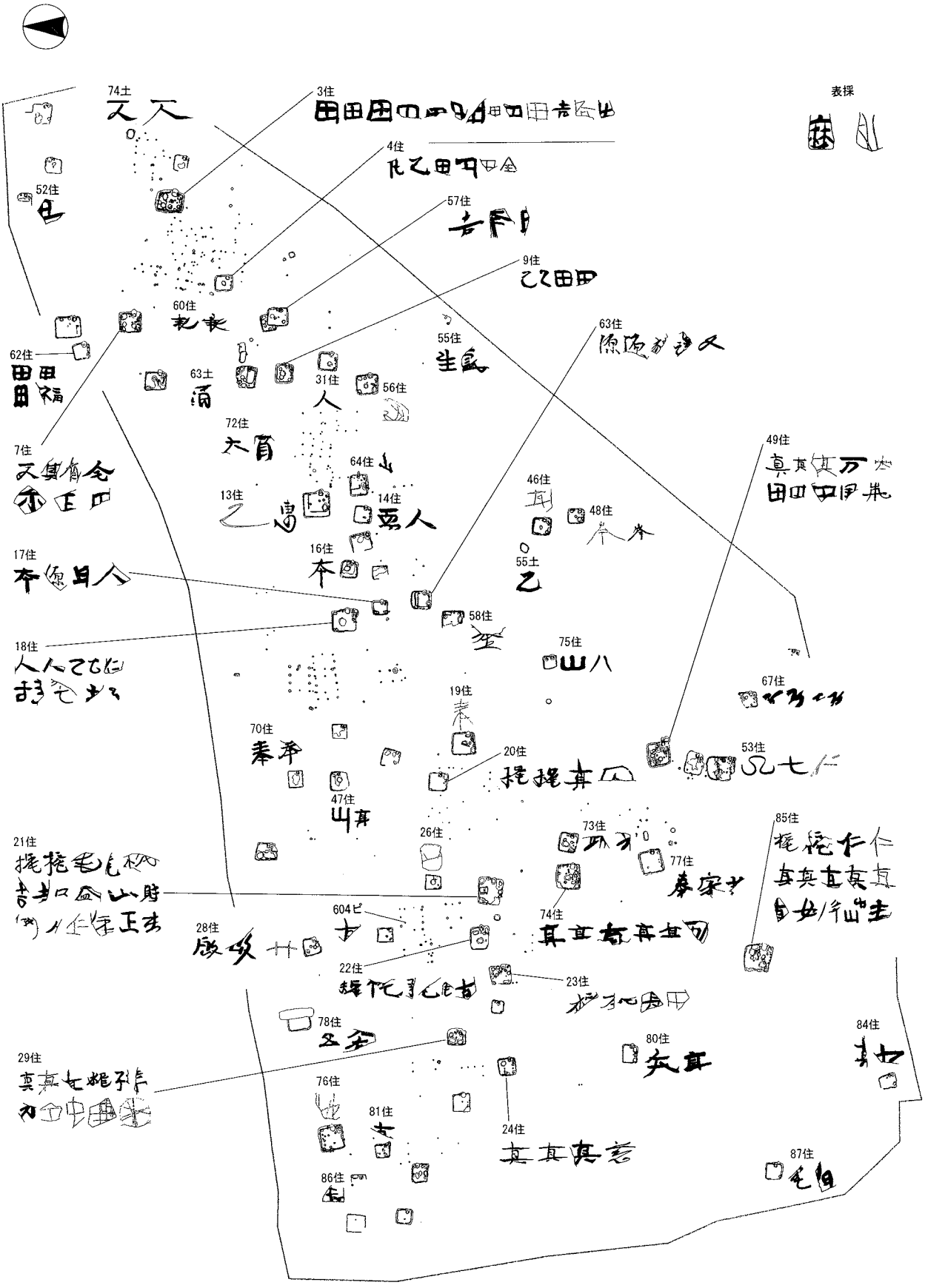
W2区東端の74号土坑で出土した鉄製品（第259図14）は、その形状から家畜や木製品に焼印を捺す焼きごてと考えられる。出土例が少ない製品であるため、その形状や特長について詳細に報告しておきたい。

焼印に用いられたと思われるこの鉄製品は、全長20.3cm、最大幅2.9cm、軸部厚0.5cm、重さ37gで、現存する印面寸法は、3.2cm×1.2cmである。軸部は一本の角材を用い、印面端から4cmにあたる枝分部から2本程度の別材を貼りあわせて印面を形成している。印面に表現された文字は判読できない。おそらくほかに複数本の別材が貼りあわされて文字を構成したと考えられる。印面と思われる枝分部から軸部先端までに断片的な木質付着痕が認められる。特に軸部先端から7.5cm部分までに木質付着痕が多く、このあたりまでが木製柄に挿入されていたと想像される。

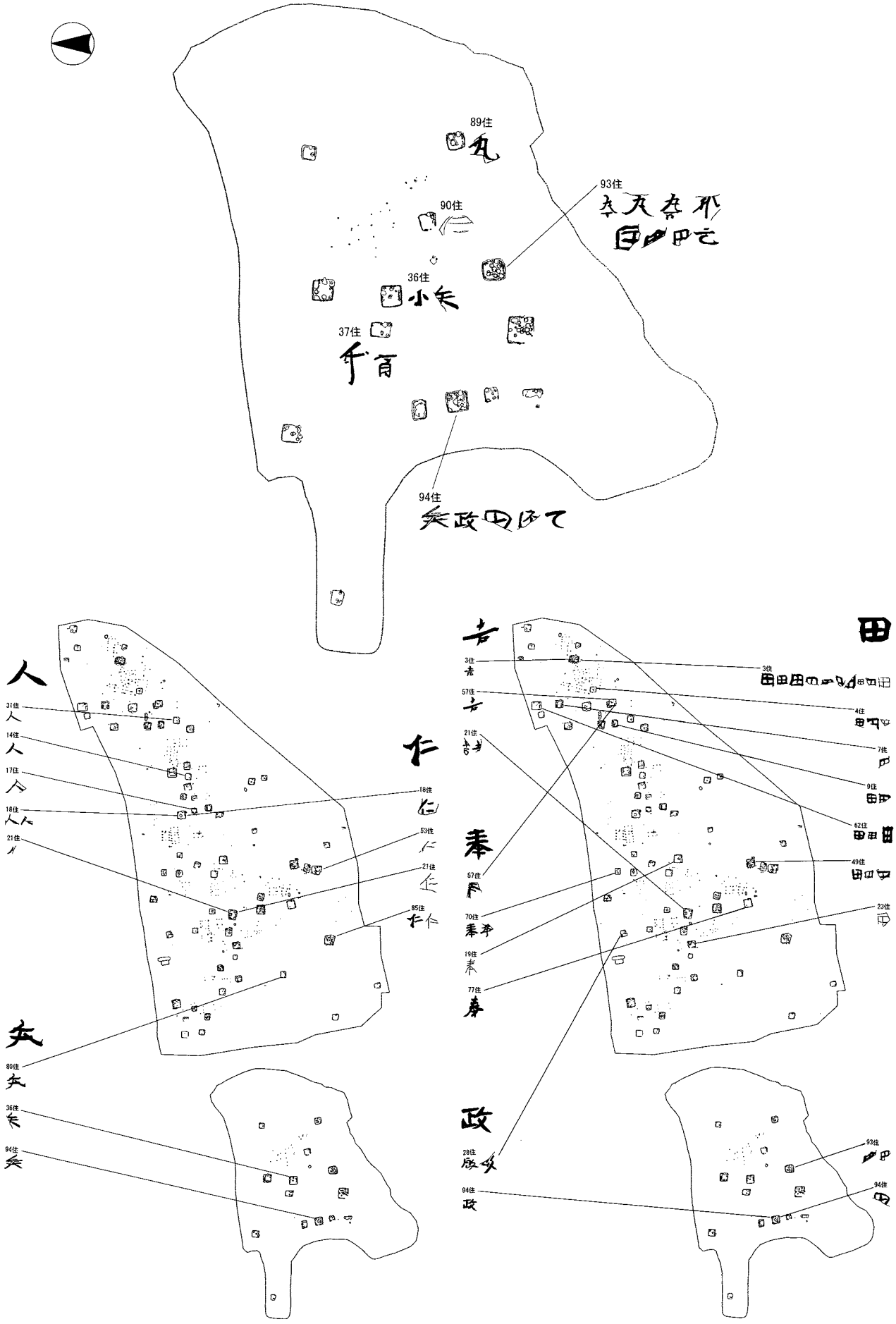
『類聚三代格』延暦15年（796）2月25日付太政官符では、私印を「長二寸、広一寸五分以下」としている。74号土坑出土例は、印面寸法が不明であるものの太政官符に示された寸法に納まる程度であったと思われる。したがって、官印ではなく私印であったと考えられる。

この焼きごてがどのような目的に使用されたかを推測する材料を、発掘調査で得ることはできなかった。遺跡が立地する茅ヶ岳山麓が御牧「穂坂牧」や後院牧「小笠原牧」が置かれた地であること、本遺跡3号住居で若齢個体の馬歯骨が出土したことを考慮するならば、貢馬から洩れた牧馬に用いられた可能性を想定することは、全く許容されないところではない。

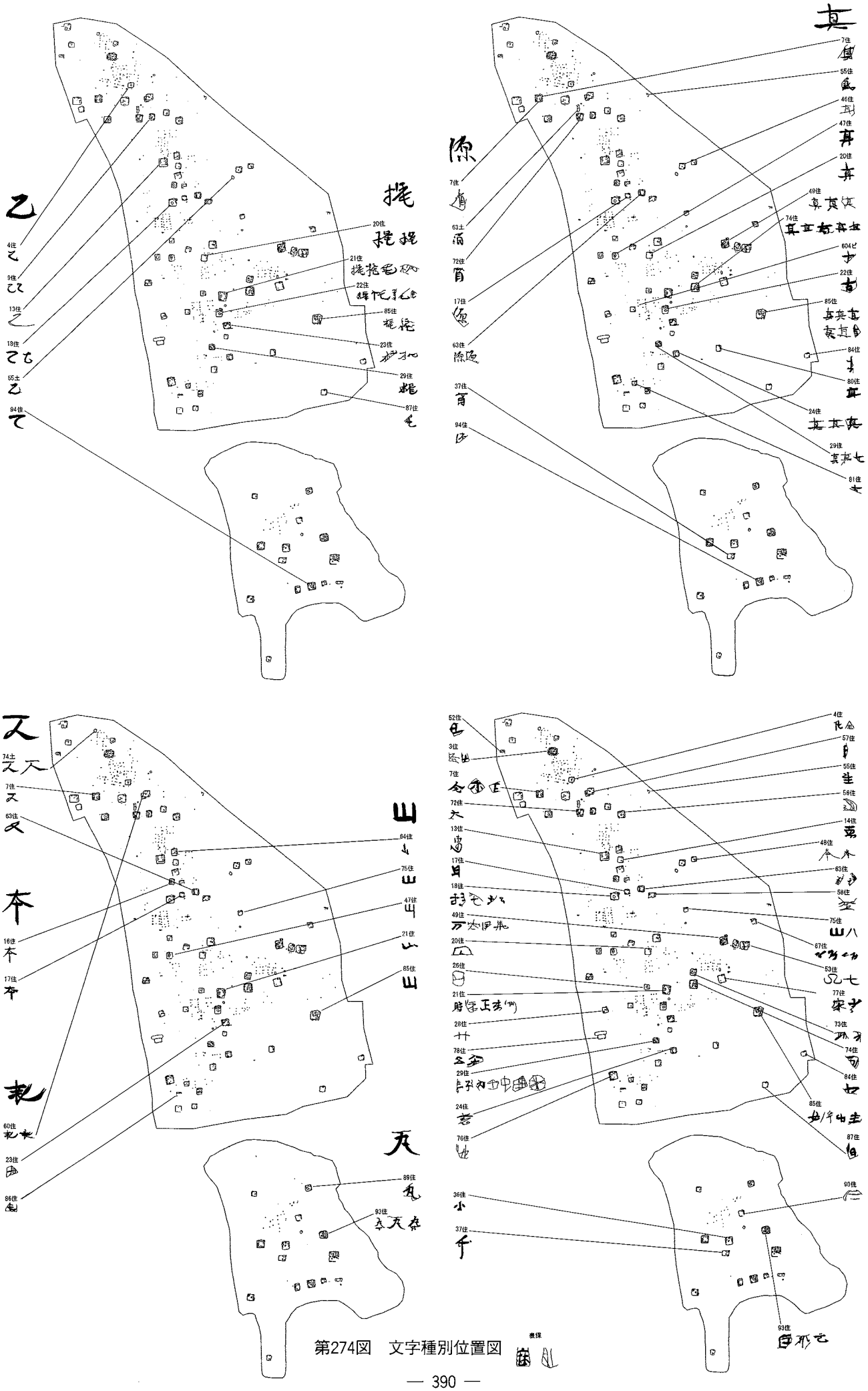
高島英之　2001「群馬県榛名町高浜広神遺跡出土の平安時代焼印について」『青山考古第18号』
青山考古学会



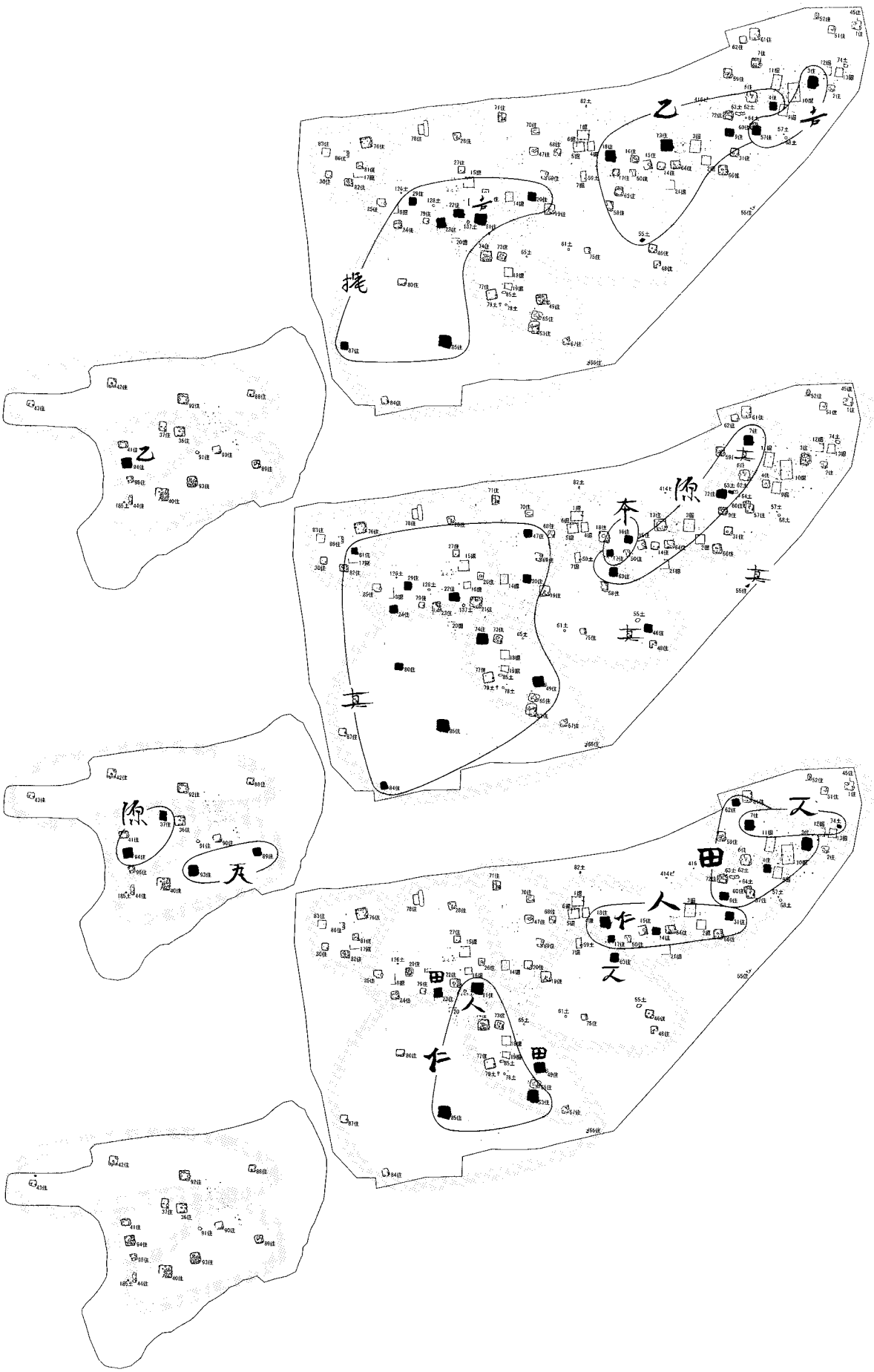
第272図　W２区墨書刻書土器出土位置図



第273図　W１区墨書刻書土器出土位置図（上段）　文字種別位置図（下段）



第274図　文字種別位置図



第275図　占有地と墨書刻書文字の分布

第12表　墨書・刻書土器一覧

図版番号	遺構番号	墨書・刻書	種　別	器　種	記銘部位	記銘状態	時　　期
15図 1	3 号住	田	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
15図 2	3 号住	田	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
15図 3	3 号住	田	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
16図 4	3 号住	田（刻書）	甲斐型	皿	底部	—	宮ノ前Ⅸ期
16図 5	3 号住	田	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
16図 6	3 号住	田	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
16図 7	3 号住	吉	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 1	3 号住	田	土師器	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 2	3 号住	田	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 3	3 号住	□（生カ万カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 4	3 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 6	3 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
18図 7	3 号住	□（田カ）	土師器	甕	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
21図 1	4 号住	乙	甲斐型	坏	体部外面	横位	宮ノ前Ⅸ期
21図 2	4 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
21図10	4 号住	田	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
22図13	4 号住	田	土師器	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
22図14	4 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
22図15	4 号住	□（田カ）	土師器	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
22図16	4 号住	□（田カ）	土師器	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
28図 1	7 号住	□（山カ王カ生カ）	甲斐型	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅷ期
28図 2	7 号住	真	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
28図 3	7 号住	□（乙カ）	甲斐型	坏	体部外面	横位	宮ノ前Ⅷ期
28図 4	7 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
28図 5	7 号住	□（田カ）	土師器	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅷ期
30図 6	7 号住	□（田カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
30図 9	7 号住	□（禾カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
30図10	7 号住	□（山カ王カ生カ）	甲斐型	坏？	体部外面	—	宮ノ前Ⅷ期
33図 1	9 号住	乙	甲斐型	坏	底部	—	宮ノ前Ⅷ期
33図 2	9 号住	田	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
34図11	9 号住	田	土師器	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
34図12	9 号住	乙	土師器	坏	底部	—	宮ノ前Ⅷ期
37図 1	13号住	乙（刻書）	甲斐型	皿	底部	—	宮ノ前Ⅶ期
37図 2	13号住	□（東カ恵カ畠カ）	甲斐型	皿	底部	—	宮ノ前Ⅶ期
40図 1	14号住	人	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
43図 4	16号住	本	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
48図 4	17号住	□（民カ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
49図 1	17号住	本	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
49図 2	17号住	源	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
49図 3	17号住	□（人カ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
53図 2	18号住	□（乙カ）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
53図 4	18号住	□（仁カ）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
53図 5	18号住	□（乙カ）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
53図14	18号住	□（寸カ山カ）・□・□	甲斐型	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅶ期
53図15	18号住	人	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図16	18号住	□（人カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図17	18号住	□（人カ）	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図18	18号住	□（人カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図19	18号住	□（人カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図20	18号住	□（人カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
53図21	18号住	□（人カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
60図 1	20号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
60図 3	20号住	梶	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
60図 6	20号住	真	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
64図 1	21号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
64図 3	21号住	□（山カ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
64図15	21号住	吉、仁（刻書）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
65図 5	21号住	□（人カ）	土師器	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図 8	21号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図11	21号住	□（吉カ）	甲斐型	—	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
65図12	21号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図14	21号住	□（攻カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図16	21号住	□（吉カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図18	21号住	□（仁カ）刻書	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図19	21号住	□（梶カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
65図20	21号住	益	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
65図21	21号住	□（梶カ）	甲斐型	坏	底部	—	宮ノ前Ⅸ期

図版番号	遺構番号	墨書・刻書	種　別	器　種	記銘部位	記銘状態	時　　期
66図4	21号住	□（本ヵ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
66図9	21号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
66図10	21号住	□（正ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
67図1	21号住	□（時ヵ財ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
67図3	21号住	□（人ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図2	22号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
70図3	22号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図5	22号住	□（梶ヵ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図6	22号住	□（梶ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図7	22号住	□（真ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図8	22号住	梶ヵ	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
70図11	22号住	□（仁ヵ）刻書	甲斐型	—	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
74図7	23号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
74図9	23号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
74図10	23号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
74図14	23号住	□（長ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
74図15	23号住	□（田ヵ）	甲斐型	—	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
74図16	23号住	□（梶ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
74図17	23号住	田（刻書）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
76図1	24号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
76図2	24号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
77図2	24号住	□（慈ヵ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
88図1	28号住	□（政ヵ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
89図3	28号住	□（政ヵ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
91図1	29ａ号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
91図2	29ａ号住	乙	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
91図13	29ａ号住	禾	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
92図5	29ｂ号住	中	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
92図6	29ｂ号住	真、真（刻書）	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
93図3	29号住	梶	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
98図6	31号住	人	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
98図9	31号住	乙（刻書）	甲斐型	坏	底部	—	宮ノ前Ⅶ期
102図3	36号住	矢	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
102図7	36号住	□小ヵ	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
102図11	36号住	□小ヵ	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
104図2	37号住	禾	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
104図5	37号住	□源ヵ	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
107図5	40号住	□矢ヵ	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
107図9	40号住	□矢ヵ	甲斐型	皿	底部	—	宮ノ前Ⅶ期
115図8	46号住	真（刻書）	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
119図1	47号住	真	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
119図2	47号住	□山ヵ	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
119図6	48号住	岑、岑（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
125図1	49号住	田	甲斐型	坏	体部外面	正位？	宮ノ前Ⅸ期
125図2	49号住	則天文字「天」	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
125図3	49号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
125図4	49号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
125図5	49号住	田	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
125図6	49号住	□（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
125図7	49号住	真（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
126図7	49号住	□（万ヵ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
126図8	49号住	□（国ヵ）	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
126図14	49号住	田	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
126図16	49号住	□（真ヵ）	甲斐型	—	体部外面	—	宮ノ前Ⅸ期
132図2	53ａ号住	七	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
133図1	53ａ号住	Ω	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
135図13	53ｂ号住	仁（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
136図1	53号住	□（仁ヵ）刻書	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
137図1	55号住	□（生ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅹ期
137図3	55号住	真	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅹ期
141図1	56号住	□（乙ヵ）刻書	甲斐型	坏	底部	—	宮ノ前Ⅶ期
143図1	57号住	□（奉ヵ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
143図2	57号住	吉	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅷ期
146図2	58号住	□（釜ヵ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅹ期
152図1	60号住	□（長ヵ表ヵ）	甲斐型	耳皿	体部内外面	正位	宮ノ前Ⅹ期
158図3	62号住	福	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
158図4	62号住	□（田ヵ）	土師器	坏	体部外面	—	宮ノ前Ⅶ期
158図5	62号住	田	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
158図6	62号住	田	土師器	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期

図版番号	遺構番号	墨書・刻書	種　別	器　種	記銘部位	記銘状態	時　　期
162図3	63号住	仁（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
163図1	63号住	□	甲斐型	皿	体部外面	横位	宮ノ前Ⅸ期
163図2	63号住	源	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
163図4	63号住	源	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
165図1	63号住	□（福カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
180図1	70号住	奉	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
180図3	70号住	奉	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
181図4	71号住	□（奉カ）	土師器	坏	体部外面	横位	宮ノ前Ⅶ期
186図1	72ａ号住	□（大カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
187図10	72号住	□	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
187図11	72ａ号住	□（源カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
190図10	73号住	□（奉カ）	甲斐型	坏	体部外面	斜位	宮ノ前Ⅶ期
190図9	73号住	□（奉カ）	甲斐型	坏	体部外面	斜位	宮ノ前Ⅶ期
194図1	74号住	真	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
194図8	74号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
195図10	74号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
195図14	74号住	真	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
197図2	75号住	山、□（八カ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
205図2	77号住	奉	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
206図5	77号住	□（家カ）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
210図1	80号住	真	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
211図1	80号住	矢	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
214図9	81ｂ号住	□（真カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
220図4	84号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
223図1	85号住	梶	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
223図3	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
223図4	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
223図5	85号住	□（梶カ）刻書	甲斐型	皿	底部	－	宮ノ前Ⅸ期
223図7	85号住	□（真カ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
223図8	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
223図9	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
224図1	85号住	仁（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
224図2	85号住	真（刻書）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
224図5	85号住	□（奉カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
225図1	85号住	□（山カ）	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
225図2	85号住	梶	甲斐型	皿	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
225図3	85号住	仁	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
225図12	85号住	□（真カ）	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
226図3	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図6	85号住	女	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図7	85号住	□（真カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図9	85号住	真	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図10	85号住	真	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図12	85号住	□（真カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
226図14	85号住	□（女カ）	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
226図15	85号住	□（女カ真カ）刻書	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅸ期
227図5	86号住	□（長カ）	甲斐型	坏	体部外面	－	宮ノ前Ⅷ期
228図4	87号住	□（梶カ）	甲斐型	－	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
244図10	93号住	□（国カ）	土師器	坏	体部外面	－	宮ノ前Ⅸ期
245図4	93号住	田	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅸ期
249図1	94号住	政、矢、矢（刻書）	甲斐型	坏	体部外面		宮ノ前Ⅶ期
249図4	94号住	源	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
249図5	94号住	乙	甲斐型	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
249図6	94号住	□（矢カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅶ期
249図8	94号住	□（矢カ）	甲斐型	－	体部外面	－	宮ノ前Ⅶ期
250図3	94号住	田	土師器	坏	体部外面	正位	宮ノ前Ⅶ期
253図1	ＤＫ55	乙	甲斐型	坏	体部外面	横位	宮ノ前Ⅷ期
254図5	ＤＫ63	□（源カ）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
255図3	ＤＫ74	□	土師器	皿	体部外面	横位	宮ノ前Ⅷ～Ⅸ期
255図4	ＤＫ74	□	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ～Ⅸ期
255図5	ＤＫ74	□	土師器	皿	体部外面	横位	宮ノ前Ⅷ～Ⅸ期
258図6	ＰＴ465	仁（刻書）	土師器	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ期
258図10	ＰＴ604	□（真カ）	甲斐型	皿	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ～Ⅸ期
258図11	遺跡一括	□（麻呂カ麿カ）	甲斐型	坏	体部外面	逆位	宮ノ前Ⅷ～Ⅸ期

第４節　遺跡の変遷と特徴

前節までの検討で抽出された梅之木遺跡の変遷とその特徴をまとめておきたい。

遺構と占有地

各時期の住居群は第１期から第４期に至るまで地点を変えて移動しながらも、ある特定の空間を占有することが想定できた。この特定の占有空間を「占有地」と仮定した。Ｗ２区では東半分の占有地は比較的狭い範囲で住居群が移動するのに対し、西半分ではやや広い範囲で大きく移動する傾向が認められた。

この占有地には掘立柱建物１棟ないし掘立柱建物群が付属する。掘立柱建物の帰属時期まで絞り込むことはできないまでも、掘立柱建物と住居との対応関係を確認することができた。

住居の構造、重複、床の貼替、拡張、建替と占有地の関係には、特別の規則性を見出すことはできなかった。どの占有地でも重複や拡張、建替が認められた。こうした住居の規模に関する現象は、むしろそこに居住する人数の変動に起因すると考えることができよう。

鍛冶遺構と思われる施設はＷ２区にのみ認められ、Ｗ１区では検出されていない。Ｗ２区では占有地第１群と第２群、第９群にのみ分布し、おおむねＷ２区の東西で１地点ずつに分布する傾向が認められる。金属製品、鉄滓は遺跡全体に平均して分布し、鍛冶遺構との特別の相関は認められない。一方、羽口は鍛冶遺構をともなう住居のみで出土した。

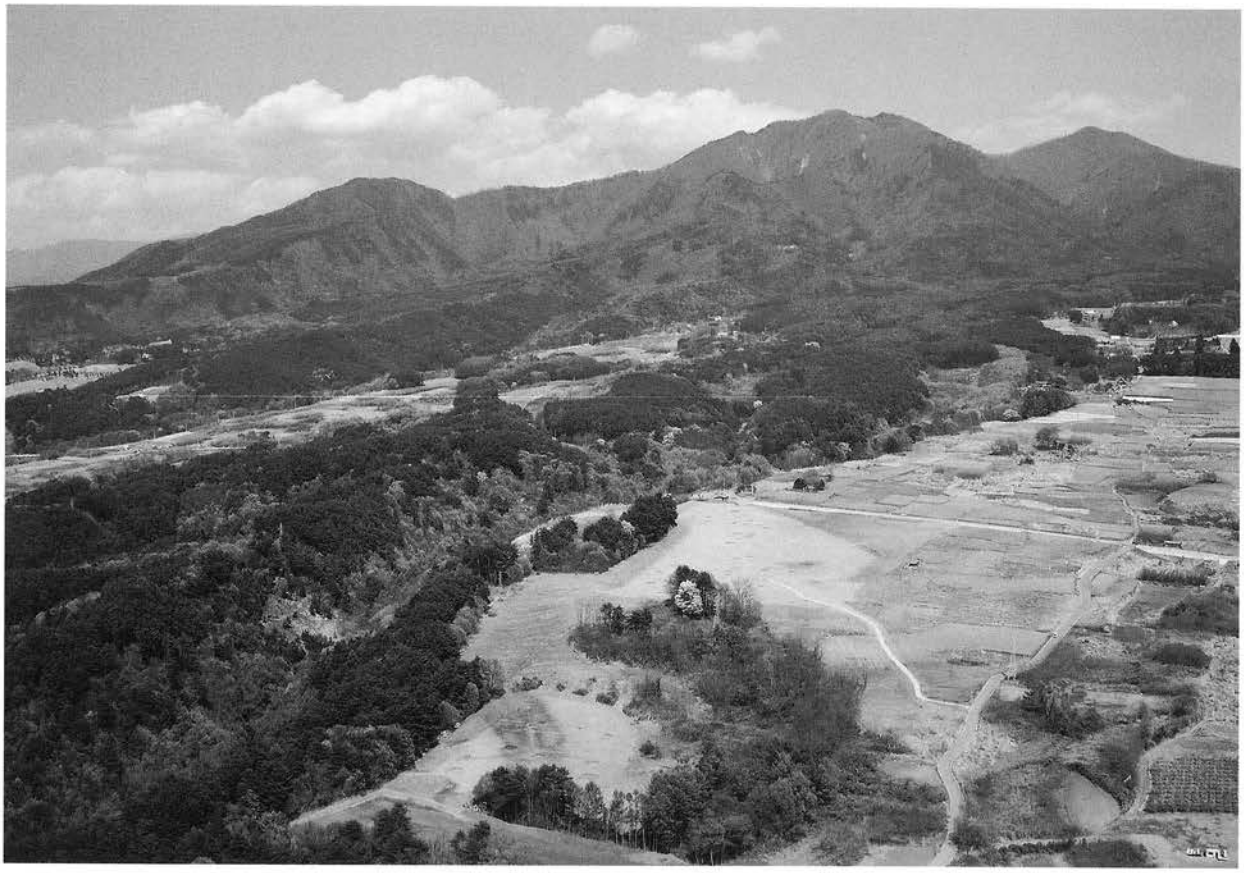
土坑はその位置と時期から関連すると思われる占有地、住居を想定した。土坑は住居から離れて立地する傾向が認められ、居住に直結する機能を担っていたのではないと考えた。

墨書、刻書土器のうち複数住居で多数出土する文字は、その分布に一定の規則性を見出すことができた。Ｗ２区では調査区の東半分に主体的に分布する文字と、西半分で主体的に分布する文字がある。こうした分布の規則性からある種の文字は、居住者の集団と対応関係があると予測できる。一方、Ｗ１区とＷ２区で共有される文字はごく限られることが判明した。

遺跡の構造

以上の検討から、梅之木遺跡ではＷ１区、Ｗ２区西半分、Ｗ２区東半分の３つの大きな区域を想定することができる。これらの区域は、分布する遺構の種類、墨書、刻書文字などの特徴において相互に区別される。特にＷ１区は鍛冶遺構が欠落する、継続期間が短い、Ｗ２区で多出する文字をあまり共有しないなど、ほかの２区域と際立った特徴を有している。こうした区域が平安時代の梅之木遺跡に居住した集団の何を反映した結果なのか。本遺跡の東側に連続する地区は平成14年度以降に発掘調査が予定されており、この点の検討は遺跡出土の馬歯骨や焼きごてなどとともに梅之木遺跡を含む茅ヶ岳山麓を概観しながら後日に期したい。

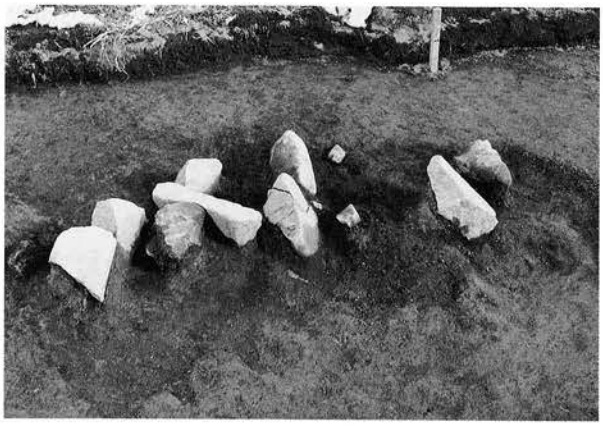
茅ヶ岳西麓（提供　サンニチ印刷）



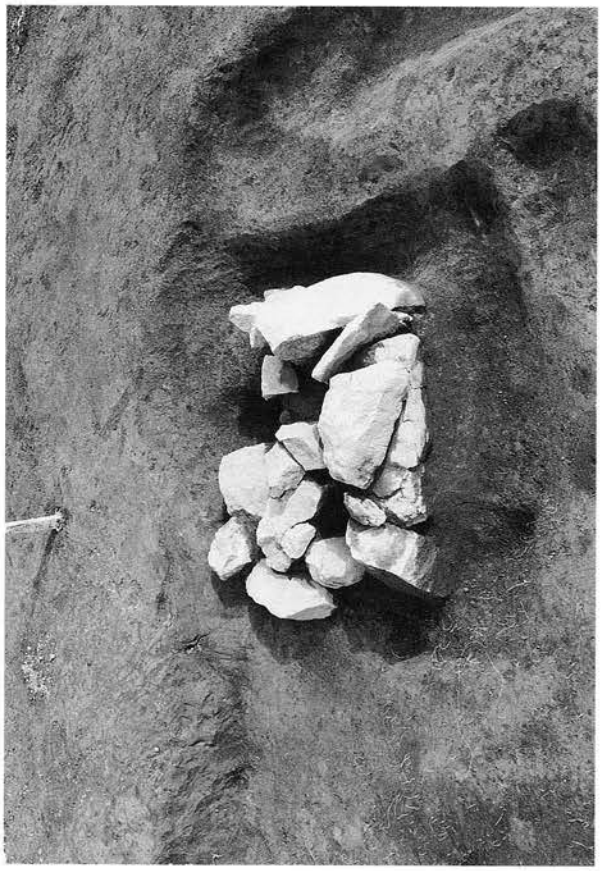
梅之木遺跡全景と金ヶ岳

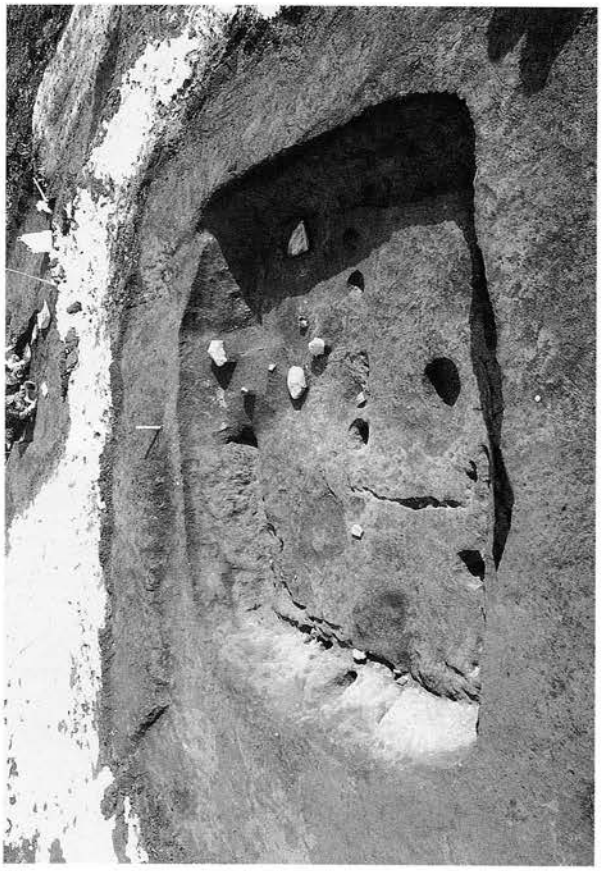
梅之木遺跡W 1 区全景

梅之木遺跡W 2 区全景

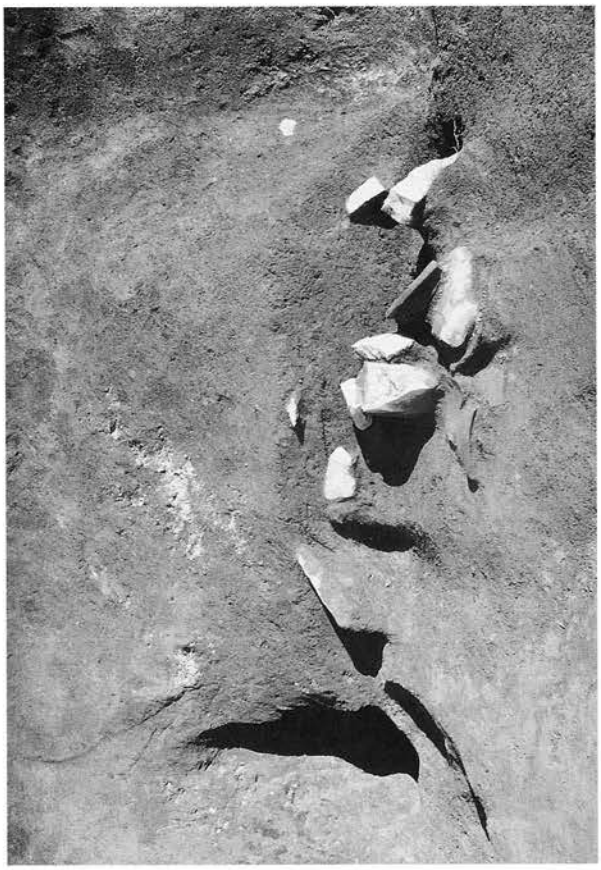


１号住居・カマド（右上）・45号住居カマド（右下）





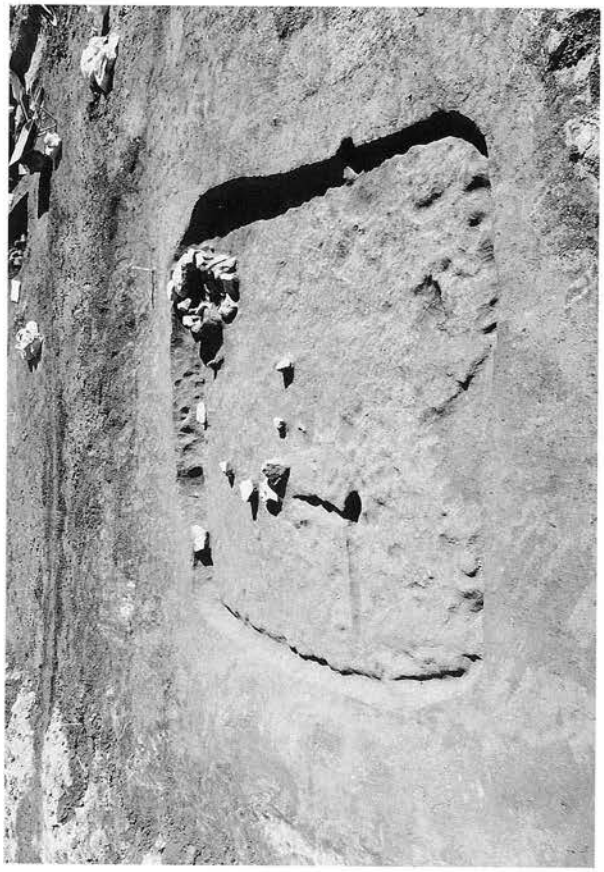
２号住居カマド（左）・３号住居（右）



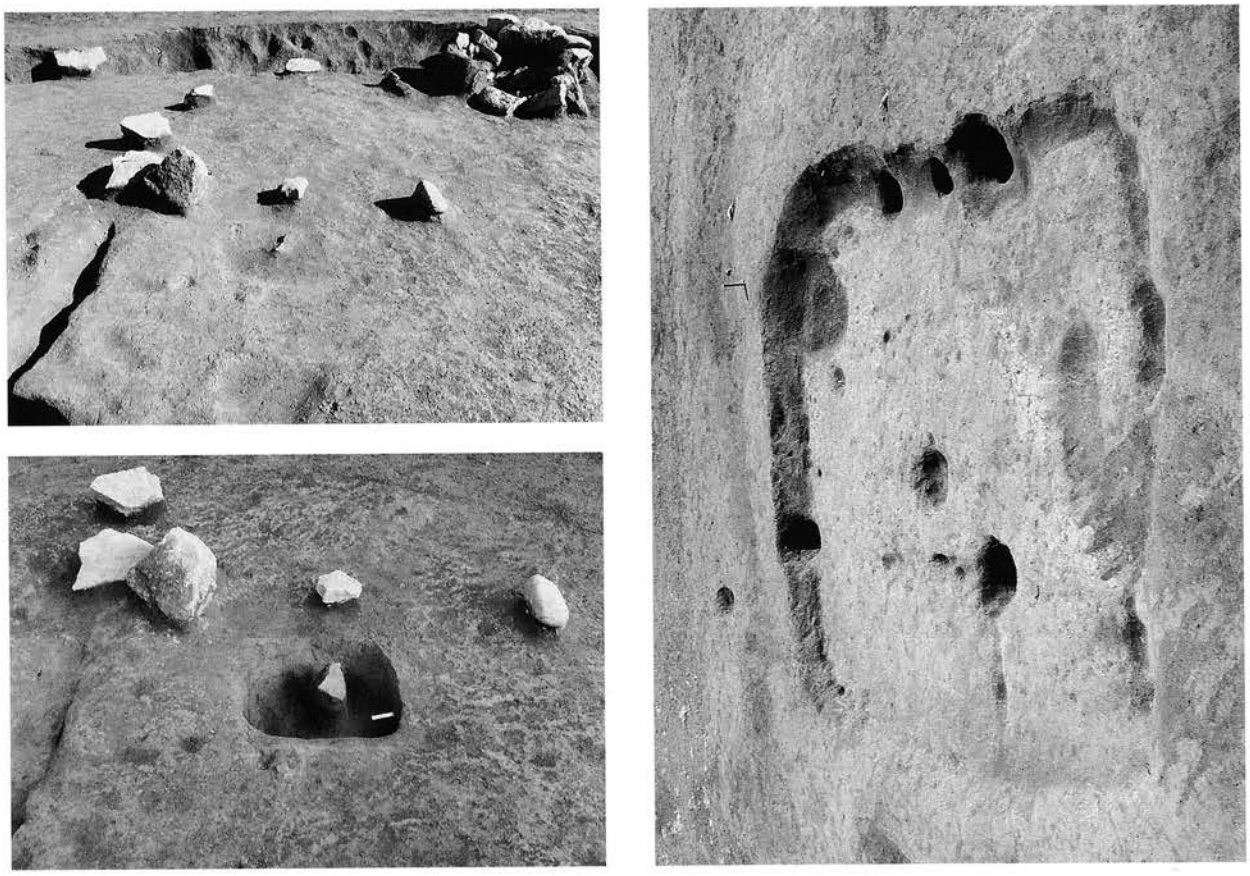
3 号住居カマド（左）・馬歯骨出土状況（右上）・完掘（右下）

3 号住居旧カマド（左上）・完掘（左下）・ 4 号住居（右）

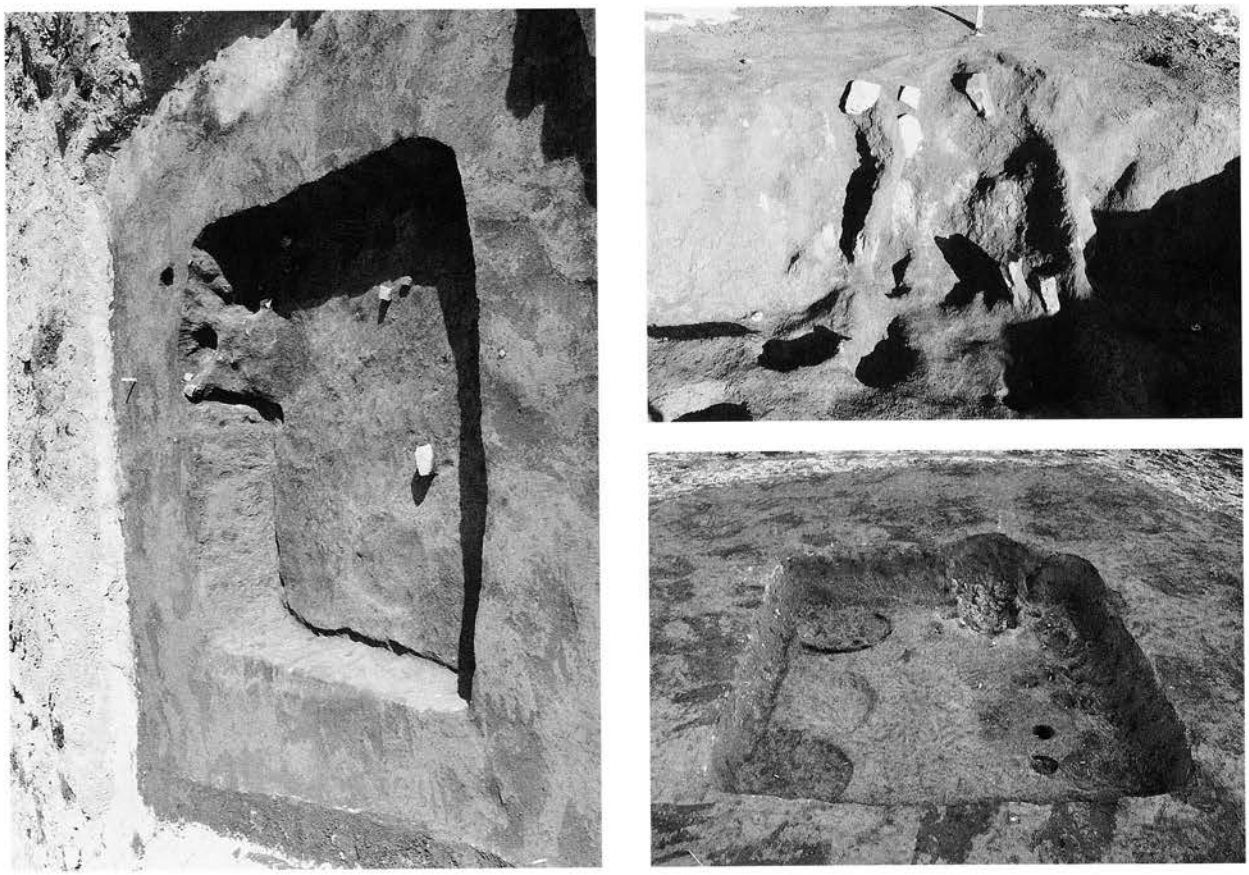
4 号住居カマド（左）・礫出土状況（右上）・完掘（右下）



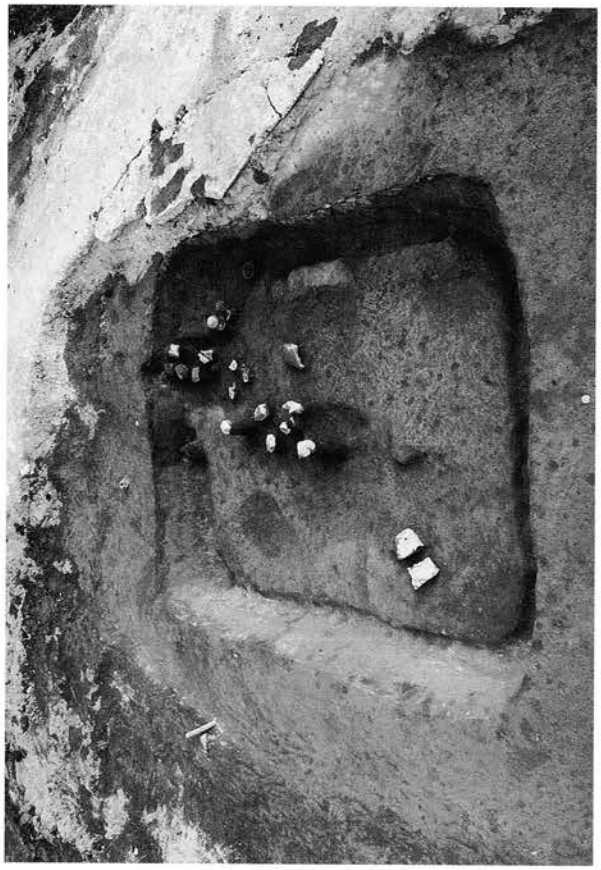
6 号住居・カマド（右）



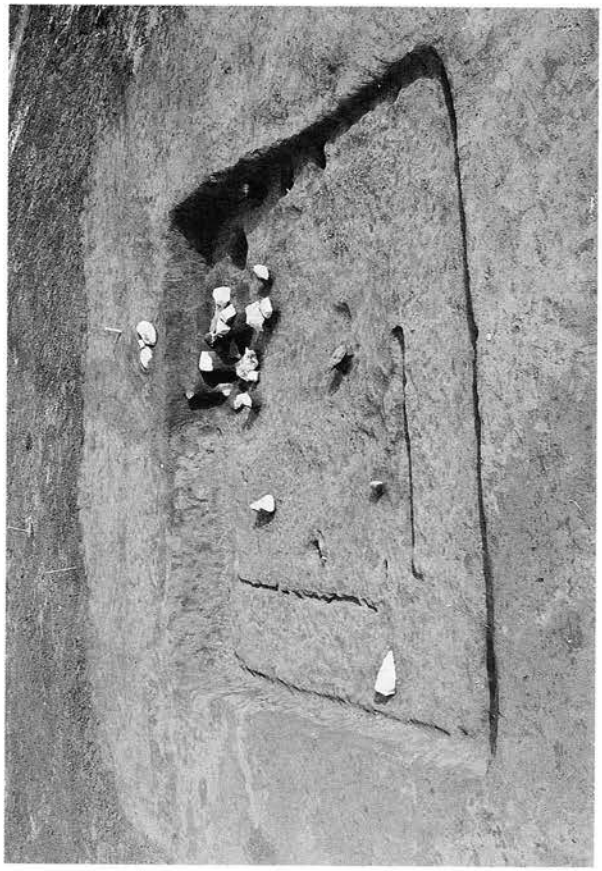
6 号住居内 7 号ピットと焼土・完掘（右）



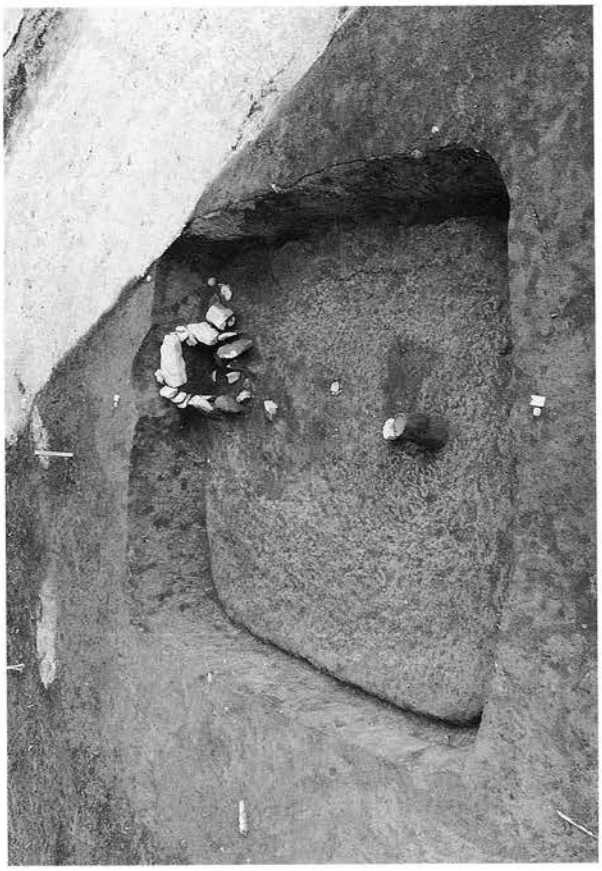
7 号住居・カマド・完掘

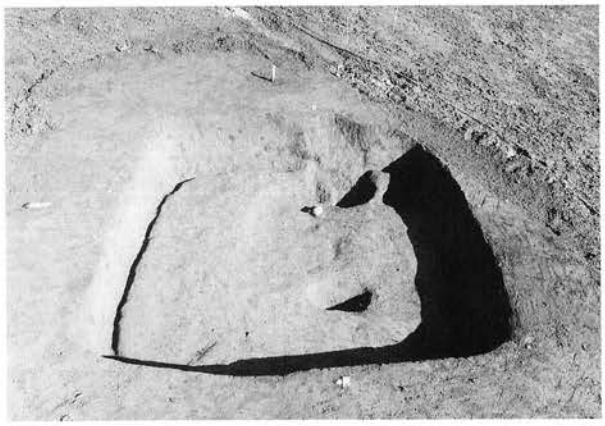


9 号住居・カマド・完掘

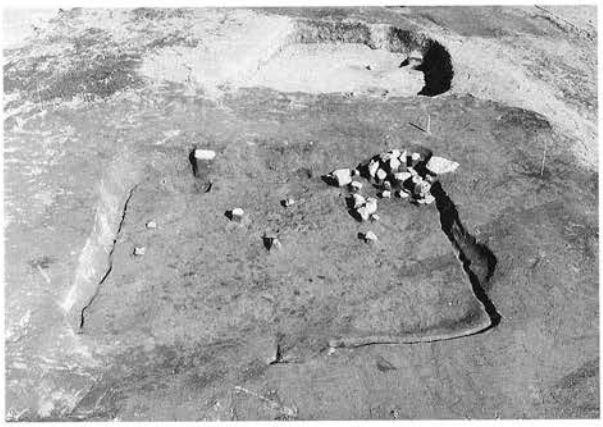


13号住居・カマド・完掘

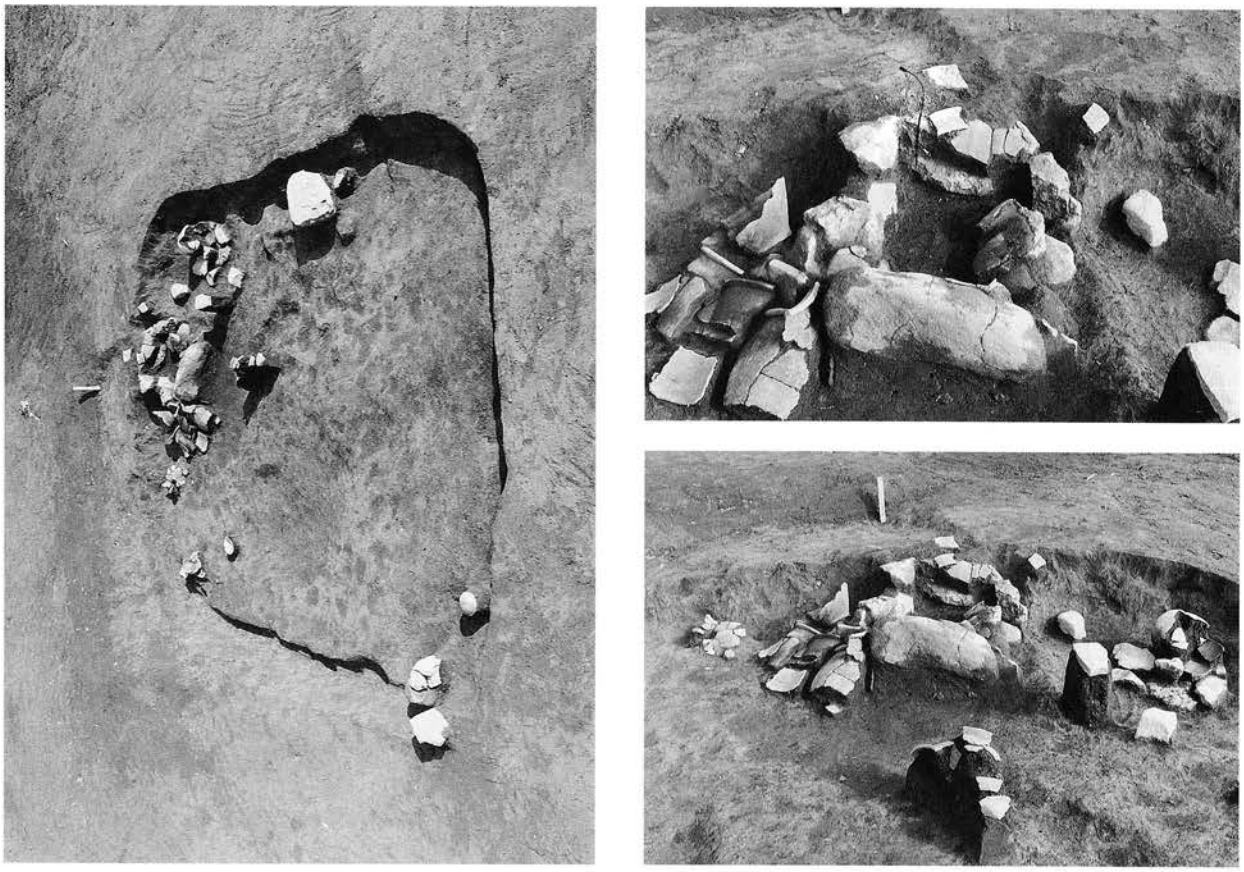




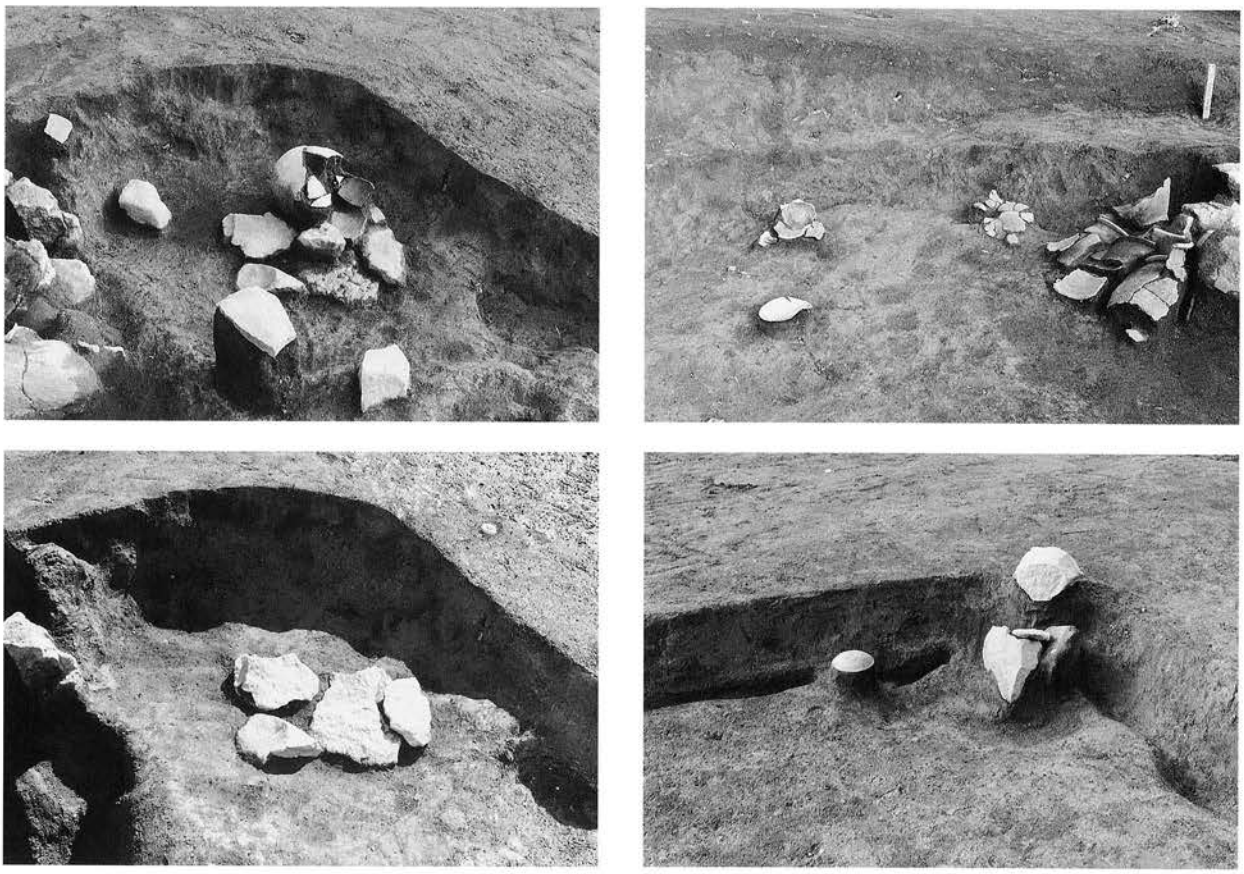
14号住居・カマド・完掘



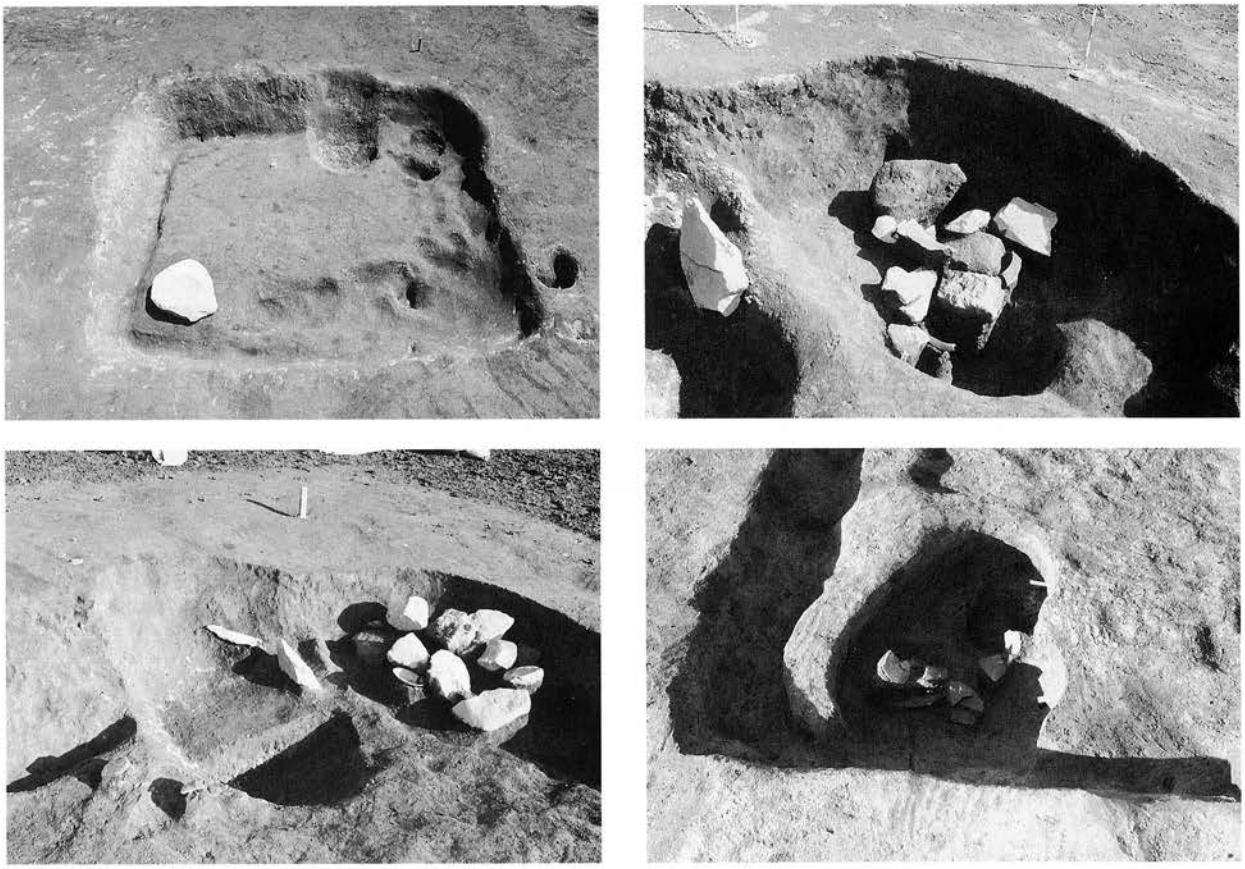
15号住居・カマド・689号ピット



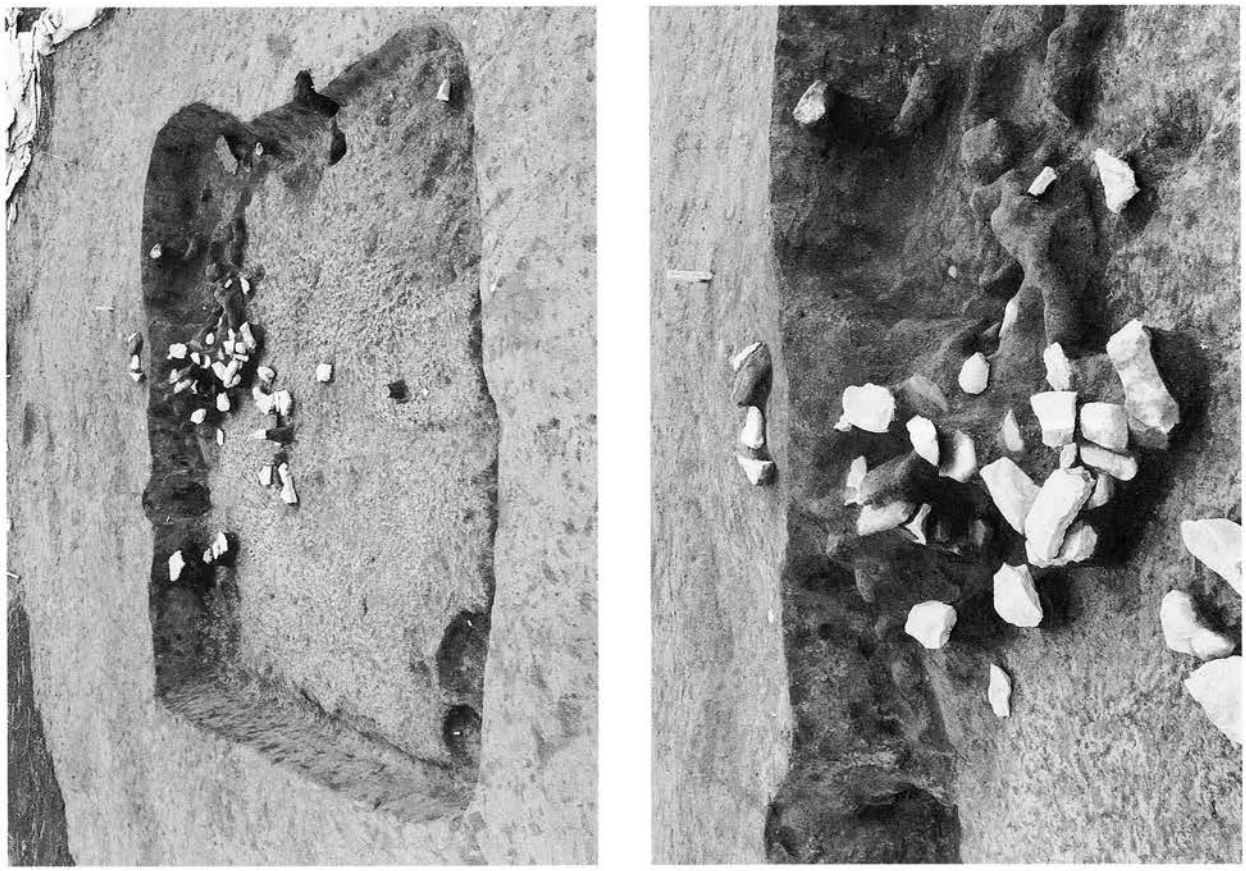
16号住居・カマド・カマド周辺の遺物の出土状況



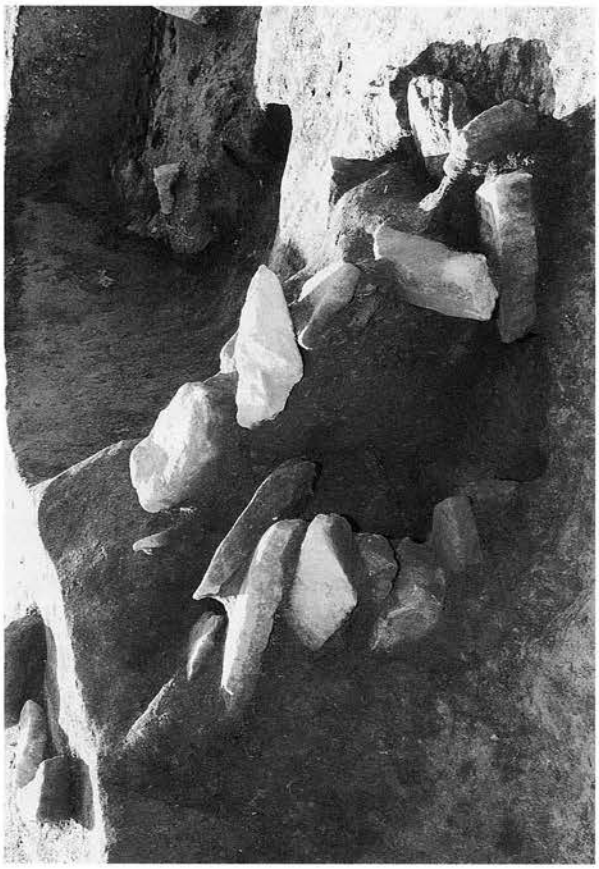
120号ピット上面の遺物出土状況（左）・住居内遺物出土状況　北東角（右上）・北西角（右下）

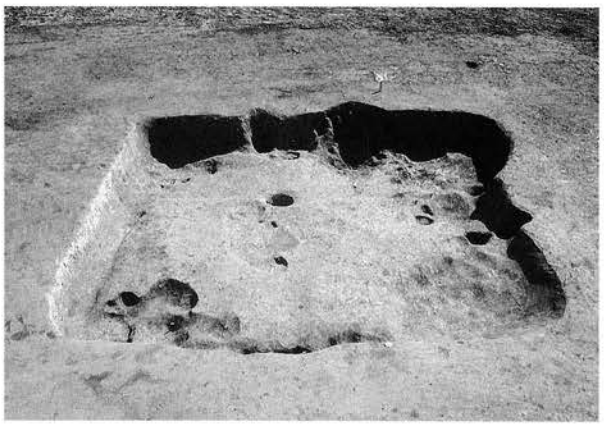


17号住居・カマド・127号ピット上面の遺物出土状況（右上）・63号ピット（右下）

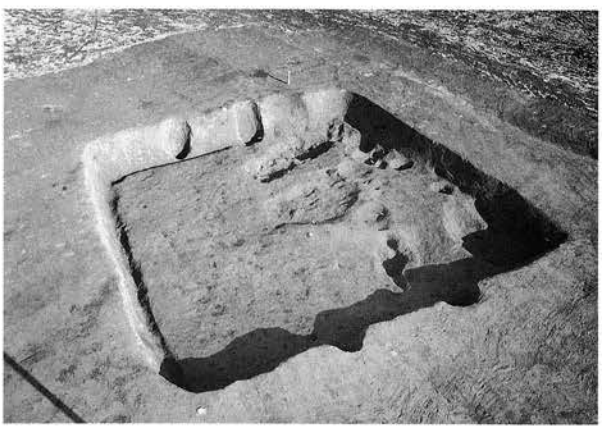


18号住居・カマド

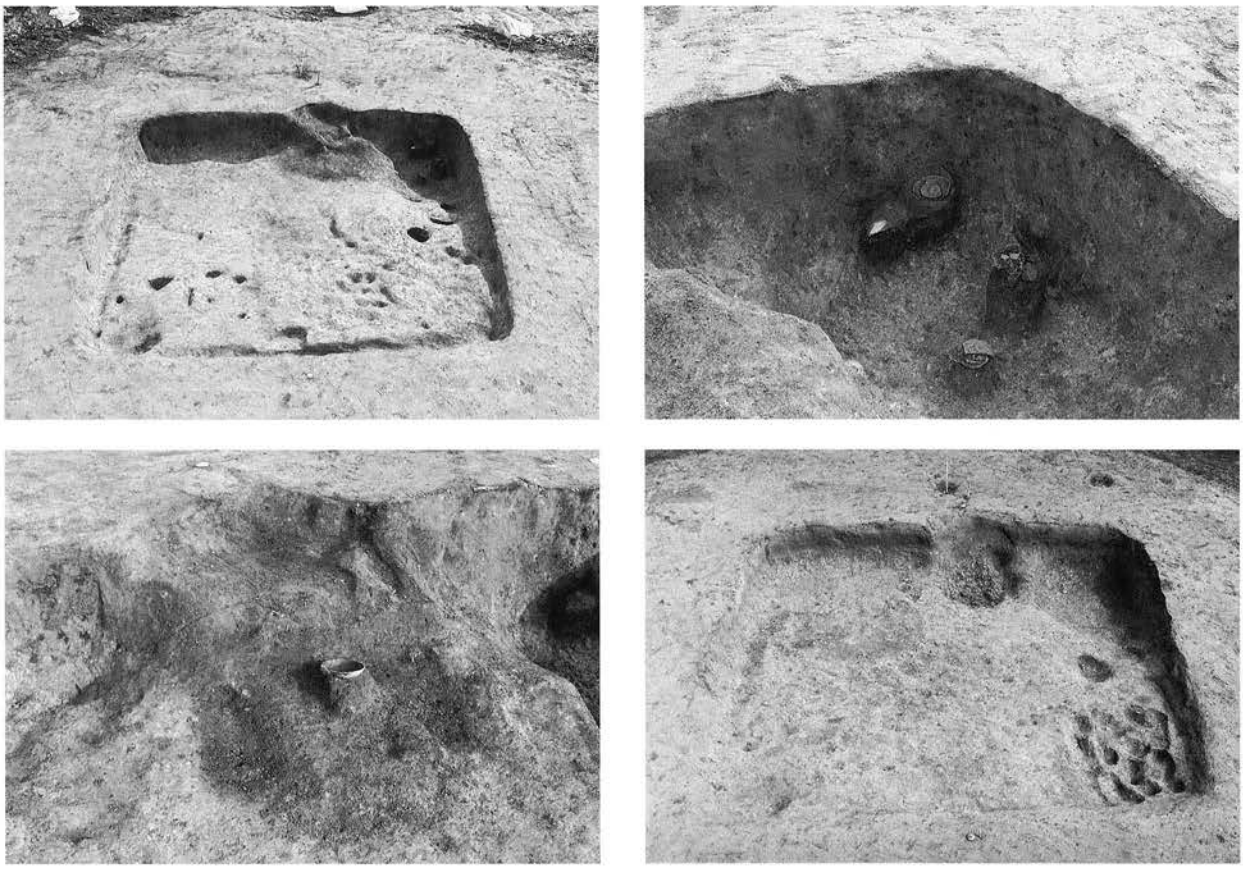




18号住居カマド断面（左）・住居南東角・完掘

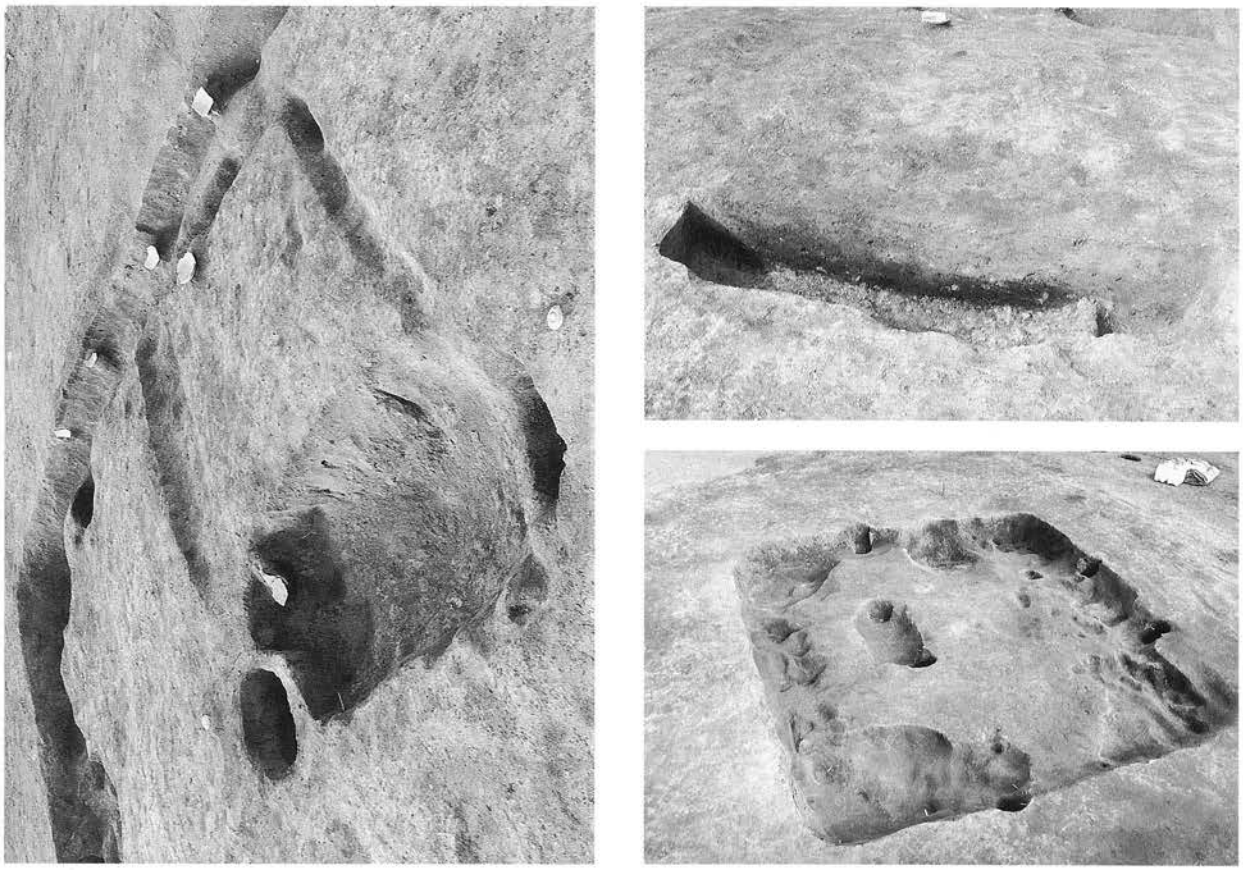


19号住居・カマド（左）・礫集積（右上）・完掘

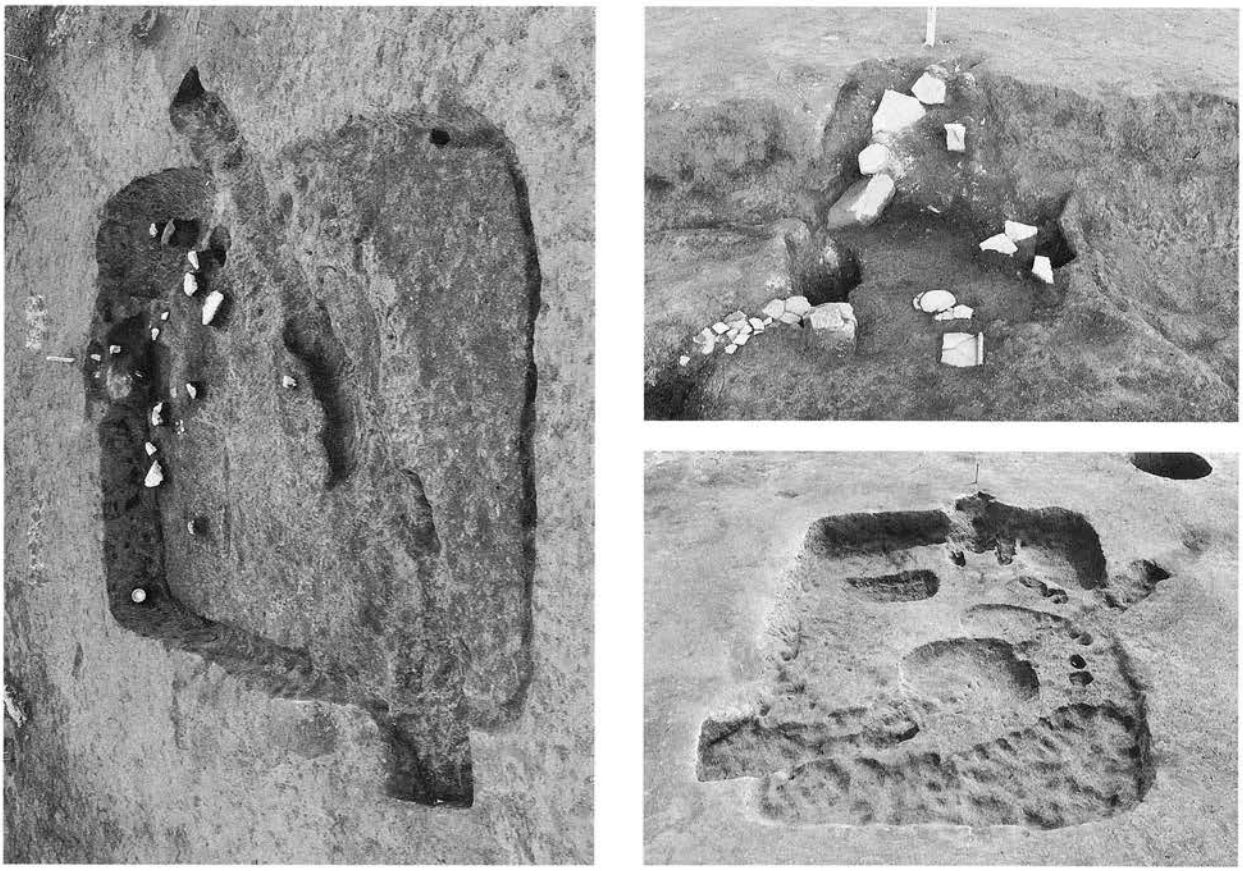


20号住居・カマド遺物出土状況（左下）・11号土坑（右上）・完掘

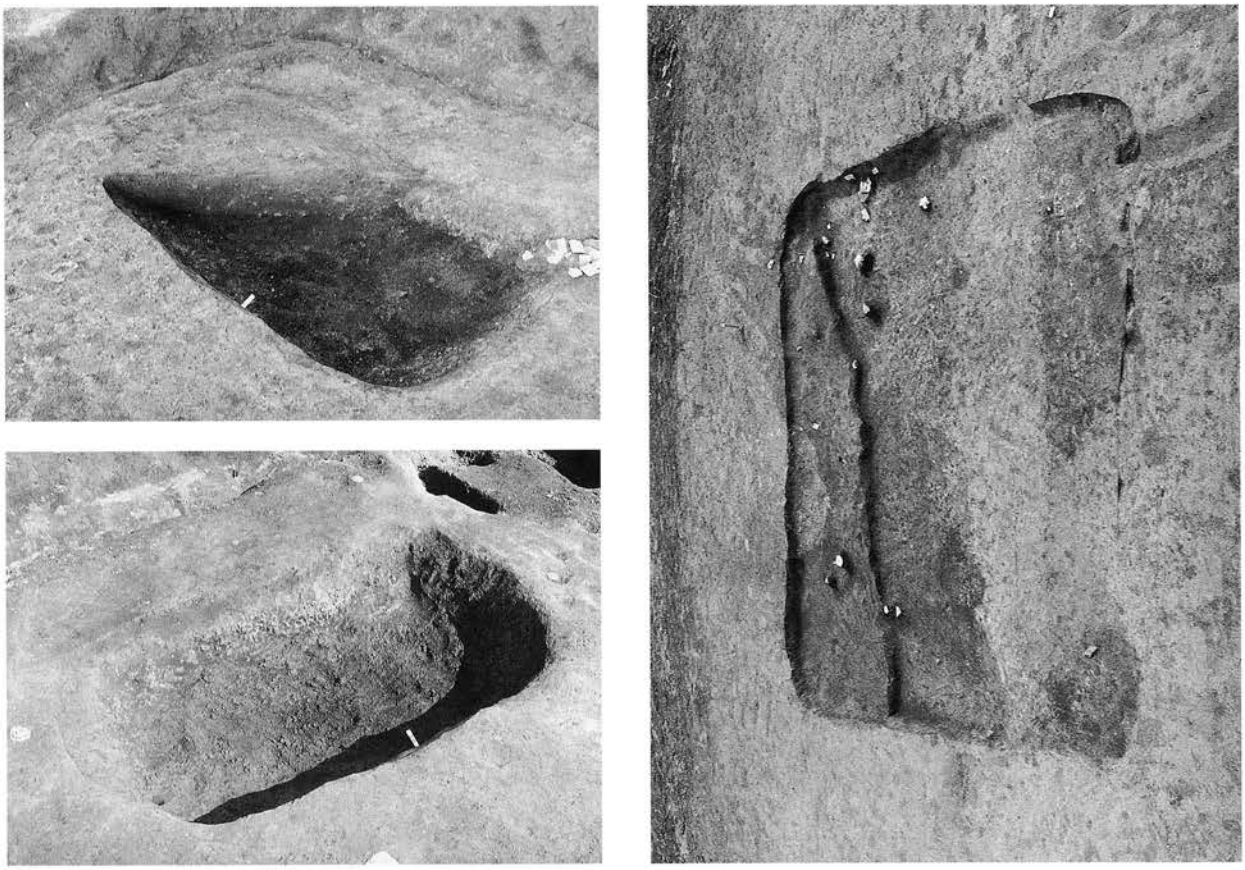
21号住居・カマド（右上）・80号土坑（右下）



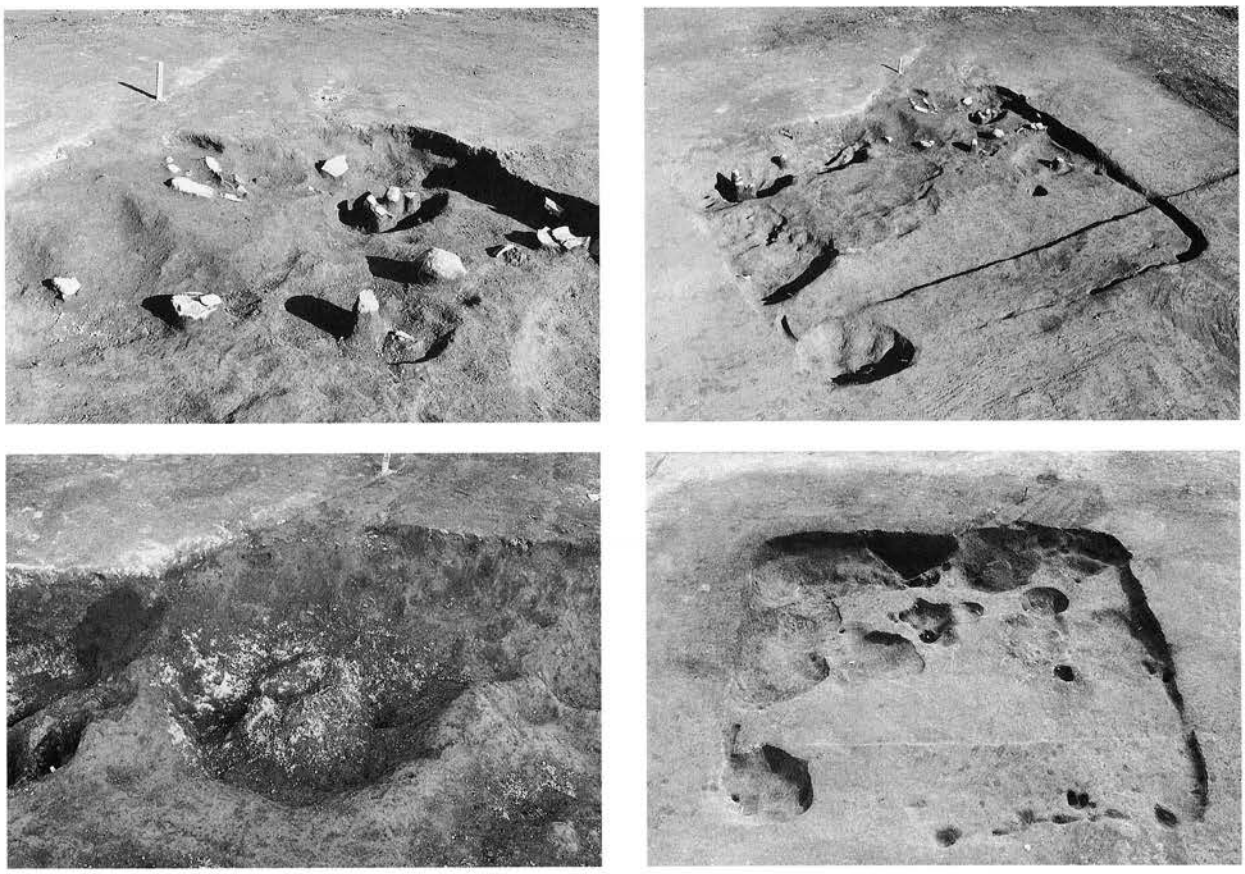
21号住居・71号土坑（左）・同覆土断面（右上）・完掘



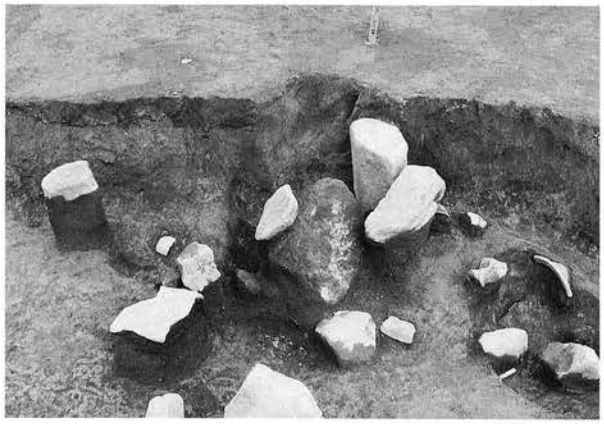
22号住居・カマド・完掘



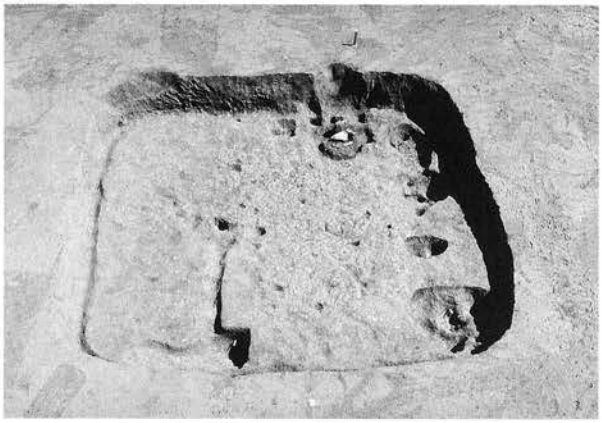
22号住居116号土坑（左）・23号住居（右）



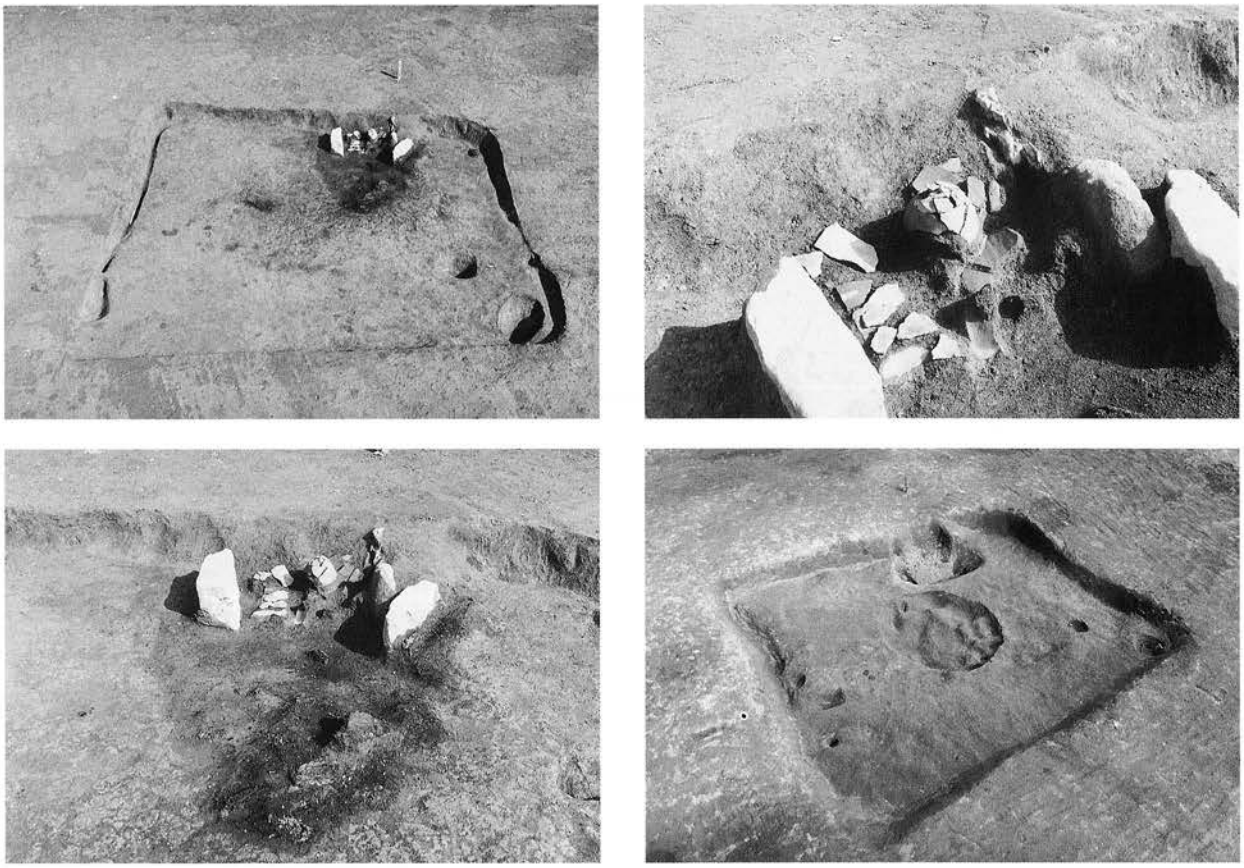
23号住居カマド（左）・23号住居下層床面（右上）・完掘



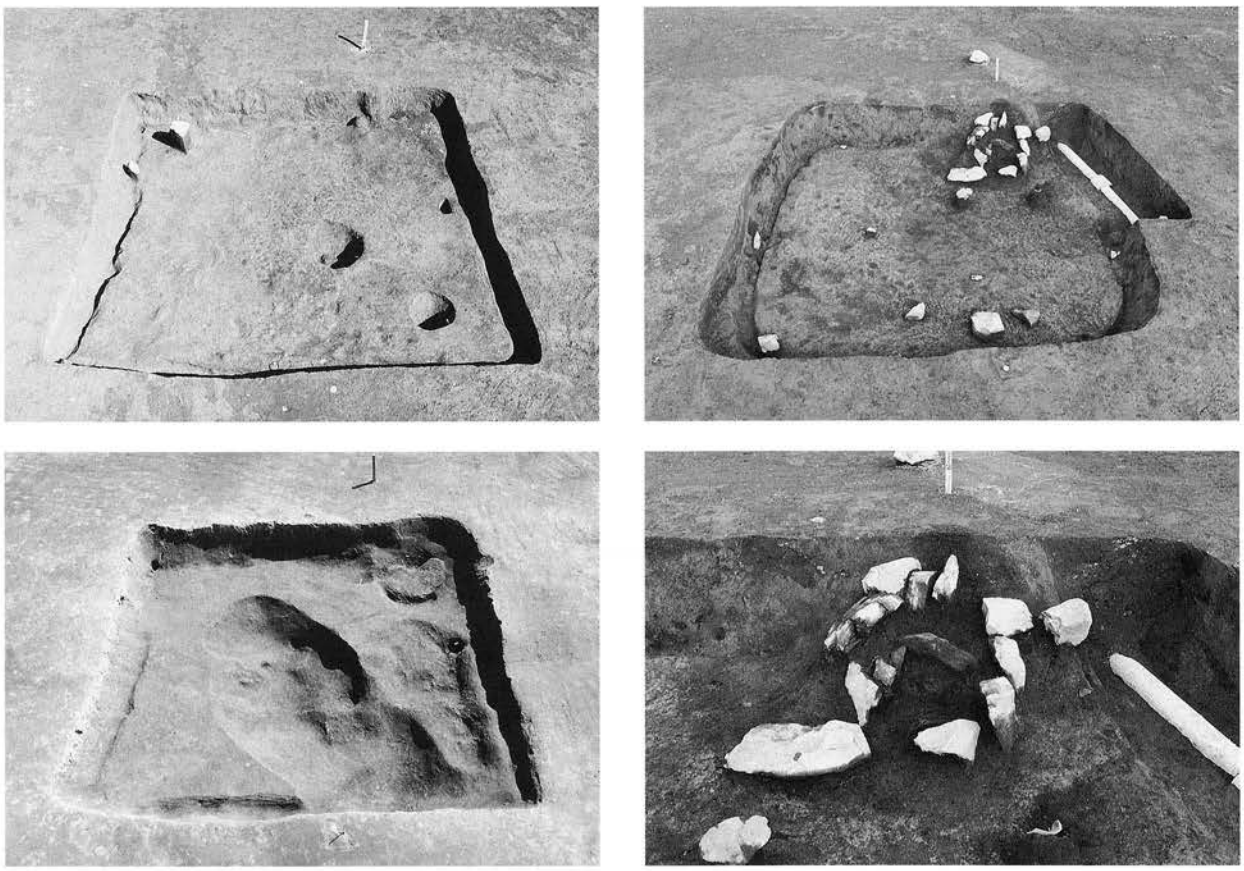
24号住居・カマド・南東角の土坑と礫（右下）



24号住居完掘（左）・25号住居・カマド（右）

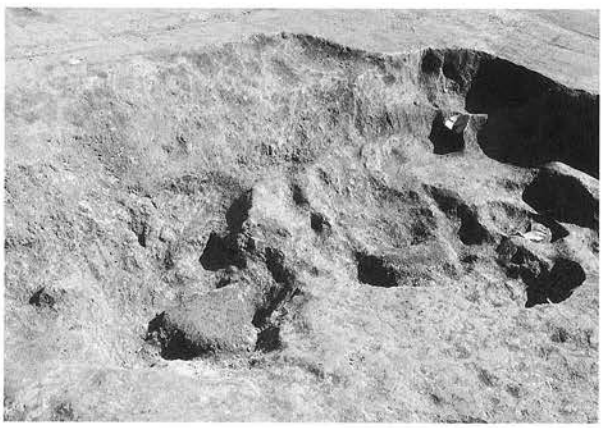


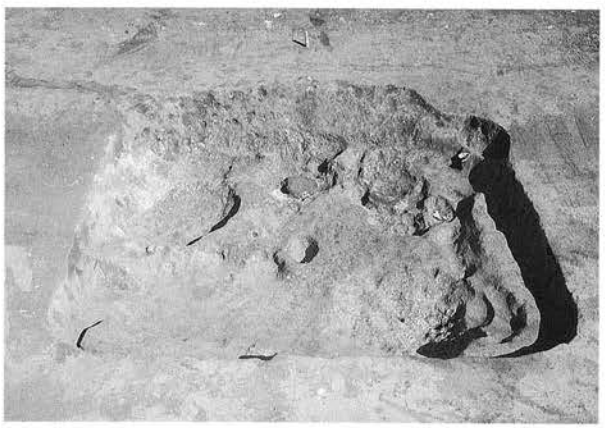
26号住居・カマド（左）・支石を覆う土器（右上）・完掘



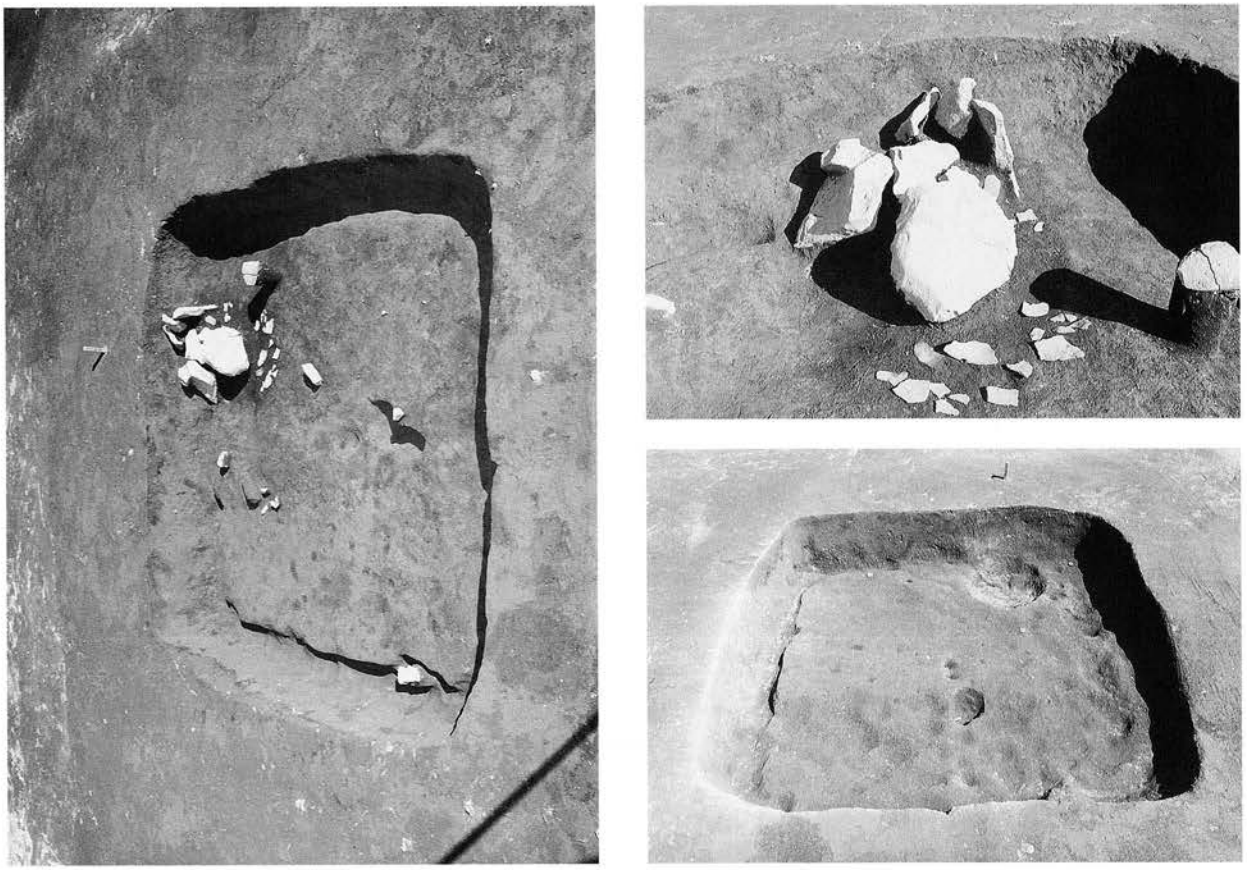
27号住居（左）・28号住居（右）

29号住居・覆土断面（右）

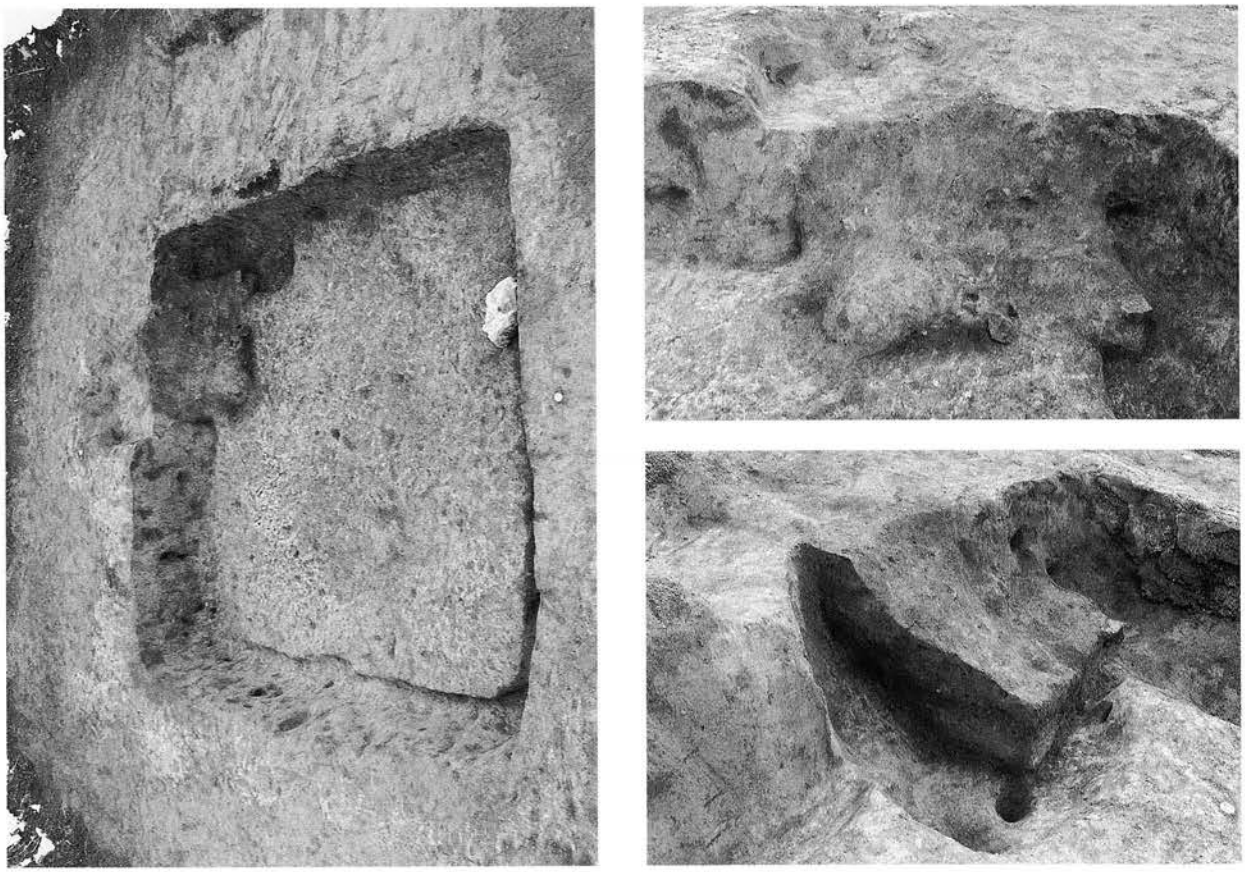




29ｂ号住居カマド（左上）・新旧カマド完掘（左下）・110号土坑（右上）・完掘

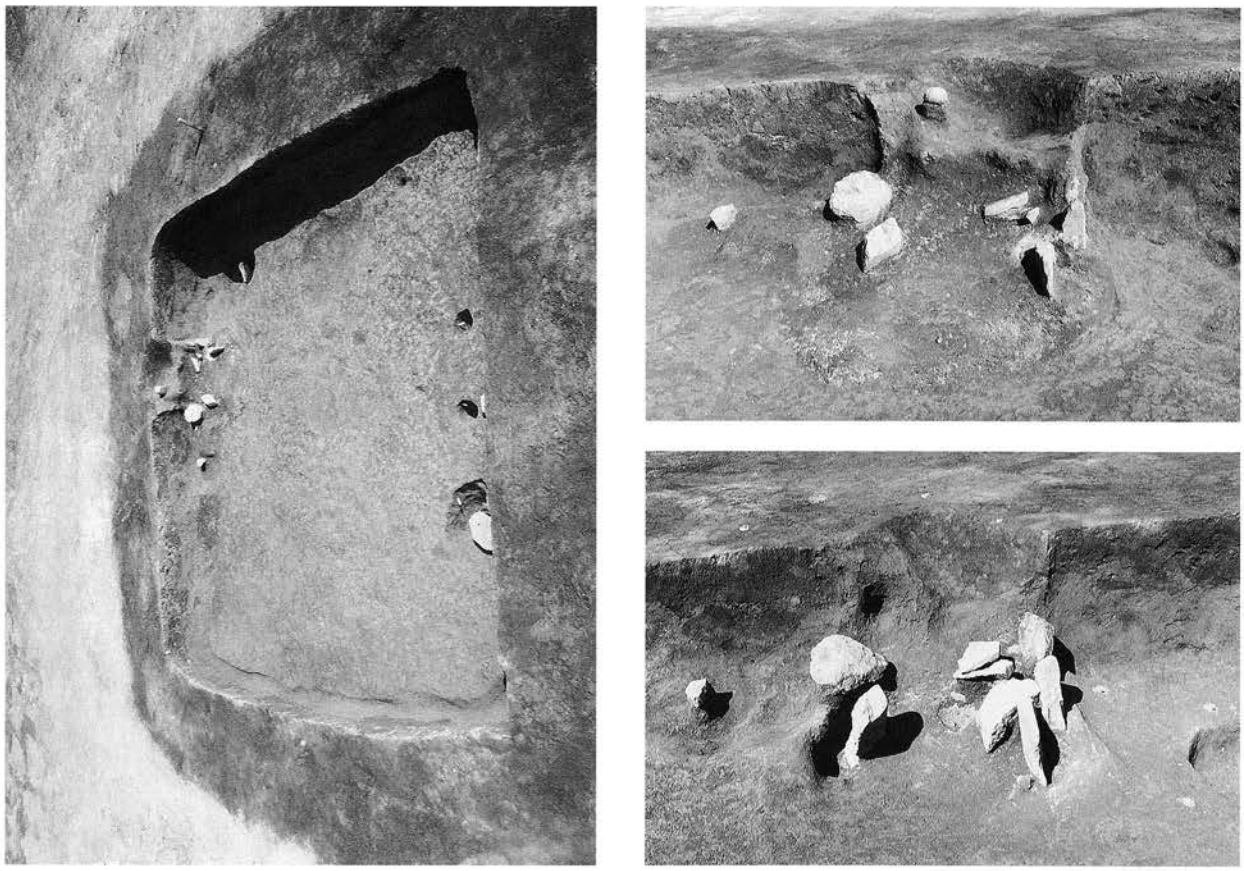


30号住居・カマド（右上）・完掘

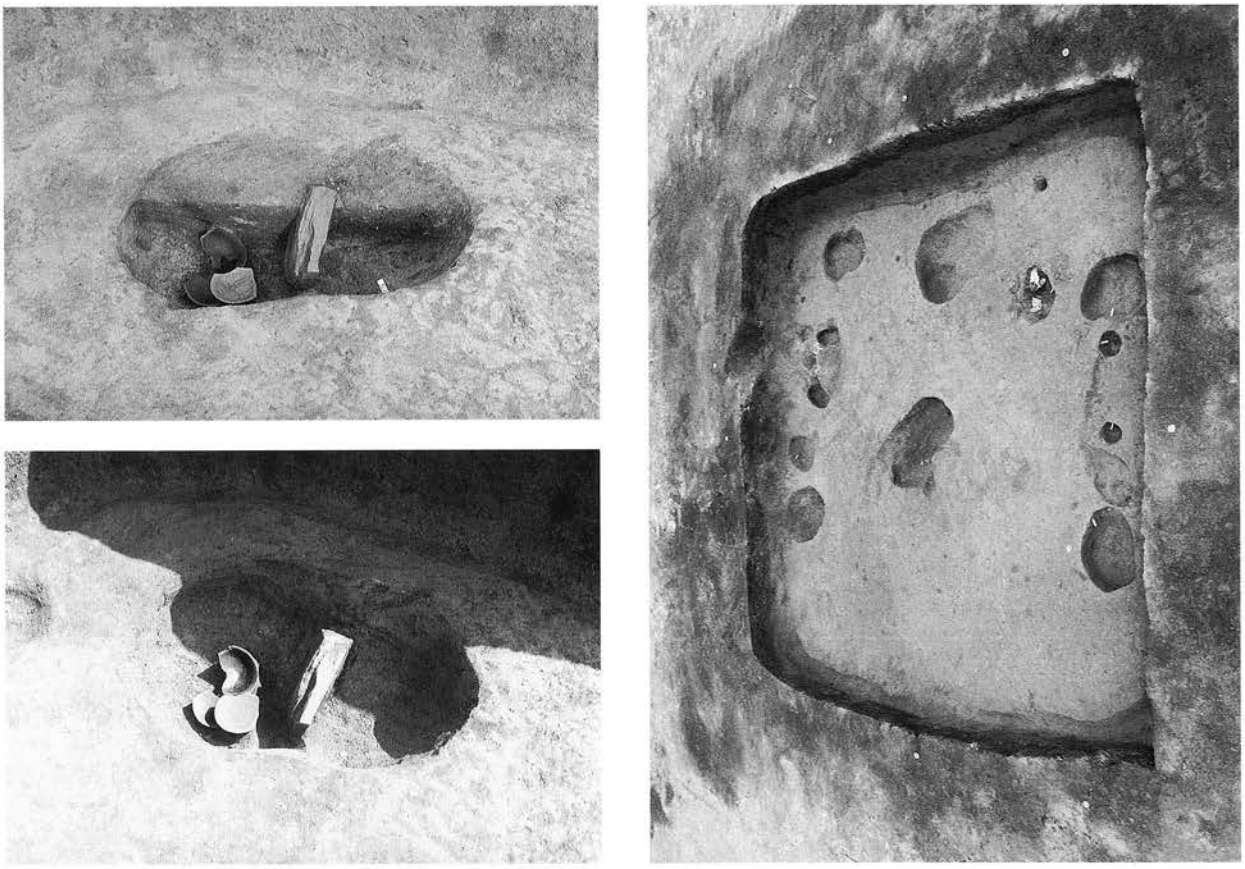


31号住居・カマド検出状況（右上）・同断面（右下）

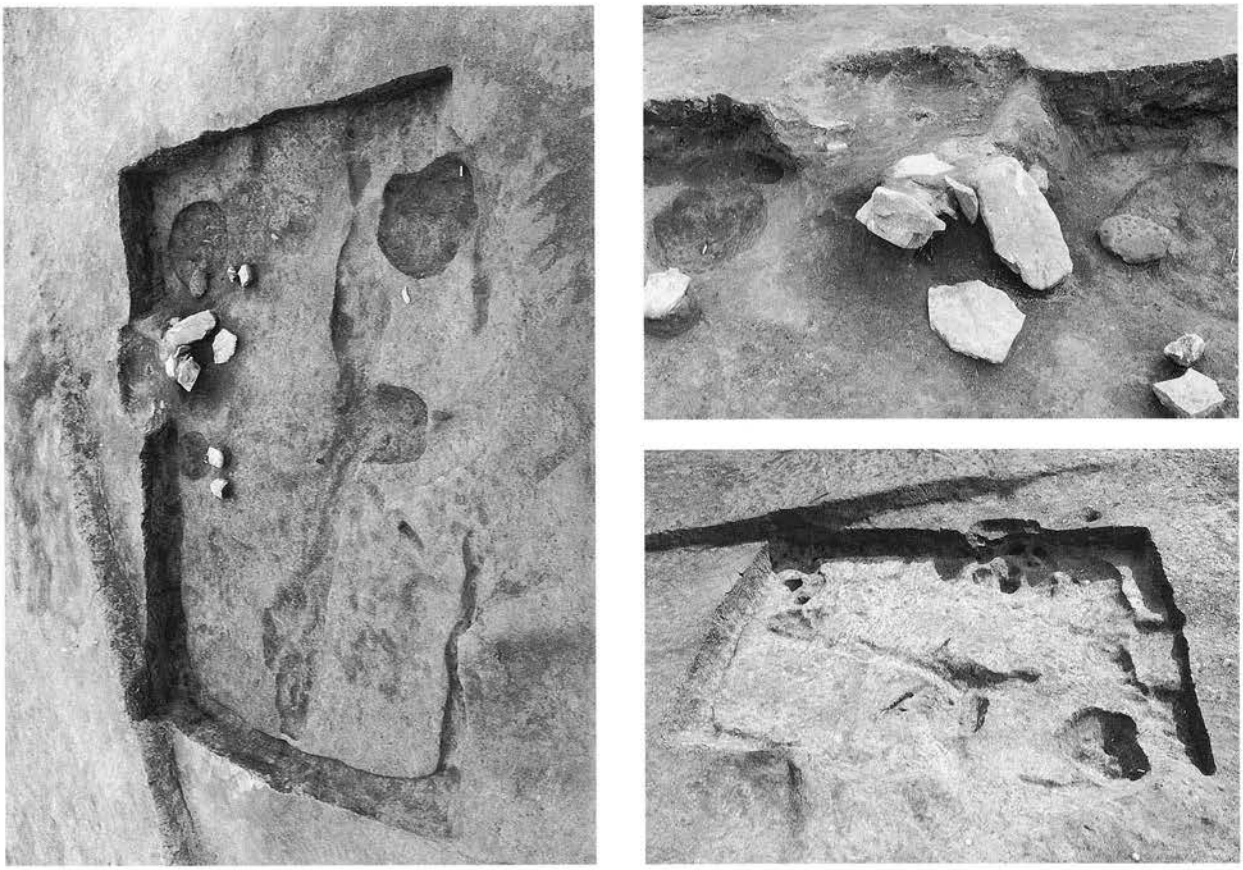
31号住居北壁沿いの鉄鏃出土状況（左上）・西壁際の紡錘具出土状況（左下）・完掘



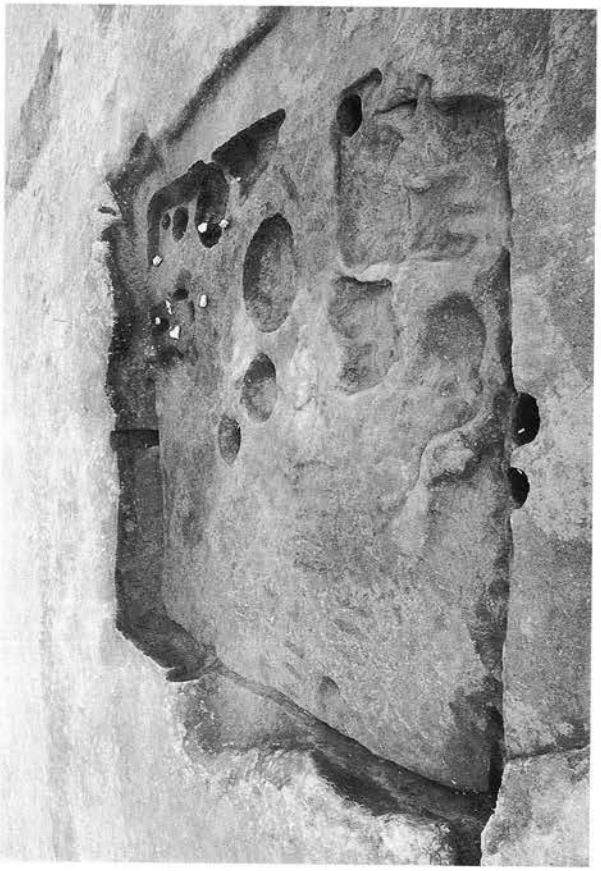
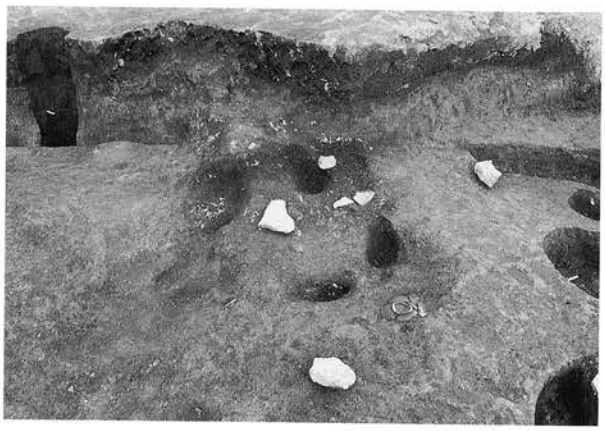
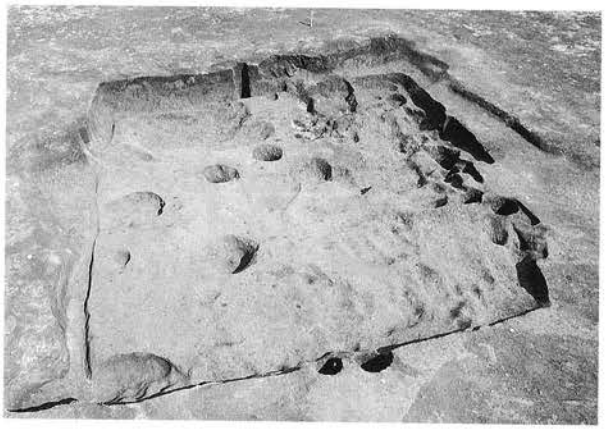
36号住居・カマド検出状況（右上）・同カマド



36号住居　176号土坑（左）・完掘



37号住居（左）・カマド（右上）・完掘

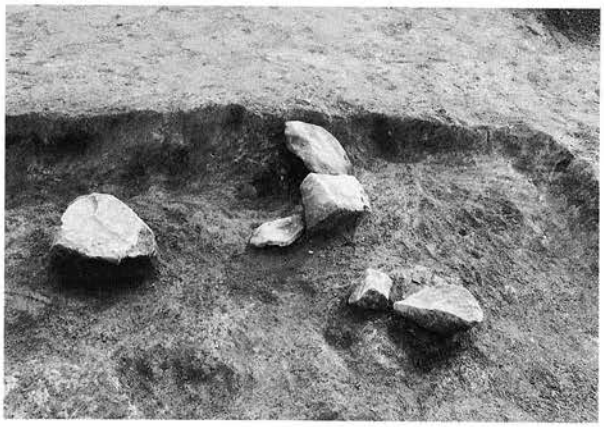
40号住居・カマド（右上）・完掘

41号住居・カマド・同断面（左）

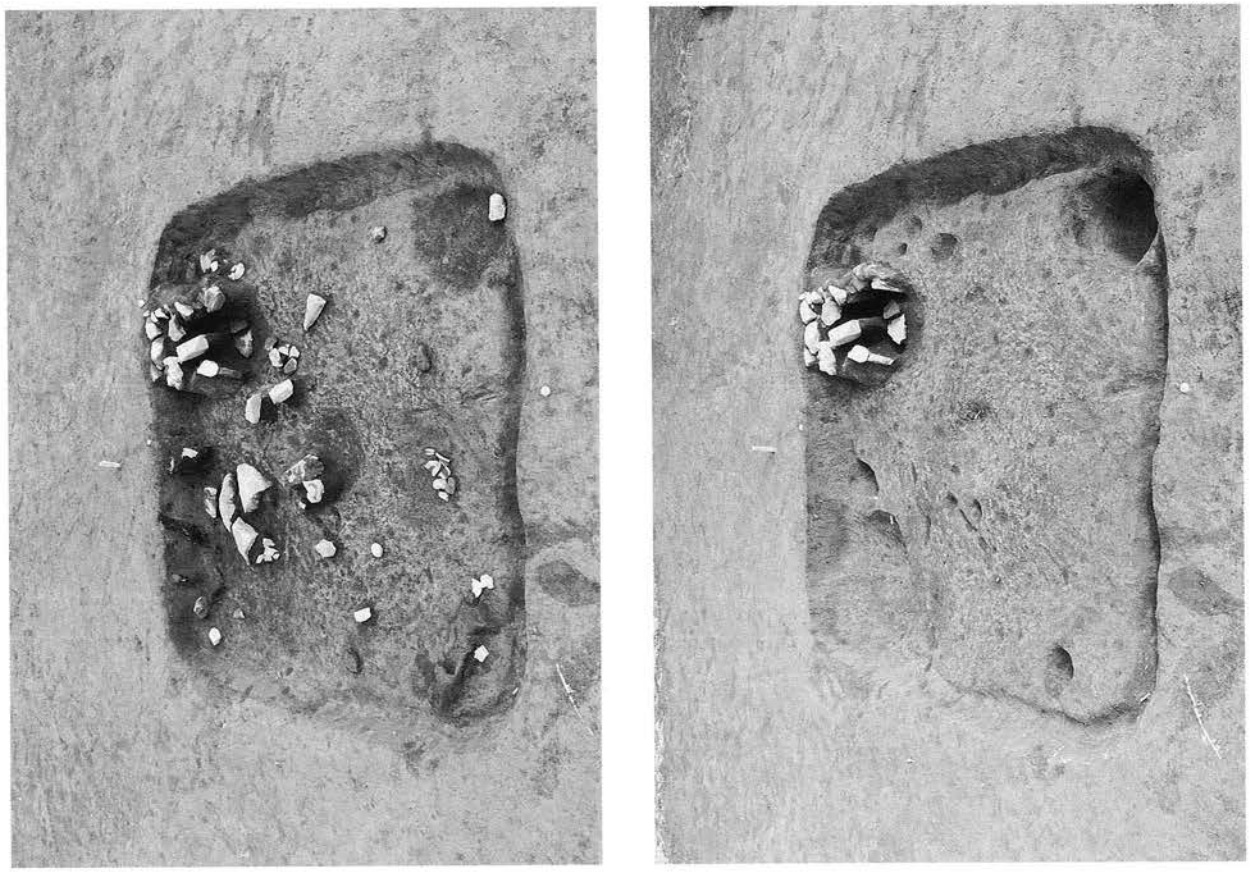
42号住居（左）・43号住居（右）・カマド

44号住居・カマド（右上）・185号土坑（右下）

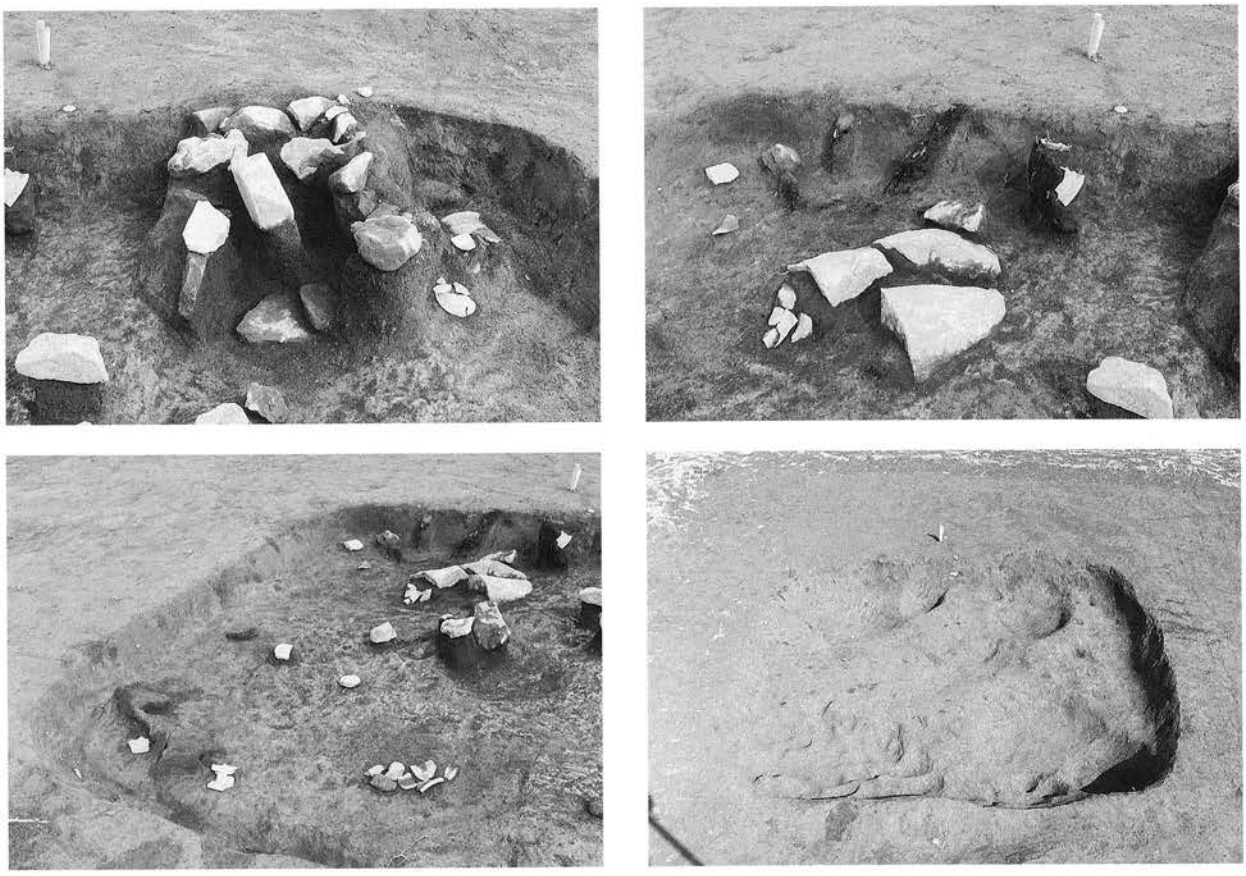
46号住居・カマド検出状況（右上）・カマド完掘（右下）



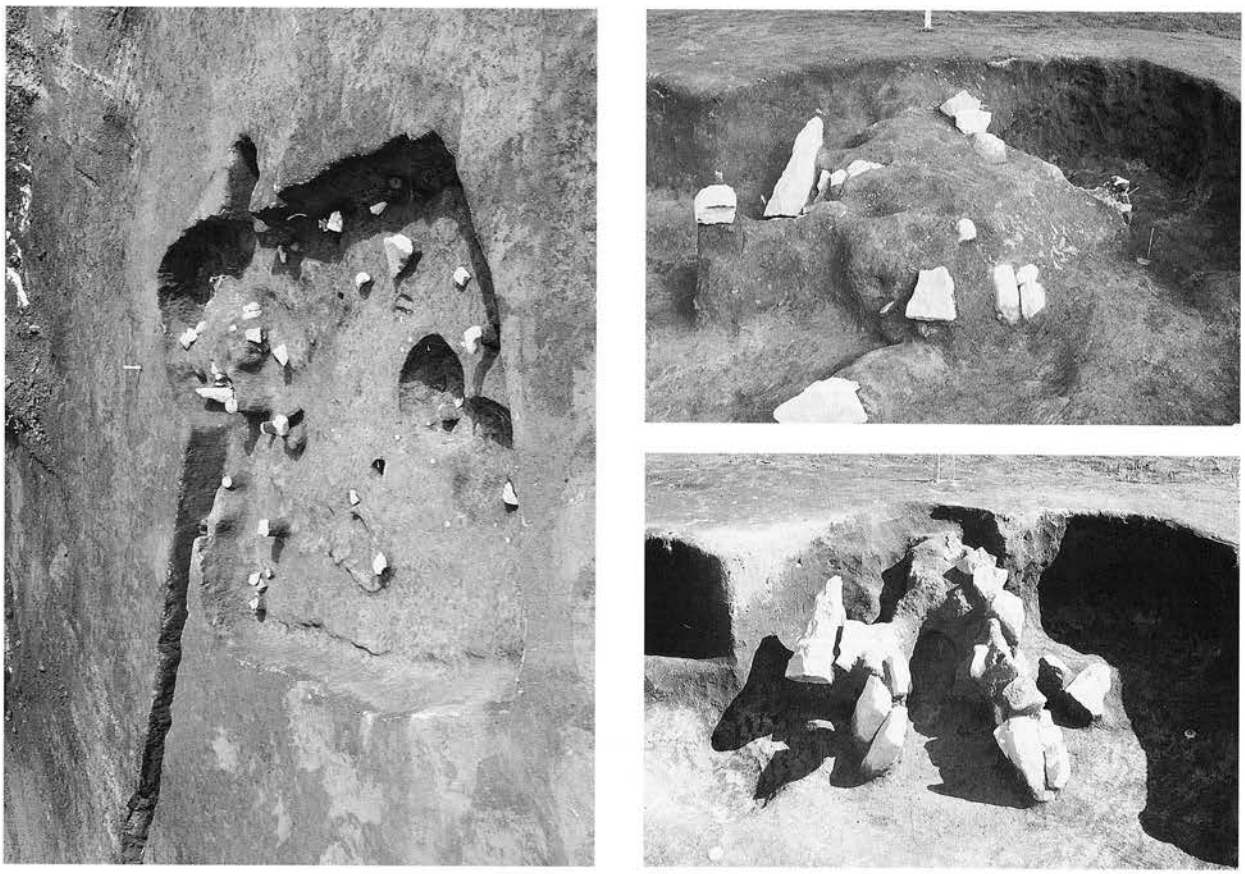
47号住居・カマド（右上）・8号土坑（右下）



48号住居礫・遺物出土状況(左)・同住居（右）

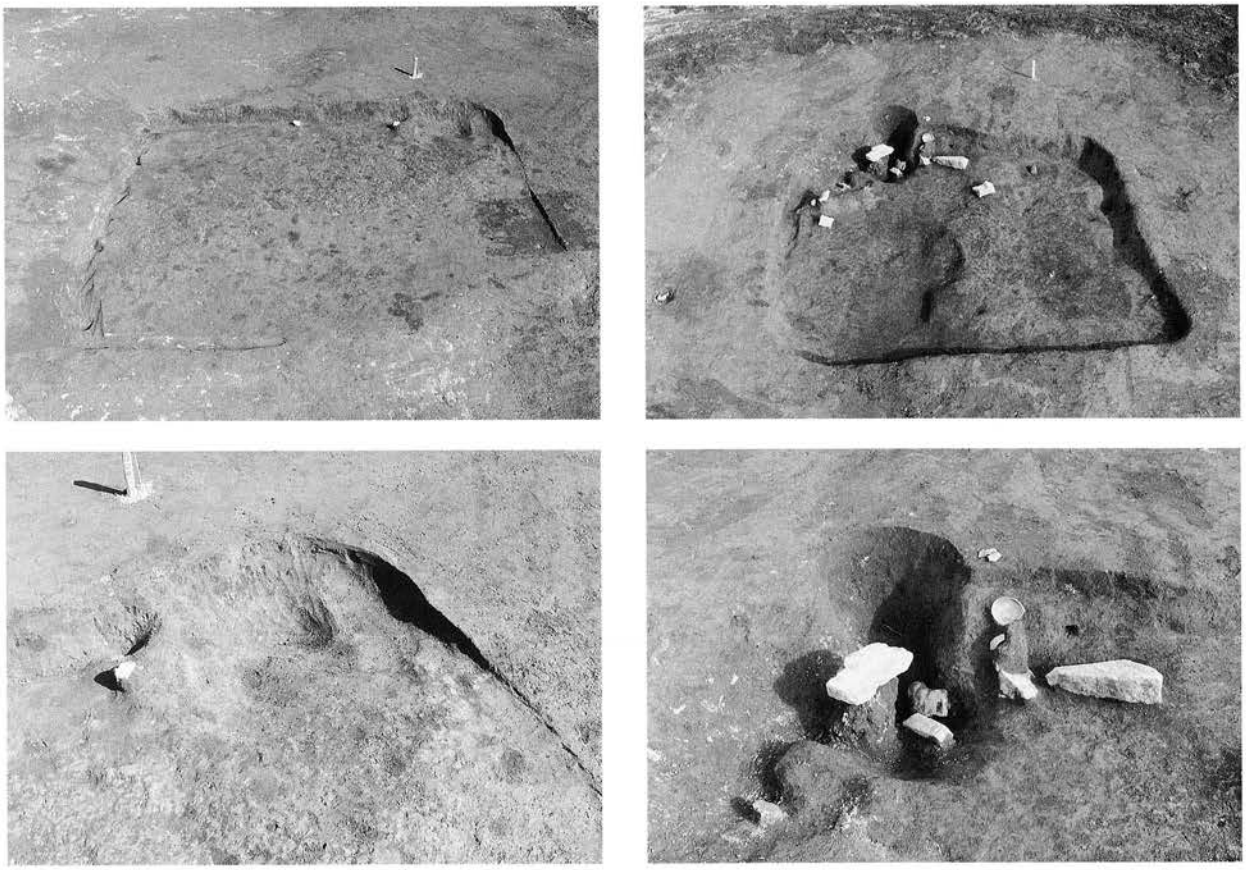


48号住居カマド（左上）・遺物出土状況（左下・右上）・完掘



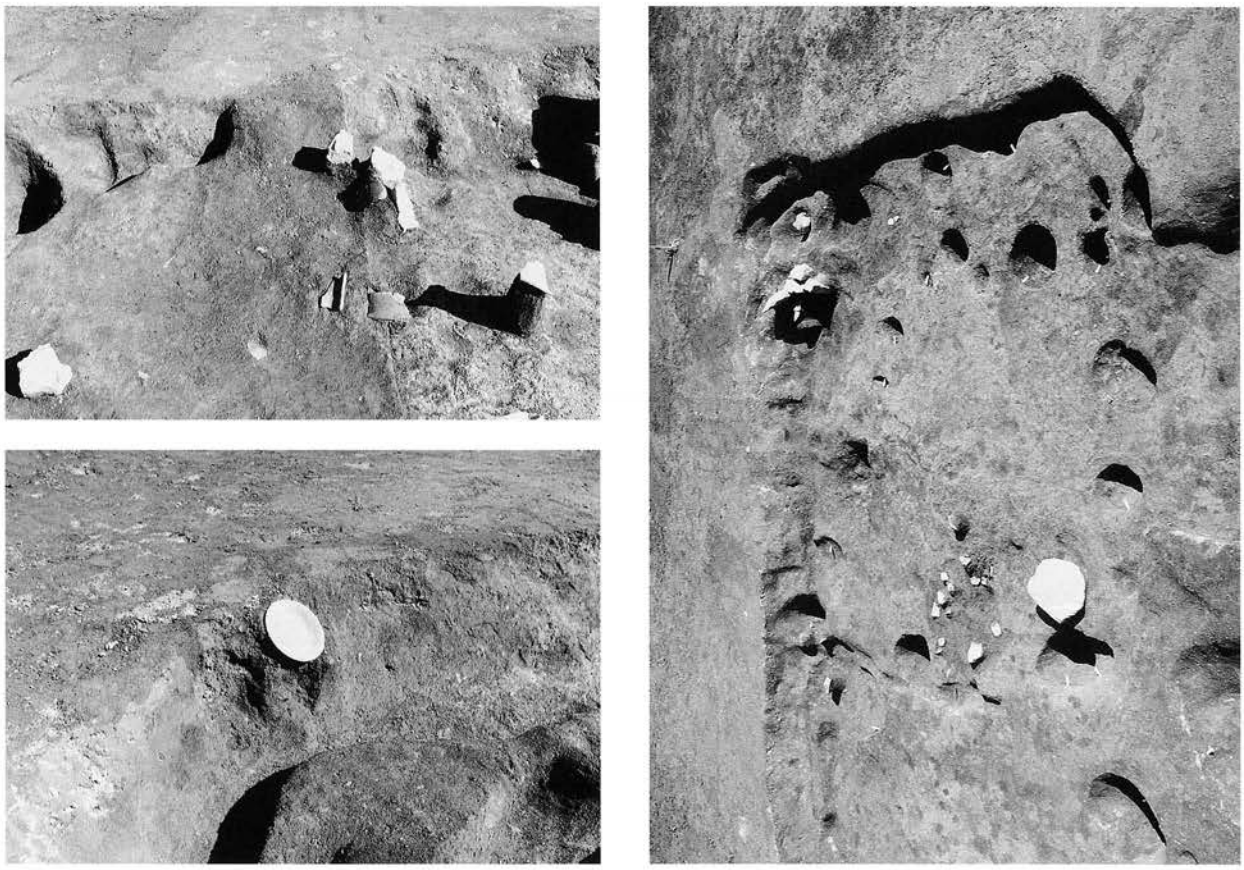
49号住居・カマド検出状況（右上）・同カマド

49号住居北東角の土師器出土状況（左上）・４号土坑（左下）・612号ピット（右上）・完掘

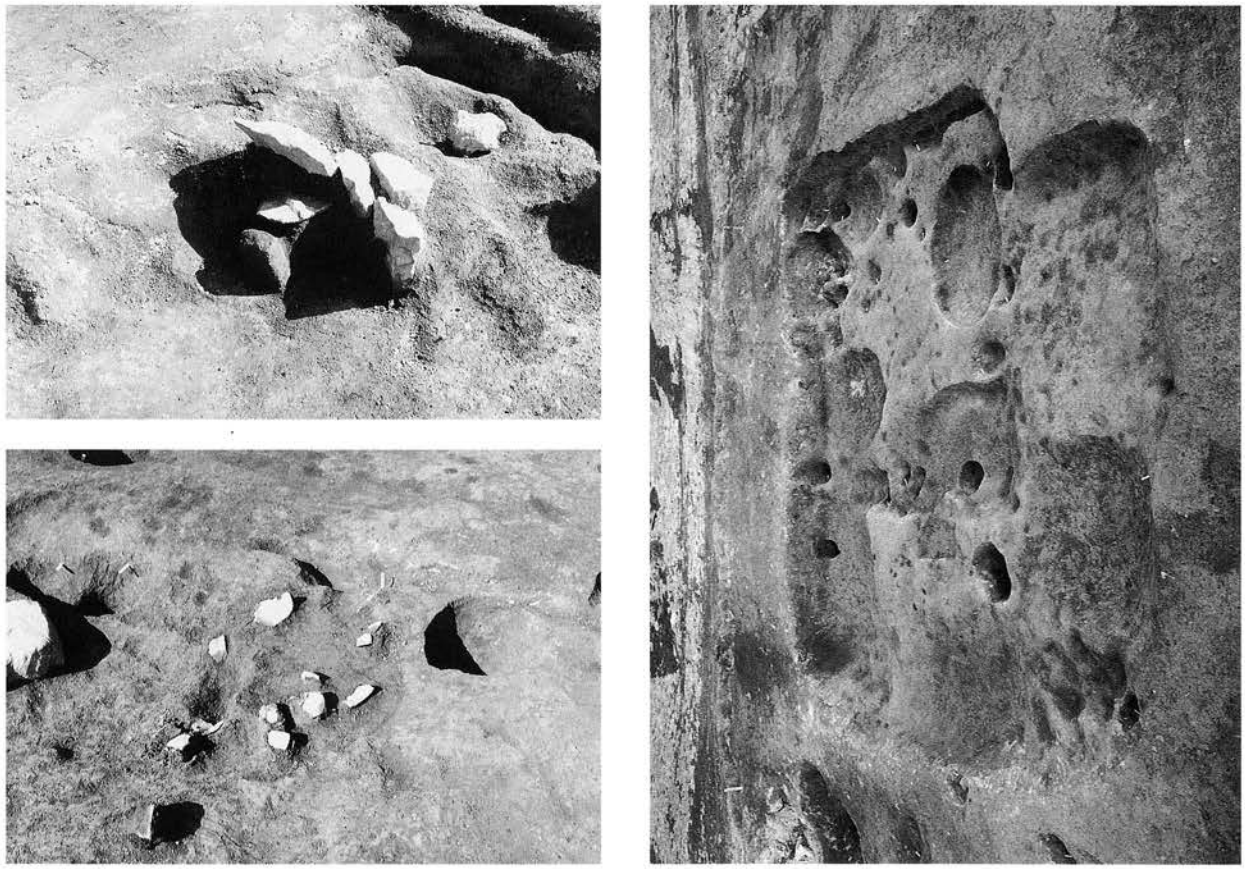


50号住居・カマド（左）・51号住居・カマド（右）

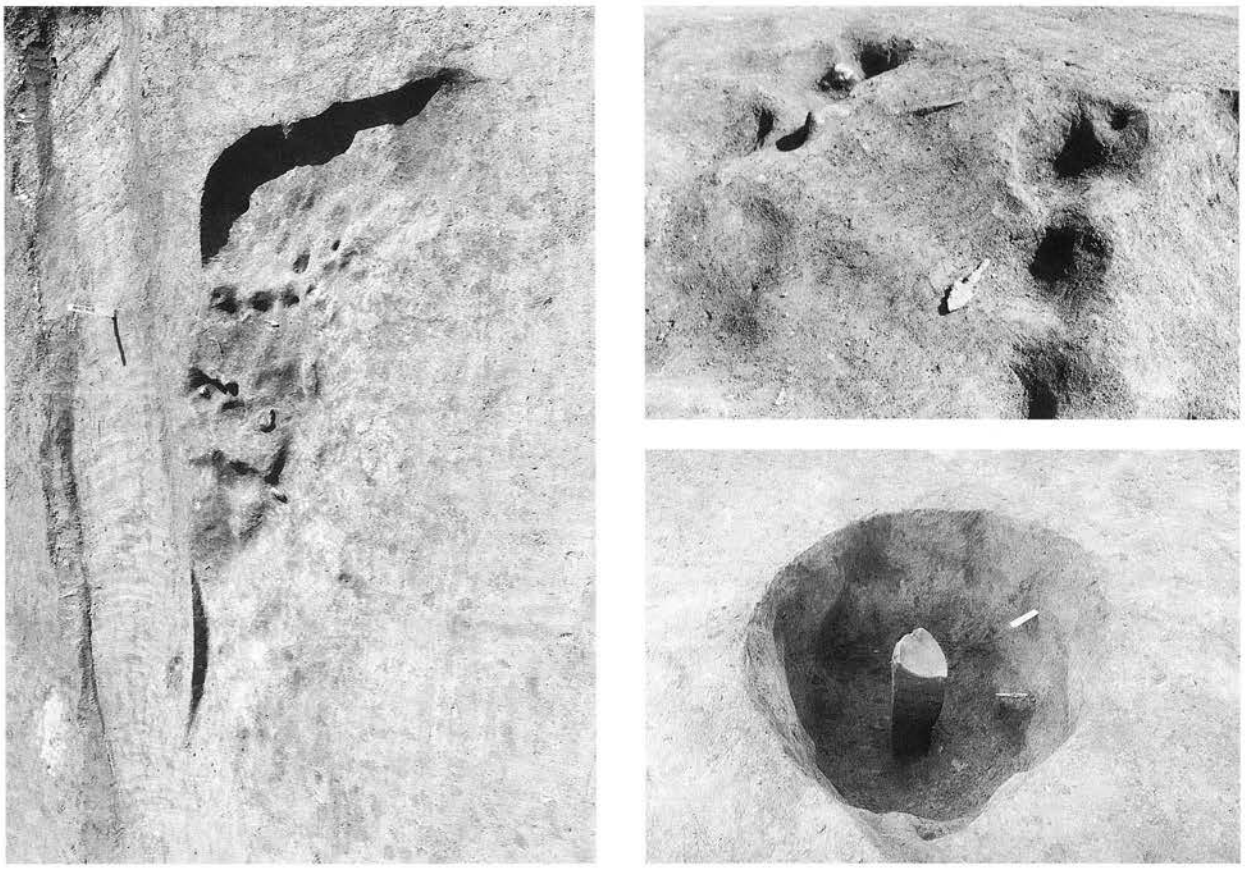
52号住居・カマド（左）・53号住居（右）



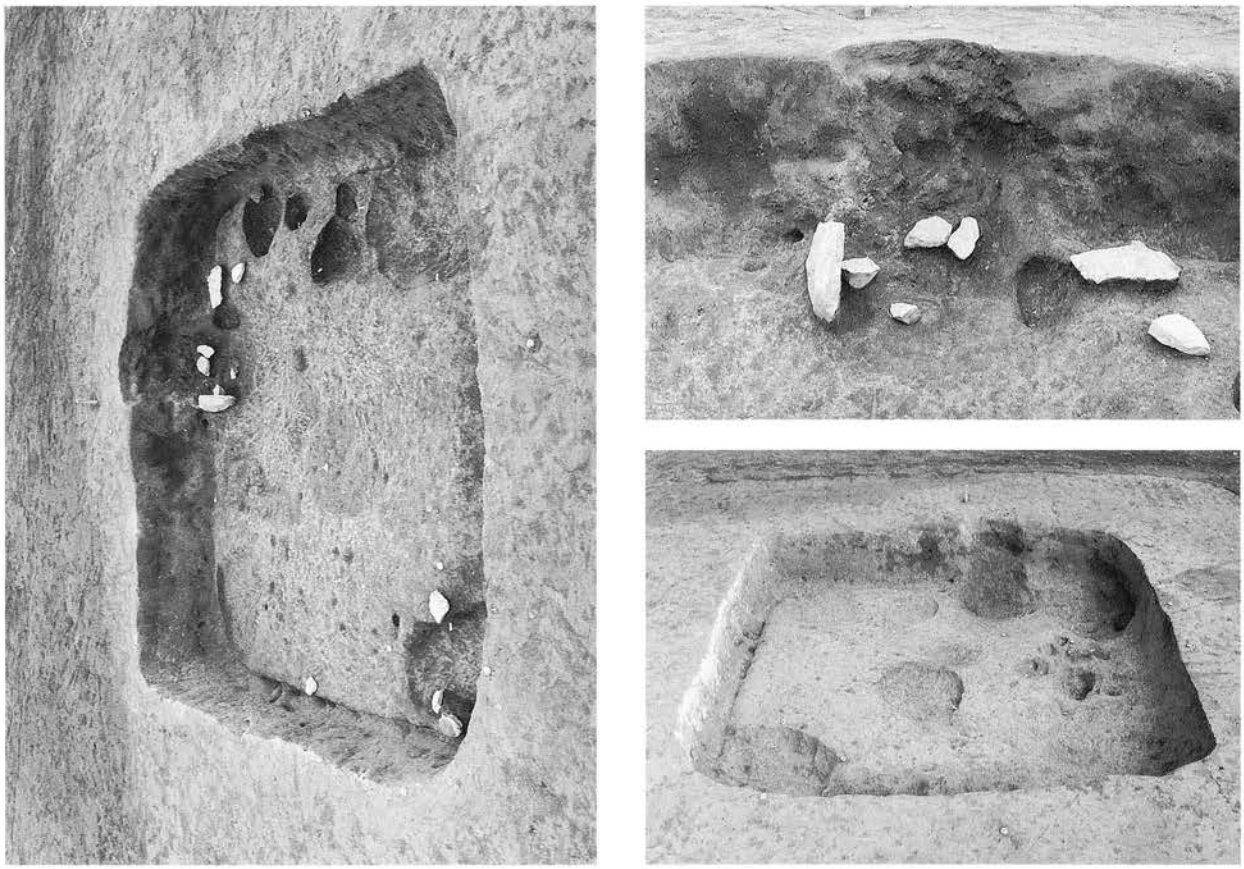
53 a 号住居カマド（左上）・同住居北東角の土師器出土状況（左下）



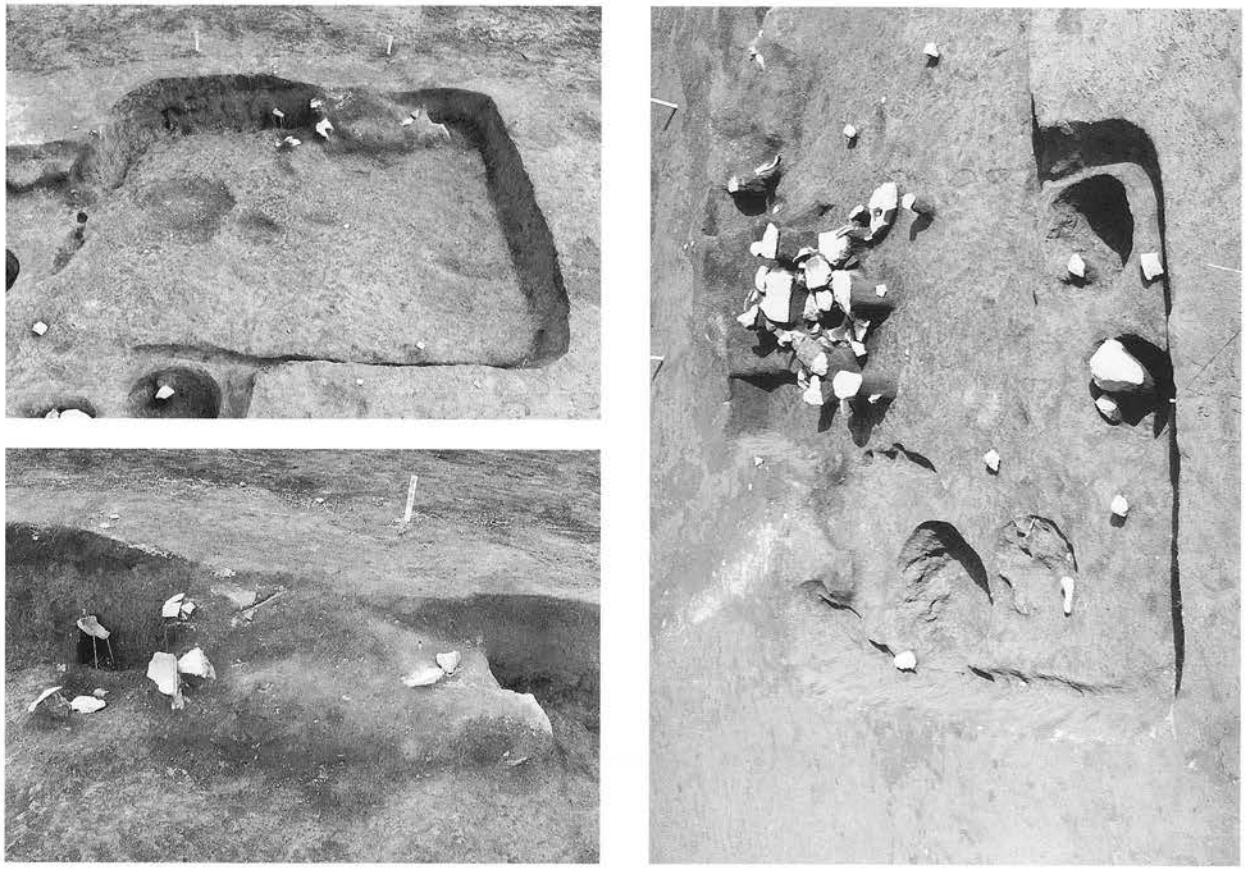
53 b 号住居カマド（左上）・同住居旧カマド（左下）・53号住居完掘（右）



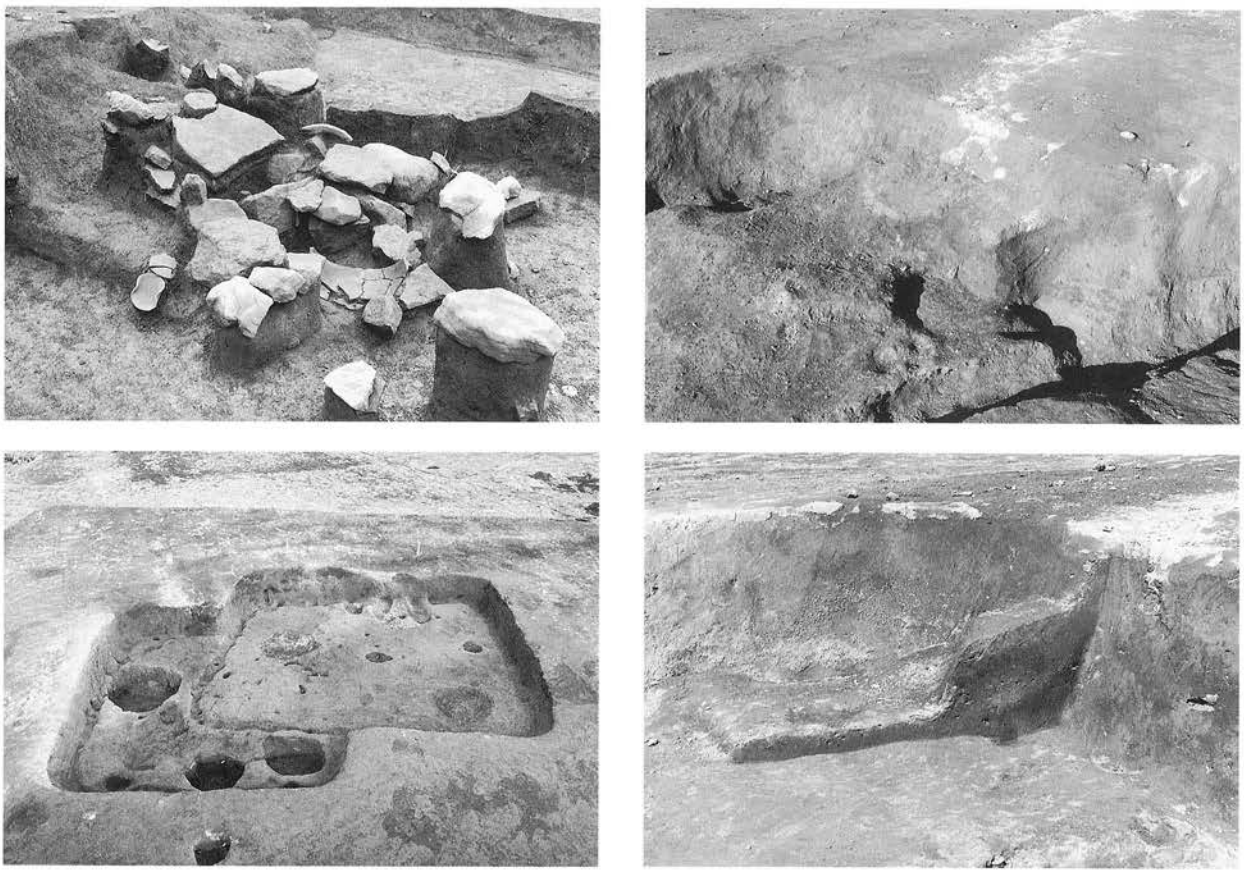
55号住居・同カマド検出状況（右上）・103号ピット（右下）



56号住居・カマド・完掘



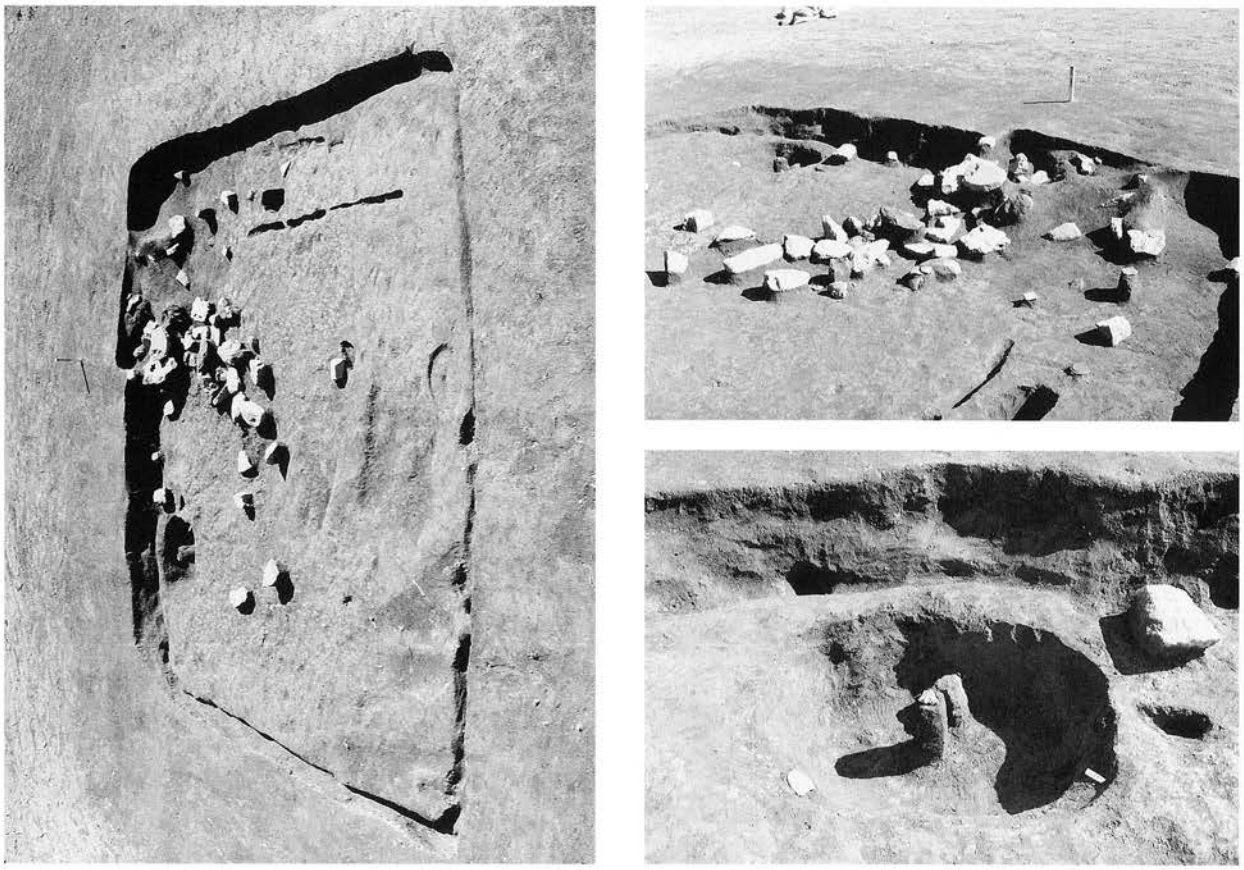
57号住居・カマド（左）・60号住居（右）



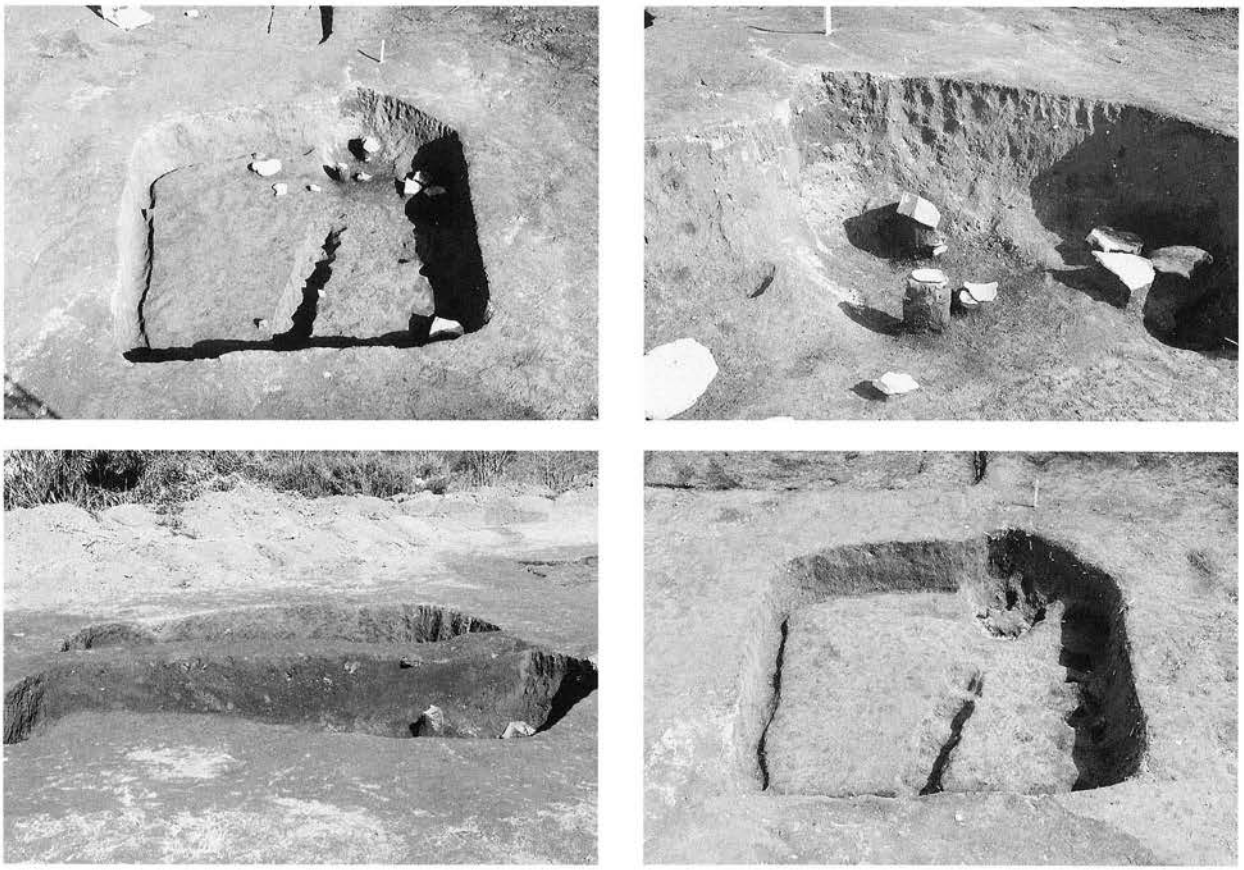
60号住居・カマド（左上）・同住居完掘（左下）・同住居出入口施設（右）

58号住居・カマド（右上）・28号土坑（右下）

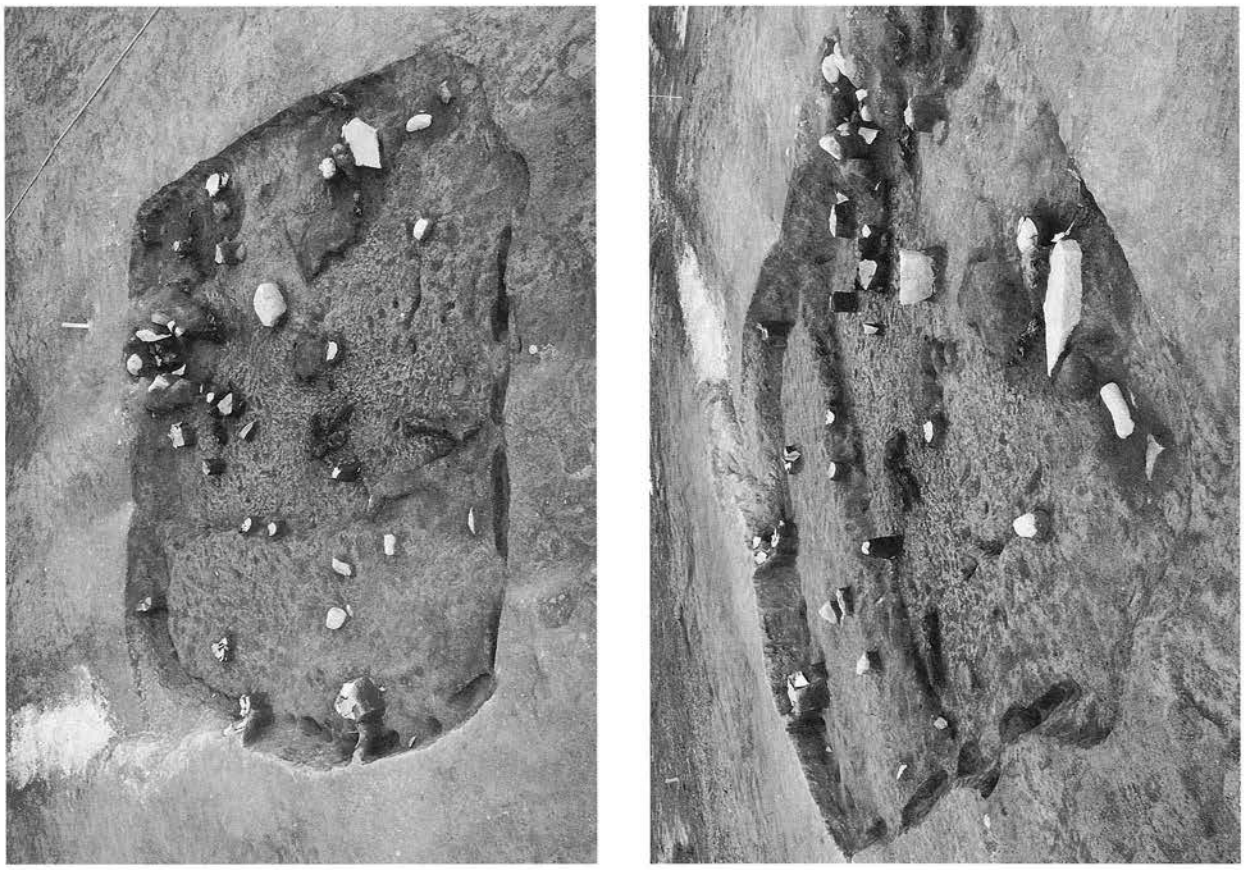
59号住居・カマド・33号土坑（右上）・完掘



61号住居（左）・カマドおよび礫・31号土坑（右下）

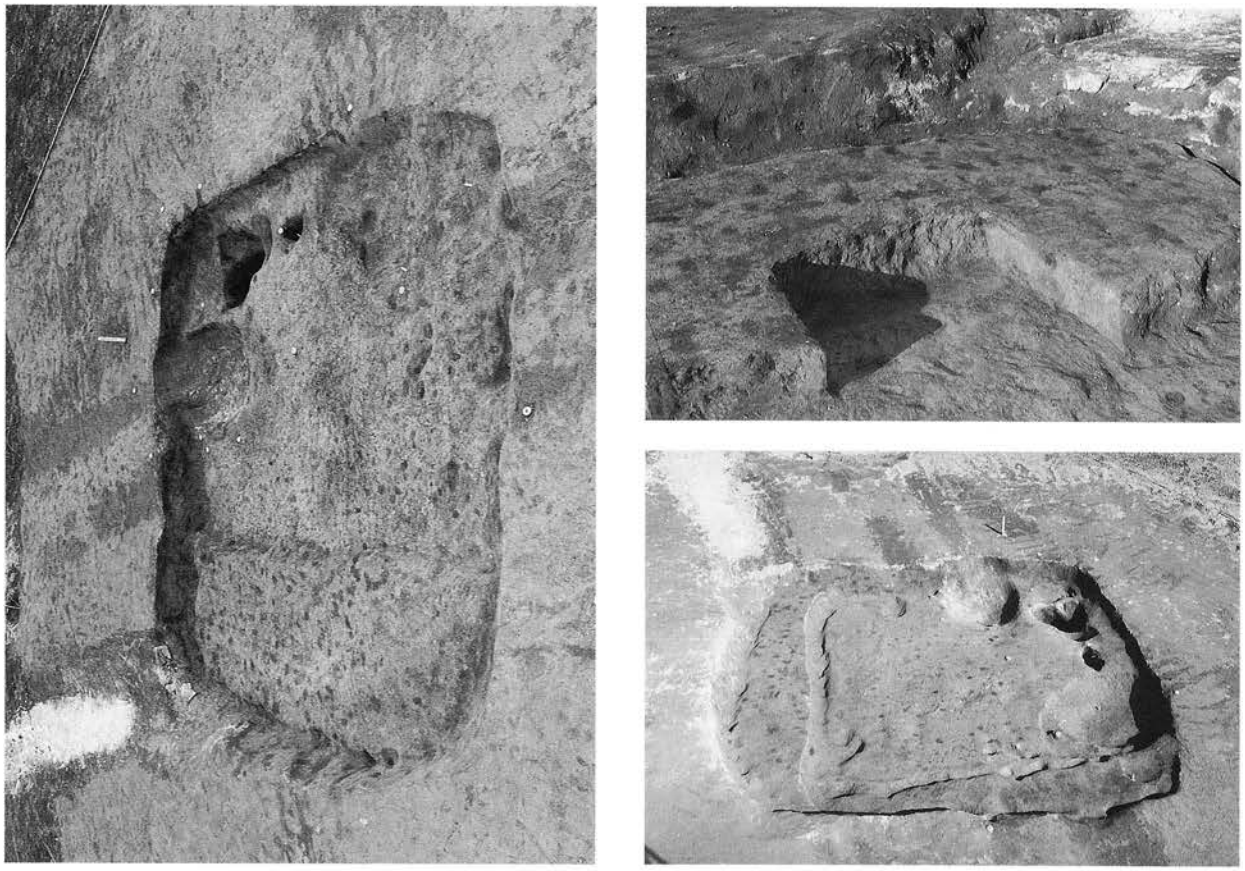


62号住居・同覆土断面（左下）・カマド（右上）・完掘

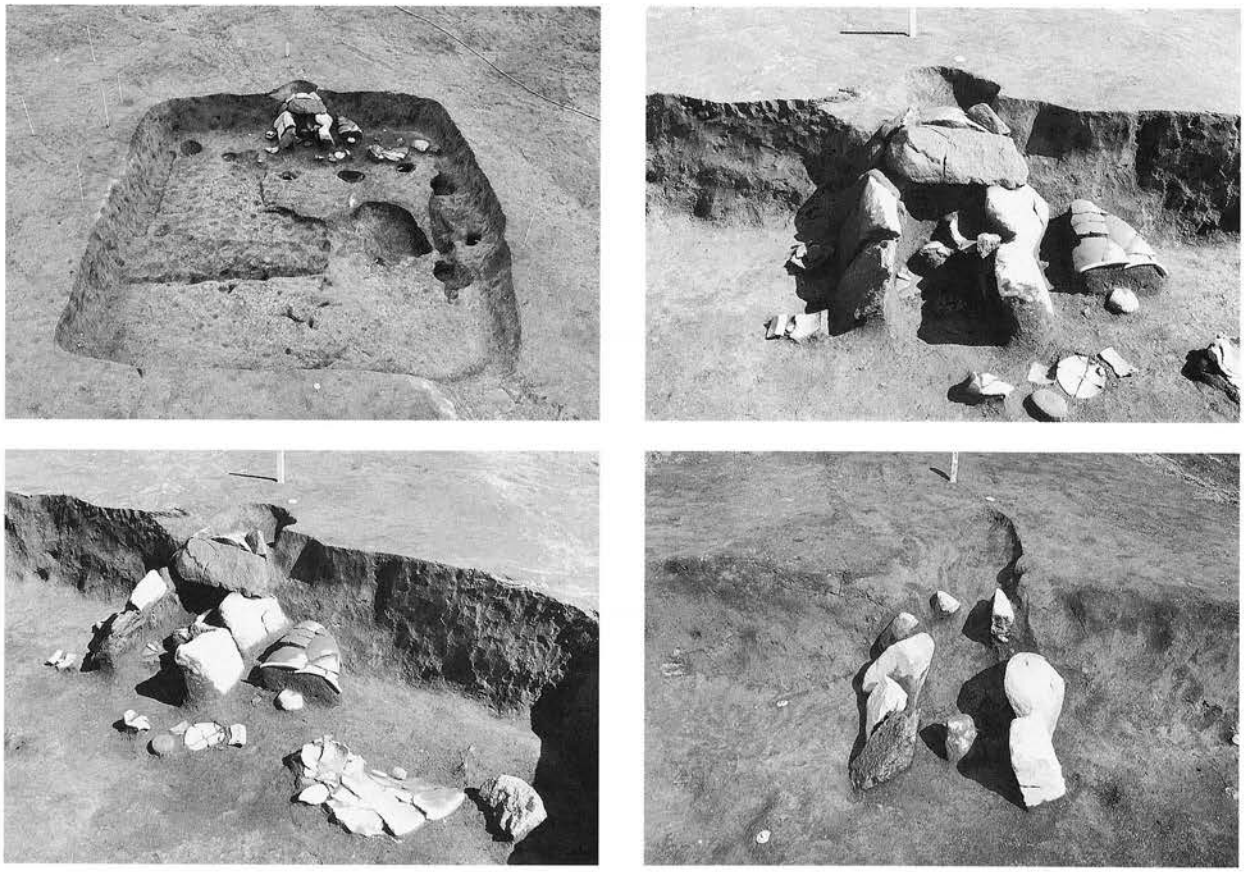


63号住居・同遺物出土状況（右）

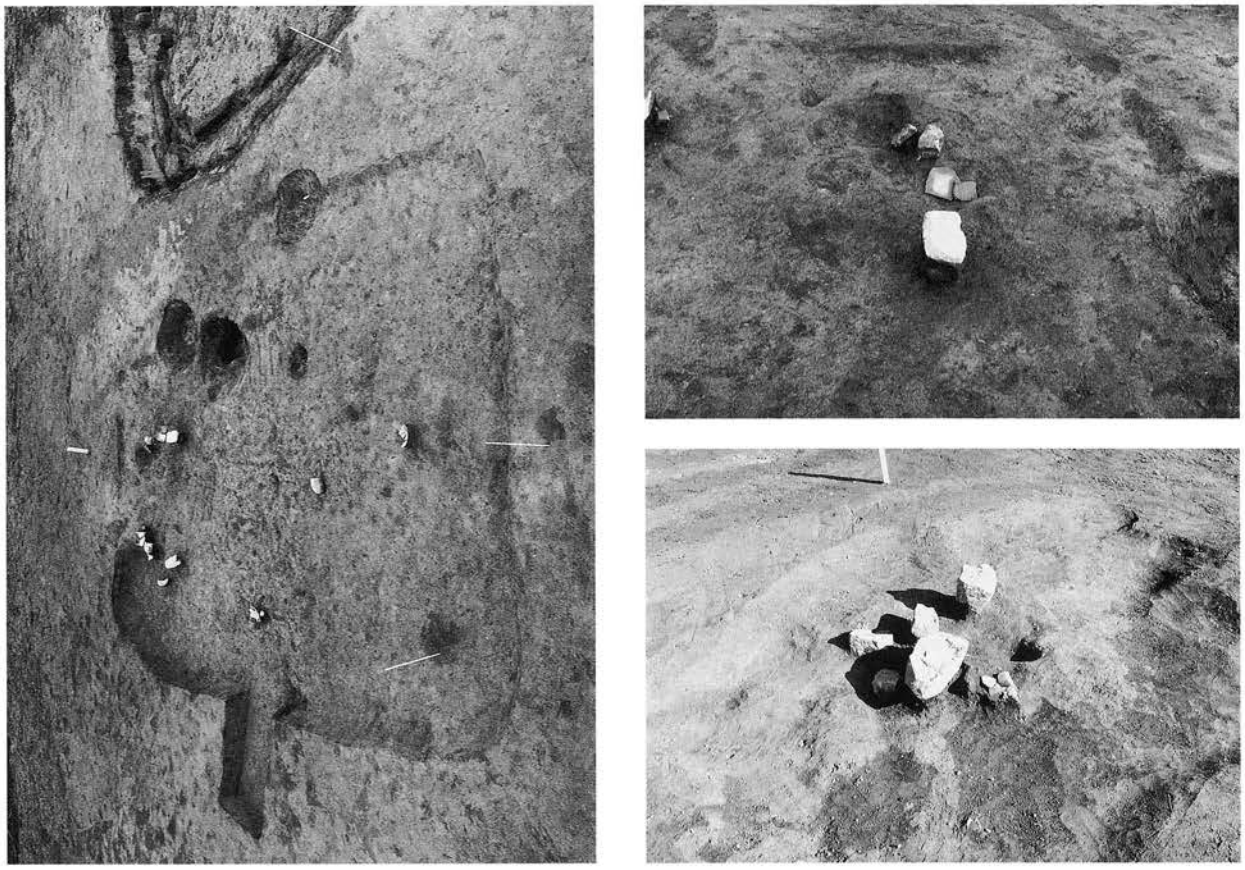
63号住居カマド（左上）・カマド周辺の遺物出土状況（左下）・56号土坑（右上）・285号ピット（右下）



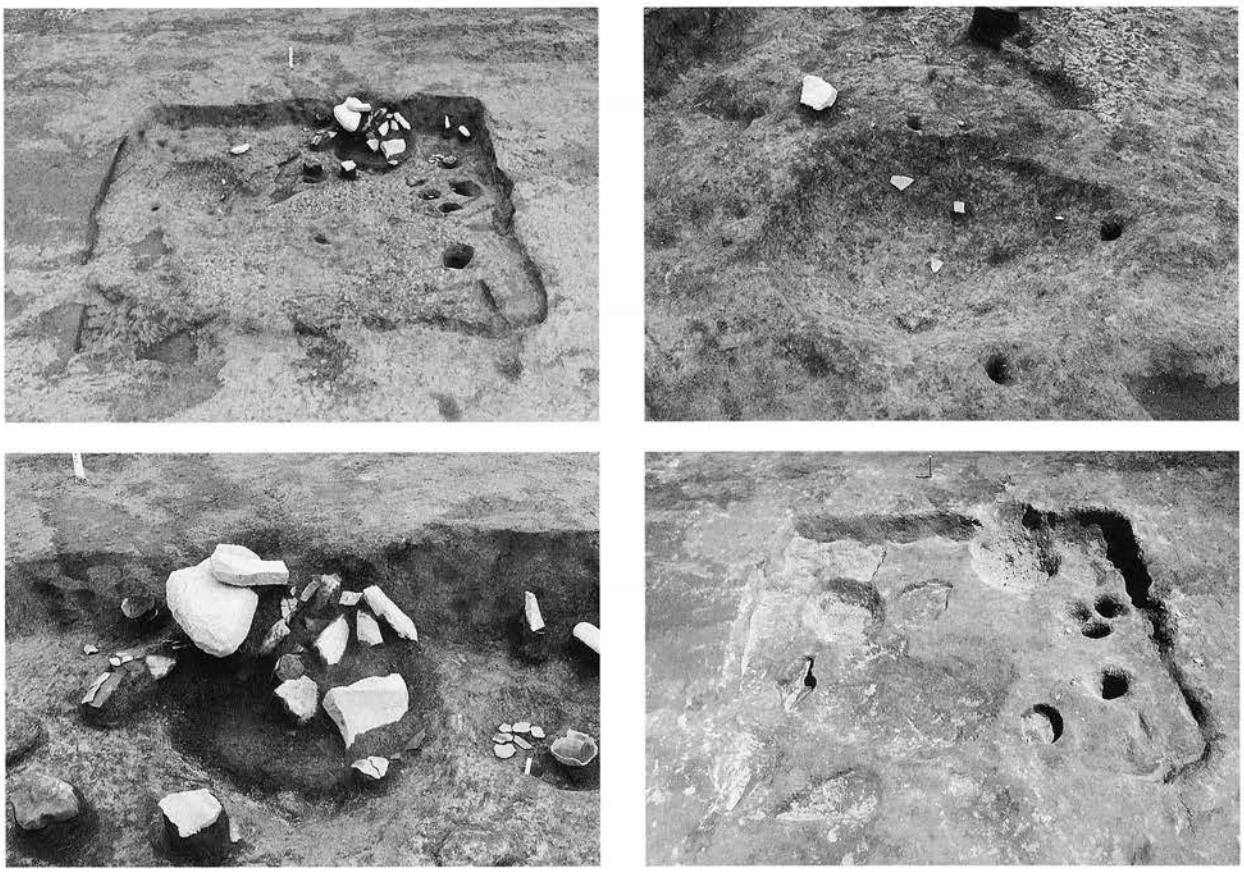
ベッド状施設を残した完掘状況（左）・同施設断面（右上）・完掘（右下）



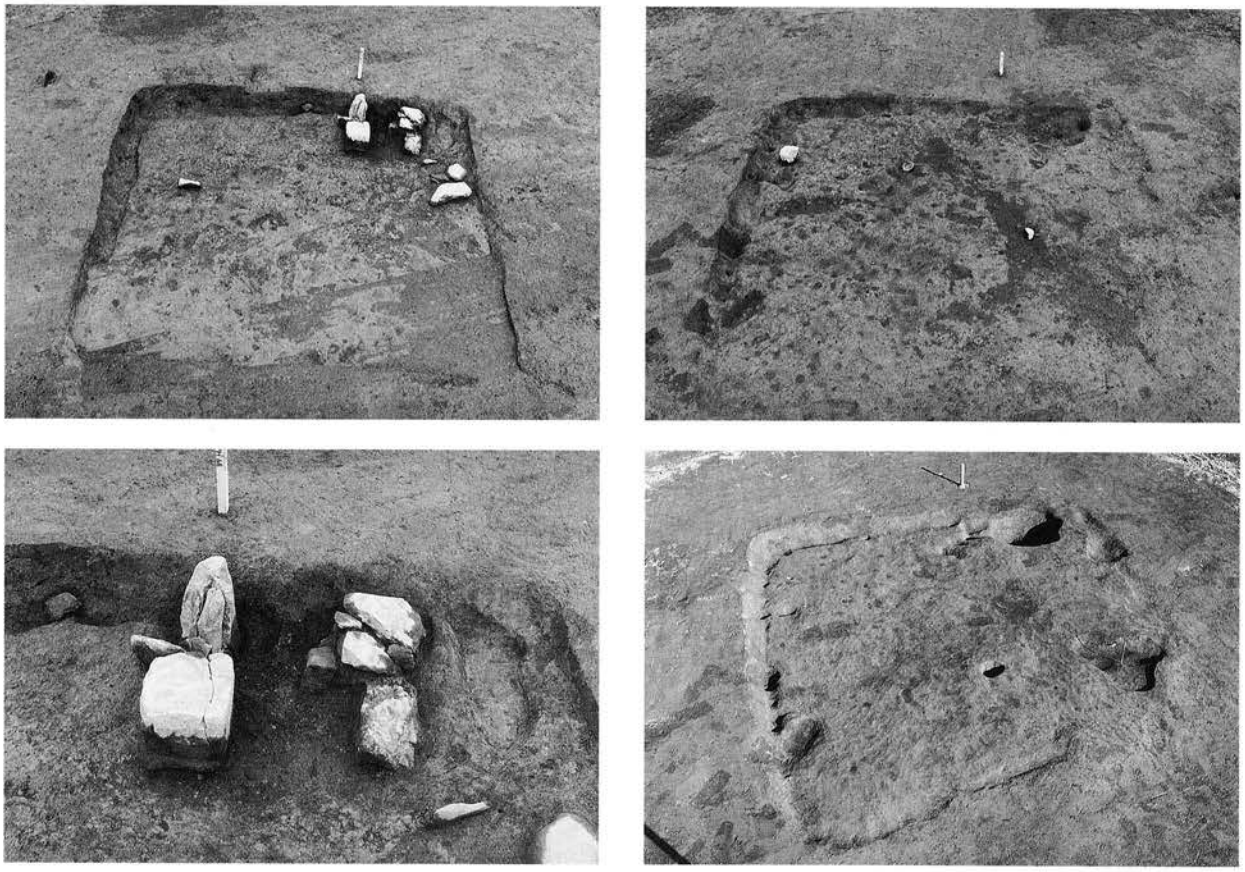
64号住居・カマド周辺の遺物出土状況（左下）・カマド検出状況（右上）・同カマド（右下）



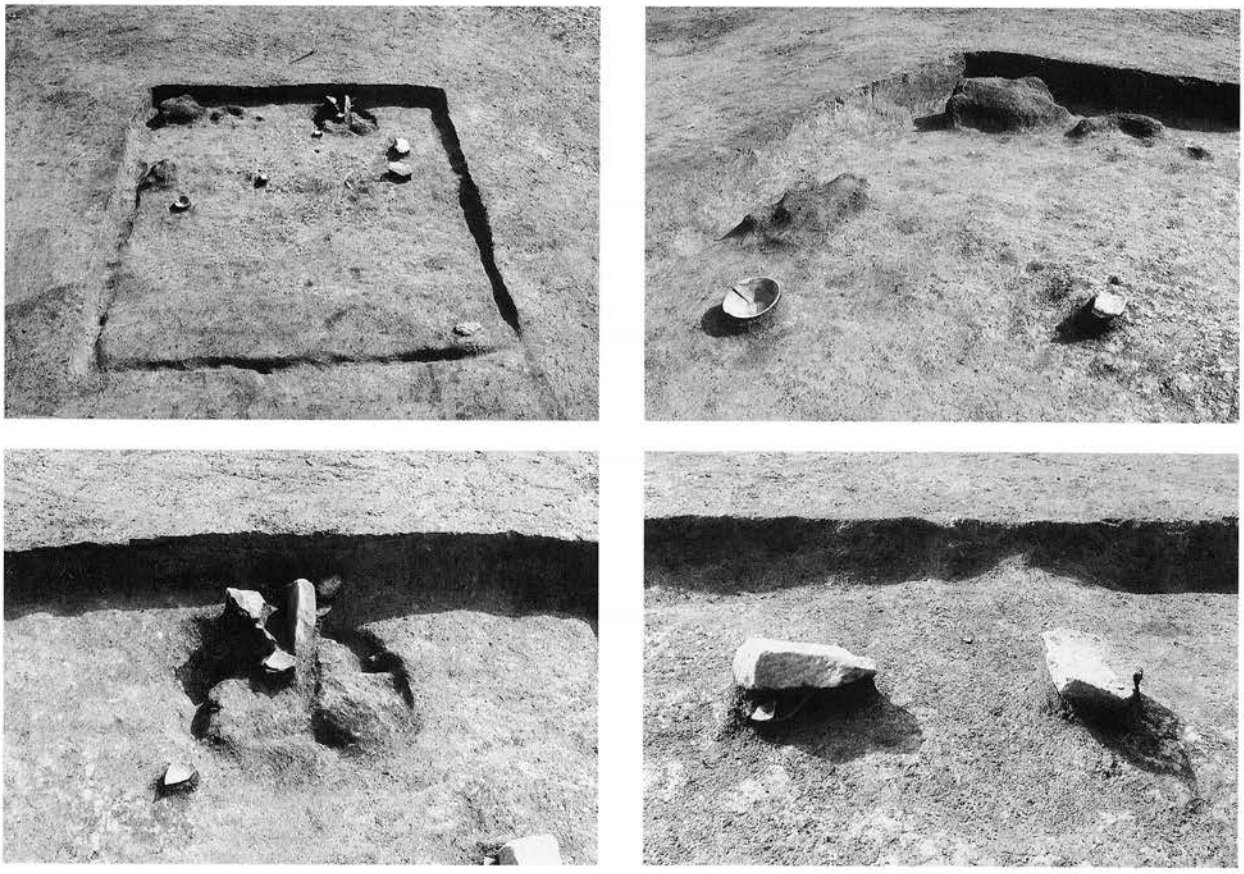
65号住居（左）・同カマド（右上）・66号住居カマド（右下）



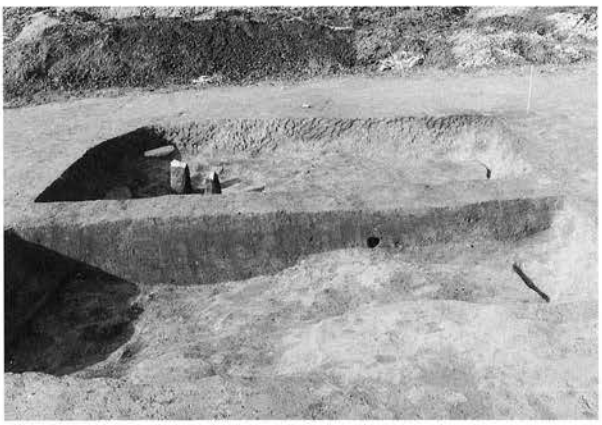
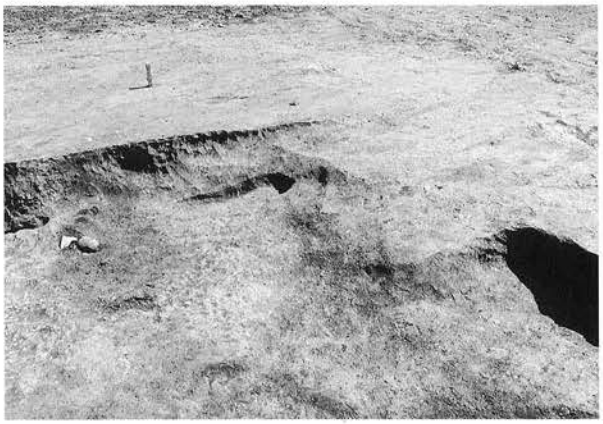
67号住居・カマド（左下）・53号土坑（右上）・同住居完掘（右下）



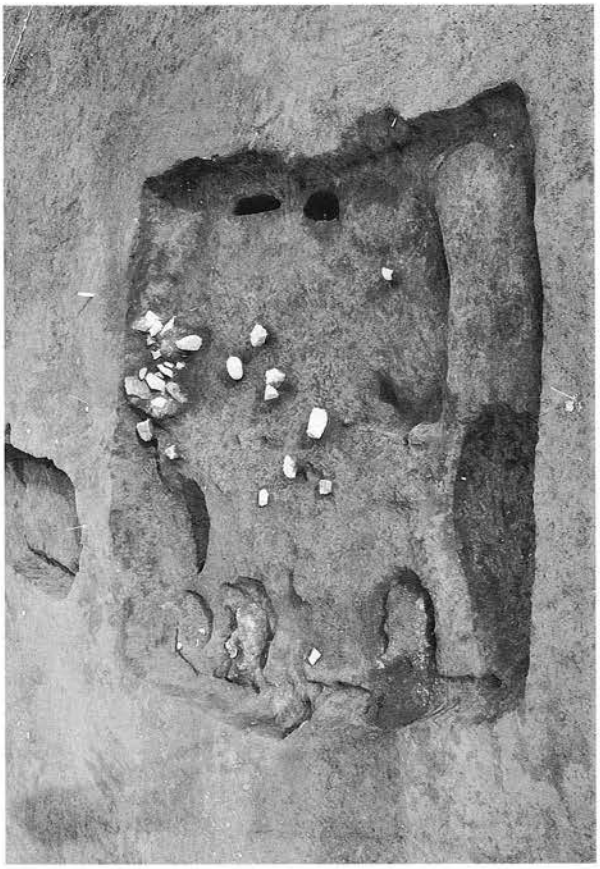
68号住居・カマド（左）・69号住居・完掘（右）



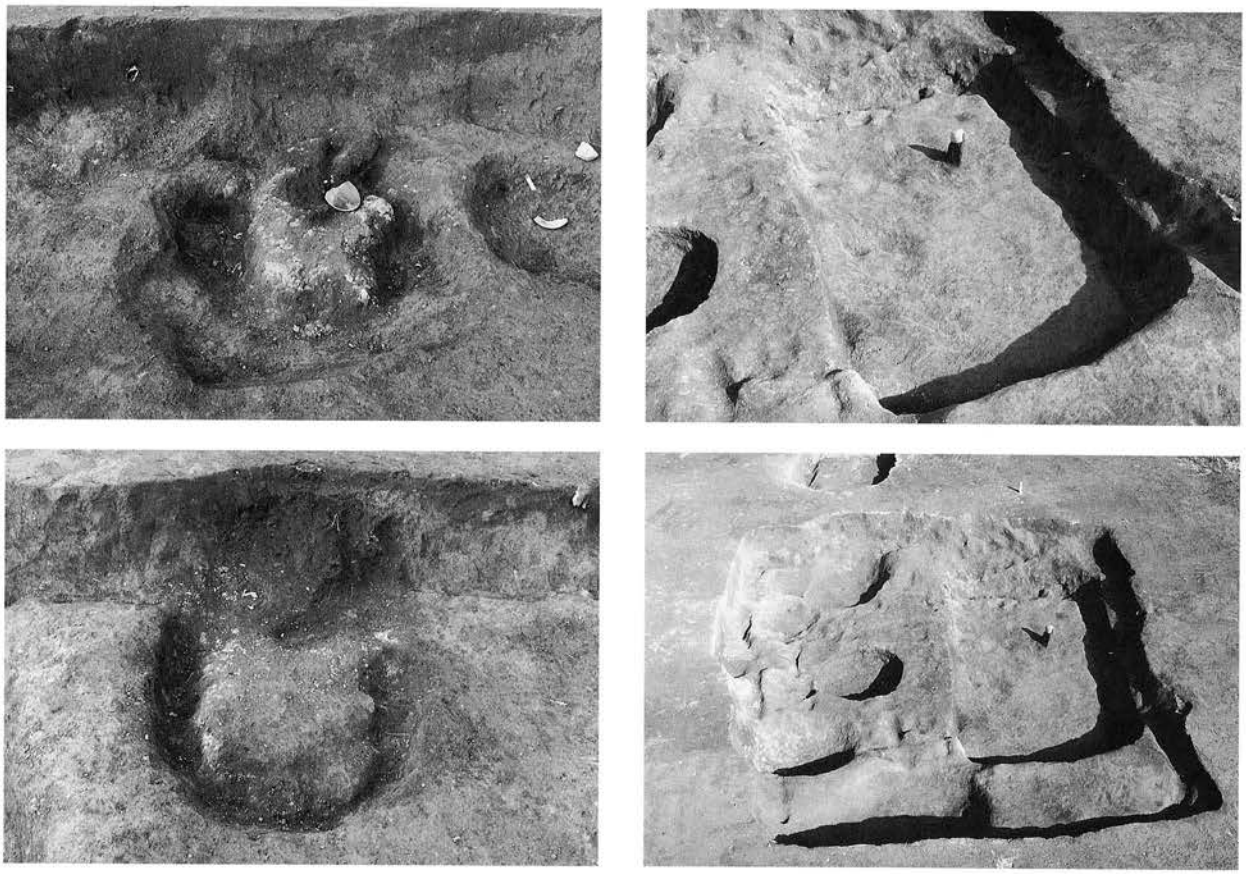
70号住居・カマド（左下）・住居北東角土師器出土状況（右上）・カマド周辺の礫と土師器（右下）

71号住居・覆土断面（右上）・住居南東角の棚状施設（右下）



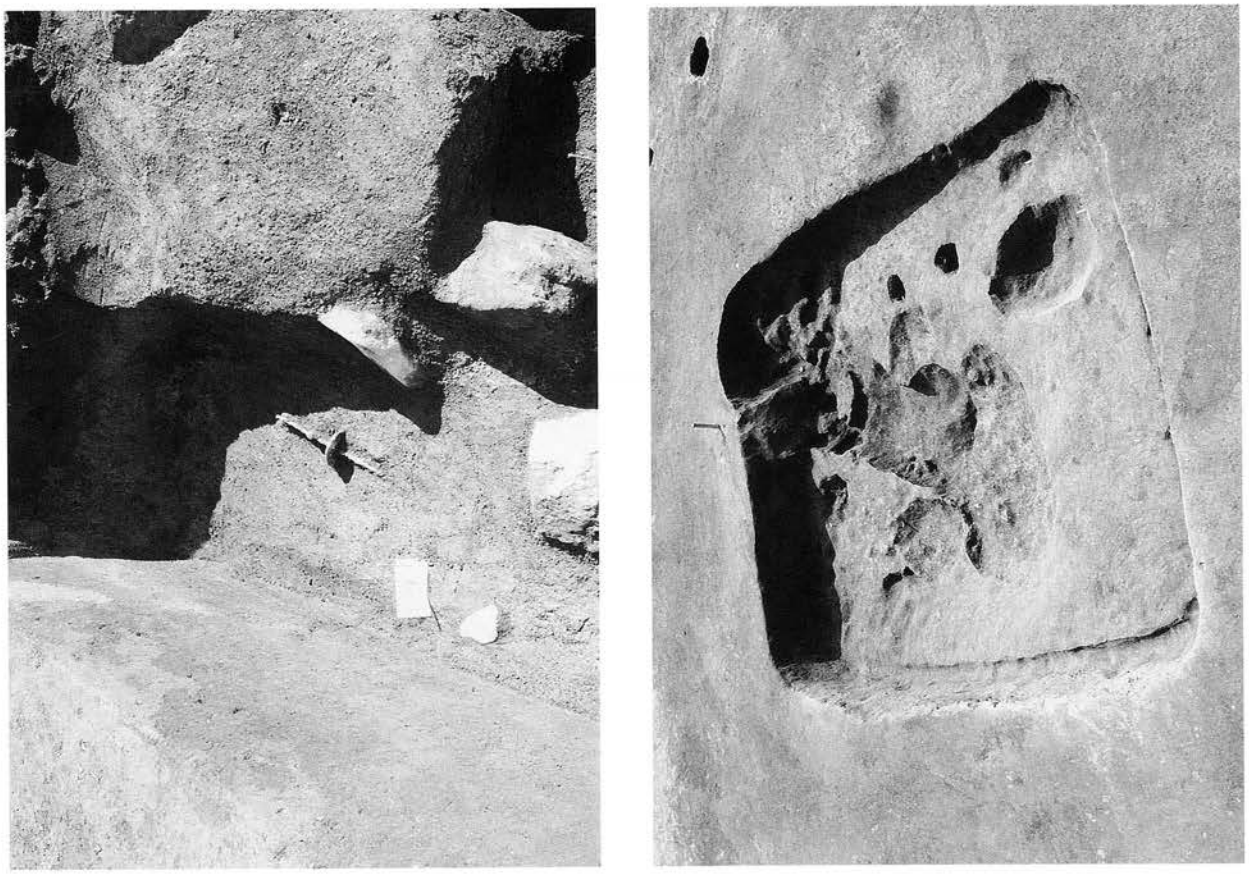
72号住居・覆土断面（右上）・72ａ号住居カマド（右下）



72ｂ号住居カマド（左上）・72ｃ号住居カマド（左下）・111号土坑（右上）・同住居完掘

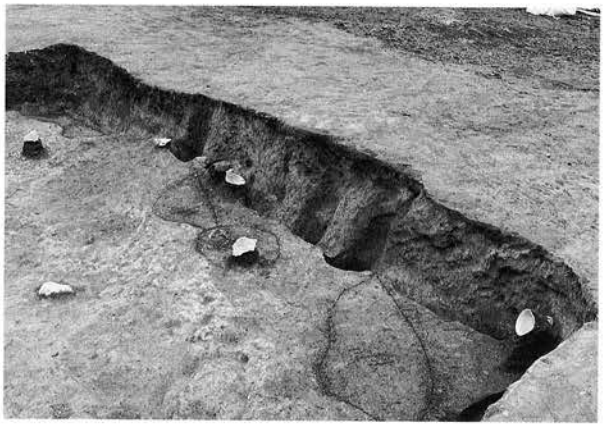
73号住居・覆土断面（右）

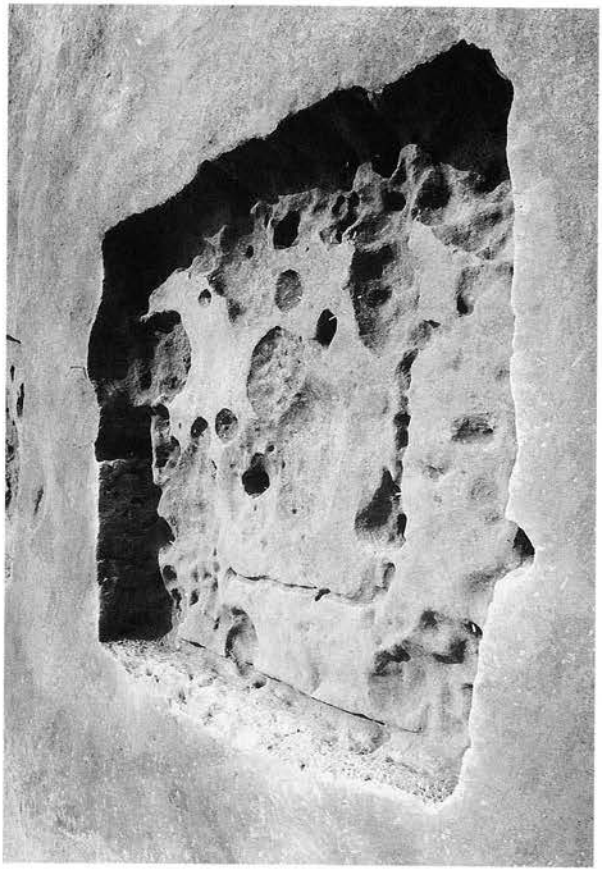
73号住居カマド（左）・住居南東角の棚状施設断面（右）



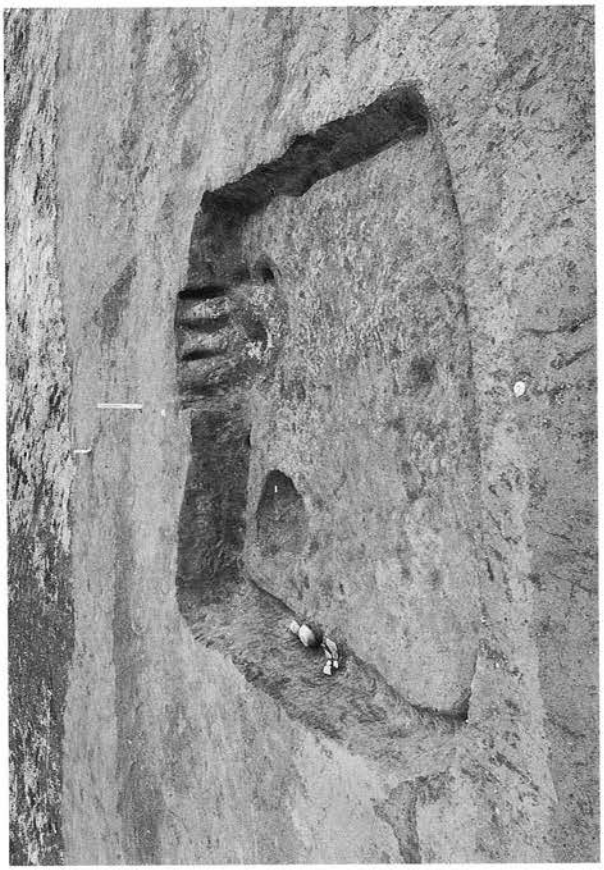
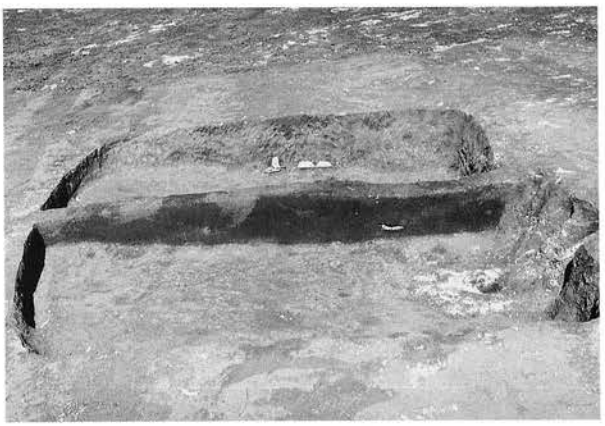
73号住居カマド横の紡錘具出土状況（左）・同住居完掘（右）

74号住居・覆土断面（右上）・カマド覆土断面（右下）

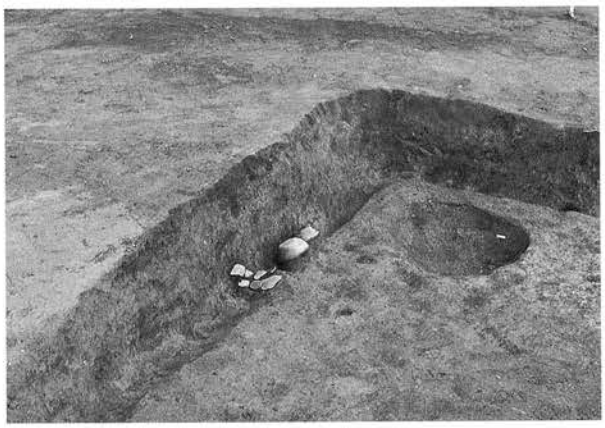




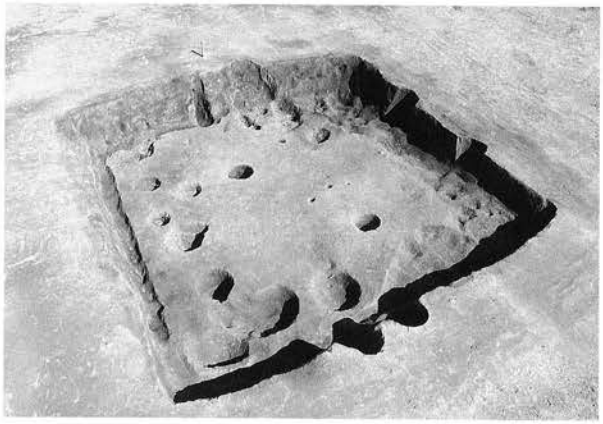
74号住居南壁沿いの遺物出土状況（左上）・西壁沿いの遺物出土状況（左下）・74号住居完掘（右）

75号住居・覆土断面（右上）・カマド（右下）

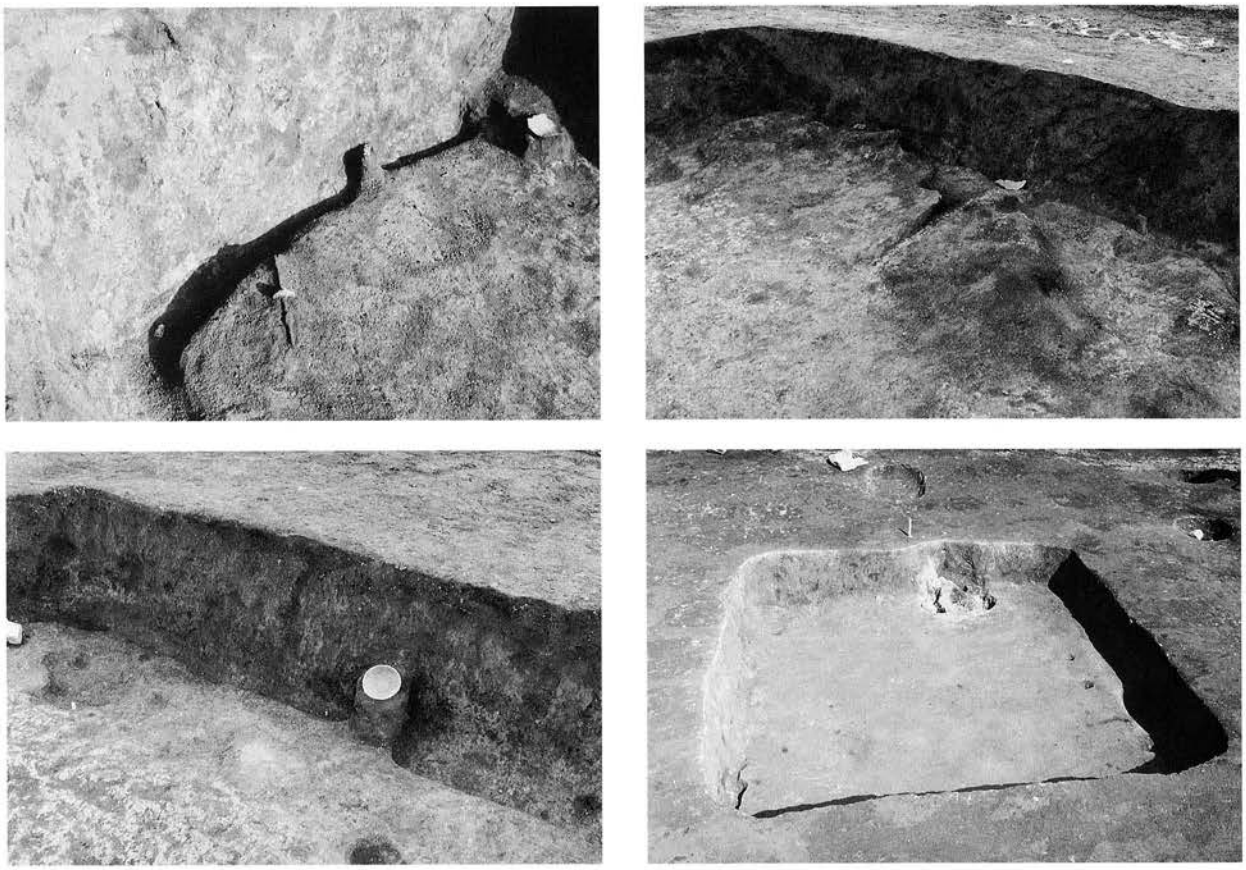


北壁沿いの土師器出土状況（左）・同住居完掘（右）

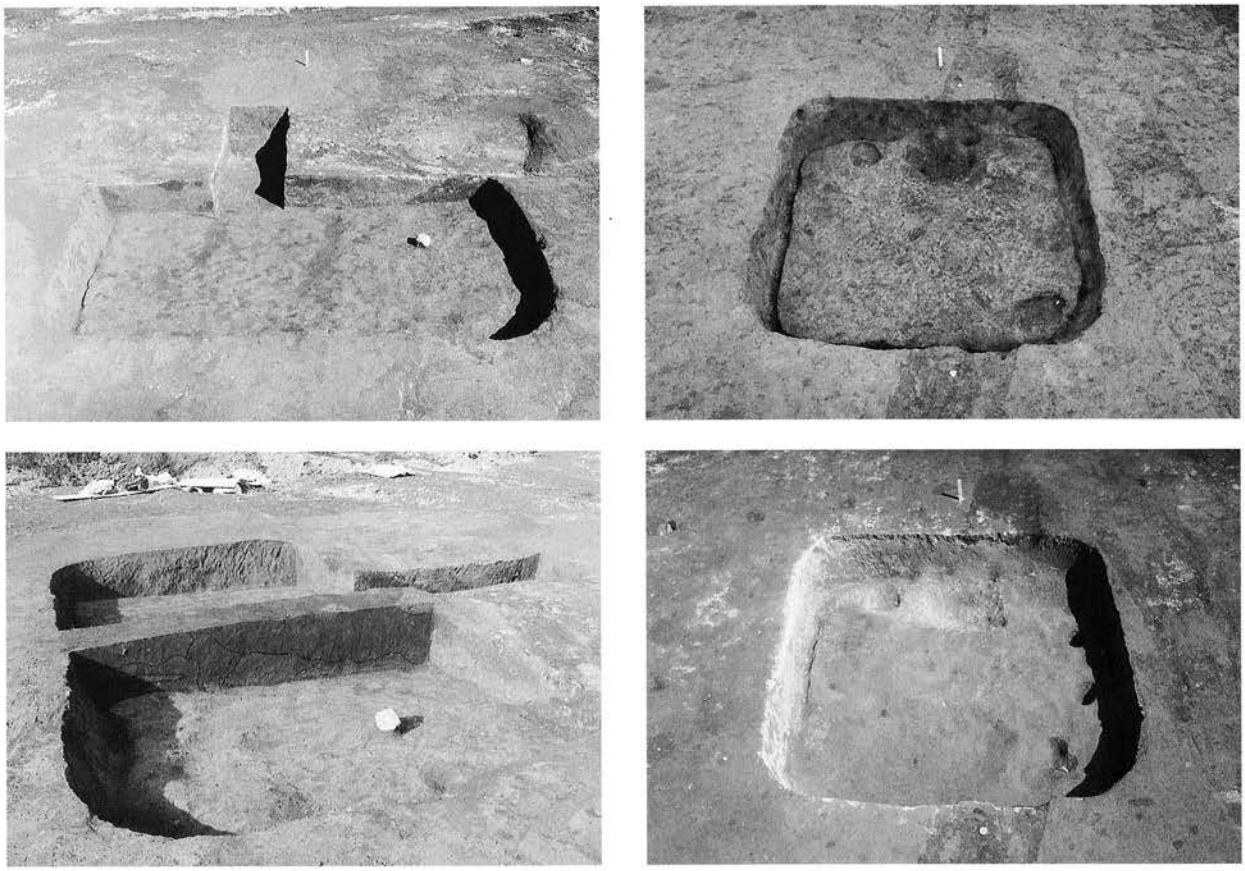


76号住居・カマド・完掘

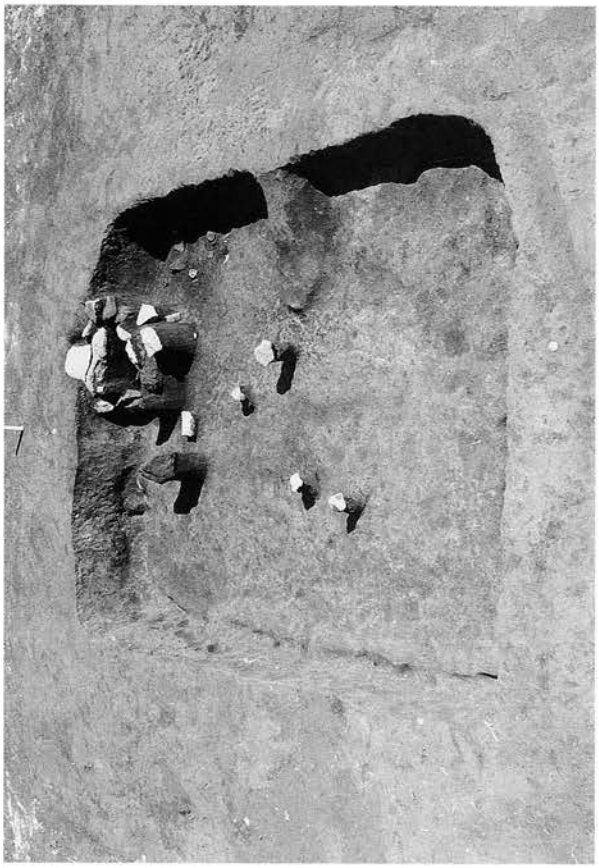
77号住居・カマド検出状況（右上）・同覆土断面（右下）



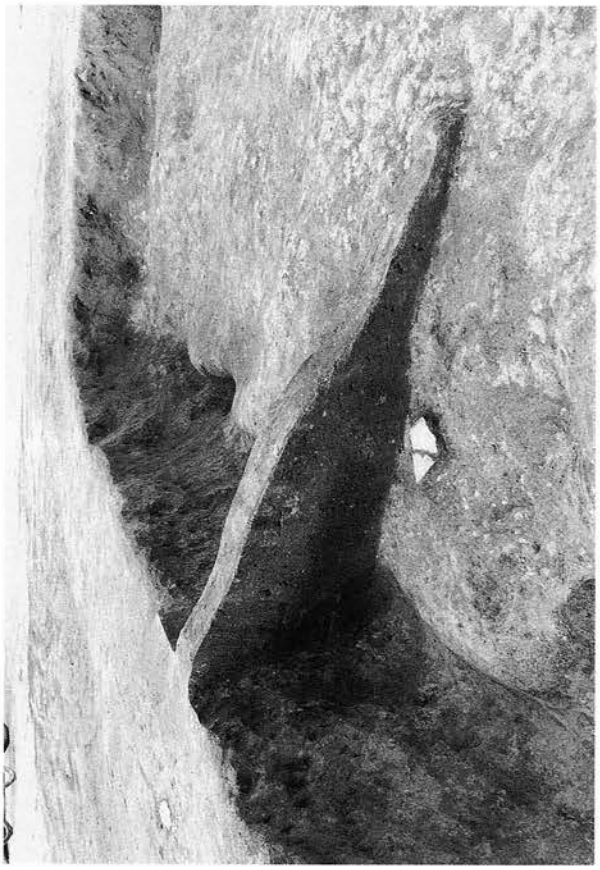
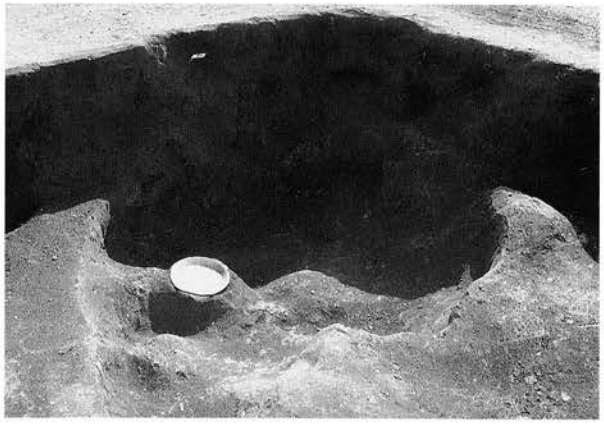
77号住居北東角の紡錘具出土状況（左上）・南壁沿いの土師器（左下）・西壁沿いの焼土（右上）・完掘



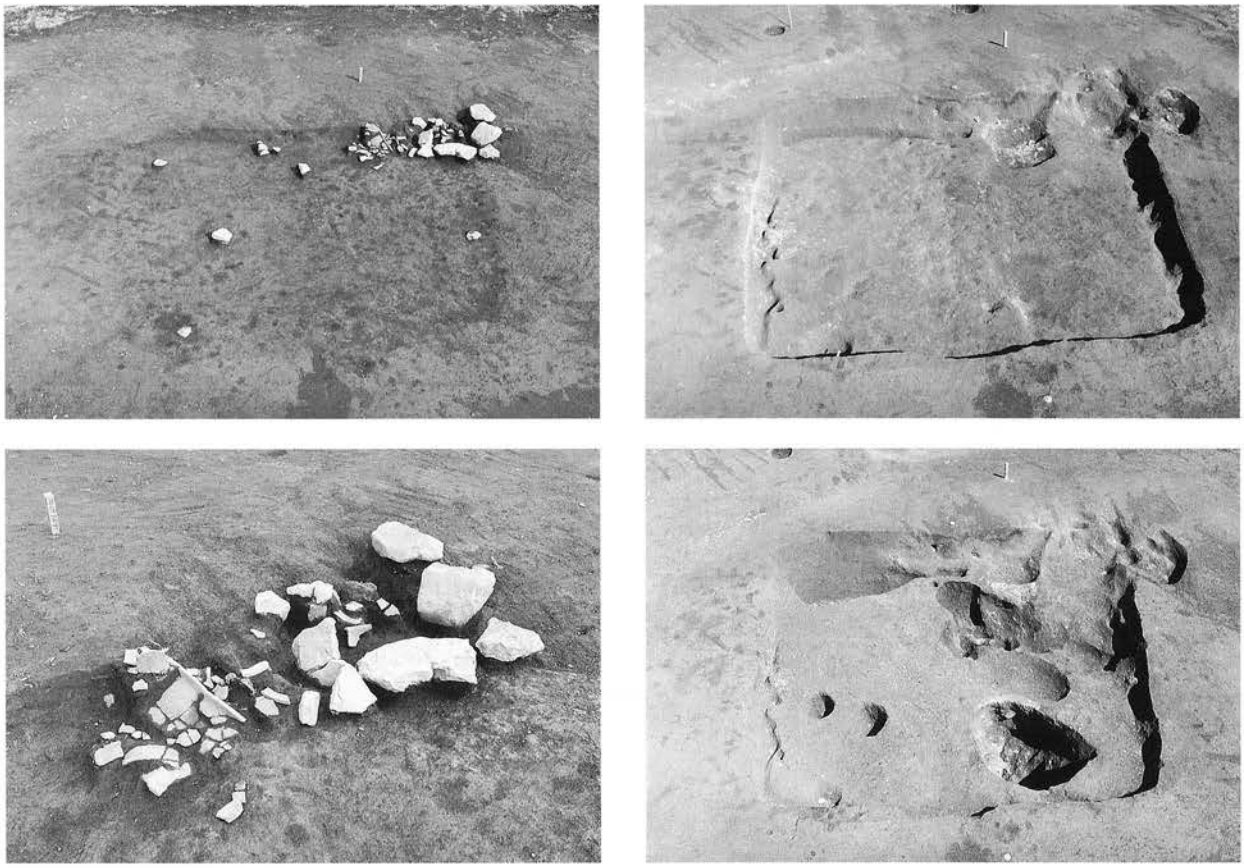
78号住居・覆土断面（左）・79号住居・同完掘（右）



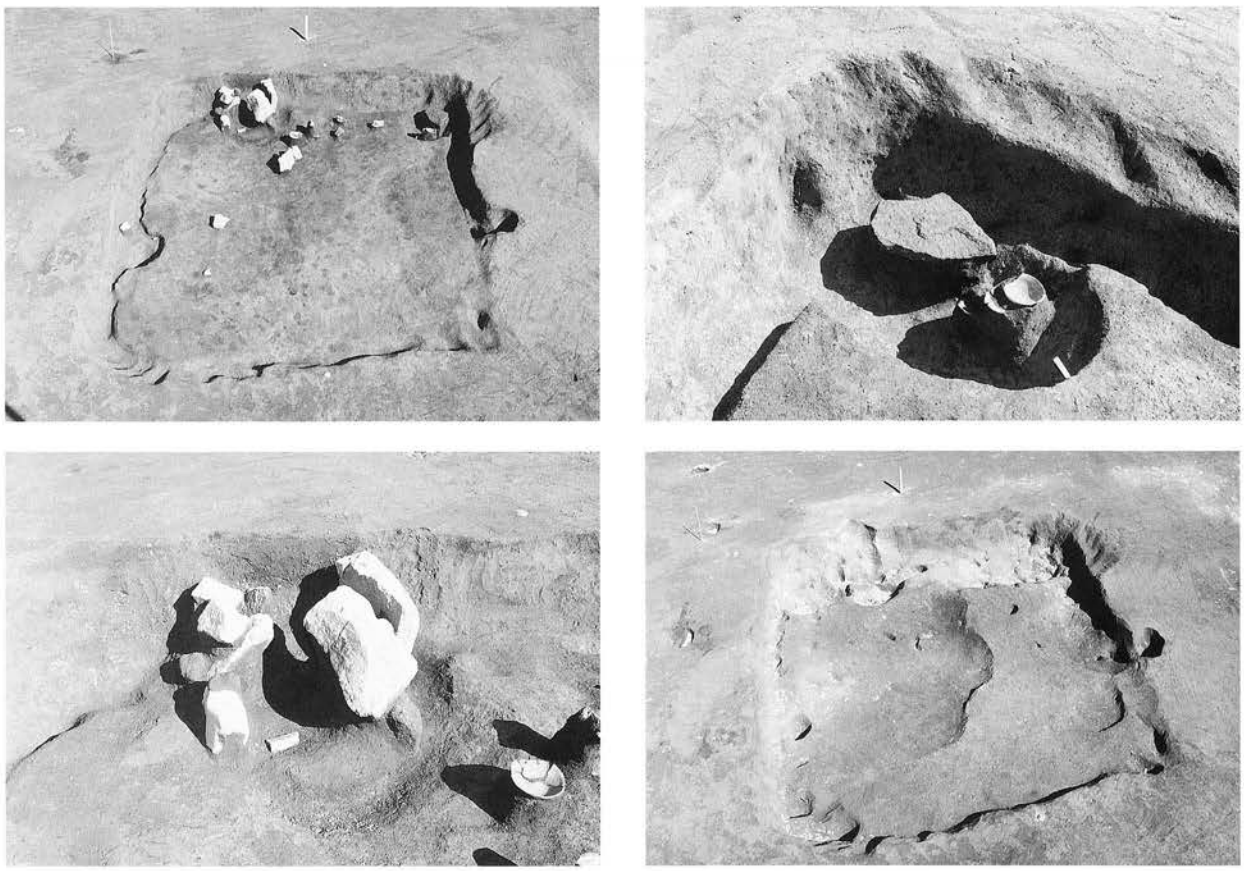
80号住居・カマド（右上）・出入口施設（右下）

出入口施設断面（左）・181号土坑（右上）・完掘

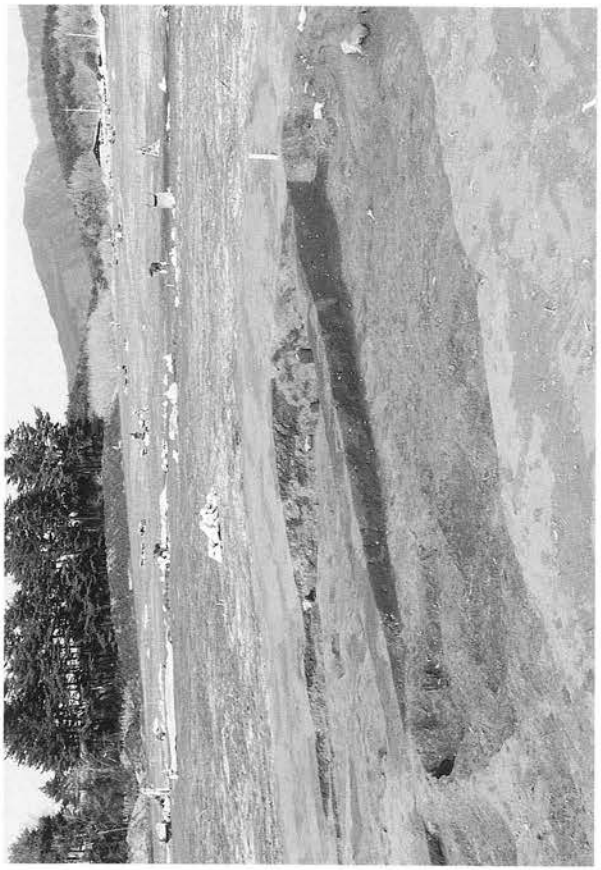


81 a 号住居・カマド（左）・81 b 号住居（右上）・完掘

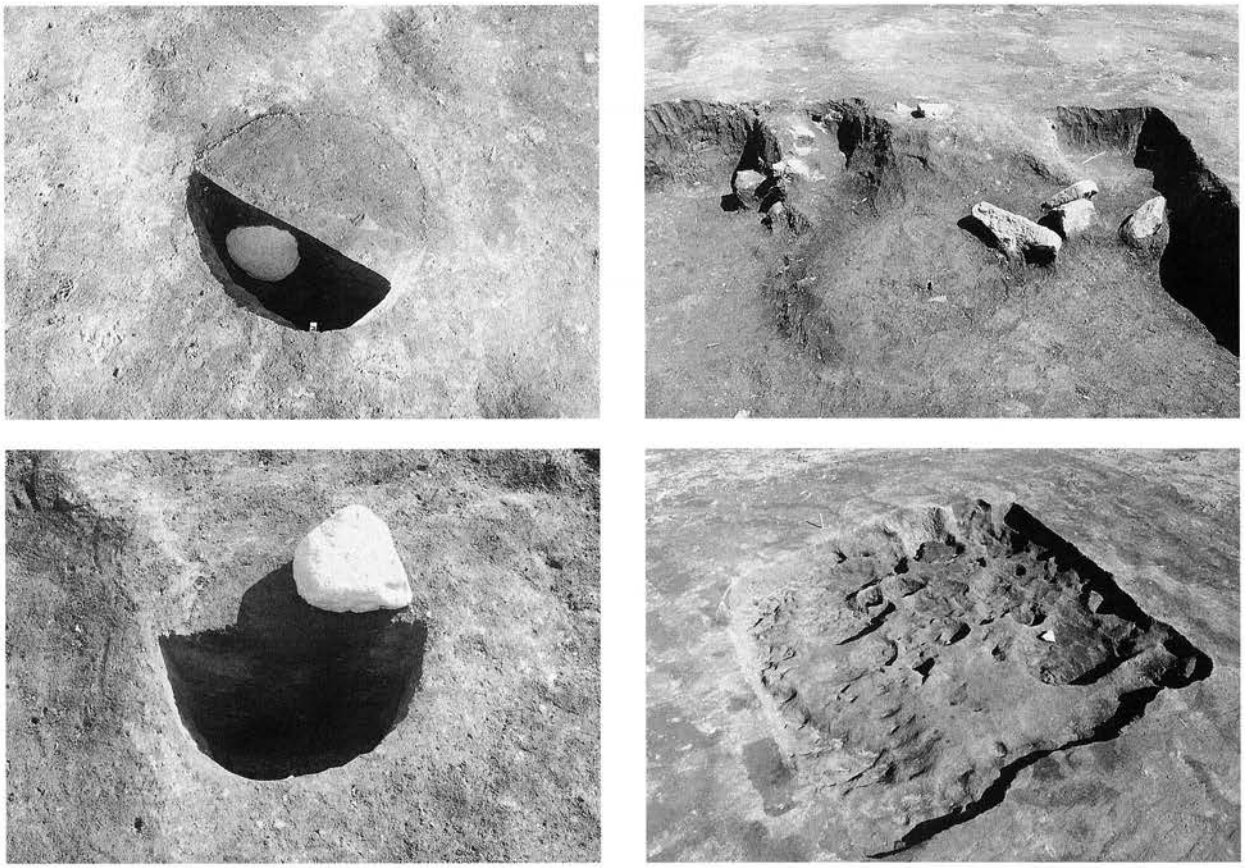


82号住居・カマド（左）・104号土坑（右上）・完掘

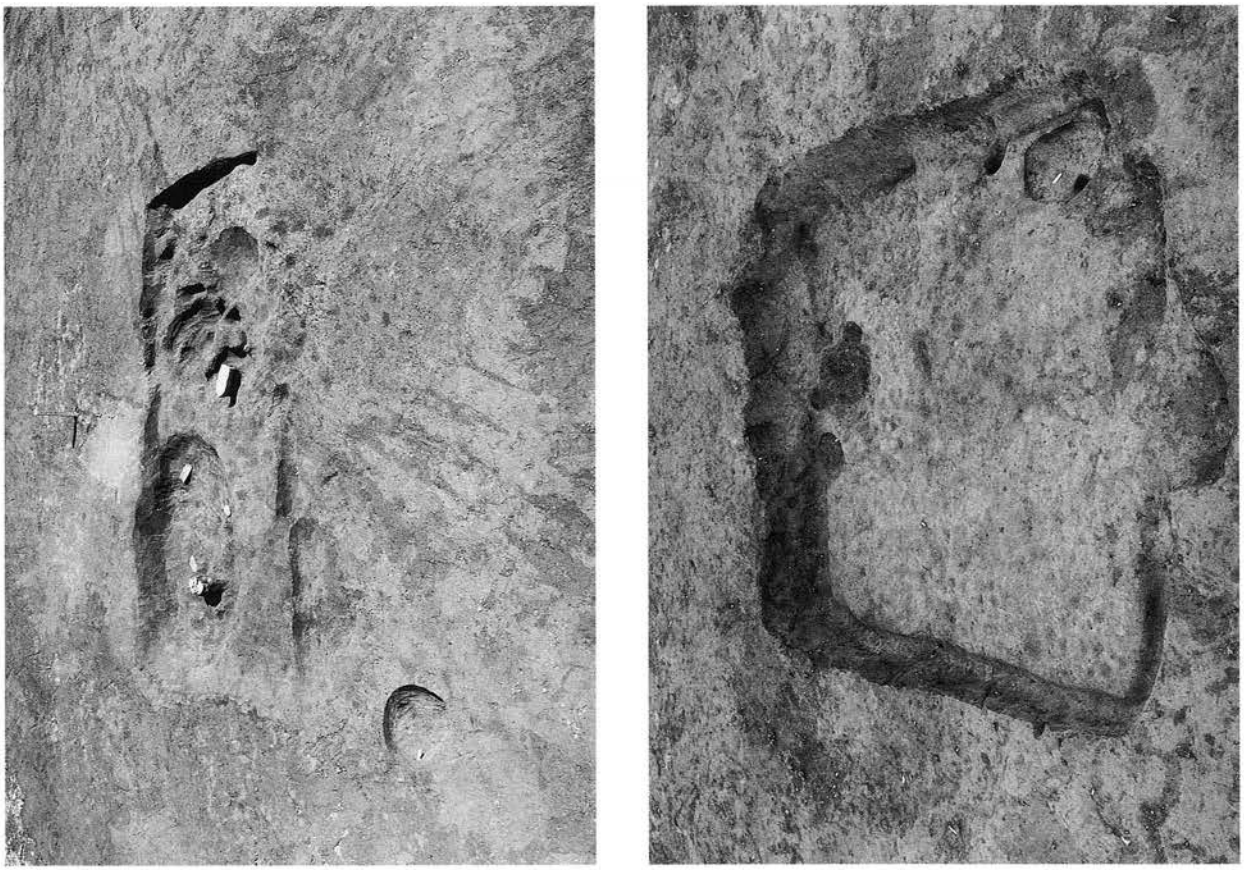
83号住居（左）・84号住居（右）



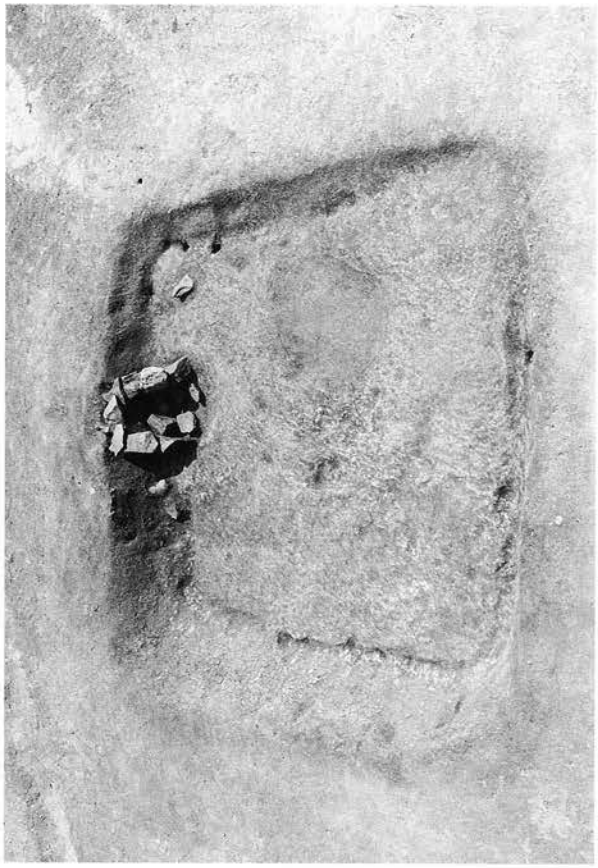
85号住居



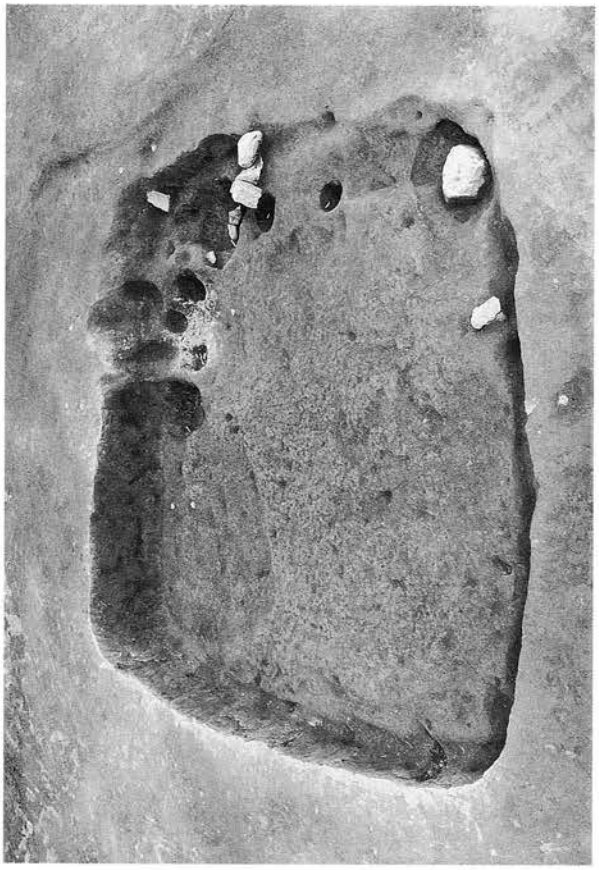
85号住居697号ピット（左上）・698号ピット（左下）・カマド（右上）・完掘



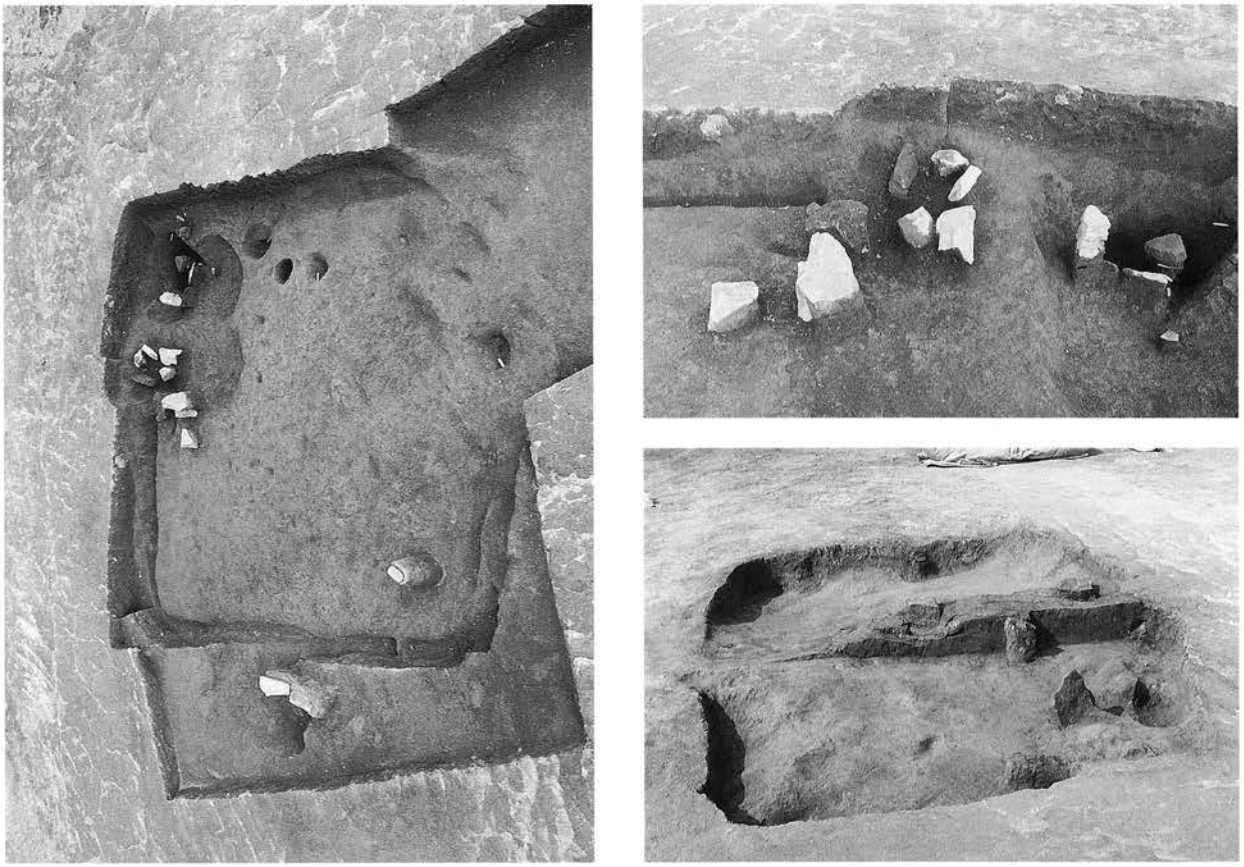
86号住居（左）・87号住居（右）



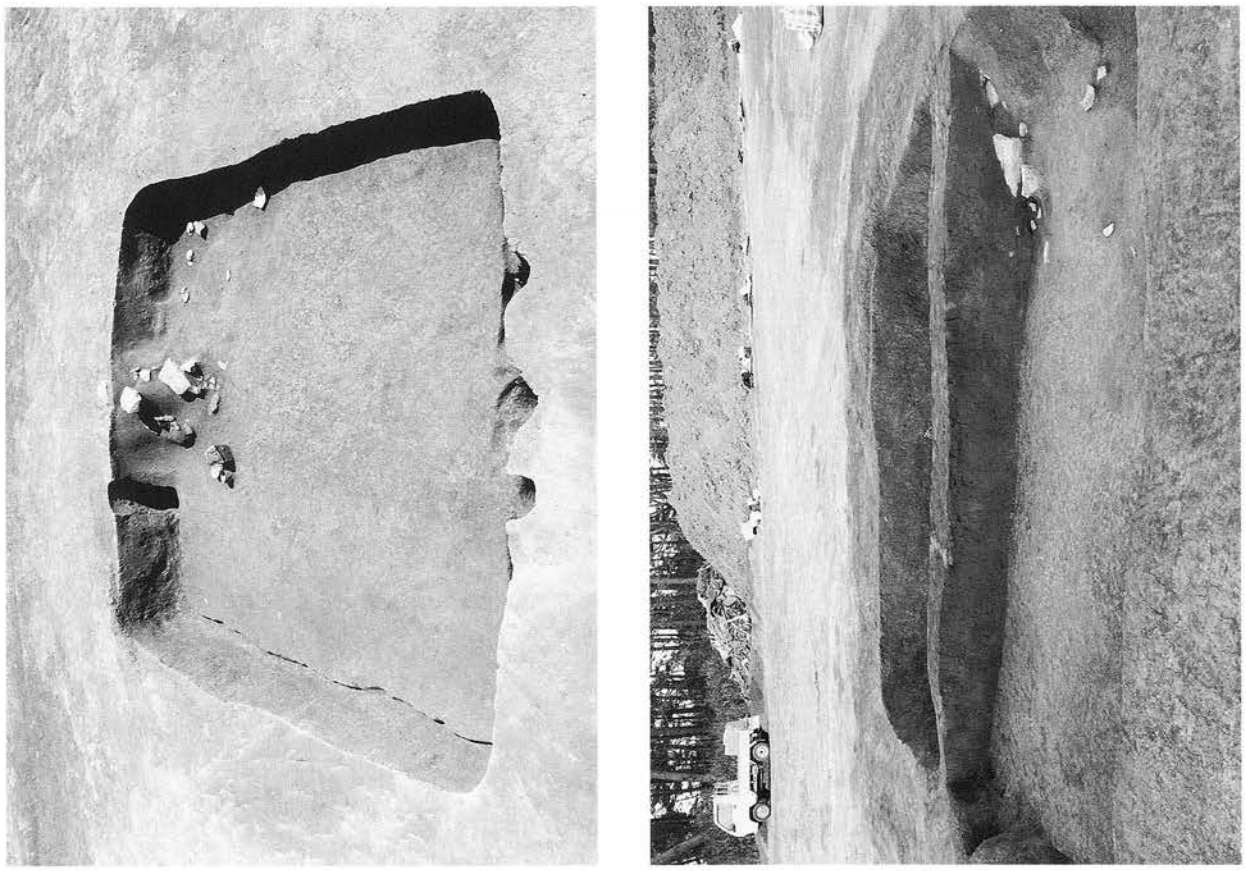
88号住居・カマド



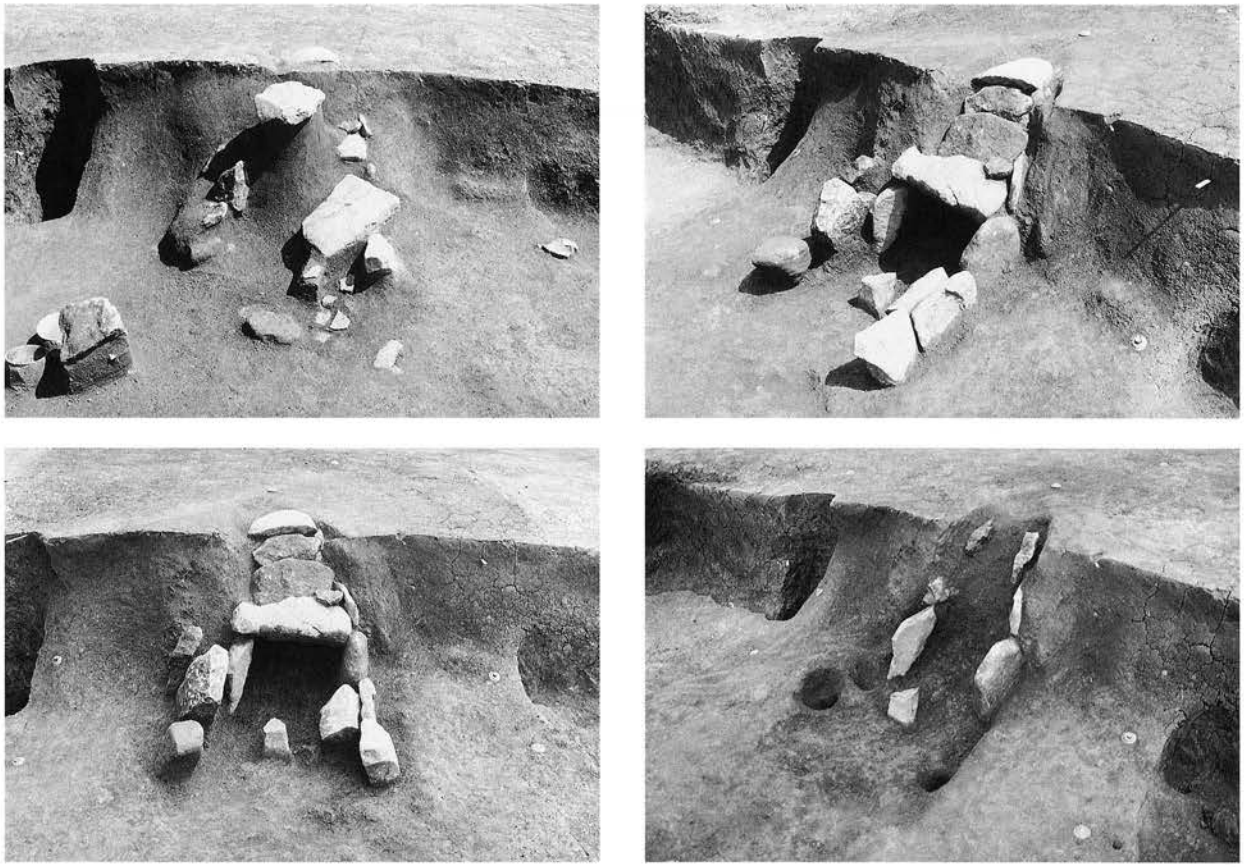
89号住居・カマド・完掘



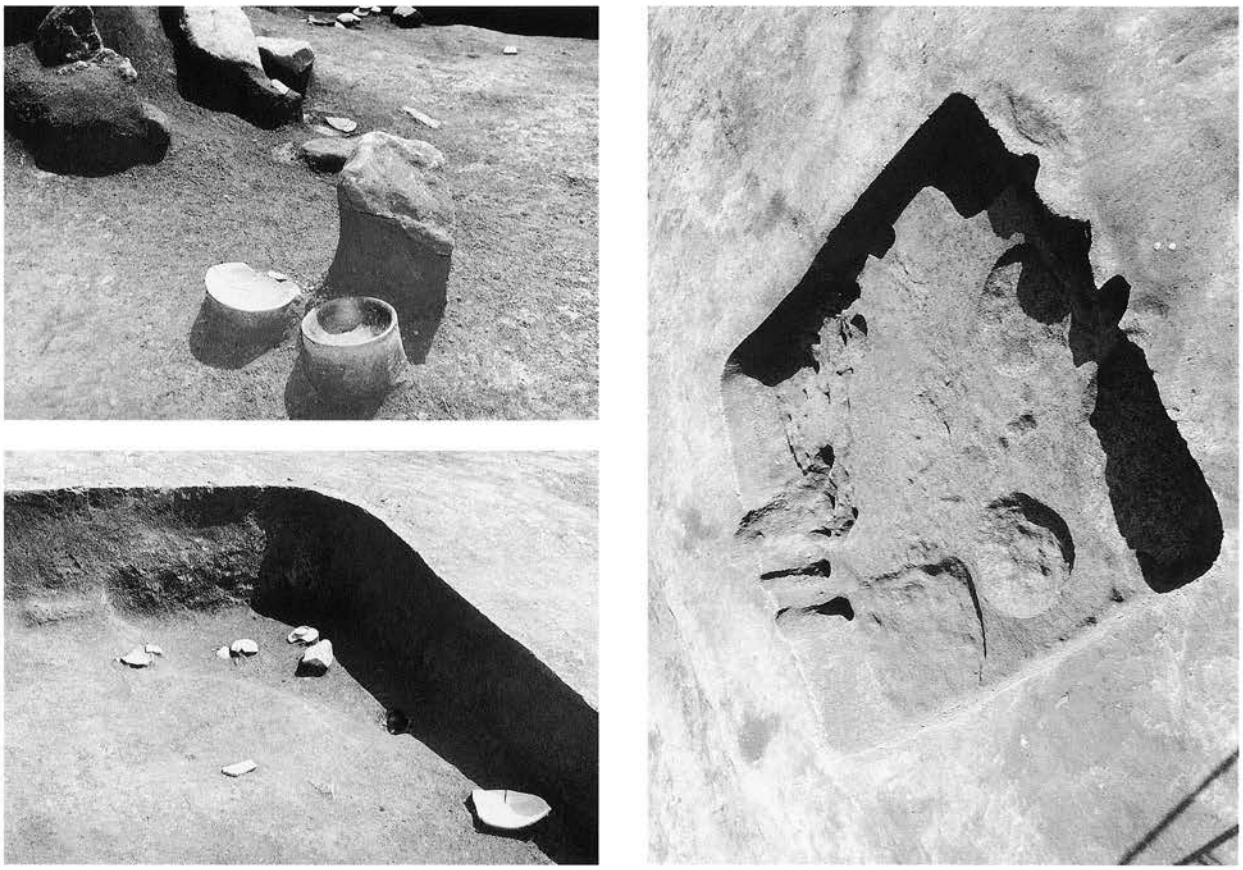
90号住居（左）・カマド（右上）・91号住居（右下）



92号住居・覆土断面

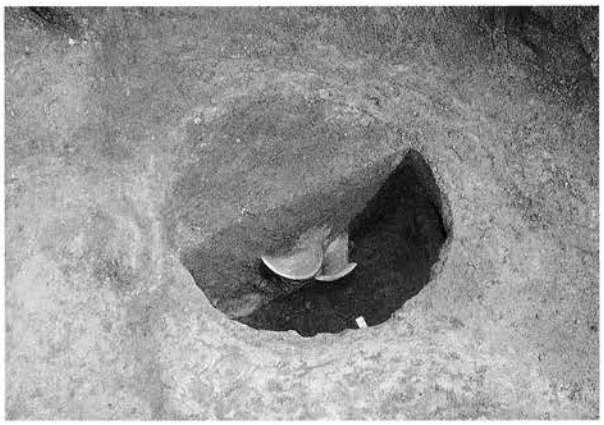


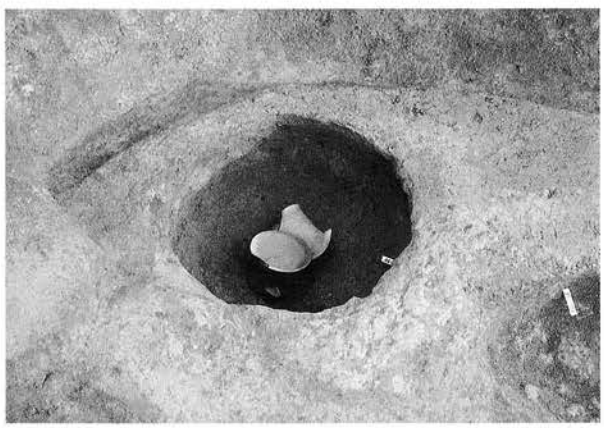
92号住居カマド検出状況（左上）・同カマド石組

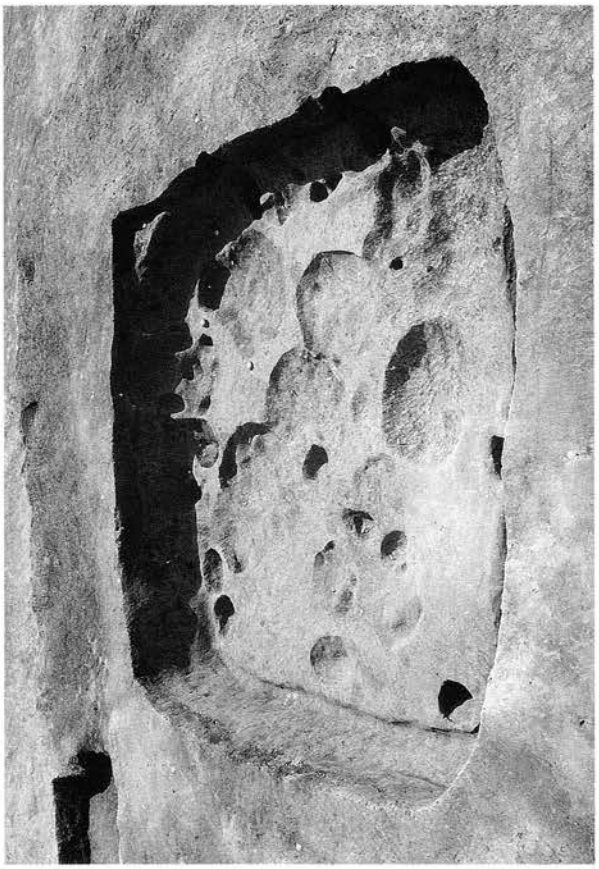


カマド西側の遺物出土状況（左上）・住居南東角の遺物出土状況（左下）・完掘（右）

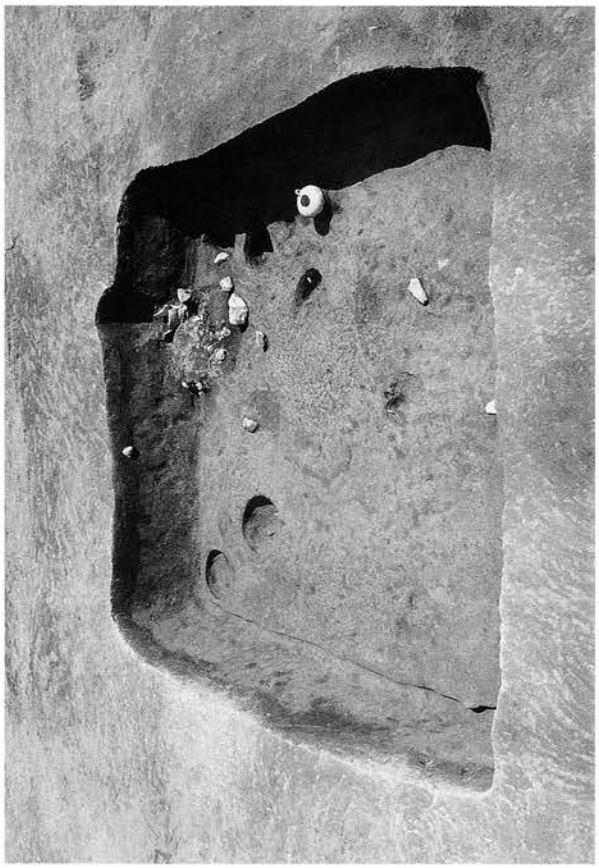
93号住居・住居南西角の土師器（右上）・住居中央の土師器（右下）

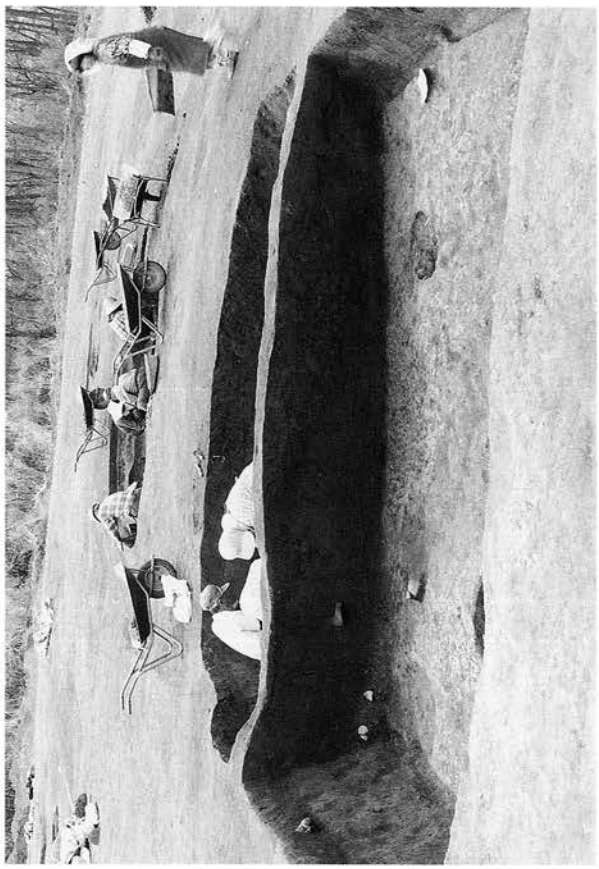






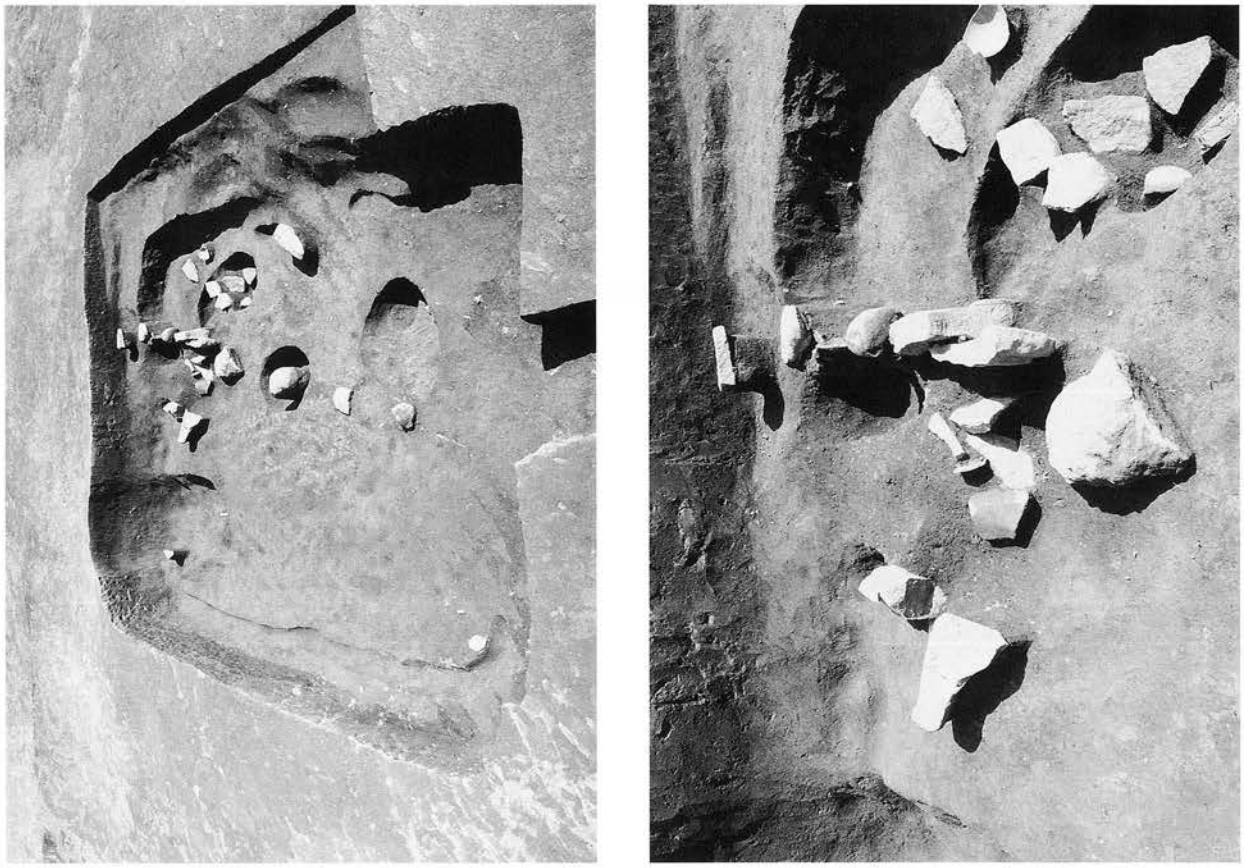
738号ピット（左）・93号住居完掘



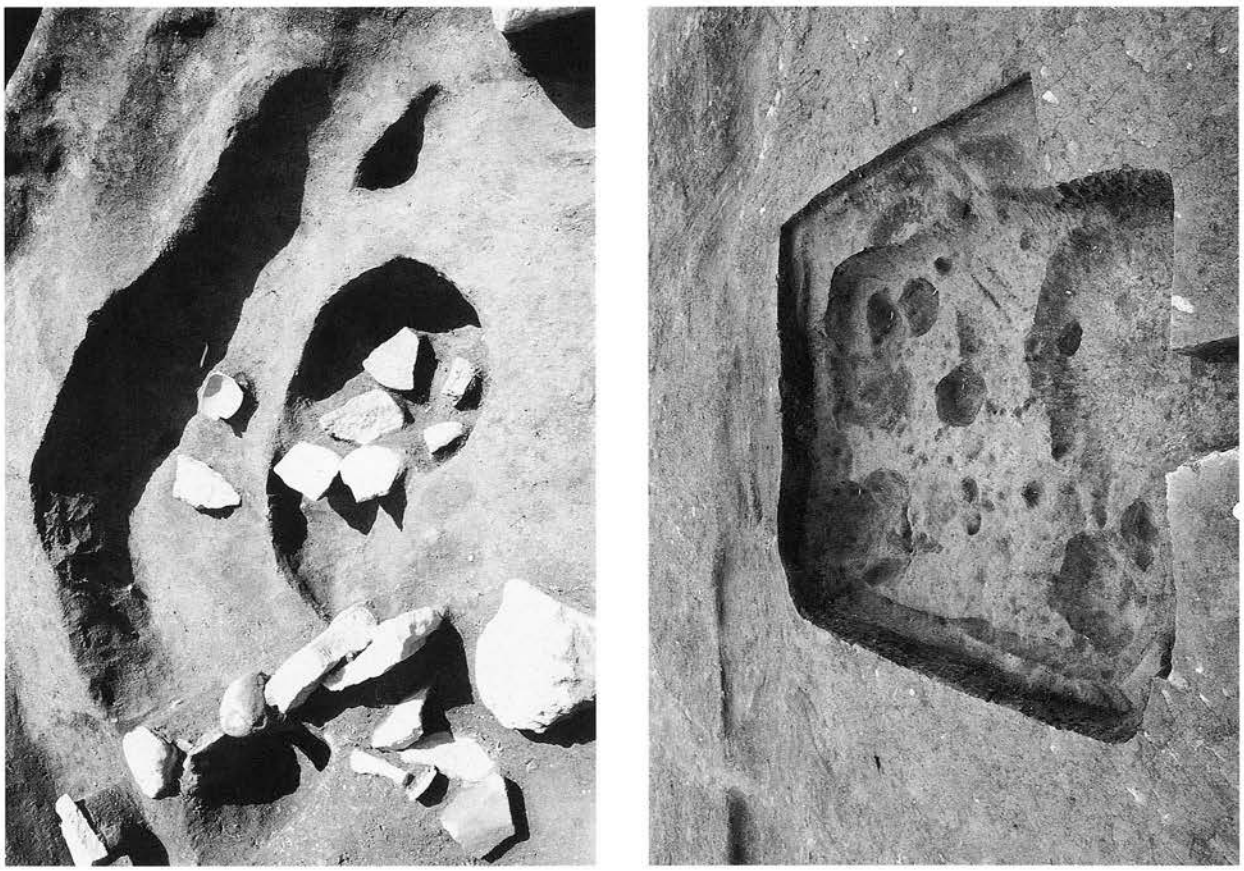


94号住居・覆土断面（右）

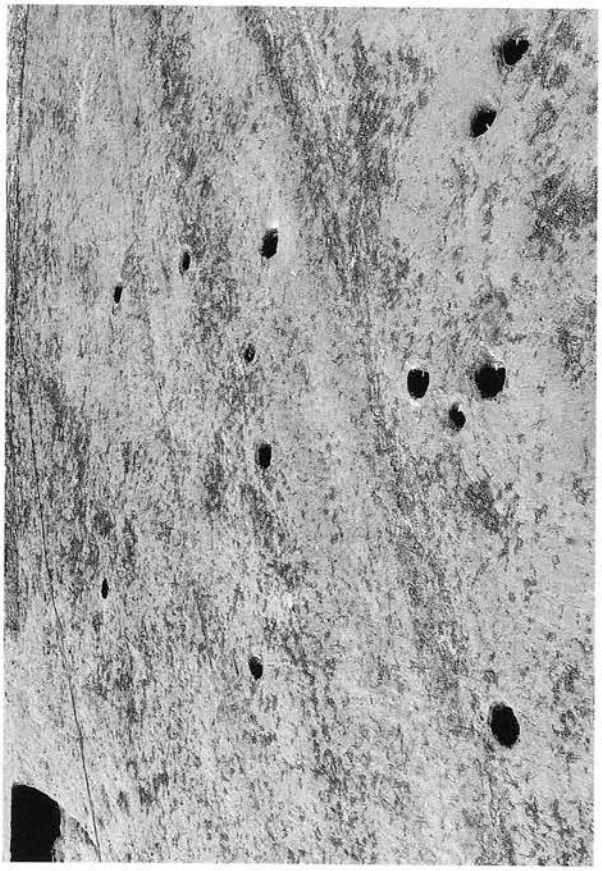
カマド西側の土師器（左上）・南壁沿いの須恵器（左下）・完掘



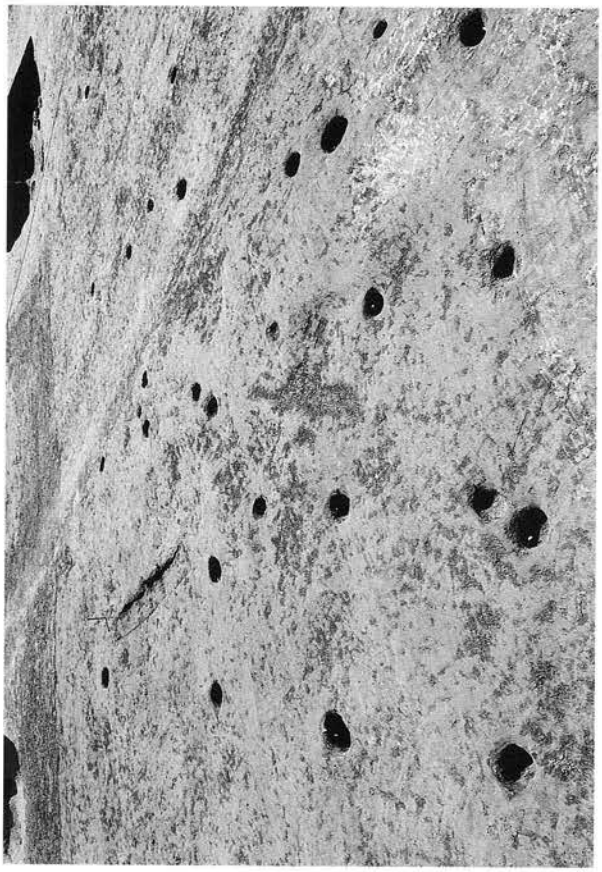
95号住居・カマド



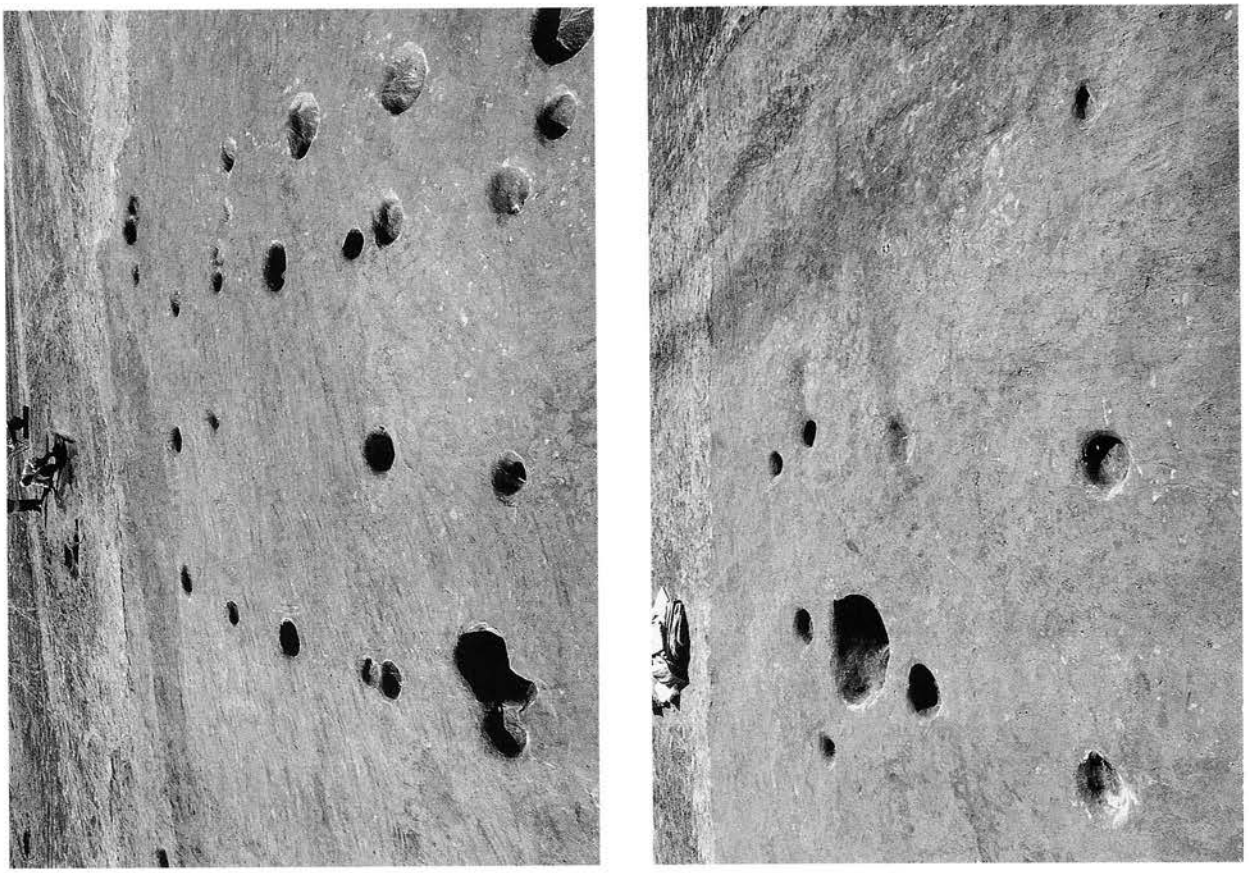
791号ピット（左）・95号住居完掘



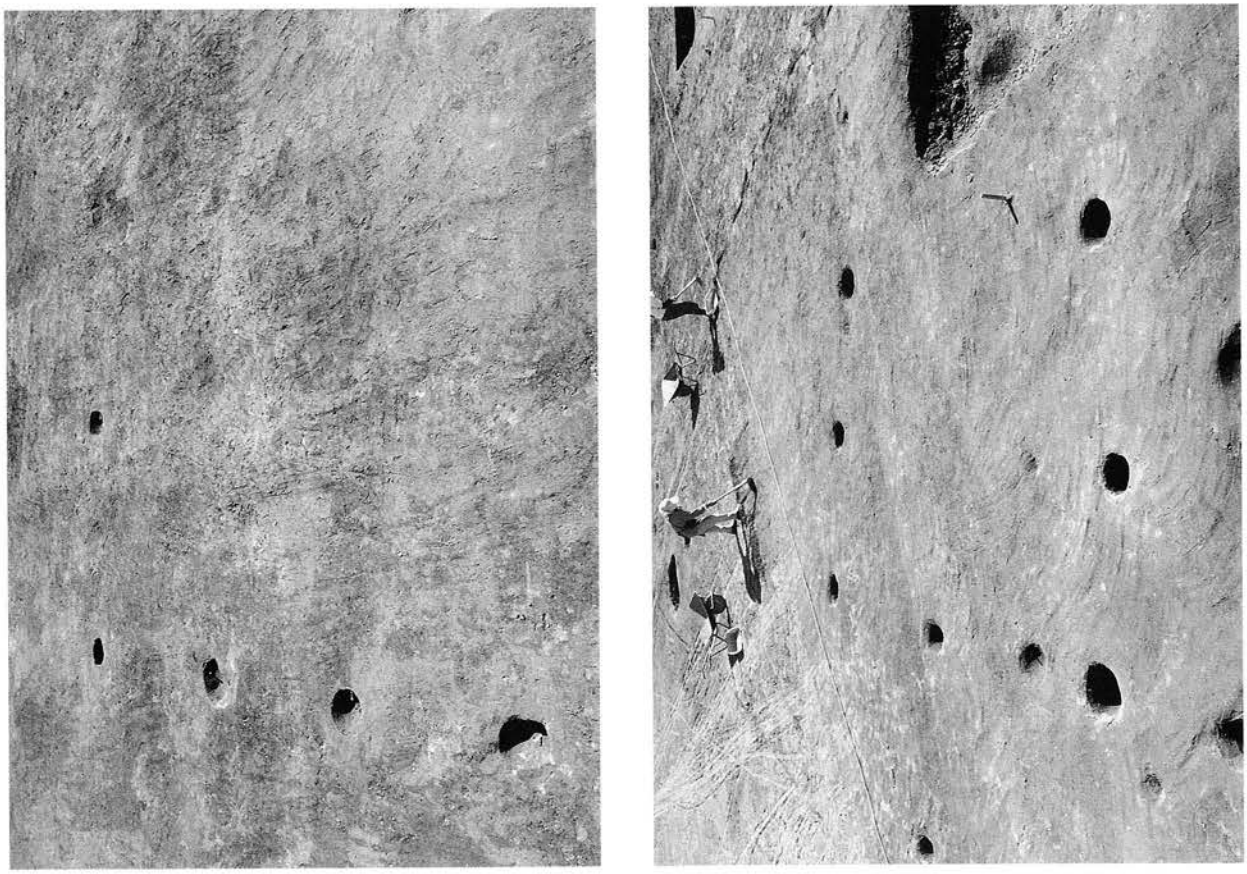
1号掘立柱建物（左）・2号掘立柱建物（右）



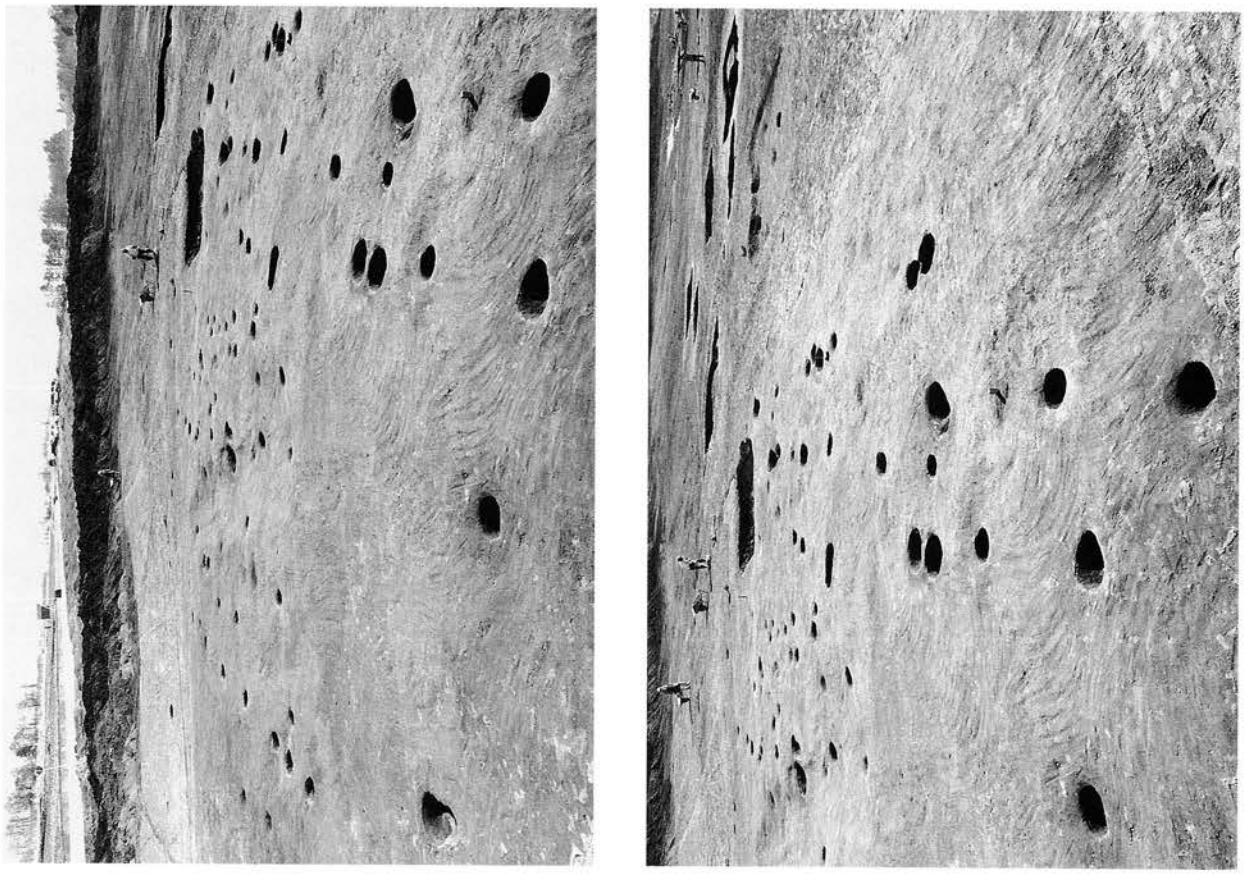
3号掘立柱建物（左）・4号掘立柱建物（右）



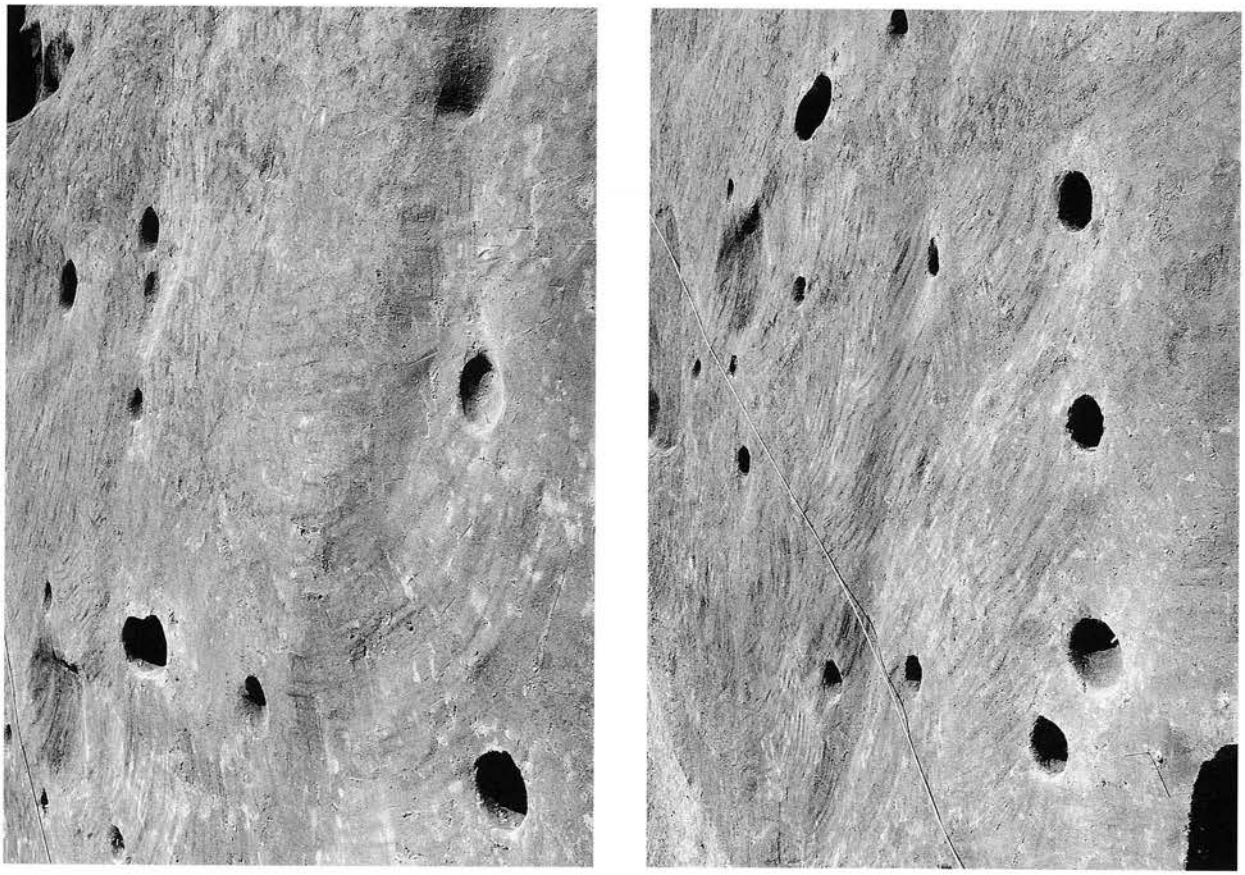
5号・6号掘立柱建物（左）・7号掘立柱建物（右）



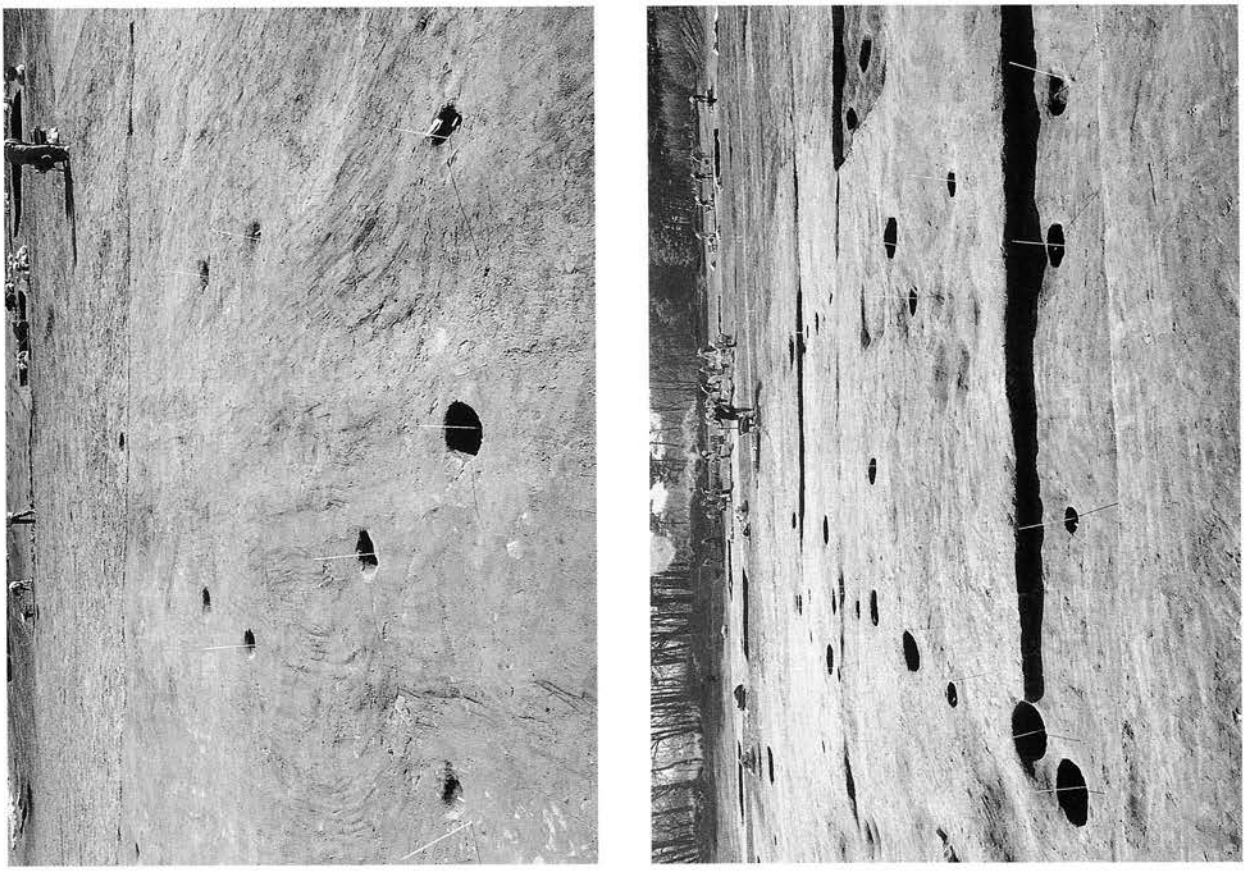
8号掘立柱建物（左）・9号掘立柱建物（右）



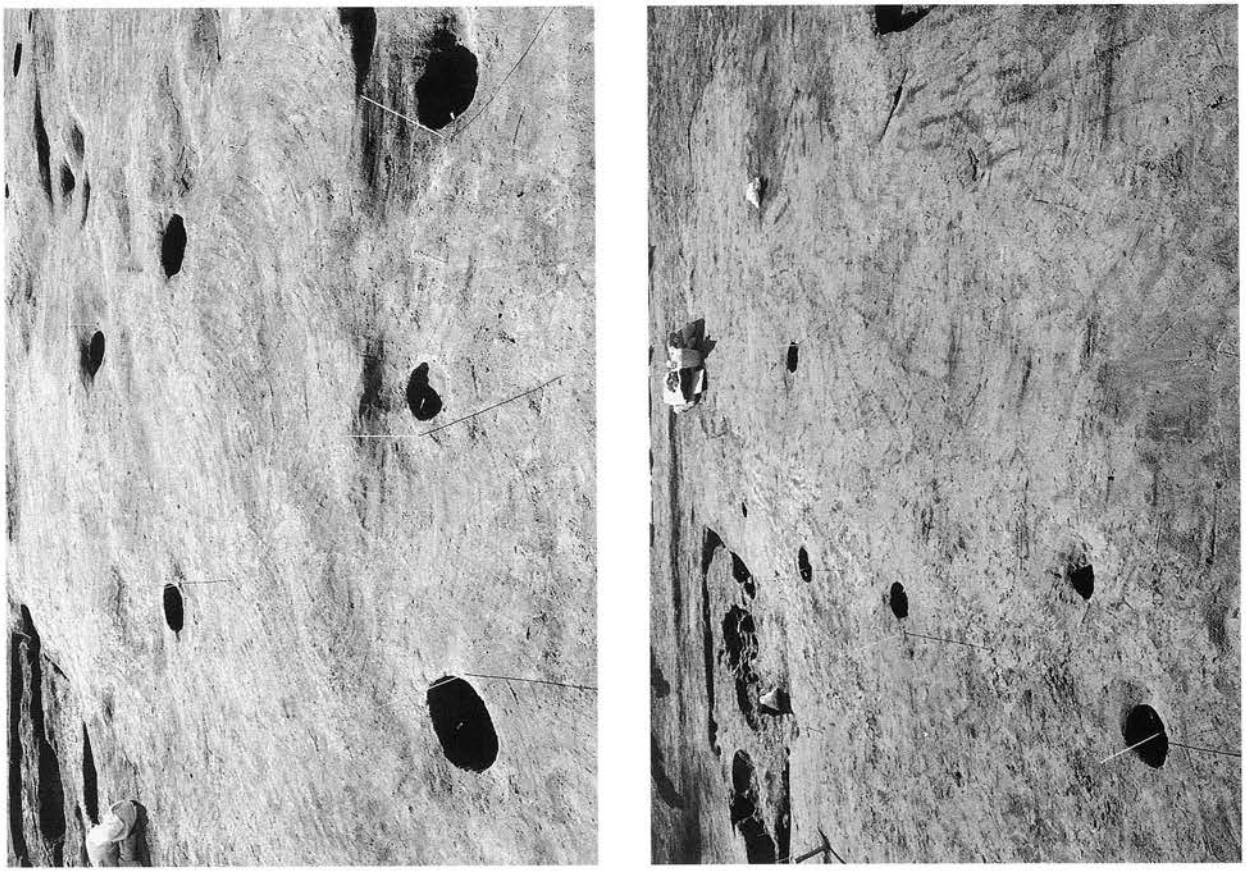
10号掘立柱建物（左）・11号掘立柱建物（右）



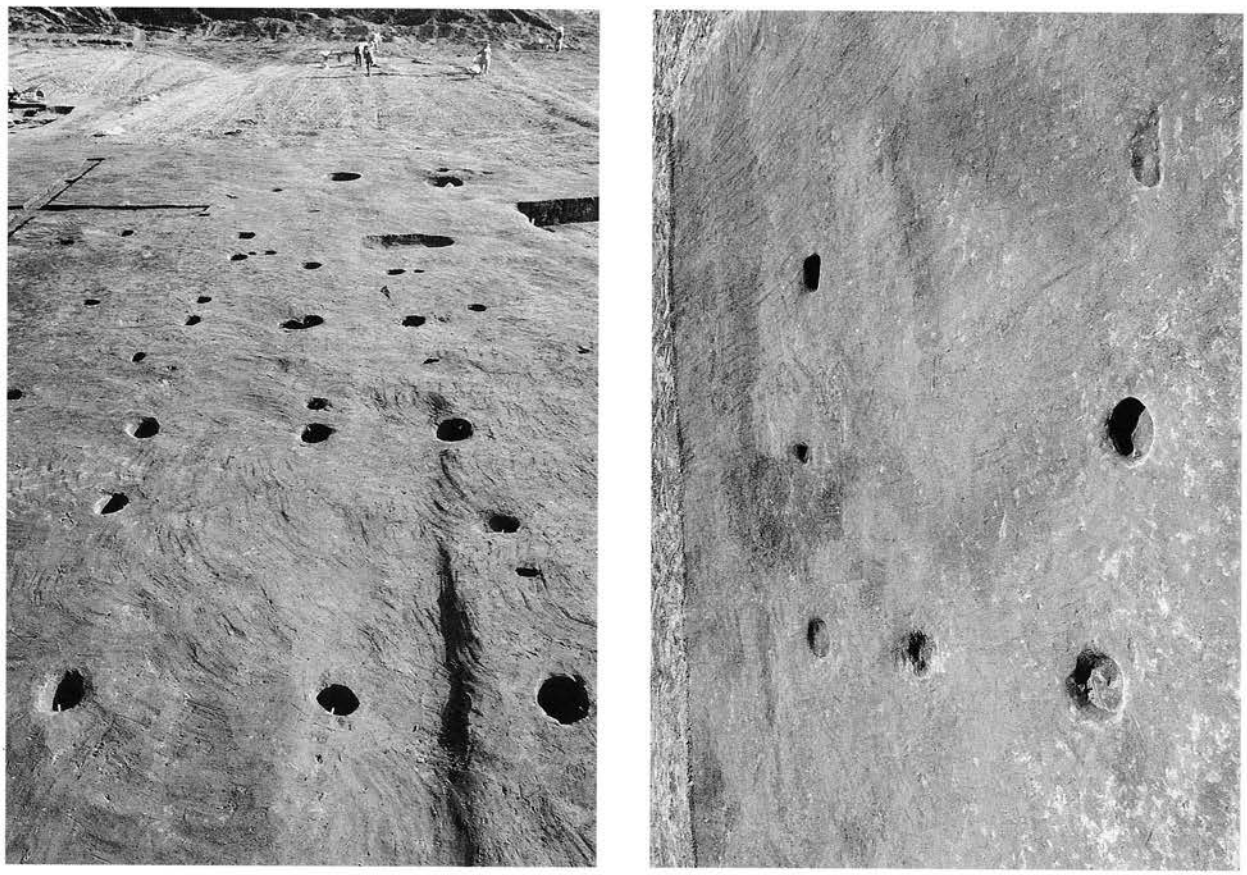
12号掘立柱建物（左）・13号掘立柱建物（右）



14号掘立柱建物（左）・15号掘立柱建物（右）

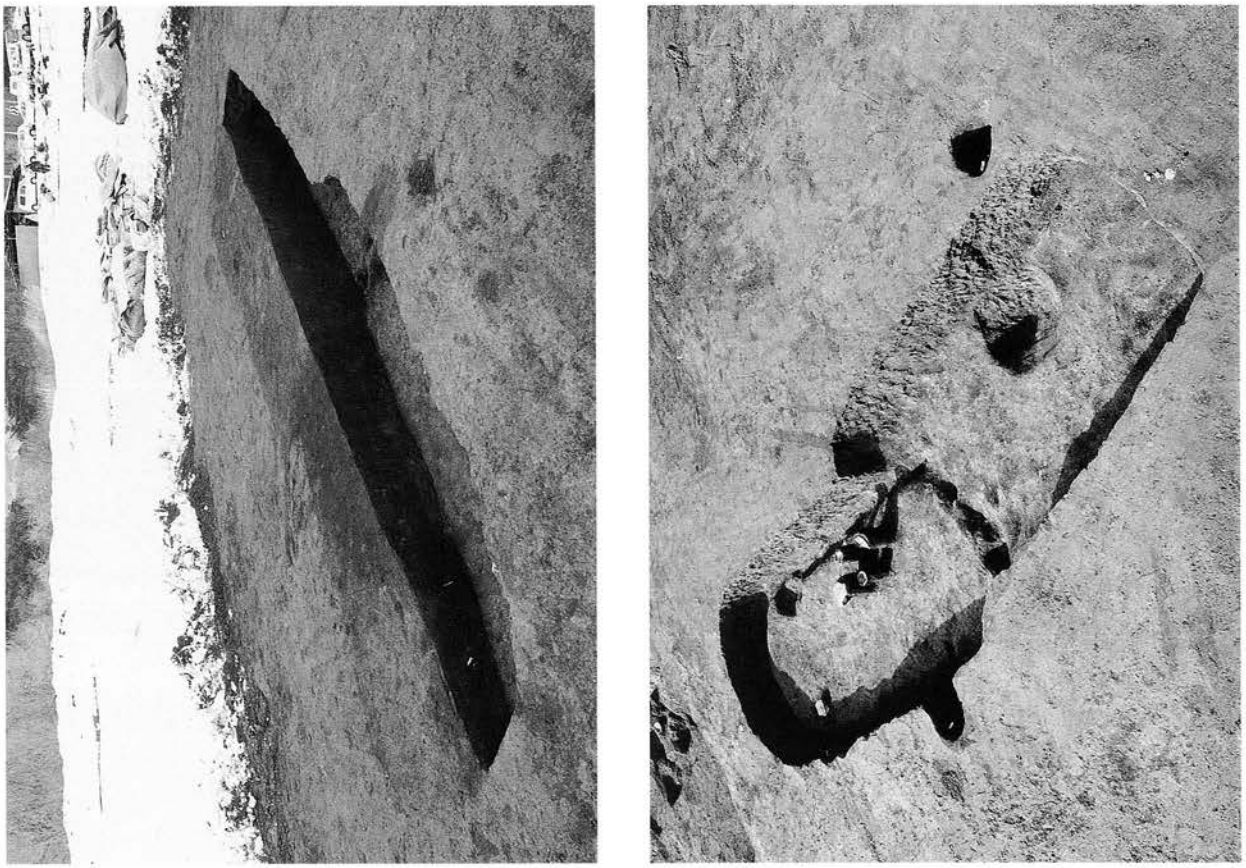


16号掘立柱建物（左）・17号掘立柱建物（右）

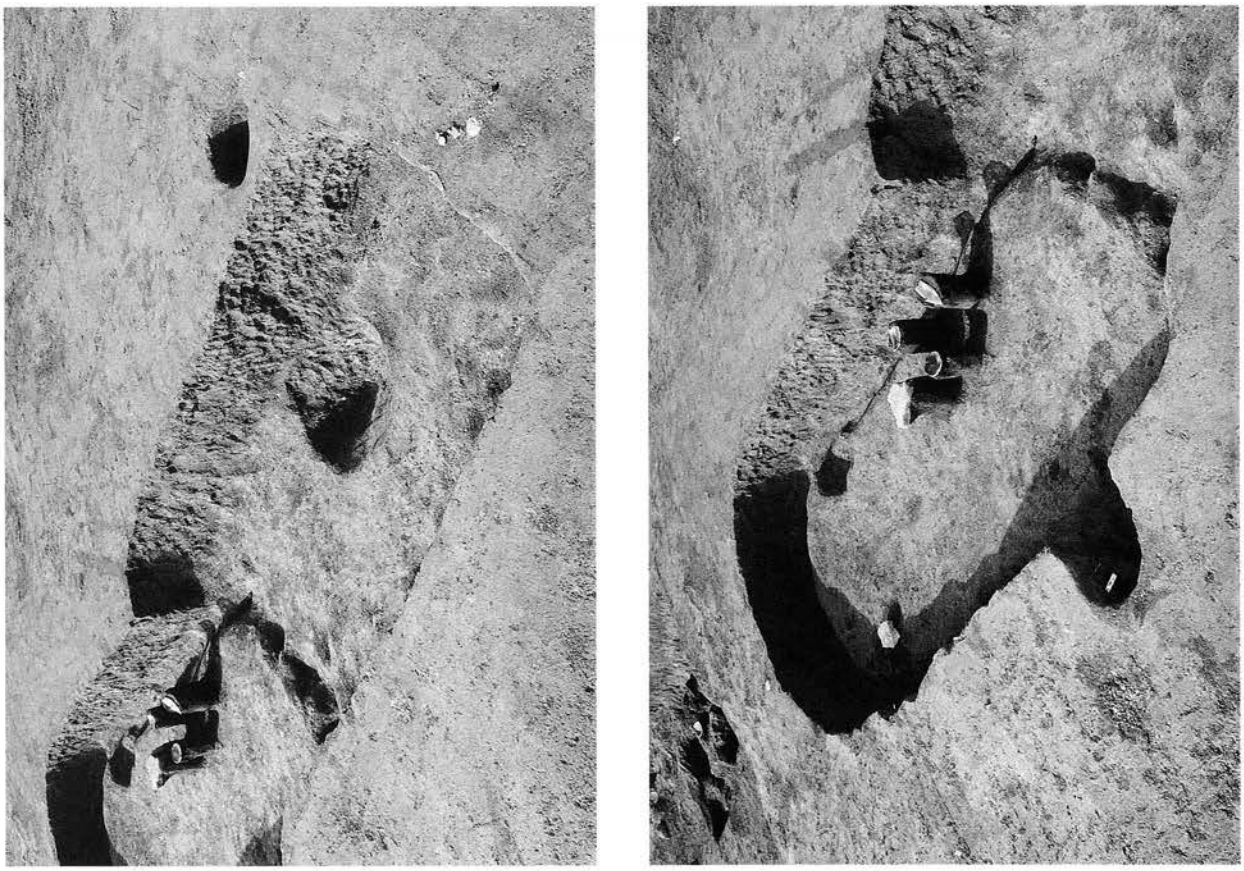


18号掘立柱建物（左手前）・19号掘立柱建物（左奥）・21号掘立柱建物（右）

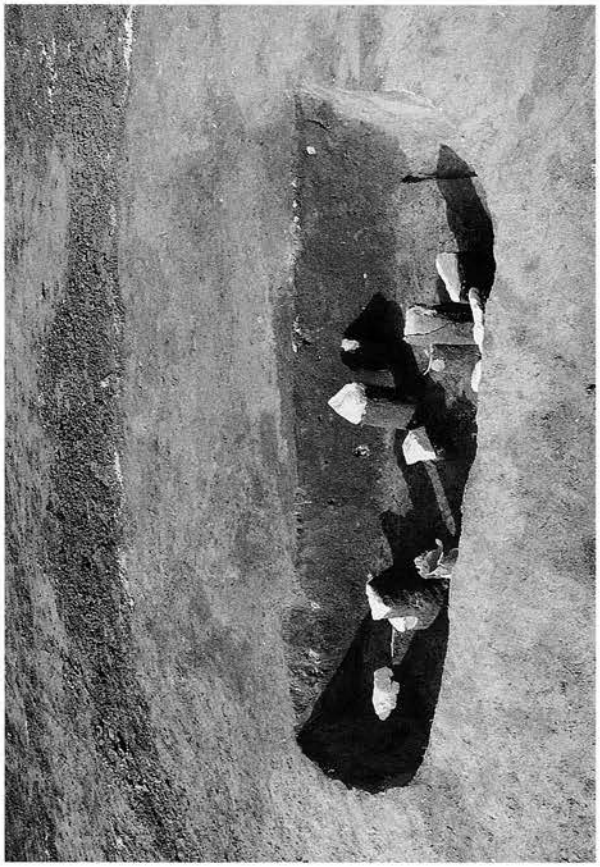
55号土坑覆土断面（左）・同完掘（右）

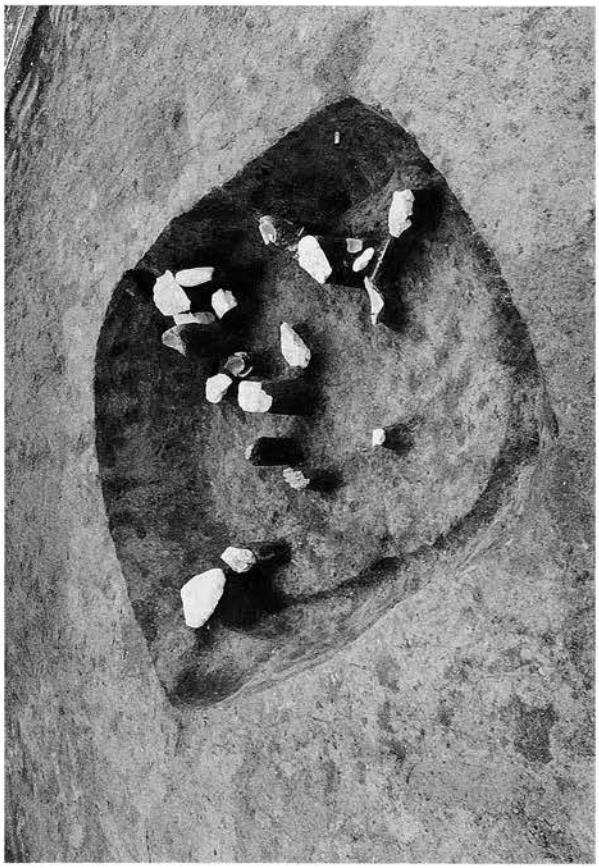


62号・63号土坑覆土断面（左・手前が63号）・同土坑（右）

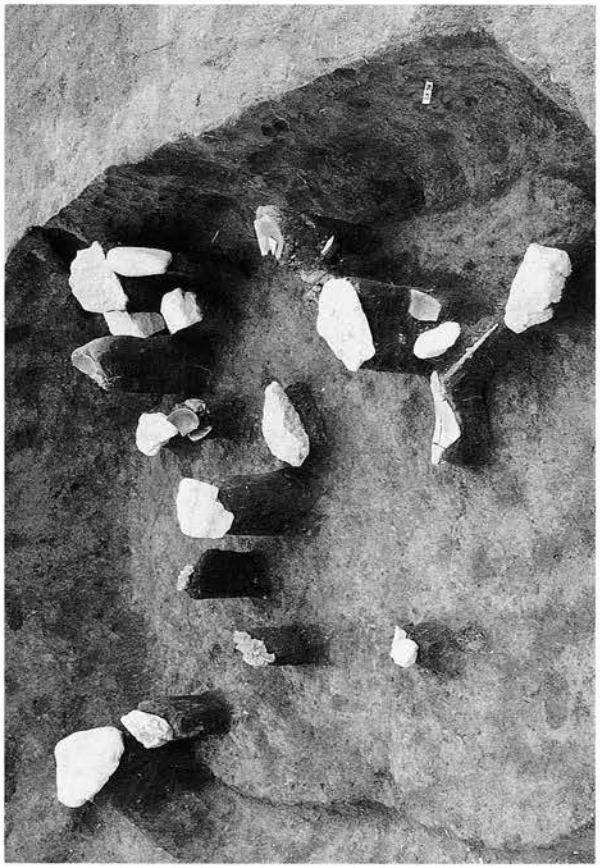


62号土坑（左）・63号土坑（右）





74号土坑覆土断面（左）・同土坑（右）



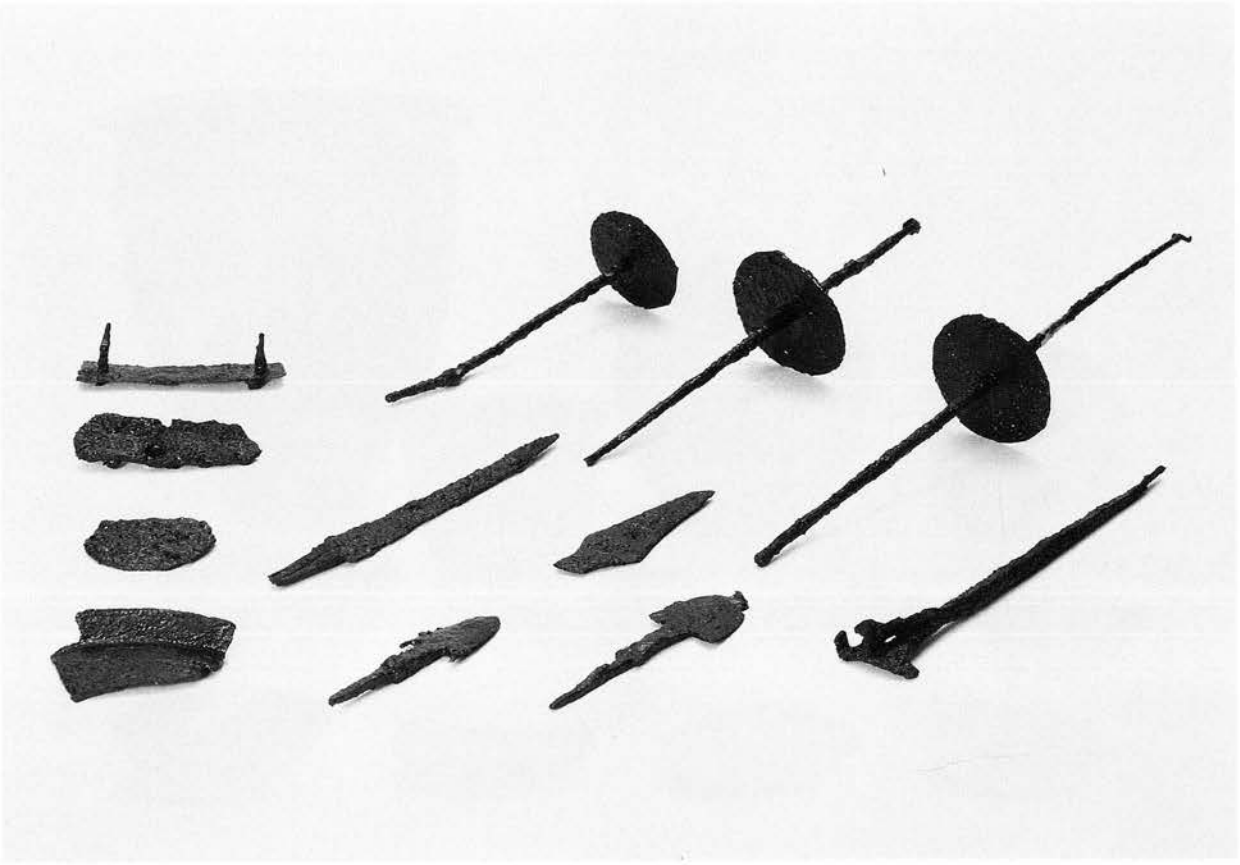
遺物出土状況（左）・74号土坑完掘（右）

9 世紀後半の出土品

9 世紀末から10世紀初頭の出土品

10世紀前半から後半の出土品

10世紀後半の出土品



おもな金属製品

3号住居出土の馬歯骨

報　告　書　抄　録

ふりがな	うめのきいせき
書名	梅之木遺跡Ⅰ
副題	県営畑地帯総合整備事業にともなう平安時代遺跡の発掘調査報告
シリーズ名	明野村文化財調査報告　14
著者	佐野　隆
発行機関	明野村教育委員会
編集機関	明野村埋蔵文化財センター
所在地／電話	〒407-0204　山梨県北巨摩郡明野村上手8310　　TEL　0551-25-2019
印刷所	株式会社　ぎょうせい
発行日	平成14年（2002）年３月31日

ふりがな	やまなしけんきたこまぐんあけのむらあさおあざうめのき
所在地	山梨県北巨摩郡明野村浅尾字梅之木
位置	北緯35°47′　　東経138°27′
調査原因	明野地区県営畑地帯総合整備事業
調査期間	平成12年10月１日～平成13年３月30日
調査機関	明野村埋蔵文化財センター
調査面積	37,600㎡
時期	平安時代、近世
主な遺構	平安時代の竪穴住居82軒、掘立柱建物21棟、土坑219基、ピット843基、近世の土坑１基
主な遺物	平安時代の土師器、須恵器、灰釉陶器、金属製品（焼印、穂摘具、紡錘具、鉄鏃、刀子、羽釜、帯金具、「隆平永宝」）、鉄滓、羽口、馬歯骨、石器
特記事項	「岑」「長」「政」「梶」「源」「真」「矢」「麿」などの墨書刻書が多数出土した。茅ヶ岳西麓では規模が大きい９世紀後半から10世紀後半の集落跡。焼印、若齢個体の馬歯骨が出土。御牧「穂坂牧」、後院牧「小笠原牧」に関連した集落の可能性あり。

明野村文化財調査報告　14

梅之木遺跡 I

2002. 3. 31発行

発　行　　明野村教育委員会
　　峡北地域振興局農務部

印　刷　　株式会社　ぎょうせい

W2区

W1区

梅ノ木遺跡 土杭・ピット位置図